NO. 1[illegible] VOL. 1

THE JAPANESE TIMES

SATURDAY, Jan. [illegible] 191[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave., N. Y. City
Tel. 3473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered as N. Y. Post Office
as second class mail matter
[illegible] of March 3rd 1879

紐育新報定價 郵稅共
一部金五仙 六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗

千九百十一年六月廿四日郵政局認可

發行兼編輯人 甲斐健一
發行 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三 チエルシイ

所謂新聞學問の價値

吾々は往々にして[illegible]說の間に所謂新聞學問なる名詞を世用するもののあるのを[illegible]多くの場合に於て新聞によりて與へられる學問[illegible]換言すれば新聞を通じて攫取し得る若くは吸收したる智識、思想を目するに淺薄にして論ずるに足らずとの意味に於て使用せられつゝある者の様である。然れ共彼らに新聞學問の價値を嘲笑する者に[illegible]學問の[illegible]義を單に經統的教育に依れる「[illegible]ノーブツク」の教科書や、將た參考[illegible]を秩序的に修むるに在りとして[illegible]然[illegible]新聞學問を蔑視せんとするは[illegible]れ大なる誤見である。

一[illegible]ム」の[illegible]値を謳歌せんとする時代に於て經驗的教育を受けたる者が[illegible]問的教育を受けたる者よりも比較的優良なる地位を占め得べきは怜ら不等邊三角形の二個の線の和は他の一個の線よりも長しと云ふ定義と異なる点はないのであるから吾人は必ずしも之を否定せんと試むる者でない、乍併「世界は大學校也」と云ふ古語は吾人に教ふるに學問の[illegible]は吾人が[illegible]目的にあらずして[illegible]の意義あら[illegible]の光彩あらしめんとする手段に外ならぬことを教へて居る、然らば則ち活學を修め之を活時代に活用する事は教育の[illegible]であらねばならぬ、要するに學問の價値は其其点の經統的であり專門的であるのと繰則的に且つ普遍的であるのとを問はず、其メリツトを以て其眞の價値を定むる標準としなければならぬ。

依之觀之、所謂新聞學問の價値は必ずしも輕視すべきではないのみならず、其新聞を通じて感受する智識と思想との分量とに依りて自己を教育し或は啓發するは[illegible]するに活[illegible]を[illegible]時代に[illegible]用する一の[illegible]である事は[illegible]なき事實である、試みに想へ英國[illegible]氏にして「ユウロピアン、コンチネント」の問題を論議せんとするに際し其材料を「タイムス」に借らず、「ウヱストミンスター、ガゼツト」に借らず或は「スタンダード」「デーリーメール」の提案に借らずして果して能く其眞相を捕捉し得るや如何、米國に於ける「トラスト」の問題は他百般の活きたる問題を解決せんとする政治家にして「サン」の存在を知らず、「タイムス」を知らず「ヘラルド」を見ず「ウォールド」を讀むこともなくして果して能く「コムプレヘンシイブ」に當代の時務を論議し得るや如何。

新聞が時代の思想の反射鏡にし併せて國民教育の有力なる一大機關なる事は敢て吾人の架説を俟たぬであらうけれ共、稍もすれば一知半解の士が所謂新聞學問を貶して淺薄無[illegible]とするに對して當面教育の重んずべき所以を辯證して 矢相酬ゐんとする次第である。 故山逸客

●新聞學問觀

明治の初年百事更新の大旗幟を掲げて御維新の事業を成就した人々は何れも封建時代の英傑教育に養成された頭腦を以て西洋の凡人教育を採用して之を全國の子弟に授けて吾日本帝國の地位をして今日あるに至らしめた、乍併彼等當路者の頭は何處迄も[illegible]教育で固めて居たから歐米の學問を[illegible]にすれど百姓町人の「凡人」を作ると云ふよりも寧ろ學問[illegible]教育主義の眞正たる 役に立つ深山[illegible]も大臣參議の地位に到り得べしさいふ觀念を全國民に持たしめた、爰に於てか學問万能主義は全國を風靡[illegible]に放れた士族は一家の生計を[illegible]へふべき公債證書を賣り飛ばしても其子弟を學校に送り、平民の子弟にして學資に乏しき者等は新聞を賣り、牛乳を配ば[illegible]、甚だしきは夜間[illegible]を拵ひて晝間學窓に親む人となつた、然うして其結界は如何と見るに髯を蓄へ羽織を着、洋語を操る人間[illegible]事を望む者が多數に出來し[illegible]鋤鍬を攫つて眞面目な職業に從事する者を賤むの弊風を馴致した、尤も黄金万能主義が漸次學問萬能主義に取つて代らんとする現代の時勢は全國の子弟をして抽象的な學問よりも寧ろ實利的な科目を撰ぶの傾向を帶ばしめて居るが而かも前[illegible]れより約がヱラシとの觀念は依然として全國民の頭を去る事が出來ないやうである。斯は畢竟するし[illegible]教育の頭腦を以て凡人教育を施した餘弊であつて現に就職難の叫びが全國に滿々と居るのも其原因の一つは學問万能主義であると云つても敢て差支へないのである。

學問好し、教育可なり就中[illegible]し[illegible]ぬ人間たるに普通教育は極めて必要であり、專門の技術家或は學者たらんとするには充分の學校教育を受けねばならぬ、乍併大政治家、大實業家、大宗教家、大教育家、大文[illegible]者、大美術家[illegible]に「グレイト」[illegible]の名を冠せられる人物を律するに當つて學校教育は何等の標的たる價値はない、何となれば彼等は活きた眼を以て活きた社會を視、其直接に看取し得た所の博き智識を明敏な頭腦に入れて之を自己の物として社會[illegible]から[illegible]である、即ち全世界、全人類を大學校と見做して其忠實なる生徒たるが故である、大[illegible]神學校の生徒であつた事も聞かねば大哲釋伽が經卷一冊書いた事も知らぬ、其より此の如き殆んど神に近き大聖哲は別として普通吾々が偉人、英傑として渇仰する歷史的人物中に於ても所謂システマチツクな教育を受けた人は甚だ少數である、否ヨン多數あるにしても彼等が國家、社會及人類に對して[illegible]績を建てた其源は學校教育よりも却つて活社會から受けた活學問であつた、リンコーン、ハミルトン、仁齋、徂徠等は何れも獨學獨習の人々であつた、ナポレオンの兵法は巴里士官學校の教科書より出でずして人間の團集心理作用を[illegible]し巧みに之を活社會に應用する[illegible]に在つた、此頃新育メールの記者ゲームス、グリールマンと云ふ人の書いた「活學教育」にも題す可き意見中に頗る興味ある事を言つて居る曰く

自分は過去卅年間の新聞記者生活を續けて來た經驗上、人間の知識は學校や書籍からよりも寧ろ日常の實際生活から得ることが多いと云ふ事を知つた、吾等は何も古い書物を見ねば眞理が解らぬと思ふ必要がない、老幼男女事々物々吾等の周圍を繞らす一切の者は皆教育である、要は只之等のものを觀察する勞を厭はねばよいのである云々

新聞は宇宙人生の縮圖であつて此縮圖に依て自己を教育すれば活社會に處して活動するに充分の活學を修むるとが出來るのである、ブレツドを噛りながら[illegible]身體を清めて[illegible]省して活學獨學の妙諦に新聞[illegible]の[illegible]望む者は大[illegible]に其の眞價値を[illegible]すべきである

叶聲會俳句



▲外套

外套覆はず施食に立つ男哉 多郎

[illegible]の外套何ぞか[illegible]き 五峯

[illegible]たる外套若しや[illegible]のスワスーカ はな

星疎ら[illegible]けを霜に[illegible]す外套女丁かな 同 人

[illegible]るしはりの火を吹くも外套被るまゝ 同 人

寄宿所に病みて塵深み外套が 默平

ハヤリなれば馬具用の布も外套に 同 人

貧窮に與ふ五歳[illegible]の外套を 嘗天

人笑ひわれも笑ふ外套酔ふて[illegible]らけ 同 人

▲冬雲

對陣の[illegible]寒きくれを雲の飛ぶ 五峯

冬雲は出雲艦なりしと歡呼墨國の濱 嘗天

山は寂びて[illegible]鷄の卵を產まず冬の雲 同 人

[illegible]冬の雲[illegible]の行へ 默平

飛行機飛ばずふと憂ふ慘事冬雲に ばなゝ

[illegible]鳴けば冬雲や水の濁れつらん 同 人

家路更なき[illegible]冬雲の客少な 同 人

火の子吹く[illegible]冬雲の暮れんとす 同 人

▲クリスマス

カロ々ルを讀む[illegible]燭暗しクリスマス 默平

[illegible]の[illegible]窮策るゝプレセントクリスマ[illegible] 同 人

[illegible]クリスマス隣[illegible]御祝ひに 或火槌

アナタプとロには出さず贈り物 我入道

燭し[illegible]る[illegible]をサンタの來るマス ばなゝ

[illegible]がサンタの[illegible]ぞクリスマス はなゝ

キノヌ逃れて[illegible]のミスルトー 同 人

クリスマス耶蘇を忘るゝ十五年 同 人

救世軍のサンタ見附けて[illegible]かぬ子 同 人

獨居の我れに[illegible]を給ふクリスマス 嘗天

[illegible]後を[illegible]むる貧[illegible] 同 人

贈答の[illegible]なき我やクリスマス 多郎

●前駐墨米公使ウィルソン氏現政府の對墨政策を罵る

對墨政策に關し大統領ウィルソン氏と其意見を異にし途に免職せられし前駐墨公使ヘンリーレーン、ウイルソン氏は六日ヤオルドオブアストリヤにて催されたるラム倶樂部の晩餐會席上大ひに現政府の對墨方針を攻撃したり、氏は西班牙征服の時代よりマデロ革命の初に至る迄の歷史を述べ且つ自身が米國公使として行動したる凡てを辯護したる後現政府に論及して曰く、一予は大統領ウィルソン氏に對し充分の敬意を表し居る者なり、氏の堪能なる英語と雄辯と而して其言の廻し方の巧妙なる點は有らゆる理想家のハートを奪ふに足るなり、北に於て圓滿に實行せらるゝ政治は南に於ても亦同様なりとの道學者的幻影に捉はれたる現在の對墨政策は一種の藝術的夢想を欣ぶ徒輩に依りて唱獻されつゝあるが而も墨國騷亂のため失はれたる人命財産の損害[illegible]國民をして塗炭の苦みを受けしめ且つ米國をして孤立的地位に置きたる[illegible]は幻影を追ふ理想家に於て其責任を負はざるべからず云々彼は[illegible]は米國が既往に於て[illegible]定し若しくは其代表者[illegible]在國の[illegible]に耳を貸かずして冷酷なる行動に出でたる事なきを論じ猛烈にウヰルソン、武安女、リンド諸氏の行動を非難せり

●破天荒の美舉

資本家と勞働者の確執日に益々[illegible]を加へ社會教育の研究一日も苟くにすべからざる今日デトロイト市のフオード自動車會社は破天荒の美舉を實行して[illegible]人を驚かしたり、即ち同會社は昨年の收益金二千五百萬弗中一千萬弗を同社の勞働者に分配する事とせり、今其方法なりと云ふを聞くに廿二歳以上の男子勞働者は悉く此分配金に與る事を得べく現在五弗の日給を受け居る者は普通勞働者の日給二弗六十八仙と右五弗との差を加へたるもの即ち七弗卅四仙を得る譯となり、廿二歳以下の者と雖も家族を支持し居る者は皆同様の增給を受け、女子雇人及監督ホーマンの如き高給者は多少の增給を受くる事に[illegible]右一千万弗分配金には滿たざる方法なるこ、該會社は昨年二十五個の自働車に對し一個[illegible]行の都合[illegible]收入減ありたるに拘らず尚二千五[illegible]萬弗の收穫あり本年も亦同額の純[illegible]ある見込にし今後年々分配金を[illegible]するか否かは會社の財政狀態如何にあり と、因に會社が右分配金の事を公表するや否や使用を申込む勞働者の數約一万八[illegible]に及び恰かも會社包圍攻撃の姿なりしと

●暴風雨損害

過日來の暴風雨は一ユージャーヂー及ロングアイランド海岸を襲ひたるもの最も猛烈を極め海嘯のため家財[illegible]拂ひ去られたるもの多數に上り彼の有名なる亞市の[illegible]萬弗ピヤなども多大の損害を蒙りたる由なるが遭難者中スタンダードオイル會社のオクラホマ號の如きはサンデーツクを隔る廿哩の[illegible]て沈沒の憂き目に逢ひ五名を除くの外乘組員約卅名は無慘の凍死を遂げたりと

●電話料直下げ

[illegible]新育電話會社は市民及諸新聞紙の批評猛烈なるより[illegible]直下げを實行するに因り市外下[illegible]げの割合を發表[illegible]可し

●墨國使節動靜

墨國特使デ・ラ・バラ氏並に隨員一同は昨夜東京西下の途に就きたるが新橋には代議士連を始め數千の民衆押し寄せ熱誠を極めたる國民的見送りをなせり

▲桃山御陵參拜　特使一行は今朝豫定の如く桃山御陵に參拜し陵前に花環を捧げたるが明治天皇の御遺業を追慕せる一行は何れも感慨無量なる者ありしと

▲京坂地方の歡迎　尙ほ特使は今日限り國賓の待遇を辭したるも數日間京坂地方に滯在官民の歡迎を受くべしと云ふ

●諸名士の渡米　歐州遊學の西郷從德氏珍田大使夫人綱島牧師等は本日橫濱出帆の地洋丸にて渡米の途に上れり

以上卅一日東京發

●名古屋疑獄 判決

名古屋瀆職事件の第一審判決あり被告中前愛知縣知事深野一三氏を始め前市長加藤重三郎辯護士安東敏之及兼松熙の三氏は一年乃至一年半の懲役に處せられ名古屋第一の富豪[illegible]甚平氏は刑の執行を猶豫されたり

●兩委員長決定

衆議院全院委員長には官原傳氏豫算委員長には改野耕三氏當選したり

●臺灣行幸奏請　佐久間總督は豫て今上陛下が皇太子に在らせられし時より臺灣行幸を希望し居たるが今回上京の際親しく宮內大臣とも協議したる結果來春四五月頃を以て行幸の義奏請し奉る事となりたりと

●御大禮發表期　御大禮期日は過日來大禮使評議會に於て內議したるが今上陛下御一代に於ける最も重き御儀式なるに依り其發表も亦一年中に於て最も光輝ある一月即ち新年早々に決定し普く天下に布告せらるゝに決したる由に就き明年一月早々に決定し普く天下に布告せらるゝ事に決定したる由に就き明年一月早々御裁可を仰ぎ國務各大臣宮內大臣連署の上公布し引續き伊勢神宮を始め前朝四代の山陵に勅使を差遣され報告せしめらるべしと確聞す

●海軍大更迭評　今回の大異動に就ても思ひ出さるゝは毎度ながら薩摩蔓の披擢若くは破格の陞進に不公平なるしき跡を止めざる手際の鮮かなる事なり野間口、枋内等の先輩を越へて又もや進級したる新任財部中將は山本首相のむこがねなれば是非なしとして同じ蔓を辿る田中、東郷兩將の舞鶴工廠長たり砲術學校長たる何より破格の拔擢と云ふにはあらざれど榮進には相違なし臭しとは此處らの事なるべきか尤も角財部中將は之にて愈海軍大臣の資格を獲たる譯なり出羽大將の軍事參議官は既定の事實にして三須大將の待命は軈て豫備編入の前提なるか何れも當然なりと云ふの外なし伊知地中將は小柄の押出しの利ぬ見掛けに似ず頭腦明晰の人物にて嘗て吳工廠長として令聞あり松本中將も頭腦明晰綿密算數にたけたる人物ながら海軍部內の結婚を一手に引受けて居る程の軍人らしからぬ上手者とは比較にならぬ艦政本部長の更迭は誰も異存の無き所なり第一第二常備艦隊新司令長官たるも加藤中將は共に新進の傑物として聞ゆる人蓋し適才を適所に置きたるものか但し一流の戰術家を以て自任する佐藤少將が出で第一艦隊の參謀長たるは如何あらん却つて令部參謀兼大學教官たるを傳ふ如くなること[illegible]は[illegible]れ而も既に出でたる以上竹下少將の之に代はれるは當然なる可し小泉土屋二中將眞野東郷二少將の豫備役となり川島西中將小泉[illegible]同少將の待命となれるは行政整理の意味あり又有馬中將の昇級は豫備役編入の前提なるも勿論なるが釜谷少將は馬公司令官として江口少將は水雷部長として共に此種の淘汰に漏れたるは解すべからず而も黒井少將が練習艦司令官に貶せられたると山縣少將の佐世保艦隊司令官に榮轉したると大澤少將の待命となれるは意外中の意外にして黒井大澤兩少將は財部次官に睨まれたる結果と云へば夫れ迄なれど部內外の等しく遺憾とする所なり上泉少將に世間より大分買ひ被ぶられたる氣味あり聊か自惚れ過ぎたり今となりては誰をか咎めん

●對支未了案件　外務當局談

▲第一次革命賠償　に關しては既に各國に於て夫れ〳〵調査を了し各自北京政府に對し之が要求を爲したるが其總計は非常の巨額に達し北京政府に於て一々之が査定をなしたるものと各國の要求査定とは非程の懸隔あるを以て未だ容易に解決せず

▲南京賠償問題　現に支那官憲立會ひの上我官憲之を實地調査したるに[illegible]其總額八十餘萬圓に達せ[illegible]山座公使より十一月中旬之を北京政府に提出したる處支那政府に於ても之を認容し只査定金額に於て[illegible]は例の值切り手段を極めたるため存外遷延の氣味となり居れる[illegible]人に於ても此際多少の讓歩をなしても速かに賠償金の交附を希望し居る折なれば何れにしても解決を告ぐるの日近かるべし

▲張勳所分問題　南京事件要求條件中最も重大事項の一たるを失はざるに今日尙處分を斷行せざるは一に南京の平和を保障する上に於て袁政府の容易に肯ぜざるがためなり勿論帝國政府よりは毎時之を通牒しつゝあり現に十二月二日船津領事は清口に赴き巡撫使と會見したる後[illegible]艦隊參謀長と共に北京に赴き山座公使に委細報告し同公使より最後の強硬なる談判を爲さしめつゝあるを以て必ず近く之が落着を見るべきを信ず

▲巴黎事件其後　該事件につき支那外務部より今尙ほ我公使に交渉し來りつゝあるが同事件の原因は雙方もなき事なるを以て我公使は悉く之を反駁したる以來交渉に於てしも其非を認めたるも結果に於て後に死傷者を生じたる事なれば之が遺族に對して救恤の意味に於て相當の[illegible]を交附して以て事件の解決を告ぐるに至るやも知れず

●芳賀博士と木村氏の大激論　[illegible]富山房にては過日[illegible]の祝宴を開き關係諸名士を招待せるが午後二時頃階上大廣間に大隈伯後藤男島田三郎文學博士芳賀矢一其他の來賓參居る所へ木村鷹太郎氏入り來り大隈伯に敬意を表して着席せるが傍に芳賀博士がフロック姿にて控へ居るを見て學閥打破の大議論を始め大に帝大教授を罵り君などは恐らく古事記を精讀した事はあるまいと罵倒したるより芳賀氏は眞赤になりて怒り出し木村氏に應酬し約四十分間大舌戰を開したるが大隈伯の仲裁にて一まづ論鋒を收め式に移りしと云ふ

●濱口氏逝去　濱口吉右衛門氏は紀州有田郡廣田村の出身にして當年五十二歲夙に上京して日本橋區小網町三の廿七なる先祖傳來の醬油販賣の業を經營し日本橋區より擧げられて衆議院議員たる事三回現に貴族院の多額納稅議員たり曾て興國銀行頭取[illegible]業界にも[illegible]夫人糸子との間に長男嘉太郎[illegible]次男[illegible]及二女あり

●デング氏逝く　四十餘年來宗教界に去教育界に日本に最も同情ある一人として貢獻する所甚だ大なりし仙臺第二高等學校教師勳四等英國人ウォールター、デニング氏は豫て心臟病を病み居たるが十二月五日午後二時仙臺の寓居に逝けり享年六十八

●桂公落胤の婚禮　東京柳橋の藝妓[illegible]廿才は故桂太郎公の落胤として知られたが今度故公爵の遺言とありて在京法學士[illegible]氏(廿七)に嫁する事となり婚禮一切の費用は無論公爵家より支拂ひ近日十三日の大嫁入りがあるさうな

紐育日本人會 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名　[illegible]

コレヤ　桑港　一月十日

エムプレス　[illegible]

●日本より到着日　一月十一日

●後家さんの輸出　近頃世が開けるに從つて若後家さんが一生操を立て髪下通すなど云ふ時代な風は見られなくなつた此未亡人の弱点を押へての事か但しは他に理由あつての事か未亡人の輸出をして盛んに女不足の殖民地を賑はして居るが日本なども北米や布哇などの如く女が少なくて折角貯みごろになつて貯へた金を賤しい女の爲に費消してしまつて成功者の少ないのは嘆ずべき事で例の母國觀光團などは花嫁さがしの爲めに來るといつてよい位であるか此の同胞の心中を察してか又は爲めにするのか知らぬが未亡人を輸出して同胞の心を樂しませんとして居る例の結婚媒介所がある内には未亡人を初婚なざと偽り濟まして居ることもあるが兎に角未亡人を再嫁せしむる途を開いた事は後家さんの爲めには大なる福音である今時のハイカラ美人や處女にあこがれて居る女よりも却つて二度目の良人のすいも辛みも知つた所謂未亡人の方が却つて苦勞した二人目の良人の氣に入るかも知れぬ良人の機嫌を取る事が頗る上手で其結果が好いとは手掛けた媒介者の語る所であるさうな

●日本生魚來る　シヤトルの各日本人商店にては殆んど聯合的に日本の鯛、車海老、鱈、サソラ其他の生魚を輸入し過日ミチソダにて到着したるが冷藏庫輸入とは思はれぬ程の美味を保ち居りしと

●米國へ飛行研究　待命海軍中尉我部魁廿八氏は今回海軍大臣の許可を得て飛行機研究のため近日渡米すべしと同氏は吳鎭守府に服務中病氣のため待命となりたるものなるが豫て志願せる飛行家たらんとするに就き其筋に於て詮衡の結果渡米許可を得たるものにて修業の上は現役に復し海軍飛行家たるべく渡米後は先づ羅府附近にて研究に着手する方針なりと

●市内日本人の元旦祝賀　米國の御正月は僅か元旦一日丈祝意を表し合ふ習慣なるが流石三日三晩打拔の習慣に育つた日本人には何だか物足らぬ心地すると見へ年末の底拔け忘年會と元旦の遥禮に充分一年中の興業を飲み下ろした筈の彼等は二日三日四日と連日連夜の祝賀會を續けたり

●領島總領事邸祝賀　元旦祝賀式を行ひたり

●總領事夫人の輕快　此二三日來非常に輕快となり別に心配するものにあらずと

●珍田大使來市　同大市は七日來市ホテル、プラザに滯在中なるか日本倶樂部は來る八日午後七時大使を正賓とし日本協會役員並に重なる在留者を招待して晩餐會を催す筈なり

●日米交換教授佐藤昌藏氏　は五日來着ホテルアスターに滯在中なるか來廿二日カーネギーホールに於て氏の講演ある事は既報の如し

●正金銀行出張所員松島法學士　は來八日當地出發歸朝と決せり

●野澤屋商會員石崎健次氏　は八日出發一時歸朝三月末歸米の筈

●高見共濟會長の招宴期　は來十三日と確定せるか會場は開盛亭なり

●墓地購入成る　豫て交渉中なりし共同墓地購入の件は双方の談合纏まり昨年十二月下旬代金二千五百弗を支拂ひ完全に取引を了したりと

●墨國遠征後援會起る　日墨國關係々々密接を加へ來り吾同胞か西半球發展の好機會は正に到來せる次第なるか當地武部商木店員たる長野縣人頑鐵中原信一氏は不遠墨國に赴き身を官軍に投じて同國民心の鼓舞に努むると同時に大ひに吾民族の精華を發揮せんとの覺悟を定むるに至りし由にて友人諸氏は中原氏の壯烈なる志を盛んなりとし其目的を達せしむるため今回頑鐵中原信一君墨國遠征後援會なるものを組織するに至れりと

●各料亭の新年宴會

▲河濱旅館　是一日野澤屋商會、元茂木桃井組、三日には有志の新年宴會あり、十日には某商店の宴會ある筈　▲若松　十日正金銀行出張員の宴會あるべし　▲千歳　一日ニユーヨーク大學々生倶樂部、三日某倶樂部の新年宴會　▲みやこ　卅一日河鰭主人は有志八十餘名を招待して盛宴を張れり　此他朝日、岡野自由亭、東京館、西村、吉田下宿、倉田横濱館、菊水等夫々有志者の宴會あり、開盛亭主人壬生氏は五日市内の有志者を招き嘗宴を催したり

●出雲艦と墨國

日米間題解決の唯一方法は實に墨國によりするの外なしと論じたる末廣博士は過日布哇寄港の際左の如く語れり

▲出雲艦の墨國に於ける人氣　ヴアラクルスに於ける本政府より米國を討伐を企てたるが當時は墨國人の對日本感情甚だ面白からざりしと雖も近時又漸く回復したり殊に出雲艦の派遣は在留三千の日本人を保護するにあれども墨國人は矢張り政治的意味を含むものと見なし爲めに日本に對する感は言辭の盡すべからざるものあり

遂に賴む上國を援助せんとする熱誠の評にしてクルーヂ市のヘラルド新報紙に於ては同氏か顧問役たる一方傳馬地に事件の發表するに至りたる大要を掲載したるに至り然るに同時に於ては氏か新報の上に報じ更に一層猛烈なる筆鋒を以て攻撃の矢を放ちたり事業に關し其責任の兩立ざるを以て云々

予の大統領ウヰルソン氏と會見したる時大統領は數年來ならざるなかりしが遂公使予に告げて曰く「墨國政府か貴下を歡待せしは蓋し從來各國公使か歡迎されし事は嘗てあれど斯く盛儀を極めたる事なし」と以て其歡待の程度を知るに難からざる人や要するに墨國人の日本人に對する感情は心より親日を表しつ

▲三百人の虐殺　予の考ふる所にては一點の疑を挾む餘地なし

はマザトランに出雲艦入港後の訪問者も遠からず革命軍のために占領せらるゝならば同地には日本人の在留する者廿ありと雖も之等の日本人は何等の危險をも感ぜずと云ふ　何等の危險をも虞れず然るに今もなほ東洋人とはいへ支那人か虐殺の厄に會ひたる事もあり自分は支那人百余人の虐殺されたる事を聞き何等恐怖の色なく此危險此上なく仕合せ革命にトレオンを占領せし際三百名の支那人か虐殺の厄に會ひたる事もあり白人は素より危險云ふべからず革命の總大將キヤランザー將軍の部下は曰く、予はウヰルタ政府を倒さん

▲移民問題論　予がウヰルソン大統領に會見したる際ウ氏は移民問題を力說し日本移民の入國を歡迎すべしと述べたり、墨國の地たる太平洋の土地多きか故に安價なる土地は一エーカー一弗二弗にて賣買されつゝありされど我移民の入國は今後望なきに非ずと雖も今日の場合水利の便なきか故に墨國にはイリゲーション、ローあり灌漑工事に着手する者には政府より保護を與ふる事になり居れり故に我移民にして墨國に赴かんとならば盛大に團體移民として資本家の下に移働する約束の要あり之れ早く云へば移民會社か組織し民を送りたるが如き組織で為さしむ可からず然らざれば我々農民自身が資本と共に墨國に赴くの外無く團體にて墨國に入るも爲替のあるなし

●高木光太郎氏の祝賀に就て　ゼネラル、アクシヂント保險會社のエセントなる同氏が傳馬港在中の行

●年頭の感　　堀野默平

太陽は來復せり、吾人は何が故に此の新年を目出度しと迎ふるか、此の若蘇を味へ、昨日の往時を忘れ、向上の氣備へ、愈き更に東天を破りし赫々たる旭陽の昇るを見れば萬物皆我れに勧むるの感起り不知不識吾人をして進取の氣象を生ぜしむるにあらずや、蓋し偉人豪傑と雖も何等人と異るなし、荘子は蒼天の鵬と巣草の斥鷃とを比して大小無を論せり然かも到底鵬は鵬なり鷃雀の志は々にして止む事なし、彼等豪傑か天下を蹂躙したる七寸の昔ゝ、亂頭粗服天下の大政を論じて後拔群の功を立てし只之れ進取の氣象年と共に衰へざりしが故のみ、在米同胞の多くは比較的紅顔の容貌を有し一見恰かも此氣象あるが如きも之を歐米各國人と比すれば如何に吾人が老成し易く、退嬰し易きを知るに足らん、吾同胞中偉業を立つるの士曉星の如きは偶と云ふべけんや、夫れ進取はやがて活動を意味し活動の大なる者人心の活動に如くはなし、民心一度活動せば國家亦勃々如として勇飛猛躍せん、實にや新年は人をして此心を動かさしむるの好期なり、有爲の士が此期に當つて進取の氣象を盛ならしめば松根に依て壽をするの舊諺を俟はずと雖も自ら千年の緑下に滿ちて新年の賀祝其の裡に存するを知るべし是れ余が目出度しとして新陽を迎ふる所以なり、匆忙の裡筆を執り所感を一言し併て諸兄の萬福を祈る

●紐育埠頭新聞團實話　　鶴山

下關發の汽船が嶋の沖に入日の紅を流した五時頃、山陽線の特別急行列車が神戸に着くと、黑山高にフロックに扮裝せる一青年紳士一個の鞄來へツケースを手荷物預り所に運んだからは言はずと知れた米國歸りと覺りの車夫に睨まれた、間もなく件んの紳士は一通の手紙を車夫に渡して其處へ案内せよとの御條、車夫は來たなと胸に刻んだ方へ威勢よく脚に任せて驅け出す先は花月の楓屋旅館某樓、梶棒を下して御案内、、、、張店匆々横付の御華客に下足札振りながら賑かな縁起祝に送られて二階の大廣間の引付に通つた青年紳士、服装こそ堂々たれ折道には餘り物馴れぬ態度を早くも看破つた仲居共、イラ掠鳥が飛込んだとホクノ\もので愛嬌たつぷり、旦那は誰さん御馴染はと伺ふや、ポッケットから一通に宛名を「佐松お勝どの」吾兄より上様、りと其の先の綺麗はしき洋封筒の面一通、此情人に面會した、この中（記者曰く流石の一上様も大分驚嘆に羽が生へたらう）出、源氏名なら何々さんにと來るのだが本名を差し向けられては流石の豆格子も大閉口、成程洋行歸りは違つたものだ、花魁買ふに紹介状附きだと勝手に合点しながら喋場に下つて戸籍調べをやると玉奴さんと判つてから仲居は可妓の部屋に手紙を持ち行き詳細を通ずると玉奴は取る手遅しと手紙を披いて見るや匆卒はたゞしく部屋を片付けるやら髪を梳るやらの大騒ぎ、仲居にそつと耳打ちした玉妓は待ち居る紳士の部屋に驅け込み餘々初對面の挨拶もせず懷かしそうな打解けた物語りには紳士も心が動いたものか洋服を胴袍衣に着替へて本部屋に通りあとは新育物語りに時の移るを忘れたが火の用心の太鼓に嬉しい首尾を破られた兩人は鵲婆から仲居共を集めて新育に居る賞兄がお友達に托した贈りのダイヤ入指輪の數々を披露したまでは無難であつたが其友達なる紳士が玉奴さんの身上は兄さんから私に一任されたと大びらを切つたのでサー仲居共が承知せず明日は玉奴さんのお目出度だお身受けだと樓中の大評判となつたので止むを得ず番頭から猫に至るまで殘らずねゝば御馳走で漸つと事濟みになつたものゝ翌朝イザ勘定になると驚く勿れ八十幾圓餘、安くない紹介狀と思つたが仕方がない、ただうちに乗りながら噫持つべきものは友達かな

●高價に高い勘定　昨夜△場の●川兩君と日本流支那飯に一酷飲、久しか振りに溜飲を下げたと故郷の悪癖るに足らざれど久しく故國に遠かつて居る在米同胞諸君の一興にもと別紙勘定書を送ると依て如件、之じや浮か／＼歸國も考へ物なり

記

一金九圓五十錢　御料理
一金五圓廿五錢　御酒
一金九十錢　煙草
一金二十錢　サイダ
一金十一圓卅五錢　藝者
一金八十錢　はなや
合計金貳拾九圓十錢
右之通正に受取候也
大正二年十一月卅日
赤阪田町三丁目十三番地
支那料理　もみぢ

投　書

▲家庭的な労働者の記事は何故出しませぬ、僕は此社會に這入て五年になるが其間精神上に蒙つた影響で今では純然たるたゝきん氣質になつてしまつた所へ彼の記事を讀んで大に反省する所がありました全く有益なる記事ですケッチン黨の投書は自分の身に痛い處があるからでしやうよ僕はは紙面の都合つき次第續稿せられん事を希望します讀者の中には善解する者も多いですよ（善良なるケッチン黨）

▲ぷロフエサー曰く新年號の箴欄にあつた指輪の話は本當じやが丸斯フイゴのピン製造は嘘じやヘン拙も頭をツルッとなで乍ら二色男になりやした、弟子の未製ドクロイヒンの方は僕のにやつた（廿六街生）

▲デブノ\のドクトル君は役中訪問すると何時でも外診じや一同人一新年一日丈は無禮講で仕方がない、三日以後はチト愼んでもらひましやう（八十四丁目）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Keiichi Kai, Editor
288 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6478 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政省認可
發行兼編輯人　甲斐惠一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二二八
電話六四七三　チェルシイ

自働車王の美擧

◎資本と勞働との調和

新春に入りて米國の財界に剴切なる衝動と深甚なる印象とを與へたるものは、一は猛岸氏等の所謂「インヅイジブル、マネートラスト」の部分的解散とし、他を自働車王フォード氏の主宰する會社使用人に對する利益金割賦の發表とす、吾人は猛岸氏一派の行動か果して自ら聲明せるが如く輿論の趨向を尊重せる結果に出でたるや否やを審にせずと雖、一時的にもせよ、其表面極端に財界獨占の威力を擅にするに對し政治的社界的反抗の熾烈なるべきを豫察せるに基ける自制的行動なりと視るを以て至當とすべし。之れ吾人の平生唱導する機會均等主義の權利を意味するものにあらざるなからんや。而も彼のフォード氏が一千萬弗の利益金割賦の發表に至りては實に近來快心の美擧たるを失はず、其報一度宣傳せらるゝと共に一齊に朝野を愕倒するの慨あるも宜なりと謂ふべき哉。倫問或は之を嫉視しフォード氏の「スペキュレティブ」にして且つ虚名を射るの猾手段に過ぎずと説く者あれ共「フォード モウトウ カンパニイ」が「ジョナル オブ コムマース社」の照會に答へたる書信の要點を公平に將た善意に解釋する者は必ずや這般の美擧が根據あり、意義あるとを否認せざるべき也曰く

當社は現在に於ける資本と勞働との連鎖に依れる収益分配の方法が偏重偏輕の嫌あるを確信し、本年度の収益を概略一千萬弗と假定し爾今一ケ年間毎月二回に分割して如上の額を使用人に給與すべし、換言すれば實際に於て二十二歳以上の使用人は毎日八時間の勞働に對して各自最低給五弗を下らざることとなるべく、勿論次年の計畫は全然別問題に屬するも若し本年々末に於て相當の株主割賦金、工場擴張費及び全國に亘る集會々場建築費等を除外して猶餘裕を存する時は更に分配を行はんことを期す、二十二歳以下の使用人にして父母弟妹を扶養しつゝある者、其他誠直勤勉にして浪費を節する者等に對しては調査の上特典を與ふべし万一會社の工場を閉鎖し又は一般に使用人を減ずる必要に逢着せば農作物収獲の時期に於て解傭を行ひ一面農家をして勞働の需要に滿足せしめ他面勞働者をして其糊口の途に窮せざらしむるに便すべし云々

吾人はフォード氏を以て「アメリカン、フェヤープレー」の權化なりとするに躊躇せず、今若し現在に於ける同社の使用人一万八千人に四千人を加へんとする腹案にして實行せらるゝものとせば一千萬弗の平均割賦金は一人に對し四百五十四弗余に該當せば即ち日暮工場内に蟄伏して營々たる勞働者は一ケ年平均千五百余弗の収入を豫算し得るが故に勤儉にして思慮ある者は優に年七百五十弗を貯蓄し得べきに非ずや。要するにフォード氏の眞意は、現に禍根を培養しつゝある社會の階級的戰爭の慘害を未前に防遏せんとする社會政策上の便法たる資本と勞働との調和を計るに在り、即ち當代先覺者の主張する「ミュチュアリズム」の理想と符節を合するものにして、吾人が滿幅の敬意を表するに吝なるを得ざる所なり。

吾人が屢々切論する如く米人は其思想行動共に大陸的にして、資本家企業家等の實利を主眼とする者と雖屑々たる島國的氣風を脱し得ざる故國の資本家、企業家の多數が一利益法一の運用に腐心して他を顧みるに遑あらざるの比にあらず、米國人は積極的に克く集めて克く散ずるの術を解す。此點に關しては吾人は渠等の磊々落々たる心事に學ぶ所鮮少ならざるを感知せずんばあらざる也。

●所謂新聞屋さん

卓郎

▲世人は新聞事業を經營する者若くは新聞を書く者を稱し、俗に新聞屋さんと申候、當に口慣れし言葉故云ふ者も云はるゝ者も別に不思議とも思はざれど本來から申せば實に失敬千万言語同斷なる言葉にて非禮も爰に至つて極まれりと可申、新聞に與さはる者が車屋、チャブ屋、オデン屋と一緒にされては堪つたものに非ず候

▲勿論新聞事業とても一面より見れば商買にて經營者も記者も通信員も之に依つて妻子を養ひ、飯を食ふ点に於てはオデン屋と聊か撰ぶ所無之候が仔細に其内面を窺へば新聞事業は同じく商買とは云ひながら一仙のものを二仙に賣るオデン屋と異なり、五仙のものを三仙に賣る商買とて「商買」てふスタンドポイントより見れば是程詰らぬものはなく、一つそ止めたらよささうに候が偖さうは參らす因果、因緣、新紙と謂らむる外無御座候

▲乞食も三日すれば面白くて止められぬとやらにて、新聞も行つて見れば案外に興味ある仕事に有之三日は愚か三百年も三千年も行り度心地致候、尤も之は棄てる金が澤山あればといふ條件附きに御座候

▲何が一番面白いかと申すに人間社會の出來事中最も自己の興味多しと信ずる事に關して大氣焔を吐き、之を活版に附して世人に讀ましめ、若くは讀むでもらう点に有之候而して其記せし事柄が多少なりとも世道人心に稗益する所あり或はありしと自ら信ずる場合、書ひた當人の得意滿面は門外漢たる世人の窺ひ知る所に非ず候

▲所謂新聞屋さんの或者が醉步蹣跚狂態縱横の喜劇を演ずる場合世人は「アンナ者の書いた者が」と嘲けるやも知れざれど、一度び筆を呵して原稿用紙に對せし時の彼等は公平なる社會の批評家にして兼ねて又眞摯欺かざる政教の指導者に有之、隨つて彼等の爲す所は學ぶに足らざるべきも彼等の言ふ所は充分に傾耳するの價値有之候

▲人間は趣味の動物にして大教育家、大宗教家、大詩人の如き高尚な人となるも將た高利貸、香具師、政治屋の如き野鄙なる者となるも歸する所は各自の趣味即ち道樂を擅まゝにする次第に外ならず、等する所多くして自ら益する所少き所謂新聞屋さんの如きは十二分に社會の尊敬を受く可き資格を有する道樂者に御座候、新聞記者が社交上聊かにても特種の待遇を受くる場合、漫りに我田の管見を用ゐて「コワモテ」などゝ稱する者は事理を辯せぬ沒分曉漢に有之候

▲尤も新聞業者乃至記者にも色々あり、有りもせぬ學問を有るやうに言ひ振らし、三文の價値なき學問をば勿体無さそうに擔ぎ廻りて百姓を威嚇かし、役者藝人待合料理屋の弱點に附け込むで役得を取り或は淫猥なる政治屋の犬となつて民衆を毒害する鼠輩も新聞記者なれば、眞面の論縱横の識善く時運の趨向を察して世を利し、民を益するの主張と抱負とを有する者も亦新聞記者に有之候、前者は世俗の所謂新聞ゴロ乃至ゲジ〳〵に該當すべく、後者は當然社會の木鐸を以て許すべき新聞記者様に御座候　以上

第三回俳句互撰會



前回は出題と締切の間が四日で如何に餘悠のある詩人でも、句を絞り出すのに句弄せられた事と思ふ、これは同人の死句じり。今回は充分に句案のタイムがありますから、名吟佳什を續々御寄稿下さい、又當日は奮つて御參會あらんことを望みます。

一會場　日本人青年會
一期日　二月十四日（土曜日）
一會費　廿五仙（茶菓料）
一課題　雪、寒雀、火事、枯烏、サブウエー（冬季讀込み）
右一題に就き一人五句限り
締切　二月十四日
新育市東五十七丁目四六五
洋聲會

▲水仙

葉末洞の水仙水に傾く日南　ばなゝ
哀か孫か比和か鉢の水仙か　同人
當民地向けの水仙芽吹く南緯四度　同人
オールド、メードの告白聞かんホテルに　同人
脱け髦つまへ捻て浮書水仙の向變へ　同人
清香薫ず冷凋の朝を水仙花　多郎
[illegible]政を論ず水仙と算盤の並ぶ處　雀天
水仙の花に欠伸を隱すタイピスト　同人
水仙の窓に物言はしき女かな　五峯
水仙の窓閑寂に入る日かな　同人
ぬぎ捨て見て吾妻うれし水仙花　默平
乳にやせし嬰兒臥し水仙花　同人
水仙の夢に夢みし落し節　同人

▲鯨

漁村七里赤八卷や初鯨　我入道
寒江丹の河岸に咲くや初鯨　同人
無月夜を武人と沒めし鯨汁　默平
山遠し月の航海に浮く鯨　同人
二水海に入る處鯨を産す夕焚に　同人
[illegible]志士腕を撫す鯨　雀天
[illegible]無[illegible]　同人
[illegible]大鯨　ばなゝ
鯨賣る火の濱に焚く夜を星曇る　同人
海語つて鯨獵るに潮の目に光る　同人
小人島鯨汐吹く二万尺　同人
鯨斷てば潮に光る海の寒　同人
肉迫して投矢の術や鯨突き　多郎
鯨斬つて幸先き祝ふ艦の上　五峯
冬の海はれて鯨の潮ふける　同人
鯨すむ海を楚囚の軍艦走る　同人

●ビラの南下　オイナガ市を占領したる彼は連勝の餘威を振つて直ちにトレオンを攻撃すべく目下南征の準備に汲々たりと

●英國と人種的排他心　前駐米英國大使ブライス氏は倫敦ナショナルリベラル倶樂部に於ける演説に於て、「目下大英帝國の前に横はる最も緊要なる問題は濠洲、南阿、加奈陀等の英領自治殖民地に於て印度人を排斥したるが如き人種的排他心の勃興にあり余は如何にせば此困難を除去すべきか今日の處にては何等の成案を有せず但現今の如き強烈なる人種的排他心の各殖民地に瀰漫たるに於ては吾人は異人種をして各自其本國内に居住せしむるに努むるの外なし」と述べたり

●フォード自働車會社前の騒擾　同社々長フォード氏が今回前代未聞の美擧を斷行して世を驚かせし事は前號所載の如くなるが一千萬弗の金を同社の職工に分與し且如何なる下級の小使と雖も一日五弗以上の給料を仕拂ふ可しとの出告は無數の勞役者に取りて實に天來の福音に相違なく、右發表以來同會社に就職を申込む者限りなく所在地なるデトロイト市は[illegible]より數百哩乃至數千哩を遠しとせずして同市に入り込み會社の門前に蝟集するの有樣なるが、去十二日は空前殊に凜烈寒暖計九度を示せし程の天候なりしにも不拘約一萬五千の求職者は例の如く門前に佇立して喧噪を極むるにぞ事務員警官等も殆んど其始末に困じ消防用のポンプを以て群集に冷水浴を取らしめたるに依り却て爰に一大騷擾を引起し失望と憤激に滿てる彼等は瓦礫を投じて會社の窓硝子を破壞し建築物に不少損害を與へたりと

●新市長の活動　年少氣鋭の新市長ミッチェル氏は就任匆々市内警察の積弊に着手し警吏を督勵して市中到處の賭徒及不良輩を掃蕩せしめつゝありしが、近來彼の撲滅組と稱する最も兇惡なる兇徒の退治に手を附くるに至れり

●ソーの出獄　マヂソンスクエヤーガーデンのホワイト殺しとして世界に其罪名を歌はれたるソーは昨年瘋狂院を拔出でたる後加奈陀より米國に送還され爾來ニユハムプシャ州コンコードに於て訴訟中なりしが裁判官はソーは狂人に非ずと認め保釋金提供の條件附にて解放されたり、殺人裁判當時のエベリン、ネスビット ソー夫人は再び女優となり目下シンシナタに於て演技中なり

●馬場書記生の墨國行　タンピコ在[illegible]に太平洋沿岸附近在墨日本人の安否なるに引替へ墨國北部例へばチワワ地方に在る日本人が横暴極まるビラ將軍配下の蠻卒等に財産を掠められ或は食ふに食なき悲況に呻吟しつゝありと夫かあらぬか今回シカゴ領事館在勤外務書記生は墨國北部在留民保護の任を帶びテキサス州エルパソに派遣せられたりと



●東京の新年

事實は於て大正當初の正月たる今年の元旦は東京に在りては稀れに見るの晴天にしてそよとの微風も見ず皇室と各國元首との祝電の御交換相當に在り民間も大正博、即位式を目前に控ふる事とて漸く景氣立直りの兆あり年賀盛んに行はれたり

●國民通信成立　澁澤男其他有力なる實業家關係の國民通信社は略々成る前聯合通信東京主任たりしケヂー氏の近々ロイテル電報生任として來朝次第事業開始の筈なるが右は度々報ぜる如く對米啓發運動の一部なるを以て主として右目的貫通に努むべし

●末廣博士墨國發展を說く

加州土地法問題喧かりし頃より久しく太平洋沿岸に滯在し墨國を踏査せる末廣博士は地洋丸にて布哇より歸朝長途の疲勞を休むる暇もなく朝野の間を奔走し墨國假大統領ウエルタ將軍より依賴により盛んに移民を迯らん事を慫慂し墨國の農業の有望なる事鑛業も猶十分に發展の餘地ある事墨國人の日本人に接近せんとし日本人を歡迎して止まざるは想像以上にして官軍が日本人を優待するは勿論反軍と雖もウエルタ政府が日本より武器供給を受くとの說盛んなるに拘らず之れ亦頗る慇懃の情を以て日本人に對する次第を委細に說き更に桑港大博には贊同せよ加州は早晚日本人より借地權をも剝奪するは疑なきを以て今にして豫め之を防止するの努力なかるべからずと唱道し大に識者の注意を喚起しつゝあり

●撤兵提議と列國

▲米國公使　は露國の撤兵提議の突然なるには各國共に驚きたるべしと語り兎に角右に對し十二日夜電報を以て本國政府の訓令を仰ぎたれば其返電を待たざれば米國の意見として述ぶる能はざるも目下の情況に照し本國も輕々に此の提議に同意する事なかるべし云々

▲英國側　は此提議を以て無稽の甚だしき者とし到底實行の不可能なるを唱道し露國が最も安き代を以て高價なる支那ゝ民の歡心を買ふの政策なりとし攻擊に努めつゝあり

▲日米公使　は此提議に就ては□同意不同意は本國の訓電に待たざるべからず而して露國指對の下に此撤兵を實行するは支那の喜ぶ所なるも各國の立場より考ふる時は實行困難の問題と言はざる可らず云々

▲佛國側　は露國より豫め通知を受け居らずと聞くも從來兩國の關係上同一調步に出づべきも目下本國の訓電を待ちつゝありとのみにて贊否の何れをも語らず

▲獨逸　は此提議が單に支那の歡心を買ふに止まるか又他に遠大の目的あるやを疑ひ而も袁世凱は各國兵の北京に駐在するは寧ろ喜ぶ所なるべく唯人民は之が爲に露國を德とするに至るべし斯くて蒙古問題に於て阻隔せる感情を和ぐべきも日本露國以外は一朝事あるの日北京に入兵し得るは不可能の境遇なり而して獨逸は撤兵に同意を與へざるべし云々

▲支那側　は未だ此提議ありたるを知る者少く只だ某當局者は目下支那は外面上甚だ危險なるが如きも內部は至つて平穩なれば各國軍隊駐屯せずとも外人の生命財產は安全に保護するを保證し得るとし此提議の實行を希望しつゝあり

●露國の提議

辨明

露國の外國兵撤退の提議に關し露國公使館は說明して曰く支那共和國は已に列國の承認を經袁總統の正式の總統に擧げらるゝと共に二週間前既に戒嚴令を解きたる有樣なり此際外國兵を北京天津等に駐屯せしめ置くの必要なく只公使館護衛の爲めに卅名を置けば充分なるべし由來露國は團匪事件後撤兵したるも千九百八年袁世凱の軍機大臣をやめられたる際の形勢不穩なるを慮り再び駐屯せしめたるものにて今期撤退の理あるを信ず本國より右に關する訓電を受くるや某國公使に內示し十二日正式に提議したる次第なるが獨逸は先んじて右の提議を爲さんとして遲れたるなれば反對行動に出づるは當然なるべし云々

●海軍の多國拂　海軍省所轄經費外國拂總額は每年大約千五百万圓を下らざるが右は勿論艦艇製造及建築材料として其大部分を海外に仰ぎつゝあるが爲めにし我國造船業の進步は未だ海軍當局者が武器獨立の方針は何れ外國材料は今や□割に減せりと□明せるが如き程度に達し居らず今明治四十二年度以降四ケ年の海軍外國拂金額を擧ぐれば新事費、軍費補充費、軍艦製造及建築費、艦艇補充費、整備費、補充艦艇費、材料物品費其他を合せ四十二年の外國拂千四百八十一萬二万圓四十二年は千九百七十五万四千圓四十四年は千八百十萬圓大正三年は千五百四十一萬四千圓なり蓋し艦艇の外國注文と內地建造との間に一噸に就き幾何の差あるやは明かならざるも普通船舶に於て三千噸以下は內地建造の方格安なるも是より以上の大型に至りては外國注文の方廻航費を含み一噸略五十圓內外の利を見ると言へば其決して尠少ならざる事をたすべく基く所一般工業の幼稚なるに在るは言を竢たざるか造船業の一般工業と伴はざるも今□造船所の發達は喜ぶべしとするも多數の職工を寸時も休業せしむべからざる事情より年々莫大の材料を海外より仰ぎて迄造船に次ぐに造船を以てせざるべからざるに至るべく延いて海軍の補充方針にも影響を及ぼすが如きは財政上大に憂慮に堪へざる所なり

●政友俱樂部亦樂會合同決定　花井卓藏博士は政友俱樂部と亦樂會合同問題に就き語つて曰く政友俱樂部と亦樂會とは愈合同するに決せり合同後は所屬代議士四十名の團結となり四十人の團體は議會に於て交涉團體たる資格を備へ一大勢力たる事を失はず見よ原敬氏の如きも政友會の首領なればこそあれ程の勢力もあれ若し政友會を離れて後彼の下に團結して働く者果して四十人あるべきや恐らく一人もあらざるべし尾崎氏の如き憲政擁護の神とまで謳はれし人にして尙斯くの如ければ也四十人が團結して一定の方針の下に動くは議會に於ける大勢力にして所謂第三黨が確立したる次第なり吾輩は政友俱樂部亦樂　の名を廢して更に第二俱樂部と命名すべきやう提案し來れるが幹事中にも新進の代議士を選定するつもりなり

●航空取締國內法　航空取締に關する國內法は爾來陸軍省に於て調查中にして出來次第內務省其他と協議の上議會に提案の順序なるが外國より來る飛行機及飛行船が本邦に着陸又は寄航せんとする場合の取締に就ては何れ各國政府と交涉の上適當のものを設けらるべく或は近々開かるべき万國平和會議に於ける主要なる議案たるべし而して國內法の制定すべき事項は勿論今後の研究に待つべきが先づ地面の所有者は其上方空中を所有し又は利用するの權を有せざる事として其空中飛行を防げざるべき自由を誤用する場合には損害賠償の責に任せざるべからず着陸に就ては寓居を圍繞せる土地に許可なくして入るを禁じ殊に要塞兵器製造所鎭守府等に接する地域の航行着陸を嚴禁し航行中には曝發物武器彈藥寫眞機傳書鳩等の携帶を禁ずべく飛行機操縱者に關しては年齡及認定を要する等の制限を置かるべく航空機は自動車の如く遠視し得らるゝやう機の名稱或は番號を附し觀覽及競爭の爲めの飛行に就ては特に知事の許可を受くる事に定めらるべしと

新育日本間　郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
パナマ丸	タコマ	一月十五日
プロテシラス	沙港	同　十六日
サイベリヤ	桑港	同　十七日
佐渡丸	沙港	同　廿二日

●日本より到着日

一月十九日　廿一日

●ニューヨークに於ける模造パナマ帽　臺灣パナマ、アダンバ等本邦産模造パナマ帽の輸入は多く外國商人の手により行はれ當地に於ける重なる輸入商例令ばアメリカン、トレーデング會社の如きも在本邦支店の手によりて之を購入し又本邦に於て貿易を經營しつゝあるサムエル商會ウイッコフスキー商會の如きも皆當地に代表者を有し之等の手により直接輸入を計りつゝあり、本品の輸入漸く盛んとなるや小輸入業者にして直接本品の劣等品を輸入する者を生じ市場を攪亂したるもの尠からず爲に某輸入業者の如きは優等品千三百打以上を倉庫に積載し多額の損失を招きたりと、直輸入數量及價値等に關しては當國の輸入統計は麥稈、經木及各種植物纖維製帽を一括しあるが故に充分に其內容を知るを得ざるも本品は輸入開始以來累年增加の勢なりと云ふ而して之等帽子の三年間に於ける輸入總計は一九一〇年は二百八十九万弗一九一一年は二百九十二万弗一九一二年は四百二十四萬弗なり其內一九一一年には米邦は十六萬弗にして本品輸入國中第四位を占めたりしが一九一二年にはコロンビヤの百十七萬弗に次ぎて六十一万三千弗を以て第二位に進めり、取引上本品は品質の高下に從ひ七種に區別せられ新育渡卸直段は一打に就き一等品は二十弗二等品は約廿七弗三等品は約廿四弗四等品は約六弗乃至十六弗なり、昨年期節迄は一等品より三等品多く需要せられ本年期節よりは安物盛んに輸入したる結果四等品以下七等品迄の賣行盛となれり加工裝飾後の小賣相場は一個一弗乃至七弗にして大體加工後の價は原料帽價の二倍に達する見當なりと云ふ、本品は男子用として多少需要あるも主として婦人用なり。

●交換教授佐藤博士　第二回日米交換教授として過日來着したる農學博士佐藤昌介氏は陸中花巻の出身にして內村鑑三氏其他と共に第一回卒業生として札幌農學校を出で後米國大學中最も程度の高きジョンスホプキンス大學に學びドクトル　オブ　フィロソフィーの學位を受け更に獨逸に留學して農業經濟を專攻し歸朝後母校札幌農學校の教職に在り次いで同校長となり東北大學創立當時一時總長たりしが現に同大學農科大學長の任に在り博士は農學者として故國斯界の耆宿たるのみならずジョンスホプキンス大學卒業の際米國史と地理の關係を論じたる一大論文は米國史學上に一大貢獻を爲し今猶諸大學の參考に供せらるゝと云ふを見ても如何に碩學として尊敬を有するかを知るに足る可く第一回交換教授たりし新渡戸博士が才智の人手腕の人と稱せらるゝに對し佐藤博士は飽く迄德望の人人格の人として故國學界に重きを爲せり殊に從來の官學たる駒場大學が獨逸式の農業教育を爲せるに對し博士の經營に懸る從來の札幌農學校は米國式の農業教育により顯著なる實績を擧げたる等より見て博士今回の渡米は特別の意義を有すと云ふべく第二回交換教授は先きに岡倉覺三氏人選中物故したるに依り今回交換教授として佐藤博士の渡米を見るに至れるなり

●高木光太郎氏の辯解(承前)　自分が藥物會社株の募集に着手して間もなく、同會社は單に四十五英町の所有地を抵當として借入れたる金を資本金と稱し居るに過ぎざれば其基礎は極めて薄弱なりとの風評同胞間に起り右株引受人は自分に對し約定取消しの上現金を返し呉れよと申込み來るに至れり、依て自分は以上三名及び二三の人々を招きて充分に辯解したる次第なるも感情一片に走れる人々とて何か自分が現金を着服したるやうに考へ却說こそ詐僞呼ばりを爲すに至りしものならむ、乍併自分はモーゲーヂ會社々長スタイン、副社長ロッス兩氏を飽迄も信用して引受け上述の百弗は兩氏へ手渡し株券に關する自分の義務丈は普通の商取引を爲したる譯なり、尚藥物會社は其の營業を繼續し居りて將來儲かるか否かは未知數なるも今に於て其前途を悲觀し株の募集に當りし自分に對し詐僞呼はりを爲すは事理を辯せぬ人々なり、自分は決して法律上の罪を犯せし事なし云々
尚氏はスタイン氏と某有志、自身の新聞記者諸氏との關係を云爲したれど本件に關し關係なしと信ずるを以て省略せり

●永瀧總領事榮轉先き　永瀧布哇總領事の歸朝に就ては其榮轉地の何處なりやを知り難く殆んど是迄は臆說のみ報ぜられ居たるが今回確かなる筋よりの報知に依れば同總領事は歸朝の上直ちに暹羅公使に榮轉と決定したる由

●在米同胞と即位式記念計畫　本年秋冬の候擧行相成る可き御即位式に關し在米同胞の誠意を表するため一大記念建築物を起すべしとの計畫ある事は豫て聞く所なりしが今回愈々米國に關係深き在京有志の連名を以て回章並左記參考書を送附し來れり

別紙(御參照までに)

在外同胞の協力に係る　御即位奉祝記念物建設の費用に就ては未だ之を議定すべき機關ならず從つて爰に之を言ふべき時期に達せざるも過般來東京にて本件に關して諸先輩と內議中參考迄に交涉委員の一部より提供したる立案には左の如きものもあり

一、記念物建設費用を大約廿五萬弗內外と見積る事
一、右の費用は主として北米並に布哇在住約十七萬の同胞及自餘海外各地の在留民の醵集に係るべき事(各人一日分の所得標準に倚嘗て)海外に在留し目下歸朝し居る者に志あらば應分の力を盡さるべき事
一、右醵金は各地領事館等の監督の下に相當機關を設けて之を取纏むべき事
一、獻金者には成るべく奉祝記念章の類を頒布すべき事(例せば一弗以上の者には普通記念章五弗以上の者には特別記念章を頒つが如し)
一、日本內地に於ける本件の最高幹部は總裁一名會長一名副會長若干名評議員若干名を以て之を組織し在外各地に特設せらるべき相當機關を總攬する事
一、會計に關しては正副會長以下全責任を以て之を處理監督する事

●青年會の開館式　同會にては來る十八日午後八時新會館の開館式を擧行する筈なるが其順序は左の如し

一、開會の辭及謝辭　幹事增澤丈兒
二、會計報告　會計野村河吉
三、演說　來賓櫛引弓人
四、同　中川元策
五、同　甲斐健一

右終つて饗應に移り會員及有志のテーブルスピーチ餘興の催しあり

●日本倶樂部の大宴會　去八日珍田大使の來市を機とし常に日米兩國の親交を圖りつゝあるジャパンソサエチーの重なる人々を招待して一大盛宴を張りしが席上珍田大使、高峯博士、セコブ、シフ外數氏の演說あり主客十二分の歡を盡して散會したるが來會者日米人合せて六十五名近來になき盛會なりき

●貴族院議員阿部浩氏　は去十日歐州より來市目下ホテルアスターに在り

●岡本軍少佐　華府大使館附武官に新任の同氏は去十日來市直ちに華府に向へり

●高見共濟會々長の招宴と日本人會及び共濟會の合同說　高見會長は來十三日共濟會役員及有志家を開盛亭に招きて新年祝賀會を催す事は既報の如くなるが同日は飯島總領事日本倶樂部會長高峯博士、一宮氏等を始めとして有力家の來會ある筈にて席上日本人會新設並日共兩會の合同に關し內議あるべしと噂さる

●北村福松氏追悼會　來十五日竹田久吉氏の發起にて故人の追悼會を催す筈なるが會場は河源旅館なりと

●其後の新年宴會　岩田下宿は去七日倉田下宿は去十一日何れも市內の有志顧客を招きて盛んなる新年祝賀會を開きたり

●岡野自由亭近々移轉　不遠ニューヨークに移轉すべしと

●市哇殖民新聞の再刊　財政上の都合にて一時休刊の止むなきに至りし同紙は此程再刊の運びに至り慶賀に堪へず

●男が子を產む

京都帝國大學醫科大學附屬病院に於て男兒の腹の中より子が生れたる古今の椿事あり同病院にては當人の名譽を重んじて其氏名を發表する事を肯んせざるが此天下の奇蹟を演じたる男は山口縣生れの當年廿一歳の學生にて所謂半陰陽といふ男女兩性を備へたる者にもあらず完全なる男子といふに至つては益々不可思議千万の事といふの外なし

▲腹部を切開す　前記の當人は生れながらにして左の脇腹の邊りに小さな塊あり別に痛みを覺ゆる程にもあらざりしが月日を經るまゝに塊が漸次增大し腹部が太鼓のやうに膨れ張り切るに至り諸方の醫者に持ち廻りたるが素より病名さへ解からざるより遂に此程來同大學病院に入院したる者なり、さて同病院に在りては千葉助手を主治醫とし多少の經過を觀察したる上數日前愈々院長伊藤教授、尾崎助教授等立會の上切開に着手し先づ腹壁を縱に切り開き更に左方へ橫に切開したる所大腸の後腎臟の上後腹壁に片寄りたる所に大きさ凡そ大人の頭の二つがけ程の瘤のやうな塊りを認めたるが、其外側は袋の如くなる薄皮を以て掩はれ一部分は大動脈に附着し手術困難なりしを漸く取出したり

▲畸形兒現はる　而も取り出したる袋の中を檢めたるにコハ如何に恐ろしき姿したる畸形の胎兒あり全身桃色をなして皮膚には一面に產毛が生へ眼も鼻もなく大きな頭よりすぐに兩足が出て胴の部分はなく其頭には顱と覺しき部分ありて奥歯糸歯迄生へたるが足は一方の形が稍小さく指も二本丈なるが他の一方は指が八本ありて各關節も整ひ何れも其先に爪を有しキン丸と覺しきものゝ周圍には陰毛フサノヽと生せる希代の形體なるに流石の醫員もこれはさばかり驚き入れり

▲何うして男子が子を生んだか　右につき尾崎助教授の語る所に依れば右は畸形腫と稱ばるゝものゝ一種なるが此の廿一才の男子と其腹の中より現はれたる畸形兒とは双兒にて母の胎內に在り各別々に生れ出づべき筈なりしものがまだ生れざる先に一方（畸形兒の方）が他の一方（廿一歳の男の方）の體內へ何かの機會に包み入れられ其儘一人として生れ出て遂に今日に及びたるものにてつまり原因は兄弟の關係にて結果は親子とも云ふべき次第なり、右は學問上の理屈より見れば別に不思議さといふべき事實ならざれど斯く完全に近き程に發育したるまゝ今日迄一方の體中に在りしは稀有の事なり、右は標本として保存し置けり尚手術後の男子は元氣にて經過よしと

●大角力番附

（五日東京發電）

國技館大角力春場所初日は來十日と決定し新番附左の如し

東の方

	▲新		▲舊
張出大關	伊勢ヶ濱	張出大關	伊勢ヶ濱
張出橫綱	梅ヶ谷	張出橫綱	梅ヶ谷
橫綱	太刀山	橫綱	太刀山
大關	鳳	大關	鳳
關脇	玉椿	關脇	黑瀨川
小結	柏戶	小結	玉椿
前頭	玉手山	前頭	大蛇潟
同	大蛇潟	同	潮の濱
同	潮の濱	同	鶴渡
同	黑瀨川	同	梅の花
同	金の花	同	金の花
同	土州山	同	鏡川
同	大鳴戶	同	石山
同	綠嶋	同	柏戶
同	大の崎	同	玉手山
同	鶴渡	同	土州山
同	平の石	同	大鳴戶
同	石山	同	明石龍
同	梅の花	同	桂山
同	加勝山	同	綠嶋
同	鏡川	同	五十嵐
同	苅藻川	同	平の石
同	明石龍	同	寒玉子
同	三船	同	小野崎

●西の方

	▲新		▲舊
張出大關	駒ヶ嶽	張出大關	駒ヶ嶽
橫綱	常陸山	橫綱	常陸山
大關	西の海	大關	西の海
關脇	朝潮	關脇	小常陸
小結	近江富士	小結	岩ヶ崎
前頭	綾波	前頭	朝潮
同	四海波	同	櫻川
同	小常陸	同	紫雲龍
同	リユが崎	同	千年川
同	櫻川	同	近江藤
同	佐賀海	同	大の川
同	小錦	同	八甲山
同	紫雲龍	同	四海波
同	大の川	同	彌高山
同	彌高山	同	綾浪
同	[illegible]潟	同	朝日松
同	千年川	同	高見山
同	立汐	同	山田川
同	對馬洋	同	宇都宮
同	[illegible]リユ	同	佐賀海
同	日本海	同	小錦
同	綾川	同	立汐
同	宇都宮	同	[illegible]潟

投書籠

▲寄附金〳〵と去年は大いに騒められたが今年は在當地同胞も注意して餘り人の厄介にならぬやうにすべし、じや、勿論レザルトのあるものには寄附金も左まで惜しいとは思はぬ（一親父）

▲米國では醫者と代言人が道樂者の標本となつて居る、在當地同胞の中には代言がないか、歯科醫連が一手に引受けて大ひにやりますふりンス阿轢などは中々やるもんで吾々風情の及ぶ所に非ず（ハイカラ）

▲キャフエに行つて何處の馬の骨とも知れぬ女に色目を使ふ男が八丁目に在り、一体全体誰の事かね（同人）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
298 Sixth Ave., N. Y. City.
Tel. 8473 Chelsea
Subscription Rate
5c. A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價 一部金五仙 六ヶ月分一弗 一ヶ年分金二弗 前金郵税共
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

櫻島の噴火と在留同胞

櫻嶋の噴火は故國近年の災變中最も慘烈を極めたるものなり、轟然たる爆發の響きは玄海、日向灘の滄溟にとゞろき、大地震動家を壞ぼち、人を屠ふり、噴出し來る熱灰、黑煙は九州四國の天を覆ふて、天摧け地軸將に覆へらんとするの思ひあらしむ、毒蛇の如くに襲ひ來る熔岩の奔流を避けんとして水に溺るゝ者あり老を助け幼をかばい、躓づき倒るゝ病者を救はんと欲して身は落ち來る岩石の一撃に非命の死を遂ぐるものあり、悲鳴叫喚、骨肉離散、資財泥土と化して人畜皆荒野に彷徨ふの狀若くは牛馬犬猫の死骸累々として[illegible]に横はるの光景は凄絶亦慘絶、吾人雲山萬里の外にあるものをして轉た傷心斷腸の感に堪へざらしむ。夫れ人間情性の大なる發現はエデンの樂土に咲ける薔薇の如く、將た名工の織り成せる錦の如し、其所に國家の境域なく、黃白種族の區別なし常に吾邦人の渡來を抑止せんと努めつゝある米國人も悲報一度び到るや朝野を擧げて此人生の痛傷事に惻憫の情を傾け、大統領ウイルソン氏の吾聖上陛下に對する慰問となり、ジャパンソサエチーの羅災民救助運動となり、又日頃日本人の同情者として有名なるタムソン大佐の如きは自ら進むで二千五百圓の寄金をなしたる外一般海軍々人に向つて義捐金募集を企つるに至れり、異邦異種族の人既に此の如し況んや吾民族の特色たる義氣と俠氣とに滿てる吾在米同胞の此悲傷事に對する所念如何は自ら言はずして明かなり、吾人は如上米國朝野の義擧に對し中心よりして滿腔の謝意を表すると共に在紐者諸君の態度が各團体聯合の羅災民救助運動を助けて同族救濟の義務を全ふせしむるに吝ならざらん事を希望に堪へざるもの也

日、共合併問題

卓郎

▲新たに創立さるべき日本人會と共濟會と合併すべきや否やに就ては過日の役員會にて熾んに討議せられ甲論乙駁未だに決定に至らず候

▲非合併論者のいふ所中々に道理あり就中地主理事の意見の如きは「共濟會の歷史」若くは「何だか取られるやうな氣がする」と申すやうな感情論とは頗る其趣を異にし充分に傾耳するの價値有之候

▲乍併小生は日共合併に賛成する者に御座候、何故に然るかと申すに抑も新日本人會創設の動機は日米兩國間の政治的關係と在留同胞間の一致統一を圖るてふ有志家年來の希望が[illegible]せずして機運の進捗を促がしたるものに有之候

▲元來機運と申す事は招いて來らず、招かずして來らず、來つて而も應せざれば思はざる不測の不覺を取る事あり、現在日共合併は油の乘り居る有力家を羅致し以て共濟會從來の事業を今一層發展せしむるの策は一に機運の去來を察するに有之候

▲新設日本人會は當地に於ける唯一の公共團体たる共濟會の勢力を加へて始めて一大有力なる首腦團体たるを得べく斯くせざれば各々其力を分つの傾あり結局兩會の發展は幾分かスローとなるべく候、勿論共濟會が合併せざれば日本人會は成立せずとの理由は無之候

▲日共合併を主唱する人々は在留同胞の公共事業に關し最も興味を感じ居る人々にして其言動は社會に對して甚だ重要なる感化力を有し隨て其一言一行は同じく社會に對して充分の責任を帶ばざる可からざる人々に有之候、何も有志の社會上の地位が高いからとて盲目的に彼等の意見に雷同する必要は更に無之候が[illegible]機乃至大勢の趨く所を達觀して彼等の所見を容れ、彼等をして益々其責任の重大なるを感ぜしむるは共濟事業の發達上恰好の機會にして亦巧妙なるポリシーには候はずや、此件に關する具体的の鄙見は不日開陳可仕候　以上

即位式期日確定 櫻島噴火及東北饑饉公報

（十六日華府大使館及紐育總領事館着電）

即位の禮及大嘗祭期日左の如く定めらる

即位ノ禮ハ　本年十一月十日
大嘗祭ハ十一月十三日

▲本月十二日噴火し櫻島戸數三千五百の中火災のため約千戸燒失、住民は船にて鹿兒島へ避難せり、死傷者數未詳なるも多からざる見込、[illegible]百名と稱す、噴火は今尚熾んなるも[illegible]より又鹿兒嶋市にも降灰及地震あり、住民家を閉ざして避難せり、死傷者廿餘名、家屋の多くは[illegible]、鐵道、電信、電話一時不通となれるも既に開通、災害地の被害程度は目下調査中なるも新聞の傳ふる如く激甚ならざる見込、尚一時霧嶋山の噴火、阿蘇山の鳴動ありたるも附近人畜死傷其他の被害なし

▲東北地方八縣（[illegible]、埼玉、宮城、福嶋、巖手、山形、青森、秋田）及北海道昨年夏以降の水害及凶作のため地方により

米作一割乃至九割五分を減じ

細民の窮乏甚だし、之に對し皇室の御下賜金を始め國庫補助約貳百三十萬圓を支出したる外政府は特に救濟のため八百万圓を貸出し地方廳と相待つて各種の救濟方法を講じつゝあり

●櫻島の大噴火

▲全國の震動
▲鹿島市の損害

北海道及東北地方の凶作に惱まされつゝある故國は今又櫻島の大噴火に依りて新たなる不幸に遭遇するに至れり、十二日夕當地に達せる電報は全然櫻島が海中に沒落し鹿島市は全然荒野に變じたるが如く報じたるも其後の報導によれば死傷者の數は比較的に尠しとの事なり、左は十四日以來の東京、長崎、熊本、鹿島、宮崎及倫敦等各地よりの電報なり

▲最初の噴火　去十日以來櫻島附近の地震あり人民は頗る不安の念に打たれつゝありしが十一日早朝に至り櫻島の噴火口は俄然爆發し猛烈に火焔を吐き初めたれば島民の驚愕は方ならず老幼男女擧つて對岸鹿島市に避難を企てたるも中には中途より落下し來る岩石、熱灰の爲に燒死したる者或は一哩の海峽を泳ぎ渡らんとして途中溺死したる者多く殊に島の東端なる瀬戸村（人口[illegible]）の如きは山上より流れ來る熔岩に襲はれたれば[illegible]の被害最も甚だしかりしならんと、尚噴火當時救助船に乘れ[illegible]男女等が海中に飛び込み僅かに一命を水面に浮べしと、[illegible]櫻島を擧げ、牛馬鳥類の死屍所在海面に散亂せる光景は實に凄絶慘絶を極めたりしと

▲鹿島市の損害　市民城山に避難す　鹿島市は櫻島と相對し中間僅かに一哩を隔つるに過ぎざるを以て噴火の被害は想像に難からず、同市の石造建築物として有名なる郵便局は震災の爲め先づ第一に倒壞し軍營、知事官宅、寺院等も亦著しき損害を受け市民は海嘯の襲來を怖れて悉く城山若くば附近の丘陵に避難し[illegible]の如くに降り來る街上の積灰は三尺以上に及びたるがため鐵道電信其他一切の交通機關は總て杜絕せしが政府は目下晝夜兼行其回復に努力中なり、當時鹿嶋に歸省中なる前支那公使[illegible]集院氏の東京外務省への電報に依れば「同市の死者約十名、傷者[illegible]名なるべく全市は目下混亂狀態に在り」と上記の如く前市民は悉く八方に避難したるにより當局者は町の角々に憲兵を配置して監視せしめ居れり

▲聖上陛下の御軫念、軍艦派遣　聖上陛下には今回の凶變に就き[illegible]さしめ給ひ[illegible]に[illegible]、[illegible]、八[illegible]、等派遣の御下命ありたり

▲霧嶋山及鎗ヶ嶽の噴火　霧嶋山は十二日噴火し降灰噴烟四方を覆ほひ宮崎都城等は地上の積灰二寸に及び次で信州淺間山噴火し松本市附近に降灰甚だしかりしと尚阿蘇山、温泉ヶ嶽等各地の噴火山猛烈に噴烟しつゝありて降灰九州全部を覆ひ大坂東京にも降灰あり、伊豫國



宇和嶋は海嘯の害を受けたり

▲櫻嶋の變形　十四日長崎に着せる避難者の語る所に依れば噴火後の櫻嶋は著しく其形を變じ三四の新たなる噴火口を生じたり

▲軍艦[illegible]川二名の生存者を求助す　救助のため派遣されたる遠洋艦は十五日櫻島に到着し數隻のボートを下ろして生存者の搜索に着手せるも全嶋に隻影を認めざる模樣なりしが一士官は海岸を隔る小距離の岩影より何物かを打振るを認めたるを以て直ちに其場所に到れば[illegible]二名の[illegible]民が今身灰にまみれ[illegible]に瀕しつゝありしを發見したり、[illegible]一大岩窟内に避難し居る事を發見したり、是等の避難者中には[illegible]學校教師、[illegible]郵便局員等もありしと

▲鹿嶋市の損害高　今市民は熊本宮崎長崎並に附近の丘陵に避難中なるを以て幾何の損害なるかは審かならざるも建築物の倒壞せるものゝ[illegible]に約二千萬圓なるべしと

●米國の同情　[illegible]報に接するや大統領ウィルソン氏は吾聖上陛下に對し[illegible]大統領の[illegible]電報を發し、[illegible]赤十字社は[illegible]政府より何等の通牒來らず依てアイルソン氏に再び十五日電報を以て[illegible]時に米國赤十字社長た[illegible]自信の資格を以て一般會員に義捐金募集の[illegible]狀を發し又米國赤十字[illegible]

上圖は鹿島市より櫻島を望む光景を城山にて撮影したるもの也[illegible]

▲タムソン大佐の同情　日本同情者として[illegible]名なる[illegible]大佐は自家所有の[illegible]海軍に於て一般米國海軍[illegible]卒間に義捐金募集を企て同時に金子[illegible]に打電し噴火罹災民求助費二千五百弗を日本赤十字社に寄附する旨申込めり、氏は此際會を以て日米兩國間の親交を圖らざるべからずと云へり

●大森博士出張　十六日東京發電　吾國地震學界のオソリチーたる[illegible]博士は本日到着調査に着手せるが附近に混亂せる市民は漸次歸來して[illegible]の安否を探索しつゝあり今後再び大なる噴火震動の起るや否やに付きては一に博士の報告に信頼し居れり櫻島は依然噴烟を絶やさず、陸上は熱氣甚だしく各所に危險なる數多の穴を生じ居るを以て上陸する能はず

▲測候所長自殺の風說　鹿島測候所長は今回の大慘事起る可き事を豫知せざりしとて世人の攻撃甚だしきに堪へ兼ね自殺せりとの風說あり

●減税運動開始さる　先に貴族の横暴を怒りて蹶起し遂に桂内閣を倒せし憲政擁護會は今期議會の開會に際し戰時税なる三惡税の廢止を現實せしめんが爲め院内院外に大運動を開始せり

●東拓正副總裁交迭　東洋拓殖會社正副總裁交迭され宇佐川軍陸中將の後任として内務次官吉原三郎氏副總裁吉川三郎氏の後任として政友會幹事長野田卯太郎氏（福岡縣代議士）任命されたり

●英國獲得の支那鐵道　第二次革命前支那當局と英國ポーリング會社との間に假契約成りたる廣東、重慶、蘭州鐵道借款に就ては支那政府は孫文氏との契約なるが故に不可なりとし新に交渉を重ねて遂に本月十八日を以て同會社代表者と交通總長の間に改めて左記の如く調印を見るに至れり

一、幹線　湖北省沙市の對岸より起り常德、沅州、貴陽を經て貴州省興義に到る

二、支線　直接又は支線を以て貴陽及び興義間に川漢鐵道に聯絡すべく又興義以南の延長線を以て雲南省の[illegible]に聯絡す

三、鐵道建築　請負の形式に據る且利資にては十五年半英國にては十パーセント會社の利益に關する約束なりしが本契約は之より一層有利なるものなりと

四、會計監督及會社主任　皆英人を以てし支那側より監督技師を任命すべし

五、線路の延長　約八百哩にして測量を即時開始の事

●大學問題益々擴大　大學自治問題は曩に仁保學長中嶋小川の兩教授は法科大學教授會議の決議を齎し東上して歸洛するや澤柳總長は直ちに仁保學長に會見を申込みたるが長際總長は同問題に對し從來の行懸り上誤解の點あるを辯明したるが此辯明は端なくも法科大學教授の激昂を招き火の手益々盛となりし次第にて文部省に前記二氏が陳情せし際若し法科大學の自治にして行はれずんば京大法科の少壯教授五六名は連袂して辭職を爲すべき事を述べたるに文部省にてはかくては一大事なりとて種々慰諭する所ありしも文部省は直ちに法科大學教授の主張を容るゝ能はず目下板挾みの態なれば本問題は容易に解決を見ざるは勿論教育界の大問題となるべき形勢なり少壯教授等は自己の理想の行はれざる所に齟齬し[illegible]席を置くは甚だ不愉快なり到る處青山ありと豪語しつゝあれば教授側の意見にし容れられざる場合は由々敷大問題となる可し

●男女學生體格　文部省の調査に依れば最近五ヶ年間平均の全國中學校及び高等女學校生徒の身長體重年齢別左の如し

年齢	身長 最長	身長 最短	體重 最重	體重 最輕
十三歳	四尺五六	四尺五五	九貫二三○	八貫六四○
十四歳	四七一	四六八	九[illegible]五	九五二○
十五歳	四九○	四七九	十六一○	十五九○
十六歳	五○六	四八五	一一八七○	[illegible]六○
十七歳	五[illegible]九	四八九	[illegible]八八○	一一九二○
十八歳	五二六	四九一	一三五二○	一二二七○
十九歳	五三八	四九一	一三九五○	一二四○五
二十歳	五三○	四九○	一四一六○	一二七五○

●政教社の日刊新聞發行　日本及日本人政教社は近頃社運益々隆盛に赴けるを以て今回從來の雜誌以外別に我觀と題する日刊新聞を二月十一日紀元節より發行する事となれるが編輯には雜誌日本及日本人と同じく依然三宅雪嶺博士を中心として專ら現社中同人を以て組織し四頁ルビなしの政治教育新聞にして不偏不黨不相[illegible]の筆を以て大に正論を皷吹すべしと

●東京毎日持主變更　東京毎日新聞は從來報知新聞の經營する處なりしが今回東京市會議員山本實彦氏の手に讓り受け一月より同氏經營の下に發行されつゝありと

●船越衛男逝去　宮中顧問官なる同男爵は十一月以來動脈硬症に惱まされ居たりしが去月廿五日俄かに病勢革まり遂に逝去せりと

●初日の衆議院　天晴れ渡つた好天氣廿四日の午前十時に第卅一議會が召集された議事堂の正門から通門前には例に依つて制服巡査の[illegible]々しく二四の角袖さへ出沒して如何にも議會召集日らしい氣持がした▲先頭第一の登院者が午前七時四十分出頭の栃木縣選出亦政會の阿由實篤三郎君同四十五分には福井縣選出の政友會の熊谷五右衛門君正面玄關に立つた守衛が擧手の禮をすると阿由實君が爾ごし納まり込つて控室へ通る五右衛門などゝ甚だ連想の良くない名の人が米議會の名附け親だ▲例に依て登院者は人力車が最も多く電車テク／＼の連中も少くない馬車は六臺威勢の好い自動車のブー／＼も六七輛程は見受けた▲議事は正十時に始まつた例に依て中央の大部分は政友會で左が立憲同志會右が國民黨夫れから背後の方が亦政會と云ふ陣立議席も頭數は相當に揃つて議長席選議員小川平吉君高津仲次郎君などの紹介があつて愈々部局の抽籤に取懸る▲書記官の一人が「増田義一君」と呼び上げると他の一人が「増田君第八部」と應じ又他の席で「増田君第八部」と呼び上げるとは一々三百八十一人を讀み上げる事とて相當全く終つて議長が休息を宣する迄此間正に四十五分何の奇も妙もない▲ブロ／＼と控室に入つて部長理事の選擧は例の通り今日はストーブの火焔さらに燃へて何の控室も氣焔が騰らない政友會では長谷場純孝が中心になつて松田源治等が頻りに策を興へて居る新黨は河野老翁が長鬚を撫して居るのみ▲十二時前に無事散會早速した議場は例に依て禿頭組がを占めて居る今年の議會は鬼が出るか蛇が出るかバーに兎角あり食堂に住有あつても今日の議會は兎に角淋しかつた▲政友會も同志會も概して雨つて居たが亦政會と國民黨とは甚だ寂寞で殆ど明家同然だ▲木堂の顔も見へなければ學堂の顔も見へぬ只僅かに三四陣笠の物淋しげに虚暮の色を見せて居たのみであつた▲大岡硯海の議長振は年々練れて來る今日の議事は至極簡短なものながら落なき手腕は流石にあつた人間するのせぬのと昨今問題の人とあつて居る丈取り分け人の注意を惹いた

●憲政軍の南進企畫　連戰連勝のビラは不日一萬五千の軍兵を率ひてナワワを發しグワタラジャ市に於てカランザの手兵一萬を併せ總計二万五千の精兵を以て首都に殺倒すべく目下大準備中なるがヂアス派に屬せる黨員は官憲軍に反對する新革命軍を起さんと謀議中なりとの說あり

●[illegible]駐墨米公使の更迭を說く　[illegible]の晝餐會席上一會員は盛んに米國の對墨方針を攻擊し駐墨米公使の更迭を望む演說を爲したるが[illegible]アウトルック誌は極力カーデン卿の留任を必要なりとし當局者に警告する所ありたり

●英國潜航艇の沈沒　ふりマウスを隔る事五哩の海上に於て沈沒二名の士官と九名の水兵を乘せたるが英國海軍の潜航艇の沈沒は今回を以て八回目となすとぞ

紐育 日本間 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
佐渡丸	沙港	一月廿二日
ルシヤ	晩香坡	同 廿四日
シヤトル丸	タコマ	同 廿八日
チヤイナ	桑港	同 三十日
横濱丸	沙港	二月 五日
メキシコ丸	タコマ	二月十二日

●日本より到着す　一月十七日　[illegible]

●櫻島噴火と在紐同胞

▲飯嶋總領事の打電　同領事は昨十五日在留民一同を代表し左の慰問電報を發せり

櫻嶋噴火に關し紐育在留民より罹災者に對し慰問傳達方依頼を受けしに依り可然御取計ひを乞ふ

一月十五日　紐育總領事　飯嶋龜太郎

外務大臣宛

▲日本人會の應援企畫　罹災民救護に關し昨夜の理事會に於て協議を遂げたり

▲各團體の活動　在留同胞間の各團體に於て罹災民救助寄附金募集に關し夫々協議中なりとの事なるが共濟會にては被害の模樣大略判明次第各團體兩新聞社と共同して救護方法を講ずる筈なりと

▲鹿兒嶋縣人諸氏の相談　外ならぬ郷里の天災なれば特に心配せる人々多きも尤もの次第なるが在留同縣人諸氏は罹災民慰問の方法に關し過日來打寄り協議中なり

●高見共濟會々長招宴會の模樣　己報の如く去十三日開盛亭に於て開催せるが飯嶋總領事、高峰博士其他諸有志四十五名の來會者あり、先づ高見氏の挨拶あり次に一宮氏來賓一同を代表して謝辭を述べたる後日本人會の創立に關し高峰博士の意見を需めしに博士は起ちて自分が豫ね〲當地に一大有力なる團體の必要を感じ居たる事より、西部に於ける同胞の狀態及び歸朝中當局者及び實業家諸氏と協議したる結果益々其設立の急要なるを認め且つ日米間の親交並在留同胞の發展上日本人會を創設するは今日を以て最も適當なる時機と信ずるに依り有志者諸君は協同一致して盡力せられん事を希望すと述べ夫れより家永、水谷、大堀、原田、棟安井、桑山、土生、甲斐諸氏の卓上演説あり主客歡を盡して散會せしは午後十一時なりき

●共濟會役員の日共合併問題　高見會長招宴會の開催者日共濟會役員諸氏は開盛亭に集まり日本人會規約及新たに設立さるべき日本人會と共濟會との合併問題に關し熟議を減らす所あり、尚此規約の件は次回役員會に於て協議する事とし日共問題に付き討議したるが役員の多數は合併に贊成なりしも尚一應會員の意向を質すため回章を送る事とし規約幹事之を讀み上げたり、然るに日本人會の規則方針等定まりたる後回章すべしとの提議出で反對者贊成者各自意見を交換したる後結局回章する事に決定せり

●高見氏の意見と地上氏の反對説　上記日共問題に關し高見氏の意見を聞くに氏は日本人會にして確實なる基礎を有し既設共濟會事業の發展に益する所多くば勿論合併に贊成なりとの意見を有し地主理事は日本人會の新設には異議なきも合併の理由として發意者の唱ふる所は其根據甚だ薄弱にして手段も亦拙劣なり、元來共濟會の事業は根本より其性質を異にし居れば殊更らに姑息なる方法を講ぜんよりも寧ろ此際日本人會を創設し諸團體の行動を監視するに足る丈の威嚴ある首腦團體と爲す方可ならんとの意見を有せるが大勢は合併を可とする方に傾き居れり

●同胞情婦を殺して自殺す　ロングアイランド、ローズリンなるクヰークソン氏宅に給仕人として働き居たる野村助治なる者は去十四日同家に於て支那街ペル町十九番に住居するテレサ、ミラーなる情婦を銃殺し同時に自殺を遂げたり、同人が拙き英語にて認めたる遺書を見るに彼は日本にて一度結婚し其後二年目に離婚し渡米後千九百七年瑞典生れのアンニー、ヘルトなる女と結婚せしとあり、ペル街十九番は日本人間に有名なる所なればご親類筋も澤山あるべし

●大博と日米軍艦　日本政府にては米國政府の招待に應じ桑港に開かるゝ巴奈馬太平洋万國大博覽會の際行せらるゝ大觀艦式に軍艦派遣の事を承諾したる旨米國々務省に通知したり、軍艦の數は未だ決定せざれど目下米國海軍省に於て折角計畫しつゝある案即ち種々なる型の軍艦多數と云ふよりは寧ろ列强の軍艦を程よく權衡を取り而して適當なる數の代表軍艦を送らんとする企てに就き其方針に從ひ日本の派遣軍艦數を定むるなるべし

●コレア號の鴉片　過日コレア號にて百鑵の鴉片價格約四千五百弗發見せられ直ちに押収されたり

●山田浩次氏敗る　新式ビリヤードゲーム十四吋一ブロックラインの競技は過日來ドイル球場に於て山田氏及ボストンの名手カトラーとの間に行はれたりしが去日間の競技中互に一勝一敗あり最初の二日間はカトラー氏優勢を示し三日目よりは山田氏の方遙かに優勢となりしも五日目午後及夜の決勝競技に至り山田氏は僅かに六点の差を以てカ氏の爲に敗を取れり、元來此ゲームは最も新式に屬し十八ブロックラインの名手山田氏と雖も充分に其名技を顯はす能はざるべしとは好球家の豫測せし所なりしに不拘二千五百点のゲームにカ氏が二三七四を得たるに對し六點の差即ち貳三六八を得たるは驚嘆の外なし、因に右競技の決勝點數は貳千五百の約なりしが餘り永きに亘るか故十六日の競技を以て勝敗を決する事としたる次第なりと

●一宮夫人の在當地女子招待　一宮鈴太郎氏夫人操子女史は來廿四日當地在住の婦人全体を招待し一大茶話會を催す筈にて夫々招待狀を發したるか今回も例の如く有ゆる階級の婦人連に出席を乞ひ、しみ〲打解けて面白可笑く娛樂を共にせん希望なれば奥樣方もお孃樣方も至米利加式の遠慮要らず子供のあるものは打連れて出席、親里に歸つて心置きなくお母アー樣に駄々をこねる積りにて御來會あり度しとの事なり

●故北村福松氏追悼會　竹田久吉氏主催の同會は去十五日河本旅館に開會かれ竹田氏の挨拶に次ぎ二十餘年來故人の知己たりし楢引氏の懷舊談あり來會者四十餘名散會せしは午後十一時頃なりき

●河本旅館の新年宴會　十七日夜有志顧客を招きて祝宴を開く

●阿部清氏　は十五日出發歸朝

●森村組支配人手塚國一氏歸朝　來二十日出發店員曾我敏夫氏同伴歸朝

●日米年鑑　桑港日米社の發行にかゝる例に依て内容豐富、在米同胞の座右に不可欠實鑑なり定價一弗

●北米年鑑　沙港北米時事社の發行なり内容体裁共に日米年鑑と大同小異是亦在米者の參考書と爲すに足る

●オー寒ひ〱　酷寒酷熱はニューヨークの名物今更ら書き立る必要もなきが頃日來の寒氣は廿五年以來昔無き所の寒さにて十三日夜の如きは最低計零点以下四度を示し手も凍ほりも耳もちぎれん許りの寒威凛烈、カーネギーホールの前に主人を待ち受けし居たる一自働車の運轉手は凍死し市内の各慈善團體本部は貧民の請求に追ふ忙殺され市立宿泊所に避寒を申出でし者二千人ありしとは驚くに堪へたり、右に關し當地從來の記錄に徴するに千八百七十五年一月十日零点以下六度に下りし事あり以來今回の如き寒さは無かりし由なり

●凶作救濟運動　東北地方並北海道の凶作地は年末より新年にかけて一層悲慘の光景を呈し各地に於て窮民の餓死する者すらあり所在寒村の細民等は藁を搗いて常食とするが如き悲慘なるに依り所轄縣當局の救濟策のみにては到底不充分なるため東京に於ても各方面に救濟運動開始され宗教團体及び各種慈善團體協力の上應急の救濟をなす筈なり

●伊東元帥薨去　永らく病氣臥床中なりし海軍大將元帥伊東祐亨伯は去一月十四日朝薨去せり、同大將が日清戰役中、聯合艦隊司令長官として黄海海戰に勇名を轟かし日露大役の際に殊勳ありし事は世人の普く知る所なり享年七十一

●家永博士の人種論　本日[illegible]倶樂部に於て「如何にして米國に於ける人種的偏見を排除す可き乎」との問題に關し諸名士の演説ありしが博士は人種的偏見を以て人間の自然性に基くとせり詳細は次號に

●野口英世博士逸事

今年ノーベル賞金を受ける事に内定したと云ふ野口英世と云ふ人は隨分奇行に富んだ人で、學生時代離れかして紐育、米國に行つたのは明治卅四年の十二月五日で丁度前年に北里研究所助手となつて彼のペストの研究に從事した、東京に歸つて來た時には二百圓近い金を持つて居つて本人これで米國に渡る積りの處がグズ／＼して居る内にすつかり吉原にはたいてしまつて二進も三進もならぬやうになり友人の世話で高山紀齋の齒科醫學校の助敎に住み込み月二圓の手當をもらつて居つたが卅四年の九月にどうしても亞米利加に行くと云い出した、素より一厘一毛も所持して居らぬ、其處で友人が心配をして三百圓ばかりの金を調達してやつた▲すると丁度其時小松緑君が米國の領事になつて行く時で、小松君も野口君も共に會津藩の人と云ふのでこれは好い道伴れだといふので二人が何處かで一杯飲まうと云ふ事になつて少しきこしめした處が、野口君急に小松君か厭になり「何だ官吏風を吹かしやがる、俺だつて何時迄小僧でもないぞ」とばかり破裂をし「俺は百姓の子だから貴樣等とは反りが合はぬ」と其座を立つて何處ともなく出て行つた▲船の出る日になつても野口君は出て來ない、十數日を經て元の一文なしで齒科醫學校に現れる迄は吉原に流連けをして居たとの事▲十二月になつて矢も楯もたまらず行き度いといふので今度は同僚の血脇君が高利の金を三百圓借りて愈々出立といふ時に一等の乘船劵と殘りの金とを渡した、野口君橫濱に着いて船の出帆時間を聞くと、まだ二日ばかり餘裕がある、チットーでも居られぬとあつて眞金町に繰り込み愈々船の出ると云ふ時に赤切符一枚を手にして出て來た▲仕合のよかつたのは驚きの小松君も九月には出發する事が出來なくて、此時に行くと云ふので來て居つた、其處で今度は野口君が詫を入れて仲直りをし、船中何かと厄介になつてどうかかうか米國に着いた▲米國では豫て師事して居つたフレークス博士の所に助手に住み込むつもりで行つた所が本人の行方が遅かつた爲めに其話は中絶して居る、其處へ搗てゝ加へてフレークス博士は從來の大學でなく他に轉じ新任匆々無理も云ひかぬるので外國人の助手は使はぬと云ふ規定だと云つて斷つた、野口君米國に着きは着いたがこれでは仕方がない、カヘルカチオクレの電報は東京の一友人に來たが友人とても當時尼挪ひをした位に思つて居る矢先き誰れも大金を送つて君に歸つて來らうと云ふものはない▲段々苦しさが骨身に透つた頃にフレークス博士が色々難題を課して試みる所が何れも立派に仕あげるので遂に自分の俸給の中を六弗宛支給した、それでやつと勉强をしてその結果を發表し後ちに名聲を博してロックフェラーの研究所に入るやうになり金錢にも心配がなくなつた、野口君の論文が悉くフレークス博士との共著になつて居るのは舊恩を忘れぬと云ふ考へだと云ふ▲一昨年日本に歸つて結婚がしたいと云ふので或る人と約束を取り交はした、處が夫れなりで、當方では的なしに竣つ事も出來ず他に緣付いたが、本人はそんな相談は忘れて强い酒を飮んで相變らず地獄買ひをやつて居るのだらう、野口君はあけて三十九。（日本及日本人）

●金森氏救世軍の一兵卒となる

金森通倫氏といへば曾ては其社界で巾の利いた宗教家の一人であつたが其の昔宗祖基督の教へた如く神と寶とに兼ね仕ふる事の難きを痛切に感じてからは全く發心してか俗界の吏僚になり只管貯金のすゝめにのみ沒頭して自らも實踐窮行して相當の資產を作り得たと云ふ噂であるが昨今官海を退きて閑散の生活に入るやつく／＼と自己の姿を見詰ては身の越し方行く末に尠からず不安を覺へ遂に再び決意して救世軍人となり樂隊の節面白く軍歌「吾等の戰は肉ならず」を高調せんものと既に海老茶の襟の附た軍服を注文したりといふ

●六尺一寸の砲兵

今回ユサン（朝鮮）の留守野砲兵第八聯隊六中隊に渡鮮入營せし新兵中に吉田清治（廿一）と云ふ巨漢あり身たけ六尺一寸六分體量廿三貫全体圓滿に發達し申分なき体格にて年寄待乳ヤマ、對馬洋と匹敵すべしと清治は後藤男や齊藤海相と同鄕なる巖手縣膽澤郡水澤町生れにて醫者の子息なるか是迄東京の關取連より所望されしも角力嫌ひにて應ぜず軍靴は踵より爪先き迄一尺一寸底幅四寸五分之に尙橫幅が足らぬと云ふ手は腕の關節部より指先迄八寸五分中指の長さ三寸七分手掌の幅の廣さと云ふ五寸人差指の横幅一寸[illegible]は子供の頭位被服類は凡て特別品を支給され食料二人分なるも何不足を訴へ乘馬は乘りつぶさるゝ虞あるより隊にては苦心選定中の由にて性質温順にて能く規律を守り營務に勵まれるが稀代の巨兵なりとて昨今大評判なり

投書欄

▲廣告屋のジーエスエス君に非常な艷福家だ最も流暢な彼の快辯でやるのだからアメリカンでもアイーシュガールでも可愛く想ふでしやうよ、兎にも角にも御讚をお大事に馬へアイラブユー▲猫虎書きの本家井筒の親父は近來チョイ／＼留守をするとかある、何の爲めかと聞いたら大機嫌す不可輕使料理の手際にあり　蛸生▲百廿三丁目に素的の美人血かもリッチウイドー天降れりと聞いて早速出掛け百方御氣嫌を取つて見たが結局札は僕に落ちない、[illegible]君とは全くイマ／＼しいぢやチーカ　菊水生▲東西／＼突元た門に達しまするは百九丁目通稱法學士屋形の段、三味線チンツルッツテントンと梯子段轉げ落ちの次第東西東ーザーイ（鼻の下三寸生）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
2?? Sixth Ave N. Y. City
Tel. [illegible] Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3, 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二二八
電話六四七三　チェルシイ

局面展開の將來奈何

加州土地法案に關する日米兩國の爭議は牧野外相の帝國議會に於ける演說發表と共に今更の如く世人の視線を集むるに至れり、華府外交家の想像するが如く外相の演說は反對派乃至ジンゴーイスト等の攻擊に餘儀なくせられたるものなるや否やは吾人の知る所に非ずと雖も而も吾外交當局者が此際殊更に該演說の飜譯を珍田大使に送り大使をして之を米國々務省に致さしむると同時に諸新聞の通信社を通じて米國民の注意を促さんと試みたる一事は個中多少の興味ある意義を含めりと爲すを至當とす可く、且つ從來吾政府の輕視し來りし墨國問題の重要を巧妙に附加して軍艦出雲の派遣に及べるが如きも亦頗か識人の省慮に値ひするものあらん、只彼武雷安氏の諷示に基けりと噂されつゝある所謂局面展開、新條約締結說が外相演說發表の動機を成したるものとせば兩國當局者の意向は如何なる形式、內容を以て此脆弱なる疑問を解決す可きか、就中吾當局者は新たに議定すべき條約案の條項中吾在米同胞の市民權問題若くは不動產所有權問題の如き重要事項に關し充分に吾主張を貫徹するの成算を有するや否やに就ては吾人は更に愼重なる研究を積むの必要を感ぜずんば非ず、

試みに問題の發生以來日米兩國が互に數回の押問答を繼續し來りし要点を想像すれば吾國の主張は飽迄も最惠國條款に其主張の根底を置き、例令日米條約の條項中土地所有權に關し何等の規定なしとするも、他外國人に與ふる權利を吾邦人に與へずとなす加州土地法は明かに最惠國條款に違反せる差別的法律なりとし、之に對する米國の主張は土地法は條文の解釋上決して日米條約に背戾せるものに非ず只該法が直接日本人排斥を目的として制定されたるは氣の毒なれども米國政體の組織は中央政府の當路者をして充分に其誠意を實行せしむるに困難の事情あれば何とも致方なしといふに在るものゝ如し、吾人は固より兩國間の秘密交涉なるものに就て其詳細を確知するの便宜を有せずと雖も之を兩國當路者の態言と態度とに徵し吾人の想像必ずしも適確ならずと信ずる能はず、假りに吾人の想像を以て其要を穿ち得たりとし之によりて所謂新條約なるものの將來を豫測するに吾人は武雷安氏の樂觀說に傾耳して「本問題の解決近きに在り」と爲すの寧ろ早計たるを遺憾とす

吾人が嘗て數々絮說したるが如く事件發生の當時は米國當路者の胸中吾國の要求に同情するの誠意ありたるは勿論なれども米國當路者が日本人の排斥を國家存立上の重要問題となし人種的經濟的將た社會的に東洋人排斥の必要を認め自國の治下に屬する比利賓人の入國さへ懼るゝの風ある今日に於て新條約の條項中に日本人を歐羅巴移民と同等の待遇に置くべき事を約し、自國民たる加州人民の輿論を無視して土地法を無效たらしむるの誠意ありや、ヨシ誠意ありとするも上院及全國民が其誠意を諒とするの宏量ありや否やは目下開會中なる議會が多數の移民案中特に東洋人排斥を主なる標的となすの傾きあるに徵して特に努々するの要なく日米新條約の前途亦卜知するに難からざるなり

之を要するに局面展開の前途頗る有望なるも將た然らずとするも吾當局者の問題解決を促進するの一方法として特に牧野外相の演說を公表したるは蓋し多とするに足るべく亦國民の視線を新方面に轉ぜしむる狡手段とも言ふを得べし吾人は活目して當局當路者の手腕如何を見んと欲す

○加州より

（[illegible]）　天涯[illegible]

▲二十五仙をツーベッチと稱し紙幣を[illegible]と呼び、金貨や銀貨をジャラ/\と云はせてパンのポッケットを蛙呑んだ蛇の如くさせなければ承知せぬ蠻風未開の土地にも隨分居ると稍や大胆になる、下等のレストラントで「ノージャップ」と大書し[illegible]されても、ふん[illegible]でも喰へと左樣[illegible]も立たず田舍の朝刊新聞に大枚五仙を取られても余り[illegible]に障らぬやうになると自己も知らず/\加州ッ子になつて居る、是れ畢竟是か非か。

▲ぢやが加州も來て見れば存外易い所、排斥も己人に對しては左程ヒドからず、東部で聞いた公然の侮辱事實の脅迫等は余り行はれても居ぬ樣子、色黒倭小の風采揚らぬ神州男子がドン栗ハーンの奇兄姿で町中を横行しても思い一つ言ふものがない樣子を見ると日本人だつて、さう悲つた事にも窘迫されて居ないらしい

▲桑港などでも昔と違つて今は余り街上で我々に「ジャップスゲー」の惡口雜言を投げず、後ろから石を投げつけるやうな蠻行も漸々減少し來つた樣子、是れも畢竟邦人の地位や風儀の向上した結果だらう、しかし見るとこの先さう悲觀したものでもなからうさ

▲イヤ又毛唐の側から、ふと從來彼等の占領して居たアッパータウンのレシデンシアル、ディストリクトへ東々と日本人が浸食して來て青臭いにほひを朝夕プンプンさせ入口に化物然たる招牌へ墨黒々のゴタ/\書を列べ立てゝ晝夜不分別の非文明的行爲を見聞させられてはツイ癇癪しオブゼクトせねばならぬやうになるプ

▲博覽會の方も其設備は追々進行して居るが日本贊同出品或は不參の議は未だに不決、何だかサッパリ要領を得て居ない、日本政府は加州人[illegible]ため[illegible]州會の排日行爲を[illegible]是非此際[illegible]して民間より充分の出品を希望して居ることらしいが、其許の人民が未だに一向[illegible]なに吾國を侮辱した[illegible]國へ義理立てする必要がないさ、[illegible]るらしい[illegible]是れは商業上自己の利益を知らぬ[illegible]宣傳のため國益増大の結果を知らしめて彼等の決心を飜へさせる事は不可能でもあるまいが、唯茲に恐るゝは[illegible]の定見を抱いて居る[illegible]野商業會議所會頭の反對ある事だテ[illegible]中野會頭の[illegible]へて反對する点は開會中萬國人環視の中に[illegible]丈に新渡來の日本千の出會者が下等の白人勞働者に亂暴侮辱などを受けて折角好結果を覆さうとした贊同の意義が沒却さるゝのみならず或は意外の椿事を惹起さぬとも限らぬとの事である、此杞憂に就ては既に桑港の當局者も極力注意豫防を言約したが、それ迄、政界の變亂常なく、勞働者の勢力非常に偉大なる當地では余り當てにならぬ、結句、事生じて再び憾みを千載に殘さんより、始めよりそんな危險な事に手を染めざるに如かずと云ふ結論になる、嗚呼贊同して行かうか、贊同せずして濟まさんか、左すれば威が恐ろし、サテも困つた浮世ぢやなあー南阿無佗佛

（二月十六日桑港にて）

●押問答亦始まる

牧野外相日米問題演說と
新條約論　日英同盟

（廿一日東京發電）

牧野外相は本日帝國議會に於ける外交演說中日米問題に論及して曰く、加州土地法案に關し昨年八月吾政府より米國政府に致せる第三回抗議書に對し米政府よりは未だ何等の回答に接せず吾政府は本問題の解決に就き新たなる他の適當なる方法を講ずるの必要を認め居れるも其內容に至りては茲に言明する能はずと言へり尙外相は墨國騷亂の出來と出雲派遣の理由とを簡短に叙したる後日英同盟問題に論及し、吾國の支那[illegible]外交關係につき日英同盟[illegible]吾帝支方針[illegible]の獨立保全を圖るに在[illegible]の目的を達するが爲め[illegible]益々其必要を認むるのみ[illegible]此同盟は將來に於ても今[illegible]援なるものたらしむ可す云々、同時に牧野外相演說の全文は華府日本大使館より發表したり

▲牧野外相の演說と國務省當局者の辯解　前項牧野外相の演說に對し華府外交當局者は辯明して曰く米國政府は日本の第一回抗議に對し現在の狀態に於ては日本が米國最高法院に向つて其解決を求むるの一方法ある事を以て答へ第二回の抗議書に對しても同答したり、今併第三回の抗議書は單に前言を繰り返しあるに過ぎず、隨つて米國政府の回答も勢ひ前二回に於て盡したる答辯を再說する譯となり、徒らに爭議を交換して解決を遲からしむるものと認めたるを以て回答せざりし次第なり尙珍田大使は其後武雷安氏及國務當局者と數々會見の機會ありて本問題を論議したれば交涉は依然繼續されしるものと解釋すべく米國が應答の禮を欠ぎしと云ふ能はず云々[illegible]に右當局者は日本の抗議は條約上の論據を有せずとの意見を持し居れるが牧野外相の所謂「或他の方法」は條約の締結を意味するものと爲すも其新條約の豫定內容に就ては口を緘して語らず

▲亞細亞人排斥案の討議中止　[illegible]亞細亞移民を嚴禁すとの條項あるハーカー案は去廿一日米國下院移民委員會に於て討議せらるゝ筈なりしも武雷安氏の要請ありて其討議を來廿七日迄延期する事とせり、斯は畢竟牧野外相の演說公表ありたる結果なるは勿論なるが民主黨議員は武氏の要請を排して討議すべしと主張せり、尙武氏は本問題に關し頗る樂觀說を持し居り日米交涉は近々の內解決すべしと公言せり

●タフト氏の在米外人保護論　氏は去廿二日新育平和協會の請に應じ國務省顧問バセットムーア氏司會の下に一場の講演を試みたり、氏は千八百十一年以來在米外國人にしてモッブのために種々なる傷害損失を受けたる事數々なるにも不拘中央政府は法律上充分なる處罰權なきため被害者の本國政府より條約上の義務を要求せられたる場合非常の窮境に立たざる可らざる譯となり僅かに損害賠償の手段によりて其責を免るゝに過ぎず加害者は曾て一度も處罰せられたる事なし、と論じ中央政府の權域內に屬する「在米外人保護法」の制定を希望せり氏は演說中故林董伯との會見談を語りて曰く、余が陸軍卿として日本を[illegible]し際余は時の外相林伯と日米關係に關し打解けて懇談せしが林伯は兩國間の戰爭は有り得る手段を講じて避けざる可らず吾國民は國家的體制に於て百般の施設者共に増大進步せし結果一種の愛國的自尊心とも云ふ可き思想を養成せり左れば其同胞がモッブの爲め外邦に於て不紹條約を無視せる差別的不公平の待遇を受くる事は聽て兩國の交情を疎隔するの危險を誘致するものなりと語れり

◉移民體格檢査提案　米國勞働卿ウイルソン氏は不日討議に附せらるべき亞細亞移民排斥法案中に、移民は米國陸軍同樣の體格檢査に合格せざる可らずとの條項を附加すべき提議をなしムーア氏と協議の上之を議會に送れり

●土耳古、ブルガリア同盟　土勃兩國は此程攻守同盟を締結したるが土國は列強に通牒を發しエジャン嶋に關する不公平の裁決に服せず飽迄同嶋の回復を圖るべしと云へり

●袁世凱南米國公使を聘す　駐支那米國公使が本國政府に報告せる所によれば袁は前駐支米國公使ロックヒル氏を行政顧問に備聘せりと、ロ氏は露國に喜ばれざる人なりと稱さる

●ニューヨーク市警察部長とゴエザル大佐　巴奈馬運河工事長として有名なる同大佐は新育市長ミッチェル氏が市の警察部長の候補者として大ひに望を嘱し居り今回愈々其承諾を求めたるに軍吏の任命と條件の下に就職すべしと答へたる旨報せられしが一說に依れば運河の完成今後一年を剩すに過ぎず且つ大統領ウイルソン氏より運河地帶の知事候補者として指目されつゝある今日同大佐が此名譽ある位置を棄てゝ新育警察部長たるや否やは疑問なりと

●墨國問題協議　ウイルソン氏は來る二十六日上院外交部委員一同を請じて幾多の外交問題を熟議する筈なるが、墨國問題は協議事項中重なるものにして加州土地法に關する日米問題、武氏の平和協約等も亦同時に協議さるべしと

●第三回洋聲俳句互選會　期日二月十四日　會場　日本人青年會　會費　廿五仙　課題　寒雀、火事、梅[illegible]、サブウェー、冬季讀込み

●噴火饑饉第二公報

一月[illegible]日[illegible]價[illegible]被害者[illegible]數中[illegible]會[illegible]山上に[illegible]なるも[illegible]多あり目下[illegible]
[illegible]
[illegible]する救助費は大約三百萬弗なる

●櫻島大隅連絡

櫻島噴火のため櫻島東海中に降下[illegible]約一哩の距離を有する大隅[illegible]陸地と連接せり

●[illegible]家の義捐　三井岩崎兩家は東北九州罹災民救濟會に金拾萬圓[illegible]

●明治神宮敷地

明治神宮奉祀會調査委員會は本日會議を開き東京に奉祀する事に決定したるも敷地は尚未定にして代々木又は丸の内竹橋内近衛第一聯隊所在地の内ならんとの説あり

●哲學大家來朝　獨逸の哲學大家ルドルフ、オイケン博士は新渡戸、後藤其他諸士の招待に應じ今春來朝すべく決したり

●品川町の大火

一月六日早朝東京府下品川町に大火あり初め消防に手違れを生ぜしため折柄の烈風に煽られ猛焔は鳳下へ擴がり町民の悲鳴と混雜名狀すべからず消防隊は必死となり鎮火に努め漸くにして之を消し止むる事を得たり燒失家屋百戸

●横濱巨商死去　横濱の豪商にして同市水道局長たる朝田又七氏は五日自宅に於て死去したり

●櫻島再噴火す

（十九日鹿兒島發電）

櫻嶋は本日再び噴火、地震、鳴動相次いで起り三百名の避難民は落岩の爲に非命の最後を遂げたり

右は聯合通信の報せし所なるが二十一日着の公報に再噴火の事なきを以て想像すれば或は何かの間違にては無かる可きか

●在留米人の噴火實見報告　噴火當時櫻嶋に在りしウイスコンシン州のホーヤー嬢が東京に於て語りし所左の如し（四日東京發電）

十四日午前十時一時に落下し來る灰塵は雷鳴と共に爆發し數千尺の天に向つて黒煙と火焔を吐き出せりと同時に山腹を流下し來る熔岩は其狀恰かも猛火のナイヤガラ瀑布を見るが如く忽ち附近の樹木に燃燒し次第に數百の人家を燒盡せり櫻島の西海岸は全部焔々と猛火に包まれ黒焔黒灰は折柄猛烈に吹き荒み暴風の如くに四方八方に散亂せり其時なる噴煙は山腹約一哩の高きに上り其他幾多の小噴火口を生じて二つの爆噴火口は中間の爆發と共に合して一となれり、爆發の翌朝同島附近の狼狽と恐慌とは遂に其絶頂に達せり

●伊豆戸田灣外の大悲劇

沈沒の悲運に會して、百數十の生霊をして海底に葬り去りし愛鷹丸は伊豆西海岸諸港間の航海に從事する一小汽船にして噸數僅かに五十六噸其搭載船客定員八十名なるにも拘らず五日の新年初航海には與伊豆地方遊覧客其他百三十余名を乘せ出航せり然るに當日は風浪極めて激しかりしため僅かに五十六噸の小汽船に過ぎざる愛鷹丸は木の葉の如く翻弄せられ危險云ふべからず乘客の不安は時々刻々其甚しきを加へ來りしが午後一時伊豆戸田灣外に近くに及んで怒濤愈々激しく將に船体を顛覆せんとし乘客を[illegible]

[illegible]風浪激しきため[illegible]の救助の如く行はれず辛うじて廿餘名を救助する事を得たるのみ他は悉く海底の藻屑と化し去りたりと信ぜらる、溺死者百十數名中最も憐れを止めしは結婚のため一家十名乘組みし村長等ありて悲慘なる物語り枚擧に遑あらず、遭難の報達するや横須賀鎮守府よりは驅逐艦を戸田灣外に急派し附近の海上を搜索せしめつゝあり屍体の漂着するもの算なし

[illegible]附近を航行中なりし汽船[illegible]丸[illegible]り、同船の沈沒するを當時少し後れ[illegible]遭難者に[illegible]國民の同情翕然として[illegible]終的なる船長の最後を傳へ聞くもの[illegible]に就けり此[illegible]

●政府參大博賛同に決定　久しく行き惱み中なりし巴奈馬太平洋大博覽會賛同の議は其後當局者の間に內議進行し愈々近々の内閣會議に於て參同の決議を爲し之を公表する事になり居れる旨確聞す

●加州排日問題と墨國移民　歸朝後排日問題につきて奔走中なる末[illegible]博士は十一日中和協會發起の演說會に於て約二時間の大演說を試みたるが其要旨は排日問題の根本的解決策として歸化權獲得の條約改訂は妙ならざるにあらざるも到底[illegible]時日の間に於て成功すべきにあらず而して次期州會には何等かの形式を以て日本人の借地權を禁止するの法案提出されん又巴奈馬運河を經由し歐州移民は陸續太平洋沿岸に來集し日本人の地位を侵奪するに至らん應急策として啓發運動も可ならざるに非ざるも其效果は疑問なり云々と論じ更に日く大博覽會には賛同して我國民の耐忍を示し而して一面墨國に我農業移民を送りて米國に對する牽制策を講ず可しと結論し大に一般の注意を喚起せり

●[illegible]查待遇改良　內務省にては下[illegible]巡查待遇方法の改良に腐心し居[illegible]來動もすれば巡查の犯罪行爲[illegible]するは畢竟監督其宜しきを得るに非ずして寧ろ生活難等が其動[illegible]す者多きより鋭意之が調査矯[illegible]むると同時に先づ其待遇方法[illegible]改良として今期議會に巡查[illegible]給料給與規則の改正案を提出[illegible]決定し議會の休暇明けを待[illegible]古物商取締規則と共[illegible]する筈なりと內務當局者は語[illegible]

紐育日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
佐渡丸	沙港	一月廿二日
ルンヤ	晩香波	同　廿四日
シャトル丸	タコマ	同　廿八日
チャイナ	桑港	同　三十日
横濱丸	沙港	二月　五日
メキシコ丸	タコマ	二月十一日

●日本より到着日

一月廿九日	同　卅[illegible]日
二月　四日	同　七日
同　十二日	同　十二日
同　十六日	同　十八日

●外國の援助を斷はる　[illegible]の噴火粹様先刻御承知の當市も久しく冬[illegible]風物甚だ寂寥を極め[illegible]に入り[illegible]米國赤十字社[illegible]ムソン大佐[illegible]候て以來[illegible]義捐金募集に着手せるとは[illegible]の前に[illegible]饑饉の如きなるは各方面へ來電に[illegible]爲め商況稍々活氣を[illegible]依れば[illegible]の[illegible]野は今回の[illegible]災につ[illegible]年は好成績を[illegible]き可成外國の援助を仰がざる方針な[illegible]當市日本人會[illegible]るもの[illegible]赤十字社よりの[illegible]人會[illegible]と稱し[illegible]並に[illegible]會[illegible]より當地[illegible]に於ける日本人[illegible]の[illegible]に徴するに一折角の會[illegible]中居候に付[illegible]すべき救濟方法は目下政府救濟委[illegible]會に於て[illegible]中に付日本赤十字社に[illegible]は寧ろインターフエヤせざるを以て[illegible]適當の[illegible]なり[illegible]依て今後貴國人より義捐金募集の義は何卒御見合せ[illegible]云々とあり、以上故[illegible]國人よりすれば[illegible]國赤十字社の[illegible]るボーマ[illegible]字社[illegible]戰時[illegible]る方針に[illegible]し位なる[illegible]内國の[illegible]外國の援助を[illegible]はりし[illegible]各國に[illegible]多[illegible]或る一部の[illegible]想像せらる

●各團体[illegible]義捐金募集　[illegible]各團体は一般在留[illegible]同胞[illegible]義捐金を[illegible]する[illegible]に[illegible]方[illegible]諸君は多少[illegible]

●同情の[illegible]心　大噴火の[illegible]志家は如左[illegible]貳拾貳弗五[illegible]貳拾弗[illegible]氏[illegible]大學教授[illegible]氏[illegible]ハリス[illegible]杉村[illegible]氏　十弗[illegible]夫人[illegible]五弗[illegible]久代[illegible]平氏[illegible]一弗[illegible]駒子兩[illegible]本社[illegible]大[illegible]會[illegible]弗の[illegible]

●同情[illegible]　紅[illegible]

櫻島噴火及東北饑饉義捐金募集

東北饑饉及櫻島大噴火は從來我國に於て起りし變災中最も悲慘を極めた[illegible]るもの[illegible]にして[illegible]國際吾等在留同胞か羅災民の救助方法に關し[illegible]の[illegible]情を致すは[illegible]より當然の[illegible]務なりと確信致候　依て下記各團体は協議の上[illegible]者諸彦より義捐金を[illegible]する事に[illegible]致候間多少に不拘[illegible]

ニユーヨークオール街五十五番
横濱正金銀行出張所

[illegible]死にて御送金被下[illegible]此旨[illegible]候[illegible]記各團体、[illegible]便宜[illegible]

日本人共濟會
基督教修道會
[illegible]以[illegible]會
[illegible]ミツシヨン
紐育市基督教青年會
日本人青年會
日本人倶樂部
日米週報社
紐育新報社

本年は會員[illegible]新年宴會を開催する[illegible]東北饑饉に對し[illegible]義捐金を[illegible]ニユーヨーク[illegible]する事に[illegible]員會に[illegible]して議せる[illegible]の[illegible]貯金[illegible]の件[illegible]會員の數少[illegible]且つ[illegible]會の[illegible]日を要す[illegible]

●[illegible]法の實見　岡田式靜座法[illegible]効果あり[illegible]故國諸[illegible]熱心家を[illegible]

●[illegible]　[illegible]理學上の關係及實驗中身体[illegible]る[illegible]は豫て聞く所なるが[illegible]法を熱心に實驗[illegible]体重二十五ハウンドを增したる當市の[illegible]氏は此程[illegible]ターの季節を[illegible]見[illegible]實驗をなし列席[illegible]の人々を感心せしめたりと、右に就き高見氏は非常に興味を感じ靜座法[illegible]に對する醫學上の關係及實驗中身体各部に與ふる影響を今一應研究する目的を以て近日再び同[illegible]氏を招き[illegible]体の[illegible]座實驗[illegible]事を[illegible]承諾を受けたるが岡田式靜座法の修養は[illegible]極めて[illegible]にても[illegible]易に實行するを得[illegible]く[illegible]病神經衰弱[illegible]には効驗特に著しきものありと

●慘[illegible]電報に就　西部新聞紙上に運載せらるゝ櫻島噴火の被害電報の中には當地総領事館への公報と全く反對なるものあり[illegible]島民一万[illegible]千人中死者九千人ありたりと記し且つ右は内務省派遣官吏の報告なりとあれども容易に信ずべからず

●青年會開館式　豫報の如く去十八日同會館に於て[illegible]せられたり[illegible]野村會[illegible]の[illegible]辭、[illegible]博士、[illegible]等の諸氏の[illegible]有益なる演說[illegible]、吉田、[illegible]三氏の[illegible]ンヂルスピーチ等あり高[illegible]博士[illegible]の[illegible]に[illegible]青年會の[illegible]出席者五十餘名[illegible]の盛會なりしが當夜高[illegible]博士の演說中自分も今後青年會の發達に[illegible]力すべしと語りたるは不[illegible]會員の意を強からしめたるもの[illegible]如かりき

●火山學者の日本行　伊太利[illegible]ルス發電に依れば米國火山研究所の代表者にして伊國ベスヒヤス山氣象臺の[illegible]手たるフランク、エー、[illegible]レツト氏は同[illegible]火山研究所より櫻島噴火の實地踏査を依托され[illegible]出發[illegible]日の途に就けるが歸路は布哇及米國を經由すべしと

●珍田大使夫人着　同夫人は令息[illegible]氏同伴去十六日の[illegible]洋丸にて桑港に着し一兩日間滞在の後東行廿三四日華府着の筈なり

●佐[illegible]少佐[illegible]氏　珍田夫人と同船にて着米、在當地の[illegible]氏を訪問したる後[illegible]する筈

●太田書記官來市　去十九日廿日[illegible]にて來市廿一日歸華せり

●[illegible]嶋[illegible]吉氏　宗教方面より米國の排日觀念を緩和せんとの目的を抱いて來米せる同氏は[illegible]洋丸にて[illegible]

●正誤　本紙新年號所載小供の挿繪中高木[illegible]氏の令息育雄一才二ケ月とあるは[illegible]十一ケ月の誤りに付訂正す

●家[illegible]博士の[illegible]的辯見論は都合により本號掲載を見合せたり

●[illegible]引[illegible]八氏の西行　近日中當地出發港に赴く筈なり

●[illegible]一家歸國　久しく竹田商店に精勤中なりし同氏は家族同伴此程歸朝せり

●義捐金應募者續々たり　十弗宛　飯島龜太郎　一宮鈴太郎　柿内常次郎　七弗　大久保利賢、齊藤和　來栖二郎　二弗宛　水野徳路　宮村季雄　若松要　二弗宛　[illegible]禮　和谷富太郎　山口堅吉　宮本[illegible]一　岡田[illegible]　奥代重厚　[illegible]山直介　小島要　青木嗣夫　西郷[illegible]治　橋爪源吾　一弗宛　榎本榮三　[illegible]原貞　[illegible]弗　關根善作

歸朝廣告

私儀今般都合により本月廿[illegible]日[illegible]發佐渡丸にてシヤトル經由歸朝仕候　當地在留中は一方ならざる御世話樣に相成候段奉深謝候　一々拜趨御禮可申上[illegible]の[illegible]出發準備多忙のため不得其意乍略儀以新紙上御禮旁れ暇乞申上候　頓首

千九百十四年一月二十日
早川萬次郎
同　よ[illegible]

偶感

在フロリダ州　佐藤南□

新報中頁新年號の所感を少しく、述べて見やう。

何れもとり／＼に面白く讀んだが、就中小供の投繪欄に偶した文言はユーモアな出色の文字であつた。曰く

○搖籃の夢緋か紫か働く口
○大きくなつたら墨國に鐵砲を貢
○□□相な面

何んと云ふふくやかな言葉であらう、□情の親達は、和子の肖繪を切抜て蘇の氣媛に新玉つて悲悦。

虎の眼（背天氏作）

僞くなき官能慾は肉の破壊に至らねば止まぬ。怪しき抱擁の力ある女性。頽廢した、男女が□□□□□□□□□びきの□□きまつ。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□、九味□ある□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□に成功し居る、潤一郎、春彦何篇ぞ、先以無難の佳作と云ふべし。

畢の告白（百□氏作）

友人の文房お嬢さ、、、、、或る殖民地の新聞記員が妙しき情事のいきさつを物語り風に、書者が淡い過去の追憶を辿うての淋しい告白である。今少し作者が事件に出沒して客觀性を□めて、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□が理知に□して□□□□□□□□□□人ごテルノノを□□□□□□□□□□□がある。切角に前作に享けた藝術の殿堂を打ち壞してしまつた、惜しい事をした。

和歌に隨筆（安藤多郎氏作）

新年號には君獨特の情緒の顫動が流れて居らぬ。例令ば鷗鳴曉を報ずるとか、金光燦爛とか、大熱變成とか、□□□□□□□□□□□□□□□□た。年頭の歌文は君より豫期しては□□□□□□□□□□□□□□、□を申さば、今少し□□□□□□、氣の利いた文字が欲しか□□□□□□□□□□□□□君は情味の富んだ、利□く□□□□□の推移にも心の個く敏動の敏い人でありながら、□□□事相を深く見きわめて筆を□□□人ではない、君のやうな才人は物事に關心すると動もすれば一方に偏してしまう恐れがある、君は無理に作らずと折に觸れ物に應じて情調の赴くまゝに筆を運ぶ方が或は□い物が出來るかを知らぬ、君は短歌の方が得意のやうに思ふ、今一段の推敲洗練を待つなり。

町を歩いて（ばなゝ作）

錢、、、幾何ぞ、新聞賣子等、見□りたる藝題の芝居此町に、此人の作物はいつ讀んでも詩美の含蓄力が□かに流れてゐる、純な心持で一歩□み込んで□相を眺めて居る、そして周圍の□情を描して感興をそゝる□力がある、よどみのない、□落な手法で書き流した物事に關らぬと云つたやうな風格が作品の影に潛んで居る。私が初めてばなゝ君に逢ふた時に君の顏は北齋によく似て居ると笑つた事がある、此人をして早く日本に歸らしめよ、そして馬に乘かけ東海道を歩かしめよ。

一休の句を想ふ（獨來處氏作）

□□は天分の高い、趣味性のゆたかな理解力に富んだ人である、言々句々沈着の深みに濡れゆく、私共は底力のある□□を享けた。然しながら□□□□□□の一休が、、、、外松と云ふ□□□□□□季題趣味を從へ、人生の歸趣に大警覺を點じた事は獨來處氏の御説の如く今□新しき意義ある□□で□りますが、□者偕一休禪□云々の□□は彼の外松の句とは何等の關□かありません、なぜなれば季題趣味から考へても又時間の上から推定しても大分間隔があるやうに思はれます。偕一休□□□□に花を觀して、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□（□□□をよそをふ花見かな）□□□□□□□□□□□は人口に膾炙した名吟であります、花見は三月であり外松は正月でありますから時間と季題の相違□□□□□□□□□□□□□說明を盡して居ります、□らでカタンの一休和尚でも髑髏はヘーブの骨とは□せぬ、如何のものにや。

加州通信（天涯氏）

此人の通信文は行き届いた觀察と□□と情趣に富むだ暢達な筆つきでいつ讀んでも面白い、□□□の尾長太杜もある、鍋焼うどんもある。叙事の着目凡ならずと謂ふべし、南曉生曰く□では、瓢箪山の辻占賣も。夜更けて笛吹く按摩さんも。門づけの三味線に夕暮を唄ふ。路傍の藝術家も飛び出すであらう。聞く加州は日本人の化物が澤山住んで居るさうだや、詞友天涯君の加州下りも隨分と道草□に日が暮れた、それも其筈である□の爲には思ひ出の多きニユーヨークには、、、亡き最愛の佳人が墓畔の草木のゆらぎにも、、、、後髮□かるゝ思ひがあるであらう。多感の□才、君幸あれかしと祈るなり

目出度申候（卓郎氏）

足らぬ學問無い智惠絞り嗚呼がましくも陳べ立てまする世界の大勢、民族の發展、恁う云つたやうな□□□論議に時文に□筆に何に、これこそ警句を駄ジる癖がある、君の持論は加州□棄策及び南進論、新報の紙背は君の個性の勇躍である（未完）

投書籠

▲ニユーヨーク有志家の發起で新□に奬酒會が組織され、役員選擧の結果は左の通り、違反者はハイボールを會員に飲ます丈の罰金を出すのだそうな、永く續けば御手拍子喝采の程を願ひます（正風坊）

會長日□　副會長家永豐吉君　幹事首藤□來三郎君　同矢野保彦君　□□□□君　同□□□□君　水谷歩三君　柳内常次郎君　伊與田秀次君　中原□一君　村瀨九郎君　中村繁松君　土生茂太郎君　河瀨村□君　□□□□君　三井代表者安本君　手嶋君　一宮君　森村新井組代表者武□君　西本君　森村組代表者佐藤君　□□委員原田棟一郎君甲斐□一君以上の通りで高□□　□□□　□□　茂木高見□ク　高山□　手塚　他　大場　原田爲造等の諸氏は會員たるの資格なしと□入會を拒絶され、假嶋總領事一宮正金□□□□事等の□々さへ□□の末漸やく入會を許されたげな

THE JAPANESE TIMES

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
[illegible]
[illegible], N. Y. City
Tel. [illegible]
Subscription Rate
5c. a copy　$2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office as second class matter [illegible] March 2nd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗

千九百十一年六月廿四日郵政院認可

發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話二八四七三　チエルシイ

早く日共合併の議を決せよ

一會員

日共合同の可否に就ては前役員會の席上に於て充分に研究され、役員多数の意見は合併を可なりとする事となつて[illegible]なるものを共濟會員並に一般在留同胞に諮る事に決した。思ふに右趣意書は合併の可なる事を説明する上に於て遺憾のないものであらうと想像するが吾輩は一種の[illegible]情に制せられて反對する人や或は新設日本人會發起者の目的を誤解し其存在の價値に躊躇する人々の爲めに[illegible]を述べ度いと思ふ。元來日本人共濟會を設立した趣意なるものは單に邦人を[illegible]するとか又[illegible]を買入れるといふやうな消極的の事業許りでなく[illegible]體の[illegible]を圖るのが其目的で[illegible]正會則[illegible]は[illegible]を明記して[illegible]見が[illegible]たのに[illegible]在留同胞全体の[illegible]的方面に有[illegible]なる事業を試むるの目的を以て生れ[illegible]する新日本人會は[illegible]も[illegible]共濟會設立當時の目的たる[illegible]に進ましむるので此點に就ては[illegible]同[illegible]する所と思ふ。

[illegible]に合同に反對する人は日共兩會の事業は根本に於て其性質を異にすることゝ[illegible]吾輩は左様思はぬ、何となれば共濟會が從來[illegible]其力を注いで來た[illegible]事業も新設日本人會が將來爲さんとする事業も積極消極の差別こそあれ[illegible]在留同胞社會全体の統一的發達を目的とする公共事業てふ點に於ては何等異なりたる所はないのである。

更に合同の利益に就て一言せんに、新日本人會の發起者は何れも直接間接共濟會の發達に努力した人々か若くは日米兩國の平和親善のために不惜一身の利益を犠牲とした人々である、思ふに新日本人會が成立した曉き其役員となつて在留同胞全体の公共事業に[illegible]る人々は現在共濟會の役員に有力なる[illegible]分子を加へる事となるであらう、然らば例令日共兩會が分立して積極消極の事業を分擔する事となつても兩會の幹部は大概[illegible]同一の人々によつて代表せらるゝ事となる[illegible]て[illegible]せずして合同の[illegible]を示すに至るであらう、若し吾輩の豫想が適中して早晩合同の議[illegible]に達すると思ふならば寧ろ此際斷然日本人會創立發表と同時に日共合同を發表して在留同胞の公共事業を統一する方針を示すことが最も賢[illegible]の得たるものではあるまいか。

終りに[illegible]仕[illegible]のは[illegible]上の基礎を固くするに[illegible]共合同は一日も早く實行するの必要ある事である、或人は現在共濟會の[illegible]的基礎を以て非[illegible]に[illegible]であるかの[illegible]に[illegible]る[illegible]合併[illegible]千[illegible]本[illegible]の[illegible]に比較して甚だ僅少である[illegible]と[illegible]、若し不幸にして會員中に死亡者又は不治の病に罹つた者[illegible]要する者[illegible]を[illegible]たとすれば[illegible]の[illegible]的[illegible]なるものは忽ちにして[illegible]に[illegible]てあらう、斯る場合に於て最も急速に其不足の補充を爲す事は頗る困難と云はねばならぬ、然るに[illegible]なる基礎を有する日本人會があつて緩急相應ずるの方針に出でたならば共濟事業は遥かに[illegible]實行せられ[illegible]に在留同胞の[illegible]公共事業も發達するに至るであらう、[illegible]に一種の感情に制せられて此好機會を逸するやうな事のないやうに切に希望する次第である。

斷簡片墨

卓郎

▲日米問題は又候頭をもたげて參り候、[illegible]頭[illegible]巻は單に山本君牧野君のみならず、ウキルソン君も武雷安君も[illegible]君[illegible]を濁せば「解決近きに在り[illegible]日米關係は親善なり」と[illegible]方に候、[illegible]武君は乙に胡魔化し居り候へ[illegible]は吾々共[illegible]借金取[illegible]のの[illegible]し[illegible]の[illegible]きの比に非ず、[illegible]の苦しさは吾々共[illegible]身の[illegible]に[illegible]を[illegible]し[illegible]歸す所の比に非ず、[illegible]は[illegible]や[illegible]氣の毒千万に存候

▲[illegible]宮[illegible]氏の[illegible]在留婦人招待會は[illegible]五十名の[illegible]に不拘非常の盛會に[illegible]近くの參會者あり[illegible]婦人方許りに[illegible]つたものかなと[illegible]しき異性の[illegible]を獨占して[illegible]に存せらるゝ郎君諸氏の御身の上を[illegible]し[illegible]シミ〳〵獨身生活の[illegible]を[illegible]申候

▲在留婦人方も殿方と同じく故國に於けるが如き社交上の愉快を擅にせらるゝ能はず從つて時折りにはホームシックも起る事なるべしと想像致候、[illegible]宮夫人の茶話會は未見の婦人方に交遊の機會を[illegible]へ同時に在留婦人の社交機關を作る手初めとも可相成[illegible]婦人は[illegible]上とも有方家の[illegible]婦人方か[illegible]夫人の[illegible]を踏むで此[illegible]の會合を數々せられん事を祈り申候

▲婦人會にて思ひ出し候が西部に於

▲午[illegible]何時[illegible]らず、ト[illegible]別に好[illegible]面を[illegible]ず[illegible]に上[illegible]外交其を集めて[illegible]相談がたう[illegible]か知らねど多分因果を含めて日本を[illegible]入らしむ可し位で[illegible]山なるべく候、曰[illegible]巴奈馬通過料問題、曰く對墨關係アレヤコレヤで米國の外交關係も中々[illegible]に御座候

▲墨國を占領合併するは米國に取りて[illegible]の仕事、又國民の希望なる可[illegible]墨國人民の[illegible]めに[illegible]も[illegible]しかるべきやも知れざれど[illegible]の墨國に[illegible]する[illegible]的勢力を[illegible]する[illegible]にも行かず、合併[illegible]を如何にするかを[illegible]に[illegible]ウ[illegible]ソン君[illegible]へ[illegible]、[illegible]は無[illegible]之、[illegible]ドクトリ[illegible]あり[illegible]大統領に[illegible]連[illegible]と存[illegible]

▲[illegible]島[illegible]火[illegible]飛[illegible]の會員を以て[illegible]羅[illegible]民[illegible]費[illegible]數し[illegible]リスト[illegible]寸紐育[illegible]先を[illegible]牛馬の目を拔く[illegible]場商業家[illegible]火的[illegible]の外[illegible]



時々　安藤多郎

[illegible]の忙しく刻む音毎に過去を殘し[illegible]は起き、起きては食しつゝ一日[illegible]生命を削つて行く。

自分の胸裡にはいつとはなしに渡米以來の雜多な生活狀態が[illegible]の如く[illegible]る、華やかな色彩もあれば陰[illegible]の記憶もあれば[illegible]の[illegible]もある。

[illegible]に[illegible]る時[illegible]青年の生命[illegible]かな[illegible]純潔な[illegible]の[illegible]は[illegible]業に[illegible]ある[illegible]の[illegible]段に[illegible]み立つた時を[illegible]ある[illegible]まいか、[illegible]を求めんとして[illegible]紅燈の影に[illegible]み、[illegible]となり、狂となり、亂[illegible]となり[illegible]の淵に[illegible]、之[illegible]と氣[illegible]て[illegible]とする[illegible]深い[illegible]の[illegible]沈んで行く。

[illegible]者[illegible]言なるも、家なく妻なく自然[illegible]國[illegible]に永住の基礎を造れとは先覺[illegible]住を[illegible]なくせらるゝとせば、共[illegible]は悲慘ではあるまいか、想ひ到れば氣遣はしさの念、頻に胸のあたりを[illegible]めて來る。

○

[illegible]夜また吾[illegible]しき秘め事を枕の中に封じて寢ねぬ

○

[illegible]にはあまりに少さき寶かな命よ君が机上の寫眞

○

[illegible]烈の[illegible]脱れんと市を去りて[illegible]も鋭[illegible]あるもの戀ふる

○

[illegible]さりとては情けなうすき戀なりき[illegible]りし[illegible]のシャンペンの泡

紙の傳ふる所を要約すれば目下米國の竹[illegible]は外交上殆んど孤立の[illegible]ありと云ふを以て適評なりとするを得可けん、例せば巴奈馬運河通過料問題に關し海牙裁判に附するの議を退けて英國の感情を害し、猶太人問題と關聯して[illegible]條約を破棄したる結果露國の反感を買ひたる外獨佛伊西諸國との關係も兎角圓滿ならず桑港博覽會の贊同に對し列國は期せずして不贊同の歩調を一にせる處あり且つ巴奈馬地域問題に關するコロンビヤ共和國との紛議は南米諸國をして自然米國に遠かるの傾きを生ぜしめつゝあり就中日本との關係は既往二期の大統領時代を通じて著しく國交の不圓滿を來たせし結果日本政府は兵[illegible]の反感を融和する必要上日米交涉[illegible]の[illegible]を[illegible]るのみならず、米墨間の衝突は日[illegible]兩國[illegible]を[illegible]し日本は入[illegible]係[illegible]實として軍艦を派遣しウエルタ政府は[illegible]例なる五[illegible]間の公式[illegible]を發表して出雲の艦員を待遇するに[illegible]同國官軍は低廉なる日本軍[illegible]の供給を受けて戰爭を繼續し居る有様なり、ウ氏が上院外交部委員を招[illegible]

米國大統領の對外協議

▲日米問題が主要事項

大統領ウキルソン氏は米國外交上の重要事項を協議せんが爲め去廿六日夜上院外交部委員一同を招きたるが當夜に於けるウ氏の報告なりとて[illegible]

議せずと答へへ[illegible]國も亦外[illegible]の[illegible]利を[illegible]人の土地所有權に關し[illegible]保有す可しと答へたり、左れば加州[illegible]案の抗議に對し此公文書を提出[illegible]なば事件は遙かに[illegible]にする[illegible]得[illegible]結果は日本の[illegible]派を怒らしめ現在の日本内閣は顛覆して武斷派の奉ずる所となり日米關係は益々困難に陷入るべきが故に米國々務省は此際殊更に此公文書を提供せざるなり云々、事實なりとはし難きも一説として茲に記載す

者には未だ公表せられざる一の日米交渉記錄あり此記錄の示す所に徴すれば米國政府は千九百十一年日本政府に向つて[illegible]の公文書を發し[illegible]府は在米邦人の土地所有權に關する州の法律に異議を唱ふべきや否やを以てしたるに日本政府は斷然抗

●日本當局者の[illegible]廿九日東京[illegible]加州土地案の解決に就ては日米兩國政府に於て極力腐心しつゝある所なるが目下日本當局者の主として憂慮しつゝある點は若し將來米國に於て更に他の[illegible]法案の出づるに於ては日米兩國の關係は頗る危殆に瀕す可しといふに在り、只加州に於て[illegible]の排日案出でざるべしとは米國政府の保證する所なるも中央及地方政府の政治的[illegible]は將來を保證するに[illegible]困難の事情あるを[illegible]とせらる

●武器輸出解禁とウエルタ將軍　武器輸出の解禁により墨國憲政軍を[illegible]ン氏の政策は[illegible]きものなるが[illegible]に贊成し[illegible]は却つて其効[illegible]とすれば斯[illegible]れ憲政軍も[illegible]く米國政[illegible]みならず例令[illegible]所大なるべき[illegible]を顛覆し得べき[illegible]に在り[illegible]ふに在り

●日本は在米邦人の土地所有權禁止を是認したる事ありとの奇說　紐育タイムスの通信員は奇なる新事實として耳新らしき報導を齎せり曰く日米問題の協議中議說頻々として續出したるが事件の眞相に通せりと自信せる某氏の談を聞くに、米國々務

非米國自身に在りとし、コロンビヤの如き[illegible]共和國に對しては賠償二千五百万弗を支拂ふべしとなし最も困難なる日米問題に關しては依然として解決の方策に窮しつゝあるも日本の墨國に於ける活動に對しては米國人の武器輸出（墨國への）禁制法を解除すと云ふに在りと

何なる方法を以て[illegible]脱却し得べきかに[illegible]がウ氏自身の[illegible]所に依れば氏は通[illegible]

石武器輸出解禁の報導に對しウエルタ將軍の言なりと云ふを聞くに、米國の態度は勿論友交に背く行爲なるを[illegible]は明かなる[illegible]從來種々なる手段を用ひて米國より武器を輸入したれば輸出解禁は今更ら驚くに足らず且つ[illegible]氏が公然反軍を助くるの態度を示すは却つて[illegible]下の結果を[illegible]なるも[illegible]所以なり云々

●宮中新年御式

天皇皇后兩陛下には一日午前四時御起床御着替改服の上渡邊宮相內山侍從武官長[illegible]侍從長其他侍從侍從武官侍醫女官等より新年の御祝詞を受けさせられ[illegible]時[illegible]分大廣間より奉迎を受[illegible]の御席に着かせられ兩陛下御揃列にて新年の御祝詞より同[illegible]時より伏見宮貞愛親王、閑院宮載仁親王、同妃智惠子、久邇宮邦彥王、同妃[illegible]、伏見宮博恭王、梨本宮守正王、同妃伊都子、朝香宮鳩彥王、東久邇宮稔彥王、北白川宮成久王、同妃房子內親王、竹田宮恒久王、同妃昌子內親王各宮殿下を始め奉り伊藤九條名公爵久我從一位以下勳一等、一等官侯爵、正二位一等官勅任待遇同夫人及奏任官同待遇の人々の拜賀又[illegible]時卅分より大山松方西園寺各大勳位山本首相以下各大臣[illegible]長、黑田[illegible]長[illegible]より高官[illegible]、錦雞間祇候[illegible]任待遇[illegible]外國八、[illegible]三等以上外國人、同夫人、[illegible]等の拜賀午後二時より[illegible]大使グルーン氏夫人以下各國大公使同夫人[illegible]夫人等の拜賀を受けさせられたり[illegible]天皇陛下には大[illegible]の御正裝を召させられ[illegible]御服を[illegible]なりと

●高齢者へ恩賜　本年八十歳以上の高齢に達せる華族に對し思召を以て[illegible]御紋付御杯並に御酒料を下賜せらるゝ由なるが八十歳は井上[illegible]氏外五名七十歳は元帥海軍大將井上良馨氏外九名なりと

●女流の御採用　皇后陛下に奉仕する女官の外智識に富める女流御採用の思召を以て暹羅公使夫人安達鑒子[illegible]大使令嬢貞子兩女史を御用掛に御任命ありしが更に萩原淳子女史に對しても同御用掛の御沙汰あり淳子は故外務省通商局長萩原守一氏の未亡人にして樞密顧問官濱尾新男の次女なり佛語に堪能なるを以て今回御沙汰を拜したるなりと

●總統の俸給　正副總統の年俸公費等は國務會議に於て左の如く決せり

總統年俸　二十四萬元交際費五十萬元公費百五十萬元

副總統年俸　十二萬元交際費二十四萬元

右費目は佛國の先例に倣し豫算中に編入するも國會の決議を經るの必要なき規定とする由

●獨逸の利益　獨逸の鐵道敷設權[illegible]に關し內情を聞くに第二革命の際同議會に於て獨逸は全力を擧げて袁世凱を[illegible]々の事情のため其目的を達し得ざ[illegible]其報[illegible]として全國軍隊教育を獨逸將校の手に引受けんとせるも日露の[illegible]硬なる抗議のため果さず此處に山東問題となり表面支那に利益ある[illegible]如きも將來[illegible]日協定には前例なき好條件を獨逸側に與ふるものなりと

●前淸帝の御婚問題　宣統帝十[illegible]とカラチン王女十二との間に婚約成立の噂あるがカラチン王は皇帝十五歳に及ばば獨逸に留學を希望し[illegible]宣統は[illegible]を引受くべく[illegible]に內議を定めたりと

●支那の暗殺團　[illegible]の暗殺團が支那に起り[illegible]の下に[illegible]結社を組織せる[illegible]該團體に加入する者[illegible]人の多きに達し會員は[illegible]乙[illegible]三等に分ち甲級員には月俸六十元乙[illegible]員には四十[illegible]員には[illegible]十元[illegible]の規定にて[illegible]を暗殺したる者は年俸[illegible]千六百元を[illegible]二人を暗殺したる者には十年間毎月二百元を一[illegible]暗殺したる者には五年間毎月百[illegible]を[illegible]する事とし[illegible]盛んに同類の募集を[illegible]しつゝあり

●松田氏[illegible]授爵

[illegible]引籠り[illegible]中なりし松田正久氏は十九日男爵に[illegible]せられたり[illegible]氏の病氣は特に重態といふにあらざるも後任者の任命近きにあるためならんと推測され居れり

●松田男の後任　松田男退職後其後を襲ぎ法相たるべきは多分前文部大臣長谷場純孝氏ならんとの呼聲高し

●兩地へ御下賜金　東北九州救濟會へ對し廿二日天皇陛下より御手許金十五万圓の御下賜ありたり

●大倉一萬圓寄附　富豪大倉喜八郎氏は東北九州兩災害地へ一萬圓の義金をなせり

●千秋樂角力　十日間の國技館春場所愈々千秋樂となりたるが全勝は太刀山只一人にて星は西の方九十東の方七十三なり、常陸山は引角力を濟ませ五月を以て引退の筈なり

●豫戒令と議會　國民黨は本期議會に豫戒令廢止法案を提出したるが同令は嘗て故品川彌二郎氏が內相として明治廿五年の選擧干涉を行ひたる當時の遺物にして爾來今日迄六[illegible]同議會に其廢止案提出せられたるも[illegible]々の事情のため其目的を達し得ざりしが現に內務省[illegible]は之を[illegible]する[illegible]意見なるのみならず[illegible]令に規定せる粗暴の言論を爲す者集會を妨害する者及び他人の自由を妨害する者の取締に就ては治安警察法、警察犯處罰令及刑法等の法規に依り容易に公共の安寧秩序を維持し得るを以て同令廢止案は[illegible]議會を通過すべし

●減稅と政友會　營業稅[illegible]減稅[illegible]案は今期議會に[illegible]國民黨より既に議會に提出せられたるが[illegible]同志會中正會よりも[illegible]各種の[illegible]減稅案を提出せらるべく[illegible]營業稅中[illegible]引所稅の[illegible]減案を提出すべく[illegible]政友[illegible]は今[illegible]政府と[illegible]きが之に就き政友會代議士中に[illegible]物稅通行稅の一部廢止など政府の[illegible]案以外に減稅を主張せんとする者少からず何れ右[illegible]案は政府[illegible]調査會[illegible]本問題に關する[illegible]に[illegible]府の[illegible]案以上に減稅の[illegible]を要するに至るべしと

●列强の戰艦　最近調査に依れば[illegible]列强の[illegible]たる第一線戰艦の比較左の如し

▲英國　四十六隻　百十一萬[illegible]　備砲四百八十（十吋以上のみ）

▲獨逸　廿八隻　六十八萬噸　備砲二百七十

▲米國　十六隻　四十萬噸　備砲百四十四

▲佛國　十七隻　三十七万五千噸　備砲二百二十二

▲露國　十二隻　二十[illegible]萬噸　備砲百六十八

▲日本　十隻　二十五萬噸　備砲八十八（舊形艦河內攝津は固より安藝薩摩をも合む）

▲伊太利　十隻　二十五万噸　備砲百九

▲墺太利　八隻　十八万噸　備砲四十八

右の內露國は一昨年即ち千九百十二年度計畫、日佛伊墺千九百十二年度計畫其他に本年度計畫のものを包含し日本は露國の次位に落ちたるが露國にては更に千九百二十六年迄に二十八隻を起工せんとの計畫あり又米國は戰艦總數四十一隻七十三萬七千二百九十六噸、裝甲巡洋艦十二隻十五万七千四百四十五噸、一等巡洋艦五隻四萬三千八百噸を有し殊に第一線に置くべき戰艦及巡洋艦の多數を有し以て戰鬪力を擴充するの便を有するは最も注意すべき點なるべし

●同志會少壯派蹶起　立憲同志會が今回役員を指名するに際し例の少壯派たる大松倶樂部組にも名目幹事など振り當て以て[illegible]となさんとしたるより同派の連中大に激昂し吾人が結黨以前より[illegible]々の議論を爲すも[illegible]に外ならず然るに幹部は之を[illegible]らず依然官僚の色彩を去らざるは吾人の解する能はざる所なりとて廿七日集所に會し同派の役員一[illegible]辭職するに決し委員を選び同夜[illegible]幹事を[illegible]大浦子を訪問して之を提出し且つ從來の[illegible]達する所ありし[illegible]組の希望は非政友大同盟を作らんためには時に國民黨と中正會等と步調を一にする必要あり[illegible]現狀よりすれば外交問題に於[illegible]の問題に就て五領袖と犬養氏と提[illegible]會の[illegible]馬に乘るを難からしめ又多[illegible]する事[illegible]なる以上三つの小黨は永久に小黨として跼蹐し[illegible]に大事を[illegible]の見込なし而も是等は三領袖[illegible]情の疎隔が原因なれば國民黨より來れる五領袖を當分相談役風に一段高き處に置き若手に實權を握らしめて中正會國民黨等に對し擒縱自在の妙を發揮せん事を主張せしも容れられず徒らに結束々々と稱して其結果は却て墻壁を高くし外より來り投ずる者をも排斥するが如き愚に陷るを避けんとの議論にて同夜は反覆其眞意を述べ且つ此意見は斷じて[illegible]さゝる事を言明したり因に同會の役員のみならず議院の各委員を振り當てられたる者も[illegible]主義の管口策と思はるゝ節あるより同派の連中は併せて是をも悉く辭任する事に申合せたりと

●米人我飛行界に二萬圓を寄贈す　米國の一富豪某氏（匿名）は我國の飛行事業の貧弱なる現狀を見て餘所目にも氣の毒なりとし同情の餘り今回二万圓の寄贈方を陸軍省に申込み來りたるが會計規則の關係上之が受領不可能なれば折返し民間飛行事業に寄附方を慫慂したるに某氏は之を諾し無條件にて寄贈する事となり直に珍田駐米大使に差出したるより同大使は外務省を經て廿五日帝國飛行協會倉知同會理事に交付を了したり

●今期帝國議會と二重國籍問題　目下東京に滯在し頻りに在米同胞問題の爲に奔走しつゝある某氏より近く其友人の許に達したる書信に依れば目下開會中の第卅一議會には一時紛々たる議論の中心となりたる二重國籍問題を根本的に解決し得べき日本帝國國籍法の改正案として現はるべしと云ふが該案に對する議會の情勢如何と云ふに貴族院にては現政府黨にして多數黨たる政友會を代表して昨年米國を視察し審かに諸種の問題を究めて歸りたる江原素六氏あり衆議院にては立憲同志會にはよく在米同胞を知り深き同情を有する島田氏あり政友倶樂部今の中正會には彼の竹越氏森田小六氏等あり頗る同情し居れる模樣なれば多分難なく通過するならんと云ふ今該案の內容如何を考察し見るに現在の日本國籍法に日本人を父とせる兒童は其の屆出づると然らざるを問はず悉く日本臣民たるべしと血族的に規定し居るに對し外國に生れ正當に其の國の國籍に入りたる者は此限りにあらずと云ふ如き意味の但書を附加するにあらんとの說或は當れるものならんと

●寶永山の白烟　富士寶永山には白烟盛んに噴出し居れるを以て若し噴火爆發の前兆にはあらずやと附近各地方は目下戰々恟々たり

紐育日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
シャトル丸	タコマ	一月廿八日
チャイナ	桑港	同　三十日
横濱丸	沙港	二月　五日
メキシコ丸	タコマ	二月十一日
モンテグル	晩香港	同　十四日

●日本より到着日

一月廿九日	同　卅一日
二月　四日	同　七日
同　十[illegible]日	同　十二日
同　十六日	同　十八日

●慘害第三公報

（一月廿八日新育領事館着）櫻島前電後時々めい動地震を起したるも危險は既に去り被害少き部落に在りては避難者續々歸還しつゝあるも全島の三分の一乃至三分の二は荒廢に歸したるため一萬乃至一万五千の島民は他地方に移住の必要あり、鹿兒島は廿　日頃避難民全部歸還し全部各其職に就き秩序回復せり、今日迄の所櫻島避難者を合せ死者廿　傷者二百五行衛不明十八なり

●同胞自働車に斃かる　西五十一街六十八番ドクター、カー氏宅のクックー村上某は去廿八日朝三時頃セントラル、パークサウスを歩行中折柄疾走し來りし酒屋主人リー、ヘリー氏所有の自動車に轢かれ大腿骨を痛め身體の内部にも負傷したれば車上のリ氏は直ちに飛下りタキシキャッブにてルーズベルト病院に入院せしめたる由なり、夜更けての外出は危險／＼

●喧嘩をするな　近來市内各下宿屋に於て酒亂の餘喧嘩或は穩かならぬ馬鹿を盡して後悔する者尠からざる由風紀上實に苦々しき次第なるが折角此の寒さに大切なる所に暗しく在米同胞は大に戒愼を要する今日身體八附を毀傷して御上みの厄介になるか如きは親不孝の極、愚の骨頂と知らずや

●共濟會役員會　來二十一日夕刻河添旅館に於て開催、日共合併問題其他重要事項を協議すべしと

●ジャパニーズナイト　來る七日午後八時より西百十四丁目五五四コスモポリタン倶樂部に於て開催、日米人の演説、餘興には種々なる日本音樂藝術等あるべく總領事飯島副領事其他諸氏の出席ある筈

●青年會の譯座法實驗　前號所載靜座法の岡田義一氏は明一日青年會に於て實驗を爲す筈なり尚當夜は會員中有志氏の歸國送別會ある由

●サムミット基督教青年會年會のシャパニーズナイト　去廿四日開會メービー博士領事館總領事等の演説あり晩餐に出席したる人々百七十五名を算し非常の盛會なりし當夜のデンナーより一切を引受けたる紳士諸商會は非常の好評を博したる由

●鹿島縣人の義捐金募集　本社に於て任の通り寄附金受付中なり又

●森山大佐の寄附金募集は　日本人の　森山大佐歡待會

●横濱からの情報によれば出雲艦長森山大佐は同艦に於て開かれたる歡迎會に十七名の來會者あり最初日墨國陸軍大佐の畫會に依り不拘四十七名の來會者あり、當日は降雨猛烈なりし係されたり、同夫人の挨拶、來會者紹介等ありたる後餘興として森山氏の薩摩琵琶ヒヤノ、ヴイオリン、天野常子嬢のピアノ、橋爪氏の薩摩琵琶等何れも美事に演奏し茶菓の饗應終りし後來賓一同紀念撮影を爲し非常の盛會にて午後六時散會したり、當日の紀念寫眞は次號に掲載すべし

●櫛引弓人氏送別會　同氏は近々西行と決したるを以て知友諸氏は來一日午後六時半河添旅館に於て送別晩餐會を催す筈會費二弗參會希望者は同日午後三時迄に會場宛申込を乞ふとの事なり

●松木文恭氏の演説　去廿六日ボストン、チー倶樂部に於て「正義」なる題下に一場の演説を試み加州問題に關し大氣焔を吐けりと

●駐墨長公使の轉任　駐墨安達公使は今回ベルジアム國に轉任の命を受けたるが事はウヰルソン氏の對墨方針發表當時大統領に米國の執れる方針を指摘したる人なり

●森山艦長歡待さる　日八日の出雲艦の日本人が

櫻島噴火及東北饑饉義捐金募集

東北饑饉及櫻島大噴火は從來故國に於て起りし變災中最も悲慘を極めたるものにして此際吾等在留同胞が罹災民の救助方法に關し滿腔の誠意同情を表すべきは固より當然の義務なりと確信致候、依て下記各團体は協議の上在留者諸彥より義捐金を募集する事に決定致候間多少に不拘御寄附に御送金被下度此段得貴意候也追て義捐金は便宜上下記各團体へ御送附あるも差支へ無之候

ニューヨーククオール街五十五番

横濱正金銀行出張所

The Yokohama Specie Bank

55 Wall St. N. Y. C.

日本人共濟會
基督教修道會
以　教　會
新育ミッション
武市基督教青年會
日本人青年會
日本倶樂部
日米週報社
新育新報社

●帝國議會の加州問題

（二十七日東京發電）立憲同志會所屬の議員は加州問題及海軍收賄問題に關し現内閣を攻擊したるが島田三郎氏は牧野外相の演說公布に關し現内閣は豫め米國政府の諒諾を受け然る後之を發表せりとの事なるが斯の如きは國家の威信を損する事大なるものあり果して此事ありしや否やと質問したるに外相は斷じて然ることなしと答へたり尚海軍少將藤井幸一氏が伯林大使館附武官在勤當時軍艦建造のシーメンスミッツンとの

鹿島縣人に告ぐ

櫻島の大噴火は近來稀有の大慘事にして罹災民に對する内外の同情翕然として集まり、既に各方面に義捐金募集の企あるが、吾等同縣人は此際袖手默視するに忍びず、不肖等敢て發起人となり汎く在留同縣人諸有志より義捐金を募集し以て同縣人の義務を盡くし罹災民に對し同情の微意を表せんとす、願くは一夕の飲を廢して御出金あらん事を

紐育市西四十四丁目七十七番
日本郵行事務所
送金所
發起人　四本俊行
　　　　井口眞一郎
　　　　後江　　之
　　　　伊宇田　　之助

●軍艦の注目　同地電氣會社より取調せしとの報道に關し質問あり外相は目下取調中なりと答辨せり、本件は帝國海軍の名譽に關するか故に嚴重なる調査を要すとて都下諸新聞の評論甚だ嫌んなり

●帆船の沈沒　ノーホーク當地間航海の帆船モンロー號は昨朝午前二時頃ボストン、メルチニア間定期航路ナンタッケット號とホエダ島を距る廿五哩の沖合に於て衝突し僅々數分間にして不幸にも沈沒したり、當夜は大西洋沿岸一帶は濃霧を以て覆はれ事

●新育ミッションの活動と雜誌發行　同會は清水牧師の來任以來俄かに活氣を帶び來り會員の精神的結束も著しく鞏固となりし由にて今後在留同胞社會の各方面のため活氣ある運動を試むる第一歩として來月中旬より「達磨」と題する月刊雜誌を發行する筈

●實業研究會　增澤丈兒、清水牧師河合、田中諸氏發起となり今回實業研究會なるものを組織せるが時節柄主として墨國及南米に關する事項に力を注ぐ筈なり

●新育日本評論　宮川氏主幹の同誌一月號は此程發刊せり、飯島總領事の「日本關係」ヘンリークリユー氏の「英米」其他例に依て趣味多し

●修道會の英語教授　同會にては來月より米國人及經驗ある日本教師數名を聘し英語教授を開始する筈にて有志の來學を希望する由なり

●山田才治氏　新たに日本銀行出張所へ來任

●柿崎博士　過日亞細亞協會年會に出席の爲め來市直ちにハーバード大學へ歸校

●内務省技師後藤達平氏　港灣研究のため昨日英國より來市當時漸在のホテルマルセーユに在り

其後の櫻島噴火寄附金

拾弗茂木善太郎　五弗宛伊與田春次　大島佐俊　三弗宛宮發吉　柳瀨眞之助　二弗宛　櫻井光二　梅澤房次郎　登山眞之助　一弗宛　荻原達也　ルル、アーノルド　五十仙宛澤田正次　菊地市兵衞　片川秀治　以上茂木桃井組、拾五弗中　一郎　七弗白江伝二　五弗山本　太郎　三弗岡島辰五郎　二弗　松田　吉　田中吉太郎　一ル夫人　以上山中商會、百弗　新井領一郎及夫人　十弗宛　金太郎　大木信次郎　五弗宛　伊藤良吉　金原東造　猛雄　二弗宛　坂本孝　鶴島延憲　初鹿野　喜次郎　一弗宛　富森修一　山島正治　武　貞　初鹿野夫人　以上森村新井商會、二十五弗　井上義吉　十五弗高　三郎　五弗宛　岡崎鐵次郎　鰐淵　夏樹　三弗宛　井上　茂　山本　作　小　弗宛　古川　一　無名氏　以上ピッツバーク在　野　吉　以上堀　大　松　芦　以上　小川六　子　五十仙　以上　兩氏の寄附金は前號所載の分へ寄也

米國一手販賣

▲實業講習錄

總裁　伯爵大隈重信
副總裁　男爵澁澤榮一

一ケ月	（二冊）	五十仙
三ケ月	（六冊）	一弗四十五仙
六ケ月	（十二冊）	二弗八十仙
九ケ月	（十八冊）	四弗二十仙
一ケ年	（廿四冊）	五弗五十仙

第一卷より全部取り揃へ置き候間御申込被下度候

▲日本新聞取次

大坂朝日新聞	一ケ月	一、一〇
東京報知新聞	仝	一、〇〇
東京二六新報	仝	一、〇〇
東京萬朝報	仝	、六〇

▲日本郵便切手販賣

十錢切手　二枚　十五仙

▲手紙取次

一ケ年　金一弗

博文堂新報

讀者諸君の御便利をはかり毎月一回博文堂新報なるものを發行致しあらゆる新刊書の内容を親切丁寧に説明し其の他新刊書の目録全部を掲載しあれば讀者諸君に取りては尤も便利のものに候間御入用の方へは御一報次第無料進呈可仕候

▲弊店の特色

として書籍雜誌を問はず悉く郵税無料にして發送の迅速なる事に候間物は試しと云ふ事もあれば一度御試しの程奉願上候

▲新刊書籍

は毎月一回定期として必ず到着致候間新聞雜誌等の廣告にて御覽の書籍は一應弊店に御照介願度候

博文堂

2?0 E. First St. Los Angeles, Cal.
電話エフ二五九五



魚伊太　アピセロで御座います　毎度御ひいき有難うございます　遠國へ御出張の折にもお送り致します　米荷造りで御用命にあづかり升

JOSEPH APICELLO
NEW YORK

FAR EAST TEA GARDEN
Chinese Restaurant
Broadway & 58th St
Phone 2472 Col.

（支）（那）（料）（理）
（風）（味）（佳）（良）

遠東茶園
西五十九街

御下宿　中川
チエリー街一四七半
Chas Nakagawa
Phone 1818 Orchard

齒科

治療時間　自午前八時至十二時　自午後二時至五時

齒科醫　伊與田清吾

68 W. 105TH. CITY
Bet Columbus & Manhattan Ave
Tel River side 9593

御下宿　中島實
Phone 2098 Harlem

日本人職業周旋所
貸室あり
紐育レキシントン街百十一番
森喜代治

藤井旅館支店
ホテルタコマ
當シャトル市御着の御方の御便宜に御取扱可申上候

M. M. SAKANO, Tailor
With J. L. TAYLOR
693 Broadway New York City
Near 4th St.　Phone 8400 Spring

從來の場所手狹に就き上記の處に移轉致し從前の通り營業仕候間倍舊の御引立被下度奉希上候



ニューヨーク市ブロードウエー
坂野洋服調進所

S. YANO

美味精撰　支那料理
萬雲里酒樓
特に日本人諸君ノ御贔負ニ預リ度候
CHINESE DELMONICO
24 Pell Street N. Y. City

謹告

今般東京審美書院出版に係る眞色寫眞版（畫帖、卷物、掛物、一枚摺）多數着荷仕候、以上は悉く社寺貴紳の寶物、富豪貴紳の秘藏品を手こせる日本古來の稀有傑作品にて數年前來歐米の美術界に大好評を博したるもの、今回初めて當國に於て試賣致候間不拘多少御用命奉願上候尚取次販賣御希望の方は御相談被下度相當の口錢支拂可申候

御用　宮内省　文部省　内務省　東京美術學校

株式會社　審美書院
米國總一手販賣特約店
關根商會
The I. Sekine Co. 5?? Broadway N. Y. C.

TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO
FIFTH AVENUE
NEW YORK

菊地寫眞館

Phone Gramercy

美味にして清潔
御料理　品南樓
午前十時より午後　時迄

東京館

一切諸君の御便宜を謀り左記の處に營業仕候間御引立の程奉希上候

中原　　　總代

Japanese Boarding House
Phone

御料理　横濱館
紐育市レキシントンアベニュー一六六七
電話ハーレム六二〇

紐育の日本人（上）

▲新年號の準備の為め始末する新年[illegible]本號は[illegible]が[illegible]を[illegible]代へた[illegible]今日乃公[illegible]大いに[illegible]る所あり[illegible]後テキ[illegible]面を取つて[illegible]

[illegible]

●下宿屋と家内勞働者

▲[illegible]、フルックリン[illegible]を合せて料理[illegible]家が約廿四五軒[illegible]、此中料理専門に行る[illegible]一つを兼業[illegible]

[illegible]家内勞働者である

▲前にも述べた如[illegible]人の出[illegible]人が頻繁であるから解雇された者や[illegible]めた者が次のジョップを[illegible]する所がなくては[illegible]ない、[illegible]勞働者中比較的眞面目なもの[illegible]宗教熱心の者は各教會の[illegible]は青年會に行き、[illegible]集會等の儀式を面倒臭いと思つ[illegible]自由な生活を望む者は下宿屋に集[illegible]。併し斯ういふからといつて何[illegible]も教會に集まる日本人が總て眞面目[illegible]で下宿屋に行く者は不眞面目といふ[illegible]ではない、ドーセ動物の[illegible]たる人間の事だから教會には僞善者もあるだらうし又下宿屋に澤山の善人は居るに違いない、僕の意味する所は只比較の問題だ

▲夫から下宿屋は單に勞働者が寄宿[illegible]まりをする所のみでなく市内各所に働いて居る者が一週一日の休暇を[illegible]つて居る[illegible]

僕は此二文字を[illegible]に在[illegible]青年[illegible]の底から氣の毒に[illegible]然らば[illegible]

●家内勞働者の[illegible]

▲なるものは[illegible]天下御[illegible]るに[illegible]めになると飲む買ふ打つの三拍子を[illegible]ね備へた御大將と來るか[illegible]ないのだ

▲嚴格な家庭にあつて浮世の荒波に[illegible]つて[illegible]が丸で[illegible]の目から[illegible]青年は[illegible]

●[illegible]（戀愛）[illegible]

大正三年春三月

[illegible]の月[illegible]は自外の[illegible]故國の惨事[illegible]新聞紙、文字皆な火山[illegible]に紙は焼かれる[illegible]活字は[illegible]一時に[illegible]熱火の[illegible]も野も焼く[illegible]脈々は炎と熔へて家も野も焼く[illegible]島民二万一里の海を越へて逃がるゝに海も沸く飛塵の熱[illegible]に迫る火に後ろ髪[illegible]迷ひ走る黒煙裏老幼の影[illegible]射る地雷赤[illegible]の光りと住み馴れし櫻島山神代より懸れる雲の動くともなく太古の態に[illegible]かにも相和して耕やしゝ物を嗚呼地上人間何處か安き民[illegible]て凍る北海と北陸の野に願はくは吾が想像よ過らざれ[illegible]今[illegible]降る[illegible]只だ北邊りに落ちて彼の地の民に太陽の暖き[illegible]を[illegible]汗すれば宰相憂ふとか蒼生色無き國の政事に[illegible]ねて到る斯の[illegible]只だ天と云はじ專權[illegible]を知らぬ[illegible]

●外人崇拜者の[illegible]

▲[illegible]和家[illegible]外人[illegible]者の出たが名を[illegible]長すると[illegible]つめた本名は[illegible]スタヒーヤン[illegible]

▲[illegible]は洗ふ[illegible]大陸的な[illegible]花と吹いた海山千年の[illegible]い[illegible]を以て[illegible]北京[illegible]に[illegible]露、[illegible]

●投書籠

▲現[illegible]

[illegible]イカラな先生だと[illegible]

[illegible]▲日本[illegible]日本の外交官に[illegible]外務省に[illegible]

京[illegible]人[illegible]ドン／＼節が來た、御師[illegible]は松本文[illegible]、林工學士等の名士も弟子の中でも君んと[illegible]隊長などは中々上手しやさかい[illegible]紹介しや[illegible]

[illegible]節が古くなつたら今度は東[illegible]で、行くのはれ[illegible]やなんか、[illegible]賣られて行く[illegible]なト、さん、御無事で又カヽさんも共に御無事で折々は便りを[illegible]せたもドン／＼

見たか、見ましたか名古屋の城を五重やぐらの[illegible]に金のしやちほこ[illegible]鳴らし、ドン／＼

人は、一代名は末代、流れも清き[illegible]澤の飯盛山上の花紅葉、十有九人の少年が心を合せて國のため、君の爲めと[illegible]身を思へば我れや若松の雪にも折れぬますらをの赤き心をます鏡ドン／＼

[illegible]節は至つて[illegible]オゴレ[illegible]小僧▲オイセコン[illegible]非常に憤慨し[illegible]たは先生は[illegible]から御用心々々[illegible]

●御下宿　青年舘

[illegible]會は當に會[illegible]館を創立致候へ共當舘に左の名稱の下に從前の通り丁寧親切を旨とし營業仕候間何卒御引立の程奉希上候

レキシントン街七百九十八番

大井田賴次

[illegible]

●農業家の好機　會

國中西部に於ける諸種事業の發達は實に可驚長足の進歩を示したる結果勞働者の需要俄然激増して、[illegible]五年前の二倍となり[illegible]一週五弗といふ高給を得る有様なれば純粹の勞働者は一ケ年に

八百弗乃至一千弗を貯

[illegible]入國者少なきと獨立企業家の多きため勞働者の供給不足なるを遺憾とする位なり、且農業希望者は米國人の銀行より收獲に對する[illegible]以上の

低利資本金を融通し得べし

現に昨年の如き[illegible]農業家は無資本の小作法にて

數千弗の純益

を收めたり本年も豐作の見込にて良好なる土地數多あり、農業に成功せんとする人は此好機を逸せず調査通信費金貳弗を添へ左へ照會あるべし

Mr. H. Y. Takahashi

[illegible] labor contractor and [illegible]

[illegible]

P. O. Box [illegible] Denver, Colorado

WM. A. BROWN & CO.

CUSTOMS BROKERS

17 STATE ST.

N. Y. [illegible]

稅關事務一切取扱申候

Phone Broad 1228-1229 1232

▲ニューヨーク生命保險會社▼

特別代理人

早川保次郎

Room 1[illegible] Singer Building

149 Broadway, N. Y. City

Tel. 4900 Franklin

○和洋服裁縫○

御婦人用洋服一切、男女用和服一切迅速丁寧に調製仕候

山田華[illegible]

[illegible] St. City Tel. [illegible]

好望なる貸地

▲人物の如何によりては相當の資本を貸與す

▲場所はデラウエヤ河の上流にて產出物を大都會に送る便宜多し、一名に二三英町以上貸與し、リースは三年或は五年にても可なり、若し買取希望の人には一英町廿五弗より百五十弗迄にて多少に不拘賣渡す、農具は相談により貸與し、果樹植付、養鶏、蜜蜂飼養、養豚、乳牛等に關する實地の經驗を教授す可し、又土地はイチゴ栽培に適す　養鶏希望者にはインキユベーターを貸與す　希望者は新報社へ申込みあれ

日本人職業周旋所

ニューヨーク市第六街八四四番電話ブライアント七七〇九

主任　谷政之助



御下宿開業廣告

私儀今般左記の所に於て新たに御下宿開業仕り萬事親切丁寧を旨とし大勉強仕候間何卒御引立の程奉希上候

市俄古市カッテージグローブ街二四二六

日の出舘事　三河爲吉

London Tame[illegible]

2426 Cottage Grove Ave

Chicago, Ill.

米國唯一評論雜誌

日本人

▲毎月十日發行　一部拾仙

The Nippon-Jin Sha

Greenwich, Conn.



新開業

○鍋類すき燒

○うばしる粉

○れすし

正午十二時より夜十二時まで

井づゝ

紐育東五十九丁目三百二十八番

電話プラザ　五八[illegible]六

日本御料理

今回左記の處に[illegible]料理店開業仕り精々大勉强可致候間振々御光來[illegible]奉願上候

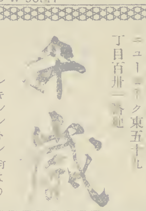
▲鰻かば燒　▲手打そば　▲[illegible]

▲其他何でも御注文に應じます

ニューヨーク東五十九丁目百卅[illegible]

レキシントン街より三軒目二階

電話プラザー[illegible]参三九



日本雜貨卸し賣

商品日錄御望次第無代進呈

市俄古市

瀧藤小川商店

TAKITO (OGAWA) & Co.

82[illegible] W. Madison St. Chicago, Ill.

COX & RAFFERTY

25 Park Place N. Y.

MORIMURA BROS

日本雜貨及リ子ン類



森村ブラザース

メール注文は特に丁寧に取扱ひ精々勉強可仕候

Tel. 3810 Gr[illegible]y

546-548 Fifth Ave[illegible] N.Y.

ドクター村瀨九郎

齒科醫　岡田滿

紐育市レキシントン八十六番（廿六丁目ト廿七丁目ノ間）

96 Lexington Ave. N. Y. City

Tel 4518 Madison Sq.

閑靜にして清潔なる

▲貸室▼但し湯殿附

Mrs. Yoshino

13[illegible] Lawrence St. City

(Cor. of W. 129th St.) Tel 3972 Morningside

Tel. 4926 Plaza

4[illegible] East 57th St

N. Y. C.

在留青年唯一の機關

日本人青年會

圖書館、運動部

日曜講演談話會

進歩青年理想の團體

本日△陶磁器及雜貨

卸販賣精々勉强可仕候

多治見商會

THE TAJIMI CO.

[illegible] Broadway, N. Y.

Tel. 6891 Spring

12[illegible] W. 123 St.

N. Y. C.

Tel. 7154 Morningside

會席御料理　若松

新育百二十三丁目西百三十九

電話モーニングサイド七一五四



68 W. 38TH ST. N. Y.

PHONE GREELEY [illegible]

佐々洋服店

冬服並に外套御注文被下ませんか最新流行の地並仕立は御承知の通り確實で廿弗以上です

TheF. B. Q. Tailoring CO.

409 Lafayette Street

near ASTOR PLACE

New York

弊店は米國最大の洋服店にして特に日本人諸君のために日本人のセールスマンを雇ひ居りますから諸君の御注文に對し特別の注意を致します

品質の上等なると仕立の入念なるとは弊店の特点であります

スート　二十弗以上

オバーコート　二十弗以上

燕尾服　[illegible]十弗以上

ピエノ ビーキュー洋服店

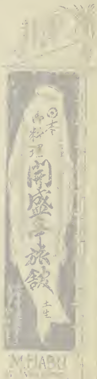
支店

日本食料品何でも有ます

ボストン

2[illegible] Winthrop St., Charlestown Mass

Tel. [illegible]



BERLITZ SCHOOL OF LANGUAGES

Madison Sq. 1122 Broadway

Harlem Branch 343 Lenox Ave

[illegible] 57th Street

[illegible]

全國に於ける[illegible]ベルリッツ語學校[illegible]月謝は至て廉なり、何時にても入學を許す[illegible]

ALBANY RETAURANT

114 W. 14th ST.

アルバニー洋食店

ニューヨーク市十四町目百十四番

藤田洋食店

御下宿　吉田

[illegible] Lexington Ave. N. Y. City

Telephone Plaza [illegible]

▲●球場あり●

NO. 1?3 VOL. ?

The Japanese Times

SATURDAY Feb. 7th 1914

紐育新報

早く南に進め

不幸なる亞細亞人排斥法案は去二日米國下院に於て可決されたり、吾人は[illegible]氏が當時異役の觀念を去り、審く日米關係の大局より打算して一部政客の野心に乘ぜらるゝとなかりしを賀せずんば非ず、然りと雖も吾人は仔細に事の由來を熟思するに當り米國の朝野に瀰まる排日の氣勢が日を追ひ月を重ぬるに隨ひて益々其勢力を逞うせんとするの傾向あるを悲しまざる能はず

試みに該案否決當時に於ける議會の模樣を見れば該法案の通過は目下進行中なる日米兩國間の交渉に甚だしき障碍を與へ、日本國民の憤慨を買ひ兩國間の國際關係をして益々危險に陥入らしむるが故に否決すべしといふに歸着す、即ち該排斥法案の不法不當を難じて之を否決すべしと爲す者一人もなく、政策上便宜の爲め暫く之を否決し置くを可しと爲すにありし事は當時に於ける名士の演説に徴しても之を知るを得べく就中ディリンカム移民法案と殆んど其内容を同うせると稱せらるゝ移民法案の提出者にして亞細亞人排斥案に反對せるバーネット氏が加州議員への氏の質問に答へて「余も亞細亞人の絶對的排斥には贊成なれども一」と明言せしが如き、或は今期議會に提出されたる十六件の移民法案中排有色人種の意を含まざるもの少きに徴すれは如何に米國の議會が東洋人乃至日本人の排斥に腐心しつゝあるかを察するに足らずや、米國民の代表者たる議會の態度既に此の如し如何に粉飾外交の「親善關係」一時を糊塗せんと試むるもペードエゼント者流の筆舌に依賴して土地案の廢棄を畫せんとするも將又テストケース、宗教的平和等の手ぬるき手段によりて吾邦人の歸化權獲得を成就せんとするも事既に望み薄く、況んや米國政府の所謂誠意なるものに信頼して事毎に其要求する所となるが如きとあらんか之則ち流星光底長蛇を逸するもの[illegible]悔ゆ遂に及ぶべからざるものあらん

吾人の觀る所を以てすれば此際此時吾國民の西半球大陸に向つて行ふべき緊急要策は從來の遠慮政策、圓滿[illegible]來主義を放擲し、北米、加奈陀に對しては保守的態度を以て既得の利權を維持するに止め、墨國以南の諸國に向つては、東北西南の罹災民は元より就職難に窮せる無數の青年を放つて、驀進長驅、大ひに吾日東民族の膨脹繁殖を圖り、同時に太平洋沿岸の一角に吾勢力範圍を作り以て來る可き百年後の長計に備ふるに在り、左れば米國内に在りて志を得ず恨を呑んで廚房に泣きつゝある青年の如きは須らく吾人の北守南進策を諒とし不平不滿の奴隷生活より脱出して更に南方の天地に各自の新運命を開拓するに在るなり、大方の諸氏以て如何となす。

●理想外交の弊

卓郎

▲大統領ウキルソン氏の對墨政策も御本人の御意見より觀れば先づ〳〵可なりに有之候はんが吾々の觀る所を以てすれば愈々出でゝ益々拙なるの感有之候、内政干渉、餓鬼政策奏功捗々しからざる所より今度は武器輸出解禁を以て憲政軍別名山賊軍擁護政策と出掛け候、此次ぎ鬼が出るか蛇か出るか解らず、御蔭を以て塗炭の苦に泣く者は憐れなる墨國の民に有之候

▲ウ氏はウエルタさへ行つ付くれば墨國に於て公平なる選擧を行ふとが出來ると信じ居候、否今となつては然う許りとも思はれねど行懸り上從來の方針を變へるも何だか嫌やな心持が致すのも無理ならず候、兎に角世の中は成るやうにしか成らず、無理が通れば道理が引込むとに候

▲武器輸出解禁、首尾能く効を奏しウエルタ將軍愈々沒落となれば憲政軍の大將カランザ代つて大統領となり、山賊の頭より常勝軍の隊長に化けたブイラが陸軍總督となつて兵權を掌握す可く其の幕はカランザとブイラとの權勢爭奪、革命蜂起、各國動亂となつて西半球の支那を再演可致は必定と存候

▲由來理想主義の政治家は議論に糊着して實際に遠かるの傾きありウ氏の如きは本來が學者丈にチャスチース、プリンシプルなど云ふ言葉を使ひ度がり、叛亂相次ぐ國民の文化の程度奈何を察せずして米國の共和政治は之を西藏に行ふも蒙古に行ふも到處可ならざるなしと思ひ居るやう相見へ申候

▲殺伐劫掠を喜ぶ未開野蠻の人間を取締るに最も必要なる人物は所謂ストロングハンドの豪傑に候、權利義務の何物たるやを解せざる愚衆は公平選擧だとか、正義公道だとか申したりとて何の役にも立ち不申、却つて一部野心家の不平を爆發せしむる結果を生ずると現在墨國の狀態が明かに之を證明致し居り候

▲夫に付けても墨國の山賊黨共が勝を制して一時政權を握る事とならば日墨關係は如何に成り行く可きか、小生の考を以てすれば日本は他列强と相談してドチラが勝ても都合よきやうに計ひ置き例令何度墨政府が變つても大局より見たる吾民族の發展に差支へなきやう機敏の所置を爲す事肝要に存候以上

●バーネット移民案可決

一日議會を通過したるも時の大統領タフト氏の否認する所となりたるディリンガム移民排斥案と殆んど其性質を同うせりと稱せらるゝバーネット移民法案は去四日下院を通過し直ちに上院に廻附せられたるが今日の形勢より觀れば多分上院を通過し大統領の署名を求むるの運びに至る可き模樣なり、此移民法案の條項中特に注意すべき點は「十六歲以上の外國人にして英語若くは或他の國語を讀み能はざる者は入國する能はず」と爲すものにして若し此法律が實施せらるゝ事とならば第一に打擊を受くる移民は比較的無教育者多き露國及伊國人なるべし更に吾日本人に對して如何なる影響あるべきやと云ふに提出當時のバ案中には

「市民權なき外國人は入國を禁ず」

但條約又はアグリーメントに於て特別の規約あるものは此限りに非ず」とする條項ありしが若し此條項保存しありとすれば全然加州土地法と其性質を同うせる日本人排斥法なり、勿論記者は該法案を入手したる上ならでは右條項の有無を判じ難きも或人は日米兩國間の國交を阻害すべき亞細亞人排斥案の否決せられたる今日全然同性質の條件を含める排斥案が通過する譯なし多分右條約は削除しあるべしと云ひ又或人は斯の如き重要なる條項を削除せるものとすれば華府電報に何等かの記載無かる可らずと疑ひ居れり何れ確報を待つて更に報導する處あるべし

●亞細亞人排斥案否決　[illegible]武雷女氏の警告其効を奏し去三日の米國議會下院は加州議員レーカー、ヘーリー兩氏の提出にかゝる同修正案を大多數にて否決せり

●布哇出生兒に市民權なし

布哇領内に居住する外國人の父母の間に生れたる子女は單に市民權を得べき確證として米國領土内に出生したりと云ふ地方廳の證明書を有するのみなるにより生れながらにして市民權を有するに非ず從つて米國市民として本國の諸港より入國する能はずとの法律解釋にて卅日華府當局より布哇縣書記長官モツトー、スミス氏に宛て新通牒ありたり

領土内の出生證明書は布哇合併以來下附されしものにて過去十年間の下附數は支那人の兒女約一千名と日本人の子女六千名以上に達したるが諸外國人を合算するに於ては總數二萬人に達すべく其約半數たる東洋人の子女約一萬人は悉く市民權を有せざる事となるべし

●武器輸出解禁　米國より墨國へ武器の輸出を禁ずとする法律は一昨年三月十四日米國議會にて決議せるものなるが大統領ウ氏は對墨政策上憲政軍を補助するの必要を認め去三日武器輸出解禁の宣言を發せり、其結果として墨都に排米騷動あるやも知れずと豫想されしも今日迄何等の異變なし

●ウエルタ氏不屈　別項武器輸出解禁に就き當地の各新聞紙は直ちに電報を發して墨國大統領の意見を求めしに對しウエルタ將軍は返電して曰く「御尋ねの件に關し余は此際何等の意見を述べざるべし、只吾政府は現在の常備軍十八万九千の外更に新兵五萬を增加し直ちに北部に於ける叛軍の討伐を開始し貴國の新聞通信員十名の觀戰を請ふて公平なる批判に訴ふべし云々

●亞細亞人排斥案否決と新聞　亞細亞人排斥案の否決に對し當地のサン、タイムス、ヘラルド其他の諸新聞紙は筆を揃へて議會の態度を稱揚し是れ米國人の純潔なる愛國心を表明せるものなりと評せり

●珍田大使の辯明　日本政府が墨國政府を援けたりとの世評に關し珍田大使は去二日武氏を訪ふて事實無根の旨を明かにせり

●ギユリック博士の移民制限意見　京都帝大教授シドニー、エル、ギユリック博士は過日大統領並に國務長官を訪ひ左の移民制限意見を提供し華府政府は直ちに之を議會の移民部委員に通送せる由なり

一、將來入國せしむべき移民の數は現在歸化したる者及び米國出生兒の總數の百分の五を一年間の限度とす、尤も此數は北歐の移民に適應し南東歐州移民は此數以下に切下げ僅少なる東洋移民の入國を許すこと

一、移民法に人種的差別を置かず以て外國政府を滿足せしむべき事

ギ博士は尚附言して曰く百分の五移民制限は米國が十分に外來移民を同化し得べき程度以上に移民を爲さしめざる良法にして亦日米問題解決の捷徑なりと云へり

●又も例の伯林電報　日米間の紛議[illegible]世上に傳はる度毎に例の如く[illegible]出でゝ兩國民の感情を害せんと試むる者は例の伯林電報なり去三日獨逸[illegible]電に曰く、日本の陸海軍當局に對し獨逸は最も嚴密なる注意を拂ひ居れるが[illegible]膠州灣の將來が日本の野心と深き關係ある事を知るが故なり、英國は[illegible]東洋に於ける兩國の友交益々密接を要するや論を待たず云々、右等の事に對し米國當路者の一部は不[illegible]同電報に見えたり

●米國女權黨員[illegible]　[illegible]米國女權黨員[illegible]は去月廿九日カンタ[illegible]僧正[illegible]黨員入[illegible]に強制飲食を[illegible]意見を求め[illegible]會見を謝絶し[illegible]遂に代表者一名に面會[illegible]時は中々に騒擾を極め[illegible]の肩に擔がれながら[illegible]手を振り[illegible]かして始末に[illegible]へざる[illegible]女史もありしと

●自動車及電車往生の數　一年三百[illegible]名　當地道路保護協會の報告に依れば本年一月中當市内に於ける輪車の犠牲の數は[illegible]四十四名の内子供十八にて自動車往生を遂げたる者十八名内子供十二名電車に敷かれ死したる者十一なり次に自動車のため重傷を蒙りたる者十一月中に七十二名あり、新育市外に於ける死者は一月中自動車五電車一なりと更に過去四年間に於ける市内に於ける死傷を示せば自動車の死傷七百七十七電車四百九十九荷車七百三十にして之に自動車の爲めに死傷する者は年々增加の傾きあるも加害者の處罰數は至つて少なく制裁上實に看過す可らざる所なるを以て近く嚴重なる取締法を制定すべく有志家は運動中なり

●新育市官金預金と市内銀行　從來市内各銀行は新育市の官金預金に對し年二分の割にて金利を支拂ひ居たらが競爭の結果遂に年三分の利を附するに至りしとれか爲め市は年十三萬弗の利益を得べしと云ふ

●三百人の米國女權黨員白舘に押寄す　米國女權黨の幹部連は三百人の婦人勞働者を隨へ去二日白舘に大統領ウキルソン氏を訪ひて憲法改正の婦人投票に關し大ひに氣焰を吐きたるがウキルソン氏は現今の地位上斯る運動に援助する能はずと撥ねつけたりと

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
258 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879.

育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗

千九百十一年六月廿四日郵政院認可

發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　新育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

東京電報

●海上の大噴火

小笠原島の南方硫黄島の東約三里の海上に去廿三日以來盛んに噴火し居りたるが廿五日午後に至り高さ一千尺周圍二里餘の新島湧出で今尚猛烈なる勢を以て噴火中なりとの報ありたり

●新島續出別報　櫻島の噴火麑島の震災取調べのため政府より派遣されたる専門家の報告に依れば麑島灣内に高さ一千尺周圍四哩に亘る新島湧出今尚増大しつゝありと

●二重國籍問題　岡崎久次郎氏の土地問題に關する質問に對し牧野外相は土地問題に關しては今尚交渉中なりと答へ更に同氏の在米同胞兒女二重國籍問題に關する質問に對し外相は多分次期議會までには之に關する法案を作制する手筈なりと答へたり

●輸入禁止問題　牧野外相が對米問題に關する答辯の中には尚下の如き一節ありたり曰く、米國に關する問題に就ては何他にも交渉中のものあり例へば十四才以下の勞働者に依りて製作されたる物品の輸入を禁ずと云ふ法案の如きに對しても帝國政府は現行條約に違反すと認め交渉せり云々

●桑博賛同確定　日本政府にては桑港大博覧會に賛同の方針を確定し東京商業會議所中野武營氏に内意を傳へたり農商務省よりは追つて出品の勸誘をなすべし

●海軍收賄事件　海軍の醜聞事件に關して衆議院本會議に於て花井卓藏島田三郎尾崎行雄氏等質問を發し山本首相を始め齋藤海相及奥田氏等の答辯ありたり海軍省にては前のロイテル通信のブレイ氏を取調べ、海軍省にては松村氏以下十八を調査委員に任命して調査せり

●米富豪の義捐金　米國富豪ロックフェラー氏の羅災民救濟金二万圓到着せり

●東北の餓死者　櫻島の噴火にて死したるもの廿五名なれども東北青森邊にては饑饉のため餓死する者頻々たり

●減税の大運動　減税運動は勢力次第に増大し一時曖昧なりし商業會議所亦起つて全國聯合商業會議所大會を開き一大運動を起さんと計畫し居れり

●各大臣と救濟會　東北飢饉及噴火地羅災者救濟方法を相談せんため帝國ホテルに於て同會主催の午餐會を開きたるに山本首相以下各大臣も臨席したり席上協議の末十萬の慰問袋を作り之に諸種の救助品を入れて羅災者に分つ事に決したり、救濟寄附金の申込に既に六十萬圓に達したり

●京大紛擾落着　大學教授の任免は教授會の協議に附すべしとの意見を以て澤柳総長と確執を生じ総辭職を爲したる京大法科教授等は穂積富井兩博士の調訂により意思疎通し今週より出勤授業する事となれり

●海軍將官收賄事件詳報　豫算會議に於て立憲同志會所屬の島田三郎氏は「獨逸の電氣會社より購入せる物品に就き帝國海軍部内にて收賄せし事實」に關して質問を發し齋藤海軍大臣に向つて直ちに事實の調査をなさん事を請求せり

事件の發端はセーメンス、ユカアト電氣商會東京支店にて使用せる前ステノグラファーが店員の親展書を切取したる刑事々件に關し先週水曜日伯林裁判所にて裁判開廷され同法廷にて一通の書を公表されたる結果前伯林大使館附武官たりし海軍中將藤井較一が各種の購入品よりコムミッションを着服せし事明瞭となり事實の顛末が直ちに東京に向けて電報せられたる爲めなり

島田氏は同質問の際海軍將官にしてコムミッション着服の嫌疑ある者外にも少からずと爲し其辯明としては軍艦注文の書類一切を公表すべしとし請求し特に獨逸商會と取引交渉の任に當りし海軍將校の姓名一切を公表すべしと要求したるが海相齋藤氏は島田氏の質問に對し以上の流説一切を全然否認し海軍部内には斯くの如き不正事件なきを明言し尚直ちに調査を開始し事實一切を判明せしむべしと答辯せり

日本最近信

●櫻島の説明

櫻島は麑島灣中に屹立せる火山群島の一島にして周圍十里、町東櫻島西櫻島の二村あり戸數二千二百餘を有し中央に御嶽山あり三座の噴火口より成る、北なるを北岳南なるを南岳と呼び其中間なるを假に中岳とす、北岳直立の高さ二千六百三十六尺其山骨は主として黒色の輝石安山岩より成る中岳の舊噴火口の周圍約二千六百四十尺今は全く消滅に歸せり、其南壁に接し尚大なる噴火口を有するものは南岳にして俗に燃鉢と稱す安永八年破裂噴火せしものにして今猶硫煙を噴けるが勢甚だ強からず、其孔の内海斷崖壁立し底深くして降るべからず周圍約六千六百尺中岳の舊噴火口より北に一溪を隔てゝ北岳あり消滅せる噴火口を抱けり大略中岳のものに等し、此火山に異變ありし事の史上に記載せらるゝは和銅元年に隅州向島湧出す（但し元は同嶋大隅に屬し向島と稱す）とあるを始めとし大保初年迄に廿四回とす其の破裂最も大に災害の極めて甚だしかりしを安永八年とし燒死九千六百人牛馬二千八百頭田園家屋の損害夥しかりしと云ふ

●日本文のたいぷらいたー　タイプライターを日本文に應用したしと邦人中苦心せる者少からざりしも何分日本文字は其數多く之を適用するは難事にして未だ成功するに至らざりしが今般福井縣久留米の人酒井安治郎氏は多年苦心研究の結果成案を得今回日本字のタイプライターの特許を得たり同機は日本文即ち漢字及び假名を印書し得るは勿論支那文にも適用し得るものにして其構造は洋字タイプライターに比し相違の點少からざるも大体に於て同一のものなりと因に同氏は若冠渡米しカリホルニア州の電氣工學を修め卒業後ペンシルバニア州の電氣會社に勤務する事八年其の間單相電動機及び水銀蒸氣の應用に關し米國政府の特許を受けしもの六件ありと

●恩給令改正案要旨　國民黨にては今期議會に對し文武官恩給令改正案を提出せんとて目下頻に調査中なるが其要旨は我國文武官の恩給額は二千万圓の多きに達し而も是等受恩給者には市長助役局長等自治体の高級吏員あり特種保護銀行會社の總裁社長重役等もありて何れも多額の俸給交際費を受け收入多きに過ぐるの嫌あり勿論恩給は勤勞に對する國家の報酬にして之を受くるは個人の權利に屬し且つ俸給と恩給とは其性質を異にするも官吏にして代議士に選擧せられたる場合の如き俸給と歳費とを比較し其多きに從ひて給與さる規定にて苟くも身公職に在る者に對しては決して重複給與せざるものなるに獨り自治体の公吏並に社團法人たる銀行會社の重役等多額の受給者に對し恩給を支給するが如きは甚だ偏頗の法令たるを免れず故に是等の者に對しては須らく特例を設け就職中は恩給を停止し國家の支出を減少すると同時に該金を以て民力を休養すべき生産的事業勃興に資するを有利なりとす又受恩給の資格を文官十五年武官十一年と規定せるは武官は一朝國家有事の秋に際し文官に比し勤勞多く身命を犧牲に供せざるべからざるを以て特に優遇の意味よりなるべきも尚軍人には出征したる場合に戰時加算ありて一ヶ年出征せば三年に計上するが如き文官に比し甚だ懸隔あり戰時加算を廢止するを至當なりとするに在り

●淺香克孝氏逝去　前衆議院議員なる同氏は一月五日病を以て逝けり

●同志社々長原田助氏母堂逝去　一月九日京都にて死去享年七十八歳

●片岡直輝夫人逝去　大坂瓦斯會社長片岡夫人俊衛子（五十二）は一月十日逝去せり

●生ながら火葬　福岡縣鞍手郡古月村の伊藏覺然は大變な大師ごりの爲め財産を無くしたる男なるが一月九日夜村の畑中に薪を積み重ねて火をつけ火中に横はりたる儘泰然として黒焼となつて自殺を遂げたり死後人手を借かぬやう自ら火葬したるつもりならんといへり

麑島縣人に告ぐ

麑島の大噴火は近來稀有の大慘事にして羅災民に對する内外の同情翕然として集まり、既に各方面に醵金義捐の企あるが、吾等同縣人は此際袖手默視するに忍びず、不肖等敢て發起人となり汎く在留同縣人諸有志より義捐金を募集し以て同縣人の義務を盡くし羅災民に對し同情の微意を表せんとす、願くは一夕の飲を廢して御出金あらん事を

▲原籍明記の事

送金所　紐育市西四十四丁目七十七番　四本俊行事務所

發起人　四本俊行　井口眞一郎　彼江野喜之亟　伊[illegible]田喜之助

其後の飢饉噴火寄附金

五弗宛北嶋孫彌太　桑山清五郎　松本三郎　齊藤新發田　山村某　河本米吉、三弗宛釜我卯之助　峰守八　山城大一　大野惣三郎、二弗　正木長之助　以上集金人費府北嶋孫彌太、拾弗岩井松太郎　七弗酒白景光　五弗五十仙米谷レン子　二弗五十仙宛　エス近[illegible]佐々木虎次ロ　別庄某、二弗宛　黒川田某　ユー胡、一弗宛　大寺三次郎　福源一郎　吉野セツ子　別庄リツ子　[illegible]住牛藏、以上集金人費府米谷レン子　貳拾五弗　宮永新次郎　拾弗宛　瀬古孝之助　藤田良吉　神崎喜四ロ　葛西文吉　手塚國一　田中實　地主延之助　高見豊彦　高見ソナ子　京都工商會社　井清百造　島田友之助、六弗田宮勝治ロ、五弗宛　山口岩三郎　酒井隼雄　足達竹馬　天野重次　白木力太ロ　柳原資丕　井上熊三郎　川戸州造　竹中チバ、三弗宛　守岡多仲　一色虎男　高木舜三　竹中松太郎　坂野新次ロ　武田清三ロ　織田寛　古崎彊　山下直次　荒川哲二ロ、一弗五十仙　高見タカ子　高見政彦、二弗宛　井上信手島知傾　田嶋繁二　田中敬次ロ　谷川正　八巻泰助　新谷彌穂意知　海[illegible]富造　佐藤清　本田錠太ロ　鳥越保　森本利三郎　前川謙三　御園ハマ子　御園イマ　櫻井孝次ロ　小林彦五ロ　久住久吉　中原敦忠、一弗宛　笹山眞一　鍋田末吾　野村駿吉　矢嶋房修　青木[illegible]堂　野村道弘　手嶋貞隆　竹田正三ロ　安田辱次ロ　一宮銀生　藤山九一　大野敬吉　永嶋政太ロ　中田時一ロ　原清一　山崎雄二　大塲武治ロ　吉田初二ロ　大橋貞利　野田一ロ　安本鶉飼　太田良賓　坂井誠之　平井　森高龜吉　高柳[illegible]太ロ　西嶋清　岩田末太ロ　森本武市　塚本寮一　大平甲子太ロ　吉川龍吉　[illegible]德次ロ　一學僕生　中村類藏　木村義[illegible]知　赤松某　宮崎憲太ロ　[illegible]松孫市　鞭馬健之助　鈴木洗二　大塚節ロ　戸田金作　玉川松雄　大堀篤　大塚サキ　吉澤幸次ロ　組谷貞次ロ　松田新右エ門　柳澤爾　齋藤衛平　荻晋一　鬼塚金樹　今井清三　渡邊一男　岩崎増造　雨宮要生　魚谷　松田太市　藤井梅松　木村武次ロ　小林彦次ロ　若林彦助　高木嘉久治　後藤七[illegible]　合田金次ロ　廿五仙中村卓造

新育日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
シャトル丸	タコマ	一月廿八日
チャイナ	桑港	同　三十日
横濱丸	沙港	二月　五日
メキシコ丸	タコマ	二月十一日
モンテグロ	晩香波	同　十四日

●日本より到着日

一月廿九日	同　卅一日
二月　四日	同　七日
同　十一日	同　十二日
同　十六日	同　十八日

●桑博參加愈々決定　久しく贊不贊の聲喧しかりしが去二日發の東京電報に依れば吾政府に於ては愈々贊同と確定し同日之を公表したりと

●岡山孤兒院々長逝去　岡山孤兒院長石井十次氏本日逝去せり行年五十歲朝野深く哀悼の意を表せり

●三條公爵薨去　三條公爵本日東京本邸に於て薨去せり

●藤井少將召喚　海軍疑獄調査委員は目下朝鮮に在る艦政本部第四課長藤井少將を召喚し同時に岩崎非職少將の調査を開始

●ブレイ遂に收監　ルーター電報通信員ブレイは海軍疑獄に關し檢事局に召喚せられ嚴重なる審問を受けたるが本日豫審終結し市ケ谷監獄に送られたり

●ブレイ夫人喚問　本日ブレイ夫人を檢事局に召喚ブレイと同時に對決

內國債償還廣告

今般帝國政府に於て臨時事件公債大日本帝國政府特別五分利公債證書の内金壹千万圓也本年二月十二日抽籤執行二月廿四日償還可相成候右當選番號は來る二月廿四日以後當店に就き御承知被成下度又右公債證書所持の御方々の御便宜を計り右二月廿四日以後當店に於て日本向貴券換相場を以て御買受可申候

大正三年二月

橫濱正金銀行

紐育出張所

55 Wall St. New York

審問を爲したるが夫人は其良人の法廷に於て判決せしめらるべしとは豫期せざりしものにて非常に驚愕し且同人の事件の判決に際し夫人は大に悲觀し遂に事件の判決を待たずして自殺を企てたる物音に驚き家人の傳ふる處に依れば夫人は平快迄には約二週間を要すべき重傷を負ひたり傳ふる處に依れば夫人は平素頗る神經過敏の性質なりしと夫人多分自殺を遂げたるべしと東京市に報せらるゝや一般を非常に興奮せしめたり

●秘密書類紛失　風說する所に依れば此疑獄事件起りて以後海軍學校所屬の重要なる秘密書類を紛失したるものありと同日東京發電

●母國商間團員歸着　去四日無事歸着したり尚同一行は翌五日岡野自由亭に於て林氏の慰勞會を催せり

●沈沒同胞　過日モンロー號と共に悲慘なる最後を遂げたる同胞は愛媛縣人岡本重太郎氏にて多年米國海軍省所屬船フランク號に奉職し近々滿期の上は政府より生涯相當の恩給を受くる筈となり居り非常の辛棒家なりし由倘氏の知人なる武市中西氏方よりは態々ノーフォークに人を送り後始末に關し親切に取計ひ居れり氣の毒と云ふべし

●共濟會役員會　墓地規則其他に就き去三日河添旅館に於て熟議せり

▲前列向つて右より　桑山夫人文子　林夫人牧子　一宮夫人操子　天野常子孃　山根夫人　菊地夫人より子　柳澤夫人律子　岩澤孃　天野夫人花子

▲中列向つて右より　鈴木よね子孃　山口夫人ゆき子　霜島夫人　上中夫人八重野子　金原夫人幸子　瀨古夫人とき子　森岡夫人二三子



家永夫人ゆい子　田中初江孃　大木夫人多賀子　伊東夫人みどり子　高木夫人たづを子

▲後列向つて右より　岡野夫人鐵子　須賀夫人駒子　內田薰子孃　矢野夫人　原田喜知子孃　矢島夫人みつ子　一色夫人米子　福井夫人歌子　大堀夫人さく子

●遞信省副事務官山岸氏　は本日歐州より來市

●古川鑛業會社員工學士山田復之助氏　は過日歐州より着暫時滯在の筈

●農商務省技師吉田信一氏　は絹織物業視察として歐州より來着せり

●櫛引弓人氏　六日出發の筈なりしが要件出來のため本日華府に赴き再び歸市、來火曜出發西行

●一宮邸婦人會の寫眞　は左に示す所なるが本日は一同日常洋裝にて出席したる婦人方もあり尚四十七名の出席者中には正裝したる人々なり寫眞は岡田寫眞館の採影にかゝる

●高見ドクター氏の禮拜會　來八日自邸に於て禮拜式を催ふし大堀牧師の說教あり來會を希望すとの事なり

▲米國唯一滑稽雜誌ドンチキ進上　入用の人は郵劵二仙封入本社へ申込めロハでやる

亞市義捐金報告

金拾五弗五十仙　アトランチックシチー日本人會

金拾弗　近藤佐五郎君

金五弗宛　加藤菊次郎君　近藤令夫人　政田龍二君　林鐵次君

金二弗宛　諸川正君　原澤慶藏君　水谷次三君　大谷政吉君　山崎保之助君

金二弗五十仙　吉里米藏君

金一弗宛　內藤勘三郎君　野口啓次郎君　橋本元五郎君　木村武次郎君　大圖堤矩君　內山高次郎君　野口福太郎君　吉田恒七君　吉富宗一郎君　茂木金太郎君　大谷令夫人　加藤令夫人　林令夫人　山田馬輔君

金一弗宛　松田恒次郎君　湊伊兵衛君　橋本令夫人　小谷君　永井君　近藤直枝孃　山田令夫人　手塚半一君

金五十仙宛　中嶋宏君　赤羽雪邦君

合　金壹百弗也

（橫濱正金銀行を經し送金）

右受取を兼ね御報告候也

千九百十四年二月　日

アトランチックシチー日本人會　林　鐵治　手塚半一

櫻島噴火及東北饑饉義捐金募集

東北饑饉及櫻島大噴火は從來故國に起りし變災中最も悲慘を極めたるものにして此際吾等在留同胞が同胞救助方法に關し滿腔の誠意と同情を致すべきは固より當然の義なりと確信致候、依て下記各團体は協議の上在留者諸彥より義捐金を募集する事に決定致候間多少に不拘ニューヨークウォール街五十五番

橫濱正金銀行出張所

The Yokohama Specie Bank

55 Wall St. N. Y. C.

宛にて御送金被下度此段得貴意候也

追て義捐金は便宜上下記各團体へ御送附あるも差支へ無之候

日本人共濟會　基督教修道會　美以教會　新育ミッション　武市基教青年會　日本人青年會　日本人俱樂部　日米週報社　新育新報社

●紐育の日本人（い）

紐井○日生

[illegible]

[illegible]に組織して來たか將た其社會的組織は如何に進歩して來たか退歩して來たかを見る[illegible]なり[illegible]なると思ふから[illegible]に紹介する事とする

▲今より十五六年前の紐育邦人は[illegible]數[illegible]僅かであつたし、社會的秩序も立つて居なかつたから會社員も労働者も一[illegible]混合で互に交際もし娯樂も共にしたものだ、であるから一軒の一軒ある料理店に集つてゲームを行ふこととなると勝負を賭する金高も自然大きく一回の一六勝負が三日五日の間を要した、そしてゲームは手ッ取り早い所の丁半が最も盛んで次は八々であつた、現在相當の地位に達して居る人々の中の或人が其當時一六、五六、五二、四三、赤だ青だと昂つて騒いだ事を想つたならば紐育邦人社會の經濟に對して轉た今昔の感に堪へぬであらう

▲其後六七年を經た頃迄も六に賭する金高は中々大きかつか、之は重もに米國海軍に奉職する司厨が多數であつた譯であるが今日の賭博は所謂[illegible]大したとはない、だが[illegible]の趣味は金の多少に依つて少しも緩らず、五仙賭けるのも百弗賭けるのも[illegible]な所から血氣盛りの青年[illegible]を忘れ、朋友を忘れ、自分自身迄も忘れて熱中する有様は凡で本氣の沙汰とは思はれぬのだ

●母國訪問團の解散に就て（上）

林[illegible]生

▲[illegible]

[illegible]者たる不肖僕の光榮とする所で[illegible]も深く感謝の意を表し置く。

▲人は各自相貌の異なるが如く其智慧行動も亦不同であるから多數の人を集めて同一の軌道を歩ましむる事は到底成し得ざる事で縱つて多くの人を統率する場合には非凡の學識德望を有する者でなければ到底に當つて滿足なる結果を奏する事は出來ない、之を想へば僕の如きは餘りに大膽に過ぎはせなかつたかと思ふ

▲紐育訪問團は幸にして當地を出發してから何等世間の批難を受け又は志の衝突意見の相違より感情を害し相互の間に圓滿を缺ぐなどのトラブル嘗て起らず恰かも骨肉の如く和氣藹々の裡に始終愉快なる旅行を續けにしは一般の讃辭であつたのみならず團員各自も自信して居る所であつて解散の際にも幾度となく斯言は繰返た

▲昨年の十二月下旬であつた、團員の一人なる東氏は在紐育の知人より寄越したるものなりとて日米週報紙に記載された新育訪問團に關する記事「東京便り」の切抜きを以て數十里の所から態々僕の宿所を訪問されたそれから二三日して又團員中村氏は同樣の切抜にパートナーが「東京便り」を見て吾々團体の旅行中に非常なるクラブルがあつたものと想像し嘛迷惑したであらうと云ふ文意の書面迄添へて僕に送つて來た、そして西氏其誰れか通信したものか知らぬが東京便りの記事は全然事實を捏造した中傷的報導であると憤慨し東京會合の際に一同の決議を得て何人が斯る無責任の通信を爲せしものか僕に探究して[illegible]れと云ふ交渉があつた

●（投書欄）●

▲觀光團を迎へに行つた自由[illegible]

[illegible]

▲働口か無いといつて下宿[illegible]勇氣はないかウエルタか成功したら僕に乗つて墨國へ一△を賣りに行く[illegible]連中諸君一番飛行[illegible]（老人）

▲此[illegible]東京を中心とする所謂[illegible]製造家位のもので毎月米國から多額の送金を受ける地方の家族共は茲數年日米戰爭が起らぬように神佛に祈願し[illegible]足參りと云ふ始末だから其一般を察すべし云々（米氣生）

▲此頃のやうに新育の新聞にチャップ[illegible]多い事はない日く日米外交日く無理な中傷く[illegible]そして[illegible]も若々に[illegible]情的の記事はないた互に氣を付けたらよからう　杞憂

▲オイコ[illegible]怪物[illegible]小僧つまらねウン節やドン[illegible]の稽古なんどは如何でもよいから柔術でも勉強して腕ッ節をにしかして置かんと日米戰爭の時に困るぞッ　紐國山濟民寺和尚

NO. 184 VOL. 5　　The Japanese Times　　SATURDAY, Feb. 14th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscriation Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as secod class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

輿論と愚論

世に輿論製造家なる者あり、人民の無智に乘じ巧みに機會を捉へ、殊更に所謂輿論なるものを製造して飯を食ふ、而して野心政客若くは御用商人の徒は一夜造りの輿論を買收し更に之を粉飾して政府攻擊、議員操縱の具に供し私かに以て吾事成れりと爲すも比々皆然らざるなし、米國の曖昧なる政客、軍人等軍艦製造家の手先となりて日米戰爭を呼號するは識者の常に遺憾とする所なるが吾國の輿論製造業者の言動に至つては更に之より甚だしきものあり、高等遊民の輩は自己の聲名を維持して衣食の糧となす必要上常に民力休養を唱へ、外交刷新を叫ぶと雖も是れ畢竟場のステージプラフに過ぎず、苟にも一度び好餌の眼前に横はるを見るや取つて以て政府攻擊の資料となし、自己の野心を遂げんが爲には人を傷け家を燒くも敢て妨げずとなすなり、名聲年と共に淌落せる島田三郎等がケチ臭きコムミッション問題を捉へて大袈裟にも內閣彈劾決議案を提出し無智蒙昧なる愚衆を煽動して迂愚なる名聲挽回策を試みたるが如きは好個の適例と爲すを得べく、尙等一輩を仰ひで天下を經綸せんとする政黨其物の無能無策を表明したるものに非ずや

海軍收賄抑も何物ぞ、軍艦製造に關係せる二三の士官等が製造會社より一万か二万の端た金を取つた取らぬの問題に過ぎず、事素より吾帝國海軍の威信に關するが故に充分に當路者をベン縫し、司直者を激勵して事件の是非曲直を正す可きは議會の正に努むべき所にして若し其關聯する所意外に廣く山本首相の如き海軍に緣故深き人物に關するものあらんか茲に初めて全內閣の不信任をいふも亦妨げず、而かも事の眞相未だ擧らず犯人の搜竅今や進行中なる一疑問を捉へて徒らに喧囂の聲を爲すが如きは愼重なるべき帝國立法部の態度として甚だ輕卒千萬と云はざるべからず、常に國士を以て任ずる犬養氏が彈劾聯合に加はる事を躊躇せる所以のもの以て這般の消息を窺ふに足らん、殊に彼等の使嗾に成れる日比谷大會の如き名は國民大會と稱するも其實東京市中に散在せる高等遊民輩の茶番狂言に過ぎず、此下らなき茶番狂言の處作事を外國に向つて全國民の輿論なるかの如くに紹介せらるゝ多數の日本國民は實に迷惑千万ならずや、曾て憲政擁護運動起り愚民の狂態其極に達するや吾人は憲政の發達を促進する必要上桂黨の出現を祝し以て人民の無責任なるモッブ的行動を戒むる所ありしが今又海軍收賄事件に會して更に此感切なるを覺へずんばあらざるなり

內政と云はず、外政と云はず、在野の反對黨が力を極めて爲政當路者の失態を攻擊するは政治家の常道にして事素より當然に屬す、而かも權勢に戀々たるの餘り愚衆を教唆して輿論と愚論を混同せしめ遂に貴き人命財産を毀傷せしむるが如きは其罪斷じて宥す可らざる也

●歸化權無き移民とバーネット案

卓郎

▲過日米國下院を通過したるバーネット移民法案中「歸化の資格なき外國移民は入國を禁ず、但し條約若くはアグリーメントに於て特別の規定ある者は此限りに非ず」との條項あるや否やに就ては前號紙上疑を存し置けるが小生調査の結果は右條項は同法案第三條に於て明かに特記し••••••••••••ある事を確め申候、同法案が上院を通過し大統領ウ氏が署名すべきや否やは今日に於て豫言し難きも米國議會の東洋移民に對する態度は前號本誌社說の通りなるは疑ふの餘地なく又諸新聞紙が殊更に「市民權云々」の如き重要なる事項に就て云爲する所なかりしも大ひに含蓄ある報導振りと感心の外なく、米國當局者も中々「ヤル者」に御座候

▲市民權なき外國移民と云へば東洋人乃至日本人の排斥を意味し加州土地法と何等の選ぶ所なき差別的法律案にて土地權と入國權の差別こそあれ實質上米國民全体の排日意見を國法の上に於て明確ならしめんとするもの也、吾等は斯る皮肉的なる將た凌辱的なる法律案の通過を見るより寧ろ露骨なる「亞細亞人排斥案」の通過を罪輕ろしと爲すものに有之候

▲亞細亞人排斥案の否決に隨喜の淚をコボシたる吾當局者とマン氏の愛國的演說を難有しと感じたる輕卒新聞屋共は、ヨリ峻烈なる排日主義を藏せるバーネット案の通過に對して如何の態度に出づべきか、シャトルの一英字紙が、亞細亞人排斥案の否決に對する帝國政治家の笑顔を嘲けつて「日本の政治家は丸で小供なり」と評したるもの寸鐵殺人の價値ありと存候

▲如何にも日本は怪しげなる紳士的協約に轉られて事實上移民を斷禁致居候事故米國が東洋移民排斥を國法となすも今更ら仕方なしと諦らむるやも知れざれど、斯く泣面を蜂に刺され加之けに唉コロを吐きかけられては第一、一等國の体面に關する次第に有之間敷や、誠意、親善、圓滿、解決、エスサ應來サ、奇妙項來釋伽如來、何ともハヤ難有次第に御座候　以上

▲寄書▼

●戰爭の感念を去れ

シラキュース市　澁田市郎

世界が平和に向つて進步しつゝあるは何人も知る所なり、或人は軍備の擴張を以て平和を保ち得ると信じ或人は軍備の擴張を以て野蠻とし宗教及道德に依て平和を求めんとし、或人は單に教育にのみ望を有す、孰れが成功者であるかは讀者に任せて茲に論ぜず、余は只軍備擴張には限りと云ふものある事を一言せんとするのみ

「財政困難より脫せんとする日本の努力」と題して當市のヘラルドは日本經濟界の憐れなる狀態を語り、東北地方の飢饉が一層の困難を來たし甚だしき所に至りては校費を繼續し得ざるのみならず生徒が食物に乏しきため通學し得ざるの理由を以て閉校の止むなきに至り其狀態實に憐れ極まれるに同情を表し、此經濟界の困難が日露戰爭に始まり、戰後十億万弗の負債に對する利子の拂込より引續き軍備擴張の民稅に依賴せられ戰後生活費の高昇と共に人民の苦しみが殆んど其極度に達したるを論じ更に一月廿四日東京通信として高橋大藏大臣が軍備擴張を拒絕せしのみならず、軍備に大制限を加へて民稅を低め同時に毎年少くとも國債に對して二千五百万弗の支拂をなすの約束を公表せしを揭げたり、余は同胞のため遂には國家のため其事實ならん事を祈り併せ高橋大臣の勇氣を賞讃せんと欲す

軍備擴張も或程度までは必要ならん

余は日本が如何なる程度まで軍備擴張に熱中せざるべからざるやを知らずと雖も國民を斯く迄苦しめてまで之を敢てせざるべからざるとは信ずる能はず、余は日米問題の解決に當る折々戰爭を思はざるの時なしとせず、然れども思を日本今日の經濟界に週らさんか日米戰爭論の如き何處に其面目を保持せんとするやを知らず（未完）

●沙港の邦人家內勞働排斥決議　シヤトルのマルサ華盛頓家內勞働者同盟會は家內勞働者としての日本人及支那人に反對する旨の決議を爲せり　同會は前週土曜日開會家內勞働に關する種々の問題を討議したるが主として注意を東洋人問題に注ぎたり決議の要領は左の如し　本同盟會は日本人に對して個人的に何等の反感を有せず然れども白人少女が其職を得るに非常なる困難を感じつゝある今日吾人は勢ひ彼等に反對せざるを得ず而して吾人は家內勞働は婦人の勞働なると同時に家內使用人問題は婦人の問題なる事を信ずるものなり云々

●英帝と愛蘭土自治案　英國議會は去十日開會し英皇帝並に皇后陛下にも親しく臨御開院式を取行はせられたるが當日開院式の勅語中皇帝陛下は愛蘭土自治案の解決に關し痛く御軫念の趣を述べられたり

●過去一年間の墨國　千九百十三年二月九日フエリックス、ジアス墨都に革命を起す、同十九日マデロ政府轉覆す、同日ウエルタ氏軍隊總統官となる、同廿四日前大統マデロ暗殺さる、二月十一日米國大統領ウイルソン氏墨國政府承認を拒む、六月廿二日米國墨國に軍艦を派遣す、八月四日駐墨米國公使ヘンリー レーン ウイルソン氏辭職す、同七日ウ氏特使リンド使を送る、同廿七日ウ氏在墨米人の退去を勸む、十月十一日ウエルタ氏自ら獨裁官となる、同廿八日英獨佛諸國米國の方針を窺ひ凡ての行動を手控ふ、十一月五日ウイリヤム ベイヤード ヘール氏米國大統領の使命を帶びて憲政軍首將カランザと交涉を開始し同十九日交涉不調に終る、十一月十五日ブイラ、フユアレス市を攻略し十二月卅日オジナガ市を取る、千九百十四年二月四日米國大統領武器輸出解禁令を發す

●駐墨英公使華府を訪はん　米墨事件發生以來米國の對墨方針に向つて極力反抗し來れりとの評ある駐墨英公使カーデン卿は今回歸國の途次華府に大統領ウイルソン氏を訪ふ筈なるが卿の來米は本國政府の命令に依るものなる事は疑なく多分米國政府と何等かの協約を取結ばん爲なるべしと傳へらる

●米國の海軍擴張は日本に備ふるため　米國參謀本部次長リーランド少將は過日上院海軍委員會に臨み海軍擴張の必要を論じたるが氏が各委員の質問に答へし所を綜合すれば米國はモンロー主義の持續亞細亞人排斥及支那門戶開放政策の實行を目的とする以上本年四隻の甲鐵艦を新造し千九百廿年には都合四十八隻のド型戰艦を有せざるべからず、且つ海軍の擴張は大西洋よりする英獨佛諸國に備ふる爲に非ずして專ら太平洋方面より挑戰し來る一敵國に備へんが爲なりと云へり

●肋骨にて顋を作る　巧妙なる外料手術は過日武市カンバランド病院に於け一患者に施されたり、醫師は同院のドクター、シー氏にして先づ一婦人患者の第七番目の肋骨を拔き取り、其肋骨を顋の骨に代用したる由にて手術時間二時間五十六分を要したるが手術後の經過極めて良好なるものゝ如く此頃は談話飲食唱歌に差支へなく外觀上も一見したる許りにては別に手術の跡を見分け難しと右患者は四年前顋部に癌種を生じ醫師は一命を取止むる必要上顋部の骨を切取りたるものゝ由

●陸軍飛行家職務に殉ず　米國陸軍飛行隊士官エチ ビー ポスト氏は去九日加州サンデーゴ灣飛揚中六百呎の高空より墜落して死せり

●珍らしき米國の地震　去十日午後一時過米國東部一帶に小地震あり新育マンハッタンは震動頗る微弱なりし爲め測候所員の外知る者無かりしがブルックリン、イッは稍や強震を感じたるものらしく一部の市民は何處にか爆發ありしならんと噂さし合へりと

●寒威凜烈　三四日前より寒氣俄かに加はり寒暖計の零点を上下し居るがスケネクタデー、ミッドルタウン地方は零点下廿八度に降りしと云ふ

●スタンダード石油會社の支那投資　同會社は駐支米公使の斡旋により支那政府に對し陝西省內の石油礦採掘權を擔保とし米貨百五十万弗を貸付くる事となり去十二日其調印を終れりとの電報ありたり

●疑獄關係外人豫審終結　シーメンス電氣會社東京支店長たりしヘルマン及ルーター電報東京通信員ブレイ兩人は豫審終結しヘルマンは證據煙滅罪ブレイは金錢强取罪の廉にて何れも有罪の決定ありたり而して賄賂行使の兩者は何れも同樣の處罰あるべし

●新育ミッションの文學會　明日曜正午十二時より聖書研究、禮拜說教ありたる後文學會あり清水牧師の「三大誘惑と其敎訓」なる演說ある由

●新育に居た人々（二）　自動車と文机對手の訴訟に名を上げた中村嘉壽君は安樂君と机を並べて万國館に陣取り▲英文家の橋口治平君はルーター電報の飜譯係り



東京電報

内閣不信任案否決

▲東京の騒擾

本日海軍収賄事件に關し政府反對黨は聯合して山本内閣の不信任案を提出し島田三郎氏は政府が事件の調査を強要せらるゝ迄眞相を握り潰し居たりと猛烈なる攻撃を試み山本首相は極めて冷靜なる態度を以て之に答へ議會が事件の調査終了後適當なる判斷を爲さんことを求めたるが投票の結果賛成百六十四反對二百五にて聯合派の敗となり政友會側より盛んに拍手起れり不信任案討議中議場の内外は頗る喧騷を極め大岡議長は某議員に退場を命じ反對議員、守衛等打交りて格闘するなどの奇觀を呈せる頃日來市内各所に政府彈劾の演説會を催せる院外反對者等は相合して一團となり議事堂目掛けて押寄せ來る途中數多の官吏を侮辱し人力車を引繰り返す等の亂行を働き愈々衆議院の門前に達するや巡査と衝突し茲に一場の騒擾を起し門扉を破壞し數名の負傷者を出すに至れり尚議場を取卷き居たる群集は不信任案の議決後門外に於て各大臣の退場を待受け居たるも巧みに逃避されたるに激し其足にて政府の機關たる中央新聞社を襲ひ又もや巡査と格闘したるも遂に撃退されたり、此騒擾中十五名許り濠の中に陥入りしが何れも救助されたりと　十日東京發

●大嘗祭奉納米　大嘗祭（御即位式後の）に用ゆべき奉納米は讃岐と尾張の齋田に蒔く事に決定せり

●泰宮御結婚聽許　泰宮聰子内親王殿下と東久邇宮稔彦王殿下との御結婚御聽許相成りたり、聰子内親王殿下には明治天皇第九皇女に在し明治二十九年五月十一日の御誕生にして稔彦王殿下には故久邇宮朝彦王殿下第九王子に在し明治廿年十二月三日の御誕生なり

●爆烈彈所持者の捕縛　怖るべき爆烈彈を所持せる怪しき者千葉より東京に向へる途中其筋に捕縛されたり

●護衛嚴重　海軍疑獄起りて以來山本首相を始め海軍の主なる人々の家屋及び身體は頗る嚴重に警衛しつゝあり

●疑獄調査困難　海軍収賄の疑獄調査會は連日集會審査の法を進めつゝあるが關係の擴大せらるゝと共に休職の海軍々人迄嚴重に調査しつゝあり然るに調査委員は多く山本内閣系に屬する人々に依りて組織せられたれば調査事項次第に複雜となり二重の取調を要する事となれり

●桑博氣乘せず　各實業家は桑港大博參加出品の命を受けたれ共現在の所甚だ氣乘りせざる傾向に見ゆ而して何れも出品勸誘を忌避するもの〻如し

●徳川議長饗宴　貴族院議長徳川家達公は三日閣員を招待晩餐會を開きたるが餘興としてぼートランドより成澤氏の持歸りたる活動寫眞を映出したるに來賓何れも興味を以て滿足せられたり

●ヘルマン投獄　前電報する所ありしシーメンス會社東京代表者ヘルマンは四日豫審終結し有罪の決定を受け市ケ谷監獄に送投獄せらる

●太田大佐演説　非職海軍大佐太田三次郎氏は神田青年會に於て海軍部内の腐敗を摘發し激烈なる攻撃演説をなし多數の喝采ありたり

●アームストロング會社代表者召喚　前電の如くシーメンス商會のヘルマンが有罪の宣告を受けたると共に英國アームストロング製砲會社東京代理店代表者ウインドアは四日檢事局に召喚詳細なる審問を受けたり疑獄發生以來各檢事は大活動檢擧審問に繁忙を極め居れり　以上四日東京發

●首相等に勸告　氣後より上京せる志士山本總理大臣を訪問し辭職を勸告し又収賄嫌疑者なる海軍中將藤井光五郎氏に責を引いて自殺すべき旨勸告したる者あり

●藤井少將罪跡明瞭　海軍査問委員會及び司法當局にては海軍少將**藤井光五郎**其他の罪跡に關し伯林の各方面に向け證據書類に關する問合せの電報を發したるが書類上よりの調査によれば罪跡頗る明瞭なるのみならず其犯罪計畫は豫想以上大規模にして藤井少將の如きは連累たるを免れざるべしとなり　六日東京發電

日本最近信

●遣米艦隊の編成　明年行はるべき巴奈馬運河開通式典に際し米國政府は列國政府に向つて代表的艦隊の派遣方を要求し吾政府に向つても成る可く多數軍艦の派遣を求め來れるより帝國政府は此要求に應じ一艦隊を派遣する事に内定せり尤も擧式の期日も決定し居らざる事とて具体的の事項は決定するに至らざるも多分二隻編成の一艦隊を以て編成さる可し因に該式典に參列する列國代表軍艦は一旦何れもニューヨーク方面の某地點に集合の上隊伍を整へ米國軍艦の先導に依り列序を作り巴奈馬運河を通行する豫定なりと

●撤兵不同意聲明　帝國政府は支那の現狀に鑑み露國よりの提議に係る直隷撤兵に不同意なる旨丸四山座公使に訓電したるを以て山座公使は北京外交團會議の日に臨み其趣を聲明すべき手筈となり居れり佛國は露國と同盟の關係上其態度を詳にし難く獨逸は撤兵を主唱し恩を支那に售らんとの企ありたるも露國に先鞭を就けられ俄かに之に雷同する能はざる事情あり英米其他の諸國は何れも皆撤兵に不同意にして是等公使の多くは已に本國より不同意の訓電に接し居れば露國の提議は到底北京公使團の容る所とならざるべく露國は例令其提議が列國の容るゝ所とならざるも體面上撤兵するの外なく北京最終議定書により北京公使館を保護すべき義務あれば中譯的に護衛兵を北京に殘し全部直隷省より撤兵するに至る可しと

●第一革命と各國損害　第一次革命の際列國國民の受けたる損害賠償金額左の如しと

▲獨逸九百九十二萬元▲佛國六百六十一萬七千元▲露國二百十八万元▲英國百四十二万八千元▲米國百十七万七千元▲白耳義五十八万七千▲丁抹四十六万元▲墺太利匈牙利四十四萬六千元▲伊太利二十万元▲西班牙九千八百元

日本は北京天津のみにて四十三萬九千元全支那を合すれば一千萬元に上るべしと右に就き支那當局は各國の償金合計二百万磅を以て打切りとする見込にて前に五國借款の際も此額を豫備せるに今回の要求合計は頗る多額に上り支那政府調査との間に非常の差あるより其減額交涉中なり

●徴兵猶豫問題　十四日の教育調査會に附議せらる可き筈なりし徴兵猶豫問題は文部陸軍兩省の交涉豫期の如く進捗せざりしを以て同日の委員會に附議さるゝに至らざりしが聞く所によれば同問題に關し兩省折合ひの難點は依然として入營延期の年限を廿三歳迄とするか廿六歳までとするかの點に在り既に徴兵猶豫を全廢し入營延期法を採用し在學生を問はず滿廿歳の徴兵適齡に達せば必ず他の一般徴兵適齡者と同樣一應の檢査を受け斯くて合格者のみ入營延期を許可する事に現行令を改正する事並に現在十二月入營期を四月に變更する事の二件は前者は寧ろ陸軍側の主張とし後者は文部省の希望として双方の間に互讓的に圓滿に解決を遂げたりと斯くて入營延期の年限の點は頗る難澁となりつゝあり

●職工賃金の趨勢　大坂商業會議所の調査に依れる昨年下半期の同市内各種職工賃銀を見るに百種の中騰貴せるもの卅一低落せるもの十九種變化なきもの六十種にして貿易品若くは工業的職工賃ば寧ろ騰貴せる方なりと現在の重なる職工日給賃銀如左

米つき卅五錢　鑵詰一圓七錢　大工一圓廿錢　木挽一圓五錢　土方七十錢　煙草八十二錢　左官一圓十五錢　農作人六十六錢　[illegible]三十五錢　機織卅六錢　メリヤス七十二錢　銅鑄物一圓　鼈甲一圓卅錢　造船八十五錢　染物五十八錢　紡績五十一錢　鍛治八十錢　はけ五十五錢

其後の飢饉噴火寄附金

五弗　宮又一　三弗宛　新谷才德　渡部植松　田中幸三　濱卯太郎　二弗宛　大藤與三郎　丸山幸作　一弗宛　川本友次郎　鳥居喜太郎（以上朝日扱ひ）　貳拾弗　菊地東陽　拾弗　小柴德治　五弗宛　佐々木幸七郎　岡部又太郎　三弗　霜鳥正二郎　二弗五十仙　二木光正　富澤愛五郎　小野武雄、一弗宛　蘆原曠　村山順　吉田宗太郎　濱江清松　五十嵐次之助　一弗五十仙　村上矢八、一弗宛　妻沼巖彦　佐野利器　森山伊望　認池鹿次郎　伊藤龍吉（以上ニューヨーク美術家團体）　拾弗宛　佐野德次郎　同次郎　五弗宛　山田浩二　白須藤次郎　二弗　山川保次郎　二弗宛　柳瀬眞之助　無名氏　一弗宛　梅澤房次郎　岸本政吉　川上伊八　小幡信雄　朝倉壯平　田村幾次郎　舛田勇一　湊伊兵衛　井村源次郎　今村賢太郎　高木　長谷川昇太郎　山田はな子（以上若松扱ひ）　拾弗　北村萬吉　五弗　上野志郎　三弗宛　村上義次　内田林市　小野善吉　二弗宛　福島佐次郎　菊地源八　岩田長次郎

●徴兵猶豫願心得　に就ては數々記載する所ありしが尚忘れッぽき在留青年の爲めに注意の要点を摘記するに就き此記事を切拔いて各自の手張に貼付け置くべし

一、國民兵役に編入るさ可き者は滿卅二歲、明治十五年一月一日より同年十二月卅一日迄の間に生れたる者さなる譯なるが徴兵規則は十五年四月十五日即徴兵檢査期日以後に生れた者にも猶豫願を要求し居る事

一、猶豫願は毎年四月十五日迄に是非共所轄徴兵官の手許に達せざる可らず且町村役場の手を經る必要あれば遲くとも三月末日迄に町村役場兵事係の手に達せざる可らず若し四月十五日迄に徴兵官の手に達せざる時は如何なる事情あるも違犯者と認められ一ヶ月以上一年以下の重禁錮の上に三圓以上三十圓以下の罰金に處せらる可し

内國債償還廣告

今般帝國政府に於て臨時事件公債（大日本帝國政府特別五分利公債證書）の内金壹千万圓也本年二月十二日抽籤執行二月廿四日償還可相成候右當籤番號は來る三月廿四日以後當店に就き御承知被成下度又右公債證書所持の御方々の御便宜を計り右三月廿四日以後當店に於て日本向買爲換相場を以て御買受可申候

大正三年二月

横濱正金銀行　紐育出張所

55 Wall St. New York City

三、猶豫願の手續を爲すには先づ總領事館に在留登錄を爲し置き次に現住所（英文）姓名生年月日を明記し且つ徴兵猶豫の爲め在留證明書を願ふとの理由を附したる願書を差出し（郵便にて可なり）、直接出頭するに及ばず、手數料五十仙郵税二仙を添ふべし）證明書の下附を受けなば直ちに左の猶豫願と同封して原籍地の町村役場に送るこ

徴兵猶豫願

原籍、族籍（士族、平民）、職業（戶主の）、身分（戶主又は戶主との關係）、姓名、生年月日

右私儀本年徴集に應ず可きの處目下北米（現住所日本文）に在留致居候に付徴集猶豫相成度別紙ニューヨーク總領事の在留證明書相添へ此段奉願候也

右

年月日　何　某印（拇印無効）

何々聯隊區徴兵官何某殿

尚一度徴兵猶豫を爲したる者は体格檢査さへ通れば抽籤無しに徴集さるべく又此場合普通の兵役に服するを都合惡しゝとする者は滿廿八歲迄に一年志願兵を願出づれば可なり、猶豫願は毎年差出すべきものとす

●中央團體絶望乎　北米日本人會陳情員として歸國せし藤岡紫朗氏は□日歸米故國近狀に就き語りて曰く、中央團體は今の所全く絶望なり嘗て故國よりは啓發運動費を支出すべき希望もありたれど今や對米問題に耳を傾くる者殆んど無く新聞記者の如きも此方より招待して奢つてやれば特別然らざれば聞く者無き有樣なり從つて戰爭論でもすれば、人の視目を聳動するに足れどキャンペン、オブ、エジユケーシヨンなどゝ生溫き事には少しも乘氣になるものなく先頃河上清氏等が在米日本人會により派遣されんとするを澁澤男より謝絶せるは歸國して何等の希望を得る能はざるを豫期したればなり云々

●厄介千萬な戀病ひ　有田文雄と云ふ非士役者見たやうな名前の日本人君は昨年ロングアイランドに就働中主家の女中に思ひをかけ肱鐵を喰つた腹いせに脅迫がましき擧動に及んだ揚句六ヶ月間入獄の宣告を受けしが此程出獄するや否や物騷にも凶器を携へ對手の女を突くの殺すのと脅迫するより女の主人なるゲーシー氏も面倒の餘り共濟會へ其處分法を願出づるに至れり、然るにラブクレージーの當人はソンナ事には一切構はず毎日〳〵舊主家に押かけて例のたごし文句を並べるにぞ對手の別嬪も堪りかねて警察に訴へ出で有田は又候臭い御飯をたべる事となれり

●取る物が無い　山梨縣人の峽友會が過日泥棒樣の御見舞を蒙りたる話を聞くに泥公先生コッソリ這入るには這入つたが當て事と何とやら向ふからはずれダイヤ所か一向目星しき品物も無いので業を煮やし剃刀を折るやらスーツケースを切破るやら色々いたづらをして立去りたりと、泥棒の要心は物を持たぬに限る

●嫁取り成功　昨年十月日本へ赴きし桑港觀光團八十餘名の内二十二名の男子及十五名の妻女は今回マンチユリヤ號にて歸米したるが今回歸米者の妻帶者十五組即ち卅名にして二組の舊婚者を除きては何れも今回觀光團にて歸國の上妻帶したる新婚者なり尚六十一名は病氣其他の事情にて同船し能はざる者なり而して此六十一名も殆んど全部新婚者なりと

●飯島總領事並に夫人歡迎會　來十六日午後六時半より日本倶樂部に於て開催の筈なりしが延期となれり

●日本人會創立發起人會　來十七日修道會に於て開催する筈に諸有志へ向け案内狀を發したり

●青年會茶話會　來十五日午後八時催林富平氏の母國訪問談ある由

●静座法實習者續出　去八日青年會にて岡宮氏の實驗ありてより以來數多の實習者續出し某會社員の如きは既に其妙境を味ふを得たりと

●家永博士旅行　同氏はテネシー州首府メンフキス市より講演の招聘を受け來十六日出發の筈にて約一週間滯在の上歸市す可しと

●早川保次郎氏一時歸朝　新育生命保險會社の同氏は商用の爲め近々出發歸朝する由にて歸米の際は新らしく又美くしき同伴者あるべしと

●柳原資丕氏の新著米國實業實地經營法　新育生命保險會社の同氏はウイスコンシン大學教授スパーリング博士の新著を譯出し今回東京成文閣より發行せり、本書の内容は製造工業、會社組織、農事、卸小賣、通信販賣、農工商業と法律上の關係、賣掛集金、廣告等米國に於ける一切の實業實地經營法を網羅したる新著にして譯文又平易明晰以て邦人實業家の好侶伴とするに足る

●河上清氏の新著英文「在米日本人」は氏が大平洋沿岸、加奈陀、布哇各地に於ける同胞の實狀を踏査研究したる材料を本とし米國人の誤解を除かんと試みたる新著なり、米國各地同胞の實際を知らんと欲する者は必ず讀まざるべからず定價一弗五十仙本社に於て取次ぐ

●家永博士講演　本日午後四時ホテルアスターに於て日本協會の催ほしにかゝる講演會あり家永博士の「東京より長崎迄」と題する講話あるべし

●吉田文學博士講演　本日午後七時半修道會に於て同博士の講演あり

◉寶田石油會社重役渡邊藤吉氏は同社技師長小松篤太郎氏と共に過日歐州より來着ホテルアスターに在り約二週間滯在の豫定

●農商務省農務課長伊藤悌藏氏　日本倶樂部に滯在中なり

●桑港三井支店員廣田保氏　は過日歐州より着ホテルアスターに在り兩日中に出發任地に赴く可し

●日本倶樂部の象棋會　象棋好の大天狗小天狗連は去十二日日本倶樂部に集つて競技したるが結局懸賞を得たる人は一等鍋田、二等天野、三等一色、四等齊藤、五等飯島等の諸氏なりき、尤も初段の格ある者は天野氏のみ餘のヘボ組は何れも飛車角片香落にて氏の御あしらいを受けた譯なり

●母國訪問團の解散に就て（中）

林　富平

▲「東京便り」の記事中僕一ヶ人に關する事項と新育新報云々はさて置き「吾々（筆者）新育に居た人々に依つて組織せるマンハッタン倶樂部は新育訪問團を歡迎する準備既に成れるも如何せん不統一なる彼等は遂に其計畫を中止せしむるに至れり」『團員盡く不平ダラ／＼』の二事は全然事實の眞相を解せずイヽ加減に憶測して報導せるものか又は何か吾々一行に對して不滿を抱く者の中傷的通信であつて團員諸君が吾々を侮辱せるものなりとて憤慨したのは當然である、僕は如上二項に就ての事實を紹介する順序として本團の觀光旅程から始める

▲十月廿四日吾々一行の横濱に上陸するや新育に縁故ある多數人士の出迎を受けたが中にも中村嘉壽氏は本團の爲め一方ならぬ斡旋の勞を執られた、其時マンハッタン倶樂部は本團の爲め歡迎會を開催する事に内定せる旨を告げられたが東京滯在の旅程僅かに二泊では到底其準備を完成する遑が無い何とかして滯在日を繰り延す事は出來ぬものかと僕等に相談があつたが折惡しく半數以上の團員が外出して居たので確答する事が出來ずして中村氏と別れたのである

▲翌日東京にて郵船會社の招待にかゝる芝居を見物し旅館に歸ると二三團員は觀光旅程中、京坂地方の或場所を除き東京滯在を增加しては如何との動議が出たから最初の規定に基き一同に協議したところ誰れしも異議を唱ふる者なく即座に可決された何故なれば二日間に大隈伯訪問、乃木神社參拜、何々の招待會、曰く上野曰く九段と豫定の歴訪同覧を二三日間にせんとすれば煙草を喫する暇もないばかりでなく嘗ては海外萬里の新育に在つて一つ釜のお飯を味うた多數同士が一堂に會して各自胸襟を開き久濶を敍し將來を語ると云ふ事は吾々新歸朝者に取つて最も愉快とする所で又一には此際相互に聯絡を結び內外相應じて利益を增進すべき途を講ずる好機會であらうからとと云ふのが繰延を斷行した最要件であつた。で僕は當時其席に居られた同倶樂部員朝屋糸永両氏にまで其旨を通じて置いた

▲廿六日の朝日光見物に出發し其夜は同地に一泊した。翌日中禪寺湖を見物したい希望者が數名あつたので結局り其日は自由行動を取る事に定め僕は他の團員等と日光から上野停車場に到着すると前記朝屋糸永兩氏は吾々を待受けそして其晩六時からマンハッタン倶樂部は芹澤氏の經營する富士見樓に於て新育訪問團の歡迎會を開催する事に決定し既に其準備成れりと傳へられた、時に開會の期に先つと僅かに三時間であつた。

●挺身噴火口を探る

大坂毎日特派員島崎氏の快擧

余は十四日以來噴火口の探撿をなさんとて出船を交渉したるも危險なりとて承諾する者無く茲に於て萬死を冒して決行せんとし十五日早朝本社特派寫眞班三木氏と共に海岸に至たば恰も七高敎授位伯氏外學生六名は決死探撿隊を組織し來るに會ひ茲に百方船夫を說ひて辛うじて

▲一挺櫓の小舟　を出さしむる事となりたるか二名の船頭は俄に鬼胎を抱き引船を備ひ來るべしとの口實にて逃げ出したれば余等一行七名は交る／＼に櫓を操り午前九時十分屋久島波止場を出港す、晴れ渡りたる碧空錦光灣の只中に櫻島は蒙々たる煙焰を宙天高く噴き上げ凄壯言語に絕す、余等は曝發最も猛烈を極めし横山に至らんとし袴腰の圓丘を目指し進みしに目前の海中に當て一大浮洲所を生じたるよと見れば驚くべし一枚舎の波に揉れて漂へるなり近くに從ひ鳴動激しく

▲煙焰頭上に蒙々　たり十時五十分袴腰の海岸に着し供船を繫ぎて上陸す、樹籟颯々として茂りし袴腰は樹木悉く燒け仆れ横山小學校を始め軒を並べし横山の村落は影も止めず。熔岩降灰に埋もれ殘れる垂木、柱は「さゝら」の如し、磊塊たる熔岩を履み越へ／＼進めば牛馬燒爛れて斃死し中には降岩のため背骨四肢を粉碎され藏腑を露出せるもの未だ鮮血淋漓として虫の息なるもあり、丸燒となりたる豚諸所に轉がり當時の慘狀を想ふべし、見渡す限り熒岩原をなし中には直徑數間に亘る者尠からず

▲靴も燒むばかり　に熱く步行困難を極め而も轟々たる鳴動に時々巨砲を放つが如き震動聞へて膽を寒からしむ余は豫て用意の降灰除けバケッと硫酸瓦斯除けのぬれ手拭を被つて進む折しも二頭の馬あり、如何にして生き殘りしか余等を見るや懐しげにゐなゝくも數日來の飢餓に步む力もなく余等を見送る樣哀れなり、十餘丁を進み曝發口の壁側に達す、十數町の丘陵恰も蜂の巢の如く暗褐色紫白の噴煙蒙々恰も巨大なる熔鑛竈の如く熔岩はガラ／＼と轉落し來りアハヤ下敷とならんとす危險いふばかりなし、一行之をバックにして紀念の撮影をなし更に

▲大曝發口の探撿　を試みんとす、同行せる道がの健兒等も大に危み切に余を止むるも余は敢然先頭に立ち傍の燒山を攀ずれば一行も續き來る燒木或は岩の根を辿るに異臭紛々として鼻を衝く更に外套を脫し淋漓たる流汗を拭ひもあへず約廿町を登ればば小山の頂きに達せり、轟々たる震動は百雷の落つるが如く猛烈なる勢を以て噴き上ぐる煙焰は蒙々幾百丈の天に沖し數間もあらんかと思はるゝ大巖石も礫の如く噴き上げ互に衝突する響實に壯絕凄絕を極む、焦熱地獄はこれかと思はるゝばかりなり折しも續いて七高の健兒登り來りバロメーターを見れば實に

▲二千七百五十呎　の高さなり、此大曝發口の壯觀を俯瞰したる者余を以て最初とすべし茲に余は傍なる燒木に紀念のためナイフを以て「大坂毎日新聞社嶋崎新太郎」の十二字を刻み七高生も之に倣ふ、これにて遺憾なく探撿の目的を達したるを祝し七高生の音頭にて先づ大坂毎日の萬歲を三唱し次に七高の萬歲を唱ふ其聲囂々たる曝音と相應じ雄壯を極めたり、廿餘分間諸種の研究探影をなし愈々下山の途に就く、一瀉千里の勢にて山を走せ下り熔岩の原を踏破し二時船繫ぎ寫に至れば干潮のため船は一丁餘の陸上に在り、一同握り飯の中食に元氣をつけ船を海に下さんとする刹那忽ち足下より震動すよと見れば東方一町餘の所より黑煙を吐きて大曝發を始め危險いはん方なし辛ふじて船を下したるも逆風強く一挺櫓にては力及ばず嗟や新曝發口方面に押流されんとす

▲一同海に投じ　船を押進むる折柄四挺櫓の大船の通行するを認めハンケチを振り助力を求めて同船にひかれつゝ万死に一生を得て午後四時無事鹿島に歸着す

No. 165 Vol. 4 **The Japanese Times** SATURDAY, Feb. 28th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscriation Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as secod class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙、六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政省認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

紐育日本人會の事業に就て

ニューヨーク日本人會創立發起人會は愈々去十七日を以て開催せられ各方面を代表せる發起人諸氏の熱心なる討議と研讃とは吾在留同胞將來の發展に對して一新生面を開かんとするの意氣を示せり、念ふに來るべき第二回發起人會の席上起草委員の手に成れる會則の承認と同時に新育最初の有力團體は新たに實現せられ同胞社會の統一向進歩と健全なる改善方法とは之によりて期待せらるゝを得可けん、吾人は滿腔の誠意を以て本會の創設を賀すると共に其抱負たる事業に關して鄙見を吐露する事の必ずしも無益の業に非ざるを信せんと欲す

ニューヨーク日本人會の名稱よりするは同會創設の目的範圍 見頗る狹少なるの觀ありと雖も其主眼とする所は米國國人間の親睦親和を圖り在米各地の各團體と氣脈を通じて在米同胞全體の利益を圖り、殊に新育を中心とし太西洋沿岸に散在せる同胞に對しては相互救濟の觀念を助長せしむる方針を採るの外起業家の好伴侶となり、品性陶冶、進歩向上の指南車たるに在るは其趣意書の示す所に依りて明かなり、只吾人が茲に述べんと欲する所は當面急要の問題として薄弱なる在留邦人社會の財力的基礎を鞏固ならしむる事之なり、試みに吾人の具体的提案を云はしむれば各種の事業に從事せる商人をして一の『信用組合』を組織せしめ嚴格なる監督制度の下に基金の蓄積を圖り組合員は有力なる保證若くは擔保を提供して基金流用の便宜を得るの途を講せしむるが如き新育日本人會が創設當頭の事業として最も其時機を得たるものには非ざるべきか、由來在米外商間にはビジネスアスソシエーション或は同業組合なるものあり、各自毎月一定の金額を積立て組合員ものゝ基礎を鞏固ならしむると共に市場の消長需要供給の如何を研究して同國人若くは同業者相互の利益を保護しつゝあるを見る、吾在米邦人の組織にかゝる同業組合中最も成功せるものは西部に於ける貿易、雜貨、製靴、食料品、切花業等にして同盟又は組合組織の結果諸事從來の小規模組織より一轉して大規模組織となり目的とする顧客は概ね米人なりといふに至つて信用乃至同業組合組織の効果亦爭ふ可き餘地なきなり、素より東部在住の同胞實業家は西部に比して其數少なく從つて未だ同業組合を組織する程の域に達せずと雖諸種の事業に從事する者が相集つて一種の信用組合を設立する事とせは假に毎月一人五弗宛の積立金を爲すも五十人の會員を有する組合は毎月二百五十弗、一ヶ年三千弗、十年の後には三萬弗の基金を得べく更に此基金の流用を滑かならしめば諸雜費を差引も優に數萬弗の基本金を蓄積し得るに至るべし

上記信用組合の奬勵と相伴つて新日本人會の研究を要するものは在留同胞中の最大多數を占むる家内的勞働者の毎月の收入の多分を如何なる方法により貯蓄せしめ得べきか又其貯蓄したる金額を運用して殖利の途を圖らしむるには抑も如何なる流用策を講ずべきかの問題なりとす、此事に關しては吾人も嘗て某有力家と共に聊か研究する所ありしが第一の方法に就ては多少具体的の成案なきに非ずと雖も家内勞働者大約一千人の給料を善用して殖利を圖る方法に就ては在留同胞の現狀に鑑み未だ發表するに足る丈の成案に達せざるを遺憾とするもの、吾人は日會創設發起人諸氏が在留同胞の發展を企畫する上に於て深く如上の諸點に留意し日米關係の研究と共に新たなる適當の措置に出でん事を希望せざる能はず、若し夫れ慈善部の經營及其他の改善方法に關しては他日稿を改めて更に論ずる所あるべし

銅臭紛々

卓郎

▲金が敵きの世の中と昔から言ひ傳へ居り候通り、普天の下、率土の濱黄金万能の魔風隅まなく吹き荒みて近來は亦殊更に甚だしく、新育の贈賄撿擧事件に當州財務部長ケネデー氏の自殺あり、故國に於ては海軍將官收賄の事曝露して電車燒打、人命毀傷の慘事を演出致候、人間が使ふ爲に作つた金なるに、作られた金が作つた人間を使つて樣々なる猿芝居を興業致候事、黑白轉倒、前後矛盾の極みに有之、此体哉らくには文明進歩の民、萬物の靈長が聞ひて呆れ返り可申候

▲馬丁が銀貨を賭し新聞賣の小僧べニー講を行れば直ちに違警罪の處分を受け候へ共市會議員や官吏等が奸商と結托して滿都市民の膏血を絞るも人之を怪まざるは米國に於て往々見受くる所の現象なるが東洋の君子國に於ても較や之に類したるもの不尠、貧乏にて人の好き横井時雄君が二百か三百の目減れ金を精糖會社から押付けられたとて可愛相にも君を社會外に葬り去りたる吾國民は大[illegible]大將の縦騒ある人々が巨万の富を擁するを見て敢て怪まざる事に候

▲承れば桂公の遺産は四百萬にて山本首相も約同額の財産あり、山縣、井上、松方諸元老の財産は或は之以上ならんとの噂あり、其他現代に時めく諸侯中百万長者の列に伍する人中々に多しとの事に候、大隈伯さへも一時は元老中の最大富豪と云はれたる事も有之候

▲假に先生等が八百圓の月給で總理大臣を廿年勤めたとして總給料を算ふれば僅かに十九萬と二千圓、此中から食料、交際費、子分操縦費、妻君化粧費、支那做正可く代等を差引けばイクラ年金、恩給、役得あればとて百萬二百萬といふ大身代の出來る理由は無之、其處が即ち底に底あり、蓋に蓋ある不可思議の世の中、其世の中を馬鹿正直に解釋する者は慷慨家として飯を食ひ、仕方がないと諦むる者は凡人として世を送り、大頭の弱點に附け込むで名利を獲る者は奸商、陣笠となり、是等の有象無象を縦横自在に翻弄して衆愚を茶にするものを英雄豪傑別名大泥棒と申候

▲英國、米國の如きは近來に至り人民の政治思想著しく發達し來れる結果中央政府の官吏や議員等が富商の犬となつて私腹を肥やす如き弊害漸次減退せりと雖も吾國の如き國民の政治思想幼稚なる國柄にありては猶此種の大泥棒を存在せしむるの餘地大あり從つて之を退治せんには勢ひ全國民に向つて充分なる政治教育を施すの外なく候

▲そは兎も角も今度の海軍收賄騷動を目して、内閣彈劾の芝居を打ちたる同志會派の役者等を聖人と思ひ、攻撃せらるゝ山本首相等を大惡黨のやうに心得るは大變な間違に候、過日當地を通過して歸朝の途に就きたる前東京府知事阿部浩氏も海軍攻撃に關し布哇日々新聞記者に語りて曰く

元來同志會の大浦が不德義じや何でも軍艦注文事件といふのは大浦か内閣に居た頃の出來事で自身か當路に居る際は臭い物に蓋をしながら一度び野に下るや之を種にして其責任の無き現内閣攻撃の材料とするなどは陰險な大浦のやりさうな仕事じやが何でも山本伯が平素大浦を嫌ひ、アノ巡査上り奴がと口に罵倒するので大浦も口惜しくて堪らず今度は敵討をやるため嶋田をして質問演説をやらせたので豫てから仕組んだ芝居だそうだが政界の裏面もこう樂屋が解ると馬鹿〳〵しいものさ

と、誰か烏の雌雄を知らん、ドーセ臭い奴等の恥曝らしに笑止千万、斯かる銅臭紛々の徒に當面して大騷ぎをやる東京の市民は存外お馬鹿な奴共に候　以上

タンゴーバナ、

紫星



途にして捨身の屍を見たるより
君と語れば眼に痛み浮く
タンゴーやそゝる野調の夢の譜に
危く人を抱かんとせし
曲はめぐる樂のさゞやぎ譜の飛躍
流れ流るゝタンゴーの群
ステップに絡らむ衣の紅や
吾れとしも無く騷ぐ心よ
君を解すと云へば微笑みタンゴーの
舞に亂れて亂れ抗らふ

短歌

五峯

○
いまはたゞ死してあらばの想ひ出や
君がさいなむ二十五の戀
○
カルマンやサロメの戀を思はする
十八のをんなよ紅き燈の街
○
日曜の午後のかたらひをちからにて
六日のつとゆはたし終ふせぬ
○
寂けさは南の國の朝月の
蓮に消へ行くアマゾンの澤
○
君居ます耶樹の小島は夕榮にて
眺むる人に赫々と照る
○
天と水つなげる糸の亂れては
浮くにも似たり耶樹の遠嶋

●移民總監の排日論

華府政府筋まさる
カミチチ氏發說

米國下院の移民委員は過日來秘密會議を開き移民問題に關し凝議する所あり、去十三日は印度移民に關し秘密會議を撤して公開會議となせるが當日同會議に出席して報告の任に當れる移民總監カミチチ氏は中央政府の内命を無視して盛んに大々的の日本人排斥演説を試み列席委員を驚かせしのみならず大統領及國務卿の怒りを買ふに至れる結果同氏の罷免近きに在らんとの説を生ずるに至れり、世人の熟知せる如く國務卿武[illegible]氏は目下懸案中なる土地問題に關し此上にも日本政府及人民の反感を増するは策の得たるものに非ずとなし過日自ら移民委員會に臨みて亞細亞人排斥に關し可成討議せざらん事を求めたる外當該官吏の言動に就ては特に戒飭する所ありしに移民總監たるカミチチ氏が大膽にも不穩の演説を公表したるため珍田大使と折衝上甚だしく苦痛を感ずるに至れるものなり、今カ氏排日論の大要を摘記せんに曰く、亞細亞移民の襲來は米國全体に危害を及ぼすものにして特に太平洋沿岸及南部は氣候並諸種の[illegible]態[illegible]に適するが故に甚しく危險を感ずべし、今や支那人は全米國に蔓延せるがジャップも此例に倣はんと努めつゝあるのみならず密かに法網を犯し國境を越へて侵入し來り五六年前に比すれば正に二倍の數に達せり、吾人は何故に三億五千萬の印度人に對し支那人ジャップスの經綸を踏襲せざる可らざるか云々、伊氏は日本人の密入國を杜絶し寫眞結婚女の渡來を禁止するため適當の方法を要すべく總ての亞細亞人排斥を爲すため加奈陀同樣の排斥法を制定すべしと論じたるが演説中數々侮辱的なる「ジャップス」の語を連發せり云々、カ氏は武氏が排日土地案防止のため西行せし當時武氏の使命を補助せし功により移民總監に任ぜられたる人にて勞働卿と同じく極端なるユニオンの同情者なり

●珍田大使の活動　將に上院を通過せんとの形勢なる移民法案に關する[illegible]や否やは不明なるも珍田大使は去十六日飯嶋總領事及沼野桑港領事を大使館に招きて何等か重要なる協議を遂げたる由なり、而してバーネット案に關し伊國大使は國務卿武氏を訪ふて協議する所ありたりと

●支那の事實的分割を怖る　十九日倫敦デーリーテレグラフ通信員發電は曰く、當地御用紙は共和政府か日本の有力なるシンヂケートと契約し大冶鐵山を擔保として千二百万弗を借入るゝ事に協約せる事を報せるか、此報道は袁世凱の各省に對へたる警告と共に一般に支那の事實的分割を豫想するの觀念を深からしめつゝあり、[illegible]には、支那か現在の財政困難より脱却するに非ざれば全國の富源は凡て外國人の手中に落ち埃及、朝鮮の覆轍を踏んで列強干渉より延いては分割の慘禍を招くに至らんと云々を指すものなり

●巴奈馬運河通過税問題　英國政府の抗議を受けたる同問題は去十八日米國上院に於て急彈なる討議されたり元來大統領ウ氏は民主黨のバルチモア政綱に反するにも不拘國際的情宜を重んずる必要上英國の要求に應ずべしとの意見を主張し同黨の領袖[illegible]し居れるか反對黨たる共和黨の領袖ロッヂ氏は同日の討議中大演説を試み米國か列國との國際關係上殆ど孤立の地位に在る事を論じ此上通過料問題によりて列強の反感を激發せしめなば遂には戰爭の慘禍を招くやも知る可らずとて大にウ氏の主張を[illegible]せり

東京電報

●青木周藏子薨去（十六日發）

駐獨大使たりし子爵青木周藏氏は病氣かねて本日東京の自邸に逝けり、享年七十、子は弘化元年四月十五日を以て生る、東京の人醫師三浦玄[illegible]の長男にして後山口の藩士青木研藏の養子となり性を冒せり明治二年獨逸留學を被命歸朝後外交官となり長く獨逸公使として數多の重要なる折衝に當り外務大臣たりし事前後二回、千八百六十七年加州學童問題當時は駐米大使として華府に在り兩國の親和に努力するもの多かりしは今尚世人の記憶に新たなる所なり、夫人は普魯西貴族ボン、ステルンパルグ家の息女、長女花子は獨逸伯爵ハツツフエルト、トラケンシルグ氏に嫁せり

●東京騷擾電報

▲政府側豫算案に民黨を惱す　十日政府側にては豫期の如く豫算委員會を開き海軍充實費三千万圓を削除せるのみにて殆んど全部政友會の主張を貫徹し時頭在野諸黨の鋭氣を挫けり

▲兩軍猛烈なる論戰を交ふ　委員會後國民黨連合會は愈々政府不信任決議案を提出し黨[illegible]に犬養毅氏登壇氏一流の森嚴なる辯舌を以て海軍に對する國民の疑惑を招き帝國の威信を世界に失墜する政府の責を摘發し殆んど完膚なからしめたるが政府黨にては之に對し政友會[illegible]鵜澤總明博士を立たしめ應戰せしめたるを以て民軍にては島田三郎氏代り立ち民黨否を振ひ政友會[illegible]代議士之に答へ第三に民黨にては尾崎氏に代り花井卓藏博士出でゝ攻擊の步を進め政友會の松田源治氏之を駁し討論終り採決に移りたるが贊成百四票に對し反對二百三票の結果にて不信任案は遂に否決せられたり

▲滿都殺氣橫溢　一方院外有志は國技館に大會を開き三宅雪嶺博士黑岩周六氏其他政府者の私曲を痛論したるが激昂せる市民は更に日比谷に集り會合を開き群集と政府黨の通行を妨害し警官が舊來の例に鑑み之を高壓し騷動を激發せしむるを避くるを方針とせるに乘じ遂に衆議院門前に押寄せ衆議院表門を破壞せり

▲暴徒御用三新聞を襲擊す　[illegible]に於ける群集は更に政友會機關紙中央新聞及び政府に對し加擔の色見へたる每日、國民、時事新報の三社襲擊を企てたるも逸早く警戒線を張りたる警吏の擊退する所となれり

▲電車等破壞　引き續き失敗を重ねたる群衆は愈々高じ激怒せる群集諸所に電車交番所の燒打ち又は破壞を試みたるも之れ亦警戒行き屆けるため目的を果さず

▲軍隊出動す　現在迄の所殆んど大事に至らずして止みたるかの色あるも事態猶は容易ならざるものあるを以て政府は遂に兵一ヶ大隊を出動せしめ警戒に任せしめたり現在迄の所今次騷動のため負傷せる者十四名拘擧拘引せられたる者百餘名に及べり

▲大坂暴動　東京の騷動は直ちに大坂に飛火し十一日午後電車の妨害稅務監督署の投石燒打ち代議士三谷軌秀氏の邸宅並に交番十數ヶ所の襲擊破壞等を見るに至りたるが暴動の主因は營業稅廢止並に一般減稅の要求に在り以上の事實により見るも今回の暴動は單に非政友並に反政府の運動以外極度の生活難が民衆を驅りて亂を叫ばしめたる眞相を察知し得べし

▲犬養氏の態度　國民黨首領犬養毅氏は海軍收賄問題に關し不信任案提出署名の一名たりしに不拘海軍擴張案に贊成なりしため非政友三派の聯合破れ[illegible]氏の態度に疑問を挾むものなきに非ざれども氏は元來山本首相の國防計畫に贊成せる者否な氏の國防政策を實行するは山本內閣を措いて他になしと言明し居る程なるに依り收賄問題と國防問題とを別個の問題として解釋したるものなるべし

日本最近信

●豫戒令廢止　樞密顧問官の諮詢を經たる豫戒令廢止の件は廿一日勅令第四號を以て公布せり左の如し

豫戒令は之を廢止す

御名御璽

大正三年一月廿日

內閣總理大臣　山本權兵衞
內務大臣　原敬
司法大臣　奧田義人

●巴奈馬航路補助　米國より我國に輸入する綿花鐵類並に我國より米國に輸出する麻眞田陶磁器漆器（生糸[illegible]の如き[illegible]は別なり）の如き一部は[illegible]高價なるものは勿論[illegible]雜貨の輸出入は從來蘇士運河を經由するか若くは大陸鐵道に依れるも巴奈馬運河開通の曉は蘇士經由に比し時日に於て大陸鐵道經由に比し運賃に於て節約する所頗る大なるを以て是等の貨物は專ら巴奈馬を經由する事となるべく從つて巴奈馬を經由して新市に至る航路を利用する本邦輸出入品の便否は日本貿易に甚大の關係あるを以て政府は他の航路に對する補助費を節約する事あるも同航路は必ず補助するに決し愈當期議會に之を提出する由

●本年開通豫定線　大正三年度に於て開通すべき豫定の鐵道線路如左

▲平線　三春、小野新町間　▲新庄線（岩出山鍛冶谷澤間）▲岩越線　野澤津川間　▲舟川線　二田船本間　▲長井線　梨鄉長井間　▲北條線　木更津湊間　▲村上線　新發田村上間　▲多度津線（觀音寺川の江間）▲[illegible]線　澁名線　小田太田間　▲[illegible]線　本下野間　▲佐伯線（大分幸崎間）▲犬飼線　大分中判田間　▲湧別線　留邊志下生田原間　▲足[illegible]線　足尾本山間

●各大臣の災害寄附　山本首相以下各大臣は廿三日東北九州災害地に對し左の如く寄附申込をなしたり
五百圓山本總理大臣　三百圓[illegible]國務大臣

●蓮華山の鳴動　日本のアルプスなる蓮華山（信州北安曇郡北小谷村）は一月五六日頃より時々鳴動あり近來は其度烈しくなり人心恟々たるものあり

●太平洋に爆發　宣教師ドーウィー氏は太平洋アムブリン島火山爆發の狀況を述べしが之に依る時は各山順次に噴火し遂に十個の火山悉く爆發するに至り熔岩等を盛んに噴出せりされど二千五百名の土民は格別騷がず多數は安全の地に避難せり死者は百名に達せるが重に熔岩の流れに陷り或は溺死或は沸騰せる海中に陷れるものなりと

●其後の櫻島

▲鹿島市の現狀　各官衙市民は一月十八日以來弗々歸來し爲めに停車場を始め市中到る所人車絡繹として中々の混雜なり只老幼のみ猶伊集院市來方面に殘留せる者多く鹿島市は漸く秩序恢復の形なれど何分にも一週間も捨て置きたる事とて何處の家も大き入りたる降灰に荒され掃除に[illegible]難し居れり

▲縣廳の告諭　縣廳は廿日[illegible]左の如き諭告を發せり
大森博士の談に依れば櫻島噴火の模樣は次第に減少し居るから[illegible]動があつても亦灰が降つても最早大なる危險はない、櫻島の避難者も湯野、野尻方面白濱、二俣、松浦街道筋[illegible]武の如き場所は歸つてもよろしい

▲櫻島避難民歸村　縣廳報告によれば櫻島村民中屈強の若者等のみは次第に歸村し各家財の整理建物の修理降灰の取除け等に努め居れど到る所尺以上埋積し居る事とて手の着けやうなく歸村せしもの何れも呆然として途方に暮れ居れり

▲灣內汽船の航海始まる　鹿島灣內古江、指宿、小根占、喜入行汽船は十九日より又鹿島行汽船は廿日より航海を開始せり

▲種子ヶ島に移住　櫻島罹災民の移住地に關し谷口知事は氣候風土及び彼等の希望に適する農作地は種子ヶ島に限るより移住地を先づ種子ヶ島と定め廿二日種子ヶ島の各村長を召集して協議會を開きたるが櫻島移住希望者は約二千戶人口一萬四五千人ある譯なれば廣き候補地を選ばざるべからず種子ヶ島の北種子村に三ヶ所の候補地あり同村安城に千二百町步其他同村國上舊監獄[illegible]四百町步大峰二百町步なるも可く一ヶ所に集めて彼等をして自治体を組織せしめ現在の村長を始め移住し[illegible]新櫻島を建設せしめ小學校も別に建てゝ種子ヶ島の厄介にならざる樣總て櫻島の自治体を其儘移轉せしむる計畫なれば先づ第一候補地の安城官有山林千二百町步に移住せしむる事に決し大林區署に向つて交涉を進めたるが多分拂下げとなるべし愈よ移住確定の上は一日も早く開墾せしめ今春の芋作より耕作し得る運びとなる可し

▲櫻島は殆んど永久全滅　佐藤技師は地質學上より仔細に之を研究せり同技師曰く日本の火山系は東北方より漸次活動を開始し西に向ひ遂に九州に入り櫻島の噴火となれり霧島阿蘇は同火山系なれば今後噴火する事なしと云ふ可らず[illegible]泉ヶ嶽のみは[illegible]系統を異にし居れば以上の二火山とは多分別の行動を取る可しされど流出せる熔岩が耕作を爲し得べき土壤となるまでは數百年乃至數千年を要するものなれば今回の横山、赤水方面、有村、瀨戶、黑神方面は生存の地としては殆ど永久に全滅したるものと見るべし

▲櫻島損害調査の結果　○西櫻島村[illegible]百五十戶全滅○小池[illegible]三戶全滅○赤生原百六十九戶全滅○武二百七十六戶約半數燒失○[illegible]野百五十九戶約二分燒失○西道百廿七戶中七戶燒失○松浦八十六戶○二俣七十一戶○白濱一百廿九戶○燒島五十一戶以上存在○東櫻島村黑神二百七十戶の內約二百戶燒失○瀨戶二百八十九戶全滅○脇百五戶全滅　有村百七戶中[illegible]湯十戶存在外全滅、古里百八戶○湯野二百八十七戶○野尻[illegible]百六十戶○高免五十八戶以上罹災存在

●[illegible]人口西櫻島七千八百廿八、東櫻島一萬二千五百二十五人

●[illegible]配人廿萬圓橫領　ボレイを尋問したる結果シーメンス會社日本代理店支配人ヘルマンが吉賄に關する金員二十萬圓を橫領せる事の發覺するに至りたれど、海軍瀆職事件の餘波は奇怪なる事件を産みつゝあれども是がため我海軍部內に不正行爲ありしを證明しつゝあり

其後の櫻島罹災民寄附金
十一弗河野滿牛、五弗宛　壬生茂太郎　內原[illegible]相　吉田四郎　藤代司馬太郎　若[illegible]貫千太郎　井上常久　山中米吉　長谷川長太郎、四弗小林作太郎、三弗宛　山田政彦　森次郎　日名子壽錄、二弗宛　上原德造　小嶋松五郎　岩本伊三郎　田中欽之　西日與三郎　大石長吉　[illegible]二弗五十仙山崎[illegible]三郎、一弗宛岩本[illegible]　河本[illegible]　以上壬生[illegible]扱　五弗林[illegible]

●日本人と南米人　百才耳人にて羅馬史家として又哲學家として知られたるフェレロ氏は近刊の■■テラリー、ダイヂェスト誌に寄し日本人と南米の關係を人種學上より論じたれるが其要旨は日本人種と南米諸國の人種とは同人種なり故に早晩日本と之等諸國とは密接なる關係を結ぶに至り遂に同盟も成立すべく斯くして日本の苦しみつゝある人口過剩問題か容易く解決せらるゝ時機到來すべしと云ふに在り何論者の所謂南米人七と云ふ中には墨國人をも含み居るか如し

●金子氏歸化事件の願下げ　南加州リバサイド耕作金子眞成氏の市民權問題は一時世人の注目を惹きたる事件なりしか過日同地より某所への電報に依れば氏を訴へたる中央政府派遣の官吏は都合により一應該訴訟を取下ぐる事となりたる由なり、元來氏は一千八百九十六年三月廿七日サンヂエゴ高等裁判所に於て高等裁判所判事ジョンテス氏判決の下に米國に歸化し爾來完全に選擧投票權を有し居りて去る一氏も亦歸化證を有せる所中央政府と後の其官吏は調査の結果金子氏の歸化證の無効を訴ふるに至りしものなりと云ふ、因に在留同胞中歸化證を有せる者は獨り金子氏のみならず他に數名の人々あり一般の米國歸化法の解釋上日本人に歸化權なしと認め居る今日之等歸化證所有者の研究は多少の興味ありと思はる

●大博と事務官並に工事　我政府が參加躊躇せし事は既報の如くなるか農商務省は近々會長以下の任命をなすべく目下内決し居る人は會長金子子爵、事務官長織田一、事務官片山技師等なりと尚時日の切迫し居る今日工事の縮少を爲すやの噂ありしも農商務省は設計萬端の準備を爲し建築技師並に木材輸出の計畫等も既に十分整へ居れば經費豫算の故障起らざる限り規模を縮少するか如き事なかるべく、又片山技師北川道辯の兩氏は三月頃にて織田事務官長等の一行は多分五月下旬頃なるべし

●羅災民義捐金締切　各團体に於て募集したる東北樺太羅災義捐金は總額既に一千三百餘弗に達せし由にて去十五日一日締切となしたるも遲着の分を取纏め第二回送金の分に繰入るゝ筈なりと

●ニューヨーク日本人會創立發起人會　は既報の如く去十七日修道會に於て開催したり來會者四十七名、一宮氏議長席に就き設立趣意書、會則草案等に關し討議を凝したるか結局當夜熟議の要項を基礎とせる會則を編制したる上遲くとも一週間内に本會創立を公表する事となしたり、發起人諸氏の推薦したる各委員の氏名左の如し

會則起草委員長高峰讓吉　委員高見豐彦　地主延之助　一宮鈴太郎　大塚篤　中原斗一　甲斐健
會計一宮鈴太郎　瀬古孝之助
寄附金募集委員長新井領一郎　委員瀬古孝之助　高峰讓吉　牛窪第二郎　高見豐彦　地主延之助　一宮鈴太郎
追て會則成案と同時に第二回發起人會を開く可し

●日本人會と共濟會　日共合同に關し共濟會にては同章を以て會員の意見を徴する所ありしに大多數は賛成の模樣なれは日會創立發表後間もなく合同するに至るべしと

●新育ミッション　本日は實業研究同志會、明日曜午後十二時聖書研究會、同日午後八時より清水牧師の■■盛頓の精神と現代米國の大勢」なる講話ある筈

●美以教會の音樂會　去十九日同會に於て日本人有志の慈善音樂會ありたり

●菊水のボヤ　料亭菊水は去十三日キッチンより火を失し將に大事に至らんとせしか消防夫の手迴し敏速なりしため僅かにダウンセラの損害のみにて消し止めたり

●コソ泥の出沒　近來市内各所にコソ々泥棒の災難多き模樣にて鴨井下宿にては止宿人の燕尾服其他數點紛失し犯人並犯人をかばひし奴も略ぼ判明し居れりとの噂あり、みやこにても手提靴鞄其他消へ失せたる由なるか、他人の盜難騷ぎを書いて居る間に本社事務所も一寸許り泥公の御見舞を蒙り外套、ヅボン、スエーター其他を掻拂はれたり、毎年冬季に入ると各下宿屋にてコソ泥の出沒甚しきか例なるも商買に影響するとて秘密に見逃す者多けれど、斯くては却つて泥棒を増長せしめ風紀を害するの怖あればドンナ奴でも構はず見付けたら引つ捕へて痛々しき制裁を加ふべし

●新井米男氏歸市　領一郎氏令息なる同氏は歸朝中の處過日桑港着の天洋丸にて歸米せり

●福澤駒吉氏　桃助氏令息の同氏は英國留學の途上記新井氏同行當地着

●地原外務省電信課長　出雲艦搭乘墨國に使したる同氏は西鄕侯爵と同行巴奈馬を經て來米目下華府滯在中なり

●綿花會社支店長日置增雄氏　テキサス地方出張中の處過日歸市せり

●宮村季雄氏の訃　多年當地領事館書記生として精勤の聞へ高かりし同氏は急性肺炎にて過日來臥床中なりしが去十九日病俄かに革まり同日午後三時半遂に長逝せり、遺族は令閨並に當年二才の令息朝雄氏あり痛惜の情に堪へず

●マスターオブアーツ中村平氏　近々歸朝の筈なり

▲世界一周野球團　目下羅馬に在る同團白踏軍のマチヂャーなるコミスキー氏は食事も通せざる程の大病に罹りたるが醫師は恢復後にあらざれば出立を許さゝるため一同頗る困却し居れりと

賣物、買物欄

何品に依らず又其大少を論せず僅少の手數料にて斡旋の勞を取る可し、希望者は本社へ申込まる可し

●新育に居た人々(一)　馬場恒吾君はジャパンタイムス紙の編輯長兼首席記者として麗筆を揮ひ▲秋元宗君は同社の商業部を擔任し▲春雨中村君は二三劇場脚本部の顧問▲田村松魚君は萬朝の軟派記者妻君は女文士俊子の君▲星一君は百万圓の製藥會社を組織して藥九層倍の廣告親玉を氣取り二代目岩谷天狗▲中鉢直冶君野武一兩君は寫眞島で成功▲藤原俊雄君はタイプライターで金を作り▲中塚榮次郎君は舶來壁紙で非常な富をす▲禰宮青尊老は紀州田邊の紀伊新聞社　小山谷一君所有に居る

○日本人廿名入用

英語を話し得る日本人二十名絹地捺染職工として入用、雇入當日より一週十弗を給し仕事を教ゆ手腕上達と共に增給す時間は八時より六時迄土曜日は五時迄とす

De... M. F. G. Co. 36 E. 12th St.

●紐育の日本人（九）

飛耳張目生

賭博の弊害

▲なども事新らしく書き立つる必要もないやうだが新育に居る日本人青年が如何なる徑路から賭博の味を解するに至り、ソシテ其結果として自ら招く弊害と社會に與ふる影響は如何であるかを示す爲に僕即ち飛耳張目生自身の經驗を白狀しやう、イヤ憐れなる青年諸君よ、僕も嘗て一度は諸君と同じく下宿屋籠城の生活を試み又つた或時は「三角洲上のノーエリーボート」となつて御先眞ッ暗らやみ雲の放浪生活を送つた者だ

▲僕も今こそ五十三歳の禿頭爺、不惑の齢を越へて未だに獨身、舊友からは社會の落伍者として侮蔑まれて居るが若い時分にや頗る盛んなもので親戚朋友からは天晴れ未來の成功者よと望みを屬されたもんだ、僕共當時の考では一体人間と云ふものは意志の力を以て情慾を制しさへすれば吃度成功するものだと思つて居たが在郷時代は勿論米國に來てからも女や賭博などいふ觀念は更に無く、業務の餘暇には古今の賢哲に私淑し大いに精神の修養をやつたもんだ、嘘のやうだが渡米以後十五年の間と云ふもの僕は丸ッ切り仙人同樣の純潔な生活を送つて居た

▲今より約十五年の昔と記憶する僕は商用を帶びて或る地方に旅行した其時不圖途中で一人の日本人に出會ひ、日本飯の食へるさに其人に連れられて或下宿屋に行つたのが初まりで其後一寸/\遊びに行くやうになつた、或時二階の一室に這入つた所が數名の者が卓を圍んで互に妙な物を轉ろがして不勘興に入つて居る樣子である、元來サイコロなる物は運の惡い妻君の若禿、即ち妻苦勞じや位にしか思つて居ない僕の事だから一体ソレは何で御座るかと尋ねると、之はセブンレブンと申すもので非常に面白いもの、貴君も一番二十仙を試みて御覽と云ふに任せて一寸行つたが身の詰り瞬たく中に五十弗を失つた

▲イヤ飛んだ馬鹿を見たと商買も其處/\に切上げ歸紐して某旅館に御輿を据へると思ひきや爰でも亦例のコロ/\を行つて居る、面白いと味を占めてるから最う堪らぬ、行つて見ると取られるは/\は一週間の間毎日の銀行通ひ、バランス七十五仙に減じて一千三百何弗といふ虎の子先生、七里血灰、一瀉千里の勢ほひで以て万劫末代永久に影を沒した、後で或親切な男に聞いて見ると僕は負けたのじやない、イカ樣物で負かされたとの話しであつた

▲尤も斯かる放縱な生活を送る中にも誰しも多少の良心はあると見へてかういふ可笑ひ話がある、或時僕は勝負好きの金嫌い連、即ち僕と同好の薄馬鹿五六名と共に終日終夜コロ/\やつて居たが丁度朝の四時頃だ仲間の一人が側で見物をして居た文無し君に可愛相だと云つて五十仙銀貨を貸してやつた、然るに其文無し先生は五十仙の資本からメキ/\と勝ち込み御仕舞には吾黨五六名の懐中金總計百八十弗を根こそぎにして一寸失敬左樣なら、敗軍の將兵を語る勇氣もなく狐に摘まゝれたやうな面を見合はして「オイ諸君御互は隨分馬鹿だチー」と大笑ひして共々に愧入つた次第であつた

●母國訪問團の解散に就て（中）

林富平

▲團員が自由行動を取つて居る間に突如マンハッタン倶樂部から招待を受けた我々は折角の好意ながら之に應ずる事が出來なかつた、何故なれば他所の觀光を除いてまで東京滯在の日數を增加した主要の目的は倶樂部の諸氏と日を期して一堂に會合する事を一同が熱望した結果であるからである、前記朝屋糸永兩氏は如上の事情と成行を考察し到底當初の計畫が實行されぬものと斷念し夫れではせめて出席出來る人々丈でいゝとの要求であつたが僕の立場として二三人と共に臨席し他の團員を失望せしむる事が出來るものであらうか

▲折角準備された當夜の會合は斯の如き事情のため遂に同倶樂部の臨時懇親會と云ふ名目に變ぜしむるに至つた、會合の歸途吾々の旅宿を訪問された姫野石川中鉢諸氏は前日配付を受けた歡迎會の通知狀に發起者として朝屋氏一人の記名あるは甚だ怪訝なりと思ひつゝ臨席したるに果して斯の如き齟齬を生じたりと云はれそして吾々を招待する時日に關しては同倶樂部の幹部連へも交渉なく其日の會合は只單に朝屋氏の獨斷であつた事が明白となつた、

▲「東京便り」の通信者が何人なるかを探索中中村嘉壽氏は僕にあて「新報紙上に其執筆者が安樂榮次氏なりと斷定してあるが夫れは事實無根の事にて察する所他に何人か爲す所ありて通信せしものならん右に付同氏は非常に迷惑して居る云々」同樣の文意にて本社の甲斐氏にも書面を寄越された、

▲如上の記事によつて讀者は其當時の事情を悉知する事が出來るであらう、そして團員が不平タラ/\であつたなどの記事は直接諸君か團員に接して其實否を訊かば全く或人か故意に捏造したものである事か分る。終りに臨み斯の事件に關し大ひに同情を寄せられた諸君に感謝の意を表す。（完）

投書籠

▲日本人紳士某は僕の働いて居る主人に招待されデンナーに臨むべくアパートメント邸宅に至ると金釦の服裝嚴めしき昇降器司長一見「セイ。ジョン」を喰はせ奉公人は後方のエレベーターを使用せよと言つたので件の紳士立腹し嚴談に及んだが日本人は全体にサンをやるものと思惟して居るのだから結局りは泣寢入りになつた（バトラー）▲オイ漸く呱々の聲を擧げた許りの青年會へ喰ひ倒しに出掛ける奴があるとはヒドイではないか（一會員）▲靜座法の研究者續出するのは賀すべき事なり、聞く所に依れば初期の呼吸機病は同法の效果により大抵全治すべしと而して我々の如き勞働者は其實習に費用を要せぬ點に於て好都合なるを想ふ（体育生）▲新開業の千歳は料理の美味で大繁昌、慾を注文するなれば酌婦がほしい、白婦人でもイヽから頼むよ（ヒイキ筋）▲下宿屋に遊んで居る野郎共働口があれば給料の如何を問はず働け（今荷駄目藏）▲先週の貴紙には在留日本婦人の大會寫眞が紹介してありましたが新育日本人の歷史あつて初めての催ふしで万里の海外に在る妾等共には此位ひ有益の會合は他にあるまいと存じます次會には是非妾も出席さして戴きたいものです（費府一少女）

NO. [illegible] VOL. 4　The Japanese Times　SATURDAY Feb. 28th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $1.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

米國 近時の外交

國富の增大と黄金萬能の思想とは米國の人民をして一種の誇大忘想狂たらしめ其尊大不遜なる態度は世人をして建國當時の精神何處に在るやを疑はしむるに至りたり、蓋し國力の澎漲發展が、一國民心の消長に幾多の變化を與へ、時に高調に逸するの結果稍もすれば經國濟民の事業に害を及ぼす事あるは歴史の證明する所、敢て奇とすべきに非ずと雖も、近時米國の民心が其對外政策上に及ぼせる影響の如きは近代稀に見る所の現象にして一部の識者が自國をして現在の孤立的地位より脱却せしめんと努めつゝあるもの亦所以なしとせざるなり、試みにマッキンレー氏が從來の中立政策を放擲して帝國主義を採用したる以來の米國對外關係を閲するに非島の奪取、布哇の併合は素より[illegible]氏の[illegible]獨立宣言によりて列國のために其東洋並に太平洋に對する野心を疑はれ次に掏起なるノックス氏の東清鐵道中立案により日露の反感を買ひ、更に加州學童問題、日本人排斥、排日土地案によりて我國との親交を損ひたる外、猶過料問題に關せる背信の行爲、巴奈馬地域割取の狡猾なる手段、移民教育程度試驗法案等によりて[illegible]コロンビヤ諸國の反感を招きたるが如き一として國勢の增大に誇負せる米國民の傲放なる態度を示さゞるものなし、斯の如く米國は過去十數年間の唯我獨尊の對外政策を踏襲し來りし結果外交上全く孤立の地位に陥入りたるのみならず、實際に遠かり且學究的推理に基ける維爾遜氏の對墨政策失敗と共に從來西半球上の主義又憲法と信じ居たりしモンロー主義の無價値を自白するの止むなきに至れり、米國唯一の外交通として有名なる議會の重鎭ロッヂ氏が自ら現時閣の反對黨なる觀念を去り、現時の列國關係を詳述して維爾孫を擁護したる後極力英國の主張に[illegible]べき事を論破せるは聊かに米國一部の識者が窘迫せる自國の現狀に鑑み大に自覺する所ありしと解釋するを得べく且つ將來に於ける米國現政府の對外方針に多少の變化を來たすやも知るべからず、吾人は國家存立の根本要義を解する者の一人として米國が自國の利益を圖る上に於て有ゆる利己的手段を須ゆるを咎めんとするには非ず、只米國が極端なる國際無道德論を根據とせる對外政策の必ずしも國富の充實によりて凡ての場合に應用し得べきものに非ざる事を自覺し異種族國民を遇するにも可成同種族國民に對すると同樣の態度を以てせんことを望むと共に、吾當局者亦深く米國現時の狀勢に省み米國、墨國、南米等に於ける吾民族の將來に關し緩急の措置些の謬ちなからんことを望むものなり、吾人豈單り米國の爲にのみ言はんや

剌伯西と黒人

[illegible]はルーズベルト氏稿「南米紀行」中の一節にして我民族の南米發展に關し時節柄特種の興味あり

人あり余に向つて伯剌西と米國との特異點を示せよと問ふ者あれば余は直ちにそは黒人種を遇するの態度なりと答へん、兩國に於ては恰かも吾オクラホマ州に於けるが如く開化せる亞米利加印度人の血脈を有する事は一種の誇りと稱せられ現に伯剌西大統領を始め余の面接せる數多の有方家中此種の系統に屬せる者あり、乍併伯剌西國の人種混合は歐羅巴若くは吾米國と全く反對の性質を帶べりとするは非常の誤謬を來す基にして伊太利人及西班牙人の混合も南方佛蘭西人又は我國の或部分に於て行はるゝもの及進歩せる世界各國人間の混合も「混合」なる意義に於て差あるにあらず只伯剌西と米國との格段なる相違は黒人種をアブザーブ（血族的に他を征服して自己のものとなすの意にしてル氏は「アブサーブ」なる用語を以て自ら適確なりと信ずと附言せし）する點なりとす

伯剌西人は黒人のためにアブサーブされずして却て善く彼等をアブサーブす、勿論首都リオに於ける上流社交界の紳士淑女の多數は何れも巴里羅馬、マドリッドに於ける夫等と撰ぶ所なき純白皙種にして政界の有力家は小數の印度人血脈を散点せる者あるの外悉く純白人種なり、而かも黒人又は白黒混合種と雖も其才能の如何により何等の故障なく凡ての地位に達する事を得るなり、余は二人の黒人代議士に會せし外、士官學校に於て一人の黒人教授を見、大實驗所に於て黒人學者と語りたるが是等の人々は公私の關係交渉上黒人種たるの所以を以て差別的待遇を受くる事なく、何人と雖も斯る考を抱く者なき模様なりき、只黒人、半黒人、クォードルーン（白四黒一種）の多數は概して高等なる位置に達せず社會の下級にあるのみ、余は亦陸海軍隊を見たるが多數の黒人等は白人兵士と打交りて各種の業務に從事しつゝあるも決して差別的待遇を受くるを見ざりき、バヒラ市に於ける勞働者の多數は黒人にして他には猶多數の黒人ある地方あるべく、首都リオ市は特に多しと雖も吾米國南部の都邑の如く甚しからず

黒人の勞働によりて衣食し其結果として極端な兩者の離隔を來すは他國に於て多く見受くる所の現象なるが伯剌西の白人種間に於て斯る寄生虫的現象を見る事なきは同國に取りて實に幸ひなりと云はざるべからず、リオ市に於てさへも宏大なる事業は白人によりて成就さるゝも彼等は黒人を排拒せざるのみならず、下級社會の雜種結婚は盛んに行はれ殊に歐州移民と黒人の結婚は最も多し、中等社會の雜種結婚は甚だ稀れなるが上流社會に於て黒人の系統ある男女は見受くる事難きも是等上流社會に於てすら白種九分黒種一分の男女と結婚する事は別に不思議とせられざるなり、余の親しく交際したる人々の多くは純然たる白色人なりしが彼等は以上の事實を是認するに躊躇せざりき（未完）



●洋聲俳句會

▲雪

初雪の知らせ四千哩外の妹より　五峯
後朝の別かれをさはに雪ふれる　同
雪の夜を默想の女燭に俛首るゝ　同
一氣呵成續稿物す雪の宵　同
不義の虚説立つ日の暮を雪ふれる　同
今し放浪の雪にフエリーも旅情なる　ばなゝ
辭し度き田舍枕に通ふ雪のそり　同
カーテンの鳥影よ婆娑と笹の雪　默平
達磨忌の三千年の雪も猶ほ　同
雪道をそり一つ行く夕邊哉　同
學村出でゝキジ逐ふ山や雪深き　同
高樓は富士の雪見る法師哉　同
マッフ頬にあてゝ雪除ける人動く[illegible]か　嘯天
雪に案出す[illegible]の一手も石冷かに　同
雷雪幾日魚燈に冥想も疲れ眠る　同

▲火事

對岸の火事見へて過ぐる夜滅車哉　紅白
山火事に思はぬ岩の見ばへして　默平
背に躍るい組の龍が消し頭　同
ファイヤー、チーフの輕車飛ぶベル街路を拂つて　嘯天

●ベントン殺害事件と英國の輿論　過日憲政軍の大將ブイラが在墨英人にして大地主なるベントンを銃殺したる事件は左なきだに紛糾せる米墨並墨國對諸外國との關係を困難ならしめ被害者の本國なる英國の朝野は勿論華府政界も該事件のため俄かに活氣を呈し來りペンシルバニア州議員アイネー氏の如きは去廿五日下院に於て熱烈なる大演説を試み盛んに維爾孫氏の對墨政策を攻擊したる後政府はベントン殺害事件に關する調査報告書類一切を議會に交附すべしとの決議案を提出せる程なるが今同事件に對する倫敦諸新聞の論調を要約すれば左の如し

デーリークロニクルは曰く

ベントン殺害事件に關し墨國問題を解決するの途三あり、米國のウエルタ政府承認其一、武力的高壓干渉を除ける凡ての方法を用ゆる事其二、米國の武力的侵入其三なり、若し強いて第四の方法を求めしめば米國及列強の聯合干渉なる可きも斯はモンロー主義の範圍を犯す事多きに失するの嫌あらん、而も第二の外人殺害起らんか此の如き提議は獨佛より提唱し來るやも知るべからず云々

ポストは維爾孫氏の對墨政策の誤謬を論じ且つ曰く

墨國はモンロー主義の勢力範圍なりと云ふ而かも如此政策は内亂、無政府の情勢外人の暗殺を慫慂するものに非ずや若し米國にして在墨國外人の生命財産を保護し能はずと云はんか列國は各々自國民を保護する必要上隨意の行動に出づべき理由を有す云々

デーリーテレグラフは華府政府の調査報告を待つべしと論し更に曰く

米國の地位は頗る困難となり來れり、ウエルタ氏の罪惡の如何に關せず彼のレコードは墨國叛徒の眞の補助者たる人よりも其罪輕しと云ふ可し云々

●巴奈馬課税法廢棄案通過せん　維爾孫大統領の主張たる同案に就きて下院に於ても反對者少からず依て氏は同案が討議に附せらるゝ前反對議員等を白堊館に招き懇々説得する所ある可く多分議會を通過するならんと

●仲裁條約案上院通過　昨年を以て滿期となれる英、日、伊、西、葡、瑞瑞西諸國と米國間の仲裁條約繼續案は去廿一日米國上院を通過せり、右條約中最も重要なる條項は其第一條にして即ち左の如し

法律問題又は兩締約國間に現存する條約の解釋に關し兩締約國間に起生し外交上の手段に依り處理する事能はざる紛議は千八百九十九年七月廿九日の條約により海牙に設置せられたる常設仲裁々判に附せらる者とす、但右等の紛議にして兩條約國の緊切なる利益、獨立若くは名譽に關し又は第三國の利益に關係ある場合は此限りに非ず

●カーデン卿米國に向ふ　駐墨英公使は廿六日ウエラクルズより軍艦エセックスに乘じカルベストン市へ向け出發せり

●世界一周米國野球團の光榮　近々

●チアス將軍談　前年革命を起してマデロ政府を倒し昨年ウエルタの爲に逐はれて以馬に亡命中なりしフエリックス、チアス將軍は目下當地に滯在中なるが此程來訪の新聞記者に語りて曰く墨國に於て實際の訓練を經たる軍隊は單り政府軍あるのみ、ブイラ若し幸ひにして勝を制する事あるも彼によりて墨國の平和は斷じて期し難し彼は又彼自身の部下を統御する事さへ能はざる可し、余は目下政爭の圏外に在るを以て今度の來遊は何等政治上の意義なし、余が唯一の希望は墨國の平和に在り此目的を達する方法に就ては目下熟考中なるを以て何事をも語る能はずと雖も墨國には目下全國を靜謐に歸せしむる丈の有力なる人物なし、若し之れありとすれば余は直ちに歸國して之に從ずべし只ウイルソン氏にして早くウエルタ政府を承認したりしならば吾墨國は既に平和を克復し得たりしならん

●ベッカーの再裁判　一昨年博徒ローゼンタル謀殺の首魁として死刑の宣告を受けたる前警視ベッカーは其後再審理の運動を試みしが遂に其目的を達し裁判官は來る四月再び同人の謀殺事件を裁判に附する事とせり因に直接手を下してローゼンタルを銃殺し死刑の宣告を受けたる四人の暴漢は來四月刑の執行を受く可しと

●海軍收賄事件局面愈擴大　海軍收賄事件の局面は益々擴大し撿事局にては大活動を試み居れるが之かため要路の高官にして其筋より家宅搜索を受けたる者少からず主なる者は海軍艦政本部々長海軍中將松本和、吳海軍工廠長海軍中將村上格一、海軍教育本部第三部長海軍機關少將武田秀雄、目下猶逸駐在中なる海軍中佐平岡善之丞等の四氏の邸宅なり

大空に書けばかつ消ゆ鳶の輪の
一あだなる事に過ぎし四させ

東京電報

●御用商人捕縛

海軍収賄事件は審理の結果益々其範圍を擴大し來り有名なる三人の海軍御用達商人は本日捕縛されたり

立憲同志會の藏原惟廓氏は

高等海軍當局者が不正なる収賄手段に依りて貪りたる幾多の一事を暴露し且つ一々犯罪者の姓名を讀み上げたるが衆議院は氏に向つて該書の記者を明示せん事を要求したるも拒絶せしため直ちに懲罰委員に附せられたり　廿三日發

●潜航艇沈没　巡艦平戸に附屬せる潜航艇は過日カクマ島附近に於て行方不明となりたる一水雷艇搜索のため派遣されたるまゝ過去三日間何等の消息なく多分乘組員一同と共に沈沒したるものと察せらる

●海軍収賄關係者陸續有罪　海軍査問委員會査問の結果艦政本部の澤崎寛猛大佐並に軍法會議に廻はされたり一方裁判所にても着々審理の歩を進め現役の

藤井少將澤崎大佐岩崎大佐の三人有罪と決定せり

▲首相の舊惡　査問會及び軍法會議に於ける審理進行の結果山本首相が曾つて海軍大臣たりし當時の舊惡が如何なる方面より曝露さるゝやも計り難しとの風聞あり政府反對新聞は連日に亘り首相と豫備海軍中將山内萬壽治氏との關係に付き辛ラツの論評及び報道をなし居れり

●大岡議長再辭職　議場不整理の責を引いて去十二日辭表を提出したる衆議院議長大岡育造氏は政友會側の勧告により一度辭意を飜したるも議場の騷擾益々甚だしきにより再び辭表を提出し斷然留任の意志なき旨言明せり

日本最近信

●海軍収賄事件一束

▲貴族院側の憤激　貴族院側にては豫て官紀振肅問題を提出せんとの内議ありし矢先シーメンス事件勃發のため一層其氣勢を高め來り同事件の眞相未だ判明せざるも山本首相の人格は由來疑ふべき點少からざれば此機會を利用して頂門の一針を與ふるは政界の粛清劑たるのみならず官紀の振肅ともなるべく殊に昨今に於ける政友會の横暴に對しても反省を與ふる事ともなるべく先づ其第一着手として古賀廉造氏を貴族院より除名せんと研究會の少壯派は敦圉きつゝありと

▲ヘルマンの逃亡　今回の海軍問題の張本人と目せらるゝシーメンス會社の大阪支店長(實際は日本全体の營業監督を爲せり)ヘルマンは過般來東京に在りしが自己の關係せる事件が大問題となりしより大に狼狽し廿六日夜窃かに東京を出發し其邸に歸り妻を伴ひて直ちに舞子方面に去りたるものゝ如く後にはコックボーイの口にて「大方國へ歸國したのでしやう」と云ひ居れり

▲ブーレー島田氏を告訴せん　ブーレー氏は議會にて島田三郎氏のために素破拔かれたる上同氏の談なるもの各新聞紙に現はれたるは一身の名譽上捨て置き難しとて近日誹毀の告訴を提起すべく昨今辯護士と相談中の由是にて氏が一身の黒白明白となるらば格別然らざれば同氏が會員たる國際新聞協會及び東京倶樂部にても其儘には捨て置かざるべしと

▲リヒテル持逃始末　リヒテルのシーメンス商會に雇はれたる時は月給百二十五圓なりき日本の事情を知らざりし彼は是なれば獨逸の二百五十マークに當る事とて大に十分なりとて三年の契約にて日本に渡來したるが來て見れば物價の高き日本とて連も之れのみにては十分の生計を立つる事能はず夫れがため屢東京の支配人ウイルヘルム氏に迫りて增俸を求めたるも既に契約濟みの上の事なれば今更ら如何ともする能はずとて求むる毎に跳ねつけられリヒテルも大に氣を腐らし居たる所へ機よく日本の某會社より電氣機械に關する巨額の注文を受けたるより彼は此注文書を竊かに持ち出して日本の某商店(大倉組なりとも云ふ)へ携へ行きシーメンスが受けたる注文を横合より右の商店に引き受けしめて其の間に奇利を博せんとせしが件の商店にては斯る不正の注文横取を爲すべきに非ずとて體よく拒絶したり此事何時しかシーメンス商會の耳に入り然る不都合を働く者は片時も雇い置き難しとて直ちに解職したるよりリヒテルは行掛けの駄賃にとて支配人ウイルヘルム氏の事務所より秘密書類を持出したるなりと云ふ斯くて書面を日本の某新聞記者に示して賣り付けんと企しが其記者は確と其内容を見ずして頭から相手にせざりしため更に同じく某外國通信員に持ち行きたるなりそれより以前に兩三回某國大使館に此種類の書面を持込みて賣付けんと企てたるものあり夫れがシーメンスの者なりや否やはリヒテルなりや今判明せず兎に角斯る賣付方が到る所に行はれ居る事は明かなり忌ましき限りなり

●艦政本部は海軍の腫物　シーメンス、シュッケルト事件は是迄いろ〳〵世間に噂されて居た海軍の収賄沙汰を一時にさらけ出した海軍中特に目指れるのは直接製艦事業に與かる艦政本部である、某海軍將校は同部の消息を語つて曰く遽かに勃發した海軍の收賄事件について思ひ當るのは艦政本部の腐敗である帝國海軍を人間の身體に譬へると艦政本部は夫れに出來た腫物のやうなものである海軍の汚い膿汁は必ず此處から出る

▲貧乏士官で叩きあげた海軍々人が相當の地位を得て一度び艦政本部に籍を置くと一朝にして其邸宅を飾り財を蓄へるのが争ふべからざる實例だシカモ今日の艦政本部長伊知地中將閣下は更迭後日尚淺くしてそれ程世間からも惡聲を聞かぬが前の本部長で現在の某鎭守府司令長官と來たら權兵衛伯に劣らぬ溜め込み屋だつた中將が本部長時代に

▲媒介部長のアダ名を取つたソレは中將か中將の部下の結婚媒介をアマリお好きに過ぎたからである中將の媒介の數既に五十餘り、日露戰後の製艦には香取鹿島を除いて最近の巨艦金剛に至る迄此人の時代に注文したものであるから製艦上のイサクサの數も頗る多い、戰後の海軍大擴張で四十年から四十二年にかけ長崎川崎各造船所大坂鐵工所浦賀船渠會社及び各軍港で驅逐艦を作つたが當時各軍港を除いた四會社は何れも一隻三十萬圓平均で四隻乃至六隻を請負ふた、此頃の製艦に關はつた人はなか〳〵福々だつた當時各工場を巡廻して居た造船中監の如きは

▲顔が大黒天のやうに福々したさうである其他三菱造船所で製艦した矢矧、霧嶋等にも種々話が多い、英國アームストロング其他造船會社へ注文した艦が竣成して廻航の途中スエズ運河に來ると會社からは必ず艦長副長機關長砲術長位に宛て金時計を送つて來ると云ふのが吉例だつたさうな云々

●對米外交質問　中正會所屬代議士石橋爲之助氏は尾崎行雄氏外三十餘名の贊成を得て對米外交に關する質問を廿八日衆議院に提出せり其要旨左の如し

一、政府は吾國民を以て米國の市民となり得ざる外國人と解するや

一、若し吾國民を以て米國市民となり得ざる外國人と解し居るとせば解釋の根據は米國國法の如何なる條項に基けるや

一、牧野外務大臣は一月廿四日衆議院議場に於て加州の外人土地所有禁止法に帝國政府の抗議したる理由として該法の日本人に對し他の外國人に比して差別的取扱を爲す所以なりと述べたり政府は何故に吾國民が米國市民となり得ざる差別的取扱に對して抗議せざるや

一、日本人が米國市民となり得ざる外國人なりや否や未だ米國に於ても解釋一定せずと云へば政府は何故に此解釋を有利に一定するの手段を取らざるや

●淺間山の噴火　同山は廿六日午前六時四十分頃大噴火をなし火焰天に沖して凄慘の状を呈せしが群馬縣下各部に降灰あり尚引續き黒焔を吐きつゝあるも鳴動なきため山麓の住民は安心し居れり

●花筵低落　昨年十一月米國關税の改正さるゝや我輸出花筵は一卷に付八十錢方の低減となりしを以て其内の幾分は本邦製造家の納むる處となり延て相場騰貴するなるべしとは一般に豫想されたる處なるも爾來相場は却て低落の歩調を示し新春に入るも商勢不振と相俟つて人氣更に引立たず然るに本月は舊正月の關係にて神戸市場への入荷は例年の如く多くして荷主は兎角賣急ぎ場合に依つては投げ賣りに出でんかの態度を持する向きさへある旁何時もの事乍ら自ら相場の低落を招致し目下の神戸市價は岡山並機械注文品七圓在品六圓四十五錢にあり

●無線電信隊新設　今回陸軍省にては應急施設として無線電信隊を新設し電信隊に增置する事とし來年度より二ケ年間繼續とし二年度に於て該經費四萬千餘圓を要求せりと

●高等遊民二萬人　廿四日門司發[illegible]したる野村[illegible]の許へ此際使用せられん事を申出たる者既に二萬人に達し居れる由如何に高等遊民の多きかを察するに足る

●減税運動　東京市内實業組合百八十餘團体より成る實業聯合會も廿四日日本橋倶樂部に於て各組合代表者三百餘名集會し營業税全廢を決議して實行委員を選び貴衆兩院各政黨及び商業會議所を訪問し陳情する事となれるか商業會議所が依然實業家の輿論を無視して三割減に滿足するならば同盟して會議所の費用を支拂はざるべしとの議論盛んにして會議所議員中にも此際全廢を要求するを得策とする者漸く多ければ近日中に臨時會議を開き前議を飜して全廢を決議するに至るべき形勢なり尚全國の實業組合に檄を飛して大々的國民大運動を起すべく盛に活動中なれば一方議會に於ける全廢案の進行に伴ふ活況を呈するに至るべし、尚全國實業家聯合の營業税廢止運動は日々激烈となれるが廿六日は日本橋倶樂部に東京市各區の實業家參集し廿七日大會を日比谷松本樓に開き更に卅日國民大會を日比谷公園に開きて天下の同情に訴へ豫ての希望を貫徹せん意氣込みなりと

新台 日本間 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
日本丸	桑港	廿二日
シカゴ丸	タコマ	廿六日
モンゴリヤ	桑港	三月一日

●日本より到着日

二月十八日　同　廿六日
同　廿八日　三月　三日
三月六日

タコマの大慘劇

三名の同胞を慘殺して屍體を埋沒す

▲未曾有の慘事 華州タコマの田舍ウォビル製材會社に就働せる滋賀縣人出口三吉なる者昨年十月十六日突然行方不明となりたるが今より十日前附近の山中より何者にか銃殺されたる屍體を發見し驚くべき大慘事暴露するに至れり

▲兇行の原因 同會社には百人餘の日本人就働せるが目下歸朝中なる高知縣人三井健三なる人夫長は此兇行の首謀者にして賭博の爭より三井は自分の部下小山なる暴漢を教唆し一撃の下に前記出口を銃殺せしめ附近の大根畑に地下三尺の穴を掘りて屍體を埋沒したり其後千人小山は三井の弱点に乘じて金錢の無心に出掛けピストルを以て脅嚇したるに席に在りし三井の乾分中島のために却つて撃殺され三井等と共に屍体を附近の山中に埋沒隱匿したり

▲中島亦斃さる 然るに中島は白人の女郎を情婦となしたるため莫大の費用を要し更に自分の友達なる三井宮川等のキャンプに出掛けては無心せるが三井は之を五月蠅思ひ宮川を使嗾し殺害せしめんと企み居る内十月廿七日中島は三井宮川の居る所へピストルを携へ百弗の無心に出かけ脅嚇したれば双方撃ち合ひの結果宮川は中島を斃すに至り屍体は鷄小屋の傍りに埋めたり

▲鬼哭愁々 以上は捕縛されたる兇行者宮川及び三井の情婦れ兼及び屍体埋沒手傳人等の自白證言する所に斯る兇行は該地に於て倖幾件あるや圖り知らず、其他中島小山出口と同じくキャンプを廻り歩きてはボーイズを脅嚇威迫しゐたる者にして行衛不明となりたる者段々あれど結局厄介拂ひを爲したりとて喜び居る程なれば或は兇行の事情を知り居りても知らざる顔を爲し居る者なる可く其附近の地下には無辜の精靈埋められ夜靜かに燐火人を驚かし鬼哭愁々たるものあるべしと

▲三井捕縛せられん 日本に歸り居る三井は僞名にて本名は官憲捕縛なる者にして米國官憲は彼に對して如何なる方法を取るべきかは一般の知らんとする所なるが多分沙港領事の手を經て外務省に打電し彼の捕縛方を依頼するならん

●布哇移民局内の日本婦人侮辱

今回ホノルル移民局内にて書くも忌はしき日本婦人侮辱事件發生したる顛末を聞くに廣島縣人田古清助の妻菊江(廿三)は過日の天洋丸にて着市しトラコマ病の嫌疑を受けて移民局に留置され居る内去八日の外出時間に他の婦人等と共に外出せり然るに不圖ハンカチーフを忘れ置きたる事を思ひ出で途中より引き返し再び門外に出でんとする際移民局のウォッチマンを勤むるスチーブンスなる男突然菊江の前に立塞がり腕力を用ひて無理に同人を狹き寫眞部屋に連込み不屆なる所業に及ばんとしたるにぞ菊江は必死となりて抵抗し悲鳴を擧げて救を求めし甲斐あり何人か馳け來る足音にスチーブンスは驚いて逃げ去りたり、此事に關しては最初菊江は恥しがりて口外せざりしが遂に包み切れず一伍一什を同行の人々に物語りしにぞ之を聞きたる留置中の同胞等は大ひに憤ほり不都合なる移民局員に手痛き制裁を加ふ可しと敦圉き呼寄婦人監督山内定子女史は事を穩便に濟まさんとして仲裁を爲し居る内合衆國撿事の耳に入りスチーブンスは直ちに拘引せられたりと云ふ

●縁起の黒姫 ツイ二三日前の寒空の深夜或る賭場で給金を右から左へ振り取られた業晒しに縁起付けを思ひ出した一人のサイコロ黨六十丁目邊の印度町へと繰込んだ、折柄ら降りしきる雪の中を負け酒の一杯機嫌で此地らとグレ附いて居る所へ頗るつきの白姫が通りかゝり馴れ〳〵しく接近したのに爺さん忽ち意馬心猿の慕りに縁起を忘れ言はるゝ儘に途あるアパートメントに入り見世物の熊よろしく十匹ばかりの黒姫がズラリと並んどる室に通つたが當の白姫はサア撰取り見取りお前さんの好きなのを聘べと云ふから爺さん落膽りしてそんな筈では無かつたと文句を並べたが白を餌食で黒に引掛けられたのだと合点して見れば仕方がないエイ儘よ之が却つて縁起になるだらうと勝手な理屈をつけて早速型の通りハライに掛ると釋迦の御利益忽ち現はれ不思議や眼前にかけてある自分の衣類が段々消へ行くのに氣がつき慾眼のなかにギョロ〳〵光る大眼玉の正体を捕へて見れば茲はそも如何に豚のやうな二百斤大の黒姫、彼奴も失策つたと思つたか居直り返つての凄文句、五弗ばかり入りの蟇口と天麩羅時計は醉拂ひに持せては物騷だから當方に預り置くとポッケットの中を拔取つて衣類を投げつけゲットアウトを食はせたので爺さん痛には障るもの、何分黒姫の權幕凄々しいのに怖氣がつき戸外に逃げだしたがピューと吹く雪嵐に首を縮めオー寒ぶい

●ニューヨーク實業倶樂部發起人會 東部在住實業家に組合若くは堅固なる團体組織の必要なる事は本紙の曾て論せる所なるが當市の菊地東陽佐々壽外數氏發起となり明三月一日料亭朝日に於て發起人會を開く由

飢饉噴火寄附金 決告報算

總收入額 千四百八十一弗七十五仙

内

支出額 兩新聞廣告料 四十弗

郵便電話其他雜費七弗

差引殘額 千四百三十四弗七十五仙

右の金額二月廿日寄附人名簿を添へ外務省會計課長藤田敏郎氏宛送達仕候也

二月廿五日 會計 一宮鈴太郎

寄附者各位

●慶應野球團渡米確定 スタンフォード大學野球團の招待に應じ近々渡米する事に決定したる由にて一行は來る四月四日桑港着の筈なるチャイナ號にて來米し太平洋沿岸にて十一回の競技をなし東部各地方に於ても十數回の競技を爲すべく尚當地方滯在日數行程等は確定せずと

●ニューヨーク教會の集會 本日午後八時より文學會ありコロンビヤ大學生久保白氏の「營養代學」と題する講話あり、明日は例の通り聖書研究禮拜及清水牧師の「感化力と權力」と題する說教ある筈にて同胞の來聽を望むと

●西鄕從德侯 廿六日華府より來着ホテルアスターに在り

●理學博士佐藤昌介氏 は目下ホテルアスターに滯在中なるが來二日出發新英州地方へ講演のため赴くべし

●守岡多仲氏並夫人歸朝 去廿六日出發歸朝の途に就きたり

●宮村末己人歸朝 子朝雄氏同伴前記守岡氏夫妻と共に歸朝せり

●横濱の富豪佐々木萬藏氏 貿物店「越萬商會」主人なる同氏は去廿六日來着當分日本倶樂部に滯在の筈なり

●内務省技師後藤連平氏 土木、水道視察のため滯在中なりし同氏は廿六日出發歸朝せり

●早川保次郎氏歸朝 期は多分來月中旬なるべしと

●小栗讓吉氏の名譽 同氏は過日フォダム病院附醫師の試驗にて及第者四名の中第一位を占めて及第せり元來同病院の採用制度は普通の醫師開業試驗より一層六ケ敷く特に嚴格なる採用試驗を行ふ由にて今回の如きも廿名の受驗者中僅かに四名の及第者ありたるのみ、邦人の名譽といふべし

●同胞の死 北海道石狩當別村の大平彌平なる人は多年ハドソン沿岸リバーポールのミハバンク氏方に就働せしが去廿三日肺病にて死去廿五日埋葬せり

紐育の日本人(九)

飛耳張目生

賭博の弊害

▲其後のイキサツは長くなるから止すとして兎に角「人間の成功は鐵剛なる意志の力を以て情欲の發作を抑止するに在る」と信じた男、而も分別盛りの四十男でさへも斯の通りである況んや惡魔の誘惑に陷入り易い青年に於てをやではないか、尤も吾輩の處世觀は今にして之を思へば大いに間違つて居たに相違ない、隨つて僕自身の經驗を以て他を律する譯には行かぬであらうが要するに賭博なるものが青年の向上心を破壞するに如何に絶大なる威力を有するかは之に依て略ぼ想像が出來るであらう

▲古今東西を問はず惡い事は何時でも太陽の光りの屆かぬ夜に於て行はれる、新育日本人の賭博も又其通り終日の働きを終つて遊びに出る者や[illegible]庭巡回委員の役を勤めて本城即ち下宿屋に歸つた連中の間に行はるゝゲームも矢張り夜だ

▲夜だから勢ほひ夜ふかしをする、四方を締籠めた小さな部屋の中に煙草の煙と炭酸瓦斯で不潔になつた空氣を吸ひながら夜ふかしをするから如何に身体の頑壯な者でも遂に健康を害する事は實に夥だしい、新育在留青年中肺病に罹り友人や團体の[illegible]を受け[illegible]歸國する者で比較的に多いのは賭博も其原因の一つだとする事が出來るのだ

▲其次ぎの弊害は仕事をフホイルする事だ、夜ふかしをすれば自然[illegible]体の具合も惡るく[illegible]して來るから[illegible]十人の命令も何となく反抗的になり眞面目な仕事をする事が出來なくなる[illegible]金を借るが遂に返せなくなると自分勝手に[illegible]家を飛び出し一攫千金の賭博によつて衣食を得やうとする迄に墮落する、

▲次は比較的純良な青年がイ知不識の中に引込まれて親不孝の罪を重ねるやうになる事だ、元來下宿屋の生活は野郎ばかりの合宿所で萬事殺風景に出來て居るからホームの團欒を感ずるなどいふ事は夢にも見る譯に行かぬ、偶々優さしい女の聲が聞へるかと思へば夫れは人の妻の聲だ、一アー自分も亞米利加に來る前にアメ子がアンナに言つて呉れた事があつたつケ〔など〕ゝ考へ込む、書物も讀み倦ひたし活動寫眞も見厭いたしと色々考へた末にフト側を見ると同宿の豪傑連が夢中になつてゲームを行つて居る、初めの程は馬鹿な奴等だと輕蔑したり餘計な忠告を試むるが、何時の間にか自分も吊り込まれて御多分に洩れぬ斯道のエキスパートに變ずるから不思議だ、現に一二年前迄比較的純良な青年集會所と目ざされた某所のマチジャがテテ錢を取る目的を以て賭博を始めた爲めに其當時の純良青年は近頃到處の賭博所で見受ける次第である

▲前にも述べたやうに彼等と雖も賭博の弊害は允分に知つて居る、健康に害のある事も、世間に對して面目ない事も、又は勝つても敗けても結局之に依て獨立の人間となる丈の資本は出來ない事は百も合點二百も承知して居るのだ、只困るのは一度青年が賭博の惡癖を習ひ覺へると丁度支那人の阿片と同樣で中々其習慣から逃れる事が六ケしひ事だ、二百弗三百弗といふ大金を取られた時落膽がりして仕舞つて、今度こそ愈々止めた」と云ふが僧て少々小遣が出來ると又始める

▲新育の多くの青年は大要右の如き亂暴不規則な生活を續けて無趣味、無意味なソシテ憐れ幕ない境遇の下に白髮の殖へるのを知らずに居る、識者有力家は此可憐在留青年の現狀を[illegible]して居る此際新育市警察署の手を借りてあらゆる日本人の賭博場を閉鎖したならば少くとも腐敗青年等の罪惡を矯めて風教覺醒の一助とする事が出來やうと主張する僕の考ではソンナ手段は徒らに勞多くして効少なく却つて彼等の前途を阻得するの惡結果を來さずとも限らぬと思ふ。

▲寄書▼

戰爭の感念を去れ

シラキュース市　澁田市郎

●米國は戰爭を欲するか(承前)　亞米利加合衆國は金の國也、富の國なり、金儲と云ふ事の外に殆んど野心の無き國なり、「弗」と云ふ感念は米國人の脈管を通して腦中に沸騰せられて居る、堆積に堆積を重ねたる富は其界限を知らずして十倍百倍の勢ほひを以て新たに堆積せられんとし富豪は其適當なる支出に向つて苦み居る程なり、金儲けといふものゝ外に野心ありとせば結婚と離婚のみ如斯は今日北米合衆國一般の狀態也彼等は「弗」に向つて斯く多忙なるが故戰爭等の太きに思考を廻らすの暇なし「ナチュラル、レソース」に富める本國は他國に領土を求めて英國が愛蘭や印度に對する如き苛酷なる賦税を負擔せしむるの要もなき也、合衆國に於ける軍備の擴張は日本に於ける軍備擴張に伴ひつゝありて決して夫れ以上に出でんとせざるは明かなり、日本は本國に向つてよりも露西亞の復讐に向つて用意せるものゝ如きが孰れにもせよ米國が日本に向つて否他國に向つて自ら進んで戰爭を企てんとするか如きは毛頭あり得べからざる事は吾人の容易に解し得べき事實ならずや

○日本の實力

日本の實力は實業に在り、殊に工業及商業に在り、戰爭に依て得るは一等國たる名譽のみ、其名譽も一時のみ輝きて今日は排斥問題の中に深く埋葬されて居る、「一等國」何の意味を有するものぞ、今日其解釋に苦む今日の日本は戰爭等を感念に置かずして産業に向つて努力すべきの時にあらざるか、鐵艦を作るよりも鐵管を作れ、軍艦一隻を作るを見合せて其價を日本銀行に預けて五分の利子を得、其内の十分の一を新育青年會に送つて呉れゝば毎年二十人の有望なる青年に五百弗宛與へて大學に管る事か出來るなり、單に利子丈で(僅も其十分の一丈で)四年後には毎年二百人の米國學士か日本の爲めに働きつゝあるわけにて十年後に二千人、而して之等の學士博士連より生るゝ富は計り知るべからず世界は平和に向つて進歩しつゝあり英佛獨露の軍備擴張に向つて横勢ならず、米國は戰爭の觀念を有せず、日本何故に實力の修養に務めざるか。

●新育に居た人々(三)

芝の町端れに美しい新嫁を何處からか頂載してスウイートホームを味ひつゝあるは油谷治郎七君　▲生稻翁はマンハッタン倶樂部の熱心な賛成者としてチヨイ〜同所に見受け　▲中根、遠藤、武井君等は同倶樂部の首腦者　▲蘇峰志知君は淺草、鴻池政治君は廣島で兩君共夏場の餘[illegible]で安全の生活、▲禿頭翁朝屋源吉君は洋食店の主人　▲蒲池利夫君は萬年筆、イレザー、金銀細工店の主人妻君は日本一の美人　▲小林義一君は名古屋森村組　▲時技誠之君は大坂正金副支配人として例の國字改良研究　▲松島君は不日結婚　▲姫野理吉君は自動車會社　▲林愛作君は不相變帝國ホテルのマネヂャーで藝者屋からは外人紹介の勳功により神樣に祭られ居られ　▲小林藤太郎君は東京ゴルフ倶樂部の支配人となり氏獨特の手腕を振ひ　▲石川、中村政五郎、山本耕、大森番樹等の諸君は丸髷乃至ハイカラの妻君を迎へ獨立經營又は大商店に勤務　▲小林番君は白木屋デパートメントストアの二番々頭、以上諸君は皆んな相當やつちよるし又結婚して夥だしう恐悦かつチョルから芽出度い〜

投書籠

▲某議論家と新らしい女と出會ひ男女同權論に熱舌を飛ばしたと思召せ女曰く、新育に居る日本男女に就ても御覽遊ばせ婦女子は相當に自活の途を講じつゝあるに反し衣食にすら窮する男子が多數ではありませんかとやつたので、某それは社會の罪です(苦志生)

▲貴紙に賣りもの買ひもの欄を設けたのは吾々讀者のため非常なる便宜有益を供するもの多くは成るべく廣告料の安値を願います(一讀者)

▲日本から直輸入の某家の○中、パークで海坊主に會つたと夢見て妙な藥を飲んだ爲に腹痛を起し、朋輩の女恪氣して奥樣に委細言上に及びたる大騷動、委細は歷街の蛸藥師が知つチョル、蛸とは誰れの事か知つチョルカ　狸坊主

▲二人でよく散歩した○園の梅も昨今漸く咲き綻び初め當時を追懷して戀しさに遣る瀬なく存じまいらせ候とは來春呼寄す筈になつて居る僕の妻からの近信(懷郷生)

▲日本人會か設立されると同時に日本人間の風紀を廓清する事に活動してもらひ度い現下の日本人社會は賭博喧嘩姦通泥棒などの不道德的結社で一見慄然たるの想あらしむ(慷嘆生)

▲此間五十九丁目で小男の日本人が其妻女とも思はれる三倍大の女に狂氣のやうになつて襟をつかまれカムホーム々々と怒鳴られ乍ら引摺れて居たので界域一面の見物人山の如しであつた(見逃共無)

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

伯剌西と黒人（承前）

ルーズベルト氏稿
アウトルック誌所載

伯剌西國上下の黒人を遇する態度を最も明かに表明せるものは余等の見たるリオ市美術館内の一繪畫なり、此繪は黒人の祖父と半黒人の子と純白人の孫とを畫けるものなるが畫家の目的は黒人が血族的に變形されて白人と成り得べきとの希望と確信とを表象せんと試みたるものなるや疑なし、素より同國人が今後如何に成り行くべきやに就ての的確に豫言し難きは勿論なりと雖も余の信ずるところに依れば同國の上流社會は殆んど純白人を以て依然占領さるべく、中流社會は些少の黒人血統を加味し下流社會に至つては黒人の血統を吸入消化するとは更に大なるものあるべし

以上の如く觀察し來れば黒人の待遇に關して米國と伯剌西とは全然相異なるとを見るならん、吾米國内に於ける黒白兩種族中の識者は結婚に就ては根底よりして兩種族の間に截然たる區劃を置く可きを信ずると同時に皮膚の黒白を論ぜず社會上の地位は各個人の才能と相適應して之を獲得し得べき充分の機會を與へ居れり然るに伯剌西に於ては之と正反對に黒人の消滅に依りて黒人問題を消滅せしめんとす、即ち黒人血脈を吸入漸化して白皙人種の血脈に沒入せんとするなり

乍併斯は必ずしも英米佛諸國の人々が云へりし如く伯剌西人は雜混種たるべしとの意味には非ず、同國人は地中海種に屬せる白皙人種にして只西班牙人、伊太利人の如き偉大なる歴史的過去を有する北方の種族と異る所あるのみ、印度人の血脈を加味せる結果は頗る良好にして歐州より渡來する多數の移民は年を經るに從ひ漸次其社會に黒人の血をヨリ少からしむるの傾向を帶ぶ、故に將來の伯剌西は數化に於て北米と異なる外種族にふ點よりすれば過去に於けるよりも更に多く歐羅巴人の色彩を顯はすに至るべし

余の會見したる伯剌西の政治界實業界及學者社會の紳士淑女中黒人の血脈を有する人は南歐羅巴諸國の首都に於て見しよりも少なく且つ或階級に於ては黒人血脈の侵潤增大し來りる純黒人分子の消滅すべき傾向あるにも不拘、此現象は同國の思慮深き識者によりて是認さる、余は是等識者の意見が吾等の夫れと著しき懸隔あるとを證せんがため純白皙種にして同國の一政治家たる某氏の直話を紹介せん曰く

勿論黒人の存在は吾伯剌西に於ても貴國と同じく極めて重要なる問題なり、奴隸制度は問題解決に看過す可らざるものとして絶滅されたるが問題夫れ自身は黒人の存在と共に依然として殘存せり、斯は畢竟祖先より奴隸を相續せる奴隸所有者の罪には非ずして、單に黒人種のみならず吾等白人種の上に恐る可き大害虐を齎らせる奴隸賣買業者等の罪なるか吾等は貴君等と同じく單に問題の相續人なり、却説吾等は此問題の解決を試むるに何等かの策を講ぜざる可らず、貴國（米國）の人々は黒人を以て全然區別さるべき分子となし其待遇方法は聊かも彼等の自信を涵養せしむる事を爲さず、念ふに彼等は貴國の文化に有害なる分子として永久に殘存す可く恐らくは年と共に其害毒を助長する分子たるやも知る可らず、乍併吾伯剌西に於ては此難問題は漸次消滅せんとするの傾あり、然り貴下（ル氏）の言はるゝ如く吾國には多數の黒人あるに相違なしと雖も今後約一世紀を經なば貴國に二千萬若くは三千萬の黒人を有するの時吾伯剌西には全く黒人の隻影を留めざるに至らん、貴下は又此結果を以て一種不良なる品質混合政策に依るものとし從て純白皙人種の血脈を弱からしむるものと言はる、余は此点に關し貴下の言を否定せず、恐らく吾國人口の約三分一は貴說の如くなる可し余は勿論斯る結果を遺憾とすれども問題解決の策、最良の手段として右に出づるものなきなり、吾等は黒人を待つに毫も區別する所なく彼等の才幹、力量、品性に應じて白人と同等の社會的報酬を與ふるが故に彼等の向上心は次第に誘引激發され吾等の好遇に應ずる事亦速かなり、吾國の上流社會には黒人又は半黒人と結婚する者絶へて無きが、下級社會殊に移民間には此風盛んに行はる、而して純黒人は數に於て漸次減少しつゝあるのみならず二代以上の血族混合は體質的、精神的及道德的に黒人種族の消滅を思はしむるものあり此混合種は國家の高等種族たり得難かる可きも少くとも比較的認容するに足る可き分子として全人口の三分一を占め自餘三分の二は純白皙人種たるに至らん、假りに此現象は全人口の三分の一を虛弱ならしむるとするも、最後の結果は完全なる三分の二の人口と上述せる三分の一の人口を以て吾國民を形成する事となり之と同時に黒人問題は永久に絶滅す可し、然るに貴國は之に反し白皙人種は依然として其本質を失はざる可きも黒人々口の增加するに從ひ黒白兩者の反感は更に激層し、難問題の範圍は今日以上に擴大せらるゝに至るべし、余は素より吾等の解決方法を以て完全なりとは言はず、只貴國も吾國も黒人問題解決方法中以上二者の其一を撰ばざる可らざる今日、吾國の採用せる方法は貴國の夫れに比し遙かに危險少なく且つ好果多かる可しと信ずる者なり（了）

故國 政界の人物（一）

卓郎

▲海軍收賄事件の曝露　減稅運動、國防論、野次黨の御茶番にて故國の政界も近來頓に活氣立ちて相見ゆ就中政友會の結束益々鞏固なると、立憲同志會の態度□□、舊官僚系の暗中飛躍とは局外者たる吾々の觀測をして興味益々深からしむる次第に御座候

▲現内閣の首相山本伯もコムミッションの事件に付ては大ひに苦しき立場に居る譯にて從來の關係上ロイドジヨーヂ氏を眞似て自身の財產目錄を公表するとも困難なる事情あり、伯に對する世間の疑惑も從つて增加するの傾き無きに非ず、寔に氣の毒に存候

▲乍併山本内閣の國政に對する忠誠の念慮は聊かも疑ふの餘地なく候、世人は薩閥の跳梁とか芋組の跋扈とか樣々なる用語にて攻擊致候へ共此の如きは攻擊の爲めの攻擊にて深く顧みるに不足候、元來薩人は到處同國人相依り黨を樹て閥を成すの習性あれども獨り山本伯に至つては比較的此等的氣風を脫し居るものゝ如く□山伯高島子の如き老雄等は伯が斯黨を扶掖する事の薄きを憤ほり伯に對して毎に罵聲を不絶と聞及び候

▲薩閥、長閥、官閥等の文字は天爵、刑爵、等の用語と聲音相類似し、習慣上一見不快の感を生ぜしむるものあるも靜かに人間社會の實相を鑑ふれば人間到處閥の起るは自然の勢ほひと可申候、政界に黨閥あり學界に學閥あり宗教界に宗教閥あるが如く趣味嗜好を同うし習慣性癖殆んど相等しき者等が互に吸引し、共に進退するは決して憫むべき事には非ず只□の□惡を表はす文字なるかの如之を亂用し□□したる結果□閥は□に世人が誤解し居るは甚だ不都合に候「閥」は門の左□に□皆より君□に功勞多き家柄を稱する□に候、即ち罰被りの「罰」とは正反對の文字に候、兎に角山本伯が十年鳴かず飛ばず、自誠自重して徐ろに時勢の變遷を窺ひ、山縣系の失墜、民論の勃興に乘じて巧みに機會をキヤッチし得たるの秤は惜かに拔群の手腕家と□して□□の外無之候　以上

●洋聲俳句會



▲寒　雀

窓を絶ねずよ乞食の雀我病める　默平
寒空を孝子の墓に鳴く雀　同
貨車の下を何あさるらん寒雀　紅白
道端の地藏の肩に寒雀　同
日に向いて鳴いて居るらし寒雀　同
煤に汚れ馬糞に活くも太陽を吹く寒雀　菅天
雁には思郷今たれこめて寒雀　ばなゝ
雪腹を隆して茶腹や寒雀　同
寒雀朝寢の床や明かき窓　梁歩
門に立つ老婆物懐ふ寒雀　同
電線の凍るに鳴き寒雀　同

▲枯　蔦

蔦かれて偉人の碑往時に霜に瘦す　五□
牧場の垣の破れ目や蔦かれて　同
碑誌を蔽ふ枯蔦雨にぬるを旅僧や　同
蔦枯れて孝碑の文字の讀み易き　默平
枯蔦の吾に歸る白舌鳥の高鳴けば　同
傳說のナイトの戀夢む古城蔦枯れて　菅天
蔦枯るゝ古りし御堂の雨の痕　梁歩
相愛の名も樹皮と老ひたり枯るゝ蔦　ばなゝ
碑に讀む年も其建國の蔦枯れし　同
蔦枯れて夕陽に赤き煉瓦壁　梁歩

●國務省顧問ムーア氏辭職　クフト内閣以來米國國務省の顧問たり、外交界のオソリチーとして内外に重きを爲せるバセツト、ムーア氏は去四日現職を去り大統領ウヰルソン氏の承認を經たり、氏辭職の理由に就ては世上種々なる浮說あり華府政府は一々之を否認し居れるか□ず、□き報導に依れば元來ムーア氏は現政府の對外政策に關しウヰルソン、ブライアン兩氏と其意見を異にし居り、第一對墨關係に就ては今一層強硬なる態度を採り英人ベントン殺害事件に依りて英國に乘せらるゝか如き方針を非とし、第二通過料問題に就ては初めより前内閣の國務卿ノックス氏か英政府に應へし通り巴奈馬通過料はヘー、パウンスフオート條約に基き本國政府に自由の權利ありとし、第三日米問題に關しては事件の根本的解決を圖る必要上、**煮へ切らざる交渉の結果**日本人をして白皙人種と同等の待遇を受け得べしとの曖昧なる希望を抱かしむることなく**斷然人種問題として之を取扱ひ**加州の地法か日本人の利益に反すると否とに不拘中央政府は該法律の實施を抑止する能はずとの意見を主張する等旁々現職に止り難き事情の存するものあり遂に辭職するに至りたる次第なりと、尙氏は遠からず前職たる當地コロムビヤ教授として同大學に復歸すべしと

●ゴーザル大佐歡迎　シブックフオームは去□日夜巴奈馬運河建設技師長として近々同運河地域の知事に任命さるべき同大佐の歡迎會をカーチギーホールに於て開催せり當夜の來會者は市長ミツチエル氏を始め有ゆる上流の名士を網羅し各名士の頌德演說あり最後に同大佐にシヴイツクフオーラムの名譽章を贈呈せりと

●無職業黨の亂暴　インダストリアル、ウオカース、オブ、ウオールドと稱する勞働黨のタンネンバムなる男首領となり市内の無職業者約二百名を引連れ過日來各所の教會に亂入し無政府的言動に及び居たりしが去四日の夜「吾等は手當り次第に吾等の欲する物を取る權利あり」と連呼しつゝ隊列を組むで下町を煉り歩き隨ひ來る野次馬約六百名を算せるが彼は同志と共にウエストブロードウエー街なる加特利寺院に押入り祈禱中の僧侶等に迫りて宿泊を求め大騷ぎを爲したるより治安妨害の廉にて拘引されたり

●獨國軍事探偵捕はる　グールドと稱するシガー商人夫妻は軍事探偵の嫌疑を受け過日倫敦に於て英國官憲の爲に逮捕されたるが同人所持の鞄中を檢めたるに英國海軍の機密に關する書類ありしと

●駐墨英公使カーデン卿出發す　過日ウヰルソン氏に會見したる同氏は去四日オリンピック號にて歸英の途に就けり出發に臨み氏は來訪の新聞記者に語りて曰く、墨國の現狀は甚だ險惡なり余は米國が早くウエルタ政府を承認せざりし事を遺憾とす云々尙氏は倫敦に於ける用向終了次第歸任すべしと

●武富□氏の南米行　氏は智利國の招待に應じ來る八月出發同國に至りアルゼンチン。ウルゲー。パラゲー及ブラジル諸國を訪ひ十二月議會開會前に歸米の豫定なりと



東京電報

●原内相引責案　本日原内務大臣引責案を提出せられたり辯士は何れも[illegible]過般の紛擾に關し[illegible]警官の拔劍事件を論せり、内閣問責案に迫つて提出せらるべし

●郵船保護案

日本郵船會社が巴奈馬航路を開くに就ての保護法案は二百萬圓の豫算なり此案議會を通過するに至らば北方沙港の同會社船路を廢止するに至るべく從つて大坂商船會社は大に喜ぶ所なるも東洋汽船會社は大打撃を蒙る事となるを以て他に發展の策を講ずるならんとの説あり

●皇太子殿下補導職東郷大將

東郷元帥は本日を以て皇太子殿下の補導職に任せられ同時に大迫大將其他を教育掛に任命せらるべし

（以上三項十五日東京發）

日本最近信

●齋藤海相辭職説と松下軍治拘引説　既に偶々リヒテル事件により暴露せし海軍部内の不正事件は幸に政友會の援助により衆議院に於ける國民黨聯合軍の現内閣彈劾案は不成立に終りしも一方リヒテル事件の關係者たる岩崎藤井兩少將及澤崎大佐査問の結果既に有罪と決定するに至りし以上齋藤海相は其責任到底遁れ難きものあり近く或は辭表を闕下に捧呈するに至らんと傳へ而して今回の彈劾に關し盛んに現内閣と政友會の横暴を論ると同時に暴行を謳歌し暴民を教唆するか如き筆致を用ゐし立憲國民黨機關紙やまと新聞社々長松下軍治氏も亦其筋に拉致せらるゝに至るべしとの説あり擾擧の火の手は何れの方面に及ぶやも知る可らざる模樣にあり

●原内相の出現か　大坂の菊池代議士は語りて曰く、今日の政府彈劾案は二派結束して立つものなりと雖も素より四十名ほどの少數なれば議場に於ては必ずしも勝利を期すべからざるもこれによりて山本内閣の根底に衝撃を加へ依て以て遠からず崩解を促すべきは疑ふべからず愈々薩閥か政界より葬らるゝ暁に再び頭を起し來るは長閥ならんとの懸念甚きに非ざるも最早長閥なるものはヨシ蘇生するとしても到底その命脈を維持すべくもあらずされば來る可きは原氏を首腦とする政友會内閣なるべきか何れにもせよ山本内閣の永續すべからざるは明して俟つべし兎に角今後の政界は活目して見るべし云々

●軍艦建造の内情

某海軍通の談に軍器獨立内地製艦主義の名に隱れて海軍當局者が專横を逞しうしつゝある實現は室蘭製鋼所である同所は

▲資本千五百萬圓で其拂込額七百五十萬圓の中三百七十五萬圓はヴイツカース、アームストロングが引受け殘りの半分は山本首相山内中將等日本資本家か引受け双方の合資になつて居るが是れだけでは所期通りの設備が出來ぬと云ふ所から更に前記兩社の周旋で一千万圓を借入れ尚機械一式は兩社から持ち出して二三年前から仕事に取掛つたもの

▲毎年欠損續きで昨今全件業機關の三分通りしか働いて居ないそれで居て資金のみか機械やら技師迄持出した兩社が默つて居るのか不思議であるがそこが所謂底もあれば蓋もある所で兩社と當局との間に秘密契約がある即ち兩社の出資に對しては欠損と否とに不拘毎年七朱の利子を附する事、軍艦艦材及諸機械は一切兩社を通じて注文する事になつて居る、これは兩社が西班牙伊太利兩國でも同樣の契約をして居るので製鋼所創立當時外國雜誌に明白に記載してあつた事だから當局が何と辯解しても爭ふの餘地はない、製鋼所は元來鑄鋼專門の會社で鋼鐵板砲塔砲身スチールシヤフト等の製作を眼目として居るのだから毎年軍艦一二隻の注文を取らねば到底立ち行かぬ道理である其結果九千三百万圓の海軍補充案が一億六千萬圓の充實案や三億五千万圓乃至五億四千万圓の大擴張案となつて來るので

▲艦艇建造の眞底　の理由は貿易獎勵でも移民の保護でも國威の發揚でも何でもない畢竟こんな内所の秘密から來て居るので前記一千萬圓の外資を借入れた時の如きも其のコンミツシヨン二百万圓の内七十万圓丈は兩社の代表者が確に受取つた證據[illegible]の百二十萬圓の行方か今だにさへ分らないそれは云はずと知れた關係諸氏のポケツトに入つて居るのである、製鋼所が抑もこんな機關から成立つて居るのであるから裏面でどれ程の不都合を働いて居るかは想像が出來る、一体日本人は造船所と云へばヴイツカース、アームストロング兩社の外に無いやうに思つて居るか英國には之と同等の能力あり又資金のある會社が十社もあつて英國海軍の如きは以上の十二社に萬遍なく軍艦の注文を出して居る位であるが

▲我海軍のみ　獨り此二社に向つて注文するのが抑も怪しい所で此の兩社は何事をやつて居ない所から之は[illegible]ジヨス・ブラウン等の三四社の供給を受ける外なくヴイ、ア兩社は相當の頭をはねて之を日本に取次ぎ之を川崎なり三菱なりの造船所で組立つるので愈々内地で一戰艦か出來る迄には此間に二重三重のコンミツシヨンが付いて居ることになる、それやこれやで途中で消へて無くなる金額は實に驚くべき多額のもので結局金モールを腕に捲付けた連中の腹を肥すに終るとは呆れた話だ云々

●營業税實行と政友會議員の狼狽　全國商工業者の營業税全廢運動機關として十一日成立したる日本商工協會は大會の決議に基き各府縣實行特別委員會を東京商業會議所に開き兩日來の運動經過を報告し更に今後の運動につき打合せを爲したるが今回の運動方法は實行を期する上に於て最も有効なる手段に出で全廢案に反對の代議士に對しては今後斷じて再選せざる事並に公私の交際を拒絶する事其他の事項を確實に實行するため全國數十万の營業税納税者決議書に連判する事とし既に其手續に着手したる由にて政友會代議士連の狼狽一方ならずと

●仙臺所澤五百哩大飛行　所澤飛行場にては昨年十月頃より十時間以上連續大飛行の計畫あり昨今漸く二百五十リツトルの大油槽完成しモーリスフアーマン第二號に据へつけたるより茲に愈大勇猛心を起し近く所澤仙臺間往復五百哩大飛行を途中一回も著陸せずして決行する事となり近く其期日を發表する筈なるが操縦者は長澤中尉なりと

●滿蒙五鐵道協約　昨年九月日支兩國間に假調印を了したる滿蒙五鐵道敷設の件は其後細目に亘りて山座公使と支那當局者との間に折衝を重ねたる結果大体の資金引受及材料供給技師聘傭等に關する協定を終り資金融通の途も又引受銀行及材料並に技師長等も夫々確定し目下當交渉中にあるは建設事務の方法及帳簿記入等の細目に亘るものなれば今後意外の支障起らざる限りは三月中には全部の取極めを了すべき豫定なり

●軍艦の新島調査　軍艦高千穗の調査に依れば南硫黄島附近に噴出せる新島の位置は南硫黄島の北二十度東二海哩の地点にして高さ約四百尺周圍一海哩盛んなる噴火あり、新島の北二十二度東一海哩九の所に於て水深十尋の疑はしき淺瀬あり同艦は首尾克く視察を終り小笠原に向へり

●伯爵議員當選　貴族院議員伯爵議員補欠選擧は七日午後九時より華族會館に於て執行し開票の結果如左

七十八票（當選）林[illegible]太郎

●代議士當選（佐賀）　代議士補欠選擧開票の結果同志會の西英太郎氏一万一千七百五十四にて當選し次点者政友會の南里卓氏は一萬一千一票

●海軍彈劾講話　日曜午後五時より築地精養軒に於て正會國民黨及同志會有志は海軍問題講話會を催され太田海軍大佐片桐主計大監鶴田造兵大監等の時節柄興味ある談話があつた

▲太田大佐曰く、山本權兵衛は極めて自己主義の男で一身一家の事許りを念として居るから自分の不利益と見ると何んな慘酷な勝手な眞似でもする若し彼に反抗する者があると此手段でドシ／＼攻めつける室蘭製鋼所と海軍省との秘密關係杯は隨分言語同斷なものだ自分も確に書類を見たシーメンス會社に關する今度の海軍收賄の如きは朝飯前の仕事であらう

▲片桐主計大監曰く、本來海軍は海戰が目的で平時は艦隊の練習が最も必要であるのに山本權兵衛此練習費を呑み兎角陸上の設備即ち海軍造兵廠や製鋼所等へ許り金を懸ける練習費は現に年々二万圓位を限度として居るからやつと遣り繰りして大演習費に充てゝ居る姿であるイザ一朝有事の際其影響は多大であらう

▲鶴田造兵大監曰く、海軍部内では正直律義は以ての外だから硬骨の士は虐められて追拂はれの運命に陷る、口錢問題は古いものだゲンナマ主義に傾いて居る連中は勿論良心がマヒして居るから一向何の刺戟なしに平氣で手をつけて來たのだ何れにしても山内滿壽治の豪遊振りと云つたら大したもので實に不思議でならないが呉に行つて見ればすぐ分るよ自分は首は要らない何時でも差し出すから詰めて此首をかけても高等審査會議を開いて海軍を廓清して欲しい今の査問委員會などでは何も出來る譯がない云々

●太田大佐の決意　去三日夜神田青年會館の海軍問題演説會に於て太田海軍大佐が海軍の腐敗に關し熱辯を揮ひたるが海軍側にては之がため非常の恐慌を來たし大佐の處分につき目下詮議中なりと云ふ之に就き太田大佐は曰く自分が海軍廓清を叫んだのは今に始まつた事じやない現役時代からの事で當時既に其醜狀を公表し世の裁判を乞はんとしたが種々な妨害により遺憾乍ら目的を遂行する事が出來なんだ、其後豫備に編入せられ稍自由の身體になつてからは海軍研究會の講演會を始め大阪毎日新聞社の後援により大阪其他の演説會にて其一端を曝露し直ちに世人の注意を惹くやうになつたので從つて非常の確信を以て廓清運動に當つて居るのである海軍の醜事實は凡そ海軍に籍を置く程の者で誰れ知らぬ者はない只自己を犠牲に供して起立つと云ふ勇氣のある人がないのである今回自分の演説に就て海軍側では何んな調査をして居るか知らぬが少くとも齋藤海相だけは疾くの昔から自分がかゝる言動を爲すべき事を覺悟して居た筈である自分が退職に臨み齋藤海相に對し海軍の腐敗を語り閣下が廓清せざるに於ては不肖乍ら自分か廓清の急先鋒たらんと斷言して置たからである、こんな譯で今後と雖も當初の熱心を飜さず倒るゝ迄やる考である云々

郵便發着表

日本間郵便　ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	發港	日付
ルシヤ	横濱	三月　七日
香港丸	桑港	三月十三日
モルシヤ	同	三月十五日
丹波丸	沙港	三月十九日

●日本より到着日

三月十一日	十四日
同　十六日	十八日
同　廿一日	

●松田法相薨去

四日東京發電

司法大臣正三位勳一等男爵松田正久氏は本日東京の自邸に於て薨去せり(享年六十九)氏は佐賀縣士族横尾只七の二男にして弘化二年四月十二日を以て生れ同五年松田勇七の養子となる、夙に藩校に學び陸軍省の命に依り佛國留學を命ぜられ同國に於て政治法律を修めたるが命に背き武事を研究せざりし故を以て召喚せらる山縣有朋其才幹を惜み陸軍裁判所判事となせしも在職一年に滿たずして辭任下り西園寺公望等と共に東洋自由新聞を起して熾んに自由民權を唱導せり後鹿島造士館長、文部省參事官等の官歴を經て再び野に下り長崎縣縣會議員及議長たる事數年、明治廿三年衆議院議員として佐賀縣より撰出さる、同卅年憲政黨内閣の大藏大臣となり同卅三年伊藤公の政友會内閣に文部大臣に任ぜられ同年五月辭職後衆議院議長たる事數年、日露戰爭の功により勳一等旭日大綬章を賜はる、卅九年西園寺内閣の司法大臣となり、昨年來山本内閣の司法大臣として某大疑獄を捌ひし事は今猶世人の記憶に新たなると[illegible]なり

●櫻島噴火と在紐育同胞の神託　曝?が實か知らねど本月[illegible]大阪朝日に左の記事[illegible]なるも之は十二日櫻島[illegible]後に認めたるものなれば[illegible]か妙なり讀者の一興と思ひ轉載す

五日神戸市長が幾多到來の書信を整理中米國紐育より寄せる封書あり抜き見れば左の如き二通の書面あり差出人は田中隆祐といふ人なるも鹿島市長は其差出人の記憶なされど万更のいたづらとも見へず何れは迷信家か狂人かなるべきも櫻島噴火の神託が在米の邦人にあつたなどは[illegible]

櫻島神託により鹿島の全滅に近き大慘事ある事を知り茲に通告致候間十分御注意有之候て未然に防ぐ樣相成度候敬具

但時日と火災か地震か知り難く候間不取敢火の元御用心專一と存候

右は警察署並に警察署へも御通知相成候ては人心穩かならずと存候に付單に從前よりも一層火の用心致樣一般に告示致樣希望に不堪候

大正三年一月五日　田中隆祐

神戸市役所御中

尚他の一通は左の如し

別紙を認め尚疑ふ所あり送らずし[illegible]札の中に仕舞ひ置きたるに櫻島の大變災あり神示に依れば神戸とありたるも小生の不信神の点ありて鹿島の間違なりしや否や明かならず候も兎に角御市に於ても一應御警戒有之樣致度取急ぎ申進候　早々

大正三年一月十四日　在米國　田中隆祐

神戸市長殿

●紐育日本人會成立

既報の如く去廿八日午后七時半修道會に於て第二回發起人會を開き一宮鈴太郎氏議長席につき起草委員の手に成りたる會則、趣意書、基本金募集方法に關し熱心に討議を凝らしたる後參議員卅名の選擧に移り右終りて會長副會長會計を互選し左の通り當選したり

會長高峯讓吉氏　副會長一宮鈴太郎氏　會計瀨古孝之助氏

尚高峯會長は堀内俊太郎氏を幹事に推薦せり

役員選擧終了後高峰會長は本會創立發起以來專ら諸般の事務に當り盡力せし一宮氏に感謝する爲め萬歳を三唱し度しと提議し各員之に應ぜり、當夜は會則の逐條討議、趣意書の批評等にて出席者の論議頗る長きに亘りしため散會は翌朝二時過となれり、因に會則に基ける總務部及共濟部其他の細則は到底一回の役員會にて議了するは困難なれば會長は十二名の細則起草委員を指名し各委員の分掌起草したるものを更に役員會の議に附し充分なる意見の交換をなしたる上制定する筈なりと

●大降雪　去月廿八日以來大西洋沿岸一帶に稀有の大降雪あり殊に風さへ加はりたれば交通機關に故障を生じ汽車電車は固より電信電話等一時不通の姿となりし個所尠からず當市内の雪掃ひに從事しつゝありし人夫六千人は猛烈なる吹雪のため業務を中止し、歩行に耐へずして道路に打倒るゝ者あり、附近の都邑も市と同樣の狀態にて商業上の損害多かりしが今回の大風雪は一千八百八十八年來曾て經驗なき所なりしと

●ニューヨーク日本人實業組合　既報の如く同組合は發起人の間に成立の相談纏り居るとて去四日再び創立委員會を開き規則方針等に關する重要事項を協議したるが遲くも來る十日迄には發表を見るに至るべしと

●竹田久吉氏　は九日頃出發桑港經由歸朝の由

●西郷從德侯　此程出發渡歐せり

●帝大教授河瀨善太郎氏　過日歐州より來着

●臺灣總督覆審院部長法學士高田富藏氏　は米國司法制度視察のため過日來着せり

●一宮鈴太郎氏渡英　去三日出帆のオリンピックにて渡英せり歸期は來月三日頃なるべし

●青木鶴子の婚約　日本女優貞奴の姪にして米國活動寫眞會社に雇はれ活動寫眞の俳優となり居る同女は引手多かる中にも[illegible]鶴子の相役を勤め居る早川雪州と云ふ役者と婚約成りしと

●河嶋天涯氏近業　目下南加州にある同氏はジャパニース、チャーミングなる英文起稿中なりしが此程脱稿し雜誌カントリーライフ、インアメリカの六月號より掲載することとなりしと

●前桑港日會書記長乾滿末氏　は世界平和旅行一なる英文小冊子を著はしデトロイトなるグレートレーキ萬國仲裁協會より發行せり

●とくじう氏に告ぐ　御投稿を謝す御面倒なから英文原稿を御送附被下間敷や

商業欄

本週より新たに商業欄を設け、個人間の賣買、商業場所の選定等苟くも讀者諸君の利益となるべき事項を最も便宜なる方法に依つて取扱ふ

紐育新報社

謹告

小生今回商用のため一時歸朝致候に付ては小生取扱の生命保險に關する用務は不在中ニューヨーク生命保險會社詰相原資丕氏へ懇囑致置候追て出發に際し辱知諸君へ一々拜趨の上御挨拶可申上等の處行季匆々諸事不任意乍略儀欠禮致候

早川保次郎

加州より　天涯

▲リバーサイド在住の歸化邦人金子眞成氏に對する市民權褫奪の起訴事件が起つて一時はなか〳〵喧ましかつたが、これも到頭棄却となつてさしもに同胞が瞬目した事件も一先づ一段落となつた、然かし是れは目下の要件たる邦人の市民權獲得とは殆んど沒交渉で、之を以てテストケースなどゝ履き違へては大不覺、金子氏の既得權も今此訴訟棄却に因つて絶對に確保せられた譯でもなければ唯だ一時の便宜上の押藏であれば又此後何時今回のやうな事件が發するかも知れぬし同胞の歸化權問題も今猶前途甚だ闇黑であるとすれば吾等は實に撫然たらざるを得ぬ次第である。

▲網島牧師が彼のヘンリー、ビーチャーの至誠熱血を感享して未だに結んで解けざる日米の難問題を宗教的の方面から竭力して、一の宗教の力で幾分の解決を試みやうとして遙々渡米されたのは實に熱心で其篤志は優に吾人の感謝に價するが、果して成功するや否やは未だ疑問である、冷血死灰の如き今の物質的米人には此壯擧も或は水泡に歸しはせぬかと氣遣はれるのである、今のヤンキーは六十年前の熱血あり有情であつた南北戰爭當時の米人と餘程異つて居る彼等の眼中には一も利益、二も利益、そして利益が自己のみの爲めに他を省ることはない、彼等の本領は[illegible]で其理想遂行には眼中宗教もなければ人道などは勿論の事はない、故に網島氏が如何に[illegible]も[illegible]あるまいかと思はれる、然し父よりも母よりも、今のニューイングランド人の血には猶彼のピューリタン時代の血が交流して居るから今日の[illegible]人には矢張り[illegible]カーの面影が殘つて居る處を見れば父氏の努力は[illegible]ないでもない、兎に角吾人は氏を助け氏を感謝して其成功を實現せしめねばならぬ。

▲加州人は醜●で何時も傍若無人の[illegible]に此清淨華麗の天地に砂塵を煽揚せしめて居るが、年若うしてうつくしい加州の天地自然は目下[illegible]かに生々しいお化粧をして[illegible]を見せて居る、東部では昨今恐らくは白雪飄々で、減氣肌を裂くが如しであらうが加州の天地は春色駘蕩山は蒼く野は綠に、梅花は既に散つて今は婉やかなアモンドがオレンヂの金色と色を競ひ、天下一のカリホルニアポピーやバイオレットもそろ〳〵嬌羞を帶びて現はれ出した、靑野に乳絞る乙女はロングフェローの詩境を通現し、夕陽西に傾いて暮鐘殷々勞夫の田畝を傳うてよぼ〳〵と煙立つ我舍に歸るところ轉々トーマス、グレーをしのばれる、嗟乎此自然！天は何故に此蠻族に授けたか。（二月廿三日羅府より）

偶感

在フロリダ州　佐藤南嶺

年改つて舊時を想ふ。追憶と、悔悟の念に堪ねません。慌たゞしく、除きゆく駒の駛せ過ぎた。過去の生活は、私共には空虚なる。いみじき。生命の流轉であつた。そして、落寞なる。生活の岐路に迷ふて居りました。私共は敬虔なる、心靈的憧憬に疲れ果てた。官能的享樂の欲求のみ慕りゆく、淺猿しい、現實生活であつた。私共には生活の充實が先決問題であります。私共の思慕心は、涯りなき流轉の欲求であります。そして我等の生命は、時間的に有限のはかなきものであります。自分の努力で、己の實在を意識して生活の創造を營みゆくほど心強き歡喜はありますまい。そして自發的に、高調なる生の勇躍を試みねばなりません。

私は曾て、南國に旅した、印象派のスケチを讀んだ事がある。その人の自叙文を今茲に再現するやうな感じが致します。私は現にフロリダ州のパンビイチの近郊ジュピタアと云ふ。古い羅馬の郊寂びたやうな。孤城の落暉に、侘びしい、月日を過ごして居ります。

昨日は滿都の巷にさすらひて。今日は南國の磯邊に漂よふ。帽子の木蔭に群青の海原を眺め。帆影漁村の浦波に寄す。海波滂湃として。巖頭の砂を嚙む。疎松空翠の影を倒して江水は悠々と流れて居ります。瀬々らぎの小川の水の色寂びて。澤潟の花が水面に浮動して咲て居ります。星屑開けて水底の蛙が清韻を咽むで居る。水涯の草村には螢火がぬうて飛んで居る。

インデヤンリブアーの沿岸には、楊柳水に沒して鬱蒼として居ります。沙漠のやうな平原の砂地に擬葉草の花や、さふらんの花が夕暮に咲て居る。

經度の傾いた。手の屆くやうな青空に、半弦の月が棕櫚の木に懸てゐる野路に槿の花や。鬼薊の花が無心に咲き亂れて居ります。靑い嘴の幽禽が胸毛を顫はせてゴム樹の枝に鳴て居ります。自分は南帶圏の動植物の分布を眺めて得知らぬ。興味を感じて居ります。私共は漂泊の旅にさすらひて。纔かに生命の自安と。休養を營みて居ります。

執着心の深い近代人が頽廢した。不可抗なる。官能慾の弛緩した時。私は自然のいそしみに額づきて。森嚴なる靈感に打たれます。（未完）

●桂公の遺産

故桂公が大藏大臣兼任時代に投機で莫大の儲けをしたとの評判は公の名義を利用した相場師のために誤まられたのだと打消して案外遺産も少いやうに吹聽されたがその内遺產整理の進むにつれて先づ百萬圓くらいと思つた公の財產は意外にも四百万圓以上あつたこれには井上老侯はじめ整理委員も驚いたとは結構な話さりながら世間の手前何處迄も辛うじて公爵家を維持する丈といふ事になつてゐる

●大江卓氏得度

一時は海南の名士として嘖々の名ありたる大江卓氏は今回家を出で妻子を捨て身を雲水に託して專ら帝國公道會の爲め貧民部落の改善に從事する事となり八日午後一時東京市本六丁目喜福寺に於て曹洞宗管長石川素童師を戒師として得度式を行ふ旨友人板垣伯より故舊の人々に通知を發したり同氏は卓なる俗名を改め今後天也といふ法名を名乘る由

●北京の大舞踏會　五日午後九時半より迎賓館（館は現に淮河工事借款に從事せる米國技師ゼイムソン氏の建築なり）に孫外交總長夫人の舞踏會あり當夜集まりし者は列國公使及び夫人令孃を初めとし約千五百餘名支那側は熊總理夫妻以下夫人數十名列國側夫人は百餘名日本は松平夫人代表し殆んど徹夜舞踏せり當夜最も人目を惹きしは支那夫人の舞踏に堪能なりしことにて民國政府稀有の舞踏會なりき今や政府は太平を謳歌しつゝあり

投書籠

▲滑稽の意味には氣障、無邪氣、生意氣など段々あるが鼻眼鏡かけたさに大金を吝まず隆鼻術を施した結果紫色の餅をク付けたやうに鼻筋が膨れ上つた醜面を鏡に晒らして溜息を洩して居る馬鹿が百二十丁目邊にある之れが眞の滑の稽でげしやう（惡口屋）▲日本人紳士間にケーン倶樂部が組織されるそうですが其顔振れは早川、大橋、中村、菊地、丸山、坂野小柴諸君の歴々をはじめ會員約五十名に達するそうだ可祝（若翁連）▲婦事屋が當市の日本婦人數を調べたところ百六十二人其中未婚者はタッタ十四名それから白人妻君は一百四十六人、美人投票でもやつたら面白からう（一喋自慢）▲在留同胞の[illegible]口をつくのみが新聞記者の能事に非ず宜しく同胞の光輝ある方面をも紹介して眠れる在留者の眼を覺すべし列へばカーボンペーパーに於ける大橋君或は山田君の田舍ホテル等種々なる成功秘訣を紹介せば吾人をして奮起せしむるの興奮劑となるべし（奮闘庵主人）▲稀有の大雪で一萬餘の人夫が晝夜兼行雪掃きをやつてる最中飛雪の烈しさに過全の人夫が休業したので監督者は大弱り日給を增すから誰れでも來いと云つたが應ずる者が無つたとか、下宿屋で[illegible]を圍んでゴロリ〳〵大平の夢を貪つてる七百の日本人は何故雪掃に行かぬであらうか新育の日本人は亡國民的の氣風があると云つた人があるが眞理である（慨嘆生）▲五十九街の九一ジャップは胡魔化しの名人で田舍者と見ると數倍の悪値で賣付けると云ふ代物だから今に罰を受けるだらう（九一）▲アップタウンには近頃になつて離婚した夫婦が二組ある、其ドチラか悪いかと云へば男の方がケチなからで仲裁に這入る先生も餘り賞めた遣り口でないさうな（岡目八目生）▲投書家諸君可成短文に願い丼（係り）

No. ?? Vol. ?

The Japanese Times

SATURDAY Mar. 14th, 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙 六ケ月分一弗
一ケ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政認可
發行兼編輯人 甲斐健一
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三 チェルシイ

血族混合政策と伯剌西植民の將來

日米問題の再發と共に早くも其將來の對待要領に［illegible］るべきことを看取したる吾等は今後に對する吾政府及在米同胞の方針として殊くに北守南進論を唱導し、北米合衆國民の排日的氣運に逆つて事を爭はんよりも寧ろ去つて南方大陸に大和民族の新運命を開拓するに努めよと慫慂した、時勢の推移は漸を逐ふて吾等の主張に明確なる裏書を與へ吾政府の伯剌西移民獎勵は漸くなると共に民間實業家の南米に着目する者次第に增加し、本紙の讀者中にさへ俄かに發心して西班牙語の研究に取掛つた者或は切々として資金の貯蓄に熱心する者が五六にとまらぬ勢ほひとなつた、而して吾等は此勢ほひを層一層猛烈ならしむるがため伯剌西移民の［illegible］望に關し更に有力なる材料を提供する事を大いに快しとする者である

前々號及前號の本紙を讀むだ人は前米國大統領ルーズベルト氏の手に成つた「黑人論と伯剌西」を見逃さなかつたであらう、然るに理屈好のル氏か伯剌西政府の對黑人方針に向つて何等贊否の批評を加へず、單に同國政治家の實話と評價を紹介するに止めたといふのは大いに味ふべき點であつて氏は少くとも從來自家の懷抱し來つた人種論、若くは自國人の對有色人種觀念が北米合衆國の將來に如何なる影響を及ぼすべきかに就て思想上動かさざる動搖を感じ、從つて其政客の實話を批評するに躊躇したと想像するも強ち無理ではないと感じたであらう、由來白晳人種の異種族に對する憎惡の念は頗る強烈であつて就中現時優勢の地位にあるアングロサクソン並スラブ族諸國民の間に特に此傾向が甚だしいのである、彼等と雖も人種的偏見なるものが道理上世界人文の發達に大なる障害を及ぼすとを知つて居る、而かも彼等は感情のために自然の大威力を仰ぐの血を覆はれ色の違つた種族乃至宗教を異にした種族は未來永劫彼等と同等の地位に到り難きものだと思つて居る、假に露國人が殖利に獨特の才能ある猶太人に同等の權利と待遇を與へたとしたなれば彼等は安心して出生地に留まり自國の富强に貢獻する所蓋し多大なるものがあるであらう、乍併俗惡なる宗教に蠱毒された露國人は左樣に賢くない、英國人は自家の屬領地から極端に異種族を排斥し甚だしきは自國民たる印度人を嫌惡するやうな滑稽を行つて居るが印度大學生や新進の教育を受けた無數の青年が他日大革命の寵兒たる覺悟を以て暗運默移の間毎に雲蘸龍變の大飛躍を夢想しつゝあるとに付は全然不知顔である、更に米國は如何と見るにルーズベルト氏を始め國人の大体は白晳優位の謬想に耽溺して有色人種を米國以外に放逐せざれば止まずとの慨を示して居るが彼等は自國民にして漸次增加の傾ある約一千萬の黑人を如何に處置せんとするのであるか、米國の人口は從來重もに移民の入國に依て增加されたものである、然るに移民制限法の制定と共に將來歐州より來る移民は減少し一方に於て黑人益々增加するものとすれば百年二百年の後是等黑人の勢力は米國々政上の重大問題となるやも知れぬのである

列強國民が上記の如く飽迄白族優勝の見地に立ち道理に背反して邦家百年後の大計を忘却せるの際獨り其眼界を大にし、其胸襟を寬濶にして異種族民の血族的同化を圖り、困難なる黑人問題を消滅せしむると共に偏狹なるアングロ民族の迷夢を打破し更に世界文化の進步を促かす先驅者たらんとする者は羅典民族の國なる伯剌西共和國で同國政府の方針は南米發展に熱中せる吾等の實に看過すべからざる破天荒の快擧と云はねばならぬ、吾輩が南進論の新たなる好材料を提供するといふのは即ち、此血族混合を意味するに外ならぬのである、

ル氏の視察談に依れば伯剌西國の下層社會即ち歐州移民階級には黑白結婚盛んに行はれ、上中流社會と雖も此傾向を是認して怪しまぬとある、果して然らば古くして高等の文明を有する吾大和民族が同國に移住するとも米國に在る者の如く異性の愛を缺ぎ孤獨の生活に倦怠の意を生ずるともなく異種族との結婚は次第に社會上の調節を整へ永住不變、繁殖分布して西半球の一國に動す可からざる吾民族の根蒂を据ゆるに至るべきは蓋し疑なき所である

西比利亞と云はず南洋といはず、內國に在つて遊食の民は善惡男女を論せず以上の地方に開放し、白人とも黑人とも黃人ともつかぬ多數の混合人種を作らしめ而して後是等の混合人種をして亞細亞大陸地方に充滿せしめよとは吾輩が豫ての持論であるが伯剌西の血族混合政策は殆んど此持論に合するもので異人種の故を以て到る處排斥さるゝ吾民族の正に乘ずべき好機會である、故に吾輩は再び茲に米國に在つて不本意の職業に從事し又は無意味の放浪生活に泣きつゝある人々に向つて云ひ度い事がある即ち一時の苦痛を忍んで相當の資本を作り賤しき奴隸の境界より蟬脫して南方の新天地に自己の新運命を開拓す可しと云ふ事である

故國政界の人物（二）

卓郎

▲今より約二十五年前即ち憲法發布時代に於ける故國民間政客中の錚々たる人物は自由黨にて大井馬城、星亨、河野廣中、改進黨にては犬養尾崎島田等の諸氏に有之候ひしが爾來吾政界は幾多の變遷を經、黨派の盛衰、人物の消長ありしにも不拘尾崎犬養、島田の三氏は依然たる反對派の驍將、彈劾案の演說家として在野政客中の花形役者に御座候

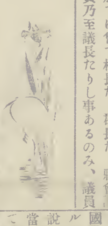
▲今や山縣、井上、松方、大隈、板垣諸公の時代は既に過ぎ去り朝野政界の雲行は一に山本、原、加藤等諸氏の一顰一笑によりて判せらるゝの時代と一變したるに民間出身の人物中より民論の代表者として木堂、愕堂、鳥山等と比肩するに足る丈の新進名流を出さずとは聊か物足らぬ心地致候

▲小生は曾て雜誌「日本人」に現はれたる「選良の片影」なるものにより吾代議士諸君百八十餘名の面影を拜するの機會を得候が讀めば讀む程吾政界に新進名家を出さゞるの原因を知り浩歎之を久うするもの有之候、三百七十名の代議士中の多くは經歷に於ては曾て村長たり郡長たり縣會議員乃至議長たりし事あるのみ、議員の榮職を贏ち得たる理由は其人格の崇高なるに由るに非ず、其學問の深遠なるに由るに非ず、將又其［illegible］の特に超凡なりといふには非ず、單に數十年間地方の公共事業に盡力せる功勞の報酬として議員てふ名譽職に有り付きたりとなすを適當とす可し左れば是等の人々に向つて等しく木堂、愕堂、鳥山たらんとを求むるは其要求聊か重きに失するの嫌有之候

▲乍併馬鹿の倖も三年すれば三つに相成候、若し彼等にして眞に奉公盡忠の赤誠を有するならば數十年間中央地方を往來する間に於て充分に國政の批評家たり、監察官たる資格を具備するの餘裕を有したるものに御座候、然るに彼等は不眞面目なる生活が如何に彼等をして時代の進步に遠からしめつゝあるかを知らず、豫算案の研究を爲すべきタイムに於て賤妓と［illegible］れ相も變らぬ［illegible］村長の［illegible］儘にて議場に出席致居候、彼等が新進の［illegible］あり政務の實際に［illegible］ある政府委員に愚弄され、僅かに「馬鹿野郎」「默れ」などの罵語を放つて［illegible］憤を洩らすに過ぎざるは當然の義に候はずや

▲大凡そ議政壇上に立て天下の經綸を論ぜんとする者の最も緊要なる資格は毎に自家の學問と見聞とは果して時勢の進步と平行しつゝありや否やを省る事にして殊に海外の事情を知悉するが爲め新刊の書籍、歐米の新聞雜誌には不絶目を通す必要有之候此點に於て米國の政治家は故國のそれと著しく其選を異に致し候

▲木堂、愕堂兩氏は憲政の神樣なる由にて兩氏の演說は「燃犀」「熱烈」［illegible］「莊嚴」など云ふ形容詞にて屢稱され居り候へ共二十五年間を通じて［illegible］國議會議事堂又は米國國會上院のルート、ロッヂ、バーコン諸氏の演說に比すべき程の價値ある演說は見當り不申候、世人は鳥山の辯を稱して雄辯と申候へ共抑揚なく頓挫なき彼の演說は寧ろノミツ味無しの東京［illegible］演說と評すべく先づ以て普通の能辯に御座候



○

朝岡節［illegible］

外國に住めば佗びしもはらからの
大和男子の恐ろしければ
雪解する日をなごやかに泣き濡れず
わざはひの鳥むねより立ちぬ
まゐらする文のたはむれ染むる墨も
君よ迷への紫の色
又の手をとりて君はし語らへど
慰めまつる言葉も無くに
肉の美かはた愚かしのいづれをか
眺め居ますや吾が此の腕に

●岩原謙三氏拘引さる

［illegible］當地三井物產會社支店長たりし目下三井銀行重役たる岩原氏は海軍收賄事件に關係ありて本日拘引さる

●衆議院議長選

八日選擧の結果前文部大臣長谷場純孝氏當選せり

以上二項十二日發電

●露國の軍備擴張 十二日露都發電に依れば露國政府は今回陸軍擴張案［illegible］臨時費八千萬弗の豫算案を議會に提出したるか此莫大なる擴張費は昨年の軍事費に比すれば三割の增加にして勿論普通經常費以外の支出なり

●英國未曾有の海軍擴張 千九百十四年より同十五年に至る迄の英國海軍豫算は二億五千七百七十五萬弗にて前年に比し千三百七十萬三千五百弗の增加にして斯の如き大擴張は同國海軍の歷史中曾て無き所なりと尚新たに建造さるべき軍艦は甲鐵艦四、小型巡洋艦四、驅逐艦十二なりと

●米國上院と駐英公使のモンロー主義演說 駐英米國大使ページ氏が倫敦商業會議所の會合に臨み「モンロー主義は單に米國が歐州諸國の米大陸に於ける領土占領を望まざる事を意味するに過ぎず且余は巴奈馬運河の建設を以て米國は英國の爲に之を建設せりとは云はず然れ共米國か該運河を使用する上に於て最も多く利益する所あるを喜ぶの意味を含み居るものなり」と演說せし旨倫敦電報により當國諸新聞紙上に宣傳さるゝやオーゴン州選出上院議員にして運河［illegible］に反對なるチェンバレーン氏は去十二日［illegible］の決議案を提出し、ページ氏の演說筆記及右に關する一切の報告を上院に交付すべく國務省に要求するに至れり

●英國女權黨員の亂行益々甚し ［illegible］首領パンクハースト女史は此頃又も捕縛投獄されたるか同黨員なるリチャードソン女史は國立美術館內の名畫「ロークバイ、ベナス」（價廿二萬五千弗）を手斧にて毀損し六ケ月の入獄宣言を受けたり、尚同黨員等の暴擧は日に益々募り行き倫敦又各地の古寺院圖書館美術館中には爲めに一般の入塲を中止せるものあり［illegible］議會の重要問題たらんとする形勢ありと

●支那匪賊宣教師を殺害す 十一日北京發電によれば四百乃至五百の匪賊は湖北省リヨーコホー市を襲ふて市に火を放つて掠奪を擅にし官設武庫、英米人の煙草會社等何れも其難に［illegible］を受け同地に在住せる諸威教會の宣教師［illegible］名は殺害せられたるか匪賊は二千名のクーリーに掠奪物を持たせ悠々として同市を引揚げたりと

●墨國憲政軍の敗北 二千五五名を以て成る憲政軍の一隊は過日マザトラン港に在る政府軍を襲ふて脆くも［illegible］數名を除くの外全軍悉く殺傷又は捕虜となれり

●ブイラ將軍人民の財產を沒收す 山間より憲政軍の大將に成りたるブイラはチワヽ市占領以來得意の［illegible］にあるか首領カランザは此行爲を以て一般の反感を誘起すとなし軍資供給の目的以外濫りに沒收す可らずとの命令を傳ふるに至りしかブイラが首領の命令に傾事するや否やは頗る疑問に屬し不遠兩者の分裂を見るやも難圖と尚ベントンの死體は銃殺後附近に燒棄したる形跡ありと

東京電報

● 海軍費削減

衆議院豫算委員會に於て（十日發）

豫算委員會の本日[illegible]海軍省豫算に四千万圓の大削減を行ふ[illegible]に決議したり山本首相は如何なる大削減をも以て國防を[illegible]する計畫を陳述す[illegible]と大なりとし[illegible]、抗議する所ありしも目的を達せざりき、右海軍省豫算は三千万圓の削減にて過日衆議院を通過したるものなり

● 對米問題質問 議場に續發す

本日の衆議院議場に於て豫定の如く對米問題に關する質問あり大坂選出の石橋爲之助氏先づ起つて在米日本人の歸化權を論じ次いで[illegible]在住金子眞成氏の歸化權取消し訴訟に關して質問を發し手嚴しく政府當局の方針及意見を問ひ詰めたるが次に千葉縣選出の小林勝民氏起つて加州問題は今日にて既に落着せるものなるや否やを問ひ次に最近[illegible]大問題たる布哇[illegible]の市民權を否認せんとする米國政府の方針と之に對する外務當局の意見を質問し次に神奈川縣選出の小泉又二郎氏は牧野外相が外交方針演説の内容を豫め國務[illegible]武富安氏に内示せりと傳へらるゝ事實の有無に就き猛烈なる質問をなしたるが牧野外相は以上三氏の質問に對し何れも書面を以て回答すべしとの答辯をなしさうして議場のお茶を濁せり

● 閣員の交迭（六日發）

松田司法大臣逝去の結果當時司法大臣兼任なりし文部大臣法學博士奥田義人氏は司法大臣專任となり其後任として衆議院議長大岡育造氏親任されたり

● 鈴木主計中監投獄さる　海軍部内醜聞事件の根蔕頗る深きものゝ如く飛火四方に到り鈴木主計中監も本日軍職を褫奪され獄に投ぜられたり

日本最近信

● 山本伯の四天王

今日は最早薩閥海軍の時代は過ぎて權兵衛海軍の時代に移つた權兵衛さへ[illegible]ばかりで薩閥の命脈を繋ぐ[illegible]の如何に心細きかの位は[illegible]抜いて居る。[illegible]如何に長けた彼は副官時代から[illegible]彼等に目星をつけて竊かに物色した結果先以て齋藤、山内、松本、岩崎の四人者の引立に勤めた、之れが世間で噂しく言ふ權兵衛の四天王[illegible]の海上勤務をした者でなければ將官にはなれぬのが不文律となつて居るに拘らず此四人の者は身を軍籍に置いてから半分以上は陸上の勤務ばかりして來た[illegible]あるか自分の都合の好い所から抜擢し自分の退任後齋藤を其後任に山内を呉長官に松本を艦政本部に据へ岩崎を英國に留めて海軍艦政本部と呉工廠と、ア[illegible]社間の聯絡を取り自分は蔭から糸を操つて懐を肥やす方法を取ると同時に部内を自由自在に切り廻はす道具に使つたものである。齋藤は[illegible]、山内は[illegible]、松本は舊幕臣、岩崎は會津と云つた工合に出身地が飛び離れて居て薩閥とは何の關係もなく且つ四人とも相當の才幹ある者で表面に何處迄も公平無私の樣に見へるが其處が權兵衛の一筋縄で行かぬ所で[illegible]人の弱点を知り抜いて居る彼が巧みに世間體を装ひ部内の不平を防ぐ奸手段に外ならぬ、海軍將校の抜擢振に就き兎角の非難もないではないが此点は用意周到を極めたもので容易に尻尾が出ぬ出ぬ仕組になつて居ると某將官は語れり

● 廢税全國有志會大

營業税全廢に關する全國有志大會は九日午前十一時精養軒に開會當日は各地方代表者を併せ出席者三百余名に及び中野武營氏座長席に着き大喝采の内に左の決議案を可決す

決議

營業税は最大惡税なり全國有志大會は盟つて之が全廢を期す

右申合せとして

一、吾人同志は營業税全廢案に反對する代議士を再選せざる事を盟ふ

二、右の趣意に基き全國各代表者は其地選擧區に於て之が實行を期することゝ

滿場一致之を可決せると同時に有志者百數十名は星野錫氏の先導にて衆議院に赴き正副議長及び營業税全廢案提出者に右の決議を[illegible]に及びたる上[illegible]精養軒に引返して[illegible]り何れも非常の意氣込にて惡税の全廢を貫徹する事を申合せて散會せりと

● 御救恤金下賜

一万二千圓　宮城縣
一萬圓　福島縣
一万二千圓　岩手縣
二萬圓　北海道
二万圓　青森縣
六千圓　山形縣
九千圓　秋田縣

右は客歳凶作の趣聞召され[illegible]より救恤の資に充つべき御沙汰ありて十日渡邊宮相を經て各縣知事へ恩賜金を傳達したり

● 南方派旗擧げの失敗　陳其美、[illegible]天仇は一月末より大連地方に侵入し居たるが近日に至り部下三十名を窃かに南滿各地に分派し大事を擧げんとしたるより我官憲は日支國交を害すと認め[illegible]三十名を各下車[illegible]或は送還に[illegible]拘束し又我在留民中の銃[illegible]に對し一切の取引を停止せしむる等高壓手段を以て擧[illegible]下たる其計畫を撃滅したり此計畫の大略は安東縣を占領すると共に公主領其他よりも一時に兵を起すにありたるものゝ如く陳[illegible]等は頗る[illegible]せる[illegible]別に取る可き手段なく近々再び日本に亡命する外なからん

● 山縣公倦さる　小田原古稀庵に靜養中なる山縣樞密院議長に對し十五日宮中より特使を發せられたるやに[illegible]公は近日歸京參内の上時局問題に關する御下問に奉答し尚場合によりては山本首相とも會見すべしと

● 壯士委員會に闖入す　十五日衆議院に於ける騷擾は未曾有の事なり廢税案委員會に於て討論に入らざるに既に討論終結の動議を出し奥委員長は之が採決を取らんとせしため大紛擾を釀し民黨の高木(益)藏原、才賀[illegible]須、高柳氏等は奥委員長の許に詰めかけ一方政友會議員は奥委員長を擁護して殺氣立ち喧々囂々何か何やら分らず今にも奥委員長のテーブルが顛覆せんとせる刹那政黨事務員の徽章を帶べる身の丈六尺に近き巨驅の男鐵拳を揮つて同志會代議士加賀卯之吉の右手をムンズと取り顔面を毆打したれば加賀代議士は顔上よりサット鮮血迸み出でたるのみを流して濱田代議士の頭上にも一つ鐵拳見舞はれたり此暴行に委員は大に驚き直に兇漢を第三委員室に連れ込め一方檢事局に急報したれば檢事は刑事を隨へ自動車にて駈けつけ警視廳へ護送せしが此者は神田三崎町のミルクホールの主人にて政友會壯士大野重次(卅)と云ふ[illegible]に對して政友會から頼まれましたと明言せりといふされば其休會後の委員會は層一層の騷擾を極め奥委員長の顔色は蒼白となりブルブル々と[illegible]油汗を流し乍ら態と素知らぬ顔をして議事を進行せしめんとするも民黨議員は必死の意氣凄まじく藏原氏の如きは泥棒を委員室に入れるとは奇怪千万なりと斷じ、斯る不都理なる議場にて決を取る可らずといひ泥棒は委員長自身が入れたと云ふ話だと委員長の卓を叩いて詰め寄れば才賀氏は權兵衛の手に泥棒ありと絶叫す紛然騷然委員長辭職しろと[illegible]切れ〳〵に血色を變する者宛然議場内は戰場の如く貴族院よりも縺を聞いて躍り込む者あり本會議に入らざる前既に殺氣場に滿ちたり

● 片桐大監免職　海軍部内の硬骨漢として名ある海軍主計大監片桐酉次郎氏は收賄問題勃發以來屈せず某方面より高壓を受け居りしが遂に本職を免せられたり

● 本願寺の大改革　役僧五名拘引されて以來未曾の大疑獄として一紛擾を重ね來れる本派本願寺改革問題は其後着々進行し宗内局の組織により積弊の一掃に從事中なり

● 政界の觀測　海軍腐敗問題に一度[illegible]りて山本内閣は全く其威信を[illegible]し去り只首相山本伯は噛り附主義一方の人なり是まで[illegible]に暴逆を加へたる政友會を今は自己只一の保護者と頼み近頃は大凡政友會大臣の要求といへば下にも置かずして之を容るゝといふ現金沙汰なり、某大臣は伯は流石は現金宗の開祖なりと顰蹙し居り[illegible]此判に及ぶての見苦しき噛り附き主義か功を奏す可きや否やは疑問なりと語れり

兩三日來山本伯と原氏との間に何かの重要なる事柄を協議せられつゝあるは蔽ふ可からざる事實なり或人は伯は豫算の通過を機として辭職し其後は寺内總理大臣の下に政友會の閣を形づくると云ふ相談纏りたりと斯る場合に於て必ず引合に出さるゝは寺内伯、後藤男及桂公の[illegible]なれども[illegible]世評だけにて實際後藤は最早政治圏内の人にあらず寺内伯は[illegible]と政友會と多少の緣故あるにも其一昨年の陸軍增師問題以來原氏等とは氷炭相容れざるの間柄なり本來狹量なる伯は昨今益々政友會[illegible]を高め居れり後藤男に至りては只之れ疎[illegible]老指大のみ原氏も加藤氏も此人には[illegible]まみなり

只茲に近き將來の問題とも見る可きは山本伯の退却[illegible]正當の順序より云へば其政友に[illegible]る原氏に内閣を譲り渡して去る可き筈なれども原氏よりは寧ろ加藤男にプロパビリチー多しと語れり眞僞は未だ知らざれども山本伯と加藤男との間にも何等かの消息存する事は確かなり

● 温泉ケ嶽の鳴動　十五日長崎より[illegible]降り[illegible]肥前國温泉嶽[illegible]りに鳴動して絶へず微動ありとの電報あり[illegible]長崎測候所[illegible]は十五日夜急行さ[illegible]したる[illegible]なきも島原地方人心恟々たり▲別報　肥前國高來郡小濱村にては十四日午後十時頃より十五日の夕刻に至り數回の鳴動及地震あり尚島原にても十五日午後七時[illegible]地震を感じたるが異狀なし縣廳にては警察部役所村役場に注意警戒中にて保安課より警部長崎測候所より所員十六日同地に急行視察に上れり（長崎電報）

●サンヂーゴ博覽會特許權　明年一月一日午前零時新年の號砲を合圖に南加サンヂーゴ港に於て開催する同博覽會會社は豫て日本政府並に實業家に向つて出品勸誘中なりしも桑博に對する日本の輿論が悲觀的なるより到底其目的を達し得ざるべしと見越し、今回日本出品、賣店茶店を始めゲーム類一切のコンセッションを桑港大佛商會主柴田徳次郎及び前沙港博覽會日本協賛會の支配人たりし渡邊四郎の兩氏に同會社より賦與する事となりたる由、因に同博覽會は中々の大仕掛にして桑港大博より僅か十餘其町狹きのみにして資本金五百万弗、入場者豫算約八百萬人也と

●印度移民の勝道　非利賓に於て旅行券を受け過般五百弗の保證金にて上陸許されたる印度人卅五名は去十日米國デストリクト裁判所判事ズーリング氏の裁決により彼等は公共の負擔たるべき恐れありと認められ一國發地非利賓へ送還さるゝ事となれりと桑港來電に見へたり

●佐藤博士消息　交換教授佐藤博士はアマースト大學に講演を終り七日夕六時秘書ハックルマン氏を隨へて入市、クラーク大學大學院學生久保、富山の二文學士並に同大學院學生ホラントン氏に迎へられホテル、バンダービルトに投宿、去九日第一回の講演を終り夜は總長ホール博士の邸宅に開かれし心理學のセミナーに出席され廿餘年前ジョンスホプキンス大學にホール博士の下に學生たりし頃の懷舊談をせられ候第二回は水曜日、第三回は金曜に講演さるべく終つて十四日ウ市を去りプロビデンス、ブラウン大學に二週間の講演を試みられイエールを經て御地コロンビア大學にても講演さるる御豫定の由に候　（クラーク大學より）

●ホールドアップに逢ふ　十九街邊に止宿する何忠兵衛とか云ふ男は田舍に夥しく貯めた金を持ち久し振りに出市したれば先ず都名物に要領を得んものと下町に出かけの途中チヤダム街の共同便所に這入るや不意に四人の伊太公現はれ有無を云はせず背後より身動きも出來ぬ程抱き込みピストルを差し向ける代りに前の袋を掴み金を出さねば握り潰すと脅かしたるが、伊太公等に汗水流して儲けた金をムザ〳〵奪られるのは殘念なりと思ひしも兩金持ちの隱詰には逃げ場なく終に廿弗ばかり入つた財布を投げ出し泣寢入りになりしとか、聞くが如んは近頃下町邊りには此種の新案隱詰が大分流行し居る樣子なれば將碁好きの方はお要心〳〵

●總領事並夫人歡迎會　日本倶樂部員の催ほしにかゝる同會は去十一日開催されたるが最初に高峯會長の歡迎の辭、飯島總領事の答辭あり次に餘興として米人手品師の妙技、浪花節色等あり出席者百餘名非常の盛會なりき

●青年會講話　來十四日午後八時より日本鐵道院技師笠松愼太郎氏の「實業に就て」及帝大教授佐野博士の「日本の近況」と題する講話ある由

●ギューリック博士の講演　五分移民入國論を以て有名なる帝大及京都同志社教授同博士は來十四日午後八時同腕のため修道會に於て一場の講演を爲す筈なり

●厄介な智惠の少い男　大行寺某なる男は過日來總領事館に來り飯か食へねから日本へ送り還して呉れと迫り館員諸君より飯代廿五仙宛を徵發し歸り行く事每日の如くなりしか館員諸君も五月蠅くてやり切れず此程大眼玉をむき出して追拂ひたるに二三日經つてから圖々しくもノホホンとやつて來たり「實は警察署のキャプテンに面會し大使館か領事館に電話して歸國出來るやう世話を賴むと言ひしにゲトアウトを頂載せり併し自分は何處迄も日本臣民なれば總領事館の手にて是非歸國さして呉れ」と中出で更に新らしいゲトアウトを食つて去りたりとはさても

●山田清次君は第三位　過日來市俄古にて競技中なりしビリヤードコンテストの結果はホッピー氏第一、サットン氏第二、山田氏第三、スロソン氏第四、テマーイト氏第五にて終を告げたり

●大審院判事磯谷、司法省檢事池田寅次郎兩氏　は過日歐州より來着滯在中なりしが本日出發歸朝せり

●東京第一中學校長川田正徴氏　は過日歐州より來着

●山中商會支店長午窪第次郎氏　は去十一日出發歸朝の途に就けり

●大坂朝日社員高濱氏　は豫て獨逸に滯在中なりしか歸朝の途過日來着

●三井物産會社員小栗儀氏客死す　同氏は前月來社用を帶び墨都に滯在中急性肺炎に罹り去五日同地に於て客死せり

●高見ドクターの慶事　同夫人には過日女子分娩母子共に至極健全

●大倉組富堀、店長高木同一氏歸朝　氏は今回東京本店機械部長に轉任急速歸朝を命ぜられ來月初旬當地出發十一日桑港發地洋丸にて夫人同伴歸朝する筈なりと

●矢島、福井兩氏は六月頃歸朝　當地堀越商會支店支配人矢島茂吉氏並に高峯博士事務所の福井氏は何れも家族同伴六月頃歸朝する筈なるが福井氏は東京三共株式會社詰となるべく矢島氏は再び來米する由なり

●蔵篤君に告ぐ　君の勞働組合なるものに關する投書は面白く拜讀したり只措辭餘りに猛烈露骨を極め時に他人の名譽を損ふの恐れあるを以て此儘に掲載する能はず兎に角君は自己の責任を明かにする必要上直接來社事實の有無を證明するの要あり

●盧原鏡氏結婚　過日澁谷ティ子女と結婚したり

●同胞の死　生王閣樓子に止宿中なりし井上清次郎なる人はニューヨークにてニカボカ病院に入院中なりしが去十一日夜十二時遂に死去せりと

●日本米大安賣　本紙廣告による通りオーネス街の岩田氏にて日本米の大々的安賣を開始せり

商業欄

▲一時間にして達する場に支那料理及洗濯所を開業する好適地あり本だ同業者なし（姓名在社）

▲家具一切講入したし（在社エムケ）

●雜貨店を開業する有望夏場を周旋破成下度御面會の上相當の御禮可仕候（在社中某）

紐育新報社



偶感

コロラダ州　佐藤南嵩

承前

さうした場合に、純な心持で自然の事象を眺めて。

やる瀬なき情味の唧ちを、一草の搖らぎ一水の流れに託して、詠嘆吟嘯をやる。

そは詩人の愚癡であると云ふかも知らぬ、然し私共の詩境の對象は爾か〳〵貧弱なる、超世間的のものでは無い。

我等の眞實なる、生活の底より叫ぶ傷ましい、現實生活の共鳴である、假りにも。我等が詩興は日常生活を遊離した、空華なる。遊戲的享樂でない。

思ひ外や。田巻五峯君の御説ではありますが。

文藝は高等遊民の遊戲であると。斷言されたけれども。

そんな思想は過去の因習に囚はれた古い頭の人達である。

甲寅新年號の紙面を飾つた「罪の告白」は。假初にも、遊戲的虚僞の告白ではあるまい。

作者が淡い過去の追憶に止み難き、身につまさるゝ、悲哀を痛感し、僞らざる罪の告白ではあるまい歟、釋然として、過去の罪業を悔悟すると云ふ事は。

尊き生命の自覺である・・・・そして男らしき、態度である。

さるにしても、五峯氏の從來の主張の如く。文藝を遊戲的に弄ぶ、白々しい虚僞の告白であつたならば。

氏が文藝觀上の不眞面目なる態度は了解する事は出來ない。

常に作物の觀照は、作者の藝術的良心の倒影がなければならぬ

文藝は決して、概念に囚はれた遊戲ではない。

文藝は我等が眞實なる生活の吹ふきと感銘を藝術化した、建設であらねばならぬ。

そこに、我等が見逃す事の出來ない生活創造を齎らす唯一の詩境があるのではあるまい歟。

囚人閑話

さうぐう

カネチカ州ウエザーフキールド在の監獄には月々囚人等に彼等が物せる感想錄樣のものを集めたる小雜誌を發行附し彼等只一の精神的娯樂に充つる由、世間に知られざる此刊行物中には流石に俗氣拔きの、或は眞摯、あるは唯心磊々有りの儘の思想を發表され、一讀三嘆に値するもの稀ならずと云ふ、左に揭ぐるは婆婆に望の絶へたる終身懲役三〇七一番囚と云へるが「誰かの言草」と題し此頃の同誌上に載せたるものにして此程ふと新育サン紙上に現はれしを譯出せるものなり

一年は三百六十五日なりといへり
我等は[illegible]〳〵之を信ずる者なり
人間の世界も正方なるものに非じ
自然の世界は圓ろしと聞く
酒場春場は機嫌所なるに白洲許りは危險所とかや
我等は最前踏み過ぎ來れり
ペン（筆）は劍よりも威ありとや
此處なるペン（監）も正しく然り
戀する同志は鉈前師と人は言傳ふ
我等同志は錠前奴と大立廻りの機りもと笑ふ
パンは命の糧なりと人敎ふ
我等はパンのみ喰ひて生けり
慾も[illegible]もやがて一切芽出度しと諺言ふ
我等の終期は何れに在りや

●大學卒業の大賊　大坂南區天王寺悲田院町二八一三寺村宮次方の硝子窓を破り奥座敷に押入り衣類十五点金時計一個雜品廿八点（時價八百餘圓）を窃取したる賊あり天王寺署は二日朝同府下天王寺村字天下花屋各村六兵衛方にて犯人を捕縛したり此奴は岡山縣勝田郡餞田村大字王子田村俊二（廿六）とて早稻田大學商科を卒業し前記六兵衛方の養子となりたるが六兵衛は元百万圓の財産家たりしも商業に失敗し目下は朝鮮に渡り高利貸を爲し居り目下は俊二夫婦切りにて妻は天王寺師範出身九條第二小學校に教師を爲し居れり然るに家庭常に不和にて喧嘩の絶へ間なく爲めに離縁話し迄持ち上り居たるが元來俊二は虚榮心に富める男にて賊を働きて一儲けせんものと豪家のみに忍び入り同必ず千圓近くの物品を窃取し品物は北區豐崎町池田富藏外三名に托し悉く市内各町に入質し其金額約二万圓に上り之を全部豪遊に消費したる旨自白したりと

獨身と非獨身

▲統計に現はれれ利害

獨身者は不幸で在ると云ふは生物學者の研究上に基く證明でウイルコット教授は最近更に統計の結果によつて動かすべからざる論據を固めたと彼自身は信じて居るらしい是れに依れば結婚した者は獨身者より總ての點に於て死亡率が少ない例を擧ぐれば卅歳より四十歳迄の者で死亡率を調査するに結婚者は百分の九、五であつて獨身者は百分の十二、五に達して居る去れば獨身者は好んで自己の生命を短縮し及び子孫繁殖を杜絶する點に於て國家の生命をも短縮せんとするは解しかぬる事情であると云ふのが非獨身主義者の言説である處が一方に於て哲學的研究を爲す者は此の生物學者の論證に服從するを肯せない更に反對の意見を保持し結婚なる者は必ずしも人類の幸福でない事を主張して居る其理由は試みに獨身主義者に向つて「何故に生物學者が論證するに向つて貴下は結婚せぬか」と問ふに其答へは「併し拙者は決して結婚しまい何となれば拙者は幸福なる生活を遂げたいからである結婚の中に幸福なる生活は見出されない結婚は家庭の中に存在せざるものである然らば何故拙者は結婚すべきぞ」と云ふに相違ないさて獨身主義者は此結論に伴ふべき反對の例證を擧ぐるに躊躇しない[illegible]月を費して細密な調査になつた例證によれば[illegible]千こ族に於ける生活狀態は下の如く分類される

一	最劣等家庭	四七
一	劣等同	一四七
一	下等同	二七〇
一	可不可なきもの	四三〇
一	表面的幸福	九九
一	比較的幸福	一一
一	眞正幸福	〇

眞正に幸福な家庭は之によると皆無である吾人は暫く此兩論を紹介するに止め樣と思ふが漸次生活難の加はるに從つて家庭的幸福が減少して獨身主義者が殖へるのは事實である

●アトランチック通信

白帽子

▲茶話會　當市日本人會主催にて去八日午后七時半より大谷政吉氏私宅に於て茶話會を開く、出席者十七八名幹事簡短なる開會の挨拶を爲し若宮氏の故國觀光談山田馬輔畫伯の懷舊談蓄音機の餘興等あり大谷夫人の懇篤なる茶菓の饗應を受け各自の失敗談等に[illegible]談笑歡樂時の移るを識らず近來稀なる盛會にて散會せしは十二時頃なりしといふ

▲若宮彌助氏　當市今成商會（茂木桃井組支店）店員なる同氏は昨秋歸朝去三月三日無事歸店せられたり

▲山田馬輔畫伯　有名なる同畫伯は去一月初旬ミチヤポリス市より當市に來られ爾來其假寓に於て獨特の麗筆を揮ひ居られし處不日シンシナチー。ピッバーク、ボストン、ニューヨーク、費府、ワシントン等の各市に於てヱキスヒビットさるゝ由切に成功を祈る

▲林氏の慶事　林鐵次氏夫人は去二月十二日男兒分娩母子共健全にて嬰兒は輝と命名せられたり

投書籠

▲日本人會設立に對して實業組合また新たに組織されしとか之れ東部同胞の進步發達の象徴として吾人の慶賀する所[illegible]くは運用其途に適ひ永久に吾人の發展に資するの有力機關たらん事を（熱望家）

▲オイ長顏先生あんな佛樣の樣な男の妻女を引張り廻すは止し給へ夫より腕かあるならウメイ事をやつてコンタマ貯め込んでるそんジよ其處らの[illegible]婦を引懸けるかい（矯風生）

▲某新來の一婦人在留同胞の腐敗狀態を實見し「當地には立派な方ばかり在留して居られるから妾風情の者は第一た行義から習はねばならぬと思つて居ましたのよ併し參つて見てねーあなたオホヽヽ」大方ユー。ミー黨ばかりの所を巡回したのだらう、次回の婦人會合には是非出席する必要かある（禿頭）

▲此頃當市の酌界で面白い歌が流行つてるから紹介しやう、權兵衛がコムミツシヨン取りや議員がほしくるコーナリヤ半分は出さねばなるまいズンベラ〳〵。籠に出るのは構はぬけれど、先方は妻子のある身ぞへ、若しや知れたら、父ツオドー、共に異國で恥晒し、記者さん少しは遠慮してドン〳〵（狂歌生）

▲過般桑府に滯在中なりし沼野領事の歸桑土産に曰く、新設さるゝ新育日本人會の趣意書は米國獨立宣言書に比すべき堂々たるものなり云々、何時趣意書を御覧になりしものか、夫れと前後し[illegible]原書記官は桑港日本人に向つて移民總監カムミテが議會に於て日本人排斥論を唱導せりとは跡方もなき虚報なりと辯[illegible]せり、以て近時の外交官一流のダロー主義の好對とす（良兒生）

The Japanese Times　　SATURDAY Mar. 2[illegible]th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
2[illegible] Sixth Ave. N. Y. City,
Tel 6473 Chelsea
Subscription Rate
5c A copy $4.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

立憲國民の態度

頃日佛國內閣大藏大臣カイヨー氏の夫人、夫の政敵たるフイガロ紙主筆カルメット氏を銃殺したる慘事あり而して此慘事は延いて巴里市民の動搖、軍隊の配置、王黨の暗中飛躍となり、現內閣之がため遂に瓦解するに至れり、大藏大臣の高職に在る人の夫人が佛國第一流の新聞記者を銃殺したりと云ふ、事は正に黃色新聞紙の社會欄を飾るための好材料として多數の讀者を吸集するに足る可く、殊に政爭の渦中に貴婦人を點綴して一場の悲劇を演ぜしむる所、活動寫眞の好題目として確かに多數群俗の[illegible]せしむるに足るべきなり、然れども仔細に事件の性質を考ふれば事必ずしも政府の消長に影響すべき程の大事件に非ず單に一のテリー性の一婦人が前後の考もなく感情の走るに任せて人命を絶ちたるに止まり、兇行の動機よりすれば伊庭想の星暗殺に比すべくもあらず、然も犯し易き巴里の市民等、羅典民族の特性を現はして常道を逸し、國柄を握れる人々相擁して共に倒るゝの止むなきに至りしのみ、天下棒腹絕倒の事之に過ぎたるものあらんや

熱し易く冷め易き事羅典民族に類せりと稱せらるゝ吾國民も時々にして此種の狂態を演出し心ある者をして嘆息せしむるもの再三にして止まらず就中政事を言議し輿論の指導を職とする者の多くが當路者に對するの態度に於て殊に甚しきを見るは吾人の每に遺憾とする所たらずんば非ず試みに吾國在野政治家及之に雷同する所謂輿論製造家等の言動を見るに彼等は自ら當路者攻擊の公平なる批評家たり、峻嚴なる監視者たる位置を忘れ事每に政府の施セッを攻擊するを以て在野政治家の能事了れりと爲す者の如く、中央政界の機微に通せざる地方の同種紙之に附和して誇張激越の言論を逞うするがために全國民の政治に對する觀念は次第に不健全なる情態に傾き、且弊風を問ふの暇なく、一小些事を捉へて所謂志士輩と共に爲政家の行動を非難する事恰も明治の初年自由民權論者が巡査黒燒演說を爲せし當時と異る事なく、時に變調に失するの餘、電車を燒き人命を損ふの狂態を露出するに至れり、吾人は敢て官僚を謳歌し、時の政府を辯護する者に非ずと雖も桂公の政黨組織と共に薩長元老の凋落となり、政黨に據るに非ざれば政治得て成す可らずとの思想朝野に充滿せるの今日在野政客の進退は須く正々堂々たる可く全國民の態度亦正に愼重なるを要す、即ち時に爲政の大綱を提げて當路者を鞭撻し、取つて代るの機會あらば乘じて以て自家の抱負と經綸とを布く可く時に或は反對內閣の施セツを輔けて大に自黨の襟懷を示すべきなり

現に米國共和黨の首領等が心に敵黨たる維爾孫內閣の對外政策を非としながら表面之を助けて國論の統一を圖り、自ら戒して徐ろに機會の到るを待つが如き、或は政治教育の發達せる米國民が大統領、州知事等の選擧に際し公事を慮り、時に敵黨の候補者に投票する事あるが如きは共に立憲國民の態度として尊敬するに足るべく、吾國在野政客及國民の宜しく學ぶべき所に非ずや、收賄事件の糺彈可なり、內閣不信任案の提出亦妨げず、要は只巴里に於ける一婦人の銃殺事件に伴へるが如き輕擧盲動を愼み、攻擊の爲めに攻擊するの愚を繰返す事なく、靜かに政局の趨向を察して眞正なる輿論の實現を期するに在る而已

女の話いろく

卓郎

▲屑き政治の話は可い加減に切上げて御か世話に碎けよとの某氏の忠告を其儘に今回は小生獨特の婦人談を試み候、全く某氏御忠告の通り世に女の話程罪なきものは無之、眉を怒らし肩を擧げて天下の政治を論じ給ふ殿方も、講壇に嚴めしく倫理明教を說き給ふ學者先生も一度び女の話しと相成り候ては御聞なかりしドゝ方等常一樣の騷ぎ所には無之候

▲斯の如く男子が女の話に恍惚となり、青表紙、赤表紙を投げ棄てゝデロリンと相成候理由は何かと申すに凡そ男子に取りて世の中に女程難有又忝けないものは無いからに御座候偖又女程男の言ふ事、爲す事を難有且つ忝けなしと思ひ吳るゝものは無いからに御座候

▲異りたる特殊の宗敎、敎育、風俗習慣に養成されたる東洋の女と西洋の女とは思想上著しき相違あるは勿論の儀に候が近來世界交通の發達と共に東西兩洋思想の接觸は益々密接となり殊に敎育の進步は東西婦人の社會的地位に急激なる變化を來すの傾あり、從來男子優勝權の繼承者なりと自信し居たりし吾男子黨は所謂新しき女、諸君の自覺論に會して狼狽措く所を知らざる有樣に御座候

▲乍併米國無政府主義者の領袖ゴールドマン孃の結婚論に對せる平塚明子、別名雷鳥女史の亂暴なる行動を評して取るに足らずと爲すは新時代の吾等男黨として聊か狹量に失するの嫌い有之候、小生敢て吾黨の先取權を毀損さるゝの口惜しき點に於て黨員諸君と異存あるに非ず將又所謂新しひ女の黃色な聲に軟化されたる譯に非ざれども、近來の如く女が年と共に吾黨の繩張內に踏込み來り銀行、會社員、講師、交換手として生存上獨立獨步の地位を獲得するの時代に在りては吾等は殘念ながら彼等の智識の進步を認め、少くとも婦人の社會的地位は男子と同等なりとの觀念を抱くの餘儀なき次第に有之隨て新しひ女の自覺論乃至亂暴論は壓迫されたる女子の叫びとして兎に角聞き置くの必要有之候

▲以上の如く小生は男女の社會的地位を同等なりと認むる者に候が之と同時に女子諸君は小生が前に申上げたる「男子程女子の言ふ事爲す事を難有く又忝けなしと思ふ者なし」との觀念を忘却せられず常に男子に對して自分自らの難有く忝く且嬉しと感じたる情緒を優さし又雅びやかに示すの要あるべし、申せば諸君の自然美を發揮する事に候、尤も之は諸君に於ても先刻御承知の儀にて小生が如き立入る範圍には有之間敷候

▲元來人間は男女に限らず己れに媚ぶる者即ち己れを豪いと仰ぎ吳るゝ者を愛するの癖あり、就中東洋の男子に於て特に甚だしき者有之候、左れば人の妻たりスウキートハートたる女が自分は立派な智識あり教育あるが故に男子は自分をレスペクトす可き義務ありなどいふ態度を示す時は折角男のレスペクトを受け乍ら其愛を求むるの資格を失ひ候

▲一般の西洋人は男女間の戀愛は相互のレスペクト即ち尊敬より成立すると申候が此見解もレスペクトの解釋奈何による事にて又既婚者と未婚者との間には又別種の解釋を施すべき場合有之、尊敬とラブとは各一樣の働を以て男女間の聯鎖を爲す事有之候、鳩山春子女史は有名なる賢婦人に候が流石の夫人も夫君の存生中自ら其愛を獨占する技倆のなかりしと相見へ鳩山博士のオメカ談は有名なるものに候、世人或は博士の行爲を以て生理慾に基くと爲すやも知れざれど小生の解釋よりすれば強ち然りとは思はず、博士は妻たる春子夫人の理性美をレスペクトし己れに媚び己れを豪らしと仰ぎ吳れしオメカの情性美を求めたるものと存候

▲要するに女に好かれる秘法は甚だ遣り即ち親切なる事にして男に好かれる秘訣は女子獨特の情性美を遺憾なく發揮して男子のハートをくすぐるに在り、人間の作つた敎育などに[illegible]をしりに敷き、命令的に異性の愛を[illegible]まゝにせんとするが如きは大違なる[illegible]見違ひに御座候　以上



荒亡

ばなゝ

青き石のリングかくれぬ薄絹の
白きグローブのびちゞむ鐵
醉へばこそ舞ひて見せたる反抗なや
つらき命の乙女にやあらぬ
イオレーの香高き酒に夜をこめて
乙女氣を吐くクイムダエッチ
クリムソンの熱ある色も吾が酒を
染めしは君がクリムテメンツ
タへくを吐く、トローの中折れこ
吹けば小さき夢の國浮く
燭は暗に盧氏の寢のつや光る
玉の盃手にもたわすと
弱き者をわかし、たゞしよべの夢に
悔ある朝を雪降りいでぬ

●愛蘭土自治案とウルスターの叛亂　英國議會に於ける政府提出の愛蘭土自治案は久しく懸案中に屬するが決定に至らず贊否兩黨の間に激烈なる討議を繼續し居れるが自治を喜ばざる愛蘭北部ウルスター州の人民は右自治法にして實行せらるゝに於ては十五萬の精兵を募りて內亂を起す可しと威嚇するのみならず[illegible]所在相集つて兵式訓練を爲すなど事態甚だ容易ならざるものあり、去十九日の議場に於て反對黨の領袖ボ[illegible]氏は政府に向ひレフレンダムの方法により自治案の可否を國民に問ふ可しとの提案を爲したる後「若し首相アスキス氏にして此提案を拒絕せば政府は投票よりも寧ろ兵力に訴へて本問題を解決せんとするものなり、軍隊抑も何物ぞや、軍隊は政府の命令に服從するものなりと雖も軍人も亦吾等と同じく市民たり、一朝事變に際會せば吾國の輿論は兩分せらるべし」と激語するに至れり

●大藏大臣夫人の記者殺害　佛國大藏卿カイヨー氏夫人は去十六日フキガロ新聞の主筆カルメット氏を其事務所に訪ひ秘し持たる短銃を連發して氏を殺害し直ちに牢獄に送せられたるが之がため巴里市中の騷擾一方ならず夫君カイヨー氏は辭職し次いで全內閣の崩壞を見るに至り政府は今市の安寧を保つ必要上軍隊を配置するに至れり、事の起りは本年一月以來フキガロ紙が連日の紙上筆を極めてカイヨー氏を攻擊せるに[illegible]ものにして殊に頃日の紙上カイヨー氏の政治上に於ける[illegible]的態度を暴露する目的を以て[illegible]氏が某婦人（現夫人を意味す）に與へたる私信なるものを公表したるは著しくカイヨー夫人を怒らしめ遂に此慘事を惹き起したるものなるべしと

●米墨の再交涉　近來墨國憲政軍の氣勢到に振はず較もすれば官軍のために追撃せらるゝの傾あり、夫かあらぬか米國はヱルタ政府と再交涉に着手したるもの〻如く特使リンド並に墨國外務卿ロヂャ氏はブエラクルツに於て何事か協商中なるが評判の內容に至つては知るに由なし

●米墨國境の戒嚴令　過日南加州米墨國境の墨領內に騷動起り、稅關、米國郵便局を燒き局長は慘殺せられし[illegible]米國は國境に戒嚴令を布くに至れり

●ロックヒル氏支那政府外交顧問となる　前北京米國公使館書記官たりし[illegible]同氏は今回支那外務省の顧問となれり

●煙草キューボンに重稅　米國下院豫算委員會は煙草キューボンに對し殆ど禁絕的の重稅を課すべき議案を通過したり右につき證人として出頭したる煙草商人の申立を聞くにキューボンはユーナイテッド・シガー・ストア會社が他の營業者等を壓倒するが爲の武器なりと

●倫敦飛行家の大會　飛行器轉回[illegible]ルーフループを以て有名なる[illegible]ーメル氏は倫敦數十名の乘客を乘せて飛行し[illegible]の飛行料二弗[illegible]十五仙を受けたるが一分間に一[illegible]を飛行するは極めて容易なれば一時間[illegible]三百五十弗の收入あり天氣良なる日曜の午后には約[illegible]千弗の收入ある事珍しからずと

●飛行家海野氏近く歸朝　故飛行家武石[illegible]氏の從弟に當る青年飛行家海野[illegible]郞氏は桑港クリントファーソン氏の經營する飛行學校を首席に卒業し目下同校助手として研究怠りなき本月末若くは來月上旬中には[illegible]の途に就く筈なり而して氏の携へ行く飛行機は[illegible]會社に於て製造されたる水陸兩用のボート型にて面積[illegible]百八十平方呎重量一千五百斤を有する五人乘なり歸朝の上は日本各都市に於て一ヶ月間の飛行を試み更に支那大陸に渡り大飛行をなす可く因に同氏は[illegible]に依り自由自在に空中を[illegible]し宙返り逆飛び等あらゆる妙技を演ずる由

●伯剌西の戒嚴令　[illegible]同國のストライキ騷擾は未だに鎭靜に至らず戒嚴令は依然として執行中なるが當局者は特に新聞紙の報道を嚴重に監視し政府反對派の一新聞は爲に發行を停止さるゝに至れり

●製艦九千万圓

[illegible]

●松尾中將拘引

[illegible]本日拘引されたり、氏は明治廿九年の帝大[illegible]卒業にし、海軍省[illegible]大石正巳[illegible]

[illegible]

●松[illegible]善氏拘引 [illegible]に關係あり日本銀行[illegible]たる同氏は過日拘引されたり[illegible]東京電報は報せり

●秋田縣の大地震

▲淺間山噴火

[illegible]秋田縣に猛烈なる地震あり[illegible]損害は[illegible]大要左の如くなるが[illegible]

六十名の死體を掘出

[illegible]キタヌモ村は燒失せり[illegible]

三百名の安否不明

[illegible]坑道陥落し、坑中に在りし坑夫[illegible]なり

信州淺間山は熾んに噴火しつゝあり、附近の住民は著しき恐怖の念に襲はれつゝあり

（十六日發）

●非國民の發覺

軍用秘密地圖を盗み出さんがため軍艦日進の火藥庫に火を放ち艦内の騷ぎに紛れ事を爲さんと恐るべき犯罪を企てたる者ある事發覺せり

[illegible]

●滿蒙政策答辯 [illegible]一、東部内蒙古は地理上南滿洲と分離すべからざる[illegible]史上行政上經濟上[illegible]なる關係を有する[illegible]州に對する關係[illegible]自ら特殊の地位を有する[illegible]

二、我國資本家[illegible]體會議[illegible]古に於て日本の有する特殊權利[illegible]權益に何等不利益[illegible]あるべからず[illegible]に參加するものなる事を[illegible]置きたり

[illegible]政府は一面[illegible]國に對し帝國が南滿洲及東部内蒙古に於て特殊地位を有する事を[illegible]

●山[illegible]公[illegible]

[illegible]

●本[illegible]

●滿[illegible]

[illegible]

●海軍收賄事件

▲[illegible]收監 海軍[illegible]

[illegible]

▲ウイッカース社の關係方面 海軍事件の[illegible]範圍は益々擴大し[illegible]シーメンス會社以上海軍との關係深き同社の取引方面にも及ぶべき形勢あるより多年同社と密接の關係を有せる東京の某大會社にては大に恐慌を來し[illegible]諸帳簿の整理に從事し證據の煙滅に努め居れりとの説あり

▲別して別に 海軍不正問題[illegible]の矢は猛烈なりしに對し山本首相何時も[illegible]

[illegible]

[illegible]自分は財産もない、何等[illegible]まった收入はないが併し世の中には自分以上の[illegible]者が澤山あるから[illegible]を先にしてもらはねばならぬ自分の家族はまだ人様から金をとらねば食ふ事が出來ない程のこともな[illegible]から金の贈送だけはやめてもらはねばならぬ[illegible]寄附金の[illegible]は斷りたいと思って手紙を出し置きました、云々と

▲太田大佐[illegible]

▲[illegible]横須賀工廠の[illegible] 海軍[illegible]來[illegible]なき横須賀[illegible]大佐拘引と共に[illegible]

●長谷場議長危篤

[illegible]衆議院議長長谷場純孝氏病氣危篤に迫り本日中六かしからんと傳へらる

●内閣總辭職の時機刻々切迫す

[illegible]貴族院にて大打撃を蒙りたる山本内閣は或條件を提供し上院の讓歩を求めんと交渉開始の準備中なるも上院の大勢は少しも動かず結局内閣總辭職の外に途なき運命に迫れりと

本社營業部

▲日本行瀛車瀛船切符取次 日本郵船 大阪商船
シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方よりも御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ヶ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人(英文) 定價一弗五十仙
西上青氏近着

紐育新報社

▲即位式拜觀 母國訪問 團員募集

▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滯在約百二十日間
▲詳細規則書にあり申込次第進呈
◉注意 同伴者又は家族同伴希望の方は至急問合せを要す
▲旅行家、寫眞師各々一名の加入者を募集す、委細面談

紐育母國訪問團本部
紐育市電話六西一參八

主催者 林富平

關稅五分戾割問題

▲輸入業者注意

米國改正關稅法には航海業を保護する精神に基き左の如き規定あり

米國所屬の船舶により輸入されたる貨物に對しては規定稅率の五分の割引をなすものとす、但し條約上の規定を廢止し又は削除し或は之に何等の影響を及ぼすものと解釋すべからず

右項條に關聯して改正稅率實施以後の輸入貨物課稅につき該法律實施以前より種々なる議論あり米國大藏省は結局司法當事者の意見を徵したる上各地稅關に訓令を發し昨年十月四日即ち改正法實施期以後の輸入品に對しては特許船舶の國籍が米國なると否とに論なく五分の割引を爲すに及ばずとなせり、茲に於てか各輸入業者は右解釋を以て不當となし直に之を當首なるボード オブ ゼネラル アップレザースに抗訴し、同アップレザースは審議の結果政府の解釋を非とし、米國船舶により輸入されたる貨物は右改正法稅率に準じ五分の割引を受くべきものなりとの裁決を與ふるに至れり、元來關稅賦課に就きては各國共に通商條約の最惠國條款に基き一般共通の規定を設け稅率の如きも船舶の國籍奈何により區別すべきものに非ざるのみならず曾てウードパルプ(製紙原料品)輸入課稅と米加互惠條約問題に關し瑞典、諾威兩國の抗議採用されたる前判決例あり、然るに紐育稅關査定官が如何なる理由の下に上記の如き裁斷を與ふるに至りたるかは疑問にして多分各國は最惠國條款を楯として抗議すべく又中央政府は之をコート、オブ、カストムアッピールに控訴したる上最後の判決を下さしむる順序となるべしとは某消息通の談なるが右に關し吾輸入業者の特に注意す可きは要點を詳せんに以上の如き疑問の生じたる場合輸入業者は自己の輸入品に對し一應プロテスト抗辯の手續を爲し置く事必要なり。然らざれば後日に至り自己の權利を主張するに甚だ不便不利の地位に立つの恐れなしとせず、且つ從來の如く代言人に由分けの約束にて抗辯を試むるが如きは法律の禁ずる所なるを以て各輸入業者は此際充分の注意を拂って自家の利益を保護する事極めて肝要なりとぞ、因にプロテストに要する代金料は僅かに金一弗なり

●徵兵猶豫者に付 在外猶豫者の注意

徵兵猶豫に關する改正案は陸軍省及文部省に於て協議したるも相方意見一致せざるため容易に纏まらざりしが結局廿五歲と爲す事に略決定せるものゝ如く今次の議會に提出さるゝ由なり之に關して在外留者の猶豫問題を如何に解決すべきやの議未決の儘にあるが聞く所に依れば陸軍省の調査の結果徵兵猶豫を受け居る者八万餘人の多きに上り內海外に在留する猶豫者約二万五千人にして而かも徵兵を忌避するため三十二才迄の猶豫を與ふる現規定を利用して海外に居住する者多數なる趣なれば此弊風を一掃する必要上現規定を卅七歲までに延長するの方針なりと若し該規定を採用さるゝ曉は忌避の目的を以て海外に移住せんとする青年は二十年間を待たざるべからざるべく

●歸化證を有する人々に諭ふ

本紙の讀者又は其友人にて米國歸化證を有する人は左記順序により御記入の上に本社宛御通知被下候はゞ難有存候

原籍、現住所、生年月日、歸化證の種類(第一證又は第二證)許可の日附、場所、歸化證に記名しある當該官憲の氏名(英字)、歸化證の番號

右は歸化證所有者のため極めて必要なる事項取調のためなり

●女の足に十万弗の保險金 當國にて有名なるアンナ、プロワ孃は過日聖ルイ留のオディオム劇場に於て舞踏中偶然右の膝骨を挫きたるが同女優の足には豫て十萬弗の保險を附しあり依て保險會社の醫師は八孃の傷が永久全治の見込なきものなるや否やに付エキス光線を使用し査中なりと

商業欄

▲二時間にし□達する夏場に支那料理及洗濯所を開業する好適地あり未だ同業者なし(姓名在社)

▲家具一切購入したし(在社ニムケ)

●雜貨店を開業する有望なる場所を御面會の上相當の御禮可仕候(在紐育某)

紐育新報社

費府通信

當市及び其附近在留の邦人は目下凡三十名內外にて學校商業會社製造所及染織等の各工場にある三十名を除くの外は概ね家內的勞働者及船員等にして學生間には熱心なる研究家多きため往年に見し如き盛なる社交的活動なきも各自着實に勉强せられつゝあり

目下ペンシルバニア大學には商科に佐藤小林の二氏醫科に淸木鈴木大山の三氏ありハーバーフォード大學に新渡戶氏ブランマー女子大學に岡田孃フキラデルフキア神學校に山崎松本の二氏あり學校出身者には山崎氏のロバード商會に深澤氏はストーンブリッジ商會にドクター波多江氏はクテリオロジー研究のためにペン大學に在るあり

此外山川氏の博物館に赤羽宇郞氏の如き來られ日本畫の揮毫せらるゝとあり雜貨店には六十街に戶谷氏十街に岡田氏ありレース街に愛敬氏の洋食店あり

下町方面に於ては永田飯沢海等三氏の船員及家內勞働者相手のボーヂングハウスあり當市は船着地とて此方面同胞の過半は上り多く

以前ェは野村日資等の米人殺害事件もあるがに其內容甚だ猛烈を極めし結果遂に其筋の發賣禁止となりし物也

(以下不詳)▬▬▬▬ ▬▬▬▬死傷事件近くは梅形某の實弟殺害事件等ありて一般米人より▬▬▬▬▬▬と此間に在りて前記上町方面の諸氏が學生會を中心として諸方面に活動就中日米人の接近につとめつゝあるは多とすべし

●即位式拜觀の目的にて組織された當地訪問團の規則書發表されたり中込次第進呈すと

●日本人會紐育委員會合 來廿二日(日曜)午後 時日本倶樂部に會合の上各委員の手に成れる細則を議決定する筈なり

●共濟會春期大會 來四月五日(日曜)午後二時武市イーストリート一八二高見會長宅にて開會、日本人會と合併の件に付協議する由なるが右日共合併に付ては豫て本紙面を以て會員の意向如何を問ふ所ありしも何分重要事項なるを以て今回改めて全會員の出席を求むる事となりたる次第なりと

●長崎高商卒業牧野□□氏 は此程倫敦より來着ホールアスターに在り

●帝國劇場支配人山本久太郞氏 は劇場取調として過日歐州より着ホテルアスターに在り

●□宮鈴太郞氏 去十一日倫敦に着せる旨來電ありたり

●多賀見商會の小野寺□氏 は十八日出發歸朝の途に就けり

●早川保次郞氏 去十五日出發歸任

●宮川尙郞氏 ニューヨーク大學卒業後同紐育商會市俄古支店を任さして去十七日出發赴任

●大商市俄古出張所長村田省三氏は病氣のため歸朝する事となり當地出張所の□□氏其後任となれり

●小森□郞氏再渡米 昨年來歸朝中なりし同氏は夫人サダ子同伴來着せり近々□商業の筈なりと

●東京三共株式會社の□□□□武田經次、田中□□の三氏は□□市□□たり

▲發賣禁止揃ひ

▲發賣禁止 海野幸德著 **男女の生活** 定價一弗二十仙
本書は著者獨特の輕妙なる筆法を以て露骨に男女の性的生活を說明せしものなるが內容甚だ猛烈を極めし結果遂に其筋の發賣禁止となりし物也

▲發賣禁止 青柳有美著 **質疑應答 戀愛問答** 定價四十仙
本書は風俗壞亂安寧秩序紊亂の下に發賣禁止となりし奇々妙妙の書なり

▲發賣禁止 秋琴女史著 **ポケツト 女醫者** 定價壹弗
本書中「生殖器篇」「生殖器解剖」に當りては露骨に且つ生々き處に手の屆くが如き猛烈なる筆法に依り說明せし故か出版と同時に發賣禁止されしものにて世界無類の珍書なり

▲發賣禁止 白面樓主人 **きむすめ論** 定價壹弗

▲發賣禁止 北澤正悴著 **色情思想の解剖**

▲空前の大傑作益々好評 定價九十五仙
菊池幽芳の作 愈々完成
百合子
定價前一弗十仙中一弗後一弗十仙
目下故國に於て文壇界に大立物たる白合子は大坂毎日新聞の連載せしものなるが婦人の髮は申すに及ばず衣類に迄白合子形の模樣を取るまでに流行せし近代稀なる一代傑作として本書を讀んで泣かざるものは鬼なり

▲浪六先生の新著 **現代思潮 男女の戰ひ** 定價上下各九十五仙

▲蘆花德富健次郞著 **みゝずのたはごと** 第四版出來 定價一弗五十仙

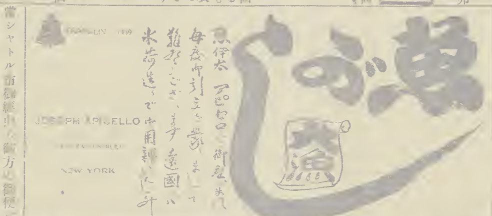
羅府東一街三五〇 書店 博文堂
[illegible] Los Angeles, Cal.

御下宿 中島實
[illegible] N. Y. City

▲ニューヨーク生命保險會社 特別代理人 早川保次郞
[illegible]

○和洋服裁縫○
御婦人用洋服一切、男女用和服一切迅速丁寧に調製仕候
[illegible] 山田□

FAR EAST TEA GARDEN
Chinese Restaurant
Broadway & 59th St.
Phone 2472 Col.
(支)(那)(料)(理)
(風)(味)(佳)(良)
遠東茶園 西五十九街

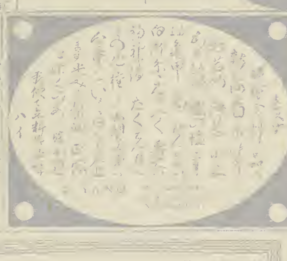


當シャトル市御滯在中は御便宜の御取扱可申上候
藤井旅館支店 ホテルタコマ
室數二百廿二、全館□□□□スチームヒート[illegible]
HOTEL TACOMA [illegible]

御下宿 中川
チェリー街 四七□
[illegible]

寫眞業熱心家を要す
寫眞業に趣味を有する人にして弊館の事業を補助發達せしむると同時に自身も獨立の基礎を作らんとする熱心家は來談あれ、報酬は人物の如何により利益配當とするも妨げなし委細面談の上
岡田寫眞館

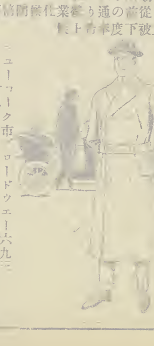
御下宿 青年館
レキシントン街百九十八番 大井田廣次
[illegible]



日本人職業周旋所
貸室あり
□□ヰンドン街 □□□
森喜代治

M. M. SAKANO, Tailor
with J. E. TAYLOR
[illegible]

從來の場所狹隘に付き左記の處に移轉致し從前通り營業仕候間倍舊の御引立被下度奉希上候



ニューヨーク市ブロードウェー一六九三
坂野洋服調進所

○御料理 御旅館 横濱館 ○
紐育市バークレー街四十九 □□
御淸潔 電話□□

東京館 NAKAHARA
一切諸君の御便宜を謀り左記の處に營業仕候間御引立の程奉希上候
中原修吉 謹白
Japanese Boarding House [illegible]

Pooi Nom Low
[illegible]
支那料理 品南樓
美味にして淸潔 御料理 午前十時より午前六時まで開店

TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO
[illegible]
NEW YORK
Phone Greeley 5761
寫眞館 菊地
PRIVATE
161 West □□th Street
NEW YORK
Phone □□□ 6□□

●社告　「紐育の日本人」續稿すべきの所故[illegible]近信其他記事輻輳のため止むなく次號より掲載することとせり

▲寄　書▼

憂ふ可き現象

精神病療養のため西部に赴く人を送るに際して　チー生

▲十數年の久しき生活を新育に送りたる知人某氏此[illegible]病魔の襲ふ所となつたが主治醫は斷然西部に轉地療養すべきの必要を宣告した、西部に轉地療養、今更ら事新らしく詳述するにもなく簡單なる此一句は讀者をして戰慄せしむべき深遠の意味に於て[illegible]ならしむるであらう、聞く近時の當地日本人間には自殺狂風の如く馳せ來る電車に突進して自殺を闘らつとせし精神病者、不治の病魔に犯され孤影悄々病軀を擕へて歸國せる者、[illegible]何と聞くも傷はしき情報續[illegible]しつゝあるを見る

▲無[illegible]抱負と希望を抱いた青春の[illegible]鋭の若者が[illegible]幾年未だ理想の道程にあつ[illegible]斯の如き運命に[illegible]地に世から[illegible]た形骸を[illegible]し[illegible]想は如何、[illegible]の成功を祈りつゝ夢寐[illegible]忘れ得ぬ慈愛深き父母、[illegible]スウートホームを期した[illegible]溢る情緒を[illegible]玉章、[illegible]を現ふの[illegible]より甚だ[illegible]民族の血を分けた[illegible]憂ふべき[illegible]現象[illegible]最も同胞に[illegible]在[illegible]君[illegible]を研究し[illegible]したい

▲聞[illegible]精神病[illegible]されたる患者は約二万八年々三百萬弗の經費[illegible]ある、そして[illegible]べき多[illegible]大部分は外國移民にして[illegible]る事である然も[illegible]患者の病原は異郷に在り[illegible]のみで[illegible]の精神的娯樂を享くる餘裕なき結果動もすれば陰鬱憂愁に閉されて終に精神狀態に異狀を起すか左もなければ健康を害ふに至るのであると確信する

▲東部に居る約二千の日本人中其[illegible]は終日陰鬱の家內的勞働者、そして九割が獨身男子なるを想へば彼等は最も危險なる狀態にあるものなりと云はねばならぬ、劇しき勞働を終りたる血氣の青年がウツを散じ懷を展ぶる只一の場所は市內各所に散在する下宿屋位のものである、之を彼の四圍人種的壓迫に充てりと云はれて居る西海岸同胞に比するに彼等の身邊には相倚るべき同族の集團、相親むべき家庭の團欒ありて怡々たる溫情其間に充溢するを見る、夫れがため時に或は白人等の排斥的暴擧に虐められ感情を激昂せしむる事あるも其處に慰藉と云ふ大なる緩和力のため却つて精神を奮起せしむる媒となるのである、西部日本人が常に穩かならざる排斥騷の中に在つて一歩々々堅く確實なる發展の基礎を築き上げつゝある所以なしとせずである

▲四圍の事情境遇の同一ならざる東西同胞を一括して論斷するは早計である併し乍ら現下當地方在留同胞の社會的狀態の如き尙に憂ふべき現象を呈しつゝあると思ふ、斯くて三年過ぎ五年過ぎ双鬢霜を見るに及んで何等蓄貯の資なく一ケ月勞働しては一ケ月徒食し遂然貴重の光陰を送りつゝある人が多い、斯の如き放浪生活に伍る事を知る由なき郷里の親身は切りに歸朝を促して來る、理想現實の相反する爲遂に失敗者の群伍となる者に取つて此の位い煩悶の種となるものは他にあるまい（未完）

●太刀山來米せん　數場所十日間の勝負に常に全勝を得天下無敵の稱を有する東京大相撲東方横綱太刀山峰右衞門は[illegible]見物旁々布哇巡業の希望を懷き居りし事とて過般同地好角家[illegible]に宛合を發し興行の時期並に小屋[illegible]設備入場料及び宿泊料等につき詳細の問合せをなし來れる由なるが出張人數の見込は太刀山大關鳳、張出大關伊勢の濱、小結柏戶、前頭大蛇潟、黑[illegible]川、上州山、年の石、御舟潟、加勝山、寒玉子外約三十人の見込にて總人數六十五名にて時期は勿論五月場所以後にして布哇滯在は二三週間なるべしとの事なるが沿岸各地にて巡興の見込十分ならば少くも一行中の一部は序を以て桑港始め各地に巡興すべしとなり

●世界舞蹈旅行　世界一周旅行にも數々あれど之は又珍らしくも卅七の美しい後家さんと加州大學の學生なる廿歲の若い息子とが舞蹈の敎授をなして全世界を股にかけんとする珍計畫あり右の後家さんと云ふは加州のウエルドン未亡人と云ふものなるが日頃舞蹈の嗜みある所から桑港邊の婦連や若夫人連に之が敎授をなし斯くて稼ぎ得たる金にて息を加州大學に學ばしめつゝありしに倩と世界一周の事を思ひ立ち行々の旅金を擀へるために舞蹈の傳授を爲すこそよからめと先づ息子と舞蹈を仕込み母子二人にて若い男女を集めて最近流行のタンゴ踊りなれか精々艷めかしい所を敎へオークランド市及びアラメダ市に於て大成功を收め得たるを以て愈々世界一周の途に上り布哇を經て日本に向ひ若衆達にタンゴ踊を敎ふべしとは風變りの世界一周とこそ申す可けれ

●北墨在留同胞西部に移住せん　國務卿武雷安氏は本日珍田大使の要求を容れテキサス州エルパソより墨國ソノラ州加州々境のカレキシコに至らんとする北墨在住の日本人約百五十名に對し米國領土通過の許可を爲す可き旨承諾せり此等の日本人は同地方戰亂のため職業を失ひたるを以て西部に移住し棉花の摘採に從事せんとする者にして大使より植民局ず書の下に移動する者に非ざる事を說明したりと

●早川萬次郎氏　昨年夫人を喪ひ自分も亦重き眼病に罹りて歸朝せる同氏は名古屋病院にて視神經萎縮と診斷され旨村瀨ドクターに通知ありたり氣の毒の事と云ふべし

▲西岡秋草氏　咽喉結核病にて歸朝の同氏は去二月十一日横濱着

●坂野洋服店主の慶事　同夫人には去十九日玉の如き男子出生、萬歲

投書籠

▲海軍收賄事件に關し故國新聞筆を揃へて首相山本は其巨魁なり、天下の大泥棒なりと痛罵を浴せさる、若し之れが舊幕時代なりとせば差詰め山本以下一味徒黨は切腹して天下に謝罪すべきなるに却つて居直り的態度に出で椅子に噛り付くとは甚ズーズーしさ加減呆れて物が言へぬ、飲酒したと云はれて名譽毀損の訴訟を提起し對手をして謝罪せしめたル氏の爪の垢でも煎じて飲ませたい（大正武士）

▲萬目皚々の雪の野に酒屋へ三里豆腐屋へ五里浮世離れて奧山住ゐ金も戀も忘れて只一人、優しきは猫の足跡梅の花（黑旋風）

▲靜座法が紹介されて以來熱心研究家の殖へたのは結構の事であるが夜中實習して隣りの安眠妨害に劍突を喰ひ街路を歩きながら眼玉を白黑にして癲狂持と間違へられた連中が大分あるさうだ（應來生）

▲シャトルでは昨秋觀光團が幾くつも組織されたので預金者が一時に金を引出した爲め一邦人銀行は破産するに至つた所が同員は大擧妻女を同伴して歸來するのであるから却つて同胞社會は健實となるべきを見越して他の銀行がそれを買收したさうな（經濟學者）

▲九一ジャップと云はれた商家の番頭君は彼の投書につき一々辯解して週るとはナカ／＼健脚[illegible]次回のマラソン競爭に選手となつたらよか[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分金[illegible]弗
一ヶ年分金[illegible]弗
千九百十一年六月廿[illegible]日郵政認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

山本内閣瓦解と後繼内閣

帝國議會開會以來海軍收賄問題を導火線として民黨總攻擊の焦點に立ちし山本内閣は遂に瓦解したり、電報により同内閣が總辭職と同時に發せる宣言なるものを見るに瓦解の理由は海軍收賄事件とは何等の關係なく全く貴衆兩院豫算委員會の合議を經たる本年度豫算案が不成立に了りたるに基くとなせり、素より豫算の不成立は議會の爲政當路者に對する不信任を證明するものにして、山本内閣瓦解の直接理由は、正に宣言の如くなる可く、且つ理論上よりすれば豫算案と收賄事件とは自ら別個の問題なると共に、議會の態度は如上二問題に向つて、各異なる所なかる可らずと解釋するを至當なりとす可し然れども研究會一派を除くの外曾て政黨らしき政黨なく常に一定の主義政見を有せず[illegible]すれば時の政策を迎合するの徒多き貴族院が一旦衆議院に於て修正削減されたる豫算に向つて更に新たなる大削減を加へ所謂山本首相の海主陸從政策を根底より覆さんと試みたる所以は[illegible]單純なる理由に[illegible]とせず、試みに貴族院に於ける政府反對演說の重なるものとして電文の傳ふる所を見るに政府提出の豫算案は國防上不必要の海軍擴張を爲すが故に非なりと云ふにあらず[illegible]收賄事件に關する當局者の失政を非難攻擊し[illegible]なる政府の豫算案には協贊を與ふる能はずとなせるの傾あり、即ち貴族院は道德問題を以て政治問題を解釋したるものにして[illegible]言すれば收賄事件より豫算の不成立を來たし、豫算の不成立は山本内閣瓦解の直接原因を爲せりといふ可く、[illegible]山本内閣の致命傷的最大原因は海軍收賄問題に關する一般の反感なりといふを得べし、然らば後繼内閣は如何なる人に依りて組織せらる可きかと[illegible]問題なり。

去る廿四日の東京發電は後繼内閣の組織者を以て西園寺侯若くは加藤高明男なるべしと報じたり、若し這回の政變が政黨政治の發達したる英國に於て起りしものなりとせば加藤男は反對黨の黨首として進むで新内閣を組織し、自黨の主張にして多數黨たる政友會の排拒する所とならば一旦議會を解散して以て國民の輿論に問ふべきが順序なりと雖も藩閥元老政治逝ひて未だ幾何ならず、貴族院は依然として長袖者流の隱居所たり國民一般の政治思想甚だ幼稚にして權利、義務の觀念明かならざる吾國に於ては到底議會に多數を制するの望みなきのみならず例令國民黨の犬養氏一派及中正派の尾崎氏一派と手を携へて内閣を組織するとあるも異分子の聯立内閣は期せずして施攻上の統一を欠ぎ、遂に政友會の乘ずる所となりて憲政黨内閣の故轍を繰返すに過ぎざる可し、之れ賢明なる加藤男が輕々敷内閣組織の大命を拜するに躊躇し得可き理由として充分ならん、爰に於てか吾人は西園寺侯の前途最も望み多きを思はずんば非ず反對黨は政友會の行動を目して多數黨の横暴と罵り同會所屬の代議士を以て一種の傀儡に過ぎずと爲せども兎にも角にも吾國政界の現狀よりすれば政友會は最も勢力ある一大政黨にして之を率ゆる者は正に内閣組織の大命を拜するの價値ある人物とせざる可らず、現在の黨首原氏の如き其統率的手腕と、明敏なる頭腦とは確かに專閣の首位を贏ち得べき資格ありと雖も目下の情態は氏をして其野心を逞うせしむるを許さず、然るに西園寺侯に至りては今上陛下の御親任厚きのみならず政友會と密接の關係あり就中其清廉と雅懷とは現時政界の人物中他に其比を求む可からざるを以て侯にして一度び起んか人心の歸向は山本内閣に對するものと反比例なるものあらん、吾人は深き興味を以て今後の形勢に注目せんと欲す。

國士放言

未來の大臣

▲ヤー先生久振りにやつて來たね、ナニ内閣落城に就て何か聞かれた、アハハ、だうしても政治外交問題となると流石の新聞屋も國士たる吾輩の意見を求めねばケリが付かぬと見ゐるな、イヤ全く吾輩は猫じやない、正眞正銘の國士だ、貴公の口調を眞似るじやないが、未來の天下を經綸する所の國士様だ、隨て言ふ事が眞面目であるから其積りで聞くサ

▲即位式の御大禮を目前に控へて本城を明け渡すのだから山本さんも嘸辛らかつたらう、況んや子爵男爵正何位勳何等といふ棚からボタ餅を喰ひはづしてオメ／＼引退がる諸君と來ちや實際氣の毒なもんさ

▲併し克く考へて見ると海軍收賄事件は非常に立派な教訓を後進の政治家に與へた、貴公は知つとるかも判らぬが山本といふ人は[illegible]行方ないふ點に就ては伊藤、山縣、井上、桂などの及ぶ所に非ず、[illegible]に熱心なとも歷代の首相中稀に見る所の人物だ

▲然るにだタッタ一つのコムミッション問題の爲に其身は收賄の元兇と呼ばれ折角物に仕掛けた内閣を明渡さねば納まらぬ破目に踏入つたといふのは一體何の爲だと思ふ、貴公等後進手弟の大ひに考ふ可き所だぞ

▲元來金錢と名譽を二つ乍ら併せ得やうとするのは非常な心得違ひで無理に行らうとすると、所謂二兎を追ふ者は一兎をも獲ずの結果に踏入るので下手間誤付きやふいへゝを着にやならんのだ

▲敢て慷慨家を氣取つて言ふじやないが近頃の若い者は才が餘りに走り過ぎて智惠が足りない、だから千か二千の目腐れ金を儲かるとか或ば相當の名譽職を得る段になると幼い時に學校の先生に敎はつた正義正道の觀念を失つて仕舞ふから實に困るのだ

▲成程人間は矢張り人間だから時には丁見違ひな事をしたり偶には[illegible]事もする、併し惡い事も品に由りけりで軍艦のコムミッションを取つたり、御用商人の頭を[illegible]たりするのは取りも直さず國民の税金を盜む事になるので本來性質のよくない方なんだ

▲僕が若し總理大臣だつたらケチ臭いコムミッションなどを取らずに高利貸からウント金を借り込むで盛んに相場をやるね、運が惡くて損をすれや借倒しの御貸し下されとして久しからる、儲かつた時に歸ふサ、拂つて未だ殘つたら妻に着物を買つてやる、十分を裹んでやる、株式で以て子孫の爲に美田を買ふなどは愚の骨頂だよ

▲原君か、[illegible]人も豪い人物さ、政友會のやうな尨大な政黨をビシャンと統率して行く所などは到底鱗介の[illegible]ではやれない、[illegible]當だよ、惜しい事には相棒の松田君が死んだので黨内の調和に不都不便を感ずるであらう[illegible]世間では原君を非常にクールヘッドと罵る[illegible]實際[illegible]に向つて[illegible]見給へ、[illegible]元來が正塵家丈に敵が澤山ある

▲オイ君、一言貴公に言つて置くが[illegible]實業達を[illegible]ならば第一に正直な[illegible]第二に一本道を[illegible]、第三に[illegible]所で小さい魚を釣るよりも深い所で大きなのを釣る考をする事、第四は金錢の貴きと其賤しきを[illegible]る事だ解つたかい

漾南の風

佐藏南嶺



海原吹いて來る風は、どこから吹いて來る風か、沙漠を踰ねて名いて來る。

、、、

遠く南に邦をなす、邈遥たる、、、、。ユーカ水都の[illegible]は。

、、、

[illegible]古生民が苗裔の、血潮に[illegible]く、群[illegible]の、衰觀[illegible]たす、文獻史。

、、、

靑きとげある、木精の、核子祈きて、慘毒の、移めし弩絃を引張し。

、、、

[illegible]を燻らし、忍び矢の、ゆづるを截ちて、鋒倒し、西長の[illegible]畔、、、、、[illegible]の苑、、、、散る。

●山本内閣總辭職（廿四日東京發）

山本内閣は本日[illegible]を爲したり[illegible]同内閣は總辭職と同時に[illegible]宣言を發し總辭職の理由は海軍收賄事件と何等の關係なく貴衆兩院豫算委員會[illegible]に於て本年度豫算が不成立に了りたるに基くとなし、[illegible]るに非ざれば政府は[illegible]豫算を踏襲せざる可からず[illegible]右宣言は内閣瓦解の[illegible]にありしならば[illegible]實行せらる[illegible]も反對派[illegible]を以て收賄事件に在りとなせり

●曾我子の[illegible]

[illegible]曾我祐準氏は[illegible]反對派の代表的意見を[illegible]收賄事件は帝國海軍の[illegible]下級將卒をして上官[illegible]者を[illegible]に次で[illegible]

●西園寺侯召さる

[illegible]辭職と共に[illegible]陛下は西園寺侯其他の諸元老を御前に召され後繼[illegible]に付御諮問遊ばされたるが[illegible]は多分[illegible]内閣組織の大命を拜するに至る可く、尚[illegible]志會[illegible]男も後繼者の候補たる可しと[illegible]

●反對派の歡喜

反對黨は山本内閣の瓦解を以て[illegible]政府に致命的大打擊を與へたる[illegible]とし今回の政變は[illegible]務へすと共に憲政[illegible]る結果を生ず[illegible]

●内閣瓦解と米國（廿四日華府發）

山本内閣總辭職の[illegible]に向つて[illegible]

●大隈内閣說（廿[illegible]東京發）

大隈伯を[illegible]

東京電報

●海軍大更迭

（廿八日東京發）

[illegible]海軍中[illegible]られたり

將松本和氏は職を免ぜられ

海軍中將吉松重太郎氏新たに任ぜられたり

●下院議長後任　[illegible]議長後任は奥繁三郎氏に決定せり

奥繁三郎

[illegible]氏は文久二年[illegible]

●吉田収入官を縊つて自殺す　獨逸シイメンス電氣會社東京支店員たりし石川縣人吉田収入は海軍収賄問題の關係者として東京監獄に收容されたるが遂に[illegible]を[illegible]たるか監獄内に於て首を縊つて自殺を遂げたり

●故長谷場純孝氏葬儀　故長谷場衆議院議長の葬儀は[illegible]執行せられたるが畏くも天皇陛下より一千五百圓の祭祀料御下賜あり朝野の名士參列する者數百名に達し盛大を極む

●大正博の盛況　今上陛下の行政を奉祝せんがため計畫されたる大正博覽會は廿日を以て豫定の開場を爲し同時に盛大なる開會祝賀式を擧行したるが當館の出品は日本商工業の近來著しき進歩をなせる實況を示し長足の發達人目を驚かしむるもの少からず東京市内は目下同博覽會のため非常の盛況を呈し居れり

●米國地震學者負傷　米國火山學者フランク アルバート バーレット氏は火山探検のため日本に渡航し廿日櫻島探査中不意の爆發により不及足に輕微の火傷を負ひたり

●現内閣不信任上奏案提出　海軍將校が不正の[illegible]を爲したる醜惡事件を根據としたる現内閣彈劾案は廿[illegible]衆議院議會に於て不信任案上奏の形式を以て政府反對黨より提出せられたるも[illegible]今上陛下の御行[illegible]

●西本願寺の問着　[illegible]西本願寺の問着は其後[illegible]大谷光瑞[illegible]前門主[illegible]より來り[illegible]

海軍醜惡事件は今上陛下の御名譽をも汚し又日本海軍の名譽を[illegible]外に於て傷害するものなり云々

（一面參照）

付けられし東京[illegible]德氏、長谷[illegible]手は昨春以來日々青山御所に出仕し[illegible]御仕譯に着手せし結果實に十萬四千餘首の多きに達せる趣にて尚今後約六ヶ月間を要する[illegible]

日本最近

●大隈文相の舊[illegible]　法相に轉任せる[illegible]文相大臣に[illegible]岡田義人氏の後を襲ひ[illegible]任ぜられたる大岡育造氏が[illegible]議士として日本製糖會社[illegible]事件に[illegible]關係[illegible]議會の門[illegible]大岡文相の人格[illegible]

●巴奈馬東洋航路　巴奈馬航路の[illegible]東洋汽船[illegible]事は今や[illegible]南米航路[illegible]欧州大文が直接に[illegible]

●故大浦[illegible]　[illegible]

●片桐前大監の[illegible]　片桐前[illegible]大監[illegible]

●白狼軍　二百卅人を屠る　廿五日北京發電によれば強賊白狼軍は其後益々猖獗を極め[illegible]に過日の如きは峻西省ランチュチャイ市を襲ふて住民二百三十名を殺戮せりと

●紹介釣選く　[illegible]は二月廿七日病死したり氏は河南省[illegible]袁世凱[illegible]

●ヘルマンの保釋　收監中の[illegible]ヘルマン[illegible]保釋金二千圓を納め保釋の許可を得たればヘルマンは直ちに出獄し午後六時出獄したり

●浩氣に満てる英國政界

▲首相と陸相命令の取消し　[illegible]英國皇帝陛下の爲に辯明し且つ政府の立場を明かにするため陸相の[illegible]アスキス首相は去る廿五日下院に於て[illegible]下院に臨みて直接に自己の失錯を公にすると共に一切の責を負ふて辭表を提出せり、然るに軍人派は[illegible]相シーリー氏と共にガフ中將に與へたる書簡に連名せる陸軍參謀總長ジョンフレンチ卿及ウアート中將は[illegible]辭表を提出し、當局者の立場は益々困難となれり

[illegible]今日迄の經過は大要上記の如くなるがアスキス内閣がウルスター州民の不平を利用せる反對黨に乘ぜられ軍人をして政治に干渉せしめたる事件を以て豫想外の大事件たらしめたるものにして内閣云々の如き報道は飽く迄重要視する程の事にはあらざるべし

▲陸軍大臣の失錯　軍人派の威嚇は[illegible]せらるべく[illegible]と威嚇するに至れり

▲軍人派の反抗運動　出動準備の内命傳はるや陸軍將校間に有力なる反對運動起り愛蘭土守備隊長ゼット中將を始め五十餘名の士官等は袂を連ねて辭表を差出し、若し政府がウルスター州民を壓迫するがために兵を動かすならば英國陸軍は二分[illegible]

●トレオン市戰況　憲政軍の首領ヴイラ將軍は過日來手兵五千を率ひ墨國北部のトレオン市を包圍攻撃し四日間の激戰の後一擧して全市を占領せんとする勢ひを示せしが政府軍の頑強なる抵抗に會せしのみならず首府より到着せる官軍援兵の側面攻撃を受けて手痛き打撃を蒙り一旦市を領したる對岸のコメズ、パラシヨ市を棄てゝ後方に退却せり

●ウエルタ政府借款　ウエルタ政府は今回一千六百六十萬弗の借款を爲したる旨在墨代理公使オーショネシー氏より國務省に確報あり、債主の何國人なるやに就ては發表せられず

●ルーズベルト氏安否　目下南米アマゾン河の沿岸に在り、曾て白晳人の足跡を印せし事なき蠻地を探險中なるルーズベルト一行は過日意外の事變に遇ひ所持品一切を失ひたりとの電報ありしより世人は同一行の安否につき憂慮中なりしが最近電報は其安全なる事を報せり

●先帝の御製十二萬首　明治天皇陛下御在世中朝な夕なの御感興を詠み出で遊ばされし御製の總數は約八萬餘首に上り居りしが[illegible]

[illegible]海軍[illegible]

黄白結婚は不可

羅府在住倉永照三郎氏の離婚訴訟の事情に關し左の如き報道ありたり
倉永夫人レオナは當年十歳の小兒を携へて北部加州に於ける親族の下に家出を爲し同時に離婚訴訟を提起したるが兩人の結婚は今より十二年前倉永氏が有力なる日本人事業家たりし當時の事にしてレオナ嬢と共にレノ市迄驅け落ちの上結婚式を擧げたるものなるか倉永氏は其後震災のため大災害を蒙り加ふるに家庭の情態か頗る不愉快なりしと見ゆ遂に今回の離婚沙汰を見るに至れるなり其事情につきレオナ夫人が羅府市内の親族コックス夫人方にて直接語れりと云ふ談話に依れば
黄白結婚は絶對に下可なり自分は日本人の妻たらんとして過去十二年間を通じ全く無益の辛抱をなせり日本人の妻は絶對從順にして寡默を守り單に子供の世話を爲す者にあらざれば下可なり是れ米國婦人の忍び得る處に非ざるなりと
倉永氏も亦今回の事件起りて後コックス夫人を訪問したるにより面會を求めたるも夫人は堅く面會を拒絶したるも強いて面會を求め漸くにして語れる所によれば一自分達の結婚は餘りに早過ぎたり數代後の子孫はいざ知らず現在の狀態にては日白人の結婚は不可能なり但し健全なる家庭に育てる日本婦人が米國人の妻たる場合は此限りに非ざるべしと云ふに在りし由

Statement of the ownership, management, circulation, etc., of the JAPANESE TIMES published weekly at New York, N. Y. required by the Act of August 24, 1912.
Editor, K. Kai　　　　[illegible] N. Y.
Managing Editor, K. Kai
Business Manager, M. Senbongi　　　　[illegible] Av. N. Y.
Publisher, Japanese Times Co.　　　　[illegible] Ave. N. Y.
Owners: Japanese Times Co.　　K. Kai,　[illegible]
Known bondholders, mortgagees and other security holders: None.
M. Senbongi, Business Manager.
Sworn to and subscribed before me this 24th day of Sept. 1913.
Louis Bennett
(Seal.)　　Notary public N. Y. Co. [illegible]
(My commission expires Mar. 30, 1914.)

●慶應野球隊の來米　大學招待により來廿七日横濱出帆渡米の途に上る同團一行は最初東部にまで遠征し諸大學と競技する計畫なりしか本校より六月十六日迄に歸校すべしと命ぜられたれば止むを得ず今回は西海岸諸大學のみに限らざるべからざるに至れりと云ふ

會を小川亭に於て開きたるが出席者は永島[illegible]治、[illegible]純三、安孫子久太郎、池田五六、佐藤叔、堂本秀之進、柴田德次郎、堂本兼太郎の諸氏にして發起者は種々協議の上遂に設立に決せり今資本金等に關し定義せる所を聞くに資本金十万弗（一株十弗）創立委員長牛島謹爾代理永島雄治創立事務顧問楠引弓人

ニアのオーフルノード ヌメア會社と同島ニツクル鑛採掘を目的とする移民八百名送致の契約をなせる由なるか來月上旬を以て出發の途に就かしむる豫定にて契約年限は滿四ヶ年にし最初一ヶ年は毎月百法（我四十圓弱）二年目は百五法三年目よりは七十法を給し就業時間十時間の外に勞働する場合は一時間に付十錢乃至六十錢を給すべしと

●故國名優渡米説　故國演藝界の大立物左團次、菊五郎を始め總勢廿五名渡米の計畫ある由にて楠引弓人氏は目下交渉中なりと

●支那豪傑會　曾て支那大陸に[illegible]四百餘州の山河を[illegible]したる[illegible]の機會に乘せんと試みたる豪傑連[illegible]名は[illegible]社員北田氏の來着を[illegible]明夜日本倶樂部に會合し[illegible]飲馬食を[illegible]にする由にして[illegible]人は楠內、來栖、[illegible]田等の[illegible]なり

●日本倶樂部の集會　四月五日諸天狗の競技あり

●[illegible]鐵長春驛長北田正平氏　獨逸留學中なりし同氏は目下ホテルモントセロに滯在中なり

●遞信省[illegible]信官吏養成所教授[illegible]藤正平氏は過日歐州より來着日本倶樂部に在り

商業欄

▲二時間にして[illegible]する夏場に[illegible]料理及洗濯所を開業する好適場あり未だ同業者なし姓名在社

▲家具一切講入したし　在社エノケ

●雜貨店を開業する有望夏場を[illegible]成下度御面會の上相當の御禮可仕候　在社中某

紐育新報社

●大倉組支店長高木氏　は夫人同伴四月十一日出發歸朝の筈

●[illegible]村組山本正子郎氏　は四月八日[illegible]日本より歸米の筈なり

●三井物産會社[illegible]長野保氏　は神戸支店より當地支店に轉ぜられ此程來着、同社員にて倫敦詰なりし河[illegible]氏は過日當地支店員として來着せり

●武田[illegible]三郎氏歸朝　永らく日本倶樂部に[illegible]勤め居たりし同氏は今月末出發歸朝する筈なり

●原田甲[illegible]の轉居　ナンバ[illegible]、アーテン、ストリート[illegible]轉せりサブのダイクマン、ステーションを降り左へ一丁日コーナーのアハートメントなり

●畑[illegible]太郎氏　[illegible]野自由亭夫人の實父なる[illegible]氏は妻女同伴[illegible]日[illegible]歸朝する筈なり

●シヤトルの日本食料品排斥　沙市の食料品小賣業者組合は會議に於て日本人のグロサリー事業界に侵入するは米國人小賣業者の前途にとり危險少からざる者と認むるを以て今後は日本人に對し一切取引を拒絶する旨決議したり

●桑博出品は大々的と豫想さる　反米[illegible]結果我國商工業者の桑博に對する態度甚だ冷淡に[illegible]其出品の如きも頗る危ぶまれ居たるが政府の[illegible]勵及中野武營氏等の運動によって商業界一變し出品は大々的に爲さるべしと

●大博協賛會の設立　明年一月開會の巴奈馬太平洋萬國博覽會出品に關し我政府の方針決定せざりしため延期となり居りたる桑港日本人協賛會は此程我國政府の賛同出品の公表されたると共に去十九日之れが發起人會

●巴峽祝賀參列艦の出發期　政府は[illegible]成の豫算成立せば同奈馬運河開通祝賀大觀艦式に參列すべき巡洋艦は加藤少將指揮の下に來る十月横濱出帆當地に來る豫定なり

●日米人會細則委員會　は去廿[illegible]日本倶樂部に於て開催し各委員の[illegible]に成りたる細則を討議決定したり

尙同會の第一回役員會は來廿[illegible]日同じく日本倶樂部に於て開會さる筈なるが會長高峯博士は當日役員諸氏に對し晩餐を饗すべしと

●共濟會の救濟　[illegible]會員にして修道會員なる[illegible]井俊三氏は[illegible]て不治の難病にて紐育州ル[illegible]スに[illegible]中なるが永らくの病氣に[illegible]貯金も遣ひ果たし治療にも困難するに至りしより共濟會は氏のために[illegible]二十弗を[illegible]したり

●南洋移民と給料　在東京日本[illegible]會社にては今回[illegible]

紐育の日本人（十[illegible]）

専門職業家　飛耳張目生

▲紐育在留同胞中家内勞働に從事するものに付ては大要述べた積りであるが尚書き落した点は後に補ふことにして今度は日本人の専門職業家に就て物語らう

▲日本人の専門職業に從事する者を職業別にすると醫師、美術家、洋服屋、骨董修繕、縫箔師、輕業師等で此中比較的に成功して居るのは美術家と輕業師とであらう、尤も縫箔師骨董修繕などで相當な財産を作つた者又は普通以上の生活を營んで居る者或は電氣、製圖等の職業に從事する者もあるが何分こは一二の人に止まるので特に述べる必要はない

▲却說右の中比較的に成功して居る美術家は一体何をして居るかといふに名こそ美術家で名刺の表てには麗々しくイラストレイターなどゝ吹いては居るが其實は美術家の未成品、眞の美術家の眼から見れば俗中の俗なるもので所謂「繪かきさん」の方である、仕事は流行品即ち婦人の帽子や衣類の繪を最いて書き賃を取るのであるが書き賃なるものが流石に専門の職業なる丈に高いのであるから金も溜る譯である

▲日本人で最初に此職業を見付けた者は二年前に歸朝した河邊、岡部の兩君であるが其後追々其數が殖へて來て目今の所約二十名の邦人が之に從事し比較的に成功して居る、繪工諸君の出身は孰もに東京京都の美術學校で本來から云へば眞の美術家となる爲に渡米した者には相違ないが四邊の狀態や自分の性格が眞の美術家たるに適せぬ所から手ツ取り早く[illegible]へる「[illegible]」の畫工となつた譯である

▲併し紐育の日本人畫工諸君は實に己を知るの明ある者で其惜り方の早い点に於ては僕も大に敬服する次第だ元來人間は已れの長所短所を知る事が極めて肝要であつて就中美術家の如き天才に待つものに在つては特に此心掛けが切要である、生半可のアーチストになり髪の毛を長くして貧乏生活に甘んずるよりも、一寸くり意氣な風彩で以て女に持てた方がイクラ賢こいか知れない

▲餘談は惰置いて日本人畫工の收入は幾何あるかと云ふに、給料で働くとすれば一級畫工で一週間五六十弗内外、二級の者で三十五弗乃至四十弗、三級畫工に至ると十弗以上二十弗内外である、尤も有名な銀細工店ゴーハムに圖案家として就職中なる永井君などは一週七十五弗か八十弗を得て居るが之はエキセプションと云ふべく又新流行の繪を書かぬ畫工である

▲ニューワツツションの畫工中普通畫工のフオルストクラスと云はれて最も收入の多いのは佐々木君、蘆原君等である、ピースオーク即ち賃仕事に從事する者は上中下を問はず一ヶ年約一千弗乃至三千弗の平均收入を得て居るから兎に角普通以上の生活が出來、本人の心得次第に依ては相當の貯蓄を爲すことも出來るのである

▲此外に下島君は新育博物館の生物寫生家として、高峰邸の建築圖案家たりし牧野君の女セイ村山君はロックフエラーインスチチユートの生理寫生家として何れも勤務中であるが之れ等は先づ美術家で給料は普通である

▲以上は日本人畫工の收入で同階級の米人書工と比肩して敢て遜色なき手腕あるものであるが試みに米人畫工の特別階級に屬する者と比較すれば非常の左異がある、米人のスペシヤルクラスは一ヶ年七千三百弗から一万五千弗の給料を得て居る者もある位で有名な畫家ハリソン、フイッシャー氏ライン、デッカー氏の如きも元は渺たる流行品の畫工であつた日本人書工諸君も現狀に甘んずる事なく大ひに奮發して天下第一等の畫家、畫工に成つて欲しい

●山内中將素性　問題の人山内中將が呉に赴任したのは未だ其若兵少監時代で現今に比すると實に微々たる者であつたが其在任中に造り上げた財産は世間には五十萬とか十万とか云つて居るけれ共室蘭製鋼所の株や英蘭銀行の預金や糸崎、三原地方で宮地や寺地（元工廠書記）の名義で一昨年迄呉に住居し御用商人として大に羽振を利かして居た近藤輔宗の名義で活用して居た資金其他を合すれば二百五十萬圓は動かぬと云はれて居る此財産は果して官吏として眞正に築ぎ上げた身上か如何かは第一中將の素性を洗つて見るが早道だ、一体山内の素性は彼れ自身以外に精確に知つて居る人が無いが傳へらるゝ所に依ると中將は曾て福山邊の神官[illegible]なつて居[illegible]鳳某の家で丁稚か下僕をして居た事は明かで在る然るに中將は幼時頗る怜悧であつて鳳氏は深く其才氣を愛し之を東京の近藤眞琴翁の塾（今の攻玉舍）に託して教育を受けさせる事にした、近藤塾に於ける山内は又頗る才氣を以て頭角を現はした其處で眞琴翁も遂に娘を嫁はす事にした此事は何人も知る處である之で以て何百万圓の資産を作ると云ふのは決して普通の事で無い事は當然だ

投書箱

日本人は何時までも皿ばかり洗つとるのは能でない、何でもイゝから一軒の店舖を持つ心掛を涵養して欲しい、日本人が外國で比較的成功して居るのは理髪師である、清潔好な手先の器用な日本散髪屋は當地などは好適地と思ふ、尤も創業當時は經營に困難するであらうが少し忍耐せば屹度繁昌する、實業組合は斯方面に活動してもらい度い（經世家）▲漢語の發音は中々困難で其道の大家にして尚ほ間違ひは免れない牧野外相は北京をホッキン現象をゲンゾーと云ひ久保田男は愼重をシンチウ橋本次官は之をチンチヨーと發音し奥元帥は拘はらずをカヽラはずといふ或將校は根據地をチショチと云ふそうだ當市歷々の中にも破綻をハジヨウ造詣をゾウシ唯一をタダイツ擴張をコウチヨウ夫れから振るチヨるのは某會社員（君櫻島の義ソン金を幾何出したか）と來たもんだ（抱腹生）▲オイ投書家諸君他人の欠点ばかり摘み出さずに當欄を借り吾々の發展向上すべき途を交換的に研究しては如何（眞面目）▲近頃歸朝せし一友人の近信に「一キャロット位のダイヤ指輪をはめ居れば千圓位撒きちらす者よりも遙にモテル様子以て日本人民一般が如何に浮華奢●の風に流れつゝあるかゞ窺はれ申候云々（通信生）▲日本人の集合する所で手遊びをやる場所が市中幾軒あるか正確に當た人には千弗を與ふ（[illegible]風生）▲レ[illegible]の或家を七年間夫婦に小供二人連れでチャーヂして居た水夫上りの某先生は自ら主人氣取り縱横無盡に匕を振り自分等の給仕迄主人のバトラーにさせ某料理店の給仕女でありし[illegible]がセクレタリーと好い氣になつて居る者も知らずにわしのおかみさんを主人同様にマダムと尊稱して呉れど勿体振つて居たが今回遂にデスチャージされ新育に歸るのは面目ないとの事にてニューヨークに足を留めピーナツスタンドを出すとて準備中との事（バトラー生）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
228 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. [illegible]478 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage [illegible]
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二二八
電話六四七三　チエルシイ

米國歸りと故國の新聞雜誌

明治の初年泰西文物の盛んに輸入せられ政治上に對する自由民權論の朝野を風靡せる時代に於ては新聞雜誌の如き刊行物は一種特別の權威を有する政治的公共機關たりき、故に新聞雜誌の經營者たり若くは主筆者たるものゝ胸中曾て營利的觀念の往來するものなく自家の勞働に對する報酬は單に社會の先覺者として世人の尊敬を受くるを以て滿足するに止まりしが爾來社會經濟上の變遷と共に新聞雜誌事業も自家の存立の必要に迫られ漸次特種の營利的色彩を帶ぶるべからざるに至り其經營者たるものは一般に向つて可成多く讀ましめ自已は可成多くの收入を得て以て同業者を凌駕するの必要を感ずるに至れり、斯の如きは其運命なるに社會進歩の自然的現象にして素より怪むを須ゐずと雖も而かも事業經營者が利に趨するの餘、往々にして自己の天職たる「社會の木鐸」又は「輿論の指導者」たる地位を忘れ濫に孟浪杜撰の記事を掲げて得々たるのみならず、數々狡猾極まる野師的奸商の爲めに濫用せられて不知不識の間世を誤り後進子弟を誤るの結果を生ず就中米國歸りの所謂「成功者」なる者に對し故國新聞雜誌の態度頗る輕忽に失するの傾あるは吾人の常に遺憾とする所たらずんばあらず、曾て東京の某實業雜誌は一匹夫より起りて紐育百万長者の支配人となると題し當地の某富豪に下僕として働き居たる誇大狂的一邦人の經歷をば麗々しく誇張して書き立てたりしが該記者は同じく同家に下僕として働き居たる某が歸國後該一邦人の貯蓄金を捲上げんがため特に該誌を利用したるものに外ならざりき、更に此頃日本唯一の書籍店より發行せる某女學雜誌は歐米の潮流を[illegible]せしめたる某嬢」と題し歐米には[illegible]劇に[illegible]て出演し得る位の某女を天晴れの天才なるかの如くに紹介せり此外名も知れぬ大學より通信教授の博士學士號を買取りて歸國し或は著名の大學に名前丈籍を置きて歸國したる卑怯者共を大袈裟に吹聽し「米國歸り」の無能無價値を曝露するのみならず、米國に於て眞面目に苦學したる篤學の士に迷惑を感ぜしめ延いては其母校の名譽を毀損するの惡結果を生ずる事あり。斯の如きは故國の新聞雜誌が米國歸りの駄法螺に吹き飛ばされたる多くの事例にして世を害するの程度甚だ大ならずとするも新聞雜誌の營利的弱點に乘じ之を通じて巧みに故國富豪家の懐中を絞らんとするの徒輩に關しては吾人は特に吾同業者の注意を促さんと欲するものあり

此程故國の朋友より、地方の都會に於て發行せらるゝ一部の雜誌を送り來れり、開いて之を見るに各種の記事雜録中最も人目を惹けるものは米國某會社に關係ある某の成功談にして記事の配合、插畫の順序、廣告の體裁等一見恰かも某のために發行せられたるものなるかの如く就中最も滑稽なるは某記者が某の人格の高きと其事業の盛大なるを謳せんとして殊更に某の羊頭狗肉的意見を掲げ米國高官及び在米有力家の書簡（英文に普通一片の者）をカットとし之に譯文を附加して挿入し、更に某の力を以て米國某州の州法を改正せしめたりとなせる事にして疑ひ深き者をして見せしむれば某は某雜誌の經營者に唆はすに利を以てし盛んに自己を廣告して巧みに詐欺的慾望を逹せんと試みたるには非ざるかとの感を抱かしむるに充分なり、吾人は素より某に對して何等の恩怨ある者に非ず又敢て某の氏名を公表するを好む者に非ずと雖も抑も某なる者は三寸の舌頭を以て故國富豪に米國投資の有利なる事を慫慂し、自己の怪しげなる信用を誇張して其間に暴利を貪らんとする者に外ならざる事は彼が從來に於ける行動に徴して之を知るを得べけん、斯る怪しげなる「米國歸り」を以し崇高の人格を有する在米成功者乃至百萬長者なるかの如くに吹聽し臆面もなく米國某州の州法を獨力もて改正せしめたる偉人など紹介するに至つては例令米國の事情に暗き者の言として之を聞くも其世を誤まるの罪斷じて宥すべからざる所たり、吾人は故國の新聞雜誌記者諸君が所謂「米國歸り」の人物を紹介するに漫に彼等の甘言に[illegible]せられて其天職を辱かしむるなからん事を希望に堪へざるものなり

後繼内閣の組織者 清浦長顔子

未來の大[illegible]

▲ヤー隊長、其後未だ[illegible]は來/\かい、愈々清浦がやるさうだね、イヤ待てば甘露の日和で、世の中はミッチリと時節を待つて居ると何時かは運が向つて來るもんぢや、だから乃公の如き未來の大[illegible]には斯う云ふ[illegible]で新育の有象無象と馬鹿話を續けて居る譯じや

▲元來清浦といふ男は馬鹿に頭の好い男で其系統からいふと別に語るべき價値もないが經歷は正に立志傳中の人である彼は肥後熊本の田舍寺の小僧から、小學教師、巡査、最後に司法省の腰辨にな[illegible]う/\[illegible]りに出世して司法次官、司法、農商務大臣となつたのだ、門前の小僧習はぬ經を讀んだためしはあるが田舍小學校の教師から昔の關白樣、今の内閣總理大臣といふ天下第一の人間に出世した者は清浦を除くの外例の少い話しである

▲彼は大學どころか小學校にさへ這入つたこともない男だが夫れで以て法律に精しく佛蘭西語に巧みなのだから驚くの多はないじやないか、彼が曾て著はした法制史は今でこそ世間に知られて居ないが其當時は稀有の名著として法曹界の渇仰に投じ貧乏な彼は夫がために相當な財産を作つたもんだ

▲彼が法律上の知識と外國語の素養を作つた時代は司法省に於ける腰辨時代で當時司法省の顧問であつたボアソナード博士に就て勉強した事が彼が今日の地位を作る基を成したのである、學校萬能の舊夢に襲はれて博士號やマスターオブアーツのデプロマを欲しがるやうな連中はチト清浦を眞似たらよからう

▲清浦は頭腦が明晰で、體格が立派である上に音聲が太いから司法省官時代に政府委員として議員の質問に答へた時の態度などは中々立派なもので當時の代議士中彼の明快なる答辯を野次り返す丈の雄辯家は僅かに星亨井の角位なものであつた

▲清浦の政治上に於ける系統を尋ねると伊藤全盛時代には個人的關係から伊藤の子分として働き伊藤沒後山縣全盛時代となるに及んで漸次山縣を載くやうになり、前年山縣の失脚桂全盛の時代となるや忽焉として身を政界の局外に逸するに至つた、彼が尋常一流の凡クラでないことは桂を宮中に押込めた者は山縣に非ずして實は清浦であるとの評判を受けたので大概知れるであらう

▲貴族院に於て彼は研究會に屬して居る、貴族院の反抗に依て倒れた山本内閣の後繼者として德川公が彼を推薦した理由は蓋し此處に鑑みる所があつたには相違ない、併し衆議院を如何に丸めて行くかは甚だ疑問だ超然内閣は今の時代では文久錢にも値ひせぬから結局の所立憲同志會又は政友會を[illegible]として氣兼を取つたり取られたりするのだらう

▲彼は官吏として國務に鞅掌する傍ら各方面の公共團体にも關係する男で東亞同文會などに對しては最も古き會員として熱心に盡力したもんだ

▲清浦に財産があるかツテ、馬鹿をいふな何が金がありさうで、彼は東京に居ると一ケ月の生活費少くとも千五百圓を要するから兎ても行り切れないといつて今は茅ケ崎の別莊に引込むで居る、別莊といつてもホンの名計り、お爺さん羊羹色の羽織を着てテク/\歩いて御座る所は實に可憐なもんさ、かも此清貧に甘んずる所が即ち清浦の[illegible]であつて時[illegible]柄世間の氣受けも滿更でないのだと思ふ、ナンダ最う歸るのかね、アッ一寸斷つて置くが清浦に長顔の雅號を與へたのは我輩の馬面子に對して乃公が勝手に命名したので彼の雅號と思つたら間違ひだぜ

●英獨近説

久しく睨み合ひ、三年前の如きは今にも國交破裂せんかに思はれし英獨關係も、窮して而して通ずとも云ふべきか、爾來漸次緩和の度を加へつゝあるもの如し、元より三國同盟と三國協約の存在は依然たるも、近東極東若くは對米問題等の變遷に基因し早從前の如くシリヤスなる對抗を許さゞるに似たり、尤も其緩和策は一に英國側より提唱せられ、一昨年ウヰンストン、チャーチルの獨逸行は其第一着步として知られしが、後に昨年末果然當地新聞は英獨の對米提携を傳ふるに至れり、然れども[illegible]の間柄なる英獨間の事にもあれ、[illegible]に英獨が桑港大博覽會に不參加の[illegible]を以て斯る論をなすは[illegible]射にして、米人自ら疑心に暗鬼を生ぜるものと思はれしが、[illegible]の喜びは倫敦より傳へられ、[illegible]には葡萄牙阿弗利加を分割買收する[illegible]紛成れて英獨協約は[illegible]行るゝ點に於て甚深の意義ありと附言せり、即ち對米・對南阿に[illegible]る丈け人を信せしむるに力あり、或は然らんかと思はしめしが、其後杳として何等消息なし、以て今日に及べり、然るに最近伯林に於て發行さるゝ週刊にして伯林政府に關係淺からざるクロイツアイシングは、英獨の南阿協約を批評し、尚一歩を進めて次の如く論せり

一南阿に於ける如く全世界に於ても亦英獨協約の十分可能なるを認む、細故は兎まれ一般に互りて相互の利益あるべければなり、之に反對する根據は只主義上の馬鹿氣たる相違見解に過ぎず、若し此馬鹿氣たる相違見解にして判然了解せしには、調和は刃を向へずして自ら[illegible]けん也、故に兩國に之を激勵するの人物を得んか兩國の感情を平和一致に向はしむるは決して不可能にはあらず、而して兩國互に此方針を以て進まんか、戰備の競爭は元より延いて獨佛の葛藤、露國の東進とを避け得べしと信ず、然れども只其の之を實現するの人物奈何か問題なり、此大問題を[illegible]

[illegible]

●巴奈馬[illegible]

[illegible]

●英首相の陸相[illegible]

[illegible]

●[illegible]翁の寄附金一千万弗

[illegible]ロックフェラー[illegible]研究資金[illegible]

東京電報

●皇太后陛下御重體

[illegible]皇太后陛下御容體は過日來電報により今本國政府より[illegible]に達せる公電左の如し

廿六日來電

皇太后陛下廿六日心臟狭窄症狀を發せられ御容體[illegible]快、廿七日御經過[illegible]御中等度[illegible]、凡そ五十[illegible]、御体温卅六度乃至卅六度四分、廿八日午前九時御体温卅七度御脈拍六十[illegible]廿六[illegible]にて御容體は[illegible]に御[illegible]せらる

廿九日來電

廿九日午前九時發表　皇太后陛下御容體は[illegible]御体温最高卅七度七分御經過[illegible]し今朝九時御体温卅七度御脈四十六御呼吸稍不整御食慾昨日に比し少しく出ざせらる其他大体の御容態は昨日と大差なし、午後五時御体温卅七度御脈は整調にして御呼吸尚不整、本日少しく御[illegible]を[illegible]へさせらる御食欲は今朝御[illegible]にあらせらる

追加廿日來電

廿九日夜御體溫最高卅七度[illegible]、御[illegible]る、卅日午前八時半拜診御體溫卅七度二分御脈七十二御呼吸約二十[illegible]少しく不整御[illegible]は御[illegible]させ[illegible]卅日の總御食量[illegible]乳五五〇グラム[illegible]湯[illegible]六〇グラム御菜[illegible]少々つゝ其外食料約三〇〇グラム御食慾は昨日に比し少しく御[illegible]方　以上

●清浦子内閣組織の大命を拜す

（卅一日東京發）

後繼内閣組織の大命は最初貴族院議長徳川家達公に下りたるが公は御辭退申上げたる後子爵清浦圭吾氏を推薦したるを以て改めて清浦子の參内となり子は新内閣組織の大命を拜受したり

●米國醫師狂人の爲に銃殺さる　ブルックリンの醫師モット、ストライカー氏は朝鮮平壤附近なるホルコム[illegible]殺されたる旨同夫人より自宅へ電報ありたり

●九州東北の兩火山又々噴火

九州の南方七島列島中の諏訪之瀬島廿二日猛烈なる噴火を爲し火焔は山上約三百呎の高さに噴出したるが島内には二百八十名の島民住居し居るにより鹿島より[illegible]救助船を派遣し[illegible]罹害民の救濟に着手せりと云ふ　[illegible]秋田山形兩縣境の鳥海山も亦突然噴火し時に久しく休死の狀態に在りし[illegible]にて[illegible]田港初め附近一帶の住民は目下戰々兢々の狀態に在り[illegible]諏訪之瀬島は鹿島を距る約五十哩の南方海上に在る[illegible]石島中の島中間に在り周圍約四里の小島にして鹿島より定期航路の往復あり鳥海山は秋田縣の西南境に在り高さ四百廿四尺山上に大物忌の祠あり山下には[illegible]川内直根日向[illegible]寺等の諸村落あり久しく死火山の狀態に在りしにより突然の噴火にて住民の驚愕せるも道理なり

●内閣彈劾提灯行列　新聞雜誌記者聯合會及び在野黨三派は山本內閣の顚覆を祝し[illegible]廿八日聯合發起の下に盛大なる提灯行列を催したり

●日本の秘密造艦　日本政府にては目下弩級型戰大艦四隻と潜航艇三隻を建造中なるが以上の公表計畫以外目下大戰闘艦二隻の秘密建造に着手しつゝあり而して該戰艦の竣成ば永久秘密に附し絶對に公表せざるの方針なりと傳ふ

●濠船會社苦む　豫算案不成立の結果航海補助費も自然沙汰止みとなれる爲め諸濠船會社早くも難澁の氣色を示せり

●慶應野球團出發　同團は三月廿日出帆のロシアにて渡米の途に就く

日本最近信

●海軍事件と三井物産の恐慌　變にシーメンス會社に關する海軍收賄事件曝露して以來其撿擧範圍益々擴大すべき模樣ありしが俄然同會社よりも更に海軍に密接なる關係を有する日本代理店三井物産株式會社に波及し同會社の重役の岩原謙造氏の拘引を見るに至りしよ[illegible]

●東京市奉祝計畫　御大禮終結後東京市主催の奉祝會に[illegible]し兩陛下の御臨幸あるべき旨宮内省より[illegible]に御内定の旨傳達ありたるにより市當局は博覽會建築を利用し奉祝會を開かんため今より[illegible]設備中なり

●對支權利獲得交涉　北京發ルーター社着電に日く日本政府は福建、江西、湖南各省を[illegible]する鐵道敷設權を獲得すべく目下支那政府に[illegible]硬の態度を以て交涉を試みつゝあり又日本政府は中國興業會社創立に關する正式認可の要求を爲したるが多分東京に於て發記せらるべしと因に中國興業會社は孫逸仙の主唱に依り創立されしものにて支那全土に於ける鐵道、鑛山、工業等の諸權利獲得を目的とし特別の便宜を有するものなり

●獨支協會成立　伯林發電に曰く豫て支那に於ける獨逸の經濟的利權增進の目的を以て伯林に於て計畫中なりし獨支協會は今回獨逸工業界、[illegible]界及び專門學術界等各方面に於ける多數有力者の協贊の下に正式に成立を告げたり同協會は先づ重なる事業として[illegible]支那に若干の獨支語學校及び[illegible]醫院を創立經營し支那小學校に獨逸の教師を供給し且つ獨逸に於ける支那留學生に便宜を與へ以て兩國親交の實を擧げんとするものなり

●露紙の日本時評　露國新聞ルースコエ、スローウォエ紙は危險なる日本國民性の題下に左の如き論評を爲せり

戰後日本政府は虎視眈々殖民地經營策にのみ腐心し一方國内民心の歸趨に顧みを致さず[illegible]の[illegible]を以て能事了れりとなせし結果今や其國民思想に一大變化を與へ危險的色彩を帶ぶるに至れり此危險なる國民性の發露は遠く其端を日露戰爭媾和條約締結の際に發し當時不平不滿なりし日本國民の聲が化して帝都に一大修羅場を現出せし事は吾人の尚記憶に新なる所なり爾來年々歲々極めて微細なる動機よりして群集の興奮を來たし遂に此新傾向は國民性と變化するに至れり此危險なる國民性は現時世界の耳目を聳動せしめつゝある日本海軍收賄事件暴露と共に又一段

●露國民性を[illegible]へる國民性の[illegible]日本國[illegible]ため[illegible]す[illegible]を知らず海に[illegible]を[illegible]ぐる[illegible]努めつゝあるしこの[illegible]にも[illegible]諸[illegible]の整理に[illegible]事件は愈擴大する模樣なり

●松田男[illegible]の松田氏談　政友會領袖松田男が宿痾のため遂に白玉樓中の人となりしは誠に痛惜の至りなり男は[illegible]溫厚着實能く人と語りつゝ城府を設けず一度[illegible]に接する時は知らず識らず敬畏の念を起さしめたり多年政界を馳驅して辛酸を嘗めたる事も決して少からず如何なる難關に遭遇するも決して[illegible]狽する事なく愼重熟慮徐に之を[illegible]行するの風ありて言すれば機略縱横の才腕を以て衆を服せしむるの長所はなかりしも篤厚なる德望を以て衆を率ゐる[illegible]なり加之頗る[illegible]の性に富み又情に厚く政友會をして今日あらしめたるは實に男の力多きにありと云ふも[illegible]にあらず殊に男が自ら勞して其功を[illegible]に讓る

●[illegible]國民性を[illegible]るは[illegible]ざる所なるが其吾人の代の國民思想に一段の進步を加へたる[illegible]はを[illegible]る所なるが[illegible]吾人の業と[illegible]すべき所は此國民性の我[illegible]に記さんとする所は此國民性の[illegible]長徹せる明治天皇崩御より[illegible]々[illegible]險的色彩を帶び來れるの觀あるも本國民性の[illegible]なり或は此國民精神發達の結果は日本帝國政體に一變化を與ふべきやも知るべからざるなりと云々

●[illegible]　自分は日本赴任を大[illegible]ニ[illegible]外國に赴任する樣な心持はなく恰も自國に歸るやうな懷かしみを覺へる私は十五年前に早稻田專門學校を卒業しました後一旦は土木事業及警察制度視察のために一回は米國へ行く途中で一寸東京に立寄りましたが日本には多くの友人あり現に北京に在る日本人の[illegible]分の[illegible]は十年來の朋友である自分は極力兩國の經濟的和親のために出來得る限りの力を注ぐ[illegible]りです、日支兩國の新聞を見るに時々兩國の誤解が存して居る樣に見へるのも兩國の國交に於て實際の誤解はないが種々の誤解は大抵一二の人の觀察違ひ或は個人ごしての利害から見た觀察が廻り廻つて[illegible]繞な[illegible]情の行違ひを生じたものと思ひます假令ば這般の北京の議員の騷ぎの時でも或る支那の議員か個人の立場から袁總統の措置に對する不平を日本人に訴へると此れに同情した日本人はそれは怪しからぬと直ちに本國に打電するこれが新聞に發表される更に進んで袁氏に對する攻擊文が現はれる、之を見た支那人は日本の支那の[illegible]日をいつて居ると誤解する夫れが[illegible]まつお仕舞には國交を害する事かないとも限らない、若し現在の誤解があれば右の如き根據の無い事に相違ないと思はれる、右の樣な[illegible]か若しありとすれば互に兩國民双方の不利益である、殊に支那は困る[illegible]し日本人の對支那觀察が或場合に於ては外國人卽ち第三者として立場より更に進んで支那國内の事件に熱中し過ぎて個人若くは一部に同情して結果遂に大局を見る事の出來ない場合がないとも限らぬ、支那は或意味に於て危急存亡の秋である、非共和的とか何とか批評があるかも知れぬが實際に於ては此場合其の方法が最良方法であるとがある、前の國民黨議員問題でも袁大總統の處置は暴君的であると云はれたが實際はさうでない、云々

●智利漁業會社創立　東洋捕鯨の[illegible]十郎氏は[illegible]澤近[illegible]兩男[illegible]野總一郎中野武營氏等の賛成を得資本金百万圓を以て智利漁業會社を創立するに決し東京に其創立事務所を設けたる[illegible]社の目的とする所は南米智利に於て水產物の採取並に製造販賣を爲すを以て目的とし本社を東京に[illegible]社を智利國サンチアゴに置き智利國に於て同樣の營業を爲す他の會社にも投資するものなるが株式は大部分發起人にて引受け近く創立總會を開く筈なるが事業は主として鮮魚を漁獲して[illegible]國市場に販賣し併せて鯨族を以し魚油魚肥を製し烏賊を以て鰑を製造し又海草の蒐集供給に力むる計畫なりと

●[illegible]意見

●日支誤解の原因と新任支那公使の[illegible]如しと

右は今回我國に新任し來れる支那公使

●三菱支店の家宅搜索　長崎地方裁判所の判撿事は警官を伴ひ去月二日三菱合資會社長崎支店に至り嚴重に見張をつけ他人の出入を禁じて家宅搜索を行ひたるが事件は海軍收賄問題に關し中央よりの囑托によるもの

●鈴木造兵中監免官　海軍收賄問題に關し去月三日免官されたり

●日本郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時

船名	經由地	發送日
安藝丸	沙港	四月二日
タコマ	タコマ	四月三日
ルシヤ	晩香坡	四月[illegible]日
熱海丸	桑港	四月六日

●日本より到着日

四月二日	同	四日
同 八日	同	十四日
同 十五日		

Statement of the ownership, management, circulation, etc. of the JAPANESE TIMES published weekly at New York, N. Y. required by the Act of August 24, 1912.
Editor K. Kai 248 4th Ave. N. Y.
Managing Editor K. Kai
Business Manager M. [illegible] 248 4th Ave. N. Y.
Publisher Japanese Times Co. 248 4th Ave. N. Y.
Owner Japanese Times Co. K. Kai [illegible]
Known bondholders, mortgagees and other security holders: None
M. [illegible] Business Manager.
Sworn to and subscribed before me this 28th day of Mar. 1924
[illegible]
Notary public N. Y. Co. [illegible]
(My commission expires Mar. 30, 1925)

服部綾雄氏逝く

前代議士服部綾雄氏は今朝滯在中のホテル寓室内にて死去したり原因は急性脳溢血なりと（二日桑港發電）

服部氏は靜岡縣沼津の人某米國神學校出身にし歸朝後長老教會の牧師たる事數年、明治廿年より同卅五年迄岡山縣立中學校長たり、退職後シャトル古谷商店總支配人となり同地に留まる事約五年間同四十一年岡山市より衆議院議員に選出され爾來國民黨の有力家として國事に奔走する所ありしが昨年亞州排日問題の起るに際し同黨の代表者として政友會の江原素六氏と共に渡米し後米國各地加奈陀墨國等の視察を了へて歸朝の途桑港に滯在中死去したるものなり享年五十五、痛惜に堪へず

●在外邦人數　日本政府最近の調査によれば大正十一年六月末在海外各國在留本邦人總數は卅二萬二千二十六人にして前年同期に比し二万八千六百卅九人前々年十二月末に比し約五萬人増加にて之を各國別にすれば北米合衆國（布哇を含む）に在る者最も多く其數十六万五千百八十六人に達し支那の十一萬九千三百七十六人之に次ぎ南洋方面は一萬九千三百七十六人中南米一萬六千八加奈陀一万二千二百五十一人露領亞細亞四千六百九十八人歐州千二百二人なりと

●常陸山一行は加州方面に巡業太刀山等六十名の力士團は來る六月布哇に巡業する事は既報の通りなるが今回常陸山を頭とする一團六十名は來六月迄に加州方面に巡業すべく決定せりと

●日本人會參事會　は去卅一日日本倶樂部に於て開催し會則中米國の法律に照らし修正すべき箇條及起草委員の手に成りたる細則、創立趣意書共濟會より提供されたる合併條件等を承認し尚本月開催すべき大會の時の各部員の任命に關しては議長高峯博士に一任せり尚議長の指名せる委員諸氏は左の如し

大會準備委員　菊地東陽、鴨井久増澤文兒、甲斐健一

重役改選指名委員　瀬古孝之助、天野重次　原田爲三、中原斗一

寄附金募集委員　新井領一郎　一宮鈴太郎　瀬古孝之助　高見豐彦　地土延之助　菊地東陽

●共濟會春季大會　既報の如く來五日武市ハイ街一八〇高見會長邸にて開催し日共合併の件に付協議する筈なれば會員諸氏は奮て參會あるべし

●ニューヨーク大學々生討論會　去廿八日青年會に於て開催「日本人排斥の可否」なる題下に賛否兩者の激烈なる論戰ありたる後審判官諸氏の批評あり各自不倍の蘊蓄を吐露して散會したる由なり、俄記者氏の投書「討論會詳報」は次號に讓る

●日本協會の晩餐會　去廿一日佐藤博士を主賓とせる一般會員晩餐會はホテルアスターに於て開催されたり會者はエリオット博士にて席上佐藤博士ハリス博士の演説あり、前米國搭撃総長ウイツカーシャム氏は人種的憎惡の念は其根底頗る深く米國人の偏見一掃せらるゝの日は前途頗る遼遠なりと説き、家永博士は日米兩國の歴史的關係を述べたる後日本の奸策及黃色紙の無責任なる毒筆は疑もなく日米國交を毒するものなりとて得意の熱辯を揮へり

●皇太后陛下御容態　一日午前九時拜診

昨夜來御体温三十六度八分乃至三十七度二分御脈六十八乃至七十御呼吸二十一乃至二十六御呼吸は稍不整昨夜來御興奮の氣味ありて御睡眠少なく御食氣は少し、振はせられず

●愛兒を取返さんとす　橋本定五郎なる人は去四年前ペンシルバニア州の某家に妻女と共に就働中二人の中に小供出生したる當時同夫妻は都合上主人の望みに任せて右小供をば主家の養嗣子に遣はしたり、然るに其後小供は無事に成長して今年丁度兩歳のいたいけ盛り、養家の兩親もこの世なきものゝ愛でいつくしむ由を風の便りに聞きたる橋本夫妻は俄かに吾兒が欲しくなり退しで呉れと無理な請求に及びたるにぞ養母なる人は大ひに打驚き此程當地領事館に愛兒同件出頭の上何とかして此兒をキープ出來るやう取計ひ下され度しと申出でたる由なり

●日本人の子供が欲しい　費府ヨーク銀行の會計役なるクラフト氏夫妻は相當の資産を有する人の由なるが今回日本の子供に一九歳より九歳迄のものを養子に貰ひ受けたしと之も當地の領事館に依頼し越せりと

●關取熊ヶ嶽とテーブル掛贈與　櫛引組の角力一行に加はり目下當地滯在中なる常陸山門下の關力士は芸入道の指南を受けて桃中軒呑右エ門ことて號し巧みに浪花節を語る由なるが今回當地の岩田、網本、古川其他の有志より立派なるテーブル掛を送れり

●紐育商會市俄古支店のアドレス　市俄古ノース、デヤボーン街一一八にて主任は早川[illegible]氏なり

●市立夜學校の無料敎授開始　當市東卅八丁目三二三番なる市立夜學校に於ては毎週月曜日より木曜日に至る四日間毎夜製圖、設計、大工、サイン、電氣、リソロクラフ、ピヤノ彈プラマー等の科目を無料にて敎授する由なり時間は午後七時四十五分より九時四十五分迄毎夜二時間

●飯島[illegible]會の不快　過日[illegible]中の自動車に觸れて輕傷を受けたる[illegible]子孃は此程全快せり

●[illegible]工科學校敎授[illegible]重[illegible]氏　は過日來着、工業視察として一ヶ年程滯在の豫定なり

●[illegible]社員阿[illegible]氏　過日來當[illegible]分滯在たる[illegible]

●近藤[illegible]氏　トートジョナル銀行の企畫を以て近々當市に事務所を開設する由なるが目下ホテルペンシルバニヤに滯在中なり

●[illegible]府大使館外交官[illegible]手氏　當地總領事館に來任すべき加藤氏と同船にて來米する由

●[illegible]領事[illegible]任　今回上海[illegible]領事館へ轉任を命ぜられたり

●新任副領事加藤氏　[illegible]藤氏に代り來任の筈なる同氏は本月十五日[illegible]濱を出發すべし

●新任書記生渡邊淺次郎氏　故宮村氏の後任として近々來着の筈なり



紐育の日本人（十二）

飛耳張目生

輕業師

▲單に紐育といはず米國中で最も古き歴史を有し又最も成功したのは輕業師である之等の日本人輕業師は重もに紐育を本陣として米國各地方は元より加奈陀、歐州に出稼ぎするのみでなく紐育は全國に於ける演劇、曲藝、活動寫眞等の本場であるから輕業師の生活狀態一般を「紐育の日本人」の一部として話すのも強ち無駄の事ではあるまいと思ふ

▲抑も米國に輕業の紹介された始めは何でも明治二三年の頃で長崎の人[illegible]なる人に依て紹介された[illegible]の話である、此人は幕末の[illegible]國人に誘はれ[illegible]倫敦に行き[illegible]約七年前に死亡した、明治[illegible]大使一行が[illegible]の輕業師となつたので[illegible]か今より[illegible]

[illegible]か僅かに三四名位なかつた[illegible]實に今[illegible]

▲待遇は[illegible]外[illegible]た、輕業師の大部分[illegible]代[illegible]のま人後藤松氏[illegible]

[illegible]日本人[illegible]つて來た[illegible]

▲然るに今日では[illegible]になつたと云ふ譯で[illegible]週間一人平均七十五弗である、七十五弗と云へば日本金の百五十圓で淺草や千日前の「アイ〳〵左樣でこ座い」共の夢にも見る事の出來ない高給である

▲今より十四五年前迄は日本輕業師の數も至つて少なく隨つて各地の劇場にボーイスを供給する所のボス即ち親方は少くとも五六人一組のツループ三四を有し多きは十組以上を持つて居たから其收入も隨つて莫大なものであつた所が其後當時のボーイスは段々成長して一人前の男一疋になり、多年の經驗から自分は親方の食い物に過ぎなかつた事を覺るに至つて自然一本立ちになり度いとの觀念を生じ、追々と親方に對して叛旗を飜すやうになつた結果今日では五六人一組宛のツループ二三を有する小ボスが到る所に散在し斯界の覇王として大金を儲けるボスは無くなつた

▲併し小ボスと雖も其收入は家内勞働者や雜貨小賣店などの及ぶ所でない、目下輕業師の給料は其技藝の巧拙如何に依つて上下あるは無論であるが平均一週間一人の給料七十五弗[illegible]から五六人一組のツループ二[illegible]たる者が數多のボーイスか[illegible]はねる所の頭なるものは中々大し[illegible]になる、斯外ボスの下に働か[illegible]各地の劇場を[illegible]る旅役者的の日本人もある此[illegible]の給料は最低一週間四五十弗最高百六七十弗位の者があるべ[illegible]シップで有名な梶山某の如き[illegible]役者中の高給を得る一人である

▲ボーイスの頭をはねて金儲けをする親方共は飯の種たるボーイスを日本から呼寄せ又は呼寄せた者を待遇するに如何なる方法を採るかといふに[illegible]非常な相違があつて今[illegible]面倒である

●犯罪の裏には女

身は堂々たる帝國海軍の軍人たるに[illegible]淺ましき罪の人となりし大佐澤崎寛猛は肺炎のため横須賀大津の病院に[illegible]され今や病魔と良心とに責めらる[illegible]の境涯、自ら招ける業作ら之に[illegible]夫人繁子といへる女性の魔力の[illegible]めるなり

▲一[illegible]の評判娘　大佐は元來軍人に[illegible]似合はぬ蒲柳の質夫れが肺患に捉はれてより一層憂愁に沈み剛健の氣は全く失せたり之に反して夫人繁子は金澤の小學校時代より評判の活潑屋寧ろ跳ね返りのお俠として美人とにはあらねど人目を惹けば早くも近所の評判娘となり大佐に取りても戀女房として迎へられしが繁子は大佐の氣質を見拔き忽ち家庭は女天下となり繁子が思ひの儘に振舞ふを見て有繁に大佐も面白からず飲みつけぬ酒に醉を借つて人知れぬ不愉快を忍ぶに至りぬ

▲吉田の奸手段　斯る折柄隣住し居たりし例の吉田收吉が大佐に取入る手段として先づ金澤にての知己を緣故に繁子を訪ねて入り込み來りしは抑も大佐が一生の不運吉田は若もなく繁子を掌中に圓め巧に利用し大枚三千圓の小切手を何時の間にか繁子の帶の間に忍ばせたりこゝに於て繁子は持病の虛榮心むら〳〵と起り不相應の綺羅を飾り三越白木屋又は芝居遊山に出かくるに至りたれば吉田は竊かに微笑み我事なれりと肯も繁子を深淵に穽め又もや五千圓の小切手を忌はしぎ仲介の料となしぬ

▲不覺の自暴酒　繁子が怪しき擧動の重なるにつれ大佐も薄々心付き[illegible]しく繁子を責めたるに反對に若し[illegible]の事が表向きになれば貴郎とても恥の上塗り彼の金は私一人使つた譯で[illegible]はありませぬと逆に出られ大佐も今更ら手が着げられず夫れ以來打つて變つて自暴氣味に酒量も進めば秀才といはれた才能も疲れに惱み衰へ[illegible]行き省内の同僚にも怪まる一[illegible]繁子は更に[illegible]させず[illegible]却つて[illegible]田を近づける[illegible]會の多きに至り最後に吉田が大佐の留守へ突きつけた七千圓の小切手は毒喰はば皿迄と鈍くもポケットに納めて都合一万五千圓の金子と名譽とを交換したり大佐が一生の破滅の種子は斯くして妻の手に蒔かれたり

投書籠

▲抱腹君は漢音の間違を披露されたが甚だ有益なる投書と思ふ、最高の教育を受けた人にし[illegible]間違のあるのは不知不識の間に習慣性となつてゐるので他人に注意された位で容易に正誤されるものでないしかし新聞紙上で一度やられると再び公衆の前で赤恥をかくやうな事はないのである囑托、殺生、出納などを間違つてる人が多い、甚しいのは僕のスイートハートは目下杏ギンとして消息分らずなんて云つてる人がある（お仲間）

▲［二世ミミ］にシコタマ溜め込んだ某婦人氣焔を吐いて曰く、、、、、ね、チョイト殿方は倶樂部などがあるのでヨイカが出來[illegible]イるのね、しかし婦人は留守居と定まつとるから詰らないわ、妾し何時もさう思ふのよ、男女はロー權だもの婦人だつて倶樂部位あつたら可さそうなもんだナニ費用だつて乍憚妾半分位いひ出すわ（輪盡）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
[illegible] Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）□一部金五仙□六ヶ月分一弗□一ヶ年分金二弗
大正[illegible]年六月廿四日郵政認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二二八
電話六四七三　チエルシイ

悼み奉る

申すも畏けれど、此の二た年三とせいかなれば斯くは天の我が國に禍する事の多かるぞ、大[illegible]山[illegible]れ雲やうそう打ち霽れ[illegible]らあらなくに、今はしも我の皇太后陛下[illegible]かくれましぬとは、承るだにゆき來る[illegible]止めあへず。

皇太后陛下の御病の重しとは聞きけるも、神ながらます我が皇太后陛下天つちの神守るべく、くに民の祈りごとさて、こん秋の御大禮には、麗はしの[illegible]の御姿拜せんものと喜びけるかひもなや、日は照りながら大內山は又もや打ち[illegible]れぬ、あゝ、悲しとも悲し。

皇太后陛下の大仁大慈にましましは申すも賢し、民草をあはれみ玉ふ御仁德は、赤十字の中に深か[illegible]御心を寄せ玉ひしに[illegible]拜しまつるべく、[illegible]戰役に[illegible]畏くも[illegible]手づから[illegible]うたいをみ[illegible]なはせしさへ[illegible]洩れ承はる、去ぬ[illegible]年、万國赤十字[illegible]會ひに、赤十字は[illegible]戰の爲めならず、平和の折にも盡くすべしとて、御内帑より十万金を賜はりし大御心の有りがたさ、[illegible]長へに御仁德を仰ぎまつる所、又[illegible]には御國の[illegible]業[illegible]御思召しに、[illegible]くも御手づから大[illegible]を[illegible]せられし事もおはしき、民草をいそしみ玉ふ大御心、げに拜し奉るだに涙こぼるゝ。

まし[illegible]御[illegible]守らるゝ御坤德の彌や高くたはし事は、申すも更らなり、日に夜をつぎ[illegible]先帝陛下の御病[illegible]を看[illegible]しなど、坤教のすたれ行く世に、まことに國の母てふ御教を垂れさせ玉へり、時にふれ[illegible]示し玉ひし御歌の數々は、一としてこ民草をいそしみ國げまし[illegible]有りがたき大御心を寄せさせ玉はざるはあらず、皇太后陛下かつて御歌に寄せてのたまはく

淺しとてせけばあふるゝ川水の
こゝろや民の心なるらむ

民草を御思召さるゝ大御心ほど、いかに畏くも亦ありかたからずや。

[illegible]乾あり坤あり、陰陽は相助くとかや、[illegible]陽に明治大帝陛下の御大業は、陰には皇太后陛下の御大業とや申さまし、しかも斯の皇太后陛下、今はしも神かくれましぬと承る、あはれ、御麗しの玉の御姿、もはや拜すべくもあらずなりぬとは、あゝ。實に思ふも言ふも悲しき事の限かな、在外の一布衣、かしこみ謹み恭しく遙かに悼み奉る。

時論一束

▲故國政界の新陳代謝

清浦子後繼內閣組織の大命を拜すとの電報到るや、吾人は故國政界の現狀に鑑み子が此大命を拜受せしとの餘りに速かなるに驚かざる能はざりき、何となれば子は準山縣系の有力者として官僚派に重きを成し、桂公全盛時期に於て一度び政府の圈外に退きたるの人、貴族院の一團体たる研究會に其籍を列ぬるの外兎に角民[illegible]を代表せる政黨と何等の關係なき人物なればなり、今や蛇蝎視せられたる元老政治、閥族橫梁の時代は既に[illegible]き民論を代表せる大政黨の後援あるに非ずんば到底當[illegible]者として政綱の[illegible]用を滑かならしむるの望みなき時代なるを以て苟にも後繼內閣組織の大命を拜受せん程の者は其大命を拜受する以前に於て胸中豫め十二分の成算なかる可からざるや勿論なり、然るに去月卅一日の東京發電は超然[illegible]閣殆んど將に成らんとすと報じ閣員の顏振さへ列ねたるに拘らず、次で到りし電報は海相問題、新內閣組織に一頓挫を來せりと傳へ、更に去七日の電報は清浦內閣に對する輿論の反抗は遂に清浦子をして一旦拜受したる大命を返上するの止むなきに至らしめたりと報せり、斯の如きは畢竟するに清浦子が陳腐なるワンマン政治の舊思想に糊着し、靄然として東西兩大陸の天地に充溢せるデモクラシーの氣運を看取するの[illegible]を欠きたる結果にして即ち子は憲政國家の宰相として其無能無信任を證明し、偏狹頑迷なる黨與に向つて好箇覺醒の教訓を與へたるものに非ずして何ぞや、盖し新陳代謝は自然の大法にして經世濟民の要訣は國民思想の變遷を察して內外の施政よく其中庸を失はざるに在り、吾人は故國朝野の人士が深く此點に留意し一日も早く憲政有終の美果を收めんことを[illegible]す

▲家永博士の演說

親善圓滿ならざるに親善圓滿なりとお茶を濁すは[illegible]として來り、交換教授として來り、實情視察として來る所謂名士連の常套語なり、彼等は加州土地法や、米國議會の移民[illegible]や、諸新聞紙の排日筆鋒が如何に日米兩國の國交をして不[illegible]ならしめつゝあるかを充分に知悉し居乍ら公會の席上白々しく親善圓滿を連發し心ある米人をして其偽善的態度に一種侮蔑の念を抱かしむるとあるは吾人の常に遺憾とする所なるが過般家永博士の日本協會晚餐會席上に於ける演說は正に吾人の持說と相合せるのみならず殊に[illegible]士が、日米兩國の關係を論じて、今の日本は亦昔日の日本に非ずといひ、日米兩國の關係が今後猶師弟の關係を持續し得可しとなすは大なる謬見なりと論じ、日本は米國を見るに友邦を以てし米國は日本を遇するに對等の地位を以てせざる可らずと喝破せしか如きは例の[illegible]に對する好箇の清涼劑にして[illegible]又吾人の溜飲三斗に値ひすべき大氣焰なり、諸新聞紙[illegible]筆を揃へて、ゼ、プリンシパル スピーチ オブ ゼ、ヂニング ナット ジ、バード バイ ゼ、ゲスト オブ オーナー バット バイ ドクター 家永と報せしも[illegible]實にヤンキーの意氣と嗜好とを表明したるものに非ずや

紐育の有志家

[illegible]郎

紐育日本人社會も在留者の增加と共に秩序ある社會的組[illegible]の必要に迫られ紐育日本人會の設立成り、實業組合、實業研究會等迄りたる外[illegible]は日共兩會合併の事あり在來の各團体も漸次面目を改むるの傾向等御同樣大慶至極に存候

▲團体をして有力ならしむる一大要素は團体の首腦者[illegible]は幹部として盡力する人の人物如何にあるは勿論[illegible]儀に候が紐育[illegible]社會は流石に公[illegible]心の[illegible]き人物の多數を有し居り候て大[illegible]に喜ばしき次第に有之候

▲併し[illegible]より打算すれば[illegible]の中の有志家[illegible]馬鹿臭きものは無之やうなるが之も一種の道樂、よく[illegible]すれば吾人の趣味の向ふ所にて一[illegible]に馬鹿臭しと申す譯にも參らず亦社會の爲には無くてかなはぬ高尚な[illegible]具に候、有志家[illegible]を道具呼はりするは失禮なりと御叱りも如何なれど、道具も品によりけり、社會の高尚な道具として新聞に時々名前を出さるゝ[illegible]は[illegible]道分[illegible]具に使はれたものに[illegible]

▲[illegible]來有志家なるものは心の底から人間は社會の爲めに盡すものなりと[illegible]の社會觀念を以て有志家たるのみに非ず、前申す通り一種の趣味乃至道樂、申さば人の[illegible]話をする事が好きな性質から有志家となる場合多く候、尤も[illegible]ある有志家の中には中々の[illegible]あり、自分の本業の利害から打[illegible]有志家たるもの有之候、勿論紐育にはソンナ[illegible]狗肉的有志家は一人も無之候

▲百姓でも町人でも腰辨でも[illegible]人々の趣味次第に、自分の氣に向いた仕事は何でも面白きものに候、伊藤公は維新の元勳、憲法の制定者として國家に大功勞ありし人なれども公は嫌々ながら國家に貢獻した譯に非す公の趣味乃至嗜好道樂か政治に適當し居たりし故アレ程の功業を建てたる次第に有之候

▲却說紐育の有志家として各方面の公共事業に[illegible]さはる人物は如何なる人々なるか之からボチ／＼紹介可致と[illegible]候處[illegible]主任より餘白なしとの小言に接し以下次號と致候

●皇太后陛下崩御遊ばさる

（九日東京發電）

頃日來御重體に渡らせられたる皇太后陛下には御養生相叶はせられず本日沼津御用邸に於て御崩御遊ばされたり、御永眠の際は今上天皇皇后陛下を始め奉り各宮殿下方並に妃殿下等玉體に奉侍し参らせられ御一同御永別の御哀しみに閉せさせ給へり、御崩御の次第は慣例に基き明日御遺骸を東京に移し奉りたる上發表相成るべし

皇太后陛下、御名は美子、故左大臣一位一條忠香公第三の御女に在まし嘉永三年四月十七日（陽曆五月廿八日）御生誕、明治元年十二月廿八日御入內、此日皇后と成らせられ、大正三年四月九日御崩御遊ばさる、御寶算六十四

●皇太后陛下御危篤公報

[illegible]九日午後二時[illegible]十分着

皇太后陛下御容體九日午前一時[illegible]十分[illegible]然[illegible]なる狹心症[illegible]御重體に在らせられ、右に付[illegible]兩陛下[illegible]行幸啓あらせらる

九日午後二時（東京[illegible]電）[illegible]

皇太后陛下其後御病狀益々御重態に[illegible]ばされ刻々御危篤の御狀態に入らせせら。

記者曰く、別項東京電報にもある如く、御崩御の次第は慣例により御遺骸東京御到着の上發表相成るべきなれば本公電は陛下御崩御の公[illegible]と見て差支へなかるべし

●皇太后陛下御崩御別報

（九日東京發電）

皇太后陛下御崩御と共に一般人民は歌舞音曲を停止し各劇場は閉場したり、天皇、皇后兩陛下は本日沼津より御歸還相成りたるか、本年十一月舉行さるべき御即位式は多分延期せらるゝなるべし[illegible]

一頓挫を來せし後繼內閣組織は皇太后陛下御崩御のため全然閑却されたるか如し

皇后陛下の御製

皇太后陛下の御聖德[illegible]にも高く[illegible]在ませし事は今更ら申すも畏き次第なるが陛下には特に國風に堪能に渡らせられ御生前の御製はとくに數十万に上りたりと拜承し奉れり、右は陛下が全國小學生徒の爲めとて物し給ひし唱歌なり

金剛石も磨かずば
玉の光りは添はざらん
人も學びて後にこそ
眞との德は現はるれ
時計の針の絶へ間な
廻るが如く時の間も
日蔭惜みて勵みなば
如何なるわざか成らざらん

●即位式延期

（十日東京發電）

皇太后陛下御崩御のため御即位の大典は大正五年迄延期されたり、延期の理由は新嘗祭に用ゐらるべき新[illegible]が御大喪中に成熟したるものを使用せずとの慣例に基くに由る

●大隈內閣成らん

元老會議は後繼內閣組織者として大隈伯を推選したり

●米[illegible]兩國の爭議落着　ルーズベルト氏の所謂[illegible]獲得以來過去十年間米國及中米コロンビア兩國間に起りし爭議は其後タフト內閣時代より交涉を繼續し來り今日迄紛議解決に至らざりしか今回愈々兩國の談判纏まり、米國は同國に對し金二千五百[illegible]弗を支拂ふこととなれり

●米國海軍の禁酒命令　海軍卿ダニエル氏は過日一般海軍々人に向つて艦內に於ける將校兵卒の飲酒を禁止する旨嚴命を發したるか陸軍卿ガリソン氏も近々同樣の命令を發するならんとの噂傳より海陸軍人社會に大恐慌を與へたり、若し實行出來得るものとせば幸なり

●ホブソン大佐の敗戰　日米開戰論者として黃色紙の煽動的記事に好材料を供しつゝありし同大佐は過日來アラバマ州に於ける米國上院議員の補欠選擧に候補者として下院のデ黨院內總理アンダーウード氏と競爭中なりしか開票の結果ア氏のため脆くも敗北したり右に付當市のイブニングサン紙は去七日の紙上長文の評論を揭げ黃禍論を引ひてホブソン氏の過去及現在か上院議員たるに適せざる事を極言すると共にア氏の人格を稱揚し其當選を祝せり

東京電報

●內閣組織の一頓挫

[illegible]

[illegible]志の[illegible]下四分五[illegible]の政[illegible]は遂に自家の政治[illegible]悲觀する[illegible]ず政友、立憲同志[illegible]、中正派は素より諸新聞紙も[illegible]國家のため[illegible]を[illegible]增稅[illegible]海軍擴張を行ふ事可かなるべしとて國民一般の不[illegible]甚だしく遂に七日電報の如く清浦子の辭任となりたるものなる可しと察せらる

●新任勅選議員　前外務大臣牧野伸顯、前內閣書記官長山之內一次、法學博士[illegible]四郎等貴族院議員に勅選せらる

日本[illegible]近信

●帝室の大禮費　來る十一月より京都に御擧行あらせらる可き即位の禮及び大嘗祭等の御費用は既に國庫より五百餘萬圓を支出する事となり衆議院を通過したるが右國庫支出以外帝室御資部より支出さるべき恩典恵恤族表養老記念等の各費目は目下宮內省內藏寮に於て調査中なるが約五百万圓に上る由なり

●國有林拂下非難　政友會北海道支部に於ては昨年中村長官就任以來原內相を經て長官を壓迫し種々の問題を有要官に對して提供して利益を獲得せんと劃策し居りしが遂に[illegible]谷[illegible]附近に於て二萬[illegible]四千町歩上川愛別奥に於て三万二千町歩の國有林を新たに解除し製紙會[社]に賣らしめ[illegible]に於て十數萬圓の[illegible]を之に[illegible]與へ該社をして[illegible]林事業を爲さしむるの口實の下に[illegible]に着手せんとし今や準備中なりと[illegible]者皆其無謀に驚かざるなく[illegible]國有林の如きは北海道森林調査[illegible]により國有林とし數年前[illegible]に確定し居れる部分にし此の如[illegible]は森林調査を根本的に破壞さるゝ[illegible]なりとし又此の如き大なる面[illegible]會計に專有[illegible]もさが如きは[illegible]將來[illegible]に障碍を來ふ[illegible]るものなりとて非難多し

●[illegible]港沿岸　紡績聯合會は巴奈[illegible]港埠頭にガルヘストン港を加へられたしと[illegible]務省に請願書を提出する　方政友會代議士十井十篤太郎氏の手を通じ遞信大臣に陳情したる結果遞相は綿花出䌤季節中ガルベストンを臨時寄港地となすことに閣議[illegible]補[illegible]案に追加すべき旨を內示せりと

●村田保氏の演說

[illegible]海軍問題勃發以來條々夜も[illegible]す國家のため憂心に堪へざるを以て[illegible]考案を以て[illegible]壇に起つものなり余は前演說者の如く問題を裏面より論せず表面より論議せんと欲す[illegible]るらんな[illegible]先づ以て政府席を威嚇し海軍の所所謂八年計畫を壞し始めたるは衆議[院][illegible]なり貴族院か斬らんとするのは手足なりと頭と胴を斬りしは衆議院に外ならずとて更に軍艦水雷艇補充基金か產業奬勵基金に早變りしたるを[illegible]して現內閣は政友會の奴隷なりと罵倒し、大藏大臣は苦し紛れに[二]枚舌を使へり產業奬勵基金は政友會擴張基金なり政府は政友會の多數を憑んで頑として辭職せざるも人心は既に全く現內閣を去れり此時に際し貴族院か膺懲の任に當らざれば到底廓清するの途を知らざるなりと論じ更に久保田男の國民大會罵倒に對し[illegible]一矢を酬ひ如何なる橫暴なる政府にも盲從するか如き國民は駄目なりと述べ、照るにつけ降るにつけても思ふかな我が民草の上は如何にと云ふ先帝の御製を讀み上げ斯る難[illegible]有要官に對して山本伯は何を以て答へんとするかと獅子吼し、山本伯[illegible]は廉恥を知らるゝや此際に[illegible]は[illegible]下を稱して國賊なりといへり我國には刑法あり閣下は何故一身の潔白を[法]廷に訴明せんとはせざる[illegible]云ふ閣下には遂に法廷に出で[illegible]の一身[illegible]の危きに終らしむ[illegible]は有司にし[illegible]國民の疑惑を受[illegible]なる者は[illegible]しむべしと云ふ山本權兵衛伯閣下よ今[illegible]大西鄉翁のあるあらば閣下も亦切腹か强[illegible]るべき一人なり今[illegible]雖も閣下を一芥塵の如くに見下せ[illegible]は日本帝國のために之を悲む閣下は過去に於て我海軍のために盡されたりされども又閣下は身を[illegible]を愛し而して國家の事を知らず緊急なる海軍豫算の削減せらるゝも[illegible]れざるも閣下一身の進退に係れり閣下は海軍擴張を後にする[illegible]尚現職に留まらんとするかと述べ「昨日余は[illegible]に無名の投書ありたりとて山本伯は叛臣云々の手紙を朗讀し余は[illegible]座の前に於て神聖なる議場にて謹み[illegible]山本總理に辭職を勸告すと結[illegible]りと

●岩原謙三氏の生立

海軍收賄事件の餘波三井物產に及び理事岩原氏の拘引となりたるが既[illegible]の如[illegible]なるか氏は石川縣士族岩原孝[illegible]氏の長男にして數へ年の五十[illegible]歲なり商船學校出身にして明治十[illegible]年頃三井物產に入りしが物產も創業[illegible]時の上に氏の才氣は忽ち頭角を[illegible]廿年頃大阪支店に支店長次席として移り數年の後には新[illegible]店長に拔擢され[illegible]赴任し流石のヤンキー仲間にも才人として評判高かりし[illegible]なりしと此の才幹に加へ海外に遊ぶ本邦人が官民の別なく殆んご訪ねぬ者無き位[illegible]は氏の交際範圍を[illegible]からしめ尚海軍界の明星瓜生氏とは親[illegible]の關係あり海軍問題に緣故ある理由[illegible]無しと思はれず[illegible]の面長の容貌か何となく馬に似て居る[illegible]三井の[illegible]なる渾名は物產內部に於て[illegible]呂[illegible]神に奔馬の如き氏の[illegible]なる才氣を暗に[illegible]めかせしもの[illegible]某[illegible]友[illegible]書にせし事ありし以來一層名高くなりしと斯く[illegible]四十年山本條太郎氏と相前後して本店の理事に榮轉したるが山本氏の勢力が伸ぶるに從てヂリヂリ頭を抑へつけられたる傾あるに反し氏は上の方より引伸ばされて思ふがまゝに容を淩ぎ終には山本氏を拔かんとするに至れり物產內[illegible]に一箇の暗流が漂へりと云ふは此の兩氏の勢力を指して云ふものなりとの說あり

●羽ばたきする飛行機　在朝鮮[illegible]人松浦[illegible]夫なる人數年來研究の結果松浦式飛行機を發明したるか其構[illegible]色は單葉にも複葉にも非ず自働の兩翼を有し鳥の翼の如く羽ばたきし[illegible]するものにして試驗の成績により同鄉の有志講演會を組織すべしと云ふ

●本願寺執行長の私印僞造　京都本[illegible]本願寺執行長日野尊寶は去九日大谷尊由氏名義の實印及び千圓の約束手形を僞造し小原熊次郎藤田覺の兩人に示して金を騙取せんとした[illegible]げざりし廉に依り十二日堀川署の手に捕へられ監獄に送られたり

●判決文を握り潰す　リーテル事件の公判判決文は[illegible]日の貴族院に於て齋藤海相は其取寄せは不可能に[illegible]せりと明言したるも判決全文は既は外[illegible]省を經て齋藤海相の手許に達し[illegible]るも之が發表は却て時局を擴大するの虞ありとし[illegible]くは取寄せ不可能[illegible]由の下に發表せざる事になれりと傳ふるものあり

●三井物產の得たる「金剛」のコムミッションは二百卅万圓　三井物產重役岩原謙三氏拘引後の三井は上下擧つて戰々兢々たる有樣にて三井銀行三[illegible]業等の各重役まで一種不安の念を抱きつゝあるものゝ如く十三日の定例重役會は此の重大事出來のため何れも定刻前會議室に參集し長時間鳩首密議を凝らしたり會社側に於ける一般の消息に關し切口を緘して語らざるも同社の內情に通ぜる某氏の談に依れば三井物產は海軍よりウイッカースへの注文品に對しては手數料として必ず注文價格の百分の二半を收得するものにて戰艦一隻のコムミッションは實に莫大なるものなれば三井物產が自社の大利益のため海軍の要路に對し極力運動を試みるは當然の事にして敢て怪むを要せず或は海軍廓清の幾多材料か岩原氏より引出され得べしとの說あるもコハ如何に成行くべきか今日より豫想する能はず事件か如何に展開するとも思ふに岩原氏は責を自己一身に引受け累を三井物產に及ぼすが如きことはなさゞるべしと云々又室蘭製鋼所取締役[illegible]澤金次郎伯の談によれば代理業者がコムミッションを取るのは何も不思議はなく法定一分半のコンミッションは代理店として三井高田其他何れの社に於ても收得しつゝあり或は法定以上五分とか一割とかの秘密契約あるや否やは當事者以外の知る限りにあらずウ社對三井は單に契約のコムミッション以外何等の關係はあるまじく從つて問題は三井海軍間にして物產常務の岩原氏にして若し犯罪行爲ありとすれば世間は贈賄罪を以て目するならん、聞く所によればウイッカース社の金剛艦建造引受に關して三井の收得せしコムミッションは二百卅万圓といふか確かなり、尚三井物產の計算課長に[illegible]岩原謙三唯一の子分なる松野德哉は十四日午前十時潮豫審判事に召喚され帳簿其他に關する取調を受けたり

●ノイラ將軍西班牙人を放逐す　過[illegible]來頑强に抵抗を續けたる墨國トレオン氏は過[illegible]遂に陷落したるか大將ブイラは同地在住のスペイン人一同に[illegible]逐の命令を發したる結果六百餘名の避難民は止むなく國境を越へ米國に入込みたり

●共濟會春季大會と日共兩會の合併　同會は去五日高見會長邸に於て開會し、最初高見會長は簡單に開會の趣旨を述べ次に會計、事務報告、會員の改選等ありたる後、本日の主要議題たる日本人會と合併の件に付討議したるが紐育日本人會役員會より日本人會に提供したる承諾書を得たる合併條件を是認する事に決議し夫れより富氏の提案に基き共濟會の發起者として創立以來同會の發展に特別の功勞ありし高見豐彥氏に感謝狀並にタイムパッチ[illegible]を贈呈する事に決し右委員として天野、中原、甲斐の三氏を推薦したり、尚ほ當日の決議に依り從來共濟會々員たりし人々は日共合併成立と共に日本人會々員たる事となれり

●日本人會大會準備委員會　は去八日午後[illegible]俱樂部に於て開催し種々協議する所ありしが結局來る本月廿三日午後八時よりカーネギー音樂堂に於て開催する事に決せりプログラムは左の如くにて入場券は一般會員へ郵送すと

一、場所、時日　西五十七丁目第七街角カーネギー音樂堂、四月廿七日午後八時より

第一式　司會者　高峯博士
一奏樂と共に各員着席
一開會の宣告　會長　高峯博士
一開會の辭　高見豐彥
一事務會計報告　瀬古會計
一役員選擧　堀內幹事
一議事

第二式　司會者　高峯博士
一奏樂
一祈禱　[illegible]ース博士
一演說　同
一同　一宮鈴太郎
一同　姉崎博士
一同　飯島總領事
一同　珍田大使
一同　朝河博士
一同　チーザン博士

●ニューヨーク敎會近事　同會內なる實業研究會は本日午後八時開◀菊地東陽氏の寫眞術に關する演說あり翌日曜には淸水牧師の「キリストの復活と人生の希望」と題する說敎あるべし

●青年會のイースター祝會　岡田氏の筑前琵琶、默平氏の珍談落語其他有志の飛入餘興あるよし

●服部綾雄氏頓死詳報　同氏逝去の趣は前號紙上不取敢來電の儘報道せしか今西部より到着せる新聞に依れば氏は死去の前夜小川亭にて東洋汽船の佐藤氏外二三名の有志と晩餐を共にし後ハーラーにて種々同胞間の事及び日本政局の事など縱論[illegible]議十一時旅館なる帝國ホテルに歸り支配人の土井氏と一時頃まで圍碁を鬪はし平常と異なる所なく就眠したり然るに翌日午前九時半栗山博氏訪問したるに同ホテルの事務員山田氏服部氏の室に到りノックしたるも返事なかりし故多分熟睡せるならんとて其儘に打過ぎたる處同日は正午小川亭にて花屋組合の大石、犬飼氏等と午餐を共にする約束ありしため犬飼氏十一時頃訪問したる際山田氏再びノックしたれども答なく其時も多分前夜の拔將ならんと其儘遂に午後一時頃まで打過ぎたるが支配人の土井氏來り一時頃迄寢る等なし或は病氣なるやも知れずとて無理に合鍵もて戸を開けて這入り見ればコハ如何に安靜に寢床の上に仰臥せる氏は平常と毫も異なる無きも唯顏色は蒼然として既に此世の人とは思はれず驚き走り寄りて握りたる手は氷の如く冷かに息も全く絶へ居たり死因は醫師診斷の結果腦溢血なる事判明せし由なるが在桑有志家一同は委員を選び葬儀其他後事万端を處理する事となれり

●何かの間違ひにや　近着の西部新聞に「新育日本人會は今回著書家として著名なるクラーク氏を日本へ派遣するに決し同氏は近日來桑十[illegible]日の[illegible]洋丸にて日本へ向ふ豫定なるが同氏を日本へ派遣する目的は氏に日本の實情を研究したる上歸米して米國人に之を紹介せしむる目的也」とあり近頃漸く成立したる日本人會が斯る重大事件を輕々しく實行する筈なし多分何かの間違なるべし

●同胞商人に注意　昨年中央議會を通過したる米國度量衡法は愈去四月一日より實施さるゝ事となりしか各販賣店に於て客の前にて量り賣らざる品種に限りては其正味の重量をパッケージの外表に明記すべく又客の面前にて賣る場合にはセールススリップへ其品目代金を記載したる上客人へ交附するを要すべし日本米に對しては故國より輸入せるものゝ如きは風袋を引き去り正味何斤入りと記すべきものなるが若し此等の規定に違反するものあれば罰金百弗又は卅日間禁錮の刑に處せらるべし

●六月下旬練習艦隊來航　帝國練習艦隊は來る六月下旬桑港に廻航し來る旨同地總領事館に通知ありたり艦隊は巡洋艦淺間及吾妻より成り旗艦は淺間なり司令官は海軍少將黑井悌次郎氏にして淺間の艦長は元華府大使館附武官たりし海軍大佐平賀德太郎氏吾妻艦長は海軍大佐佐藤皐藏氏なり淺間の乘組人數は合計七百九十名にして此內候補生は六十名なり又吾妻の乘組人數は合計七十六名にして候補生は五十九名なりと

●日本人會委員會　同會幹部委員會は去十日會合の上今後の方針に關し協議する所ありたり

●亞市日本人會の吊電　同會は皇太后陛下の御崩御に對し吊電傳達方を當地總領事館に依賴し來れり

●在留民の謹慎　皇太后陛下御崩御の悲報に接すると同時に一般謹慎の誠意を表し居れり

●山本海軍中佐　山本前首相の令息たる同中佐は獨逸留學中の處歸朝の途去九日來着ホテルアスターに在り

●三菱會社々員新國遠酒二氏　は製紙業視察のため過日來市

●森村組山本正子郎氏　は去九日無事歸市したり

●中村繁松氏の全快祝ひ　九死に一生を得たる同氏は去九日料亭千歲に知友數十名を招き全快祝を催したり

●青年館の代替り　從來大井田慶次郎氏の經營せし同下宿は今回小川俊三郎氏讓受け大勉強にて營業する由

●茂木桃井組の大勉强　夏場物一切新荷着特別廉價を以て販賣する筈也

◉商業欄　夏場作業經營者には見逃す可らざる緊要廣告あり

▲寄　書▼

最近廣告に就て

酒井嚴鹿堂

最近廣告といふと何だか大變奇拔な廣告法でゞもある樣に聞へるが何にも左樣な奇拔突飛な遣方でも方法でも無いのだ、私の述べんとする最近廣告とは廣告其物が最近思想に依て著作、構成せられた者を、云はゞ解剖して其の狀態の巧拙を摘出し、分拆した最近廣告の變遷を諸君に紹介すると共に心理學上よりの廣告解說を附加して最近廣告の性質を述べんとするのである

最近商業の發達進步に伴ふて近來廣賣術とか、販賣增進法とか又は廣告術とか云ふ種々樣々な書籍印刷物が發行せられて居るが、此等の方法は要するに自家製造品なり自家販賣品なりを世間の消費者に、より多く賣り附くる方法は如何にす可きやと云ふ題目に歸着するのである、即ち廣く告げて物品製造の當用を經濟的に增進する事である、で此の方法運用を誤るには申す迄もなく廣告といふ者に依らざれば其の支配を左右する事は出來ぬ、斯樣に廣告といふ者は商業上缺くべからざる、且つ又其の著作の功拙で物品販賣が增進は左右せらるゝ者である、然るに一般世人は比較的こんな事には不案内で廣告といへば何でも奇拔な事をすこ世人を驚かす而して世人の感興に依へすれば宜いと樣な考へで隨分突飛な廣告の遣方をする人が多々あるが全樣な一時の出來心で慧星的にチョリと姿を見せるやうな遣り方では如何に巧妙な廣告でも殆んど其廣告の目的の主体から見たら少しの價値、ない無駄な單に廣告と名の附く飾りものに過ぎない、夫れで先づ廣告と云ふものは何處までも販賣商略の企劃を以て、豫め廣告すべき目的の定見と豫算を置いてから始め、其構成に着手しなければ新聞へ大な費用を費した理由がない、にならい上等、立派なもんだと言ふ其の廣告の著作者か廣告に目が眩む樣では到底眞の廣告は作り上げる事は出來ぬ、又出來得たとしても其の効能は少しも得られぬ、斯樣な者は廣告者の廣告たる性を失つたもので經濟の法則を誤く一種の廣告遊戲物となつて何の目的で廣告したのやら一向に要領を得ず稱する所は廣告といふ者まつまらん者だと放擲して了まう、即ち廣告が價値ないのでなく遣り方が拙なのである、廣告を研究する順序として先づ大略左記の題目に依て申述べやう

一般廣告　小賣廣告
新聞雜誌廣告　通信販賣廣告

（未完）

紐育大學生討論會

（寄　書）

俄記者

米國を立脚地とし「日本移民排斥の可否」と題し紐育大學同胞學生が去土曜日青年會館に於て討論會を開いた、傍聽隨意とある、久しく同胞學生の振はざるを慨せる記者は、いざこそ惰眠を覺す曉の鍾と双手を擧げて喜んで出かけた、會堂は整然として辯士は各主張に依つて左右兩側に威儀を正し恰然挑戰の勇士を見るが如く、幡、境野、增澤の三審判着席する、やがて議長を兼ねたる增澤氏宣言の下に論戰は始まれり、第一番として壇上に現はれし岩崎氏先づ一咳敵手を眼下に見越しにして吾輩は排斥を可とする論者の一人であると根據を經濟上に置き且つ黃白雜婚は人種をして劣等ならしむるといひ正義人道にまで說き入つて遂に加州排日法を是認し結局日本人の渡來は經濟を攪亂すると結論せり次は內藤君腕力でも何でも來いと云はん斗りの武者振りに排斥論の據る所を指摘して烈しく論駁し日本人の同化せざるは全く米國人の罪なりと說き且つ人種的偏見より排斥するに淺薄なる議論さし宜しく吾等米人は建國の精神に鑑み眞のクリスチャニチーの眼光を以て之に對すべきなり以て米國が誇ける平和の月桂冠を世界に示すべきものなりと說き壇を下るや上村氏衣に堪へざるが如き容姿を運び來り議長と呼びかけた時記者は首を上げた、ふと思ふ眼鏡の先生初めから之れで三人目で丸で古井戸の端へ蛙の集ぶさもいへず一苦笑して居る間に議論は進行する曰く、日本人は社交的でないクライムの多い國民である結黨する傾がある米人の勞働口を奪ふと日本人の欠点を擧げ米國現行移民法を引照し辯護士的の口吻を以て排斥を主張せり、淸水君は溫容を現はして而も岩崎上村兩氏の狙擊を始め終りに日本人の農工業は貢献せる實例を引き以て排斥の否を主張するや松村氏は何を卵等がといふ態度で人一倍大きな口を開け理論上排斥せざるべからざる者ありと矢を放ちてそろ〳〵と突貫を始めた、國家學を盾に取り國家衛生上時代の要求を說きモンロー主義を擔ぎ出しチャップマストゴーを叫び時間の制する所となり下壇す、森君れ待兼ねと登壇し人類學の說明より先づ人類成生を說き雜婚の行はるゝは人をして優良ならしむるといひ岩崎氏の議論に逆ねぢを喰はせ日米文明の比較を試み大に日本移民を歡迎すべしと結論するや上村氏は之を交せ返さんと試みたりしも議長の制する所となり又何か云はんとするや同黨なる前川氏取つて代つて日米兩國の文明を比較にアイリシュ、ポートの例を引きチャップポートを出すに至らば政治を攪亂して以て我が民主政体を危くすと論じ日本は宜しく滿州方面に向ふべしと云ふやオーキーオセワと云ふ聲か起る猶語を續ぎて人情風俗宗教の比較を試み各國興廢の歷史に說き入り我米國は排日の爲めに或は干戈を交ゆるも辭せずと論ず是れ亦時間の制する所となれり加藤君は乃公か一番好男子であると云ふ樣な風彩で徐ろに米國建國の國是を說き且つ經濟的發展の問題に入り米國か日本と相反目するは東洋に於ける自國の利益に關し不得策なりと論じ且つ歐州移民を引照して對等國の國交を維持する以上日本人のみを排斥するは非道不合理なるを以て宜しく一視同仁たらざるべからず然らば吾か米國は眞の平和と自由の月桂冠を長へに頂きて血を見ずして平和の盟主たるを得べし宜しく憂國の志士たる者茲に留意すべしとて論戰を結べり

（未完）

投書箱

▲ニューヨーク日本人青年會の封筒にはヂャパニースアメリカン、ヤングメンス、アッソシエーションとあるか米國人で同會の會員かあるのかね、ソレカラ幹事增澤君は本名孫右ェ門だのに丈兒だなんてバタ臭い名前に變へてる之も何だか可笑なやないか、夫程洋化仕度ければ孫右ェ門君は爾今以後日本飯は食はぬが可いや（日本孫右ェ門）▲日本人が同胞を羨むのは惡い習慣である其れな奴は甲斐性なしの意氣地なしと云ふ者だ兎角此の世は金の世の中金か欲しけりや九一の眞似でもして見やがれ（投書家）▲ビリヤド教授なゝてエラさうな着板を掛けるはよし、毎日博奕の教授をして浪人の小遣錢を巻き上げるとは止したか可いぜ（プール好）▲オイ中原の源ちやん〳〵泣きながら自分の恥を新聞に曝らすやうな未練がましいソシテ馬鹿毛た事は止し給へ第一君の身分に關するぢやないか、イクラ女旱でりのアメリカでも新しひのが澤山あるから心配し給ふな（舊道會）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5¢ A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3, 1879

新育報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日遞政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　新育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三チエルシイ

大隈内閣成る

左しも難産なりし後繼内閣は遂に大隈伯に依りて組織せられたると別項東京來電の如し、試みに新内閣の顔觸れより其組成分子を察するに新内閣は立憲同志會を中堅とし國民、中正兩黨を左右翼となせ、聯合内閣なりと云ふを得べ、只閣員中國民黨を代表せる人物なきは聊か物足らぬ心地すと雖も余ふに斯は國防問題及日相問題等に關し大隈伯と犬養氏との間に何等かの默契あるやも知れずと想像するも強ち臆測に過ぐとは言ひ難からん、吾人は素より新内閣の將來に關して輕々しく豫言するの暇なしと雖も兎にも角にも時代の要求が大隈伯の所謂「墳中の枯骨殘骸」たる元老諸公をして平生蛞蝓の如くに忌み嫌へる伯を後繼内閣の首相に推薦せしむるの已むなきに至らしめし所以は、別言すれば諸公が自家の政治的生命の没落終焉を自白せるに外ならざると共に多年國民の期待せる政黨内閣實現の第一期を劃せるの快心事たりと言ふを憚らざるなり

然らば大隈内閣は今後如何なる方針を以て議會に臨むべきやといふに衆議院に於て二百五名即ち過半數以上を擁する政友會に對するには立憲同志會の八十五名、國民黨の四十五名中正派の約二十名此外中立派より十數名を拉し來りて一丸となすも未だ以て議場に多數を制するの望なきが故に新内閣は収賄事件、減税問題等に關する政府兩者の係累と國民の反感に乗じ巧みに政友會の頭數を減ぜんが爲め本年末の議會開會後間もなく一旦議會を解散して國民の輿論に訴ふるに至らん、乍併假に吾人の想像當れりとするも新内閣は對選擧方針と其内部の統一とに對し非常の奮闘ある事を覺悟せざるべからず、蓋し政友會か反對派に攻擊の好材料を與へたる所以は行懸上止むを得ず山本内閣を扶けたる結果に過ぎず、原氏の人權蹂躙問題の如きは單に反對黨の乗取策に利用せられたる小事件のみ、内閣瓦解の原因たる収賄事件とは何等の關係なきのみならず、多年地方に扶殖したる地盤は中々に侮り難く且つ黨内の領袖株は將來必ず寄合世帯の新内閣を倒すの機會遠からざる可きを見越して益々黨員の結束を鞏固ならしむるの手段に出づきは炳然たり、加之新内閣の前途には外交問題としてデリケートなるが上に而かも早急の解決を要する日米問題あり、煩瑣なる對支問題あり内政問題としては陸海軍増師擴張案あり、財政問題あり、之等の難問題に關して三派を代表せる閣員の意見を統一し、未熟不鍛錬なる末派陣笠を操縦して事無きを得せしむるの策は容易の業ならんや、吾人は只首相隈伯に向つて伯平生の豪語を實現せん事を望むと共に多大の興味を以て今後の政局に對せんと欲す

大隈伯の内閣瓦解評

▲口に武士道を唱へ白晝公盗を爲す者憲法を無視して白刃を人民に加ふる者等道義上の賊子を以て充たされたる内閣が輿論の攻擊に堪へずして倒潰したるは當然の運命なり憲法發布の當時武臣中の或者は之を以て年貢の納め時なりと嘆聲を洩したる事あり彼等か如何に憲政を呪咀したるか此一事によりても知るべし長と云ひ薩と云ひ閥族の輩か今日まで餘命を保ちたるは全く二大戰役のお蔭なり戰勝の餘榮に醉ひて彼等の跳梁跋扈を助長したるに就ては國民も亦其責を分たざるべからず就中政黨は其の大半を負はざるべからず而も天道至公の理は炳として日月の如く陸海の餘殃は遂に彼等をして自滅の運命に陥らしめたり吾輩は彼等の最後を見て快感を禁じ得ざると共に更に一層の愉快を覺ゆ是れ單に薩長と云ふ以外に一指をも加ふる事能はざりし陸海軍に向つて國民の勢力の及びたる一事なり陸軍と云はず海軍と云はず苟くも國民の意志に反する者は片つ端より叩き潰すを得るに至れる事實是れなり只併し彼等の執拗なる事は蛇の如く何時又頭を上げ來るやも知らず國民は之に對し充分の注意を怠るべからず

▲元老何者ぞ　後繼内閣の組織につき又復元老會議の開かるべきを豫想する者あり元老抑も何者ぞ吾輩は之を口にするも不快とする者なり山縣といひ井上といひ大山といふ何れも塚中の枯骨の殘骸のみ今日に至りても尚彼等の助力を得ざれば内閣の組織を見る事能はざるか如く思惟するは國民自ら輕んずる所以にして斯の如き國民は遂に何事をか爲し得ん

▲國民的内閣　御大禮を差し控へ居れば成るべく事を穩便にせよとは政府者も政黨者も共に利用する所なり御即位式は元より一國の大典其の重んずべきは吾輩の言を竢たず然れども之を古例に照せば宮中の御儀式なり政府政黨者流の口吻を以てすれば戰爭中には御即位式を行ふべからざる結論となる恐れ多くも　先帝陛下は兵馬倥偬の中に御即位式を行はせ給へり政治は一日も廢すべからず御即位式前に解散を見るも其他政治上に紛爭を見るとするも何かあらん吾輩は此の千載の一遇に於て内閣後繼者を以て目されつゝある清浦、平田伊東其の他官僚の餘子並に其の走狗たりし政黨を破壞一掃し國民的内閣の樹立を見ん事を切望す是等の閥人[illegible]人を淘汰すると否とは國民自身の決心如何に在り吾輩は果して國民に此の自覺的決心ありや薩長の舊劇より一轉して國民的新劇の幕を開くを待るや否や大正の維新憲政の前途懸つて此機會に在り吾輩は異常の興趣を以て之を近き將來にトせんと欲す云々

大隈内閣成立 公報

（十六日華府大使館着電）

後繼内閣は本日を以て愈成立したり首相以下閣員左の如く任命されたり

內閣總理大臣兼
內務大臣　大隈重信
外務　加藤高明
大藏　若槻禮次郎
海軍　海軍中將 八代六郎
陸軍　陸軍中將 岡市之助
司法　尾崎行雄
遞信　武富時敏
農商務　大浦兼武
文部　一木喜德郎

山本首相以下各大臣は本日何れも依願免官となれり

●靈柩は桃山御陵の左側に　皇太后陛下の御靈柩は京都桃山なる先帝陛下御陵の左側に建立せらるべしと拜聞す閑院宮殿下は大喪使總裁に任命あらせらるべく大喪に關する一般の事務を管掌し給ふべし

●御大葬は五月十日ならん　皇太后陛下の御大葬は五月十日に擧行せらるべしとの報確實なるか如し

●臨時議會召集費用支出乎　若し可能なれば此際臨時議會を召集すべく御大葬に要する費用は百二三十万圓なるらんと

●東京全市閑寂死るか如し　東京市は陛下の崩御に會し人の悲しみの極を盡し一人も物も粛として聲無く今や東京全市閑寂として死せるか如し

●墨國遂に屈す

過日墨國タムピコ港に碇泊中なる米國軍艦の乗組員は瓦斯リン買入れのため上陸したるに同港駐屯の墨國軍は右米國海員を拘引し取調の上放還したるか同港米國艦隊の司令官メーヨー少將は直ちに抗議し、右は米國々旗を侮辱せる不法の行爲なるを以て墨國は事件の原因となりし將卒の嚴罰、謝罪並に廿一發の謝砲を要求したり、然るに墨國官憲はウエルタ政府の命令に基き第一第二の要求に應じたるも最後の要求に應ぜずウエルタ將軍も斷乎として米國代理公使の談判に傾耳せざりしを以て事態益々重大となれり

▲軍艦派遣、港灣封鎖　大統領ウイルソン氏は謝罪砲發射の要求を貫徹せんかため一大威壓手段を執るの必要を感じ去十四日墨國東海岸諸港封鎖の命令を發して大西洋艦隊を急行南下せしめ翌十五日更に大平洋艦隊に向つて西海岸封鎖の命令を傳へ兩艦隊は今や急行の途にあり

▲ウエルタ將軍屈す　然るに去十六日に至りウエルタ將軍は墨國上院の忠告により止を得ず米國の要求に應ずる事となりたる旨在墨米國代理公使へ通告せしを以て形勢は俄然一變し事件は速かに落着すべき模様にて南下の途にある兩洋艦隊は召喚さるゝならん

●コロムビヤ共和國の運河特權　今回米哥兩國間に取結ばれたる條約によりコロンビヤ共和國の軍艦、船舶兵士糧食運送船等一切無税にて巴奈馬運河を通過する事を得ることとなりたり

●日本より支那へ償金　北京發電に依れば日支兩國政府間に交渉中なりし[illegible]事件は今度双互の協定纏まり日本政府は被害支那人の遺族に對し墨銀二万六千弗の償金を支拂ふ事となれりと

●革命黨捕縛さる　日本より密かに上海に歸來せる革命黨員等は去十五日官憲の爲に捕縛されたるが押收せる物品中より孫逸仙の署名せる叛亂再擧の書類を發見せりと

●中央基金銀行の設立地定まる　過般大統領の署名と共に實施さるゝ事となりたる金融制度は第一着として各地中央基金銀行設立地及基金を確定する事となり此程發表されたるが右基金銀行は全國著名の都會都合十二ヶ所に設立さるべき筈にて各行の準備基金は所によりて差等あり紐育の基金は二千〇六十八萬七千六百十八弗にて各行基金を合すれば一億九百餘万弗に上るべしと

●ローゼンタル慘殺犯人の死刑　先年博徒ローゼンタル謀殺事件の下手人として滿都の人心を戰慄せしめたるピストル組の兇漢四名は審理の結果死刑の宣告を受け爾來收監中なりしが去十三日何れも其の執行を受けたり

●材木王逝く　米國材木王として有名なりしフレデリック　ウエヤルホーサー氏八十歳の高齢を以て去四日加州パサデナの自邸に逝けるが氏の遺産は總計六[illegible]万弗なりと

●二重國籍子女の土地所有問題

▲在[illegible]の意見

西村政吉、桑木與市、吉田武壽の三名か先年共同にて加州ルーミスに六十英町の土地を購入し一年餘を經過したるに共同者の一人たる桑本與市火藥曝發のため突然慘死せり之は加州土地法實施以前なりしため正規の手續に依り其所有權を故國に在る桑本の實兄彌三郎に讓渡したり然るに故國に在つて渡米の出來ざる彌三郎か其土地を所有し居るは何かと不便あり故に之を西村政吉の長女ツルエ（十七歳）に讓り渡さんと欲するもツルエは米國の市民權を有すると同時に日本にも國籍を置くものなり則ち二重國籍の子女なれば完全に土地を讓受け之を所有し得るや否や若し出來得るとせば無論後見人を要するならんか其兩親は矢張り同土地所有者の一人なるか夫にて支障なきや懸意見を乞ふとの書面去月九日ルーミス日本人會より桑港日本人會に依頼し來れるが顧問辯護士の意見に依れば二重國籍の子女たりとも米國の市民が之を米國市民と認め居る以上は何等差支へなく當然土地所有權を有するものなり

（第二面に續く）

特別廣告

紐育日本人會第一回總會

場所　カーネギー　チャンバー　ミュージック　ホール
時日　四月廿七日（月曜日）午後八時開會

一、會員非會員を問はず在留民の來會を歡迎す
二、入場券は各旅館又は下宿屋にて無料進呈すべし
三、入場券には必ず住所姓名を記入せらるべし

東京電報

●渡邊宮相収賄

にて辭職す　宮内大臣從二位勲一等渡邊千秋伯は本月八日辭職し東宮職侍從長從三位勲一等波多野敬直男後任に決せるが渡邊宮相の辭職に關しては西本願寺よりの収賄事件に關係したる結果なりと傳說されつゝあり

●飯島総領事轉任說

外務省内の一大變動は近く發表さるべきが今確聞する所に依れば桑港の沼野總領事は上海に轉任　天津駐劄の飯島吉氏は桑港に來るべく上海の有吉氏は紐育に轉ずべく紐育の飯島總領事は加奈陀オッタワに赴くべく本省に在つては永井書記官は駐佛大使館詰となり松井外務次官は留任たるべしと云ふ

日本最近信

●總辭職顛末

貴衆兩院協議會に於て協議成立せざりしより山本内閣の運命は已に決したるも薩派と政友會とは各欲する所を異にし、薩派に於ては豫算の不成立が直接關係ある財閥に取りて死活の問題になるより極力妥協の策を講じ頻りに山本首相を慫慂したるより首相の決心も中々ずに斷乎たる歸着點に達せず、政友會側に於ては内心既に現内閣に見切りをつけ午前首相の辭意を固めしめこれ亦遂に其去就を決する能はざるを以て廿二日朝政友會幹部連は首相を訪ひ其決心を叩くと共に首相に[illegible]此儘に押切らんとする勇氣あらば政友會も相當の援助を惜まざるべき旨を勸告したるが首相も流石に此勸告を受容するに躊躇し却て豫算不成立に終りたる上は斷然辭職の外なしとの意を示したるを以て形勢玆に急轉直下の勢を以て變轉したり

▲總辭職閣議　斯くて廿三日正午より院内大臣室に於て閣議を開く事となり各大臣參集したるが首相は時局の困難を述べて此上は辭職の外なき事の結果として議會停會の已むを得ざる趣を述べて閣僚の決意を促がし更に廿四日午前更めて閣議を開き殘務の處理を爲したる上辭表を取纏め首相より闕下に捧呈したり

▲政薩の關係　兩者の關係が近時益々乖離し來れるは全く事實なるも右は主として山本伯の周圍にある末派薩派と政友會の誤解より起りたるものにて伯自身は政友會に對し怨嗟の念を有するに非ず、原氏が主相に對する惡感より辭職を決したりとの風評は當らず、原氏の辭意は昨年六月松田氏の病氣重態となりたる當時より發し現職を辭して外部より內閣を扶け度しと云ひたる由にて最近人權問題の起るや更に其意を切にし屢々首相に迫り首相より慰諭せられて止みたる事情あり、內閣總辭職の決定は政薩關係に起因すといふよりも寧ろ首相の決心のみによりて定まりたるものと察せらる

▲政友會の態度　政友會が後繼內閣の相談に與からんと欲せるは事實なるも領袖連は少壯派の貴族院攻擊說の進言を採用せず極めて大事を取り輕々しく動く事を爲さず只政友會と全然反對の內閣組織せらるゝに於ては其時こそ大打擊を加ふ可しと揚言し居れりと

●首相としての原氏　某政友會領袖の談に曰く、原氏は如何と云ふに其器たるに相違なからんも是まで長く山本伯と道連れをなし來り今回共に責任を引き辭職し乍ら直ちに其後を承けて內閣を組織せん事は德義上攻略上一考すべき必要あり或は却て總理を他より拉し來つて一時聯立內閣を造り適當なる時期に於て原氏を總理となす事[illegible]のためにも政友會のためにも良策なるべしと思はる若し政友會以外に適當なるものを求むれば德川議長の如きは最適任者ならんも果して其奮起を見るを得べきやは頗る疑問なり要するに幹部にても如何なる人物を物色して政友會のために便せんとするか恐らく苦心慘憺の裡にあるべし

●帝國議會閉院式　第卅一回帝國議會閉院式は廿一日貴族院にて行はせられたり、午前十時五十分振鈴の響と共に貴衆兩院議員式場に着席するや山本首相は各大臣及び政府委員等を隨へて臨場し先づ玉座に向つて最敬禮を行ひたる上本大臣は帝國議會閉院式の勅語を捧讀するの光榮を荷ふと述べ各員最敬禮の裡に恭しく左の勅語を捧讀せり

勅語

朕貴族院及衆議院の各員に告ぐ
朕本日を以て帝國議會の閉會を命じ併せて卿等勵精の勞を嘉奬す

畢つて首相は勅語書を德川貴族院議長に奉授して十一時式を終り一同退散せり、辭表奉呈中の內閣總理大臣が閉院式の勅語を捧讀したるは實に帝國議會開設以來未曾有の事に屬し何となく張合のなき閉院式なりき

◉外交官交迭　在外公使大使又は總領事にして目下歸朝中のものは待命中の秋月大使及伊集院公使を始め鍋島駐白公使吉田駐暹公使荒川駐西公使及赤塚（廣東）芳澤（漢口）永瀧（ホノルヽ）小幡（天津）の四總領事なるが四月上旬を以て是等外交官の大更迭を行ひ同時に本省內にも多少の移動あるべしと

●鐵道院の大淘汰　鐵道院にては今回重なる現業員四百名を罷免するに決し本月中に發表すべく同時に各驛長同勤役各主任等の大更迭を行ふ由

●財部次官取調　宛然海軍王の觀ある山本權兵衛伯の女せいにして今回の海軍收賄事件に就ても一般國民より醜類の巨魁として目されつゝある海軍次官財部彪氏は四月一日突如として東京地方裁判所檢事局より召喚を受け檢事小原直氏の訊問を受けたる後歸宅を許さるゝに至りたるが右は海軍事件に關する事勿論にして擧の火の手は漸次大頭株に及ばんとする模樣なり

●勅選議員五名　毎時內閣の交迭と共に勅選議員の任命を見る例なるが今回の山本內閣瓦解に際しては法制局長官倉富勇三郎內閣書記官長山內一次警保局長岡喜七郎政友會所屬代議士磯部四郎及び三菱前重役莊田平五郎の五氏任命せられたり

●更に一大秘密曝露せん　山本內閣は今や危機に瀕しシャイネストック型の呼吸を續けつゝあるが玆に一新事實現はれて其止めを刺さんとしつゝあるなりそは前造兵總監松尾鶴太郎氏の收監に引續き海軍頭目に對する或犯罪事實の曝露せんとする事之れなり彼の三井の岩原謙三氏の收監は海軍側と三井側の大恐慌を來さしめたるも實は岩原氏は人質的に收監されしものにて海軍への贈賄相談には與かりたれ實際に之を謀り之を行ひしは松尾氏なり平沼檢事總長が松尾岩原兩氏を拘禁せしは餘程の英斷にして奧田法相が泣き付き氣味に此兩氏の取調を遲延せしめ居れる事實に徵しても如何に此兩氏の拘引が現內閣に取つて致命傷の一なるかを見るに足るべし是近噂せられし海軍の頭目に關する收賄事實は多く此の事實にして時効に係れるものなりしが岩原氏より松尾氏を通じて贈賄せし事實は最近の新造艦に關する事とて山本伯財部次官松本中將等に取つて何よりの痛棒といふべく取調にして進涉せんか勢ひ海軍頭目に累を及ぼし尙三井の外に三菱にも火の手の及ぶなからんかとの噂あり

●ブーレー保釋　ブーレーは二千圓の保釋金を以て二十日保釋許可となりし同日直ちに其運をする筈なりしも午後五時過に至り保釋許可の旨言ひ渡され既に銀行の營業時間を過ぎたるため二千圓の保釋金を納むる能はず已むなく廿一日該金を調達して午後十二時卅五分出獄自働車にて雲南坂の自宅に歸れりこれより先横濱駐劄英國總領事二十日午後四時東京地方裁判所を訪ひ牧野裁判所長中川檢事正及小原檢事に會見約一時間に及び未だブーレー保釋の許可なきは人權を蹂躙する所爲なりとの說在留英人間に行はれつゝある旨を申述べしたりと

●飛行機士人を驚かす　野島銀藏氏の早鷹號飛行は廿一日豫定の如く[illegible]北練兵場にて午前一回午後一回飛行し其內一回は長距離にて臺北市街を一周し成功せり殊に過日來參觀のため來北せる各地士人を驚かしたる事非常なり當地にては始めての飛行とて各地よりの見物人多く左しも廣き場內も立錐の地なき盛況なりき廿二日も擧行し夫より臺中臺南に赴く豫定なりと

●飯田義一氏の家宅搜索　十六日午後二時東京地方裁判所の矢部豫審判事は三井物產會社重役たる麻布區龍土町十九飯田義一氏方に赴き家宅搜索を爲したり

●重國籍子女の土地所有問題

（一面より）斯かる問題は國際私法上の不備より生ずるコンフリクトにて何れの國にも多くの例あり　併し實際問題としては其子女が未丁年者の場合には必ず後見人を要すべきものなるが後見人承認權はコートに在るを以て果して當方の希望通り之を許可するや否やは疑問ならんとなり

新育日本局郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
インデヤ	香晚波	四月十八日
滿州號	桑港	四月廿三日
橫濱丸	沙港	五月一日
エシア丸	晚香波	五月二日
ナイル	桑港	五月四日
メキシコ丸	タコマ	五月十五日

●日本より到着日

同 十八日　同 廿一日
同 廿二日　同 廿九日
同 卅一日　五月一日

詩人　愛知縣名古屋人　服部錠七郎氏に面會を求む　前田平次

[illegible] East 19th St. N. Y. City

間宮錄二君儀急性心臟痲痺の爲め本日午前二時住宅に於て死去致候間此段辱知諸君へ謹告仕り候
追て葬儀は來十九日日曜日午后一時ロングアイランドスタインウエー街十二番住宅にて執行致候
No. 12 Steinway L. I. City
大正三年四月十六日
友人　田中明次郎　片桐智[illegible]　島[illegible]　增澤[illegible]



●慶應義塾野球團晩香波著 慶應義塾大學野球團はルソアにて去八日午後晩香波に着せり一行は船中に於てユニホームに着換へ上陸後直ちに自働車を飛ばして競技場に至りプロフエショナル野球團ビーバース組と競技を開始したり

●加奈陀の學童隔離問題 晩香波在住の一邦人學僕は去四日主婦なるミラー夫人を殺害し其跡を晦まさんか爲め死體をノツートスに投じて燒棄てたるが此大慘事は同市々民一般に多大の恐慌を與へ市參事會は之を動機として危險の性情を有する東洋人學童を白人學校より隔離すべしとの意見を提出するに至れり右に付晩香波領事館[illegible]氏は市當局者の態度に[illegible]

●邦人の白人殺害 加州スタクトン市の[illegible]ート氏方にクツクとして働き居る日本人[illegible]なる兇漢は過日主婦ハーバート夫人を銃殺し大膽にも自身の寢室に睡眠中捕縛に向ひたる警官の足音に目を覺まし其儘ベースメントに飛び降りて警官に向ひピストルを發射したるが遂に警官のために胸膜を打貫かれて即死したり聞く所によれば同人は殺人犯にて八年間監獄の飯を食ひたる前過者なりしと、時節柄苦々しき珍事なりしと云ふべし

●故服部氏葬儀と記念碑 故服部綾雄氏の葬儀は去七日柔港に於て執行され會葬者數千名に及びたりと尚同地在米日本人會は故人の功績を後世に傳へんとて一大記念碑を建設する事に決議せりと

●皇太后陛下御崩御公電

珍田大使を經て當地總領事館に達せし公電

皇太后陛下四月十一日午前二時十分青山御所に於て崩御あらせらる 同十二日より三日間廢朝仰出さる

●御大喪に關する公電 去十一日當地總領事館に達せる御大喪公電左の如し

大喪に關し左の通り來電有之候に付茲に及通報候

四月十一日來電

即位の禮及び大嘗祭は登極令第十八條により既に取定の期日に於ては之を行はせられず

諒闇中は即位の禮及大嘗祭を行はず

同日來電

諒闇の期間は大正元年閣令第二號に依る、今回の諒闇は一ヶ年にして三期に分ち第一期第二期は各五十日とし殘りし日數を以て第三期とす

大喪には皇族及臣民共に喪に服す

閣令第二號

皇室喪服規定其他別段の定あるものを除く外大喪中の喪章左の通り相定む

和服、衣服の左胸に蝶形結の黑布を附す

洋服、左腕に黑布を纏ふ

大正元年八月一日 內閣總理大臣 西園寺公望

大正三年四月十三日 在紐育 帝國總領事館

◉總領事の弔電 皇太后陛下御崩御に付當地日本人會及び紐市日本人會其他より誠惶哀悼の意を表し來れるに對し飯島總領事は外務大臣宛にて左の吊電を發せり

皇太后陛下崩御の報に接し管內在留邦人一同深く恐懼、謹て哀悼の意を致度旨願出たるに付可然御取計相成度候也

大正三年四月十一日 紐育總領事飯島龜太郎

外務大臣宛

●飯島總領事轉任說 別項所載電報の轉任說に付飯島總領事の語る所を聞くに赴任後日尚淺き飯島氏の如き或は赴任後僅かに三ヶ月に滿たざるオツタワ總領事矢部氏の如きが轉任さるゝ筈なし、尤も來補は本年十二月頃轉任となるやも知れずと

●「何かの間違にや」の記事に就て 前號紙上「何かの間違にや」と題し西部新聞の記事に關し記する所ありしが右は先般紐育サン紙の依囑を受け日本視察の途に就けるゼー、アイ、シー、クラーク氏の事にて氏はウオールド紙創刊時代より各種の新聞事業に與り記者として將た詩人文學家として令名あり曾て桑港「鉢の木」を英詩に作りて高評を博したる事ある人にて氏の日本通信はサン紙の外三十餘種の新聞紙に掲載さるゝ筈なれば氏が故國朝野の名士に會し又は實情を研究して得たる結果を米國人に紹介しなば日米國交上稗益する所大なるべしとて氏の親友なる高峰博士は在邦朝野の名士に宛て夫々紹介狀を發したる由、西部新聞の記事は右事實を聞き誤りたるものならん

●可愛くて堪らぬから無理に子供を取返さる 前々號の紙上「愛兒を取返さんとす」と題する記事は事實相違の点あれば正誤旁改めて報導せんに子供の兩親なる橋本岩五郎氏夫妻は目下當市より程遠からぬ田舍にて農業を經營し居る人にて四年前費府附近の富豪アダムソン氏宅に就働中一子富士子（四才）をもうけたり然るにアダムソン家には不幸にも夫婦の間に子供なき所より同夫人は富士子を可愛ぎる事一方ならず起居飲食万端實子も及ばぬ程に取扱ひ果ては橋本夫妻に向つて養女に呉れよと申出つるに至り同夫妻が昨年同家を辭する際にも今少しの間此儘にと無理往生に預け置かしめたる次第なるが其後富士子かういいしく育つにつけ橋本氏の妻女は先方が欲しがる程取り返したさの念は增し「例令百万圓積まれても子供は決してやりませぬ」と只管氣に病みて健康にさへ差障を來さんとする時も時、國許に遺し置きたる長男の岩四郎より「御母あさん富士子に會い度くてなりませぬ養女などに遣つては下さりますな」と覺束なき筆もて言ひ越し來りしにぞ橋本氏夫妻は矢も楯もたまらず先月央ばアダムソン夫人を其住宅に訪ひ富士子を返して下さいと頼みたるに夫人は其日より四日目に引渡すと約束し其足にて當地總領事館に出頭の上、橋本は一旦養女の件を承諾しときながら無理に返せと申す故何とか妾に都合よき樣取計ひ下されと泣かぬばかりに懇願に及びたる次第なり、話は後に戾りて橋本氏は約束の四日も經ちたれば夫人止宿中の費府第一のホテル、ベルビュー、ストラツトフオードに出向き約束履行を迫りたるに夫人は富士子欲しやの念に前は富士子を裸體の儘に持つてヤケ半分となり聲も荒らに「ソンナ[illegible]か」と言ひ出せしにぞ橋本氏は夫れで宜敷御座りますと答へたれど夫人は酸の毒藥を[illegible]と言ひ張りて返さず遂に今日に及びたる次第なりと、全く氣の毒な樣にて又美しき話なり

●一宮鈴太郎氏 靜養のため去十四日アトランチツク市に行けり、一週間程同地滯在の上歸市の筈

●臺灣總督府專賣局歐米駐在員三好重彥氏 は過日來任二ヶ年許り滯在すべし

●間宮[illegible]二氏の訃 片桐商店の間宮[illegible]氏は去十六日急性心臟痲痺にて死去す

▲寄　書▼

最近廣告に就て

[illegible]

第一回

▲一般廣告

一般廣告といふと廣告其の者が全國的に普及する樣構成する、又或意味に於て世界的普及も含んで居るのである、即ち一般廣告とは或る一定の物品を小賣商の手を經て販賣するの目的を以て全國一般に廣告する性質の者を指定するので其廣告の遣方は小賣廣告の樣直接的性質を持たず、何れかと云ふと間接的な性質を帶びて居る、而て小賣商は一般廣告者の廣告せし物品を店頭に飾り部屋顧客に販賣す之れを例令て見ると一般廣告は物品の廣告の機械で小賣廣告は機械の輪齒の樣な者である、

是に依て見ると一般廣告の主腦目的は其の商行物品の品名なり、特色なり、商號なりを一般公衆の潛在意識に叩込み、彼等が買ひ物の必要に迫られた際に夫れを思ひ出せる樣に構成記述するのが大主目で且つ又常に公衆の目前に於て吾人の商品の印象に務めるのである、斯樣な方法は物品の需用者の數を增し且つ廣告者に於ての功能に依り製造力を經濟的に進め且つ多大の費用を消費するにも拘らず尚幾大の利益配當を收得しつゝあり

記憶法

經驗ある商業家が此の記憶法と云ふ事に依て心理上廣告作製に應用する場合先づ次の樣な考案を提出するものとす

如何にして自分の記憶力を增進せしむるか

如何にして自家製品を廣告し公衆の記憶に存在せしむるか・

記憶の存在、不存在と云ふ事は、最もこの留意といふ事に依るので、例令不記憶の人と雖も好記憶力を增進する事が出來得る、其の事實は諸君も御承知の通り當米國及び日本にも記憶法を教へる著名の士が所々にある、彼樣に記憶と云ふものは人性の本能で無く各自方法の如何に依つて改善し且つ增進する事が出來得るのである、今茲に普通一般古來より言ひ傳へられし例と心理上よりの解釋に依る四つの方法を記述して見ると

第一反復　第二興意　第三聯結　第四巧心の法

紐育大學生討論會(承前)

—寄書—

傍記者

第一辯士は五分間の剩餘時間を得て前言に國是たりとも憲法たりとも時代の要求する處直ちに改むるの可をし論じ[illegible]排斥すべきを主張す、而して甲論乙駁口角沫を飛ばし舞論[illegible]の有樣時々止まざる事數刻にして時針十時半を報ずるや夕立の過後を思はしむ、之より審判の批評に入る、先づ幡氏起つて討論の出來ばへを賞し併せて今後の研究を希望す、次で境野氏可否兩側の言論を批評し議論の政治上に及ぶ事少なきをいひ併せて長所を賛す、增澤氏最後に一般的人道正義に偏せるを評し經濟上に外交に當面の問題に留意せざりしを惜めり、茲に於てか休憩中十分の時間を以て審判役の三氏は別室に至りてデシジョンを爲したる結果增澤氏は反對論の要点を指摘して

一、國際上對等國として日本移民も歐州移民と一視同仁たらざる不可

一、日本人は事實上米國の生產業に貢献あり

一、米國の東洋に於ける發展は日本を通せざるべからず

排斥派の要点としては

一、異人種の集合は國家の基礎を危からしむ

一、低廉なる勞働者は米國民の勞銀を下落せしむ

一、米國は白人の土地なり國家の自衛上黄色人種を容るべからず

考ふるに吾等米國民は日本移民の排斥を望む之れ米國の民意なり國法上公論即ち民意の向ふ所に歸せざるべからず而かも國家自衛上排斥すべきは理論の示す處依て審判は排斥するを以て可と判決す、茲に於て一同握手して茶話の與に入る記者は偶々增澤氏の注目する所となり記者の諸命にて已むなく見聞のまゝを記せしに過ぎず(終)

妾の告白(一)

寫眞結婚失敗のエス子

▲有名な成功家　妾が熊本の某裁縫專門の女學校を卒業したのは一昨年の四月であります卒業後間もなく父の友人で東京に居る人から妾の縁談の事に就て父宛に手紙が來ました其相手といふのは熊本縣▲郡▲村の出身で二十年前實弟をつれて米國に渡[illegible]果實園を營み今では日本人間で有名な成功家として隨分羽振りを利かして居る人ださうで本人の兩親は七年前から東京で暮して居るとの事であります、妾の兩親は此手紙に接してから二三度先方へも照介し妾のためには此上もない良縁だといふので兩親も非常に進み妾も亦進んで嫁ぐ氣になりました、米國、成功家、自働車、洋裝、大きな家、賑かな町、これ等の想像が活動寫眞のやうに胸に映りまして世界の幸福が自分一人に集まつたやうな氣が致しました

▲愈寫眞の交換　先方の身元や親類關係等を更に調べた上に愈寫眞の交換となり妾の良人たるべき人の寫眞は[illegible]妾の宅に着きました、見ると奇麗な自働車の横に微笑たへて立つて居る紳士、いよ〳〵結婚の相談も纏まり熊本を出發して一應東京に居る兩親の家に行き米國では交際[illegible]くせねばならぬといふので或教師に就て西洋の禮式や英語の會話を稽古する事になり暫く兩親の家に滯在して樂しき日を送つて居りました米國の良人の許からは續い〳〵米國實業寫眞や事務所の寫眞などを送つて來て妾の心をそゝつて居ました、妾は飾りの樂さうれしさに知る限りの友達に妾の結婚の事を吹聽して友人間の羨望の的となつて居ました

投書籠

▲新聞やさんは目が利くやうで案外迂濶なもんさ、氣をつけて探せば市内到る處に怪しからん三面種があります、曰く某柱庵曰く某クラブ曰く某旅館曰く某々會ハッコー〳〵(素人探偵)

▲毎週二三度態々汽車賃を遣つてニュージャージー下んだりの某紳士宅へ繰りに出かける[illegible]先生御苦勞樣ヨイショ(見て來た生)

▲當々結婚ださうなやネ第一女の方から參つてるんだから仕方がない今にアノ色魔から棄てられてメソ〳〵泣くかと思へば可哀想だよ(八十何丁目生)

▲欲張りの鬼婆○○も年貢の納め時が來たと見へてトートー棄てられたげなドーセ法律違反をやつて薄野呂男に一杯喰はせる位の婆だから此位の天罰は當り前だ、尤も棄てた男も其親類も餘んまり感心した方でもないよ

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office,
as second class matter under
act of March 3rd 1879

育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

依然たる小島國民

外交無能、外政刷新を連呼するは當路爲政家を鞭撻激勵する一方法として在野政客及一般國民の役目ならん而かも吾國民が單に當局者攻擊に巧みなるのみにして所謂「國民外交」なるものに就ては全然自省自戒の觀念を缺ぎ就中隣邦支那及朝鮮、臺灣等の人民を遇する態度に於て殊に其甚だしきものあるは識者の常に慨嘆して止まざる所なるが多年支那大陸各地に在りたる官吏新聞記者の語る所を聞くに、支那に在留する日本人は官吏、實業家、浪人を問はず一般に支那人民を以て一種劣等の人種なるかの如くに蔑視し、彼我の交涉取引は素より日常の言語動作に至る迄著しく横暴不遜の行爲多く、支那人中の有力者は朝野共に内心歐米人の[illegible]を慣ほり機會だにあらば日本と提携して西力東漸の勢ほひを挽かんとの念なきに非ざるも一般人民及血氣に逸やる學生等の日本人に對する反感は有識者の企畫に一大障害となるの傾きあり、且つ日本に遊學せる學生等は感情上よりすれば少くとも日本贔負の支那人たるべき者なるに本國に歸りたる以後の彼等の多くは吾國に對し却て反對の言動に出づると[illegible]からざるがため吾政府の支那政府に對する好意的提携も往々にして[illegible]手の誤解を招き狡猾なる第三者に乘ぜらるゝことなきにしも非ず實に遺憾至極なり、尚臺灣に在る邦人も殆ど同樣の態度を以て島内の人民に接する有樣なれば島民の反感は益々增し遂に有名なる陰謀事件を發生せしめたるが、朝鮮は更に甚だしく在留邦人の暴慢は言語同斷にして日本人店員は顧客たる鮮人が商品の價格を値切る場合、亂暴にも拳を擧げて客を毆打するなどは珍しからずと云へり

如上の事實は、吾國仁俠を標榜する「日東君子國」乃至「武士道國」民として眞面目を自ら侮辱したるものにして其ケチ臭き島國根生を臆面なく暴露し、西人の所謂「ビッグヘッドチイション」の諷刺的惡罵を甘受したるものに非ずや、日露戰役以來亞細亞大陸に國する諸民族が勃然として覺醒の機運を釀成し、日東帝國を仰ひで白禍の桎梏より脱せんと試むるに至りしも一に吾國民の熱烈なる犧牲的精神と其祖先より享け來れる赫々しき仁俠、勇武の氣象に依賴せんとするに外ならず、往時西班牙人は其極盛時代に於て殖民地の土民を遇するに極端なる抑壓政策を以てしたりしが、其餘弊は延ひて後世子孫に及び、征服以來約四世紀を經るも猶且所屬領民の親服を得る能はず遂に今日の衰運を馴致するに至れり若し吾國民にして所謂國民外交の妙諦を看取するの明なく漫然敖慢無禮なる高壓的政策の舊夢を繰返すが如き事あらんか其弊害の及ぶ所亦拾收すべからざるに至り、隣邦與國の信頼は遂に雲散霧消するに至らんなり

拾把一束

卓郎

▲四百大の新聞に論說、雜報、日本近信、人事往來等をチャンポンする事故折角載せ度しと思ふ記事さへ[illegible]るゝ事あり、殊に近來の如く故國の政變、米墨關係の切迫等讀者の注意に値する事件の續發する今日此頃にありては流石に尊とき小生の名論卓說も揭載する餘白なき儘不得已[illegible]拾把一束として時事短評を試み可申候

▲愈々出でゝ益々拙なるものはウィルソン氏の對墨政策に候、ギャッリン購入の爲め上陸した水兵が一寸の間拘引された位の出來事を國旗侮辱だなどゝ大袈裟に言ひ立て破れ軍艦の二三艘しか持つてない弱國に向つて大艦隊の出動を命ずるなどの茶番狂言は貧乏國の日本などが到底眞似の出來ない藝當にて、鐵砲の彈丸の當らない戰爭なれば大學生や食詰者等が面白半分海軍志願を申出づるも無理ならず候、數ある紐育の新聞紙が慨してウ氏の政策を賛同し居る中に獨りイブニングポスト紙が昂然として忌憚なき批評を試み居候ところ万綠叢中紅一点の觀有之候

▲大隈伯と犬養氏との間に何等かの默契ある可きかとの吾社の想像は不幸にして中らず、最近の電報に依れば犬養氏の態度は新内閣に對し頗る明瞭を缺ぎ國民黨は殆んど四分五裂の狀態なりと相見へ候、犬養氏の精悍なる氣魄は多とすべきも機鋒峻峭稍もすれば群俗の感觸を害し、偏俠の固執時に千載一遇の機會を逸するの傾あるは遺憾千万に候

▲日本人會總會も愈々一兩日の間に差迫り候、在留同胞社會の堅實なる發展を劃せんとて新たに起りし同會が今後如何なる方針に依りて其目的を遂行せんとするかは實に吾等の注目に値ひするところにて特に役員諸氏の責任も頗る重大と存候、乍ながら小生は同會事業の手始めとして家内的勞働に代る可き邦人の實業若くは職業を研究調査せん事を希望致候、若し研究調査の結果良好なる方法なきことを發見せば日本人會は適當なる人物を選んで他に有望なる新發展地を求めしめ家内的勞働者中相當の貯蓄ある者を導いて獨立獨行の人間たらしむるの手段を講ずるは[illegible]策の得たるものかと存候、家内的勞働は青年の向上心を滅却し、發育盛りを杜絶する職業中の最も不良なる職業に御座候

▲西洋婦人と結婚したる友人を訪問したる時は可成會話に英語を用ゐ日本語を話さぬやう心掛くる事が肝要に候、又主人たる者も來客に對しては可成英語にて應對し、夜分のタイムを利用して洋妻に普通の日本語を習得さする必要有之候、然らざれば夫妻の間に樣々なる誤解を生じ易くともすれば夫が原因となりて破鏡の嘆を招くことなしとも不限候

●米墨談判破裂

▲墨國政府頑强　一時平和的の解決を告ぐべく見へしタムピコ事件は兩國政府の交涉遂に不調に了り米國は止むを得ず兵力干涉の手段に出づるの外なきに至れり、即ち去十八日墨國は米國の最後通牒に對し、若し墨國が米國の要求を容れ廿一發の禮砲を發射するに於ては米國も同數の答砲を發射す可く駐墨米國公使オー。ショチッシー氏は右に關する議定書に署名すべきやとの新提案を爲したるが米國政府は言下に之を退け去十九日午後六時を期し要求諸項の確答を爲すべき旨を以てしたり、米國政府が墨國の新提案を拒絕せる理由は、墨國の謝罪砲に對し答砲を發射するは取りも直さずウエルタ政府を承認したる事となる可きを以てなり

▲談判破裂　新提案の拒絕を受けたる翌日墨國政府は斷然米國の要求を拒絕せざるに決し外務大臣ローチヤス氏は一般人民に向つて國家の體面上無條件屈服の不可能なる事を聲明し且つ在墨米人に對し不法危險の行爲ある可らざる旨を戒飾したり

▲米國下院の承認と戰備　爰に於てかウィルソン氏は翌廿日午後三時自ら議會に臨みて教書を朗讀し、事件の發端、交涉の經過を述べたる後正十步の讓步なき所以を說き、更に米國は墨國及其人民に對し秋毫の[illegible]意なく只簒奪者たるウエルタ政府の行爲に反對すと言ひ議會に向つて兵力行使權の承諾を求めたるが下院は三三七對三七の過半數にて之を承認し決議案は直ちに上院に交付されたり

▲上院の討議、修正案通過　下院より交付されたる原案は上院外交委員會の修正を經て議事に上りたるが、マサチユーセット州選出議員ロッヂ氏は少數派を代表して有力なる演說を試みウィルソン氏の出兵理由とする所は其根據極めて薄弱にして兵力干渉の理由と爲すに足らず、殊に其目的とする所ウエルタ一個人にあらずして兇惡横暴米國人の生命財産を殺傷[illegible]しても省みざる山賊[illegible]を除外するが如きは甚だ不可なりとて暗に政府の[illegible]政軍に對する攻擊を[illegible]したる後別に新たなる決議案を提出しルート氏の同案賛成演說ありしも廿二日午前三時討論終結、採票の結果委員會修正案を採用する事に決せり

●べ市占領

▲べ市封鎖命令　上院に於ける決議案討議中、ウィルソン氏は墨國に在る米國艦隊司令長官フレッチャー氏に向つて直ちにベラクルーズ港封鎖の命令を發せり、斯はウエルタ政府の獨國より購入せる野砲二百門小銃一万挺彈丸一千五百万個を搭載して廿一日べ港に到着の豫定なるジャマンロイドライン汽船イピランガ號を取押へんがための必要に迫られたるものなり、イピランガ號は同日到着しフ司令長官の命令の下にべ港々外に碇泊中なり

▲米國陸戰隊上陸、占領　封鎖命令を受けたるフ司令長官は廿一日直ちに陸戰隊を上陸せしめ稅關、郵便電信局、停車場其他の官衙を占領したるが所在に散布せる墨兵等の不規律な小抵抗ありたるのみにて米軍は難なくべ市の大半を占領せり、米兵の死者僅かに四名傷者廿名、墨兵の死者二百名を超ゆる

◉在紐墨國總領事の氣焔

在紐墨國總領事マヌエル デ エステバ氏は新聞記者の米墨戰爭に關する質問に答へて曰く、マデロ政府顚覆の際米國より實情調査のため墨國に派したる陸軍將校は余に語りて米墨開戰の曉き米國は三十萬乃至五十萬の兵員と五百万弗の軍費を要すべく戰爭は五ヶ年を要すべしと云へり、現時の狀勢より見れば米國は疾くに此事あるを豫期したるものゝ如きが大統領の特使リンド氏はウエルタ將軍より豫期の如き待遇を受けず非常の反感を以て歸國せしが爲め米墨關係をして一層險惡ならしめたり、吾等墨國人民は其敵手の何人たるを問はず上下一致して自由のために戰ふ可く就中メキシコ印度人は天佼の闘士なれば死に至る迄屈服せざるべし、余の信ずる所に依ればカランザ、ビイヤ等は中立の態度を採る可くウエルタ將軍は彼等の援助を受くるの必要を感ぜざらん、某將校は余に語りて曰く、ウエルタが米國々旗に對して謝罪砲を發射するは無用なり何となれば今日之を爲すも米國は明日更に新たなる口實を以て墨國を苦しむるに至るべければなりと、兎に角米國の沿海封鎖は疑もなき戰爭的行爲なり

日本と米墨係關

▲アーサー、ディオシー氏の意見　米墨關係の破裂に乘じ日本が何事か爲すあらんと試みざる可きやとは目下英國諸新聞紙上に於て揣摩しつゝある所なるが右につき日本通として有名なるディオシー氏は曰く、米墨關係に對し日本が多大の興味を以て注意しつゝあるは勿論なりと雖も此際日米兩國の關係を阻隔するが如き手段に出でざるべきは疑ふを要せず乍併日本國民の同情は墨國の主權者若くは大統領の地位を希望する野心家の何人たるに關せず墨國全体に向ひ居る事は記憶せざる可らず、何となれば墨國は有ゆる機會を以て日本に好意を表せしのみならず日本人は其移民たると商人たるとを問はず一般に於て歡迎せられ、特にチャパス州の如きは多數の日本人移住者ありて土地を所有し農業に從事するの有樣なればなり、斯の如く歡迎せらるゝ日本人が米國西部の情態と比較して墨國に同情するの念慮を生ずるに至るは自然の勢ほひなりと云はざるべからず、墨國民の日本に對する好意が排米觀念の結果なるや否やは俄かに斷じ難き所なるも多數の墨國人は米墨戰爭の起る場合、日本は墨國の有力なる味方なるべしとの空望を抱き殊に日米關係の危殆を叫ぶ無責任なる黃色紙の謬れる報導は如上の觀念をして一層高からしむるの傾あり、素より日米兩國間には早晩解決を要する重大なる懸案ありと雖も而も兩國間に戰爭の慘禍あるべしとなすが如きは今日の場合到底思量の外なるのみならず幸にも兩國の識者は極力兩者の平和的交情を維持するに努め居るが故に上記墨國人の空望が結局水泡に歸すべきは言ふまでも無き所なり云々

東京電報

御大葬公報

（廿二日、西京經由着電）

皇太后陛下御大喪は來る五月廿四日、廿五日、廿六日に行はせられ〔御〕斂葬地は京都桃山と定めらせしみ〔給〕し御大葬の重なる儀式は青山〔練兵場〕に於て行はせられ〔靈柩は〕廿五日〔夜京都〕へ〔向け〕發輦あらせらるゝ筈にて〔御〕六日〔桃山陵〕にて〔御〕埋棺の儀〔を〕行はせらる

其他任命

〔親任式〕は次の如く〔執行〕せられ〔た〕り

内務次官　下岡忠治

内閣書記官長　江木翼

警視總監　伊沢多喜男

尚中正會の領袖花井卓藏氏は法制局長官に推薦せられしも固辭して受けず

御即位禮は明年

御大禮御擧行

〔政府は〕皇太后陛下御崩御のため今秋の御即位大禮〔を〕明年〔に〕延期〔し〕本年十一月〔に〕御擧行あらせらるゝ〔筈なりしも〕…〔明〕年十一月〔に〕御擧行あらせらるゝ〔こと〕と〔な〕れり

●大隈内閣と各〔方面〕の操興　大隈伯に對する全國の人氣は極めて好良〔にして〕新内閣も〔同〕情を受け〔て〕操業〔を〕爲すに〔至〕れる〔が〕一般に高値を示し〔居〕れり

●政友會愈々動搖を始む　政友會は松田長谷場兩氏を失ひたるに加へ今回大隈伯の奮起により三派合同成りたるため黨内頻りに動搖し一部の分離を見るに至るべしと觀測さる

●非政友三派聯合の一頓挫　大隈内閣を援助するため非政友三派聯合の運動は過般來進行中なりしが國民黨は飽くまで獨立の態度を持して大隈内閣を援助すべしと稱し居るため此運動は一頓挫を來したり去れど全國民の輿論は熾んに同内閣の出現を歡迎し居れり

犬養木堂

竟に入らず

國民黨領袖犬養毅氏は入閣を拒絶せり是れ既に政友會との默契ありての義理立なりと觀測せらる

●國民中正々々不平也　加藤高明男が大隈伯の總參謀として一切を掌握するは面白からずと國民中正兩派に不平を唱ふる者あり

●駒ヶ嶽の葬儀は空前の盛儀　去十七日突然急病にて死去せる西方張出大關駒ヶ嶽の葬儀營まれたるが涼闇中にも拘らず多數の會葬者あり角界空前の盛儀なりき

●大隈内閣に於ける一木喜徳郎氏　大臣組中獨り武富時敏氏のみ入閣したる大臣の椅子におりつきしにも拘らず突如一木喜徳郎氏か貴族院より入閣したるは世上大に耳目を聳動したる次第なるか今政界の消息通の語る所によれば一木氏は一時同志會に政綱を置きし事ありしが表面にては左程活動せざるに似たりしが裏面に於ては同志會の重なる策士にして大浦子が内務大臣時代には内務次官として其信任を得たるのみならず杵公にも山縣公にも少からず信頼され居る故若し大隈内閣に内訌の起る場合ありとせば一木氏が山縣公の内命を受け且つ大浦子に使嗾せられし時なるべし氏は元々憲法學者を以て聞ゆるも最早官僚化したるを以て寧ろ非政黨内閣を喜ぶの徒なり故に官僚の意味を脱したる政黨内閣を喜ばず同志會に依て官僚黨を網羅し優勢となりたる場合には知らぬ顏して山縣公や大浦子は一木氏を使嗾して大隈内閣の内訌を發生せしむるに至らんと云ふ

●陛下の御後を慕ふて自殺　曾て皇太后陛下の御所に奉仕せし豪農藤田徳次郎は陛下の御危篤なるを洩れ拜聞するや忡々の志禁ずる能はず眞白の裝束に身を固め桃山上の寺院に入り一週間ばかり祈り續け偏に陛下の御快癒を祈願せるが一週間の滿終へて山より下り隣村に來り陛下の御容態を尋ねたるに既に崩御されたりとの事に氣も轉倒せんばかりに驚き悲しみ其御後を慕ふて十四日自殺せりと云ふ

臨時議會召集

臨時帝國議會召集の勅令は本月十七日發布せられたり開期は五月三日より

米墨戰爭

▲宣戰布告　ウエルタ政府は廿二日在墨米代理公使オーシヨネツシー〔氏に〕…〔旅〕券を交附し〔米國〕政府〔に〕對し宣戰〔を布〕告〔す〕…〔同〕公使は同日〔メキシコ〕市〔を〕發〔し〕たる〔筈〕なり

▲カランザ米國の撤退を要求す　立憲〔派〕首領カランザは米國のベラ〔クルス〕港占領を以て〔戰〕爭行爲となし若し速に米〔軍〕を撤退せ〔ざれば〕…〔米〕國に對し〔宣〕戰を布告すべしと公言し…

▲ウエルタ氏の〔聲明〕　〔墨〕國は最後まで〔抗〕戰し、國威〔の〕代價を以て平和を購ふ〔こと〕を〔せ〕ずとはウエルタ將軍の豪語なり

▲米國議會〔の〕軍費支出可決　下院は去廿二日政府の要求にかゝる軍事費五百三十万弗支出の件を可決せり

▲倫敦株式市場に影響　ウエルタ及カランザ兩將相合して米國に當るべしとの報傳はるや倫敦株式市場に於ける墨國鐵道株は俄然非常の低落を見たり

●米墨戰爭と米國諸新聞紙の論評　紐育諸新聞はイブニング、ポスト、イブニングメール新聞を除くの外一般に大統領ウイルソン氏の方針を援助しつゝあるが英國諸新聞の論調は概して米國政府の責任の重大なる事を論じて暗に胸中の不平を洩らし獨逸諸新聞は寧ろ嘲笑的觀察を以て米墨戰爭に對するもの、如し倫敦デーリーテレグラフは曰く

ウイルソン政府は軍事上極めて困難なる結果を發見するに至るべく且つ外交上米國か嘗て遭遇せし事なき難題を招くなる可し

デーリーグラフキツクは曰く

墨國は今やテキザス、キヤリホルニアの轍を踏みて北方共和國に併呑せられんとしつゝあり

デーリーニユースは曰く

吾人は事態を〔以〕て斯の如く危險に陷らしめたるウイルソン氏の責任を看過する能はざるなり

クロニクルは曰く

吾人はウイルソン氏か兇惡〔なる〕ウエルタに代ふるに兇惡〔な〕るビ〔ラ〕を以てせんが爲に米國民に向つて軍費を供給し鮮血を注がんことを求むべしとは想像する能はず

イブニングスタンダードは曰く

米國の兵力干渉は歐州諸國の歡迎する所なり、英國は墨國に於て既に三〔億〕万弗の資金を投資せるが〔此〕大なる資本を失ふ能はず…〔英〕國は米國〔の〕下に強力なる軍隊に依て〔秩〕序を〔保〕せる〔こと〕に至らん

●羅府日本人問題　加奈陀入國事件　過般日本〔人〕の裁判は加奈陀政府は東洋人の入國を拒絶する權利なしとの判決を與へたるが四百名の印度人は右判決に基き四月十三日上海出發香港經由加奈陀に向ふべしとの報あり、右に對し加奈陀〔移民局〕はニユージーシー州移民局長リード氏に語りて曰く、若し労働者ならばニユージー州法に依り送還さるべし云々、因に印度人を搭載せる船は駒形丸と稱する日本船なりと

●墺帝陛下御病氣　フランシス、ジヨセフ陛下は前週以來御不例にて一時危篤を傳へられしが近來稍輕快の方なりと

●飛行家の衝突　デロイ、ダノリン二飛行家は去十九日飛揚中衝突し、尾部リノ爆發のため滿目觀衆の中に兩人共燒死したりと

●紐育の結病患者　衛生局の報告に依れば昨年中の結病患者數は二万二千六百七十一にして合計三万以上なるべしと

●市長ミツチエル狙撃さる　當市長ミツチエル氏は去十七日警部長ウード法律顧問ポーク兩氏と共に晝餐のため市廳を立出で將に自動車に乘らんとする刹那一名の老人現はれ銃を以て氏を狙撃したるが氏丸は同乘せるポーク氏に微傷を負はせたるのみにてミツチエル氏は幸ひに危難を免かれたり

●米國非愛國黨　萬國勞働黨の首領として有名なるヘーウードは米墨戰爭に關し運りに非愛國的演説を試み黨員は兵隊に行く代りに大ストライキを起す可しと唱へ部下の男女黨員等も市内各所の街路に集まりて遠慮なく無政府演説を爲し數々群集と衝突し居れるが市當局者は冷然として彼等の行動に干渉せず

商業欄

▲下宿屋讓渡したし御希望の方は本社へ問合せられたし

夏場に働きたし　夏期二ケ月間當市附近の玉場又は料理店に土曜日曜の兩日丈働きたし十數年の經驗あり　姓名在社

紐育新報社

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次　日本郵船　大阪商船
シカゴ、ボストン、フヰラデルヒヤ其他東部何れの地方より歸國の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辯

▲在米日本人（英文）河上清氏近著　定價一弗五十仙

紐育新報社

▲母國訪問團員募集
▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滯在約百二十日間
▲詳細規則書あり申込次第進呈
◎注意　送妻又は家族御同伴希望の方は至急問合せを要す
▲飛行家、寫眞師各々一名の加入者を募集す、委細面談

紐育母國訪問團本部
新育市第六街二一參八
主催者　林富平

◉紐市便り　白帽子

アトランチック市もイースター前後より天候回復と共に來遊客頭に増加し各邦人商店も大いに繁昌し居れり

日本人會臨時總會は去四日十九日開會、近藤會長の開會の辭に次ぎ林專任幹事の會計報告あり、幹事下塚米一、内山萬次郎、水谷湊三、林藏次四氏轉住のため辭任を申出て一につき何れも承認せり、夫より會則修正、討議、役員補欠選擧等あり午後十一時散會したるが專任幹事には黒川正氏當選せり

一宮鈴太郎氏は目下近藤氏宅に在り下塚米一氏は紐育近藤支店支配人として勤務、赤羽筆邦書伯は當府日本商店内に揮毫中なりしか此程歸市

●乘船客に對する注意　從來地方より日本に歸る人か太平洋汽船會社の通し切符を買ふて桑港に出て來るも何等かの支又へありて該會社の船に乘り込み得ざる時次期に出帆する同會社の船なとでは乘り込み得ざるため、如何考へ貴重の時日を費して其□を得らるか或は切符を割引して□る等の事を爲し居たる様子なるも東洋汽船會社桑港支店にて語る所に依れば此場合に於て東洋汽船會社の船切符と替ふる事は同會社にて取計ひ決して一文價の損をも爲さずしてすむ事なるを以て早速同會社に申出づべしとの事なり尚又□の爲にと同會社の語る所に依れば通し切符にては決して何々會社船と確定し置かずしてパシフヰックメールの船或は東洋汽船會社の船と記し置く方便利なりとの事なり

●歸朝者と横濱の惡番頭　昨年當市より歸朝したる和歌山縣人鈴木榮太郎氏は船中にて價格二百弗餘のダイヤモンド指輪をチョロマカされしが其後再渡米の際横濱市花咲町一丁目旅人宿大港館の番頭小林嘉藏にモーターサイクル一輌を日本丸に積み込み呉れよと依頼したるに右番頭の嘉藏は友人と共謀して横着にも同品を失敬し同市の自轉車商森川淺次郎へ百九十圓にて賣り飛したる事此程發覺に及び直ちに投獄されたる由、尚嘉藏は在布哇の廣島縣人より送り越せる縮緬類を横領し又止宿人より六十餘圓を生人に秘して消費せる等不都合なる惡番頭なりと、歸國者は注意すべし

●桑博協贊會中止　桑港大博の日本部引受を目的として起れる同地在留有志の協贊會設立計畫は故國政府の方針態度不明なるの故を以て一先中止する事となれる由なるが在桑同胞中には沼野總領事の態度を以て甚だ不親切なりと評する向多し

●觀光團長の遊興費踏倒し　昨年十月□各地觀光中なりし櫻府觀光團員四十三名の一行は十三日午後二時横濱解纜のサイベリア號にて歸米する事となり何れも午前八時乘船したり然るに一行中の團長水谷萬嶽は昨年十二月十四日夜森田代議士の紹介にて東京京橋區出雲町九待合臺美家事報道カツ方に遊び三十四圓八十錢の遊興を爲したるが其後再三催促を受けたるも支拂はざるためカツより京橋署に詐欺の告訴を起され同署の清谷刑事の口利にて一先づ告訴は取下げられしも相變らず支拂ふ模樣なく遂に該遊興費を踏倒して歸米せんとしたるを耳にしたるカツは非常に憤り十三日朝橋清水上署に到り再び詐欺の告訴を爲したるため水谷は船中より拘引され目下取調を受け居れるが團長拘引のため觀光團一行は方ならず狼狽を極め居れば（中央紙）

●日本人會總會は豫報の如く愈來廿七日午後八時カーチギーホール音樂堂に於て開會する筈にて會場委員の囑託其他の準備も已に整ひ居れりと尚當日は例の日本時間を採らず例令數名の出席者あるも正八時には必ず開會の上十一時の館則時間までには諸般の事項を議了するとの事故會員非會員を問はず定刻までには間違なく出席あるべし

●高見豐彦氏へ紀念品贈呈　高見豐彦氏が日本人共濟會の創設者として將た同會々長として多年在留同胞のため盡力せし事は世人の普く知る所なるが同會は今回日本人會と合併する事となりしを以て共濟會よりは同氏積年の功勞に酬るため紀念品としてラブーンカツプを贈呈する事に決し委員諸氏は本社特別廣告にある通り會員有志より右紀念品購入費の募集に着手せり、寄附金は一弗以下とす

舊共濟會會員諸君

共濟會長高見豐彦氏多年の功勞を表頌するため本會より記念品としてラビングカツプ贈呈の件本會春期大會に於て決議相成候所、舊會員有志諸君は右贈呈品購入費として左記の條々御心得の上應分の御寄附相成度此段御勸誘申上候也

一、寄金は一人金一弗以下とす
一、送金所　ウォール街五五横濱正金銀行出張所

高見會長頌德表頌費募集委員
天野重次
中原十一
甲斐健一

●東京電氣株式會社營業部長綾井正彦氏は過日來市日本俱樂部に在り

●林田竹次郎氏　村井吉兵衛氏の甥なる同氏は銀行業研究のため過日來市一年間滯在の豫定なり

●笠井坂野洋服店の共同、移轉、擴張　本紙第三面の同店廣告を見れば春服でも夏服でも上等舶來の品を安價にて調製する氣持が起る、及同店の擴張匆々の事故人氣取りに勉強するのは知れ切つた事なり

●新廣告の利目かあるか　森村組は夏場向商品一切本年に限り特別安價にて賣する由に□の下を見れば本當に安い上等の品を買はぬ者は馬鹿なりとの考か起る、茂木桃井商店は破天荒賣出しも其通り、ミセスマーセル、グンシング教授に至つては青年諸君の見逃すべからざる所、提灯仍而如件

●近藤賤男氏の事務所開始　同氏は今回當市チャーチ街五十番に於てエヂアチツク・ヰイビユローなる事務所を開始せり、本店は大坂に在りて工業の大日本、電氣評論の兩雜誌を發行す

●菊地氏東陽の新住宅　西九十丁目二一七に移轉せり電話番號は通り

●故北村福松氏一周忌　廿五日河瀨旅館に於て一周忌の追善供養ある由

●セオドラ清水君　君の爲に好き事あり大至急居所を知らせよ、若し確たる返事せざるに於ては公けの手を煩はすべく君は反對に非常の迷惑を受くるに至るべし

●古田土雅堂氏の慶事　森村組の同氏令閨には此程男子分娩、母子共健全なり萬歳

●皇太后陛下御大葬遙拜式　五月廿六日總領事主催の下に日本俱樂部にて在留同胞の遙拜式を行ふに決せり

●ビリヤド競技と山田氏　去廿日以來ホテルアスターに開催中なる新式ゲーム十四、一ブ・クラインのチヤムピオン競技廿二日迄の經過は左表の通りにして山田氏はサツトン氏に勝ちテマレスト、モーニングスター兩氏に敗を取れり

	勝星	負星
ホツフ	四	○
デマレスト	三	○
モーニングスター	二	一
サツトン	二	一
山田	一	二
セーフワー	一	二
スロソン	一	三
クリン	○	三

讓受廣告

私儀今般大井田廣次氏經營に係る青年館下宿讓受け諸事改良の上從前の通り左記の名義にて營業仕候間不相變御引立の程奉希上候

千九百十四年四月一日

青年館　小田俊三郎

丑育の日本人(十二)

輕業師なげき　飛耳張目生

▲今より約十七八年前迄は日本人排斥もローカルクエッションとして加州の一角に限られ獨り藝人のみならず凡ての同胞は極イーヂーに上陸が出來、日本輕業の景氣も素晴らしいものであつたから甘い味を占めたボス連中は日本から七八ツの子使を澤山仕入れて來て隨分苛酷な待遇をしたものだが其後段々排日熱が米國全土に漲るやうになつて以來例の紳士協約が成立ち藝人仲間も普通勞働者と見なさるゝ事になつてボス諸君も大ひに施右頭れて來た　▲然るにだ、人間窮すれば道自から通ず、流石牛馬の眼を拔く輕業師に於てをやで、桑港、シヤトルに上陸困難と見て取つた彼等は呼寄せる男女をば妻にしたり養子に作つたりして旅行免狀を受け一旦英國に渡らしめて夫から比較的上陸の容易な紐育に連れて來るやうにした、尤も今日では馬鹿正直な當局者がイヤに八釜しく吐かすので流石のボス連も弱り切つて居る　▲米國に於ける日本輕業に就て僕の感想を云はしむれば藝が餘りに月並で、足藝にしても、逆立にしても、綱渡りにしても、丸切り百年前其儘の物を行つて居て更に改良進歩の實を現はして居ない事だ、馬鹿な子も三年經てば二つになるといふ諺もある通り日本に於てさへ月並の手品輕業は田舎の鎭守祭向と相場が極まつた今日到底新しい物を好む米國人の御客様に「御目留りますれば」流の古藝を御目にかけた所で大喝采は思ひもよらずおつき合のパチ／＼さへして呉れる篤志家もなくなるといふものだ、道理で近頃はサーカスの廣告にも出されぬやうになつたし、僅かに雜魚もトゝ交り、枯木も花の賑はひと相場が段々下落して行く有樣である　▲併し流石は黄金國の北米利加丈に給料は前にも述べたやうに家内的勞働者や小賣雜貨店などの及ぶ所でない、だから僕は在留同胞中の不得要領君即ち借金をしては働き、働いては亦借金をし、年が年中宿屋奉公、桂庵常置委員となつて可惜青年時代を無意味の生活に沒頭する人達に向つて寧その事藝人になり給へと勸める、勿論これは不得要領諸君にのみ對しての忠告であつて苟にも遠大の希望を藏する有爲の青年とか或は比較的眞面目な人間となつて俯仰天地に恥ぢざる生活を送らんと望む人には却つて場末の藝人などになり給ふなと忠告する　▲僕などが小供の時分即ち舊幕時代には俳優、藝人は河原乞食といつて穢多非人同樣社會から獸物扱ひにされたものだ、女優が女學生の虚榮心をそゝり、ブチャ商賈の藝者變せて大臣宰相の奥方となる今日の世の中から見れば全く桑田碧海の感じはするが深く考へて見ると河原乞食と輕蔑た時代の反面には峻嚴にして犯す可からざる道德律、或点から云へば、身の利益の爲に公事をないがしろにする今日の時代には見る事の出來ない一種の倫理的權威が人心の奥底に横はつて居た事が分り、同時に藝人商賈なるものは時の古今を問はず少くとも無垢の青年少女を魔道に誘ふ階梯となるものだといふ事が知られるのである　▲天才、大藝術家となる人は別として米國に於ける普通の役者藝人なる者は日本の舊幕時代に於ける河原乞食と少しも違つた事はない、就中旅役者や場末の者に至ると後家をまかして金を取る、娘をかつ拂つて墮落させる、肉屋、料理屋を喰ひ倒す、呉服屋帽子屋を踏倒す、何でも彼でも他人の品物をロハで頂載するとは役者藝人の年中行事と心得て居るから助からないのだ、新樣な不屈千萬なやくざ者と一所になつて一所不住の生活を送る中には自身も何時しか本物の河原乞食に化けて仕舞ふ、在米日本人の藝人仲間に道德堅固な者が澤山あるかと聞く者があつたら僕は無いと答へるに躊躇せぬ

妾の告白(二)

寫眞結婚失敗のエス子

▲昨年十一月の渡米　住なれた日本を去りて愈々米國へ渡つたのは忘れもせぬ一昨年の十一月であります、シスコの阜頭には妾の良人たるべき人と其弟の二人が迎へに出て居ました、妾は良人の姿を始めて見ました時先づ驚いたのは寫眞で見たよりも實際の歳か餘程老けて居た事でありますが少々歳か老けて居る位は妾は問題とは致しませんがジョスに着いた妾は兄弟の人と共に自働車で賑かな街を通り或る大きなホテルに着き一晩泊りしてサクラメントの大きなホテルに入り三四日間は市中の見物に暮しました良人の話に依れば兄弟で經營して居る果實園といふのは市の附近にあるさうで良人は監督のため一週間に二度宛顔を出し何時もは弟か一人で世話して居ると申します其果實園へ兄弟二人に伴はれ自働車で見物に行きましたのは、サクラメントに着いてから十日目頃でありました

投書籠

▲某開教師其主にかゝる教會止宿部の經營方針を公告して曰く、私の所に來て宿泊を望む者があります時は社會主義者と見たら君所へ送り、バクチ打ちと見たら下宿屋にやり、信者と見たら宿泊を許します云々、一体紐育の教會は信者の御祈禱所に止つて惡人を善に導く所ではないと見へる(僞善坊主)▲近頃何處の宴會に行つても何々樣と書いた札をチャント膳の上に置いてあるがアレは主人の方から席順で御客樣の社會的地位を定める趣向の振舞に見へるから甚だまづいと評した男が居た、成程さう云はれて見れやアレは一廉のやり方じや、ひどいのになるとテンボールのおやぢが支配人の上席についで居る(一穴探し生)▲赤本の助平は執念深く今に丸系さんを附けねらふよ、大抵に止めた方が宜しうがんしやうぞ(廣島百姓)▲オイコラ馬鹿者アノ女から無闇に金を借りるとお仕舞には家も屋敷も親も子も取られるぞ(下宿屋浪人)▲紐育チユ所は妙な所で尊の古手は日本の生娘よりも賣れるかいと、所變れば品變る、一番後家輸入株式會社設立をやつてはだうだい(ウイドーア)▲何だチユーを眞似ろだ大方貴樣はチユーの番頭だらう借金だらけで百の金にも困るやうな内幕をしてやがつて眞似ろもないもんだ、貴樣達のやうなけだ物を生む位なら米國三界まで來て苦勞はせぬザラ／＼ぬかすな此頓痴奇奴(五十丁目生)▲奥さん／＼貴女のやうにエキサイトすると逆賊の八の頭が澤山に出て困ります、神樂／＼と者はないで少し閑靜に遊ばせな(大學生思ひな女)

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave., N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office as second class matter under act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）一部金五仙　六ヶ月分一弗　一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

誤れる米國の對墨方針

イブニングポスト紙社說

左は米軍のベラクルズ港占領に對し憲政軍總督カランザが米國の不法行爲を詰り米兵の撤退を要求せる宣言の發表されたる當日、ウイルソン氏の對墨政策に反對なるポスト紙の紙上に現はれし社說なり學究的外交論者に對する頂門の一針といふべし

陰謀者、は煽動の結果として戰爭の起りし場合に於て其當局者たる者は德義上世人の非難攻擊を受くるは素より當然なりと雖も若し當局者が政策上の失敗よりして戰爭を惹起したる場合に於ては其責任を負ふべき當局者其人は世人の非難攻擊よりも寧ろ同情憐憫を受くるを常とす、因[illegible]は固よりして戰ふの意なく只管戰爭を避けんと欲し、努力する所ありしに不拘、デリケートなる難問題の[illegible]ケイを把握するの能はず、而[illegible]後の形勢を達觀するの明なき結果誤れたる政策を立てし不知不識の間遂に戰爭を誘致したるが故なり、若し世に斯の如き事實發生する事ありとすればウィルソン氏の對墨政策は蓋し斯かる場合に該當せるものに非ずして何ぞや

米墨戰爭の發生に關してウ氏を非難する者の言を聞くに彼等は戰爭の原因を以て久しき以前より企畫中なりし併吞策を實現せるものとし、且氏が墨國に多大の資本を投下せる資本家の手先となりて姦猾なる權略を弄したるものなりとなすなり、乍併斯かる觀測は如何なる方面より解釋せんと試むるもウ氏の現在の地位と其人格に顧みて到底想像し得る所にあらざるは勿論にして吾人の所見を以てすれば戰爭の原因は要するに吾當局者が[illegible]の手段を誤り些々たる國旗事件を固執してウエルタ政府の唾棄する所となりたる結果に外ならざるなり

ウイルソン武雷安の兩氏が墨國問題に關して寧ろ的確の見聞を缺き居たりし事は世人の疾くに熟知せる所なりしが今や頼とせる憲政軍の首領カランザの宣言により兩氏の希望は水泡に歸し當面の事實は正に兩氏の不明を證して餘りあるに至れり、カランザは「ベ港の占領は深厚なる友情の表識なり」てふ武雷安氏のドクトリンを渴仰する能はず却て米國の軍事的行動を以て「國權の侵害」なりとし米兵にして速かに撤退するに非ずんば其結果は前古未曾有の血戰を誘致すべしと暗示せり、念ふに華盛頓政府がカランザの此威嚇に會ふてカランザ、ブーノとの交涉に關し如何に周章狼狽せるかは國境武器輸出禁止條例の復活に徵しても之を知るべく且つウイルソン武雷安の兩氏が今にして始めて自家の不明を悟るゝ共に、事變の發端以來墨國及墨國人民の實情に通せる人々の先見の明ありし事に想到して愕然自失せる狀態を想見すべきに非ずや

墨國に深き利害關係を有する加州選出議員ケント氏は去月廿日の議會に於けるウエルタ膺懲の動員令承認決議案に對し簡短にして而かも有力なる反對演說を試みたるが氏が演說中指摘したる豫言は一々事實となりて今や吾人の眼前に展開せられつゝあるなりケント氏は曰へり

「此決議案は正に戰爭を意味するものにして決して平和を意味するものには非ず、而して斯は必ずしもウエルタ一人を敵とする宣戰の布告には非ずして、實は全墨國人民を敵とする一大宣戰の布告なる事を忘る可からず、干戈一度び兩國の間に動かんか忌むべき人種的惡感の念と、鬱結せる歷史的鬪爭の破壞力とは再び玆に復活され、吾國民は已むなく墨國を征服して之を支配せざるべからざる運命を招致するに至らん、或人をして見せしむれば此決議案は平和の爲の決議案なりと見ゆべけんも、而かも墨國に在住して其國民の如何に猜疑深き國民なるかを熟知せる余の耳目よりすれば彼等は吾等の行動を目して侵略の野心に出でたりと爲すや毫も疑ふ可らず、而して吾等が膺懲するの價値だになしとして承認せざりしウエルタ一人の征伐を遂行し得たりし時に於て悲哀、傷心、恐怖、戰慄、荒廢、損害等あらゆる戰爭の慘禍を甘受するの止むなき事となるべし、故に余は吾等が此兵力干涉決議案を通過せしむる事は別言すれば幸福なる天壽を全ふし得べき吾米國市民に向つて死刑の宣告を與ふると聊かも撰ぶ所なきものなる事を堅く信じて疑はざるなり」と

墨國人を知らずして墨國人を輕侮せる事は吾國の對墨政策中の一大罪惡なりき、而して斯はウィルソン武雷安兩氏に始まれるには非ず久しく吾全米國民の間に感染し來れる一種の病疾なり、墨國に在住し或は旅行する吾國民は公然墨國民を輕蔑し憚る所なく墨國人をして益々其排米觀念を增長せしむるなり、加之墨國に使する公使等は其狀態を見て墨國民は到底度し難き國民なりとて斷ずる下劣なる國民の態度に向つては何れの國民と雖も憤慨の餘劍を揮つて飛揚する可しとの謬想を抱き武雷安氏さへも事件の眞相稍や明かなる迄は一米國のベ港占領は血を見ずして止む可しとの樂觀的謬見を抱き、同地の住民は吾軍隊が彼等の財產を押ゆるとを以て特別に友情的なる且勿体なく難有行爲として歡迎するならんと豫期したりしもの〻如し

乍併今や斯る忘想と謬念とは過去の一夢に歸し、熱烈なる墨國人民の愛國心は華府當局者を驚かせり、ウィルソン氏の所謂「墨國人民及墨國政府の區別」てふ學究的兩斷論法は彼等に取りてはツーマッチなり、敵下の如何に强大なるかも彼等の頓着する所に非ず、只彼等の眼底に映ずる所は「國權」の二字あるのみ、念々に彼等は全力を傾注して其擁護に努むる事六十七年前と異なる所なかるべし、昨日ベ港海軍士官學校の生徒等は目に餘る大軍に抵抗して敵へなくプレアリー號より發射せる砲彈の烟と化せしが墨國民は戰爭終るの後此可憐生徒等の無智の勇氣に對して一大紀念碑を建立し、碑文の末尾にイン　ゼ　ノースアメリカン　インベイジョン（北米合衆國侵入の時）の四字を刻して以て殉難志士の面影を後世子孫に傳ふ可きは、蓋し疑ふ無き所なり。

編輯餘談

卓郎

▲過日の紐育日本人總會で、同會役員の選擧に關し在留同胞中最も多數を占むる勞働者中より一名の代表者すら出さゞるは如何にと云ふ質問が出た、一應尤ものやうに聞へて而かも肯綮を穿つて居ない質問と拜聽したが斯る議論はともすれば世人が日本人會役員の誠意を誤解する嫌を釀す恐れありと思ふ、此事に就ては篤四面の飛耳張目君が紐育の日本人を叙する序でに大ひに深刻なる批評を試みやうとせられてゐる、兎に角在留同胞諸君は日本人會の今後の行動を監視すると共に[illegible]然たる[illegible]論を避け、公平にして[illegible]な感情論を試みねばならぬ

▲アルゼンチン、伯剌西、智利三國の仲裁は米墨兩政府の容るゝ所となつた、而かも其仲裁條件なるものが兩者の滿足を買ふに足るや否やは疑問である、米國は飽迄ウエルタの退職を迫るであらうしウエルタは何處までも頑張つて米國干涉の非を成さしめんと努むるであらう、さるにしても一旦國權の擁護を大言壯語したカランザが山賊ブイラの威嚇に會ふて猫の如くに縮み上つた態度は流石に墨國愕迷界の親分である、コンナ下等動物を頼みとして對墨政策の成功を期せんとする學校教員と演說使いは全くド豪い哉である

▲山本伯齊藤前海相の「待命被仰付」は大隈首相の英斷果決を示したもので二大政黨主義を理想とする吾等の大ひに愉快とする所である、只政友會が議運の自黨に下可なるを慮かり世人の豫期に反して議會の解散を避け以て大正五年の總選擧迄に內閣の失政を把握せんと試むるの方針に出でたならば首相は財政、日米、陸海軍等の諸問題に關して大ひに面目を發揮するの必要に迫られ、輿論の向背今に於て俄かに逆睹し易からざるものがあるであらう

▶紐育の宗教團体は下駄屋の毛の生へた物であるとは吾等の常に耳にする所である、言詞や矯激に失するの嫌はあつても箇中多少の味ふ可き所なきに非ずと信ずる、成程紐育在住の宗教家は曾て一度も矯風演說會を試みた例しなく又感化事業に就て何等の企畫を爲した事も聞かぬ、勿論吾輩は矯風感化を唱ふる資格なく又其功果の極めて薄弱なる事を知るものであるが苟にも宗教家を以て自ら任ずる者は自身の職責上少くとも之等の事業に對し眞面目なる研究を試みねばならぬ、近時紐育教會の[illegible]牧師が教會內部の革新統一を成就し更に外部に向つて大ひに動かんとするの意氣は吾人の特に潔よしとする所、吾輩は羊頭狗肉的のヘホクリットを憎むと惡魔外道に對するよりも甚だしきものがある

▲カランザ仲裁提議に同意せりとの報知を受取つた武雷安氏は平和近きに在りと大ひに悅に入つたさうであるが糠喜びとならずは幸ひである

●米墨戰爭

▲エー、ビー、シー三國の仲裁提議　南米アルゼンチン、伯剌西、智利の三國は過日米墨並憲政軍總督カランザに向つて平和調訂の仲介者たらんとの希望を致し何れも無條件承諾の返答に接したるを以て更に休戰の條件を出だし華府駐在の三國公使は目下熱心に運動中なるが仲裁條約の內容は三者の主張を纏めたる上發表するに至る可く何れ相當の時日を要するなる可し

▲三國英佛獨の助力を求む　エ、ビ、シーの三國は英獨佛の三國に請ひ米國をして最初の要求たるウエルタ退職等の條件を取消さしむるためウィルソン氏に勸告せんことを依賴したるも三國は直ちに謝絕したりと

▲遣墨米軍の上陸　フワンストン少將の率ゆる九千の米軍は去廿九日ベラクルズ港に到着し直らに上陸を終へたるが占領以來同市を警備中なりし海軍の陸戰隊に代つて其任に當る筈なり

▲ウエルタ奔竄說　廿九日ベ港着電によれば大統領ウエルタ氏が國外に逃走の目的を以て目下逆旅に準備中なりと傳へたり、右に就き華府に於て噂さるゝ所を聞くにウエルタ奔竄說はウィルソン氏の特使リンド氏が此頃歸米の際政府當局者に語りし所と符合し強ち虛說なりとは思はれず即ちウエルタは財政の窮乏に其極點に達し周圍の政敵は不絕陰謀を廻らしつゝありて彼は万一の時變を慮り巴里に向つて數々送金したる事實あり且つ時運の傾向彼にとりて頗る不可なるの今日彼の國外逃竄說は事實となりて現はるゝやも知る可らずと、尙彼は二百萬弗の私產を蓄積し居れば奔竄の際は一旦太平洋沿岸に出て日本に赴くべしとの說あり

▲華府政府の特色　カランザ承諾の電到るや華府當局者は一同滿足の意を現はしウエルタ奔竄の報に對しては米國は出來得る丈の助力を與へ場合に依りてはウエルタの乘船を供給するも妨げなしとの意見なりと、ウエルタは定めし隨喜の淚をこぼす事ならん

●日本公使の拒絕

ウエルタ氏は米墨談判破裂當時米國代理公使オショネッシー氏に旅券を交附すると共に日本公使に向ひ在米墨民保護の任に當らん事を依賴したるが安達公使は體能く其依賴を斷はり遂に西班牙公使の承諾を受けし次第にて日本謝絕の原因は[illegible]搭乘墨國に使したる[illegible]復命に基き日本政府が米墨關係に對し絕對的中立の方針を執りたる結果なりと

●コロラド州の大同盟罷工　南部コロラド州鑛山に就働中なりし坑夫等は會社に對する七ヶ條の要求を貫徹せんがため過般來同盟罷工を[illegible]せるも會社側の態度頑強なる爲めて坑夫等の主張を容れざりしよりユニオン坑夫等は手に〳〵に武器を提げ大擧して事務所を襲ひ鑛山[illegible]等は速射砲を以て防禦し遂には義勇兵の出動を見るに至りしも何分ユニオン側は多人數の事とて鎭壓するに途なく遂に華府政府より常備兵を派遣する程の大騷動となり同地方は恰かも內亂の狀態に在りて今日迄の死傷者は約百名に垂んとし損害高既に二千五百万弗に上りたりと、因に要求條件中會社側の[illegible]し難き條件はユニオン坑夫のみの使用並に[illegible]備人廢止の二條件なり

東京電報

●大隈伯と日米問題

首相大隈伯桑博贊同の事より日本問題に亘り新聞記者團に意見を發表して曰く「日米問題は徐々解決の緒を開くを得べし」と更に米墨葛藤に關し語りて曰く「今回の事件は思ふに大なる展開なし從つて左程の問題にならざるべし」と

●桑博贊同閣議にて決定す　桑港大博問題は本日の閣議に於て公然贊同に確定し遠からず農商務省より官制の發表あるべし

●大山公内大臣に任命さる　公爵大山巖氏本日内大臣に任命せらる

●高左右飛行家人氣盛んなり　沙港の飛行家高左右氏新たに歸朝し各方面より盛んに歡迎され來月大坂に於て一大飛行をなす筈

●米墨葛藤と日本新聞の論調　米墨關係危機に瀕せるに關し有力の新聞紙は何れも穩健なる論評を發表し苟も輕舉に亘るが如き態度を示さゞれど二三の黃色新聞は例によりて煽動的意見を發表し日本政府は此際米政府を壓迫し日米交渉の上に利益を占めざるべからずとの意味を仄めかせたり

（以上廿二日來電）

●東京府知事其他任命

新内閣成立のため本日左の任命あり

任東京府知事　久保田政周
任軍令部長　島村速雄
任教育總監　上原勇作

●米墨戰爭と外務省　米國危機切迫の報達したれど外務省にては大事に至らざるべしと豫想し且つ我が居留民の安全を信ずるが故に何等焦慮の色もなく國民一般も亦何等大事に至らざるべしと豫想せり

●山本大將一派排斥

大隈内閣は鋭意海軍の廓清に從事し居れるが先づ手始めに多年海軍部内に勢力を張り居たる山本權兵衛大將一派を斥くる事となり該一派の者は齋藤前海相財部前海軍次官以下總て海軍の要部より斥けられたるが世論は之を痛快なりとして歡迎し居れり

●海軍の大更迭　海軍々令部長伊集院大將は軍事參議官に任せられ其後任には佐世保鎮守府司令長官より海軍教育本部長兼海軍將官會議員に轉じたる島村中將拔擢せられたり即ち本日發表の移動左の如し

軍事參議官　伊集院五郎
軍令部長　島村速雄

●東京ペスト

東京市内のペストは益々猛烈に蔓延しつゝあり市當局者は市民と共に熱心に之が撲滅の方法を講じ居れるが未だ功を奏せず

●諒闇につき内務省の訓示　内務省にては本日訓示を發し例令諒闇中なりと雖も意氣阻喪して事業の停滞を來すが如き事なかるべしと布告せり

●日本は米墨關係に局外中立　日本政府當局者は本日午後米墨關係に對する日本政府の態度を聲明して曰く日本は嚴正中立の態度を守るべく目下墨國ガイマス港に在る當國軍艦出雲は墨國太平洋沿岸に在る日本人を收容避難せしむる事となるべし

（以上七項廿二日東京發電）

日本最近信

●清浦子拜辭の次第

清浦内閣が突然流産に終りし次第は在留同胞の切に聞かんとせし所なるが今最近着の故國新聞によりて其大略を記せば陸軍大臣の候補者に就ては清浦子は山縣公との關係上大命拜受の當時より成算あり海軍大臣には之も山本伯の内意を得て別に心配なしとの目算を有し專ら他方面の人選を取急ぎたるが愈々各大臣の候補者も定まり大上夫と思ひ居たる矢先き、豫想外にも陸軍側よりの要求ありて陸相候補者たる岡中將の就任躊躇となれり尤も陸軍側は山縣公の魔力ありて遂に岡氏の承諾を受けたるが海相の候補者たる加藤中將は調査を名として海軍省に齋藤財部兩氏と密議を重ぬるのみにて容易に諾否を明答せず、四月五日初めて清浦子と會見し海軍補充計畫につき意見を交換し翌日決答を約して立別れたり、然るに加藤中將が翌六日の會見に於て提出せる入閣條件は實に下の如き至難の條件なりき

一、臨時議會を開き海軍補充計畫年度割九百五十万圓の要求は元より新要求にかゝる補充計畫に就ても此際貫徹を期する事

一、若し之を不可能とせば責任支出として九百五十萬圓の補充費を支辨する事

右要求に對し清浦子は既に豫算不成立となりし補充費に對し責任支出を行ふといふが如きは非法の論法にして斯る非法を敢てせんか世論の大排斥を招き新内閣は全然海軍の反抗の爲に成立し又崩壞するの愚を演ぜざる可らず、且臨時議會の開會を約するは新内閣が死期を約するが如きものなり、との理由の下に斷然右要求を拒絶し到底海軍全體の希望を貫徹すべき見込なき以上他に適任者を得るの不可能を認め遂に大命拜辭の止むなきに至りし次第にて云はゞ海軍のために打壞はされたる次第なりと

●前海相五万圓收賄說

三月廿日問題の人海軍中將松本和氏が東京地方裁判所檢事局より召喚を受け岩原三井物產重役及松尾鶴太郎と數時間對決の上終に午後十時半に至り監禁されたる事は既報の如くなるが松本海軍中將が收監せらるゝに至りし事情を聞くに中將が艦政本部長の椅子に就きしは五六年前の事にて此程東京監獄にて縊死を遂げたる吉田收吉が獨逸より歸朝してシーメンス會社の海軍掛主任として同所に出入する頃より吉田は同郷の關係あり澤崎大佐並に鈴木中監などに取り入り同會社製作の電氣機械並に造船用器其他非機械をコムミッションの契約にて賣つげる事となりしかこれと一應艦政本部長たる松本中將に語らざるべからざるより其第四部長たりし藤井少將を介して松本中將に申込たり折から時の海軍大臣齋藤實男が三万五千圓の借金にて債鬼に苦しめられ居るを海軍の御本尊山本權兵衛伯か聞き込み身海軍大臣の榮職に在り乍ら債鬼に攻めらるゝは表面上甚だ面白からず何とかしてやらねばならぬと松本中將まで夫れとなく注意を與へしに同中將は海相の御機嫌を取るは此時なりと藤井少將より話ありしを幸ひ吉田と二三回面會して取引に關する交渉を爲したる後金五萬圓を收賄し此金の殆んど全を齋藤海相に送れり其金員贈賄の事實は全く吉田の手引に出でたるものなれど其間の事情を知るや知らずや齋藤海相の在職中は刑事被告人として松本中將を收禁するに忍びず單に本職を免じて待命を仰付くるに留め置きたり然れども司法當局は捨て置かれず或る機會を待ち居る内松尾造船監督官並に岩原謙三氏を收監取調べの結果意外にも松尾が關係せる十ヶ所の外國某々會社より松尾の手を經て七万圓ウヰスカースより數万圓を收賄したる事實暴露せしにぞ取調べの結果勅許を待ち遂に卅一日拂曉收監したる次第なりと

●太田翰長薨去　貴族院書記官長從三位勳二等太田峯三郎氏は豫てより腎臟炎を病み居たるか病勢募ると共に氣管支炎を併發し四月六日午後六時薨去せり享年五十四

●新内閣に對する新聞紙の非難　純然たる政黨内閣の組織を期待したる國民は大隈伯の閣員撰定は山縣系を以てし宛然官僚政府の如くなるを以て國民非難の聲高く新聞紙は何れも官僚内閣として非難攻擊を加へつゝあり

●尾崎法相攻擊　殊に尾崎行雄氏の司法大臣として入閣したるは法相の器に非ざるは勿論憲政擁護の急先鋒なりと絶叫しつゝ官僚内閣に入りしは公明を缺けるものとなし非難の聲高く尾崎法相は甚だ不評判を極め居れり

●十五師團の收賄問題　第十五師團各隊に御用商人より納入し來れる白米中に不正品あるを發見し豐崎市岡屋町白米商大石新七及び名古屋商人長谷川某の兩人は二日豐橋憲兵分隊の手に引致取調中なるか右の物品納入に關し軍隊中に收賄せる者多數ある模樣にて取調の進行に伴ひ此等不正軍人の檢擧せらるゝ者少からざるべく師團は戰々恟々たる有樣なりと

●床次氏愈出馬　故長谷場氏の補欠選擧に關し四月五日公認候補豫選會を開く筈なるが東京の議員より床次竹次郎氏推選の通知あり多少不平あるも同氏に決定すべしとの事なり

●旅順鎮守府撤廢　海軍將官會議員に補せられし坂本中將は四月一日午前十一時旅順鎮守府を撤廢すると同時に退廳式を行ひ「鎮守府」なる門標は「要港部」と掛け替へられ冗員となりたる海軍屬十餘名は御用船若宮丸にて同日内地に引揚げたり

●恩赦行はれん　皇太后陛下崩御に就て長き邊りより監獄囚徒及び罪人に恩赦行はるゝ由洩れ承る

●日本人會總會

日本人會第一回總會は去廿七日カーネギーホール講堂に於て開會し事務及會計報告、役員選舉、議事討議等ありたる後鶴島總領事、高峯會長（高峰副會長の演説あり午後十一時頃散會したるが來會者二百餘名非常の盛會にて出席せる非會員の入會者數名ありき、當日役員に當選したる理事員の氏名は次號に掲載すべし

●競爭に負けるから排日する

（加奈陀の漁業排日運動）

支那人スクールボーイの白人主婦慘殺事件に近因を發せる加奈陀ビーシー州方面の東洋人排斥的氣運は直ちに日本人學童の公立學校禁止運動となりために在加同胞はさなきだに僅かに一縷の望みを繋ぎしか由來日本人漁夫により壓倒され氣味のフレーザー河附近の白人漁夫は如上の東洋人排斥運動に乘じて平素の鬱憤を晴らさんとにか日本人漁夫までも驅逐して玆に又もや方面を更へて去る廿日ニウ後新西院に於て開催されたる白人漁夫大會に於て峻烈なる日本漁夫排斥の決議を通過しビーシー州廳並にオッタワ政廳に請願して白人及び印度土人を保護するため一切東洋人排斥法の制定を迫るに決し加奈陀議會テーラー議員は最大努力を以て白人漁夫のために盡すべきを約せり元來昨年まではオタワ中央政府の法規によりフレーザー河に於ける新西院橋より上流は特に白人並に印度人漁夫のために保存され東洋人の之に入るを許されざりしか日本人漁夫は昨年來該橋上流に居を移せる結果同等の權利を有する事となり折角の白人並印度人保護法も無効となれるものにて十八日該方面より出席せる者二百名以上に達し尚其外にジョージャ灣方面より來れる者は夫れ以上に達せるか何れも聲を揃へて日本漁夫の競爭を憤慨し遂に滿場一致を以て排日決議を通過せるものなるか勞働組合は勿論フレーザー河下流の各地方の公共團體も步調を一にして之れか應援に盡すべきを約し大々的運動を開始する決心なりと

●高見豐彦氏贈呈紀念品に就て　共濟會より高見氏への贈呈紀念品につき前號紙上記載する所ありしか右は春期大會の際贊同者中贈呈方法につき解釋を異にしたる向あり旁々會員有志より寄金の件は取消す事となれり、尚右につき高見氏は相當、會員諸君の厚意は感謝の外なきも元來自分は共濟會に對し左程の功勞ある譯にもあらず實は大會當時辭退する筈なりしも突然の提議にて大ひに當惑つきツイ機會を逸したる次第なるか出來べくは紀念品の件は全然取消さるゝ方自分に取りて本懷の至りなり云々

●石炭礦の大慘事　ウエスト、ブァジーア州エックレス炭山の第五號及六號坑は去廿八日坑内の瓦斯突然曝發して二百餘名の死傷者を出したるか右の内約十七十二名は崩壞せる坑内に埋沒され無慘の死を遂げたる由にて目下死體の發掘中なりと

●米國及紐育の人口　過日華府統計局の發表に係る人口統計を見るに紐育米本國及所屬地の人口左の如し

米本國及所屬地人口總計　一億〇九百二十萬一千九百九十二人

本國人口　九千八百七十九萬一千三百二十四人

以上の如くにして之を四年前に比較し七百万人の増加を示せり、尚紐育州全般の人口は總計九百八十九万九千七十六十一人内紐育市は五百卅三万二千五百卅七人にしてカウンチー別に區別すれば左の如し

マンハッタン	二五三二六七一六
ブルックリン	一八三三六九六
ブロンクス	五二九一九八
クインス	三三九八八六
リッチモンド	九四〇四三

●ビリヤト競技の結果　ホテルアスターに於ける同競技は去廿八日夜左の如き結果にて終りを告げたるかホップ氏の入神の妙技は十四、一の着式ゲームに於ても亦天下無敵なりといふべし（〇は勝星△は負星）

ホップ　〇六〇一　デマレスト　〇五△二　モーニングスター　〇三△四　サットン　〇二△五　スロフン　〇一△六　セーラー　△五　山田　〇三△五　クリン

右の如き順序にてホップ、デマレスト、モーニングスター、サットンの四氏は各一千弗の懸賞を受けたり

●西比利亞號沈沒　臺灣近海にて

（五月一日東京發電）

パシフィック郵船會社滊船サイベリヤ號は廿九日長崎出帆マニラへ向け航行の途中臺灣近海にて沈沒したるものゝ如し、危難に瀕せる同號より應援を促かし來る無線電信は本邦沿岸へ向け今朝まで不斷繼續されしも朝來頓に音信絶へ午前十時（紐育時間）に至るも何等の音沙汰なし、同號遭難の第一電報によれば同號か將に沈沒せんとしつゝある旨を報せるか第一着の電報は同號は臺灣本島の東南六哩の沖にて擱坐したりとあり依て日本政府は救助のため直ちに東丸を急行せしめたり、西比利亞號より直接の無線電信は本日早朝九州大瀬崎無線電信局に達したるか只不測の災難に遭遇し船將に危しとあるのみにて電信は中途に斷へ詳報を得るに由なかりしも不取敢長崎へ向け航行中の大北滊船ミチノダ號及英國軍艦ノォア號へ右の急報に及びたり、乘客は一等約五十、二等四百船員を合せ合計五百廿一名にて一等船客中には非利賓總督ハリソン氏夫人其他桑港布哇横濱神戸長崎等の各地より乘船したる知名の人々ありと

●鐵道院技師渡邊季太郎氏　は購入品員上檢査官として廿九日來市ホテルマルタニュにあり約二ケ年滯在の

玉ボーイ入用

夏場行玉ボーイ數名入用、高給を支拂ふ、夏中休暇を利用せんとする學生には殊に恰好の口也、希望者は夜間河流旅館内中原迄申込まりたし

●大藏省專賣局技師新莊三郎氏　は過日歐州より來市

●理學博士上津敏祐氏　は廿八日歐州へ出發

●正金副支配人大久保利賢氏　は令閨出迎のため去廿六日桑港へ赴けり

●米國へ新任の外交官

命米國在勤　外交官補　岩手嘉雄

命紐育在勤　領事官補　加藤外松

●思想の家婦人觀

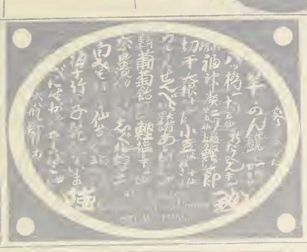
▲母の抱擁は心情の乳である　ユーゼーニード　ゲラ

▲飲食する事なしに濟ますよりも妻なしに濟ます事は、もつと不可能である　ルーテル

▲人生最上の愉快は妻の晴れやかなる歡迎である　ウイリス

▲結婚の前には婦人は女王であり結婚の後には臣民である　メントヌー





妾の告白（三）

寫眞結婚失敗のエス子

▲案外千万な話　妾は其果實園が日本で見る事の出來ぬ程大規模の大きなのに驚くと共に外國に居てこんな大きな果實園を經營する人に妻として、かしづく妾の身の上を幸福だと思ひました、斯くて二ケ月餘りは夢のやうに過ぎましたが不思議な事には一週間に二度宛監督のため果實園に行くと云つて外出した良人が二ケ月後には外出したきり一週間も二週間も妾の許へは歸つて來ず弟の人も絶へず外出して一切寄附かぬやうになりました妾は不思議でならぬので或日自働車を飛ばし果實園へ行き事務所について良人の居る所を尋ねて見ると事務員はケゲンな顔して「一體此果實園は某といふ富豪の人が經營して居るので貴女の尋ねられるやうな姓名の人は事務員にも雇つて居なければ人夫にも使つて居ません何にかの間違ひではありませんか」と申します、妾は丸で狐につまゝれたやうな心持ちで其儘ホテルへ歸りました

▲疑問の擧動が　二三日經つて良人も良人の弟もヒヨツコリ歸りましたのでこの次第を話しますと兄弟の人は何とも返辭をせず話を外にそらし只管妾の機嫌を取り「今日から内地見物のため旅行するからお前も一所に來い」と申しますから妾は二人につれられてサクラメントの宿を出發したのが昨年の一月末でありました、其時までは妾は幾分か良人の擧動に疑を抱いて居ながら果實園が良人の手で經營されて居るだけは事實であると信じて居ました

▲身の毛のよだつ發見　良人と良人の弟と妾の三人は昨年一月サクラメントを出發してソートレーキといふ市に參りました此地に數日間滯在して居る内に兄弟の素ぶりは愈々怪しくなり良人が終日宿に引籠つて居る時は弟は朝から外出して夜更けになつても歸らず弟が宿に居る時は良人が外出して何處かへ寢宿りをなし偶々一所に居れば何事かヒソ〳〵內証話をして始終落着のない素振が見へ如何にも不審でなりませんので妾は絶へず兄弟の行動に深い注意を拂つて居りました、妾等三人は間もなくヘレナ市に赴き夫よりシヤトルに入込みましたが妾が此シヤトルで兄弟の人物について身の毛もよだつやうな恐ろしい事を發見しました

最近廣告に就て（寄書）

酒井巖鹿堂

第三回

▲反復（第一方式）　反復とは繰り返すと云ふ意で或る事故を記憶せんとする際に其の事故を幾回となく繰り返し〳〵す、例令ば大聲を上げて叫び又は紙片に書留めて後讀み返すといふ風にありと有ゆる反復に依り幾回となく繰り返す場合は自然と自分の心底に留り記憶し得る

▲强意（第二方式）　强意とは意を强く持つ即ち言を變じて言へば注意を拂ふといふ事で總て記憶事故に對して强意的に心思を拂ふ時は弱意識に行ふ場合よりか最とも記憶の存在力を有効に爲し得る例令ば等しく方式の繰り返すといふ際でも虚心無意に反復するよりか意に力を入れて强意的に行ふ時は三回の反復で存在力を得る所を二回の繰り返しで記憶し得る且つ永久存在を保つ

▲聯結（第三方式）　聯結とは記憶せんとする事故を組織分類して既に記憶に存在して居る事故と聯結する意である此の遺力は記憶を簡易にし且つ早く記憶の存在を得る事が出來る、一例を擧げると或る小學兒童が歴史の科目の時に教師から北米大陸は千四百九十二年コロンバスに依て發見せられた事を敎へられたが彼は發見年を記憶するに種々苦心の結果自分心意の强力を以て遂に記憶に存在せしめた後は如何なる年號をも此の新らしき事故と聯結して何の苦もなく簡易に彼の記憶に留め得るに至つた

◉奇抜な寫眞結婚　觀光團も多くなるにつれて種々の失態を演じ居る模様なるが此程沙港に歸着せる觀光團員に鈴木龜吉なる青年あり歸朝後東京山の手なる某結婚媒介所に至り月收入百五十圓資産四萬圓等と大風呂敷を擴げて花の様な嫁女を世話して貰ひたいと許り一圓の申込金と五十錢の會見料とを拂ひ或日當の相手の花嫁候補者と同所に會見したるが先生は一目見るよりスツカリ相手に惚れ込むで了ふと共に媒介所に手數料を出すのが嫌になり同所へは表面何んでもない様に斷はつて裡面よりコツソリと女の母に直接談判と出掛け話も都合よく纏まつて愈々黄道吉日を撰び高砂やを謡ふ迄にこぎつけし所を前記の媒介所に嗅ぎつけられ同所は壯士十二名を鈴木の許に送り二百圓の謝禮を出さねば再渡米り出來ぬ様警察に突つ込んでやるなどゝ脅したるためさすがの鈴木も青くなり五十圓丈に漸く勘辨して貰ひ茲に事なく大正式喜劇結婚の幕を引きしなるが廿四日横濱丸にて渡米し來りし由

投書籠

▲私は家内奉公をして居る者ですが三年前から毛唐の妻君のある友達と知り邊になり商賣の元手として百弗程貸しました、其後右の妻君が色々親切にして呉れる所から惹きつかれる度毎に貸した金は千弗近くになつたがイクラ返して呉れと云つても返さず、外の友達に聞いて見れば夫婦は正式に結婚したものでないとの話で近頃妻君は僕に會つても知らぬ顔をして居る、私の様にひどい日に會はぬ様皆様に忠告します、ドーゾ此事を新聞に出して下さい、私の名前を上げ度いけれど餘りはづだから申ません（後悔生）

▲某勞働組合の規則が非常にうまく出來ちよるから面白い所丈知らせる、第一條本會は〇〇〇勞働組合と稱す、第六條一度納入したる會費は理由の如何に關せず決して返濟せず、第七條會役員が消費したる金員に就ては會員は一切干渉する事を得ず、第八條勞働口の周旋料は月額の一割とす、六七八が最も好く私腹を肥すやうに出來て居ておまけに目的が無いから奇抜だて（龍驚）

▲駄法螺と寫眞で日本の女を釣るのも惡いが只虚榮心のためにウツカリ釣られる女も女だ、自分の事は棚に置いて夫を嫌つたり怨むだりするなんていゝ加減にしろよ（ヤツチヨル生）

▲日本人會の總會は無事に濟むだが今後同會事業の進捗と共に會員は大ひに熱心の度を高める必要がある、會場で野次り度い人は筋道の立たぬ理屈で野次る事を止せ（愛會生）

▲君よ筋が立つて居れば野次るのではない、立て居ないから野次る事になるのさ（籠係り）

▲第八街と百廿三丁目附近の二階東北の隅のオフィスは非常に多忙で〇〇君内からキーをかけて中で讀むだり書いたりして居たから誰が行つても應接する事が出來なかつた、所が此頃百卅九丁目あたりにオフィスを轉じて不相變多忙で〇〇君毎日行つたり來たり御苦勞様（エム、ケー）

▲紐育には中原姓の者が多く一々附帳付でなくちやドノ中原か判らぬさうな曰く新聞社の中原、駄法螺の中原、醉拂ひの中原、お花の中原、東京舘の中原、鐵中原、フラレター中原、借金の中原、鼬鼠の中原此外未だ中原澤山あるげな（本物の中原）

▲實業倶樂部のあるのを幸ひ例年玉場で主人泣かせを自慢して冬期をふところ手で暮す[illegible]生虫の姓名の取調べを願ふぢやありませんか（正直男）

No. 46 VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY, May 9th, 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES Published Weekly by JAPANESE TIMES Co. Kenichi Kai, Editor 228 Sixth Ave. N. Y. City Tel. 6473 Chelsea Subscription Rates [illegible] $2.00 One Year Postage Included Entered at N. Y. Post Office as second-class matter [illegible] 1879

紐育新報定價(前金郵税共)三ヶ月分金五十仙□六ヶ月分一弗□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政[illegible]認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二二八
電話六四七三　チエルシイ

在朝在野兩黨に望む

海外より觀察して甚だ曖昧[illegible]、或せらるゝものは故國に於ける吾政界の現狀と政黨の態度である、最近東京電報の傳ふる所に依ると[illegible]內閣の中心勢力とも見る加藤、大浦、武富、若槻の四大臣を出した[illegible]志會は曩に加藤男の專橫を憤るとの排斥の氣勢猛烈を加へ來り加藤男は不日總理を辭すべしとある、若しこれが事實であるとすれば同志會の基礎は頗る薄弱で首相大隈伯は中心勢力の維持策として大いに努力する所なくてはならぬのである、元來民間の輿論が大隈內閣を歡迎した理由は[illegible]閥政治の積弊に飽にた結果、立憲政體の眞[illegible]たる輿論政治の實行を望むだからであつて伯自身が大命を拜受した理由も亦二大政黨主義を基礎として施政有終の美果を收むるに在つたのである、左れば伯たる者は此際[illegible]內閣の中心勢力たる同志會の結束を堅ふするがため場合に依つては自ら同志會の總理となり巧みに黨員を操縱し徐ろに對議會策を講ぜねばならぬのである、若しも不幸にして伯が此中心勢力の維持策に失敗するやうな結果ともなつたならば大隈內閣は在野黨の攻擊を待たずして先づ其內部より崩壞し始め、二大政黨主義の實現は今後幾年を要すべきか判らなくなるであらう、吾輩は大隈伯が往年憲政黨內閣の失敗に鑑み大いに自重する所あらん事を望む者である

然らば吾輩が在野黨に望む所は何であるかと云ふに其態度を今少し上品にしたい事である、之も最近の東京電報によると政友會は日頃の言議に反して官僚閥と伍するが如き不都合であるとの非難もしてゐる、此の如き非難は現內閣の[illegible]に乘ぜんとする政友會機關紙の唱ふる所と見らるが吾輩をして忌憚なく言はしむれば近來吾在野政客の言動は頗る[illegible]に流れ、其[illegible]の如き十[illegible]見の[illegible]面に依て正々堂々たる辯難攻擊を試みる事を爲さず、動もすれば極めて陋劣なる人身攻擊の手段を政權[illegible]の具に供せんとする傾あるは甚だ遺憾である、在野黨の機關紙は加藤、大浦、一木諸氏が曾て薩長閥の爪牙となり或は吏僚として政府の要職に在りし所以を以て之等の人々の列する新內閣は全々非立憲的なる行動を以て輿論を無視すると爲すかも知れぬが斯る筆鋒は政府攻擊の手段として極めて拙劣と云はねばならぬ、如何にも上記の人々は閥族の走狗となつて民論を壓した事もあらう、乍併元老の勢力は其根底から覆され、憲政擁護の張本人たりし大浦農相さへ政黨員の一人となつた今日如何なる人物が要路に立つても輿論に反する事は到底不可能であるといふ事は既に[illegible]國民の認むる所であるから、[illegible]員父は官僚などの古めかしい文字を並べて[illegible]俗の[illegible]采を博せんとするが如きは決して國民の同情を買ふ所以でない、亦在野大政黨の態度ではないのである、故に吾輩は在朝在野兩黨が互に自重して各其結束を鞏固にし、意氣有終の美果、二大政黨主義の實現に向つて其步を進めん事を希望するものである

職業と結婚

卓　郎

▲家內的勞働者の境界を脱して專門の職業家となり給へとは本紙創刊以來の主張にて機會ある每に多數在留邦人諸氏の注意を促がし來り候が今回は人生の最大要件たる結婚と男子の職業に就て卑見を陳じ聊か同胞諸氏の御高慮を仰ぎ度候

▲妻を迎へぬ男、夫を持たぬ女は[illegible]々の理屈を並べて獨身生活の功能を說き候へ共斯る男女は常識の判斷よりすれば一種の精神病患者にて父[illegible]に[illegible]らひ、天惠の恩澤に浴するの資格なき片輪者とも可申候、試みに氣をつけて好く\/之等の[illegible]病人を[illegible]候へ、男なれば日常の起居動作は亂暴不規則に流れ易く、女なれば精神特に疑惑的となり人を[illegible]する代りに犬猫を愛し、他人の[illegible]に接する機會なき僕下女下男の[illegible]を探し求めて己れの[illegible]事を慰めんとするに至り候、左れば吾々普通の俗人は是非共結婚すべき運命を有するものにて、妻帶は成功の妨げなりなどと申す男は畢竟ずるに天下の意氣地無しとも可申位令結婚せぬからとて成功する男には無之候

聯俳詩



春の水魚の目に入る毛馬[illegible]　南[illegible]
ぬくさい風がなぶる[illegible]柳　露伴
△　△
山みちに[illegible]春の雨　[illegible]
[illegible]の奥に一箇の[illegible]　[illegible]石
△　△
陽炎や猫の死骸の恐ろしき　[illegible]字
白いげんげに花が咲く\/　山[illegible]
△　△
[illegible]陵の土もかわかず春[illegible]に　[illegible]
うつらふ花や草の露けき　[illegible]彩
△　△
春雨や[illegible]使の[illegible]の[illegible]長き　[illegible]
[illegible]躍の聲を聞きつゝ草むしる斯人　[illegible]
△　△
春雨や駄馬に鞭打つ旬二十　南[illegible]
水にうなづく山吹の花　露伴

▲乍併吾等俗人が結婚に先立ち第一に考へざるべからざる要件は、自分の現在從事する職業は經濟的に果してよく妻子を安全且つ幸福に生活せしめ、自分も亦共にスヰートホームの快樂を享くるに足るべきやとの問題に有之候、勿論人はパンのみにて生くるものに非ず、夫婦の愛情は格別にて他人の窺ひ知る能はざる所に特種の精神的幸福は存するものに候へ共今日の如く人間の生活狀態が複雜と相成り一片の肉、一椀の味噌汁にさへ月末の勘定を要する時節柄となりては夫婦の愛情も單に精神上の慰安のみにて繋がれ得可しとは申[illegible]難く、他所行のスカートを婦人が[illegible]い[illegible]を致さずとも限らず、老ひたる[illegible]は若き[illegible]屋の[illegible]と睨き[illegible]るはをしなべて世間の人情とや申すべきか

▲商業に從事する人は當時措き各[illegible]の職業中最も妻帶者に恰好なるは給料增加、位置昇進の見込ある專門の職業にて本人の技術次第に依り大會社、商店の技師長ともなり又獨立の商人とも成り得べき前途を有するが故に妻たる者も將來を樂みとし現在の境遇に甘んずる事も出來得べく候、夫の出世、妻の幸福を念じ乍らつゝ互に勵み勵まさるゝ夫婦共稼ぎの生活は他所の見る目も羨はしきものに御座候

▲面の色が黄色いからとて排日とか何とか七六ケ敷事を申さず職業に[illegible]して米國程寛大なる國は數少く、出色の專門的學術技能を有するものは技術の貴きに於ては何れにても[illegible]られ候、技術に對する大[illegible]の[illegible]、高峰博士や野口博士の如き世界的大發明を完成せる人々は申すに[illegible]らず、ヘノ州の[illegible]山[illegible]たる蜂田技師、米國屈指の寫眞師たる[illegible]の[illegible]山君の如きは專門の學問[illegible]術によりて成功せる在米邦人中の最も[illegible]名なる人々なるが其他、寫眞師、電氣技師、美術畫工、縫箔業等にて相當の成功を遂げ妻子諸共幸福なる生活を營みつゝある人々は不少候

▲尤も紐育に在留する多數の日本人は年齡も既に三十歲前後の人々なれば之等の人々に徒弟、小僧となつて專門の職業を修得せよと勸ゆるは聊か無理なる注文なれ共少くとも給料增加、地位昇進の見込なき職業に從事するは人生の最大要件たる男女の結婚には非常のディスアドバンテージなる事丈は申上置くの必要ありと存候

▲何と仰られても諸君は僕と同じく女好きにて女が欲しくてやり切れない人々に候、欲しくばやらう働いて取れとは古き昔の諺にて、折角働いて取つた女に振られまいと思はゞ、將來に望多き職業を撰むで眞面目に働き、懷中を溫かにし其愛する人の爲に形容くる人を[illegible]て天與の恩澤に浴する事に御座候　以上

●米墨關係現狀

▲協定協商の場所はナーヤガラフォール　エー ビー シー三國は米墨兩政府並に憲政軍總統カランザに向つて協定協商に先立ち一先ず休戰せん事を以てし米墨兩政府は之を承諾せるもカランザは拒絕せるを以て三國公使は之を得ず憲政軍への勸告を撤回し今後の形勢に應じ適當の方法を講ずる筈にて取敢へず談判開始の準備中なるが媾和會議の場所は米國ナイヤガラフォールに決定、來十八日[illegible]第一回の會見をなす可くウエルタ政府の參加委員二名は一兩日前[illegible]を出發したる筈なり

▲ウエルタ政府の媾和條件　墨國政府と密接の關係ある某政治家過日紐育タイムスの通信員に語りし所によれば兩國代表者の提供せんとする媾和條件の內容は未だ知るを得ざれ共若し協商の結果墨國は米國に讓りてウエルタ將軍の退職を行ふ事とならば米國は自國の軍隊を以て墨都を占領し以て國內の鎭靜を圖り秩序を回復するの義務を負はざる可らず、然らざれば墨政府は寧ろ戰爭を撰むならんと云々、右政客の言は媾和委員として來米せんとする代表者の使命を暗示するものなりと觀測さる

▲協商不調に了らん　三國調訂に關し華府の政界は一般に悲觀的の推測を下しつゝあり、何となれば三國政府の代表者はカランザを除外して米墨兩國の代表者と媾和會議を開かんとするも墨國に於ける官憲兩軍の現狀一變せざる以上到底圓滿なる條件によりて解決せらるべき見込なきか故なりと

▲憲政軍の逆襲　デユランゴ市米國領事より國務省に達せる公電に依ればば同地及びタレオンに在る憲政軍はサルチヨ市及びサカテカス市を[illegible]の目的を以て去七日進軍を開始し、尚カランザより華府滯在中の憲政軍代表者に致せる戰報に依れば同軍はアキポチタに駐屯せる三千八百の官軍を擊退し一千七百名を捕虜とし野砲數門彈丸百万個を獲取せりと

▲媾和會議委員諸氏　伯剌西大使ドミシオ ダ ガマ博士。亞爾然チン公使ロミユロ エス ナオン博士、智利公使エデユアルノ エス ミユヂカ氏以上三氏は調訂國を代表し米國代表[illegible]は內務卿レーン並にリチャードオルネーの兩氏既に任命されこれが兩氏の外に一二の代表者不日任命さるべく、墨國政府代表者はオーカステン ロドリゲズ氏、エミリオ ラバサ氏、ルイス エルグロ氏の三氏と決定せり

●活動寫眞の輸出高と價格　本年三月まで過去九ヶ月間米國より海外各國に向つて輸出したる活動寫眞フィルムは一億四千六百万呎の多額に上りしを昨年三月の統計に比すれば四割の增加にして從來輸出の最高レコードたりし千九百十二年三月に比しても約三倍の增加を示せり、價格は漸次下落の傾向あり、即ち千九百十二年[illegible]價段一呎に付十仙なりしもの本年には三仙五厘に下落せり、尚一昨年までは一旦米國內に於て使用したるフイルムを更に外國市場に向つて輸出し來れるが昨年三月の輸出フイルム三百万呎中僅かに八万三千呎の外は凡て國內に於て公衆の觀覽に供せざりしものなりと、フイルム輸出先中最も多額の需用あるは英國にして全輸出額の十分の九を占め十分の一は東洋南米濠洲加奈陀等へ輸出すと

●ベツカーの再審開始　博徒ローゼンタル銃殺事件の張本人として一旦死刑の宣告を受けたる前警視ベーカーの再審は去月曜日より開始さる

●コロラド罷工騷動の其後　常備兵派遣のため騷擾は既に鎭靜に歸し同州炭坑夫及鑛山警備人等の所持せる武器一切を取上ぐる事となれり、鑛主ユニオン坑夫間の協商は不日開始する事となる可し

●ル氏歸米の途に在り　昨年來伯剌西の內地を探見中なりし氏は此程目的の一部を達して目下歸米の途に就けりとの事なるが去六日の伯國電報はル氏の直話として氏は學術上の參考となるべき珍品數百種の齎らせる外未踏破せる蠻地に於て前人未發の河流を發見せりと報せり、然るに倫敦の地理學者は此報導に關し頗る疑を抱き居れりと

◉白亞館の婚儀　大藏卿マッカデウ氏と大統領ウイルソン氏の第三女エリナー嬢との婚儀は豫定の如く去七日白亞館に於て擧行されたり、新郎新婦は相携へて新婚旅行の途に就く

東京電報

●シーメンス事件 犯罪眞相

獨逸シーメンス會社贈賄事件關係者の豫審は去月五日を以て決定したるが同會社代表者ヘルマンは證據書類一切を煙滅したるも[illegible]據付けに際し大佐澤崎寬猛に一萬五千圓の贈賄をなしロイテル通信員プーレーは同贈賄書類を七百五十圓にて買ひ取り海軍當局に向つて廿五万圓の脅喝强求をなし遂に五萬圓を騙取し電報通信社長權藤震二等に九千圓を分配したる事實悉く判明し關係者一同有罪に決定されたり

●金剛艦收賄事件と僞造

英國ビッカース會社の金剛艦築造に際し之が仲請負の任に當りたる三井物産會社重役岩原謙三山本條太郎飯田義一の三名は莫大のコムミッションを受け松本中將及び松尾總監に贈賄をなし帳簿の僞造變更をなしたる事實判明して松本中將の收賄額は**廿五万乃至卅五万**ならんと傳へらる

●岩崎少將は全然關係なし　收賄事件勃發以來有力の關係者と認められ朝鮮より召喚されて久しく訊問を受け居りし岩崎達人氏は何等收賄の形跡なく全然同事件に無關係なる事判明せり

●片岡大將判士長に任命さる　海軍收賄事件範圍擴大につれ海軍查問會の審理も着々進行中なるが軍法會議判士長として軍事參議官海軍大將片岡七郎氏任命されたり

●桑博贊同公表

華府大使館は彼國政府より桑港大博贊同の正式通告を受け珍田大使は過日國務省に出頭し上吾政府の意を致したる由なるか去四日の東京發電によれば桑博の役員は左の通り決定發表されたる由なり

桑港大博總裁　農商務大臣大浦兼武

同副總裁　海軍大將爪生外吉

●各省次官法制局長官及各縣知事の任免　神奈川縣知事大島久滿次氏以下政友會所屬の知事七名は悉く其職を免ぜられたり以て新內閣の對政友會態度を見るに足るべしと

▲陸軍次官大島健一▲海軍次官鈴木貫太郎▲農商務次官上山滿之進▲遞信次官中公弘吉▲司法次官鈴木喜三郎▲外務文部兩次官松井慶四郎、福原氏等は留任と決せり▲參謀本部次長には朝鮮總督府警務總長陸軍中將明石元二郎任命され、舞鶴鎮守府司令長官には海軍中將坂本一氏任命さる

神奈川縣知事　石原健三
熊本縣　川上親晴
福岡縣　谷口留五郎
山口縣　赤星典太
新潟縣　坂仲輔

之等を數へて今回の政變の爲に交迭したる縣は合計十四縣あり法制局長官には法學博士高橋作衛氏任命されたり

●皇太后陛下は明治天皇社に　皇太后陛下の御尊靈は近く代々木に御建設あるべき明治天皇陛下の御大社に合祀あるべしと拜聞す

●東宮大夫及侍從長任命　東宮大夫兼侍從長波多野敬直男宮內大臣に轉任したるため暫く東宮職中此二官缺員し居りしが左の如く任命ありたり

東宮大夫　帝大名譽教授　濱尾新
同侍從長　御歌御所參候　入江爲守

●練習艦隊發航　海軍少將黑井悌二郎氏を司令長官に戴く帝國練習艦隊淺間（艦長平賀大佐）吾妻（艦長佐[illegible]大佐）兩艦は廿日横須賀軍港を拔錨し布哇を經て北米海岸に向け遠洋航海の途に就く筈にて布哇着は來月七日の豫定なり

●海軍部內大動亂

海軍收賄事件の調査進行と共に續々として新事實發見せられ前首相山本權兵衛伯前海相齋藤實男海軍大將伊集院五郎氏前海軍次官財部彪氏等の巨頭收賄問題に關聯せる模樣あり司法當局者は大活動中にて海軍部內は大動亂を生じたり

●海軍費と第二臨時議會　海軍は今年度の豫算不成立に拘らず年度當擴張費要求の主張を撤せざれば此費目の爲に第二臨時議會召集せられんとする模樣あり

日本最近信

●日米議員共同　昨年白耳義に於て開かれたる萬國議員大會に列席せし日本議員は米國議員と共同の動作をなすため米議員團なるものを組織せるか本年は東京に於て第一集會を開くべしと

●尾崎法相聲言　非難の聲を浴びせられ不評判を極め居れる司法大臣尾崎行雄氏は、余は官僚に黨したるにあらず現內閣は必ず政黨主義を主張とすべし余は余の職責に向つて善處すべしと聲明せり

●政友會の態度　政友會總理原敬氏は在野黨たるを辭せず後藤新平男の如き我が黨に入會するの外途なかるべく次期議會は海軍豫算案陸軍增師案のため政府と議會との衝突を來たさん我黨は議會の解散を恐るゝものに非ずと聲言したり

●隈伯奏薦內情

十日夜大隈伯は井上侯を內田山に訪問したるか今其の隈伯奏薦の內情を聞くに十日の元老會議の席上井上侯は後繼者として奏薦せられたる清浦子の內閣遂に成立を見るに至らずして止めば方今內外政務多端を極むるに拘らず此の如く無政府の狀態を持續するに於ては其影響する所單に政務の荒廢のみに止らずとて[illegible]を極め之に對し山縣松方大山の三元老より清浦內閣死產の理由を詳述する所あり井上侯は其經過を聽取したる後、吾等が往年明治維新の大業を成就したるは一に情弊を打破して國論の存する所に趨從したるが爲に外ならず然るに國勢を察せず國論に適はざる措置に出でたればこそ遂に死產の厄に陷れるなり、此時勢を說き民情を述べ此難局を收拾せん者は大隈伯を除きて他にあるべからずと痛論せり之に對し山縣大山の二公は默して容易に可否を答へず獨り松方侯は不服を唱へ隈伯の斷じて起用すべからざるを說くや井上老侯大に激昂し一場の論爭となり井上侯は松方侯に對し然らば何人を後繼者に推さんとするかと迫り松方侯が別に誰を推すといふ定まりたる案は無しと答ふるや何等の成案なく唯妄りに他人の主張を駁するは謂れなき事なりと一喝し松方侯も遂に口を緘するの已むなきに至れるより茲に山縣公は井上說に贊成して隈伯奏薦の議を決し山縣公のみは樞密院議長として聖上に會議の經過を奉答すべく居殘り他の三元老は直に退出せり斯くて井上侯は電話にて大隈伯に枉げて來邸を請ふ旨を申入れ隈伯も其意を諒とし十日夜井上老侯を訪問し次第なるか會見の[illegible]老侯は互に時局[illegible]結久しきに亘るを憂へ刻下の時弊を救ふ者老伯を措いて他に無しと赤誠を披瀝して隈伯の奮起を促したり隈伯は深く老侯の好意を謝したる後。余も早や七十七歳の頽齡なり今少しく若手に行かしめて見ては如何、とし同志會首領を後繼內閣組織者に推薦せん意を洩したるも老侯は時局の艱難を說いて已まず依て隈伯も心中期する所あり折柄皇太后陛下の遷御を奉迎すべき時刻も差し迫りたるより、何分突然の事なれば即答は爲し難きも熟慮の上にて御答すべしとて共々相携へて新橋驛へ向へるなりと云ふ

●國民黨の態度決定　國民黨は大隈內閣に對する黨の態度を決すべく十四日本部に於て代議士會を開きたり犬養總理を始め在京代議士二十餘名出席先づ犬養總務より前日大隈伯と會見したる顚末を報告して協議に移り凝議の結果左の決議をなせり

決議

我黨は大隈內閣の成立を希望し且つ之を援助す

右と同時に國民黨よりは斷じて一人の入閣者をも出さゞる事を決議し散會せり即ち同黨より入閣者を出さざる意味は異分子入閣の爲に內閣をして短命ならしめざるの好意に出でたるものにして犬養氏は代議士會散會後直ちに大隈伯を訪問し右決議の結果を詳細報告せりと

●澤柳總長辭職　京都帝國大學總長澤柳政太郎氏は去三月十九日附を以て時の文部大臣大岡育造氏の許に辭表を提出したるも間もなく內閣の更迭ありて其儘となり來れるか新內閣の文相一木喜德郎氏は廿一日を以て辭表を容るゝに至りしため澤柳總長は同日を以て辭職せり

●外人永代借地權　內務省を經て上奏中なりし朝鮮各地居留地制撤廢に伴ふ外國人所有地の永代借地權に關する法律案を十一日付御裁可ありたるを以て近く公布さるべしと

●現內閣年齡調べ　大隈首相七十七　大浦農相六十五　加藤外相五十五　八代海相五十五　若槻藏相六十　武富遞相四十九　一木文相四十八　尾崎法相五十六　平均年齡は五十七にて山本內閣の平均年齡も亦五十七だが今度の方が若々しい氣分に滿ちて居る

▲本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次 日本郵船 大阪商船 シカゴ、ボストン、ノキラブルセヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人(英文) 河上清氏近着 定價一弗五十仙

紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滞在約百二十日間
▲詳細規則書にあり申込次第進呈
◉注意 渡米者の方は旅券又は家族御同伴希望の方は至急問合せを要す
▲飛行家、寫眞師各々一名の加入者を募集す、委細面談

紐育母國訪問團本部 紐育市第八街一參八

主催者 林 富平

●[illegible]の慘劇と同胞の死傷 過日來[illegible]を極め居たるコロラド[illegible]に就動中なりし日本人四五名はユニオン側の襲撃に遭ひ一名は死[illegible]一名は[illegible]傷を[illegible]りたる由にて此急報に接した[illegible]重大[illegible]會に[illegible]し[illegible]總領事館に於ては[illegible]ド、[illegible]なる[illegible]事件の眞相を確かむべく[illegible]

●[illegible]參加事件 去六日の東京電報に依れば[illegible]大隈[illegible]

●紐育日本人會經費 [illegible]年約四千弗弱を要しこれが支出法に關しては同會評議員協議中なりしが今回當市各會社商店の[illegible]に依り[illegible]左の如く支出を[illegible]

金三百八十弗 三井物産會社
金三百六十弗 正金銀行
金三百六十弗 森村 新井組
金三百八十弗 [illegible]村組
金二百四十弗 高峯讓吉
金二百弗 日本銀行
金二百弗 高田商會
金二百弗 山中商會
金百八十弗 堀越商會
金百八十弗 原 合名會社
金百五十弗 野澤屋 商會
金百二十弗 高見豐彦
金百二十弗 古谷西村商會
金百二十弗 京都工商會社
金百二十弗 茂木 桃井組
金百二十弗 多治見 商會

備大倉組支店、森尾森村商會其他一般よりも多額の寄附を爲す由なれば同會財政の基礎は今後益々鞏固となり在留同胞社會に於ける機關として種々なる方面に活躍するに至るべし因に同會は去月の大會以來新入會者陸續たりと

●日本人會參議員當選者 は左の如くにて會長副會長の選擧は不日執行さるべしと

高峯讓吉 高見豐彦 一宮鈴太郎 新井領一郎 村井保固 寺岡多仲 牛窪第二郎 三上孝司 矢島俊吉 堀十延之助 高山喜一 草信竹治 大橋井貫一 高田嫁稲 久米又造 家永豐吉 高西文吉 香西龍雄 竹田久吉 片桐智博 菊地東洋 藤田爲造 大見篤 清水宗次郎 吉川益次 中原斗一 中[illegible]健 安井[illegible]治 榊原貴丞 谷政之助 増澤丈兒 士生[illegible] 太郎 鴨井久 中原修吉 岡野庄八 材[illegible]九郎 堀内[illegible]太郎

●飛行學校の日本人生徒 曾て青年會に在りし新井啓造氏は加州羅府より歸市し直ちにロングアイランドのガーデンシチーなるモノプレーン飛行學校に入學するが氏よりの通信に依れば同校には目下八名の生徒あり中三名は日本人にて竹田商店に在りし[illegible] 新井 小野の三氏共に熱心に勉强中なりと

●新團鴨飛行家[illegible]原知重氏の許氏[illegible]年[illegible]後病氣に罹り郷里岡山小松島に於て靜養中なりしが去月十三日死去したりと

●坂本壽久三氏の發狂 南知[illegible]なる同氏は商用にて南米旅行中精神に異狀を呈し目下は[illegible]發狂人となれりと市内の友人へ書信ありたるが氏は[illegible]會社の歐州航路開始されし際主任丸の事務長たりし事あり渡米後各地の商業に從事し四五年前當地に

●サイベリア號沈沒 [illegible]サイベリア號沈沒は全々誤報[illegible]號沈沒の報は日本の無線電信所に於ける受信の間違より生じたるものにし同號は去二日無事マニラに到着せりと

●大久保正金副支配人家族 夫人ワキ子は令孃百合子令息利春家庭教師周防蝶子等を伴れ去一日天洋丸にて桑港に着せり

●外交官岩手嘉雄、同加藤外松兩氏 華府大使館に赴任すべき岩手氏及當地總領事館に齋藤氏の後任として來任すべき加藤氏は去[illegible]日桑港に着

●正岡藝陽氏 小田律氏と同伴天洋丸にて來米、漸時桑港に滯在の上東部に來遊し六ケ月許り滯在の豫定

●總領事飯島氏轉任は事實 [illegible]數々噂されたる同氏のオッタワ轉任說は多分事實となるべき模様なり

●慶應チーム監督平沼亮三氏 は近來市日本倶樂部に在り

●東北大學助教授半澤洵二氏 は應用菌學研究のため過日歐州より來着 ホテルモンテセロに在り

●鐵道院留學生接伴員取羅三、瀧山[illegible]兩氏 は此程來着

●東京電氣會社技師四方來三郎氏 はホテルモンテセロに在り

[illegible]新聞發行の計畫を試みたる事もありしと、氣の毒の至りといふべし

●總領事館主催遙拜式 皇太后陛下御大葬につき飯島總領事主催となり來廿六日夜在留同胞の遙拜式を執行する筈にて一般の來會を希望すと(廣告參照)

●紐育大學々生會 同會は去[illegible]日料亭若松に於て例會を兼ね本年度卒業生諸氏の送別會を催ほし午後十一時散會せり、本年の新役員は會長内藤一郎氏幹事清水貴一郎氏にして大學商科卒業生は岩崎、前川、加藤、西尾の四氏なり

●五一會の移轉 西百八十三街五七五に移轉せり

●千葉及び横濱館の臨時休業 千葉は本月十五日より九月上旬迄横濱館は本月廿五日より八月上旬まで何れも休業

五月廿六日午後八時卅分より當市西九十三街百六十一番日本倶樂部に於て皇太后陛下御大葬遙拜式擧行候につき御參拜相成度此段及公告候也

在紐育 帝國總領事館

●タヽ商會員久米又三氏轉任 同氏はホテルモンテセロに在りしが倫敦支店へ轉任すべく後任者は原氏なりと

●鐵道院監督渡邊季四郎氏 過日來着

●中原勇氏自殺す 今春當地にて病に罹り傳馬市なる國友醫師方にて療養中なりし同氏は其後病勢次第に重り行くより人生を墓なみしものか去二日夜自殺を遂げたる旨從弟平野逸氏より通知越せり氣の毒に堪へず

●畫家西岡秋草氏死去 咽喉結核症にて昨年歸國せる同氏は去月十四日金杉病院にて死去せる由村瀬醫師へ通知ありたり

●米人某ピヤノ教授と交換にて日本語を習ひたし

紐育の日本人(十四)

飛耳長目生

口入業

▲日露戰爭前後迄は紐育日本人間には桂庵なるものがなかつた、夫れでも家内勞働の口を諸めやうとする者は各下宿屋を本城として新聞に廣告を出し、雇主は其廣告を見て直接に雇入れた者であるが其後在留同胞の數が漸次增加すると共に勞者被雇者の[illegible]に立つ桂庵業者なる者が現はれ、現在に於ては藤森、谷、岡本、森、和佐等合五ヶ所の桂庵が出來て何れも相當に繁昌して居る

▲一年中に於て桂庵の最も繁忙な時期は家内勞働者の出入の烈しい時期即ち春は五月の初めから六月の央迄秋は九月の初めから十月の央迄であるで收入も隨つて多い譯である近來日本人サーバントの相場下落と共に此商賣で以て大金持になれさうな天氣模樣も見えなくなつた

▲併し元來桂庵商賣はオフィス代さへ[illegible]外別に資本を要する必要が[illegible]口の先[illegible]雇者被雇者の[illegible]をせずして双方から都合[illegible]のやうに澤山は取れぬにしても[illegible]に遣られる心配はなく、五十弗の給料を取る料理人乃至バトラーを一人世話すれば十人の方から五弗被雇人から五弗、都合十弗の周旋料、それなら口が一日平均四人あるとしても一ヶ月に積つて見れば日曜日を差引いて廿六日の勘定は四六廿四、二四ンガ八都合一千四十弗の額となるが上に登記料五十仙を取つたり取らなかつたり、規則通りに返したり返さなかつたりするから決して馬鹿に出來ない商賣である

▲聞説コンナ工合に四六廿四、二四ンガ八、税金のかからぬ口の先きで一ヶ月に千弗以上の收入と[illegible]便宜に勘定すると自分も一番新聞屋を止めて桂庵商賣に轉代[illegible]一寸味がなど思ふが靜かに考へて見ると商賣は單純でも生物の人間を取扱ふ商賣で而かも背中に甲羅の生へた海山千年の紐育日本人を對手とする商賣だから何時もかつも四六廿四の米貨千弗、濡手に粟を摑み取りといふ譯には可い事は出來ない

▲何故かといふに登記料もサッサと前金で納める仕拂ひ一割の手數料も前金で納めるやうな者は大抵石部金吉金兜の辛抱人で一度奉公に行つたが最後石に食ひ付いても半年や一年は勤めるから隨つて桂庵の定得意とはならぬ、之と反對に例の桂庵常習委員と呼ばれる連中は折角よい口を世話してやつても、ヤレ婆あーがノミツタレだとか、爺がクランキーだとか、仕事がハードだとか銘々自分勝手の庇理屈をつけて歸つて來るので規則通りの手數料を請求する譯にも行かず、取る金もなし[illegible]間違へば手數料所か小使錢を倒されるやうな憂目に會ふ事なきにしもあらず、加之[illegible]に學生の方からは散々た小言を頂戴した結果天口錢を恋うする勿れ、と患痛る事も度々あるのだ

妾の告白(四)

寫眞結婚失敗の一人子

▲鬼の様な兄弟　サクラメントの大果實園の經營者と信じて居た妾の良人と其弟とは眞赤な嘘で良實兄弟ともに撒ふのは[illegible]ある惡漢で千素賭博や强請を[illegible]をして世を渡つて居る名高い[illegible]だつたのでありますが此恐ろしい事實を發見した時の私の驚き悲しみは何んなであつたか口惜しさの餘り泣かうとしても涙も出でず直ぐ逃げ歸ろうと思つても萬里の波を距てた外國で方角さへも辨へず煩悶懊惱の末危く卒倒しやうとした事が日に幾度もありました兎角する内に有らう事か良人の外出中に良人の弟なる人は妾を手込めにして遂に貞操を破り其後兄弟で交る〳〵妾を慰み物に致します妾は當時幾度か自殺しやうと思ひましたけれど氣の弱い妾は到頭自殺もなし得ず散々兄弟の玩弄物にされ其無念さ口惜しさは到底筆にも口にもあらはせられません

▲總領事館に駈込む　斯くてシャトルからポートランドに行き更にエンバヤーに赴き間もなくシスコに行くと港には日本行の汽船が煙を吐いて[illegible]ます海岸の或ホテルに滯在して居た妾は兄弟の隙を見て手提カバン一個を手にしたまゝホテルを飛出し先ず總領事館に駈込み事情を明かした上歸國が出來るやう御願して居る所へ良人が跡を追ふて領事館へかけ着けました妾は良人から何んな酷い目に逢はされるだらうと縮み上つて[illegible]りますと領事館のお役人から良人に

色々と話をされ良人は妾の離婚申込を心易く承諾する事になりまして且つ日本へ歸る旅費を呉れて何とも言はず立去りました

▲無慘な失敗　船に乗込むまで[illegible]館の保護を願つて愈々無事乗船が出來た時は實にうれしう御座りましたが寫眞結婚のために思はぬ失敗をして一生を無慘々々疵物にされた事を思へば生きては居られぬ[illegible]す妾は横濱に上陸して一應東京に行き知人にも斯くと話しましたら[illegible]に氣の毒がられ「果實園の寫眞や良人が々によこした手紙にも又本人が兩親へ宛てた手紙にも米國で成功した樣になつて居るやうに書いてあるがサカそんな事とは知らずウッカリ手紙を信じたのが悪かつた」と妾に同情してくれました東京に五六日滞在しかられて郷里熊本に歸りましたが見すぼらしい妾をして突然歸宅した妾を見て兩親は一ドク驚き事情を聞いたサメ〴〵と泣きました年寄の行末を知らぬ妹は、姉さんのお歸り、お土産は[illegible]金指輪のおみやげがあると思つたに一二三日間は親子打寄つて[illegible]ましたが兩親は「運命とあきらめて[illegible]」と中流以下の家の縁談の申込みも澤山あつたのに夫れを拒絶して米國へやつたのが一生の不覺だつたと申します妾は兩親や友人からは冷たい目で見られ村人には後指さゝれるこの身は今悲しみの淵に沈んで居ますが人なき所で此身の不幸を泣くのは日に幾度か知れません(完)

投書籠

▲傳馬のコロラド新聞が傳馬手腕家の投票を募つたら例の國友信彌クンが第四等で當選したさうぢや、同新聞の記事を見ると先生は四十一年費府大學醫學部特待生の募集に應じて及第し四十五年優等の成績を以てドクトルの學位を授かつたとある、費府大學とは何んな大學だ、ペン大學の卒業人名簿には國友なんて名は無いぞ學校其處退けで下宿屋でサイコロ許り轉がして居た法螺吹が持てる世の中だから傳馬チュ所は東部の喰詰者にはカッキリ嵌つた所と見へる（費府大學生）

▲大坂の下等旅館松島の客引をして居た梅の戸は今何處に居る柄にもないコムミッションマーチャントの眞似をしてシッツを出し某倶樂部の給仕頭になつて追出されたのはツイ此頃じやで改心せんとアキャヘンゾ（贊六生）

▲此程妻女を連れて西部まで再渡米した某銀の子氏は二三週間前古巣の紐育にコッソリ來て例の婦人と子供を働先から連れ出し同伴西行した、知人に會ふ事を避けて秘密行動をやつた所を見ると[illegible]かあるらしい（武市生）

▲マンハッタン海岸の大佛かぶつた消息の分からなかつた、記憶術の元祖和田菊次郎は大正博を當込んで美人探見島とか云ふクン式の興行物を經營しさうか大繁昌木戸はタッタ三錢入らつしやい〳〵（見物生）

▲オフィス時間を地下鐵道で往復する某會社員は或婦人ごみの中に頗る付の[illegible]的か後ろをせなから草にブラ下るので氣を利かして米國式に帽子を取つて丁寧に席を讓つた途端顔を見ればコは如何に美人と思つたのは黒姫[illegible]であつたので某の極りの悪さ顔を眞赤にしてコソ〳〵逃げ出したげな（白白男）

No. 14[illegible] VOL. 4　The Japanese Times　SATURDAY May 16th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 647[illegible] Chelsea
Subscription Rate
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシー

數々總領事を轉任せしむる勿れ

本年行はる可き筈なる外交官の更迭に關し新外相の方針は前外相の指定せる人員を其儘更迭せしむ可く、紐育總領事飯島氏亦其一員として不遠加奈陀オッタワに轉任の命を受くるに至るべしとは故國最近信の傳ふる所にして且事實となりて公表さるゝならんとは某消息通の語る所なり素より在外官吏の任免は外務省が時處に應じ人物の適否を比較省量したる結果なるは勿論なりと雖も紐育總領事の任免數々なるは各方面の利害關係より打算して決して喜ぶべき現象に非ざるとは當地在留者の輿論にして高峯博士、新井領一郎二氏の如き常に其不可を唱導して止まざる所依て吾人は飯島總領事の轉任説の事實たると否とに關せず右に對する吾人の謬見二三を陳じ以て吾外交當局者の參考に資する亦無用の業に非ざる事を信ぜんと欲す

元來總領事若くは領事の職責は政務官たると同時に事務官たり、上官たる大使公使の命令の下に駐在地管轄區域内に於ける輿論の向背、新聞紙の論調等一般政治上の趨勢に留意する外、自國若くは自國と密接重要の關係ある諸國と交渉深き大會社、人物等の行動を研究探査して本國政府の對外政策に資し或は駐在地の官憲有力者間に交遊して談笑献酬の際巧みに對手國の機密を把握するが如きは前者に屬し、重なる自國輸出品の需要供給、價格の變動、其他一般商業貿易上の趨勢を察して自國商工業家の參考に資し、又は在留自國民を保護し、獎勵し、改善し以て彼等の海外發展を指導するが如きは後者に屬す、故に滿蒙支那本國露國領土各地の如き政治上吾國と緊要、密接の關係ある駐在地にありては吾領事總領事は事務官たるよりも寧ろ政務官としての職責其多きを占め、桑港沙港、晩香坡、ホノルヽ地方の如き政治上の關係あり且在留邦人の數多き駐在地は兩者相央ばするの趣きを有し、其他歐州各國、南米各地の如きは領事、總領事の職務は重もに事務官として吾商工業の發達を圖るにあり、各地何れも人物の任免時處に應じて適材適所の妙用を盡さゞる可らざるは勿論なるが吾紐育は日米問題の經過、日米貿易の發達、在留邦人の増加と共に諸種の原因相交錯して、如上各地に比し外交上一種特別の位置を占むるに至り總領事の職責も昔日の如く悠々閑々たる能はず、人物の任免、在任期の長短に關し吾外務當局者は特に至大の注意を拂はざる可らざるを見る、試みに政治上より觀察せんか紐育は吾大使館の所在地たる華府を經つると遠からざるが故に總領事が政務官として手腕を試むるの餘地較や少きが如きも全國の輿論を左右するの力ある新聞雜誌の所在地として、將た有ゆる上下人材の淵叢地として日米問題に至大の關係を有し、殊に日米國交を目的とする日本協會ありて其會員の如きも多くは日本に好意を表する富豪紳學者、政治家なるが故に當地に總領事たる者は不絶是等の人物と相往來し相互間の意志疏通を圖り、漫りに手腕家を氣取りて小巧智を弄するとを愼み、可成彼等の心を緩和融會せしめ以て所謂啓發運動、國民外交の先鋒たらざる可らず、更に商業貿易上より觀察せんか吾日米貿易品の十要品たる生糸、絹織物の如き近來著しく其輸出額を増加し、其需要地は紐育は元よりペンシルバニア、ニユージャシー等何れも當市を中心とせるのみならず茶、陶器其他の輸入品及び石油、綿、鐵道用具、各種機械等殆んど凡ての取引は一切當地に於て行はるゝを以て紐育總領事の報告と故國商工業家とが如何に至重至大の關係あるかを知るに足るべく、紐育が日米貿易上最も重要なる地点に在るかは敢て玆に絮説するの要なきなり、次に在留同胞の現状より考慮せんに今より三年以前迄の在留邦人社會は全然統一あり秩序ある社會なりといふ可らざりしも共濟會の復興と共に各階級を通ぜる共通的利益機關の組織を促がし日本人會の成立に至つて始めて同胞一般の歩調を整正するを得たり、飯島總領事が日共合併に努力し、證明書下附と日會の聯絡を大半成就せしめたるが如き、紐育總領事の職責が在留人の増加に伴ひ權利の保護、風紀体面の向上等に深き關係を有するに至れるは之亦言はずして明かなり

如斯觀來れば紐育總領事は外交上特種重要の地位を占め政務官として日米關係の調節を繼り、事務官として商工業家の顧問となり、同時に在留同胞の向上發展に努めざる可らず斯る重要なる職責を遂行せしめんとするには總領事の在任期間を以て少くとも四年若くは五年とし、公人として其職に努めしむるの外私人として内外人と親しく相接觸する機會を與へざる可らず、之に反し從來の如く總領事の去來頻々たるに於ては就任し來る總領事其人も責任を重んずるの熱誠を缺ぎ自他共に其惡影響を蒙る可きは蓋し必然の結果たらん、吾人は吾外務當局が深く此点に留意し、吾ニユーヨークを以て一種の外交官養成所たらしめざらん事を希望するもの也

在米外交官

未來の大臣

米國大使館二等書記官松岡洋右

▲日本銀行支店の柿内豪傑、ハイボールの泡凄まじく、會ふ度毎に、外交界の人物沸底を歎じて連りに得意の怪氣焔を吐いてるが人物の沸底は豈只に外交界のみならんやで、政治界然り、經濟界然り、宗教界然り、教育界然り、滔々たる天下有ゆる階級を通じて現代の日本、現代の世界は平凡無能の牛頭馬頭を以て充たされて居るのだ、イヤ夫れで以て日本乃至世界は滿足してる譯ではないが平凡單調なる時代の要求は英雄豪傑偉人傑士の出現を望む迄に切迫して居らぬのだ

▲併し在米外交官中には中々豪い男少くとも自分で豪ひと自任しとる男が澤山居るネ、恐らくは十人が十人迄さう思つてるだらう、吾輩も其通り貴公も其通り、オット吾輩と貴公は外交官でなかつたが、マーどちらでも可いサ、人間は自分が一番豪いと自惚れてる時代が一等面白い時で家ちの悴奴は中學で一番出來ますナンテ子供の自慢をするやうになつちや世の末だよ

▲華盛頓の大使館に居る男の中で一番元氣があつて將來有望だと思はれるのは松岡洋右だらう、彼は米國出身でスクールボーイの皿洗ひから叩き上げ、小中學校を卒業した後オレゴンのローカレヂに這入つて役處を卒業した、小供の時日本を出たので日本學と來たら皆目解らなかつたが感心な彼は小學卒業時分に或男に就て日本文字を習ひ出し、ポートランドに居た時分にはお伽噺をオカシンと讀む位迄に進歩し、今では文章も普通以上、上手に書くやうになつた英語はスクールボーイから叩き上げた丈に立派なもので少壯外交官中稀に見る所だ

▲さうさチー年齢は丁度卅五六位だう、性來多辯で一秒時間も饒舌らずには居られないといふ煎り豆と來てるから大概な者は烟に卷かれて仕舞ふ、性質は智者といふよりも寧ろ才子の方で負けず嫌ひの精力主義、手當り次第行つ付けて無遠慮に振舞ふから往々にして失敗するが、何しろ才子だからドーニカ胡魔化して仕舞ふ、球に疵をいへば支那に居た加減てもあらう豪傑でも何でもない癖にイヤー豪傑を氣取り、無暗矢鱈と豪傑笑ひを連發する癖のある事で其氣障さ加減と來ちや、テンデ見て居られチー、

▲松岡はオレゴン時代から未來の外務大臣を以て自ら任じ、自分の宿泊して居たミツシヨンのルームの壁には何時もビスマークの肖像を懸けて居た、今より約十四年前同地在留民の天長節祝會を催ました時に「私は九歳の時既に將來外交官となつて治外法權を撤去しやうといふ目的を抱いた者であります」と演説して白熱の喝采を博した事がある、よく云へば幼にして倜儻大志ありとでも評す可きで其時から一種の變り者であつた

▲松岡の將來有望な少壯外交官である事は彼の經た所の露都、北京、上海、漢口等何れも吾外交上最も重要の地位を占めてる事でも自ら明かな話で今の華盛頓も其通り、外務省の上ハ役等が如何に彼の前途に嘱目しつゝあるかを知らうと思ふなら紐育總領事館に行つて聞いて見給へ、ウムー妻はあるかつて、勿論あるサ、天下一の美人ぢやないが溫柔なしとて可愛らしいから松岡も大ひに要領を得ると見へてホク／＼ものだよ、ヤー例に依つて失敬しますカネキストウーキに來たら沼野を評してやる

●英領加奈陀新總督の任命　英國皇后メーリー陛下の弟君なるプリンスアレキサンダー　オブ　テク殿下は今回加奈陀總督に新任せられ今年十月コンノート殿下の御退職と共に赴任せらるゝ筈なりと

●日本美人の自殺　東京より歐州に赴き巡行中なりし日本輕業師一行中の青木お霜（十八）なる美人は伯林に於て戀中に陷入りし某美術家の心變りに失望せし結果ゼノア市に於て上月廿三日ピストル自生を遂げたりと倫敦電報に見へたり

●甲鐵艦二隻建造案の下院通過　過去二ヶ年以來米國議會[illegible]

の外驅逐艇六隻潜航艇八隻の建造費を含むものなりと

●常備軍擴張決議案提出　オレゴン州上院議員チエムバレーン氏は過日米國現時の常備軍を以て萬一の事變に備ふるに不充分なりとし更に此數を十二万五千人となす可しとの決議案を提出せり

●瓦斯及電氣會社の收益　最近の報告に依れば當地に於ける瓦斯及電氣會社の主なるものはコンソリデーテツド、ニユーアムスターダム、ミユーチユアル、ユニオン等の瓦斯會社及エヂソン電氣會社等其數十一個にて之が總投資額二億九千二百餘萬弗にて昨年度の總收入は五五六百餘万弗にて純益は二千百六十七万四千七百七十弗なりしと、而して之等諸會社中の最大なるものはエヂソン電氣及コンソリデーテッド瓦斯の兩社にしてエヂソン電氣會社の資本高は一億二千六百萬弗此純益九百四十六万餘弗即ち資本に對し約八分の利益ありたるのみなるにコンソリデーテッド瓦斯會社は資本高五千四百萬弗に對し純益八百四十八萬餘弗即ち一割五分以上の利益ありたりと

●ヘラクルズ戰死者の葬儀　米軍ベラ古領の際戰死したる水兵十七名の遺骸は過日到着し去十一日を以て盛大なる葬儀執行されたるが大統領ウイルソン氏は同日臨場の上一場の弔辭を述べたり

◉タムピコ陷落

過去五日間官革兩軍の間に猛烈なる戰鬪を繼續し來れるタムピコは去十三日に至りて遂に陷落し官軍は目下サンルイス、ポトシ方面へ向け退却中なるが勝ち誇りたる七千の革軍は直ちに市街を占領し五百萬弗の價格ある糧秣を分捕りたり

タムピコ市は石油の産地として英米資本家の利害關係最も深き所なり憲政軍は同地の占領に依りて關税を徴收する便あり行軍に非常なる利益を得べきもウエルタ政府は戰略上大打撃を蒙りたるものにて前途益々困難なりといふべし

▲武器輸出禁止令の解除を乞ふ　華府に在中なる憲政軍代表者はタムピコに於て彈丸欠乏のためウエルタ軍を攻撃する能はざりしを以て速かに武器輸出禁止令を解き憲政軍の墨都[illegible]に便せん事を米國政府に要求せりと

▲米國の費したる軍費　米墨談判破裂以來米國政府の費したる軍費は既に六百三十六万八千九百卅二弗廿四仙に達せり

▲三國仲裁　エー、ビー、シー三國の代表者は講和會議に關し夫々準備中との事なるが時局の紛糾日に益々甚だしき今日豫定の結果は到底望み難かるべき模樣なり

●シヽリー島大噴火　エトナ火山爆發し附近一帶數十部落を廢滅に歸せしめ死傷者三百に達せる大慘劇を演出せりと

東京電報

●第二臨時議會は六月廿日なり　海軍製艦費支出の協賛を求むるため大隈内閣は第二臨時議會の召集を奏請するに決せり期日は六月廿日にして會期は同廿七日迄一週間の豫定なるがため政界は一層動搖せり

●力士の布哇及米國興行見合　太刀山等の東京力士布哇及米國に渡り各地巡業の計畫は都合により見合せられたり

●米支同盟密約成立說　米國の對支外交近來著しく活動し來ると共に袁世凱の運動に全力を盡しつゝあるが[illegible]米支同盟の密約成立せりと東京日々新聞は報道し外交界は非常なる恐慌を起せり

●大葬費滿場一致にて通過す　御大葬費豫算百二十万圓は原案通り滿場一致にて下院を通過せり

●遣米艦千曲、伊吹は目下修繕中　巴奈馬開通式に參列すべき遣米艦千曲、伊吹の兩艦は目下舞鶴港に在り修繕中なるが終了次第直ちに出發する筈なり

●桑港事務官其他役員任命　既電の桑港大博正副總裁の外事務官山脇春樹氏外一同の役員昨夜急遽任命せらる

●政界の動搖混亂其極に達す　臨時議會開會し政客悉く帝都に集まると共に政界の動搖甚だしくなり策士縱横に活躍し非政友、同志、國民、中正三派の合同運動あり、政友、國民黨の合同運動あり紛々擾々互に入り亂れて政界は空前の混亂狀態に陷入りたり

●藤井少將の收賄四五十萬圓　海軍收賄事件の張本人たる藤井少將(光五郎)は去明治四十五年來英國の三造船會社より四五十萬圓の收賄を爲したる形跡あり海軍省にて同人の事跡調査中なる旨發表せり

●收賄事件連累者の罪名

證據煙滅並に賄賂罪　ヘルマン
贓物贖買並に脅喝罪　プーレー
同　フランデル
同　權藤震二
同　上田國藏
文書僞造行使詐僞並贈賄罪　山本條太郎
同　岩原謙三
有價證券僞造行使並に贈賄罪
文書僞造行使罪　松尾鶴太郎
同　[illegible]野
　松野[illegible]

●澁澤男支那行　男爵澁澤榮一氏の支那漫遊は昨年秋微恙にて果さゞりし儘今日に及びたるが、男爵が曾て其側面に最も力を盡せし中國興業株式會社は既に去廿五日東京に於て總會を開き北京の揚士奇氏を總裁に選擧する件及び中日實業會社と改稱するの件等を決了し同會社に關する諸事片付きしため澁澤男は廿八日新橋發支那漫遊の途に就きたり

●飛行將校慘死　飛行將校重松中尉は廿六日朝所澤飛行場より青山練兵場に飛行し成功したるが歸途の際所澤附近に於て瓦斯爆發のため高所より墜落し即死を遂げたり

日本最近信

●陸閣と增師　大隈首相と陸軍側とは意志十分に疏通し且内閣組織の際首相と山縣公との間に默契ありたる結果陸相は全然無條件にて入閣せるものゝ如く岡、大島、明石等何れも增師と因緣深き顏揃ひとて國防會議に於て海陸軍備の均衡軍備と財政の調節を如何にするやは別問題として新内閣の方針が頗る增師認容に傾けるは言を竢たず又明石中將の參謀次長に補せられしは長谷川大將が來年を以て停年に達するより寺内總督の後を襲ふべき前提とも見られ結局今回の更迭は長閥の復興なりと觀測するものあり

●政務次官新設の議　新内閣の各省次官は何れも官僚を任用し政黨内閣として異樣の觀あるが内閣更迭と共に事務官の更迭するは政務の澁滯を來すの虞あるを以て新内閣は官制に一大改革を斷行し政務次官とも稱すべきものを新設し事務官と政務官とを全然區別せんとの議ありと

●國防會議案　政府は國防問題を解決せんがため國防會議を組織する方針なれども其組織の形式如何は國防の完成上に至大の關係を有するを以て軍事當局者は目下調査中にして未だ閣議に上す迄に運び居らず而して其組織に就ては

第一、軍事當局者のみを以て組織する事
第二、陸海軍々事當局者以外に大藏外務兩省の責任者を加ふる事
第三、貴衆兩院議員をも加ふる事

の三案中第一案の如く陸海軍兩當局者のみにて組織する時は現在の制度と毫も異ならず國防會議の意義は全く無意味となるべく又第三案たる貴衆兩院議員を加ふるとは[illegible]の利あれども國防問題の根本義たる秘密を保つといふ最大要件を缺くの虞なきに非ず從て第二案最も有力なれば結局國防問題と外交とは最も密接の關係を有し如何なる場合と雖も兩々相孤立するを許さゞると同時に財政と國防とも亦斷じて別個に論議すべきものに非ずとの見地より第二案に決定するならんと

●中正會の自由行動　中正會代議士會は十六日午後一時開會出席者尾崎行雄、花井卓藏外廿五名にして先づ大隈内閣に對し同會が今後執るべき態度方針を議題としたるが前日來論戰し盡したる事とて滿場一致を以て左の申合せを爲したり

本會の本領に則り大隈内閣に對し各自自由行動を執る事

●竹越代議士復黨　代議士竹越與三郎氏は愈村野常右工門氏等の紹介により政友會に復黨せり

●關和知氏脫黨　國民黨代議士關和知氏は大隈内閣成立と共に一身上の事情及選擧區との關係上脫黨する事に決し十八日國民黨本部に脫黨屆を提出せり多分同志會に入黨すべく同時に内務大臣秘書官に任ぜらるべし國民黨内には此外二三の注意人物ありしも既に黨議を以て大隈内閣援護の宣言を爲したる以上脫黨の口實を失ひたれば此上黨の動搖を來さゞるべく乃ち脫黨者ありとも中正會より二三名の入黨者あるべき見込なれば黨勢に消長なかるべしと樂觀し居れり

●富士山頂へ鐵道　辻新次男令息辻太郎外六名の計畫にて御殿場より富士山頂まで電車並に索條鐵道を布設すべく靜岡縣駿東郡役所に出願せり右計畫に依れば每年夏百二十日間の營業にて御殿場停車場前を起点とし御殿場口登山道馬返し等を經て大日道に到り夫より山麓を迂回し東進して須走口の登山道に合し山頂に至る計畫にて大日道迄は電車線路とし其線路は最急勾配十五分の一夫れ以上の索條線路は最急勾配二分の一にて總延長十五哩四十鎖資本金百六十萬圓の株式組織とし一人の乘車賃往復[illegible]圓の豫定なりと

●古賀博士無罪　支那鐵道百万圓僞造事件の關係者として嘗て東京地方裁判所に於て有罪と決し一年六ヶ月の入獄を宣告せられたる前警保局長法學博士古賀廉造氏は其判決に服せずして控訴し上告中なりしが過日其宣告あり證據不充分の故を以て無罪の申渡を受けたり

●漫遊客續々來る　春漸く暖かき旅行季節に入りてより船毎に渡來する外人漫遊客非常に多く十七日[illegible]國郵船にて比島總督ハリソン夫人、マニラ軍司令官タマイル將軍夫妻、貴族アルテスワーク伯を始め船客神戶に上陸し十八日にはモンゴリアにてマニラ歸りの米國觀光團百廿名あり内六十余名は長崎に上陸せし由なれど殘餘百六十餘名は神戶に上陸し名所古蹟を探るも或は開會中の共進會に車を馳するも多かりしが一兩日滯在の上京都奈良を經て東上する筈にて他は橫濱に上陸し日光見物をなすべしと

●生命保險繁盛　最近に於ける我保險界の活況は實に目覺しきものあり就中生命保險の如き先月並に本月開業の大安及び高砂の兩社を加ふる時は既設會社の總數三十九社の多きに上り之に發起認可濟の三社を加ふる時は合計四十二社に達すべく而して保險契約の總額は二月末に於て既に十億四千七百餘万圓の巨額に上りしを以て如何に隆盛を極めつゝあるかを知るに足るべし

新育日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
メキシコ丸	タコマ	五月十五日
シカゴ丸	タコマ	五月廿一日
香港丸	桑港	五月廿五日

●日本より到着日

五月廿一日　五月廿六日

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次　日本郵船　大阪商船

シカゴ、ボストン、フヰラデルフヰア其他東部各都市の何方よりも御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人（英文）　河上清氏近著　定價一弗五十仙

紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發

▲日本滯在約百二十日間

▲詳細規則書は申込次第進呈

◉注意　夫妻又は家族御同伴希望の方は至急問合せを要す

▲旅行家、寫眞師各々一名の加入者を募集す、委細面談

紐育母國訪問團本部　紐育市第六街二〇八

主催者　林富平

◉御追號確定

皇太后陛下の御追號に就ては大喪使事務官股野琢氏其他の[illegible]にて御下命[illegible]なりしが愈[illegible]昭憲皇太后と御追號[illegible]決定せる旨去十二日[illegible]館に公電達せり御葬儀につき本月廿四日より廿六日まで[illegible]出されたりと

●[illegible]外國人[illegible]に關し[illegible]一人に[illegible]日本政府[illegible]桑博[illegible]なる訓令ありしが[illegible]者、日本人會、[illegible]氏等は右訓令を不當として種々奔走する所ありしが去八日の[illegible]により[illegible]の辯明なるものを[illegible]にて曰く桑博覽會外國人取締に關する[illegible]規定につき[illegible]すれば同規定は一[illegible]に過ぐる[illegible]見ゆるも[illegible]大會[illegible]者にして日本政府の證明を有する者は今後該規定に拘束されず保證金並に寫眞等を[illegible]するの必要なきにより該規定に關し運動をなすは不必要なることといへり

●東洋汽船切符交換に就て　過般東洋汽船會社の一代理店の談話として若し太平洋汽船會社の通し切符を買ひ來れる者に都合ありて同船に乘れざる時は東洋汽船の船に乘り得るやう取計ふとし尚亦通し切符を買ひ來る人は何れの會社の船になりとも乘り得る樣書き込み貰ふを便利とすと注意ありたる旨を報じたるに太平洋汽船の日本人部代理者大河原富太郎氏よりかゝる事なし此事に就ては兩會社の間に契約ありて一方會社の裏書なき限りは決して他の會社にて其依賴を採用する事なし是會社のためにも客のためにも便利なり客が若し他の會社の船に更へんとする時は代理店よりエキスチエンヂ、オーダーなるものを取り同時に回收したる金を乘り代へんとする船の會社に送金すべしかくする時は其客の桑港に着したる時乘船切符を得らるべし然らざれば何れの線路にて何時何人か來るやも知れざるを以てテケツを保存し客室を取り置く譯はず是か爲め客は次の船を待たざるべからざるのトラブルあり故に決して兩會社のテケツを猥りに交換し得られ何れの船にも乘り得る如き通し切符を出す事なしとの意を辯明し來りたりと

●中原勇氏自殺詳報　同氏か傳馬にて自殺したる事は不取敢報道し置きしか今回同地より[illegible]書信及自殺當夜認めたりと覺しき當地の増澤甲斐兩氏へ宛てし私信を發見して考ふるに原因は病勢の募り行くに連れて死期の刻々に迫り來れるを知り、此上知友に迷惑をかくるは無用の業なりと覺悟したる結果なりと察せらる、傳馬の新聞記者、國友醫師其他に與へたる書面の要旨は左の如し

新聞記者に宛てたる手紙

新聞記者諸君余か死は單純なり理由あるには非ずされど尋常ならぬ死は社會を驚かすことやも知れず宿痾年餘の余か生命に明かなり而して余か生存は社會に有害無益なればなり

無價値病床　如水　中原勇

[illegible]平野進氏及國友井上兩醫師宛

一日々病勢加はる如何に泰西平氣を裝ふとも肉體の苦しみは誠に辛い一[illegible]會を驚かすの罪や大なるを知る[illegible]されど生きてバチルスを[illegible]の罪は亦大なり自家掘鑿幸に許せ[illegible]仕候『今亦此始末是れも佛家の因緣[illegible]何卒[illegible]後始末願みます靈魂不滅のものならば乾度御禮は致します』

[illegible]増澤、甲斐兩氏宛の手紙

[illegible]啓茲に小生最後の執筆、千今厚誼を感謝するの時に相成申候最初來傳當時一二週日は寒氣の爲め左程にもなかりしが爾來日を經るに從ひ身體肥滿早く快方に赴くものかと專心療養に手落なからむ事を懸念致居たりしか俄然今より六週間前咯喉[illegible]殆んど前後不覺に陷入りし以來兎角身體の自由を失し起居自由ならず體だは日々に痩せ衰へ目下六十斤、恰がも地獄の有象無象の如く是れにては到底歸朝など思ひも寄らず、さりとて全快の見込なき身體、徒らに永らへんは愚の骨頂、茲に卑怯の振舞致したる次第に候

病床無聊中　中原勇

甲斐健一殿

増澤大兄殿

[illegible]不滿ならば早速[illegible]ニューヨーク見物に走かんかな

內國債償還廣告

今般帝國政府に於て臨時事件公債（大日本帝國政府特別五分利公債證書）の內金壹千萬圓也、本年五月五日抽籤執行五月卅日償還可相成候、右當籤番號は來る五月卅日以後當店に就き御承知被成下度又右公債證書所持の御方々の御便宜を計り右五月卅日以後當店に於て日本向買爲換相場を以て御買受可申候

大正二年五月

横濱正金銀行　紐育出張所

55 Wall St. New York City

●日本人會役員選擧會　日會參議員は來十九日午后七時河濱族館に會合し會長以下役員、委員の選擧を行ひ基本金預入銀行の選擇、事務所新設等の協議をなしたる後懇親會を催す筈なり

●日本人飛行學校開始　飛行術及飛行機製作術を日本人に教授せんがため木下國太郎氏及某氏兩名にて標題の如き學校を開始せり場所はミネオラにて支那人の受教希望者數名ありと

●大運動會模樣　豫報の如く青年會並に五・六の團體合併にかゝる運動會は去十日ラムベイパークに於て催されたるが競技の結果は左の如くに參觀者は日米人を合せ約二百名非常の盛會なりしと　優勝者への寄贈品はバンツ一組佐々洋服店、チクタイピン、ガクブチ、名刺入、香西洋店　書籍二冊、草履一足、片桐商店　各一等優勝者はベースボール青年會　スヘリングレース菊地　スプーンレース新井　載囊レース菊地　二人三脚萩原丸山　一人一脚大石　マラソンレース菊地等の諸氏なりき

●沙田大使來市　十四日來市翌十五日歸華せり

●大久保利賢氏並家族　は十一日桑港より安着、夏期中の住宅はサムミツトなり

●加藤官補　十一日着任せり

●慶應撰手監督平沼氏　は十五日出發桑港に向へり

●京都商工會社新支配人笠井寛一郎氏　は過日來着せり、井上熊三郎氏は近々歸朝すべしと

●森本副領事送別會　來二十日當地出發上海へ赴任の森なる同氏のため領事館員一同は去十三日總領事官宅にて加藤官補來任の祝宴を兼ね別宴を張り、十四日には正金銀行主催の別宴ありたるか本夕は日本倶樂部に於て倶樂部員よりの送別會ある筈なり

●淺野次郎氏伯剌西行　森村組社員なる同氏は今回同社を辭し伯剌西爾の途に就けり

●森岡移民會社重役西坂氏　當地にありし令息同伴近々伯剌西へ向て出發の由

●紐育日本評論五月號　は去十四日發刊中橋徳五郎氏の支那の將來、ゾーヤー氏の紐育に於ける日本人ミツシヨン事業等其他例に依て趣味深し

●進歩第二號　過日新刊清水牧師の施はれたる自我の發現「吉田博士の日米社會組織比較」等あり

五月廿六日午後八時卅分より當市西九十三街百六十一番日本倶樂部に於て　皇太后陛下御大葬遙拜式擧行候につき御參拜相成度此段及公告候也

在紐育　帝國總領事館

泥棒の天下(一)

●支那河南の中部地方に白浪といふ土匪があつて千名近くの部下を率ひて各地を荒し廻つて居るといふ事を大坂毎日新聞が初めて日本に紹介したのは昨年の今頃かと思ふが爾來一年經つか經たない間に白浪はメキメキと泥棒振を上げて湖北、河南、安徽、峽西の四省を跨にかけて到る所疾風の枯葉を捲くが如く吾物顔に支那の中原を横行して居る、現在支那の大官中には泥棒上りの者は少くないが白浪ほど幅を利かした者は未だ一人もない、白浪は正に是れ支那泥棒界のレコード破りである、泥棒ても白浪の様に堂々と天下を横行する奴は窃かにコムミッションを取つて口を拭ふて居る連中などよりは遙かに男らしく且小氣味よい

今の處白浪一人で支那の泥棒を代表して居る形だが官憲を蔑視し地方民を惨害して居るのは決して白浪一人ではない一寸白浪の向ふを張るものには湖北に載守仁、福建に黄濤などいふ豪のものもある、其他數十人乃至千人近くの乾分を有して山澤に割據して居る綠林の俠雄は一省毎に双手を擧ぐる程の數は確にある

白浪の軍勢はザット三萬六千人と言はれて居る、白浪は之を十八隊に分つて、隊毎に司令官を附して居るが三万六千人が凡て委く訓練ある兵士とは勿論ないが武器の比較的豐富なると解散兵が加つて居るので官軍に取つては實に恐るべき敵なのである

白浪軍の中に外國人が居るかドウか白浪が革命黨と密接の關係があるかないか第二革命の際江西軍の驍將ドウか今の處歷とした證據は擧つて居たりし林虎、河南の凌越、湖南神聘農等が白浪の軍師になつて居るといふ所から考へ合せると白軍の中には種々様々の人物が集まつて居る事は疑ない

此間四川省の定遠縣に紅燈會匪が勃發して定遠縣を陥入れた事がある、支那新聞で見ると此騒動も間もなく鎮定したらしいが此紅燈會の頭目は馬學仁、王球、何殿中の三人で此外に鵬飛太郎といふ支那人としては稀な名前の副司令が居た、此男がドウモ支那人らしくないといふので支那官吏の中には或國を疑つて居る者もあるさうだ、馬學仁等は其軍を淮南倭義軍と稱し鵬飛太郎を參謀として事を起したものらしい、鵬飛太郎か支那人であるかドウか或は支那人でありながらワザと妙な名前をつけたものかソコは分らないか白浪軍の中にはコウいふ風變りの人間か居るかも知れない

紐育の日本人(十五)

飛耳張目生

黄白結婚

▲餘り職業の事や商賣の事許り書いても面白くないから今度は方面を變へて、僕の一番嫌いな女に關係ある事を書かう、だうも世の中は女の話をせんと歡迎せられないと見へて卓郎君などは何時も戀愛、結婚、スウキートホームの卸賣をやつて居る

▲ヤレ人種的偏見だ、それジャップ排斥だと愚にもつかぬ庇理屈を捏ねた所で戀に上下の經てなく紐育在留者中の黄白結婚數を調べて見ると勿驚二百餘組。アイラブユー、ユーラブミー、可愛らしい三界の首かせ迄も製造して永住植民の温かき家庭を作つて居ると聞いたら驚かれずには居られまい

▲當地で黄白結婚は普通であるといつたなら日本人は獸類同様に思はれる西部在住の人々は、ヘーさうですかねー、と不思議に思ふかも知れぬか事實全く其通りで理由は斯うだ

▲東部地方は在留同胞の數も比較的に少なく、其職業も各種の方面に亘らず、實際的方面に於て米國人又は外來移民と利害の衝突を來す事なく殊に人口六百万を有するニューヨークは所謂コスモポリタンシチーで有ゆる世界各國の人種か集まつた所であるから三千や五千の日本人か歩行いて居た所で別に目立ちもせず隨つて一般から排斥される理由か起らぬと斯うなる

▲然らばニューヨークの日本人は西部と正反對に米人から好かれて居るかと云ふに然うではない。大して嫌はれても居ない代りに好かれても居ないといふ迄の事、云はば好きとか嫌ひとか云はれる迄に在留同胞か發達して居ないといふ譯だ

▲ソンナラ人種的偏見なるものは皆目存在せぬかといふに、大ひにある殊に結婚と云ふ一生の大事になると勢ほひ兩親や親類の苦情か沸ひて來て日本ならば生ま木を割くやうな罪作りをする事もある筈だか難有い事に米國は自由結婚の國だから惚れて晴れたら最後の助、結句ドン底までやつ付けなければ承知せぬから豪氣だ、尤も夫れかため結婚後の新婦の生活は結婚前と違つて氣の毒な程寂しいものになるから可愛相だ

▲諸友へ
口は禍の門とか申候か小生儀近來如何なる故にや友人諸君の感情を害する事夥しく過去二週間の間に○藤君○元君○宮君南嶺君千本木君林君等を怒らせ申候、之れ全く小生多辯不德の致す所と深く慚愧に不堪茲に改めて謝罪致候、序なから何人にても今後小生と御出會の節は在留同胞、日本人會、投書、家内的勞働等四角張つた諸問題に關しては一切論題を提供被下間敷、罪のない女の話、色話しに會話の題目を御制限被下度自餘の話題に就ては一切言責を不負候

飛耳張目生

投書籠

▲玉蜀黍粉一合に對し五合の水を加へ粥としたるものは朝餐、晝は小豆粉と豆腐粕を練り固めて團子となしたるもの、廣東米に馬鈴薯を鹽煮にしたるものは上等の夕飯にして吾々の咽喉を鳴らしめ居候とは東北の飢饉に苦められ居る知己からの情報在米日本人の一讀を要すべき事と思ふ(東北人)

▲夏場撰定の旅行費三百弗を消費した某玉屋先生の氣焔にシカゴ以東の夏場娯樂場と名のつく所には必ず日本玉屋かある夫れか五百軒と概算してみて平均千五百弗の商買すれば七十五万弗、最近十年の間に日本雜貨か米國の津々浦々ジョンチャレーの家庭にまで紹介さるゝに至つたのは玉屋の力與つて大なりだ玉屋も馬鹿にならんて(ペドラー)

▲米國移民總監は桑博に來る外國出品人興業師の被雇者等の入國に關し嚴酷なる規則を發表せり之れ一種の排日法案と見て差支へなし、吾々の常に反復する事乍ら米國に對する日本政府の紳士的態度は如何なる程度に於て日米親善の實を擧げらるべきものなりや識者の救を乞ふ(憤慨生)

▲相當の地位あり身分ある人にして離婚騒をやつて居る、そして宗教家大學生舊新聞記者それから何々夫人などか關聯して事件を擴大ならしめんとしとるから面白い(見物樓)

No. 14? VOL. I　The Japanese Times　SATURDAY, May 23rd 19??

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenkyo Kai, Editor
??? Sixth Ave N. Y. City
Tel. ???? Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office as second class matter under act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政許可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街三三八
電話六四七三　チエルシイ

君民の親和と大權の發動

吾參謀本部は増師問題に關し「上杉法學博士の所説によれば、大權發動による増師並に其結果として要す可き豫算の如きは共に必ずしも議會の協賛を經るを要せず」といふ意味の印刷物を全國各師團に向つて配付せりとは故國近信の傳ふる所なり上杉博士とは國體擁護を標榜する桐花會の首唱者として將た「教育勅語の權威」の筆者として國民思想の自由討究を非難せる學者なり、此人にして此言ある固より怪むに足らざる所なりと雖も而かも軍人者流が自家專門の職掌以外國民思潮の推移に盲して何等顧慮する所なく漫りに一僧者の憲法解釋を引用し以て増師案の實行を圖らんとするに至つては其僭者の可憐に非ずや、當て自由民權政黨政治の理論全國を風靡し少壯客氣の徒ややもすれば政黨政治の實現を誤り傳へんとするの傾向あるや穗積博士あり其該博なる學説を傾倒し帝憲法の大義を闡明し東西歴史の異同を辨じて吾國民の依據す可き立憲制度の大精神を明かにせんと努めたり、吾人は一々博士の所説に敬服するものに非ずと雖も只博士が一身一家の毀譽褒貶を顧みず、堂々自家の所説を表明して憚る所なかりし其熱誠と勇氣とに至りては讃歎せざらんと欲するも得べからざるものあるなり、然るに未だ學究の徒往々にして爲政家の走狗となり大權の發動を云爲して國民の代表機關たる議會の權能を蔑視し、憲法上の解釋を應用して實際政治の運用を阻碍するのみならず、期せずして君、民の間に一大溝渠を畫せんとするが如き者あるは吾人の常に浩嘆して止まざる所なり統治權の主體が君主にありや將た人民にありや否やといふ憲法上の議論は暫時措き吾國體の精華は君、民?國の歴史に由來せる歐州各國の制度と異なり、三千年繼來承け來れる君民双愛の美風を基礎とし、加ふるに歐米文明諸國の長所を以てしたる点に在り、左れば從來曾て政治に容喙するの權なかりし百姓町人が國會開設と共に議政に參加する事となりしも國民の皇室に對する敬愛渇仰の念は増すとも減ずる事なく、言論の自由、人民思想の展開愈々益々熾んなるに隨て君、民の接觸更に一層密接を加へ來り、三權分立の應用は民?の勃興によりて調節を全ふせんとするの傾向を帶ぶ、此の如きは畢竟ずるに全國を統治しめし給ふ吾皇家の御精神が民の聲を本とし、「高き家に登りて見れば煙り立つ民の竈もにぎはひにけり」てふ皇祖皇宗の御遺訓を經とし緯とし給ふが故に非ずや、時勢を洞察するの明なき學究等は祖先崇拜、家長制度の文明に非ざれば吾皇家の繁榮と吾國家の隆盛を期し難しとなし、常に皇家に接近する爲政黨?者を排斥する人民の聲の増大し來るを見て人民は皇家に對する服從の美徳を喪失せるかの如くに杞憂し大權の發動を云爲して國民の代表機關たる帝國議會を侮辱せんと試むると雖も斯は人民思想の趨勢を?らず、不可犯皇家統治の大權にすがりて宮中府中を混合せしむるの惡結果を呼ぶ愚論のみ、試みに制度の不備よりして國民監視の及ばざる陸海軍の腐敗の現狀に見よ、蓋し思半ばに過ぐるものあらん

國民統一の連鎖たる吾皇家の尊嚴を永遠に維持し、吾立憲政體の運用を滑かならしむるには可成人民の聲を大ならしめ帝國議會を通じて汎く一般の機能を監視せしむるに在るなり、大權の發動豈忽にす可きものならんや

泥棒の天下（二）



▲白浪軍が峽西省に攻め入つてからまた一月も經ぬが峽西省は今や彼の足下に蹂躙されんとして居る、白浪は今や豐?縣を屠つて西安に肉薄して居る、陝西の古都長安も今や累卵の危きに瀕して居るのである

▲神出鬼沒の計は白浪軍の特色であるが彼が部下を各方面に派出して軍器や物資を購入する手段は實に巧妙を極めたものである、其一例を舉げると三月廿六日に白浪は二人の部下を鷄商人に變裝せしめて洛陽に入り込ましめた、二人は若干の軍器を購入したから一人の擔夫を雇ひ之を擔がせ道を急がせたが荷が偽り重過ぎるものだから擔夫は中々思ふ通りに足を運ばないのみならず二人は成るべく人の居ない所で食事を取つたり休息したりするので終に擔夫を?したから堪らない、二人とも向ふ見ずの泥棒だから直に刀を取出して人を斬つた擔夫の一人は附近の村落に馳せて急を告げたから忽ち五六十人の村民が?來り二人とも?????捕縛となつた??????物を捌いて見ると??????出た、無智な野人は恐るべき??????を知らず之を路上に?つたから忽ち?發して二三人の死傷者を生じた、村民は怒るまい事か二人を?????に?て樹上に吊し縊り殺した?め宮憲の耳に入り白浪の手先たといふ事が分つたがコウいふ白浪の?????先は各方面に派遣されて居るのだ

▲晩香坡在住の支那人が白浪に對し窃かに武器彈藥を供給した事が最近に至り發覺して支那?人?は大?をして居るがお膝下の上海あたりは白浪との間に軍器の密賣買が行はれて居るのだ、先達も某?等十餘名が上海で捕縛されたが彼等は白浪の密命を帶びて上海??????の買込に出かけて來たので某外國商館と武器買入輸送の方法がチャント付けてあつたといふ之を聞いた向ふ見ずの長江??團使張?も彼等の大膽に怖氣を振つたさうだ

▲白浪部下の精鋭は十五歳より廿歳に至る少年隊で北血氣に逸る若武者には一寸手のつけやうが無いと支那の新聞が嘆息して居る勿論白浪軍は右の如き少年隊ばかりではない?は?十力か血氣?んの若者に??て?されて居る事は其行動に徴しても明である、支那の軍隊にもあるヨボヨボの老爺より向ふ見ずの少年の方が變化自在の活動に都合がよろしい、通り魔の樣に各地を荒し廻つて居る白浪軍の進退は實際活氣に滿ちて居る

▲白浪の部下には五百人の馬隊附たる騎兵隊があつて郎清堂、張老天、任老天?之を統率して居る、季鴻、宋老年?は各一千人の部下を率ゐ王振淸は故王傳心の部下五百人を引率して近頃白浪の部下になつた此外小頭即ち五百人?つの中に著名の者は陳??、季老六、張大鵬、陳老九、劉十一等がある、軍師には吳某、周某、王某の三人ある此三人は革命黨の??黨で??????の役目を勤めて居る

●社會黨員獨帝を侮辱す　獨逸帝國議會は開會當日議員起立してカイゼル陛下に敬意を表する慣例なるが去月?議會開會の際社會黨議員等は別室に在りて敬禮を行ふ模樣なく議長の注意に對し「ソハ吾等干與?仕事なり」とて向取合はず床を蹴み口笛を鳴らして議員を妨げんと試み一時非常の騒擾を極めたりと

●墨國の大富豪　??????によれば墨國に於て大學校の創立せられたるはエール、ハーバード以前なるも人民は殆んど之れ無教育にて?????の如き見るに足るものなく憲法は他の文明諸國に劣らざる體制なるも法律は常に主權者の法律なり、又富源に就て見るに全國?を含める銀の產出催は全世界產出額の三分の一を占め石炭石油の千九百十年に於ける産額一億三千八百万弗デュランゴ地方の鑛山は六億万弗の巨額を?し居れりと

●飛行機太西洋横斷計畫　倫敦著名の飛行家ガステブ、ヘーメル氏は來八月頃英國製マーチンサイド、モノプレーン機に乘じ大西洋上を飛行横斷する筈なるが目下製作中の同飛行機は二百斤乃至三百三十馬力のエンヂンを以て一時間八十哩の速力を有するもにしてニーノル氏は?に一?動手と共に瓦斯リン三百廿ギャロンオイル百五十ギャロンを積込む筈なれば總計重量は四千五百斤に達するならんと

●ルーズベルト氏歸る　南米探檢より歸れる氏は去十九日紐育に歸着所より直ちに蠣鰐灣の自邸に入れるが氣付探險中負傷したる右脚の??未だ不快せず重??約廾厂を??に??疲勞の体なるも元氣例に依て?なるものあり、??以來は進步黨候補???ジョージパーキンス氏其他の??と會合の上各州に於ける上??候?選擧に對する同黨今後の方針に??して凝議する所あり、尚氏の時事問題に關する談片を要約すれば如左

米國がコロンビヤ共和國に向つて二千五百万弗を支拂ひとは??もなく國際に會したるものにて恰かもウエルタの後繼者に對しベラルルの港領の償金を支拂ふと異ならず、巴奈馬運河通過料免除?問題は?技々判に???すべきものに?????に於ける米國船に????の??を??ふると否とは米國の權利なり、?ンシルバニア州上院議員の選擧に對し其??黨員は??つ?進步黨の候補者に?る。ニューヨーク氏?ル氏??の??を??すべし云々、ル氏の?????は單に一州を?????するのみならず全國の??に?し且つ其自??の?????來に向つて??せらるゝものなりと察せらる

●プ?ヤ官軍將校卅一名を殺す　ブ?イヤは???の??性を發揮し捕虜將校をば一々銃殺しつゝある由にてサルチロ附近に於て生擒したる官軍の將校卅一名は去廿日??にも同樣の運命に會へり

●??の莫大な税金　クリーブランド市の??税查定委員は□翁の同地方にたける財産全額を九億万弗と見積り其三分の一卽ち三億萬弗に對し課??する事に決定し其旨翁に??せりと云ふ

●???大??十ヶ條を發表す　（廿一日東京發電）
大隈總理大臣は地方長官會議?上に於て??内閣の遂行を期せる政綱として左の十ヶ條を發表し大に好評を博したり

一、東洋平和の維持を努むる事
二、各方面の輿論を尊重する事
三、官紀振肅を計る事
四、官制改革を斷行する事
五、財政並に外交上の緩急を慮りて國防の充實を期する事
六、產業發達を獎勵する事
七、選擧法を改め選擧權の擴張を計る事
八、教育制度の刷新を計る事
九、財政の整理に努むる事
十、新に公債を募集せざる事

●猶和會議とカランサの條件　??和會議に對するカランサの態度として傳ふる所によれば、第一革命の目的は總て遂行せられざる可らず而して政治上一切の改革を施し盡目を一新す、第二秩序の回復其他の改革は墨國人自身の手により成されざる可らず、第三墨國の内政問題は他國の干渉を許さず、ナイヤガラフォール?會議とは何等の關係なし、??米國及????の代表者は憲法に關して云爲するの權なし、第五米國は墨國の占領し若くは其平和を?するの權なし、第六憲政軍は媾和會議の結果に束縛せられざるべし

●???????、???????會議に????、シー二國委員及米墨兩政府代表者は去廿日ナイヤガラフォールに於て第一會見を遂げ爾來?議中なるが會議の内容は極めて秘密に附せられ???るを以て窺ひ知る能はざるも墨國代表者はウエルタ將軍は條件の如何により退職すべし、との使命を帶び居るもの如し

●????の運命　?政府のタムピコ占領以來將卒の意氣頗る衰へたる、?????か官軍は到處自ら防備を捨てゝ??方面に退却しつゝある??戰めるべしと傳へられたるサルチ?????を?へ?????????

●米人教師の??刺殺　朝鮮ホルコ??エ、ヘーライカー博士を殺?したる朝鮮人????太郎は本日????にて死刑の宣告を受けたり同人は??の地方裁判所にて無期徒刑の宣告を受けたるも之を不當とし控訴したるものなり??????????????の詩を??????

隈伯外交聲明

東京電報

（十九日東京發）大隈首相は本日内外新聞記者の會合に臨み如左外交演説を試みたり［以下判読困難］……蓋し日本は世界の平和を[illegible]……國家の[illegible]……

何去十日の電報にれば伯は新聞記者茶話會の席上排日問題に關し憤然として左の如く語り列席者何れも耳を聳てしめたる由。余は米國が何の爲に巴奈馬運河を建築するかを解せず云々。一方に於て米國は排日法を制定し……有せざる米國が何の爲に巴奈馬運河を建築するかを解せず云々。言を壯こし新内閣治下に於て外交の刷新を希望せる由

偏狹なる人種觀

濠洲及米國の排日は歸する所日本人を文明人視せざるに在り是れ日本及び日本人を知らざるの甚だしきと且つ白人種の偏狹なる人種觀に原因するにより將來必ず此謬見を打破せざる可らず

●大成丸米國沿岸に廻航せん　商船學校練習船大成丸は六月上旬品川灣を出帆し遠洋船海の途に就く筈なるが前回の世界一周に失敗したる結果計畫を縮少して南米智利に向ひ歸途濠洲に寄港する筈なりしが今回更に豫定を變更し桑港及太平洋沿岸諸港にも寄港すべく横濱歸港は十月下旬ならん

●巴奈馬参列艦の出發は十月　來春巴奈馬運河開通式に參列すべき伊吹筑摩の兩艦は來る十月中旬横須賀拔錨し歐州航路を經て參列の途に就く筈

●阿部政務局長暗殺者の處刑　昨年九月五日外務省政務局長阿部守太郎氏を暗殺し同十三日宇品にて捕縛されたる宮本千代松と同十六日東京にて自首したる岩田愛之助兩名の謀殺事件は東京地方裁判所に於て審理中の所本日無期徒刑を宣告されたり

●日米救濟條約通過す　日米救濟條約本日樞密院を通過せり

●法主位記返上　東派本願寺前法主大谷光瑩師は十三日附位記返上をなし大谷光演師は位記を返上し公爵に[illegible]……管長事務代理を命ぜらる

●太刀山先發渡布　太刀山一行の先發として行司及び年寄二名春洋丸にて布哇に出發せり

●海軍收賄事件の餘波　前總理大臣山本權兵衛伯前海軍大臣齋藤實男は其海軍の現職より豫備に編入せらる。海軍次官は待命仰付らる

●室蘭製鋼所の調査　海軍收賄事件は各方面に火の手を揚げ北海道室蘭の製鋼所内部に付ても着々調査を爲しつゝありしが遂に之を結了したり

●東京博覽會の出品　桑港万國大博覽會に關する事務は愈々開始され茶業組合にては早くも出品準備にかゝりたり山脇事務官一行は遲くも八月迄には出發する事となるべし

●桑博敷地日本園　桑博の爲にプレシディオ兵營敷地の一部に築造する日本庭園は本年十月迄に盛りをなし種々なる植物の植へ込みは二月迄に終了せしむべき計畫なり

●珍田大使昇進　米國駐剳の珍田大使は位階を進められ正三位に叙せられたり

●大博使用外人取締法と日本の惡影響　過般移民總監より發表されたる大博使用外國人取締法は餘りに苛酷なりとて一般日本人に惡印象を與へ好ましからざる惡影響を與へたり然れども外務省は之に對し辯明書を發し日本出品人の雇人は公平に取扱はるべきを疑はずと斷言せり

日本最近信

●政友國民兩黨合同の計畫　立憲同志會、中正會、國民黨三派聯合計畫は國民黨首領犬養氏の反對に會いて行惱みの姿に陷入れる眞最中突如として持上りし政友會國民黨の合同計畫は目下着々として進行しつゝあり之より先き政友會にありては同志中正國民の三派聯合計畫起るや由々敷大事なりとし警戒怠りなかりし所國民黨にては代議士會を開き其席上犬養氏の三派聯合反對を聲明する所ありしため政友會は此期逸すべからずとなし國民黨に對し政國兩黨合同の交渉を開始したるが今日迄の經過に徵するに同計畫は都合よく成立するの見込あり兩黨當事者間の交渉は着々其歩を進めつゝあるにより愈々政友國民兩黨の合同成立せば同志會[illegible]……

▲又内閣と貴族院との關係は幸倶樂部を中心として研究會及び土曜會に當りをつけタトヒ衆議院各派との關係に面白からざる成行を來すとも貴族院を根據として内閣の地歩を固くせんと努めつゝあるもの如く内閣組織の當初に於て吉川男を遞相に擬したるを始め最近研究會に對して頻りに好意を表せるは如上の方寸に出でたるものなりと[illegible]……

國民黨の合同を見るに至らば當首相と立憲同志會は一昨年の憲政擁護以來京都の田中村の別墅に退隱して全く政治舞臺を去り居る西園寺侯の復歸を促がし總裁を擁立し再び政友會内の各團體は既に夫れ〳〵園侯復歸希望の決議をなしたり

▲政友會の對内閣態度　衆議院議長奧繁三郎氏は語つて曰く、大隈内閣の政綱は未だ決定に至らざるが幸に當面の諸問題を辛くも切拔けて次期議會に臨みたる時に於て政友會の態度如何といふに若し内閣にして前期議會に於て政友會の主張したると同じ程度の上よりして政友會は之に同意すべき筈なり併し同志會が前期議會に於て海軍擴張には賛成なれども山本内閣を信用せざるを以て反對すべしと主張したる筆法は難で政友會の學ぶ所となり政策は政友會の意見と一致するとも大隈内閣を信任せざるを以て之に反對するやも知れず而して政友會にして愈々反對すれば議會は當然解散を免れざるべきが解散の場合に於ける政友會の勢力如何と見るに現在所屬議員中百七十名は地盤鞏固なる人々なれば万一落選者ありとすれば近畿、東海、中國に於ける何等懸念すべきものなし云々

各派操縱と政友會の態度

▲對政黨關係の頗る面白からざるを看取したる現内閣は貴族院操縱策に力を注ぐと同時に非政友各派に向つても新たに運動を開始せる模樣あり同志會中正會は勿論國民黨にも密かに手を廻し居ることて是等各派の反感熱は多少緩和されたるものゝ如く同志會の内紛も中正會内一派の新運動も全然鋒先鈍り或は一時市消へを見んとする狀あり無論將來の政界は政友會が公然内閣反對運動を起す時に於て種々の變調を來すべきも兎に角同志會及び中正會一部の反政府的氣焔も漸く屏息の傾向を示し來り一方國民黨に於ても同志會三派と手を握る事は絕對に不可能なるも大隈伯との好意的關係上内閣反對の行動に出で難きものあり隨て非政友合同熱は或程度まで促進さるべく政府の爲には頗る好都合なるが如し而して此新傾向に對し政友會は警戒頗る怠らず飽迄國民黨を局外中立の地位に置きて三派の聯繫を防害するならんが何れにしても内閣の操縱其功を奏し同志會及び中正會の不平分子を慰撫して非政友熱を勃興せしむるに至るべく觀測せらる

●高田愼藏召喚　輸出入諸機械販賣業を營み居れる高田商會主高田愼藏は最近の海軍收賄事件に關聯せる嫌疑にて本月五日長崎に召喚せられたり

●上村大將左遷　海軍大將上村彥之丞氏が後備役に編入されたるは年齡の關係にあらずして一種の左遷なる事殆んど公然の秘密なり男は山本權兵衛伯の一味として海軍部内の權勢に與せられたるなり

●一擧より博士十一人　今回論文提出により醫學博士を授與せられし近藤乾郎氏は愛知縣碧海郡旭村の人なるが同郡は近藤氏を加へて都合十一人の醫學博士を出したりと

●同志會の大遊説　同志會は六月四五日頃より東北、東海、近畿、關東の各地方に遊説員を派して第卅一議會の報告を兼ねて大遊説を試むる由なり

●代議士當選　函館郡部の衆議院議員補缺選擧は政友會候補者園田實德氏當選せり

新育 日本間 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
香港丸	桑港	五月廿五日
靜岡丸	沙港	五月廿九日

●日本より到着日

五月廿六日　五月廿七日

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船 大阪商船
シカゴ、ボストン、フヰラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ヶ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

河上清氏近著
▲在米日本人（英文）
定價一弗五十仙
紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滯在約四十日間
▲詳細規則書にあり申込次第進呈
◉注意　同妻又は家族御同伴希望の方は至急問合せを要す
▲飛行家、寫眞師各々一名の加入者を募集す、委細面談

紐育日本人母國訪問團本部
新育市第六街二参八
主催者　林富平

●桑港と各國軍艦　桑港の巴奈馬運河開通式に參加すべき各國軍艦は左の如くにて我國よりは伊吹筑摩二艦は本年十月中旬横須賀拔錨のヒハンプトンロードに向ふ筈なり而米國海軍にては少くとも廿艘の第一級戰鬪艦と數隻の巡洋艦を派遣すべく金門灣頭は一大壯觀を呈するなる可し
英國第一級戰艦四艘　佛國二艘乃至三艘　獨國　艘　露國第一二級戰鬪艦四艘　アルゼンチン一艘乃至二艘　獨逸、伊太利、墺國、土耳古、希臘、西班牙諸國は參加を承諾し居れど艦數未定

●練習艦隊來航　去月十九日横須賀を出帆せる練習艦隊吾妻、淺間の兩艦は乘組員一千六百名を搭載して去八日ホノルルに入港し内外士民の盛大なる歡迎を受けたる由にて同港出帆後の行動は未定なりと

●滋賀縣人會　同縣人[illegible]は來十五日[illegible]に於て[illegible]の[illegible]なる母國地理[illegible]にて[illegible]の[illegible]し[illegible]る由にて[illegible]組合設立の後種々なる事情より組合規約を實行するに困難を[illegible]

を為し同廿六日同地發八月十四日頃サリナクルス着の上徳川家康伊達政宗の忠、南蠻寺金地院史傳、伊達政宗使節、泉州堺商人等に關する史蹟を採査し九月初旬米國に入り、同月十日桑港着、十月初旬會議出席、十月中旬太平洋沿岸視察、十一月中再び布哇ホノルルに講演を為す豫定の由

は某氏の談話なり

●紐育日本人會參議員會　は豫報の如く去十九日河徳館に於て開催せり出席參議員卅一名、事務及會計の報告を承認したる後會長以下役員の選擧を行ひたるが其結果は左の如くにて何れも再選せられたり
會長高峯讓吉氏　副會長　宮鈴太郎氏　同高見豐彦氏　會計瀨古孝之助氏
右終りて高峯會長は總務部長に一宮氏を、共濟部長に高見氏を、幹事に堀内氏を推薦し、高見共濟部長は同部副委員其他の指名をなし、總務部委員は事件發生の都度臨時同部長に於て指名する事とせり、尚當夜決議したる事項は左の如し
一、本會基金預入の銀行を正金銀行及コーンエキスチエンヂバンクとなすの件　二、前共濟會の終會に於て決議したる高見前共濟會長へ贈呈すべき紀念品購入費支出の件　三、幹事俸給增額の件、幹事の俸給は總務部より二分、共濟部より七分弱の割合にて支出の件

●雜貨商の排日と商業會議所　沙港白人雜貨商組合の排日運動に對し沙港商業會議所は起て調停運動を開始したり同會議所の代表者は過日雜貨商と會見すべし英字新聞紙の報ずる所によれば白人雜貨商小賣組合は日本人を排斥せざる可らざる理由を提げ何故に同組合が日本人雜貨商を壓迫するに至りたるかを說き一般市民に對し大運動を開始すべしと

●同胞青年密入國を企て遂に溺死す　過日桑港を出帆せる英國滊船フォールスオブクライ號に料理人として乘組居たる田代(廿二)なる青年は夜密かに同船を拔け出でゝ海中に飛込み桑港指して泳ぎ居る内冷き急流に押し流され遂に溺死せしものと見へ天使島附近に死體漂着したる由なるが水夫仲間の語る所によれば田代は豫て當地に上陸したしと云ひ居たる由なれば密入國の目的にて脫船し遂に今回の悲慘なる溺死を遂ぐるに至りしものならんと察せらる

內國債償還廣告

今般帝國政府に於て臨時事件公債（大日本帝國政府特別五分利公債證書）の內金壹千萬圓也、本年五月五日抽籤執行五月卅日償還可相成候、右當籤番號は來る五月卅日以後當店に就き御承知被成下度又右公債證書所持の御方々の御便宜を計り右五月卅日以後當店に於て日本向買爲換相場を以て御買受可申候
大正三年五月

横濱正金銀行
紐育出張所
55 Wall St. New York City

●遙拜式は日本俱樂部にて　領事館に於ては昭憲皇太后陛下御大葬に就き[illegible]

●遙拜式は日本俱樂部にて　憲照皇太后陛下御大葬式は來廿六日午後八時卅分西九十三街一六一日本俱樂部に於て執行せらるゝ筈なれば在留同胞諸君は悉く參拜あるべし

●下宿屋組合組織の議　市內下宿屋業者相互の利益を保護する爲め組合を組織したしとの說起りたる由なるが當地には嘗て一度同樣の目的を以て紐育下宿屋組合なるもの設立されたる事あるも組合規約に不備の點ありしものか、又は當事者の指導不分ならざりしものか遂に消滅したる事あり、今回の企畫は豫め此等の點に注意する所あるは勿論ならんも組合設立の後種々なる事情より組合規約を實行するに困難を[illegible]

●巨船バアターランドの入港　ハンブルクアメリカン會社新造船バアターランド號は其處女航海として昨二十一日無事入港せり、同船はエンペレーターの姉妹船にして延長九百五十呎幅百呎、五万八千噸の巨船にして船渠に入るに三艘の引船を要したりと云ふ

●山田潤次氏の西行見合せ　氏は豫て太平洋沿岸を巡業の約ありシャトル桑港邊の好球家は鶴首して氏の西行を待ちつゝありし折柄氏を聘雇しるブラウンスウヰック會社に對し

伯林エクイテブル球器會社より特に山田氏を派遣し呉るゝやう依頼し來りて會社は前約あるの故を以て一應謝絕せるもたつての懇請もだし難く山田氏が歐州巡業中は一切同會社のセット、チョコセットケース十五個の外前年の殘品四十弗許りあり、大至急賣渡し、希望者は新報社へ御相談を乞ふ
製品を使用すべしとの條件の下に承諾する事となり氏は俄かに西行を中止し近々渡歐する筈なり

●高見ドクターへ贈呈の紀念カップは既に委員の手にて購入せるが同品は銀製にて高さ十九吋あり頗る美事のものなりと

●高折氏妻女重患にかゝる　曾て當地に在りし音樂家高折周一氏妻女藝名マダムスミ子は目下肺患に罹り東京にて靜養中なりしが氣の毒なりとい

ふべし

●菊地寫眞館の移轉と業務擴張　同胞寫眞師の親玉として近來メキ〳〵頭をもたげ來れる同館は事業の發展と共に從來の所は手狹を感ずるより今回市內第五街四三七番の第十階に廣大なる新スチュデオに引移れり室內は純日本式の美術的裝飾を施こし眼を驚かす程綺麗なり

●一橋教授の歸朝　スタンフォード大學に於て日本文明史の講座を擔任せられたる同氏は今回ハーバード大學よりドクトルオブフキロソヒーの學位を得目下當地に滯在中なるが近々歸朝の由

●姉崎博士　日米交換教授としてハーバード大學に於て講演中なりし同博士は來廿五日當地出發歸朝すべし

●正金銀行本店支配人鈴木島吉、同銀行監査役豐間根繁吉　兩氏はモレタニア號にて歐州より昨廿二日着紐尚同銀行桑港支店支配人藤平純二氏二三日前來市歐州より來着せる鈴木豐間根兩氏と共にホテルアスターに在り

ホテルアスターに投宿十日程滯在

●矢島俊吉氏　堀越商會支配人矢島氏は家族同伴來廿八日當地出發歸朝の筈なり

五月廿六日午後八時卅分より當市西九十三街百六十一番日本俱樂部に於て皇太后陛下御大葬遙拜式擧行候につき御參拜相成度此段及公告候也
在紐育
帝國總領事館

商業欄

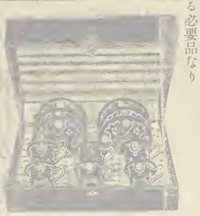
▲有望なる商買
夏場賣渡し
始に必要なる電燈其他の設備完全し、チー

飛行學校開始

今回新たに開校、飛行法、各種飛行機製作術等を叮嚀親切に教授す、斯道に成功せんとする日本人青年諸君の來校を望む

日本人飛行學校
理事　木下國太郎
Aviation Field Mineola L. I. N. Y.

各種
革箱製造
當社製造のファンシーケースは日本雜貨店及び玉屋等に缺くべからざる必要品なり



御一報次第カタローグ御郵送可仕候
J. CAROW & CO.
93 Warren St. New York City
Tel. 5552 Barclay

移轉廣告
從來の場所手狹につき左記の處へ移轉仕候、不相變御愛顧を

事務所
Room 1001 Knabe Bldg.
437 Fifth Ave New York City
Phone Murray Hill 5671

宅　西九十丁目百卅七番
電話　リバサイド六八〇七

寫眞師
菊地東陽

移轉開業廣告
今般左記の所へ移轉五月一日より開業可仕候の處裝飾準備等のため手間取り來る四日より愈開業致す樣相成候間何卒從前の通り御引立の程奉願上候

新育市三十九丁目西四八
電話グリーレー一七九八
朝日亭

▲發賣禁止揃ひ

▲發賣禁止　海野[illegible]著
男女の生活
定價一弗二十仙
本書は著者獨特の輕妙なる筆法を以て露骨に男女の性的生活を記述せしものなるが內容甚だ猛烈を極めし結果遂に其筋の發賣禁止となり[illegible]

▲發賣禁止　青[illegible]著
質疑應答
戀愛問答
定價四十仙
本書は風俗壞亂安寧秩序紊亂の下に發賣禁止となりし奇々珍妙の書なり

▲發賣禁止　秋琴女史著
ポケツト
女醫者
定價壹弗
本書中(生殖器篇)生殖器解剖に當りては露骨に且つ痒き處に手の屆くか如き猛烈なる筆法に依り說明せし故か出版と同時に發賣禁止されしものにて世界無類の珍書なり

▲發賣禁止　白雨樓主人
きむすめ論
定價壹弗

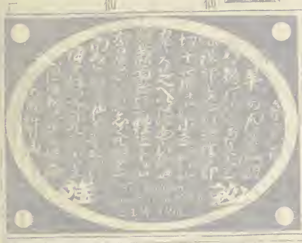
▲發賣禁止　北澤正悖著
色情思想の解剖
定價九十五仙

▲菊池幽芳の作
●空前の大傑作益々好評
定價前一弗十仙中一弗後一弗十仙
百合子
目下故國に於て大阪毎日新聞に連載中のものなるが百合子は大阪梨園界に大立物たる婦人の髮は其時々の流行を取るまでに衣類に迄百合子形の模樣を流行せし近代稀なる一代傑作として本書を讀んで泣かざるものは無なり

▲浪六先生の新著
現代思潮
男女の戰ひ
定價上下二卷九十五仙

▲蘆花德富健次郎著
みゝずのたはごと
第卅二版出來　定價一弗五十仙

羅府第一街三五〇
書店
博文堂
350 E. First St. Los Angeles CAL.



當シャトル市御經由の御方の御便宜に御取扱可申上候

藤井旅館支店
ホテルタコマ
室數二百十、冷溫風呂場の準備、スチームヒート及各室の設備完全
HOTEL TACOMA
229 Jackson St. Seattle Wash.

Bean Nom Low
489 6th Ave.
Cor. 30 St.

美味にして淸淡
支那御料理
品南樓
午前十時より午前六時まで開業

●球場あり●

御下宿　吉田
Lexington Ave. N. Y. City
near 34 Street
Telephone Plaza 1205

支那御料理
精撰美味
DUEY GOON YING
FIRST CLASS CHINESE RESTAURANT
OPEN FROM 11.30 TO 2 A. M.
CHINESE REGULAR DINNER 25c
[illegible] New York City



笠井及坂野洋服店
タイムスビルディング七階
Kosai & Sakano
Tailor
Times Building
New York
Bryant 3519

TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO
437 Fifth Ave. N. Y.

菊地寫眞館

紐育の日本人（十六）

飛耳長目生

黄白結婚

▲黄白結婚は新婦をして生活上孤獨寂寞の感を生ぜしむといふ理由は何かといふに米國人又は歐羅巴から來た白婦人が日本人と結婚すると結婚前の友達が一人減り二人減つてれ仕舞には丸つ切り一人ポッチになる事だ、天上天下いとし懐かしの郎君と水入らずの差向ひ朝から晩まで撫でたり、摩つたりして貰へば人生の快樂之に過ぎたものはあるまいとも思はれるが、サテ可味しいスプリングチキンも三度〳〵食べさせられては鼻につく、偶にはサンドウイチにお茶一パイが却つて甘いと同様に、ハスバンドがオフイスに行つたり働きに出かけた留守中に仲の好い友達が訪ねて來て呉れて互に夫の惚氣をいつたり聞かされたり仕度いのは人情である

▲所が日本人と結婚すると友達がなくなつて親類又は同族間の社交には全然沒交渉となるが上に夫の同國人たる日本人との交際さへ兎角怠り勝になるのであるから新婦たるものゝ苦痛は結婚前には夢にも思はなかつた程度の苦痛である、尤も黄白結婚する其結婚する人々の社會的地位、名譽、財産等の相違によつて生活上種々なる差別を生ずるから黄白結婚は新婦の境遇を一概にアンハッピーにすると評し去る譯には行かぬが少くも同國人と結婚するとは自然異なつた生涯である事は確である

▲試みに新年宴會とか送別會などのやうな社交的會合の催される場合を見給へ出席者中日本人の妻君たる米婦人は殆んど無いと言つてもよい位で偶々御つき合ひに出席する二三の人があつても元來日本人同志の集合であるから演説、會話、酒食、餘興に至るまで日本式のオッ通し、滿座の衆客手を拍ち聲を放つて笑ひ興づれども日本語を知らぬ御本人は何が何やら薩張り解らず、不思儀さうに眼をパチつかせ乍ら私かに夫の袖を引ひてレッツゴーホームの哀願を為すといふ夫れは〳〵側で見るのも氣の毒な位である

▲然らば米婦人を妻に有つ日本人は如何かといふに或特種専門の職業を有つて一切日本人と交際せぬ者は別として普通日本人又は日本商店等に關係ある者は之も亦妻君同様の苦痛を感じ、バチエラー時代に比すると友達の數も減じて來る、第一妻君に對する「氣兼」といふものが一通りでないのみならず其氣兼は單に妻君に對して必要である許りでない同族たる日本人にまでせねばならぬから厄介千万である

▲例令ば友達の訪問を受けた場合の如き、主人たる人は來客の心を樂ましむると同時に日頃寂寞の生活を續けて居る妻君も此友人の來訪によりて多少とも慰籍を感じて呉れよかしと心の中に祈つて居る、然るに來客たる普通の日本人は人の心も知らないで無暗矢鱈と日本語を饒舌くり、主客打揃ふて晩餐の快を共にする時でも罪のない子供の話や寄席芝居の噂をする代りに大きな洞羅聲を張り上げて物騒な墨國問題を擔ぎ出し或は白浪軍の猖獗を説いて其殺風景なる事夥しい、折角念を入れて拵へさした料理を賞めて貰はふと思つて居た妻君の失望察するに餘りありでディンナは滅茶〳〵

▲ディンナが濟むとパーラーに行く來客たる者禮儀作法を知るならば下手な妻君のピヤノでも或はプチヤ、グロッサーに對する不平でも聞いてやればいい事に、碁盤や將棊盤を引き摺り出してパチ〳〵、夫れもまだ勘辨するとして甚しいのになると蓄音機を擔ぎ出してデデーンデンから御入來、來客に愉快を與へて歸すのが主婦たる者の役目とはいへ主人公の身になつて考へて見ると聊か辛いのだ

▲更に一つ黄白結婚夫婦間の難問題として解決に困難を感ずるものがある、夫れは夫婦相互の愛情を現はす習慣方法が東西著しく其趣を異にする所から生ずる兩者間の誤解であつて流石に戀愛哲學大家を以て任ずる乃公自身も其解決の良方法を發見するに窮して居る次第だ

◎貞奴の報告祭

故川上音次郎が曾て神田三崎町に川上座を設立した時其資金の大部分は神田で有名の高利貸山崎武兵衛の手から出たものであつたが其借金の引殘り二千圓を返さずに川上は此世を去つてしまつたか山崎の方でも利に利を加へて疾うに元金は取返した上少からぬ利分さへあつたので其儘にして居た所が川上の未亡人貞奴は其後女優として獨立し有力なる後楯さへあると聞いて慾に目のない山崎は例の三千圓を思ひ出し無駄とは思ひ乍ら代人を以て貞奴に談判すると千圓にまけるなら證文と引換へると耳よりの話に山崎は喜んで件の古證文を持せてやると貞奴は床の間に亡夫音次郎の寫眞を飾り其前に千圓の紙幣を積んで件の古證文を受取り寫眞の前に恭しく額いて貴郎が御存命中御氣にかけられた山崎の債務も今日只今綺麗薩張り片付きましたから御心安く御成佛をと芝居氣まゝの報告祭よろしくあつてこゝに多年の借金の片をつけたがサテ此金の出處は抑も何處か何れは例の福桃さんあたりであらうといふ評判

投書籠

▲○島對某女の裁判事件は奇々怪々珍妙無類上等舶來飛切破天荒で裁判長が某女に向つてシャトアップを喰ました所なんぞは馬鹿に振つちよりますよ、六百弗の美人局を喰つた上に横戀慕の訴訟を受ける鼻垂れも鼻垂れぢやけんご薄情女の厚顔にもオッたまげたもんでがす（大評判）▲時々貴紙に市内劇場のそき又は劇評を揭載して同胞間に高尚なる趣味を鼓吹しては如何に職業論も少々かびを生じ來れり（愛讀生）▲桑港大博の開催も追々迫つて來た紐育で就職に迷ふ人は大ひに決心して行つて見るもよからう（桑情生）▲日本人會には在留同胞擧つて入會の義務ありと思ひます僕は三千弗の貯金があつて死んでも他人に迷惑をかけぬ積り乍ら入會しました、人の生命ははかられませぬ又同會に入會するのは同胞間相互の義務です（某編者組員）▲墨國事變に殉難せし十七勇士の國葬日には市民と齊しく外國在留民も哀悼の意を表すべきなるに歐州在留民は甚だ冷淡な態度であつたらしい然るに我總領事館が半旗を揭げて深刻なる吊意を表したのは機宜に適した處置であつたのみならず近來にない機敏な遣方であつた（日本人）▲廣告の効能は嶄新奇抜にありと承知して居るが先週新報の飛行學校廣告に綱渡とあつたが之は少々奇抜を通越しさるかも知れん（風船玉）▲愈々玉壕の氣節となつたが納涼會でも組織する篤志家が無いのか知らん（太陰坊）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
535 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6175 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チェルシイ

國民思想の變遷

「斯の如く麗はしき古有の文明を有する日本國民が今後幾年間個人を本位とし、弱肉强食、生存競爭を主義とする歐米文明の侵入に堪へ得べきや否や」とは日本文明の紹介者、鼓吹者たりし故ラフヂオ、ハーン氏の豫言なりき、吾人は此薄命詩人の言を[illegible]かざる胸中の琴線を擾亂し更に故國民心の現狀に想到して感慨切に深からざるを得ざるものあるなり、蓋し君君たり、臣臣たり、親親たり、子子たるは祖先崇拜、家長制度の實體なると共に二千年來吾國民が繼承し來れる倫理思想の根本義にして日清、日露の兩役は遺憾なく此義務的服從主義の精華を發揮し吾國民をして滔々たる西方東漸の潮流に拮抗するを得せしめたり、爰に於てか劍の力強く吾國運の隆昌を期し得べしと信ずる幾多の迷想者流を生じ、服從の美德と盲服の害毒とを識別するの明なき彼等は世界思潮の趨勢が如何に暗運默移しつゝあるかを知る能はず、民心の統一は一に祖先崇拜、家長制度の倫理思想を維持するに在りと爲すものゝ如し、然れども時々刻々に變はれ來る當面の事實は一も二もなく彼等の迷想と矛盾するのみならず吾國民は此偏務的なる服從主義を千古不磨の玉條として到底個人の獨立獨行を信條とせる歐米諸國民との競爭に優勝の地位を占むるの望みなき事を證明するを如何せんや

支那は世界列强國民が其國民的精華を傾倒して輪贏を決せんとする好個の競爭舞臺たり故に列國は各其勢力を集中して利權の獲得に腐心し就中歐米資本家の活動は特に著しきを見るなり、英露獨佛諸國民が支那に於て利權の獲得に着々として成功しつゝあるは素より、米國資本家の如き自國政府の對外政策は無能不振と稱せられウィルソン氏の六國借款脫退により其前途に一時悲觀的の觀察を下せるものありしに不拘近來に於ける彼等の活動は特に著しきものあり、スタンダード會社の石油採掘權獲得、某會社の鐵道借欵の如き何れも歐州資本家に遜らざるの手腕を現はし吾人をして其鋭敏なる行動に驚しむるもの抑も何の故ぞや、政府攻擊を職業と心得居る噴々者流をして言はしむれば支那に於て吾實業家の振はざる所以は一に吾外交家の無能に由ると云はん、而かも吾人をして忌憚なく言はしむれば斯は畢竟するに吾國民が陳套なる舊思想に擒はれ獨立獨行、進取活動の氣象を欠き外交貿易共に御上の指導に依賴するに非ざれば百事成す可からずとなす盲從主義、ハイ〱思想が齎らせる產物に外ならざるなり、祖先崇拜、家長制度の文明が兩親眷族は元より神の外には仰ぐに足らずとなす個人主義の歐米文明に對して幾多の長所を有するは論をまたず、若し吾國民にして今尙封建の時代にあらしめたらんには此麗はしき文明の祝福の下に悠々自的の美的生活を送り得べかりしならん、而かも時は進み世は移り吾國民は苛酷なる西洋文明の襲擊に會ひ、左なきだに世智辛き人と人との競爭を擴張して、國と國との競爭に加はらざる可からざることゝなり、三從七去を先天的の命令なりと信せし女子さへも、女工の同盟罷工てふ怖ろしき企てをなし、年若き娘は自由結婚、戀愛の神聖を叫ぶに至り、青年は心靈的慰安の欠乏に渇し、老年は經濟的自然の壓迫に呼吟の苦聲を發する世となれり、時勢の變遷亦可驚に非ずや、斯の如き國民の思想を訓練し、統一し、以て世界列强國民との競爭に堪へ得べからしむるには到底在來の傳習若くは主義のみによりて其目的を遂行せしむると能はざるなり

異種族、異國民が犬牙錯綜して其生存競爭の目的を達せんとしつゝある現代に於ては世界思潮の大勢は或一國民をして其潮流の圈外に逸せしむるを許さす、經世濟民に志す者豈鑑みる所なかる可けんや

悼水野醉香氏

俗佛

▲北京公使館一等書記官水野幸吉君が死んだといふ電報を新聞で見た紐育の內外人は其突然にして意外なる兇報に驚かざるを得なかつた、而して水野君の當地在勤中一種特別なる事情からして醉香水野なる名は常に吾記臆を去るとの出來なかつた自分は更に一層の驚きと悲しみを禁じ得なかつた

▲紐育新報の第一號からの讀者は良く知らるゝ筈であるが水野君は自分が何か書いて下さいと頼んだのに對し『餘計な事』と題して散々罵詈を書いて呉れ、念入りにも橋詰や愛にも一つ氷店を冷かして呉れた、總領事といふ者からすると新聞記者に對しては[illegible]か不謹愼のやうにも見ゆる[illegible]して之を紐育新報紙面に掲げた僕も餘り面白くは感じはしなかつたものゝ物に屈せぬ水野君の洒々たる意氣には陰ながら感服した事であつた

▲明治五年初めて紐育に領事館が置かれて以來總領事として來任した人々は十八名で初代の富田鐵之助君、高平小五郎君、島村久君、內田定槌君、小湖張三君、沼野安太郎君など現在著名な人々もあるが此中最も廣く內外人間に異彩を放つた者は水野君であつた

▲水野君の在任期は明治四十年十二月から同四十四年十二月迄即ち高平內田兩氏の大使時代で日米間の國交は餘り圓滿でなく當地總領事の手腕如何は兩國間の交涉に影響する所勘からざる時代であつた然うして水野君は兩國の國交親善を目的とせる日本協會の爲には特に盡力したから米國人からは非常に好評を受けた

▲英語演說など非常に巧みな方でも無かつたのに君が何故米國人に好かれたかといふに元來性質がテキハキして居た上に思つた事は遠慮會釋なくザックバランに言つて仕舞といふ方であつて歷代總領事の遠慮政略に向つてレコード破りをやつたやうにも見へたから此態度は万事に淡泊洒落を尊ぶ米人の意氣に投じ又妻君も交際上手な方で、爲に在留內外人間の社交は至極圓滿であつた

▲自分と水野君の間柄は其後土地案に對する日米兩國の關柄と同樣で親善ともつかず圓滿ともつかず不得要領で過きた、併し君が北京へ赴任するとなつてグードバイの握手をする時例の豪傑流を發揮して「ドーセ新聞は駄目なもんだから」とやつたのには自分は不快の念を爲すを禁じ得なかつた「此野郎無禮な奴だ、今後會する毎に彼の傲慢な鼻柱を挫いてプレスの力の如何に强大なるかを知らしてやらう、而うして自分が他日天下に志を得る時代が來たら一本氣にキャフンを嚙まして其上で一所に飲むでやらう」とは自分か心私かに期した所であつた、[illegible]たる一外交官の手に情ほりを含むなどは小人の仕業と人はいふかも知れぬが男子の意氣としては然うもいかぬ

▲水野君が新報を罵くつたのは自分を激勵する爲の苦言であつたと解釋する方が自分自身の立場として著し穩當であつたであらう、尤も自分は然う解釋はして居なかつたけれど新報紙面の態度は君の生存中君及び世間に對して極めて紳士的であり特に「餘計な物」とならぬ樣に努めて今日に至つたと言ふのは取りも直さず水野君の惡口が實際上自分を勵ます苦言としての効果を現はしたといふもので自分は君の訃音に接し感慨縱横、世人と共に水野幸吉なる有爲の一外交官を喪つた事を悲しむと共に醉香大人なる自分の先輩が自分の前途を見る迄生きて居て呉れなかつた事をを悲み、遺族の人々の哀痛悲傷思へば君の死を惜み悼むの情更に一層切なるを覺ゆ

●御大葬の御儀了る

皇太后陛下御大葬の御儀は豫定の如く去廿四日午後八時東京代々木喪場殿に於て萬民哀愁の裡に御擧行相成御靈柩は即夜新橋より特別列車にて京都へ御西下、廿五日桃山御陵墓場にて二十六日迄に滯りなく御埋葬の御式一切を終了せられたる旨電報ありたり

●恩赦減刑仰出さる　御大葬につき各囚徒に對し刑期[illegible]分乃至四分の一の恩赦減刑仰出され貧困者の爲め六十万圓下賜の恩命ありたり

●山座公使逝く

（廿八日東京電報）

在北京駐劄公使山座圓次郎氏は本日心臟痲痺にて逝去したる旨外務省へ電報ありたり

記者曰く　山座圓次郎氏は慶應二年福岡に生る、明治二十五年帝國大學卒業翌年外務省に入り釜山、上海等の駐在官たりし後同二十八年倫敦公使館書記官に任命、同卅二年京城公使館書記官に任命、同卅四年外務省政務局長たり、同四十一年倫敦大使館參事官を命せられ昨年伊集院公使の後を襲ふて支那公使となり以て今日に至れり氏がポーツマス日露媾和談判の際小村大使に隨行して同會議に列席せしは世人の記憶に新たなる所、資性豁達未來の外相として世人の嘱目せる有爲の人物なりしか今や訃音に接す痛惜に堪へざる所なり

●水野幸吉氏逝く

（廿二日北京電報）

在北京公使館一等書記官水野幸吉氏は廿二日突然急病にて逝去せり

以上の如く水野氏死去の後一週日を經ざるに今又山座公使の訃音を傳へしにより當地總領事館に於ては悲觀的なる支那の現狀に鑑み北京に於て何かの異變生せしには非ずやと疑慮し居れり

●仲裁談判好望

伯、智の三國委員並に米墨兩國代表委員等の秘密協和會議は今尙ナイヤガラフォールに於て繼續中なるか談判の模樣は前途極めて好望なるが如く今日迄の所各委員の意見一致したる事項は大要左の如くなりと

一、墨國臨時政府を組織するため仲裁會議は協約書を以て五名の委員を指名し是等の委員は內閣員の椅子を占むる事

二、五名の委員中一名は革命に直接關係なき軍政同情者にしてウエルタ將軍は之を外務大臣に任命すべし、而して憲法上の規定に基きウエルタ將軍退職後代つて臨時大統領たるべき事

三、凡ての問題は上記委員の過半數により決定せらるべく臨時大統領は自餘の委員と同じく一個の投票權を有する事

四、米國は臨時政府を承認しウエラクルズ駐屯軍を撤去する事

五、各委員は全國民の選擧に成る永久政府組織せらるゝ迄其職に在る可き事

以上はウィルソン大統領並ウエルタ將軍の合意を經たるものにして此結果ウエルタ氏は現職を退く事となるべきは勿論なり

●ウエルタの武器輸入成功　ハンブルク、アメリカンライン所有船イピランガ、バヴリアの兩船は去二十七日ポートメキシコに於てウエルタ政府の購入にかゝる彈丸三百二十万個速射砲二百五十門其他の上陸を了りたるか元來イピランガ號か墨政府の武器を滿載し來れる事は明白にして米國は同號のベ港到着を豫想したるが同國の占領を急ぎたる次第なるに今更ら占領中の武器搭載船を釋放するはベ港占領の目的を沒却したるものにあらずやとの攻擊起り殊に憲政[illegible]の不平甚しけれども察するに該事件は媾和會議の經過と關聯し米國が墨國兩軍の勢力を平衡ならしめんとする一政略なりと見るべし

●カランザ媾命會議に參加せん　媾和會議の討議は憲政軍と何等の關係なしと豪語し居たるカランザは心機一轉したりと見へ華府の代表者を通じて媾和會議に代表委員を送るべき旨申越し來れりと朝變暮改は彼の得色と見ゆ

●女權黨の亂暴甚し　英國女權黨の積極黨近來殊に甚しく名畫を毀ち寺院の燒却を企つる事一再ならず過日はバッキンハム宮殿に押掛け直訴を試みしが彼等は去二十八日更に同宮殿を襲ひ石を投じて二つの窓を滅茶々々に破壞せりと

●日本漁船を疑ふ　日本漁船西洋丸は相濟及びビヤを搭載してマンザニロ港に到着せるか武器彈藥は往々荷物船の体裁にて墨國に輸入さるゝとハワード少將より華府政府へ報告したる由なり

米京電報

●[illegible]議院にて各[illegible]進行す [illegible]

國民黨　高木益太郎　石田仁太郎
中正會　森田小六郎

諸氏各黨より推薦されたり

●[illegible]法會議不日判決を下さん 判士長[illegible]羽大將[illegible]下に開設されへき[illegible]ある海軍事件[illegible]法會議は松本中將以下[illegible]大方結[illegible]るにより不日判決を下すに至るべしと傳へらる

●[illegible]米國[illegible]二千萬弗借款[illegible]上海電報によれば支那政府[illegible]に海軍[illegible]工事には米國技師[illegible]米國材料を使用する條件にて三千萬弗の借款[illegible]し[illegible]千萬弗は[illegible]二ヶ月中契約[illegible]使用さる[illegible]なり

●西人顧問[illegible]法律顧問に[illegible]決定[illegible]者な[illegible]す引續き[illegible]なりしが今回孫の[illegible]光瑞伯[illegible]は[illegible]さるべしとの事なり

●北京保[illegible]の[illegible]北京[illegible]

●東[illegible]國[illegible]合防備を[illegible]す 過般ハミルトン卿がニユーヂーランドに於て黄白[illegible]が大平洋の海上權を掌握するため[illegible]將來大衝突を[illegible]べしと述へたる[illegible]

●首相大隈伯[illegible]

●大浦農相[illegible]

●大相撲[illegible] 東京兩國國技館[illegible]

東の方　西の方

張出 大關 駒ケ嶽
大關 西ノ海
[illegible]

大關 [illegible]
小結 小常陸

●國民黨の分裂 [illegible]

●日英經濟同盟說 大隈首相はタイムス通信員に對し[illegible]

●日支の要求 北京來電によれば[illegible]

●七月の議會[illegible]

●海軍事件審理[illegible]

●米支攻守同盟說 東京日々新聞の[illegible]

●外交官[illegible]

●人造バタの取締 農商務省には[illegible]

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次 日本郵船 大阪商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方よりの御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人 [illegible]著 定價一弗五十仙

紐育新報社

●新不如歸物語 福岡縣は筥崎宮の境域に近く青春若き諸説に去せざりしか今回布哇の[illegible]ウォールドの別邸に赴けり月曜日歸鄕の筈なり

[illegible]

●故武石浩波氏一周年祭 大阪朝日新聞社は昨年五月四日同社主催の飛行大會に於て非命に死を遂げたる武石氏の爲め去四日盛大なる紀念祭を執行せり

洋上の大慘劇

●高峯博士 は去二十八日メー[illegible]ウォールドの別邸に赴けり月曜日歸邸の筈なり

●矢島氏家族及井上[illegible]三郎氏 二十八日出發歸朝の途に就けり

●遞信省技師小野房吉氏 過日來市[illegible]二三ヶ月滯在の筈

●正金銀行桑港支配人蘆平純三氏 は僅數日滯在の由

●不都なる悪漢 [illegible]

●万國議員日本評議會 [illegible]

[illegible]

●在米外人の人種別 去一九一〇年[illegible]

獨逸人	八、八一七、二七〇
伊太利	二、一五[illegible]、二二二
[illegible]	一、七〇[illegible]、六[illegible]
愛蘭	一、[illegible]七六、七六二
瑞典	一、四三四、八六九
[illegible]	一、三五七、一六九
[illegible]	一、[illegible]九、八五四

●結婚と市民權 米國出生市民權を[illegible]

[illegible]

●山本[illegible] [illegible]

●誘拐事件に[illegible]

●ギャロック[illegible]

日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
[illegible]港丸	[illegible]	五月廿五日
[illegible]岡丸	沙港	五月廿九日

●日本より到着日

五月廿六日	五月廿七日

御下宿 中島實

[illegible]

雜貨ねろし賣

本品目錄御望次第無代進呈

名古屋市 瀧藤小川商店

TAKITO, OGAWA & Co. [illegible] W. Madison St. Chicago, Ill.

[illegible] LAFFERTY [illegible] Park Place N. Y.

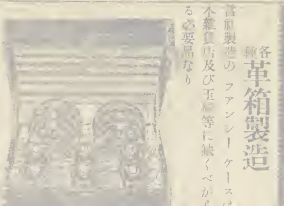
飛行學校開始

今回新たに開校、飛行法、各種飛行機製作術等を叮嚀親切に教授す、斯道に成功せんとする日本人青年諸君の來校を望む

日本人飛行學校 理事 木下[illegible]太郎

各種革箱製造

ファンシーケースは日本雜貨商及び玉突等に缺くべからざる必要品なり



御一報次第カタログ御郵送可仕候

J. CARROW & CO. [illegible]

移轉廣告

從來の場所手狹につき左記へ移轉仕候、不相變御愛顧を[illegible]

菊地東陽

移轉開業廣告

今般左記の所へ移轉五月[illegible]日より開業可仕筈の處裝飾準備等のため手間取り來る四日より愈開業致す樣相成候間何卒從前の通り御引立の程奉願上候

新育市[illegible]九丁目[illegible]四八

朝日亭

▲發賣禁止揃ひ

男女の生活

▲發賣禁止 海野幸徳著

本書は著者獨特の[illegible]なる筆法を以て露骨に男女の性的生活を[illegible] 定價一弗二十仙

戀愛問答

本書は風俗壞亂安寧秩序紊亂の下に發賣禁止となりし奇々妙々の書なり 定價四十仙

▲發賣禁止 秋琴女史著

女醫者

定價壹弗

きむすめ論

▲發賣禁止 白[illegible]

定價[illegible]

色情思想の解剖

▲發賣禁止 北[illegible]正[illegible]著

定價九十五仙

百合子

▲[illegible]六先生[illegible]著

現代思潮 男女の戰ひ

定價[illegible]五仙

みすのたはごと

▲廣[illegible]著

[illegible]

ホテルタコマ 藤井旅館支店

品南樓

支那料理

御下宿 吉田

●球塲あり●

支那御料理

精撰美味

DUCY GOON YING

CHINESE REGULAR DINNER 25

菊地寫眞館

TOYO KIKUCHI PORTRAITS STUDIO

笠井良野洋服店

Kasai & Yoshino Tailor New York

泥棒の天下（三）

▲水滸傳を議まれた諸君は兎とも取組むべき百八人の豪傑が數萬の部下を擁して梁山泊に立籠り官軍を驅け惱ましつゝ我物顔に天下を横行したといふ怪奇の物語りに驚かれたに相違ひない、水滸傳は施耐庵の空想の結晶に過ぎないか、それとも事實を基礎とした實錄風のものと見るべきかはこゝに斷定する場合ではないが水滸傳的の大泥棒は支那の古今を通じて未だ曾て絶滅した事はないといつても差支へない、梁山泊と云ふ地名は現に山東省の曹州附近に在つて廣い長い葦の葉を産するを以て著名である事から考へると水滸傳は万更ら虚構の物語りでないかも知れぬ、百八人は嘘だが二十餘人の豪傑が多數の部下を擁して梁山泊に立籠つた事が事實で宋史本傳にチヤント書いてあるといふ考古家もあるが記者はまだ讀んだ事がないからコレは預りにして置く

▲話が横道にそれたが白狼は本名を朗といつて河南の寶豐縣の生れである、元は縣廳の小使であつたといふ説もあれば多少資産ある家に生れたといふ説もある、白朗が何時しか白狼に變つたのは附近の住民が狼のやうに彼を恐れる所から自然に狼と人も稱し自分も呼ぶ様になつたといふ説と白狼が愛讀せる小説の中に何狼とかいふ泥棒の大親分があつて彼は之を以て自己の理想の人物となし自ら白狼と名乘つて居ると云ふ二說がある、兎も角彼の率ゆる一團は正しく支那現時の梁山泊である

▲彼が未だ峡西に攻め入る前の三月の中頃部下を集めて軍事會議を開いた事がある、其時集まり來つた數十人の中親分、小親分等の中には險要の一地に根據地を構へる事梁山泊の如くすべしと主張するものが大分あつた、之に反對するものは流戰して到る所掠奪を逞うすべしと說いた論戰久しきに亘つたが決定しなかつたものと見へる此時彼等は白狼に軍統の稱號を呈する事にしたと支那の新聞に書いてある、峡西に入つてからの彼の行動を見るに根據地を得んとするか如く從前の流戰主義を繼續せんとするか如く少しも判斷がつかぬ恐らく彼自身も一定の方針がないのかも知れん

▲白狼軍か荊紫關を越へたといふ飛報か西安に達すると西安の商民の驚きは一方でなかつた、渭水以南は概して土地貧瘠で掠奪品か少ないから白軍は必ず渭水の北に押寄せて來るに違ひないサア大變だと言つた調子で官軍に信賴しない人民等は忽ち慄へ上つて了つた、米麥の價か一斗について二百文も激騰し大恐慌を呈したさうである

紐育の日本人（十七）

黄白結婚其三

飛耳張目生

▲夫は妻を愛し、妻は夫を愛するのは古今東西少しも異つた所はないかサテ其可愛かつたり、がられたりする方法に就て日本と歐米の習慣は天地黑白の差を示す、隨て歐米婦人を妻とする日本人の家庭には較もすれば時ならぬ風波が起る

▲西洋の男は家に在る時は兎も角として來客のある場合又は夫婦共々外出した時には可成自分の妻に對する愛情を表はして第三者たる世人に見せやうとする妻たる者も亦夫からさうせられるのを非常な誇りと心得て居るか日本の習慣で見ると人の見ない所では水も洩さぬ愛の要領を交換して居乍ら世間へ出るとイヤに濟まし込むで知らぬ顔の半兵衛を極める、之を泥棒に譬へて見ると西洋のは罪の無い白晝強盜流、日本のは性質の惡いコソ泥の鼠盜流とも云へる譯だ

▲御名前丈は一寸御預りとするが日本人を夫とする某白妻君此程僕に愚痴つて曰くだ「ミスター張目まあ聞いて頂戴、ツイ此間妾は主人と一所に買物に出かけたんでしやう、宅を出てからブロードウエーに參りましたが、所か非常な人込みですから妾は夫の腕にすがつて歩行かうとしますと主人は妾の手を拂ひ退けて「アイウオークデスサイド、ユーハッドベターウオークゼアザーサイド」つて言ふんでしやう、妾は呆氣に取られた許りぢやありません腹が立つて泣きたくなりましたから買物もせずに其儘歸つて仕舞ひました、主人は宅に居ります時は非常に親切でして本當に妾を可愛がつて呉れるんですが一所に外出しますと何時も〳〵不思儀な擧動りをして妾を泣かせるんですよ、何故主人は妾と一所に歩くのを嫌うのでしやう、妾は度々コンナ事をされますと全くいやになつちまいますよ」

▲某白妻君の此不平は實に尤もな話で乃公も大ひに同情して色々說明を試みた譯だが結局アイドントアンダースタンドじやといつて居た、兎に角愛の表顯にコソ泥式を用ゆべく敎へられた吾々には、群集の面前で妻に溫たかーいキスを與へるやうな事をすると何だか極まりが惡い様にも見へ、腕組み交はして人中を歩行くのさへ變に感ずるが、郷に入ては郷に從はねば万事事が納まらぬのだ

▲東西風俗の相違から日夫白妻の家庭に起り易き相互の誤解トラブルは中々右に擧げた實例許りではない、此外妻の親戚朋友を訪ふ場合、友人の訪問を受ける場合等も擧げれば幾らもあるが要するに西洋婦人を妻とする人は種々なる方面から考へて可成家庭の平和を圖り、妻たる者には可成多くの慰籍を與へるやうに努めねばならぬ、僕の日夫白妻の家庭に對する重もなるサグゼッションは左の通りである

地位の高下に依つて結婚すると同時に二千弗以上五万弗迄の生命保險に加入する事

家庭に於ける一切の談話は凡て英語を用ゐ、白妻に日本語を敎ゆる事

節約を旨とし毎月若干宛の貯蓄を爲す事

職業は可成地位上進の見込あるものを撰ぶ事

亂酒を愼み夜ふかしをせぬ事

夫婦同伴一週間に少くとも一回は觀劇に行く事

虛榮心深く夫の収入如何を顧みずして衣食の美に誇らんとする女と就ては一寸考へて見る事

妻の親戚朋友と可成親密に交際し日本人の美点をアンダースタンドせしむる事

妻子に慰籍を與ふる最新良法は次號に於て述べる

投書箱

▲黄白結婚中々面白く拝見致候が紐育に於ける日本婦人並に呼寄妻女の内情も中々研究すべきもの多しと存せられ候に付「黄白結婚」済み次第是非飛耳張目君の御意見を伺度候（一獨身者）▲例の矢野著書機嫌長近來氣焔更に揚らず會ふ人毎に商買不景氣をコボして居るがソンナ元氣の無い事でどうするか南京袋が涙を出し朝鮮髯が眞白になるぞハイ（矢野黨）▲貸が五千弗もあつて百弗の金に困るなんて丸で話になりません之だから日本人對手の商買は駄目ですよとは某商店主人の泣言、いつその事商買を止したら可いだらう（親切男）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
Act of March 3rd, 1879

紐育新報定價（郵金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

同化問題は人種問題と全然區別せざる可らず

京大及同志社教授　ギュリック博士

米國は教育、同化、市民權の規定を設けて漸次に亞細亞人を入國せしむる政策により白禍、黄禍の危險を減殺し得可きのみならず延ひて東西兩洋文明の精華を交換し得べし、若し或論者の如く東洋人殊に日本人は到底同化せざる國民なりとなさば同化問題に關する凡ての解決方法は全然無用に屬すべきなり

人種の社會的同化は彼等の雜婚によりて漸次單獨に實行せらるべきが米國の國語、アイディヤを習得し其民主的生活と相適應する所に就ては年若き日本人及支那人は露西亞人又は伊太利人と毫も異なる所なし、要は只米國人が前者に對して後者と同等の機會を與ふることにあるのみ亞細亞人の兒童は歐羅巴の兒童か支那語乃至日本語を習ふ困難よりもより以上不便を感ずるの地位に在り乍ら米國生れの日本兒童は其兩親が絶對的に英語を語り能はざるに不拘、自由に英語を操り、布哇の如き多數日本人の在住せる土地に於てすら兒童の用語は凡て英語なり、且つ加州在住の日本人は近時大いに米國化し來り就中米國生れの日本人兒童に於て特に此現象著しきものあるは彼等の實情を踏査したる者の一般を唸する所にして日本人の社會的同化は最早疑ふの餘地を存せざるに至りたり

白皙人種と亞細亞人の雜婚に關しては[illegible]なる禍福説行はれ、人種的[illegible]の偏見は甚だ盛んなるも此問題たるや未だ嘗て研究を經たるものに非ず、且つ異人種間の雜婚問題は現在に於て頗る疑問に屬するが故に國[illegible]雜婚の結果如何との問題は亞細亞人の同化問題に向つて何等の價値を寄與するものに非ざるなり、左れば吾等は此疑問に就ては生物學者社會學者等各種專門家の研究に待ち、雜婚の[illegible]的結果を知らざる可らず

余一個の意見を以てすれば夫婦間に生ずる權利義務の關係東西著しき懸隔あるを以て白皙人種と日本人との雜婚を不可なりとし隨つて日本人と米國人との結婚は極めて冒險なりとなす者なり、只斯る雜婚の結果は現在の所未だ明白ならずと雖も多くの論者は一般に雜婚を不可とするが如くエリオット博士の如きは純粹なる人種は他に比して一層優良なりとの見地に立ち、日本人は概して雜婚せずといひ且つ「幾多の異なれる人種は永久に各異なれる特種の領土に其純粹を維持すべく決して移民問題と人種問題とを混交す可らず」といへり、前にも述べたる如く異人種間の結婚問題は專門家の研究すべき所にして人種的偏見に基きたる無智の獨斷若くは一時の感情に制せられたる感情的判斷によりて決定せらるべき問題に非ず、若し雜婚の結果愈々不可なりと確定せば吾人は適當の法律を設けて其禁止を命ずれば可なるに非ずや、要は只黄白結婚の問題と同化問題とを全然區別せざる可からざる事之なり（未完）

弟より

第一信　卓郎

▲二度目の御手紙は嬉しく拝見しました、最初のは何だか叱られるやうな味のない手紙だと思ひましたが今度のは肉身の兄様から來た手紙だとつく〴〵感じ入つて讀りました、兄様のやうな怜悧で自信力の強い活動家の眼には私如き愚かな者は木偶とも見へるであらうと殘念でたまりません、此頃は父錢が無いので一層意氣消沈の體、漸く生て居る位です、私は金が出來たら一番高利貸になつて現樣式に痛快な振つた所を行つて見やうと思つて居ます、全く金は欲しいです、何故金といふ物はコンナに人を苦しめるでしやう

▲金と申せば數年前の衆議院選擧以來警察一般の空氣は銅臭のために腐つて仕舞ひました、昔ては一文の運動費すら要せずに議員に出られた時代もありましたが、素朴純潔の麗はしひ美風は兄様御在郷時代を最後として失せて仕舞ひ、正義も公論も金の前には鐚錢一枚の値打もないのです、何しろ昨年から今年にかけての中央政界の動搖を田舎でも知つて居る者は二十人の中一人位なものでせう、新聞は讀まず、世間の事は分らず、高等官や會社の重役をした者は誰でも豪くて議員様になれるやうに●●●●ぐわんせうと思つて居るのです、郷里地方の人民は豫算だの國防などゝいつた所で何の事か薩張り解りません、只終日働いて御上に税金を上納する一種の機械とでも申しましやうか、コンナ連中を選擧運動屋と云ふ三百代言がだまくらかして商品のやうに賣買するのだから耐りません

▲愈々選擧運動が始まりますと郡會議員や村會議員の古狸が野越へ山越へ歩き廻るのを見受けます、以前はさうでもありませんでしたが近頃は南部の方からも切り込むで來るやうになりまして此前の選擧の時には[illegible]田派と塚本派が參りました、運動が利く利かぬの問題は主義主張でなく金の多少に依て分れるのです、村長は表面丈何も仕ない風をして居ますが陰ではコツソリ行つたさうです、併し此次ぎには硬骨の尾崎さんが選擧法を勵行するさうですから演説の利目もありましやう、運動屋は議會の解散を見越して牙齒を磨いで待つて居ます

▲兄様、未だ御歸國は出來ませんか、何時ぞや御歸國と御知らせがあつた時父も母も非常に喜びました、西洋の孝道は存じませぬが、父はもう七十です、母は六十五才です、老先きは可成安樂に暮さして死なし度いのです、父上は理窟も分り新聞も讀まれ、大好物の酒も續ひてやつて居られ、兎に角若い時から世間に出られたから貧乏乍らも氣分か[illegible]の中に[illegible]られますが、母上と來ては目に一丁字なく、旅とやつたら[illegible]間から[illegible]、[illegible]遠なる父上に[illegible]、來る秋も來る秋も米の俵ら一つさいもあつたことのない[illegible]所に[illegible]される事殆んど愛に三十年、貧の苦が骨に迄泌み通つて六十五歳の今日も依然たる元の境遇です

▲兄様、母上は神様のやうな人です、髮は眞白になられました、あなたの話が出るとハラ〳〵と涙をこぼされます、大義滅親といふ事もありましやうが父母を省するといふ事も惡い事ではありませぬ、不平をいふ様ですが何も亞米利加迄行つて借金持にならなくとも善いではありませんか、父まで曾て來ました所へ母が香ばしひお茶を入れて持つて來て呉れました、兄様、母上は本當に難有い人です

▲野も山も新緑の装ほひ、見るからに心も浮き立つ様です、紐育は善い所でせうが春から夏へかけこの郷里の空氣は又格別です、人の心は濁りに濁つても大[illegible]山の頂から五ケ瀬の奔流を俯瞰[illegible]す天與の風景は兄上樣在郷の當時と少しも違いませぬ、父と母上をお連れ申して大阪參りに行かうではありませぬか

五月十二日　長兩郎より

在紐育　兄上様へ

●タムピコ封鎖問題　ワードラインの所有船アンチラ號は墨國政府が紐育に於て買入れたる彈丸二百万個を搭載し一兩日内にタムピコ港に到着の筈なるがウエルタ氏は右彈丸の陸揚を抑止するため砲艦二隻を派遣して同港を封鎖せんとし、華府政府は駐墨海軍司令官メーヨー氏に命じて墨艦の自由行動を否拒せしめんとする形勢甚だ不穩なるものあり、然るに元來媾和會議の成立せる理由は兩國の休戰なるを以て若しタムピコに於ける武器陸揚に關し兩國海軍の衝突ある時は媾和談判は勢ひ[illegible]すべく目下媾和會議及米國政府との間に電報の交換頗る頻繁なり、エー、ビー、シー三國委員はアンチラ號の[illegible]國務長官の行動を批[illegible]ざりしも同號の武器輸入は[illegible]に對し不滿足[illegible]るものゝ如く察せらる、媾和會議はウエルタ軍代表委員の問題に關しカランザ將軍の返答を待つため目下休止中なり

●女權黨員宮殿を驚かす　去二日夜バツキングハム宮殿に於て[illegible]皇后兩陛下として晩餐會の御催しあり[illegible]々參會の人々に御挨拶中なりし時一婦人は突然ジョージ五世陛下の御足下に跪き乍ら「皇帝陛下よ願くは腕力を用ひ給ふ勿れ」と絶叫し尚ほ何事か言はんとせし所を直ちに宮殿外に運び去られたるが、當夜の珍事に關する倫敦各新聞の報道は區々にして同じからずと雖も事は婦人中宮廷の御催ほしに參會の特權を有する女權黨同情者が特に作爲したる所業なるべしと傳へらる、尚當夜は四度目の[illegible]各國外交官、陸海軍將校等約九百名の參會者ありし大晩餐會なりし事とて兩陛下は右の[illegible]事のため御驚愕一方ならざりし由にて如何なる手段を以て一女權黨員が宮中に入込むを得たるかに就ては目下取調中なりと

●女權黨古寺を燒く　英國ミードフ[illegible]ドに在るノーマン時代建築の古寺[illegible]は去四日[illegible]火[illegible]付ては直接の證跡なきも多分女權黨員の所爲なるべく[illegible]爆裂彈にて點火したるものなるらんと、右寺院に保管されありし貴重のチエーンドバイブル[illegible]なるダーウィン博士の祖父エラスマス、ダーウィン氏の紀念碑及其他の國寶は之かため悉く烏有に歸せりといふ

●世界第一の客船來る　英國最大の客船ブリタニア號は昨日處女航海を了へて紐育港に入れり同船は五千[illegible]噸の巨船にして一時間廿三哩五六の快速力を有す

●コロンビア大學卒業生千九百十八名　同大學にては去三日卒業式を行ひたるが當年の卒業生は各科を通じて千九百十八名に上り同大學創立以來の最大多數を出し此中女子卒業生廿三名ありしと

●ブイヤとウエルタの通信問答

ブイヤ　「オイ人殺しのウエルタ、逃げずに待つて居れよ、六十日以内には己れが行つて貴様の二枚舌を引抜いてやる、ソシテ貴様の身體をば蜂の巣勘定にしてやるから然う思へ」

ウエルタ　「やつて來い〳〵己れも此間ピナガ、パベーヤ兩船から澤山彈丸を受取つたから貴様が來たら烟硝下物に帽子の酌むや」

ブイヤの野性、ウエルタの放岸躍如として言々句々の間に現はる

●無政府黨員ロ翁の住宅を襲はんとす　コロラド鑛山爭擾事件以來當市の無政府黨員等はターリタウンなるロックフエラー翁の邸宅に向つて屢々妨害を試み同邸宅は數十名の護衛をして不絶警備しつゝあるが數週前より市内に無政府的亂行を續け來りし例の萬國勞働者組、急激社會黨員等五百餘名は無政府黨首領ゴールドマン孃の情夫バークマン指揮の下に大擧してターリータウンに向ひ大々的示威運動を試みんとの計畫あり、同市の官憲は暴漢の襲來に備ふるため協議の上消防夫をして水道に大パイプを連結せしめ事態不穩の傾ある場合は多數の暴漢をぬれ鼠となす計畫なり、尚ロ翁邸にては邸内雇人中暴漢に内應する者あらん事を恐れ一部を解雇せりと

●トラスト取締法案通過　ウイルソン氏の提出によるトラスト取締法案は昨日二七五對五四にて下院を通過せり、上院の討議、修正、承認を經大統領署名の運びに至るには今後尚三四ヶ月を要す

●英領ニュージーランドの東洋移民[illegible]　倫敦發電に依れば英領ニュージーランド政府は濠州各地に於ける居住白人の希望を容れ來る六月を期し同議會に東洋移民の入國禁止法案を提出するに決せりと傳ふ

●桑港博出品規定　本日を以て發表されたるが其要點左の如し　出品の申込は七月末日までに大博[illegible]に持參すべし、[illegible]の出品は十一月十五日までに輸出の手續を爲すべし

●大浦農相の大博關係者招待　大博[illegible]大浦子爵は去三日夜農商務大臣官邸に末松謙澄中野東京商業會議所會頭の兩氏を始め朝野大桑港大博覽會關係者一同を招待して晩餐會を開き大博出品に關し種々懇談を遂げたり

東京電報

駐支公使新任

[illegible]に[illegible]たりし日置益氏は本月二日駐支公使に任命されたり

●三大汽船會社合同成る　日本郵船、東洋汽船、大阪商船の三大會社は今回合同する事となり何れも合同條件に同意したる旨ロンドンシッピングガゼットは報ぜり

●海軍收賄事件服罪　松本中將は[illegible]懲役三年に處し四十萬圓の追徴を[illegible]澤崎大佐は懲役一年[illegible]の判決を宣告せられたり

●新任及昇進　呉海軍工廠長なりし海軍中將村上格一氏新たに艦政本部長に任ぜられ、目下練習艦隊司令長官として米國太平洋沿岸に在る黒井悌次郎氏は海軍中將に昇進せり

●第一期喪終る　第一期喪は廿七日にて終了せるにより一般人民は服裝其他の喪章を悉く取去れり

●葬場殿拜觀者　代々木葬場殿は廿七日來一般民衆の拜觀を許可されたるが拜觀者日々十萬人以上を[illegible]し附近は時ならぬ雜沓をなせり

●米國會社員峽西油田の踏査開始　近く峽東油田採取權を獲得せるスタンダード會社派遣の技師一行は上海に於て同地方踏査の準備中なるが準備略々終了せるを以て一兩日中に支那内地鑛山地方踏査の途に上る事となれり

●東京大相撲は廿九日より　皇太后陛下崩御のため開場を延期したる國技館大相撲は去廿日番付を發表し廿八日より觸れ太鼓を廻はし廿九日花々しく開場せり

●高右左衛飛行す　米國より歸朝せる飛行家高左右氏は廿三日[illegible]に於て飛行し大成功大喝采を受く

●桑博評議員決定　桑港大博評議員は學者國會議員實業家等より選拔し合計七十名本日決定發表されたり

●日米仲裁條約批准公表さる　日米仲裁條約は先きに樞密院を通過したりしか廿三日批准結了の旨日本政府に於て發表されたり

●片桐大監當選す　去四月廿三日胃癌にて死去したる東京市選出代議士[illegible]の補缺選擧に際し[illegible]正會より候補として打て出でたる大監片桐酉次郎氏は當選せり

●宮内省廓清の急

日本　最近[illegible]

[illegible]相と西本願寺との關係[illegible]問題に暴露し之に伴ふ田中光顯伯の大臣待遇辭退あり以來世人の[illegible]は海軍事件と共に宮内省[illegible]に傾ける觀あり[illegible]渡邊前宮相か專任に次いで[illegible]をなし巧に[illegible]を避くることに努めしため却て[illegible]り今々伯の過去に於ける行爲を[illegible]省の部に對する疑惑の念をを深からしめしもの[illegible]り而も伯の行動か今日に至りて未だ具體的に暴露するに至らざりしは或は本人のためには幸福なるかは知らざれども世人は[illegible]か宮内省に對し少くとも田中、渡邊兩氏の宮内省在職時より種々秘密の伏在せるものありしならんとの推定を深からしむるに至るべくこの際宮内省は一日も速かに部内の廓清を斷行し多年世人より疑惑の中心點と目されし或る部面の革正を行ひ田中渡邊兩氏のために失ひたる威信の恢復を講せざる可らず　道路傳ふる所に依れば渡邊伯か宮相の職に就任する迄の間多年内藏頭兼御料局長として恩威を施せし高等官及び判任官の數は年次増加し現今の内藏寮及び帝室林野管理局の高等官判任官の大部分は申すに及ばず其他の各部局にては[illegible]同郷父の因緣を有せる渡邊閥は甚だ尠からずと、宮内省には由來香川[illegible]大名閥の情弊行はれ居るも渡邊閥の前には比較とならざるなり現宮相波多野男は部内廓清の意見を有せりと聞けど男は就任日尚淺く特に御大喪中の事とて是か實行の機會に際會せざる趣なるが男にして若し御大喪後一期後に於ても尚依然として廓清の斷行に逡巡する如きあらば群議は必ず省内より勃發し面白からざる現象を見るに至るやも測り難く此の際新宮相は省内正義の士と共に多年幾多の情弊に捉はれたる部下の刷新に努力し以て省内の空氣を一新し累を宮庭の尊嚴に及ぼさざらん事を圖るべしと某老伯は憤慨しつゝ語れり

●御追號に就て　文學博士三島中洲翁の談話に、昭及憲といふ字は支那の古典に[illegible]使はれて居る字で昭憲とは德昭にして其爲される事も法にかなふといふ意味である事で留意とし[illegible]より[illegible]で[illegible]ない[illegible]して撰擇されたもので[illegible]るから[illegible]とし[illegible]尊さなる[illegible]とは[illegible]ない實に[illegible]しい文字で皇太后陛下の御宏德に[illegible]な[illegible]此二字を以て[illegible]は有して居る

●税關と實業家　東京商業會議所にては九日役員會を開き中野會頭より[illegible]は大隈首相並に若槻藏相を訪問し[illegible]税關及び財政[illegible]につき[illegible]たる顛末を報告したるが[illegible]大[illegible]氏は此の際政府をして[illegible]の整理を斷行せしむべし[illegible]提議し稅各[illegible]を訪問し[illegible]ことを[illegible]事を申合せ散會せり

●任用令改正問題　政府に於ては文官任用令改正の意志を有し過般來江木翰長をして下調査をなさしめつゝ々あり只だ成案を見るに至らざるも今回改正の主旨は世人の想像さは大に異なれるものあるが如し今回の改正は政務次官を設置するに在るとの云もノハ現在の任用令に於ける特別任用の範圍を更に擴張するを目的とするものにはあらずして政務官事務官の區別を明確にする必要ある事を正面の理由として事實は現在の範圍は寧ろ縮少せんとするの傾向なきにしもあらず

●萬國日曜學校大會準備　昨年瑞西に開催せる萬國日曜學校大會の決議により次回は四年後大正五年十月十八日東京に開催する事となり來會者は北米より千二百名歐州より六百名の豫定なるが我國には風俗習慣を異にせる是等多數の來客を一時に收容すべきホテル汽船等の設備なきより會頭大隈伯副會頭澁澤男坂谷男中野武營氏も聊か持てあましたる模樣にて九日會議所、日[illegible]、東洋、帝國ホテルツーリストの代表者は正副會頭の依頼により會議所に集會し是が準備につき熟議する所ありたり

●火の手[illegible]所に及ぶ　[illegible]に山内滿壽治男井上角五郎氏引續き東京地方裁判所檢事局の喚問を受け今や海軍問題の火の手は漸く室蘭製鐵所を襲はんとする形勢顯著なるが該事件糺彈の衝に當れる司檢事局にては兩氏召喚に先だちて室蘭區裁判所と連絡を通じ製鐵所の家宅搜索を行ひたるもの〻如く行李二個に滿てる書類は十日東京に到着したれば十一日[illegible]

●又も佐世保で　佐世保市下京町古[illegible]會和輝吉及び島田長吉兩人は突然海軍々法會議に召喚せられ續いて[illegible]方に出張家宅搜索をなし[illegible]信書其他を押收し一面海軍建築課の筆生小川[illegible]上兩名を引致したり事件は建築課の保管品を竊取し不[illegible]拂下げの際に持出して賣拂ひしものならん[illegible]より[illegible]調査を行ふべし[illegible]任檢事外係檢事は嚴重に

●米博問題と外務當局者談　米國特電は米國政府は桑港及びサンチェーゴー博覽會に雇備さるゝ外國移民入國取締規則を發表し一人に對し五百弗の保證金と寫眞三枚を提供する事とし保證金なき者には本國政府をして保證せしむといふは我國に對する友誼的規則なりとして在米邦人は騷ぎ居れりと報じ來りたるが元來米國は自國博覽會用のため渡米する職工等に對しては平生入國を許す代り博覽會用務の濟むと共に歸國するを條件とし是がために五百弗の入國保證金を徴するを例とし前も聖路易、沙港ゼームスタウン等各博覽會に出品する我出品者は其職工に對して五百弗を提供し辛ふじて入國せしめたる例もあり今回初めて特に苛酷なる規則を發表したる譯にはあらず今回は日本政府の保證を以て五百弗の保證金提供を特免する事となしたる次第なれば寧ろ好意とこそ言ふべけれと外務當局者は語れり

●北米へ密航　曩に北米に密航送還されし伊豫西宇和郡川之石村[illegible]左工門は再び密航を企て西宇和郡多[illegible]にて十數名の仲間を[illegible]り數日以前川之石村よりウタセ船にて密行せし事發覺し其筋にては途中に取押へんものと各方面へ通牒したり

●阿片禁絶實行　支那福建省にては阿片栽培禁止と共に英國公使は同省に於ける印度阿片の輸入を禁止する事に同意し五月一日より實行せられたり阿片禁絶協會は當日紀念のため五万弗の阿片及び附屬品を公衆の前にて燒拂ひ盛大なる祝賀會を開けりと

●妙高山大鳴動　信越國境に近き越後の妙高山は十七日突然大鳴動を起し山麓の住民をして尠からざる不安の裡に一夜を明したるが十八日朝山上各所の大地に龜裂を生じて盛んに熱湯を噴出するに至れり

●森村翁慨然として起つ　森村組頭取にして當世稀なる潔白無垢の實業家當年七十八歳の高齡なる森村市左工門翁は近頃社會風教の頽廢を見て憤慨已み難かりしか[illegible]海軍大官以下の收賄問題及宮内大臣來知事警保局長等諸大官の疑獄起りの急激引退等汚はしき事件の續出するより遂に堪へ兼ねて奮然各方面の人士を說き廻はり[illegible]四月卅日夜を以て銀行集會所に有志を會し澁澤、中野、大橋、坂谷。久保田[illegible]、澤田、鎌田等の十餘氏會合して種々社會風教の廓清に就て凝議する所あり實業界政治界其他如何なる方面に於ても一度罪を犯せし者を再び社會に顏出し出來ざる樣にする方法を講じ最初まづ新聞又は演說等に[illegible]此目的を達する事に力むべき事等を議し森村翁は其費用として先つ二十萬圓出金の旨を申出で澁澤男も即時十萬圓の出金を申出でしか時恰も澁澤男渡支の間際に際せるより一切の決議は同男歸朝後になす事として一先づ散會に及びたるか時節柄双手を擧げて喜ぶべき事なり

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船　大阪商船　シカゴ、ボストン、フヰラデルヒヤ其他東部何れの地方よりの御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年一弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人　英文　西上淸氏近着　定價一弗五十仙

紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滯在約百二十日間
▲詳細規則書にあり申込次第送呈
◉注意　夫妻又は家族御同伴希望の方は至急問合せを要す
▲飛行家、寫眞師等各一名の加入者を募集す　委細面談

紐育母國訪問團本部
紐育市[illegible]參八
主催者　林富平

●大膽なる白中自動車强盜　一日に三件　昨朝午前十一時廿分西十四街四[illegible]アメリカン[illegible]八ボナ[illegible]ト[illegible]五九）は年若き同僚と共に給料[illegible]を携へ會社より[illegible]二千八百弗入の革[illegible]行中二人の强盜背後より[illegible]なり例のブラックジャキを[illegible]兩人の頭をおすめしたる上右の革鞄を引さらひ[illegible]自動車に飛乘りて上町方面へ逃去せり、然るに此兇行ありたる約[illegible]時間の後[illegible]時五十分[illegible]の會計員兩名[illegible]三千弗の金を[illegible]將に[illegible]二名の强盜[illegible]逃去せ[illegible]市の警察は大々的搜査を開始し犯人の乘れる自働車の番號を[illegible]

更に新たなる自働車强盜事件の報告に接せり[illegible]ブロードウエー千百廿[illegible]マッケンチー會社の會計モノレー氏は千五百弗を三包として懷中し晝食を濟ましての歸りがけ昇降機に乘りたるが氏と共に乘り込み居たる五人連れの怪しの男等あり氏と途中にて氏の帽子を打落とし氏が何心なく帽子を拾ひ取らんとするスキを狙ひつ[illegible]五百弗の包を掻つ拂ひ其儘自働車にて何處ともなく消へ亡せたる急報あり、探偵の報告に依れば右三件共同一ギャングの仕業なるべしと、往來繁き紐育の町の眞中にて左りとは大膽なる所業なるが[illegible]件とは[illegible]

●横金支店員の上陸拒絶事件　同行布哇支店員川上宗太郎氏は去月十八日香港丸[illegible]等船客としてホノルヽ港に到着せるに同地移民官は氏の上陸を拒絶し氏は目下移民局に留置中との事なるが上陸拒絶の理由は發表せられざるも多分最近大審院が伊太利人ラビナ事件に對し「手を用ゆる職」と「頭を用ゆる職」とを問はず雇入契約をなして入國せんとする者は契約勞働者なりとの新判決例を楯として川上氏の上陸を拒みたるものならんとの事なり、右に就き同市正金支配人青木鐵太郎氏其他は川上氏の事より將來に惡例を遺さん事を恐れ極力抗爭すべく場合によりては國際問題とも[illegible]決心なる由、注意に値ひする事件なりと云ふべし

●淺間。吾妻の二艦到着　去一日の紐府電報に依れば吾練習艦隊淺間吾妻の二巡洋艦は去月卅一日布哇より無事到着、桑港總領事代理沼野氏、紐府市長及同市の内外人より盛なる歡迎を受けたる由にて同艦隊は五日同地出發桑港に向ひ夫より晩香波ブゲットサウンド等を經歸航の途に就く豫定なりと

●岡澤氏著米國實業實地經營法　豫て紹介し置きたる紐育生命保險會社員岡澤氏の著書は過日本社に到着せしに付希望者は金一弗封入申込あれ本書はウイスコンシン大學教授[illegible]ンク氏の原著を本とし編述したるものにして製造、販賣、小賣、廣告法等商工業に關する一切の實地經營法を網羅せり、在米實業家の好侶伴として又必ず不可欠の參考書なり

●日本人會參事員會　來九日午後六時[illegible]同會事務所に於て開催諸般の事項を協議すべし、尚同會役員會は臨時[illegible]

[illegible]要件出來せざる限り夏期中休會すべし

●修道會の講演會　本日午後八時朝鮮總督府學務局長關屋貞三郎氏の「朝鮮に於ける教育」と題する講演あり有志家の來聽を望むと

●小栗讓吉氏の名譽　フォダム大學にては來九日卒業式を行ふ筈なるが愛知縣人小栗讓吉氏は卒業者中の優位を占め醫學士の學位を受領する筈にて名譽といふべし

●高見豐彥氏の謝狀　氏多年の功勞を謝するため日本人會より氏に贈呈したる銀盃に對し高見氏は左の如き謝狀を送り越せり

謹啓　不肖紐育共濟會々長として過去七年間微力を致すを得たるは偏へに會員諸彥の指導宜敷に由る然るに今回日共兩會合同に際し特に紀念品並に頌辭を寄せられたるは寔に不肖の光榮とする所也、茲に會員各位の深厚なる同情に對し謹んで感謝の意を表す

大正三年六月一日　高見豐彥
前共濟會々員各位

●高商教授中嶋武太郎氏　過日歐州より來着滯在中

●横山海軍中佐　大使館附武官の同氏は卅一日來市四日ボストンに向へり

●三井物產會社中田傳一郎氏　は本店詰となり不日歸朝すべし

●都旅館の開業一周年祝會　去二日に催せり

●同胞の死　岩田旅館に在りし山中鑑吉なる人は過日市立病院にて死去日本人會共濟部にて葬式を營めり

●早川葛次郎氏病狀　今春歸朝後名古屋市に於ける專門大家の診察を受けたるが何れも不治の眼病と診斷せし由

●時事新報社員成瀨義治氏　過去三年間歐州各國加奈陀等の新聞業を視察し此程來市したる氏は目下當地にあり去五日は紐育ヘラルド社を訪問せり

●若杉要氏　領事館書記生の同氏は今回紐育大學法治科卒業エムエーの學位を受く

●やまと下宿移轉　西六十四丁目百五十七番に移轉

●原田棟一郎氏送別會　去二日知友相會し日本倶樂部に於て盛んなる送別會を開き且つ氏と特別關係ありし人々は紀念のため美事なる金時計一個を送れり、氏は五日午前十時の[illegible]ルイス號にて歐州經由歸途に就けり

●鈴木、藤平兩氏　高峯博士は去二日鈴木藤平兩氏を主賓とし市内有志家を招きて晩餐會を催にし、總領事飯島氏は去一日同じく兩氏を主賓とせる晩餐會を催せり

●横濱正金本店支配人鈴木氏及び同行精査員豐間根兩氏　は六日出發歸朝し桑港支店長藤平氏は三日歸桑せり

●京大教授仁保法學博士　は六日來着日本倶樂部に在り

●朝鮮總督府學務局長關屋貞三郎氏　はホテルプラザに在り

●手塚森村組支配人歸着　去四日無事歸着せり、不日歸朝の筈なりし同店員安達竹馬氏の出發は延期されたる由

●松方正義氏夫人の[illegible]　新井領一郎氏の長女松方夫人は手塚氏と同行歸市せり

泥棒の天下(四)



▲處で峽西都督張鳳翽は小醜與し易きのみ意に介するに足らずと多寡を括つて陳殿卿といふ一武官に、然るべく防範の策を講ずべしとの命を與へた許りで迅速なる作戰計畫を立てなかつた內に商縣が陷落されたので驚は大に狼狽し俄かに一旅團の兵を出し藍關の嶮を扼さしめた、此藍關は韓退之の「雲横秦嶺家何在、雪擁藍關馬不前」の一句で有名な處である

▲藍關の官兵は黑龍溝といふ處で白狼軍の先鋒隊と一戰を試みて敗北し始めて白狼軍の戰爭振の恐るべきを悟り更に重砲兵を派して一戰せしめしか白狼は實を避け虛を衝くの計に出で軍を轉じて山陽を陷れ一氣に孝義縣を屠て其一隊は西安を北に去る僅に二十支那里の大谷口に肉薄したのである

▲是に於て西安は上へ下への大騷動だ西北方を警備して居た軍隊は悉く西安城內に召集したから西北方面の守備は殆んど虛空になつてしまつた西安城內の大狼狽を偵知した白狼は內心會心の笑をもらしつゝ忽然として秦嶺を橫ぎり子午谷を廻つて郭奈に現はれ破竹の勢ひで之を攻陷し勢ひに乘じて眉縣を取り渭水を渡つて扶風岐山に現はれ一氣に武功縣を乗取つたが禮泉、戒陽、經陽も將棋倒しに白狼の手に歸してしまつた即ち西安の東から北方迄グルリと省城を一周を攻落してしまつた

▲事茲に至つては張鳳翽か如何に狼狽しても追付かない結局辭職の止む可らざるに至り中央政府が陸建章を後任に擬するに至つたのも當然の事である

▲斷つて置くが白狼軍が通過すると城市村落一として慘狀を呈せざるはないがソレは悉く白狼の仕業ではない、白軍は財寶を奪つたらサッサと行つてしまう、其後こ土地の小泥棒か現はれて强姦したり放火したり勝手な眞似をするソコで住民等は小泥棒のために放火されん事を恐れ屋外で夜を明かすものが多い處から惡疫が流行して居るさうだ尤も白狼も强姦もやれば放火もやるのは勿論だ

▲白狼の遺口は如何にも慘酷である彼か一縣を陥れ一州を襲ふや直ちに民家を焼き良民を殺害し金品財物一空に歸するを當とする、と支那の官憲は報告して居るが一説によると彼は官憲や富豪を襲撃し□大金を掠取り貧民に對しては極力撫恤を行ふから貧民の間に非常に歓迎されて居るといふ說もある、彼の志は袁世凱を倒すにある、今や一介の切取强盗にあらずして其勢力居然として天下を震撼するに至つた彼は無益の殺生を行つて怨を民人に受くるは蓋し其遣くる所に違ひない其代り反抗したら一と堪りもない野獸の如き亂暴者の集合だから人を殺す位は屁とも思つて居ないのである

▲彼が河南省の折川附近の一城市を陷落した時の話だが茲には若干の守備が立籠つて頑强に抵抗したから白軍は之を乗取るや否や非常なる大虐殺を行ひ民家三百七十餘戸瞬く間に灰に歸してしまつたソコで白狼は其腹心乾分の宋一眼に數百の兵を附して十里ばかり離れた一城市を攻擊さした處が住民等は宋一眼の來るを聞き之を途中に出迎へ銀三万兩を送つてドーかお手柔かにといつた調子で之を歡迎したから宋一眼は一品の掠奪を試みず其儘引還へした



紐育の日本人(十八)

黄白結婚其四

飛耳張目生

▲本稿を書き始めやうとする所へ某君から一寸面白い材料を送つて來た曰く

小生は昨日市廳へ參り獨逸生れの婦人と結婚致したる者に候が當局者の話によれば近來日本人の米國婦人を娶る者多く一ケ月平均三組の結婚者ありとの事に候、貴君には黄白結婚に付色々御心配の由承り候まゝ一寸御知らせ申上候

サア事だ、在留同胞僅かに三千に滿たざる紐育市內及附近に於て一ケ月に三組の黄白結婚ありとすれば一ケ年に卅六組十年に積つて三百六十組之に今日迄の二百餘組を加へて年々夫れ相當に子孫繁植の義務を怠らぬとすれば愈々以て黄白結婚者の家庭を健かにする方法を講ずる必要か生じて來る

▲如何にして雜婚者の家庭に慰籍を與へるかに就て僕の考を言はしむれば先づ米婦人を妻とする日本人同志か集つて一つの社交團体を作り共團體の仕事としては各自共通の利益を圖ると共に會員の家族一同は時々集つて娯樂を共にする方法を講ずる事か肝要である、其方法として差當り僕の考を述べて見ると

社交團体組織に賛成の有志は最初集會して內相談を遂げ一般黄白結婚者の入會を勸誘すると共に先輩雜婚者の後援同情を仰ぎ又其助言を求むる事

團體成立の上は各會員は毎月若干の積立金をなし之を確實なる銀行に預け入れ會員中不時の災厄に罹りたる者を救助する事

會員家族に社交及娯樂の機會を與ふるため毎月一二回ダンシングパーチー(舞踏會)を開催する事

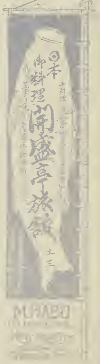
時機を見計ひ一大ホールを借入れ舞踏會用に供し平時は一般の求めに應じ賃貸する事

團體か愈成立すれば其發達に伴ふて色々爲すべき事も多からうと思ふか以上述べた所は黄白結婚者の家族に娯樂を與へたいといふ見地からの思ひ付である、有志家宗教家等の如き公共的事業に與はる人々は屹度僕の意見に同意して助勢するに違いないと思ふ

投書籠

▲これだから日本人相手の商買は絶對にダメと云つてコボスのではありません諸君の德義と云ふ事を少し考べて頂きたいのですハイ(商店主)▲加州サクラメントでは排國會を組織して大に青年の志氣を鼓舞して居るか此處でも秋になつたら一つ試みては如何(傍聽シタイ生)▲君ん所の先生は女の事ばかり書いて居る大方例のドライ組の一人で女か欲しく□堪らんのぢやらう他人の心配をしないで自分の事を考へ給へ(妻帯者)▲頭の大きひ體量廿五貫もありさうな某社長先生イクラ帽子で胡魔化さうとしても君か十九番の梯子段を降りかけた所を拙者はちやんと見止めたぞ年の取り甲斐もない屋根屋の腹下しみたいに支那町の上つたり下つたりは止し給へ(ゴザリ生)▲淋病で死んで共濟部の厄介になる者は年か年中賭博をして働かぬ者ばかりぢや、ソンジョソコイラにも澤山厄介になりさうな者がある、チト考へたら可からう(勞働者)





紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N Y Post Office as second class matter under act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

同化問題は人種問題と全然區別せざる可からず（承前）

京大及同志社教授　ギユリツク博士

論者或は言はん、而かも之を白皙人種の立場より觀んか「黃禍」は單に移民若くは軍事的侵入を意味するのみならず更に深刻なる經濟的競爭を意味す、生活費低廉にして手工に熟練なる無數の亞細亞人勞働者が現在吾等が彼等に向つて供給しつゝある物品を、吾商工業者が爲すよりも更に一層低廉に製作して彼等自身の需要を充たすに至らば吾國の對外貿易と吾勞働者の狀態は如何に成行くべきか、或豫言者の言へし如く吾頭上には黑雲漲り吾等の幸福なる生活程度は現在に於ける亞細亞人[illegible]夫の如く低下せらるゝとなきや否や、と然れども吾人は轉じて楯の半面より亞細亞人の立場如何を考察せさる可らず、過去四百年間世界[illegible]土を席[illegible]し沒道義にも他の領土を奪ひ、人を殺し、家を燒き、財を掠めて毫も憚らざりし者は實に吾等白皙人種なりき、而して二百五十年間其國を鎖せし日本も遂に滔々たる此大勢に拮抗する能はざるに至れり、東洋に於ける「白禍」は單純なる軍事的將た經濟的に止まらず實は文明的、倫理的、宗教的の一大問題なりき、故に日本は此怖るべき白禍の殺倒に堪へ得べき必要に迫られ、新政略を採用し白皙人種の長所を把握し、其國民的生活を根本的に改善したるのみならず更に進むで必然之に伴隨し來れる困[illegible]と難關とに耐へ得たり、然り而して隣國の支那は今や日本の前轍に倣はんとして將に其道途に在り

支那と米國との國交は現在に於て極めて良好なり、然れども此溫かき關係は支那人が日本人若くは印度人と同じく世界の事情に通曉するに至り深刻なる白人の亞細亞人排斥感情、加州土地法乃至米國全土に於て東洋人の市民たり得る資格なき事[illegible]等にも其本國の威嚴を損し之と融合し難きものたる事を諒會し得たりし時に於て彼等は果して將來と雖も今日の如き親密なる國交を持續し得るや否や、頑強なる排亞觀念に對して極端なる排白觀念起り、陸海軍費の增大を通じて東西兩者の經濟界を攪亂し商工貿易を阻隔し、白禍黃禍の罪惡は更に酷烈を加ふる事無きや否や

故に若し米國人にして、正義、謙遜、親切の觀念を以て日本人及支那人を愚し、白皙人は少くとも彼等を輕視せず又彼等の利益を掠奪するの意なく却つて誠實に彼我の繁榮福利を望む者なる事を證明したらんには彼等が從來怖る可きものなりと信せし白禍は却て彼等の幸福を增進すべきものなるとを發見するに至り、此思想上の轉廻は忽にして黃禍に對する現在の恐怖心を雲散霧消せしむるに至らんなり

記者曰く　博士の所說は黃白雜婚論と同化問題並に移民問題との關係に對し未だ全然敬服し難き所ありと雖も其公平なる誠意と熱心とに向つては感謝せざる可らず

▲寄　書▼

黃白結婚者と家庭の慰籍

黃白結婚者の一人

▲前週御發行の新報紙上「黃白結婚者の家庭に慰籍を與へ兼ねて在留同胞中家族を有する人々の社交を獎勵するがため一團體を組織し第一着の事業として舞踏會を催す可し」との張目生の新提案は市內到處好評嘖々にて殊に小生及小生の友人兩三名は進むで團体組織の內相談に參加し度希望を有し、進步的思想を有する某宗教家は双手を擧げて贊同す可しと公言被致候、願くは貴社の御發議を以て一日も早く社交團体組織に着手せられ度ものに御座候

▲張目生は黃白結婚者の家庭の慰籍を主眼として立案せられたるものならんか小生の考には此擧は單に黃白結婚者に限らず、日本人を妻とする人及獨身にて趣味薄き生涯を過ごしつゝある青年男女諸君に取りても稗益する所多かる可く且つ彼等の品性を高むる点より見るも效果不尠と存候

▲西洋人と日本人とを問はず頑固なる人々の中にはダンシングパーチーに對し一種の偏見を有する人も有之候へ共小生の實驗よりすれば舞踏は社交上各人の是非共習得し置く可き技藝にて殊に米國人との交際上舞踏を知らざる者は如何なる場所に於ても顧みられず、却て己れ一人の爲めに全集會者の興味を削ぐ事尠からず又自分の將來に利益ある先輩知名の人々と交際の機會を取逃がす事有之候

▲申す迄も無之候へ共[illegible]米人の舞踏を好む事は實にクレージーとも可申上は百万長者の紳士貴婦人より下は臺所にフライパン叩く下女下男に至る迄同樣に候、家々の妻君連がストリートを流がし廻りて一仙二仙の袖乞ひする伊太利乞食の音樂にさへ調子を合せて思はずも足踏み鳴らすは吾々の常に見受くる所なるが近頃流行の新式舞蹈ワンステップのヘジテイション、マキシス等に對する彼等の熱心は凄まじきもの有之又之等のダンスは寔とに高尙、グレースフールに御座候

▲張目生の仰せの通り日本人の妻となれる白婦人の友を求むるの狀は恰かも渴ける者の水を求むるが如きものあり小生の妻も其一人に有之候、家政上の都合にて充分の慰籍を與ふる機會を得難く常々遺憾に存居候折柄張目生の新提案に接し全く破天荒の快擧と心中大ひに心強く相感申候

▲舞蹈は一見六ヶ敷樣なれども實地に行つて見れば左程にも非ず、最初ゴツ／＼たりし足は修業日を積むに隨ひ漸次ヤンワりとなり轉回縱橫自由自在の域に進み申候、先日ホテルプラザに於て新式ダンスのコンテスト（競技）ありたる際三井物產の井上なる人は數百人中の優位を占められ候由承り候が新式ダンスに上達せる日本人は氏の外に澤山あり東京府の人鈴木東馬氏の如き中々上手と聞及び候、舞蹈に不案內なる人はブロードウェー一六九マーセル孃其他の舞蹈學校に行くも宜敷又以上日本人諸君に賴みて習得するも宜敷候

▲在留同胞中の獨身青年は胸中悶々の情遣るに所なく、心ならずも賭博、酒若くは遊女買にて切めてもの慰籍と致し居り實に氣の毒に存候、是等の青年が一度舞踏に興味を持つ樣相成候へば會合に出席する度每に異性の眞の高尙なる慰めは決して殺風景なる醜窟などに存せざる事を覺ゆるに至り又交際も廣くなるに連れ友人の手前を憚りて其身の品行を愼むやう可相成、斯は單り獨身の青年のみならず未婚の婦人に取りても同樣と存候

▲以上は只張目生の御提議に接し不取敢思付きたる儘を申述べたる迄にて社交團體組織の上各自の利益する所は此外多く可有之候が此擧により在留者の家族が社交の機會を得る事丈は團體組織の一大主眼と存候、貴重の紙面を瀆がし候段其の罪輕からず候　匆々



噫水野醉香君

吉田　甞天

ハドソンに月はむせび
詩情湧き
巴水會成る
醉香、春陽、一[illegible]、小倉濱
春樽、勿來、竹醉、白芙蓉
天外、芋葉、綠[illegible]、隅山
靜軒、酌嶺、甞天
麥酒の泡を吹き
德利を倒に
三更猶は盡きず
天狗の氣焰
嗟、君去つて五歲
紐育の俳壇寂寥
英　談じ、米　議し
獨　論じ、佛　語り
露　默して動く
混沌たる外交界
君が得意の舞臺に在つて
焦爛せる頭腦を詩に洗ふ時
「微醉や銀鞍白馬春の風」
君が會心の句を吟じ
玉盃を含み
傾けし蘭稜の美酒に
鴆毒の無かりしや否や
悲風幽靜
桃李欄に散る北京の春[illegible]

●佛國新內閣成立　佛國新內閣は去九日愈成立しフエリックス、リボツト氏首相兼司法卿に就任せり

●米國外來移民數

華府移民局の報告に依れば昨年六月以降本年四月迄十ヶ月間に外國より入國したる移民の總數は百三万八千九百五十六人にして一週間平均二千九百人の割合なるが若し五六兩月間（六月は規定年度の終なり）に於て前年同樣の移民渡來せば總數百三十五万一千人に達すべく從來のレコード中最大多數なりと稱せられし千九百七年の外來移民數百廿五万八千三百四十九人を凌駕する見込なりと、尙以上本年四月迄の移民統計を人種別にすれば左の如くにして入國を拒[illegible]されたる者は二万八千二百九十一人なり

南部伊太利人二二〇一二三　北部伊太利三八三九七　猶太人一一九六二四　[illegible]ートランド人一〇五五七四　獨逸人六六[illegible]七三　英國人四二七〇五　露國人四[illegible]八三　墺太利及スラブ人三三二九六　墺領露人三二[illegible]七六　スカンヂナビヤ人二九五四六　日本人七四[illegible]　支那人二〇一二

●加奈陀移民と支那政府　支那人の加奈陀に入國する者は一人に付五百弗の人頭稅を納付する規定なるか支那政府は加奈陀政府に對し日本政府と同樣の條件を以て協約を取結ぶべく目下交涉中なりと

●駒形丸の印度移民　目下晚香波沖に碇泊中の駒形丸に搭載せる印度移民の入國問題は別項所載の如き反響を呼びつゝある次第なるが右移民中の中嘗て加奈陀に在住したる印度人廿二人は去十日上陸を許され[illegible]の新來移民に關しては今尙ゴテ／＼中なりと

●英領印度に內亂勃發せんとす　印度革命青年間にて名を知らるゝマニラ在住印度人クマーは一日香港を發して急遽マニラに歸還したるか英領晚香波に於ける駒形丸渡航の同國人抑留に關し直ちに英國首相アスキス氏及び加奈陀政府要路と印度總督府に對し抗議電報を發し若し加奈陀に於て今回渡航の同國人を入國せしめざる際は印度人は斷然英國の統治下を脫せんかため革命戰亂を起すの外なしと警告し香港守備印度兵聯隊及びシンガポール守備印渡兵大隊には何時にても革命反亂の準備ある事を確言せり

●紐育市の死亡及出生統計　當市衞生局の報告によれば市內に於て前週中死亡したる者は一千五百四十七出生兒童の數は二千六百九にして之れを昨年の今日に比すれば稍や增加の傾あり即ち昨年の死亡者は一千に對し十二人八五なりしも今年は十四人四六の割合なりと

●無線電話の試驗　無線電話の實地試驗は當市ヘラルド無線電信局員、發明者マッカー氏及政府派遣委員立會の上去十日執行したり最初マッカー氏は同日當港を出帆したるオールド、ドミニオン線のタイラー號に乘込み約三十哩沖の海上よりヘラルド無線電信局に向つて種々なる談話を試み最後に船中なる音樂手の奏樂を電話したるに何れも明確に聞取る事を得たりと尙發明者の言ふ所に依れば無線電話の成功は海上に於ける船舶の危難を救助するに特種の効力あるべしと

●運河通過料特免法廢棄案上院通過　巴奈馬運河條約中「米國沿岸航海に從事する自國船に對し通過料を特免す」とある條項を撤廢すとの議案は去三月廿一日下院を通過し爾來久しく上院に於て討議中なりしが數多の修正案否決されたる後シモン、ノリス兩氏の妥協案即ち「此條項の撤廢は米國の條約權の棄却なりと解釋さるべきものに非ず」との修正決議案を採用し贊成五十反對卅五を以て十一日夕上院を通過し再び下院に交附されたり、目下の形勢より觀察すれば下院の通過は寸毫も疑ふべき餘地なく遠からず大統領ウイルソン氏の署名を經たる上公布さるゝに至る可し

●米國の暑熱　メンフィス百八度マスコギー百一度セントルイス九十七度ナ[illegible]ンブイル百六度

東京電報

御大禮は明年

即位式御大禮は明年十一月御擧行の御內定なるやに洩れ傳へらる

●大浦氏記者團招待　大浦大隈總裁は四日夜農商務大臣官邸に都下新聞記者團を招待し桑港大博の出品に關し國家並に[illegible]し熱誠の傍ら聲援を依賴せし由

●國防會議の期日確定す　大隈內閣の一大事業と目せられたる國防會議は來る廿日第二臨時議會の開會に先立ちて開會せらるべく海軍案討議前に於て先づ陸海軍防備を商量し其完全を期するの方針なりと傳ふ

●山座公使の死因判明す　中華民國北京駐劄山座公使の死因に就ては氏は豫てより腸胃病心臟[illegible]關節リウマチの疾患ありたる處五月廿七日午後二時半官邸に於て突然[illegible]發熱[illegible]不整に陷り廿八日午前零時四十分心臟痲痺により遂に逝去せるなりと

●澁澤榮一男支那より歸京す　日支興業會社のため支那に於ける投資事業視察のため渡支漫遊中なりし澁澤男は六日歸京したり

●在米同胞狀態報告活動寫眞歡迎さる　成澤金兵衛氏が持ち歸れる大和新聞寫眞會社撮影の在米日本人生活狀態報告のフィルムは重なる都會に於て映寫されローサンゼルス同胞の採影せる同胞に關するフィルムは大正博覽會內にて映寫されつゝあるが共に歡迎を受け居れり

●日本大暴風　日本西南部(熊野灘土佐沖より九州にかけて)ならびに一體に亘りて猛烈なる暴風襲來し漁船帆船の難破數百に達し沿岸を通じて數百名の溺死ありしと信ぜらる米國太平洋汽船會社のモンゴリア號は直ちに救助に從事し多數の水夫を救へり長崎市に於ては家屋の倒壞せる者百戶を算す

日本最近信

●首相の政綱發表

諸君　先帝の陵土未だ乾かず即位の大禮未だ行はせられざるに再び奄然大故に會す此の間に際し不肖重任揣らずも大命を拜し茲に諸君と相見ゆるに至りたるはまことに恐懼に堪へざる所なり

一、帝國と列國との交際は益々親密にして日英同盟、日佛、日露の兩協約は其基礎愈鞏固なり政府は東洋永遠の平和を確保し列國との親交を敦うすると同時に帝國の地歩を固くするに努むべし

一、近時政治上種々の弊害を生じ官紀並に地方の行政教育實業等國家並に社會の諸般の施爲に浸潤せんとするの虞あり政府は異常の意向に依り諸般の弊害を洗除し憲政の本義を發揮せん事を期す

一、官吏服務の事其制備はらざるにあらずと雖も近時漸やく弛緩に就かんとするの虞あり官吏は宜敷職務の規律を恪守し廉恥を重んじ勤勉懇切を旨とすべく殊に紀律の任にある者宜しく官紀を振肅し賞罰を嚴明にし以て庶僚をして戒愼する所を知らしむべし

一、憲政の運用倘未だ全からず政務及び恒久官職の區分等未だ明確ならず爲に國家の常務をして動もすれば公正を失はしむ政府は國務の精確継續を保證し且つ憲政の運用を圓滑ならしむるため適當なる官制の更改を施し且つ適材任用の道を講ぜん事を期す

一、國防は國家興廢の係る所固より是が弛緩を許さず而して其施設は外交財政と調和を保たざる可らず政府は深く內外の情勢を察し調査精究の道を設け以て必要なる計畫を立てんとす

一、言論集會結社の自由は憲政の保障する重要なる權利なり政府は社會の現狀に適應すべき方法を以て是等の自由を尊重する所以の道を講ぜん事を期す

一、產業の興隆は直接國家實力の消長と相關聯す政府は產業の興振に關し適當なる計畫を立て且つ全國農商工業者に對し懇篤なる勸獎を與へ以て其發達を企圖せんとす

一、選擧に伴ふ諸般の弊害は近來愈繁きを加ふるが如し政府は選擧に關する法規を勵行すると同時に必要なる改正を圖り以て憲政の運用を完くせん事を期す

一、教育の改善刷新は朝野多年の宿題たり政府は鋭意之が調查を進捗し適當なる解決をなし特に忠良なる立憲國民に必要の思想及び德性を涵養せん事を期す

一、戰後民力の休養未だ十分ならず財政經濟の調節未だ完からず公債の信用を確實にし國庫の收支を改善し財政經濟の基礎を鞏固にするは目下の急務たり政府は此目的を以て行政及財政の整理を遂行し且つ國民負擔の輕減を計り大正四年度以降の財政計畫と相俟つて是が實行を期すべし

政府は又公債又は借入金に資源を求むる歲出を成るべく減少すると共に內外市場に向つて公債の募集を爲さざるべく且つ大正四年度財政計畫と相俟つて公債整理の方法を改むべし

一、政府は地方債の濫發を防ぎ其他地方財政の整理をなすべし

以上は政府が實行を期せんとするものゝ要綱なり其の外時に臨み訓示する所あるべし諸君克く政府の意の在る所を體し忠實勤勉國步の進捗を圖り行政刷新の効を收めん事を望む

●國防會議の實質　愈國防會議の設置と決せし事は現內閣の政綱に依るも右は組織大體に於て伊太利の國防會議(國防最高聯合委員會)に似たる点あるも其實質に於ては兩者頗る其趣を異にし伊太利は千八百九十八年創設以來常設しあるも吾國のは一時的のものにして其名稱の如きも國防會議といはず國防調查研究の機關と陸海軍備の均衡及財政の調節を圖り確定計畫實行方法を解決するに在りて一部論者の期待するが如き國防の大本を確立するための國防會議に非ず陸海軍部內には強いて之に反對を唱ふる者なき代り餘り之を重視する者なきが內閣側は其組織等に就き未だ具体的の成案を有し居らざるに似たれば是が設置を見る迄には多少の時日を要すべし

●衆議院各派別　臨時議會召集日に於ける衆議院各派別左の如し

政友會	二百〇六名
同志會	九十二名
國民黨	三十九名
中正會	三十七名
無所屬	七名
合計	三百八十一名

●英殖民地の排外思想　濠洲ウェリントン來電　英國殖民地陸軍檢閱官ハミルトン將軍は國民の歡迎會に臨み演說して曰く濠洲及ニュージーランドの戰爭警戒は電氣飛行機及大聯裂物の實現のため距離短縮したるに起因す太平洋は世界の運命を指導する者か亞細亞人なるか將た歐州人なるかの問題を決すべき兩大陸の出會所たりと將軍は馬來諸州の良好なる人民が賃銀低廉の苦力勞動者のために倒され又支那か將に分裂の徵候を示せるを指摘し是等は根本的變動の前兆なりとし外國人は英國領土に侵入し米を食ふて生活し諸種の商買を獨占せり是れ眞實の危險なりと言明せり

●地方官第二次更迭　大隈首相は黨弊打破の先決問題として既に第一次地方長官の更迭を斷行したるか其後更に詳細なる調査をなしたる結果近日中に先づ平岡樺太長官、川島鳥取縣知事を休職となし續いて大喪儀後臨時議會前に於て堤巖手、長井高知小田切山縣の三縣知事を休職とし島田岐阜縣知事其他二三氏を更迭すべしと

●大演習と飛行機　本年の陸軍大演習地を大坂を中心とする攝河泉に於て行はせらるゝことに決定したる一の理由は昨年の大演習に初めて使用せし飛行機に關する研究未だ十分ならざるものあり本年の大演習を機として一層周密なる研究を爲す筈なるも播州地方は飛行機の操縱上便利ならざるものあるに反し攝河泉とすれば伏見練兵場、大坂城東練兵場、高槻練兵場等ありて最も便利なれば傍々演習地を播州より攝河泉に變更されたるものにして演習中右三練兵場を以て飛行機の發着地点に充てらるべしと

●代議士重役兼任禁止　代議士にして政府保護の下に在る特種銀行會社の重役を兼ぬるは會社を政黨のために利用する惡弊の原因なれば何れか一方を禁ぜざるべからずとは現內閣既定の方針なるか之か實行手段として法律勅令等の改正を爲す以前一應當人等に警告を與へ其自決を促がすべしとの事にて近く山本內閣時代に任命されたる滿鐵副總裁伊藤大八氏東洋拓殖會社副總裁野田卯太郎氏等に對し代議士重役何れか一方を辭職すべき旨內々交涉勸告すべしと

●日本布哇間の無線電信交換　は早晩開始せらるゝ筈にて遞信省にては既に本年度豫算に計上したるも豫算不成立のため實行するに至らざりしか海軍省と交涉の上臨機の所置を採るべく目下準備中なりと

●園侯復歸運動失敗　政友會にては黨の現狀に鑑み西園寺侯の復歸を希望する者多數なるより元田、奥田、[illegible]の三氏を特使として侯の靜養地須磨に西下せしめ侯に向つて切に其復歸を懇請せしめたるも侯は再び政界に入るの意なきを告げ之を拒絕したりと

●三浦環夫人の洋行　三浦環夫人は良人醫學士と共に廿日午後七時數多の人々に見送られ新橋を發し渡歐の途に就けり途中良人の郷里に立寄りたる後廿三日神戶出帆の熱田丸に乘込む筈にて彼地にては當分伯林に滯在し後佛國伊太利に出向くべく滯在約二年の豫定なり

●大隈內相の訓示　大隈兼任內相か十六日の地方長官會議に於てなしたる指示要旨の外具体的に公德に關し或は地方黨弊の實情に關して述べたる處は第一

▲道德問題　に關しては日露戰役以來世界列強は深く日本國民の道德心に對し尊敬せしか最近に至りては却つて歐米人をして日本國民の道念を疑はしむるに至り近きは海軍部內の醜聞の如き勇武を以て聞へたる軍隊の間に斯樣の事件を發生したるは著しく諸外國人の感情を刺擊したり殊に該事件たる國內の警察若くは司法の力に依れるに非ずして海外に於て暴露されたるの一事は遺憾此上もなき所なりとて更に支那紙幣僞造より[illegible]糖事件に遡りて官公吏の道念廢頹の事實を指摘して地方官公吏の品性向上を說き更に轉じて地方政治に於ける

▲黨派的情弊　の深憂なる所以を說き一團体一黨派の私利を圖るは社會公共の利益を犧牲にするものにして其由來する所既に久しく自治の精神動もすれば黨派のために破壞せられんとす諸君宜しくこの情弊を打破すべし又彼の縣會參事會員若くは縣會の多數を以て不正を強要するか如きに對しては斷じて其權能を誤らざらん事を努められよとて現下の通弊に對して警告し尙進んで地方經費の緊縮論に入りて說く所最も詳細を極め夫れより社會政策の根本義に對しては歐米の實例を列擧して救濟策を詳述し內務大臣か地方長官會議に於ける演說としては實に前代未聞の活氣あり內容あるの大訓示演說を試みたり

●名古屋綿糸商丸万吉田合名會社破綻　債務總額廿六万六千圓なり

●商船増發さる 加奈陀丸船長山本氏の言ふ所によれば大阪商船會社にては來る七月より一萬噸の船二隻を日米間航路に編入し從來の快速力船たるエムプレス船と競爭せしむべしと該船は目下神戸及び長崎にて建造中なるが始めには目今六隻の内二隻を他航路に廻はして該一萬噸船を當航路に持來る筈なりしが山本氏の談によれば六隻は其儘にて更に其上に新造船を運轉せしむる由

●日米通商銀行と在留同胞 是迄日米合衆國太平洋沿岸並に西米の一般邦商貿易のため特に又在米同胞の金融機關たらしめん目的を以て中野武營、澁澤榮一郎、伊藤幹一、白石元次郎、今西兼二、西村新吉等の諸氏を始め故國經濟界に於て名聲ある人々か設立したる日米通商銀行は資本金三百萬圓にして内五十万圓の拂込の由なるか該銀行は五十萬株一万五千を在留同胞間に募集せん方針にて牛島日本人會長の許に其内意を告げ來れる由なるか牛島氏は加州の銀行法且つ又在米同胞間の經濟力に就て熟考し尚亦右銀行の性質に就て充分に取調べたる上若し眞に在米同胞の金融機關ともなり得べきものならば極力奔走して株募集に應ずる様周旋する考なりと

●太刀山の巴里乘込み 横綱太刀山の布哇巡業は既に決定して夏場所打上げ後直ちに出發する準備中なるが更に又佛國巴里よりも交渉を受け布哇巡業後渡佛するやも知れずといふ其交渉に當り居れるは日本在住の某獨逸人にして相談纏まらば太刀山は布哇より一旦歸朝の上、伊勢濱外數名の關取の力士のみを引率して巴里に乘込み拳闘倶樂部にも出でゝ大に日本力士の偉大なる力量を示すべしと云ふ

●フォーダム大學の卒業式 去九日法、醫科の學位授與式ありたり、同校出身にして現紐育州知事たるマーテン・グリン氏の卒業生に對する訓示演説は頗る一同の注意を惹けり、因に今回同校醫科を優等にて卒業せる小栗讓吉氏は満堂拍手の中にドクター・オブ・メデシンの學位を得たり

●日本人會參事員會 は去九日夜河鹿旅館にて開催され死亡者遺言書、婦人部新設、貯金制度取調其他重要事項數件に關し熟議する所ありき尚商會は夏期中例會を休止する事に決せり

●投機熱に注意せよ 市内著名の株式仲買商の邸宅に働き居る二三の同胞か主人のヘルプにより株式にて二千か三千の金を儲けたる者あるより近來市内日人勞働者間に一種の投機熱發生しスクールボーイにて五年も八年もかゝつて折角貯蓄し得たる虎の子を一朝にして蕩盡する者尠からず、現に某ミッションに出這入りし居たる小林某はウォール街にてマグレ當りに少々許りの金を儲けたるより俄かに一廉の株屋氣取りになり濟まし小やかなるオフィスをブロードウエー街に開いて株の仲買を始めたるか(記憶せよ日本人は公然株の取次を爲す資格なし)慣れぬ事とてだうせ甘く行かう筈なく二度も三度も首の廻らぬ破目に陷りし結果メキシコへ行くとて何處かへドロンを極め、四本俊行君其他同人へ株の取次を頼んで百万長者の夜を樂しみつゝありし連中は目下頭痛鉢卷の体裁らく慾の皮を引つ被りてウナラン許りなりとは本當か知らねど小林の友人等は親切にも若干の金を出し合つて同人か迷惑を懸け置きたる慾張屋共へ夫々申譯をなし若し再び當人か歸紐したならば又其上に資本を出してやると意氣捲き居る由、左りとは御親切様、世の中は全く廣いものなり

●鹿島縣人へ謝狀 櫻島噴火の當時市在住の同縣人四本俊行、淀江野秀、井口眞一郎、伊牟田寿之助氏等主唱となり同縣人諸氏より募集の上羅災民救助費として金二百九十四弗を送附したるか過日鹿兒島縣知事より領收書に左の感狀を添へ寄金者諸氏へ可然傳言方を依頼し越せりと

拜啓羅災者今回櫻島大噴火につき深厚なる御同情被下羅災民救助のため別紙領收證の通り御寄附被下感謝の至りに御座候、夫々救助に充當可致右不取敢御禮申述度如斯に御座候

大正三年四月 鹿兒島縣知事 谷口留五郎

●志賀重昂氏と乃木大將筆蹟の配付 志賀氏は本年十月華府に開催の筈なる萬國亞米利加會議に出席し日米關係の歴史、米人の日本に對せし貢獻、日本人の米國に對せし貢獻等を論ずる筈なるか氏の旅程は七月十四日ホノルヽ着の上三回の講演を爲し夫より米國に入りて伊達政宗、徳川家康、其の商人等に關する遺跡を探り九月初旬米國サンアントニオ市に來りて日本古風の碑石を建立し十月十日華府着の豫定なるか以上碑石の建立、歐米諸大家との交際に要する要用を辨ずるため乃木大將か戰中より未定稿の儘志賀氏に送りたる爾靈山の詩の原作(寫眞版)に氏か唱和したる古詩(志賀氏肉筆)を定價一弗にて配付し右取纏め十枚を申込む者に對し氏と親交ある村田水産翁の肉筆絹地一枚を無料にて進呈する外旅順役兩英雄の紀念エハガキ一組を定價十仙にて配付する旨本社へ來狀あり申込所は華府大使館、桑港キャリホルニア街六一二小川亭及布哇ホノルヽ郵便函四七四氣付志賀重昂氏宛

●ナイヤガラフォールス仲裁會議は墨國臨時政府の組織及大統領の人選に關し昨夕刻以來商議中にて墨國代表者は仲裁會議の指名せる後任者は墨國憲法の規定に基き形式上ウエルタ氏之を任命すべしと主張し米國側は右主張に同意する時は米國か當然ウエルタ政府を承認したると同様なりとの理由を以て反對したるか本日午前米國代表者最高法院判事ラマー氏の公言せる所に依れば政權授受の第一手續に關しては双方の意見全く一致したりとあり尚信ず可き電報によれば政權授受は便宜上墨國憲法の手續を省ぶき後任者は墨國最高法院長の前に宣誓を爲すによりて大統領の職に就く事に兩者の合意成立したるものゝ如し、臨時政府の委員は都合五名を指名し何れも要路の首班たる只く其中外務卿に指名されたる者か大統領たる可き事は過日各代表者の合意せし所と異なる所なし

カランザ將軍は昨夜サルチロに於て仲裁會議に參加せしむるため憲政軍の代表者を派遣す可き事を聲明し且つ決して休戰せざる可しと公言せり右に對し仲裁會議は飽まで當初の主張を固持し若し同將軍か休戰を肯せざるに於ては全然仲裁會議に參加せしめずとの態度を明かにしたるも米國側の代表者は非公式に憲政軍の代表者を參加せしめんことを提議したり尤も此提議拒絶せらるゝ場合は米國代表者は代つて憲政軍の意見を仲裁會議に提供すべく、今後會議か如何なる方法に依りて進行せらるゝに論なく憲政軍の代表者派遣は仲裁會議の進捗に前途良好なる結果を齎らす可しとは一般の觀測一致する所なり

●仁保法學博士 來十八日セドリック號にて渡歐の筈

●神戸關西學院長吉岡美國氏 は數日前來市、目下ホテルチェルシアに宿泊

●古河合名會社員奥村龜太郎氏 歐州より來着日本倶樂部に在り十日程滯在の豫定

●關屋朝鮮總督府學務局長 華府に赴けり

●飯高總領事 は昨十二日ニュージャーシー、チザウッド、リーランド、アヴェニュー八八一に移轉せり

●城谷默氏 ウォールド紙記者なる同氏は本社より桑港大博特派通信員として派遣せらるゝ事に決し近々出發の筈なるか大博終了期迄滯桑すべしと

●若林流川氏 南加日本人會書記長たりし氏は過日來滯在中なりしか十二日出發歐州經由歸途に就けり

●奈須忠良氏 三井物産支店機械部員として新たに來任せり

新育日本間 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
地洋丸	桑港	六月十八日

●日本より到着日 六月廿一日

泥棒の天下（五）



▲最近の漢口電報によると峽南一帶を蹂躙したのは白狼にあらずして洪江會匪で白狼はヤット此頃荊紫關を越へたばかりださある、著名な匪徒の秘密結社には洪江會の外に紅幇會といふものもあれば哥老會と云ふのもある又青紅幇會と云ふのもあるが是等の會匪が一團となつた處で南秦中央を一氣に蹂躙し盡す程の機敏の行動か出來得べしとも思はれぬ從つて今の處峽西に荒れ廻つて居るのは白狼軍であると斷定するより外に仕方がない、洪江會匪と云ふは蓋し間違であらう、同會の一頭目錢祥興といふ男か江西省で亂を起し梧桐樹地方で相當に勢力を伸ばした例もあるか其妻か非常な淫亂女で部下の某々と姦通し錢の在家を官憲に密告した爲め間もなく捕縛されてしまつた今日の處アレ程の大活動を試みる泥棒團は白狼の外にはない筈だ▲白狼は峽西に入つてから政治革命と大書せる旗を飜し自ら中原扶漢軍大總督と號し盛んに布告を發して商民の慰撫に努めて居る、峽西に居住せる某外國人からの近報によると白狼は其軍を三隊に分け其一を以て盧關の官兵に對抗せしめ一つは孝義から西安を壓迫せしめ而して他の一隊を以て漢中の奪取に向はしめたとある、白狼軍の行動に關する各種の報導を綜合して見ると此觀測は適中して居るらしく思はれる▲支那の官憲は出來得る限り白狼の勢力を小さく報告して居る從つて官邊の消息は白狼軍の敗北を傳へぬものはない現に官兵の敗北を眞正直に發表したゝめ免職された官吏もある而して是程の大賊か横行して居るに拘らず官賊の間に決戰といふ程のものは未だ一回もないと云つても差支へない、之は不思議の樣であるか事實を聞いて見ると不思議でも何でもない是れ一つは白狼軍の行動神速なるか爲め官兵か奔命に疲れるといふ理由もあるか主として官兵か戰を避けるためである▲官兵は白狼軍を恐るゝ事甚だしくいつも遠くから白軍の掠奪を望見し白狼軍が掠奪を終つて出發した後に堂々と乘込む而して報告して曰くだ「白軍某々方面に逃竄せり」とコンナ有樣だから白狼軍の討滅などは中々容易に出來るものでない▲尤も還屋の戰では官軍は案外頑强に抵抗し大隊長の委王林は戰死し知事の騰仲黄は九死に一生を得て逃亡した御蔭で白軍は同市全部を燒却してしまつた▲白軍に對する官軍の陣立は各軍を合して約六万人ある外に陸建章が拱衞軍十營を率ゐて討伐に向ふ筈で白軍を包圍し一擧に揉み潰さうといふのだが注文通り行くかどうか▲白狼は一縣を取り一城を略すと直ちに郵便局を占領して封筒の上に白狼の二字を捺印せしめる從つて支那官吏が白狼騷動を掩蔽しやうとしても其手紙が各地に送附されると共に其土地が白狼の手に歸した事は直ぐ確かめられるのである

●記憶の好い森久保代議士

東京府選出代議士森久保作藏君の記憶と來ては一種奇跡とも云ふべき藝當である記憶術の秘傳でもあるかと思へばさうでもない近年世の中に吹聽される記憶術などゝはトント沒交渉で先生のは全く天性と努力とに基いて居るも自然の經驗上自家自得の聯想法は應用されて居るらしいが同君はなまじつかの物識は却つて事業の邪魔になるといふので三十年來▲今記憶せるは多くは少年時代に讀書といふものは絶てしたとがない覺へたものに係つて居るチョット其項目を擧げて見ると四書、日本外史日本政記、平家物語、太平記、文章軌範、太閤記、八犬傳、夢想兵衞物語、伊賀越仇討、佛蘭西革命史等より短文のものでは序文の類及び正氣の歌、長恨歌、琵琶歌其他加波山事件の豫審調書及他人の演說に至る迄全部若くは大部分暗記したまゝ立板に水を流すが如く朗讀する此れば冒頭から順を正して結尾迄やるのは何でもないが中から讀んだり結尾から讀んだり順序不同にいろ〳〵と讀みさせて接ぎ合せて見ると書物にある方を變へて、サテ試みにこれを筆記させて接ぎ合せて見ると書物にある通り完全なものが出來上るといふのだから驚く、同君がこんな記憶力を持つて居た事は三十年來の知己友人等も近年迄知らなかつたさうである▲新井白石傳　に關する議論が出て或集會の席で端なくが或集會の席で端なく納まりがつかぬので此れを見た森久保君はそれは本を見りや直ぐ分るちやないかと云ふと、本を見れば分るに極つて居るが玆には本がないから今の間には合はぬとて相手にせぬ、先生笑ひ乍ら本は己が持つて居る但し頭の中に置いてあるのだが必要とあれば讀んで聽かさうと咳一咳して新井白石傳を息もつかずに讀み立てたので一座の面々呆れ驚いたといふ話もある、イヤ驚いた許りでなく此連中の某々は其後畏敬の念を以て同君に對し特に宴席を設けて森久保君招待といふ事になつたか其席上では日本外史の或部分と夜想兵衞物語の少年國より色慾國まで打つ通しに讀んだものだ、又加波山事件の豫審調書などは本件に關係した小久保喜七君すら細かい事は記憶して居ないのに森久保君はこれを全部記憶朗讀して小久保君を驚かした事もあるさうだ、前言つた通りこれ等は昨今の記憶でなく三十年來人も知る如く讀書を廢して居る其以前の記憶だから先づ奇跡といつても好いくらいなものだ、猫や犬の聲色を使つて大學で解剖した落語家もあるから森久保君も百年の後もまた解剖ものかも知れぬ

投書籠

德義とか道德とか實に恐れ入りました、山は燒けても山鳥たゝぬと云ふではないか、子供の三四人もある妻子を打ち捨て他の若い美しいのと乘り換ふるはあれは近世道德には屹度抵觸せぬので何かなしに夏が來たので冬服と取り換ふるといふ主意らちモーダンナチユラリズムとでも云ふ意にや、イヤハヤ倫理も道理も解釋の致し方では盜賊も三分の理とか、「スコンコ」がイタチのカッチンべの點を笑ふかな、兎角食ひ逃げ着逃げ持ち逃げは國の東西異りはあるまい豈夫れ日本人のみならんやゝや併し子供のひり逃げに至りては吾輩の知る所にあらず（著々逸生）▲毎日夕刻になると五街あたりを二三人の美人を同乘させて威勢よく自働車を馳せる日本人の色男があるから内々身元を探つて見ると三年間シムミリ田舍で稼ぎ蓄めて久し振りに紅塵裡に出て大に要領を得とるのだとサ（誰駄郎）▲前共濟會幹事であつた片山君の消息を探しとる連中が大分あるさうだが同君は梅田商前紅巣屋といふ貸自働車屋を經營し中々盛んにやつとる（新歸米者）▲ドーモ斯う熱くちややり切れぬ誰かビヤの半ケースを持て來ひ（▲●生）

No. 152 Vol. 4

The Japanese Times

SATURDAY June 20th, 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價(前金郵税共)
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

仁道外交の正體

ナイヤガラフォールスに於ける仲裁會議は今や墨國大統領の後繼者選任問題に就て米墨兩者の意見を合致せしむる能はず更にザカテカスに於ける憲政軍の大敗、カランザ代表者と米國代表者とのバフワロー會見及カランザ、ブイヤ兩將軍分裂の事あるに及んで交渉調停の進捗に著しき不便を感ずるに至りたり、吾人は仲裁會議の前途に對して輕々しく其成否をトするを好まずと雖も而かも徐ろに既往約一ヶ月間に涉れる米國政府の態度を考察すれば米國は仲裁會議の開催によりて其對墨政策の眞目的を自白するの止むなきに至りたる事を看取せざる能はざるなり

蓋し米國の對墨政策の主眼とする所は飽迄モンロー主義の見地に立ち日本及歐州列強の勢力の墨國内に播据する事を妨げ同時に自國の勢力を擴張扶殖し以て早晩巴奈馬以北の地を星條旗下の勢力範圍たらしめんとするに在り故に米國に大統領たる者は須らく此方針に則り場合によりては公然兵力を以て墨國全土を征服するの大覺悟なかる可からざるや勿論なり、ウイルソン氏の學究的推理に基ける對墨方針がウエルタ政府の不承認によりて先づ其失敗の端を發し爾來事件の範圍擴大し來る毎に其惡果を激增して世界の嘲笑を招きつゝある所以のもの一に如上の大方針に背馳したるが爲に外ならず、玩具に類しき舊式軍艦三隻を威嚇するに六十隻の大艦隊を派遣する程の贅澤なる國民に取りては一學究の錯誤固より一顧の茶番事に過ぎざる可けんも多年戰亂の慘禍に泣ける墨國民に取りては實に迷惑千萬ならずや、ウイルソン氏は就任以來內外の施設等しく正義公道に準據すべき事を聲明し今猶米國は墨國に對して些の野心を抱藏せずと言ふと雖も斯の如きは一面に於て都合よく自國の利權を擴張し他面に於て自家の學究的理想を實現せしめんとする謬想愚論にして偶ま米國が其野心を巧みに陰蔽せんとする羊頭狗肉的奸策のみと評せらるゝも一言辯解の餘地なきなり、試みに現在當面の事實に徵するにウイルソン氏は其初めに於て墨國の實情に通せざりし結果ウエルタ將軍を以て公平に選擧されたる大統領ならざるが故に承認せずと稱しながら今やべ港の占領に反對せざりし非愛國者の典型山賊の張本たるブイヤに秋波を送りブイヤにして成功せんか彼を認めて墨國大統領たらしめんとの態度を示し、憲政軍の事實的代表者となり且つ仲裁會議を通じてウエルタ政府顚覆の目的を達せんとす、即ち米國政府の眼中には墨國の平和なく唯自家の利益あるのみ、公平なる選擧を行ふといふが如きは畢竟するに織者の一顧だに値ひせざる所、吾人が仲裁會議は米國政府をして對墨政策の眞目的を暴露せしめたりと云ふもの即ち之なり、要するにウイルソン氏は其理想的外交政策に失敗して實際的政治家の妙諦を學習し得たりといふ可く、化物然たる米國の正義仁道外交は茲に其正体を曝露したりと云ふを得べけん

舞踏會の組織に就て

▲寄書▼

チー、エス生

▲顧れば九年前正金銀行の今西氏を始めとし紐育在留者間に舞踏會組織の計畫ありしが不幸にして日露開戰の事あり其儘立消ゑとなれり、當年余は舊式ダンスに熟練し居たりしも之を爲すの機會なく、數年後に至り好機會多かりしを以て友人間に勸誘を怠らざりき

▲然るに今や舞踏界の傾向は一變し新式ダンスの世となり、三年前メーキーツロツトとして世に顯はれ兎角の世評を受けたるも昨秋以來は全然改良し形式頗る優美となりてターキーツロツトの如きは世人の口にさへ上らず隨つて舞踏攻擊の聲は全く其跡を絶つに至れり、斯る間に余は密かに斯界の氣運を觀望し居りしか今や舊式のツーステップ、ウォルヅの如きは何處にても至厭さ〻りダンスと云へば恐く新式に變じ將來必ず永續すべき理由ある事を發見し直ちに練習に取掛り僅かの日數を經て悉く上達せり

▲新式ダンスが將來永續すべき理由とは舊式ダンスは單調なるのみならず何れも滿堂の會衆は悉く同じ步調にて踊るを要するに反し新式は變化に富み且つ十組あれば其十組は各異りたる步調にて踊り得べく且つワンステップ、ベジテーション、マキシツセ、タンゴー等何れにも應用し得られ、舊式のものよりも練習に容易に疲勞を感ずる事尠なく、優美高尚觀者の眼を喜ばしむ、今かダンス練習を勸誘する理由はダンスは健康に宜しく又社交上に必要なるが故なり

▲米國に在住る同胞の多くは既婚未婚の別なく弄花カルタ遊び等に無聊を慰めつゝあるが如し、元より弄花は特に悪しからざるべきも燈火の下數人一室に集り終夜之に耽溺するが如きは不識不知の間健康を損ふ事ありポーカー、サイコロ亦不健康的の遊戯なる点に於て同樣なり此外遊里に出入し暴食暴飲する等も病魔の來り犯すを待つと同じ思はざるの甚だしきものといふ可し

▲吾同胞は兎角引込主義にて不健康の娛樂を好む事上記の如くなるが實際上止み難き事情ありとするも、米人に對し日本人は到底吾等と同化し難き國民なりとの口實を與ふるものにして近來米人間に吾同胞を非難するの聲高まり來りしも強ち彼等のみを咎め立する能はず同胞自ら招きし罪あるやも知る可らず又妻帶者殊に白人を妻とする同胞が社交上米人の爲す可き事を爲さずにあれば日本人の遊ぶ場所に赴き偶ま妻すら演劇、活動寫眞に行かんと乞ふも何等かの口實を設けて同行せず、家に在りて茶話會、カードパーチーを催さんとすれば私かに逃げ出し妻が親戚朋友を集めてダンシングパーチーを爲さんとすれば己れの知らざるを理由として之を許さず、斯くして自然不快不和の種を蒔き終には破鏡の嘆を來すが如き例は往々にして見受くる所なり、かゝる同胞は他郷に白婦人を妻として居ながら、郷に入ては郷に從ふを知らず、無理に自國の習慣を行はんとして家庭の不和を招く者を知らざる人々なり

▲聞く所に依れば在留同胞中白婦人を妻とし居る人二百五十餘名ありて尚毎月三組の新結婚者ありと、余は是等の諸氏に向ひ米人との社交に最も必要なる舞踏會を興さん事を望む者なり且つ是等の人々が家族友人を一堂に集むとせば千名に近き日本男女の集合出來る譯なり、舞踏會組織は余多年の持論にて從來度々友人間に勸誘し居りしところ近來漸く吾説に傾耳する者出で來りしは大ひに余の意を得たるものなり(未完)

口吟

海尼



ラッカウェービーチ
泳ぐ男の子
稍々沖に
さゝめく女
波打つ際に
水が緣しの戀なるか

○　○　○

波があやざる
汐の花
碎けて散るか
にかしほの
咽喉をこねて
辱は紫色にわなゝきぬ

○　○　○

辛き世のためしを
しらぬうふ心
戀すてふ人の名を呼ぶ
スイートハート
ハチームウンの[illegible]き夜を夢む
青春の血汐は湧きて

○　○　○

世相は夢か幻か
泡沫の審ならぬ人生
常世の戀にあこがれて
淨樂の衾に
身を横ねんと
藻掻く人の子年若き

●露帝暗殺を免る　露帝ニコラス陛下は御一族と共に過日ルーマニア國王を訪問あり去十七日御歸路キシネフ市より露都へ向はせらるゝ途中何者とも知れず強烈なる爆裂彈を軌上に裝置したるものありと見へ前衛の列車は爆發の爲に粉塵せられ數名の負傷者を出したるも陛下の御一行には無事御歸還相成りたりと

●希土兩國の戰雲　群島所屬問題に關して兩國の關係頗る切迫し居たる折柄亞細亞土耳古の住民同地に在る希臘人男女百餘名を慘殺せる珍事出來し兩國は目下熾んに戰備を整めつゝあり

●アルバニア首都攻擊　回々教徒の叛軍は去十六日午前六時より熾んに砲陣を列ねて同國首都デュラッゾー市の攻擊を開始し國王ウイリアム殿下自ら出でゝ之に應戰せり、反徒の決心は頗る頑強にして亞國は結局回々教の統治者を仰がざる可らずと公言せり

●巴里の洪水　佛國巴里に過日來大降雨あり市內各所は水道破裂のため街路に大欠陷を生じ十數名の死者を出すに至りたりと

●日米交渉再開始

珍田大使は過日來加州土地法に關し米國政府に向つて新たに交渉を開始したるもの〻如く右に對し國務卿武雷安氏は曰く

昨年八月廿六日附日本政府の最終抗議に對する米政府の回答、或他の解決法を講ずるため遲延せるが確定次第遠からず回答の運びに至るべし

と、氏の所謂或他の方法とは條約上日本人の權利を保護するため議會の承認を求むべく意味せるものなりしと觀測さる〻も大平洋沿岸州選出議員の態度よりすれば本期議會開會中日米問題の議場に上るか如きは豫期し難く華府政府も頗る其所置に苦しみ居れりと、元來兩國爭議の焦点は日本政府は加州土地法を以て飽迄條約違反なりとし米國政府は然らずと主張し居る次第にて何かの方法を講ずるに非ざれば到底問題解決の運びに至るまじく一説に依れば珍田大使は兩國間の爭議を海牙仲裁々判の判決に委す可く提議せりと傳へらる

●仲裁會議經過

ナイヤガラフォールスの仲裁會議は過日來墨國新大統領の人選問題に就き討議しつゝありて墨國代表者はウエルタ氏の後任者は飽迄中立の地位に在る人物ならざる可らずと主張し米國側は現在憲政軍中の有力なる人物を推さんとし双方共全然正反對の態度を取つて下らず目下双方押問答の姿なり、依て墨國代表者は一般の公平なる判斷に訴ふるがため去十七日一篇の公開狀を發表し憲政軍の現狀を目して優勝者となす米國の見解の誤まれる事を指摘し且つ墨國民の實情は立憲政治に熟練せる歐米諸國民と同じく公平選擧を行ふ事能はざる旨を述べ仲裁委員の提議せるが如く官憲兩者に關係なき中立者を推擧すべしと主張せり、右に對し米國側は翌十九日同じく公開狀を發表して之に應じ憲政軍の代表者を後任者と爲すに非ざれば到底事局の安靜を期する能はざる旨を縷述せり

●憲政軍總統はブイヤ　ブイヤは去十七日カランザの任命せる官吏將校數十名を縛して獄に投じ部下に命じて稅關電信局其他の官衙を占領せしめたる後サルチ〻に在るカランザに向つて左の要求書を發し若し應せざるに於ては自身は斷然辭職してチワワに退くべしと威嚇したるが武力を有せざるカランザは不本意にも要求の全部を容れ自個は一種名目上の頭首として甘んぜざる可らざるに至り憲政軍總統の權は斯くしてブイヤの掌中に歸せり

一、ブイヤは軍隊を統率し凡ての軍務を行ふ可くカランザは行政外交に任ずる事　二、ブイヤはカランザを總統として認むべし但後者は前者を軍隊の最高總統として認むる事　三、將校の賞罰軍隊の配置はブイヤ之を司る、カランザはブイヤの軍事行動に對し決して干涉せざる事

●原敬氏總裁　政友會總裁は西園寺侯拒絶の結果長く頭目なくして結束し能はざる現狀に鑑み愈々原敬氏を總裁たらしむる事に決定したる旨十三日東京發電に見へたり

東京電報

●大博出品事務着々進行す　大博[illegible]相始め大博總裁[illegible]關係者は[illegible]桑港出品[illegible]務に盡力し[illegible]業者の意氣込み漸く盛んになりたるが八日大博總裁は各府縣[illegible]會議[illegible]を召集し出品勸誘に關する[illegible]をなし且つ投票により各方面の[illegible]者を人選せりと

●大博事務官來月上旬赴任　大博事務官長山脇春樹氏及事務官技師技手一行八名は七月上旬桑港に向け赴任の途に就くへく副總裁瓜生中將の赴任は多分本年末或は來年匆々大博開會間際の事となるべし

●桑港大博出品物の一異彩　日本出品物に全部瑠璃及眞珠にて裝飾したる神殿の一雛型加へられしが其の贅を盡せる技巧と相待ち斷然出品物中の一異彩たるを失はざるべし

●五月場所の全勝力士　東京大相撲五月場所の全勝力士は兩國にして優勝旗は東方に歸せり

●河村宮内次官依願免官となる　宮内次官河村金五郎[illegible]其官を免せられたり

●海軍収賄事件公判開廷　海軍收賄事件の公判は昨日開廷せられヘルマンは昨日取調を受けプーレーは今十一日裁判となれるが傍聽者非常に多し

●明治大學野球團來桑せん　明治大學野球團は佐渡丸にて沙港に向ひ渡米桑港を經て更に東部に赴き靜岡丸に乘りて歸朝する順序なり

日本最近信

●軍法會議完結　英國ウィッカース會社に於て建造せられたる軍艦金剛の建造に關しウ會社の日本代理店たる三井物產株式會社より夥しきコムミッションを取りたる[illegible]長官松本和中將に對する高等軍法會議は千葉縣船橋町に[illegible]に關し[illegible]メンス、シーメンス[illegible]ル[illegible]海軍[illegible]收[illegible]大佐及び[illegible]に關する軍法會議と共に[illegible]結し判士長片岡大將、松本中將に[illegible]する）及名和中將（澤崎鈴木[illegible]名に對する[illegible]より判決主文を各大臣の手許に進達し大臣より更に[illegible]見書を附し[illegible]了したる所去月廿九日を[illegible]あり故に判士長は[illegible]松本澤崎[illegible]の三名を法廷に[illegible]判士以下列席の下に宣告の申渡しを行へり即ち松本和中將を懲役三年に、澤崎寛猛大佐を懲役一年に處し兩名とも[illegible]官[illegible]功[illegible]を宣告せられたるが鈴木造兵中監は收賄の事跡明かなるも犯罪後既に十ヶ年を經過し居るを以て時効[illegible]を申渡されたり[illegible]刑の宣告を受けたる松本澤崎の兩名は直ちに係主理の手にて下士衛兵監護の下に[illegible]所に引かるゝ[illegible]の如く東京監獄に護送せられ強盜[illegible]の罪人等と伍して愈々本日より服役するに至れり右三名に關する高等軍法會議の判決正文は各被告に對し宣告の申渡しあると共に海軍省より公表せられたり

●山座公使頓死公報　昨年九月支那問題の沸騰せし際強硬なる態度を持して我對支外交の衝に立ち躊躇逡巡せる袁政府をして遂に南京事件の當[illegible]責任者たる[illegible]を罷免すへく餘儀なからしめて軟弱なる我外交當局者中異彩を放ちて世界の耳目を聳動せし駐支日本特命全權公使山座圓次郎氏の頓死に就て聞き得たるに

▲水野夫人出迎　之より先北京日本公使館參事館水野幸吉氏任地に病み[illegible]危篤に瀕せりとの報東京に達せるや當時東京なる本邸に在りし水野夫人は急に旅裝を整へて北京に向ひ夜を日に續いで廿七日午前北京に到着したるが水野參事官は夫人枕頭に來る數日前既に他界の人となりたれば山座公使は夫人に太く同情し夫人出迎のため態々停車場に赴けり

▲息を吹き返す　然るに公使は停車場の構内に於て氣色優れざる模樣なりしが俄かに心臟痲痺を起し其場に倒れ人事不省となりし騷ぎに[illegible]行の人々は驚愕倒ふるに物なく直ちに醫を迎へて應急手當を施びたるに死去せりと思はれし公使は再び息を吹き返し一時蘇生せしかば一と先づ公使館に運び歸りて介抱大に力めたるも容態刻々險惡の兆を卜し廿八日午前零時遂に逝去したり

●米航統一計畫　本春第卅一議會に於て航路補助問題の八釜しかりし當時同志會案として[illegible]以て米國航路統一[illegible]事あり當時一部に[illegible]せられ[illegible]は海軍費問題の[illegible]を餘儀なくせられ[illegible]に葬り[illegible]去られたる端なくも[illegible]問題は一種の形式を以て稍具体的に進渉し來りしも前の如く[illegible]用者の立場より[illegible]右統一に關し[illegible]分助成する氣味あるに對し當事者たる三[illegible]船會社の間にも默々の間に或程度の交渉を遂げたるものゝ如く而して[illegible]一面に於て東洋汽船會社の窮境を救濟する事を第一義とし次に三社が分離して經營せるため巨額を要する營業其他の經費を節約し之に補給する補助金も少くも五百萬圓を得[illegible]三大汽船會社の米國航路を統一せんとするに在るが假りに現在使用汽船を標準とせば郵船の六隻（船價約七百五十万圓）東洋汽船三隻（船價約八百五十萬圓）大坂商船六隻（船價約六百五十萬圓）概算二千萬圓を合して一汽船會社若くはシンジゲートを組織する計畫なるものゝ如く東洋汽船は昨今必死となり成立に奔走し過日宇治川電氣の用務を帶び來坂せる東洋汽船取締役大倉喜八郎氏は同問題に關し中橋商船會社長と懇談する所あり尚今後東京大坂間に於て秘密裡に數回の交渉を進めたる結果中橋社長は何かの便宜上去る廿一日より上京し東洋、郵船及政府筋の二三當局者との間に密かに往復せる事實あり且同社の堀副社長も急遽[illegible]に接し廿五日東上の途に就きたるは即ち此の方面の交渉の進行を意味するものなれば或は茲數日中には何等か其片鱗を示す事ともならんか但し同問題の前途には同志會と政友會系との衝突もあり或は一部策士連の暴[illegible]も介任せるを以て急に三者の合同成立すべしとも思はれざれど三社の業々二社の間に可なり立入りて交渉進み居れるは蔽ふ可らざる事實なれば米國航路の統一は竟早時期の問題と見るべく近々政治問題の接近と共に當面の一問題を提供するに至るへし[illegible]に新シンジゲート成立の上は政府に於て巴奈馬航路の開始を命令せ[illegible]意もある由

●政友會總裁問題　政友會は西園寺侯に對し總裁復任の事を懇請したるも侯は未だ確答を與へざるのみならず其健康狀態は繁雜なる黨務を見るを許さずとて[illegible]否める意を漏らせるより今一應原總務[illegible]重ねて侯に懇請せしめ尚容れられざるに於ては現在の黨則を改め西園寺侯を表面の總裁に戴き新に副總裁を設けて原氏を推す事に最高幹部の評議内定し居れば結局原氏が事實上の總裁として從來の如く黨の實權を掌握するに至る可しと

●日英間の一問題　印度沿岸に於ける日本郵船對ブリチシュインデアの勞働者輸送問題は英國議會の一問題となり居れるが右に關し外務當局は語つて曰く電報中のモンチース氏の東京訪問とあるはブ會社の代表者として日本郵船に抗議を申込みたるものにして何等の關係もなきものなりされど英國政府か疑に別に我政府に向つて同問題に關する交渉をなし來り政府にても目下熟考中なれば今其内容を語る能はざるも其の内何とか決する所ある可し

●鹿島大火　去月廿七日午前一時同易井町大坂商船會社仲仕連寄場より出火し折柄吹きつけたる東北風は忽ち火の手を煽り立て瞬く間に八方に燃ゑ廣かりたれば非番巡查消防組を繰り出し市外伊敷村より第四十五聯隊の一部出動應援して消防に努めたるも何分風勢強くして鎮火せず同町及生產町總計二百九十一戸を全燒したる後午後三時頃漸やく鎮火せり燒失建物の重なるものは錦江學會幼稚園九州日々新聞支局等にて鹿域の名刹不斷光院鹿島稅務署は一時危殆に瀕し尚火勢の最も熾なりし時は火の子八方に飛散り易井町に屬する市立商業學校、名山尋常小學校、專賣局分室、南薩鐵道會社、何れも危險云はん方なく又海岸通も鹿島郵船會社背面迄延燒せしが漸やく無事なるを得たり、市役所は罹災民三百五十名に對し焚出をなせりと

●ミルトン將軍の辯解　同將軍は既報の黃白人種衝突演說に關し說明を試み米を常食させる亞細亞人種が英國の領土に來り職業を獨占し云々と述べしは日支及印度より輸入せし苦力を指させしものにして該演說中には毛も日本に言及せざるなりと述べたり

●噴油一万石　秋田縣南秋田郡黒川なる日本石油會社第五坑ロータリー式石油坑にて廿五日午前十二時俄[illegible]大噴油をなし其量一万石に及べるが之を貯ふるタンクなきため石油は悉く田畑に流れ附近は宛然油の海を現じたり同會社技師の談によれば斯の如き現象は未だ日本に於てあり[illegible]なく十年前米國にありしのみなりと云々と驚嘆し居れり

●飛行界近況

▲卒業飛行　第二期飛行將校の卒業飛行は來月上旬より中旬に至るまで水戸、宇都宮、高崎各方面に於て擧行せらるゝ事に内定し愈々航空界多忙の時期となれるが昨年四月青山に於ける大破損以來久しく其雄姿を現はさざりしパーセル飛行船は七月頃より飛行し得べく

▲追濱海軍飛行場　にては目下飛行將校十二名飛行機十臺を有する外長浦造兵部にては歐州各國の最近機を參考として秘密の裡に優秀の飛行機か考案し現に海軍式と稱する五臺の飛行機を製作しつゝあり

▲海軍飛行學生資格　今回其資格を砲術水雷學校の普通科卒業生にして海軍大學校乙種學生たる者に對し尚現に妻子なく練習の期間中には絶對に結婚せざる事を誓約せし者に限る事とせり

●六殿下の寄宿舍生活

▲三圓の御小遣　の中には絹の手巾でハナをかんでる紳士もあるさうだが學習院の若宮樣方は木綿の手巾を幾度も洗濯して御使用になる、神田や本郷邊の下宿に陣取つてる學生の中には廿燭の電燈でさへ尚且つ暗いと贅澤をいつてるのがあるさうだが學習院の殿下方は僅か十燭のもので御不平もなく居らせられる月に五十圓の小遣を使ふ學生が尠くない世の中に學習院の宮樣方は一日十錢即ち月三圓の御小遣のみである

▲寢具は廿六圓　宮樣方は何れも一枚四圓四十二錢の毛布四五枚と一圓七十七錢五十五錢の敷布四枚と四十三錢の枕一個と廿[illegible]の包布一枚と[illegible]一錢五厘の枕覆二枚と即ち寢具の總價格が二十六圓五十錢それに寢臺といふのは砲兵工廠製の極めて粗末な物である「上の爲す所下之を倣ふ」といふのは今の世の贅澤な樣を見て所謂上流人士の所業を責むる言葉であるが眞に上の爲す所を倣ふならば決して綿布團でなければ身体が痛んで寢られないといふ樣な奢多贅澤の出來たものでない

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名
▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滞在約[illegible]二十日間
▲[illegible]
●[illegible]の方は至急問合せを要す
▲[illegible]各々一行の加入者を募集す、委細面談

紐育母國訪問團本部
紐育市[illegible]六街二參八
主催者　林　富平

●日本人の移住民を望む

ニユーメキシコ州に於て
ヂツソバークランチングハウス電氣會社は電氣力發生の必要上ニユーメキシコ州ルーズベルト郡なるホーヌパーシワレーを[illegible]買ひ過去數年間水力電氣の餘力を用ゐて附近に灌漑の便利を圖りし結果非常に豐饒なる農地を有するに至れる由なるが同會社は今回同地に日本人を移住せしめ一村落を經營せしめんとの計畫を立て當地領事館へ向け希望者の[illegible]を依頼し來りしが、同會社長の書面に依れば[illegible]一切[illegible]地味は加州と大差なく特産[illegible]、[illegible]、[illegible]一家族に四十英畝宛を與ふる[illegible]

●夫婦喧嘩の仲裁法　易學の泰斗高島呑象翁の一嫡子[illegible]士呑象氏は去月布哇を經て桑港に來り總領事代理沼野氏始め牛島吉屋等第一流紳士の紹介を以て觀相卜筮に從事しつゝあるか氏の所說に依れば烈しい夫婦喧嘩の場合其中に飛入つた人か又は夫婦の中其一人か早く氣を利かし火雷噬嗑々陰陽和合ークワフイゼイゴーゴーイノヨーワゴーと三遍宛唱へる時は丁度雷の鳴つた後のやうに何事もなく納まり又女が癪の差込むで困る時は其女の後より靜かに其體を抱きジワノーと締め乍ら己れの左の食指を以て吾舌を押へ天地人木火土金水と心中にて三遍唱へ最後に背中に日を當て火雷噬嗑滿々と三遍唱ふれば次第に其痛氣か緩んで來るとの事なり、誰か夫婦喧嘩をやつて呉れる者はないか、癪を起して呉れる若い娘はないか

●高木德ちやんではないか　最近の倫敦通信によるとミス「喜びの花」本名高子十八といふ米國仕込の大和撫子が倫敦の料亭ノロカデロに顯はれ頭髮には櫻花に戯る双蝶のかんざしを插み可愛い口下に微笑を湛へて亂舞する彼女のダンス振りには流石の倫敦ッ子も惱殺され、餘興として倫敦最近流行の俗謠を歌ふ其聲は調子よき音樂的美聲なりとの大評判歐州に於ける最初の日本藝者とあつて各劇場主の引張り凧になつて居る所から當人も今や得意絕頂であるさうな、本名高子は高木から出たのではないか、而かも三月末米國から來て一寸毛唐好のする聲だといふ所から見るとどうやらお德やんのアフヰニチー料理大和のお德ちやんといつて紐育のドラー組をうならした本舘娘ではないかよ

●白人の餘子に日本人　岡山縣御津郡出身武田一百藏（廿七）といふはミチノタ州某地の羅馬天主教僧侶たる一米人の養子となり其名もビクター・ゴンバーと改め同州神學校通學中なるが今回夏期休暇を利用し久し振に故國に歸省するに際し領事館の證明書も取らず過日沙港出帆の靜岡丸にて歸國したるか養子たるか為め市民權を得らるゝにもあらずされど一方より云へば養子として米國に入籍せる以上日本國民にもあらず兎に角再渡航入國の際は何等かの問題起るべきに依り養父ゴンバー氏は實際沙港に出迎へを為すべしと語り居る由面白き入國問題と云ふべし

●沙港領事館と觀光團

本年出發するは九組

昨年沙港領事館所轄内より十幾組の多數觀光團組織され各主催者は有ゆる競爭を以て團員を募集したるが某團の如き如何に見積るも受負ひ能はざる低廉なる經費の下に加入せしめたる結果其契約條項を實行し能はずして中途大悶着を惹起したるなど一般の風評甚だ宜しからざるものありしを以て同市の高橋領事は本年初め之れか取締法を發表し豫め其濫發を警戒する所ありしか過般各主催者に向つて其組織に關する明細なる書類を提出せしめ種々取調べたる上出願者合計十四人の中より合併又は制限を加へて都合九組を許可する事に決定せりといふ因に右の中モーターサイクル團は六月卅日安藝丸にて出發する由

●森村滋澤兩氏の矯風運動に就て　森村滋澤兩氏の矯風運動に就ては既に報導せるが森村氏は二十万圓滋澤氏は十萬圓を出金して愈々運動に着手せる由にて其主意は、歐米の思潮に對抗し日本古來の國民的精神を復活せしめ自覺自省自尊自重を同時に他人に對する尊敬と謙讓の美德を養成し商業教育政治各方面に亘りて德義の振興を計り國民個人の品性を淘汰するを目的とし、協會の名稱を實踐協會（セルフ、レライアンス、リーグ）と稱し「國民の精神救濟」を信條となし一大運動を開始する筈なりと

●ウィルソン氏大艦隊を率ゐん　明年三月開催すべき巴奈馬運河大博に參列すべき米國大艦隊は大統領自ら之を率ゐる筈にて氏はハムプトンロード軍港にて旗艦オレゴンに座乗し同港出發後コロンに至りて公式運河開通式に臨み更に運河を通過したる上勇姿堂々金門灣に至る事に決定したる旨過日海軍卿ダニエル氏により公表せられたり尚桑博に於て海軍行列に參加の承諾をなせる各國はアルゼンチン、キューバ、英佛獨伊露蘭及日本の九ケ國なりと

●[illegible]然丁に輸入する日本の商品　最近のアルゼンチン貿易統計によれば當國に於ける日本商品の直接輸入額は年額約百六十萬圓なるも此他統計に計上せられざる間接或は密輸入により[illegible]實市場に現はれ來る日本商品は優に該統計額の三倍に達す可しと而して當國に輸入さるゝ日本商品は[illegible]頗る多きも絹手巾、羽二重、貝釦、扇子、陶器、花莚の如きは其主要なるものとす

●朝鮮人と白少女結婚　過日沙港のコートハウスを[illegible]したる朝鮮人あり同人は加州羅府のキムと云ふ地にホテルを營む者にして女は羅府ハイスクールを卒業せる者にて二人通學せる内に互に憎からず思はれて云ひ交はす仲となりたるも野暮な加州で結婚か出來ず相携へて沙港に來りライセンスを得たるなりと男は卅七女は廿四なりと

●外園直一氏來市　傳馬唯一の事業家なる同氏は商用のため過日來着一週間許り滯在の筈なり

●岸波常藏氏　過日プリンストン大學を卒業せり

●「新日」主人の死去　同店主新谷才德氏は長らく病氣にて田舍に靜養中なりしが去十二日遂に死去し翌十四日友人諸氏の手にて葬儀を執行せり

●易學大家呑象氏　は來廿五日頃西部出發東部に來る可しと

●柔道家高野氏の重態　柔道家として西部に數多の知己を有する同氏は[illegible]門癌に罹り高見ドクターの治療を受け居たるが目下武市サージカルサニタリヤムに在り餘程の重態なりと

到着

六月號雜誌卅餘種全部到着、而かも
▲太陽　▲實業の日本
諸有社會に材料を探り、諸有階級の作物を集め、新らしき政治、新らしき思想、新しき文藝、新しき氣分を以て充されたり、請ふ速に購買あれ
大正三年六月十八日
片桐兄弟商會雜誌部
紐育市東五十九街二二四

新日本 紐育 郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
インデヤ	晩香波	六月二十日
安藝丸	沙港	六月廿五日
チャイナ	桑港	六月廿八日
アジヤ	晩香波	七月四日
満州號	桑港	七月九日

●日本より到着日
六月廿一日　六月廿三日

紐育の日本人（二十）

飛耳張目生

下宿屋

▲近來一般の不景氣と共に各下宿屋も其影響を受けて一二を除くの外財政上頗る困難であるとの評判を聞いて見ると同情心の深い僕などは全く氣の毒だと感ずる譯だが下宿屋の內幕外幕を充分に見拔き聽拔き嗅ぎ拔いた斯道の古狸君に聞いて見ると不景氣不如意の原因は單にシーヅンの終り、例に依て例の如しと見遁がす譯に行かなくなる、平たく言へば下宿屋營業者の從來の遣り方が甚だ不眞面目で自ら不景氣不如意を招いたやうな傾きがある

▲下宿屋はマンハッタン武留久林を併せて都合十六軒其中會席料理を兼業して冬季には六七十名の止宿人を置くに足る丈の家もあり又小ジンマリと自分の親しい友達のみを顧客としルーム貸的の下宿業を營むで居る者もあるが兎に角西部の下宿屋のやうにエキストラの收入即ち勞働者周旋のコムミッションや船切符手數料の如きものが無いから收入も比較的に尠なく、下宿屋で倒れた者か無い代りに下宿屋で成功した者もない先づ都合よく行つて七八年の間に一萬弗も拵ゆれば成功であらう

▲いくらエキストラの收入か無いかといつて一つのルームに三人乃至五人を睡らせ、食はせる物といつたらライスに菜ッ葉香の物に褻ざかな汁の一パイも副へてやれば澤山で一週間一人の下宿料五弗も頂載して四十人のお客さんとすれば一寸局外者の見當では惡い商買でも無さゝうに見へるが偖實際に行つて見ると案外に難有ない事がある

▲一體紐育日本人下宿屋の行り方に就て甚だ感服出來無い事は下宿人に對して一種の信用制度とも云ふべき惡習慣を作つた事で夫れが下宿屋自ら禍を招くのみならず在留青年の大部分を墮落せしめ累を日本食料品店に迄及ぼすに至つた事は單に下宿屋の爲に不感服といふ許りでない、在留同胞全體の利害問題として差當り日本人會の研究すべき問題である

▲米國式の下宿屋又は貸ルームに行けば一週間分の下宿代はキチン／＼と前金に支拂はねばならぬが日本人の下宿屋に行けば三ヶ月でも六ヶ月でも貸して呉れるし憐れッぽい聲で泣きを入れると小遣迄貸して呉れるチヤンスもある、夫れのみならず言葉は親譲りの日本語で事か足り遊び事の好きな者は球を突いたり將棊を差したりして日頃の鬱憤を晴らす機會もある所から、ルームか臭くても食ひ物か不味くても我慢して邦人下宿屋を望むのか在留獨身青年の常である

◉涙痕繁き新愁の兩家庭

▲山座氏の家庭　山座公使未亡人賤香（卅六）は政界の名士故神鞭知常氏の秘藏娘であつた、當時ハイカラの陶淵明と呼ばれた若き外交官は此愛孃を得て爾來朝鮮支那英國と世界の各地に樂しき家庭を作りつゝあつたのである、只夫人が始終忘れ得ぬ深憂は良人の飲酒癖であつた、それで日露戰爭當時晝夜を分たぬ劇務の間斗酒を煽るのを見ては日常從順なる夫人も堪りかねて度々禁酒を切諫した爲めさしも强情な山座氏も遂に夫人の懇請を否み難く醫師の診斷を受ける事となつた併し診斷の結果醫師は酒のため何等の故障も受けて居らぬ氏の體格の强健さに驚いて强いて禁酒を命じなかつたので夫人も稍安心した、此話はよく夫人の口から語られて今回の事あるに至つたに就ては夫人の遺憾はどれ程であつたらう公使の嗜好は音樂と犬とである犬は倫敦から連れ歸つたプリンスといふを始め北京公使館內には四五頭の愛犬が飼養されて居た

▲水野氏の家庭　水野參事官夫人みね子（卅五）は京都の人で水野氏が三高在學中に婚約した相思の交情であるが外交官の畑に育ち乍ら醉香の雅名を以て俳句に沒頭し小說も作つたといふ氏が見染めた丈に夫人の立優れた容色と淸楚なる風姿とは美色を以て名ある外交官夫人中にもその尤なるものであつた、良人と共に紐育に長く駐在して居たのでその精練された應接振は實にも一分の隙さへなく容色といひ才能といひ並ぶものさへなしとさへ稱されて居る水野參事官も山座公使程の大酒ではないが酒は好む方で談論風發四隣を驚かすものがあつたが夫人には一目置いて居た位であつた、家には山東子、悠美子の二女と一男とがある、さるにても新らし、無限の哀愁に包まれたる兩

投書欄

張日生君何卒一日も早くダンシングホールを御開始に御盡力願ますワイフを連れて毎土曜日必ずダンシングに行とす又ワイフの友人が澤山ありますから諸君へ御紹介致します左すれば今一層黄白結婚が殖ゆると共に各方面で同胞の發展する譯で結構で快樂で我々は大に悦ぶ者です（ミチオラ白婦持）▲コバ漢野郎君に申す君の投書は甚だ不得要領で何だか薩張り解らないモット要領を得たものを頼む（籠掛り）▲柄にもない道德の講釋は素町人共のする事では御座らぬ、理屈は止して分相應な金儲けをやり給へソシテ公共事業に出す金は稅金を納めるのだと思つて居れば穢多村式の態度を取らなくても濟むよ（上町生）▲洋服の御注文をなさる時には弊店へ御越しを願ひます但し可成人間並のからだを御持參願ひます（ヘイ洋服屋）▲ダンシングパーチーは小生も大賛成に宿屋にゴロ／＼する隙に大ひに研究して腰の細いのと踊つては如何に（ダンスクレーヂー）▲舞踏を習ふに何處の學校が宜しきや又心好く日本人を歡迎する舞踏場を御示教下さい（新米）▲舞踏會組織相成候へば小生宅の大廣間を無料にて御貸申しますと言ふ者は洲濱旅館と都の親父だらう（河桑生）▲夜中大きな聲を出して騷ぐから向三軒兩隣の苦情が起る味噌醤油の臭ひをさすのさへやり切れないのに夜中騷がせないから西洋人が怒るのだ、少しは同胞の體面を考へて貰はう（浪人）▲黄白結婚を盛んにやつて欲しい、何れ弊害は生ずるであらうがそんな事を顧慮してる時代でない（永住者）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

米國に於ける學問と實際

高峯研究所技師　上中啓三

▲學術尊重の機運　米國は商業の國にして學問技藝に長じたる人無しと雖も實は然らずウエスチングハウス、エヂソン、フランクリン、ランフオード、トムソン等の發明家あり而も各自の發明にかゝるものを實際に應用して世界に大なる貢獻をなせり殊に近來に於ける米國の學術界は驚くべき進歩を遂げ而も學術と實際との接近を計れる樣は極めて目醒しきものあり、今其等の例を一々擧げんには殆ご其煩に堪へざるものあれど見聞したるものに就き思ひ就けるもの二三を談らんとす、人も知る如く米國は世界の富を集めて尙及ばざる富國にして馬鹿で逐れるなら別に賢くならずとも可しと云ふ俗諺さへある國柄なれご競爭激しくなるに連れ獨り學術技藝を等閑に附する能はず盛んに學術の研究及び其奬勵を計るに至れり、石油、鑛山等は其量殆んご世界に冠たれど今日迄は其精練の方法當を得ざりし爲め損失せる所尠からざりしが近來鑛業家等は政府と協同して學問的に研究を遂げたる結果遂に莫大なる利益を得るに至れり其他學術研究を盛んにしたる結果利益を生ずるに至りし實例殆んご枚擧に遑あらず

▲富と學術の奬勵　富豪又は實業家の學術研究の爲に熱心なるは世人の知る通りにして三四年前既に米國各大學は千萬弗の寄附を受け居れり彼等は各地の大學に學術奬勵金を寄附し或は學校と契約して研究費用を出し特種の研究に當らしめ目的の効果を奏すれば更に幾許かの報酬を與ふ例へばキャンサス大學には同地方には小麥を多く産するに依り小麥の應用に關する研究に當らしめピッツブルク大學には其地方に製鐵塲多きを以て工業に關する研究を遂げしむるが如し、米國は紐育の電話機だけにても四十五萬にして倫敦の夫れに比し二倍に當る、ロスアンゼルスは五十万の市民なるがその四人に對し一個の電話機を有する割合なり此の如く電話機の多き事は即ち米國の富の程度の高きを意味す、元來財源の無き獨逸すらも學術研究を實際に應用したる結果近來著しく富を增すに至れり況んや富源多き米國の事なり此上學術の研究をして盛んにすればする丈一層の富を成すや論なきなり

▲科學の研究と彰表　近時バルキン基金と云ふものに依りて學術界に貢獻したる人々に賞牌を與へて其德を彰表する事となれり此のバルキン基金といふは今より六十年前獨逸のホフマン氏が有機色素即ち人工色素を石炭テールより採る事を發見したるが其弟子英人ハルキン之を完成し始めて實用上に用ゆべき色素たらしめたり、其の五十年に際して一は之を記念し一は學術奬勵の爲めに基金にてメタルを作り有名なる學者に送ることとなれり今日迄隨分之を受領したる人々あるが中には彼のアチソン氏あり氏はカアボランダムを發明したる人なり又アルミニュームの發明者たるホール氏もあり氏はハーバード大學生にして九十年前にウヨラー氏の認めたるアルミニュームを金屬として製出するに至れる人なり次はフラッシュ氏にして氏はフラッシュ法即ち酸化銅に依りてオハヨーの石油が重油としてのみ使はれたる精製法を考案しペンシルバニア州の石油同樣のものとなす事を發見したる人なり氏は素と獨逸人にして幼少の時より米國に渡り遂に歸化したる人なるが極めて米國式の人間なり而して又米國は元日本又はシヽリより硫黄を入れるより外に途なかりしが石油熱盛んなりし際ルイジニアの地下千尺を掘りしが其處に大なる硫黄層がありたれご之を掘るに術なくして寶の持腐れなりしがフラッシュ氏はポンプを以て過熱水蒸氣を地下に送り地下の硫黄を溶かして地上に吸ひ上ぐる事を發明し其のため一日に四百五十噸の多量を産出せしめ遂に輸入は途絶せしのみならず却つて輸出する程となれり

編輯局雜話

卓郎

▲歐米の新聞でも日本の新聞でも近頃のやうに際は立つて面白く讀まれる時代は尠からう、英國は愛蘭自治案と女權黨の亂暴に弱つて居り殊に印度人の加奈陀入國拒絶問題は印度本國の民心を動搖させ、さなきだに排英觀念を增せしむる傾がある、言ふ迄もなく印度は英國の寶庫であつて之を失つたらば英國の命數は茲に盡きたと云はる可き所から英國の政治家が如何に内外の施政に關心焦慮しつゝあるかが窺はれ、隨つて是等諸問題に關する新聞記事を見ると興味津々盡くる所を知らざる思ひがある

▲獨乙に於ける社會黨の勢力消長に就て此間一友人と語つた時僕は友に向つて「獨逸の社會黨はあれ丈の勢力があつてカイゼルに對する反感は頗る猛烈であるのに別段暗殺陰謀だの爆裂彈騷ぎなど起つた事を聞かないのみならず獨逸帝國の國勢はカイゼルの理想通り外に向つてドシ／＼伸張されて行くのは大ひに研究すべき所だ」と言つたら友は「夫れは一般人民の學問が進むで居る結果獨逸帝國内の社會が健實なる基礎の上に置かれて居る證據だ」と語つた、如何にもさうであらう、支那通の談に據ると支那に在る英米商店の番頭は支那語の研究をネグレクトする傾向があるに反し獨逸商店の番頭は先づ第一に支那の土語を覺へて成るべく人民と接觸せんと努めるさうで習つた學問を實地に應用せんとする點に於て獨逸人が如何に熱心な國民であるかが解り又英國が獨逸を恐れる理由は單に獨逸皇帝の海軍擴張許りではない事が知られる、現に獨逸から米國に輸入される玩具品の如きでも手に持てば直ぐに毀はれるやうな日本品とは違つて實に立派なもの、[illegible]摸造の日本陶器でも素人眼では其眞僞を見分け難い程巧妙に出來て居る、實に獨逸國民は眞面目な豪らい國民である

▲ルーズベルト氏は歸つて來た、劈頭第一意見書を發表してウイルソン氏の外交政策を攻擊すると共にコロンビア共和國との接衝及び巴奈馬運河に對し自分の採つた政策を辯護する事頗る詳細を極めて居る、巴奈馬に一揆を起こさして運河地帶をコロンビアからふんだくつたル氏の怪腕の使ひ加減は君子人たるウ氏より見れば如何にも非人道に見へるだらうが平和主義活動宗の本尊たるル氏から見ればウ氏の理想外交は[illegible]堪らぬに相違ない、僕はル氏に大賛成である

▲北濱銀行の岩下淸周君大穴を開け銀行は將に倒産の悲運に陷入らうとした時重役の面々は一座只顏を見合はす許りであつたが此時猛然として起つたのは谷口房藏君太い銅羅聲を張り上げて愈々最後となれば仕方がない、私には二百万圓許りの財産がある之を奇麗に岩下君に進呈しやう、私は北濱銀行の厄介にもなつたが夫れよりも岩下君の厄介になつて今日の位置を作ることが出來たのだ　さやうな、胸に包む策の黑白は兎も角此立派な口切りは悄然げ返つた一座の沈默を破るに充分の力があつて大林組の頭領芳五郎君も「私も三百萬圓許りある矢張り岩下君の後援に依つて得たものだから提供しやう」と言ひ出し、岩下君は涙を流して兩君の厚意を謝し「然らば私も全財産を提供する」と言つたさうな、岩下君は故鳥尾得庵子の知遇を受けた禪主的の人物で大坂の實業界に於て異彩を放つて居る、銀行は大隈總理大久保知事、藤田男等の斡旋により日本銀行の後援を得て無事に此大難を切抜けたが、谷口、大林兩君の思ひ切つた態度は一贅六儕どる可らずとの感を發せしめ又兩君をして此言あらしむるに至つた岩下君の人物をも想像することが出來る、人生意氣に感ず功名亦誰か論せん、子分養成に志す者の大いに學ぶ可き所である

▲大太西洋横斷の飛行機が完成した、[illegible]狼軍の勢ひ益々猖獗を極め、財政の紊亂、列國の利權獲得益々甚だしくして支那は今や大混亂大紛亂の有樣、亦もやバルガン半島に戰雲棚引く、日米問題の拌問題亦始まる、議會の解散は確かとあつて故國の政界は殺氣旺溢、スタンフォードの[illegible]米墨仲裁會議、舞踏會[illegible]運動と數へ來つて詳かに報導し[illegible]なく評論して讀者諸君の厚意に[illegible]紙面では如何とも仕方がない、[illegible]

●ル氏の大氣燄　ルーズベルト氏は廿四日午後八時歐州より歸米せり[illegible]はブラジル探檢中受けたる風土病未だ癒へず船中に於て[illegible]の發熱ありしため聊か憔悴の體なりしも元氣は例に依て旺盛なり、氏は着船と同時に[illegible]長文の意見書を發し筆を極めて現政府の外交方針を攻擊せり、曰く、ウイルソン武富安式の外交政策は從來[illegible]好意的なるがコロンビア共和國に對して二千五百万弗を支拂ひ更に謝罪的文書を與へんとするは却て脅迫者に强奪に應じたるものにして若し上院に於て承認されなば米國は世界[illegible]國の侮辱的[illegible]を招くべし、コロンビヤは余が在職當時に[illegible]千万弗の强奪的[illegible]を試みて蹴ねつけられたるが假に現政府の方針を可なりとすればコ國は現在に於て[illegible]米國に四千万弗を要求する權利あり、現政府は何も千五百萬弗を値切て將來に於て吾當局者に軟弱外交の惡例を遺す必要なきに非ずや寧ろ其全額を支拂ふの寛なるに不如、巴奈馬地帶獲得に[illegible]當時余にして若しウイルソン武富安式の外交方針を採りしならば同地峽は永く歐州强國の所領となり米國は天與の機會を失ひ、運河開鑿は實行されざりしならん、余は大統領として米國を脅迫者の[illegible]たらしめざりきと云ふ運河地帶獲得の歷史を述べたる後自家の[illegible]行動は俯仰天地に不愧と辯護し、氏は現政府の對墨政策を[illegible]と罵倒したり、氏は斷然紐育州知事の候補者たらずと言明せる[illegible]

●日米交[illegible]

東京電報

●加藤外相演説

(廿四日東京發)

加藤外相は日米問題に關し議會に於て演説して曰く、加州土地法に對する日米兩國政府の交渉は未だ解決に至らず、余は就任以來事件解決の手段を講じ目下米國政府の滿足なる回答を期待しつゝある次第なり云々

●臨時議會開會　臨時帝國議會は廿二日開會せり尚吾政府は米國政府と交渉の結果加州土地案に關する日米兩國政府の一切の交渉書類を一週間内に公表する筈なり(一面參照)

●外交官大更迭　近々の内に在外大使公使以下の外交官に多數更迭あり

飯島紐育総領事は南米智利國の公使

たるべく米國駐劄珍田捨巳子及び桑港總領事館の

沼野

領事は變動する事なし

●米政府の回答と故國の輿論　土地法案に對する米政府の回答遠からず交附さるべしとの電報到着せるため朝野一般再び注意を同問題に集注しつゝあるが當局の豫想にては國務卿ブライアン氏の提案か到底歸化權問題に言及せざるべきを豫測し居れる様子なり

●第二臨時議會は多分無事　第二臨時議會の閉會期日切迫せるため政友同志兩黨共俄かに活氣を呈し政界一部に於ては頻りに解散説を唱ふるものあれど海軍案は前議會の行懸り上無事通過すべく從つて今期臨時議會は案外に靜穩ならんと觀測さる

●天皇陛下大正博に行幸　桃山御陵より御還幸ありし天皇陛下には十六日大正博覽會に行幸御出され各館御巡覽の上種々の御買上等あり

●瓜生剛毅の桑港出品勸誘　桑博副總裁瓜生中將は桑博出品勸誘のため十六日名古屋に向け出發したるか約三週間京阪方面巡廻の上各方面の實業家に對し直接出品の勸誘を爲す筈なり

●故水野參事官葬儀　去月廿五日北京に客死せる水野參事官の葬儀は十六日東京に於て擧行されたるが各國大公使並に朝野顯貴多數の會葬あり近來の盛況なりき

●兩野球團の去來　米國沿岸一巡後布哇各野球團と競技をなせる慶應野球團は十六日の香港丸にて横濱に歸着し盛んなる歡迎あり明治大學野球團は之れと入り代り十六日出帆の郵船佐渡丸にて沙港に向け出發せり

●中野氏市會議長たらん　東京市會紛擾の結果森久保一派の常盤會殆ど全滅に陷りたるため中野武營氏市會議長に推選され既に承諾の色を滿らしたるにより遠からず其任選を見るべし

●土地問題經過と臨時議會　加藤外相は第二臨時議會に於て加州土地問題經過に關し委細發表を爲す筈なるも米國電報の報じ來れる土地所有賃借權承認或は日米新條約の締結と云ふか如き悉く虛構の流説なるにより現在の兩國交渉には餘り多くを期待すべからずと、へり

●山座公使の遺骸着　去月廿八日北京にて客死せる前支那駐劄公使山座圓次郎氏の遺骸は軍艦明石に搭載され十七日横濱に來着したるが葬儀は廿日東京にて執行の筈なり

●米國議員の渡日　來月上旬開催さるべき萬國議員會議日米委員會に對しペンシルバニア州選出アイチー氏列席の通告あり十九日ロシア號にて横濱到着の筈なるにより各方面に一盛大なる歡迎あるべく日米委員會議には兩國々交に關し重要の議案提出さるべしと

●太刀山一行渡布の準備　太刀山一行六十六名は來る廿七日天洋丸にて布哇巡業のため出發につき目下頻りに其準備中なるか各方面の送別會頗る盛大にして行色を旺ならしめつゝあり

●朝汐張出大關　東方の中堅にして技量秀拔成績拔群なりし朝汐は東方張出大關に昇進せり

●常陸引退相撲　常陸山引退相撲は十一日より十三日迄三日間國技館にて興行されたるが非常の人氣大入なりき

日本最近信

●大隈内閣の對臨時議會策

東京市會議員總選擧に於て年來堅固の地盤を有せし舊久保一派の當選者は大敗を蒙り革新派實業家の大勝に歸したるか三多摩派を中堅とせし常盤會は是亦以來政友會と密接の關係あり紐育市政上に於けるタマニー一派同様の暴威を振ひ來れるに係らず斯く脆き敗北をなせるは人心漸く政友會を去らんとするの傾向を示せるものなるにより現内閣は■■なる多數を會方針を以つかし時宜によりては議會解散を斷行するの意氣込を示し居れど一方政友會にては第一臨時議會の違憲を責むるのみにて豫算案には甚だしき追窮を爲さざるべしとの説あり

●後藤男政談

▲政局の將來　第二臨時議會は平穩ならん通常議會は確に波瀾重疊するであらう夫迄には政府は所謂大隈式に同化したものを作り上げ戰鬪準備を整へるであらう而して大隈内閣の評判はドウかといふに吾輩は漸次好くなつて行くだらうと思はれる殊に吾輩の感服するのは大隈首相かアノ身體で日々繁劇なる政務に勉強する事で伯は兎も角大眞面目だ加之大隈内閣は風教を維持する點に於て山本内閣の上にある事はいふ迄もない事で何れの點から見ても前内閣より優つて居ると思ふ世間には隈伯從來の言質を捉へて兎角言ふ者もあるかそれは無理な議論で吾人は評論家としての言論と政黨首領としての言論とを混同してはならない今後の政局に於ける

▲吾輩の立場は御承知の通り政治で身代限りした吾輩であるから當分は整理中でナカ〜開店の運びに至らぬから暫く謹慎を表し形勢を觀望するより外に途かないのであるナニ吾輩か大隈内閣の爲めに政友會の切崩しをするかも知れぬとソンナ藝當か吾輩に出來るものか現内閣の當局者としては議會を切拔ける上に於て政黨の切崩しも必要であらうが今日世界に於ける日本の地位は實に大切な時代で内政問題でグズ〜騷いで居る時代ではあるまい四五年前とは今日の形勢とは全く變化して居るのであるから國民は今後我國運の發展に就て眞面目に考へて貰はなくてはならぬ云々

●桑博出品規則　桑港萬國博覽會出品規則は本月一日の官報を以て公布されたり其要領左の如し

第一　出品し得る物品は明治卅八年以後に採取、産出、加工、製作又は製造したるものなる事にて二三の條件あり

第二　農業、園藝、林業、鑛業及び水産業に關する出品は事務局に於て指定したる物に限る事

第三　出品願書は美術品を除き七月十五日迄に地方長官に差出す可き事

第四　美術品に關する出願は八月卅一日迄に事務局に差出す事

第五　美術出品は鑑査を受くるため十月廿六日より同末日迄に事務局指定の場所に搬入する事

第六　出品物の輸出は美術品の外十一月十五日なる事

●帝國公道會と稱す　森村澁澤兩氏の企畫の社會矯風運動に就ては豫て報導する所ありしか右運動は帝國公道會の名稱の下に行ふ事とし去月七日東京商業會議所にて創立會を開き大隈首相、板垣伯等の演説ありたる筈なり

●東京高商の紛擾　東京高等商業學校にては昨年十一月例の商科大學合併問題あり爲に大騷動を起し十二月の學期試驗もお流れとなりたるは世人の熟知する所なるか更に最近に至り教授關博士か大阪市助役となるため辭表を提出したる事導火線となり全校生徒の運動となり更に福田博士を始め佐野、堀其他諸教授の辭表騷ぎとなり問題は昨年の夫れよりも大にして日を經るに隨ひ火の手愈々熾んならんとしつゝありと

●鐵道建設工事　鐵道院の本年度建設費豫算は千五百四十万圓にして一切新事業に着手せざる方針なるが繼續事業にして三年度限りの分は三百四十一哩三二に四年度限りのものは三十二哩四にして其線路は如左

▲佐伯線　大分幸崎間▲北海道湧別線　當邊蕊木下生田間▲同宗谷線　音威兒府小頓別間▲萬字線　志文万字間▲新庄線　若手山川渡間■古口清川間　清川餘目間　餘目高田間▲平線　郡山三春間　三春小野新町間　平西小川間▲村上線　新發田中條間　中條村上間▲濱田線　小田大田間▲岩越線　野澤津川間▲宮崎線　三股山戸間　宮崎赤江間　赤江清武間▲川内線　串木野川内間▲北條線　木更津上總湊間▲輕便犬飼線　犬飼大分中半田間▲同宮地線　熊本大津間▲同長井線　梨郷長井間　同船川線　三田脇本間(以上三年度開通)▲同濱田線　井崎臼杵間▲同犬飼線　宮地線　大津町上野間▲同　中牟田竹中間(以上四年度開通)

●民間水陸飛行大會

過般米國より高左右、海野、坂本の三氏獨逸より磯部佛國より荻田等の飛行家期せずして歸朝し全國を通じて各自獨特の大飛行を試み大ひに歡迎されつゝあるか今回帝國飛行協會にては此好期に際して聯合飛行大會を擧行して大ひに民間飛行の覺醒に資せんと計畫し從來斯業獎勵に盡力尠からざる大阪朝日新聞社の後援を仰ぎたる所幸ひ快諾を得たれば十三十四の兩日單葉、複葉、水上飛行艇等各式の異なれる數臺を打交ぜ鳴尾西宮の空を縱横に飛行せしむるの大計畫を決行する事となれりと、因に右は我國に於ける飛行大會の嚆矢にして長く記念さすべきは云ふ迄もなく之に因て將來我飛行界に一大革新を喚起するならん

●在外支那人數　最近の調査による外國在留の支那人數は五百四十萬人にして其地方別は大約左の如し

▲香港三〇七、三八八▲南洋一、三五〇、六〇〇▲シンガポール三〇〇、〇〇〇▲暹羅一、四四〇、〇〇〇▲馬來半島五三〇、〇〇〇▲印度支那一九〇、〇〇〇▲濠洲一四〇、〇〇〇▲ビルマ一七〇、〇〇〇▲新西蘭二、五〇〇▲北米九〇、一六七▲中央及南亞細亞地方一三〇、〇〇〇▲加奈陀一七、〇四三▲墨國二、八三四▲秘露四五、〇〇〇▲爪哇二五、〇〇〇▲西伯剌五〇、〇〇〇

●德富蘇峰氏の帝室論　蘇峰氏此頃日本の帝室を説明し年來の靈筆流石に言論界の雄たるを思はしむるものあり曰く

日本の天皇は即ち日本國民の頭首なるも歐州の帝王は彼等國民の帽子なり、帽子は何時なりとも隨意に之を取換ゆるを得べきも頭首其物は取換ふべくもあらず其取換は身體其物の死を意味すればなり

此意義に於て日本の國體は歐州の君主國とは大々的に其趣を異にするものあり隨つてミカドに對する吾人の誠忠が歐民の其元首に對するに比して天壤の差あるは最も看易き道理に非ずや

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次 日本郵船 大坂商船

▲手紙取次 手數料一ヶ年二弗
シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方よりの御申立の場合も取次可申候

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人（英文） 定價一弗五十仙
河上清氏新著

▲米國實業經營法 定價一冊金壹弗
[illegible]氏著

紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲七月若くは八月上旬出發
▲日本滞在約二十日間
▲[illegible]
▲[illegible]
▲飛行家、[illegible]

紐育母國訪問團本部
紐育市第六街二一參八
主催者 林富平

●太西洋横斷飛行準備成る　太西洋横斷を目的を以てカーチス社に於て製造されたるロードマンワナメーカー氏の飛行艇アメリカ號は去廿三日完成し直ちに當州ハモンドポートなるキューカ湖に於て二回の水上滑走及空中飛行を試みたるが二回共に滿足なる結果を現はし試乘者たりし英國海軍中尉ジョンシーポート氏は來七月十六日愈太西洋横斷を決行する事に確定せりポート氏はカーチス氏、助手並外一名と共に都合二千五百ポンドの重量を乘せて試乘したるが太西洋を横斷するには此外重量千五百封度の瓦斯リンを搭載するの必要あり氏の談によれば亞米利加號は昇降標準、操縦等に於て從來になき完全の飛行艇といふべく太西洋横斷の成功は毫も疑なしと云へり尚試乘は約一週間繼續さるべし

●宙返り飛行　飛行家ナイルス氏は來七月四日に行はるべき當市獨立祭の展覽飛行の準備をなし市長以下獨立祭委員の囑託を受け廿二日當港内ガバナスアイランドに於て一大飛場を試みたるが氏が三千五百呎の高空より七回の宙返りを續て水面上十呎許りの所に降下し來りし時の如きは數万の觀客皆驚嘆せざる許りに喝采を浴びせし氏は空中に於て操縦を誤まり今や水中に沒頭し來れるものと信じ居たる程なりしも氏が巧妙なる操縦法にて再び高空に其勇姿を現はせし時は拍手喝采の聲海も覆らんばかりなりき

●七億万弗の裁判勝利　サウザンパシフィック鐵道會社は其所有にかゝる當州の某地廿万英町の土地に含まれたる石油の所有權に關し多年中央政府と訴爭中なりしが今回大審院の判決あり今鐵道會社の勝利に歸せり右土地及び鑛物は概算見積約七億万弗の價値ありと

●大呉服店の破産　デパートメントストア供給品卸賣會社として世界第一の稱ありし當市のエチ、ビ、クラフリン會社は約四千五百万弗の債務に應ずる能はず本日破産管財人の手に渡り全國廿八ヶ所の支店は何れも閉店のやむなきに至れり同會社に關係ある紐育の大銀行二十及全國三千餘の大小銀行は爲に多少の影響を受くるならんと

●水野氏の遺言状　故水野參事官の遺言状は封緘のまゝ天津に持來り昨田總領事の確認を經る事となれり其内容は發表せざるも墓碑は山座公使に只「水野幸吉之骨」とのみ認めくれと依頼しありし由而も山座氏も亦故人の後を追ひ此遺言を實行するを得ざるは悲痛なり

●飯島總領事榮轉と後任者中村巍氏　飯島總領事が智利公使に昇進の内命に接せる事は豫て聞知し居たるも未だ公報なかりしため掲載を見合せ居たるが同氏の榮轉は既に確定し辭令電報到着次第直ちに赴任又は一旦歸朝の上改めて赴任する事となるべく後任總領事は曾て加奈陀オッタワ市の總領事たりし倫敦駐在の中村巍氏と内定し居れりと、本紙が豫て申し置きし通り紐育の總領事の仕事は容易なやうで而かも六ヶ敷くらず隨て短日月間の滯在にては事情も判らず隨て好結果を收め難し、後任者中村氏に就ては聞く所渺なきも兎に角手腕ある人物の永く留任せん事は吾等の望む所又外務省も氣を利かし今少し餘分の交際費を與ふる事とせば當地總領事の日米國交上に及ぼす好結果は案外に大なるものある可し

●日本人を慕ふて遙々傳馬から桑港へ　深更の事旅裝甲斐々々しき一人の白人少女桑港市内のフイリービルデング附近を徘徊し見張りの巡査に誰何されたるが少女は名をルスジョネスと呼び本年十八歳傳馬の生れなるが日本青年原田と云ふに深く契りをこめ當市にて結婚せんため後を慕ひて來れりとの申立となるか十八歳といへば米國法律にては未成年の事とて巡査も容易ならざる事實と認め更に訊問をなせし所「イヽエ私共の結婚にはお母さんも賛成なので今度桑港に來る旅費もお母さんから貰つて來たのです」との申立に兎角する内少女の尋ぬる當の戀人原田は出迎のためフーリービルデングに來り嬉しい逢瀬はかないたれど警官の方にては法律の規定其儘放免し難く少年收容所に留め置き目下傳馬の親元に紹介中なるが同所係り員か「加州では黄白の結婚が禁止されてゐるから日本人と夫婦になる譯には行くまい」と脅かしたる所少女は聊も心配の樣子なく「ナニ加州で出來ぬなれば何處へなり行つて結婚して來るから構ひません」との返答に流石の人情係り員等も乙女心の一筋なる大膽さに感心し合ひ居る由

●空中に借金逃げ　ローサンゼルスの邦人飛行家[illegible]原は飛行機代百廿弗の借金取が來たので直ちに飛行機に乘つて雲の中に逃げ込みたりと過日同地より紐育ヘラルドに電報あり實か判らず

●ベースボール熱と在留青年　近來當地在留青年間にベースボール熱擴がり現に青年會には第一第二のチームを組織したる程なるが森村組社員澤田君は非常な熱心家と見へ同店員其他の有志と圖りチームを組織して米國チームに對抗せんと意氣捲きて來り記者も發奮して大ひにベー熱を鼓吹せよとの事なり兎に角野外運動點は在留青年の身神を活潑ならしむる所以にて喜ぶべき現象なり

●朝鮮人の色氣違ひ　ブリッヂポートの富豪マルカー夫人方に働き居るヤングなる朝鮮人は何う云ふ事か豫々同夫人に思ひを掛け狂人のやうに附け纏ふより夫人も薄氣味惡くなり昨年十二月ヤングを解雇したる上欧州へ逃げ行きたるが色氣違ひのヤングは其後執念くもあきらめず或時は當地中央停車場にて大騒動を起したる事あり昨廿四日は夫人邸宅の窓より忍び込み結婚せねば夫人を殺して自分も死ぬと脅迫し文句を並べた上逃げ惑ふ家内中の人々を二階に追ひ上げたる中夫人は吾寢室のドーアを堅く閉ざしつゝ室内備へ付けの電話にて警官を呼び漸く事無を得たりと

●日置駐支公使　は來月一日當地着の上歸朝の途に就く筈

●飯島新智利公使　は朝鮮辭令到着二週間後に赴任する筈

●栗栖官補榮轉　今回新たに市俄古領事に昇進、當地總領事代理として中村新總領事來任迄事務を取扱ひ然る上新任地に赴くべし

●赤松官補　目下廣東領事館にあり栗栖氏の後任として當地在勤を命ぜらる

●原田棟一郎氏　十三日無事倫敦に到着せる旨來狀あり氏は本國よりの急電に接し伊太利視察を抜きとして歸朝する由同氏當市出發後後任者來紐する迄大朝の紐育通信は本社の甲斐氏之を引受けたり

●雜誌のロハ讀み　某下宿から妙な名前を以て雜誌を注文し二ヶ月後雜誌代を取りに行くとノンナ名前の人は居りませぬとの返事に雜誌屋先生口アングリ、一冊につき二仙や三仙の利益しか無いのにロハ讀とはヒドイぢやありませんか、文字を讀む位の人間でかゝる不德義を行る男は出世せぬ

●チーエス生の舞蹈會組織及び舞蹈練習の注意　に關する寄書は記事輻輳のため次號に讓る

●桑港の不景氣　桑港在留邦人商人の目的は從來同港に出入する日本人を對手とするに在りしが移民禁止以來は勿論シャトル航路の船賃割安なる等の關係より近來大ひに不景氣となれりと

新紐育日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
チャイナ	桑港	六月廿八日
アジヤ	晩香波	七月四日
滿州號	桑港	七月九日

●日本より到着日

七月一日　二日　七日　九日　十五日　十七日



紐育の日本人（廿一）

飛耳張目生

下宿屋　其二

▲下宿屋の信用制度が何故に一般在留者に不都合であるかといふに止宿人は下宿屋に行きさへすれば金は無くても鼻の下丈は無事に建立が出來ると心得て居るから働き先が少しでも氣に食はぬと直ぐにお暇を貰つて歸つて來るし働く事の嫌いな怠惰け者に至ると年が年中働かずに下宿屋籠城を極め、借金の高積り積つて山となれば眞面目な働きでは到底も返せさうにもない所から柄にもない一攫千金の謀叛氣を出して一かばちかの勝負を試み、不眞面目な所を徘徊し眞面目に働く青年を誘惑して鳴にしやうなどゝ不らちな考を抱く事になる

▲夫から甲の下宿に借りが出來ると返すのが嫌な所から乙の下宿屋にに移り、更に其處を食ひ倒して丙下宿屋の新しいお客様となるやうな非人間も生じて來る、勿論下宿屋に行く者の多數は眞面目な人間で借りたものは必ず返さねばならぬと心得て居るのであるが色々悪運か續いて來るとお客様であり乍ら借金の爲に居候同様の待遇を受け、又自分に對する同宿者の態度も自然冷やかになつて來る所から結句焼け氣味になつて可惜有爲の青年、渡米當初の目的と希望とは全く沒交渉の人間に墮落する

▲素ッ破抜きと怒られても仕方がないが試みに各下宿屋の帳面を覗いて見ると大きな古い家だと四五千弗小さな家でも千五百弗位の貸があつて而かも此中三分の一は取れる見込のないものである、さうして此貸しは夏の終り頃から同胞が市內に歸つて來る頃から秋にかけて半分又は三分の一位返つては來るものゝ冬になれば例の通り貸さねばならぬから自然順送りになつて充分の現ナマを手許に殘す事は出來なくなる、ツマリ千五百弗乃至四五千弗の貸が數年來下宿營業をして來た純益と見るより外仕方がない

▲止宿人の方から見れば自分達は始終働いて下宿屋の親父を食はしとる御客様だと考へとるか知らぬが親父の方で見ると信用貸しで以て飲ませ食はせ、寝させ加之けにトランクの世話や手紙の取次ぎ、場合によつては小遣の面倒迄見てやるのに、頂く金は一週たつた五弗、運惡く猫ばばでも極められた日にやハイ耐つたもんぢやありませんのだ

●郷友の觀たる　山座公使

某外交官談

北京に客死せる特命全權公使山座圓次郎氏は福岡市の人、現にその呱々の聲を揚げたる邸宅は地行西町に在りて「山座」の標札を掲げ實兄山座亮太郎氏と令妹吉岡未亡人こゝに住む廿七日「今回歸朝、東京よりの歸りに歸省すべし」との手紙着き讀みも終へぬに手紙の主は早や此世の人にあらずなりぬ如露亦如電、今更に人生のはかなきを念はしむ、故氏の郷友にして現に職を外務省に奉ずる某氏の曰く

▲少年時代の山座　福岡出身の外交官には栗野愼一郎を先輩として高[illegible]經德と主人公の山座圓次郎氏との三人がある、山座は少年時代から[illegible]好であつたかそれ癖普通の餓鬼大將ではない兎に角友達といつても多くは年長者でソレを山座が率ゐて行くといふのだから偉かつた、一體福岡人の頭腦はドチラかといへば政治とか法律とかに熱中する風であるが山座は少年時代から餘り勉強もせぬに文章に巧く數學が出來る、勿論數學家の寺尾享などは福岡人の例外である、喧嘩好きの山座は亂暴は亂暴であつたが外交官としては思慮綿密時務を觀る事快刀亂麻を断つ底の趣があつた、紅葉舘あたりで盛んに醉拂つて居る時廿も外交上の重要案件か突發したとあると一刻前の泥醉漢は忽ち堂々たる外交官としてサッサと事務を處理したものだ、だから同僚等は山座が斯うして酒を殺すのを見て乾度長生きは出來ぬと噂して居た

▲八代海相の前齒を折る　山座の喧嘩は鬱勃たる元氣の發露であつた殊に最も喧嘩の痛快にし今に物語りの一つとなつて居るのは室田義文が仁川領事時代彼はその配下の一人であつたが或時艦隊の入港を歡迎し領事舘に盛宴を張つた時八代海軍大臣が彼に對して外交官を冷かす様な口吻を洩らしたので下地は好きなり嚇つと怒つた勢ほひに任せ拳骨を固めて「この山座圓次郎を知らぬか」と叫びもあへず相手の顔をなぐりつけ前齒三枚を叩き折つたコレより流石に豪俠氣を負ふ偉者揃ひの海軍部內にも山座てへ男は中々話せると知れ渡るに至つた（未完）

投書欄

「新米君」に御答します　舞蹈の教師としてはブロードウエー一六九五、五十三街と四街の間アリス、マーセル嬢か宜しいと思ふ余も三回許り訪問したるに嬢は母なる人と二人にて教へ居り藝も上手にて日本人の第子も數多あり授業料も高くなし又內所にて練習するには最も妙なり（鈴東生）

▲在留同胞中の黄白結婚家庭を慰むるには宗教家に御盡力を願ふが宜しいと思ひます、教會やミッションは學生又は勞働者の世話をする丈に止めず此方面にも活動せらるゝのか必要でありましやう、宗教家は神様の愛、基督の愛を上下の隔てなく熱心に傳へねばなりませぬ說教祈禱は口の先で事足りますが實世間の善男善女に傳道するには足の先の力を借りねばなりません（一信者）

▲▲或料料理店に行つてテーブルクロースが余り不潔いから代へて呉れ給へと頼んだら「ハイ畏まりました併し可分私方へ御出の御客様は何が嫌で御座ひますから」には恐れ入つた、全くギヤフンと參つた（一夕隠生）

▲著々逸生に申す、[illegible]門君の投書を何の氣よしに掲載けし處或方面にて非常に氣を留めたる人ある事を耳にしたり、餘り猛烈な文肉りはせぬ事にしやうぢやないか（[illegible]係）

▲大王ヤマの少女誘拐事件は其後だうなりました、同胞の面汚しをする淫陀羅をぶちのめしてやり給へ（憤慨生）

▲弱き者よ汝は女なり、奇しき運命に操られて浮世の濁浪に漂ひつゝある某女よ願くは御身の將來にさちあれ（同情生）

No. 151 VOL 4

The Japanese Times

SATURDAY July 4th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City
Tel. 8473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office as second class matter under act of March 3rd 1879.

紐育新報定價(前金郵税共)
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人 甲斐健一
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話八四七三 チェルシイ

日置公使談

新任駐支公使日置氏は一日午前任地より當地に着しホテルアスターに入れり、記者は直ちに刺を通じて親しく氏の温容に接し約一時間の會談中大陸政策、日米問題、外交政策等に關し聊か其胸襟を叩くを得たり、只現在に於て之を發表するの自由を有せざるを憾みとす左は南米に關する氏の談話の一節なり

智利共和國は目下至つて平穏にて内政上の施設は頗る見るべきものあり就中其軍備の整頓せる点は南米諸國中其第一位を占む、同國首要の産物は硝石にして一國の財源は總て其輸出税にて充分なれば國民は殆んど無税金にて生活し居るものと云ふを得べし、同國北部の米國べツレヘム鋼鐵會社所有の鐵山は元佛國クルーソー會社が智利政府より六万ペソ(一ペソは廿錢)にて採掘特許權を買取り更に製鐵一噸につき二フランク宛の手數料を受くるの約定を以てべ會社に賣渡したるものなるが含鐵量は殆んど全山の九分を占め一ヶ年二百五十萬噸を採掘して今後百年間繼續するに足るべく會社は廿六隻の運船を以て不絶輸送に從事せしめ、佛人は年々二百五十万フランの純利を受けつゝあり、鎔鑛ロに用ゆる燃料は附近の森林八万町歩の拂下を受けて材木を使用し居れり

ボリビヤ國は銅及び錫の産出を以て有名にて就中錫は世界中の需用を充たすに足ると稱せらる、同國大錫鑛の持主シモンパチニュー氏は十年前に一鑛山を發見したるものなるが今日に於ては一日六万圓の純益を收め同國歳入の數層倍に當るといふ、ボリビヤの首都は海拔一万二千尺恰も吾富士山の絶頂と同じき高地に在り空氣極めて稀薄なるを以て新來者の多くは病に犯さるれども利の在る所人の居住に適せざる所なしと見へ文明の利器は遺憾なく備はり居れり、海口より首都[illegible]に達する鐵道に乘りて旅行すれば沿道の谷間々々には白雪の如き石塊を以て埋めらるを見る之即ち同國名産のボーラックスにして英國のボーラックス會社主として輸出經營に從事し居れり

秘露の名産たる銅山の主要所在地は海拔一萬六千尺の所に在り海口より同地に達する鐵道はジグザグ形を成し運輸の不便と費用の多大なることは想像に餘りありとは雖も銅鑛業者の純益は尚且つ此困難を相殺して充分の餘得あり、飲料水の價一舛約七八十錢なるも鑛山支配人の邸宅の如きは起居飲食に何等の不便を感ぜざるものゝ如し

智利に就て尚一言せんに同國は人口僅かに三百五十万土地廣漠にして天興の富源に富むと雖も交通不便と資本欠乏し居るを以て特種の事業を經營するにも先づ新たに道路を開通せしめざる可らず前にも述べし如く各種鑛物の天惠豊富なるも之を開發して國力の增進を圖るには莫大なる資本を投ぜざる可らず且つ人民に中産者少なく日本雜貨の如き中産者を目的とする輸出品の販路は求め難し斯は單に智利のみならず一般南米諸國の狀態と見て差支へなかる可く之等諸國と吾國との商業貿易が非常の發達を示すは今後幾多の年月を要するならん、日本捕鯨會社の岡十郎氏は余が在任中智利政府より同國太平洋沿岸の漁業特許權を得たり、其將來に就ては余は斷言し得る限りに非ざるも頗る有望と察せらる

南米諸國を形成する人種は西班牙人の子孫、西人と土人の混血種、土人及び黒人なるが西人及土人の混合されたる者多數なり、東洋人に對する一般南米諸國人の人種的偏見は甚[illegible]にして堂々たる帝國の代表者が無智の人民より侮辱せらるゝが如きは珍しからず殊に支那人は人間扱されず黒人迄が黄色の人間と見れば直ちに自分よりも劣等の人種なりと心得居るなり、伯剌西の日本移民に關し余は未だ其後の消息を聞くを得ざれ共同國政治家間には公然書を著はし東洋人の排斥を論ずる者あるのみならず有力者間の意見亦必ずしも好[illegible]なりと認め難き点なきに非ざれば吾當局者及び移民業者等は充分の注意を以て將來に對する企畫を爲さゞる可らず、元來東洋人排斥の根本原因は人種的偏見即ち感情問題なるが故に道理を以て之を解決せんとするは甚だ困難なりと云はざる可らず云々(交貴在記者)

大素ッ破拔

▲新聞の素ッ破拔きも個人の罪悪を素ッ破拔ひたり、青年男女の不品行を素ッ破拔ひて讀者の俗目を喜ばすのは甚だ感心せぬが革命や兵亂の裏面に横はる資本家や政略家の暗中飛躍を素ッ破拔き或は嚴めしい陸海軍人の鬚面を引剝いて腐敗した膿たる銅臭紛々を素ッ破拔くなどは國家社會のため貢献する所が多く素ッ破拔き中の優の最も優なるものである

▲ヘラルド紙が素ッ破拔いた墨國憲政軍と米國資本家の密約關係をウォールド紙などに云はせると「ナァーニあの秘密信書なるものは二三週間前から紐育諸新聞社のオフィスを持廻られたもので吾社では對手に仕なかつた、ヘラルドも之が爲に大した人氣を引く事はあるまい」と云つてるけれど仔細に參謀役のホプキンスからカランザやビーヤス會社又はフリント其他の關係者に送つた肉筆の往復文書なるものを見ると從來表面に現はれた憲政軍代表者や米國政府當局者の行つた事があり／＼と活動寫眞を見るやうだから頗る面白い夫れに素ッ破拔かれた連中何れも夫れは拙者の手蹟では御座らぬと打消さぬから不思議だ

▲何しろ大統領維爾遜氏の特使として墨國に出掛け頑固一点張りのウエルタに油を絞られたリンド君が矢張りセールスマンにして立働き人間好しの維爾遜君や平和御問屋の武雷安和尚から色々な秘密を聞いて來ては内々金儲けを行らうと云ふのだから耐らない、米國の政商結托も茲に至つて極まれりと云[illegible]しだ

▲尤もピー會社や英國のカウドレー會社などが金儲けの爲に官革兩軍に軍費を供給するのは鰯で鯛を釣る山師或は商賈人の當然の所業であつて吾國の虚業家連が陸海軍人の鼻ッ柱にキラ／＼するものをブラ下げて百萬圓のコムミッションを取つたり石コロ入の罐詰を賣込むで國民の税金を泥棒するのに比較すると此方は却て一段男らしくて較や許せる譯だがコンナ内幕があるとは知らず、愛國心とか、平和とか、人道とか八の字とかいふ怪しげな美名の下に血税を納める人民こそ可い面の皮ではないか、抑も亦多年の戰亂に泣く墨國の人民は何とする

又出た日米問題

▲大隈さんは米國の人種的偏見は年を經るに隨つて消滅する、恰度昔し米國人が獨逸人や伊太利人を排斥して今は排斥せぬと同樣の結果が來ると二度も三度も繰り返して居る、勿論當局者となれば思ふ事皆迄口には出せまいが若し今迄の内閣のやうに日米問題の眞原因、眞事情を知つたやうで知らず、コンナ薄ッペラな愚論を眞面目で唱へて居るやうであつたら夫こそ大變である

▲どうも不思議でならないのは是程日米人の往來交通が頻繁なのに拘らず、故國の人民は米國人なるものに就て知る所が甚だ淺薄である事だ、勿論西洋人も日本に關する智識は甚だ淺薄であるから强て故國の人許り咎める譯には行かぬにしても兎に角彼等が日本及日本人を知らんと努むる熱心の程度に於ては吾々よりも優つた所があり隨つて其研究の態度は極めて眞面目である

▲吾輩熟々考ふるに大隈伯は[illegible]ながらにして世界の大勢を知る所の傑物には相違ないが智者の一失明君も時には奸者の讒言に耳を傾くることなきにもあらず米國から歸朝する薄ッペラな學生や、赤毛布しもか什々にして伯の所を覆ふ事が無いとも言はれぬ[illegible]、何時もニューヨークで會つた代議士君而かも多年米國に在留したとかある先生が「日本人排斥は人種問題では無い日本が滿洲問題で米[illegible]を排した[illegible]ち政略問題である」などと言つたがコンナ手合が代議士の[illegible]様で愚論を吐きソシテ得意がつてる[illegible]だから直接米國を知らぬ大隈伯も大丈夫とは言へぬ

▲米國人が獨逸人伊太利人を排斥したのと今日日本人を排斥するのとは時代も違へば原因に於て大なる差別がある、縦令一片の御世辭とは云へ[illegible]化したとは云へ餘りに突拍子なる判斷は抜きにして貰いたい

●墨國擾亂眞相

墨國擾亂は其實英米兩國資本家の利權爭奪に過ぎずとは殆んど公然の秘密として豫て世人の認めたる所なりしか紐育ヘラルド紙は去廿八日の紙上墨國擾亂の眞相と題し憲政軍代表者及び關係資本家間の秘密電報書信等を原文の儘寫眞版として掲載し[illegible]悍なる[illegible]内幕を曝露して大いに世人の注意を惹けり、同紙の所説に依れば墨國の鐵道及び石油事業に至大の關係ある當地のヘンリー、クレー、ピーヤース會社は憲政軍總統と密約を結び墨國北部全体の鐵道權を支配する條件の下に同軍の軍費を供給しつゝあるものにして華盛頓の辯護士キャプテン、ホプキンス氏は此大計畫の參謀として專ら折衝の任に當り目下華府に在る憲政軍代表者は其實ピーヤ會社の利益を代表して報酬を受けつゝあるのみならず百方策を講じて現政府の平和政策を阻碍しつゝあり、更にピーヤス會社よりホプキンスに宛てたる信書に依るに現在仲裁會議に列席中なるウエルタ政府の代表者二名は之亦墨國の鐵道及び石油事業に密接の關係を有する英國の大資本家ドカウドレー會社の利益を代表し居れりといへり

▲ヘラルド紙は更に翌日の紙上[illegible]を費して秘密信書を掲載せるが憲政軍及ピー會社の參謀役たる辯護士ホプキンス氏よりカランザ將軍に宛てたる書信の大要左の如し

大統領ウイルソン氏は仲裁會議[illegible]中武器輸出禁止を[illegible]すれども必要の武器は帆船にて米國より[illegible]ハ[illegible]に送り然る後メキシコの某々港に送れば安全にして[illegible]府は[illegible]を[illegible]へざる可く斯[illegible]ウイルソン氏の腹心にして[illegible]懇請するリンド氏が直接余に保證せし所なり、國務卿武雷安氏は世論に媚びんとして[illegible]を避くるが爲には凡て[illegible]を掲はんとするもウイルソン氏は之に反對し兩者意見一致せず[illegible]結果リンド氏は米國政府及び憲政軍代表者間の仲介者として推薦せられたる次第なり、余は如何に仲裁會議の仕事なるかを知らしむると共に仲裁會議が可成早く且く体裁よく閉會するやう有ゆる秘密運動をなしつゝあり、貴下が休戰を拒絶したるは非常に好結果を示し來れり、ウエルタの陰險なる態度が依然として繼續し、ウエラクルズ港駐屯軍に突然害を與ふるとあらばウイルソン氏は直ちに武器輸出を許す可きは余の深く信ずる所なり云々

右に關しカランザ將軍憲政軍代表者及び關係者等は何れも軍費供給の事實なしと否認したるもホプキンス氏は「墨國に莫大の投資を爲し居る會社がウエルタ政府の爲に其事業を防害せられ今回憲政軍の優勢となりし結果事業の回復を圖るは當然の事なり」と辯護し且つ自分が鐵道の處分に關しカランザに勸告せし事及びピーヤ會社が之に同意せし事も確かなりといへり、尚米國上院外交部委員は事實の調査に着手し下院は國務省に對し右事件に關する一切の報告を交附す可く決議せり、ヘラルド紙は爾來引續き秘密信書を公表しつゝあり

●ミシガン州の邦人排斥　同州ランシングよりの發電によれば今回四百名の日本人農業者移住の目的を以てアルヂヤ[illegible]地方に來る可しとの報あり、右に就き同州農政官吏及び勞働組合は之れ加州の二の舞を演ずるものなりとて州會をして加州土地法と同樣の法律を制定せしむべく公然運動を開始すべき模樣なりと因に邦人の移住地は近頃排水を終りたる土地にて野菜の培養に適すと

●黄白結婚排斥は愚論　コロンビヤ大學教授フランツ、ボアス氏は過日同州大學に於て黄白結婚に關する講話を爲せり曰く、白皙人種と日本人又は他の東洋人との雜婚を不可と爲すは[illegible]上何等根據無き愚説なり[illegible]の人民は最も勝りたる各人種の混血種族に非ずや云々

●ニユウゴー大將歸任　[illegible]に向ひたる[illegible]大[illegible]のためメーフラワー號を[illegible]用するを許せり

東京電報

●小松宮大妃頼子殿下薨去

久しく御病中なりし故小松宮彰仁親王妃頼子殿下には御藥餌其効なくさせられず廿六日東京御本邸に於て御薨去あらせらる

大妃頼子殿下は故有馬頼成公の第一女にましまし嘉永五年六月十八日御生誕赤十字社其他の公共事業に對し御事蹟少からず

●海軍補充費案無事通過す　廿六日午後海軍補充費案滿場一致を以て衆議院を通過せり會議中前文相政友派大岡育造國民黨領袖犬養毅同志會島田三郎三氏擧て賛成演説をなせり

●日米交渉顛末發表と輿論　日米問題交渉顛末廿六日發表さる米國の無法と日本外交の失敗は熾に評論されつゝあり

●帝國議會の波瀾

廿三日首相大隈伯は帝國議會臨時議會に於て長廣舌を振つて一般施政方針を演説し大藏大臣若槻禮次郎博士は財政方針に就き演説せり藏相の演説終るや待ち構へたる反對諸黨派は八方より攻撃の矢を放ち猛烈に政府に肉薄を試みたるが現政府に對する非難攻撃は大隈首相の施政方針又は若槻藏相の財政方針を論難するより寧ろ司法大臣尾崎行雄個人に對する非難に過ぎざりき

反對諸黨派の尾崎法相攻撃の根據は法相は入閣以前に於て進歩的純立憲內閣組織を標榜し而も大隈內閣成るや其の官僚內閣なるに拘らず前日の言質を顧みず早々之に入り法相の椅子に就けるは無節操無主義の甚だしきものなりといふに存したり大隈內閣前途の困難は豫想以上なる事最早疑ふ可からざるものあり其將來に對し國民多大の危惧の念を抱くに似たり

議會に於ける形勢は急に政友會と國民黨を白熱的政府の步調を一にするに至り現政府派たる同志會は會員中總理[illegible]の黨內[illegible]滿足せしむる[illegible]內[illegible]の兆あり[illegible]政府は殆んど孤立の境遇に陷入れり

●防務會議の組織確立を聲明す　內閣は廿三日陸海國防方針を確定すべき防務會議組織確立を聲明せり右會議は首相大隈伯議長となり岡陸相八代海相加藤外相若槻藏相長谷川參謀總長島村海軍々令部長の六名を以て之を組織する都合なり

●日米交渉詳細を發表せず

日米交渉經過は其詳細を發表せず　加州土地問題に關する日米交渉經過は去月廿六日其大要のみ發表されたるが同廿日加藤外相は右交渉の詳細なる顛末は米國政府の希望により發表せざる事に決せる旨議會に於て報告演説をなせり右に對し諸新聞は何れも米國に向つて不滿足の意を表せるも外相の方針に隨ひ愼重に該問題を思量して一般の民心を激發せざらんと努め居れり尤も日本の要求は全然失敗に歸せりとは衆論の一致する所にして在外邦人の身分を確然たらしむるの時期は到來せりとの觀念を生ずるの傾あり華府來電の報ずる所に依れば米國政府が何故に交渉顛末の詳細を發表するに躊躇せるやは不明なるも右交渉の內容は條約によりて在米日本人の不動產所有權を保護する事に關せるものにして其交渉は遂に不調に歸したるものと信ぜらる

●佐久間臺灣總督重傷を負ふ　廿九日臺北發電に依れば同總督は生蕃討伐中重傷を蒙り目下危篤の狀態にありと

●デニソン氏危篤　外務省顧問米人ダイラード、デニソン氏は癱瘓症に入院中なるが頗る重態なりと、氏は明治三年廿三歳の時吾國に來り同十四年以來外務省顧問として今日に至れり當年六十八

●外交官大更迭　廿六日外交官大更迭の發表あり其異動左の如し

任墺國公使　和蘭公使　佐藤愛麿

任白耳義公使　陸奧廣吉

任和蘭公使　幣原喜重郎

任英國大使館參事官　岡部三郎

宮野領事は現任の儘なるも官補熊崎恭氏はポートランド領事に轉じ來[illegible]三郎氏は市俄古領事に有田八郎氏[illegible]總領事はホノヽル、總領事代理に[illegible]轉し[illegible]氏[illegible]領事は晩[illegible]育[illegible]轉任[illegible]領事は有利代理公使に中村[illegible]氏は紐育總領事に官補山內崎下三氏は紐育總領事館に何れも轉任を命ぜられたり

●帝國議會の賓客アーチー氏　日米協會のアーチー氏(米國下院議員)目下在京中にて去月廿七日帝國議會の賓客として一場の親善演説を試み與議長の答辭あり、同夜大隈伯はア氏を正賓として園遊會を催ほし多數議員の出席ありしが席上伯は日米問題に關する演説をなし米國の邦人に對する人種的偏見は嘗て獨伊兩國人に對せるものと同じく漸次消滅すべく、目下の懸案は今後の交渉により解決すべしと言へりと

日本最近信

●大禮使の設置と大禮使長官の人選　明大正四年十一月今上陛下即位大禮擧行の事に決したるに就き明年四月十一日後大禮使官製を製定し引續き宮中に大禮使を置く事となれり總裁には伏見大將宮仰付けらるべしと尚大禮使長官には初め大隈內相仰付けらるゝ筈なりしも內相には首相の大任ありて到底兩者を兼ぬる事能はず今回は多分德川公德大寺公一條公九條公の內に御沙汰あるべく波多野宮相最も適任なれども御大禮に宮相としてより以上の外役あればこれ亦如何にやと云へり

●大隈首相の演説

財政の方針は曩に發表せる如く前內閣に比すれば多少の變更を來せり凡そ物の變化する場合には之に附隨し更に何等かの動搖を憂ふる者あれども財政經濟の前途については毫も憂ふるを要せず我國は過去數十年の間に於て政治上、社會上、商業上幾多の急變を來し爲に產業狀態も變轉し就中日露戰後の變化顯著なりしは諸君の親しく經驗せられたる所ならん日露戰後十年間に於ける變化を戰前二十年の夫れに比するに實に霄壤も啻ならず財政は數倍に澎漲し國債は約五倍の增加を見たり又戰時稅は永久稅となり數十の會社により經營せられたる鐵道も之を國有として統一せられ民間の事業計畫亦勃興し有價證券も暴騰するの有樣にして戰後財界の景氣は實に旭日の勢ありたり然るに斯る景氣は永續するものにあらずして今日は緊縮の時代に到達せり之が整理は當然遂行せられざる可らず即ち稅制を整理して國民の負擔を輕減し又國債の濫發を防止するの必要を來せり或者は外資さへ輸入すれば商業の殷盛を來すべしと思惟するが如きも外債が金にて入り來らずして物品にて輸入せらるゝに於ては何等效なきのみならず經濟界は爲に新たなる苦痛を加ふべし成財界の現狀は郵便電信電話を始め事業計畫の發展手形交換の增加など何れも健實なる發達を來たし國力增進の速力は之を英米獨佛諸國に比するも毫も遜色なし政府は元來消費者の立場に在るものにして生產者に非ず政府か生產者となれば民業と競爭する事となるか故にかゝる政策は排すべきなり尤も政府は間接の生產を爲す事あり例へば國防の如きも其直接の目的は無論生產事業に非ずと雖も間接に生產的效果を生ずる事なきに非ず又曩に發表せる財政方針中每年公債五千万圓の償還を遂行したるを三千万圓に變更せんとするに對し種々議論する者ありと雖も之を過去に徵すれば五千万圓を償還する一方に五千万圓乃至六千万圓の新公債を發行したる事あり此の如きは今回非募債方針の下に三千万圓を確實に償還するものに比し優劣何れぞや

●海軍の技術審查部　海軍省にては技術審查部を新設する事に決定したるが審查部は海軍大臣に直屬し製艦材料及び兵器を通じ一切の審查機關に從ふものにして艦政本部は審查部の同意を經ずして單獨に材料を購求し又は艦船を注文する權能なし從つて收賄等を防ぐの一端となる可きも元來收賄問題の如きは全く人格の如何に依るものなれば技術的專門智識ある人物以外に淸廉なる人物を重要の地位に配する方針なりと

●日米議員會議　萬國議員會議日米議員團は本年八月ストックホルムに於て日米議員會議を開く事を決議し日本人團長より右の趣を米國議員團長に照會せしに二日華盛頓發電報を以て米國議員エーメー氏より快諾の旨通知ありたりと

●樺太長官更迭　五日左の如く樺太長官の更迭發表ありたり

任樺太廳長官　栃木縣知事　岡田文治

依願免本官　樺太廳長官　平岡定太郎

●栃木縣知事新任

任栃木縣知事　從四位勳五等　北川信從

●オイケン博士　豫て來遊の噂ありし獨逸の哲學家オイケン博士は其後三並良氏との間に再三書面の往復ありし結果遂に來九月を以て來朝し東西兩大學を始め其他の團體の招聘に應じて講演を爲すべしと

●邦人の醜業婦　シンガポール政廳より退去を命ぜられたる邦人醜業者五十餘名は北野丸にて四日內地に向へり是等の連中は女郎屋の主人又は婦女誘拐者無賴漢等にて英政廳は網打盡的に退去せしめたるなり

寄書

舞蹈學校に就て

チー、エス生

舞蹈を學ぶ人々のために學校の事を述べて見やう、舊式ダンスの時代は廣き新育市內にも舞蹈學校といふものは指折り數へらるゝ程であつたが新式流行の世となりて此等の學校の設立せらるゝもの非常の數で試に日曜新聞を一見すれば直に了解るであらうが是等の中には隨分的にならぬ所もある授業料も一回五十仙より廿弗に至る尤も五十仙や一二弗の一回といふのはい分の事なれども五弗以上のものは大抵一時間位のものである、初學の者は矢張り最初はプライベート教授を受くるを必要とす若しくは速成を望まば五六回プライベート教授を受け然る後學校に入らば教師に引かれ乍ら踊れ得べしされど舊式ダンスの心得ある人は敢てプライベート教授を受くるには及ばず、ブロードウェー街のアップタウンには多くの學校あれども其群細は余り多く知らねど中には可なり授業料の高い所もあらんと思はる四十二丁目のウィルソン氏の所などは十弗以上にて四十六丁目のキャッスル氏の所は廿五弗なり是等は富豪連の遊び場所で實際授業料が高いからとて早く覺へる譯でもなければ又教授法が特別好いと云ふ譯でもない、普通プライベートレッスン一回一弗四回五弗又は六回五弗なり、時々廣告には八回五弗などゝあるを見受けるが是は教授時間を短縮した結果であらう、マキシツセ、タンゴは二倍の授業料を取る所多し、新報の廣告にあるマーシャル孃は一回一弗六回五弗にてマキシツセも二倍は取らず私宅の事なれば初學者の學ぶには何人にも見らるゝ事なく又親切に好き所なり

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船 大阪商船
シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年一弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲在米日本人（英文）　河上清氏近着　定價一弗五十仙

▲米國實業經營法　御原資不氏著　定價一册金壹弗

紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲九月若くは十月上旬出發
▲日本滯在約百二十日間
▲旅程規則書により當方より來電遊覽
◎實意の方は至急照會あらん事を要す
▲飛行家、實業家及び家族の同伴者加入者を歓迎す、委細面談

紐育母國訪問團本部
紐育市第六街二參八
主催者　林　富平

●飛行機製作大家來紐

伊之吉氏

紐育渡來の飛行機製作家（秦野）伊之吉氏は新飛行術の進歩と共に日本人中飛行家を以て其名を轟かさんとする者續出するに至りしは我人の素質とする所なるが其飛行家を擁せる高き雲間を飛翔せしむる飛行機の製作術に於ては日本の製作者を發揮し米國は素より世界各國の飛行機製作家をして後へに着たらしめんとする同抱負は

●着たらしめんとする同抱負は現はれたり、此人は目下當州ロングアイランド、ミネオラ飛行練習所に製作工場を所有し居る秦野伊之吉氏にして氏は十二年前米國に來り造船技師として紐育の造船所に就職し五ケ年前飛行界發達の氣運を察して自ら同機の製作に身を委ぬるに至り紐育飛行協會より特に抜擢せられて當地方

唯一のミネオラ製作場を引受けたるものなるか快速力を以て著名なる米國の飛行機盛頓號の推進器は同氏の設計製作に成りたるものにて來る獨立祭當日飛行家スミス氏の試みんとする飛行機並に人命安全裝置（高空より墜落し機關破裂するも搭乘者の安全を保つ裝置）は氏自身の獨創新案に出で其速力は從來のレコードを破るならんと想像せらる同氏か今回二名の邦人練習生を募集するに至りし理由は決して學校じみたる事を爲さんとするには非ず實は故國より氏の歸朝を促がし來る事切なるも自身歸朝せば折角從來築き上げたる苦心の結果を外人の手に委ねざる可らず斯くては同胞の名譽のため如何にも殘念なればとて偖こそ充分意志の堅固なる青年二名を選拔する事となりたる次第にて可成五六ケ月間に極意を授け同工場の支配を囑托するに足る丈の實力を養はしめん考なる由、因に練習生は單にプアニシュの練り方を修業するのみにても一人前の職業を覺ゆる事を得べく希望者は石に噛み付いても目的を達するといふ意志の堅固なる人物に限る由なり

●桑港許議員多數任命せらる　桑港一月以下内閣各省次官、議員、實業家及び在米邦人の中よりは長澤鼎、高峰讓吉、高等書記の諸氏今回桑港大博評議員に任命せられたり事務官長山脇春樹氏事務官石井康吉氏等來七月四日渡米の途に就くべしと

●日章旗破棄さる　練習艦隊淺間吾妻を歓迎すべくタコマ在留民により飾裝されたる歓迎船に米國々旗を立てず日章旗のみを立てたるに其際保安の任にありたる巡査ブライアンは日章旗目懸げて遂二無二之を引破つて放棄せり而してブライアンは日く余は苟も本職に在る以上自國に於て歓迎さるべき艦船等か我本國旗を立てず獨り外國々旗のみを立つるは本國約法に背くものなり余は愛國心の發作より斯くせざるを得ず敢て日本國に對し惡意あるものに非ざるなりと

●日本人會と証明書　從來總領事館にて取扱來りし在留同胞の證明事務を同會に於て取扱ふ件に就ては豫て飯島總領事より外務省に交渉中なりしが去一日許可の趣通告ありしを以て今月以後の證明願は同會へ申込むべし但書式手續等從前と同じ

●新任駐支公使日置益氏着市　一日

午前着ホテルアモターに投宿翌二日午後八時晩香波へ向け出發せり來る九日同地發の亞細亞號にて歸朝する筈なり氏の南米談は載せて本紙第一面に在り

●牧師網島作吉氏　宗教的啓發運動のため渡米し前月來西部巡講中なりし同氏は來七八日頃當地着の筈

●オッタソ領事矢田長三氏　は目下當市滯在中なり

●飯島新智利公使出發期　は多分十八日

飯島氏へ銀杯贈呈　當地日本人會は同會組織、日共合併等に對する氏の功勞に酬るため銀杯を贈る事とせりと

●井上信氏と天野常子孃の結婚　三井物旃の井上氏と森村組天野重次氏の令孃常子孃との婚約成りたる旨過日發表されたるか結婚式は九月頃なりと

●安井涙泉氏の入學　前日米週報主筆たりし同氏は地方自治並都市問題研究のため今回コロンビヤ大學に入校せり

●ダイクマン教會の說教　ダイクマン街附近に同胞の家庭約十軒人口約四十あり牧師原田爲造氏は之等の同胞に精神上の慰安を與へんとの目的を以て同街とブロードウエーの角なるワシントン、プレスビテリアン教會に於て七月五日午後四時より說教會を開き尚時々開催する筈

●外國直一氏歸傳　去廿六日出發伊豆に歸れり

●野澤屋店員山崎信藏氏死去　同氏は去一日病死したり

●千本木正治氏の生命保險代理　本社員千本木君は今回紐育生命保險會社の代理人となれり汎く被保險者を募る

●森村組府員中山武夫氏新婚　同氏は今回ニユーブライド五百子同伴過日故國より歸店、兩三日内にチカゴ支店へ赴任、氏の母校なる横商出身の人々十四名は一日夜料亭若松に於て新婚祝賀の宴を催せり

●「朝日」の代がはり　高等旅館料亭朝日は今回早田兵藏氏夫妻之を讓り受け諸事大改良大勉强にて千客万來を待つとの事にて室内の裝飾其他面目を新たにせり

●墺國皇太子並妃殿下暗殺せらる　墺國皇太子フランシス、ファーヂナレド並妃殿下には去月廿八日新領土ボスニヤ市へ行幸相成り同市の催しにかゝる歓迎會へ御臨席の途中突然殿下の自働車目懸け一曝裂彈を投じたる兇漢あり殿下には早速手を以て之を拂ひ退け曝裂彈は供御の士官數名を傷け殿下には僅かに危難を免れ給ひしが歓迎會終了後前記負傷士官を見舞はんとて病院へ御成の途中又もや一人の青年現はれ短銃を以て兩殿下を射撃し二發の彈丸は美事兩殿下の急所を貫いて無慘の死を遂げさせられたり、兇行は政治的陰謀の結果なりと

新育日本間郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
アジヤ	晩香波	七月　四日
滿州號	桑　港	七月　九日

●日本より到着日

七日
九日
十五日
十七日

飛行練習生二名を募る

本工場は創立以來五ケ年間世界各國の異りたる飛行機十八臺を製作したるが今回意志の強固なる日本人二名を限り實地練習生として募集す

一、飛行機製作設計
二、飛行船の構造
三、推進器の作法
四、瓦斯リン機關の使用法

以上無報酬にて教授す、但し衣食住一切の費用は自辯の事

希望者は至急申込まれよ

ロングアイランド、ミネオラ
秦野飛行機製作工場
造船技師　秦野伊之吉

化粧品卸賣廣告

本店製　香水、トイレットパウダー、サシエパウダー

客引の商品なり

御試驗の上御高評を乞ふ

紐育市東第十七丁目三
御申　五味商會
3 E. 17th St. N. Y.

讓受御披露

私共儀今回豫々御愛顧を辱ふせし朝日を讓受け、食堂の裝飾、家具、食器等新調の上全部大改良を施こし尚は勿論御料理原料品は時節柄専ら清潔新鮮を貴び凡て夏期衛生に適するやう大勉强にて御高需に應じ可申候間何卒賑々敷御來臨のほど伏て奉希上候

紐育市西三十九丁目四八
高等旅館 會席和洋御料理　朝日
早田兵藏
同　みき
電話グリーリー二七九八

▲法律顧問▲

民事及刑事訴訟　一切

契約其他の書類編成、貴金取立等總て法律上の依頼に應ず、鑑定無料希望者は新報社へ申込まれ度し

辯護士　ハイマン、アール、シーガル
HYMAN R. SEGAL
ATTORNEY AT LAW
299 Broadway New York

各種革箱製造

當社製造の ファンシー ケースは日本雜貨店及び玉屋等に缺くべからざる必要品なり



御一報次第カタローグ御郵送可仕候

J. CAROW & CO.
85 Warren St., New York City
Tel 5752 Barclay

ダンス教授



プライベート 夜會及び舞踏 最近流行ダンス

多年の實驗を有し日本人諸君には特別叮嚀親切に教授す、授業料は一回プライベート、レッスン　一弗
六回プライベート　レッスン　五弗

Miss Alice Martin
1695 B'way bet. 53rd and 54th St.
Phone Columbus 3564

▲發賣禁止揃ひ

男女の生活　發賣禁止　海野幸德著　定價一弗二十五仙
本書は著者獨特の輕妙なる筆法を以て露骨に男女の性的生活を説明せしものなるが内容に激烈を極めし結果遂に其筋の發賣禁止となりし物也

發賣禁止　質疑應答 戀愛問答　秋琴女史著　定價四十仙
本書は風俗壞亂安寧秩序紊亂の下に發賣禁止となりし奇々珍妙の書なり

發賣禁止　ポケット 女醫者　白雨樓主人　定價壹弗
本書中（生殖器篇）生殖器解剖に當りては露骨に且つ痒き處に手の屆くが如き猛烈なる筆法に依り說明せし故か出版と同時に發賣禁止されしものにて世界無類の珍書なり

發賣禁止　きむすめ論　北澤正悖著　定價壹弗

色情思想の解剖

菊池幽芳の作　空前の大傑作　愈々完成　定價九十五仙　好評

百合子　定價前一弗十仙中一弗後一弗十仙
目下故國に於て槊園界の大立物たる百合子は大坂毎日新聞の連載せしものなるが婦人の髮は中す迄もなく衣裳に至る迄近百合子形の模様を以るまでに流行せし近代稀なる一代傑作として本書を讀んで泣かざるものは鬼なり

▲浪六先生の新著　現代思潮 男女の戰ひ　定價上下各九十五仙

▲蘆花德富健次郎著　みゝずのたはごと　弟卅二版出來　定價一弗五十仙

羅府東一街二五〇
書店　博文堂
250 E. First St. Los Angeles, Cal.



當シャトル市御滯在の御方の御便宜に御取扱可申上候

藤井旅館支店　ホテルタコマ

室數二百廿二、清潔風呂場の準備と各室の設備極完全

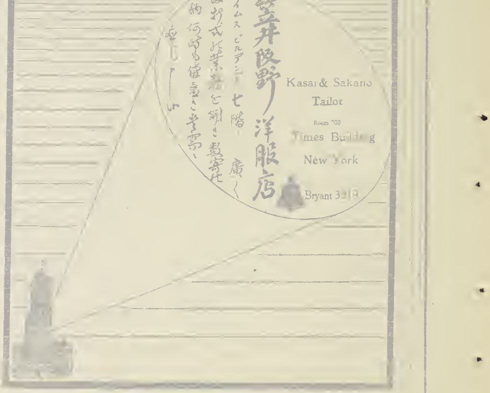
HOTEL TACOMA
Jackson St. Seattle, Wash.

美味にして清潔
支那料理　品南樓
午前十時より午前六時まで開店

御下宿　吉田宗章
●球塲あり●

▲ニューヨーク生命保險會社
代理人
千本木正治

TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO
菊地寫眞館



涙の様々(一)

漁父

心理學者は悲しいから泣くのではなくて泣くから悲しいのだと云ふこれは一寸通常人から考へると道理に叶はぬやうだが學者の云ふとだからちやんと理屈に叶つて居るさうだ斯ふ云ふ方面から研究したら涙なぞは少しも價値のないものであらうが同じ顏から出る汁でも涙は清くて情趣が湧く併し女々しい唾なればカタズを呑んで功名手に唾してとか云つて非常に男らしいが涙を流してとは余り元氣がない、デあるから武士は涙を拂つて戰の首途と云ふ女々しいから女でも愼み深く意志の强いものは人の前で泣かぬものとしたものだ西洋の貴婦人が哀情禁じ難く我知らずつい人の前で泣いたさうだが直樣心付いて何とも粗忽を致しまして誠に失禮でしたと詫びたさうだ涙は清くて情趣があるけれども又大ひに人の興を削ぐ場合もある自分が悲しいからつて決して人が悲しい譯のものでない泣いて人の同情を求めやうなど〻は尙以てシミッタレな根性で人の前で泣くといふ事は非常に人に不快の感を與へる社交に立つ人は例令一人と一人と相對の場合でも爲すべき事でない況んや多人數の前では併し感情といふものはさう行かぬ平生は意志の力で抑へつけても時に情の方が打勝つてつい人の前でも悲しみ極まる時には泣くものである我しらずつい涙はこぼしたけれども直ぐ氣がついて詫びたのは流石に交際界の貴婦人である斯うした譯のものであるから陰にまわつて人知れずほろりとこぼす一滴こそは一層情趣のあるものである

●郷友の觀たる 山座公使(二)

某外交官談

▲伊藤公を殺せ　彼の外交官生活は大別して二期とすることが出來る第一期は廿七年仁川より上海に至り間もなく彼の洪鐘宇の金玉均殺害事件を處理して初陣の功名を博したる時第二は政務局長時代第三は支那全權公使時代である政務局長時代には伊藤公の親露政策を憤慨し黑田邸に於て福岡縣人の招待會か開かれた席上大醉して「臆病なる伊藤公を殺して仕舞へ然らば日露戰爭の火蓋を切るべし」と大言壯語したものだが此事伊藤公の耳に入り危く政務局長の椅子をフイにする處であつたのを小村外務大臣の保證によつてヤット頸をつなぐ事が出來た、小村公は平常から山座の材幹を識り深く信頼する所があつたらしい併し政務局長時代は恐らく余り得意ではなかつた政務局長といへば如何にも一國外交上の樞軸を握り思ふがまゝに抱負を行ふ事が出來るらしく聞へるか實際は一個刀筆の吏先づ電信課長と云ふ格に過ぎない

▲失意か得意か　支那全權公使として赴任當時男兒畢生の快事として大抱負を載せて北京に赴いたに相違ないか相手は老猾極まれる袁世凱周圍には世界の舞臺で鍊へ上げた列國の大使公使が各々自國の利權爭奪の渦を卷いて居る中へ飛び込むだ事だから山座の快心敏達を以てしてもソー捗々しき成績を擧ぐる事は蓋し困難であつたと思ふ要するに外交の事は公使の手腕力量といふよりは其背後に控へる國家の實力如何に依つて定まるものであるから彼の勝氣滿々たる平常に徵し夫の呂黎の謝罪事件といひ最近に於ける米國と關聯せる廣東不割讓内約問題といひ彼れの頭腦を刺戟したのは尋常一樣で無かつた事と信ずる併し彼れか今回の歸朝は加藤外相に對し親しく對支外交上の抱負を披瀝し其進退を賭するにありし事は疑なき所である

▲水野も一個の手腕家　昨今世間は山座か水野參事官と何か不和を生じて居たかの如く傳ふる者もある、或は然らん、水野も去るもの、日露戰爭の時は旅順を陷へしチーフーに在りて面倒なる國際關係の衝に當り一回の落度もなかつた丈外務省に在る時などは大手を振つて横行濶歩したといふ勿論北京に在りては其資格に於て彼は全權公使たり我は參事官だといふので表面服從の義務を缺くか如き衝突は無かつたが漢口、廣東、華盛頓などで修行したヤンキー仕込とて萬事飽迄テキハキ遣りつけねば承知せぬ水野の事だから一々盲從にのみ甘んぜ無かつたのも無理はない又山座の方でも元來歐米の大使館に置くべき參事官を北京の公使館へ持つて來たのは聊か異數だと嫌に思つて居る殊に乃公にあらずんば對支外交をとの氣位のある山座だから窃に不快を抱いたのも無理はない最初の程は水野の才氣を買つて仲好くしたもの〻此頃の樣に立場がグレハマ續きとなつては多少の衝突はあつたらしく考へられ、何にもせよ一時に前途有爲の二外交官を失ふたのは情みても尙餘りある事である(終)

投書欄

クリーブランド市の自働車熱中家の鈴木氏は來年開催の桑大博に出掛けるべく自用のオバランド自働車で米大陸横斷する由ぢやがジャップでスポートの嚆矢であらう(スポート生)▲飛行術が進歩して大西洋横斷愈々成功とは萬歳ぢや吾々日本人も西洋人に負けぬやう大に奮發せんといかん(高空狂)▲舞蹈會大賛成同胞諸君が田舍から歸る迄に下相談をしては如何(舞蹈好)▲○中とか畑中とかいふ人の離婚騷ぎはをやぢのシミッタレも惡いが妻君にも賛成出來ぬ所がある、妻君のバックに黒い形か出沒するとは夫れや本當かい(泥中生)▲モーシ篩屋さん何でも構はずに皆んな投書を出すから威目體では君をゲヂ／＼のやうに嫌つちよるよ(上町小僧)▲ハロー／＼君は○○君かウン宜しい今晩だねーハーハー解つたヨショシ妻君にはだまつちよるよハヽヽヽヽ例の八十〇丁目か、支那飯を食つてからだ、オーライ、グードバイ、何の事か薩張り僕には分らなかつた、之は第五街の四十丁目邊で赤ら顔の男の電話で御座い(餘計生)▲領事さんが矢鱈に代つては困るぢやないか、紐育の總領事館は新らしい顔の人許りで何もかも盲目滅法(天眼通)▲朝日には愛くるしいオノちやんが居る上に美人の妻君美喜子女將がダブ／＼タップリの愛嬌を振蒔くさうだから是が非でも一寸行つて見ねばやり切れぬさうなり、尢も野心を不可起(太鼓持の寵係り)

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave., N. Y. City
Tel. [illegible] Chelsea
Subscription Rate
[illegible] a copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd, 1879

有料購讀料定價一ヶ年前金郵税共
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵便認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チェルシイ

維爾遜氏の演說と加州土地問題

米國大統領維爾遜氏は獨立祭當日費府獨立館に臨みて一場の大演說を試みたり、館は十三州民の生血凝つて一團となり今日世界唯一の大共和國として雄を世界に稱ふるに至らしめたる基を開きし所、壇上の人は是れ歷代政治家の踏襲せる優勝劣敗、弱肉强食の外交政策に代ふるに正義公道不偏不黨の仁道外交を以てせんとする理想的政治家たり、一言一句氏が長舌の飜へる度毎に聽者の感興更に淸且新なりしもの蓋し宜なりと云はざる可らず、吾人は愛國心の定義に就て氏の論據の徹底せるや否やを知らずと雖も其「此偉大なる勢力を以て吾等が獨立當時吾等自ら耐へ難しとなせる苦しみを他國民の頭上に加へんとするは斷じて不可なり」と言ひ或は「吾等は建國の精神を正義公道に措き異種族異國民の差別なく世界の自由を欲する者に吾門戶を開放せり獨立は單に吾米國民の私慾を滿たす爲のみには非ず」と論ぜしが如き氏が理想政治を實際政治に應用して新たに仁道外交の端を開き米合衆國の地位をして世界列國の間に九鼎大呂より重からしめんとするの意氣を示せりと言ふ可く殊に「余は世人よりパッチシア（政略家）と評せられ久しく海外發展の急要を唱導せり」と言ふに至つて氏自らは權謀機略を弄する世の所謂政略家たる事を恥とし眞個のステイトマン（政治家）として其公生涯を一貫せんとするの抱負を有すと見る可く其人格の崇高偉大なるに於て吾人は心から私かに欽仰畏憚の念を發せざらんとするも得可からざるものあり、其此欽仰するに足るべき理想的政治家が「人種的偏見」（人間の感情に基づ[illegible]）を發せる米國人の排東洋人問題に向つて如何の態度に出づ可きか將た又「差別的待遇」を其根本精神となせる加州土地法の處分に關して如何の手段方法を講ずべきやは吾人の切に聞かんと欲する所たらずんば非ざるなり

排日問題の根本原因を解せる吾人はプラクチカルの議論として、漫りに維爾遜氏の仁道論を云爲し以て加州土地法問題の未解決を咎めんとする者には非ずと雖も而かも「世界人類の幸福と國家國民の利益との調和」を以て理想とせる此大政治家は少くとも世界に對する吾帝國の體面を重んずるの義務ある事を看取せざる可らず、吾人は地方分權を其主義とせる民主黨內閣が加州人民の內事に干涉する事を好まざるを知る、吾人は排日問題は道理を以て判斷し難き人種的感情に基けるものなるを知る、吾人は又維爾遜、武雷安の諸氏が吾政府の抗議に對して內心加州土地法の不法不理を知悉し乍ら一般人民の與論を代表せる爲政家として表面上三百代言的の辯疏を試みつゝあるの苦衷を察せざるに非ず、殊に況んや所謂米國の政治家等が永久に彼等の[illegible]を[illegible]せんとする黑人問題に想像し[illegible]に新たなる黃人問題の將來を思ふて胸中轉た[illegible]然たるものある[illegible]吾人の[illegible]して同情に堪へざりし所なり、[illegible]如く米國政府の立場如何を知悉せる吾等は「紳士協約」に於て將又布哇轉航禁止法に於て堪へ難き[illegible]を忍び[illegible]傲慢無禮なる滿鐵中立[illegible]案に會しこさへも[illegible]に無限の恨を[illegible]「日米親善」を唱へ、勝[illegible]ら[illegible]る[illegible]を受けては種々な[illegible]も[illegible]に應じたり、日本の是[illegible]を見透かし居るルーズベルト式の米國政略家等が此意氣地なき吾等の態度を顧みて心私かに嘲笑を禁じ得ざるもの[illegible]なしとせんや、而かも之以上の屈辱を忍び、國家の威信を[illegible]世界列强の[illegible]笑を受くるは壯[illegible]有色人種の先鋒として白禍の[illegible]例を支へつゝある吾等の到底堪へ難はざる所なり、英米已に[illegible]條約に[illegible]及して[illegible]約は或は失敗なりしやも知る可[illegible]而かも其精神に於ては失敗に非ず、諸君は條約遵守の義務を[illegible]れ國家の威信を[illegible]の特殆を望むか、世界の偉大なる國家は約束を誠實に守る國家ならざる可らず、余は一個の男子として此約束を守らん

と公言せる維爾遜氏が日米條約と加州土地法との解釋に於ても同じ其精神に於て錯誤なきを期し少くとも「條約に依りて歸化權を許す」の方法に出ずるか、但しは其他の方法に依りて加州土地法を無效ならしめ吾帝國の體面を立つると共に自國の威信を保持するに努むべきは吾人の信じて疑はざる所、若し之れ無くんば維爾遜氏の仁道論は[illegible]人の專用にして黃人の師[illegible]すべきものに非ず、其政策や畢竟するに[illegible]頭狗肉の類のみ、

西の方より

桑港　天覺漁人

▲西の方には阿彌陀如來様が御座[illegible]ので極樂淨土へ行けるといふのは東[illegible]

[illegible]

東京電報

●山内海軍中將自殺未遂

海軍[illegible]に關係し[illegible]步中なりし[illegible]軍中將[illegible]報は進日[illegible]實は[illegible]の[illegible]を打ち[illegible]自殺を[illegible]なる[illegible]

●日本政府の對米再回抗議　[illegible]日附を以て日本政府[illegible]る加州土地法問題に關する米國政府の回答に對し[illegible]抗議書を送達する[illegible]に決定したり[illegible]

●臺灣生蕃[illegible]目難なり[illegible]と傳へ[illegible]臺灣[illegible]猛なるタリ[illegible]討伐に向ひたる[illegible]軍は頗る[illegible]をなし[illegible]ありとの[illegible]二日飛電し來れ[illegible]政府は少數の[illegible]を以て高[illegible]服の[illegible]に充て居たるも斯くては[illegible]引くのみにて効果の擧らざるを[illegible]り今回斷乎として大仕掛の征討を企つに至りしなり

●次期州會に排日案出でなば　桑港[illegible]州會中に開會さる[illegible]次期州會に於て排日的議案附議され或は排日法の制定を見る事あらんか之が[illegible]かに招待せる賓客に對し國際[illegible]を無視せる横暴の行爲なりとて怒れる[illegible]の激昂[illegible]に達し遂に收拾す能はざるに至らんと

●[illegible]外人は[illegible]　東京[illegible]所[illegible]は海軍[illegible]に關し[illegible]られたる[illegible]に[illegible]三ヶ年シー[illegible]ンス[illegible]ニ[illegible]グル[illegible]會社日本支店總支配人獨逸人[illegible]ルマンに對し六ヶ月の[illegible]を求刑したり

●本願寺[illegible]件中の責任者たる[illegible]役[illegible]は[illegible]されたり

●[illegible]大相撲五十[illegible]二十九日[illegible]ノルル[illegible]を出帆[illegible]なり

日本最近信

●新國會開會の打撃　[illegible]政友會[illegible]會[illegible]の情勢に一變を來したるは[illegible]民氏は大[illegible]氏を[illegible]國民[illegible]の[illegible]を[illegible]するの[illegible]らず[illegible]に[illegible]富さず[illegible]新[illegible]政友會に[illegible]然[illegible]して國民黨に[illegible]を表し非政友[illegible]の合同成らざる事が今[illegible]なれる今日[illegible]國民黨の好意を[illegible]とせつゝあり殊に國民黨の[illegible]同志會に對する反感著しきため[illegible]に依り[illegible]國兩派提携の傾向を示さるも大養氏の同志會に對する作戰が政友會の附け込み所にして原總裁が大會の演説に於て同志の士と提携し[illegible]之を排せずと聲明せる[illegible]は[illegible]の消息に對し豫め備ふる所ありしに外ならず更に原氏が政府の方針を難じて官僚政治の復興を説き政府の態度が挑戰的なるが爲に相當の警戒を加ふべき事を説けるを見れば[illegible]に政友會の新結束を圖ると同時に外は國民黨を牽制して政府並に同志會に當らんとする意圖を窺ふに足る要するに政友會の國民黨に對する關係は今回の總裁更迭によりて頗る狹隘となりたる感ありといふ

●財政秘密の公開　大藏省に於ける[illegible]案たりし正貨準備及預金部の公開は大隈伯の持論たりしのみならず實業家及新聞記者團の要望する所となり[illegible]に[illegible]の形式を以て同省理財局より發表さるべし

●第二次の實業家召集　政府は今回の實業家召集を以て大体成功したるものと認めたるが如く今後も有ゆる機會に於て實業家と接觸せん方針なるやにて[illegible]に保險業者大會及び商業會議所聯合會等にも關係大臣出席して政府の所見を披瀝し懇談の途を講ずる[illegible]にて[illegible]總會後に於て他の[illegible]方法により各種[illegible]業者と[illegible]の方法を講ぜんとするものゝ如く或は第二[illegible]より察するに政友會は成るべく[illegible]

●地方官交迭

[illegible]地方長官の更迭を[illegible]された

任[illegible]知事　[illegible]大分縣知事　[illegible]

任[illegible]知事　[illegible]縣知事　湯淺　倉平

任[illegible]知事　[illegible]　[illegible]

任山梨縣知事　[illegible]長　[illegible]

任[illegible]縣知事　[illegible]　[illegible]

任[illegible]知事　[illegible]　大[illegible]

任[illegible]知事　[illegible]書記官　三松　武夫

任[illegible]知事　[illegible]縣知事　笠井　信[illegible]

任[illegible]山縣知事　香川縣知事　[illegible]小五郎

任和歌山縣知事　和歌山縣知事　川村　竹治

任香川縣知事　大坂府内務部長　[illegible]　嘉平

任高知縣知事　山梨縣知事　若林　賚藏

任佐賀縣知事　山形縣内務部長　大味久五郎

任沖繩縣知事　岩手縣知事　堀　定次郎

福井縣同　香川　輝

鳥取縣同　川島　純幹

高知縣同　永井金次郎

佐賀縣同　不破　彥磨

沖繩縣同　高橋　琢也

文官分限令第十一條第一項第四號により休職被仰付

●尾崎法相談　第二臨時議會に對する政府の希望は單に大正二年度所要の海軍補充費六百五十二萬八千圓の通過に在り而して該要求に對しては貴族院の多數黨たる政友會に於ても何等反對せざるべき形勢なるを以て議會は無事終了すべし若し政友會が多數を恃みて徒らに反對するが如き事あらんか議會は無論解散の外なし政府は假令政友會が柔順なる態度を取るも此際敢て解散し國民に對して信任を問はんと欲する念なきに非ず併して帝國議會の[illegible]として格別の理由なく只[illegible]を問ふために解散する譯にゆかず從つて解散は今冬の議會に於て大正四年度豫算討議に當り政友會より現内閣に反抗し來る場合に於て行はる[illegible]四[illegible]の[illegible]より察するに政友會は成るべく[illegible]

●大丸吳服店破産　大阪[illegible]東京[illegible]後町二丁目/[illegible]は[illegible]を代理人として[illegible]に對する三萬圓の債權の[illegible]ため店主[illegible]村正太郎[illegible]を[illegible]地方裁判所へ[illegible]申請を爲せる善七の債權は本年三月七日附振出の約束手形二[illegible]一万五千圓の[illegible]六月四日に指定銀行大取引銀行[illegible]に指示したるも[illegible]不足の理由を以て支拂を拒絶されるものなり大丸吳服店は一般經濟界の不況に伴ひ營業上の成績兎角順調を欠き金融に窮したる結果本年五月下旬より支拂停止の餘儀なき狀態に入りたれば一般債權者に向ひ日下[illegible]猶豫を求め居る事實ありとの事なりと

●[illegible]議會の黨派[illegible]臨時議會召集[illegible]日に於ける衆議院の黨派別左の如し

▲政友會二百六　▲同志會九十

▲國民黨三十五　▲中正會三十六

▲無所屬十

●勞働黨結社禁止　十七日午[illegible]より結社禁止の命令を受けたる日本勞働黨なるものは最近東京市[illegible]外[illegible]三名の[illegible]出でにかゝれる社會主義者の集團なるが社員は僅かに[illegible]名を出でざる極めて微力なるものにて特に[illegible]の如き何等の素養ある者に非ずこれを放任するも別段[illegible]影響を及ぼすべしとは思はれざるも從來の社會主義者取締の方針に依り之を禁止したるものなりと内務當局は語れり

●[illegible]出獄者保護　頃日憲昭皇太后大故に依り減刑特赦出獄者の保護に關し内務省は既に當時地方長官に對して夫れ[illegible]先例に基き適當なる措置を取るべき旨訓令する所ありしが尙其後多少[illegible]書の必要を認め文部省とも協議を重ねしが一二成案を得たるを以て更に各部省と交涉する事となり六日より該交涉を開始したれば最近[illegible]等[illegible]の形式を以て發表さるべし

●英國に於ける本邦醬油の需要に就て　[illegible]英國製ソース[illegible]は其主要原料より分類して獸肉性魚肉性植物性の三種に大別せらる換言せば獸肉及魚肉及植物よりせる[illegible]汁をエッセンスと爲し之に夫れ[illegible]適當なる調味料を混和して製造するものなり其調味料は醬油、鹽、酢、魚肉、胡椒及芥子等を主として使用せらるゝもの[illegible]如く就中醬油は調味料と云ふよりは寧ろ主要元料と稱するの適當なるほど專く使用せられ英國製ソースにして醬油を混ぜざるもの殆んど稀なりと云ふも過言にあらず而して最も廣く使用せらるゝは支那醬油なり支那醬油に比して遙に優れる本邦醬油が銚子[illegible]山十[illegible]のヾーミングハムに[illegible]ピットマン商會製造にかゝるヘールスマーの原料に使用せらるゝ事を除きては殆んど原料として使用されず英國に於けるソース其他の原料に使用せらるゝ醬油は十と[illegible]して廣東產にして本邦醬油の微々として海外に振はざるに拘らず支那醬油が斯る優勢なる地位を贏ち得たるは[illegible]に[illegible]せる[illegible]か[illegible]に[illegible]の[illegible]本國に[illegible]

●巴西移民頓挫　[illegible]巴西移民會社は東洋、竹村兩移民會社に對する契約停止と共に一頓挫を來たし爾來僅かに自由移民として個々に渡航する外何等の途なきに至れるが今秋の拓植事業も種々の事情のため豫定の如く進捗せず卽ち今春着手する筈なりし家族移民の募集も今尚見合はするに至らざる狀態にて聞く所によれば東洋移民會社は嚢にサンパウロ州イクワペ郡にて五萬町歩の外に更に今春海岸寄りのジョプラに一千町歩の地所を無償にて借受けし[illegible]國等働者の[illegible]より白餘名を雇入れ五六十町歩を開墾し米の試作をなしたるが今夏の收獲を待ち右試作の成績を基礎として大体の方針を定め明年より家族移民の募集を爲す計書の由[illegible]の[illegible]定に從へば事業着手後五年間に[illegible]二千家族卽ち毎年四百家族を送る[illegible]

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次　日本郵船 大阪商船

シカゴ、ボストン、[illegible]、ルヒヤ其他東部諸市の地方より新聞[illegible]

▲手紙取次　手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

米國實業[illegible]　實業經營法

紐育新報社

▲母國訪問團員募集

▲定員卅五名

▲九月[illegible]
▲日本[illegible]
▲詳細規[illegible]
◉注意[illegible]
▲飛行[illegible]

紐育母國訪問團本部

主催者　林 富平

●海外成功の婦人

[illegible]

▲[illegible]三四十名の[illegible]

▲母國の觀光に來た人の為に[illegible]

●[illegible]大使と西部加州排日案

●アラスカの噴火　シーワード市發電によればアラスカの大噴火山カトマイ山は目下盛んに噴烟しつゝあり

●飯島智利公使出發期　同公使の任期は十八日の筈なりしか都合により繰り上げられ十五日[illegible]

●羅府の牧師騷ぎ　加州ロサンゼルス市日本人組合教會牧師古谷孫二郎氏[illegible]

●[illegible]

●米國ミリャードチャンピヨン[illegible]

●米國流行界の[illegible]

●飛行機製作家の[illegible]

新日本間郵便發着表　紐育

ニューヨーク本局締切午後六時まで

船名	經由地	發送日
シャトル丸	タコマ	七月十六日
ジャパン	香晩夜	七月十八日
モンラグル	同	七月廿四日
日本丸	桑港	七月廿三日
メキシコ丸	タコマ	七月卅一日

●日本より到着日

十五日	十七日
二十日	廿五日

▲廣告▼

涙の様々(二)

漁父

僕のフレンドに加奈太のキングストンのクインユニバーシチーを出てエヂンバラに往かんとして居る者がある昨年の夏僕に逢はんとて紐育にやつて來た何とかしたひようしに涙の議論が出た、彼は何處迄も學者的である丈に僕が情が勝つて居る代りに彼は常に理性が勝つて居て涙なぞは男らしくもないと一口に跳ねつけて終まう、葡萄が熟した月夜に農園を歩ひて見給へ鈴なりになつた粒々は月が下界に落すあはれな涙かとも思はれる、人の涙はその様に清く涼しく又趣のあるものであるぞと云つたら又君は軟文派の口眞似みた様なと云ふと笑つたが「彼時ばかりは」と云ふて次の様な話をした、一體彼がクインユニバーシチーに留學したのは日本に於て英文學の講師なる外人某の勸説誘導に依るもので日本を立つ時に彼の講師から其の家族に宛てた一封の手紙をことづかつた彼はキングストンに着くと彼の外人の家を尋ねて其手紙を渡した、娘はそれを受取つて封を切つて半ば讀むか讀まぬ中にほろほろと涙をこぼして到頭讀み終り得ないで其手紙を母に渡した母は受取つた儘讀まないで共にほろほろ泣いた其時ばかりは彼れは何うしてよい事か何とも云へない氣がしたとの事だファーイーストなる日本の國から一人の青年か父なる人の手紙をことづかつて來たさうして其青年は父なる人か教鞭を執つて居る某大學のスチューデントであつたファーイーストの標薫る日の出の國と云へば詩人の旅情を促しさうな他郷其處に永年父なる人が居てとつ國の文學を教へて居る、一般汽車の迅き旅とはいへ乍ら水陸千万哩を渉り山を越へして父なる人か教へた青年か一封の手紙を持つて來た、何として其處に何等かの感情の湧かざるを得んや、紅顔二八花の如き純潔な處女は涼しい眼元から清い涙を落した

寫眞結婚女の告白

▲然うです、妾は夫ある身で情人を拵へて居ます、世間普通の道徳とか申すものから申しますなれば妾は飽操の無い、不貞腐れな女でせう、妾も滿更ら妾の今の行爲が至當で理窟の攻撃は無理だとは思ひません、ですか妾は心靜かに妾の過去のいきさつと妾の今の境遇とを考へ合はしまして男といふ者は世にも恐ろしい者世間といふものは思ひの外冷淡なものだといふ事をつくづく感じました

▲妾は例の寫眞結婚の女です、何年何月といふ事は申しませぬ、丁度妾かシャトルに上陸しまして或日本人經營のホテルに投宿しました翌朝の事です、其ホテルのボーイさんがビユーローの上に飾つて置いた妾の夫の寫眞をながめて「貴女は此人を御存じですか」と尋ねるぢやありませんか、妾はツイ失禮な人だと思ひましたから「妾が知つて居やうが知るまいが何も構つて下さらなくても」と申しましたらボーイさんは憤然つとした顔付きで「ソンナに貴女のお氣に障つたら申しましやう此男は何の某がしと云ふ無頼漢、多數の人を苦しめて紐育へ高飛びした曲者で御座います」―

▲此時の私の驚きと失望とは如何で御座いましたらう、妾は終日終夜まんじりともせずに泣き暮しました、米國で成功した商人、親に金を送る孝行者を夫に持つ吾身はドンナニカ幸福な星の下に生れたものであらうよと樂んで來た妾の希望は滅茶滅々に破壊されました

▲妾は散々泣きに泣いた末に一旦此儘引返さうと考へましたが又再び考へ直して歸ますると若し妾が此儘に歸つた事ならソレ見た事か虚榮心にあこがれたからだ一と學校朋輩は下げすむであらう、親族の人達は出發の際に羨やむで呉れた言葉を思ひ過すであらうと考へました時に妾は行、氣にも歸へる氣にもなれず口惜しいやら哀しいやらで只夢もなく二三日を暮らしました

▲稍や心も落付いて來ますると縱令昔しは無頼漢でも今は改心して堅氣の人になられたかも知れぬ「コチラにも充分身元を調べなかつた落度もある」との考も起りまして、エー儘よ何事も運命の神の御心、此上は身の成行と諦めやうと決心して參りましたのが丁度◯月の初めで御座いました

▲寫眞と本人とは年恰好も案外に違つて居りました、成程商人とは眞赤な偽りでありました、其時は既に眞面目な働き人でありました、今もさうであります、金も充分に貯蓄して居ります、一旦運命と諦めた妾は可成人の妻として夫の心を喜ばせやうと努めました(未完)

投書欄

▲僕は白婦の妻を持つて居る妻は年も若く器量も良い夫れで[illegible]だ、同胞への交際も上手だ只ダンスを好めども僕か出來ざるため否の一点張で三年を經た然るに近來新報にダンスの事か色々出て僕も大に悟る所ありて妻に話したら妻は夫れ見られよ世間には時勢を見るに明かな人もあるとて急に僕にダンスを敎へる事になり怪げな腰や足で始めた、始めて見れば中々面白い記者の盡力でダンス會か出來たら早速妻や友人を連れて出席すべし(ダンス贊成者)▲[illegible]可で又シーコーか始まつた一旦[illegible]になつたシャコ隊か出來ぬやうに記者君の盡力を願ひます支[illegible]人は吾々同胞の生血を吸ふ動物です(憤慨生)▲此春の事或發[illegible]で百万長者になる人法螺を吹き廻り五六人の同胞を[illegible]めた男は何處に消へたか或料理屋は三百五十弗も喰倒されたさうな馬[illegible]者いぢめをする奴は片ツ端から[illegible]破抜いてやれ(憤慨生)▲[illegible]ぞや[illegible]獄女と酒屋でピストル騷ぎをやつた繪書きは近頃結婚問題で仲人[illegible]を惡評して大騷ぎを起した、その[illegible]かにせんと本名を新聞紙に通知するぞ馬鹿野郎(繪具屋)▲[illegible]係君か大[illegible]目ジリを下げて大太皷を持つから[illegible]者も一寸ツくら朝日に出掛けて見ただうしたものか近頃同亭の料理人は馬鹿に甘くなつた、尤も味の可いのは二人の美人か薩摩守只の[illegible]で[illegible]短を振り[illegible]くためかも知れんノイ(小太皷)▲「關太郎君」に申上げる四[illegible]を見て呉れ給へ(篭係り)▲ナイ下酒屋組合はドーナツタ待ツ了の[illegible]きに出て居る今日拵へるものなら振、ないと又一年有[illegible]に過ぎるぞ

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
[illegible] Ave., N. Y. City
Tel. [illegible] Chelsea
Subscription Rates
In Advance [illegible] One Year
Postage Included
Entered [illegible] Post Office [illegible]

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六[illegible]二三八
電話六四七三　チェルシイ

來るべき吾國の總選擧

去月廿三日吾臨時帝國議會の開かるゝや本唯一の大政黨たる政友會を代表して質問演説を試みたる者は同黨院内總理元田肇氏なり、氏は行政整理、經費節減の時機、減税の方針非募債主義、政務官事務官の區別等に關し愚にもつかぬ質問を爲したる後且曰く

現内閣は施政の當初に於て多數の地方官を更迭せり此は憲政の退歩なりや退歩なりや、最後に吾人の問はんと欲する所は尾崎法相は某所に於て選擧界廓清のため違反者は假借なく逮捕し收容の場所なくばバラックにても造るべしと演説せしとの説あり是れ恐らく[illegible]に過ぎざるべし而かも苟も尾崎氏にして國務大臣の一席に連れる以上責任ある答辯を聞かんと欲す云々

是れ吾[illegible]一の大政黨領袖か臆面もなく帝國議會の壇上に於て爲したる質問演説なり、吾人は此[illegible]なき[illegible]論と米國現政府反對黨たる共和黨領袖ルート、ロッヂ氏等の堂々たる議論及び其英米巴奈馬條約に對する公平なる態度とに比較して東西政黨の等差如何に想到し、心中大ひに[illegible]たらずんはあらざるなり、大隈伯が「地方官更迭に關しては此處に列せらるゝ原君も覺へ居らるゝ筈なり」とヤユ的答辯を與へたるもの蓋し故なきに非ず、殊に尾崎氏の選擧取締に關する公平の言説に向って云爲するが如きは偶以て國家の爲にせず攻擊の爲に攻擊を爲さんとする小政黨、野心家の態度にして苟にも大政黨を代表せる元田氏の試むべき所には非ざるなり、吾人は敢て大隈伯の政府を[illegible]し政府を[illegible]する者に非ずと雖も現政府の立場よりすれば來るべき通常議會を解散して輿論の[illegible]勢を考察し、多年國内に[illegible]せる藩閥、黨閥の餘弊を洗滌し以て政界の面目を一新せしむるに在り、而して此目的を達するが爲に來る可き總選擧に對して最も[illegible]要の職に在る地方官を更迭し依りて以て自黨員の當選に便宜あらしめんとするは天下に自家の經綸抱負を布かんとする政事家の當然行ふべき方法なり、殊に尾崎法相の選擧取締に關する聲明の如きは吾人が雙手を擧げて賛意を表するを辭せざる所なり、由來吾國選擧界の腐敗は、無學無節操にして虛榮心に富みたる地方の有志が人民の政治的訓練足らざるに乘じ、黄白を散し、運動屋を買收して選擧法の精神を無視したるに基き黨勢の擴張を目的とする政略家是等の輩を利用したるが爲にして吾國現在の議會は決して吾國民の公議輿論を代表せるものと認め難きものあり、故に來るべき總選擧に於ては當局者は飽迄選擧法の勵行に努め苟も之を犯す者あらんか容捨なく牢獄にブチ込み牢獄の數足らずんばバラックは愚か地中に穴を掘りて之を收容し、峻嚴、冷酷、違反者をして輿論公議を忽にする者の當然受くべき天罰の如何に恐ろしきかを知らしむるに任るなり、思ふに議會の解散を以て惡魔の如くに恐るゝ議員若しは黄白の力に依頼して愚民の歡心を買はんと企圖する野心家に在りては吾人の所論聊か矯激に失すると爲さんも時代の趨勢は民論勃興の氣運を促せる事を觀取せる識者と、選擧函に投ずる一票が如何に自家身上の利害に至大の關係を有するかを知る善良の選擧民は吾人の所論に對して賛意を表し、俗惡なる投票賣收の好手段に弄せらるゝ事無かる可きなり

●中央政府桑博出品費五十万弗　米國中央政府の桑博出品費五十万弗案は八日上院議會を無事通過せり此金額は主として政府館の建築費に充つるものにて此内より諸外國賓客接待費として陸軍卿の流用し得べき金額は五万弗を超過するを許さずと

●佛國桑博費五十万弗　佛國政府の桑博賛否問題は八日下院[illegible]の[illegible]にては不[illegible]なるも近[illegible]議事日程に上り賛否の討議[illegible]後ち之を多數決に決したり[illegible]四百六十反對三十五にて[illegible]無事通過せり因[illegible]万弗なりと

●日本に於ける生活難と郵便貯金の減少　昨年八月の郵便貯金は[illegible]萬万圓に達したりしが[illegible]して現在の總額は一億九千万圓に減退したるが一方に於ては反對に貯金員數の増加を來たし昨年八月の五十万人は今日に於て數万人の増加となり即ち一人當ての貯金額著しく減少せるの結果となりたるが之には工業諸會社の増加並に保險會社の[illegible]もあれど主なる原因は生活の困難一層甚たしきに至れる結果と見るべく東京朝日新聞は獨り郵便貯金の減少のみならず銀行貯金の減少せる事實をも擧げ根本的に事業振興の必要迫まれるを痛論せり

●宮内省大改革　[illegible]大隈首相[illegible]野宮相一木文相等[illegible]協議中なりし宮内省の改革は廿七日を以て發表せられ内藏頭吉田[illegible]調度頭[illegible]山崎四男六氏内藏頭に[illegible]省吾兩氏免ぜられ[illegible]馬場三郎氏[illegible]后宮太夫は[illegible]敬三[illegible]任じ[illegible]休職を命ぜられたり

●千[illegible]町爆彈事件　[illegible]日千葉町に於て[illegible]那人一名重傷を負ふ[illegible]移し[illegible]り警察には[illegible]ろ全身殆んど[illegible]存する程の重傷なれば[illegible]口より[illegible]ず右に[illegible]氣脈を通じ[illegible]する支那亡命客[illegible]負傷者は支那人[illegible]日本政府の[illegible]那へ[illegible]めなりと[illegible]

其時々
ロングビーチにて　安藤太郎



わか若き日の數々の夢に似る
[illegible]き小貝を[illegible]に拾ふ
○
ホテルのはづれに海鷹がれる
[illegible]やかに雨は上りぬ蒼々と
○
[illegible]々と[illegible]の[illegible]
燈臺の[illegible]の消ゆ[illegible]はともる
○
[illegible]さざめき合ふて[illegible]白き
[illegible]ながらに夕月[illegible]

一草　[illegible]

[illegible]なる大[illegible]の子にも[illegible]
[illegible]に散る五月雨の蝶
○
[illegible]一[illegible]を[illegible]す[illegible]君に
[illegible]
○
流れ行く[illegible]に[illegible]子の
手に[illegible]て[illegible]胸もはてけり
○
[illegible]ノ[illegible]に[illegible]る夏の月涼し
今宵[illegible]を持つ人は誰

[illegible]

[illegible]に於て過般發布の[illegible]獨逸人三百五十名の第二[illegible]が一[illegible]を[illegible]カルカッタを發せりと[illegible]來[illegible]風說されたる所なるが[illegible]は益々去[illegible]日を以て[illegible]太平洋横斷の航程につけりとの報あり而して同船到着の際は一[illegible]より直航すべし」といふ[illegible]令に[illegible]ざるだけ裁判は一層の紛糾を來すべく殊に斯く多數の渡航に就ては[illegible]十万弗の資本を要する事勿論なるが其資本は悉く獨逸資本家の手より出づるものにして現に駒形丸の如きも日本汽船にはあらずして獨逸[illegible]なりとの説あり此計畫が[illegible]の渡航に出づるものとすれば今後[illegible]は印度擾亂を以て英本國を威脅する[illegible]の目的ある事勿論なる[illegible]大審院の判決は來九月迄[illegible]するに[illegible]駒形丸の[illegible]人三百七十名が今後一ヶ月[illegible]港内に[illegible]れ[illegible]は[illegible]

●ウエルタ政府顚覆

昨年二月以來墨國の獨裁大統領として[illegible]ルタ將軍は去[illegible]日[illegible]辭表を呈し、[illegible]將來の[illegible]を承認し、[illegible]ジャが[illegible]なれり[illegible]

[illegible]は去[illegible]日[illegible]府に達し、政府部内は大ひに滿足の意を表[illegible]大統領ウィルソン氏は十[illegible]サルチロ[illegible]米國領事を通じて[illegible]カランザに打電し、墨國[illegible]なりしカーバジャル氏[illegible]の方法を講ずべく若し[illegible]手段により紛爭を中止せず[illegible]武力を以て墨都に入らんとの[illegible]を固執するに於ては米國は[illegible]承認を延期し[illegible]立迄徹退せざるべしと警告せり、墨國新大統領の[illegible]三名は[illegible]ランザ將軍と直接交渉のため[illegible]墨都を發して目下其途に[illegible]

●ヘルマン、ブーレー等處刑さる　[illegible]件に關係せる新聞記者英人ブーレーは去十五日重禁錮二年罰金二百圓を申渡され、シーメンス會社東洋支配人ヘルマンは一ヶ年、新聞記者グランデルは十ケ月の處刑を受けしが兩名は三年間刑の執行を猶豫されたりと同日の東京電報に見ゆ

●十四億萬弗の鐵道勞役者賃金　今回米國政府商工審査會より發表されたる鐵道統計に依れば米國内の鐵道に從事し居る勞役者の總數「千九百十三年六月現在」百八十一万五千[illegible]にして之に支拂ひたる總額は實に十三億七千三百八十三万[illegible]千四百八十九弗の巨額に達せりと

●[illegible]自治案上院通過　朝野[illegible]たる愛蘭土自治案は去十五[illegible]上院に於て修正の上通過され直ちに下院に交附されたり、右修正案は[illegible]ルスターを全然除外し、皇帝は何[illegible]にても自治案を廢棄する事を得となせるものなり

●長[illegible]　紐育牧師曰く、米國人は[illegible]な國民で此方が遠慮して居ると[illegible]にする、宗教家の中でも排日[illegible]を承知して居る者が澤山[illegible]から何も云[illegible]▲[illegible]なども事件勃發[illegible]ない事を[illegible]▲だうだい談判を始[illegible]一年餘りになるが[illegible]

▲[illegible]

▲一[illegible]

東京電報

●滿鐵[illegible]院總裁[illegible]氏[illegible]栽野村龍太郎[illegible]八氏に對し辭職を[illegible]したるが兩氏ともこれを[illegible]問題となれり

●桑港大博出品[illegible]總裁各府縣知事並に[illegible]等は大博事務の[illegible]に關し熱心に勸誘盡力しつゝある結果過般來の形勢一變し各府縣諸方面の景氣頗る良好なり

●三井物産重役運命 三井物産會社重役飯田義一[illegible]山本條太郎並に同社[illegible]松野德哉出納課長知納宗三郎の諸氏は本ペイント會社取締役[illegible]海軍收賄事件に關する公判は六月十六日以來東京控訴院第三號大法廷にて引續き開廷中なりしが小原裁判長は本月九日前記七名に對し重禁錮二年[illegible]二ヶ月の論告をなせり

●大隈伯銅像建費百五十萬圓 首相大隈伯の銅像建立は朝野の有力者二百名に依つて發起され東京美術學校長正木直彦氏其製作を擔任したるか設計の壯大なる東洋第一の大銅像と稱せられ建立費豫算百五十萬圓は目下一般民間より寄附醵集中なり

●海軍收賄事件

新たに勃發す

英蘭製機雷の不正事件曝露されたる爲め海軍收賄事件の局面益々擴大され先きに電氣器具納付けのため拘引の上所謂されたるは[illegible]部分にし[illegible]高官の[illegible]に尚多數の關係者あり[illegible]進行の結果[illegible]悉く發覺す[illegible]朝野の[illegible]目下[illegible]件に[illegible]より

●黄興一行は十三日桑港着 支那第一革命の[illegible]として南京政府を[illegible]せし革命家黄興一行は六月廿三日[illegible]渡發の天洋丸にて渡米の途に就き米國各地を經て佛國巴里に赴き新革命戰の計畫に從事する方針なるやに傳へらるゝ桑港着は七月十三日なり

●デニソン氏の葬儀 日本外務省の顧問にして先頃物故せるヘンリー、デニソン氏の葬儀は四日營まれたり死骸は兵隊により組織され行列の如[illegible]まる不平の名士多く參集して非常なるものなりしが死體は曾てデニソン氏の親しく交友なりし前外相小村壽太郎氏の傍に埋葬されたり

日本最近信

●全國商工大會 全國商工大會營業稅全廢實行委員會は十九日午前十一時商業會議所內に開會來會者六十餘名中野會頭より十九日朝大隈首相に面接の事情を述べたるに首相は營業稅全廢並に租稅輕減等に關しては財源を如何にすべきかに目下調査中なれば即今明言する事能はざるも出來得る丈け實行を期したき考へなりとの回答を得たりと更に同志會幹部にも面談したるが營業稅は全廢に一致し居れど未だ確定議とまではならざる由聽取せりと報告し次いで協議の上向一層各方面に互り陳情すべき事を申合せ訪問委員を定めて直ちに運動を開始せり

●部長署長交迭調査 政府は本月下旬より七月上旬に互り各府縣の部長並に警察署長の交迭を斷行すべく目下調査中なりと

●首相の原總裁評 大隈首相曰く原敬君が政友會總裁に決定したといふのか目出度事である西園寺侯が病氣で立たぬといふのを何時迄も無理な事をして騷いで長ひくのは宜しくない原君が相續するのは分つた事で政友會の爲にも目出度い此上は憲政の爲に一致して完全なる勞きか肝腎で憲政の進步發達に努めて貰いたいものだ云々

●敎育功勞者推奬 田所文部省普通學務局長は曰く廿日勅令を以て文部省直轄諸學校の敎育に關し功勞顯著なる者に對しては文部大臣の推薦に基き名譽敎授の名稱を與ふることとなりしが從來名譽敎授は單に帝國大學のみにして[illegible]餘の直轄學校に及ばず斯くては時勢の進步に伴はざる嫌あると共に學界の功勞者を推奬するには蓋し一層敎育を尊重せしむる所以なれば此の勅令の發布を見たる次第なりたれば文部省は[illegible]日各學校に對して其調査方を移牒したるが就中男女高等師範學校の如きは古き歷史を有し學界に貢獻せる點尠からざれば兩校より名譽敎授の特典に與る者を出すに至るべし云々

●同志社紛擾再燃 同志社經濟科學長專任問題に關し原田社長は去十五日東上の上同大學創立委員と會見し經濟科專任學長に擬せられつゝある河田京都大學助敎授は九月迄に歸朝する事覺束なきにより他に適當なる學者を物色して專任學長を置くべく交渉中なる由にて十七日水崎同志社敎授は學生委員に對し此旨を傳へんとせしも學生側は德富委員長よりの回答を求めて水崎氏個人としての談を聞くを欲せず十八日に至り敎授會委員中川飯塚兩敎授より學生に對し調停を試み又米田敎授も個人として諸君の希望は學校に於て之を諒すれば其提出案は無條件にて撤回すべしと勸告し學生側は米田氏の言に服從する如き意向を示したれ共敎授側にては學生の態度不穩當なりとし謝罪を求めたり是に於て學生側は十八日深更迄協議の末謝罪するの理由なしとの事に決し一方學校側は十九日に至り校門を閉鎖し門前に「本學期の授業は今日以後休業す試驗は九月に行ふ事とせり」との意味を掲示し經濟科は勿論各科とも全部休業の姿となり事態容易ならざる形勢なり右に就き同志社校友會大坂支部にては十八日より集會を催し種々協議する所あり其結果十九日午前同支部委員北里蘭(大坂高醫敎諭)伊庭菊二郎(梅花女學校長)村山介藏の三氏並に個人として鈴木左馬次郎氏等京都に赴き先づ學生側につき事情を聽取したる後調停の意味を以て原田同志社長並に敎授等と會見し長時間協議する所ありたりと

●米國の怪少年 上海を發し長崎神戸四日市清水の各港を經て十六日午前六時五十分横濱に着せる郵船佐渡丸の檢疫終了を待ち兼ねて乘船せる横濱地方裁判所の笠井檢事北島豫審判事今立通譯及び水上特務巡査の一行は船客の誰彼かの區別なく[illegible]此常ならざる訪問客を驚く間もなく一同船長室に入ると同時に

▲ヒリッピンより乘船 後通しにて同港迄來れる一等船客ダブルユー、ツチ、ワーレス(廿四)と稱する米國青年を船長室に拉し來り正服巡査を戸前に配置し船長立會の下に約二時間訊問を續けたる後四名の特務巡査をワーレスの監視として留め置き判檢事通譯ともに引揚げたるか

▲判檢事は取調べ を續行しつゝあり探聞する所に依ればワーレスは注目に値する重大なる犯人との事にて既に本船か神戸寄港の際にも數名の高等刑事本人に尾行し萬一竊かに上陸の折は即刻警察に密告方を同船員に申渡し又四日市に航行中は横濱裁判所より無線電信を以て特に監視を仕ふ旨の依頼ありたりとワーレス本人は白リンネル背廣にパナマ帽を被き身丈普通眉毛濃く眼光鋭き青年にして以前商船に乘組み三等運轉士を勤務したりといへるが

▲米國海軍との關係 を有せるらしく多少日本の國情に通ぜる事も擧動上に明かなり犯罪の種類は軍事探偵ならんとも云ひ又殺人ならん脫艦ならんなど噂區々なるが脫艦の如き小犯罪とは信ずべからず船客名簿による性名ワーレスも亦恐らく僞名ならんと云ふ

●坂本金彌脫黨 岡山縣選出代議士にして立憲同志會に屬する同氏は同會の現內閣の施政方針に對する態度に不滿あり廿四日決然として脫黨屆を同會幹部に致せり

●濠洲の排日運動 濠洲に於ては近來益々東洋人排斥熱激烈になりタウンス州在留の勞働者一千名は移民禁止令發布前入國せるに拘らず將に排斥せられんとしつゝあり斯くの如き排日的傾向は政治的色彩を帶べるものにて是れ濠洲人か濠洲主義を標榜し軍備充實の口實に利用せる點と又地主等か輸入糖課稅を洲議會に通過せしめんとする魂膽あるか爲めなり濠洲在留の日本人はクインスランド州の千名と木曜島の眞珠採集業者五六百名なるか此上の日本移民は絕對的に不可能なりと觀ぜらる

●桑準見物滊船割引 東洋滊船會社にては桑港大博當時日本よりの乘船賃の大割引をなす由にて一二等船賃の如きは殆んど半減にせん計畫なりとの事なるも未だ具体的には發表せられずと

●官營保險反對建議 生命保險協會にては小口保險官營問題に關し爾來廿餘回の研究調査會を重ねたる結果全然反對の態度を取るに決し廿二日より協會外の十八保險會社の代表者と會見して一致の贊同を得更に同協會會館へ市內各新聞雜誌記者を請待して大要左の如き官營反對意見書を公表し且つ安田協會理事の挨拶に次ぎ矢野恒太郎氏より頗る詳細なる說明ありたり

一 小口保險は社會政策の爲にする保險に非ざるを普通とする事

二 從來所謂小口保險は民間會社へ許可せざりし事

三 小口保險は歐米に於ても民營が成功し官營の成功せざりし事

四 現內閣の民業本位の標準に反する事

五 小口保險に關して民間事業を壓迫するの害ある事

同時に右反對意見は直に商業會議所銀行集會所各政黨等の諸方面へ通牒陳情すると同時に大隈首相以下各大臣に建議するの運びなりと

●米航動搖眞相 本邦製茶積取に關しプリユーフアンチル滊船の同盟滊船脫退を機として端なくも同盟全体に渡る大動搖を惹起し標準運賃の如き疾くの昔に破壞されて事實上同盟は四分五裂の狀態となり今や其內訌は同盟對プ社の問題より轉化して個々滊船會社間の暗闘嫉視となり其結果更に本邦滊船會社對外國滊船會社の確執を胚胎し來れるものにして過日淸水港に於て大坂商船か比較的多量の貨物を得たる事も最近衝突の近因を形勢し居れり去れば同盟の最古參者たるシー、ピー、アール社ローヤル郵船の如きは其後引續きて同盟脫退を宣言し頻りに本邦滊船會社を脅しつゝあるか如何にせん補助金を受けつゝある郵船、東洋、商船は運賃引下げに就ては別に政府の許可を要せざるも其引上げに就ては種々の故障ある故實は外國會社に取りては本邦滊船は厄介なる伴侶と云はざる可らず從つて機會ある每に絕緣せんとする振合を示し同時に何等かの服從を本邦側に強いんとするものにして實は今回の紛擾も畢竟此種の常套手段と見る可きものなるが然し近き將來に於ける海運界の大勢は到底不況を免れざるべきを以て歐航に於けるリツクマース米航に於けるブリユーフアンチル滊船の如く兎に角破格の運賃[illegible]の虛を衝かんとする滊船[illegible]ずしも其絕無を保し難か[illegible]論にして若し米航同盟の一部外船かプール計算其他の方法にて本邦滊船側に一大對抗競爭を開始せんかさなきだに昨今疲弊の傾向ある本邦二滊船會社の蒙る打擊は蓋し豫想以上にあるべしと信ぜらる、兩三日前大坂商船の加福遠洋課長か急遽上京したるはこの善後策に就て充分の攻究を爲さんか爲なりとの說あり恐らく眞ならん

▲廣　告▼

● [illegible]

●死因は中毒

▲[illegible]

[illegible]なる[illegible]

と共に[illegible]に手を盡せしも何分日九度といふ高度の發熱あり[illegible]にも影響せし事故障ありこる[illegible]治療其甲斐なく七月二日遂に死亡したるか茲に中毒の[illegible]證ともいふには氏か息を引取りたる後屍體の[illegible]十二度を示せる事なりと

▲然らば何に中てられしか といふに當夜山崎氏外三名の食したる筍子松茸、鷄、蓮根にて製せし料理にありしもの〻如く不消化なりと思ひて手を附けざりし河上氏か運好くも中毒を免かれ、一番多量に食したる山崎氏苦悶最も甚しく且つテーブルを共にしたる人々か何れも歸宅後時を過ぎうして腹痛、吐瀉、下痢等を起したる所より察するも夫れに相違なかる可く又松茸の中に毒茸の交り居たるには非ずやとも察せらる

▲森原氏の病狀經過 如何といふに氏は腹痛を起せし以來食慾更になく時々發熱[illegible]惡寒を覺へ身體に異狀を感ぜる故山崎氏の遺[illegible]を送りての歸途高見氏を訪ねて診察を請ひしに同醫師は何か手遅れたりとは思ひ乍ら早速入院せしめ將來[illegible]請切りの姿にて看護に從事し居るも經過甚だ不良にて[illegible]しく去十四日夜は腸より出血あり、身體の疲勞益々加はり目下危篤の狀態に在るか、中毒後早速高見醫師にかけ付け胃を洗滌し貰ひたる某氏は今快したり、不消化なりとて右料理に手を附けざりし河上氏幸にして毒に中らざりし某氏に引[illegible]山崎[illegible]森原氏は實に氣の毒千萬なり、[illegible]も注意し置きたきは和洋食料品を[illegible]ふる者も賣ふ者も、[illegible]さすに[illegible]注意して使用せざれば[illegible]の人命を失ふに至り[illegible]罪[illegible]を犯す事とならん尤も上記の如き不[illegible]事ありたりとて[illegible]といふ[illegible]の御馳走を恐れるなどは[illegible]の[illegible]者と知るべし[illegible]六大專門家の意見は野[illegible]る時は野菜物中に[illegible]ンなる事に[illegible]一致せるは[illegible]令熱湯を以[illegible]其[illegible]分を除く能はざる[illegible]のものなりと

●[illegible]公使、栗林[illegible]事送別會 既報の如く日本倶樂部員の催ほしにか〻る[illegible]會は去十[illegible]同所に於て開かれたるか席上同會者高峯博士は[illegible]氏か在職中の功績を謝したる後[illegible]氏の[illegible]望を代表して當地の[illegible]領事[illegible]を[illegible]年又は十年とし其[illegible]進の順序は散髮床の看板的ならずエキスプレスの昇降機的となす方針を採らん事を外務省に望むと述べ次に新井一宮兩氏の送辭、飯島栗栖兩氏の答辭等あり最後に一同起立兩氏並に飯島夫人の萬々歲を唱へて散會、出席者六十餘名非常の盛會なりき

●在留證明と日本人會 日會役員會は去十三日河[illegible]旅館に於て開會、總領事館より引續きたる在留證明手續の件に付協議する所あり結局西部地方の經驗を基礎として立案せる原案に些少の修正を加へて承認せり、今後の在留證明に對し日本人會の方針は可成簡約敏速を旨とする筈なるも身元調査の點は公平且嚴重の方針に出づべしと

●網島牧師の談 上記日會役員會は啓發運動を目的として來米したる同牧師の滯紐を機とし氏を招待して一場の談話を請ひたるか氏は宗教上の見地より日米問題の解決に貢獻する所あらんとの希望を抱ける人々を代表して渡米せる理由來歷及び西部地方に滯在中南加州の宗教家大會に臨みて演說したる經驗等を語り更に將來の方針と背後に有力なる後援を有する事等を說き簡潔にして且有益なる談話を爲せり氏は瑞西國にて開會の万國宗教家大會に出席のため本月廿八日出發渡歐し再び歸米の上運動を繼續する考なりと

●日置公使の日英米同盟論 新任支那公使日置益氏は加奈陀太平洋鐵道にて[illegible]着し[illegible]領事の官邸に投じたるか支那の將來並に日英米の國際關係に就き論じて曰く

支那問題を根本的に解決せん爲には日英米の三國同盟を要す[illegible]今後自然の成行として其實現を見るやも知れず而して支那は今後永久共和國たる事勿論なるも地方豪族の對立は[illegible]かに革むべくもあらず從つて其共和政體は南米諸國の如き傾向を呈すべし[illegible]の觀[illegible]にして且つ余の希[illegible]する所なり

●万國議員會議出席者 千九百十四年八月瑞典國ストックホルムに於て開催の万國議員會議に參列の事に決定し居りたる政友會の鵜澤總明、小山完吾、中正會の林毅陸、菊池武德は其後衆議院事務局へ向け參列取消を申出でたり右に就き各派に於て其補欠を爲さゞる場合は政友會の松本宗吾同志會の藏原惟郭、綾部惣兵衛[illegible]山道[illegible]、中正會の石橋爲之助、才賀藤吉の五氏參列するに決し國民黨の增田義一も亦歐州漫遊の序を以て同會議に立寄る事に決定せり尙右五名の內一名位は取消す者あるべし

●松村介石氏の來米 宗教家著述家として有名なる松村介石氏は來月中旬木村清松氏と共に布哇寄港來米すべしと

●野口博士の名譽

ロックフェラー、インスチチュートの野口英世博士が諸種科學上の新發見を爲して世界の學界を驚倒せしめたる事は世人の普く熟知せる所なるが同科學研究所は今回博士を同所の正會員に推薦したり

●池田和氏を尋ぬ 元朝鮮釜山港に在りし同氏の居所を尋ねつ〻ある人あり御存じの方は何卒本社まで

●畫家懇親會 去十五日料亭朝日にて開催席上各自腕を揮つて紀念の會畫を物せり

●飯島新任公使出發 九五日正午家族同伴出發赴任の途に就けり

●赤尾善三郎氏歸朝 十五日出[illegible]南方諸州經由シャトル發にて歸朝

●內務書記官[illegible]濃、同技師眞田秀吉、荒井駒吉三氏は十六日西部より來着、土木事業視察として一週間滯在の筈、赤尾氏は日本倶樂部兩氏はホテルマルセーユに在り

●中川下宿移轉 七月一日マヂソンストリート「マヂソンアベニューに非ず」九十六番へ移轉せり

▲友人諸氏へ 帝國に關する用向の手紙はジャパニースタイムス宛とし私用は必ずケ、カイと上封へ御認め被下度候

甲斐

小生儀從來深澤市松氏と「ジャパンガーデン」なる名目の下に營業致居候所都合により合意の上分離致し今後は同氏と商業上の關係無之候條此段廣告仕候

千九百十四年七月十五日

數川 左二

新育日本聞 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
ジャパン	香晩波	七月十八日

●日本より到着日

船名	港	到着日	
モンテグル	同	七月廿四日	
日本丸	桑港	七月廿三日	二十日
メキシコ丸	タコマ	七月卅一日	廿五日

涙の様々（三）

漁父

僕の休んで居たボーデングハウスに千ちやんと呼ぶ名物男がある彼はお大名の息子だとも文字を鼻にかけた書生さんだとも云はぬが己れは小僧の時から鑿や鉋を持て頭を叩かれ叩かれ育て上げられた職人だと率直に云つて居る千ちやんは正宗酒が好きで一杯きこし召すと其處らに人が居ないと思つて余り大きな事を云ひなさんな生意氣を云ふと一本まゐりますぞ正宗は切れ過ぎるブラツクアイで澤山でもやうとタンカを切る或夜同じボーデングハウスに寝泊りして居る坊主をとつつかまへてお前のお宗旨は禪宗か新酒の知らねども己等の宗旨は意勢のよい法華だ同じお寺伽さんの流れなら大したかわりもありはすまい今年は親父の十三年になるから戒名を一つ書いて呉れと頼んだ此坊主法を尊んで人を輕んじ私のやうな不徳な人間に頼まないで外に人かあるであらう其人に頼んだかよからうと再三辭退した所千ちやんの強つての頼みと其處にキツトした[illegible]意か見らるゝので遂に承諾したさうして千ちやんに向つて云ふには「ほろ〳〵と鳴く山鳥の聲聞けば吾が父かとぞ思ひ母かとぞ思ふ」之れは忠臣孝子の心情を表はしたものだ「君と別れて松原往けば松の露やら涙やら」之れは戀人の心情を云つたものだ互に斯うして人間は一生の中にはどんな境遇に在るかも解らぬ日本第一の金滿家と云はれる岩崎彌太郎でも箱根を越へる時一文の錢か無く峠の茶屋で焼芋の喰ひ逃げ同様な事をやつた峠の茶屋で焼芋を賣つて渡世して居る婆さん金が無いと云つては元より喰はして呉れぬ腹か減つてどうにも歩く事か出來ない仕方かないから默つて喰つて腹を充分に拵へた後で時に婆さん己には金を持たぬが今から十年したら此焼芋代を千倍にも万倍にもして返へすから堪へて呉れと頼んだ婆さんは滅相もないと火のやうになつて怒つてそんな夢のやうな事を云はずにどうしても喰つた丈けの金を拂へさヤサツサ云つてる時に宮の神主がやつて來てこれから　そんな不心得な事をするなと諭して焼芋代を拂つてやつた其後岩崎は十年經つて其婆さん[illegible]なのを幸ひに深川に家を建てゝ迎へたとの事だ彌太郎の心には其當時ですら決して喰ひ逃げをしてはならぬ今は仕方かないが屹度返へすから助けて呉れと我と吾心の中に固く約束して居る人間は假令どんな境遇に居らうとも此心掛がなくてはならぬ君はそれでも感心な心掛だと坊主が云つたら氣の強い千ちやんだけれども眼に涙合んだ

寫眞結婚女の告白

（承　前）

▲境遇悪い姑とめや、鬼千匹の小姑めにさいなまれる心配もなし、何は兎もあれ妻としての義務を盡さうと一旦は考へましたものゝ、妾か上陸の際に胸底深く受けました失望落膽の手創は妾を溫順なソーして柔和な妻とならせるのには餘りに慘酷でありました、働き先きの主人の若い奥様のかさばゆい許りの着物をお召しになつて、親切さうな旦那様の腕にすがり乍ら散歩に御出掛けになる時、門に送り出す妾の胸には羨ましい、羨ましい、一日でもあんな樂しい境遇になつて見たいとの感を起さずには居られませんでした、學校時代に外交官を理想の夫と[illegible]居た綾子さんか、今度縁があつて銀行支配人の大方に嫁く事になつた、世界第一の大都會に住むで理想的のホームを作つて居るあなたの幸福か羨ましい、といふ手紙か參りました時に妾は不思[illegible]其處に泣き倒れました

▲他人のきらびやかな生涯を羨むのは虚榮心か強よ過ぎるからだと御さげすみも御座いましやうが、妾の望む男は美男子でもありません財産家でもありません、只心か眞直ぐで勇氣かあつて將來有望な親切な人でありましたら、ドンナ艱難苦勞も厭ひはしないのです、無教育で、將來に希望のない、加之けに趣味の違つた人とだうして妾か幸福に暮す事か出來ましやうか

▲夫は非常に親切です、ダイヤの指輪も買つて呉れました、洋服も立派なのを佐々さんの御店で拵へて頂きました、併し何故で御座いましやう夫か斯んなに親切にして呉るればるゝ程妾の夫に對する愛情は氷のやうに冷たくなる許りでした、イトエ冷たくなつた許りではありません勝氣な性分の妾は夫のする事か一も二もなく意氣地のないやり方に見へコンナ奴隷のやうな人に嫁いだ自分の將來はどんなに成行くであらう、若し此人の種を宿すやうな事かあつたら妾は一ツの事死んだ方か増しであらうと考へました時に[illegible]浮世か情けなくなりました

投書

▲今や日本國民の飛行[illegible]達すとも云ふべきなり從つて[illegible]行家等の歡迎は殆んど[illegible]して過般高左右飛行家[illegible]令嬢より花環を贈られた[illegible]青年の希望を集中せり若かず當代[illegible]青年名を成さんとせば須た飛行家[illegible]るべし（日本より）▲一時[illegible]保[illegible]同盟會まで[illegible]○子嬢の近[illegible]下度御[illegible]致候（一舊友）▲[illegible]ム氏は[illegible]州外交界を論[illegible]は欧州政[illegible]名選するに[illegible]大[illegible]は暫く措きウ[illegible]飲ませたい連中か澤山[illegible]白婦人と結婚して二人の[illegible]日本人は田[illegible]尊敬した罰かお腹に出來た[illegible]捻げ首の末友人を訪問するや[illegible]間旅行するとて妻君を[illegible]女を連れて當市に[illegible]分考案中だとは不都合な奴[illegible]か（長耳生）▲日本人の洋服屋[illegible]だといふ評判だから一切オーバー[illegible]なかつた然るに此間笠井坂野店の[illegible]父に勸められて一着注文したら其具合から胸の所迄非常に着心か可い今後は成る可く日本人の店に注文する（提灯持）

No. 117 VOL. I

The Japanese Times

SATURDAY [illegible]

紐育新報

紐育の邦人宗教家と日米問題

[illegible]

…ずる議員を[illegible]せざるに非ず…を待て[illegible]を望むは吾人公事[illegible]する者の常職たり、吾人は日[illegible]國の緊争問題が條約上の解釋[illegible]全く日本の敗勢を現は[illegible]於て更に一層失[illegible]乘れる今日、諸君が[illegible]主義主張の下に四[illegible]る事なく、網島[illegible]なる米國市民の[illegible]米國文明のバックボー[illegible]ンの精華を發揮せし[illegible]日米問題に貢獻せん事を希[illegible]るものなり

祖國人口の増加

加奈陀に於て、濠洲に[illegible]排斥せらるゝ日本[illegible]は年々五十萬の人口増加を如何に[illegible]經世家の憂慮する所[illegible]人口の増加は國勢の[illegible]

[illegible]

て居る、所がコロンビヤ大學出身で[illegible]かも紐育に知り人の多い小山君の評判が餘り香ばしくないやう[illegible]るのは聊か殘念の心地せぬでもない[illegible]本月號の「日本及日本人」に出た「選良の片影」の小山君を見ると全く[illegible]哀想な程叩かれて居る而もその叩き方が殘忍冷酷を極めて居るから一層同情に堪へぬ、曰く

▲「小山は前回の選擧で云はば向見ずにやつた爲め却て候補者を作かし最高點當選といふ寧ろ僥倖を得たが運動費の出所が甚だ怪しい、政友俱樂部を組織した[illegible]の評判では[illegible]富み壯圖を藏すとか、機略縱横、[illegible]氣喚發とか却々の好評で[illegible]もあり演説も相當に出來る[illegible]めは一寸買ひ被るが能く[illegible]査すると外部に露出する所が[illegible]で内部の貯藏は一つもない、結局見かけの好い安價品だ」又曰く

▲「小山は大隈内閣の出來た當時[illegible]田部に洗足參りをして[illegible]やつた、今度も無論政務官[illegible]やるに違ひない、[illegible]

君か人を人とも思はぬ大膽の[illegible]は[illegible]自分の價値を賣價[illegible]吹き過ぎるの[illegible]らしくあつて[illegible]拙策である、自[illegible]大建築物の縮[illegible]

米國歸りの代議士

米國から歸つて代議士になつた者の[illegible]古い方では[illegible]松本君[illegible]

[illegible]

米墨事件

▲墨將の主張 ウェルタ氏退職後新たに臨時大統領となれるカーバジャル氏は憲政軍の墨都入城及び政務引繼ぎに關しカランザ將軍と開城の條件を商議せんため三名の代表者を派遣せり[illegible]代表者は今週中カ將軍と[illegible]ロに於て媾和會見の筈なるがカ將軍の黨與[illegible]政府樹立後舊政府の關係者全部に向つて大赦を行ふ[illegible]に反し、軍隊[illegible]異論なきも千八百六十七年に於けるマキシミリアン(ナポレオンの親弟)の所刑が歐州の干渉を[illegible]しみウェルタ政府[illegible]を嚴罰に處する[illegible]所以なりと主張せり、然るにカバージャル氏は[illegible]的の媾和手段を[illegible]ゆる軍隊を集中して最後の決戰を試み誓て城下の盟を爲さずと聲明せり

▲ウィルソン氏と憲政軍の内訌 ウ氏はで二日夜墨國自由黨の領袖にして新政府の外相に擬せられつゝあるカルデロン氏を白亞館に招きてカ將軍への傳言を托せるがウ氏か憲政軍代表者と直接會見接衡せるは今回か始めてなれば不尠世人の注意を惹けり、カルダーロン氏はカランザ將軍の命に依り新政府の藏相たる可きカブレラ氏と同件モントレー市に向け出發、同地滯在中のウワスコンセロス氏と合する筈なるか多分以上三名は媾和談判の委員たる可し、尚カ將軍は媾和談判中休戰の意向を有する旨華府滯在の代表者に通告せりと

▲ウェルタ氏出發 同將軍は家族並に前陸相ブランケット將軍以下十數名の幕下と共にポートメキシコより乘船歐州に向つて去れり

▲米政府の媾和策 カランザ、ビイヤ兩將軍間の暗闘依然たるものあり米國政府は力めて兩者の融和を圖るの方針を取りビイヤ將軍に向つて例令同將軍か叛旗を飜す事あるも決して米國の同情を得可からざる旨警告せる由なり

●日本紡績と米國

日本の紡績事業及支那貿易の實況を視察するため米國政府の命を帶びて久しく吾國に滯在中なりしグラハム、クラーク氏は去廿一日歸着せるが濠州に於ける米國製木綿類に對する日本品との競爭及日露戰役後日本品が米國品を凌駕するに至れる事並に日本紡績事業の近況を語りたる後下の如く語れり、日本紡績業者は米國製造家と異なり低廉下等なる原料品を少許の米品に混交し目方の輕き原料を用ひて太さを増さんとす、左れば品質は米品に比較して劣等なるも支那人は一般に低廉なる品物を需要するに需要者と接觸し價格に於て日本品と競爭するため製織法を一變して日本同樣低廉なる原料を用ゆる事は吾米國の製造家及貿易業者は盛目下の最大急務なり尚日本は過般來關税に於て三分の一の割引ある安東港より製品を送りつゝあれば米國も從來の輸入港たりし大連牛莊の如き定率の關税を課せらるゝ地を避け安東縣よりすべしと語れり、因に氏は數日間當地税關に止まり極東貿易業者の諮問に應ずる筈なりと

●離婚者人種別

昨年六月一日より本年六月までにホノルヽ巡廻裁判所に於て離婚を許されたる件百七十七件あり其中日本人の分は最も多數にして八十九件を占め即ち半數以上ありたり今離婚者の人種別を報ずれば左の如し

人種	件數
日本人	八十九
布哇人	二十六
葡國人	八
支那人	六
露國人	二
其他の人種	四十六

報告中其他の人種として一團とせるものあるは大部分米國人なる由

●悲慘なる日本の婦人勞働者

と[illegible]英國の女流記者ファイオレット、マーカム孃は自身か日本に於て親しく視察したる實況をウエストミンスター、ガゼット雜誌に寄せ、日本の政治家が歐米諸國の苦き經驗に鑑み大ひに改良せざる可らずと日本婦人勞働者及子女勞役者のため万丈の氣焔を吐けり、觀察頗る周到なり

●支那の新借欵と米國

支那政府は中央銀行の新設及短期公債の償却に充つる目的を以て米國資本家より總額七千万弗の借欵を爲さんとの希望を有し華府政府に向つて新たに交渉を開始したるもの丶如きがウィルソンは六國借欵脱退以來の方針を固守し右交渉に應ずるの色なしと

●墺太利セルビヤ國交危[illegible]

墺國[illegible]府は去廿三日セルビヤ國政府に向つて下の如き要求を爲し本日午後六時迄に其回答を求めたり、此要求は最後通牒とも見るを得べく背後に墺國の同盟國たる獨伊兩國の有力なる後援ありセ國は甘んじて屈服するの外なからん一、墺國皇太子を殺害したる犯人及關係士官を嚴刑に處し、反墺黨を撲滅する事一、セ國政府は官報第一面に於て有ゆる反墺運動を許さず犯す者は嚴罰を受くべき事を聲明し又墺國皇太子暗殺事件連累者を軍人中より出したる事を遺憾とする旨發表する事、因に墺國陸軍參謀總長はセ國侵入準備のためラメスバトに急行せりと

●ル氏訴へらる

當州共和黨領袖バーンス氏はル氏が自分を呼ぶに腐敗ボッスを以てしたるは吾名譽を毀損したる行爲なりとて一昨廿三日名譽回復の訴訟を提起し金五万弗を要求せるが、ル氏曰く「ヤラセロヤラセロ」

東京電報

●支那砲艦爆發と第三革命　孫逸仙の第三革命計畫は南洋方面を根據とし既に三四百万圓の軍費を醵集し第二革命戰の敗因が海軍を有せざるに在りしを認めたる孫逸仙は陳其美を通じて揚子江に浮べる砲艦海容海琛二隻を既に手中に入れたるが十二日上海に於て砲艦探奇號の爆發あり士官候補生三十名即死し重なる機關は悉く破裂したるにより袁政府は嚴重に其原因を調査し且つ責任者に對して百方探偵中なるが一般の觀測は氣論革命黨の手に成れるものと認め革命戰機愈々熟せりと見做し居れり

●袁世凱桑港新聞を禁壓す　桑港に發行する支那字新聞及び雜誌が袁政府に反對し過激の言論を發するを以て昨日内務部に通告を發し各省道廳をして該新聞雜誌の郵送入國を嚴禁せり

●大谷光瑞伯の南米發展計畫

西本願寺法主たりし大谷光瑞伯は管長を辭し爵位をも辭退して爾來閑雲の外に在りし雄心勃々禁ずる能はず遂に南米殖民の計畫を立て明年の春を以て智利に赴き大規模の農業を始むる事となり目下着々準備中なり

●中村長尾滿鐵頭目に任命

政友系の野村龍太郎及び伊藤大八兩氏は十五日免官となり後任として左の如き任命を見たり

後備陸軍中將貴族院議員男爵
任滿鐵總裁　中村雄次郎
任同副總裁　長尾半平

此更迭に就ては輿論甚だ面白からず

●日比谷暴動の關係者處刑　本年二月山本内閣に對し海軍收賄事件の不信任運動をなし日比谷公園及び議會或は海軍省前にて暴動の結果拘引されたる暴漢九十名は社會の安寧秩序を害するものとして十五日重禁錮一ケ年乃至九ケ月の處刑を宣告されたり

●瓜生副總裁の赴任と清米訪問　瓜生中將は遲くも本年末若しくは來年匆々大博開會前に赴任し桑港灣内にて大觀艦式の行はるゝ八九月頃迄滯在の豫定なりと

●閑院宮季子女王殿下薨去　閑院宮第二王女季子女王殿下十五日早朝薨去遊ばさる　季子女王殿下は明治卅一年十一月二日御誕生本年芳紀正に十七歳に在はす

●黒井中將在米邦人を激賞す　練習艦隊司令官黒井中將は在米同胞の奮闘を激賞したる手紙を寄せたるが此書狀東京其他の新聞紙上に公開せられて大評判となれり

日本最近信

●米國の回答と當局　加州土地問題に關する帝國の第三回抗議に對しては米國關係の紛糾等により米國側の回答は遲延せしか此程帝國政府より督促せる結果兎に角回答はありたるも其内容は依然不滿足なるものなり而して本問題の解決策は或は條約により歸化權を獲得するか又は條約により日本人の權利を保護するかの二途に出でざるに加藤外相の意見は歸化權の獲得は解決策としては確に有効なるも國家の體面上好んで之を要求すべき性質のものに非ずといふにあり且つ絶對に反對なれば交渉は自然此の方法に局限せらるゝ次第なるが帝國政府は今回の回答の不滿足なるにつき一層交渉を繼續する豫定なるも條約の改訂若くは追加に依る根本的解決は從來の交渉に見て殆んど絶望なるを以て今後は出來得る範圍に於て在留同胞の利益を保護するの交渉を進むる方針なりと

●國民黨の廢稅鼓吹

國民黨は去月廿一日營業稅廢止問題に關し全國商工業代表者約五十名を本部に招待し懇親會を開き主人側よりは犬養總務以下卅餘名出席、先づ營業稅廢止に關する同黨の調査書類を一同に配付し次で犬養總務は左の如く演說せり

營業稅廢止については昨年來吾黨の主唱せる所なるが單に同稅のみならず諸稅の輕減を行ひて生產費の減少を圖るは目下の急務なりとす商業は又國際上にも關係する事大にして我輩は今春大坂商工業者の最も大切なる顧客はいふ迄もなく支那にして支那の通商上勃海灣に一の貿易港を獲得せざるべからざるを說きたる[illegible]當時此希望の現實も決して不可能にはあらざりしに惜しいかな[illegible]交政策宜しきを得ざりしため折角の好機を逸し去りたり大藏大臣の說く所は全くお極まり文句[illegible]して大に輸出貿易を盛にせよといふに過ぎず斯の如きは政府が獎勵せずとも商工業者は自己の營利上自然其方面に向ひて進むべし夫よりも[illegible]業の妨害となれる生產費を減ずる事に向つて大に努力せざる可らず匆々此意味に於て營業稅を[illegible]成なり云々

●法科の年限短縮　東京帝國大學にては今般[illegible]大學分科大學通則、大學在學規則及び法科大學[illegible]並に試驗規定を改正し[illegible]以て發表せり而して法科大學[illegible]學科政治學科經濟學科[illegible]き從來就學期四ケ年なりしを[illegible]の就學期と改正せり

●議員の旅費モグリ防止　[illegible]議員の旅費は從來本籍地若くは[illegible]より分を支給したるも[illegible]其本籍地に在住せる議員に[illegible]樺太朝鮮又は關東州に在留の[illegible]なし其寄留地よりの[illegible]不正の甚だしきものなりといふ[illegible]檢査院の意見に基き[illegible]に於て其在住地より[illegible]る事に變更したり[illegible]一層嚴重ならしむれば東京に在住し其選擧區よりの旅費を受け居る議員に對しても旅費の支給を要せざる事となるべく其金額も僅少にあらざるべし

●選擧取締勵行　内務省にては目下選擧取締の勵行方法に關し取調中なるが先づ其手段として

一　候補者は文書又は公開演說に依るの外選擧に際して他の手段を取る事を得ず

二　候補者を應援せんとする者は候補者同樣文書又は演說に依るの外戸別訪問を爲す事を得ず

との二点を主眼となさんとの議の[illegible]と云ふ

●任用令改正案　[illegible]内閣の文官任用令改正[illegible]議を特別委員長に蜂須賀[illegible]子　末松　加藤　南部　清浦[illegible]の各顧問官を委員に擧げ[illegible]別委員會を開き任用令改正案の[illegible]條審議を爲したる[illegible]致するに至らずために結局任用令改正[illegible]となりしと[illegible]

●日米議員[illegible]會議　[illegible]日米議員[illegible]議員會は[illegible]十七日午後[illegible]時より[illegible]三項を協定したり

一　日本の親善を益々鞏固ならしむる事に努むる事

二　[illegible]大會の前後に[illegible]

三　[illegible]

[illegible]氏は[illegible]自分等が今回米國議員團を代表して出席[illegible]日本に來朝する事となる[illegible]米國下院議長クラーク氏は大に[illegible]の意を表し責任の重大なる旨を告げ且つ此議會を利用して日本議員に對し敬意を表せられたしとの傳言ありたり又今回自分の來朝に際し上下兩院各派の有力なる議員諸君より熱誠なる歡迎を受け感謝に堪へずと述べ次に奧議長よりエーチー氏の[illegible]年の會議は米國に於て[illegible]を以て日米兩議員諸君は從來の如[illegible]ならずヨリ多數の參列あら[illegible]れたる由を[illegible]し滿[illegible]會夫より[illegible]氏と[illegible]に於て午餐を開き[illegible]

[illegible]駐[illegible]丸は其[illegible]

[illegible]積を大連に於けるが此要我外務省より同船主に向ひ同船の[illegible]き[illegible]なる事情ある[illegible]を船主に[illegible]承知し居るや又今後同樣の[illegible]生すべきや之に對し船主の[illegible]と諮問し來りたれば船主は[illegible]請起りたる時は該印度移民を送還する[illegible]外[illegible]なかるべしと回答せり

●袁總統の眼に映ずる日本人　[illegible]袁總統は最近某顧問に向ひ余が[illegible]國の親善と提携とを主義とせる事は[illegible]隷に總督たりし時と今日と變る事なし只兩國のため遺憾とすべきは[illegible]に渡來する支那學生の[illegible]及び支那貿易に從事する日本實業[illegible]會員なりと謂れる由是れ實に[illegible]

●同胞の石油王　北米に[illegible]ヤルガリー[illegible]大油田より[illegible]噴出し五弗の會社株が一躍二千弗に騰貴して以來當世成金たらんとするものは石油坑を發見せねば[illegible]目となりたるが茲に端なくも在米[illegible]より一大成金の石油王を出せり新潟縣出身岸吉松氏といふは[illegible]六年の高商出身にして日露戰役の際は一年志願兵にて第[illegible]師團糧[illegible]一等主計として遠征[illegible]し人なるが[illegible]後間もなくテキサス移住を思ひ立ち數万弗の資本金を携へ來りて同州ターレーに大規模の農場を[illegible]在の所有地三千英町に達し居れと一昨年來霜害其他の災難頻至し經營[illegible]る困難となれる折柄所有地内より[illegible]らずも石油の湧出せるを發見したるより白人資本家等は爭つて之を買ひ入れんとしたるも同氏の[illegible]家は[illegible]にて石油業に從事し數十万の財產を[illegible]の方針を立て[illegible]同氏は[illegible]五月下旬歸國したるが[illegible]くも今月下旬までには[illegible]す[illegible]今後事業の遂行如何によりては[illegible]

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次

日本郵船　大阪商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次

手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲米國實地 實業經營法

柳原新不氏著　定價一冊金壹弗

組育新報社

▲第二回母國訪問團員募集

規則

一、[illegible]期位式延期のため改正

一、經費一人二百四十弗

一、十月上旬出發日本滯在約兩ヶ月

一、市俄古を中心とする一般同胞より募集

一、寫眞に經驗ある人及び數名の小兒を預り同伴する婦人各一名の加入者を求む

一、詳細は改正規則にあり委細與會

申込次第進呈す

紐育母國訪問團本部　紐育市第六街二一〇八

主催者　林富平

●高峯博士創意の化學研究所成らん

當地の高峯博士は豫々吾國に於て歐米諸國に於けるが如き一の化學研究所なきを遺憾とし昨年歸朝の際は[illegible]に東京の重なる學者實業家を[illegible]に招待して其贊同を得、一方山本内閣の諸大臣を一々歴訪して[illegible]する所あり、結局[illegible]者志の費用を[illegible]受け直ちに創立に着手する手筈[illegible]なり居たるが、[illegible]甚だしく其後内閣の更迭と共に一時右運動を中止せる次第なりき、然るに最近故國通信に依れば過般農商務省に於ける實業家各集會並に大隈伯[illegible]間際に至り[illegible]會の席上伯及び農相等は何れも化學研究所設立の必要に論及せる由にて其[illegible]は高峯博士が東京瓦斯會社長高松工學博士と共に澁澤男中野武營氏等の贊同を經て調査の歩を進め現に議會に於ても以上諸氏の外學者實業家連名にて請願書を提出し頻りに政府當局者を勸説したるに[illegible]くもつにして政府に於ては果して如何なる計畫を以て實行に着手すべきや[illegible]は未だ明かならずと雖も一ケ年の經費を約十五万圓と見て約三百万圓の基金を得社團法人を組織し所謂自由研究所として發明者を待つに在り左れば政府に於ては右は最も有力なる參考資料なるべく而して其資金は一部は政府より補助し他の一部は民間有志の寄附を仰ぐ事となるべしといふ

●光輝地球儀發明

▲池森氏十年の苦心

紐育市ミユニバル瓦斯會社の社長ニコライス氏より今回米國基督教青年會に提供したる光輝地球儀は同社の雇人ライ池森氏が十年間苦心慘憺の後發明したるものにして地理學上特記すべき發明なりといふ

▲光輝地球儀は今日使用しつゝある地球儀と異なり解折自在にして背後に備へつけたる電燈の作用より單に地球儀上に書かれたる山川國土を知らしむるに止まらず地球儀の内部より解折したる部分を引出す時は一目直ちにその山川國土に關係せる他の土地を發見する事を得るものなり

▲例令ば伊太利及其附近の島嶼を[illegible]きたる部分を解折地圖に照しあはさんと解折部分を引出す時は羅馬の市街は忽ち現はれ來り南亞米利加の南端を地球儀に於て見出し難き際解折部分を引出す時は南端は明かに方位羅針の關係を知る事を得べし此の如く[illegible]の地球儀は東半球を書くも[illegible]を[illegible]ざれば西半球との關係は何轉の勞を費やす事なく直ちに解る事態はざるに反し光輝地球儀は東西兩半球の關係を知らしむるによりて今日迄學校に使用[illegible]たる[illegible]には到底發見し得ざる[illegible]將來地理學教授上に一大革新を與へたるものなりと

●[illegible]兵猶豫[illegible]

[illegible]イ[illegible]は去四月徵[illegible]間際に至り[illegible]猶豫願を發したる[illegible]如くなるが[illegible]り有効に受理せられたる[illegible]官憲に對する[illegible]ものと認むべく此[illegible]範圍に擴張し[illegible]屆出を許可する事となる[illegible]者の便利[illegible]めて多かる[illegible]

●在米同胞と飛行術

[illegible]飛行機[illegible]作場主[illegible]の徒弟を募集するため本[illegible]告し雜報欄内にても同氏に關し記する所ありしが過日同氏來[illegible]に依れば右記事及[illegible]を見て從[illegible]らんとの希望を申込來れる者[illegible]名に及び中七名は紐育[illegible]より[illegible]は加奈陀、桑港、シャトル及[illegible]方等より應募を申込來れりと以て如何に飛行機熱の在米同胞間に[illegible]を示すに足らん、因に氏の募集[illegible]二名の徒弟は既に其人選決定したる由なり

●飛行學校卒業の同胞

[illegible]市正俊氏は豫てより當州[illegible]ポートなるカーチス飛行學校に於て飛行術及び飛行[illegible]製作修業中なりしが過日芽出度卒業せり、氏は米國[illegible]地に於て尚一層の實地[illegible]に歐州に渡りて[illegible]る考なりと

●卒業證書の僞造

[illegible]日本人學生にして米國[illegible]大學[illegible]入校せんとする者は[illegible]學校、私立大學又は[illegible]卒業證書を所有[illegible]を受けて無試驗入學[illegible]規定なるか大學入學者[illegible]資格なく又試[illegible]き者多數あるを[illegible]し其を對手に[illegible]心を起し[illegible]したる上ダウ[illegible]於て日本[illegible]賣せり[illegible]き捨てならぬ[illegible]に著手せ[illegible]たず、[illegible]無は別[illegible]傳ふる[illegible]

●黄[illegible]氏の來[illegible]

去十五日[illegible]着[illegible]大[illegible]

特別廣告

[illegible]紐育[illegible]本人會を經て[illegible]

[illegible]ニユーヨーク、コネチカット、ロードアイランド、マサチユーセット、ニユージャーシー、ペンシルバニア、メリーランド、デラウエア、ワシントン[illegible]

ニユーヨーク日本人會の保證すべき證明の種類左の如し

在留證明　營業證明　身分證明　英文身分證明

手數料は從前の通り

[illegible]事務に關する細則は紐育日本人會をして之を定めしむ

右は大正三年八月一日より之を施行す

在紐育總領事代理

領事　來[illegible]三郎

郵便[illegible]表

[illegible]

百方國の花嫁

[illegible]

紐育艶婦女の告白

[illegible]

No. 15 8 VOL. 1
The Japanese Times
SATURDAY Aug. 1st 1914
紐育新報

墺塞戰爭と列强國の關係

普佛戰爭以來過去四十四年間、兵力權衡の力に依て辛くも其少康を保ち得た歐州列强國の關係は、墺國皇儲の暗殺事件に其端を發した墺塞兩國の戰爭に依て再び危險の狀態に陷入り、今日迄の來電を綜合して一見すれば英外相グレー卿の調停案失敗に次いで墺軍のベルグレード占領、露國の大々的戰備等世人をして歐州の天地は今將に腥風血雨の修羅場たるかの如き感を抱かしむるに至つた、勿論砲火既に開かれた今日列强の態度如何に依て事態甚だ容易ならざるは明かであるが此際此時、所謂歐州の大亂なるものは新聞紙の報ずるが如く而かく切迫し居るや否やを疑みるのは頗る興味ある問題である、假りに獨逸が墺國を助け、露國が塞國を助くるとすれば伊國は三國同盟の關係上墺國に味方し、佛國は露國に應じて背面より獨を襲ひ、英國は三國協商の義務として、將た此戰亂により獨逸の勢力を殺ぐの好機會として、少くとも露國の勢力を之以上に增大せしめざる範圍に於て露國を助くるものとする、茲に於てか所謂歐州の大亂なるものは起るのであるが乍併佛國の新聞が言ふやうに事變の背後には獨逸があつて獨逸は露國英國が大罷工及び愛蘭土自治案の始末に窮し、英佛兩國の戰備未だ全からざるに乘じ墺國を教唆して事端を發せしめたとしても、此事變の當事人としても獨逸は歐州の大亂に依つて益する所大なりやといふに頗る疑問である、如何に國勢隆々カイゼルの鋭氣滿々として優に五百万の軍隊と、三百餘隻の軍艦を動かす力があつても、唯管に商業の大發展を圖り更に其國の領域擴張に[illegible]る事は尋常一樣の業ではない、況んや之等の大軍を動かして戰爭の政策を蹈まんとするが如きは寧ろ問題の外なるに於てをやである、獨逸帝國が露國の豫備兵徵集令を聞くも猶且[illegible]躊躇する所以は蓋し之が爲めではあるまいか、次に自餘の歐州列强の立場如何を觀るに英國の[illegible]ある所は露國と獨逸であるから若し此戰爭に依て兩國の疲弊を來たすともあらば所謂鷸蚌の爭ひ漁夫の利となり、現狀維持の國是に對して稍や少康を得るの利益はあるかも知れぬが而かも自家自ら戰亂の渦中に沒頭するの餘儀なき破目に陷入り、立國の大本たる商工業の上に蒙る甚大の打擊は固より、事變の經過如何に依つては地中海の制海權に影響を及ぼし極東に築き上げた地盤の動搖を感ぜずとも限らず、結局失ふ所、得る所に優るの變態を生ずるかも知れぬのである、佛國と雖も其通りで此機會を利用して積年の恨を晴さうとしても兵力は遠く獨逸に及ばず、國內には戰爭無用を唱へ、大ストライキの旗幟を揭げて當局者を威嚇する社會黨の跋扈するあり、國民の意氣消沈[illegible]僅かに金貸國として其面目を保つの地位に在つては到底兵力に依賴して利益する事は不可能である、然らば伊國はだうかといふに之亦墺國と共に戰爭に對して多大の利害關係を有せぬのみならず三國同盟の義務として餘儀なく大戰に參加しても往時サルヂニャ王國たりし時英佛軍に隨つてクリミヤ戰爭に參加した時程の利益を受くる事も覺束ない、言はゞ無益の戰爭をして國力を蕩盡する事となるので佛伊兩國が先んじて英外相の提案に贊同したのは之がためではあるまいか、露國が日露戰役の瘡痍未だ癒へざるは勿論の事、米國と雖も軍需若くは糧食の供給に依て多少利益する所はあつても歐州各國より受ける莫大の投資を回收されて各種事業の縮少を迫られ最重要輸出品の賣行大いに減退すべく、一般財界の不況を惹起する事ともならば利害相償に終り自家の損失となるかも知れぬ、事變の火蓋を切つた墺國に就て[illegible]の狀態に就ては今更ら論ずるを要せぬ

如斯觀來れば歐州諸國の[illegible]戰亂を厭ふの現狀に在ると見て支へないのであるが歐州大亂[illegible]さうで而かも實さうに見へ[illegible]あつても永續の見込ない最も重要の理由は何かと云ふに三千億万の大[illegible]と數百隻の軍艦を動かす[illegible]何處より得來るかである、[illegible]起るとすれば歐州全體より生ずる力は軍費の爲に涸渇されて[illegible]產の狀態に陷入るであらう[illegible]如上の見地からして歐州大亂[illegible]るの見込なしとなす

●日本は英國を助けん [illegible]電報に依れば東京の[illegible]始まらば日本は英國同盟[illegible]助くべしと論ぜり

●黒國媾和會議 [illegible]長者と會見のためサル[illegible]

●マ州新運河開通式 マナチューセッツ州ケープコッド灣と[illegible]灣を連結する新運河は[illegible]廿九日其開通式を行へり

●ル氏發見の河名 ル氏[illegible]中發見したる[illegible]府はル氏の功績を紀念する為め[illegible]セオドール[illegible]と命名したる旨通知し來れり

●カイヨー夫人無罪 巴里[illegible]紙主筆カルメット氏を銃殺せる[illegible]大藏大臣カイヨー氏夫人は[illegible]去廿八日無罪放免さる

●ウエルタ將軍 [illegible]

[illegible]て退職したるなり、余は[illegible]在米國領事の報告[illegible]バルカン諸小國なり云々

●歐州大亂か

[illegible]

▲[illegible]

▲[illegible]歐州各國に多數の[illegible]太平洋鐵道株は[illegible]歐州大亂によ[illegible]一弗五十仙暴落[illegible]日間米國より流出[illegible]十五百万弗に達す

▲[illegible]七月廿三日[illegible]

▲[illegible]の報至[illegible]式市場は前週以來依然[illegible]より的金を引出して主活[illegible]なり云々

▲[illegible]不振と米國領事報告[illegible]デンビー氏より[illegible]の報告は過日發表せ[illegible]る織物[illegible]無職業者を出し[illegible]

東京電報

日本と歐州擾亂

[illegible]

日本最近信

●[illegible]大倉組　目下[illegible]海島等は現[illegible]

[illegible]

●大[illegible]首相[illegible]京阪地方巡遊中な[illegible]

●支那第三革命[illegible]來支那に於ける[illegible]第二革命前に比[illegible]革命黨員か[illegible]を實行せんと[illegible]

[illegible]

海[illegible]等の部下多數[illegible]を策源地とし各省革命[illegible]に力め廣東にはシン[illegible]派多數歸國し漢口武[illegible]には李[illegible]部下多數入込み[illegible]湖南には[illegible]一派既に活動を開[illegible]し安徽に[illegible]文尉の部下既に[illegible]の形跡あり其他山東に於ては[illegible]黃天仇の運動効を奏し青島には[illegible]數の同志者あり今や革命黨の勢力[illegible]直隷省を除きては殆ど手の及ばざる所なく彼等は巧に[illegible]の物色を逆[illegible]て同志の糾合に力めつゝあり

▲革命方略の協議　是を以て血氣の徒は速かに事を擧げんと逸り居るもの少からず是か爲め革命黨領袖連は目下其慰撫方に困り居る有様にて去六月中旬革命派巨頭連が某處に會合せるは革命方略時機等を協議せ[illegible]か爲にて其際孫逸仙一派の理論派[illegible]一派の武人派並に陳其美伊海[illegible]少壯派との間には多少意見の[illegible]りしも結局第二革命の大敗は各[illegible]領袖間に於ける意志の齟齬に依る事少らざれば小異を捨てゝ大同を採る[illegible]く且つ此次革命の成否は[illegible]係上革命黨將來の立場に影響する[illegible]大なれば愼重事に從ふべしといふに決し其旨支那内地に於ける同志者に打電すると共に佛國に於ける[illegible]烈鈞兩氏に對しては歐州の官[illegible]をして革命黨の立場を了解せしむるに努むべき旨を打電し米國官[illegible]に對する運動のためには黃[illegible]を派遣する事となり黃氏は之が爲め米國に出發するものゝ如し

▲袁總統の豫防策　之に對し袁[illegible]は警戒をさ／＼怠りなく各主要な[illegible]都市に於ては探偵の網を張り海關[illegible]嚴命して武器彈藥の密輸入を取締[illegible]と共に兵權統一の急を感じ最近各[illegible]統より兵權を奪ひ腹心段祺瑞、馮國璋、段芝貴等をそれ等の指揮官に任じ革命に備へつゝあり併し袁總統か餘りに兵權集中に急にして長江一帶[illegible]の防備を北支那軍隊を以てせんとするの結果は南支那軍隊をして[illegible]革命黨に同情するの結果を生[illegible]部に於ける危[illegible]は一層甚だしき[illegible]へたるものゝ如し又今回[illegible]歸國に際し袁總統か大隈首相に[illegible]に關する傳言をなせりとは北京[illegible]の報ずる所なるか袁總統か[illegible]豫防のため歐米諸國に[illegible]つあるは事實なるか如く總統顧問[illegible]ソン氏の歸國及び同顧問ロックヒ[illegible]

[illegible]

●海軍[illegible]

[illegible]

本社營業部

▲日本行滊車汽船切符取次　ニューヨーク、シカゴ、ボストン、ソルトレーキ等其他全米各地より日本行き滊車汽船切符を取扱ふ　御用立の場合は當社へ申込あり度

▲手紙取次　一ヶ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辯

▲實業經營法　柳原賓不氏著

紐育新報社

▲第二回母國訪問團員募集

規則改正

一、會費一人二百四十弗

一、市俄古を中心として一般

一、寫眞[illegible]名の小兒

婦人

改正規則

紐育日本人會

幹事　林　富平

桑港だより

[illegible]ヤー[illegible]來私か[illegible]大[illegible]

[illegible]有權、[illegible]

[illegible]事情に因りては[illegible]も桑港開會長の談に依れば興行物に就ては[illegible]七ヶ月、協賛株式者多數あるも只帝劇女優の[illegible]山脇事務官長の來桑等し他は許可せざる方針なり云々[illegible]結果を結んで永久に在留邦人へるが先頭の日本よりの報ずる[illegible]の天下太平を招くに至るや否や甚だつて帝劇女優の來米すべきは疑なき[illegible]である、吾輩は自分の立場か所なるべく其際は各國にも巡業す[illegible]しても[illegible]びたらざらん事を訴るければ大層な人騒がせと[illegible]るべし

山脇事務長官は過日來桑し演説を試みた[illegible]熱心の程は[illegible]先生か日米親交[illegible]所などは聊か云はずもがなであつた、桑博か日米親交のヘルプになるなど勿體ぶつて言つた所で茶は沸かない、チー君さうじやないか

[illegible]紐育日本人會の總支配人とあつて元氣旺盛熱心に株券の募集に從來しつゝある、今度は翁も捨身の勇を鼓してシコタマ儲ける計畫であらう、白髪頭まで前後左右七轉八倒して商議[illegible]四海を驚かす所在紐育者と異ならぬ

[illegible]らしき女の歌川若菜女史は去十八日[illegible]ルドの城谷君と同伴して來着、セントフランシスホテルに陣取つて[illegible]桑港新聞記者を烟に巻いた、新らしき女丈に樣々の世評は[illegible]まいが、何の彼のと云つても女史は才媛だ、吾輩も聊か思召なきに非ずだが思ふにアンナ女傑は一所に住むよりも遙かに眺めて憧憬した方が[illegible]も知れん、但し向ふに思召[illegible]吾輩の知る所に非ずだ[illegible]紐育ウオールド[illegible]する[illegible]

[illegible]さんは歸朝の途過[illegible]雄氏の[illegible]へ[illegible]ましく[illegible]か乘船の[illegible]本は[illegible]れた、先生の駄ジャ[illegible]大いに當られた、サ[illegible]

●在留日本人へ注意　紐育日本人會は證明保證事務の煩雜を避くる目的を以て西部日本人會の例に倣ひ左の規定をもうけたりと

一、日本人會の保證を要する諸證明書は必ず日本人會規定の[illegible]に記入すべし

[illegible]は本人の請求に從ひ實費[illegible]五仙を以て本會より交附すべし

以上の規定は八月一日より實行する筈なりと

●帝劇女優愈來米せん　山脇事務官定なりと

●日本と自動車需要　米國製自動車を日本へ輸出するの用件を帶び日本へ赴き此程歸米したるベラー氏は語りて曰く日本に於ける自動車の流行は漸次盛況となり其貢行も良好なるが最も需要の多きは下等品にして更に上級の人士は最上等の日本[illegible]万圓位のものを購求し米國に[illegible]需要多き中等品は更に貢行かず[illegible]て之を使用するは殆んど都會に限定されつゝあり尚日本の道路は一般に不良なれば自動車の通ずる場所甚だ少なきにより同業者の豫期する如き盛況を見ざるならん殊に困難なるは東京市中に於ても自動車を驅らす[illegible]る時は不良の車夫等が[illegible]し損傷を與へ乍ら損害を要求する[illegible]のあり之がため[illegible]自動車を[illegible]す迄に[illegible]五十圓も支拂ひし事あり[illegible]

●早稻田大學々長高田早苗博士、衆議院議員増田義一兩氏　は目下[illegible]途中なるが九月十[illegible]

特別廣告

一　左の地方に在留する者在紐育領事館に證明を求めんとする時は必ず紐育日本人會を經て出願すべし

マサチユーセット、ロードアイランド、コネクチカット、ニューヨーク、ニユージャーシー、ペンシルバニア、メリーランド、デラウエア、フロリダ、ワシントンデーシー

一　ニューヨーク日本人會の保證すべき證明の種類左の如し

在留許明　營業證明　身分證明　英文身分證明

一　手數料は從前の通り

一　證明保證事務に關する細則は紐育日本人會をして之を定めしむ

一　右は大正三年八月一日より之を施行す

大正三年七月廿五日

在紐育總領事代理

領事　來栖三郎

[illegible]

謹告

[illegible]

▲今[illegible]

紐育[illegible]

郵便發着表

ニューヨーク[illegible]

日本[illegible]

船名

八月[illegible]

九月[illegible]

開盛亭

質問あり

[illegible]

五味商會

▲法律顧問▲

民事刑事訴訟　一切[illegible]貸金取立等凡て[illegible]、鑑定無料希[illegible]れ度し

辯護士

[illegible]

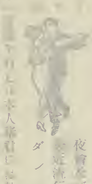
寫眞製造

[illegible]ケースは日[illegible]くべからざ

[illegible] & CO.



[illegible]　ダンス教授



ダンス　夜會[illegible]流行

▲發賣禁止揃ひ

男女の生活

▲發賣禁止　海野幸德著　定價一弗二十仙

本書は著者獨特の巧妙なる筆法を以て露骨に男女の性的生活を説明せしものなるが内容甚だ猛烈を極めし結果遂に其筋の發賣禁止となりし物な[illegible]

▲發賣禁止　青柳有美著

質疑應答　戀愛問答

定價　四十仙

本書は風俗壞亂安寧秩序紊亂の下に發賣禁止となりし奇々珍妙の書なり

▲發賣禁止　秋琴女史著

ボケツト　女醫者

定價　壹弗

本書中（生殖器篇　生殖器解剖に當りては露骨に且つ痒き處に手の屆くが如き猛烈なる筆法に依り説明せし故か出版と同時に發賣禁止されしものにて世界無類の珍書なり

▲發賣禁止　[illegible]主人

きむすめ論

定價　壹弗

▲發賣禁止　北澤正巳著

色情思想の解剖

定價　九十五仙

▲[illegible]の大傑作益々好評

[illegible]幽芳の作　愈々完成

百合子

定價[illegible]弗十仙中一弗後一弗十仙

目下[illegible]に於て[illegible]大坂毎日新聞の連載せしものなるが婦人の髮は申す迄なく衣服に迄百合子形の模樣を取る迄に流行せし近代稀なる一代傑作として本書を讀みて泣かざるものは[illegible]なり

▲浪六先生の新著

現代思潮　男女の戰ひ

定價　上下各九十五仙

▲蘆花[illegible]富健次郎著

みゝずのたはごと

定價　一弗五十仙

羅府東一街二五〇

書店　博文堂



シアトル市[illegible]の御方の御便宜に取扱可申上候

藤井旅館支店

ホテルタコマ

室數二百廿、[illegible]スチームヒート[illegible]

HOTEL TACOMA

128 Jackson St. [illegible]

Beem Nom Low

[illegible] 6th Ave

料理　品南樓

支那料理にして[illegible]

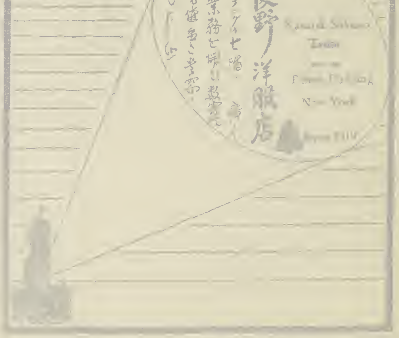
午前十時より午後六時まで[illegible]

御下宿　吉田宗章

[illegible] Lexington Ave. N. Y.

Telephone [illegible]

●球臺あり●



TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO

菊地　寫眞館

▲[illegible]生命保險會社▼

代理人　千木本正治

寄書

大學令改正と私立學校

人見潤

聞く所に依れば何來鋭意教育行政の改善を謀りつゝある一木文部大臣は已でに大學令改正の爲めに一通りの調査を了へ專門學務局長をして一案を具せしめ將に高等教育會議に下して之を諮問せんとしつゝありと今其新案なりとして傳へらるゝものを見れば要目如左

一　公私立大學は一科若くは二科以上を以て成立する事

二　修業年限は各科三年以上とし之に二年半以上の大學豫科を附設する事

三　大學豫科の生徒定員を一學級四十名以下とする事

四　教員の任用資格に一定の標準を設くる事

五　生徒の月謝及之と合せて其大學の維持に支障なき程度の收入を生ずべき資産を有する事

六　卒業者の資格待遇及學士の名稱等を總て帝國大學卒業者と同一なるべき事

七　公私立大學は博士の推薦權を行する事

八　公私立大學共通の協議會を設け博士の推薦を決する事

抑現行大學令は單に只帝國大學令あるのみ、改正の必要明なるは勿論にしてかゝる事を今日の問題とせざる可らざる程こそ寧ろ遺憾とせざるはざるところなれ、而かも當局より悉く理想的なる所はず當局種々の事情に基づきたる現行大學令に據ては多く之を云ふを須ゐざれども只之を比較しては改正案の優良にして[illegible]歩的なる事を要せず、余輩は之が速に其決定實施の運びに至らん事を希望して已まざるなり、今此文相案につき簡短に其改正の著名なるものゝ二点を指摘せんか第一、從來文部省の方針とし所謂綜合大學制を標榜し單科制を非とせしが如きは其理由とする所が全く事實の見當を誤りたるに過ぎざるものあり、余輩は今玆に其評論に及ぶの煩を省くも要しこの文相案の如くに公私立大學は一科若くは二科以上を以て成立する事といふ所謂單科制をも認むる事となりしは今更ら乍らに是れ非常を待たざると云はざる可らず第二、公立私立の別即ち設備及其結果の効によらずして徒に其設立者の資格の公人たると私人なるとの相異により其設立の認可乃至卒業生の資格待遇等に差別を立つるか如きは甚だ所以なき事たるべし、蓋し大學の事業たるや國家人民のためにするものなり即ち苟も公立と私立とを問はず固と是均く其設備にして目的に叶ふ丈け完備せる以上其設立者の資格の公私如何によりて異なるにあらず、其用に關しさせば其備ふる所は劃一ならんよりは寧ろ多種多様ならん事を要するに非ずや、余輩は特に之を從來の劃一的學制の結果に徴して此言の誤らざる所以を思はずんばあらざる故に今回文相の改正案なるものを見るに此點に於ても之を賛成するを憚らず、若し夫れ此政正に伴ふ所の凡て設備完全の要求、殊に大學豫科に充分の年限を要する條件の如きは余輩之を否とせざるのみならず明かに其極めて必要なる所以を認むるものなり

●眩ゆいダイヤの女

張作霖の妾で軍事探偵との嫌疑を受けた元の奉天藝妓小鈴事宮家せせ(十九)は過日兵庫湊町の自宅へ一年振で歸へた水色の絽の羅に對の夏コートを纏ひハイカラ髷に金縁眼鏡左右の兩手はダイヤの閃く純金の指環を[illegible]つ迄はめて身邊まばゆき其有様は生さぬ仲の清岡咲江を生のもので[illegible]ると思へば間違なく丸ポチャで小柄な[illegible]形如何にも支那向の美人と受取られた、姫路より同車の記者に向つて語る、よく分りましたね、私は去年の今頃から奉天で褄を取つて居たのですが半季ばかり經つと日本人支那人合併の大宴會に招かれてその時アノ人(張作霖)に見染められたのです後兩鐵の佐藤さんからお話がございましたか彼地では支那人を客にしますと人氣に障りますので素氣なく斷はりましたら今度は否應なしに落籍されたのですそれから彼是五ケ月になりますが近頃妾が軍事探偵だつてねい貴公、大變な評判なんですが一體誰がこんな評判を立てたか[illegible]通譯の日本人が妾がアノ人の傍に居たんでは他の藝者衆が[illegible]持つ事が出來ず結局懐中勘定が違ふといふのでその腹癒せにやつたのでせう、而もそれを總督の所へ吹つこんだのですアノ人は大層物の解つた[illegible]ですからテンデ笑つて相手[illegible]にもしませんでしたが[illegible]から注意[illegible]編島さんから[illegible]も御注告があつたので[illegible]一度に歸つて來ました兎に角私は今一度アノ人の側へ參りますよソレからあの人には私の外に支那婦人の妾が四人もあり其上澤山の藝者を抱へて居るんなものですその又四人の妾との間に八人の子かあり邸内で[illegible]に住つて兵隊に取卷れ用心堅固です私共の寢臺の上げ下ろしなども[illegible]か皆して呉れます、[illegible]を合はせる事はまあありません[illegible]は二万人位居るでしやうその上奉天の半分の地所は皆アノ人の所有ださうですが其代り二万人の兵隊は皆アノ人が養はねばならず北京の[illegible]の方からは一文も貰ふ[illegible]せん

投書

▲グウを負ふ[illegible]に非ず、[illegible]招きして客を呼ぶ[illegible]分ながら可哀想なり、[illegible](アスベリー仙人)

夕涼み玉屋の客に[illegible]

淺ましや[illegible]の[illegible]に[illegible]

例の色男昨夜玉屋を[illegible]所を知らず

短夜や見果てぬ夢の懷かしく

▲ガは燈に集まり男子は美人の許に集まる、狗は香を慕ひ人は色に趨る、狗と人とは此点に於て最も敏感なる動物なり色のある所千里遠しとせず繁々と通ふ御信心者よ[illegible]さんを筆頭として[illegible]の頭君其他善男子[illegible]の甘きに集まるが如し、それかあらぬか[illegible]の食[illegible]何時行きても空席なし、[illegible]新らしき[illegible]發展し給へ斯く申す[illegible]ドライ組の[illegible](甲斐)

岡燒してさゝ浮名が立つに

成つたら出るじやうお國に

(紐育ドライ組)▲景氣如何、[illegible]きく、今一度大[illegible]が聞きたい、二[illegible]後は[illegible]可し、明日から[illegible]ばイヤになる、[illegible]コワイ[illegible]をやつてるかね、[illegible]やつて[illegible]原田)▲籠屋君シソ[illegible]本人は可成日本人の[illegible]のか同[illegible]の[illegible]聞は[illegible]社會[illegible]ではありませんか(上町小僧)

No. 159 VOL. 4 The Japanese Times SATURDAY Aug. 8th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
[illegible] Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. [illegible]475 Chelsea
Subscription Rate
[illegible] A copy $2.[illegible] One Year
(Postage included)
[illegible]

紐育新報定價（前金郵稅共）
[illegible]一ヶ月分一弗
[illegible]
[illegible]月[illegible]日第[illegible]
[illegible]甲斐[illegible]
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二百二十八
電話第六四七三 チエルシイ

歐州大亂と吾帝國の外交

大英帝國は既に獨國に對する宣戰の布告を發し空前絶後とも云ひ得べき大戰爭の悲劇は今正に吾人の眼前に其序幕を展開せり、戰局範圍の廣大なる戰鬪員の夥多なる、既に古人の夢想だもせざりし所、就中最近科學の精髓を極めて巧みに訓練せられたる陸海の精兵が歐州平原及び北海地中海の洋上に大活劇を演ずるの光景は更に今人の膽を寒からしむるものあり、思ふに此戰亂の結果、勝敗の數何れに歸するに論なく世界輿地圖に多少の變改を見る可きは明かにして黃族の將來若くは吾日東帝國の立場より考察し霞ケ關當局者の胸中幾多經綸奇策の往來するもののあるは去三日の東京電報によりて想像し得べく吾人亦飛電警報交々到る毎に此大戰亂が吾帝國の外交と甚深の關係あることを思はずんばあらざるなり吾人の覺束なき見地よりすれば吾帝國は此際戰局の範圍益々擴張せられて極東に及び帝國は日英同盟の義務として此大戰に參加するを以て得策とするのみならず吾當局者は進むで極東に於ける交戰國の[illegible]を期するの事に努力するの要あるをなす、即ち英獨艦隊の衝突若くは在支英獨兵士の爭鬪ありし場合は事の大小を顧慮する事なく直ちに獨國に對して宣戰を布告し、列强國が多分の考慮を費さざる以前に於て先づ膠州灣を占領せざる可らず、往昔サルヂニア王國はカブールの[illegible]策を用ひて何等の利害關係なきクリミヤ戰爭に加はり巴里會議に於ける英佛の後援に依りて巧に墺國の勢力を擯き以て克く伊太利聯邦統一の基を開き得たり、況んや今日吾帝國の位置は當時の一少邦たりしサルジニャが敵本主義を以て內國統一の目的を達せるが如きに比すべくもあらず、世界列强の一員として優に東洋の霸者たるの資格を有するに於てをや、故に此際歐州大亂の機會を把握して膠州灣を占領するは近き將來に於て必然來るべき媾和會議に參列して强者の權利の分配を受くべき資格を作る所以なると共に三國干涉、遼東還付に對する臥薪嘗膽の鬱憤を晴らし、更に支那大陸に向つて吾勢力を扶殖するの最良手段なりと云はざる可らず、論者或は列强國が吾帝國の大陸發展を喜ばざるを思ひ且つ戰爭の勝敗未だ決せざる今日媾和會議を云爲するの早計を唱へて吾人の所說を批難するやも知れずと雖も媾和會議の開かるゝ頃は交戰國が既に其國力を蕩盡し其兵力の不足を感じ吾帝國の主張を拒絶するの力なき時にして例令之ありとするも吾にして巧みに彼等の弱點を突かんか犬牙錯綜せる彼等の利害關係は到底吾を屈服せしむるの餘裕なかるべきなり

次ぎに吾帝國が外交上歐州大亂と關聯して最も其手腕を發揮せざる可らざる重大要件は對支外交の刷新に在りとす、由來吾帝國の對支外交が[illegible]人批難の標的たりし所以は或は多少當局者の措置其當を失せるものありしならんも其根本原因は獨逸米國の勢力袁世凱の背後に在りて隱に吾勢力の浸潤を遮ぎりたる結果に外ならざる事は袁世凱が過日獨米顧問の進言を容れて海外留學生禁止令を發するの方針を發表し暗に支那學生の日本留學を杜絶せんと試みつゝあるにても明かなり、故に此際獨逸が八方に敵を受けて極東を顧慮するの暇なきに乘じ袁世凱に向つて高壓的外交方針を加へ、袁にして飽迄從來の排日態度を改めざらんか孫黃及白狼等を助けて交換條件により第三革命を成就せしめ、以て袁政府顚覆を謀ると恰も米國がカランザを助けてウエルタ政府を倒せるが如くするも不妨、殊に日米問題の失敗は既に覆ふ可らざる今日、臆面なく米國の支那に於ける事業を妨害し彼等をして「エジヤ、フオア、エジヤチックス」の大主義を看取せしめ以て彼等の所[illegible]米大陸は白人の米大陸」てふ朦[illegible]主義に對照せしむるも亦可なるに非ずや

國家百年の大計を念ひ、東亞民族の將來に對して其肝膽を碎くの人は吾人と共に此千載一遇の好機會を逸する事なかる可きなり

歐洲動亂靜觀

脇本東隅

▲一塞爾比亞兒徒の亡墺皇太子[illegible]車馬前の一擧手は、今や端なく歐州の戰雲を捲き起し、陸に幾百万の貔貅を動かし、海に幾百の艦艇を[illegible]しめ、歷史有つて以來嘗し例なき大々的修羅場劇は刻を逐ふて[illegible]の各方面に演出せられんとす

▲墺太利亞の[illegible]比亞に與へ[illegible]の通牒中無禮の一項を含む[illegible]西亞の逸早く[illegible]も動員[illegible]も機敏なれば、其動員を口實に[illegible]度の[illegible]幕を[illegible]奇拔と謂ふべし

▲否カイゼルか[illegible]、事の急を聞き驚き、[illegible]て歸途に就きしを[illegible]の愛嬌か[illegible]の大[illegible]の平和の手段を[illegible]せ繕ひしなどは、[illegible]にし[illegible]る者なり

▲由來カイゼルの[illegible]懷くや久し矣、[illegible]底戰國の將[illegible]ピーター大帝の[illegible]實を全ふせしが爲には、[illegible]王の名をさへ得たり、今[illegible]會に際し[illegible]恣內より集[illegible]說を爲すに至る

▲墺獨共に戰意に[illegible]の外交に大抜[illegible]取りて[illegible]念の事共なり、[illegible]ず、同盟に列なる伊太[illegible]なからしむる[illegible]事なり、抑も伊の[illegible]既に年あり、况ん[illegible]に取らば、攻戰に適なる[illegible]すとて逃げ[illegible]伊の中立宣明に至つては、個人間で[illegible]

民心向背の決する所[illegible]方なし

▲伊をして佛を牽制せしむる當ての外つれては、獨墺の[illegible]戰に大支吾を生ぜしむる事必定にして、吾人亦二國[illegible]三國の少しく[illegible]を失ふやの氣[illegible]あり、今獨軍の[illegible]命に骨折る所は疾[illegible]の如く佛軍を其國內に擊ち、大捷を得て[illegible]を邀へんとするにあるべきも、白耳義の[illegible]鬪あり、國又幾多の試戰を要すれば、カイゼルの[illegible]再にあらざるべし、其[illegible]に伊に反省を促すも[illegible]なれ[illegible]

▲白耳義の小を以てして中立國の威嚴をはるゝを[illegible]せず、毅然として[illegible]獨の大[illegible]を[illegible]戰する[illegible]

（未完）

歐洲の大戰亂

[illegible]

▲白耳義開戰、[illegible]を[illegible]め[illegible]白[illegible]に[illegible]

▲米國の仲裁提議 大統領ウ氏は去五日[illegible]佛各國元首に左の意味の書翰を送れり

[illegible]實なる友誼的精神に於て斯言を爲す事の吾特種の義務なりと感ず即ち余は現在若[illegible]は他日最も適當なりと[illegible]

▲佛國の局外中立及三國同盟脫退 伊[illegible]は獨佛開戰と同時に局外中立を宣言せるが獨逸は速りに三國同盟の條約を守らん事を要求せるも[illegible]せず獨逸の最後通牒を受くるや去六日を以て之を拒絶せるのみならず伊國領土內に寄泊中なる[illegible]軍艦[illegible]は[illegible]時間以內に立退く可く[illegible]かざ[illegible]するに至れ[illegible]として余は該條約第三條により最も强强の元首として調印せる海牙平和條約に[illegible]

▲[illegible]膠州灣に封鎖さる 七日東京[illegible]に曰く、信ずべき所報によれば[illegible]東洋艦隊は膠州灣に獨艦隊を封[illegible]

し政府は之と同時に[illegible]最後通牒を發し、中立地帶たるルキセンブルグより撤兵せん事を要求し同日午後四時を期して其答を求めたるも獨逸は之に[illegible]以て[illegible]に當ら[illegible]

▲英國[illegible]一部交迭 軍隊を大陸に[illegible]佛兩國を援くべきや否やに付閣員の意見一致せざりし結果モーレー伯並にバーンス氏辭職せり尚キチナー子爵は新たに陸軍大臣に任命さる

▲英艦[illegible] 英艦アムフキオン號[illegible]沈沒した[illegible]設せる獨艦ルイス號[illegible]のために擊沈さる

[illegible]表せり、ロメスロフ[illegible]一漁船は獨逸の巡洋[illegible]に砲擊され火焰を上げ

●米國大統領夫人逝去 [illegible]夫人は過日來病氣中なりしの[illegible]午後五時[illegible]去せ[illegible]、右に付上下兩[illegible]を表するため休會せり

[illegible]東歐[illegible]起[illegible]

（カルカッタ州一日發電）

東京電報

●歐州戰爭と日本

▲東京政府の宣言發表　歐州戰爭に對する日本の立場に關し帝國政府は本日公報を發表して曰く、日本は[illegible]の平和速かに回復せられん事を[illegible]は勿論なるも若し[illegible]られ[illegible]日英同盟[illegible]は[illegible]に於ける[illegible]

日本は膠州灣を占領

[illegible]

▲東京市民と[illegible]ご樂せらる

[illegible]帝國[illegible]千代田は海軍省の[illegible]

▲英佛獨東洋[illegible]は香港に、[illegible]隊は[illegible]なり

▲貿易上の影響　[illegible]影響を受け居れり(以上四日着)

●大隈總理の聲明

首相大隈伯に明二日[illegible]の筈なるか伯は本日の[illegible]に關し語りて曰く、大なる平和を齎らすかため大なる戰爭は時に避くべからず思ふに今回の歐州大亂は世界[illegible]戰爭として永久の平和を[illegible]ん云々

▲海軍の活動　吾海軍は[illegible]に備ふるため[illegible]は既に作戰準備[illegible]

[illegible]は本日日光御避暑中なる　陛下[illegible]歐州の形勢に關し親しく言上する處ありたり

▲[illegible]　吾政府は[illegible]に對する中立宣言を手控へ[illegible]に重報の交換頻る[illegible]以上二日着

▲[illegible]　歐州戰爭に對す[illegible]するため[illegible]は[illegible]　陛下には[illegible]陸[illegible]の現狀[illegible]相成りたり(二日着)

●支那大動亂の兆

(上海特電一束)

▲[illegible]さる　大統[illegible]を取り其橫[illegible]殊に革命派に對[illegible]極め種々の事情にて[illegible]せる者すら一々[illegible]は死刑に處され特に[illegible]たし、秘密[illegible]結果人格劣等なる[illegible]關係より中傷的[illegible]報告多きため卑な[illegible]もの勘から[illegible]の勢は今や支那[illegible]此際蹶起せば[illegible]易なるべく在留外人[illegible]に關し悲觀的[illegible]視を爲すに至れり

▲白狼頭領大元帥と稱す　白狼團の[illegible]隊は西南方面に進入し勢威益々[illegible]人を[illegible]め去廿六日頃城縣を攻略せる後[illegible]首自ら大元帥と稱し袁世凱[illegible]の宣言を發し袁世凱急報に接し[illegible]文書に段芝貴に電命を發して鎮壓に從事せしめつゝあれど官兵の賊軍に投ずる者益々多く交戰頗る激烈なりと

▲湖南湖北にも革命起る　湖南省林州及桂陽州の軍隊白狼團と呼應して蜂起し第三革命黨に獨立の宣言を發し、各地に於ける袁世凱討伐の聲益々盛大となり湖北省に於ては漢陽襄陽の軍隊亦反旗を飜し運動益々猛烈となり武昌の形勢も亦頗る不穩となり廣東の軍隊一部に蹶起せり(卅日着)

▲白狼侵略袁世凱益々恐慌　河南地方に進擊せる白狼團は既に項城縣を[illegible]革命黨各地より蹶起し[illegible]來りて白狼の群に投[illegible]るか當て實戰の經驗を有せ[illegible]益々甚だしく漸次北京[illegible]んとするにより大統領袁世[illegible]に努むれど官軍屢々敗戰をなすにより袁政府は今や多大の恐慌に襲はれつゝあり

▲支那南北分離避け難し　揚子江以南諸省に於ける袁世凱反對運動の勃興殆んど極度に達し第三革命騷發の機運愈々切迫せるにより消息通は何れも南北支那兩分の機近けりと觀察し居れり(上海廿八日發)

日本最近信

●加藤外相談

▲對米交渉の發表　か外國では事件の濟みたるものはドシ／＼發表し居り我國にては此間始めて對米交渉に關する分だけを發表せしか秘密にして居れば發表しろと迫り發表すれば無用の事だと反對かある困つたものなり、今後は君等か惡口さへ云はさねしなければ一事件の落着毎に發表する考へなり、前外務大臣の攻擊なとしては餘りに大き過ぎるなり、米國との談判は永引くならん何しろ相手の米國の國家組織か極めて小國家の時代に出來ただけの不完全なる組織にして條約の締結權を有する中央政府其ものか地方政廳に其實施を迫る權能か無いのだから、本來云へば中央政府其ものか條約締結[illegible]ない筈なり是れには日本ばかりでなく列國か皆弱り居れり英國のニューファウンドランド漁業權問題の如き百五十年か二百年も經つてやつと目鼻の附いた例もあり

▲支那の關稅問題　は先方の申出に對して此方から返答を與へて置いたれば又夫に對し不承諾の回答ありたり、あれは現行法は我國の利益であり我國民の利害も現に支那に在るものと內地に居る商人との見解にも相反したことあり先方か吾回答を承諾せぬとあれば何も取急いで解決する必要もなし、山座公使の遺書ソンナものかあつたか無かつたかは知らぬか多交は外務省の方寸にある事で駐外使臣の采配すべきものでなし滿鐵事件も永引けば國際關係に惡影響を及ぼすならん

▲國民的外交　なんて新聞社の製造語で吾輩には何の意味だか分りかねる、三派合同なるものは問題か古い夫れでは新らしい事で巴奈馬運河の利用策だつて是れは非常な大問題で[illegible]實際の成行を見た上で無ければ判斷かつかず、議會の解散は議會か政府に反對すれば解散をするし反對しなければ必ず政府の與黨か少ないといふか反對しないものは皆政府の與黨なり云々

●滿鐵問題と中野氏　中野武營氏は[illegible]道院に仙石總裁を訪問し滿[illegible]問題につき意見を交換したるが中野氏は語りて曰く

今回滿鐵正副總裁に對する辭職勸告は[illegible]を欠くの嫌あり何となれば正副總裁の辭職を大塚理事の辭職と同時に行はしめ[illegible]兩成敗の如く爲さんとするは其の當を得たるものにあらず而も[illegible]職理由とする所薄弱なれば此間何か政治的意味あるらんと推測するに難からず由來滿鐵は吾國家を代表せるものにして殊に滿蒙經營の任重大なり斯る會社を政爭の中に投ずるは遺憾に耐へざれば余は出來得べくんば圓滿なる解決を爲さしめんと茲に眞相を確め調訂の任に膺らんと欲するなり云々

●山內中將の遺書　確かなる筋より聞く所によれば山內中將か自刃の際遺書として遺さんとしたるものは左の三項より成るものなりと

一[illegible]判所に出頭の際虛僞の陳述をなせしは武人として如何にも慚愧に堪へず

一自分のため山本伯に迷惑を及ぼしたるは實に氣の毒なり

一自分は製鋼所の創立に盡力せしにより其報酬金として十萬圓を貰ひ受け該金の內五万圓にて大森に土地及び家屋を買入れたり此の報酬金の事は未だ發表し居らざるものなり

●日米通商銀行設立　日米通商銀行の設立に就ては在米邦人も大に贊同の意を表し居るも詳細の交涉に至りては直接協議する必要あるを以て多分一兩日中に代表者を渡米せしむべしと

●大浦氏日露再戰論を叫ぶ　目下東北地方遊說中なる立憲同志會領袖大浦兼武子は福島市に於て演說中朝鮮二個師團增設問題に論及し日露戰爭再興の危險ありと言明したるため群議囂々たるものありて政友派の諸新聞は一齊に其の失言を論難し居れり

●臺灣土人討伐益々困難を極む　臺灣總督府にては過般來主力を擧げて生蕃討伐に從事し飛行機並に文明の利器を利用して各方面より攻擊をな[illegible]も兇惡なる土蕃等は聊も屈する色なく過日の總攻擊の際總勢二百の生蕃隊は攻擊軍の機關銃にて掃射され約半數の死傷者を出したるに拘らず尙反抗を繼續するが如き有様にて宛然モロッコの西班牙に對すると等しく容易く討滅の實を擧げ難き狀態に在り

●外人課稅問題　橫濱の永代借地に於ける外人會社の課稅に關し橫濱市官憲と外人との間に紛擾を釀し英佛大使より外務省に說明を要求せるを始め關係大公使より續々抗議的質問を爲し來れるが外人側の主張は永代借地及び其地上の建物は課稅すべからずとの海牙仲裁所の判決あるを以て例令日本の法律による日本の法人なりとても右の特權を有する營業に對し新たに課稅せんとするは不都合なりといふに在り我外務當局者の意見は海牙仲裁裁判所の判決は永代借地及び其地上家屋が外人の所有に屬する間にして日本の法人又は個人へ是等特權を附與すべきに非ず依て是等の法人又は個人が永代借地又は其地上建物を取得するに於ては日本の法律により所有權を有し同時に永代借地に伴ふ特權を失ふものたり今回課稅せんとするは即ち此日本の法律による日本の法人なれば何等苦情を言ふ餘地なき筈なりと

●新造船十万噸　日本郵船及び大坂商船か目下長崎、川崎、大坂鐵工場永田の四造船所及び英國等にて建造しつゝある新造船は郵船八隻六万八千噸大坂商船十隻三万九千五百噸にして其內郵船の八隻は船價約一千百五十万圓に上り本年內に全部竣工すべく又商船の十隻中一千噸級の三隻及び三千噸級の二隻は來る八九月中に竣成し又二千五百噸級の二隻一万噸級の二隻は明年六月中に尙五千五百噸級一隻は同じく明年二月に各竣成の豫定にして船價合計約六百万圓に達すべしと

▲米國の中立宣言　大統領ウ氏は四日歐州センソーに對する中立宣言を爲したり曰く、米國の法律並に條約はセンソーに關する意見感情の自由なる發表及軍需品の製造販賣を妨げずと雖もセンソーの繼續する間米國の領土內に於ける凡ての人は公平なる中立國の義務を守らざる可らずと云へり

●日本に同盟を求む　伯林電報は墺國が佐藤愛麿氏を訪ふて墺日同盟を申込めりと報せり、正可

▲本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次 日本郵船 大阪商船 シカゴ、ボストン、ソイラ ル其他滊車滊船取次の周旋方も御用立の場合は成る丈け御便宜

▲手紙取次 手数料一ヶ年一弗 市内の在留同胞に

▲各國語飜譯

▲通辯

▲實業經營法 林原資本氏著 實價一冊金 紐育新報社

▲第二回母國訪問團員募集規則

一、御即位式延期のため改正

一、經費一人二百四十弗

一、十月上旬出發日本滯在約四ヶ月

一、市俄古を中心とする一般團體より募集

一、寫眞に經驗ある人及び數名の小兒を同伴する婦人各一名の加入者を求む

一、詳細は改正規則にあり

委細照會

申込次第送る

紐育母國訪問團本部 紐育市第六街二〇八 主催者 林富平

●黃興と渡米せる丸山氏 … 革命黨の首領黃興氏が過日天洋丸にて桑港に來れる事は既報の如くなるか氏來着以來〔…〕第三革命黨は僅かに其活動を〔…〕る〔…〕

●〔…〕と〔…〕人の婚約 今回リッ〔…〕と婚約整ひ其旨發表せり、華觸〔…〕の發與は來十月當地に於て擧げらる〔…〕に氏は本日出發市〔…〕赴任す

●新任紐育領事官補 は來十日桑港〔…〕丸にて來米の筈

〔…〕に自動の〔…〕を憤慨して黃族團〔…〕の〔…〕なる事を語り且つ「大隈さん〔…〕は一本の足にてアレ丈の仕事をなさる、私は二本あるから相當な仕事をせねばなりません」と意氣軒昂たるものありしと

●太刀山一行の大人氣 目下布哇興行中の太刀山一行は至る所人氣湧く〔…〕如く既に四万弗の收益を得一行來〔…〕の〔…〕に在留同胞間にも活氣を呈し〔…〕就中〔…〕川、士州山、寒玉子等〔…〕の色男連は〔…〕の紅裙連より引張り凧となり居る由

●〔…〕廣告の犧牲か 臺灣阿喉なる〔…〕なる者は當州ローチエスター〔…〕行、人力磁力等の通信教授を爲すといふ「紐育理學會」なるものより金十二弗の取戻を爲すため當〔…〕領事館に向け、左の如き依賴狀を送り越せる由なるが右理學會なるものは〔…〕日本の新聞に廣告を爲し居れりと

拜啓時節柄各位御繁忙の御事と奉存候、陳者甚だ申上兼たる事には候へ共是非共特別の御詮議を以て御下數煩はし度御願申上候、實は大正二年七月紐育理學會に送金仕り十二弗〔…〕の書籍注文致候處未だ何等の回答なきのみならず再三催促且爲換金拂渡〔…〕致し共返金方請求致候へ共何の返事も無御座候間其筋に交涉し詐僞取財として訴へんと申出でたるに領事館に御願ひせし方早道ならんとの事に付御願ひ申す事に候就ては今回御貴館より御交涉被下候はゞ種々の口實を以て書籍發送濟云々と申すかも計られず候併し斷じて書籍は不着につき何卒手數料差引の上返金は返戻する樣是非とも御〔…〕今に至り書籍發送は不必要に候米國忠書籍且詐僞會の書籍は一切不必要の旨御談判被成下度偏に御願申上候別紙證據書類相添御願申上候也

大正三年六月十六日 臺灣阿喉 西四郎助

紐育總領事館御中

●大坂朝日紐育特派員丸山幹治氏 着桑後西部各地の狀況視察中なりし同氏は去三日晚香波より來着「朝日」に投宿せり

●盛岡農林學校教授辻六郎氏 は前年來米國果物の實狀調査中なりしが去五日歸朝の途に就けり

●同胞の死 修道會々員なる櫻井春藏氏は去四日死去せりと

戰爭と紐育

▲各新聞社とセン爭 歐州よりの電報頻々として至り各新聞社は爭ふて號外を發行し居り各社の電報揭示場は常に黑山の如き群集を以て滿され居れるが去五日夜の如きタイムス社前の群集對手に社會主義、女權黨、勞働黨等歐州大センを演說の材料として盛んに長廣舌を揮ひ居り普佛センに從軍したりと云ふ一老翁は淚を流しつゝセン爭の如何に慘酷のものなるかを語る等非常に雜踏を極め居れり

▲在米佛國豫備兵出發 當國にあり佛國豫備兵一千名は故國の急に赴かんとて去五日當國を出帆せるが同國人等は國歌マルセーユを唱ひつゝ此健氣なる愛國者等を埠頭に見送れり

▲大セン當地に無職業者を出す 在米墺塞獨國人等の豫備兵等は故國より召集令を受けたる結果各職を失ひ歸國の方法につき所轄領事館に願出ずるも未だ本國より適當の手續命令なく、懷中無一物となりて止むを得ず市立慈善宿泊所の厄介となるもの多し

▲商船佛艦に逐はれて引返す 獨商船セシル號は過日一千二百萬弗餘の金貨を搭載して當港を出帆せるが洋上に遊弋せる佛艦に追蹤せられしも辛ふじて虎口を遁がれ去五日メーン州バハバー港に引返せる、尙キユナード線のルシタニア號も中途より引返へし同線のモレタニアは六日最初の避難者を載せて入港せり

▲在米交セン國人の喧嘩 寄つてたかつて獨逸一國を虐めるのはひどいと獨逸人はコボシ、ざまあ見やがれと英佛人は意張る、其他黃白等の任米外人間の喧嘩絕へ間なし

●センソと日本人球屋連中 不景氣な所へ雨が降りさつし土曜日曜の商買はガラ駄目、加之けに移民を多數させる下層社會は本國のセン爭で氣が氣でなく、まかり間違へば今年

〔…〕に〔…〕て〔…〕折り損の疲勞ぶれ儲けとならねば仕合だとコーチー、ラッカヒーチ邊から來るテンボール氏の談話なり、受許問屋連中大に警戒を

●草信竹治氏の日本人會創設立論 載せ〔…〕同會々報第二號にあり、記者もホール設立は賛成にて建設後は〔…〕談會〔…〕會等に貸つくる事とせば〔…〕る宜からんと思ふ

●在留〔…〕と日本人會 書式用紙手續等之亦詳しく載せて同會報に在り就て見られよ

●紐育日本評論七月號 には記者の日米融和策、金子子爵の吾國民性下田歌子の流行論等依例興味津々たり

新日本の育 郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
シカゴ丸	タコマ	八月十三日
インヂア	晚香波	八月十五日
香港丸	桑港	八月十七日

●日本より到着日

八月十一日 同十五日

御禮廣告

故新谷才德君跡始末に就きては不一方御配慮に預り奉鳴謝候、御芳志により小生に於て左記の通り取計ひ申候間御禮を兼ね御通知申上候也

友人 渡邊槌松

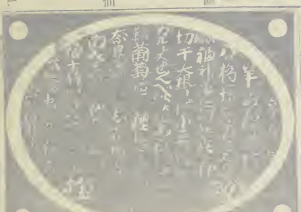
一收入金百十七弗也

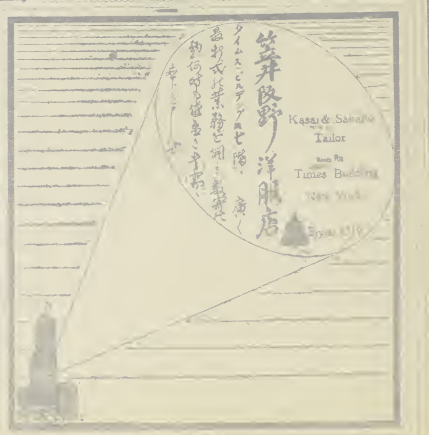
内譯 香奠金二十弗宛澤村様濱卯太郎様金十五弗柳下健次郎様金十弗田中幸造様金五弗宛中島實様早田兵〔…〕様京兒菊次郎様高橋榮吉様菊地東〔…〕様佐々〔…〕様藤井周造様金三弗丸山幸作様金一弗宛木村様竹田商店横田淺太郎氏金一弗宛川本友次郎様藤内多〔…〕様岡村源太郎様

一支出金百三十八弗

内譯 金五十弗新谷君遺骨と共に國許へ送附、金十五弗佐々様へ御禮、金五弗櫻井様へ御禮、金六十弗石碑建立、金五弗廣告料、金三弗雜費

差引不足金二十一弗渡邊槌松に於て支拂ふ







紐育の日本人に就て

飛耳張目生

▲「紐育の日本人」は稿を重ぬる事廿一回に及んで在留同胞社會の半面を窺ひ、各種専門家、旅館業、家内的勞働者、黄白結婚者等の現狀及び其將來に對する意見を述べた次第で之からは總領事館、商人階級、各團體大小會社の歴史、首腦者、社員並に其生活狀態、社會的位置等に及ぶ順序となつて居る、所が「歐州の大戰爭」といふ前古未曾有の大騷ぎが始まり、場合に依ては日本も劍戟を取つて此大戰亂の渦中に捲込まれねばならぬかも知れぬ立場となり、新聞記事の編輯上、僕の書いたものは暫時御預りとの編輯長の嚴命である、既往廿一週間不尠興味を以て「紐育の日本人」を讀むで下された篤志家諸君に對し一言御挨拶を申上ぐるは僕の義務なりと信じて書くの如し、何れ機を見て再び紐育在留同胞社會の解剖説明を試みるであらう失敬

●鵜鳥の旦那

ステッセル將軍が中風に罹つて身體の自由を失ひ恢復の見込もないといふ報導があつたが[illegible]將軍が病むまでの消息に就て最近着露字新聞に左のやうな事が出て居た

莫斯科より廿露里南の片田舎に詫しい庵を結んで悠々風月を友とし晩年を送つて居る隱士があつた、其名は堅く口を噤んで云はず土地の百姓共には鵜鳥の旦那といへばすぐ「アノ旦那だあ」といふ事が知られて居たが誰あらうこれが旅順の敗將ステッセル將軍であつた、彼が倫敦に於て小さな料理屋の主人となつて立ち働いて居るといふのは眞赤な嘘で僅か四五百坪の土地を圍んで小池を掘り楚々たる蓮の中に鵜鳥を放つて浮世を外に暮して居たのだ、風月の外には純朴の百姓共としか交はらない百姓共は將軍に近づいて親しく將軍の齒より洩るゝ莊重な聲語を聽いては「あん旦那さまーは田舎に惜しい物知りでごせへやす」と餘程感心して問ふ人毎に語る、若し誰かが將軍に戰爭の話とか内治外交とかの小難かしい話でも事掛けやうものなら將軍は容嘴いて耳をかさない將軍の唯一の樂は夫人令嬢と[illegible]に馬車に軽くゆられて時々莫斯科に買物に出掛ける事だけだ、其時の敗者はいつも將軍親ら勸める、それが到頭不自由な病氣に取つかれた、當年の驍將の末路

●金で女房を買ふ

櫻府通信

前月末の出來事なるが當市リバーサイドにて養鷄に從事しつゝある熊本縣人富某といふあり妻はおすけとて今年卅八の嫗櫻今より十年程前姉むこ某と名義上の夫婦となりて布哇に渡りしが現夫の富某と乳繰り合ひ仲立つ人のありて遂に夫婦となり程なく亞米利加に來り當市の日本町にて豆腐屋を營み居りしがもとより身持のよからぬ女の事とて御亭の目を忍びて仇し男と善い仲になりそれからそれへと男の選り喰ひ疊と亭主は新しきに限ると飛んだ諺譬を實行し其後は第三街に床屋と轉じ表面は夫婦共稼ぎを裝ひ居りしが持て生れし多淫の性はいつしか同縣人松影(卅八)と吾妻ならぬ褄重ね初めは亭主や世間の手前をも憚りしか逢ふ瀨の度重なりては深くなり行く此道の習ひとていつしか人目にもとまり噂はパット廣がり知らぬは亭主ばかりにて何處までもお人好しの亭生を勸めて現時の場所に引移り理屈をつけて情夫松影を己がキャンプに引入れて不義の快樂に耽りしかば心ある者は眉を顰めぬはなく好意的に注告する者あれど飽く迄色魔に化けし身の人の意見も馬耳東風と聞き流し居たるぞ箸にも棒にもかゝらぬ代物なり玆に又松影も松影なり如何に女旱りのアメリカなればとて二人の子まである嫗樓をかくまで迷はす心が知れずと近所では寄ると觸ると噂し合ひしが先月末情夫松影は世話人を伴ひ夫富某に向ひたすけを自分の女房に呉れとの手詰の談判流石の亭主も契驚仰太氣でも狂ひはせぬかと暫し相手の顏を眺め居たるが何處迄も不貞腐れ居る妻には少しの未練もなしと決心し望みとあらば讓りくれんと長男(十)は自分に引受け次男(七)とたすけとを金五百五十弗の手切金を取りて情夫に引渡せりとは人間の相場も子千兩といふ附物あるに安きものなりとて人の仙氣を頭痛に病んだ手合ひもありとか斯くて情夫はたすけと子供を引取り程なく須市方面に新婚旅行と洒落込んだりとは如何に移民地とはいへ斯る非常識の人道のレコード破りにはあきれて物が言はれぬ一伍一什を聞くがまゝ一寸摘まんで書くの如し

●(投書欄)●

在留豫後備軍人諸君一小事件から歐州列強の混戰が始まつた流石に廿世紀の奈翁を以て自任して居る[illegible]戴く獨逸人は前面英と結託し右に露をつき左に佛を控き[illegible]一大活劇を開始した[illegible]世の快に値する、戰線は世界に[illegible]で東洋の重鎭たる吾日本帝國は同盟の結果として英を援けて獨と戰ふの己むを得ざるに至るであらう、[illegible]して不足なき相手とするは吾々軍人の本懷である、何日何時召集令が來るかも知れぬ、苟も[illegible]く諸君須らく其準備を整へ置き[illegible]令に從つて動員令一下廿四時間以内に出發し得る樣心掛け置くべきである(後備兵)▲「日の本は岩戶神樂の昔より女ならでは夜の明けぬ國」歌は古臭く黴が生へて居るけれども意味は千萬年の後も同じ事、動かぬ人情か歌つて[illegible]るといへば[illegible]か風やに甘ひやうに聞へるか事實かチャントあるから仕方がない、アルバムの[illegible]人の繪に神心恍惚家を忘れ吾身を忘れ懷中物を忘れても現物を見たいといふ連中あると聞けば此文覺[illegible]人も心強し(飛入りドライ組)―ドライ君君のは長過ぎるから切つた、[illegible]▲日本人相手の商賈人を撿ぐのは官しひです併し玉石混合は時節柄身体に害がありますそれから公平にお撿ぎを願ひます(正直商人)▲■■君は■■で■■の内で大に■■して得、としこ■■んで得つたが僕の■■を渡したに就ては利害關係恩怨共に君に毫もなき昔且つ[illegible]何れにあるにせよ君の知る所じやない云はゞ餘計な話じやよ、[illegible]領の人身攻撃は[illegible]り君のため[illegible]たるものではなから[illegible]君は■■の成功者の一人名望ある■士日本人■■ある■か[illegible]如き[illegible]者無學文盲の者を相手が■■うに■■で■■して■■む、あたら紳士の體面を[illegible]か僕も■■んで[illegible]に仰はんとせ[illegible]も■■ ■■

No. [illegible] VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY [illegible] 1914

紐育新報

米國を顧慮するを止めよ

吾人は前號の紙上に於て歐州戰亂と吾帝國の外交を論じ、日本は此際支那大陸に於ける獨米の勢力を排斥し列强が多分の考慮を費さゞる以前に千載一遇の好機を捕へて吾積年の抱負を斷行せん事を以てしたり、然るに之と相前後して至れる北京、東京電報は袁世凱政府が東洋に於ける戰局の制限に關し米國政府の援助を得て自國の中立を保たんとする確報を傳へ駐日米國大使は某國使臣と或事を商議せんがため急遽避暑地宮の下より歸京せりと報じ更に其後の華府電報はガスリー氏は非公式に日本の意向を知らんとしつゝありて若し日本が戰爭に參加する事あれば支那の中立擁護のため[illegible]を取るやも知れずと云へり、例令米國政府が否認せし如く曾て歐州大戰に關し日本政府へ何等の公式通牒を爲さゞりしとするも如上の電報は米[illegible]兩國間の外交關係に鑑み甚だ[illegible]を[illegible]し來るやも知る可らざるなり[illegible]盡し强者の權利の行使は[illegible]的境域を成し國家を形[illegible]る必然の結果にして國際[illegible]は現時の[illegible]係を[illegible]する[illegible]故に吾人は米國が怪しげなる[illegible]義を揭げて歐州帝國及び日本の[illegible]南米發展を妨害し、或は「米大陸は[illegible]」なり[illegible]

[illegible]

にして特に日米間の繫爭問題が外交談判に於ても公法上の解釋に於ても全然我の不利に歸し在米同胞は歸化權獲得、土地所有權若くは社會上の待遇に於て全く特種劣等の民族たるに甘んぜざる可らざる今日「日米親善」「啓發運動」などゝ云ふが如き常套語は暫時之を架上の一隅に委ぬるを要す、宜しく列强の極東を顧慮するの暇なきに乘じ吾帝國の東洋に於ける[illegible]權を確立し、同時に支那に於ける袁一派の排日黨及び在支外人顧問等を追つ拂ふて代ふるに東亞連衡の大主義を奉ずる人を以てする事に勞力せざる可らず、東洋は東洋人の東洋にして西洋人の東洋に非ず、中立地帶の侵害は賠償の手段によれば事足る、米國の態度豈顧みるに足らんや

將に本稿を終らんとする時露都より[illegible]り曰く、吾本野大使は露國外相と連りに會見を續け頗る外交界の注意を惹きつゝありと、吾人は兩者の交渉事件の内容を知るに由なしと雖も思ふに其主要問題は膠州灣の永久占領を條件とせる戰爭參加にあるか、但しは内蒙古乃至滿州に於ける利權[illegible]問題に[illegible]せる事項には非ざるか、[illegible]逐艦發の東京電報と[illegible]合して[illegible]の形勢更に吾國に[illegible]なるものあるを想見するに不難、吾人は[illegible]が云ふ、米國を顧慮するに足らんや

歐州動亂靜觀（承前）

脇本東[illegible]

▲白耳義の中立を侵す[illegible]

[illegible]

▲大[illegible]

[illegible]

▲戰[illegible]

[illegible]

●米國の態度

[illegible]

●本野大使活動

[illegible]

(紀●日く、別項本野大使の活動と此[illegible]を照合して興味愈深し)

●獨軍の[illegible]

[illegible]軍の會戰

[illegible]

●日本參加の條件交渉

（東京十三日發）

電報は日英兩國當局者間に交渉ありつゝあるも兩國の合意は未だ[illegible]要らず尤も日本の要求は[illegible]

[illegible]

東京通信

●大戰爭と日本の戰備

[illegible]

一 徴兵制度を廢して入營制度と改むる事

一 六週間現役制を存置する事

一 勤務演習は力めて夏期に於て行ふ事

一 入營期を四月十二月の兩期と爲す事

以上審査の結果原案を可決し六時散會せり

●郵便局増設決定　郵便局の開設に關する請願は毎年の議會に數百通の多きに達せるに拘らず去大正元年以來内閣の交迭豫算不成立其他種々の事情により之に應ずる經費殆ど皆無なる狀態にて僅に通信事業に一部を流用し一面地方の寄附金を以て已むなきもののみを設置し來りしが鐵道の延長其他運輸交通の增進するに隨ひ益々之が擴張の必要を感ずるを以て遞信省は明年度に於て之が經費卅万圓以上を從前の如く地方の寄附金等を相竢つて之が施設を爲す事に決したりと

●ふぐ漁業開始　宮崎縣の沿岸には海豚が非常に多く回遊して來るといふ所に着目した福岡縣代議士[illegible]内次郎氏は一番該事業を經營して見やうとて過般來調査中であつたが愈々來月上旬頃より網入を爲す事となり目下頻りに準備中にゐるが右は宮崎[illegible]折生迫を根據地とし製造工場を設け主として肥料に製造し皮は靴鞄等の原料に製革すべしといふ

●東洋に於ける英獨艦隊の比較

英國　戰鬪艦一巡洋艦四砲艦二水雷驅逐八潜航艇三水雷艇四河川砲艦十通報艦一軍用船二

獨逸　裝甲巡洋艦二巡洋艦一砲艦七水雷艇九

●加藤中將聯合艦隊を指揮す　セン[illegible]鬪艦八隻を以て本日聯合艦隊の組織なり第一艦隊司令官加藤友三郎中將[illegible]指揮の任に當りセン[illegible]鬪準備完成せり

▲本社營業部

▲日本行汽車汽船 切符取次 [illegible]

▲手紙取次 [illegible]

▲各國語飜譯

▲通辯

▲實業經營法 [illegible]

紐育新報社

▲第二回母國訪問團員募集

一、[illegible]の規則改正

一、經費一人一百四十弗

一、十月上旬[illegible]

一、市俄古[illegible]

[illegible]

一、寫眞に[illegible]數

名の小兒[illegible]

婦人[illegible]

一、[illegible]改正規則[illegible]

[illegible]

林 富平

[illegible]大なるに[illegible]

[illegible]

●[illegible]桑港邦人の[illegible]一弗正十仙なり

●在桑港邦人の[illegible]ゲーリー街一六〇五に[illegible]寫眞[illegible]を[illegible]營業し居る[illegible]縣人佐海[illegible]實[illegible]川[illegible]は銀貨[illegible]造の嫌疑を受け[illegible]拘引[illegible]監せられしが[illegible]なる[illegible]り[illegible]其家宅搜索の上押收したる證[illegible]物品には五十仙[illegible]銀貨[illegible]一枚[illegible]圓形の銀片七八枚更に[illegible]用の[illegible]らしき物等にて一説に依れば同人は[illegible]嚴重なる警官の詰問に窮し一々[illegible]狀を告白せりと傳へらる[illegible]同人は[illegible]を聞くに七八年前桑港[illegible]に[illegible]はり各地方に興行したる事ありと

●太刀山來らず　羅府有志より在布の太刀山に渡米を交渉したるに太刀山より一應歸國したる上更らに[illegible]畫を新にして渡米せんとの事なりき[illegible]同一行の布哇で幾千の純益を得たであらうかとは世人の話題になつて居る先づ算盤を彈かせて見るとホノルルに於ける六日の收入か一万八千弗其内から船賃五千弗を差引き其他雜費三千弗と見るも手取り純益金一万弗ホノルヽ、三千五百弗馬哇五千弗布哇、二千弗加哇合計二万五[illegible]百弗となるのでこう儲かると來年あたりから布哇や米國に續々角力がやつて來る[illegible]其他の興業物の入來を見る[illegible]

●[illegible]公使の[illegible]　十二日東京發電に[illegible]日下急行北京赴任の[illegible]る由にて氏は日本は[illegible]に基き極東の平[illegible]持するに在りと述べ[illegible]

[illegible]は米國一般の人氣如[illegible]歐州センン爭の長引[illegible]好に向はゞ無論[illegible]未だ充分の豫[illegible]事なり

[illegible]日本[illegible]は到底獨逸品の[illegible]亦センン爭のため日本[illegible]良好なる模樣にて[illegible]の如きは非常に多忙を[illegible]

●[illegible]一郡で百萬圓の送金　[illegible]島縣安佐[illegible]より海外に渡航せる現在人員は七千六百六十二人にして此送金高五十九万四千三百廿八圓外に持戻金四十一万二千九百三圓にして取得合計百万八千二百[illegible]圓なりといふが一郡[illegible]にて斯の如き多額の海外より送金あるは他に比類なかるべく[illegible]郡の内[illegible]百七十四人にして六万四千圓を數へ[illegible]次は[illegible]村の四百六十六名にて七萬[illegible]次は川内村の七百二十一人にて[illegible]七万[illegible]千[illegible]圓[illegible]の五百七十八人[illegible]の八万二千[illegible]十四圓等は最も重なるものなる由

●早稻田大學校友會　來廿二日午後七時より西百廿三丁目百十九番[illegible]松に於て早稻田大學校友會を[illegible]同來市せる校友丸山[illegible]治、本谷[illegible]武井俊三三氏の歡迎會を催す[illegible]なる高田博士増田義一氏等一行の[illegible]れり尚當夜は來月十四日來米の豫定[illegible]に就き諸種の準備打合はせ會をも[illegible]く[illegible]なり尚又出席の有無は[illegible]會[illegible]に若松[illegible]なる安井濱[illegible]氏に[illegible]せられたしと云ふ

●[illegible]目下伯[illegible]生は其數約二[illegible]に[illegible]開センする[illegible]に直ちに歸國を[illegible]に困難を[illegible]

●村井保固氏歸店　歸朝中なりし[illegible]は過日無事歸着せるか十三日[illegible]

●野口英世準士へ[illegible]博士[illegible]の[illegible]へ[illegible]けり[illegible]日本文部省へ論文提出中なりしが今回新たに博士となりし廿一名の一なり理學博士の學位を受けたり

●日本人會へ一千弗寄附[illegible]銀行出張所は今回金一千弗を日本人會に寄附せるか右は[illegible]所長たる[illegible]高次郎氏の[illegible]に係るもの多しと

●桑山氏妻女の[illegible]目出度　[illegible]紐育桑山氏妻女は去十日女子分娩母子共に健在なり

[illegible]支那政府は[illegible]

[illegible]の注意[illegible]

[illegible]

[illegible]マーシャルケーン州ムーズ[illegible]ツドの[illegible]

[illegible]

[illegible]露國[illegible]の如き[illegible]

[illegible]一日[illegible]と[illegible]巴[illegible]羅巴[illegible]國[illegible]

●[illegible]

●[illegible]上等料理人着　二十餘年來[illegible]本[illegible]の料理人か日本から[illegible]着しましたから特別たいしいも[illegible]を[illegible]安くあげます、由

●[illegible]技師高木[illegible]氏　は當地滯在技師として此程來着せり

[illegible]シカゴより新たに晩香[illegible]事に任命されたる同氏は過日來[illegible]テルアスターに在り[illegible]迄滯在[illegible]オッタワ[illegible]經由赴任の筈なり

●[illegible]水[illegible]會社技師[illegible]木晁治氏は十[illegible]日來着

●[illegible]製[illegible]會社[illegible]部長[illegible]鹿[illegible]氏　兩三日前來市

活字職工一名至急募集す

希望者は本社へ

新育日本問 郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
[illegible]	[illegible]	八月十五日
[illegible]	桑港	八月十七日

●日本より到着日　八月[illegible]日　同十五日

上等料理人到着

[illegible]日本より[illegible]上等料理[illegible]致候に就ては如何なる[illegible]に多人數[illegible]調理可[illegible]伏て奉[illegible]

朝日　早田兵[illegible]

貸間あり

清潔にして閑靜なる貸間三室あり室代一週三弗より三弗五十仙各室にランニングウオーター（冷温）あり

H. A. Tileston
57 West 1[illegible]th St. N. Y.

本店製 化粧品卸賣廣告

香水、トイレットパウダー、サシエパウダー

客引の商品なり

御試驗の上御高評を乞ふ

紐育市東第十七丁目三

卸賣 五味商會

[illegible] E. 17th St., N. Y.

▲法律顧問▲

民事及刑事訴訟 一切

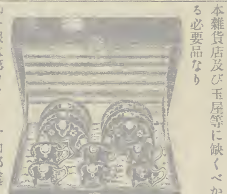
契約其他の書類編成、貴金取立等凡て法律上の依頼に應ず、鑑定無料希望者は新報社へ申込まれ度し

辯護士 ハイマン、アール、シーガル

HYMAN R. SEGAL
ATTORNEY AT LAW
[illegible] Broadway New York

各種革箱製造

當社製造のファンシーケースは日本雜貨店及び玉屋等に缺くべからざる必要品なり



御一報次第カタローグ御郵送可仕候

J. CAROW & CO.
[illegible] Warren St., New York City
Tel [illegible]552 Barclay

ダンス教授



プライベート 舞蹈

夜會及び最近流行ダンス

多年の實驗を有し日本人諸君には特別叮嚀親切に教授す、授業料は

一回プライベート、レッスン　一弗

六回プライベート　レッスン　五弗

Miss Alice Marshel
169[illegible] B'way bet. 53rd and 54th St.
Phone Columbus 8584

▲發賣禁止揃ひ

▲發賣禁止 海野幸德著

男女の生活

定價 一弗二十仙

本書は著者獨特の輕妙なる筆法を以て露骨に男女の性的生活を説明せしものなるが内容甚だ猛烈を極めし結果遂に其筋の發賣禁止となりし物[illegible]

▲發賣禁止 青柳有美著

質疑應答 戀愛問答

定價 四十仙

本書は風俗壞亂安寧秩序紊亂の下に發賣禁止となりし奇々珍妙の書なり

▲發賣禁止 秋琴女史著

ボノット 女醫者

定價 壹弗

本書中（生殖器篇）生殖器解剖に當りては露骨に且つ痒き處に手の屆くが如き猛烈なる筆法に依り説明せしものにて世界無類の珍書なり出版と同時に發賣禁止されしものか

▲發賣禁止 白雨樓主人

きむすめ論

定價 壹弗

▲發賣禁止 北澤正悻著

色情思想の解剖

定價 九十仙

▲菊地幽芳の作　●空前の大傑作益々好評　愈々完成

百合子

定價前一弗十仙中一弗後一弗十仙

目下故國に於て梨園界の大立物たる百合子は大坂毎日新聞の連載せしものなるが婦人の髮は申す迄もなく衣類に迄百合子形の模樣を取るまでに流行せし近代稀なる一代傑作として本書を讀んで泣かざるものは鬼[illegible]

▲浪六先生の新著

現代思潮 男女の戰ひ

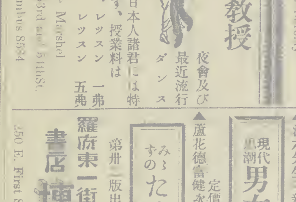
定價 上下各 九十五仙

▲蘆花德富健次郎著

みゝずのたはごと

第卅[illegible]版出來 定價 一弗五十仙

羅府東一街二五〇
書店 博文堂
250 E. First St. Los Angeles, CAL.



藤井旅館支店 ホテルタコマ

當シャトル市御經由の御方の御便宜に御取扱可申上候

[illegible]

HOTEL TACOMA
224 [illegible] Seattle, Wash.

Beecon Noth Low
480-6th Ave
Cor. 29 St

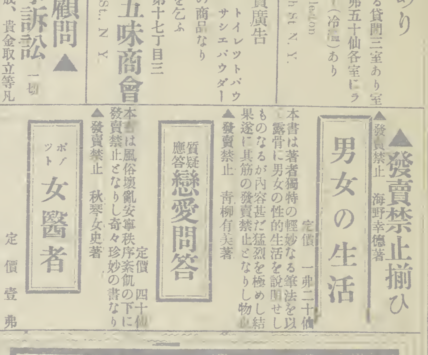
支那料理 品南樓

美味にして清潔
御料理午前十時より午前六時まで開店

御下宿 吉田宗章

624 Lexington Av. N. Y. City
near 53d Street
Telephone Plaza [illegible]

●球塲あり●



TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO
[illegible]

菊地 寫眞館

▲ニューヨーク生命保險會社▼

代理人 千本木正治

[illegible]

寄書

紐育日本人會と證明書

鱗鳳生

▲紐育日本人會は從來總領事館に於て取扱ひし在留日本人に關する諸證明書は自今同會の職掌することになりたりとて一般の所轄在留民に向つて發表する所があつた、西部の日本人會が始めて其管轄在留民に對する證明書を取扱ふべく我政府に請願したのは數年前の事である

▶日本國民の海外在留地には何所でも證明書に就て領事館と在留民の間に兎角物議多く夫れか爲め領事の體面を欠ぎ終には領事の責任問題まで惹起した例は屢々吾人の側知する所である、中にも米國は他外國の何れよりも其弊の甚しきを見る、何となれば國際關係上よりも日本政府は在米日本人を一層慎重に取扱ひつゝあるに他方生活の容易にして自由思想の發達せる米國の國風に久しく捉はれたる在留民は官臭的氣風の横溢せる日本官吏に對して餘りに平民的であるからして其處に奇妙なる感情の行違ひか生ずるのである

▲西部の各日本人會か證明書を領事館から繼承するに至り領事館と在留民との折合か非常に善くなつたといふ原因は何時も物議の導火線となつて居た證明書に對し在留民と密接の關係を有し克く彼等の事情に精通する日本人會が其證書することなつて以來比較的正鵠を得るからである、內閣の交迭すと度毎に領事館員に新顔を見るやうな有樣では在留民と調和の關係を保持する事は不可能なるのみならず證明書關係者の實際的要求につき公平なる見解を下すは亦望むべからざる事と云はねばならぬ

▲此点に於て從來證明書につき在留民の間に不平の多かりし當地に於ても今回新たに日本人會が證明書を取扱ふ事になつたのは今後在留民の福利益多かるべく吾人は大に賛成を表するものなるが、此際に當り余は會員として聊か從來の經驗に基き[illegible]につき聊か從來の[illegible]べて役員並に參事員諸君に[illegible]するものである（未完）

夢我醉中

[illegible]

オイ〳〵一體全體君は何故[illegible]ばかり居るのか[illegible]になあ、サ〻起きて熟と眼を開き泰然として四方を見給へ必ず大悟する所があるよ

如何にも御覧の通りな目下の狀態では君の氣に障るのも最だ、これをチト[?]へて發生し來る癪の虫を潰しながらエヘンとも云はず慨一慨、唯[?]小娃を相手の沈思默考、何たる可憐な姿であらう、オイ君、但は未だ君を捨てゝは居ぬよ、だから徒らに君は彼の閑[?]して不善佞奸を擅にして居る毛虫輩のことなどは左右意に止めぬ方が君の得策だそんな拙劣な事故に齷齪と心を配るなどは反て君の將來に雲か懸る、いふかね君は決して自暴自棄と出掛けてはならぬよ又自ら承知して飲む酒だから酬しはせぬが人肉のアルコール丸漬などは紳士の前に差出すべき優等の代物でない、一寸口の邊に奈良漬の臭りをさし位のなら愛嬌があつて可い、それからまたいくら能ある鷹だとて左樣遠慮して爪を隠しこむる必要はない、競爭の世の中だもの[?]と見たら突進して鷲であらうが鷹であらうが自分で勝てる見込むだけは一個以て、ものと爲す可しだ、然し鳥と蝙蝠は暗界に跋扈する魔物だから氣を附けねば遇々反打ちをやられるよ、ナア君お互に國を出てからもう一と昔近くになつたが未だ之と云ふ活劇を演じた事もなく起たんとしては倒れ倒れんとしては起ちも得ず今の所これ中腰の赤坊然たる恰好で、おいしい御菓子で呼附けられたら矢鱈に飛びつきさうな狀態に陷入つたが、いくら幼稚な吾々だとてまさか他人樣の御菓子頂載位では滿足が出來ないぢやないか君、さりとて君のやうにエ〻菓子などを貰ふかい[?]の方にや成人する迄氣晴らしの酒でものかおらアと相成つては誠に可愛さうない赤さんだな

頼むから君一ツ茲で出來得る丈の我慢をして岩に噛着いては呉れまいか吾等は什麼して君を沒趣味な境界に安んじ[?]事か構で堪らね、酒は先ず將た斷禁し得らるれば最上、月並の言草だが世間往々にして友を論じ情を論じ義を論ずるこの[?]に、皆五月の鯉の吹流しだかの[?]も稍足のつかぬ事[?]御出しにやならぬ、他[?]き最中今年も秋に人ら[?]人生も、春、壯、老[illegible]の秋に[illegible]されます[illegible]

るねオイ君もう[?]が[?]めた[illegible]日本人[illegible]有効のものなし[illegible]遂だて若し[illegible]小生近々歸朝[illegible]か多いから困る、[illegible]は一軒の建物を借り[illegible]を及ぼさぬ[illegible]室したら維持か出來[illegible]ふ（一會員）▲[illegible]日本人は日本[illegible]を砲撃するとい[illegible]自分の妻君に[illegible]るなんて大騒ぎ[illegible]▲千歳の親父曰く[illegible]ツ始じまりました[illegible]巴に參りまし[illegible]た、惜まれ[illegible]してデンマーク[illegible]威張りやうつた[illegible]米國人が[illegible]るのと違[illegible]らされて[illegible]でして今度[illegible]強いのも矢張り[illegible]を情ただ[illegible]でしやう[illegible]當方し妻を[illegible]何とか制裁を[illegible]や（[?]生）▲[illegible]

（投書）

▲〇〇〇長の[illegible]調の麥藁帽子を[illegible]込むで電車に[illegible]乘客クス〳〵へ〻[illegible]ふので先生不思議[illegible]かと頭を[illegible]掛けて[illegible]帽子の[?]をつ[illegible]閣下俄かに氣が[illegible]藁を取つて見れば[illegible]値段のプラ[illegible]げな「同乘生」▲[illegible]聞いた丈に[illegible]に接せば[illegible]人料亭某々に出[illegible]にし負ふ天下の[illegible]々話せる大に[illegible]の知己を得た[illegible]イ組一▲[illegible]は吾輩大賛成[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三チエルシイ

最後通牒、米國の態度、吾徒の疑點

歐州大亂と吾國の外交に對する吾人の期待は遂に空しからず吾帝國政府は去十五日獨國に向つて宣戰布告に等しき强硬なる最後通牒を發せり、其辭令の峻嚴毎大なる彼三國干渉、遼東還附當時に於て吾の受けたる最後通牒に比するも遜色なく對又外交上列强の爲に多年呀咜の苦衷を放ちつゝありし吾國民の鬱憤を一時に霽散せしむるの慨あらしめたりき、只膠州灣を支那に還附すとの文字面る吾人の意に滿たざるものありと雖も斯は暫く遼東租借地の永久保持若くは其他の交換條件により英露支三國との協定成りたるの結果ならんとの想像を以て强て自ら慰むる所ありしが十八日倫敦政府の公報により日本は膠州灣を支那に返附する事を以て滿足するのみならず、日本海運に危險なき限り支那海以西の獨領又外國領土に戰局の範圍を及ぼさゞる約定の下に豫め英國との協定成り以て這回の大戰に參加するに至れるものなるを知り、更に支那政府は日本の膠州灣占領を喜ばず、自ら之を獨逸と交渉して其返附の目的を達するの意あり、加之米國は之れに由聯省に向つて艦隊を派遣せりとの來電至るに及び吾政府と支那との間には何等の契約なきことを知り得たり、依之觀之吾人二者の時局に對する態度は吾人の期待せしか如く簡か、强硬ならず、此千載一遇の機會に會するも猶且其舊習に固着して英米露の鼻息を窺ふの陋態を蕩せしには非ずやとの疑惑を抱かしむるに至れり

夫れ歐米列强國の日本の擡頭を嫌ばざるや久し、露獨佛の三國干渉は云はずもがな英國は日露戰役の當初に於て日本艦隊の行動に妨害を試み、攻守同盟成立後と雖も吾國の主張大陸發展を憎むの狀歷然たるのみならず、米國太平洋沿岸事件起りて日米兩國の國交頗る圓滿ならざるを看るや、忽ち万一の事變を豫想し「同盟國の一方が交戰國と平和條約を締結し得る場合は除外例とす」てふ一項を同盟條約に附加し、以て日米戰爭起るの場合英國は日本を助けざるも日本は英露戰爭起るの場合印度の防備に當らざる可らざる事とせり、卽ち英國は一方に於て日本の勢力を利用して自家の存立を擁護し他方に於ては日本の澎漲を阻止して自家の支那大陸に於ける野心を達せんとするもの、其吾國との同盟に對して誠意なきは看取するに難からず、思ふに吾國の最後通牒が一見如何にも壯快なるが如くにして甚だ貧弱の感あるものは、英國が吾國の要求に會して或は米國政府の意向を憚かり又は自家の東洋に於ける今後の利害より打算して、生温るき態度を示せるが爲には非ざる可きか否か、思ふて茲に至ればり英同盟の前途も甚だ心細きものに非ずや、次に米國に至りては更に之より甚だしきものあり、亂暴なる黄色人種の排斥は今更ら言はず試みに日本が獨逸に與へし最後通牒の電報達せし時の紐育諸新聞紙の論調に見よ如く「日本は久しく疑はれし領土的野心を暴露して米國の反感を買へり」「日本は理由なくして戰爭を求ゆるものなり」「日本南洋の獨領を占領せば米國は日本と其領土を接するに至るべし之れ米國に取りて不快なり、獨逸は支那に於て實に米國の味方なりしが日本にして膠州灣を得ば例令一時なりとも米國の政策に影響を及ぼすべし」曰く何、曰く何と總ては人種的偏見を加味して滿腔の嫉妬心を暴露せり、就中下院に提出されたる米國干渉決議案の如きは例令其條文の稚氣粉々たる素より吾人の眼中にかくるに足らざるものありとするも以て米人一般の吾國に對する態度如何を察知するに難からざるなり

如斯列强國に嫌惡せられつゝある吾國か此際此時如何に列强に向つて好意好感を表したりとて干戈收まり媾和會議開かるゝに及び列國の吾國に與ふる强者の權利の分配は案外に少許なるは勿論にして、若し英露佛伊の諸國か目覺しき好餌を得て舌鼓を打ちつゝある間に吾は殘肴にだも飽くの機會を得ず、空しく路傍に指を咬へて垂涎他を羨むの醜態を演ずるなくんば幸なるのみ、今や歐州の大戰は其眞最中にありて列國は東洋を顧みるの暇なく、米國亦我と戰ふの準備あらざるは固より吾帝國か東洋の盟主として眞個に其霸權を確立するの機會は今日を措いて他に之を求むべからず、吾人は近日の不愉快なる電報に接して吾外交の前途を憂ふる事切りなるも當局亦其人に乏しからず、一見吾に拙なるか如く見ゆる吾國現時の態度も或は遼東租借地の滿期に際し、英露の默認を得て永久保持の目的を達するの內約ありて這回の擧に出でたりと信ずべき理由なきに非ず、吾人は目下の時局に對し胸中聊か平かならざるもの多しと雖も暫時大局の推移を眺めて更に卑見を陳するの期あるを思ふ

●獨國へ最後通牒

（十八日東京發）

日獨開戰近きにあり

日本は昨夜午後八時獨國に對し最後通牒を發し九月十五日迄に獨國東洋艦隊を引上げ膠州灣租借地を撤退すべしと要求し、且來廿三日迄に回答せざるに於ては日本は斷乎たる手段に出づへしと申込みたり、一般は日獨開戰近きにありと信じ居れり

▲最後通牒の全文　極東の平和を妨ぐる一切の禍根を排除し、日英同盟條約の主旨に基き一般の利益を保護するか爲め目下の時局に對し適當の手段を執るは最も重要の事たり、帝國政府は如上の同盟條約により東洋永遠の平和を確保する必要上獨逸帝國政府に對し左の二ケ條の提言を爲し之か實行を期するの義務あることを確信す

一、獨逸は直ちに日本海及び支那海より軍艦及武装せる凡ての船舶を引上へ可し若し直ちに實行し難き事情あるものは其武装を解除する事

二、九月十五日を期し無條件を以て膠州灣の全租借地を帝國政府に交附すべし、而して右租借地は終局に於て支那政府に還附さるべきものなり

帝國政府は獨國に對し右要求か無條件を以て承認さる可き事を期待す而して千九百十四年**八月廿三日**迄に其回答を得る能はざる時は帝國政府は**時局に適應す可き必要の手段を執る可き事を通告す**

右最後通牒は東京に於て既に發表されたる由なるも當地總領事館は華府大使館の內命により其原文の公表を差控へ居れるが意味に於ては新聞に發表されたる英文のものと大同小異なりと

▲大隈首相の聲明　大隈首相は十五日貴族院議員、新聞記者及部下の著名實業家を內閣に招き獨逸に對し最後通牒を發せる理由を說明し且つ英國政府との交渉顚末を表示す可き事を以てせり、首相は吾帝國の同盟國たる英國か獨逸の攻擊に對し防禦の地位に立てる事及び帝國か嚴正中立を守る能はざる場合に立至りたる事を遺憾し且獨逸は膠州灣に於て切に戰爭準備を爲しつゝあるのみならず、獨艦は海上を遊弋して英國商船を捕獲し東洋貿易を阻害す、之れ即ち東洋の平和を害するものなるが故に帝國政府は英國政府と充分なる交渉を遂げたる後獨逸に向つて最後通牒を發するの餘儀なきに至れりといへり

尙首相及加藤外相は貴衆兩院議員及有志の集會に臨み一般に冷靜の態度を保たん事を望み且政府は今回の擧に付領土擴張の意志なき旨を公言したり

▲陸軍省の注意　陸軍省は本日部下の各新聞記者一同を招き愈々日獨開戰となる場合は新聞紙の記事報道に關し可分の訓示あるべしと通告したるか、政府か今回の擧に付豫て準備中なりし事は世人の知る所なりしも最後通牒の公表は普く一般の意氣を喚起せり

▲大隈首相の再聲明　首相は十八日全國實業家の集會に臨み前日の聲明を繰返したる後帝國政府今回の軍事的行動は何等第三國の領土に關し不安を生ぜしむる意志なく、**只獨逸勢力を支那より一掃する**にありといへり

●日獨國交斷絕

（十八日東京發）

加藤外相は本日、日獨兩國間の國交既に斷絕せる旨を演說し且つ在住獨逸國民中帝國內に住居を希望する者は法律に服從する限り生命財產の保護を受くべしといへり

●最後通牒と米國の態度

大統領ウ氏並武雷安氏は十八日早朝白館に於て、日本の最後通牒に關し凝議する所ありたる後、米國中央政府の官吏は本件につき一切沈默を守るべく命令せり、元來華府當局者の希望は極東の現狀維持にありしも日本の態度明かとなりし今日に於ては右希望を固持するの必要なしと認めたるものゝ如く結局駐日米大使及珍田大使を通じて受領したる日本の約束即ち「支那領土保全の約言」を信じ米國は此上何等の手段を取るの意志なく、凡て日獨兩國間の出來事として其成行に一任す可しと決意せり、尤も華府政府の此態度は單に現在の局面に限られたるものにして今後の變過如何によりて**其方針に變更**を來たさずとも計られずと信ぜらる

▲英國の通牒と一部當局者の疑惑　日本は自國の商船に危害なき限り戰局を支那海以西に及ぼさざる可き旨の英國官報により十七日發表されたる最後通牒は大統領及國務卿をして大に意を安ぜしめたるか之にも不拘華府の一部當局者間には**日本の誠意**を疑ふ者多く、日本は膠州灣を支那に還附せず却て之を自國の所領たらしめんとするものにして最後通牒の文面中「イブンチュアル、レストーイション」（終局の還附）の文字あるによりて明かなりと評しつゝありと信ずべき報道によれば華府の政界は上下兩院議員中穩健派に屬する人々を始め一般に日本の攻勢的態度を非難する者多く殊に下院に提出されたる決議案は**最も能く這般の消息**を窺ふに足るべしと

▲干渉決議案の提出　イリノイズ州選出下院議員ブリッテン氏は去十日國務卿をして日本政府に、米國は日本の支那領土占領を默過し難き事を交渉せしむるの決議案を提出せるか右は到底通過すべき見込なきが、ブリッテン氏は獨逸人の多數在住し居るイ州の一地方を代表せる人なり

▲英國政府の保證　駐米英國大使バークレー氏は十八日國務卿武氏を訪ふて英國政府の通牒を交附せるが右は日本の行動は極東に於ける獨逸領土に限らるべきものたる事を保證せるものなり、珍田大使は同日武氏と長時間の會見を遂げたり

▲維爾遜氏の訓示　ウ氏は十八日長時間の閣議を開きたる後一般國民に向つて警戒的訓示を公表し、米國か今回の戰亂により受くる所の影響は一に各自の言動如何に依るか故に善良なる米國市民は團體、官吏、個人、宗教家等に論なく、言語に於ても行動に於ても極めて愼重の態度を保持し決して交戰國民の感情を害するか如き事ある可らずと警戒せり

●珍田大使國務省を訪ふ

珍田大使は去十六日夜武雷安氏を國務省に訪ひ公文書を以て獨逸へ最後通牒を發せる旨を通告し且つ今回の事件に直接の關係なき他國民の利益の保護に就ては日本は最善の手段を講ずべき事を聲明せり

●駐獨日本大使の伯林引上げ　は一兩日の內にあるべく伯林日本大使館は警官によりて嚴重に警戒されつゝあり獨逸留學日本人學生は既に同地を引拂ひて歸朝の途に就けり、日本の最後通牒テフに對し獨逸は無論拒絕すると共に戰爭終結後復讐を爲すべく威嚇するならんとデーリーテレグラフは報せり

（十九日）

歐州動亂靜觀（承前）

脇本東陽

▲獨軍不利獨軍敗北の[illegible]りに到るにも拘らず、今や白耳義の首都[illegible]ッセルは獨軍の占領を必見さるゝの[illegible]如く、政廳引越の[illegible]らには、實地に[illegible]ては連合[illegible]色案外[illegible]らずして、[illegible]實にし行く獨軍の戰績[illegible]を看取し得ざる能はず、[illegible]傷を出すの多き、之に伴ふ代[illegible]ぎず

▲乍去最近英佛兩軍の動勢も多きを加ふる所なき程に、[illegible]占摺らしめたる[illegible]たる[illegible]強なる抵抗と、[illegible]無比の戰[illegible]振は、[illegible]所にして、殊に白兵の[illegible]に似つかはしき[illegible]獨兵もさすがに[illegible]しからんや

▲武ある者は文あり、[illegible]情けあり、白兵の[illegible]する父常ならざる心[illegible]といふも宜べなり[illegible]ては中立國の[illegible]義を徹底せしめ[illegible]とし、兵としては絕望戰鬪[illegible]に範を小さ[illegible]とするもの[illegible]吾人は隣火を防ぐに[illegible]白[illegible]に多大の同情と[illegible]を許する[illegible]

▲之に反し獨軍の[illegible]る所、[illegible]れば無辜の民に[illegible]を加ふるのみ[illegible]さらぬだに兵禍は之を[illegible]るに底事ぞ燒拂射殺[illegible]去るとは何等不[illegible]の報ぞ[illegible]らく獨の軍律の[illegible]烈なる[illegible]からんと、今此事あるを[illegible]爲の報として割引し[illegible]處に[illegible]へざるなり、非文[illegible]も、せめて戰鬪時以外の行爲は文明的にあらしめたし

▲讀者は切りに獨軍が果して能く連合軍を破碎し、遂に巴里を[illegible]に至るべきやを測考して止まざるものなるべし、是れ頗る興味ある現在歷史的大謎題にして、其批定の[illegible]ならざる競馬相撲以上に在り、[illegible]者が觀察の中に是非入れて置かねばならぬ一二の要項のあるあり

▲何人も獨の兵と[illegible]器との精鋭を[illegible]非する者はあらざるべし、[illegible]互角の位置に立たしめ[illegible]獨兵に抗敵し[illegible]ん者を求めば、今將に遠きにあらず[illegible]現大戰爭に加ら[illegible]とする[illegible]兵士を除き、[illegible]

何を以て之を言ふ

▲曾て北淸團匪事件の時、歐州各國兵士の宛然たる[illegible]

[illegible]

在米獨人の運動

[illegible]

膠州灣防禦準備

[illegible]

英獨士官の友人

[illegible]

直接支那に還附せん

[illegible]

日本は之を拒絕

[illegible]

白都陷落、佛軍の[illegible]

[illegible]

本社營業部

▲日本行瀛車瀛船 切符取次 日本郵船 大阪商船

シカゴ、ボストン、フィラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も御取次可申候

▲手紙取次 手數料一ヶ年一弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲實業經營法 米國實地 栢原賓丕氏著 定價一冊金壹弗

紐育新報社

▲第二回母國訪問團員募集

一、御卽位式參觀のため規則改正

一、經費一人二百四十弗

一、市俄古を中心とする一團

一、寫眞に經驗ある男女數名の小兒を伴ふ婦人各一名

一、詳細は改正規則により

中込次第送呈す

紐育日本人會

主催者　林富平

●佛軍の[illegible]

●獨の奸策、支那のもちく

[illegible]

朝日

上等料理人到着

日本人郵便發着表

活字職工一名至急募集





ダンス教授

革桁製造

▲法律顧問▲ 民事刑事訴訟 辨護士

本店製 五味商會

貸間あり

▲發賣禁止摘ひ 男女の生活

戀愛問答

女醫者

きむすめ論

色情思想の解剖

白合子

男女の戰ひ

書店 博文堂



藤井旅館支店 ホテルタコマ

美味にして清潔 品南樓 午前十時より午前六時まで開店

御下宿 吉田宗章 Lexington Ave. N.Y. City ●球場あり●

▲ニューヨーク生命保險會社▼ 代理人 千本木正治

朝日

寄書

紐育日本人會と證明書

颯風生

▲證明書の中で出願者の最も苦心否當事者からこまぐ\〜吟味立てせられて容易に下附されないのは迎妻を目的とする營業證明書又は身分證明書である、此種の證明書を下附して貰ふまでの出願者の苦心焦慮は一通りでない、然かも多くは不許可となるの[illegible]には頗る慘しらしい物語が澤山ある、之れは恐らく當事者の未だ曾て聞知せざる所であらうから二三の實例を擧げて玆に照會する

▲金儲けの容易なる米國なれば千や二千の貯蓄金は何時でも出來る位に樂觀し所謂宵越の金を便はぬ底の氣風に滿ちて居た紐育日本人社會の狀態も玆數年前から一變し各自が眞面目な生活に入つて着實なる方面に向上する者が殖へた、其動機とも云ふべきは近年米國の不景氣なるに連れ段々金儲けがハードになつて來たから自然の要求により一般同胞の間に警醒を喚呼せしめたのと一つは十年以上の在留者多き事とて可愛い初孫を想見する父母は切めて自分等の生存中に愛兒の配偶者を求めて安心せんとの念慮から切りに妻帶を迫つて來る、いづれ老先短かき父母の弱根心からであらう、三十路を越へて獨身の我兒に對する世間體からでもあらうと自覺して見ると[illegible]晩氣坊も自分の過去を省みて憮然たる思ひなき能はずである、其處で斷然新しき生涯に入つて幾年かの辛酸を盡し漸く迎妻する迄に一人前の人間となるのである

▲さて此旨を故郷に通知すると在米十年未だ曾て送金した事もなき人間が妻帶する迄に一廉の身分となつた事なれば一族は大喜びで早速縁を驅せ廻つて三國一の花嫁を探出し結約から戸籍入籍の手續迄滯りなくすんで高標娶のうら若しい嫁御寮の寫眞が本人の手許に送附されるまでに進行する、綺麗な白美人を見慣れた眼には少々不足はあるとも苟も親兄弟の推[illegible]した完全無缺の婦人第一自分の年齡から比較しても文句を並べる餘地は更にない、結婚呼寄證明書の運動に着手する事となる、處か貯蓄金は幾何あるか、家庭就職者は其資格がない、主屋は普通の商業家と見做さぬ、と四角張つた條令詰に遇つた末何其目的を達する事の出來ないのが多い、此時本人の失望はどうであらうか、何といつて國許へ申譯をするであらうか（未完）

溜飲下し

飛目張耳生

▲米國はペルリの遠征によつて野蠻國の日本を世界に紹介し、教育制度の模範を示して今日あらしめた大恩人であると自分自ら誇つて居るが吾々が學術、軍事、教育、政治等に於て獨逸より受けたる感化は實に米國以上であつて其分量から見れば獨逸は吾國にとつて米國以上の一大恩人であるといつて差支へない

▲然るに吾國一般の人民は米國に對しては、不法の待遇を受けて居りながら左程迄に米國を憎むで居ないに拘らず、獨逸に對しては一種の敵意を含んで其一擧一動に注意するの有樣である、之は畢竟日清戰役當時獨逸が三國干渉の頭目となり、日本が支那大陸に領土を有するのは東洋の平和に害ありと言つて置き乍ら、間もなく自分自ら膠州灣を占領し、獨逸皇帝は黄禍のポンチ書を書いて日本の發興を呪咀し、爾來支那大陸に於ける日本の事業を妨害したに止まらず日米兩國間の平和を攪亂せんと努むる等事毎に日本國民の感情を害したる結果であつて、今日の最後通牒は獨逸にとつて云はば自業自得の所業、因果てキ面とも稱すべきであらう

▲支那と戰つて遼東半島を得た吾々は獨逸の爲にゲドアウトヒヤを喰つて泣き乍ら同胞數万の血と涙とを以て購ひ得た遼東半島を返した譯であつた、臥薪嘗膽といふ文字は此時に於て新たなる意義を生じ、吾等五千万同胞の獨逸に對する反感は二十年後の今日と雖も依然として新らしき意義を有して居る

▲吾政府當局者は列國への手前を憚つて何とでも言譯をするがよい、乍併吾等國民は何も殊更に隱し立てをして嘘をつく必要は少しもないのである、吾々は歐州大戰といふ好機會に乘じて獨逸に三國干渉當時の御禮を申上げ、同時に暴慢無禮の極みを盡して吾等亞細亞民族を侮辱する國民に向つて好個の教訓を示すのである

▲亞米利加の新聞は無暗に日本の態度を攻擊するやうであるが然らば若し米國が或國と戰つて勝利を占め、戰勝の結果として或領土を得た場合に第三者たる強國の干渉に會つて折角得た所の領土を還附するとしたらば米國人はどんな感情を以て干渉者に對するであらう、己れをつめつて人の痛さを知れとは米國人の須く記臆すべき千古の格言である

投書欄

▲大疑問のうちにありし日英攻守同盟の効果は旬日を出ずして吾人の前に展開されんとす、去るにせよわが外交の振はざる事ある度に躊躇逡巡彼等の鼻息を窺ふにあらざれば活動を開始し能はざる如き軟弱なる地位にあるを思へば轉た慨嘆の至りに堪へざるなり（憤慨生）▲本年の觀光團員は大抵迎妻の目的を以て加入しさるそうだが昨年のやうに男ばかりノソリノ\〜歸つて來るやうだつたら承知せないぞ（武市生）▲支那町の賭博場か先月から開いたので汗をトロトロ流し乍ら豚臭ひ南京と交つて賭博に夢中の日本人か大分ある、誰れてあつたか此光景を目撃し丁度蠅取紙の上に捕はれたる蠅の如しと形容して居た（豚の子）▲すこし色變りの女か現はれると日參お百度連の讀者か山ほど現はれる、それを見るにつけても紐育の日本人は如何にドライして居るかが分るマア可哀想だ（モルモン宗）▲旅館みやこの親爺下宿經營の成功秘訣は止宿者に成るべく早くジョブを周旋してやるにありとなし此方面に熱心なるは實に驚くべしだ、所が懷の寒暖に拘らず之を出解して借金もないのに追出すのだとか一寸借金が出來ると追ひ出しを喰はしやがるとか云ふさうだ下宿屋事業も亦カタイ哉である（聞知生）▲來年開催さるゝ桑港の博覽會に東部から出張する人は約五十名あるさうださて閉會となつた曉に再びイーストに逆戻りする人かどの位あるであらうかと某支配人は切りに研究して居た成程之により在米日本商業家に對して東西兩沿岸の何れか適當せるかを判明せしむるであらう（一商人）▲迎妻は熊本福岡廣島の三縣からに限るさうだ何故なれば此地方の人々は海外渡航の思想か發達しとるから在米男子と結婚する事を一の名譽とする位で從つて其志望者には中流以上の家庭に生育された婦人か多いとか（新歸米者）▲某商會の〇〇ごんは昨今の炎暑もお厭ひなく〇子の陣屋に進擊して獨佛戰爭其處除けの大合戰あつい事でご座らうて（岡燒）

No. [illegible] VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY Aug. 29th 1914

紐育新報

繰返す勿れ

日本は獨逸の膠州灣租借地を占領して更に之を支那に還附す可し、この條件は英國政府の[illegible]日本當局者が米國政府當局者より[illegible]借金的承諾を受けたる一種の約束手形なり、吾人は最後通牒に對する米國の反感如何に[illegible]なるも將た此際特に米國の吾に對する好意を保持し置きて同國が仲裁を提議し媾和會議開かるゝの時其好感を利用せんとの下心よりするも現下極東に於て最も優勝の地位に在る吾帝國が恰かも婦が且那にダイヤの指輪を得んとし秋波の代編を布くが如き態度を示すは甚だしく自家の威嚴を損する所以なりとの感を懐くを禁じ得ざりし、が去廿五日の東京國際通信協會が當局者の言として傳へたる長文の電報は、本紙雜報欄[illegible]更に適用の條件を追加して一層吾國の[illegible]しむるの觀あり、日支兩國の[illegible]は各自の極東に於ける商業貿易を[illegible]ならしむと云ふ[illegible]只膠州灣の還附は樞密院、内閣、民間有志の一致せる所にし[illegible]り占領さるゝと否とに論なく[illegible]に還附さる可しとの確定[illegible]といふに至りては吾人は[illegible]の餘りに寛々ときに[illegible]ば非ず、國際通信協會の[illegible]愛に逃ふるを要な[illegible]の何人なるや[illegible]探索するを須[illegible]雖も何れも斯の如き[illegible]て殊更に米國人の意を迎へ[illegible]が如きは換言すれば角を[illegible]殺すの論鋒にして吾人は[illegible]

[illegible]

米國の日本人に就て

大阪朝日新聞記者 丸山幹治

[illegible]

日墺開戰

[illegible]

墺國宣戰布告

[illegible]

獨逸へ宣戰布告

[illegible]

英國が單に吾國の援助を求めたるのみならず吾外交方

[illegible]

協約に調印せんとせしが獨公使と

[illegible]

歐州動亂評說

保護

大阪府の

▲本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次

▲手紙取次

▲各國語飜譯

▲通辨

米國實地 實業經營法

紐育新報社

▲第二回母國訪問團員募集

改正規則

一、二百四十弗

一、市俄古

一、寫眞

一、名の小兒

一、婦人

一、改正規則

林 富平

●日本人會

●連合軍の大敗

寄書

紐育日本人會と證明書

（承前）　鱗風生

▲迎妻証明書の到着を今日か明日かと鶴首待つ國許の人へ對し不許可になつた事を報知するの餘りに酷目なく遂に一年間消息を絶つた人がある夫れがため國許の人々は非常に心配し父親なる人は六十七歳の高齢を厭はず遙々我兒を訪ねて紐育まで來た、又新英州に數年可なり大な雜貨店を經營する人が一人前の商業家と認定されぬとの理由により許可を否認されなかつた、望のないものを何時まで待たすも可愛想なりと[illegible]三年間の長日月を待ち焦れた花嫁をトートー此程離縁したと聞いて居る

▲日本の法律上適法と認められた妻を呼ぶに當居者が何故か[illegible]も鄭重なる取扱をなすかと謂ふに前述の如く米國との協約により渡米者を制限するに至つたの[illegible]重なる理由と背[illegible]往年西部の日本人中妻[illegible]として米國移民法に違反すべき醜業に從事せしむる不德漢が[illegible]々あつたこと[illegible]、從つて迎妻者の資格は身許確實にして家庭を維持するに充分の收入ある者を標準とせねばならぬことになる

▲妻帶の資格なき者が徒に故國から妻を迎へ窮餘の一策として妻女を犠牲にすることを敢ざす終に米國政府に厄介をかけ延いては同胞全般の体面を汚辱せしむる如き不德漢は極力其制裁排除に努めねばならぬ、併しながら之れあるが爲め所謂在留民の實情を考究することを閑却し法令を一般的に適用さるゝものとせば當地の如き社會狀態にある人々は甚だ[illegible]の悪いことゝなる

▲從來に於ける當地方在留民の迎妻資格に就て其標準を見るに見場雑貨業に位にては[illegible]の貯金と確實なる保証者を要し、家内的勞働者にあつては月收五、六十弗以上七八百弗の貯金と雇主又は之と相等なる身分を有する保証人を要するのであるが茲に言したいのは迎妻[illegible]者に自分の保証を提出せしむることに付て、である

▲個人思想の發達せる西洋人に自分に關ることは凡て自分で處置することを[illegible]する[illegible]は讀者の知する所であるが[illegible]に結婚問題に至つては[illegible]に相對主義であつて之に關し[illegible]人の干渉も許れない[illegible]情を有する者は妻帯問題の如き私情の事に干與することを甚だ不快に感ずるのである又一廉の男子が妻帯するに當り外國人の保証を仰がねばならぬとせば日本帝國民の立場から云ふても[illegible]分不見識なることであるから此件は以後全廢して貰いたい

▲當地方の同胞の多數が妻女呼寄をなしつゝある經体に不可能事の如く思惟する間に毎航毎號數十名乃至百餘名の新婦が續々來つて西部同胞の間に新家庭を殖しつゝある、斯の如き東西奇異の對照は奈邊から起るかと謂ふに、多人數にして獨立事業家多きこと、生活の容易なること、迎妻費の廉きこと等の諸點にあるは相違なきも今一つ其主力とも見るべき大原因は各地日本人會は其發展を期するに當り先づ會員をして健全なる方面に向上せしむるの根本主義として妻帯を獎勵しつゝあることである、斯して會は會員と密接の關係を繋ぎ多大の信用と[illegible]を博することゝなる

▲當地の日本人會の如きも頻りに會員の募集に活動して居るさうであるが云ふまでもなく日本人會は會員本位であるから成るべく多數會員を入會せしめて其隆盛發展の基礎を造るの必要がある、併し新設匆々の同會の施設方針に對する吾人の希望は頭數主義の外觀的よりも内容を整頓することに留意し、そして活きたる方面に活動し日本人會なるもの、實質的存在を一般に紹介することを先きに運動して欲しい

明大野球團の立往生

之れも戦争から

西部諸大學と競技巡廻を了り中西部の各地に轉戦して去十八日市俄古まで來着せる明治大學野球團は同地よりカンサスを經て傳馬市に出發することゝなりたるも選手一同旅費に窮し殆んど立往生の姿なるが今其原因を聞くに右費用はミネポリスの競技に於て儲け出す豫定なりしに同地は多數の獨逸人在住し彼第の反感を受けたる結果競技出來ざりし爲め斯くは困難に陥りたるなりと、因に急報に接せる沙市同窓會は應急手當として三百五十弗を送金せりと

●日本で飛行器製

海野氏の水上飛行艇が不慮の火災につけ[illegible]以來海野氏指揮の下に各專門家を集め[illegible]ら材料を集め[illegible]日本産の材料のみで製作しようと試み殆んど新規組立も同様なる飛行艇は右に付き海野氏は記者に語りて曰く發動器は目下民間では大阪の島津が百馬力回轉飛行發動機を試作中の外殆ど他に聞きませんし從てその成否のほども無論今から言へません發動器以外の飛行器用諸材料になりましては遙に日本の方が北米などよりも品質が上等で値が廉價であるばかりでなく假に一般板の寄生木や油の[illegible]木手際から一般工人のやり方としても北米の飛行器製作場などの工人等より余程優れて居るように思ひます殊にフランスの最新式飛行器に使つてあつた丈夫な合せ板は北海道製のもので巴里その他へ向け建築用として頗る廉價に輸出されたものであることを發見した次第でありまするに日本として國は飛行器製造に万事好都合である事を知りました

投書欄

獨乙人は愛國心に富んで居るだけあつて敵愾心もまた強烈である日本の宣戰布告以來彼奴等は日本人に遇ふとすぐに反感的態度を示し日本は獨乙の弱點に乘ずる不[illegible]國だと開口一番に浴せかける、この場合日本人の應答は大抵二十年前の遼東還附を持出すか又は東洋平和のためである、滑稽なのになると英國の尻押で日本はその本意でないといふと彼奴等は滿足するそうである（戰争屋）

日本と米國の兩方に妻をもち又は或官憲を欺瞞して自慾を全うするような不顆分子は西ぶ日本人會の[illegible]運動方法の村役場又は方地新聞に報道し大に懲戒してやるべしだ　鱗風生

▲商賣ですか（今年の夏は實に不景氣ですねしかしたかげ[illegible]の事は近頃のた得意には夫れがため問屋に迷惑をかける樣の方は一人もありませんと云ひながら某商店の支配人は布袋然たる相貌を崩しながらニヤリニヤリ　ニー生

當地日白結婚者の[illegible]は獨乙人である彼等の家庭では戰爭さら[illegible]ふ産物のために平和を破壞され呉越舟を同じうする狀態であるのを見るにつけ誠に同情の念に堪へぬ「平和」

▲僕の知人は電の車中で或白人か[illegible]りに顔をキヨロキヨロ見るか獨逸人だと[illegible]氣にな[illegible]

No. 161 VOL. 4 The Japanese Times SATURDAY [illegible] 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人 甲斐健一
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三 チエルシイ

時論一束

大局を観るの明なき袁政府

膠州灣に於ける吾か陸上の戦線區域を三十哩以外に擴張せる事を以て[illegible]たる日置公使の要求が袁政府の爲に[illegible]に拒絶されたりとは去月廿五日の北京電報により明かなり[illegible]支[illegible]領事某は時局に對する日本の態度を攻撃し領土擴張の野心に基くとなせる耳ならず不[illegible]に[illegible]不[illegible]の早晩[illegible]を豫言し且つ其時に於て支那は米國の味方たる可しと[illegible]口より吾人は學校を出たる者の言作[illegible]の言に過ぎ[illegible]ものにあらずと[illegible]之により袁世凱黨の吾國に對する感情を窺ふに足る[illegible]吾人は[illegible]の吾國を侮る無禮を憤るよりも[illegible]大[illegible]の推移を見るの明なきを憐まずんば非ざるなり、

[illegible]共和政治の實質と其[illegible]に[illegible]國民の知識と[illegible]如何に依るを知らざる[illegible]人は共和國なるものは[illegible]欧州[illegible]の[illegible]來る[illegible]ものに[illegible]或[illegible]に一[illegible]幻的模型なる事を覺たる[illegible]國民が明治の昔年天賦人權説の運用を[illegible]の[illegible]を[illegible]

[illegible]米[illegible]只管ら歐米を崇拜するの[illegible]常識なる言動をなせしとほとんど同様の心理状態にあるを見る、故に彼等は[illegible]米[illegible]の大共和國なり[illegible]一[illegible]を[illegible]の[illegible]するや[illegible]を以て[illegible]一手段とし[illegible]を[illegible]の[illegible]を[illegible]の[illegible]大[illegible]に[illegible]ことなし、[illegible]たるを知らず[illegible]學生を送り、[illegible]門を聘し、米國に[illegible]の[illegible]あり、吾人は[illegible]日支親善の文字を[illegible]げて決をするに[illegible]前か[illegible]支[illegible]が[illegible]を持續して吾國を[illegible]が故に[illegible]領土の[illegible]を知らざる[illegible]の[illegible]將來を[illegible]するの明なき亦[illegible]すに[illegible]今後五十[illegible]

[illegible]後吾國と同等の發達程度に達せり[illegible]と假定せよ、歐米列強國は眠れる獅子の覺醒に愕き其の既得權利を失はざらん事に腐心すると共に、今日の親支政策は忽ち變じて、明日の壓迫政策となる事吾國に對するよりも更に[illegible]るものあるべきは毫も疑ふの餘地なし[illegible]時に[illegible]支那唯一の味方とな[illegible]ジアファエジアティックスの理想を實現する者は吾日本を措て他に[illegible]之を求むべからず、袁世凱たるもの[illegible]みる所なくんば吾國の對支政策は[illegible]州大戰[illegible]了して聊か其の方針に[illegible]改の必要を感ずるやも知るべからざるなり

僂れなる偽人の聲

[illegible]白國を[illegible]や國存亡の運命は將に旦夕に迫れ[illegible]是に[illegible]總[illegible]參謀本部[illegible]なり、[illegible]を[illegible]人を[illegible]將に[illegible]日本の[illegible]ヨ[illegible]なり、[illegible]五十年アルサス[illegible]ーレンの[illegible]心せる國民の[illegible]なきを[illegible]ず後[illegible]の首都[illegible]は[illegible]に[illegible]たりと云ふ[illegible]なる[illegible]

[illegible]は去る三十日を以てサモアの[illegible]獨逸[illegible]に[illegible]ふ是非[illegible]に[illegible]の國民[illegible]國[illegible]には[illegible]に[illegible]のみ[illegible]

支那の現状

覆面外交通

▲支那は吾國と同種同文の國であるし[illegible]歯輔車の國柄であるから是非共支那國民を啓發し[illegible]日本人民と同様の地位に至らしめ彼此相結んで極東に於ける歐米人の跋扈を制したいといふのは吾國民間の有志家並一部支ナ人の唱道し希望する所であるが而かも支那現在の狀態及び支ナ國民の特性は果して能く此理想に合致し得るや否やといふことは大ひに研究の價値ある問題である

▲革命が成功して既に角共和國なり[illegible]立したといふので支那の事情に疎い日本人はあたかも支那國民の義憤が凝結して滿朝二百餘年間の勢力を一掃したもの[illegible]心得[illegible]居るが、實際は決してさうでない、一言以て之を云へば滿朝の運命既に其の末路に[illegible]所謂革命軍と稱する烏合の集を制するの力が無かつたといふに止まるので[illegible]

▲第一革命の起つた當時廣東地方の人民は革命が成功すれば稅金も安くなり、道臺や都督なども[illegible]

[illegible]イクラ士官が進めと命令しても一向進まぬ、或時士官が掩堡を堀れと命じたら、自分は革命軍の軍人であるから下等な苦力の眞似などは仕ないといふ、強制的に命令して折角堀らして見たのは上出來として兵卒共は其の掩堡を便所にして仕舞つたといふ滑稽談さへある位である

▲夫れから支那には強盜が出沒して時々道臺や都督の邸宅を襲う事がある[illegible]そうすると御大將は無[illegible]の事護衛兵迄が戟を逆まにして逃け出すといふ始末、翌日の新聞を見ると「此役[illegible]の大軍は」など、大袈裟に書立てた道臺が中央政府に送る報告には雲霞の如き敵軍に包圍攻擊され[illegible]兵は[illegible]戰[illegible]闘したか結局[illegible]事で死人はタッタ一人[illegible]あるから噴出さずにはいられない、

▲第二革命の時である馬[illegible]に激[illegible]の[illegible]が聞へるので一番戰爭見物に行かうといふことになり自分は[illegible]僚四五名と共に任地第一の[illegible]に行つた、[illegible]音は不相變聞へるか大して人の死ぬやうな[illegible]も見ず[illegible]

[illegible]が泥棒の[illegible]をして居た時代の手下で給料は[illegible]たる道臺自身の懐中から仕拂はれる、然らば其金は何處から出るか、中央政府は何故に夫等の軍隊を直轄制に改めぬかといふ金のとは別問題として道臺直轄の部下を養ふなどいふことは所謂革命をあほり立てるやうなもので到底出來得ぬ事でない、

▲北京政府の支出は一ヶ年約百五十万圓を要するのに其收入は百万圓である、何うして其差額を埋合せるかといふに例の紙幣を亂發するので之が爲に一圓紙幣の價値は三十錢になつたこともある斯ふ云ふ調子では物價の動搖が甚くて困る筈であるが、何しろ稅制幣制滅茶々々の處であるから、どうにかこうにかやつて行く處が支ナである又こゝろ細ひ所も此處にある、

▲袁世凱政府の勢力は幾分なりとも[illegible]各省にその根底を扶植しつゝあるが各省各[illegible]語風俗の異る支那を[illegible]して一政府の勢力範圍たらしめるは頗る困難の事業であり、[illegible]事業か成別するとしても夫れ迄には第二第三第四第五の革命が勃發し、幾多の波瀾重疊を經ると見ねばならぬ

●七十万の動員[illegible]

[illegible]と連合せん

伯林[illegible]本[illegible]長の[illegible]に[illegible]の[illegible]ずる所によればトルコは[illegible]の[illegible]々[illegible]より成る一軍團を組織し[illegible]に其の[illegible]手し[illegible]十二名は[illegible]京コンスタンチノ[illegible]に[illegible]所を[illegible]したる上、土耳[illegible]揮する事なりと、[illegible]上官の上[illegible]

▲[illegible]戰[illegible]なし 在[illegible]英國大使は[illegible]政府より[illegible]士官[illegible]の報に[illegible]に對し[illegible]するものと[illegible]釋さる

▲[illegible]英[illegible]の保護に[illegible]事を[illegible]然るに駐米土國大使は[illegible]を抱き且[illegible]トルコを[illegible]すべしとの風說を否[illegible]し且く土耳古ブルガリア[illegible]國は[illegible]戰爭[illegible]約を結び兩國は[illegible]に[illegible]して利益の[illegible]を圖る[illegible]

▲[illegible]日本[illegible]度出兵[illegible] トルコに[illegible]州[illegible]に[illegible]するに至らば英領[illegible][illegible]々[illegible]は謀反を企つるに至[illegible]

[illegible]伯林電報及 在紐育領[illegible]

日本軍上陸

▲十八[illegible]の軍用船に搭載せる一万[illegible]しく[illegible]一万五千の日本軍は[illegible]に[illegible]の[illegible]に對し[illegible]等[illegible]に[illegible]せるか當地に於て右は支ナの中立を[illegible]

▲日本の[illegible]より[illegible]日本[illegible]

二日北京電報

●膠州灣[illegible]は[illegible]ヶ月[illegible]ものと[illegible]

毎日本[illegible] 日本[illegible]上海發

[illegible]を達するは不可能なる[illegible]限り防禦線は[illegible]二ヶ月を支ふるに充分なら[illegible]

総事中村氏の談

[illegible]日本は[illegible]事をして傳へられたる[illegible]亂起りし場合之か[illegible]やも知れず云々[illegible]界を騒せるが右に對し日本大使館[illegible]は、總領事中村氏の[illegible]は日本政府の意見にあらず恐らくは[illegible]如き事の起りし場合日英同盟の下に吾國の行動は斯くあるべきやも知れずとなしたる單純なる氏一個の私見に過ぎざるべしと語り且つ右外交官は同じく一個の私見として語りて曰く

日本及英國は日英條約の義務として支那に於ける兩者の利益を第三者より害せらるゝ場合互に相[illegible]し相援助すべく[illegible]其後新たに附加されたる條約に於ては[illegible]度が[illegible]國もしくは他の外國より侵さるゝ場合即ち外來の敵に對しては吾國は出兵應援の義務あることを[illegible]記しあるも回教徒若くは他の内亂に關しては特に規定し非ず英國か歐州大陸に於て戰ふため印度の守備兵を撤去する事とならば[illegible]度に於て反亂起らずとも限らず又其[illegible]國か日本の[illegible]度出兵を乞ふに至るやも知るべからず元來吾國は[illegible]の關係上斯る行動を欲せざれば[illegible]の場合に於て[illegible]非常の[illegible]を[illegible]る能はざれ[illegible]も[illegible]急速に[illegible]の[illegible]要求[illegible]々[illegible]の[illegible]の[illegible]

大正三年九月五日　紐育新報　第百六十三號　（二）

○議會解散なし

原田[illegible]氏の通信中より　門司にて本日通信[illegible]に面會、[illegible]務を質問致候が、未だ全体に就て[illegible]っず、何とも返答の仕様なしと申居候、大阪にては折柄[illegible]の本多[illegible]氏に面談東京政界の形勢承り候が大体に於て今年の議會は解散す可き見込なし、同志會も過半數を得る見込なく、去りとて政友會も過半數を得る見込立たず、政友會が解散を[illegible]ざる以上は當然現狀維持に努む可きとに可有之候、同志會は[illegible]、立たば解散を[illegible]可き[illegible]、總選舉の結果中正黨のキャスチングヴォートをのみ増加すると[illegible]虻蜂取らずに終り、四方に手を付くる前例より[illegible]政友會に[illegible]

[illegible]

○露都の改稱、佛都の移轉

▲露都セントピーターバルグの名稱にはチユートン語、即ち獨逸民族の用語を含み居れりとの理由によりて今回新にペトログラットと改稱せり

▲佛國首都巴里は今後連合軍策戰の中心地點たるべきを以て政府は陸[illegible]當局者の要求を容れ、其首都を臨時ボルドーに移す旨を[illegible]宣言せり、ボルドー市は巴里を西南に去る事三百五十九哩、人口廿四万、海岸より六十哩を隔つる地方の都會にして千八百七十一年普佛戰爭の際臨時政府を置きたる事あり佛國議會がガンベツタの主唱によりナポレオン三世[illegible]位の決議をなしたるは此地なり巴里の防備は目下着々進行中にして數多の城門は二日以來閉鎖され市民の八方に避難を企つる者陸續たりと雖も連合軍の防禦力に信頼せる市民は依[illegible]

○露軍の大勝

（露都公報）

墺國に侵入せる露軍の左翼は墺軍と七日間の激烈なる戰をなしたる後去る一日[illegible]を撃破しレムベルグ市を占領せり[illegible]ズキー[illegible]ル將軍の一隊は百五十門の大砲及四千の捕虜を得、ガリシア方面に於て[illegible]は頑強に抵抗し[illegible]遂に之を撃退せるか吾軍の埋葬したる墺兵の死屍約五千、此役大砲三十二門及若干の捕虜を得たり吾軍は目下退却中の敵軍を追撃しつゝあり

東プロシアの北部に於ける吾軍は今なほ前進中なるが南部に於ける獨軍は新たなる援兵を得て頑強なる會戰を試み吾軍は衆寡敵せず多數の死傷者を生じて退却の止むなきに至りたり、因に別報によれば露軍は上記[illegible]

●佛獨空中戰　獨軍は前週以來巴里市の高空に輕氣球ゼペリアン及飛行機を[illegible]て各所にばく彈を投下しつゝあるが去[illegible]日夜獨の三飛行機は又や巴里市の高空に顯はれたるより佛の飛行隊は直ちに飛揚し射撃を交換して砲臺並に守備軍は間斷なく射撃を繼續せるか獨飛行隊は之を避けんかため適に上方に翻揚[illegible]長時間[illegible]書きつゝ巧に砲彈を避けて遂に[illegible]影を沒せり

●佛都白都の暗黑　アントワープに於てはばく彈の降下を恐れ[illegible]の燈火を滅し[illegible]宮の如きも蠟燭を使用し[illegible]るか巴里も亦同樣にて平時に[illegible]燈彩[illegible]人目を眩せし[illegible]なる街路も夜間一燈の明滅するもの[illegible]なく恰も暗黑界に入れるか如しと云ふ

●新羅馬法王即位　バイアヌ十世の後任としてデラ、チーサ大僧正は去三日新羅馬法王に選擧されたり

●日本軍七島を占領す　露都よりのルーター電報によれば膠州灣の日本軍は同灣附近の[illegible]嶼を占領し獨軍の散布せる敷設水雷一千個を引揚げたりと

●巴里市民の避難　大統領ポインカレー氏及閣員は三日午前十一時四十分バリヌ出發新首府ボルドーに向へり巴里市民は出來る限り所有品を携へて先を競ふてボルドーに避難中なるか獨軍は既に巴里を去る二十哩の地點に進軍し來れり（三日巴里）

●倫敦於[illegible]嚴重　倫敦に於ける戰報の[illegible]は頗る嚴重にして市民の憂慮は一方ならず、佛國首都移轉の報は不[illegible]市民を驚かせるもガリシアに於ける露グン大捷の報は連合グンの前途を樂觀せしめたり

悲愴なる宣言

佛國内務省は二日夜首府をボルドーに移すべき旨公布したり、蓋しその意は巴里を以て兩グン操縱の旋回點たらしめんとするにあり右遷都宣言の全文左の如し

佛國民に告ぐ吾勇敢なるグン隊は此十數日間大奮鬪して數々著しき戰功を擧げ得たり然れども北方に於ける獨グンの[illegible]迫は吾グンの退却を餘儀なくせしめ勢遂に吾大統領及政府は悲むべき決定に出でさるを得ざるに至れり國民の利益を擁護せんかため政府の取るべき義務は一時巴里よりの所在地を全國に連絡を作ち得べき佛國領土の一地點に移すこと事と又政府は[illegible]前に國民的統一の中心を作らんか爲に佛國議會が政府と其行を共にせん事を求めたり政府は巴里及巴里要塞の防禦が如何なる方法にてもまた十分に有力なるを見屆けたる後ハリを去るべし政府は今吏人民に向つて冷靜沈着ならんことを説く要を見ず人民の冷靜沈着は既に日々に實證されたる所なり、佛國人民よ、[illegible]く此の悲しき事態に處して我等は最後の勝利を得べし我等の決意と忍耐と沈着力により[illegible]我等は最後の勝利を得べし[illegible]に死せんことを欲せざる國民は吾[illegible]の犧牲の前にたじろかざる國民は必ず竟に勝つべきなり

●利き目の無き支ナの抗議　幾許の日本兵か膠州灣の北方ルンコーに上陸せしやは不明なるも多分六千は既に上陸を終り、[illegible]二万四千は目下輸送の途にありと[illegible]せらる、[illegible]支ナ官憲は辭を低ふして抗辯せしに日本[illegible]は同じく丁寧に挨拶して[illegible]ドシ上陸し支ナ政府は[illegible]目とは知りつゝ[illegible]英獨公使に向つて中立違反の抗議を申込みたるも二國は承知せざるものゝ如し

然として[illegible]生の業務に服し居れり[illegible]勇猛なる佛國[illegible]グンは名將の指揮の下により侵入グンに[illegible]して[illegible]首府と[illegible]忠良なる[illegible]を防護すべしと雖も[illegible]佛國領土の他の方面に於ては[illegible]らず國民の名譽を侵害[illegible]利の回復とのために[illegible]戰爭は[illegible]もなく[illegible]るべし今や[illegible]我[illegible]ンの何れの部分も未だ破壞せられたるには非らさるなり尤も其中の[illegible]部分には多少の損害を蒙ると[illegible]も其失へる所は[illegible]兵を補充したり新に召集せる新兵は[illegible]日新に入りつゝ力とに於て其勢を[illegible]これ英白佛[illegible]格言たるべきなり、忍べよ戰へよ[illegible]於て我同盟[illegible]通より絶ちたる[illegible]ぐんか獨[illegible]國の中心に一致命傷を與へんと努力せる[illegible]よ此の抵抗を最後まで押進め行かんことを是れ佛國共和政府のなすべき所なり、思ふに此の[illegible]戰爭に十分の効果あらんには政府が共活動に[illegible]事必要なり此に於て政府は[illegible]事當局者の要請により政府[illegible]

▲第二回母國訪問團員募集

一、團體式旅行のため規則改正

一、會費一人二百四十弗

一、十月上旬出發日本滯在約四ヶ月

一、市俄古を中心とする一般團體より募集

一、寫眞に經驗ある人及び數名の小兒を預り同伴する婦人各一名の加入者を求む

一、詳細は改正規則にあり

委細照會申込次第進呈す

紐育母國訪問團本部
紐育市第六街二四八
主催者　林富平

●歐洲戰爭と送預金

▲割合大損となる　歐洲戰爭始まつて以來日本に送金の上預金するにも或は又日本送金するにも其の割合非常に損となれり現今横濱正金本店預は五十弗廿五仙にて日本金百圓となれり日本への送金は五十弟十二仙五厘にて百圓に換算せられ五十弗若しくは夫以下の時に於して大に損となる譯なるが是に就て其筋の人に聞くに元來［illegible］金銀行の預送金は取引片爲替なる爲紐育を經て倫敦に送り倫敦市場にて日本の買入取引と計算する様なりたるに戰爭の爲め爲替は歐洲［illegible］にきかず［illegible］

…ト現今に於て日本に送らざる可からざる事となり斯くて經費の上に夥しき費用を要し何ぞ之を歐洲に送る等の不便ありて爲替取引自由ならざる事が原因なる由、故に目下の所にて送金も斷くして時期の來るを待つ方が預金者に取り尤も利益あるべしと［illegible］

▲戰爭と桑港在米日本人會の注意　桑港日本人會は時局に關し左の注意書を各地日本人會に送れり

一、今回歐洲の大亂は延て我國をして獨逸に對し宣戰を布告するに至らしめ候處此際在留同胞は最も愼重の態度を保持する必要有之候に付左に同胞の心得に可き要項列記致候間貴管内在留同胞へ一般へ御布達相成度此段得貴意候也

一、此際歐米人に對し成る可く戰爭に關する議論を爲さざる樣努むる事

二、獨逸人は加州地方に多數在住し政治上商業上一大勢力を形造れるを以て彼等に對し特に注意する事

三、以上の外總て歐米人の感情を刺戟するか如き言動を愼しむ可き事

四、米國は局外中立を布告したるを以て在留民として中立義務を嚴守し米國の政策に批難を加ふる外交問題に就て論議の讒説を與ふる外省歐米人の孰れか何國人なりやは容易に判斷し難き場合多く殊に就一般に歐米人に對して愼重の態度を持すると甚だ肝要に有之爲念申添候

▲戰報傳達所　伯林よりロンダアイランドなる無線電信所に達せる獨公報なりと稱して報道されたるセンに關しイヴニング テレグラム紙は調査の結果、該報道は當地に於て作られたるものなることを發見せる由にて以後同様の報導は一切掲載せざる可しと公言し更に右作爲の顛末不日暴露す可しと言へり

▲醬油税訴訟勝利　從來日本の醬油はソースの部に入られ四割の關税を課せられ居りたるも昨年春各商店より抗議を起し醬油は製法に於ても使用に於てもソースと異りたるものなれば關税目錄にあらざるものとして二割の税となすか或は無税の部に入るべきものなりとて抗議を起し數回の裁判をなしたるものなるか今回新育の關税評價監督局の判決にて日本人側の勝利となり千九百十三年十月以後の分は二割を課し其以前の分は一割五分を課すべきものなりとの判決ありたれば既に納附したる關税は政府か此裁判に異議を言ひ上告せざる限りは割戻すべきものにて精密に計算し得ざるも少くも廿萬弗以上に達すべしと［illegible］輸入商に割

●杉村楚人冠氏來着　東京朝日記者杉村氏は歐州大戰に關する同社の要務を帶び英京倫敦へ急行の途去一日當地着ホテルアスターに滯在中なるか本日出帆の紐育號にて出帆の筈

●三井物産會社員若林字三郎、赤松角次郎兩氏は杉村氏と同行來着せるか本日渡英せり

●小栗ドクターの開業　本年優等を以てフォーダム醫科大學を卒業し當州規定の試驗に及第せる同氏は今回三面廣告の通り開業せり氏か往診、診察を前約に限れるは何はフォダム研究所にて斯道の蘊奧を極めつゝあるかなる由、

●奉府大使館附武官伊丹陸軍中佐は過日故國より夫人來着に付出迎のため來市ホールアスターに滯在中なりしか、四日夫人同伴歸華せり

●英國大使館參事官本田熊太郎氏は一日來市、翌二日セントポール號にて渡英せり

●和蘭公使館一等書記官松原一雄氏は本田氏と同伴來市、二日任地へ向け出發せり

●上中彦三氏　歸朝中なりし同氏は昨四日來着せり

●日米間直接爲替開始　ブロドウェー、トラストコンパニーは今回日米間直接取引を開始せり

●高田博士來市と歡迎準備　目下歐洲漫遊中なる早稻田大學々長高田博士は實業之日本社々長代議士增田義氏と共に近々來着の筈なるか過日同博士よりの來狀に依れば兩氏は本月十九日オリムピック號にてリバプール出發、廿三、四日頃當地着廿七日華府に趣き十月二日再び當地に引返し、同五日ニューヘブン訪問の豫定にして早稻田校友會は廿五日頃兩氏を招待して晩餐會を開く可く、日本人會は目下歡迎準備協議中にて多分中村總領事に一切の指揮を依託し兩氏に請ふてカーネギーホールに大演說會を開くならんと

●日本人參議員會　は來八日開盛亭に於て開會諸般の事項を協議する筈

●連合軍大敗　要塞陷落　過日來［illegible］にて戰況を知るに由なかりしか四日の倫敦電報は連合軍か必死の防戰を試みたるフフェルン及アイメンスの兩要塞も獨殺倒に耐ゆる能はず、要塞は前週土曜日ア［illegible］日陷落し、防禦グンは後方に退却し目下巴里を離る僅に廿五哩の地點に於て激戰中なるを報せり

●タイムスヤの舌戰　タイムス新聞社の戰報揭示場前は各國人日夜黑山の如くに群集し、此處彼處に於て熱心に議論を戰はし折り其雜踏一方ならず、去三日夜の如き本社員が面白く彼等の舌戰を聞き居たるに佛人とも覺はしき一人の老人社員を捕へて一生懸命に佛兵の弱からぬことを辯護せるには閉口せり

●寫眞結婚と年齡　寫眞結婚を願ひ出づるものにして往々希望男女の年齡甚しく相違せる爲に不許可となる場合あり之に對して動もすれば誤解を招く事なしとせず之に關し當局者の意見を聞くに結婚許可の内規上原則として十年以上男女年齡の相違せる場合は許可せず然れども女子が二十歲以上にして是非辨別の能力を有し社會の狀態を知り得るものと認めし男女は親族その他の關係にて相識の間柄なりと認められ又は特別の事情ありて結婚し結婚後將來の釀出する恐なしと認めらるゝ場合は事情を酌量し許可せらるゝ事なしとせずされども適は別の場合なれば嚴格なる調査を要するにより一般には許可せられざるものと認むべし強て年の相違者か結婚せんとせば内地へ歸還の上結婚すべしと

●クック、ウェター共の眤合ひ　各所のホテルに居る佛獨人のクック、ウェター共は開戰以來毎日のやう喧嘩し居れるが、連戰連勝に鼻うごめかせる獨逸人に引かへフレンチの料理人や給仕共は近來青菜に鹽の体らく全く以て氣の毒なり

歐洲戰爭觀

オスターベー　甲山乙水

今や歐洲文明强國の高氣壓はベルヂウムの地に大旋風を起して大陸これがために振撼す世界有史來未だ曾てこれあらざる此大戰爭を單に動的方面に於てのみ觀んとせず又靜的方面に於て觀ん事を要す何をか動的方面といひ之を具體的にいへば世界の海上を以て自ら任ずるの英國は北海門内には指一本そめさせじと遂に佛國を助けて立つ

極東日本は日英同盟を利用して東亞百年の大計を立つべく獨逸にせまるに膠州灣租借地の交附及び軍艦の武裝解除と撤兵を以てす獨逸なは久に應ぜざるものあつて遂に開戰の止むなきに至れり米國は嚴正中立を主張すと雖も日本の軍事的行動の範圍を制限せんことを欲するもの如しみな是れ自國の權利と利害關係とを打算したる外交と相待つ軍事的行動なり何をか靜的方面といふ大隈伯は奇拔なる一個の批評家なり彼れ曾て日露戰爭を靜的方面より批判して日本今日の交際は歐米先進國の恩惠による而して日露戰爭は此の恩惠に報ゆるの最も合理的最善の方法なり如何となれば日本は東洋の諸港を開放し各國をして通商貿易の自由を獲得せしむるのみならず[illegible]强大なるシア帝國を[illegible]に[illegible]かんと欲するものなればなりと[illegible]

は果して大隈伯の言ふ如く彼らの[illegible]州今回の大戰爭を看して强者は常に弱者をのむと云ふ天理ノ道を省みず日本は强者より稍優[illegible]位此の兩者の中間にありて弱者をかき引[illegible]者に對しては天理人道を教ゆる所すら。とす[illegible]十九世紀より今世紀にかけて思想界の[illegible]は個人思想[illegible]と物質[illegible]ず思想[illegible]有機体的研究法が個々は全体として[illegible]部分の存在にことが分子的[illegible]は[illegible]一に[illegible]者なる[illegible]一般を全然[illegible]体を統一し[illegible]的に見る[illegible]ル[illegible]上に[illegible]を建設し、自らこに[illegible]今世紀の[illegible]オホレン的基礎を要しなす[illegible]東西各國の利害干係を無視したる獨逸大人思想の發達したる今世紀に於てナ帝國建設は果して可能なるか是に於て今回歐州の大戰爭は如もこれを[illegible]者と觀るも可なさんか[illegible]此の大戰[illegible]はメタフィジカル[illegible]を有する[illegible]

紐育日本人會と證明書（四）

鱗風生

紐育日本人の一大欠點ともいふべきは放浪的生活を送る人の多數なることである、市内各所の下宿屋には何所にも血氣盛なる青年が一月稼いては二ケ月徒食する怠惰者が澤山ゴロゴロしとる、たまたま彼等の間に二三千弗の貯蓄を有するものがあれば金持と崇められ非常に尊敬を拂れのである以て紐育日本人の海外發展若しくは海外成功に對する觀念の如何に低級なるかを證明することが出來る彼等の前途を思は轉た寒心に堪へざるものがある。

▲この時に當りて吾人の間に福利增進を標ぼうする日本人會が如何なる方法如何なる活動により其の目的の實現さるゝかは未知數に屬することなれば今俄に斷言し難きも要するに日本人會の新設は紐育地方の同胞社會に於て一大革命的意義を生じ來たことは否定べからざる事である。

▲[illegible]會が證明書の全般を取扱ふことになつたのは其の第一義とする事が出來る或人は其取扱は多少の寄附會金により全般の体面を代表するに足るべき機關を維持するに不可能であるからその收入を以て財源の一部とするに外ならず其他には何等の意味なしと云つて居る。しかし吾等は[illegible]書を以て爾かく單純なる意義に於て解釋し能はぬのである。

▲紐育日本人會が證明書を扱取ふは同胞補充を以て唯一の目的となりとせは共同的義務を有する會員は他の方法により[illegible]の實を擧ぐべきも其目的に向ては全然責任を有し能はぬことなる。何となれば從來證明書出願者に對する當局者の方針態度は形式的に[illegible]その人の實際的資格を[illegible]認定する[illegible]について[illegible]であつた、[illegible]ばそれに[illegible]も標準をきかすと云ふ[illegible]ないで[illegible]物議不平が多かつた、而して更に又[illegible]の出張所を設ける必要を認めぬからである。

▲要するに吾々は日本人會に向つて誇る[illegible]に關する實權を收得せよと絶叫する[illegible]では無い要は會員の福利を增すべき目的を有する證明書[illegible]に付ては何處社會の實情に精通する人々等が地位を利用して公平なる見地によつて此くも物議不平を釀生させるように努力して貰ひたいことが[illegible]に對し紐育日本人會に希望する所である。（完）

投書欄

某々マヂジャー君は自分の品行を棚上にして下を律せようとするから終始紛擾が絶へないのです其んな遣方では君の地位に對する資格はない君は南部にて得た經驗を居常職務上の銘とせねばならぬ（仲裁人）▲夏場の閉鎖も玆一週間にせまつたが日本人の成功は殆んど皆無といつてよいそうだ夫れに付けて思ふのは夏場經營者も毎年こんな調子では駄目だから今の下に趣向をかへるか又は新方面に發展する方法をとらねば自滅するより他なきに至るであらう（同業者）▲美人投票か流行した事かある一番紐育賢婦人名の投票をやつては（投票好）▲オイ諸君近頃支ナ町女郎屋の門口には數名の探偵が立番をして居て其所に出入する者をば誰彼の容捨なく根棒でケツをなぐる、あんな物騒な所に行くと飛んだ目に會ふから行かぬことにし給へ（實際なくられ生）▲何時ぞや評判であつた別嬪は當○にすてられたさうな色男にはれられると誰でもこの通りたから猶なで聲の男の詞園をするな（女思男）▲某ドライ屋は日本から迎妻するには二年の辛苦を棒にふらねばならぬと云ふ二天作から割出して媒酌好の暇ある或親爺に向つて當世には三十人からの未婚婦人か居るそうだが一人位ものにならぬだらうかときくと親爺曰くセコンドハンドならイージィーだが未者婚と來ると高揚子式で手がつけられねヱ其癖バイブルの講釋よりアダム　イブ傳が好きなんだ（考壯士）▲某私長此間突然腹痛を起したのでつ[illegible]り之は例のに相違ないと早速タキシキャップて村瀨ドクターにかけ付けたそうな、君チンナし恐がらんでもヨカバッテン（諸本辯）

▲新來の某紳士、米國婦人は如才かな、て愛嬌ハイ、といふとは誰には隣い居たか實際だね、電車の震動にこてかけたら直ぐに後方から支へてくれたものかあるから振り返て見ると若い美人じまないか恐縮して冷汗の出るような思ひの所へ怪我かなくて好かたッたのだから流石の吾輩一本參つた、あれでは妙な氣になる人間は多いワイ（感服）

No. [illegible] VOL. [illegible]

The Japanese Times

SATURDAY Sept. [illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價(前金郵税共)
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七二　チエルシイ

歐洲大戰と米國

大統領ウィルソン氏は、今日の米國は最も重大なる時期であると言つた、他の國もさうであるが全く今の米國は運命を以て滿されてゐる時期であると言つて、如何にも歐洲大戰は米國に對し政治的にも經濟的にも將た精神的にも大なる影響を及ぼしてゐる[illegible]さんとしつゝある、若し國家として羨むべき地位にあるものを擧ぐれば何人も米國を指すに極つてゐる例へば現在に於て受けてゐる打擊を高價に見積つても、之に依つて得る將來の經濟的立場の擴展を思へば何でもない。先づ米國は海上に於て英獨の商業的地位に取つて代ることも出來ることはもう事實であつて議論でない。それから金融の中心も全然紐育に移るだらう、少くとも今回の戰爭まで倫敦も、巴里も、伯林も國際的中心の立場として適當でない事を示したる、[illegible]國と戰爭をやらぬとは限らぬが、所謂國際上の同盟若くは協商なるものが、實は頗る危險なる國際戰爭の原因となる事が遺憾なく今回の戰爭によつて證明される、從つて斯うした國際的親類縁者の多いだけ戰爭の危險は多くなる[illegible]なくなる、此點から米國は[illegible]戰爭に縁遠い[illegible]定まるので、國際資本は紐育を中心とする[illegible]はなるまいかも知れない、[illegible]來的な[illegible]であつてはならない[illegible]平和の終りを見た[illegible]必至[illegible]、其[illegible]時代[illegible]米國に[illegible]たる歐洲が戰後[illegible]物でないとなつて[illegible]至ることも想像する[illegible]、歐洲は[illegible]に有國家の標本として[illegible]主權を永得する米國は世界の[illegible]力として[illegible]るだらう、[illegible]に於て[illegible]、文化[illegible]

の味方なることを述ぶるは餘りに平凡な眞理である、一米紙か一千九百十四年八月は世界歴史に特筆すべきものが二つある、一は歐洲戰爭で一はパナマ運河の開通である、前者は舊思想の歸趨で、後者は新文明の光榮であると言つたのは、必ずしも例の米國的誇負と見做すべきではない米人は深く此點に省みるを要する、米國にして此の世界の新理想の代表的位置を還却し、徒らに歐洲の舊思想、歐洲の國家主義にかぶれて國家的膨脹を希ひ國家的虚榮を望み、國際的野心に驅らるゝが如き事あらば米國の誇るべき地位は一朝にして失はれ國際的親類縁者かないので他に累はされなかつた國際的立場は、此に至つて非常に危險なる孤立の地位となるに極つてゐる現大統領ウィルソン氏は蓋し之を知るの明がある、ブライアン氏も亦然[illegible]米國民を最も適當な水先案内を行つてゐる譯である、最近の日獨關係に對する大統領の遣口を見ても、大統領及國務卿が深く此點に自覺して米國民を指導してゐることが明らかに看取し得らるゝ、只此に危險なるは、早晩ウィルソン氏の[illegible]に落ちる重大なる使命が果された[illegible]、今迄歐洲外交の檜舞臺から無[illegible]一時閑却されてゐた米國か[illegible]世界の主役者となつて總て世界的問題に有力なる發言權を有[illegible]、左なきだに自惚の強い米國民が一層鼻を高くし、調子に[illegible]國家的威嚇をするに至らざるや、恰かも之[illegible]、歐洲は此の大戰の結果、舊權威、舊信仰は一[illegible]國民的革命の機縁を生[illegible]此處にも[illegible]コントラストがあ[illegible]、世界は更に一[illegible]を試みる事になろう。

戰局と日本

東隅

▲日本が現大戰の發端者獨逸に對し宣戰をなすや、カイザーは聴て之を待應らひ駐米獨大使は「英が日本を引摺入れるとは餘計の事なり黃色種族の出づる幕にあらざるに」の言を放ち中立を宣したる米國の政治屋迄がちやんと斷つてある膠州灣の實質的還附の誓明を云爲し、乾度還すか還さぬか、太平洋の獨領島嶼も奪るか奪らぬか、此方にも所存ありと疊掛けんとする故障沙汰に決して〳〵左やうの儀之なしとの物叮嚀の言開き、今時に相變らぬ、た行儀主義のた人好し外交もこれでは滑稽の程が過ぎて居る。

▲吾人はマキャベリー主義の外交を排す而も既に外交といふからには字義通りのデプロマチック即ち外交らしき外交でなくてはならぬ、君子國の日本は飽迄一條の正義の貫ける國際道徳を標ぼうして他國と折衝するの精神が肝腎じあるが之を具体的に發現する手段は時に妙處あり巧處ある手腕よき外交であつて欲しい人の言動にも多少の含蓄を尚ぶ如く國際の言動と雖も露骨馬鹿叮嚀繁冗の嫌を避くべきは當然である、此度の例の如き武士に二言は無いと云ふ腹は口では言はずに追て行蹟に顯はしてハヽ成程と恥ぢて感服さする位の貫禄しさが伴ふて居らなくてはならなかつた、夫れとも今に念を入れたくは、たゞ[illegible]は過ぎ[illegible]はする御手前も後で味を御遺りでない位の要心を付て置かねばならなかつたのだ、若し夫れ淺慕にも獨領島嶼不占領附加聲言を爲すに至つては、外交の善例を無視し其機論を自ら撤し其拙と陋さを表はせる大不覺の遣方だ、此の聲言は何さか反古になさでは後て取返しの附かぬ事に成る、當局はどんな氣で居られるにや。

▲今や荒れに荒れて居る歐洲大戰爭も元を質せばカイザーが不逞の胸に囚めきし一斷字の發動に外ならぬ、吾人の口[illegible]日露戰爭を喚起したる遼東還附の主導者たる此の怪傑の千か上には恨みの數を場さず、刻下世界を聳げ彼か謀叛を斃代するの觀ある心は極好しとも云はん方なければも、戰局の推移如何によりては我[illegible]本の東洋部面を限れる受持も或は[illegible]むしろ開張の上分別に出つるを可とるなきを必せない、平たく言へば[illegible]々我側の勝戰さと見定めの附がん[illegible]大した負担を免れながら歐洲の本[illegible]舞を手傳ふ位の事がありたいのだ[illegible]巧のイタリーが今が今まで中立を[illegible]守して連合側に投せざるは、獨墺[illegible]の敗算を見越しこの事なれば巴里[illegible]し一朝陷らん後迄も然るものとは覺へず、トルコにして愈々獨側に[illegible]く事あらばバルガン諸國は連合側に投せん事は必然、何が何んでも[illegible]イザーをして世界の覇王たらしめるためには大多數の國は寄つてた[illegible]可出來は袋叩きにもなさんとする必然の勢も理はりである、左うなくはならぬ、黃色種族云々は口實さ駐米獨大使より洩れたる[illegible]、[illegible]カイザーのお相手すべき[illegible]ある今我日本たるもの形勢を觀て取り[illegible]ならば[illegible]の[illegible]りに一敷隻をアド[illegible]リアチック海へ兵ならば[illegible]物か[illegible]を[illegible]ステンド方面へ[illegible]と一知[illegible]の下に急派する事も不可能の事でなければ[illegible]もない、百年目に一度といふべき[illegible]の見[illegible]よき仲間入をなし、他日[illegible]收り講和會議の開かれん時、[illegible]末[illegible]になるの事を今から省い[illegible]も知ある業といふべしだ、[illegible]然らざれば[illegible]待に等しき獨領島嶼[illegible]は愚か骨を折つて飛[illegible]仰を見るに終らんも知るべからずである。

▲イタリーの心せる如く日本は[illegible]ではならぬ事は、獨逸にして[illegible]を得らるには戰後[illegible]內憂[illegible]を見させらる一事である、[illegible]に且へずして[illegible]も打續き、[illegible]の攻入りも致命傷を負はすに[illegible]らず[illegible]もあらんか、[illegible]て天下は獨[illegible]にして今[illegible]はカイザー[illegible]に平伏するの外はない、今でさへ[illegible]なき白人主義に對する仕打の酷烈なる此の如しであれば彼が忌々しき目して手出せる國々に對しては追て[illegible]の[illegible]限りを盡らすべし、罷り違へばカーザーが世界主の夢の實現されずとも限らさる物騷至極の今此際字[illegible]に輕からぬ使命を有して居る日本が都合よくも墺か獨に代つて爲したらん[illegible]き宣戰を受くるに至つては最早[illegible]同盟條約文面のみに拘泥し居らず[illegible]差支なき場合に、一層の事講[illegible]して友邦の難を赴き救ひ我勇士等がカイザーの目に物見せ呉れんとする大奮發の擧に出で[illegible]事も痴人の架想として排すべきではない、實行を云爲するものは英佛[illegible]運送船の有り餘る事や、火事の場合に身錢は切る事なきを知らで、物を否定し見たがる沒分曉漢の輩にある、要は時々刻々開展し行く大戰亂の經過如何が直ちに我國の運命に觸つて差響を與へ[illegible]るものなるを覺り、今少し[illegible]巧みに戰國と中立諸國の間に處し、內は[illegible]權を[illegible]し外は未來平和の好方面に多分の寄與をなさんが爲に國是[illegible]相當の[illegible]つて最善の力を致さんを[illegible]るものである。(寄書)

●英佛露の新協約

最後迄戰は[illegible]

英佛露三國は英外相グレー卿の提言に基ける新條約に同意し各代表者は去る[illegible]に於て調印を終り之の旨を[illegible]表せり

一、[illegible]國を代表せる以下の條約の調印者は茲に下の如く宣言す

二、英佛露三國政府は戰爭中各別々に講和せざる事を約す

三、三國政府は講和の義起りし場合[illegible]以て相互間の協定を經たるものに非ざる以上、講和條件を提出せざることに同意す

四、此宣言の趣旨を表象するが爲に左記代表者は茲に署名捺印するものなり

一千九百十四年九月五日倫敦に於て
英國外務卿　イー、グレー
駐英佛國大使ポール、カムボン
駐英露國大使ベンケンドルフ伯

[illegible]の[illegible]者及[illegible]息通の談によ[illegible]在新協約の目的は獨國より佛國に[illegible]つて講和に關し既に何事かを申込む傾向あり且つ今後戰局の經過に伴ひ[illegible]者の地位を得べきを豫測して[illegible]結果最後まで戰ふてしこの三國の決意を獨逸及世界に示すためなると同時に愈々講和の曉き戰利品、領土其他一切を含むての分配に關し三國間に異論の生せん事を豫測し之を避んけが爲に締結されし者にして伊太利土古耳兩國の態度に向ひ一種の諷刺的警告を含み居るものと解釋すべき理由あり尚此の新協約に白耳義の參加し居らざる理由に關し當局者は曰く三國は決して白國を度外視せるに非ず、同國の爲には出來限りの報償を得せしむべきとに內約あり云々

●獨逸講和の意あり

(七日華府發電)

市俄古ヘラルド紙華府通信員の所報によれば、獨國は佛國に大打擊を與へたる今日

急速に和を講ぜんと意のあり

ガリシヤ方面に於て露國の爲に手痛き敗衄を蒙りたる墺國も此に贊同し獨墺側の觀測にては英佛露三國も同意を表すべき見込なりと而して講和に關し華府外交界に於て何事か暗々に進行中なる事は不可爭事實なるが如く前國務卿及駐米國大使たりしストラウス氏は現に海牙平和會[illegible]に[illegible]行し駐米獨大使大統領、國務卿、獨國大使[illegible]と會見を遂げ何事か重大事件を凝議する所あり、獨大使と同伴紐育に急行せし事は著しく世人の注意を惹けるが右に關するストラウス氏及獨大使の公言は更に一層シカゴヘラルド通信員の所報を明確ならしめたり、[illegible]氏曰く「米國が歐洲大戰の終結を齎すために適當の提言をなすべき時期は必然的に到來すべからざるや勿論なり而して此希望は顯官なる局外中立の方針に從ふ事によりて達せらるべし」云

駐米獨大使ベルンストルフ伯は曰く「現在の時に於て吾國の地位は和を講ずるに最も適當にして且つ利益あるのみならず若し此機會を逸せば講和は甚困難となるべきを以て吾等は此際講和の方法を講ずべし勿論予は吾軍の英佛連合軍を屈服せしめたる後露軍を擊破する事を信ずと雖も吾等に取りては餘りに強大なる英國海軍あり、故に此際平和克復成るとすれば吾帝國の爲め至大の幸福なり」云々



●軍國主義の末路　英外相グレー卿一場の演説に於て曰く戰爭の[illegible]道は軍國主義の如何に不道[illegible]慘酷なるかを證明せり吾人は軍國主義に向つて戰はざるべからず、若し此戰爭の結果獨逸の勝利とならば西歐州は全然獨逸の足下に[illegible]せざるべからず吾等の勝利とならんか歐州の小國は固より獨逸國民自らも軍國主義の束縛より免かれ全歐洲はヨリ自由の天地たるべし吾等の拂ひし高價の犧牲は之がために酬いらるべきなりと

●獨國首相外相職辭　獨國首相及外相は伊國をして三國同盟より脱せしめ英國をして露佛に味方するに至らしめたる等外交上の違算多く、痛く獨帝の逆鱗に觸れたる傾あり遂に辭表を呈するに至れりと八日の羅馬電報は報せり

●露兵廿五万佛國に上陸　せりとの[illegible]は約[illegible]週[illegible]より傳へられ過日ニューヨークに着せるモレタニヤ號の船客も其事實なる事を語り、去八日のヘラルド倫敦及ローマ發電は愈々事實にして之迄秘密に附せられ居たる事を[illegible]し八日のオステンド發電は白國との間に千九百十四年の白國新募兵を在佛露軍に附屬せしむる條約を取結べりと報せり如何にして露國が斯る大兵を輸送したりしやといふに、露領極北のアークアンゼルより諸威の北角を廻航してスコットランドのリースより汽車にて倫敦に送り更にドーバー海峽を越へて佛國又は白國のオステンドに上陸せしめたるものにて獨帝が右翼前進の軍畧を變じて其主力をメッツに集中するに至りし原因は露兵の出顯によるが爲らんかと傳ふ

東京電報

(八日)

▲吾飛行機は本日再び膠州灣の高空に飛揚し數個の爆彈を投下して無事歸隊せり

▲日本の行爲は正當　獨墺兩國は日本軍の龍口上陸を許可せる事に關し支那政府に抗議せしが同政府は日本の行爲は日露の戰役の前例に照し正當なりと回答せり

▲三國新協約と外相の聲明　加藤外相は英佛露新協約[illegible]項[illegible]に關し日本は該新約に準據す可しといへり

▲東京會議所と關税引上げ　同會議所はシカゴ茶業組合と共に關税率引上げに反對の運動を開始し又外國貿易發展に努めたり

▲軍費と貴族院　貴族院豫算委員會は衆議院の通過せる軍事費を可決す

▲外相の大戰參加説明　加藤外相は本日議會の開院式に臨み日獨及日墺開戰の由來を詳細に演説せるが吾國が大戰參加に至りしは最初英國より援助を求め來りし結果、日英同盟の義務として今回の擧に及びたりと説明せり

●吾軍の爆彈投下

六日東京發

青島攻擊軍よりの公報によれば吾軍は本日二個の水上飛行機を放つて守備軍の狀態を偵察せしむると共に數個のバク彈を投せしめたるが中一個は無線電信所に落下し飛行機は、陸上よりの射擊を受け其兩翼に十五の穴を生じたるも無事歸隊せり、砲擊の結果に就ては公報に記載なく只飛行隊が貴重なる情報を齎せるを記せり、吾艦隊は時々砲臺にバグ彈投下を試みつゝあるも陸上よりの砲擊をなさず、陸軍は道路險惡なるため攻城砲の陸揚より据付をなす迄尚二週間を要すべしと豫期され居れり

日本最近信

●勅使大廟に向ふ　天皇陛下には日獨開セン御報告の爲伊勢大廟桃山御陵並に各山陵に向け勅使を差使れたるが宮中の御慣例として大喪中奉告齋事をなし難きより廿九日以後大喪を解止あるべき旨仰出されたり

●孫逸仙も同意　獨逸に同情を有する支那人間にては種々の流説を發し米國の猜疑を助勢し或は支那内地の排日論の發動に汲々するため公使日置益氏赴任以來主として支那政府の誤解一掃に努め支那の利權獨立尊重貿易現狀維持、革命黨の勃發抑制に付き盟約せる結果支那政府は始めて日本政府の一切の行動に滿足の意を表する事となれり孫逸仙も日本政府當事者と交渉の結果世界の大勢に鑑み時機の到達するまで革命センの中止に同意する事となりたるにより今後の日支外交は極めて圓滿に進行すべしと觀測さる

●日本勳章賣却　獨乞野セン司令長官モルトケ將軍は日本及英佛露各國より寄贈したる勳章數個を有したりしが今回出征に際し悉く之を賣却したるにより多數將校は將軍に倣ふて交セン國の勳章を商人の手に賣却したりといふ

●外國電報は平時の三倍　歐州の大亂と共に諸國大公使官等各新聞社[illegible]々として到着する歐洲電報が如何に中央郵便局を騷せし居るかに付き小谷郵便課長は語つて曰く當局が多忙を感じ始めたのは先月の卅一日か頃から長文の官報や新聞電報が俄に增加して其波動は新聞に及にし米株の方面にも飛んで其方面からの電報も又多數である卽ち內地の電報では平生一日五萬通に達してあつた電報が近ごろ七万迪になつて而かも長文のものが多いから骨の折れる事か一通りではない外國電報の如きも平生一萬語位に過ぎないものが先月廿九日には一万八千語八月四日には二萬六千語になつて昨今は又二三千語を增したやうである

◉膠州灣近情　獨逸側の報道によれば二万の日本軍は龍口に上陸し目下膠州を北に隔る八十哩の地チヤウヤンに向つて進みつゝありと

日本の通信命閥は完全に勵行せられ日本軍の占領せる地方より北京への通信は例令支那官憲と雖も自由ならず、青島北京間の電信は過去一週間杜絶せられ居れるが本月三日同地發の書信に依れば獨逸が支那苦力を驅制に使役すと云ふは虛説にして苦力等は日本軍の接近を怖れて立退きたり又別報によれば日本軍事探偵は支那人の服裝をなして膠州の附近を徘徊し獨軍の歩哨は絶不監視を怠らずと(北京九日發電)

●日英同盟に變更なし　三國新協約に關し吾政府は之がため日英同盟に些かの變改なしと聲明り、九日東京

日露新協約

(十日露都發電)

日本は例令膠州灣の占領を全すと雖も歐州大センの終結迄獨逸と講和せざる旨露國政府に通牒せり

●獨軍退却、連合軍攻勢を執る

連セン連勝の餘威を以て一擧直ちに巴里を屠らんとするの勢を示せし獨軍の右翼は去七日以來頓に振はず却つて連合軍の逆擊を受け、九日に至ては其占據せる地点より廿五哩の後方に退却を餘儀なくせられ翌日の會センに於ては右翼中堅共に連合軍の壓迫を蒙り六万の援軍は三軍に分て白國を橫ぎりつゝありとの來電ありこの會センは去五日以來今日(十日)迄繼續されて來り歷史上曾てなき所の大會センとなりしか[illegible]北方に於ける露[illegible]の形勢は、南進以來東、[illegible]墺軍に大打擊を與へたる露軍にして退却する敵軍を追擊して不絶[illegible]進を繼けつゝあるもの如し、ウイエナより羅馬に達せる電報は露の中[illegible]は伯林に向つて進軍中なりと報せり要するに開セン以來獨軍が執り來りし一氣吅成のセン畧は前後の形勢に鑑み今や一頓挫を來せりといふべく今後のセン况は頗る注目に値す

▲墺軍の死傷十二万　墺國政府はガリシア方面の敗軍に於てフレデリック大公は[illegible]卽ち全軍の四分の一[illegible]を失ひたる事を公表せりと尚獨軍は墺軍援助のためポーランドを南下しつゝあるが露軍は之を碍止せんがため目下準備中なりと(十日ロンドン發電)

▲露軍の殺到　倫敦モーニングポスト露都通信員の十日發電に曰くプロシア浸入の露軍は今やベルスチユラ川の西岸に沿ひ獨軍を壓しつゝ前進中なるが目下頑強にも防セん[illegible]るラワに破れんか[illegible]軍は南北二百哩中なる南方の墺軍にしてその險寒なる平行メン[illegible]を作り潮の如く獨國に侵入すべし

▲モージュン要塞陷落　開セン以來獨軍の攻擊に耐へたる同要塞は八日陷落し四名の將軍及四万の兵卒は捕虜となれりと伯林電報は報せり同要塞は白國を隔る六哩の地にあり佛國防備の第一級に屬する要地なりと

獨帝よりウ氏へ親書

獨帝は去四日附を以て米國大統領に親書を送り英佛軍がダムダム彈を使用すといひ又獨軍のロベーン其他白國都邑に於て蠻行ありとの説を否認し予は斯る慘事に對し實に氣の毒なれども白國市民の頑強なる抗拒は我將卒をして峻嚴なる手段づる必要を感ぜしめたりと辯解せりとは過日來歐州並に華府電報によりて報せられしが華府當局者は此事に關し一切沈黙を守り居るも右獨帝の親書は事實に相違なく且獨帝は書中強いて戰爭を繼續するの意志なきを語れりとの説あり更に十日の華府發電は駐英米大使ペーシ氏が英外相を訪問會談の際外相は、若し講和の提議あらば英國も亦その一員たるべしと雖も獨國に於ては軍國主義に與へたる損害を[illegible]

●歐洲戰爭と支那　[illegible]

[illegible]中すべく此點に於ては[illegible]今後は[illegible]作す吾國は此際[illegible]せざるべからず[illegible]一部の議論は[illegible]の官民を驚かし種々の風説[illegible]電せられつゝあり十分の注意を要するも民間の[illegible]活動に至りては大に之を望まざるべからず[illegible]く杜絶せられたりとに代るには日本品ならざるべからず切に實業家の奮起を望む

●戰爭雜話

▲獨逸は占領した白耳義[illegible]の市民に莫大の軍事税を課した、ノミュ[illegible]セルに四千万弗、[illegible]に一千萬弗その外大小の都邑に要求した金額は一億四千万弗といふ事だ、味な[illegible]ればド逸が無茶に掠奪[illegible]をやつては人民も出す金があるまい

▲巴里人は非常な大秘密[illegible]を以て居る愈々巴里陷落の破日となつたら持出してドク軍を撃滅するといふてゐる空中から瓦斯でも放下するつもりか知ら

▲ド逸ク[illegible]慘殺する人道を無視する[illegible]する者が多い、[illegible]仕方がない、[illegible]女小供[illegible]打て大[illegible]丸を[illegible]す事も出來い

▲第二回母國訪問團員募集

御即位式延期のため規則改正

一、經費一人二百四十弗

一、十月上旬出發日本滯在約四ケ月

一、市俄古を中心とする一般同胞より募集

一、寫眞に經驗ある人及び數名の小兒を預り同伴する婦人各一名の加入者を求む

一、詳細は改正規則にあり委細照會

申込次第進呈す

紐育母國訪問團本部
新育市第六街二參八
主催者　林富平

●日本艦隊來桑説　過日桑港英字紙の報に依れば吾妻、春日、生駒の三艦より成る練習艦隊は去月廿四日を以て本國を拔錨し十二日頃桑港に着する筈にて右は開戰以來獨艦出沒の爲め多大の打撃を蒙りたる日英佛、殊に晩香波、濠洲間の航路を保護する目的を以て英國政府の依頼により上記練習艦隊を派遣することとなれる次第なりと尚東洋汽船會社の天洋丸は御用船として軍需品輸送命せられたる由にて西部沿岸の航海業者は非常に恐慌を來せり

●ラッド博士日本の爲に辯す　元エール大學哲學科教授にして我國の良友なるラッド博士は過日新育サン紙の記者に向いて、今回の戰爭に參加せる吾國の態度の正當なると、ド逸の支那に對する暴慢の態度、日本の非島に野心なきこと、國民は常に平和を好愛し居る事等を説きて熱心に吾邦の爲に辯明する所ありたり

●戰爭と桑博出品の諸國　戰爭の爲め英露ドク佛白墺の諸國が桑博出品し得ざるは勿論なるが日本、ニユージーランド、濠州、支那、南米諸國は此機會に乘じ自國産出品の販路を擴張するが爲努めて出品す可く殊に日本は大々的仕掛を以て出品し、敷地の如きも豫定以上增加する模樣なり

●日本人會參議員會　は既報の如く去八日夜開盛亭に於て開會處方任留者と本會との聯絡事項高見醫師の提議に基ける共濟部專任幹事任用の件等に關し協議を遂げ兩案共に各七名の委員に附託することとなれり

●高田博士、増田代議士歡迎　別項所載日會役員會は兩氏の歡迎に付き協議せるが結局中村總領事に一任し來十月三日兩氏に請ふてカーネギーフヰシユームに於て大講演會を開く事に決せり尚來月初旬頃南部より來着の筈なる志賀重昂氏、歐州より來着の筈なる網島牧師をも招待するやも不知と

●市俄古より　來栖領事過日來任一般の評判良好なり去四日夜は日本人實業家連と同領事との親密なる聯絡を付くるためホテルグランドパシフヰツクにて晩餐會を催したるが出席者は領事館員の外に淸藤小川商會の龜井、森村の中山、日東商會の茂木、東洋商會の丸山關根商會の宮川の諸氏其他廿餘名出席盛んなる會合をなせり、因に右出席者一同は卽座にシカゴ日人本實業家協會を組織し毎月一回集會する事に決議せり

●下層室の玉臺据付禁止　今回下層室の玉臺据付を禁ずる事となり市内旅館營業者其他へも市當局より取除け方命ありたり

▲松村介石氏　故國宗教界の辯士として著名なる氏は報知新聞の歐州グン事通信員として歐渡の途去卅一日地洋丸にて桑港着目下同地に在り近々來市の筈なり

●天野常子孃の婚儀　三井物産會社支店の井上信氏と婚約ありし同孃は來九月十七日ウエストフヰールドの自宅に於て盛なる華燭の典を擧ぐべしと

●日本花筵檢査所長蜂須賀三郎氏は過日來紐滯在中なり

●神戸市中工務所長山脇友三郎氏は此程來市滯在中

●桑港商人村田耕氏は金魚輸入業に關し調査のため來市目下若松に任り

●西村旅館の代替り　武市西村旅館主人は家族一同今月末歸國することとなり、旅館は岡宮義一氏讓受大勉强にて經營することとなれり

△最近渡米者手續

●領事館では許さぬといつてゐる寫眞結婚で渡米する日本婦人も隨分少からぬ又再渡航ではないと日本當局者は容易に許さぬか、さりとて矢張り米航路は滿員の盛況である

●これは前航の靜岡丸で歸米した記者の實地調査をした最近渡米者手續きである世界は戰爭の旋渦中閑文字を弄するてはないが必ずや何かの參考になることと信ずる

●非移民の證明を持つて歸つた者は再渡航の手續萬端容易である先づ戸籍謄本を得て再渡航旅券下附出願に區長の證明書を貰ひ之を所轄警察署に提出する

●警察署では更に兵役の關係とか前科の有無又は訴訟關係などを調査して數日後刑事巡査を出願者の現住所に送るさうして本人から種々な訊問をして歸る此質問なるものは一定の條項を印刷したるものを持居つてそれに準じてやるので再渡米者には殆んど形式的である

●條項を列べると何年前渡米し何年間米國に居つたか幾許金を持つて居るか幾許金か米國にあるかといつた樣な至極平凡なものであるが此刑事の調査の時の心証が惡いと隨分永く引張つたりするとの事

●夫れから數日後警察から一圓の收入印紙及持參出頭すべしといふ差紙か着く出頭するゝ旅券を下附し呉れる此係の先生と話して見れば米國の事情は皆無分らぬ何故米國ては日本人を排斥するのですなど質問する呑ん氣なものである

●非移民の證明を所持した再渡航者も而も歸朝僅かに二四ケ月といふ者などは警察でも無論寛大で話が判つて居る若それ移民にして日本滯在の長期なもの何か故障の附け得られさうなものになると實に慘辛なものである

●非移民で旅券も下附され船會社で船室も約束してあるものだと眼病に船會社の醫師か形式的に見る又檢疫は船宿に送れば醫師の方に送つて檢査をして呉れる出帆の朝横濱に出て

●さて移民の證明を持つて居る再渡航者となると餘程早くから出願して一ケ月以上も日子を要する覺悟が必要尤も地方によつて多少手心が違ふから寛嚴は一定せぬものと見ねばならぬ

●例によつて刑事巡査か旅券上願出者の現住所に就て種々の調査をする沒常識なことを尋ねてもハイ〳〵と從順に返答して逆らはぬ事だ下らぬ刑事巡査になると何を生意氣なと江戸の仇を長崎と云つたやうに文句故障を付ける奴あり

●それから縣の檢査だ大使の檢査だと神戸なり横濱なりに四五日滯在の已むを得ざる場合がある尤も出港地の縣の檢査に弱いて一週間以上滯在せねばならぬといふ事はないか容易に檢査か濟まぬから滯在は已むを得ざる譯である

●斯くて總ての檢査か濟んでこれでよしとなつた處で旅券を本人の手に渡さぬ出港地卽ち神戸なり横濱なりの水上警察署に一括して送つて置いて愈々出帆の際氏名點呼の上本人に附與する

●移民と非移民の別は旅券を本人に手渡するとせざるとに在る夫れから船が横濱を拔錨して港外に再び投錨し上水警察から船内の搜索をして密航者の有無を調べ愈々出帆となるのである

伯剌西爾日本移民に就て

[illegible]西生

本春五月一千[illegible]百名の日本移民を搭載せる瀛船常國丸の渡伯を最後としてサンポーロ政府從來の契約により日本移民に支給し來れる補助金を撤除してより漸く進運を促し來らんとせる我對伯移民事業も茲に一頓挫を來せる悲さなりし以來日本政府及移民當業者等之が善後策に付き人に鑑奨を悩ましつゝある折柄偶々森岡移民合名會社代表者が新たに締結せらる可き移民契約に加入の目的を以て渡伯せるあり以て時局の解決をして益々錯綜せしめ遂滞せしむるものあるが如し

要は當局の施設をして大差なからしめば今回補助金撤廢の動機はたゞの二因或は其の何れにか歸着するもの、如し一サンポーロ政府日本移民の向背を察し補助金を撤廢するも尚將來之が需要に應ずる充分の移民を誘入し得べきを確信せる事、二同州政府々内[illegible]日派の政[illegible]に關[illegible]するに從[illegible]ける事是れなり、猶右問題に[illegible]ふる所に據ればサンポーロ政府は本[illegible]上政策に失敗して國庫の窮乏を招致したる事も其原因の一たるべしと云ふ者あるも事實の眞僞に付ては未だ之が事實を確むる不能、而して此問題の消息に處せん、する今日我政府の方針及手段とする所はサンポーロ政府に對し森岡代表者の主張せる單獨運動を抑制し東洋竹村兩移民會社を提携せしめ以て伯國日本移民機關の統一を圖り一方來春渡伯の日本移民[illegible]募集輸送に關し充分の[illegible]日を移民當業者に與ふる以前に於て[illegible]を[illegible]州政府と交渉を開始し現政府[illegible]民に支給せる[illegible]の補助金を要請し尚從來より多數の移民誘入を[illegible]せしむるにあり[illegible]

[illegible]

を樹立せしむる点に於て主義としては同然する所なきも渡來の伯國移民取扱機關たる東洋竹村兩社に今新たに森岡移民會社を併合して三社合同の一機關を組織するに當ては各社間の權利歩合其他の細項條件に於て各事業に干與せざるもの未だ窺知する能はざる困難の存するものあり、表面上の合同或は之を成し得べきも名實相伴の理想の一移民機關たらしむるは頗る難事の業たるを免れず而して彼の補助金獲得の事たる必竟移民渡航費の負擔輕減する主旨に基けるものにて移民會社が直接之に據りて何等の利益に均霑し得るものに非ざれども之と同時に從來よりも多數の移民誘入を企圖するか如きは現下時局の趨勢に鑑みて到底兩立すべからざる矛盾の政策と云はざるべからず我政府若し前者の要求に成功すとせば從來の契約により輸送し來れる一年三千名の移民數は例令減ずるも決して增加すべきにあらず、之れサンポーロ渡航界の現狀を解する當事者の意見一致する所にして吾輩は[illegible]移民に對する最高補助金額たる旅貨八磅が彼等一年の收入額に比して其の九分乃至十分の一にも該當せるを思ひ我政府は此際何を苦んか高々たる補助金問題に齷齪し本來の主眼とする大和民族の伯剌西爾發展の大方針を誤らんとするやを怪しむものなり（未完）

大戰易斷

生々庵主人[illegible]（四日占）

[illegible]獨逸[illegible]の勢を以て戰つて居ります獨墺二國の興廢に付きて之を卜筮に問しますに澤風大過の卦に之くと云ふ卦が現れました投じ此大過の卦と云ふ二字の意義を極簡略に説明致しまして後判斷を下だします、大過は其字の云ふ如く[illegible]事の大に來るので物極て顚倒し後に動けば過ぎる事が故に來つて大過となるので[illegible]に[illegible]の上から申しますと澤が木の上に在て木を滅沒し去るの[illegible]元來澤は草木を涵養する者なるに反て澤水の上に在て涵養に過ぎたるの象で又少女を以て長女の上に位し之を過ぎたるの象且聖人は此卦に於て內外に客を以て象を取至へり即ち十たる陽が客たる陰より過たる[illegible]の位は内にあり客の位は外にあり而して客の勢は弱くして主の勢の[illegible]天下の[illegible]であつて家の主要客觀といふ詞は之等をいふのであります陽たる主か陰たる客に大に過ぎたるの象てあります聖人の道徳功業人に過ぐる又は行の恭に過ぐる、用の儉に過ぐる皆之等を謂ふのであります又易に大過棟撓利有攸往亨とあります、棟も衆木を載せ負ふこと已か材力の分に大に過る時には必ず枉屈むる事かある譯て人事に推しても亦然る事で人各自己の材力に分量かあつて其職掌大に重く其材力より大過なる時には其任に堪ゆること能はずして枉屈轉覆するに至ります故に大に過るといふの義に於ては萬物皆同じき事であります夫れ天運には窮通あり時勢には過不及あるものて君子の常に辨ひ識らざるべからざる事であります今や大過の時に當つて其の任に居り其職を掌らん者は必ず大に過ぎたる所の非常の大材力か大手段かない時には其事遂け難く隨て其功成らざるものであります故に大過にして後に爲る事有るに利しといふものや曾子の所謂任重くして道遠しといふ事は況して易に棟撓本末弱也と申して陽が陰を大に過しの棟が撓んで支ふる事甚だ困難にる天下既に大過といふ非常の秋でありますので人に君たるものは人に超絶したる材幹技能がなかつたならば大過の時を支ふる事は不可能であります故に聖人は大過之時大矣哉との警告をなし玉へり雖然今大過の時に當つて材幹技能人に超絶したるものあつて棟撓ます反て棟隆んなる傾向あります易に棟隆吉宅有吝とありますは是れてあります棟撓まんとするに際して下より動くる柱あつて反て棟か上へ反り隆になる事卽ち人の君たり人の父たるものは下に諫め上る處の忠信の臣たり子たるものが有つて始めて其國家が基礎安泰になるものであります、さるに設し他の志があつて之等の扶け諫めを除き用ゐざる時には必ず柱み折るゝ兇事あつて爲に後世までも鄙られ汚名を殘すぞとの丁寧親切なる教を下しました有宅吝とは之であります之を獨墺二國に推しますに二國互に手を携ふて戰ふの象で墺國が戰利あらざるに反し獨國獨り勢[illegible]に連合軍を敵手に至る所に[illegible]戰ふて頻りに勝を得て更に進んで敵を敗る氣慨か現れて居りますから獨國は暫くの間は戰に敗れません是れ卽ち客の勢は弱く主の勢は強い戰勝つて而して大に過ぎたの時でありますか設し獨帝にして外交上の手腕を揮ひ更に他國の應援を求め得るに於ては自國の功空しからずして獨墺の國家安泰なる基礎を作り得る様てありますが風水井といふ卦になりまして甚[illegible]白からぬ事になります易に屹至亦未井羸其瓶凶と申しまして[illegible]人の希望が八九分進んで壞るの義であります、又は病夫市に行くの象てありまして獨墺[illegible]の勇戰も永續する事が出來ず獨帝の材幹[illegible]も[illegible]ゆることは能はず外交上に於ても悉く失敗して聯援も得るに由なく終りには獨墺の同盟も破[illegible]せられて獨帝孤立を守るの止むなきに至ります往昔[illegible]貴妃私かに安碌山と事を計るに當つてトして此の卦を得て反つて其[illegible]を受くるに至りました不道天下を亂すに於ては頼む處ふ失て災其身に及ぶの卦てあります故に獨國暫時勝利を占むとも遂に獨帝の頼む處絶へて連合軍の勝利に[illegible]する事疑なか[illegible]べし

No. 105 VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY Sept. 23rd 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N.Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）一部金五仙□六ヶ月分一弗□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七二　チェルシイ

在留證明に就て

[illegible]

日本人會と證明願

卓郎

▲紐育日本人會が當地總領事館より[illegible]

[illegible]

手續の狀態を見るに日本人會は恰も[illegible]總領事館の證明中立人たるかの如き觀を呈し、日會々長、總務部長の署名は當該官憲が出願者に與ふる諸否の容喙とは殆んど沒交渉には非ずやとの疑念を抱かしむる理由有之候

▲小生は此點に關し不審を抱ける儘[illegible]總領事館に至り責任ある官憲の意見を徵し[illegible]處其回答は小生をして實に意外の感を抱かしめ候即ち日本人會は創立後日尚淺く、之を物に譬ふれば恰かも乳兒に等し證明願取扱に就ても其の實際の能力を確むるに不充分なり、故に總領事館は今後二三年間襁母の位置に在りて此乳兒を羽ぐくみ其成育し充分に能力を發揮するに至り始めて之を信頼するを得んと申され候

▲此責任ある當該官憲の言葉は日會は證明願受附所ならずやとの小生の想像が適中せることを明示するものにして換言すれば總領事館は紐育在留同胞全体により組織されたる日本人會を信用せざるものなりと斷定するを可得候

▲尤も上記官憲の言を以て日會を馬鹿にしたものなりと言ふは甚だ早計たるを免れず候、何となれば西部地方の如き大体に於て日會の捺印を信じて證明書を下附する地方に於ても時に願意を聞屆けざるとあり、又た官先以後の舊套に浸潤せる人々が自由放縱の生活を營みつゝある在米同胞に對して樣々なる杞憂を抱くは無理もなく且つ嚴格なる本省の命令を度外視する能はざる地位にある人々に於ては出願者に對し氣の毒なと思ひつゝも規則の勵行を主張して吾等と意見の衝突を來す場合も有之からに御座候

▲併乍吾等が上記日會對領事館關係を論評するに當り記憶せざるべからざる事は第一紐育日本人會は在留者の唯一公共機關にして[illegible]信用と實力とは總領事館の信頼を受くるに値ある事、第二總領事館は日會を信用せずして證明手續を取扱ひつゝある理由なき事、第三若し總領事館が日會を信じて右取扱を託せしとせば殊更に日會が創設日尚淺しとの理由を以て無益の干渉を試むることなく可成容易[illegible]に取扱事務の進捗を圖り且つ在留者の利便を主とする方針により日會の證明手續を監督すべきものなる事、第四日會の證明取扱を引受けたるは其主意とする所、財政上よりも寧ろ在留者の便宜にありし事從つて一般出願者は日會の手續を經ば從來に比し容易に手續を了し得べしと信じ居る事等に有之候

▲終りに日會の幹部役員諸氏が例の徹底せる眼識と巧妙なる手腕とにより「うまく」前後の關係を考察せられんことを希望致候

●獨乙外交官の日米開戰說　過日東京より華盛頓に轉任し來れる獨乙大使館書記官ショエン男は來訪の新聞記者に對し、日本國民一般の排米觀念熾んにして數多の日本人は今に向つて日米戰爭の不可避ことを語れりと云ひ且つ加州土地問題當時渡日せる墨國答禮使デ、ラ氏歡迎運動の摸樣より、親墨排米感情の盛んなる結果は米國を危險ならしむと語れる由なるが斯は勿論獨乙一流の日米離間策に外ならずと雖も大統領ウィルソン氏はショエン男の言を以て日米兩國の親交を阻害するなし國務卿[illegible]氏と共に公然適當の方法を講ずることせり

●米國政府の警戒　在華府駐在土國大使ルスラムベー氏は、過般米國が土國在留米人保護のため軍艦を派すべしとの說起りたる際、頗る不謹慎なる批評を試み、南部諸州に於けるリンチング及非島に於ける米人の殘酷なる行爲を責めたる言辭を弄せし事あり、武官安氏は直ちに土大使に向て米國の內政に關し今後斯かる言語を差控へられ度しと通告せし事あり、次に前駐墨英大使カーデン卿は歸國途次紐育に於て現政府の對墨政策を攻擊して當局者に不快の念を與へ又今回は前項所載獨外交官が日米開戰說ある等近來に於ける駐米各國外交官の態度甚だ無遠慮を極め、[illegible]もすれば自國或は親交國民の感情を[illegible]要[illegible]

[illegible]

●墨國再び動搖　[illegible]

英艦三隻轟沈

[illegible]英國甲裝巡洋艦クレッシー、アブーカー、ホーグの三隻は去廿二日午前七時卅分北海和蘭海岸の沖合を遊弋中獨潜水艇五隻の襲擊を受け[illegible]より發射せる水雷の爲めに轟沈されたるが五隻の獨艇中二隻は[illegible]のために擊沈されたり[illegible]

勝敗未だ決せず

[illegible]

日獨戰爭と米國

[illegible]

▲獨逸の死傷者公表[illegible]

●支那政府の回答[illegible]

●[illegible]飛行隊の活動

廿一日浦塩より[illegible]都に達せる來電に依れば青島攻撃中の日本飛行隊は高空よりバク彈を投下し二個の重要なる砲臺を破壞せりと云ふ（廿一日巴里發電）

●英軍青島に向ふ

日本軍に合して膠州灣攻撃に隨ふべき英軍は十九日天津を發せり、同軍は一個聯隊を以て編制されたる南ウエールス部隊なるが軍事行動の秘密を保つため新聞記者の從軍は許可されず、

●日本水雷艇撃沈さる　青島よりの郵信によれば日本の一水雷艇は灣口に於て獨逸巡洋艦のため撃沈されたりと尚十八日附の同地通信に依れば日本驅逐艇は同地を北に隔る十四哩の海岸なる兵營を攻撃中に日本飛行隊のバク彈投下の威力は[illegible]上より射撃[illegible]く常に二千呎以上の高[illegible]を飛[illegible]するを以て市街並に防禦工事に損害を與へず　（廿一日北京發）

●無名外人十四萬六千圓寄附　[illegible]開戰以來青島攻撃の陸海軍飛行隊は目覺ましき活動をなし民間飛行家亦義勇飛行隊を組織中なるが無名の一外人は十四万六千圓の私財を投じ飛行機[illegible]造費として日本飛行協會に[illegible]附の申出をなせり

●減税遂に不可能なるべし　大隈内閣の減税は過般來國民[illegible]の中心となり各方面の[illegible]起しつゝありしが大隈伯は國家非常なる場合[illegible]を理由とし一時中止の已むなき[illegible]明せり　以上二項十四日東京發

●赤十字船博愛丸[illegible]者後送　赤十字船博愛丸は過般膠州灣方面に出動し開戰後に於ける陸海軍兩方面の[illegible]を[illegible]容し本日宇品港に歸着せり

●日本移民協會と南米移民　實業[illegible]各方面の有力者によりて新たに日本移民協會組織せられ本日發會式[illegible]中野武營氏[illegible]氏の演説ありたるが同協會は主として南米移民の後援をなし今後益々同方面の移民[illegible]を計する筈なり

●支那第三革命　黄興　南清各地の反袁運動其後益々甚だしく殊に南洋方面より多數革命黨員陸續[illegible]し[illegible]め革命勃發の氣勢[illegible]烈さを[illegible]下[illegible]に滯在中なる黄興氏の上海[illegible]着を待ち直ちに第三革命を圖[illegible]すべしとの[illegible]なり

●[illegible]山[illegible]行偵察　驅逐[illegible]は[illegible]州[illegible]

●日露關係に進む

[illegible]

●九州[illegible]暴風雨

[illegible]

●膠州[illegible]

[illegible]

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次
日本郵船 大坂商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方よりの御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ヶ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲米國實業經營法
樋口貧不氏著
定價一冊金壹弗

紐育新報社

出發廣告

▲第二回母國訪問團は

一、來九月廿九日午後一時發西四十二丁目ウエストショア線にて出發

一、日本行同行者は二十五日迄に申込まれたし

紐育母國訪問團本部
紐育市第八街一参五
主催者 林 富平

▲妻女呼寄者に注意

心根より思ひ付たる事には相違なかるべきも早には手段の如何を考ふる...

新古書籍賣買

學校教科書其他新舊一切の書籍數々取揃有之極めて安價に差上候 何卒御不用の書籍は可成高價に御買受可申候

Scribner's ... Publishing at Reduced Prices

Hinds and Noble, ... West 15th St. N. Y. City.

ニューヨーク 西百十五丁目三十
ヘインズ エンド ノーブル 書籍店

診察

小栗乘吉

御料理

北日本食料品販賣

方屋

易斷

御下宿 吉田宗章

●詳細あり●

▲法律顧問▲

民事刑事訴訟 一切
登記其他の書類作成、貸金取立等凡そ法律上の依頼に應ず、鑑定無料希望者は事務所へ申込まれ度し

辨護士 ハイマン、アール、シーカル



各種革箱製造

五味商會

横濱館

岡宮旅館

ホテルタコマ 藤井旅館支店

當シャトル市御來遊の節は御取扱可申上候
室數二百廿一、冷溫風呂場完備 スチームヒート
HOTEL TACOMA

品南樓

Beera Nero Law 489 6th Ave. Cor. 29th St.
美味にして廉價 御料理 支那
午前十時より午前六時まで

御貸間

十月一日開業
うどん そば 壽司 ずしるこ

大正...

笠井坂野洋服店

タイムスビルデングノ七階にて最新式に營業致し居り候 品物何時も御好みに應じ申し候

Kasai & Sakano Tailor
Room 706 Times Building New York

日本食料品

菊地

思出多き詔勅

[illegible]

御名　御璽

明治廿八年五月[illegible]

三國干渉當時の[illegible]

[illegible]

……國では將に軍備を……　……國に對し再……　……中將、山縣少將……八名で……行く先々……戰備が甚し……芝罘直行を止め……旅順口よ……商船に乗り移り……チーフに乗込んだの……夜が明け……アブバが碇泊……十分塗りかへ悉く[illegible]

砲門を開き[illegible]獨佛[illegible]艦も亦威風堂々と海を壓し▲轟砲の名の下に大砲を連發する[illegible]に行けは見るから怒氣天を衝かざるを得なかつた七日の午後三時頃一行は憲兵二十名を率[illegible]ホテルに入つた已に支那[illegible]伍廷芳[illegible]數名の秘書を連れて陣取つて居る第一回の會見を午後三時に開いたが先方は三國干渉の條件と同時に[illegible]を交換せんとする考だから容易に纏まらない辨理大臣より批准、干渉は干渉だから批准を交換せよと迫り都合五回の會見を重ねて八日夜正後十二時に我[illegible]調印を取換し[illegible]横濱丸に引揚げ[illegible]チーフを出發して旅順に歸り▲旅順總督の小松宮殿下に拜謁して其の報告を申上げたがあのビーチホテルに於ける支那使節との會見の際は特に三國の水兵は對岸に上陸して運動を開始し無暗に發砲して威嚇運動を示して居る様かホテルの二階から手に取るか如く見ゆる、あの時許無念骨髓に徹した事はない今は其の恨が晴らされるのであるから當時其の局に當れた伊藤子爵も追懐の情に堪へぬ事と思ふ

投書籠

▲アーもし〳〵私の店で給仕さか呼ぶこて大へん御評判なさつて入らしやるさうですか店にはチョーと呼ぶ同名の白人小僧が二人ゐますから店員共が彼等を呼ぶのを御聞間違になつたのではありませんかハイ左様なら「一番頭」▲ヘイ塵のたく山溜つて居る所ですか大なき聲では申上かねますが領事館チ夫れから紐育新報社村瀬ドクター診察所之と反對に掃除の行届いて居るのは菊池小柴に日本倶樂部なぞでせう下宿屋桂庵などは商買柄とは云へ何所の宅だつて三寸の株であ、此次に住宅の方をすこし遣つてみませう失敬「飛脚生」▲當地で何々商會とか云ふ大風呂敷を擴げて大分御さん連の懷中を吹き飛ばした先生は居堪まらなくなつたと見へ西部へ逐電したのは先頃の事然に同地でもや其傳を始めたが運悪く吹き所が間違つたので夫れが導火線となつて國際問題まで惹き起しかけたこいふ事である〔警戒生〕▲昨今は日白結婚の流行期ともいふ程多數の結婚者がある人種偏見の濁流には[illegible]

血族混合の忌嫌が其禍根と成るのであれば日白結婚を奬勵して彼等偏見者の謬迷を打破する事に努めば啓發運動の最も有効なるものであらう（日白人）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. [illegible] Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of [illegible]

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話八四七二　チェルシイ

同胞學生の眞價

頃日コロンビア大學社會學主任教授ギッデング博士は近代に於ける在留日本人學生の人格と其實力とが、往時留學せし幾多の青年學生に比して頗ぶる低落せるを嘆じたり、吾人は何故に現代の青年學生が今より三四十年以前に於ける夫れ等に比較して其の學術上に關する實力と人格とが著じく遞減せるや否やを識別し能はずと雖も、近時學生社會に於ける欠點として吾人の訓戒せざるべからざる事實は、此等の學生社會に於ける青年の大部分か其の學術の研究に從事するや、眞面目に自個の學識の修養となり、更らに學界に何物かを貢獻せんとする高尚にして且つ遠大なる目的の爲に努力せんとするよりも寧ろ僅に一學位を得んがため汲々たる傾向生じたると思ふ是れなり、殊に此等の徒輩にして一學位の欲[illegible]門が爲め、遂に何忘姑息手段を弄するもの往々出來するとあるは、在米同胞學生社會に於ける最も悲むべき新現象なりといはざるべからず、ギヂング博士が大膽にも現代に於ける日本人學生を批評して其の人格と實力との低落せるを公言したる所以のものは、近時同大學を卒業し一學位を得たる同胞某學生にして同教授受持の課目社會學受驗の際、學生として有る間敷き不正手段を講じ以て及第を焦せりたる事を發覺せるが爲めなりと傳ふ、誠に苦々敷行爲にあらずして何ぞや。

吾人は此の種の階級に屬する青年學生が其の卒業後同胞社會に出でゝ相當の置位を得、過分の待遇を受けつゝあるを見聞するに及んで、從らに彼等卑屈にして無氣力なる學生[illegible]の舉跡を發かんと欲するものにあらずと雖も、學術の進歩を希望し人格の修養を主眼させる教育界の振興を計り、尚ほ一般同胞學生社會の奮起を促さんか爲めに[illegible]忌々しき評論を試ろみ、更らに此等特種青年學生の行動に對し、餘まりに無頓着に[illegible]制裁力[illegible]現代同胞社會の現狀をも咎めんずんばあるへからす、今や且新學年度授業の開始せらるゝと共に幾多の新有同胞學生が學堂に出入して其が研究に從事せんとするの秋、偶々ギッヂング博士の警戒に接するあり記して在留同胞學生の反省を促かさんと欲す、敢て徒事にあらざるべしと

名士季節

々々子

近頃の紐育は名士のシーズンだ、名[illegible]

[illegible]ろしし、無名氏が尊とい、即ち底の知れない、相場の定まらないところに深みがあり、重みがあり威嚴がある、[illegible]るのは無名氏である、無名氏と[illegible]いふ事は決して恥づべきことでも何でもない、々々子の知つて居る限りでも、薄つぺらな力の見え透いた人間が少し許り知名の士となつてゐるのを見ると冷笑する程の價値はない、只一種のユーモアを感ずる位のものである、夫れで一方には眞に實力があり、價値がある人々が一向世間に認められずに居るのを見ると、々々子などは無名氏といふ事が却つて[illegible]であり、強みであるやうな氣がする。何れの銀行會社若しくは比較的[illegible]知れ易い新開紙社又は學者[illegible]會などにさへ、其の内部の人にのみ知れて一向世間に知られ[illegible]の中に此の人を見受ける事が多い、從つて々々子は名士といふ[illegible]しげな[illegible]通手形には無[illegible]別に信用を[illegible]はないのである。愚劣なのは名士を知つてゐるといふことを誇るものである、誰某は[illegible]友にた[illegible]である、[illegible]見受ける、殊に其親友と呼ばれ懇[illegible]に名[illegible]ら覺つてゐる人が[illegible]ない、覺つても餘り交際をしない。交際しても[illegible]議を排はない人の[illegible]ある、名士を振り回はすのは一種の悲[illegible]である、名士を知つてゐるといふことを[illegible]求する積りさ[illegible]の名士[illegible]は、大阪言葉で「阿呆らしい」といふ、々々子は斯うい[illegible]無名氏に對して[illegible]の態度を禁じ得ない、無名氏たることを自家の誇りとす[illegible]位にない人間は、底の知れた無名氏である、殊に[illegible]、あれは[illegible]、[illegible]らるゝ、人は自分の價[illegible]を自分で認めないやうでは人格的[illegible]である、名士の名により自分[illegible]

●併し今度の名士諸君は多く個人的に々々子の[illegible]敬してゐる人々で、如上の名士論とは關係のない名實共に備はる人々である、さうして紐育の日本人の多くが[illegible]は[illegible]つてゐない思想と知識とを有つて居る、殊に金儲の專門の人々に對しては是等名士の精神的食糧は實に衛生的意義と價値を有つるだらうと思ふ。

歐洲戰報

既往十八日間最も猛烈に繼續中なる[illegible]佛國北部に於ける兩軍の會戰は本月一日に至るも未だ全面に重要なる[illegible]を來す如き戰略的[illegible]を見るに至らず、只本月九日以來の戰報[illegible]によりて察するに[illegible]

▲獨軍アントワープ攻撃開始　[illegible]

▲[illegible]　[illegible]

▲[illegible]五百万弗　獨政府[illegible]

▲獨領アフリカ[illegible]

[illegible]獨領アフリカの中央の政府所在地たるヅュアラを占領し植民地は無條件に降伏せりと

●伊國船の沈沒と抗議　英佛軍艦の侵入を防かんため墺國はアドリアチック海に於て盛んに浮流水雷を使用しつゝありて之が爲め伊國商船の沈沒するもの頻々たるより同國政府は[illegible]駐在使臣を通じ墺國政府に向つ抗議を申込めり

●ルーマニヤの戰備　ルーマニヤは歐洲戰亂に參加すべきや否やに付き本月一日の御前會議に於て其可否を決定する筈なるが過日同國王が[illegible]令を上せし際一大臣は王に向ひて若し墺國に反對する戰爭ならば吾等は喜んで之に應ずべしといひしに王は「予は獨墺兩帝に約束せり此約束は守らざるべからず」といひしが[illegible]派議長は「吾國民の眼中には獨墺なし只何人にも約束せざる筈ルーマニヤ王あるのみ」と答へし所より[illegible]するに王は獨墺に同情し尚ほ土京に滯在中なる獨國特使は百方策を[illegible]らして土國を引入れんとつゝありと

●日英秘密條約說　[illegible]の歐州戰爭と關係して日英兩國間に秘密條約成立し、日本は印度の内亂を脅迫する交換條件として濠太濠州を含む英領土に移民を自由に入國せしめ、支那大陸に於て自由行動を執るとの[illegible]を受くると共に[illegible]を通じて二億万弗の外債を募集することとなれりとの報道あり頗る盛[illegible]外交界に於て種々の[illegible]測を逞うするに至れるが華府當局者は[illegible]日本の戰[illegible]範圍を極東に限れる[illegible]を[illegible]として此說を信ぜず英國大使[illegible]に於ても之を否認したる上斯は[illegible]米の間に惡感を生ぜしめんとする[illegible]者かドイツ[illegible]說なるべく、万一[illegible]外債の募集を爲すことあるも其は[illegible]に普通の經濟的方法に依るものにして決して政治的意味を含みたるものに非ずと辯明せり

●直接候補者豫選會　紐育州民が[illegible]上院議員其他重なる公職を[illegible]する場合に於て從來の制[illegible]に依る時は候補者の撰定は各派を代表せる黨[illegible]のコンベンションにて決定すると[illegible]なりしが、今回人民の直接候補者豫選規則の實施せられたる結果[illegible]紐育州[illegible]去月[illegible]八日最初の[illegible]豫選[illegible]を行ひたり當日候補者に選[illegible]せられたる人は左の如し　紐育州知事候補者　民主黨グリン氏、共和黨ホイトマン氏、進歩黨ダベンポート氏、上院議員民主黨ゼラード氏、共和黨ゴルビー氏

黄白戰爭不可免

レ黨領袖マン氏の演說

共和黨の領袖として千九百十六年の同黨大統領候補に擬せられ居るマン氏は去一日比律賓獨立案に對し長時間の反對演說を試み最後に於て黄白兩種族の衝突は早晩不可免ところにして米國は今より國家百年の長計を慮ふて比島を永遠に保有し同島に海軍根據地を置かざるべからずと論せり、マン氏演說の概略左の如し

予は諸君の内近來に於ける北太平洋の發達に注目する人幾人ありやを疑ふ、日本か開國以來短日月にして長足の進歩をなせるは有史以來未曾有の事なるか日本と接近せる『[illegible]界の眠れる巨人』支那は今や[illegible]を下さんとしつゝあり、此巨人一度有餘なる人口を擧げて近代文化の精華を吸收し以て吾等と產業上の競爭をなすに至らば其勢益し不可計ものあらん

吾等は支那人を排斥しつゝ而かも吾等の爲に其門戸を開放せよと云ふ斯の如き理屈は早晩「力」によりて強要せらるの時至るや疑なし

予は太平洋を隔つる極東と極西とのショウ突事實となりて現はれ來るべきを信ず、は斯は過去の歷史か不可避事として吾等に與へし教訓予は此のショウ突か單に商業上の衝突に過ぎざらん事を冀ふものなりと雖も而かも最後の斷案は鐵火によりて與へられざる可らず云々

●獨艦陸上の吾軍を砲擊す　膠州灣内に潜伏中なる獨艦は本日陸上の吾包圍軍に對して砲火を放ち敵の飛行隊亦參加せるか我將校二名敵彈の爲に戰死せり、陸軍省の公報によれば青島に於ける彼我の野砲戰は目下繼續中にして敵の一水雷艇は去水曜日沈沒せりと、尚本日午後の公報は目下さう海作業に從事中なる長門丸水雷にかゝりて沈沒し、死者三名傷者十三名を出し次に運送船若宮丸は之亦水雷の爲損を傷被り死一名傷者六名を出せる旨を報せり（一日東京發電）

[illegible]

[…]四年ヶ月間に[…]

[…]一下し四十萬マークの[…]

●中野氏[…]

野武彦氏は本年北京山西間[…]商業[…]志[…]月初旬[…]豫定なり

●八心[…]なるため[…]も[…]人心極めて[…]静なり

●獨國[…]となり各國愛國婦[人…]會並に富人後援會[…]中なる[…]

●工兵隊[…]よれば青島出[…]防備線附近に[…]

●[…]日本政府[…]將校[…]

[…]以上五名は共に露[…]として從軍の[…]

[…]來れるにより面に内容量目、重量容量個數を明瞭[…]つ人目に着き易き樣表記すべく然らざる場合には所定の制裁を受くべき旨通牒する所ありたり

●劉[…]年に[…]來の儘　日本政[…]結果として一昨[…]條約を破棄し自國[…]待べき[…]之を變更[…]易[…]多かるべ[…]までに變更せ[…]さえ[…]東京十九日

●佛國留學生敦經由避難　井上大[…]より英國に引[…]本人は總數二百餘[…]八月二十九日[…]國し其他は米[…]次歸國しつ[…]

●青島要塞戰

[…]には強襲法と正攻法と[…]の防備力微弱なる場[…]日露戰爭の時旅順要塞[…]攻撃により脆くも陷落[…]の際に吾軍は初め強[…]防備の意外にも[…]攻法にて攻めたり[…]濠により漸[…]する方法なり散兵濠[…]敵を射撃する濠[…]しも彈を送るかため敵壘に對し[…]之を設、正攻法にありては[…]兵濠を設け漸次敵壘に[…]間は電光形の交通路即[…]を設け約五間を連絡す電光形[…]をなすは敵の射撃を避くる爲なり此[…]愈々敵壘に突入するか或は更に[…]の隧道を堀りて敵ルイの[…]至らしめ此にバク發樂を裝[…]ルイを破碎せしむるなり

青島の防備工事は第一線及第二線に分れ第一線は堅固なる堡ルイ五個あり第二線はビスマーク砲臺、モルト[…]砲臺[…]ルイ外に更に鉄[…]等を設けあり青島要塞全部の[…]程度は當年旅順[…]程度なりと言へば吾軍[…]青島要塞攻撃戰には多分正攻法用いらるべし

●米國[…]品注意　岡商工局長は頃日[…]商業會議所に對し米國純良食料品[…]條例の實施に關し今後同國への[…]各種食品、瓶詰、樽詰等の食料品及び[…]油、味噌、醤油等其他一切の食料品は同條例第八條に依り其包裝

●支那財政の窮乏　支那は財政窮乏[…]本月分の中央官吏俸給全部支拂不能に付き此際亂黨の蜂起は最も憂慮せられつゝあり

●革命黨懸賞捕縛　支那官憲は近來革命黨員等滿洲を往來するもの頻繁なるを非常に恐怖し吉林鎭安左將軍孟恩遠巡安使季憲[…]の名を以て革命黨員を捕縛するもの又は其所在を密告するものに多額の賞金を與ふべき旨の告諭を發せり又滿洲に於ける革命黨員等は南滿洲に於ける支那官憲の警戒嚴重なると且つ其の他の事情により諸種の劃策上不便なりしさしハルビンを策源[…]となし居り機の熟するを待ちて大活動をなすべく目下準備中なりと

●避難の留學生　廿九日井上駐英大使より文部省に達したる報告によれば其後の倫敦滯在避難留學生は左記十一名なり

▲石野又吉　奈良高等師範▲大關久五郎（同上）▲杉森公次郎（文部省）大[…]太郎（上田蠶糸專門）▲安藤[…]夫（九洲大學）▲戸田小三（京都大學）▲[…]島銀次（カゴ島高等農林）▲山田玄[…]太郎（盛岡高等農林）▲菅沼定男（新潟醫學專門）▲福田常助（私費）▲赤津誠内（私費）

●大山元帥代筆事件の裁判　大山元帥の揮毫を代筆せし元參謀本部員森敬信が大山元帥を相手取り代筆料二千四百五圓の請求をなせし事件口頭辯論は二十八日東京地方裁判民事第三部三淵裁判長の係にて開廷されたり原告側代理人は齋藤二郎、佐久間の兩辯護士被告側は芹澤孝太郎氏原告側は相當なる報酬を與る契約の下に代書せしに全部の報酬を受けずさいひ、被告側は日露戰爭後參謀本部にて當時の雇員森及副官横井忠直氏をして代筆せしめしが決して報酬等の契約ありしものにあらざりしも毎年盆暮に相當禮をなし殊に退職の際は二百圓も一時に與へたる程にて原告の請求に應ずる必要なしと云ふにありたるが裁判長は原告主張中代筆の文字は元帥の眞筆として世に出し森もかく知りて代筆せしといふが然らば本件は不法行爲による損害賠償の請求の手續きをなさざるべからず本訴訟は當を失したりとの意向にて結審を宣したるも原告側代理人は該主張を訂正し申出を變更して續行すること、なり裁判所は當時の事情を熟知する陸軍少將尾野實信氏を喚問にし決たり

●膠洲灣戰報

支那兵吾軍を妨ぐ

▲吾軍青島要塞を圍む　日本軍は廿八日正午青島の重要防禦線を瞰し得べき同地周圍の高地を占領せるが廿九日の公報に曰く攻撃は同日拂曉重要防禦線より二哩半の地點に於て開始せられ海陸より發射する探照燈光を浴びつゝ獨軍を撃退せり（廿九日倫敦發）

▲海上よりの砲撃　吾軍は廿七日早朝より夜に入るまで攻撃を繼續し吾艦隊は英艦と共に同じく海上より砲臺に向つて砲撃を開始し、敵砲臺も之に對して應砲せるが差したる損害を與ふる能はざりしも兵舍と覺ぼしき家屋を破壞せり、さう海作業は陸上よりの妨害にも關せず完全に繼續中なるが吾一船は敵彈を受け二名の負傷者を出せり水上飛行機は偵察のため欠くべからざるものなることを證明せり、一飛行機は敵ルイにバク彈を投下命中せしめて損害を與へたり　廿七日陸軍公報

▲青島砲撃海軍公報　吾艦隊は廿七日吾陸軍の前進を擁護するが爲め敵の砲臺に對する着彈距離を側量したる後英艦隊と共にタイクン島の北方より海岸に近きカイゼル砲臺及び他の一砲臺に向つて砲火を集中せるがカイゼル砲臺は大口徑砲其他を以て頑強なる應砲を試みたるも吾艦隊には何等の損害をも與ふる能はず、又モルトケ砲臺より大彈丸を射發せるも吾艦隊に達する能はずして落下せり當日砲臺の効果に付ては未だ其詳細を知る能はざるも此ホウ撃が多少敵ホウ臺の抵抗力を減殺したるは疑なく殊にビスマークホウ臺及信號臺兵舍等に與へたる損害は大なりしと推側せらる　廿七日第二艦隊司令長官公報

▲支那兵鐵橋を破壞す　支那兵は廿九日ウェイセンの西方六哩の所にあるタンボー鐵橋を破壞せり、北京官憲は此事件が政府の命令に出でたるものなるや否やに就て何事をも語らざるが聞く所によれば日本公使は昨廿八日外務部に出頭して日本軍膠州[…]南府間の鐵道を占領すべき事を通じ政府の拒絶する處となれり、尚[…]衝突を[…]けんとする[…]山東省[…]支那軍隊は獨逸勢力の感化を受け居ると共にとは政府部内有力者の語る所なり（廿九日發）

▲日本軍の鐵道占領　ニッヤ・チエジテレグラフ上海發電によれば日本軍膠洲鐵南鐵道を占領せり斯は獨軍が戰闘區域外に鐵道[…]を敷設せることを發見めるを以て獨支の中立違[…]抗議を[…]かためなりと知らる（倫敦廿九日發）

▲日本軍の規律嚴正　山東省より北京に來れる一宣教師の談に依れば五千の日本軍の支那人民に對する行動は極めて公平嚴正にして彼等は鷄を強制的に徴發するも市價以上の代償を支拂ひ市民を酷遇し、或は婦女を侮辱するやうのことは決してなしと（廿九日北京）

▲吾飛行隊バク彈を投下して敵艦を毀く　吾飛行隊は去廿七日の攻撃に參加し　七百ヤードの高空よりバク彈を敵艦に命中せしめたりと同[…]は青島附近に若干[…]隊を上陸せし[…]けしも無事歸隊せりと尚日本[…]機三隻參加し一隻は敵彈の爲に損害を[…]し居れるが當日は[…]兩翼飛行隊[…]遺棄せる野ホウ門を得たりタ[…]廿七日の戰に於て敵兵五十名を生擒せり（卅日東京發）

●日本女の大持て　西伯利亞ハバロフクより歸れる一般士人の日本人に對する親善の度一層[…]は過日鳥港獨商アルベルスの[…]頭某か過去の[…]中[…]車中にて多數の露國將校等と乘合せたるか大に[…]氣[…]にて途中より乘合せたるハバロフスク在留日本人會長竹内氏夫人を指し[…]露國將校連に向ひて盛に自國[…]を[…]し露のなす所は正義なれば日本も露國を後援す此の夫人は勇[…]なる日本婦人なりさただてげ將校連も亦何時しか彼か獨人なるを[…]共に[…]二夫人に握手を求めシャノンを[…]校き夫人[…]ために[…]先[…]五[…]名の在留日本人より[…]をなさんしさたるも露國官憲より勝[…]を分らざるより夫れに及ばずて謝絶したれば邦人は更に三千三百ルーブルを醵金し露國恤兵部赤十字へ寄附したりと

●墨國内訌調定會議　ビヤ、カランザ兩將軍間の確執を調定する爲め軍領袖等來十日アグスカリエンテに於て調定會議を開く筈にて各領袖等は目下同地へ向け[…]途にあり

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次 [illegible]

▲手紙取次 [illegible]

▲各國語飜譯 [illegible]

▲通辨

▲實業經營法 [illegible]

紐育新報社

出發廣告

[illegible]

紐育 林富平

巴奈馬大博延期せず

[illegible] 巴奈馬太平洋大博覽會の如何なる事情あるも [illegible] の歐洲大戰の爲め [illegible] 中より [illegible] なしと正式に公表する處ありたり

●續博覽會工事

▲日本館 [illegible] 來年一月五日を以て竣工 [illegible] 日本館の建築は八分通り [illegible]

[illegible] 日本よりの [illegible] 十五年

[illegible] 振袖姿の余[illegible]何卒救助し呉れよと申し越したか博[illegible]ストライキの時は教さの[illegible]を蒙りまして一月から九月まで未決監にゐましたか實際閉口しました

[illegible] は多分精神に異狀あるものならん [illegible] 本人會に可然取計方を依頼し越せり同人を知れる人は日會へ出頭の上故間合はす方宜しかるべし

[illegible] 二千圓 [illegible] 九月末より着 [illegible] 約百坪 [illegible] 十數種の日本 [illegible] 余興は既に [illegible] 會計は底廉に [illegible] 希望者は至急申 [illegible] 次に日本出品物 [illegible] の一部に約一 [illegible] に當つる計畫に [illegible] 覽會にて使用せ [illegible] 既に結了し合格 [illegible] 八千五百五十 [illegible] の鑑査は十月 [illegible] 早々開始さるゝ筈なり

●高田博士増田代議士一行の消息　去る廿七日華盛頓に珍田大使を訪問せし高田博士増田代議士一行は首府に於てウイルソン大統領及びブライアン國務卿と會見し一日費府並にアトランチツク市を見舞ひ歸紐せり倚博士一行は來る五日午後出發ニユーヘブンにエール大學を視察し更にボストンシカゴ市等の大學制度を研究し來る二十日桑港出帆の天洋丸にて歸朝の途に就く　又増田大山兩氏は當地に於て博士一行と分離して各地の實業教育を視察し十一月二日出帆の地洋丸にて歸朝することとなれり

◎日本人會主催の大演說會　本夜正七時半より西五十七丁目カーネギーホールに於て早稻田大學校長高田法學博士實業の日本社長増田代議士東京麹町組合教會牧師綱島佳吉三氏を招いて盛大なる演說會を催す事となれり、尚同夜高峰博士は司會者となり今回新任せる總領事中村巍氏も一場の挨拶ある筈なれば今回の演說會は定めし盛會なるべしといふ

●コロンビア學生會　本日正午若松本に於てコロンビア大學學生會例會を開き新舊學生の送迎會をなす筈尚同會へは高田博士綱島牧師も出席する由

●綱島牧師　過日歐洲より來着原田爲造氏宅に滯在中なり

●志賀重昂氏　過日來市日本倶樂部に滯在中なり

●片山潜氏來米　社會主義者なる同氏は去二十四日佐渡丸にて沙港に着せる由なるが氏が同地邦字新聞記者に語る所を聞くに左の如し

「私が此シヤトルを通過して歸朝したのは今から七年前でした御承知の如く日本に於ける社會主義者の拘束非常なもので殆ど迫害といふ程です私は元來穩和派の方ですが社會主義者といへば無政府主義者の如く見なれて迚も日本では如何する事も出來ませんので海外に來たいと思つてゐましたが恰度本年の八月維也納で萬國社會主義大會があるので其會參列し歸途米國に來る心算でありましたが歐州大戰のため渡航出來ますまいと考へましたから加州に行く考ですが其後は未だ如何するか判りません去四十五年

[illegible] 帝國軍艦 [illegible] 去廿三日帝國 [illegible] に入港するや艦長 [illegible] 何にも餘裕あるもの、[illegible] 乘組員の四分の一を [illegible] 交替に上陸を許 [illegible] の大佐ロイ氏は正午 [illegible] 艦を訪問しレンボーの艦 [illegible] 午後三時にアソトホ [illegible] 日本人を招待し相撲 [illegible] 非常に盛會なりき

●觀光團と澁澤男　澁澤中野兩氏が [illegible] 組織に就き奔走中なる事 [illegible] 所報の如くなるが聞く處によれば兩氏主唱にて實業團を組織し來年秋期兩氏共々大博觀光の途に就く筈なりと云ふ

●同胞船員八名無事上陸　前々號の [illegible] 船員八名無事上陸 [illegible] 上に報導せし移民局拘禁中の同胞船員八名に付ては其後日會の手にて種々盡力中なりしが船員に對しては移民法を適用せずとの特別規定を日本と取り極めある所より移民官は右八名を解放し彼等過日無事上陸して目下武市東京館に在り

●月謝を取戻す　紐育教會に在る女 [illegible] 業は昨年當市ブロードウエーなるカーチス飛行學校に入校月謝二百五十弗を前納せるが同人は都合上間もなく退校し爾來月謝の點に付き學校に [illegible] 着を起して片付かざりしが此程日本人會の助力を得て月謝を取戻し [illegible]

●入院中の同胞 [illegible] ービー博士に書信 [illegible] ンシントン [illegible] 田中なる [illegible] メ [illegible] 博士に手紙を [illegible] 身分は今救はれかけて居る故

●栗栖市俄古領事の婚儀　同氏は過日任地より來着去一日豫し婚約ありしリッル嬢と白四丁のグレース教會に於て目出度華燭の典を擧げたり

●太田三等書記官入院　同氏は盲腸炎に罹り療養の爲め過日來市、武市外科病院に入院して手術を受けたるが手術後の經過は極めて良好なりと

譲受廣告

私儀今回西村旅館を譲受け岡宮旅館と改稱し客室、家具等一切大改良の上九月廿四日より經營致し諸事親切叮嚀大勉強に諸君の御便利相圖り可申候間何卒倍舊御愛顧の程伏して奉希上候　謹白

大正三年九月

武市ハイストリート一八四　高見ドクターの隣り

岡宮旅館

岡宮義一

電話メーン二一九七

紐育日本間郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
シヤトル丸	シヤトル	十月八日
横濱丸	仝	十月十五日
天洋丸	桑港	十月七日
モンゴリア	仝	十月十九日

●日本より到着日　九月廿八、九日　十月七日

○新聞　雜誌　書籍一切

羅府東一街二五○

書店 博文堂

250 E. First St. Los Angeles CAL

"See America First"
GREAT NORTHERN RAILWAY
National Park Route

毎日午後十時十五分チカゴより發車す、途中乘換なしチカゴ以東は各鐵道に連絡す

客車は凡て最新式にして且線路は風景に富める地方を經由し日米間旅行道筋として尤も愉快なる線路なり

NEW YORK OFFICE　1184 Broadway, N. Y. City. Tel. Madison Square [illegible]

診察

●前約に限り診察
往診の求に應ず

ブロンクス [illegible]
フオーダム病院 [illegible]

醫學士 小栗乘吉

電話トレモント二〇〇〇

JOKICHI OGURI M.D.
Fordham Hospital, Bronx N.Y.
Tel. Tremont 2000

○御料理　御料理　御宿

並日本食料品販賣

今般小生共左記の處に於て御料理並日本食料品販賣店開業仕候間何卒御愛顧御引立の程奉希上候

南京町モット街十六番館

万屋　岡本　古川

□球臺あり

△卜筮 易斷

多年支那にて觀相及易學を研究し其神を究めたる斯道の大家生々庵主人吐龍先生歐米を經て歸國の途當市に滯在し貴下の占筮の事に從ふ　見料隨意

西五十八丁目三百四十番　[illegible] 旅館内

○御料理 御旅館 横濱館

紐育パークロー一百四十九
森野はる

化粧品卸賣廣告

本店製　香水、トイレツトパウダー、サシエ、ウダー

御試驗の上御高評を乞ふ　客引の商品なり

紐育市東第十七丁目三

卸賣 五味商會

ダンス教授



プライベート 舞踏

夜會及び最近流行ダンス

多年の實驗を有し日本人諸君には特別叮嚀親切に教授す、授業料は一回プライベート、レツスン一弗六回プライベート、レツスン [illegible]

新古書籍賣買

學校教科書其他新舊一切の書籍數千種取揃有之極めて安價に差上候　尚御不用の書籍は可成高價に御買受申候

Schoolbooks of All Publishers at Reduced Prices
Hinds and Noble, 31 33-35 West 15th St., N. Y. City. Secondhand and New. Write for Catalogue.

ニユーヨーク 西第十五丁目三十一

ハインズ エンド ノーブル

書籍店

御下宿 吉田宗章

[illegible] Lexington Ave. N. Y. City
Telephone Plaza [illegible]

●球場あり●

▲法律顧問▲

民事及刑事訴訟、會社其他の契約其他の書類編成、債權取立等總て法律上の依頼に應ず、鑑定無料希望者は御報知の上申込まれ度し

辯護士 ハイマン、アールシーガル

HYMAN R. SEGAL
ATTORNEY AT LAW
[illegible] Broadway New York

各種革箱製造

當市製造のファンシー、ケース類は日本雜貨店及び玉屋等に缺くべからざる必要品なり



御一報次第カタログ御郵送可仕候

J. CAROW & CO.
[illegible]

日本食料四、何れも申上まする大概のものは取揃へ四季とも新鮮で誂ますので新旧共御注文下さい

ちどりや

[illegible]

Aud-bon [illegible]

藤井旅館支店

ホテル タコマ

シヤトル市經由の貴方の御便宜に御取扱可申上候

室數二百有十、冷溫水、浴室、スチームヒート其他日米式設備完全

HOTEL TACOMA
[illegible] Jackson St. Seattle Wash

Bean Nam Low
[illegible]

支那料理 [illegible] 品南樓

午前十時より午前六時まで營業

十月一日 開業

御貸間

大黑屋

[illegible] East [illegible] Street, N. Y. City
Between [illegible]

▲ニユーヨーク生命保險會社▼

代理人 千本木正治

TOYO KIKUCHI
PORTRAITS STUDIO
[illegible]

菊地 寫眞館

笠井坂野洋服店

タイムス ビルデイング 七階へ廣く最新式にて業務を開始し致し居り何卒御愛顧を乞ふ



Kasai & Sakano
Tailor
Times Building
New York
Bryant 1319

●伯西日本移民に就て

（承前）　圖南生

議にブラジル拓殖會社の主設者たる青柳郁太郎氏補助金解除後の善後策に付、伯國駐剳畑公使に五ヶ條の建策をなし同時に目下サンポーロ政府に向つて直接之が交渉の件に當られん事を提議したる事あり氏が今日の地位は洲政府部内の有力者間に多少の聲望を扶植せしめ其制度上の關係に於ても亦少かざるものあれば畑公使も氏の手腕に依頼する所あり遂に其主張を容れて局面應酬の任に當らしめたり、吾等は夙にブラジル人の萬事情事的なるを知り又青柳氏の運動費出所に付て或る有力なる團体の後援ありたるを熱知せざりしに非ず雖然一國一洲の行政機關が區々たる一洲の手に據て輕々に左右し得らるゝ程無主義無定見なるやに付て頗る疑を挿みたるものなり然に果然氏の政策は其後兩三回を出でずして失敗に座したるものゝ如く今や東洋竹村の南移民當業者等は氏に代つて再び他の方面より之が運動を試みんと企謀せんとするものゝ如し然れども何等とて青柳氏以上何等の成算ありていふにあらず只夫れ輕擧以て万一の僥倖を期せんとするが如きのみ而かも吾等を以て之を觀る之れ徒に再び挫らすの策にして吾が對伯移民の方針をして益々不利に導き之が根底を脆弱ならしむ所以に過ぎざるなり政府當局者の應諾たる能く這般問題を彼等の手に委して敢て顧慮する所なきが如き之れ夫の問題の範圍が斗に移民事業たるの故に然るか或は彼等無暗に時局に對する責任を重大視し過ぎ唯だ逡巡未だ自ら進んで之に處す一定の解案に倒達せざるに依るか畢竟遂に其眞義の那邊にあるやを捕捉するに苦しむと共に過去に於ける海外移民政策が實に神經的に偏なる直ちに愼重なる考慮を缺すに又屢々蹉跌する所あるを觀て一層の憂なき能はざるなり

然りと雖も吾等は日本政府が須らく眼を大にして表面より堂々たる國際的交渉を持込むの時機何早にして理の不利なるものを觀ざるにあらず復移民當業等の這般の運動なるも僥倖的一時の成果を齎すもなきを豫め保し難きものあり、然かも今回の問題たる單に補助金に限るべき問題にあらず又移民當業者の利益の爲めに犧牲とせらるべき問題に非ずして實に吾伯西移民將來の隆替に關する重大なる眞面目の問題なり對伯移民政策の精心を擴充し其國因を增進せしむ事を主眼とせば豈に政府當局者たるもの自ら進んで其衝に當らざるべけんや而して移民當業者等も亦始めて當局者と相協議し以て時局の進歩に關する所あらしめ、政府盛なる營利上の見地より既得の利權を犯されん事を恐れ各社相反目して交渉の協調を缺き以て又府の方針を障害するが如きは吾等の將來に對し不利益を醸すのみならず夫の事業上の精心に背くるの甚しきものなれば深く自ら又省する所なからざるらざるなり而して政府も亦彼等の[illegible]の弊を矯り極めて公平なる見地より各社の權利の均衡を圖り吾の理想とする移民機關の統一に盡さざるべからず之れ卽ち吾が憂を一掃して外患に備ふる當然の順序たるべく又サンポーロ政府と交渉を開始するに當り早晩何等かの解決を要すべき先決問題たらずんばあらず

當局者人あり蓋し大局を觀る、熟するものあらば復た吾等の言を俟たぬるを要せざるべしと雖も多少事業に關しては吾等多少緣故の尠からざる埋由存するをいなきにあらざれば茲に自ら讓抱する所を披瀝して之を讀者に問ひ併せて當局者の[illegible]處理に違算なからん事を[illegible]するものなり

●獨婦人[illegible]

[illegible]獨の押合[illegible]日の先づ[illegible]大使館から[illegible]

[illegible]

モチ／＼するに當らんと云ふものだて[illegible]無事御禮才を奉待候とやつた[illegible]父も[illegible]に於てはなか／＼隅に置けんで[illegible]

●綱物の野口氏　野口博士のことは曾て記載せることありしが福島縣の出身にて十四五年前齒科醫專門學校の[illegible]醫士の學塾に入り醫術開業試驗に合格したると共に北里博士の細菌研究の助手となり研究に行ふ内米國富豪ロックフェラー研究所長フレキスチル氏の來朝に際し同氏に伴はれて渡米し爾來九年の間同研究所にありて研究に耽り居る篤學の士なり蛇毒の研究を初め「黴毒病源の純培養」「狂犬病源發見」等は世界の醫學界を驚動したる研究的發見なるが之と共に博士は有名の變り物にて驚くべき程の無頓着者なり曾て高木兼寛男が渡米視察の際紐育にて某病院への案内を頼まれ途中まで連れ行き俄かに用事を思ひ出しその儘高木男を其處に打擲つて歸つて仕舞ひしなど[illegible]らぬ例にて世事には[illegible]他人は無頓着なるも學問にかけては驚の外なく何れもノーベル賞金を受領[illegible]

●投書籠●

▲へー／＼毎度御引立に預りまして難有仕合はせに存じます手前より差上げまする御酒の上には申しながら、無暗にクダを卷いたり、管理を吹掛けたり、エヤをつかつたりなさいますと、外の御客樣の御迷惑は申すまでもなく第一手前の商賣にはかつたりになります、イ一茱料亭

▲村瀨ドクターのオフィスに塵があるなどと陰口を吐かす奴は眼病患者[illegible]

▲某ドクは近々[illegible]

▲[illegible]

No. 16[illegible] VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY Oct [illegible] 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N Y Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
一部金五仙
六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年八月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話八四七三　チェルシイ

日本人は忘恩の國民なかる

（彼理誕生地への紀念）

志賀　重昂

謹啓秋冷千萬の義に御座候得共、米國人が日本人を排斥する口實中に日本人を目しアングレートフルとかイングラチチウードと呼び做し、恩義を知らざる國民なりと唱道するは意外の事と奉存候、意外は可なり實は心外千万と申すの外無之候、頃日ブラウン師（故星亨、男爵都筑馨六、工學博士白石直治、島田三郎氏等の舊師）の言行錄を閱讀致候處右ブラウン師のみは他の米國人と異り日本人が忘恩の國民に非ざることを常に主張せり云々と有之、又ギウツリク博士近著の日米問題にも、同博士は日本人は恩義を忘るゝ性質に非ずとの辨解相見へ候、即ち其反面より觀れば日本人は忘恩の國民なりとの讒は米國人の間に汎く傳播せらるゝ義と被存候、今春スコット博士日本來遊の節、同博士は日本最初の師範學校制立者なるに日本文部省發表の日本教育史にスコットのスの字すら載せず、當局者の同博士に對する待遇の冷淡なるを遺憾とする旨を小生より東京朝日新聞に陳述致候處、藤澤理學博士（東京帝國理科大學の數學教授）より日數數學の各科は米國教師より傳授せられたるものなるに日本人が其舊恩を忘れたるは遺憾なりスコット博士に對する件に關しこも貴見（志賀の意見）と全く同感なりと書送せられ候、成程今日大隈伯首相たり、珍田子爵米國大使たり、而して大隈伯の舊師は米人フルベッキなり、珍田子の舊師は米人イングなり而も此等米國人の性名は日本人の記憶より忘れられ、ブライアンとは現米國國務卿として知らるゝも、別に同名のブライアン（サムエル）なる人が正四十年前の今日、日本郵便局開備として日米郵便執行細則を制定し日本の郵政を全く獨立せしめたる大功蹟　米英佛獨の諸國は當初何れも各自郵便局を日本國土内に設置し居たること今日日本が支那國土内に日本郵便局を設置し居ると同じかりき）ありしも、此の如き一事實は日本交通史に一も記せず、ブラインのブの字すら載せざるは、成程米國人が日本人を目しアングレートフルとかイングラチチウードと呼び做すも無理からぬ事と被存候、然らば小生固より微力にして蛇足の事とは存候得共米人の日本人に對する此等攻撃を幾分なりとも減少せんとの微志にて「日本に於ける米人の功業及其門人」を表に作製し、米國隨處に配布致來り候、當地に於ては配布の機會なかりしを以て、右表は中村總領事殿御手許迄差出置候に付御序の節御一覽被下御參考の萬一にも供するを得ば本懷此事に奉存候、

尚右同一の趣旨にてニウポートに於ける水師提督彼理の誕生家、銅像、墳墓に對し我々日本人より何にか紀念の意志を表し度存候、彼理の誕生の家は同市ウォルナット街と第二街との角にある、極小の二階屋にて目下猶太人が荒物屋を開き居り候處此處に「一千七百九十四年四月十日日本開國恩人水師提督彼理誕生之處日本人有志建之」とでも刻せる日英兩文の石標を建立致度、將だ又ツーロに於ける某銅像、ロードアイランド墓地に於ける某墳墓に櫻なり銀杏の一二株を日本人の名にて植付度存候石標も實は日本浦賀なり久里濱の石を以てし、櫻將た銀杏も日本より移植すれば最も適當と存候得共、費用の點有之候得ば米國に有合せの石を以てするも何なり、櫻將た銀杏もオークランド堂本氏の花園より取寄せ得らるゝしと存候間何卒右實行せらるゝ樣切望致候、先日ロードアイランド墓地にてデーンーの花を摘み居候處、一人の米人之を問ひ申候に付き、日本開國の恩人彼理墳墓の紀念として日本に持行する心得なりと答ふるや、件の米人（測量師ならん器械を手にし居りし故）は突と小生の手を握り申候、要するに日本人を忘恩の國民なりと呼び做されては心外千万なる上、日米國交上にも關係致候義と被存候間何んとかして之を掃除する方法實行致度、就ては此義に付御相談旁々一書呈上仕候、匆々拜具

尚本年は彼理誕生の正一百二十年又來る大正七年は彼理逝去の正六十年の紀念に付此義旁々申添候

所謂名士の演説

卓　郎

▲前號の紙上で畏友空々子は所謂名士なるものに就て得意の深刻な、ソシテ子の所謂「底力」のある諷刺的評論を試みた、讀まされた讀者、讀んだ名士がどんな心持で「名士季節」に對したかは知らぬが吾輩は幸ひにして子の尊敬して居るといふ名士諸君の御高説を拜聽するの機會を得て大ひに得た所があつた、所感を書く前に一寸日本人會の御骨折を感謝して置く

▲第一席は實業の日本社長衆議院議員増田義一氏の演説、奮鬪努力、成功の鍵といふ題でピンからキリ迄實業の日本の再讀を要求せられた次第で流石に成功宗の本家と感服した、併し無理を言へば吾々は増田君から四五年前に丁稚小僧や田舎の青年を奮發さしたり失望さしたりした所謂成功秘訣の講釋を承はらうとは思つて居なかつた、勤勉應來、奮鬪結構だが吾々は小學校中學校の先生から人間處世の要道として敎はつた所の勤勉忍耐説を實行、否ツライして失敗した人間か左もなくば半世を他郷流寓の生活に費して曲りなりにも人生苦樂の如何なるものなるかを悟つて居る人間なんだ、二十にして妻を持たず四十面を下げて今尚鍋のけつや茶碗の底を叩て居る日本人なんだ、丁稚小僧のポケットを絞つて二十餘萬圓の財産を作るには奮鬪努力の講釋亦妨げずと申上げて置くが背中に甲羅の生た吾々の爲の演説なら今少し人を見て法を説て貰い度かつた

▲第二席は高田博士の演説、歐州旅行談から大戰爭の原因に説き及ぼし、ジャーマンカルチュアの發揮が獨逸民族勃興の一大主因を爲せると、而して此偉大なる獨逸の文化は軍國主義の迷想に覆はれて不幸にも今回の一大不詳事を醸成せし事を絮したる後、獨逸の國家主義を摸倣せる吾國は此大戰の敎訓に鑑み其敎育法の如きヱフィシエントなる個人を作る所の英米敎育主義を主とし以て完全なる立憲國たらしめざる可らず、と論結した、博士の所説は特に新奇と稱すべきではない而も既往二十餘年間育英の事業に與つた經驗を以て時代思潮の趨勢を察した博士が今回の歐米漫遊に依て愈々學風刷新の急要を感得するに至つた熱心の態度は言々句々の間に現はれ、其温容と雄辯とは聽者の襟を正さしめたと共に不尠彼等の感興を惹起した、兎に角當夜の博士の演説は從來の名士演説中の白眉と可謂ものであつた

▲第三席はギユリック博士の演説、プログラムになく特に司會者の請に應じてせられた五分間の演説に過ぎなかつたが在留同胞の對米人態度に就て與へられた忠告は例の啓發的の百千万言にも優さるものがあつた

▲第四席は松村介石氏の演説、時間に制限があつた爲め充分に氏の長廣舌を拜聽することを得なかつたのは遺憾である、さうして演説の題目が「最近故國の政況」であつたにも不拘、元老勢方の凋落、陸海軍の勢力失墜、民論の勃興などを聽かされたから何んとなく昨年來の古新聞を讀まされた様な心持がしたのは尚更遺憾であつた、宗敎家とも付かず、社會評論家とも付かず、基佛老莊チャンポンの政敎演説をするのは氏の得意とする所であるが、其辯舌といひ、態度といひ二十年前神田美土代町の青年會館の壇上で「立志の礎」「リンコーン」を說いて青年の渇仰を受けた松村介石氏は相も變らぬ、當年の松村氏以上に見へなかつたのは時勢が進んだのか、吾々の耳が肥へたのか、否々

[illegible]者の謹[illegible]に値ひするも[illegible]た兎に角故國の名士が[illegible]育に會し其高論卓説を以て吾々在[illegible]同胞に好個の精神的糧食を與へられた事は實に感謝に堪へぬ次第である

●一勝一敗

獨[illegible]對連合軍の會戰は今日に至[illegible]未だ判然たる決戰的勝敗の數を分つに至らざるが兩軍の中欧並南方アルサスローレン方面に於ける形勢は何等の變化を示さず、只連合グンの左翼が漸次其戰線を延長し[illegible]勝に[illegible]國境に至らん[illegible]し獨の右翼亦之に[illegible]の施回行動と白グンとの[illegible]を妨けんとするもの如し、露グン[illegible]の公報全然相反[illegible]より[illegible]眞相を知るに由なきも此方面の[illegible]亦一勝一敗の情勢に在るもの[illegible]要するに兩グンの運命を定むるに足るべき一大決戰を見るは今後何數日を要するならんか

▲アントウアープ危まし　獨グンは[illegible]過日來ア港包圍攻撃を開始し[illegible]郭を圍繞せる數個の砲臺を[illegible]め八日早朝よりは巨大なる攻城砲[illegible]に砲撃を繼續すると共に[illegible]多のグン輕氣球を以て市街にバ[illegible]彈を投下せしめ、七箇の建築物を[illegible]壞し市民若干を殺せり[illegible]一兩日を出でざるべしとつた[illegible]る

▲白國首都移轉　形勢上記の如く[illegible]るを以て白國政府は去七日首府を[illegible]ステンド市に移轉せるが市民は[illegible]並に和蘭方面に向つて[illegible]つあり

▲英潜航艇獨巡洋艦を撃沈す　[illegible]潜航艇イー九號は去七日エムス河口[illegible]突撃を試み[illegible]巡洋艦を撃沈せり、イー九號は[illegible]月十六日ヘリゴランド島[illegible]號を撃沈せし[illegible]

▲獨[illegible]三十万の死傷[illegible]

▲モスコー[illegible]スコールは戰地より[illegible]なる[illegible]

●ジャルイト島占領公報　今六日海[illegible]を發表せり[illegible]

[illegible]大使館の辨明　ジャルイ[illegible]許[illegible]東京六日發電[illegible]

●青島戰報

▲ビスマルク砲臺の損害　[illegible]本艦隊の砲撃によりビスマルク砲[illegible]中の三砲臺は再び共用を為さざるに至[illegible]損害を受け、[illegible]外砲臺は三十二回の砲撃の後目下[illegible]の占領に歸せり

▲山東鐵道占領と[illegible]　山東鐵道占領に[illegible]する所たる[illegible]に[illegible]るを以て之を占領する[illegible]も必要なり日本政府は[illegible]に關する支那政府との交[illegible]に實隊を輸送し[illegible]兵數は著しく增加せり、[illegible]未だ鐵道より退かざる日本軍の[illegible]鐵道使用に反抗せず、[illegible]領の際支那兵一名殺されたるが今後如此小事件の再燃せん事を憂慮されつゝあるも支那將校は日本軍に抵抗すべからずと命令を受け居れり

▲日本支那の要求を斥く　日本は山東鐵道を支那政府に於て[illegible]獨人を解雇し戰爭終結迄他に[illegible]させる事[illegible]絶せり

▲青島米國領事引揚　青島米國領事[illegible]米國領事ウイリス、エチ、ニック氏は本國政府の命令により膠州租借地域を引拂ふこととなれり、氏は北京米國公使の申請に基[illegible]なり[illegible]日天津發電

▲日本の提議、獨逸の反對　日本軍の鐵道占領は目下進行中なるが日本政府は[illegible]道沿線に可成少數の軍隊を配置し本國より[illegible]し之に代らしむ可しと[illegible]支那人は從前の樣使用すべき旨北京外交部へ申込めり然れども支那政府は日本軍を膠州租借地域内に[illegible]むべく外交上の手段を[illegible]軍は日本軍が依然西方へ[illegible]を繼續するに於ては[illegible]

▲新聞通信者の實見談　[illegible]墨より當地に[illegible]語る所に依れば[illegible]を見るに日本軍は[illegible]軍備を整へつゝあり[illegible]陥落する[illegible]天幕を用[illegible]し居れりと、[illegible]

[illegible]東京發電

●南洋戰隊の獨領上陸

六日の青海軍省公報に依れば吾艦隊は太平洋海上に遊弋中の獨艦隊を全滅する目的を以てマーシャル群島中のヤルイト嶋に陸戰隊を上陸せ[illegible]同島は一千八百八十六年[illegible]の領土となりし所なりと、同地に[illegible]る獨軍隊の根據地は破壞され[illegible]武器彈藥等は何等の抵抗なくし[illegible]の手中に歸せりと信せらる何港[illegible]獨國船は釋放されたりと

南洋マーシャル群島は布哇、東島の中間に[illegible]約一萬五千乃至二萬を有す、吾陸戰隊の上陸せるジャルート島は延長三十八哩、幅[illegible]マーシャル群島の貿易に從事する獨逸大會社の根據地たり　六日東京發電

●交戰地帶承認

▲支那政府通牒　交戰地帶問題に付[illegible]兩國間に[illegible]を重ねたるが支那政府は既に帝國交戰の目的を諒[illegible]協同し[illegible]するものなるにより支那[illegible]府は八月三十一日陸公使をして非公式に帝國政府の希望を容るべき旨[illegible]務當局に通知せしめ次で交戰地域承認の通牒を列國に發し其一本[illegible]を帝國政府に寄せ來りたり其の內容は本邦北京特電と同樣にして多少文[illegible]に異動あるに過ぎず日英獨の三國が山東一部に於て軍事行動を執るに至りたるを認め支那政府は千九百四年日露戰役の當時交戰地域を[illegible]以東に限りたるの例に照らし[illegible]州府及び膠州灣一帶に對し中立義務を負ふ能はざる旨言明したるものなりと云ふ

▲支那政府の聲明　支那政府は龍口より萊州府膠州灣一帶を交戰地域と承認したるを以て最早該地方に支那軍隊[illegible]し置くの必要なきのみならず却て軍事上より種々なる行[illegible]生ずべきを以て[illegible]隊を平度高密方面に[illegible]しありたる軍隊を[illegible]せしむるのみならず日本軍上陸地點附近に在りたる軍[illegible]をも歸航せしむる等帝國政府[illegible]實行しつゝあり彼の[illegible]に向[illegible]中立違反の抗議を為したりとの[illegible]方に在る[illegible]を為せしなるも固より抗議と稱すべきもの[illegible]せらる

[illegible]には[illegible]然政府の關知せざるものなりと

▲米國も亦滿足　米國政府は帝國の軍事行動に對して滿足するとなく中立地帶侵害の抗議を為すべしとの[illegible]傳へらるゝも米國は帝國が支那の意に反し故らに中立を侵害するとに就ては異見あるものゝ如くなるも未だ曾て帝國に對し何等の希望だも述べ來らず今回支那が交戰地帶を定め[illegible]國が該地帶に於て行動しつゝあるを大に滿足し居れりと

▲獨逸の抗議　帝國の軍事行動に就ては何國も異存なきが唯り獨逸のみ頗る不滿足にして支那政府に對し帝國が中立地帶を侵害しつゝあることを詰問せるのみならず今回支那政府か交戰地域を決定せるに對し抗議を提出したり五十基米突の警備地域を越ねて萊州府に出沒し山東鐵道を利用し糧食軍需品を濟南府より青島に連輸する等已れ先づ中立地帶を侵害しながら却て未だ中立地帶を侵害せざる帝國を責めんとするは不都合と云ふべく目下駐支獨逸代理公使は歐州に於ける勝戰を誇張し最後の勝利は獨逸にありと鼓吹し支那政府を[illegible]し種々なる便宜を得んと企しつゝあるも到底支那政府を惑す能はず大に苦心しつゝありと

●民間飛行家の徴集

陸海軍附屬飛行家に對し大正二年勅令第九號を以て公布せられたる保護令は九月一日附官報を以て右保護規定は軍事上の必要に依り軍用にあらざる飛行機又は氣球に乘じ死傷したる者にも之を準用することに改正公布せられたり右保護令は自己の重大なる過失に因らずして演習又は實戰中死亡し又は傷痍を受け不具廢疾となりたるもの及び該傷痍に依り三年以内に死亡したるもの等に對し夫々の事情及び給料に依り八階級に分ちて適用すべきものなるが軍用の目的を以て死傷したる民間飛行家の事情及び資格に關し如何なる等級に該當せしむるやは未定なり右勅令の改正は専ら今次の日獨開戰に際し軍用飛行家の活動は勿論の事なるか今後の形勢如何に依りては民間飛行家の奮起及び飛行機の徴集を必要とするなきにしもあらざるべく尚民間飛行家は平時に於て兵役を免除せらるれども戰時に於ては臨時現役に編入せらるゝ獨佛等の例に依せ改正公布せられたるものと察せらる

●戰時金融調節案

各派實業家有志議員五十餘名は六日午前九時衆議院構内圖書館に會合し大浦農相及び若槻藏相の出席を求め時局に對する政府の處置に就て種々質問する所あり若槻藏相は今回の戰亂は殆んど世界的に波及し世界の金融市場たる倫敦に於ても各種の取引全然停止せられ經濟界全部損害を及ぼし貿易の杜絶、對外爲替の不能等救ふべからざるものあり故に吾政府に於ても經濟界救濟策に就き種々の方法を講じ以て救濟の實を擧げん事に努めつゝあれば此際政府の處置に信頼されたしと懇談的に答辨せしが協議の結果左の決議を為し更に大藏大臣に意見を陳述することに決し九時散會せり

決　議

戰時中金融の調節を圖るため左の方法を取られんことを希望す

一、大藏大臣は戰時中日本銀行をして制限外一億圓を發行せしむる事

一、大藏大臣は直に日本銀行を始め特殊銀行業者を集め金融の疏通を圖るため敏活の處置を執らしむる事

一、大藏大臣は日本銀行は勿論其他の特殊銀行に對し此際金利の引上を為さざる樣勸告する事

●世外候の直談判
大隈首相の迷惑

興津の別莊に靜養中なる井上候は時局展開以來人を以て屢々外交上の注意を大隈伯に致しつゝあり殊に對某國外交當局者の人選に就ては最も[illegible]心に勸說する處ありたるが大隈伯は表面故らに之に反對せざるも其實行に當りては殆んど顧ることなきものゝ如くなるより候は兎角に氣を揉み殊に問題となれる某國駐在外交當局者の手腕が當初憂慮したる通り拙劣なるより最早看過するの時にあらずとなし頃來宿痾の多少輕快せるを機とし親しく大隈伯と會見し直接意見を交換せんと歸京せりと

●支那商人の對日惡感

長春の支那商人等が日本綿糸布商に對しボイコットを企てつゝあると早くも日本側の知る處となり本邦領事より長春道尹に對し此の如き擧措は日支間の通商を阻害すること甚しきものなれば貴國商人に相當の警告を與へられたしと交渉する所あり道尹は即刻商務總會に諭示する所あり其結果ボイコットの決議をなすに至らずして止みたり併し支那商人等は尚多少感情を害し居る事とて日本側の要求通り直ちに代金の支拂を為さざるべきも今後漸次双方の意思疎通すれば日本側の要求通り實行せらるゝに至るべし

●富籤公債發行

支那政府は內國債に應募思は[illegible]からざるより今回富籤の性質を帶べる公債一千萬元を發行するに決せり

●戰爭と特許權

英國にては獨逸との國交斷絶と同時に獨逸人の有する特許權を全然取消し獨逸人が從來有したる同一の權利を許す事となりたるが我政府にては調査の結果英國主義を取らず大陸主義により日獨國交斷絶中單に獨逸人の有する權利の實行を停止するに止め從つて右停止中獨逸人の有する特許權を侵害するものあるも法律上制裁を與へざることに決したりと

●軍國議會の本舞臺

軍國議會の本舞臺は展開せられたが貴族院は各大臣の演說を聽いた儘で直ちに散會、早朝より御苦勞樣といふ外はない、所が衆議院は今日こそ書入日であつて議席も餘り空かなく傍聽席は軍國議會としては不入だがマア相當の入り貴族院議員席には德川十六代と曾我[illegible]髯將軍とを筆頭に溢れる許り大隈首相以下各大臣がヅラリ並んだ所は別段變れたやうな風も見えないが今日の首相の演說はいつもの樣に抑揚頓挫がなく低調だつた、加藤外相の演說は態度も言葉もシッカリしたものだが內容は日本の外交顛末と云ふよりも世界の外交顛末と云つた方が適當らしい、若槻藏相の妙なアクセントの演說が終了すると政友會から大岡硯海を壇上に送つた、第一番に火蓋を切つた質問は先づ如いとして、新聞記者に御馳走するといつて首相に對する[illegible]足取は成つて居らん首相は新聞記者に御馳走するのは少らしい種を出す事だといつた風な話[illegible]で巧くいつて退ける、その内に秘密會となつて犬養木堂が登壇した之を公開でやつて貰ひたかつたとのことだつたが何樣深刻鋭利な質問を發した加藤外相が御人がいゝから御分りになりますまいとか或は御調べが付きましたかなど丸で子供扱にする政友會の愚問駄言とは事違ひ大分手厳しくやつたさうな

●關東都督更迭

陸軍中將福島安正氏は去月十五日依願關東都督官となり、同時に大將に補任後備役被仰付、中村東京衛戍總督は關東都督に轉任せられたり

Statement of the ownership, management, circulation, etc., of The JAPANESE TIMES published weekly at New York, N.Y. for Oct. 1st, 1914.
Editor: K. Kai, [illegible] 5th Ave. New York, N.Y.
Managing Editor: K. Kai
Business Manager: M. [illegible] 218 5th Ave. New York, N.Y.
Publisher: Japanese Times Co. [illegible] Ave. New York, N.Y.
Owners: Japanese Times Co. K. Kai, Prop.
Known bondholders, mortgagees and other security holders: NONE
M. [illegible] Business Manager
Sworn to and subscribed before me this [illegible] day of Sept. 1914
[illegible]
(Seal) [illegible] Notary Public No. 215 New York County
My commission expires March 30th, 1915.

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次　日本郵船　大阪商船

シカゴ、ボストン、フィラデルフィヤ其他東西何れの地方よりも御出立の際は本社へ御申聞被下度候

▲手紙取次　[illegible]

▲各國語飜譯

▲通辨

紐育新報社

●名士歡迎會[illegible]

[illegible]

[illegible]、最

[illegible]

同胞電車に[illegible]

[illegible]人は去廿九日[illegible]レキシントン街の角[illegible]する際誤ま[illegible]に大負傷を受け人事[illegible]は直ちに[illegible]目下治[illegible]分娩の[illegible]家計上頗る困難を[illegible]護を望む旨日本人[illegible]然るに同人の電報[illegible]某辯護[illegible]評人なき爲[illegible]と甚だ六か[illegible]

[illegible]、第三席と[illegible]右に付一般の注意を記[illegible]に元來斯かる事件起り電鐵會社[illegible]へ損害を要求する場合は、結局の裁判は過失の原因か車掌運轉手にある[illegible]又は被害者自身に在るかによつて[illegible]せらるべきものにして、殊に被害[illegible]證據人なき時は[illegible]全然要求の理由立たざることとなるなり、左れば如何に電車の昇降に[illegible]者と雖も決して飛乘などせず[illegible]静に電車の止るを待つて昇降し不測の災難に罹らぬやう注意すべし、因に被害者植山及妻女は小川浚三郎氏[illegible]引受け世話し居れり

[illegible]

●馬鹿票で拘引　馬鹿票を人から[illegible]まれて買いに行き拘引された同胞三十四名あり、二十五仙で千弗の夢は[illegible]

●[illegible]　同一行は去五日[illegible]に赴き九日同地[illegible]大學を參觀[illegible]に向へり、一[illegible]見合はすべし

●黄興氏來紐　支那革命黨の首領者黄興氏は去六月渡米以來各地旅行中なりしか過日同行者三名と共に當市支那街革命黨員の盛んなる歡迎を受けたり、七日夜華府に赴けり來週はボストン市を訪ひ再び當地に引返した[illegible]る上暫時滯在更に歐洲に向ふ豫定なるか大戰中は革命を起さざるべしと

●日本人會の名士饗應　同會參議員は去三日高田、増田、松村、網嶋諸氏を開盛盛亭に招き晩餐を供せり

●青年會秋季總會　來十[illegible]日午後八時より秋季總會を開く筈なり

●[illegible]教聯合會と網嶋牧師　明十[illegible]日午後八時より當市基教徒聯合會は西百廿三丁目百[illegible]番レフォード教會[illegible]に網嶋牧師の靈性の危[illegible]と題する演説あるべしと

●[illegible]氏　日本倶樂部滯在中なりし[illegible]氏は去五日華府に赴けり

●[illegible]訪問團出發　同一行三十名は去月廿九日當地を出發せり、六日沙港發船佐渡丸にて歸途に就きたる筈

●[illegible]方商店より寄贈書目　婦人[illegible]報、英語研究、雄辯九月號

●金儲の好機會　本社に來談せよ手先の器用なる人は特に有望なり

●[illegible]通信

[illegible]毎年十月となれば[illegible]に減少すべき來遊客も本年は歐州戰爭の結果渡歐者少き[illegible]昨今打續き天氣の爲めか例年に比し割合に人出多く當市ボードウォークも仲々雜踏致し居候高田博士増田代議士の一行は[illegible]

●日本協會[illegible]迎會　去る二日アスター[illegible]ホテルに於て紐育ジャパンソサイティー主催の下に開かれし高田博士増田代議士一行の歡迎會は日米兩國民[illegible]百五十餘名の出席者あり同協會[illegible]ツセル博士の紹介にてラッシャース大學[illegible]セット博士司會者となり[illegible]ヤミン博士に[illegible]高田博士の演説あり[illegible]早稻田大學の起原[illegible]を述べ[illegible]最後に[illegible]日本の態度を[illegible]

[illegible]高田氏[illegible]出發ナイヤガラ、シカゴを經て十四日桑港着廿一日同港發船地洋丸にて歸國の豫定なり尚増田氏は一行[illegible]ピッツバーグの視察に赴[illegible]七日當地出發ボストン[illegible]に向ふ[illegible]氏は晩香坂より羅府に至る西部諸市を視察したる後廿八日桑港發天洋丸にて歸朝すべしと

[illegible]松村介石氏　故國[illegible]第四席は[illegible]第五席[illegible]一子が[illegible]氏共得意の[illegible]を述べられたる[illegible]時間の都合の爲め充分に其高說を聞れたる[illegible]當夜の[illegible]者は無慮六百名、備付の椅子不[illegible]足を告げ[illegible]爲め立ちながら終會迄傍[illegible]多く稀有の盛會なりき、午後十一時散會

時より近藤氏私宅に於て博士の講話會を開らき先づ高田博士は歐州各國旅行談より着米後の所感として日米人の融和に對し訓誡的に得意の快辯を揮はれ増田代議士は人生の幸福と[illegible]いふ演題の下に有益なる講話あり終つて座談的に歐州戰亂、時局問題、日本文字改良論等に遷つり快談數刻散會せしは十二時に垂んとする頃なりき

▲當地ボードウォークに於て數年間玉屋營業致し居られ候内藤勘三郎氏は紐育觀光團一行にて去九月廿九日出發三四月間滯在の豫定にて歸朝致され候

●紐育州豫選制度改正

プライマリー、エレクションとは各政黨の公認候補者を豫選するに當り此れ等の撰定を各選擧民の直接投票に依つて決定せんとする人民直接の豫選擧を意味するなり。更らに別言せば從來各政黨が其公認候補者を撰定するや、必らず政黨大會を開らき少數なる代表者に依つて撰擇し來りたる間接選擧法を改正し之れに替ふるに市民直接の撰擧に委ねんとする豫選擧制度なりとす。蓋し人民直接選擧の理想となす處は選擧民の自由意思を重んじ、所謂ボッス制度を改革して黨弊を芟除し以て人民直接の政治たらしめんとするにあるなり。米國聯合諸州中此の人民選擧制度を採用せるものは未だ數州に過ぎざるも、市民の選擧、人民の政治たる新思想は漸やく全州を風靡せんとする傾向あるは寧ろ喜ぶべき現象なりと云はざるべからず。此の意味に於て合衆國上院議員の直接選擧制の實施せらるゝは當然のことにして、更らに進みて大統領が國民の直接選擧により撰出せらるゝ新時代の到來するは敢て遠き將來に非ざるべし。然れども直接豫選擧制の實現は或る意味に於て政黨の共同的精神を無視し政黨政治の運用機關としての政黨組織に多大の影響を齎すべきや云ふ迄もなし。何となれば人民直接豫選擧制度は所謂一人一黨制度たらんとする新現象を視るに至るべければなり（涙泉）

●歐州巡業 日本輕業師の運命

▲八月二十日まで獨逸に在留してゐた日本人の全部五十人許りは保護といふ表面結搆な名の下に官憲の手に拘禁されて敵國の監獄内に幽囚の日を送る身の上にある、五十餘人の半數までは興行主に身を縛られた輕業師其の外の藝人である、是等日本人の藝人連は如何んに ▲歐米を股にかけてゐる連中は現在十三組許りもある、組の大小によつて人物も衣裳も働き振りも夫れ〳〵違ひはあるが大抵八人から少いのは五人位が一座を組んで ▲得意の輕業に西洋藝人の唱歌舞蹈音曲曲馬から支那人の手品迄合せた合同大一座の間に伍して喝采を博してゐたのである、一座の重なのは山形、岡部の大頭を始めとして万歳、日の出、富士、横田、天下、安藤、三津田、難波など藝人の數は百人にも餘る。▲吉村すて女が萬事肝煎りをしてゐて倫敦ランスダウン、ロードに根城の立派な邸宅を構へてゐる 興行地は夫れこそ歐米足跡到らぬ處なき有樣で獨逸では伯林、ハンブルグ、ブレスロー、コローン、フランクフオールト、キールなどから ▲墺國では首都のウインナ市ローナ、ハアポロの寄席などは書入場所として毎年大當りを占める所がある夫れから白耳義のアントワープからブラッセルのバラリーなどは一流の寄席であつて例の ▲妖艶な賣笑婦が客を誘惑する爲に盛んに出入しては午前二時頃までも賑ふ所、此處でも日本人の輕業一座は呼物の一つになつてゐる斯ふいふアン館に現在血河屍山の戰場は日本藝人が歐州泰平の民から盛んに喝采される場所ならぬはない興行は株組織になつてゐるので日本人一座は月給制度で大抵七千マーク即ち ▲三千五百圓に當る、それで藝はといへば極めて樂で日本から取寄せた凝つた背景と珍衣裳これは京都堀川の上村といふ家で拵へるのであるが繻子の地にコッテリとしたぬひをしたもので背景は數千圓も金をかけてゐる衣裳も ▲一着五十圓は下らぬ、夫れが十日なり二週間なりの興行期間中毎夜衣裳の變つた所を目にかけるので違つた衣裳十數組は備へて置かねばならぬので可成りの金がかゝる先づこの日本趣味を妙に發揮した目見が濟んで愈々輕業を觀覽に供して了ふまで二時間は僅に十三分位、これで七千マークを得るのであるから ▲ボロイやうだが之れだけの相場に漕ぎ附ける迄の努力は又大したものであつたに相違ない、日本人の足藝か手藝の輕業が眞似手がないのとの評判を責る迄には一方ならぬ涙や血やが拂はれてゐるとのことである、何がさて死身になつて異郷に稼いでゐる是等藝人のことであるから金を擱むまでは大抵の事件には驚かぬ ▲今度の開戰なども風評位の時分には耳にもかけずに働らいてゐたであらうが迅雷的の獨逸の開戰には彼等も如何ともする事が出來なかつたのであらう ▲大阪府廳から旅行免狀を下附されてゐる藝人では吉村すて、竹村喜藏、鈴木清の三人があゐ、何れも岡部一座であつて吉村すては倫敦に居宅を構へた興行座長、喜藏は足藝人清は喜藏の相手をする子役である三人とも拘禁の憂目を見てゐることであらう

●投書籠

▲妻帶奬勵大ひに宜しひが一ヶ月五十弗や六十弗の收入しかないものが白人の妻君を貰らひ、小供が出來て共稼ぎをする事が出來なくなり結局家族を棄てゝ逃げ出したり友人に迷惑をかけるやうな者もありますから結婚をするなら第一に收入の點を考へる必要があります（失敗妻帶者）▲齒を製造する所の職工で居ながら女郎屋に行て自分はドクターじやとか宮内省御用齒科醫の悴だとか駄法螺を吹く大馬鹿者が居る、耻を知れ（仇木生）▲自分は近ひ内美人と結婚すると友人に觸れ廻したのは上出來、然るに此頃結婚を止して其代り自動車を買つたと言ふのは可笑しいぞ一体どうしたんだ色男（タイムススコヤ）▲近頃同胞間にケーン倶樂部なるのが組織された怪長中原斗一クン副怪長菊地東陽クン怪員には金親正直クン伊藤眼鏡クン竹中長身クン岡田精力クン顧問は在日本の早川生命クーンじやげな（ケーン六百の名士）演說會傍聽者中に婦人の參會者タッタ四人以て新育が如何にドライ黨の多きに苦むかを知り同情に堪くぬ（上町生）▲一人の色青さめた青年が易學大家吐龍先生を旅館都に訪ふて身の振方に就て易斷を賴むだ、吐龍先生恭しく筮竹を撚くつて見ると何の事はない本人の前途は八方塞がりと出たので先生も氣の毒になり色々身の上話を聞て見た上日本行を勸めた見料は幾何らと聞くからナアーニだうでもよいと答へたら五十仙置いて歸つたげな、易學大家先生もイクラ見料隨意だからといつて五十仙とは可愛想じや（都生）▲名士演說で大ひに有益な話を聞ひたか今度は在留不平黨の氣燄會を開いてはだうじや序でながら舞踏會の一件は其後だうなりましたか（演說屋）▲西部の邦字新聞中に人氣投票だの美人投票だのと今から二十年も前に一時流行した布哇新聞式の金儲けを企む新聞社がある、文明國のアメリカで社會の先覺者を以て任ずる新聞社かコンナ下等な事をたくらむとは怪しからんじやないか（投書嫌）▲新育の同胞は貿業家といはず勞働者といはず學生といはずミンナ神經衰弱の症に罹つて居て中には牛氣狂の書生見たいな勢ドウ者か多い多分空氣か乾さうしてる處へドライ生活を送るからであらう（牛ドライ）

No.1[illegible] VOL. [illegible]

The Japanese Times

SATURDAY Oct. 17th 1914

紐育新報

所謂個人主義の教育

義は紐育日本人會の主催に係る來遊名士の講演會に於て、多年學閥攻擊軍の急先鋒として心血を教育界の刷新に注がれたる高田半峰博士の持論を傾聽するを得たるは吾人の欣幸とする所なり。

博士は近般洋の東西に亘り、有史以來未だ曾て見ざる大戰亂の[illegible]を惹起し、獨逸の[illegible]潤するに至らしめたる[illegible]當然[illegible]者の肩上にあるを指摘し、彼の[illegible]すべき「ティノ、シャーマン、カルチユーア」の[illegible]稱讚すべき「グレート、ジャーマン、インダストリー」の成力ここに文明せらる[illegible]たる獨逸國民か[illegible]然として干戈を執るに至りたるは、現下戰局を[illegible]主義の思想に驅られたるに過ぎず、を強調し、要するに是れ國家を偏重し個人を偏輕する主義の教育、換言すれば國家主義的教育の齎らせる罪なるを以て、自己の作業の所論たる個人主義的教育の[illegible]教育の根本方針とすべき[illegible]ことを不[illegible]せりと[illegible]れたりき。堂々、引證[illegible]博、吾人は[illegible]に接し[illegible]博士の造詣[illegible]一[illegible]にあらざるを難しとせず、而も博士の所謂個人主義的教育か個人の個性を尊重し、[illegible]能有る個人を作らんとするは、[illegible]し國家に國民をして[illegible]「ヒアラズム」の[illegible]しめんとする一の[illegible]方に外ならず、[illegible]如何なる[illegible]べきや[illegible]としての資格を[illegible]「ストロング、センス、オブ、インデペンデンス」「イ」を体得する個人を[illegible]するが、一旦有事の秋に於て如何なる[illegible]を個人主義的教育に要求し、[illegible]才、換言すれば個人主義的[illegible]伴ふ多くの場合に於て、[illegible]を誘長するに力むるべく隨つて開接に戰爭の機會を緩和すべきとは疑問の餘地を存せざれ共、國家及び國民の自衛上戰爭不可避の場合に於て而かも見、戰爭の實を擧げ以て「權力は正義にあらず然れ共正義は權力也」と斷言し得ることを保證すべしとなすか。

吾人をして暫らく説をなさしむれば明治以降東洋の君子國に於ける教育は富國強兵の尚武主義を綽とし極端なる武士道崇拜の服從主義若くば權力遵奉の官僚主義を經させるものにして是れ必ずしも正確なる意味に於ける獨逸の國家的教育と同日に論ずべきにあらざるべし。カント、ヘーゲルの大哲學を有し、ゲーテ、シルレルの大文學を有し、將た又た有る近世科學の精粹を蒐めて世界の學界に雄視するチユートニック民族は[illegible]實際化する方面即ち殖産興業の方面に於て有能なる教育の普及を受けたるが爲めに、個人の理想の[illegible]實力觀に加はり、普佛戰爭以後未だ半世紀に達せざるに拘はらず、[illegible]歐洲の大陸を席捲して[illegible]三分を經綸する形勢を馴致し、以て今日に至れるは、實に其國家主義的教育の賜にあらざるなからんや、吾人は如今國際の情誼に訴へ、或は戰爭の理義に依り、將亦競爭國としての利害關係に基き、鍼梗一下獨逸の一蹶再び起つ能はざるに至らしめんことを[illegible]すると共に英佛白露の聯合軍が終局の勝利を占むべきを豫想せんと欲する者なれ共、獨逸國民の[illegible]、兵として精鋭ならざるはなく、軍として整備せざるはなく、且つ巧みに科學を應用して秀拔なる攻城[illegible]の戰術を發明し、擧國一致、東に露國の侵略を擊退し、西に白耳義を征服して正に北海々岸を領せんとし、南に英佛の聯合軍を壓迫して一舉北上を容易ならしめず而も得意の外交をバルカン半島に用ひては土國を籠絡して南亞の獨人を使族し[illegible]は支那を占領に謀り、其他米國に對して[illegible]を覓むるの運動を開始し、[illegible]を責めて他日の左券を得るに力むる等應に參差、機略縱横殆んど餘日なきものゝ如く而も他面財政の實情必ずしも悲觀するに足らざるを聞くに至りては吾人は敵ながら嘆服の聲を發せざるを得ず（未完）　故山逸客

獨帝の活躍

▲舊劇的主人公の運命

空々子

▲此頃は何うやらカイゼルの旗色が能いだ　先頃敗け通した時分は、皇太子に當り散らし、宰相に當り散らし、ベートマン、ホルウエッヒも手を燒いて内々米國に講和を賴んで見ると英外相グレー君はカイゼルの鼻柱を陷落させぬうちは講和罷まり成らぬと許り劍もホロヽの挨拶、誠に敵ながら少々御氣の毒のやうであつたが、今ではイヤ獨逸中々以て侮るべからずといつた所で、別に識見卓然として俗流を拔いてゐる譯でもない、矢張りカイゼルは豪いと感服してもつむじ曲り、橫紙破りの十八番が初まつたと言はれる氣遣は大丈夫ないだらう、が調子に乘つて歐州の地圖を變へて見せるなどゝ力んだり叔母さんに電報をやつて、此勝利を得させ給へる神に光榮あれなどゝ難有がつたりしてゐるのを見ると、[illegible]がないと言へば果がないが、[illegible]得意面の早變り、フ、ンと冷笑してやり度なる。

▲併し何と言つても此世界的大芝居の作者でもあり、興行者でもあり、役者でもある八人藝の而も大立物といふのだから、勝つても負けてもカイゼルの名は世界歷史に不朽の位置を占める譯で、此點は口惜しいか認めてやらねばならぬ。

▲カイゼルある爲に此芝居かいくら舞臺か引き締り、いくら見物の興味かそゝられ幾くら役者仲間の競爭心か刺擊されるか知れない、さうしていくら悲慘と殘虐とか高調され、いくら怨恨と憤怒とか色彩され、いくら正義と罪惡とが對比されるか知れない、余輩は種々の戰報の矛盾撞着、虚實混合してゐる中にもカイゼルの面目か躍つて見ゐるのを毎日新聞を讀む樂みにしてゐる。

▲カーライルは世界の歷史は偉人の傳記だと言つた、今度の戰爭など、カイゼル征伐に世界中掛つてゐるやうなものだから豪らい無論カイゼルに關する記事には噓が多いだらう、だか考證的歷史家に言はせると平家物語や太平記は噓許りだといふ、實際さうだらう、併し噓の中に實のあるのは花魁なるものの手管許りではない、個々の事實に噓はあつても、之を人の頭で濾過すれば自から純粹なる概念が得らるゝ、平家物語に現はれてゐる源平武士のローマンチックな生涯は正史以外に鮮かなる時代の觀念を與へる、新聞の記事に誤報があり虚報が多くても、之によつて時代精神の動く所、人物氣象の移る所を察するに大抵間違はない、カイゼルを見るには、一々事實の虚實を詮索せなくとも十分である。

▲併し此大芝居をして[illegible]余韻の文を滿足させるには、結局カイゼルに負けて貰らはねば困る、必ずしも低級の勸善懲惡式意味からではなく、カイゼルが[illegible]勝つては、劇曲的興味[illegible]だ、淸盛は生きながら焦熱地獄に落ちたから劇曲的人物の要素か備はつたので、ナポレオン一世の傳記からセントヘレナの一章を取つては興味索然たるものになる、余輩のカイゼルを讚美し、カイゼルを最負にするは其悲劇的終局を前提としてゐる、さうして今日に於ける勝利の如きは、益々此大役割を反得する舞臺的技巧と見做し正直に其奮鬪振りを喝采してやるのである。

▲或人曰く貴公は凡俗主義多數主義、即ち民衆主義者ではないか、カイゼルの人物觀は主義に反する様だと、そんなことかあるものか、勞働組合か如何に勞ドウ者に壓制し政黨が如何に黨員に壓制してゐるか其實を見れば、人物の權威はすべての組織すべての形式に超越することを語るだらう、民衆的傾向いよ〜〜盛んにして英雄崇拜的傾向いよ〜〜加はる、は社會主義者の首領に對する態度か說明してゐる、只專制的君主と異つてゐるのは、多數か尊敬を挪ふのと、挪はせるとの相違に過ぎない、挪ふ分量は同一でも挪ふ氣分は大きに違ふ。

▲だから民衆主義を以て非天才主義だといふ學者の議論は迂遠笑ふべきものである、余輩は民衆主義だから、すべての凡人を尊敬すると共にすべての偉人を崇拜するのである、夫れから斯うも言へる、カイゼルの運命は少くとも近代劇の主人公ではない、イブセン、ショーの主人公ではない、少くともセーキスピヤ時代の古典的劇曲の主人公である、斯ういふ芝居はもう今度が恐らく最後だらう。

●獨軍優勢に向ふ

ア港陷落の結果

白軍が獨軍に對して有力なる最後の抵抗を試み以て連合軍の北進に便ならしむべしと豫期せられしアントワープ要塞は砲擊開始以來僅に十日間にして去十日遂に獨軍の手中に歸し、防禦軍並後援として來たれる英軍の一部は和蘭國境を越へて北方に潰走し國王アルバート陛下は敗殘の[illegible]を率ゐて[illegible]に逃れたるも[illegible]の形勢殆んど窮まるや遂に身を以て國外に逃竄するに至れり、蓋しア要塞の陷落は連合軍が過去一ヶ月餘に亘りて其主力を傾倒せる旋回行動を無效に歸せしめたると共に獨軍は之に依りて[illegible]戰計畫上最も有利たる地歩を獲得せるものなり、即ち獨軍は其結果として後顧の憂を除き得たるのみならず、ア港包圍に用ゐたる四個軍團並其巨砲を轉じて直ちに[illegible]の左翼を衝き、[illegible]行動を試むるを得べく或は敵の中堅たる[illegible]ルング方面を突破して敵陣の中斷を試むるの便あり斯の如く獨軍の勢頓に揚れるに反し英佛連合軍は辛じて從來の陣地を保留するに止まり何等目覺ましき戰勝を得ず、殊に唯一の望を屬せる北方露軍の氣勢全たく振はざる一事は更に各軍の士氣を[illegible]喪せしむるの資料たらずんば非ず、去十二日以來の報道を綜合するに露軍の右翼は未だ何等の進境を示さず其中堅たる西部露領ポーランドは大半獨軍に侵略されて其首都ワルソーの陷落近きにありと傳へられ露軍は後方全軍の連絡を中斷せらるる恐れある結果一旦占領せる南方ガリシヤ左翼方面を棄て、遙かに後方に退却し再び陣容を新たにし獨逸軍に對せざるべからざる情勢にあり、獨軍目下の形勢は大略如上のなるが今後全体の形勢に如何なる變動あるべきやは未だ俄に速斷し易からずと雖も近き將來に於て戰亂の終結を告ぐるが如き事は到底思料の外なるべく時局益々紛糾し來るゝ共に日本軍の應援を必要とする時期なきにも非ざるべきか

●非戰闘員青嶋退去　在青嶋米國領事ヘック獨支人男女等の非戰闘員に十四日同地を退去する筈なるが斯は青島總督が同地在留非戰闘員の生命を保護すべしとの大命を奉ぜる吾攻略軍の要求に容れたる結果にして以上非戰闘員は山東鐵道にて同地を退去すべし（東京十四日發電）

●日獨飛行隊接戰　日獨飛行隊は青島の高空にて會戰せるが双方共に損傷なく、敵は九千呎の高空に飛揚せしまゝ雲間に其の影を沒し去れり　同上

●攻擊開始は十七日　十四日北京電報に依れば日本軍の青島攻擊は十七日[illegible]曜を以て愈々開始さるべしといふ

▲獨軍の南下　獨軍はア港占領後[illegible]オステンドを[illegible]今やオステンドに向つゝ進軍中なるが十四日の倫敦電報は同地にありし白軍の大部分は既に數隻の運送船に乘じて去り只僅かの白兵殘留し居れりと報せり、尚獨軍右翼の司令官クルック大將は連合軍左翼の援軍に對し、リル市を守らんが爲め全勢力を同市に集中せりと

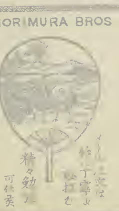
●ワルソー駐在米國領事は十二日國務省に打電して同市の危險を報じ在留米人保護に關し如何なる態度を執るべきや本國政府の意向を[illegible]來れり

●英領南阿に叛亂起る　英領南阿の北西部守備隊指揮官陸軍大佐マリッツは去十三日本國に對し叛亂を起せり、右に付英領殖民地總督バクストン氏は南阿一帶の領地に戒嚴令を布けるが同總督の宣言に依れば今回の叛亂は獨逸が英領地域に接せる自國領より數多の軍事探偵を放ち或は種々なる手段を以て共和國建設の美名の下に守備軍人の一部並に市民を腐敗せしめたる結果なりと云へり

●參謀總長更迭説　陸軍參謀總長長谷川大將は次長明石中將との間に[illegible]戰上意見の扞格あり其結果として[illegible]

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
2[illegible] Sixth Ave, N. Y. City,
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ



●言論抑壓條令發布

吾外務省は去月十六日の官報を以て左の如き省令を發布せり

外務省令第一號

新聞紙法第廿七條に依り當分の内國交に影響を及ぼすべきことあるべき事項を新聞紙に掲載することを禁ず但し豫め外務大臣の許可を得たるものは此限にあらず

附則　本令は公布の日より之を施行す

更に松井次官の名を以て各新聞社に左の如き通知をなせり

新聞紙雜誌檢閲に關する件左の通り相定め候條此段及御通知候也

一、外務省令第一號に依り新聞紙雜誌掲載事項に關し外務大臣の許可を得んとするものは原稿紙を提出し檢閲委員の檢閲を受くべし

二、原稿紙は毎日午前八時より午後八時まで檢閲委員之を接受す

三、原稿紙の提出に關しては左の各項に注意せらるべし

イ　郵便を以てせらるゝ時は遲延の虞あるを以て成るべく避けられたし

ロ　電話又は口頭を以て檢閲を受くるを得ず

四、原稿紙檢閲の上許可の證として一定の印を捺すべし

五、許可を與へざる部分は朱にて抹殺又は消印をなすべし

六、前二號の原稿紙は各社に於て一週間之を保存すべし

尚新聞紙掲載禁止事項は別紙標準に依るものと心得相成度、此段申添候

（別紙）

國交に影響を及ぼすことあるべき事項を例示すれば左の如し

一、現在帝國に於て關係せる同盟又は協約（日英同盟、日露協約、日獨協約、日米協商等の）の目的に背反する記述　記述とは記事通信說述を云ふ）

二、前號記載の同盟又は協約以外協約密約又は同盟等新に成立したるが如く想像せしむるか如き報道

三、帝國と支、露、英、米、佛等の關係に關する全然事實無根の報道又は過激なる挑發的記述

四、友好國元首に對する誹謗

五、他國の領土に關し過激なる侵略的記述

●英國より覺書を受く

日本も講和談判に參加す

加藤外務大臣は九月九日貴衆兩院に於て左の演説をなしたり

諸君外交上の事に關して諸君に御報告を申上げたいと思ひます諸君が新聞紙上で英佛露三國の間に近日戰爭を終了する時に當て講和をなすと並に講和條件に關して協約が出來たといふことを御承知になつた事と思ひますがそれは事實でありまして英佛露三國の間に結ばれましたる協約の主旨を只今申上げますが協約文は次の通であります

下名は各その本國政府より正當の委託を受け茲に左の通宣言す

英國佛國及露國政府は現戰爭中は單獨に講和せざるべき事を相互に約す右三國政府は講和條件を議する場合に於て何れの同盟國も豫じめ他の各同盟國の同意を經ずして講和條件を要求せざるべきことを約す

右證據として下名は本宣言に記名調印す

千九百十四年九月五日倫敦に於て本書三通を作る

右に英國外務大臣と駐英の佛國大使露國大使三名の名前があります英國外務大臣は右の趣きを在英の我が特命大使に通告になりましたと同時に井上大使に對して左の如き覺書を渡されました

覺書

英國政府と佛露兩國政府との間には從來何等の取極なかりしにより今次共同に從事する戰爭に關し右二國政府と協約を締結したり日英兩國政府間には同盟協約第二條の規定あるが故に今更斯の如き協約をなすの必要なし英國政府は講和締結及講和條件に關し佛露兩國政府と取結びたる協約は英國政府が既に負擔する義務たる日英同盟協約の規定と毫も變更するものと看做すべからざると並に英國が戰鬪及講和に關し日本と協同し且つ双方合意の上に於て之をなすは言を待たざるものなることを佛露兩國政府に通告したり

●露特使と日本　軍需彈藥及び軍需品購入の使命を帶び來朝せるケ將軍は十二日午前十時陸軍省に岡陸相を訪ひ其要望を開陳する所ありたるが帝國政府に於ては友邦の國難に際し能ふ限りの便宜を與へ其目的を貫徹せしむべく陸軍省に於ては十二日日曜日にも拘らず大嶋次官以下各關係諸官早朝より登廳右に付種々協議する所ありたり

●移民協會發會式　板垣伯、入江子爵等の發起にかゝる日本移民協會は十日午後二時より東京商業會議所に於て發會式を擧行せり來會者は百餘名にして鈴木梅四郎氏の發會の辭に次ぎ中野武營氏座長となり大隈、板垣兩伯の祝辭あり元田肇氏は我國移民事業の最も重要なる所以を論じ中野座長より評議員を指名し四時過散會せり同協會の目的は左の諸項を行ひて我國移民の發展を期せんとするにあり

一、在外同胞の後援をなす事
二、移植民に關する情報を國民に知らしむる事
三、移民排斥に關する調査をなすこと
四、移民改善に關する調査をなす事
五、移民に適する地方を調査する事
六、移住者指導の事
七、移住者訓練の事
八、移民渡航の門戸を開放する事
九、女子渡航奬勵の事
十、旅券交附手續を改善する事

●龍口邦人の苦難

龍口は時局以來大連其他より邦人の入迅む者既に二千三百人を超ゆ其中確實に事業を有し居る者は十人位にて大部分は浮浪の徒なるが軍の經理が進歩せると規模の小さき爲め空想を滿足し得ざるのみか一錢の仕事もなく剰へ小市街の事とて身の置場所に窮し強て支那人の家に割り込み居る中此程の大風雨のため家屋の崩壞百を超えたれば如上浮浪の邦人は崩れ煉瓦を積み其上に露宿するまでの苦難を嘗めながら尙歸らんとはせず血眼になりて仕事を求むるより其處此處に衝突を始め其狀寧ろ憫むべく旅費は固より飲食にも窮迫せる事とて中には支那人の殘飯を貰ひ僅に露命を繋ぐ等乞食同樣の者もあり占領地に非らざる外國にありて帝國の面目を損すること甚しく文武當局者は國威發揚の此際痛嘆しながら制裁の手段なきに困じ居れり尙醜業婦は關東州にて相當取締り居れるに如何なる運動の末か旅順より卅名の淫賣婦公然乘込み藝者と稱する者も二人來り支那人の陋屋を賃借し一室を金巾或はアンペラにて數室に仕切り奇怪の營業を開始せるが是のみ凱歌を奏せるは一層苦々しき次第にして[illegible]來のと合して約四十となり當局者は遂に默認して在來者と同じく檢徵を行ふの止むなきに立至れり但し軍規は依然嚴肅にして營業者の門前には憲兵の警戒を嚴にして軍人の入るを禁じ居れば狙ひの外れたるより專ら商人の自暴遊び錢を絞り長沒落を早めつゝあり物價益々騰貴し平素八厘の鷄卵が今は三錢にても求め難く其他の品も大抵三倍に達せり

●玩具輸出の好機　十三日桑港沼野總領事發電に曰く從來獨逸品の獨占せる玩具市場を調査するに當市の重なる卸商は日本品に對し何等僻見なく本年は仕入も大拂底を感ずべきに付日本品販路擴張には目下絕好の時機なりといふに一致せり尙當業者の評言として左の諸点注意に値す

一、從來日本品といへば美術骨董品のごとき特産品に限られたるが是等は一時の好奇心を挑發するのみ永續且多量を得るためには當地人情風俗に適應せる日用品ならざるべからず

二、獨逸品の特徵は自國風を滅却し只管需要者の好みに應ぜん事を努むるに在り普通人形に就ていふも當國の兒女の喜ぶは畢竟自己に似たるが故なり日本の人形を其儘輸入し當國兒女を喜ばしめんとするは困難なり

三、故に販路擴張のためには當國の實情を咀嚼し需要に適する品を輸入せざるべからず高價なる美術品は兎に角日用普通品は何國産たるは問ふ所にあらず品質良好價格低廉ならば需要あるべし惟ふに右の如き事情は玩具以外の品に就ても共通なるべし故に能く當國人の心理狀態を了解する能力ある當業者をして此際至急實況視察のため渡米せしめられたしクリスマスを近きとにつき視察上便宜多かるべし

▲海軍事件大團圓

内田海軍省司法局長の談に曰く海軍の收賄問題は愈々藤井少將に對する判決を以て一先つ大團圓を告げたり同少將の瀆職問題たるや當司法局に於ては其職務上に因る犯罪行爲なるや又は勞力に對する報酬なるやを調査するに苦心し出來得る限りの方法を講じて研究を續け遂に英獨兩大使館附武官を煩はし夫々調査を遂げたり而して其結果として當局に於ては同少將より加賀[illegible]に預け置きたる金子は全部が不正行爲に依りて得たるものに非ずといふ事を確めたるも二個以上の收賄事實あるを以て併合罪に準じて四年六ヶ月の刑を宣告したるものなり判決言渡の際に於ける同人は既に諦め居たるらしく收禁中は日々修養書を讀み耽り居りたるが歐州戰亂日獨開戰を語り聞かせたる時には流石に感慨無量なるものありき當予自身としては同人の收禁中萬一吉田收吉の如き不慮の事件突發することあらば申譯なしと夫れのみ心配し居りたるに幸ひに事なきを得始めて安心することを得たりと云々

●日本軍票使用制限　支那政府は日本の軍票は交戰區域外に使用すべからざる旨山東將軍に電命せり

●外人取締勵到　戰時に於ける外國人の取締りに就ては豫て內務外務兩省其他にて注意を加へ各地方官に對しても大隈內相より訓示する所あり殆ど遺算なしされば其後各地方主任官よりの報告によるも豫期通りの成[illegible]として取締の任に當り成績頗る良好なりと

●乃木大將祭典　乃木神社奉齋會にて十三日午前八時赤坂新坂町なる乃木神社の前には折柄の秋雨を冐して乃木會會長阪谷男を始め川村大將、山根中將、木戶侯、德川達孝伯、小笠原長生子、澁澤男其他學習院生徒軍人等百餘名が集つた、定刻式場には[illegible]日枝神社宮司祭司として祭典を行ひ阪谷會長を先頭に來賓一同玉串を捧げ式後參拜者は引續き絶えぬ乃木家の墓前に向つた墓前には[illegible]會、三島彌太郎子在鄕軍人赤坂分會等より寄贈の生花眞榊等が數多く飾られてある十時から墓前祭が行はれ雨は益々降り出した

●織田一氏逝去

沙港に開かれたるアラスカユーコン太平洋博覽會に事務官として參當地に知巳多く其他海外の博覽會々事務官長として派遣され博覽會通の聞えある元農商務參事官正四位勳二等織田一氏は本年二月病に罹り爾來入澤博士橋本醫學士の診察を受け靜養中なりしが腎臟病併發して漸次衰弱甚だしく去月廿日夜來病勢俄に革まり廿一日午後四時終に逝去せりとの報道達したり享年五十一家族は夫人と子女の間に二男四女あり

●首相隈伯は新聞記事取締の勵行せざるべからずと聲明したり

●米國の日本軍器製造

▲横濱正金三井物産の取次

ウイルソン大統領の平和主義のために米國東部各製鋼所や武器製造場は恰も火の消えし如く寂寞を告げつゝありし折りしも歐州戰亂突發して日獨戰爭となるや是等の鐵鋼所や武器製造所は俄に開業し十數萬の職人や勞働者は轍鮒の蘇生せし如く大に活路を啓いて晝夜兼行その業に就きつゝあるが皆何れも日本より注文せしもの若くは日本を經て歐州より注文せし武器を製造するものにして之が取次をなすものは主として横濱正金銀行にして尚三井物産會社も少からずこれを取次居れる由從つて沙港及び桑港より出帆する東洋行船舶が毎回貨物を滿載するも之に原因するもの多しといふ

●天長節祝賀なし　來る三十一日は天長祝賀日に相當すれど皇太后陛下大喪中なるにより宮内省には祝賀式を差控ふる旨官報を以て發表されたるにより在留同胞間にても其注意を要すべく前過般の解喪は宣戰奉告當日丈けの解喪にして出征軍人丈けは特に喪章を附せざるも差支なしとの布告を發せられたるのみ一般大喪は當初發表の通りにして何等の變更なき由なり

●戰時藥品類取締

歐州大亂の結果として從來獨逸より輸入し來れる藥品類の供給不足を告げると共に價格の暴騰も著しく各國共に非常に困難を感じ居れるが米國製品は僅かに自國の需要を充たすに止まり目下の處比較的多額の藥品類を所藏するは吾國のみなるより利を見るに拔目なき猶太人商人等は奇禍措くべからずとなし、僅かなる手附金を以て日本藥品を買占め之等藥種、賣藥を米國に輸入せず其儘日本に保留し置き價格の暴騰を俟つて一擧に之を日本商人に賣付けんと圖るに至れり、右に付吾當局者は一般に對し大いに警戒する必要上、在外領事館の證明あるものに非ざる以上は日米間に藥品の取引を爲す能はざる事と規定したり

●日本人歸化許可　晩香坡在留民三百九十二名の歸化請願過日許可せるが右請願書中二百五十名は同地にて三ケ年以上十七ケ年在留の日本人にして以上許可の理由としてクラント判事の言によるにバンクーバーにて編成せらるべき日本人義勇隊に編入の必要を容る必要上歸化請願書を許可せり

●日本人會役員會　は去十二日河本旅館に於て開催、會計幹事の事務報文書記撰定支部設立等に關する委員高見、一宮兩氏の報告ありたる後諸般の討議に移り左の事項を決議して散會せり

一、書記一名採用の件月俸四十弗にて紐育教會なる田平儀三郎氏を撰定す

二、支部設置の件、當分の中不必要と認め延期に決す

三、事務所移轉の件、目下の事務所狹隘を感ずるを以て、費用一ケ年三百弗を越へざる範圍内に於て適當の場所に移轉すること但し位置撰定は役員幹事に一任す

四、參議員補欠選擧の件、岡宮義一吉田宗章兩氏當選せり

五、會員茶話會開催の件、時々開催して會員相互の意志を交換する事會場リースとせず臨時役員に於て撰定する事

●滑稽中村達し　過日料亭千歳に去る所より電話あり、千人の山本君アレサーとしたれど何が何やら薩張不判然其處に居合せたる人々入代り立替り應答に末漸く先方の言は「中村」に早く面會し度きが住宅なるやとの電話なるまゝ只判然とし故へ～へ～中村さんは此二階へ御出居で御座います、電話を打切りたり然るに間もなく千歳の前に勢よく止りたるは立派なる自動車搭載かめしき三人の紳士はソレ～と梯子段を上り來り中村君自に面會度しとの事となり、折柄千歳は案内申ベントを塗り代へ中に、非常に取亂し居りしが山本君はブラッシからべ～ートをぺた～～落しながら一謂なる中村君の妻君を呼びたるに妻君は之亦掃除最中にてエプロン姿の儘出で來り中村は手前で御座いますが貴方樣は誰方樣でと尋ねられた三人の紳士は不審議相にあたりを見廻はしつゝ拙者は獨逸より來りし者紐育總領事中村巍君に面會致し度う御座るとやつたので茲に始めて紳士の尋ねし中村は日本玉場の主人公ならで、中村總領事なりしことが判りて吹き出したるが殊に最も滑稽なりしは其場に居合せたる日本人のベート屋先生、總領事を尋ねたる人と判つた時無愛相な面をニヨシキリ差出し「アンタダッテ判んテー」と思つたら領事かい、夫れなら竹田の店へ行つて聞くが好かんべーーとやつたので流石の紳士も面食ひ逃げん許りに辭し去りたる由

●驚く可き在留民の増加　今年四五六七八の五ケ月間に於ける在留同胞出生兒數に就き在米日會の調査する所によれば一ケ月平均百五十人に達し之に依つて見るに在留同胞一ケ年間の出生兒數は少くも二千人に達すべく尚各地日會よりの調査未着の分もあるにより更に精査をなすに於ては驚くべき増加數を見るべしとなり

●青年會總會　去十一日會館に於て開會役員の選擧を行ひたるに幹事増澤丈兒會計野村幸吉、會計監督西田雄武等何れも再選せられたるが當夜決議したる事項はベースボールユニフォーム調製、器械體操器具備付會館の再リース大會無期延期等の諸件なりき因に同館の會計は眞面目なる青平の入會者漸次增加しつゝある結果極めて良好に向へりと可喜

●松村介石氏の説教　來十八日（日曜）修道會館に於て松村氏の説教あるべし、尚修道會は過日より英語夜學校を開始せり

●大平洋北部沿岸方面警戒　同地方は英艦三隻日艦二隻にて嚴重に警戒中なりと林富平氏の近信は報せり

●少女凌辱で入監　下町の島なる男はロングアンドの夏場下宿に料理人として就ドウ中隣家の一少女と妙な中となりしか此程右少女が同人を訪ねしとこ出市し某下宿の近傍を徘徊し居たるに通り合はせし巡査は田舍娘のそれを怪みて後をつけて來り色々事情を質したる上十六歳以下の少女を凌辱したりとの理由にて島を逮捕し發し其裁判は去十五日開廷判決は今日頃なるべし

●高田、増田兩氏の寄附　兩氏は日會共濟部へ金五十弗を寄附せり、因に高田博士は目下市俄古に滯在中なるか同地より日會宛にて在留者一同へ禮狀を寄せ來れり

●鐵道院技師工學士江浪常吉氏　當地出張中なりし同氏十四日出發歸朝せり

●藤井彦吉氏歸國　多年高峰事務所に勤務中なりし同氏は今回三共株式會社に聘せらるゝこととなり本日家族同伴當地出發桑港經由春洋丸にて歸朝する筈なり

●竹田久吉氏　歸米故國滯在中なりし同氏は五百藏こめ、清水ひさ女等同伴去十六日歸着したり

●田治見商會員小野正一氏　十六日日本より着着せり

●母國訪問記（一）　[illegible]

我々の母國訪問團一行の多數の知己朋友に見送られて高麗丸に紐育を離れたのは廿九日の午後二時、[illegible]に投ずる和かな日光、色彩られし沿道の樹木など秋ならでは見られぬ風景は永年月母國の空に戀々の夢を走せた我等の胸に底しれぬ嬉しさを催せしめる。

[illegible]汽車は早くも[illegible]を過ぎて[illegible]の清流に沿うて北へと疾走する、遙に水波漫々たる河を隔て、幾々天空に聳ゆる白頭の高樓は吾々を送りつゝ切りに何者かを語るものゝ如く多年住馴れし紐育と思へば感慨無量偖々として盡きざるものがある

昨日出發するまでの十數日間の自分は幾年かの間に[illegible]し責任とか自[illegible]とかいふ生存上に於ける活動の範圍から全く離されれ只モーターの中で自分を處置した身が今汽車に運ばれて行く現在が何だか空想から現實の境地に到達したやうな氣持になりこゝに漠然と過ぎ去つた[illegible]から徹底したる將來に入つ[illegible]今まで[illegible]したことのない新らしい責任を自覺するのである[illegible]るやうな[illegible]の音ばかり無闇に耳に響いて[illegible]なきは何人も同樣の感想に[illegible]れてゐるのではあるまいか。

[illegible]汽車がキングストンに到着して[illegible]會館から一行のため特に[illegible]した二人の監視者が下車する時、日本[illegible]出發間際の雜[illegible]に[illegible]する[illegible]料品の配附が[illegible]、一行中の[illegible]ル音も[illegible]まじ[illegible]僅かに活氣を[illegible]來た、[illegible]れた果[illegible]の大きな[illegible]その好[illegible]を一同に[illegible]する、そ[illegible]なると矢野商[illegible]が一人[illegible]氣になつて[illegible]を吹き立て[illegible]ダイと喉の底を[illegible]の語か[illegible]字に[illegible]りの顔付で[illegible]エス先生が[illegible]、の折箱を抱へた[illegible]君[illegible]の女將[illegible]には一國[illegible]

[illegible]負迷の[illegible]振りを御傳へ申すと共に一同を代表[illegible]て御對[illegible]を[illegible]仕る。

●美人募集

[illegible]十六から廿一歳、　茶業組合中央會議所では明年早々米國桑港に開催の博覽會日本茶店の給仕女五十二人を採用する[illegible]去十二日から年齡十六歳から二十歳までの美人募集の廣告を新聞に出してゐる、之を見た運中[illegible]早速東橋區宗[illegible]の[illegible]事務所に直接談判に來るもの[illegible]續々の[illegible]况で募集期限は來る廿五日であるが審査してから五日の十六日まで既に四十枚の寫眞と履歴書が到着した其上毎日[illegible]押かけるのが平[illegible]二十六名を下らぬから此の勢では廿五日までは百人以上に及ぶだらう　是等應募者中[illegible]美人にもいろ／＼[illegible]かしからぬ素人[illegible]には[illegible]人として[illegible]なものもあれば、うずめ女の再現、現代的[illegible]生[illegible]人もある或は銀座邊のカフヱーや洋食店で盛にラツ腕を發揮した[illegible]當千のハイカラもある、[illegible]な[illegible]には[illegible]の看護婦上りや新しい女も來る左樣[illegible]と思ふと奧さんらしいのや、女工らしいのや、中には[illegible]の若いのも來るといふ風に身分は千差萬別で、今回の募集を機會に多年[illegible]の渡米の意を遂げやうとする野心家も混つて居る、

■標準は丸ポチヤ　會議所の方では[illegible]面目の覺めるやうな絶世の美人を[illegible]して天晴人種的にも東洋姫氏國の實をさうとの意氣込であるさうだが日本と米國とは美人の標準が狂つて居る米國では例の丸ポチヤ愛嬌[illegible]の[illegible]人の眞型になつて居るから[illegible]今度は[illegible]ひ切つて[illegible]タイプに適合する愛嬌美人を候補者中から選り出すといふ話だ

●女[illegible]記者の[illegible]／＼

▲六月四日　今日は市會議員選擧の日なり、今回の選擧[illegible]人の運動者の[illegible]なしとの事に、各選擧所[illegible]り[illegible]を出で、[illegible]日中[illegible]なし・[illegible]一郎氏の爲に運[illegible]鳩山春子未亡人御[illegible]小石川[illegible]事務所へ赴く、未[illegible]良人和夫博士の代[illegible]運動に[illegible]されたこと多年の場數を[illegible]抜目なきは言[illegible]武者[illegible]下さいました皆樣に相濟みません[illegible]一端なり、其之か如才なき御挨拶の[illegible]の事務所には[illegible]子夫人あり母者春子女史と共に良人一郎氏を助け[illegible]の運動、暑き日中をテントの外に出で[illegible]選擧人へ笑顔で[illegible]對、良人の爲には美しき顔の日に焦くるを厭はゞこそと努められたり

早稲田大學教授吉田[illegible]之助氏の事務所にも夫人の外二人の令嬢を[illegible]、[illegible]川區にては德岡梅吉氏のため夫人久子の御出馬、麻布にては藏原惟廓氏のためにシユン子夫人盡され[illegible]なる銘仙の衣類に束髮、近眼鏡かけたるはイカツく見ゆれ、實踐女學校に通學中なる令嬢みち子を伴ひての戸別訪問私もみち子さん位の年に戻つて選擧運動など行て見たくなりぬ（未完）

●（投書籠）●

▲在米新らしき女中の最も新しき女としてドライ黨を畑に巻いて居る歌川若葉女史は桑港セントフランシスホテルに陣取て目下は乘馬の稽古中であるさうな此頃又もや同地「日米」紙記者に向つて大氣焔を吐き明年ともなれば數十枚の繪を畫いて桑港社交界をうならせ再び東部に來て日本畫の爲に努力すると言つたさうな兎に角際立つて新しい元氣の好い所が面白い、尤も彼女が新しくなつて亡者共を玩弄ぶのは失戀の結果だと言ふ者もある（若[illegible]黨）▲名士季節の皮肉と所謂名士演説のザツクバランな面白ろしき所拜見致し候、日本から來遊し來たる名士連中の中には案外如何はしき者あり、殊に政治家と銘打輩等の中には學問も見識もなき者不勘候、過日の演説會に出演したる人々の多くが何れも精神界に努力する立派な人格を有せし事は確に吾々をして敬[illegible]せしめたる一理由に御座候　好々爺　▲私は近頃ばくちの味を覺へまして何んぼう止めやうと思つても止められません、だうしたならこの病氣が癒りませうか　浪人　毎朝冷水を三杯つゝ頭からかぶつて國御に許[illegible]るオツカーさんの事を考へ給へ「[illegible]」係り　▲少うし念の入つた愛嬌を振り撒くと直に惚れたと思つて[illegible]せと御通ひ下さいます、商[illegible]柄に毎度難有う存じますがやれ遊びに來い芝居に行かぬかとは本當に閉口し致ますよテナ事を仰しゃる力[illegible]の二三人もある　三十九丁目より五十五丁目生　▲今年は戰爭のために[illegible]張り口かな[illegible]吾々[illegible]委員は目下[illegible]になりさうじや、首[illegible]縊らうか　常置委員

No. (?) VOL. I

The Japanese Times

SATURDAY Dec. 24th 19[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
[illegible]

所謂個人主義の教育

（承前）

頗ふに個人間に於ける當代の道徳は基督教主義の普遍に依りて幾段の進境を示し現に、個人と個人とが互に國籍を異にし、種族を異にし、若くは思想習慣を異にするに關せず、有無相通じ利害相應ずるの風を醞釀しつゝあるは所謂文明の調和統一のユートーピアに達せんとする一の階梯たるべきは論ずる迄もなき所なれ共自由平等を尊び博愛公正を重ずるを以て任とする歐米國民と雖、國際の關係に緩急ある毎にユニウアサル、ブラザーフードの大義を擲つと弊履も啻ならず、反目嫉視侵略殺伐を敢てして憚ざるは理に於て抑明白せる矛盾也といはざるを得ず、然れども人文消長の歴史より光彩陸離たる革命と戰爭との活劇を除外すれば剩す所蕭條落寞殆んど歴史の價値を喪ふ或るは蓋し吾人人類が優勝劣敗弱肉強食の動物的性格の半面を赤裸々に曝ロせるを説明する所以にして而かも所謂文明の程度が强者の權利の主張を適宜に防遏し得る事實を立證するに非ざるよりは、國際的道德の規矩は必ずしも個人間に發達向上し來りたる高尚なる倫理觀と一致せざるべく、經世家の一隻眼は常に國民の法人團体としての國家をして如何にして峻烈なる生存競爭場裡に活躍せしむべき乎、如何にして國利の擴大と民福の增進との調和を謀るべき乎に注ぎて國家の精髓たるべき後進國民に對する教育の方針を堙梅せざるべからず。

依之觀是彼の個人主義の教育が民主的傾向を帶びたる時代思潮の趨勢と相合して偉大の勢力を有すべきは素より要當の事なるべしと雖も其餘弊として動もすれば個人の富力、個人の智力、及び個人の精力、別言すれば個人の總ての力」が個人の集團としての國家の總ての力」と沒交渉の素想を作り延て文弱に流れ、専らに隱[illegible]家存亡の危機に臨んで單に唯我獨尊の謬想を抱くに至ることなくんば幸也。是れ吾人の個人主義的教育の長所を否認せざるに拘らず猶且つ國家主義的教育の權威と功果とを排斥し去る能はざる所以なり。[illegible]者或は問はむ個人主義的教育は個人の人格を尊重し個人の利益を基礎として國利國權を採算するが故に國家としての活動を制肘する事なきのみならず、個人の發展は要するに國家の發展を意味するものに非ずや。然れども道理と實際とは往々にしてとつ鑿相容れざるを如何せむ

試みに近代の佛國を視よジャンジャックルーソーの思想を祖述せる個人主義的教育の功果は、發明界に、財界に將た藝林に詩壇に幾多の偉人を輩出せしめたれ共民主的思想の汎濫は意外にも怖るべき忌むべき「レイス、スイサイド」の蠻風を抑止するを得ず、個人としての佛人は獨人に比して毫も遜色なきに反し個人の集團として國家の元氣實力に於て遙かに獨國の下に在るに非ずや、大英國の如き「マグナ、カータ」の眞意義を發揮して卒先自由、公正を唱道し吾人の所謂紳士道の理想的辯護者として遺憾なきに近きは蓋し亦個人主義的教育の功果に外ならざるべしと雖、其産業に於て、其貿易に於て興國の氣運隆々たる獨逸と比較し來れば轉た老驥の駑馬に如かざるの嘆なくんばあらず。米國の如き野趣横溢歐州大陸の列國と比較し接觸せざる自然的地勢の恩惠を受け幸にして平和の樂天地に在りて雖一朝國難に遭遇せば個人主義的教育の餘弊たる個人萬能の謬想に支配せられて國利を損じ國權を毀くるなきを保せず。

吾人は高田博士の卓越せる識見と深遠なる學理とに加ふるに其高邁なる人格と豐富なる經驗とを以てせるに依頼し、徒に歐米に於て謳歌せられつゝある所謂個人主義的教育の糟粕を甞むる事故國の國情に鑑み、時代の趨勢に考へ、新らたに純粹にして適確なる教育の根本方針を樹て、故國の教育界に貢獻せられん事を囑望し止まざるもの也（故山逸[illegible]）

黄興氏と語る

▲孫逸仙は[illegible]家であり、黄興は[illegible]家[illegible]事は豫て僕[illegible]た、理想的に[illegible]實際的に事を行[illegible]は孫文氏より[illegible]の機會を得[illegible]たが今日幸[illegible]て此畏敬す[illegible]たのは僕の甚だ愉快とする[illegible]

▲空々子と連立つ[illegible]ホテル[illegible]オフィスの前を過ぎ[illegible]共處に肥へ太つた[illegible]他の一紳士と共に[illegible]降[illegible]つて居た。肥[illegible]興其人なるを知[illegible]をあとで知つた[illegible]

▲黄興氏と吾[illegible]問題で、東亜[illegible]分[illegible]關係、袁世凱、南北[illegible]、教育問題[illegible]遂に歐州戰亂[illegible]にまで及んだ[illegible]な問題を議するに[illegible]完全とは言はれぬ[illegible]對手の聞かんと[illegible]はすにだ分であり、且[illegible]迫らざる態度は[illegible]であることを[illegible]

▲黄氏の意見によると[illegible]可能であるといふ[illegible]命は南北乃至[illegible]たが今度の革命[illegible]ら新舊兩派の[illegible]獨裁政治は滿州大[illegible]財政上の大破綻[illegible]益々激烈するに[illegible]

[illegible]

●高千穂艦沈沒

（十九日東京發電）海軍省公報に依れば巡洋艦高千穂は去十七日夜青島港外を巡邏警戒中浮流水雷に觸れ五分間にして沈沒せり遭難の際數隻の驅逐艇はバク發の音響と共に水烟の上るを認め直ちに救助に赴きたるも此時既に遲く高千穂は瞬間にして其影を沒し去れり乘組員二百八十三名の中二十八名の將校五十四名の非戰鬪員を除くの外全員悉く艦と共に沈沒せりと尚膠州灣附近には目下暴風猛威を逞ふし軍用棧橋は之が爲に破壞され二十名の水兵溺死せりと

●日露同盟論

北京にある露國の某官憲は語つて曰く日露兩國は遂に同盟せざるべからず今回特使の日本に送られたるも畢ば之が爲なり余個人の意見としては此際日本より樺太を露國に還附し露國は之が報償として他に日本に與ふるを以て得策なりとす斯すれば露國人の日本に對する感情は一層親密となるに至るべし尤も樺太還附後と雖も擇捉島の漁權は依然日本人に許與すべく即ち既得の權利は日露兩國人平等たる條件を附し只其主權を露國に還附するに過ぎず余は此意見が日本新聞紙上に公表せられ且評論せられん事を希望すと

●露蒙線布設計畫　露蒙間の貿易は近時益々殷賑となれるに伴ひキャクタウ、ルフノヲツチノヘクの鐵道布設の必要大なるを以て此程大臣會議に於て官營として建設すべく其距離は二百三十一露里にし此線經費二千四百七萬千八百二十一留にて本年度に於て百萬留を支出すべしと因に此鐵道はザバイカル線よりの支線にし露蒙鐵道なり

●參政官の任用方針　政府は文官任用令改正に伴ふ參政官及び副參政官は各省共豫算の成立を待つて同時に任命する方針なり任用の範圍は特殊の事情ある場合の外兩院議員中より適材を拔擢し且黨派たる同志會よりも寧ろ政黨より人材を網羅する向なりと

●大禮豫算　來年秋冬の候京都に於て擧行さるべき御位大禮の豫算は目下大禮準備委員の手に於て編成中なるが同部よりの提出案は大抵前回通り四百萬圓の間に決定すべしと尤も外賓の接待費は計算の中に控除したる次第なり外國元首の特派御名代を[illegible]するや否やは尚未定なり

●齋田刈入　本年二月五日大嘗祭の[illegible]卜定せられたる愛知縣碧海郡の六つみ村の齋田は父々兩年の御大禮御大嘗にも採用さるゝ事となりたるを以て本年の收穫により精米檢査をなし其割合を以て明年の獻穀精米一石の刈入標準を定むる筈にて三十日一畝歩の刈入をなし直ちに之を農事試驗場に輸送したりと

●第一防備線破る

陸軍公報によれば青日本軍は廿七日より廿八日拂曉にかけ敵陣地の攻撃に着手し午前十時より正午に亘る間に於て孤山より浮山に亘る一帶の高地に在る敵を擊退し同地を占領し敵は青島方面に退却し海泊河左岸に停止せるが如しとあり屢々述べたる如く浮山一帶の高地は標高二百米突より一百メートルの間に在る防禦陣地にして其正面幅三里其兩翼は海を以て限り殆んど理想的防禦陣地にして之を守るに十分兵力を以てせば難攻不落といふべき地點なり然るに我の攻撃に依りて之を占領したるは敵の兵力が正面幅に對して甚少きによる事勿論なりと雖も我軍戰術の巧妙なると戰鬪員の勇敢なる動作は敵をして斯くも速に退却するの已を得ざるに至らしめたるものと見るの外なし孤山以南一帶の高地既に我有に歸す上は最早青島なきなり何となれば我占領陣地より青島市街は約一里の外に過ぎず此距離は吾軍の有する重砲の射程内に暴露しあるを以て必要と認むる重要の地點は自由に射擊し得べく故に第二陣地は強て肉彈射擊をなさざるも重砲の威嚇射擊によりて十分其目的を達し得べければなり然れ共守將ワルデック少將にして飽迄頑強の抵抗を試み第二防禦線を死守するの決心ならばイルチス、ビスマルク、モルトケ諸砲臺の活動は多少の手數あるべく之が爲め眞個の要塞戰に入るものなるがその防禦力の如何は畢竟守兵の士氣如何にあるものなれば茲に速斷するを得ざるなり

●露國へ派遣の看護婦　露國に派遣さるべき日本赤十字社看護婦中小栗初子（廿七）は神奈川支部にて養成されし人なるが初子は福島縣若松市に生れ日露戰役には病院船ロャッタ丸にて救護の任に當り勳八等寶冠章を下賜され四十年自費にて米國に渡航し[illegible]場にて看護婦を[illegible]年編輯したるなりと

●濱野新宿將軍逝く

投機界の傑物として新宿將軍の異名ありし濱野茂氏は九月廿八日永眠せる由なるが氏は兵庫縣西の宮の綿屋に生れ伊勢寺の小僧、商店の丁稚、俠客伊藤侯の直參、大政官の役人、代言人、女役者の場元、酒屋、床屋、湯屋等の奉公人、代議士となる等轉變極まる生涯を送りたる人にして上佐丸事件、鐵管事件等の大立物たりしは世人の熟知する所なり

●伯林で曾我廼家を救けた

芳賀醫學士の談

私は七月二十日の晩倫敦を出發し再び伯林に歸つたが八月一日の朝伯林停車場の光景ははたとへやうもない混雜であつた其混雜の中に

▲日本人の夫婦連れがあつた私の姿を見て貴方は日本人の方でありませんかアー助つたと兩方から私の肩に縋るといふ騷ぎ聽いて見ると其日モスコーから伯林へやつて來たのだつたが何の停車場で何を聞いても誰も相手にしてくれない此停車場へ迎へに來て居る筈の知人が一人も見えない歐羅巴といふ所は此程不親切な人間が文明人だとはちと聞かれませんと聲を擧げて泣き出さない許りの慌て方であつた私は親切に彼等に向つて獨逸と露西亞は大戰爭をオッ初めて居るので斯ういふ始末だつたと言つてやつたら

▲はーん／＼なる程夫れですつかり讀めました獨逸と露國とは戰爭をやつて居るのですかちつとも知りませんでしたと眼を圓くして驚いたが日本人に會つて安心したと見えて其當惑した有樣を手振り身振りで如何にも面白く可笑しく私にやつて見せる私は氣の毒やら可笑しいやら然し餘りの話振りが上手なので彼等の姓名を聞くと今度は私の方が吃驚した此男こそ當時聞こえた曾我廼家五郎だ、道理で素人離れがして居たと私は思はず噴飯した、伯林市中は實に[illegible]出しても

▲恐しい樣な騷ぎだつた八月中旬までは伯林市民は日本は吾々を助けると固く信じて居たので私共は此調子なら安心だから伯林を逃げるまでのことはあるまいと言つて居たら十三日に大使館から突然電話で直ぐ來いと言つて來た行つて見れば大使館は上を下への大騷ぎ日本は愈々獨逸と國交斷絕するかも知れん在留日本人は一刻も早く退去せよといふので船越代理大使の顔色は土のやうになつて居た

●日米協會晩餐　日獨開戰以來獨逸有力者が盛んに排日熱感情を煽るより米人の排日思想愈々擴大するのみならず延いて本邦在留米人にまで波及せんとするの兆あるを以て日米協會は日米兩國人の意志を疏通し排日感情を融和する爲め十七日午後七時半より華族會館に於て晩餐會を開催せり

來會者は金子神田正副會頭を始め成瀨仁藏、淺野總一郎、佐竹作太郎、根本正、米國大使ガソリー、市俄古大學總長ジョットソン、フレザー、ボールス氏等廿一名及び來賓加藤外相、栗野愼一郎、花房義質、阪谷芳郎、瓜生外吉、三井八郎右衛門、吉川重吉、高橋作衛の諸氏を併せて六十九名に達せり

デザート、コースに入り吉川男澁田博士の演說に次き市俄古大學總長ジャットソン氏は起つて排日思想の如きは平和人道上の大敵なれば輿論を鼓吹して之が撲滅を圖り日米相提携して世界文明に貢獻する所あるべしと述べ終つて會員の健康を祝し十時散會したり

●りう口の獨探捕はる　廿五日龍口より入港せし龍[illegible]丸にて獨探嫌疑の日本人一名、歸化支那人一名憲兵步兵等に護衛されて來り直ちに大連憲兵分隊に引渡されたり、日本人は熊本縣下益城郡中山村佐川虎[illegible]とて漢口獨逸商館に勤め居るもの又歸化支那人は長崎縣北松浦郡調川村生れ中島安雄といひ元長崎英國汽船會社レンカホーム商會の雇人なり兩人は廿三日朝天津よりりう口に上陸し同地[illegible]の出旅館に役宿したるが同夜夕飯は文屋旅館にて認め何事か密議中豫て軍司令部より獨探の入込めるより嚴重搜査すべしとの命に接し居たることゝて難なく捕縛されたるものにて尚同地にも連累者ある見込なり、佐川は金緣眼鏡に金時計を持ち洋服姿の紳士風を裝へり彼等は獨人より二萬圓を貰らへたりとの風說あり

●臺灣長官更迭說　臺灣民政長官は今回佐久間總督の退任に伴ひ近く更迭あるべしと確聞す而して其[illegible]佐久間大將が[illegible]理蕃事業完成に關する經過を闕下に伏奏し[illegible]許ありたる後に於て發表せらるべしと

●俘虜待遇と國際法　中村進午博士の談に曰く近電によれば露國に於ては獨墺軍捕虜兵を鐵道作業に從事せしめ又獨逸に於ては露佛英白等の捕虜を虐待し居れる模樣なるが國際公法には捕虜待遇に就き既定の條約あり露國が墺人捕虜を使役したるは鐵道作業の性質が軍事的關係を帶びざる限り該條約にテイ觸することなきも電文簡なれば未だ如何とも斷言し難く獨逸の聯合軍捕虜待遇は獨軍平素の對外人行爲に見て軍事上の虐待に服せしめ居れることは疑なかるべし該條約によれば捕虜兵待遇は一定し自國臣民と同樣相當の勞銀を支給して直接間接共に軍事上に關係なき勞役に服せしむるは差支なきも之に違反したる時は戰後國際上の責任を免るべからず獨乙の近時の待遇態度に關しては特に注目を要す云々と

●桑博出張官任命

日本政府より桑博日本部建築工事の爲め派遣さるべき美術鑑查官及官吏職工は左の人々任命されたり

▲鑑查官

平山威信▲森林太郎▲中澤太岩▲武井守正▲正木直彥▲黑田清輝▲今泉雄作▲吉武榮之助▲高村光雲▲塚本靖▲北村彌一郎▲塩田眞▲海野勝珉▲松岡壽▲鶴巻鶴一▲大[illegible]三之助▲寺崎廣業▲白井保次郎▲島田佳矣▲岡田三郎助▲和田英作▲高島得三▲白山福松▲執行弘道▲竹内常吉▲山元金右衛門▲藤島武二▲小堀鞆音▲菊池常次郎▲阪吉隆▲新海竹太郎▲川合玉堂▲米原雲海▲中川八郎▲中村不折▲山崎朝雲▲前田健次郎▲小室貞次郎▲滿谷國四郎▲望月學

▲職員

臨時博覽會技師北村耕造▲同囑託井澤辛之助▲同通譯兼囑託山中彌七郎▲茶業組合中央會議所東洋博覽會喫茶店支配人西脇[illegible]▲同事務員チェ[illegible]▲日本政府建築職工[illegible]次郎▲同岩崎平太郎▲日本庭園建築師荒井與吉、大胡馬藏、荒井岩次郎、今井勝五郎、飯島嘉一郎▲日本政府館建築請負代人本城豐次、同職工井上秀次郎、齋藤次郎右衛門、北尾留吉、本野亀太郎

●露獨海戰の報　露國海軍艦は獨逸[illegible]水雷驅逐艇と黑海に於て戰へりと廿日のコッペンヘーゲン來電は報せり

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船　大阪商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

紐育新報社

●驚くべき同胞の送金高

▲昨年は一千六百萬圓

桑港領事館にて調査する處によれば同管内居住同胞の故國送金高は驚くべき高額に達し一昨年は送金總額一千五百十九萬七千三百九十一圓送金人員十二万六千〇十五人中歸朝携帶金見積額は五十一万〇二百圓歸朝者二千五百五十一人にして送金取扱所は左の如し

▲桑港郵便局四五七二二二三▲正金銀行爲替郷里送金二七七六七七九▲正金銀行替爲送金一六五八九一五▲正銀行本店預金として送金四四九八一六▲他の日本銀行爲替金一八七九五八

次に昨大正二年の送金總額は一千六百四十八萬五千二百廿二圓送金人員十二万五千三百七十一人歸朝携帶金見積六十一万六千八百圓歸朝者二千〇八十三人にして送金取扱所は左の如し

▲桑港郵便局四七二二〇圓▲正金銀行郷里送金四二四二六七圓▲正金銀行爲替送金一六七八八圓▲正金本店預金送金五七九七九圓▲他の日本人銀行爲替送金□八〇五六三圓

外に送金取扱西と□沙港郵便局を經由せる金額は左の如しと

大正元年二六九〇六圓▲二〇九七九五二圓▲大正二年七二六七▲二一二九八二圓

●黄興氏談片

黄興氏と會談の要點は哉に本紙第一面にあり、左に其見れるところを補ふ

私は明治三十三年に貴國へ參りしこ今度又永らく滯在しましたが貴國の樣子も段々變つて參るやうです

▲今度改正になりました新刑法は私どもには多年當人を熟知し生前後種々に言ますれば餘に苛酷に過ぎるとの感を有する所あり、葬儀は本日午後二時紐育ります、刑罰が寛容ですと強盜をしても亦出獄することが出來ると思つて只彼ソンヨンに〆舉行日會參議員其他害者を脅かすのみで殺しはしませぬの會葬者ある筈なり、因に岡田氏が出獄する見込がないとなると犯す日會共濟部に死せし貯蓄金は多分共ものも犯罪の發覺を恐れて人を殺す日英地紀念碑建設に當つる事となる氣になり大罪人が段々殖へるだらうべし思ひます、一國の政治は只政治法律の理屈許りでは治りません、當者は哲學的に經世濟民の方法を研究することも必要と思ひます▲支那人の一般の排日觀念には大いに理由がある〻の御話しですが重なる原因は相互の誤解です、目下支那には從來留學した者が約五万人各省に散在して居ますから漸次に兩國民の感情は融和しませう、尤も人民が愚昧で事の解らぬ者も澤山あります併し智識ぬ者は何時迄經つても解らぬです▲今各省で騷いで居る革命黨といふのは色々な不平黨で組織あり統一ある眞の革命軍でない將來吾々が有りて立派な革命軍を組織すれば人民一般の親服を受けて成功することが出來ますから御說の如く革命黨中の異分子を純一する必要はありませぬ▲今の中國には大人物が居りませぬ、杜さん大は中々解つた人でありましたが惜しい事をしました云々

黄氏は當時東部に滯在の豫定なりしが氏が無暗に人傑ぶらず云ふ時の態度には記者の氣に入つたり

●病患者の自殺

模範的人格を有せしとの評判ありし小柄人岡田正高氏は三年來の病を患ひ約一ヶ月前より武市サネタカル病院に入院に入院中去廿一日夜同病院の二階より飛降りて自殺を遂げたり、氏は入院當時既に全治の見込なき事を覺悟したものか自分の遺言狀を認め公式の手續方を依頼し入院後は早くより何事も處分と整理なし遂に處分を死に依て死なし其れよと確言し是る事一再ならず、病勢が私しきやうなりといへば極めて不氣嫌の顏色を示せし程遂に病勢の進まざるより急速に全く自殺を決行するに至れるものと察せらる、岡田氏は今より約二十年前に渡米し人に知られ其總墨は在留者の間に尊敬されし人格の高潔なりしと共に紐育人からも稀に見る人なり

●竹田商店荷着　歸朝中なりし店主竹田氏は今回歸店と同時に各種日本食料品の珍しきものを澤山仕入來りし由

●貴族院議員勝田主計氏　は過日歐州より來着廿日出發歸途に就けり

●衆議院議員松本宗吾氏　はホテルセシビルに滯在中

●醫學士篠崎、眞鍋兩氏並醫學伊藤士夫妻は歐州より來着ホテルマルセーユにあり

●大久保利賢氏轉任　當地正金銀行出張所副主任なる同氏今回倫敦支店詰を命ぜられ近く出發渡英の答

●柿内常次郎氏歸朝　日本銀行當地代理店監督なる同氏は本店詰を命ぜらる來月中旬歸朝の筈なるか後任者は同行幹事調査役首席濱岡五雄氏と決定し本月廿四五日頃日本出發、來任すべし

●松村介石氏出發　同氏は廿一日出發歸歐せり

●太田書記官の病氣輕快　同氏は此程退院武市伊東氏宅に於て靜養中なるが病氣は、近來非常に輕快に向へりと

●東大教授法學博上神戸正雄氏　は目下日本倶樂部に滯在中

●朝鮮總督府印刷局技師勝山氏　は倫敦正金支店員齋藤力氏　は過日當地を經て歸朝せり

●日本協會の講演　ダラ博士は日本倶樂部にあり本協會の請に應じて一彼斯人及其宗教と亞細亞なる題下に本日午後四時よりホテル、アスターにて講演する答なり

●青年會茶話會　來廿五日午後八時より日曜茶話會を催し歐州戰爭の思想に就て自由に討論す

私儀

久しく歸朝中に付き其間留守中も不相變御引立を蒙り奉深謝候今回無事歸米仕候間倍舊御愛顧の程偏に奉希上候

竹田久吉

●演藝會を開け

收入は日本人會に寄附

飛耳張目生

▲紐育に在留する邦人は實業家といはず勞働者といはず一般に神經衰弱に罹つて居るといふ事は一般の認むる所で其原因は多年生存競爭の激烈な紐育に住んで居る上に他外國人に比較して慰藉を受くることが少いからであるといふのも之亦一般の既に認むる所である、依つて吾々同志の者は之が救濟策として將た同胞中外人を妻となす人々の社交機關として三ヶ月前舞踊會の創設を希望した譯であつた、然るに間もなく歐州大戰が始まつて吾々も人も戰爭熱に浮される時勢となつたので世間の人氣と事業創設の關係に鑑みた吾々は暫時舞踏會企畫を延期した次第であるが之は何れ時機を見て再び當初の希望を達することとし玆に新に在留者諸君の賛同を求め度き事は演藝會を開いて吾々唯一の公共機關たる日本人會共濟部の基金をヘルプ仕度いといふ事である

▲日本人會の創設當時に於ては一部野心家の名譽心を滿足さす爲さだか或は其んな事を仕なくても銘々勸勉忽耐して實力を養へば自から米人の尊敬を受くるやうになるとか色々な反對論を唱へる有力家もあつたが愈々成立して見ると日米關係に貢献した事の發表されないから世間は知らぬ、するは勿論、當初危ふまれた共濟の事業は漸次に擴張され在留者裁判事件、アクシデント、遺産處分、死亡其他自身に判斷の付かぬ事件の生じた場合の最良顧問として不可欠公共機關である事を證明し今日に於ては何人も同會の創立に異論を唱へないやうになつた

▲其處で吾々は飽迄同會の基礎を鞏固ならしむると同時に其事業の發達を補助せねばならぬ義務を有するのであるが自分等は其一方法として右に述べたる演藝會を開催し、多年故國に遠かつて寂寞な生涯を送つて居る人々に慰藉を與へると共に其利益一切を擧げて日本人會に寄附したらよからうと思ふ、尤も日本人會役員の方で不必要と認めたら吾々は同會を通して歐州大戰戰死者の遺族又は日本赤十字社へ寄附することにしても吾々の公共心を滿足せしめる點に於て何等の相違はない譯である

▲吾々同志は演藝會開催の件に就て此程内相談を遂げた次第であるが其の結果とし出來た收入支出豫算並に方法は大要左の如きものである

一、會場はカーネギーライシユームとし演藝會出演者及び背景畫家、振り付け、邦人男女音樂家、美術家は總べて無報酬の事、藝題は新演劇とし脚本は故國最新の名作を撰ぶ

一、觀客席は普通劇場の例に傚ひボツクス、オーケストラの前方を特別席に宛て普通入場料を五十仙とす

一、幕あいに邦人又は外人の手品曲藝を演ず、

一、支出はホール代諸雜費を合せ一夜百五十弗とし、收入は觀客の數を約五百人と見積り、場内に於て賣捌く菓　アイスクリームの賣却收入を合せ約四百弗とす

一、出演者は在留篤志實業家、音樂家、諸有志、新聞記者等にし練習費用は凡て自辨とす

一、藝題を二種に分ち二回の興行を爲す

▲以上の如き見積りで二た晩の興行に依て得る所の純收入約五百弗を日本人會に寄附する豫算である、拙者飛耳張目生發起人一同に代て在留者諸君の賛同を祈る

●卓絶せる日本看護婦

日本赤十字社が露國軍隊に聽援を申込みペテログラード市民は之に對し非常の好感を以て迎へたりとはペテログラード電報の傳ふ所なるが信ずべき筋より聞知するに赤十字社にては看護人の撰定其他應援準備全く整し居れりとの事にし此計畫に關し玉井東京市衛生課長の談によれば日本赤十字社が友邦たる露國の衛生勤務を應援せんとする意氣は誠に歎賞すべき事にて實施の曉は我赤十字史上特筆大書すべき空前の快擧といふべし、兎に角此計畫は博愛仁德の大義に副ひ且つ將來日露國交を親善ならしむるの利益あるは勿論なるが又近年著しく進歩して本場の獨逸を凌ぐと稱せらるゝ我醫術乃至看護法の眞價を世界の檜舞臺に紹介する絶好の機會といふべし殊に日本看護婦は世界中に於ても勇氣に富み耐忍强く親切といふ點に卓絶し居れば必ずや好評を博する事と信ず云々

●櫛引弓人氏の氣焔

歐州戰亂が今回の大博に何等の影響なきは自分が過去に於ける經驗に徴して明白であるも然るに未だ半信半疑以つて危懼の念を抱き居る人あるは實に[illegible]……抜……世界大博覽會を……大博覽會たる……[illegible]……しつゝあるかを……けれはなら……動だらうと思ふ

(一)●(一)●(一)●(一)●　投書　●(一)●(一)●(一)●

▲前週の大需要者仇木生[illegible]……は他人の女郎買[illegible]……内心は如何駄法螺を吹……學者が君などのやうな……者に、他人の……郎買を御……る……層人間らしい御投書……生　▲八十何丁目[illegible]……自分は一[illegible]……自分……

[illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave, N. Y. City.
Tel. 6473 Chelsea
Subscriation Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as secod class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三チエルシイ

危ない外交

紐育外交消息通の私信

前略小生も昨今死に損ひ候爲此空前絕後の大戰亂を目擊し得たるは何よりも喜ばしく候、更に十年も生延び候半には今度こそ黃白人種の決戰に出食はせぬとも限らず、日本は今より緊褌一番を要すべく英國の鼻先きに使はれて得々たるやうな事にて致方無之候、日本の戰爭參加は表面擧國一致を裝ほひ居候もの裏面には隨分有力なる反對說あり、度々元老會議にても大体反對說多かりしも已にのつ引ならぬ處まで交涉を進めて後の事なりしかば渋々賛成を餘儀なくされたる由、昨今に至り隱然と元老間に頻に意志の疏通を云々し、屢次會見を催し候も此る引かゝりよりに候、然も最初は容易に出兵に同意せず露佛を通じて漸く英國に同意せしめたるも中途に至り出兵延期を申込み又最後には二万以内といふ制限附にてやつと日本の出兵に同意を與へたるなりとは實に驚き入たる次第に候、日英同盟も何もあつたものに非らずと存候、斯んな次第故戰後の平和問題に英國は何を言ひ出すやも知れず日本も隨分馬鹿な戰爭を初めたものに候、獨逸軍艦に暴ばれ度丈暴れさして英國の汽船を五六十隻沈沒せしめ候迄には英國は日本に頭を下げて頼みに來るものを日本は過り過ぎたヘマをやり、ジヨルダン駐支公使などは日本の野心を洞見し極力出兵をケン制せし樣子にて消息通は「ジヨルダンと明石參謀次長の相撲だ」と申居候　長谷川總長は髦碌して皆無駄目、明石の獨舞臺とは心細き次第に候露國が苦しひ時の神頼は一向當てにならず、英國も自己本位にて[illegible]も更に頼み難く、獨乙は將來の大敵米國も亦敵國なり、日本は愈々孤立と相成可申候大達見家が出でゝ此局を何とかいたし不申ては實際前途が被案候、だうにかなるだらうにては困り申候、大隈は實際的政治家には無之、矢張一種の高等活辯に過ぎず何時も調子にのり過ぎては下手な芝居を打ち申候、近來識者間には大不評判に御座候（後略）

強味と柔か味

▲紐育日本人の米國觀

空々子

私がアメリカへくる時、紐育へ往くと一と癖ある日本人が揃つてゐると誰かが申しました、ハアさうですか位に聞き流してゐましたが、成程今思ひ當ることがあります、私は紐育のすべての日本人を見ると或る「力」を感じます、或る「鋭さ」を感じますさうして或る緊張した、も少しすると破裂しさうな一杯〻〻の氣分を感じます。

▲米國人を見ると、未だ〳〵何處にか間の拔けたところがありさうです何處にかにユトリがありさうです、何處かに藝術的生活とでも言ひませうか、人生を賞玩するといつた態度があります、何うして斯う理智的な日本人が多いでしやう、悧巧な人達が多いのでしやう、私は紐育の日本人の生活を假りに科學的生活と言ひませう、迷信もなく、懷疑もなく、キチン〳〵と如何にも合理的な形式を執つてゐるやうに私には見ゑます、私は斯ういふ人々を大に感服します、しかし私の住みたいのはもつと愚人の多い社會です、もつと自分相當の、弱い、柔かい、批評眼の鈍い、試驗官の態度を以て人を待たない、渾然とした社會です、私は飽くまで「知識」を畏れます、「理性」を尊びます、併し私の愛するのは「愚か」なものです、間の拔けたものです、私は此の意味で幼稚な未開化の日本の故國を慕はしく思ひます。

▲いろ〳〵な人に接し、樣々な生活を見た私は、人に「エラク」見られるといふ欲望に苦しむことの、餘まりに勞の多くして効の少きを悟るやうになりました、人には自惚の權利があります、只此の自惚を他人に押賣しやうとするから、そこに失望がありそこに煩悶があります、それが高じると蘆原將軍になるといふものです、他人に押賣さへしなければ、自惚は人生の貴重な特權です、私は此「自惚」を人生そのもの〻最高價値と信じます、自惚が無かつた日には人人は一日も愉快な日は送れません、從つて私は他人の自惚を破壊するのを罪惡と感じます、私は他人の自惚に對して成るべく之を尊重しやうと勉める積りです。

▲是の意味で私は人物批評家といふものを好みません。最も人物批評家と申しても、カーライルでもマコーレーでも、エマーソンでも、現代ではモーレーでも人物批評家ではありますが日本の新聞雜誌に現はれる人物批評といふものは殆んど裏店の井戸端會議の速記錄みたやうなものですさうして私の知つてゐる所では斯ういふ人達は多く餘り感服しない性格のものが多いやうです、人は自分を顧みて見ると、さう他人の惡口を言はれた義理ではありません、固より政治論とか經濟論とかは違ゐます、私も批評の獨立を認めます、立言家は立功家と同樣の位置に立つものでありませう、戰爭でも參謀は批評家戰線の將士は實行家、何れも必要な機關であることは申す迄もありません、併し批評家の資格は公共精神を多分に有つてゐることです、私情を離れることを要します、批評も一個の創作です、創作の態度は實感を脫離するにあることは美學の說く所であります批評も同樣でなければなりません、從つて私の怨みや私の感情で人を批評する如きは、嚴重の意味で批評家と言へぬです、日本の人物批評家には是の種のものが多いのは、何うしたものでしやう、固より私は批評家の人を罵る權利を承認します、併し批評家として人を罵る權利を得るにはカーライルが英國人を罵つたやうな熱烈眞摯なる態度を要します、斯ういふ權利は普通の人の有すべきものではありません、私は寧ろ、ボスウエルがジヨンソンを傳したやうな態度が、俗人としては相當してゐると思ひます、是の意味で、増田義一君は感心な人だと思ひます。

▲私は日本人が米國人を見るのも、矢張り斯ういふ漫罵的態度がありはせぬかを氣遣ふ私が奇異に感じたのは、米國から歸る人で能く日本の社會を罵るものが多いに拘らず、米國へ來て見ると、米國及米國人に對して殆んど賞めた言を聞くことが少ない、私は日本の實狀も知らないで日本を罵る所謂ハイカラ者流の心事を淺ましく思ひます、而も外國を罵ることは必ずしも見識とは申されません、

▲私は米國に就て一向知りませんが例へば日本へ來た外國人の日本觀を見ると、日本人の外國觀も斯んなものではなからうかと思ふことがある、所謂親日外人の空々しい御世辭、でなくとも月並的讃辭は何うです、日本は美人が多いとか、風景が絕佳だとか、日本の武士道が何うだとか、日本人の中にはそれを眞に受けてゐるものがある、併し彼等が果して眞にさう思つてゐるでしやうか、之に反して極めて猥劣なこと許り書いて日本を漫罵してゐるものもある、尤も日本人でさへ眞正に日本を解するといふ事は可なり見識を要することでしやう、况んや外人として無理もないのですが、日本人の外國觀も此の二つの何れに陷らなければ宜いがと思ふ、而して何うも後者の例が多勢である、是れは日本へ往つた外人の樣に勳章を貰つたり御馳走をされぬせいもあらう、兎に角批評といふものは六しい事らしいです、

▲或人曰ふには紐育の日本人社會には「女」がないから皆變になつてゐるのださうです、マサカさうでもありますまいが、柔か味、溫か味、これから一種の女性的調和が乏しいのは慥に其の米國及米國人に對する批評にも影響を及ぼしてゐるやうに思ひますが何うでしやう、斯うして見ると女と云ふものは全くエライものですネ、イヤ斯うして見なくてもエライには相違ないのです。

●佛紙日本の爲に辯す

巴里發行テンプ紙は佛國外務省の機關紙と目せられ居れるが同紙は去廿八日の紙上其社說欄内に於て日米關係に就き左の所論を揭げたり、目下戰爭記事は固より凡べての記事に對し撿閱嚴重なる折柄該所論は佛政府の意向なりと見る得をべしと

日本のマーシャル及カロライン群嶋占領は米國の利益特にパナマ運河に危險なりとの議論は疑もなく米國に排日觀念を助長せしめんとする獨逸の奸策なり而かも華盛頓の獨大使は其憂慮せる米國の權利若しくはモンロー主義と而して自己の公言せる所謂獨乙の加奈陀攻擊は正當なりとの議論を調和せしめ得べきや如何日本は永久保持の目的を以て該群島を占領せるに非ず單に太平洋貿易の障害物を除去するの一手段たるを以て米國は聊かも之に對して危惧するに及ばざるなり、獨帝は膠州灣占領當時黃禍論を以て歐州に警告せるも其海賊的に支那の地を强奪せり、日本は吾等が西方に於てすると同じく東方に於て正當なる判決の使命を果しつゝあるなり云々

●獨艦龜ヶ崎丸を擊沈す

廿八日伯林よりアムステルダム經由倫敦に達せる電報に依れば獨艦エムデンはシンガポールへ向け航行中なりし日本滊船龜ヶ崎丸を擊沈せりと

●軍艦千歲獨艦を擊退す

高千穗艦沈沒の翌日即ち十八日より十九日にかけ膠州灣内なる敵艦は二回の突出を試ろみたるも吾巡洋艦千歲の爲めに擊退され灣内に逃げ込みたり、尙吾軍の靑島總攻擊は暴風雨及之がため流失散布せし敷設水雷の危險ありし延期せるか海陸兩方面よりの砲壘射擊は依然として繼續され敵壘に對し多大の損害を與へつゝあり

●伊希兩國兵アルバニヤ侵入

希臘は過日アルバニヤをの南部占領し伊國亦同國の一部分に侵入せんとしつゝあり、斯は歐州大戰の勝敗何れに歸するに論なく同國の運命は分割又は墺國の屬國になるべきを豫測し講和會議に對して發言權を得んとの爲なりと推測さる

●再び南阿に反亂起る

過般英本國に對し反旗を飜したるマリツ大佐の叛軍は南阿總督政府軍の爲に殆ご鎭壓せられたるが過日南阿防備軍を辭職せるデ、ウエツト、フレデツクバーヤー兩將軍はオーレンジ自由國及西部トランスバルに於て新たに反亂を起し政府軍の士卒を捕虜とせりと

●墺皇儲暗殺者の處刑

墺國皇儲並に妃殿下を暗殺せる兇徒は去廿八日ボニスャの首都サラゼホに於て何れも處刑せられたるが首謀者一名は二十年の禁獄直接の下手人及び外三名は絞刑、餘は十六年、十年等夫々宣告を受けたり

●露軍の大勝　白國沿岸の激戰

軍間對獨墺軍の戰鬪情報は露都及伯林、ウイエナよりの電報區々にして其眞僞を確かむるに由なかりしが去廿八日露都公報は露領ポーランド方面に於ける露軍の大勝を報じ獨國公報亦之を是認するに至れり、今各方面よりの來電を綜合して過去三週間の情勢を略記すれば、初めワルソー市を目的として前進し來れる獨墺軍は同市の東南兩方面より漸次に露軍を壓迫し來り其一部は將に市街砲擊をなし得るまでの地點に達し十月七日より十二日に至る兩軍の接戰は最も猛烈を極めたるが同十八日露軍騎兵の試みたる側面攻擊は意外の功を奏し軍墺獨は爲に後方に潰走するの止むなきに至り今やワルソー市を距る七十五哩の地點に在りと報ぜらる、白國海岸方面に於ける兩軍の情勢は前週以來差したる變化を見ず

●紐育三百年祭自動車行列

本年は紐育市の三百年祭に相當し去三月以來度々紀念行列其他の催ほしありたるが去廿八日に行はれたる自動車行列は最も壯觀を極め行列に參加せる自動車、モーターサイクル各商店の荷物運搬用自動車の數千臺に及び星條旗を以て美々しく粧飾せられたる通路の兩側は數万の群衆を以て滿たされたり

▲露土開戰（卅日東京發）

東京露國大使館は本日土耳古か露國に對して戰爭を開始したる旨を公表したり

右東京電報と同時に露都發電は土耳古及獨逸軍艦がクリミヤ沿岸なるセオドシヤ市を砲擊して寺院、波止場其他に損害を與へ最後に同市の降伏を要求し、尙コーカシヤなるノボシスク市の降伏を迫り若し拒絶するに於ては同市を砲擊すべしと威嚇せるが同市駐在の土耳古領事及關係者は捕縛せられたりと報せり

（同日露都發電）

●上陸地に於ける日兵と英兵

●山東鐵道占領は正當

●大淨…

●航…

●…

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次

▲手紙取次

▲各國語飜譯

▲通辨

▲實業經營法

紐育新報社

●飛行隊の殊勳

▲陸軍飛行隊　我か陸軍の飛行隊が青島攻撃開始以來盛に活動して精密なる偵察を行ひ我主力の行動を容易ならしめつゝあるは多とすべし殊に二十七日滄口にある敵艦隊を空中より攻撃すべく決死の覺悟を以て着彈距離以内即ち千メートル以下の低空飛行を行ひ快速力を以て旋廻しながら格好の目標とならざらんが爲常に其位置を轉換して止まざる敵艦上にバク彈を投して美事に命中せしめ多大の損害を與へたる殊勳は十分に記憶せざるべからず而之等の花々しき行動を敢てしたる飛行將校の背後には多數の飛行隊の士卒が上陸來暴風を冒かし以て所在に格納庫天幕を設け着陸地點を選定し軍の毛方の前進に遲れざりし苦心の容易ならさることを忘るべからず

▲海軍飛行隊　我陸軍は一擧に突出して早くも敵の主防禦線に肉薄したるが其浮山線奪取の激戰に對し我海軍も相策應しての活動は目覺しかりき是より先き第二艦隊は編立せる掃海隊に命じて二十四日以來急遽勞山灣及び大公島一帶の掃海を命じ又廿一日以來金子少佐以下の飛行將校が連日青島の現狀を視察しバク彈投下を行ひし一面に勞山灣附近一帶の海上に低空飛行を試み等しき距離を置きこボク／\水泡を立つる敵の沈設水雷の所在を探り一々之を掃海隊に指示したれば同隊の作業は瞬く間に進捗して敵の機械水雷約[illegible]千個を爆破し勞山港内の危險を除きたり此の作業を妨害せんとし敵の一砲臺よりは盛んに掃海艇に砲彈を送り最初の間は砲彈達せざりしも漸次着彈正確となり我の四邊に續々落下爆裂し終に○名の負傷者を出すに至れり依つて一時着彈距離以外に退き之に入れ代りて仰角多き特種砲を有する[illegible]艦[illegible]外[illegible]艦が進出してイルチス砲臺の敵を砲撃し直ちに之を沈默せしめ更に掃海隊の活動を續行せしめ其目的を達せしめたり斯る間に[illegible]陸[illegible]飛行隊は偵察の結果敵の堡壘は甚手薄にして多くも百名、少きは三十名内外あるのみなるを確め一氣に[illegible]を[illegible]する事となり廿[illegible]日[illegible]る大激戰を見たるなり[illegible]海軍は[illegible]を[illegible]行しつゝあり

●演藝會に就て

日本人會基金募集の一方法として記者の發企せんとする演藝會開會のことは頗る妙案にして多くの贊同者あらん只懸念するは出演者の多少如何にあり然るに之を補足するに名案がある夫れは幕間に外人の手品師などを雇ひ入れず同胞をして隨意舞踏せしむるに在り如此すれば兼て記者の首唱せらるゝ意義にも叶ひ同胞の中にはダンスの出來る人が幾人あるや又如何なる人々が上手なるやを知るの便を得し一擧兩得の策なりと思はれる同胞中に意外なる舞踏者があるかも知れず又前以てダンスに堪能なる井上、鈴木、伊東、鍋島等の諸氏と談合して當夜出席して輕妙の踊り振りを示し同胞に新式ダンスの如何なるものかを實際に示すの好機會とも思はれる失禮ながら同胞の中にはダンスの如何なるものなるかを知らざる人々が多い故に從つて其妙技を知らず妙技を知らざる故に熱心ならず故に此際ダンス鼓吹をなすには好機逸すべからずである小生はダンスは上手ではないが少しは出來る或所で同胞のダンスを見た中々達人の居るには驚いた追て此等の人々に付き批評をなし貴紙の餘白を借らん（道源生）

●戰爭と花柳界流行語

戰爭があるとれ度た釜を起す日本花柳界も引續く經濟界の不振で餘り董ばしい事もないが戰闘に因んだ流行語は盛んださの事一ッ二ッ失敬するをカイザー式、待合を要塞、遠出を遠征、外泊を露營、座敷着に着換るを武裝する、情意投合は講和、御祝儀をバク彈投下、客を捕虜など振つた方で又客の方では新橋を巴里柳橋は大川をミューズ河と見立て、リエージュ靈岸島を青島などいつてゐるとさ

●夕張炭山の大ばく發

瓦斯バク發の兆候ありし夕張炭山本坑第三斜坑東一番坑は三日午後四時半途しバク發折柄密閉作業中の役員二人雇員四人工夫廿一人の死傷者を出したり今回バク發したる第一斜坑は元自然發火をなせる箇所なれば嚴重密閉を施し現在は廢坑同様となり居しも瓦斯發生バク發の恐あり三日は午前六時同坑の奧部七十八號より八十一號まで密閉作業中同坑と全く異れる三番坑附近に自然發火を起し黑[illegible]したれば掛員總出となりて[illegible]に努めたるも効なきより他の聯絡坑の密閉作業を行ふ中一番坑も奥二番風空より黑烟モウ／\と噴出し見るからに凄愴の感に打たる會社は決死隊を組織し救護班を急行せしめ四日午前四時までに死体八人重傷十二人を收容せり決死隊は密閉作業を施し出坑するや午前七時東二番坑大響と共にバク發し一時煽風機に火災を起したるも工夫出坑後とて損害なく目下坑内の消火につき全力を盡しつゝあり

投書籠

▲籠係りの振はざること三ケ月に及ぶ、シツカリ遣つてくれ、僕の見る所では日本人の住む家に掃除の行屆いて居る所は一軒もない皆豚小屋同然だ（清潔エム生）▲立派な着物を着た日本人が昨夜サブウエーの中で汚い唊を吐き洋人から咎められて居た僕は實に耻しかつた文字の讀める輩は少しは注意すべし（エム、オー生）▲此間死んだ岡田といふ人は桂庵の腐敗した有樣を見て憤慨し、コンナ不体裁な所へ米國人のレデーが來るのだから排日論が出るのも無理はないと言つたげな、堵博をするルームはなし卷烟草の吹殼もない、奇麗な桂庵許りだのに何故にコンナ事を言つたのだらう（巡回委員）▲近頃御紙の文藝ランがなくなつたやうですが如何の御都合にて癈止されたか、一文士許りて出色のものなかりしやうなれば無理もない東部は生存競爭激烈な爲に高尚な趣味を味はふ暇かないのでしやう（加州生）▲筆誅生に申す君の御投書に關する件は目下調査中で近々大詐僞師大不德漢とアバズレ女の正体を御披露申す（籠係）▲プロシャ方面で露獨兩軍大合戰の眞最中露軍の中で獨乙皇帝カイゼルを生擒つたから今引張つて來るといふ大評判が持ち上つた、サア事だといふので早速其捕虜を引出して調べたが面の恰好から髯の撚り工合迄カイゼル其のまゝの料理人であつたさうな（一學生）▲ダウンタウンに來て大勝負をやり貯金千弗を卷き上げられた男三人あり僕に貸して呉れた方が餘程ベタじや（浪人）▲此間日本人會に就て私も白狀すれば最初は駄目だといつた者です然るに這入つて見ると色々便利なとが多い許りでなく、不時の災難に遭つた私などは一層其必要を認める譯です、自分さへ獨立して居れば他人は何うでもよいといふ以前の私は此頃に至りまして公共心を持つ事はツマリ自分の爲だといふと感じました（一會員）

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
228 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879.

紐育新報定價（前金郵税共）一部金五仙 六ヶ月分一弗 一ヶ年分金二弗
千九百十年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人 甲斐健一
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二二八
電話六四七三 チエルシイ

米國選擧の結果

吾國選擧民の學ぶべき所

米國上下院兩院議員、各州知事其他の選擧は去る三日を以て擧行されたが而して其結果は本紙雜報欄内に記載する通であつて之を二ケ年前の總選擧に比較すると現政府に對する國民の意向及び米國政界の形勢は僅々二ケ年の間に非常の變化を示した事が證明される、殊にルーズベルト一派の進歩黨が殆んど政黨として存在の價値なき迄に失敗し、下院に於て百四十五名の多數を有した民主黨が到處共和黨の爲に破られて僅かに十九名の多數を有するに過ぎない結果となつたのは頗る注目すべき現象で又米國民の政治的訓練は吾國民の夫れに比して遙かに進歩したものであることを認める事が出來るのである、二ケ年以前に民主黨が大多數を以て維爾遜氏を大統領に選出し、各州知事は固より上下兩院に於ても又對黨を壓して十六年來の鬱情を晴らし得たといふには二つの大なる理由がある第一はマッキンレー内閣以來久しく共和黨内に扶植された所謂領袖專制「ボシズム」及是等領袖等と結托して私利を營む所の營利會社に對する一般國民の反感第二はボス攻擊人民政治を怒號し民主黨と殆ど同樣の政綱を掲げて母黨に反旗を飜したル氏一派の新政黨組織であつた當時ボス連に對する民心の反感は可驚程熾烈を極めたもので祖先以來共和黨員であつた多數の撰擧民と雖も反對黨の候補者に向つて投票した位であつた、即ち民主黨は風雲に乘じて政權を獲得したものである、

然るに愈々民主黨の天下となつて見ると多年の宿題たる關税改正問題は解決されたが其結果は現在に於ては未知數であるが上にウイルソン氏の對墨外交も單に米墨戰爭を避けたといふ迄で何等纏まつた平和策を講ずる事も出來ず新内閣組織當時以來今に景氣が好くなると[illegible]し聲言したに拘はらず、全國一般の不景氣は近き將來に於て恢復するやうな見込もない、のみならず其原因がなんであらうと一般の不景氣を時の政府の罪に歸するのは何れの國民と雖も同じ事で人民は大統領ウイルソン氏の人格に敬服して居るが其實際的手腕に信頼する念は多少薄らいで來た傾きがある、斯ういふ有樣で米國民の現政府に對する意向は自然の成行として今回の選擧に遺憾なく反射された次第である、別言すればリンコーンの所謂「人民の政府」「人民に據て立つ政府」「人民の爲の政府」といふ不朽の金言が實際に行はれることを示すもので又立憲制度の妙用を極めたものである、尤も今回共和黨が俄然其頽勢を挽回するに至つたのは二年前ル氏の長舌に卷き込まれて分離した現進歩黨員の多數が共和黨の分裂は永く政權を敵手に委するの愚策であることを悟り再び元の所屬黨籍に復歸したのも一原因ではあるが今次總選擧の結果は要するに人民が現政府の消極政策に厭いて來た證據である

日本は米國とは國體を異にし、國民思想を異にし、歷史及習慣を異にして居るから總ての選擧に際して米國同樣にせねばならぬといふ必要は更にない、乍併既に立憲制度を採用した以上は内治、外交、財政は勿論一般の政治機關に對して國民の意志を充分に徹底せしむるやう努めるのが今日の急務であり又立法行政機關の選定者たり監督者たる國民の常に心得べき所である、此理由からして米國の選擧民は大統領を選擧するにしても上下兩院議員州知事市長其他の公吏を撰擧するにしても撰擧の標準として「マン、エンド、メジュア」即ち候補者の人物と其政綱を第一とし、所屬政黨が民主黨であらうと但しは共和黨であらうと夫等の問題は寧ろ第二の問題とする傾向がある、現に紐育市の如きも多年民主黨の根據地として將たタマニーホールの繩張内として其地盤は牢固として拔くべからざるものがあつた、所が三年前タマニー一派の横暴、市政腐敗の内情が暴露されて以來流石に難攻不落を以て稱せられた民主黨の根據地も選擧毎に次第に該黨の爲に蠶食され其餘波は州の選擧にも影響し今日に於ては多少ともタマニーに關係ありと云はるゝ候補者は如何なる手腕經歴あるに論なく何れも落選の憂目を見るやうになつた前年老巧圓熟の市政家と稱せられたマッコール氏が市長選擧に於て青年候補者ミシチエル氏の爲に敗を取り、今亦現任州知事たるグリン氏が新進候補者ホイットマン氏の爲に悲慘めな落選をしたのも之亦等しく選擧民が所屬政黨よりも寧ろ其人物と意見とに重きを置き公平なる自家良心の明鏡に照らして候補者を撰擇する美風を現はしたもので而して米國民の政治的教育の訓錬が如何に發達して居るかを示すものである、

翻て吾國選擧界の情態を見ると其政治的教育の幼稚なこと實に可驚ものがある例令は選擧民が衆議院議員の候補者を撰擇するにしても其標準とする所は極めて簡短で「アノ人は大會社の社長さんだから宜からう」とか「此人は元高等官を勤めて居た官からう」位な話で、此人物は世界の大勢に通じ學問識見に於て選擧民を代表するに足る丈の資格ありや否誠心誠意飽迄人民の味方、奸者の敵として國富の増進、民力の休養を圖るの主張乃至經綸抱負を有するかに就ては全く沒交渉である、斯くの如く選擧民の政治的訓錬が不充分であるから議員候補者たらんとする者にも甚だ以て怪しからぬ下等な輩が澤山ある、議員を踏臺に金を儲けやうとか或は多數黨のシリ馬に乘つて航路補充案の御餘りを頂戴しやうなどと考へる者もある、甚だしいのになると死んだ後「前衆議院議員何某之墓」と石碑に刻んで貰い度さに祖先傳來の財産を蕩盡する者や、大隈さん山本さんから「君近頃何うしたね」と肩を叩かれることを無上の光榮唯一の希望として一度議員に成り度と考へるやうな罪のない好々爺を出して來る、選擧民を腐敗せしめ、地方有志家を賊して不測の災禍に羅らしむる議員候補者は多く是等不面目なる政治商買人である、かゝる下等な人物の多數を有する吾帝國議會は眞に可憐なものではないか、抑亦此種人物を神聖なる議政壇上の人たらしめ、日東帝國民の選良として仰がねばならぬ吾國民は眞に同情すべきものではないか

今の日本國民は昔日の小島國民ではなく朝鮮を併有し、遼東の一角に足場を据へ、民族的に、經濟的に世界列強と馳驅を爭ふ大陸國民である、此大國民を代表し且其政治を切盛する立法行政機關が隨つて完全なる立憲政治の運用を圖らねばならぬとは何より多辨を要しない、夫れで吾國民は此際努めて高尚なる政治思想の涵養を圖り、各政黨の態度、爲政家の行動を監視すると共に衆議院議員其他の選擧に際しても、候補者選定の標準は其人物の所屬政黨の何派に屬するかよりも寧ろ其人物と政見實力が果して國民の代表者たるに適するや否やを極めて然る後決定することが肝要である、吾輩は勿論[illegible]政黨に對して何等の恩怨を抱く者ではない、只人民の味方、政事思想の普及論者、立憲政體の完璧を希望する一人として米國選擧の結果を論し、以て吾國選擧民の發奮自覺を促がす次第である。

●總選擧の結果

民主黨依然優勢、共和黨の勢力盛返し、進歩黨不振

去三日擧行されたる米國上下兩院議員、各州知事其他の選擧は左記の如き結果を以て終り一般の形勢は別項社説ラン内に於て評論せる所の如くか此結果中特に注意すべきは共和黨の勢力恢復にして民主黨は議會に於て依然多數黨なるも其差は僅かに少數に止まり大統領維爾遜氏の出身地たるニユージヤシー州さへも同黨候補者の大敗に歸したる事なり

議員及各州知事黨派別

▲現任上院議員、民主黨五十三名 共和黨四十一名、進歩黨二名

▲現任下院議員 民主黨二百九十名 共和黨百二十名、進歩黨十五名

▲新選下院議員、二百廿六名、共和黨二百三名、進歩黨六名

▲州知事の改選を行ひたる卅州の内當選せる各派の當選者は民主黨十四名共和黨十五名、進歩黨一名にして在米日本人と因縁深き現任加州知事ジヨンソン氏は再選せられたり

●紐育州選擧の結果 は左記の如くにして全然共和黨の勝利に歸し現知事長ホイットマン氏は約十四萬の多數を以て當州知事に新選せられたり

▲新育州知事當選共和黨チャールス、セーモーア、ホイットマン氏

次點者民主黨 現任知事グリン氏

同 中立 前知事サルザー氏

同 進歩 ダベンポート氏

▲上院議員當選 ゼームス、ダブリユ、ワツヅウォー氏

新撰州知事ホイットマン氏は當年四十六歳カチチカット州ノーウイッチ市に生れ、出生地の學校を了へたる後アムハース、紐育大學等にて法律を專攻せり 千九百二年アルバニー政廳の新育市に關する議案の監査官に撰定せられてより以來聲名に頓に揚り殊に二年前有名なる博徒ローゼンタル銃殺により暴露されたる市警察の腐敗廓淸に成功せることは氏今日重要の地位に達する最大機會をなせるものなり

●大戰要報

▲土耳古及列國の開戰 英佛露三國は前日曜に起りたる土艦隊の黒海沿岸砲擊に關し土耳古に向つて其責任を求め又土國政府は總ての獨逸士官を解雇し、名目上獨逸より開戰當時買入れたるものゝ武裝解除を爲すべしとの要求をなせるも土國は之に應ぜず其結果として英國は五日朝土國に對して宣戰を布告し日佛露塞黑等の諸國も相次で同樣の態度に出づべきは必然なるが如く、相前後して露土兩國は早くも國境を隔てゝ激烈なる會戰を開始し英國艦隊はアラビア沿岸の要地點を占領、英佛聯合艦隊は目下ダルダネル海峽の砲臺を砲擊中なり

▲南太平洋の英獨海戰 英艦擊沈 五隻を以て成るスピー大將指揮の獨逸太平洋艦隊は去一日南米智利沖にてクラドック大將の率ゐし四隻の英艦隊と暴風雨中に會戰し三十分の戰の後英艦モンマウスを擊沈し、大勝を得たるが英旗艦グートホープ號は大バク音と共に火災を起して何にか其影を沒し殘餘の二隻は大損傷を受け附近の港灣に逃げ込みたりと尚モ號の行衛は今以て不明なるも多分乘組員九百名と共に沈沒したるならんと

▲日本艦隊の南下 海戰近きにあらん 八隻の大小戰艦より成る日本艦隊は目下全速力を以て智利沿岸に向ひ南下しつゝあるが其目的は過日英艦隊を擊破せる獨艦隊の滅盡にあるは勿論にして獨艦隊は日本艦隊の追跡を探知し居りて可成衝突を避けんとする模樣なりと五日智利バルパライソ來電は報ぜり

▲獨艦出動 四隻の甲鐵艦及四隻の甲裝巡洋艦より成る獨艦隊は英艦隊の北海封鎖作業を妨げんか爲四日根據地キールを發進せりとの報あり有力なる英艦隊は之を邀擊せんか爲に北海を搜索し居れりと尚獨艦ヨーク號は去四日水雷に觸れて沈沒し同じくケンチスベルヒ號は印度洋に於て大損傷を受けたりとの報あり

●青島陥落近し 山東省鎭南府よりの來電に依れば吾包圍軍は廿六門の大砲を破壞し、八百名の敵兵を捕虜とせし由にて目下吉野砲隊は敵の塹壕及鐵條網に向つて熾烈に砲擊を繼續しつゝありと又海軍省の公報は獨軍が墺國軍艦カイゼリン、イリザベス號並に浮揚棧橋をザク[illegible]るが如しと報ぜり 四日東京發電

●青島北京間の無線電信不通となり日本軍は過日據付けたる攻城砲を用ゐて總攻擊をなしつゝありと四日北京發電は報ぜり

▲露軍益々優勢 露領ボーランド方面に於ける獨軍は去月十八日の大敗以來依然として退却を繼續しつゝあるが勝ち誇りたる露軍は逃ぐる獨軍を追擊して[illegible]手に委せる數多の都市を恢復し、又ガリシヤ方面に於てもプルミルス要塞より突出し來れる墺軍四千を捕虜となす等形勢頓に揚がるの觀あり

▲白國方面も聯合軍優勢 獨軍の右翼が前週以來其主力を傾倒して猛烈なる攻擊を試み來れる白佛沿岸占領の實戰計畫は三日間の激戰の後遂に失敗に歸し、今や方向を轉じて聯合軍の或方面を中斷せんと試みつゝあるものゝ如し

▲青島總攻擊と吾軍の死傷 昨六日發表せられたる日本政府の公報によれば青嶋攻擊以來吾軍の死者は二百名。傷者八百七十八名に上り合計千七十八名英兵の死者三名傷者八名なりと



青島攻擊開始

（卅一日東京電報）

海軍省の公報に依れば吾艦隊は英艦隊と共に去廿九日より濃霧に乘じて青島要塞に接近し盛んに砲擊を開始し翌三十日同じく砲擊を繼續したるも或砲台工事を破壞せるがカイゼル砲台のみ應戰せりと

青島より在北京獨逸側に達せる無線電信は日本軍が本日海上よりの砲擊を開始せりと爲すに反し日本側は攻擊今や進行中なりと報ぜり守備獨軍は數週間前より強力なる野砲を用ゐ包圍軍の攻擊作業を防害せるも何等の効力なかりしもの丶如く又英軍は要塞防備正面の一據點を占領せりと在北京の獨逸士官は日本軍が充分攻擊を試みなば青島は容易に陷落すべしと言へるが日本側は第一に砲台を沈默せしむる必要ありとの意見を有す（卅一日北京發電）

●大隈伯と軍國議會　第三十四議會は來月五日を以て召集さるべき旨本日公布されたるが大正四年度豫算案は既に編成濟みとなり來年度剩餘金は三千[illegible]萬圓[illegible]總額五億五千萬[illegible]に上り海軍補充費としては總計九千[illegible]を計上されたり歐州大戰の影響として陸海軍備の擴張は防務會議の審査熟議を重ねつゝありしが首相大隈伯今夜各黨領袖と會合して列強現時の大勢より國防の大方針を説明せる結果來年度豫算には近年稀れなる多額の軍事費を見るべしと傳へらる（東京廿八日）

●墺國軍艦擊沈　墺國巡洋艦カイザリン、エリザベス號は本日日軍重砲隊の射擊により膠州灣口にて擊沈されたる旨北京駐剳日本公使館より公報されたり同艦は日獨開始當始武裝解除されながら膠州灣に避難し爾後灣內防備の任に當れるものなり（廿六日）

●ホノルル、の獨艦と吾艦隊　修繕のため布哇ホノルル、港に碇泊中なる獨逸巡洋艦ゲール號の出港を待受け之を擊沈せんとて一隻の日本軍艦は同港口に於て嚴重に監視しつゝあるがホノルル、發電の所報に依れば布哇總領事代理有田八郎氏は一日夜同地稅關長と會見交渉を重ねし結果として同港々外に遊弋中なる同艦と米國官憲との間に無線電信の交換ありたる由なり、尚獨艦は直に出港して日本軍艦と一戰を試むるか但しは武裝を解除し戰爭終結迄留置せらるゝか二者其一を撰ばざるべからざる境遇にあるものなり

●露國密使の大注文

▲數百萬弗の必需品輸入

軍用品購入の爲渡日せる露國特使ゼルモニスキー少將は各方面に對し軍服〇〇萬組靴〇万白金巾十萬匹〇〇〇挺〇〇〇萬發自轉車〇〇万輛鑵詰三十万函牛肉五十萬噸其他の注文をなしたるが其他の注文中日本のみにては到底間に合はざるものあるにより米國各商會と連絡のため此程有名なる某大佐の來航ありたるが同方面へ必需品輸出のため桑港出帆の各滊船は每船貨物滿載となりモンゴリア號には鐵條網たるべき針金其他の貨物滿載しありたりといふ

●日本赤十字社の光榮　日本赤十字社は露都ペトログラード患者四百名に對する看護婦組織の救護班一ケ班を派遣するに決したるが、當初同社より露國の外英佛兩國にも紹介し置きしに日英國政府より吾赤十字社の同情ある提議に對し[illegible]露國と同樣救護班の派遣を歡迎する旨井上駐英大使の手を經て回牒し來れり、同社にては慎議の上方針を決定すべく、愈々英國に救護班を派遣する事とならば日本赤十字社としては更に一段の光榮を施す次第なり、こは日露戰役の際に英國のリチャードソン夫人を始め各國の醫員及び篤志看護婦等が來朝して親しく吾傷病將士の看護に盡したることのあるに對して此度の歐州大亂に方り十年前の國際行爲に酬ゆると同時に協同博濟といふ赤十字事業の精神を發揮せんとするに外ならず

●戰死將校行賞　佐久間騎兵少佐以下左の將校六名に對し何れも戰死當日附を以て頭書の通り敍勳行賞の沙汰ありたり

陸軍騎兵少佐功五級　佐久間善治
敍功三級金鵄勳章（年金五百圓）敍勳四等授旭日小綬章
陸軍步兵大尉　池部末[illegible]
敍功級授金金鵄勳章　年金二百圓
授雙光旭日章
陸軍步兵少佐　佐藤嘉平次
敍功四級金鵄勳章（五百圓）敍功四等授旭日小綬章
陸軍步兵大尉　岡千太郎
敍功四級金鵄勳章（年金五百圓）敍勳六等授單光旭日章
陸軍步兵大尉　津田業
敍功五級金鵄勳章　年金二百圓（敍勳六等授單光旭日章
陸軍步兵大尉　玉崎英雄
敍功五級授金鵄勳章（三百圓）敍勳六等授六等單光旭日章

●飛行機用の發動機　今回の世界大戰亂に先ち航空事業の急務を感じたる吾陸海軍航空當局は飛行機製作に際し發動機を除きたる他の一切の材料は日本製品にて事足るに反し發動機の製作のみ不可能なりとせられたるを慨し東京砲兵工廠及び横須賀海軍工廠に於て鋭意研究製作中なりしが去月中旬に至り東京砲兵工廠製作のもの漸く完成したれば直ちに所澤飛行場に送り過日來モ式復葉九號並に十號に取りつけ去[illegible]澤田中尉が操縱の上數回の試驗飛行をなしツイ此程は帝都訪問の快飛行を爲したが其成績頗る良好にして優秀なる獨逸又は佛國製發動機と些の軒輊を見ず今後吾飛行機は少しも外國品を用ひず純日本製の材料のみを以て意の如く[illegible]眞面目に[illegible]於ける武[illegible]獨立を完成し得ることになりその構造は佛國製發動機ルノー式を模したる物にて固定滊筒式、空氣冷却、馬力は七十五馬力、プロペラー廻轉數は一分間一千乃至一千二百なり

●ガン新藥の發見　東京高輪病院長瀬脇壽雄氏は最新ガン諸病に對する新藥エリスロセロナールを發見したる由にて動物試驗の成績に依れば同藥は何れの部分に發生せるガン種に用ふるも何等妨げなく之を通常筋肉又は靜脈中に注射するか若くは局部に貼附する時は疼痛の減退不眠の消失食欲の亢進体量の增加及びガン腫の發育、ガン腫性潰瘍分泌の閉[illegible]をなすものにして多數の同患者即ち顏面ガン、乳ガン、コウ頭ガン、食道ガン、直腸ガン、胃ガン等にして効を奏したる由

●惡僧等峻嚴な求刑を受く　本願寺獄事件公判廷に於ける模樣の詳報を待たれば掲げむに檢事は各被告等は僧侶の身を以て濫りに公金を濫費し投機事業に手を出し淫樂に耽りし歷然たり殊に各被告は共犯にして連帶以て其罪を問ふべきものなりと論告し左の如く求刑せり

▲懲役四年　前會計長　朝倉明宣
▲同三年　前室內部長　上原芳太郎
▲同二年罰金二百圓執行　後藤環爾
▲同二年　前財團理事長　赤松連城
▲同一年　同理事　芳瀧[illegible]
▲同一年　前本山執行長　大洲鐵也

●代議士鶴原定吉氏辭職　病氣の爲今回代議士を辭せり

支那第三革命熟す

膠州灣作戰の日本軍が支那[illegible]を蹂りたる一事は袁世凱政府の一大打擊なれば此虛に乘じ支那革命黨の運動一層甚しきを加へ此結果或は袁政府の瓦解を見るやも知れずとの特電より當地支那新聞に達せり南方革命黨の首領黄興逸仙目下は東京に其本陣を置き切りに日本官民の間を奔走して革命黨の爲に同情を求め猶日本政府と密約を締結せんとしつゝあり之と同時に袁に反對の同志は米國に於て其軍用資金を調達中にて若し好機會の達するあらんか直ちに孫逸仙を押し立て丶革命の旗を揭ぐべく現に支那中立問題より起れる日支間の紛爭は革命黨の蹶起に好機會を與へたるため愈々遠からず其勃發を見るべしと云ふ

●革命黨と頭山滿氏談　南清地方に於ける第二次革命の氣勢漸く熟し革命の志士亦潛伏して今まで靜に技を鳴み時機の到來を待ちつゝ[illegible]か如し現在にては未だ其頭領を有せず統一的優勢團体と見る能はずと雖も一度袁政府にして失政を行はんか各地相呼應して起ち革命の[illegible]を告ぐる迄は漸進黨及急進黨乃至は宗社黨何つれも相團結して討袁軍の大同團結を作るべきは明かなり殊に革命黨の最も艱苦とする所は軍資金の調達にあるが黄興一派は米國方面より着々資金の供給を仰ぎ居れる樣子なれば形勢は頗る重大にして袁政府の苦慮亦察するに餘りあり惟ふに革命の前途は決して輕々すべからざるものあるを信ず云々

●書家殺し同胞無期懲役　加州モントレーに於て女流書家スミス殺害事件の同胞小谷が謀殺被告事件は陪審官會議に於て刑の適用上不一致なりし結果過日遂に被告小谷勝長は無期徒刑になるべき事に判定せりと

●正金預金換算相場變更　正金銀行從來の預金換算相場は日貨に付き米國五十弗廿五仙なりしも相場變動の五十弗に下落せり米國郵便爲替りは日米送金は百圓に付き五十弗なるも手數料百圓に付米金五十仙を要するを以て正金を經て送金する時は五十仙の利益ある譯なり

●外務省令撤廢　外務省令撤廢に關し同盟記者俱樂部實行委員は六日午後二時永田町總理大臣官邸に於て大隈首相と會見したるに首相は江木書記官長立ち會の上左の如く言明せり

一、外務省令第一號は言論を[illegible]する趣旨に對し政府も[illegible]快とす故に帝國の軍事行動の終了を待つて一日も速に廢止する考なり

二、前項の主旨に對し該省令存續中と雖も新聞紙に對する取締は從前と異なることなく外交に對する新聞紙の議論批評は勿論事實の報道は自由なり

四、前二項は政府の意見にして加藤外相も無論之を承知せり本省令の直接取扱上齟齬を生ぜざる樣注意をなすべし

東印度人續々歸國

米國領內より加奈太入國を拒絕されたる東印度人百餘名は沙都方面より桑港に來り天洋丸にて歸國しつゝあるが尚各地在留同國人は續々桑港に集合し來り次便モンゴリア號にても百名內外歸國せんとする形勢あり是等東印度人の歸國は無論英國々旗に對し[illegible]反旗を翻し革命[illegible]せしめんとするものにして過般の駒形丸事件以來印度內地に於ける革命の機運益々熾んなるのみならず是等米國より歸國者は殊に充分の資金を有し居るにより時機により多少の騷亂を避け難きに至るべく最も同國人の歸國に就ては桑港駐剳英國總領事カーチギーロッス氏も鋭意事情の調査中なるが氏は同問題に對し極めて樂觀的の意見を有し居るものゝ如し

▲米總領事談　東印度人歸國に關し米總領事カーネーヒッス氏の意見左の如し

是等歸國東印度人は無論革命戰爭[illegible]の爲め歸國するものなれど現在の狀勢[illegible]

●露國に分捕品を返す　露國は大[illegible]を動かし[illegible]に向[illegible]を感じて來たのと屢々[illegible]交して來るか日本[illegible]は一々夫れ[illegible]する材料なく[illegible]斷りする次第なるが茲に日露戰爭[illegible]時旅順や奉天で分捕つた[illegible]あつた[illegible]露國政府に返してやらうと目下兩國間に話を進め[illegible]

本社營業部

▲日本行汽車汽船切符取次　日本郵船　大阪商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲米國實地實業經營法　柳原資天氏著　定價一册金一弗郵税十仙

紐育新報社

●西市通信　白帽子

▲亞市日會秋氣大會は去十八日今成商會に於て開催、左の各件を議決せり一、天長節は名地の例を參酌[illegible]比す三、幹事の數を五名とす三、機會ある毎に來遊名士を招聘して講演會を開く、本會の發起を以て歐州戰亂罹災民救濟資金募集の爲バザーを開くの件は時機を待つ事右終[illegible]役員改選を行ひたる[illegible]長江藤佐十郎、專任幹事諸川正、政田龍之幹事林鐵次、加藤菊治郎、大谷政吉[illegible]氏當選せり同會の基金は五百八十餘弗に達せりと

▲林鐵次氏の新店　毎夏ピッツバーク方面に活動する同氏は今回當地ボードウオークに雜貨店を開けり

●聯合説教會　來八日紐育ミッションに於て當地基督教徒の聯合會あり、目下游同地に以教會牧師淺野傳四郎氏の説教ある筈

●紐育大學同窓會　來十四日夜料亭若松に於て開催の筈なり

●小玉吞象氏の易斷　同氏は近々米國人間に斯道の擴布を圖るの目的を有し居れるか氏の名聲外人間に知れ渡るに連れ自然多忙となるべく同[illegible]中の易占を望む人は此際至急申込む[illegible]多かるべし

●米國海軍布哇司陸飛行家を疑ふ　在ホノル、[illegible]飛行家は去三日飛行を試みとせしに第一回飛行場の後[illegible]に之を留めたる[illegible]る事柄なるやは不明なる[illegible]行中比後布哇駐在陸海司令官[illegible]數多の高級官吏の協會[illegible]なり、電報の文面によれば[illegible]する[illegible]目下同港に逃げ込み居る獨艦を港外に待ち受けつゝあるも、肥前[illegible]の二艦と前記飛行家との間に信號を交換すには非ずやとの嫌疑米官憲の間に起りたる結果ならんか

●日本人會準備會　去五日同會の事務所に於て準備委員會を開き茶試會開催に付協議したるが場所時日は未定なれども多分今月末日五十九丁目のコロンバスサークル、バブストの階上に催すこととなるべく志田理學博士、易學大家小玉吞象氏等の講演ある筈なり尚當日は特に婦人を歡迎する由にて婦人參會望希者中指定の場所に集合する人々に對し茶話會は自動車にて迎に行くべく婦人接待委員を囑託せられたる人々は左の如し

婦人接待委員長　一宮夫人

委員　中村總領事夫人、瀨古夫人、高見夫人、高見婦人、菊地夫人、鴨井夫人

●渡航免状なしで上陸、但條件付き、日本藝人ボスたる下野氏の弟上野万正郎氏及三名の小供は過日アドリチッチ號にて倫敦より到着さるか當人等の旅行免状は英國行の免状なれば移民官は上陸を許さず其儘移民局に抑留せられ居る中上野氏は日本人會の注意により華盛頓の本局に伺書を差出したるに、一人に付五百弗のボンドを積みに十日以内に桑港より歸國するとの誓言を爲さば一時上陸せしむるも差支なしとの命令來りしより各其手續を濟まし昨日無事上陸せり尚森村新井會社員金原夫人の令弟はトラホームのため上陸を許されず之れ亦華府本局へアピールしたり

●富士製糸會社員原崎氏　はホテルマンハッタンに滯在中

●京都大學教授理學博士志田氏　は若松に滯在中なるか今明日頃歸途に着く筈

●日本カーデン開店　佐藤、鈴木兩氏は今回第五街廿八丁目と廿九丁目との間に植木店を開業せり

●ウエトレス一名入用　希望者は本社へ申込まるべし

佐藤 鈴木 **日ほん園**

クリスマス、新年、婚禮、葬式用花類、並に植木箱庭、箱庭用植木類鉢小[illegible]

私共今回新たに左記の處に於て開業致候間多少に不拘御用被仰付度奉希願候

佐藤鈴木日本園　支配人　西島三藏

紐育市第五街二百五十九番

廣告

小玉吞象先生易斷

高局吞象翁第二世小玉吞象先生當分の中日本倶樂部に於て一般の需めに應じ易占せらるゝに付茲に御紹介申上候

紹介人　新井領一郎　村井保固　一宮鈴太郎　瀨古孝之助

●新開業御料理

來十一月一日より左記の所に於て新に日本御料理開業仕候間幾重にも御引立の程奉希上候

五十九丁目の地下鐵道からホンノひと足の處に候へば何れより御越の方にも至便利の處に候

花月　金澤萬吉

[illegible] West 60th St. N. Y.
Tel. Columbus [illegible]

貸間あり

清潔にして閑靜なる貸間三室あり殊に日本人に貸したし

室代一週間三弗より三弗五十仙

各室にランニングウオーター(冷温)あり

H. A. Trieston
[illegible]7 West 128th St., N. Y.

新荷到着

京都高嶋屋製

縫泊入衣物類　女持手提袋　スカーフ類　木綿衣物類

クリスマス贈答品としては尤も適當に候

紐育東十七丁目廿一番

京都工商會社

豫約募集

秋山雷著

英文「ヂーサス」(キリスト)傳　定價金二弗五十仙

豫約申込期限　十一月二十日迄

豫約代價金一弗　前金拂込の事

十二月十五日發刊

始めて日本人の手に成れる英文ヂーサス傳にて空前の大著述なり

發行所　紐育東五十七丁目四六五　世界宗教評論社

●同胞に最も適する好機の最金もうけ

一ケ月以上毎月七八弗確證ある仕事學生諸君得らる

の餘暇には好都合、旅行をなし乍ら愉快にして高尚な商年中つゞけ得る今や最も易く万事好適の時今始むるは後日向上發展の基、機を見るに敏活なる諸兄よ、秋冷一杯惰氣を破棄し起て奮へ、憶測遲考の時にあらず一日の遲延は千秋の悔を殘さんのみ一切は御一報次第明細に方法を御通知申す

御問合せは下名にありたし

RIKKO ART CO.
Box 216　Cleveland, Ohio

日本婦人ウエートレス一名至急入用

給料一ケ月二十弗

御望の方は新報社へ來談ありたし

紐育日本間郵便發着表

ニューヨーク本局締切午後六時

船名	經由地	發送日
チカゴマル	シヤトル	十一月五日
靜岡丸	仝	十一月十二日
香港丸	桑港	十一月一日
地洋丸	仝	十一月八日

●日本より到着日　十一月二、四、十、十一日

○新聞雜誌書籍一切

羅府東一街二三五○

書店 博文堂

250 E. First St. Los Angeles, CAL.

GREAT NORTHERN RAILWAY

"See America First"

毎日午後十時十五分チカゴより發車す、途中乘換なしチカゴ以東は各鐵道に連絡す

客車は凡て最新式にして且つ[illegible]は風景に富める地方を經由し日米間旅行道筋として尤も愉快なる[illegible]なり

NEW YORK OFFICE　1184 Broadway, N. Y. City. Tel. Madison Square [illegible]
S. Loundes G. A. P. D.

診察

●前約に限り診察往診の求に應ず

醫學士 **小栗乘吉**

ブロンクス動物園正門前　フオーダム病院内

電話トレモント二〇〇〇

JOKICHI OGURI, M. D.
Fordham Hospital, Bronx, N. Y.
Tel. Tremont 2000

○御料理並日本食料品販賣

今般小生共左記の處に於て御料理並日本食料品販賣店開業仕候間何卒御愛顧御引立の程奉希上候

南京町モット街第六番館

万屋　岡本 古川

□球臺あり

△卜筮易斷

多年支那にて觀相及易學を研究し其神を究めたる斯道の大家生々庵主人此度先生歐米を經て歸國の途當市に滯在し廣く占筮の事に從ふ(見料隨意)

西五十八丁目三百四十番　[illegible]旅館内

岡田寫眞館

[illegible] W. [illegible] St.
N. Y. City
Tel. [illegible]

TOYO KIKUCHI PORTRAITS STUDIO

ROOM [illegible] BLDG.
[illegible] 5th Ave. N. Y.

菊地寫眞館

Tel. Murray Hill [illegible]

新古書籍賣買

學校教科書其他新舊一切の書籍數千種取揃有之極めて安價に差上候　尚御不用の書籍は可成高價に御買受申候

ニューヨーク西街十五丁目三十一

ハインス エンド ノーブル 書籍店

Schoolbooks of all Publishers at Reduced Prices
Hinds and Noble, 31-33-35 West 15th St., N. Y. City.　Second hand and new. Write for Catalogue

御下宿 吉田宗章

[illegible] Ave. N. Y. City
Telephone [illegible]

●球場あり●

▲法律顧問▲

民事及刑事訴訟一切

契約其他の書類編成、貴金取立等凡て法律上の依頼に應ず、鑑定無料希望者は御報社へ申込まれ度し

辨護士　ハイマン、アール、シーガル

HYMAN R. SEGAL
ATTORNEY AT LAW
[illegible] New York

各種革箱製造

當社製造のファンシーケースは日本雜貨店及び玉屋等に缺くべからざる必要品なり



[illegible]御註文に應じ[illegible]御郵送可仕候

[illegible] & CO.
[illegible] New York City

日本食料品い何時も申上ます様に大概のよい四季の品が揃ひますので新物が着きました雜誌は毎月お知らせ致します。

Audubon 475

▲ニューヨーク生命保險會社▲

代理人 [illegible]

御試驗の上御高評を乞ふ　御一報次第カタローグ郵送可仕候

五八二[illegible]商標



◉化粧品卸賣商[illegible]

本店製　香水、トイレットパウダー、サシエー[illegible]

[illegible]商會

御下宿並御料理

御そば　うどん　おしるこ

電話プラザ八六十四

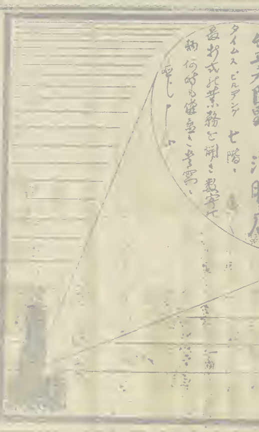
貸間あり

大〇〇

笠井阪野洋服店

タイムスビルデング七階、最新式にて業務を擴張致し候何卒御用命の程願上候

Kasai & Sakano
Tailor
Times Building
New York
Bryant 5319



●生死の境に入つた 決死隊員の書信

機械水雷にかゝり沈沒したる第三長門丸に其の當時乘組み居たる某氏の書信に曰、[illegible]我乙掃海隊は勞山口港一帶の掃海を急遽施行する事と相成り某日以來前に暴露し壯快なる決死の作業を續け居り候吾隊は島影を得ては假泊睡眠するにて[illegible]同の勞苦なか／＼のことに候殊に敵砲臺よりは吾作業を妨ぐる爲め[illegible]日來頻りに我に砲火を注ぎ初め候敵の射擊は甚だ巧妙なる上に彈丸の穴之を恐れ候爲か照準精確ならでば砲擊致さぬらしく續々と吾艦艇の四邊に彈丸雨下致し候軍艦○○の如き爲に其の爲に其信號臺を打ち飛ばされたりと申候されば最初の間は乘込員一同も流石に危險を感じ候へ共何分吾等の船は小さき型に候へば僅に廿六日○○丸が船尾に一彈を蒙りしのみ其後の損害無之候にぞ一同愈々砲彈に馴れ果ては甲板に立つて此方に落ちたな彼方に落ちたなどと呑ん氣に見物致すやうに相成り候斯かる間に廿九日掃海を一層急に進めるやうとの命下り候ひ然れば[illegible]作業を急ぐこととも相成り夜を徹して翌卅日掃海ま[illegible]睡眠の遑もなく交替にて乘組員一○名と共に[illegible]候は他の一名と共に船の機關室に有之候ひしが四時頃と思ひ突然甲板上に消魂しき喇叭の響き[illegible]響き渡り出航用意を命せられ候吾等は何事ぞと不思議に思ひ居り候ひしが是れ航空隊母艦若宮丸が艦部に機雷を受けしにて第三長門丸は救助に驅付け應急手當の上元の位置に引返せしが八時頃吾が長門丸も亦一發物凄き音響と共に船は[illegible]ゆらぐと揺らめき機關は裂けて[illegible]如き湯氣は小生等の部屋に[illegible]尋常事にあらず[illegible]甲板に驅け登らんと致し候へ共[illegible]梯子は碎けて足掛りなく噴出せる蒸氣は身体を吹き飛ばさんばかりの猛烈なる勢に昇降口へ取付きて[illegible]んとせしも何故か身体か自由ならず頼みの彼の[illegible]は小生の足を確かと捉へて[illegible]候[illegible]兵は甲板まで[illegible]は確に引上げしを覺へ候も其後は如何にせしか一向存せず小生が甲板上に飛出し候際には上甲板も既に海中に陷り傾ひしかは矢庭に渦卷く海中に躍り入り約三十分が間は泳ぎ候斯る間に右足の不具に自由を欠き心地を覺え候[illegible]負傷せりとは全く心附かずやがて其附近に散在し[illegible]作業中なりし驅逐艇に救ひあげられ驅逐艦に[illegible]病院船に送られ始めて大負傷をせるを知り申候(下略)

▲珍無類の高等乞食

東京谷中初音町邊に一廉の紳士か[illegible]んで居る、毎日／＼流行の帽子を冠ぶり紺布でくめて宿車の出入り、何樣相當の紳士、日々の暮しも中流以上、歸れば御歸り遊ばせと式臺に出る家族の振舞も卑しからぬが、一つの不思議は、其紳士が毎時も行先までは車を用ひず、一定の處で車を乘り捨て[illegible]所まで來てくれと注文する、車夫は約を違へず出迎へると必ず紳士も歸つて來る、之が毎日なので段々と疑問の聲が高まつた、ソコデ車夫が一日それとなく尾行して見ると之れが、たこも乞食の事ーだ途中で車を乘ると物蔭に行つて衣裳を改め、出來る姿は全くの乾癩兒それで或地點に出張して、作り聲で哀を行人に訴へる何樣其地點が宜いので莫大の貰ひがある、少くなると御歸邸に相成る又物蔭で紳士の裝をなし、かねて車夫に命じてある處で御迎を待ち受けるといふ嘘のやうな誠の話である何でも一日平均四圓以上のもらひであるらしひとの事、如何に淺しき世の中とはいへ、左りとは餘り惡むべき所業ではないか

●獨帝の星廻り

廢帝の兆

九月十二日帝大法科に開催した丁酉倫理會で隈本有尚氏は恆星學上か歐洲戰局の將來を論じた曰く地球には九ツの星か常に人間社會に色色な變動を與へけゐる、その星の位置その他の關係から獨逸が大敗して一時沈靜に入るけれども大正五年から八年にかけて日本が原動力となり局面展開できて風雲穩かならざる時が來になる關係を有してゐるので今上陛下の御星の尊きは別として現時英帝の星に及ふ元首は他にない至幸至福の木星高く天に沖してゐるから物質界に於ける霸たるへき御方である露帝は英帝に次ぐ星で英帝の太陽と露帝の月の關係が六十度の度角を保つてゐる居るから將來親しい友となられる白帝や佛大統領の星は其の生年月日と時間とが不明で調査出來ないのは遺憾である墺帝の星は惡くはないのに事實不幸の地位にあるは蓋し人爲的轉換であらう獨帝は火星で最高所に上つてゐる結果性猛烈の上に太陽星と土星とが著しく障害をしてゐる之れは大なる破壞を意味する故に此の身体は事業をはじめて成功するで中年に其の獲得した位置を失ふ獨帝今や正に中年にして遂に廢帝の悲運か來たのではないか私はさう思はれる云々

▲豫傑 きらいな奴集　蛸樂師

もない癖に無暗に豪傑振る奴、━━━━を出れば自分等は一廉の━━━だと心得る奴、━━━━に勤めて居れば例令━━━でもエライ者じやと心得る奴、矢鱈に大法螺を吹いて恥ぢぬ奴、エタイの知れぬ學位で鄉里の百姓をゴマ化さうと考へる奴、自分より目下の者に會つた時には默つて目下の者を捕らまへてはトテツもない威張り方をする、人と話をする時對手の顏を眞直ぐに見て話さぬ奴猫なで聲で虛をつく奴、金を溜める許りで其使方を辨へぬ奴、時代の進歩と共に自分の學問見識を進める事を思はず、無暗矢タラに時代遲れの議論をする奴、文士を氣取る奴、日本の事は皆解らないで亂暴に日本の習慣風俗を攻擊する奴

●投書籠●

▲上町に住むで佛國人を妻に持ち居る幸島といふ小野郎の暴言に曰く煎餅燒などは下等動物の行る仕事だから吾輩の如き高等教育を受けた者は煎餅燒などは朝飯前だ云々其れに引替へ已れは下等動物の仕事を一生懸命黑焦の煎餅を燒き居るとは少々噴飯に堪へない(日廿五丁目煎餅燒)▲新料理店大黑屋は馬鹿に繁昌するが一体何ういふ譯です、値段か安い爲か、別嬪が居る爲かマッタ料理が甘味い爲ですか(經師屋)▲前金をチャンと取つて置きながら一ト月經つても品物を拵へない商買人が居る、之が日本などであつたら差向監獄物じやがさいへばナニ君アメリカだよ、には全く恐れ入つた(待ちくびれ生)殖へるものは料理屋と無職業者、減るものは働口と懷中の金、歐州大戰爭が在留日本人にまで及ぶとは驚かざるを得ない(吃驚生)▲日本料理に行かないで支那飯に行くものが多い日本料理屋の親父共も少し考へたら宜しからう(同人)▲日本へ歸るなら早く歸れ、金が貯蓄したければ眞面目に、タラケ、歸る事も出來ず金も持たず、生半可の小理屈許り並べて駄法螺を吹く書生ッポ程有害無益の動物はない、紐育の日本人社會はソンナ動物の必要を感じないのだ　一勞働者

The Japanese Times

紐育新報

青島陥落と日支米關係

日本に必要なる人物

戰爭時報

青島陷落詳報

（七日、八日東京發電）

▲白旗を掲ぐ　六日深更山田少將の率ひし吾步兵部隊は第[illegible]防禦戰中[illegible]中央部[illegible]を占領し[illegible]二百名を得たるが翌七日九時二十分[illegible]は青嶋[illegible]所の屋上に白旗を掲げて降伏の意を表せり、斯くて總督マイヤー、ワルデック氏の遣はせる特使は休戰旗を掲げつゝ日英攻圍軍を訪ひ少時間[illegible]會商を重ねたる後モルトケ[illegible]に於て開城の手續をなせり守備軍が斯く急速に降伏するに至りしは吾海陸攻圍軍の頗る意外とせし所なり

▲全市殆んど壞滅　青島よりの私報に依れば獨軍は開城に先ち[illegible]より凡ての殘留品を破壞し全市は事實上全滅といふも不可なしと[illegible]膠州灣内に入りたる吾水雷艇隊は港内の船舶が悉く擊沈しありたることを發見せる由

▲最後攻擊の吾死傷者　吾攻圍軍の將校は何れも守備軍の[illegible]なる[illegible]を稱揚せり、陸軍省公報に依れば最後攻擊に於て吾軍は死者三十六名傷者八十三名を出せり又[illegible]戰に於て[illegible]重要なる戰功あり[illegible]將校二名[illegible]りと

▲[illegible]六千名　青島[illegible]と共に[illegible]の[illegible]となりし[illegible]は六千名[illegible]に[illegible]べきなり

▲吾[illegible]の[illegible]　[illegible]日[illegible]吾[illegible]飛行隊の有効なることにし[illegible]觀察[illegible]することを得たりと

▲青島は歐州大戰終了迄保管　鈴木[illegible]海軍次官の談に依れば吾國は歐州大戰の終了する迄膠州灣を[illegible]し、然る後之が[illegible]交を開始すべし[illegible]

●[illegible]日英兩軍に下[illegible]る[illegible]國民の[illegible]

▲兩軍へ[illegible]　[illegible]軍と共に[illegible]に[illegible]偉[illegible]る詔書を下し給へり

▲開城談判終了　日獨兩軍の開城談判委員は七日午後降伏條件に關する第一回の商議を終りたるが獨使は恐ら吾要求條件を容れたり、[illegible]朝の第二回の會見を遂げたる後十日[illegible]其他の引渡を了[illegible]等なり、最後攻擊我死傷者は將校十四名負傷し、兵卒の死傷四百廿六名にして捕虜二千三百名なり

▲全國民の戰勝祝賀　青嶋陷落の報至るや中央地方を問はず全國民は日章提灯行列其他の催ほしをなして滿腔の祝意を表し中にも東京市民は隊列を作りて外務省海陸軍兩省[illegible]合[illegible]國大使館を訪ひ万々歲を歡呼せり、國民が日英同盟を歡迎するの情は甚だ深く青島攻擊參加を嘉稱するとによりて表明されたり

▲日英海軍の祝賀交換　日英海軍は互ひに青島陷落の祝電を交換せるが東京市長阪谷男爵は市民を代表し英皇帝ジョージ陛下に向つて祝賀並に[illegible]謝の電報を發せり

▲[illegible]條件降伏總督自殺說　膠州灣なる[illegible]の艦船は破壞せられ航海は布[illegible]水雷[illegible]ため甚だ危險なり、降伏條件は無條件開城なりと解釋せられ居れり、青嶋守備兵中ジャンクに乘じ逃走せるものあるが膠州灣總督ワルデック氏は開城談判を管理せりと[illegible]らるゝに不拘、[illegible]自盡せりとも傳へらる

●報復を誓ふ

（[illegible]日伯林電報）

青島陷落の報[illegible]上により傳へらるゝや[illegible]國民は[illegible]に熱狂せる[illegible]末路を悲み、[illegible]め伯[illegible]たる國旗は[illegible]戰の[illegible]を祝するに[illegible]、目に餘まる日本[illegible]の攻擊に[illegible]勇敢に戰へる青島守備軍の最後に同情する念は一般に[illegible]なる光[illegible]を現はせり、海軍通なる[illegible]は青島が曾て攻難不落[illegible]と豫期せざりし事、日本は[illegible]勢と便宜の地位を利用して[illegible]日時を速せるのみと語り、凡ての新聞紙は[illegible]を[illegible]て青島守備軍が[illegible]を[illegible]して遂に祖國の難に赴き[illegible]るか伯林[illegible]紙の[illegible]する[illegible]は左の如し[illegible]永久に[illegible]なる行爲を忘却せざるべく[illegible]を忘れざるべし、吾人は現在に於て日本と[illegible]を相殺し難きを知る思ふに日本は數ら[illegible]獲得せる掠奪品に飽しなべるべし[illegible]かも記臆せよ數年後に於て吾人の備準成り報復の機會來らんか[illegible]國民の[illegible]は全[illegible]につ[illegible]べきことを、思ひ知れ日ぼん

●日ほんの意決固し

首相大隈伯は本日は政友會の重立ちたる議員を官邸に招待して政府の立場其他に就き說明する處ありしが先きに米電にて傳へられたる吾政府は米國政府に對し南洋に於ける我艦隊の行動に付き或種の證言を與へウィルソン大統領は之に滿足を表せりといへるを否認し吾政府は公式非公式を問はず南洋の諸島を占領さるに就き何等米國政府と交涉せず從つて證言を與へたる事なし日米協約は太平洋の現狀を變更せんとする場合には日米兩國間協議すべきを規約せるを以て戰爭終結の曉に於ては或は南洋に關する[illegible]交涉は開始さるべきも今日は未だ其時機に達せずといへり加藤外相起て首相の言に裏書きし[illegible]日本軍の占領せる南洋[illegible]諸島及び膠州灣の處分に就きては政府に何き決心あり[illegible]輿論其[illegible]には種々なる抗議[illegible]も起るべし[illegible]

●日ほんは飽く迄其初一念を貫くべく

[illegible]何[illegible]を懼れず[illegible]

●二師團增設案計畫

[illegible]防務會議に於て陸軍側の主張せし第二[illegible]師團增設案は三年[illegible]なりしも交[illegible]の結果完成期限の延長、制度[illegible]の[illegible]節減經費年[illegible]に於て若[illegible]相[illegible]の政[illegible]見を[illegible]して結局陸軍當局の成案たる六年[illegible]千二百五十萬圓[illegible]十二日以後[illegible]豫算閣議に於て大約左の如く決せらる[illegible]

第一期、[illegible]より二個師團の增設に著手し大正四年度[illegible]四年度[illegible]に之を完成す[illegible]

[illegible]新設師團[illegible]費[illegible]一千五百萬圓を要するも左の[illegible]果[illegible]千二百五十萬圓に[illegible]見るのみなり[illegible]分現存せるを[illegible]一個師團分はバラック代用により凡そ四百六十九萬圓を節減し得べし兵器費は戰時の舊式兵器の流用により凡八百二十二萬を節減し得べき[illegible]なりしが其の後兵器[illegible]收入額增加のため凡そ一千万圓を流用し得る事となれり[illegible]費は委任[illegible]により凡そ二百五十九万圓を節減し得べき計算の所先年[illegible]の結果[illegible]凡そ三百八十万圓を流用し得る事となれり

以上は增師に要する臨時費にして經常費としては二個師團分一個年七百四十萬圓を要するも交代制度廢止により三百六十万圓を節減し得べきを以て完成の曉毎年度に國庫の負擔に歸すべき金額は四百八十萬圓なるも分遣制度の廢止に伴ひ漸を逐ふて完成を期する方針なるが故に初年度に於ける[illegible]當額は七十六萬圓にして夫れより逐次[illegible]加し六ヶ年の後に至り初めて以上の金額を要する次第なり

●占領せる山東鐵道

我國軍隊は山東鐵道會社所屬の坊子炭坑を始め金嶺鎭鐵山を押取したり坊子炭坑は從前四十餘万噸の石炭を產出したるも最近遙かに[illegible]不良となり數年内に廢坑に歸すべきものなるにより獨逸人は之に對し甚しき發[illegible]を試みざりしも分山炭坑は漸次產額を增加し[illegible]今[illegible]年四十[illegible]万噸を[illegible]し將來[illegible]有望なるより獨逸人は或は坑内に水を[illegible]し或は採掘機械を滅[illegible]する等[illegible]手段を試み帝國軍隊が之を押取せる際には殆ど[illegible]坑にあらずと危ぶまれたり金嶺鎭鐵山は分山の東數哩に位し專門家の[illegible]する所に據れば磁鐵鑛延長二キロメートル半厚さ十五メートルに達し鐵五十八パーセントを有し毎日千噸を採掘するも數百年に亘り能く[illegible]需要に應じ得べきにより山東鐵道會社は最も望みを之に囑し大仕掛にて之を採掘し製鐵所を滄口に起さんと企て昨年六月一千万マークの增資をなし本年十月より[illegible]の豫定に[illegible]金嶺鎭[illegible]との[illegible]に[illegible]道を設け試運轉に着手するなど大に[illegible]なる[illegible]採掘[illegible]なりしが[illegible]押收せられたるものなりといふ

●不[illegible]なる宣教師

山東省[illegible]に在る米國[illegible]宣教師[illegible]は[illegible]六人[illegible]に日本[illegible]を[illegible]布しつゝあり現に[illegible]不[illegible]を[illegible]は[illegible]に由るもの[illegible]山東省の獨逸[illegible]に比して多數なるが[illegible]等は本國よりの[illegible]給絕ゆ[illegible]目下米國[illegible]の保護を受けつゝあり

●悪漢中[illegible]滋雄

彼の詐欺手段に引かゝるな
清連お信の關係

神妙にハタラキさへすれば人間並の生活も安々と出來る亞米利加に來[illegible]生れ附いた天品かは知らねどさりとは又不心得千万の横着者山形縣西多川郡[illegible]町風間幸右工門の倅中里滋[illegible]雄といふ惡漢は今より約三年前[illegible]上[illegible]の下宿屋の[illegible]を引受け肉屋及グローサーを[illegible] [illegible]五十[illegible] [illegible]にある某洋服[illegible]ーに化[illegible] [illegible]

▲妻女に醜業をさす [illegible]

[illegible]はる[illegible]日を[illegible]り[illegible]自分手に月々相當の仕送りを爲しつゝあることを發見せり、依つて嶋津氏夫妻は不取敢右婦人を窮境より救出すと共に子供等の預けある黒人の家に至り見の世話をする[illegible]是なき小供等は營養不足の爲め鴉の如くに瘠せ細りつゝ鬼の如き父の心を[illegible]なる母の境遇を知る由もなく近所の黒人小供等と遊び戯れ居る有様に、[illegible]ね行きし嶋津氏夫妻も不思[illegible]情の涙を催せしぞ[illegible]である

●高嶋呑象翁逝く 同翁は過般來持病の心臓病愈々昂じ去月十五日全く危篤に陥りたるが伊藤博邦公夫妻山根近衞師團長其他數十名の親戚高弟等の手厚き看護を受けしも遂に其効なく同日午後逝けりと、氏は天保三年江戸三十間堀の材木屋に生れ萬延元年金貨密[illegible]の禁を犯して獄裡の人となりしが後年筮卜呑象の雅名を[illegible]にせしは此獄裡にありて易經を研[illegible]せし結果なりと享年八十四

●日本人會茶話會決定

[illegible]市[illegible]諸氏は去十日夜武市[illegible] [illegible] [illegible]々[illegible]はさるべき[illegible]會[illegible]する所ありしが[illegible]は大略左の如し[illegible]も報告し置きたる通り今[illegible]の茶話會には特に婦人を招[illegible] [illegible]るのみならず、外國人妻女又は[illegible]グを重なる餘興として[illegible]の如きも午後八時より[illegible]の茶話會[illegible]以來の盛會な[illegible]は五百人を[illegible]人なるものなれ[illegible]會員諸氏は揮つて參會あるべし

一、場所七十九丁目とコロンバス街と[illegible]のアカデミーダンシングホール
一、期日十一月廿八日午後八時
一、番組 開會の辭、易學大家呑象氏講演、會員の三分間飛入演説、會員の飛人手踊、[illegible]品、ダンシング
婦人接待委員は[illegible]、瀬戸、高見、[illegible]諸夫人、アイスクリーム、[illegible]チ、[illegible]、サ[illegible]

●シャトルの[illegible] 一般投票の結果[illegible] [illegible] [illegible]

●同會決議事項 九日の同會發表[illegible]は茶話會準備[illegible]の件、[illegible]一千弗を[illegible]外日本[illegible]行より[illegible]自國救濟費[illegible]、[illegible]故岡田[illegible]氏遺族[illegible]八百弗[illegible]立の件、共濟部委員の[illegible]と認むる場合に限り會員[illegible]に[illegible]る[illegible]當なる二名の保證人あらば一時[illegible]會資金を貸與する[illegible]等なりしと[illegible]茶話會接待委員婦人[illegible]の外參議員[illegible]同其任に當る事とせり

●實業研究會 同會第八回は本日午後八時より紐育日本人基教會にて[illegible]すべく當夜は[illegible]富士商會支配人[illegible]源作氏の演説ある筈

●移民協會第一回報告 大隈伯を會長とし[illegible]知名の士により組織せられたる移民協會よりの報告に[illegible]本[illegible]一部を送付し來れり

●[illegible]

●日本人會[illegible]國[illegible] 會長高峰博士の名を[illegible]を送れり此[illegible]は日本人が如何に人道[illegible]の義心に富めるを世界に示す所以なれば篤志家は各團体、各[illegible]、新聞[illegible]の向け[illegible]分の寄金を申込まれよ

●漢冶[illegible]所[illegible]技師工學博士大島道太郎氏及[illegible]工學士[illegible]田[illegible]定氏は[illegible]ホテルマルヒューに宿泊

●アンドワープ駐在領事長田[illegible]一郎氏は目下[illegible]ンドンに避難中なるか近[illegible]

●陶磁器界稍回復 昨年來不振を[illegible]けたる陶磁器も生産額の著しく減少したる結果[illegible]漸く[illegible]に[illegible]し内地は豐作のため景氣の[illegible]有りを[illegible]し[illegible]も相應にあり[illegible]向は品により五分乃至一割高を告[illegible]たり、米國行は[illegible]發生と共に[illegible]消されたる注文も、[illegible]今に至り續々來り[illegible]ならず[illegible]近年に[illegible]又[illegible]引漸く回復し注文續々來たる[illegible]

[illegible]日の折合はざると爲替も人により[illegible]組不[illegible]のものもありて未だ常態には復さるも兎に角中絶せし[illegible]よりの注文が昨今に至り[illegible]に入込來りつゝあるは稍當業者の意を[illegible]せり

紐育日本間 郵便發着表
ニューヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
靜岡丸	シャトル	十一月十七日
カタナ丸	仝	十一月廿四日
コレヤ	桑港	十一月十七日
地洋丸	仝	十一月廿六日

●日本より到着日
十一月四、八、九、廿五日

●抱月夫人終に家出す

●日ほんの商人

No. 171 VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY Nov. 28th 1914

紐育新報

雪嶺博士の日本に必要なる人物（承前）

高峰博士は最も必要なる一人

其處へ行くと英國が一當正直である其他は何うしても多少劣つて居る、けれども米にしても獨にしても、日本從來の商人よりも事を行ふに於て極めて正直である、大きな取引にはだうしても斯かあるべきである、尤も日本が外國との關係を始めてから僅かに五十年餘まり、世界的競爭に耐ゆるもの丶少いのは深く咎むべきではない、今日は一層競爭も烈しく少しも猶豫して居らぬ、而して其人なきかといふに決してさうではない人はある、唯習慣で斯かる有樣になつたのである、人は日本人に新工夫がないといふ、摸倣に長じて發明に拙であるといふ、何を證據にしてさういふことをいふのであらうか、内國で太平を貪つて居た徳川時代でさへ進歩の跡は歴然たるものではないか、即ち種々の方面に不絶新工夫か廻らされたではないか、唯明治にはいつては他國の長所を取るに忙はしくて自ら新工夫を廻らす暇かなかつた、本來能力がないのではない、摸倣に長じて發明に拙であるといふのは自らさういふ能のない人のいふ事である、立派なものはなくても明治年間にも可成りの新工夫とすべきものはあつた

併し兎に角海外との競爭の道が開けてゐなかつた爲に新工夫を以て大に現はるゝ者が少なかつた、大抵以前の習慣で人の播いた種により收穫するのを重としてゐた、今日比較的現はれてゐる人物は自ら新工夫を廻らしたよりも唯突進し、忍耐した者である、利益を得て居るか、自分が播いた種かではない、尤も人の蒔いた種から取穫するも一つの技倆である、夫れも惡くはない、けれども新工夫の續出する米國及獨逸に對して競爭する場合、さういふ生温い事ではいけない、自ら新工夫を廻らし以て突進し、忍耐する者が多くなくてはならぬ、が從來の習慣でさういふ者が多く現はれぬにしても今後は次第に多くなるだらうと見做される兎に角今日尤も必要なるはさういふ人物である、

外國と交際して最も注意し始めたのは國防であつて、陸海軍が比較的進んだ新工夫を廻らし、着々之を事實に行つたのも此邊に基く所が多い隨つて今日必要とする人物も陸海軍に多く現はれて居る、村田銃は主として佛國のグラーに依り幾分の變改を與へたものである、大に稱揚すべきではないが、少しの新工夫でも頗る便利であつた

其他山内万壽治氏の兵器に於ける、下瀬雅允氏の火藥に於ける何れも少なからざる功があつた、他國にないものを工夫したのでなく、他國に工夫されたものによりて工夫したものであるが、他國で秘密にしてある所を、我に於て之に劣らぬ物を作り出したのは確に新工夫とすべきである山内氏の如き軍人として非難すべき點もあらう、コムミッションなど如何はしいものである、けれども呉軍港に於ける彼は一の大なる事業家である自ら工夫し又は人の工夫を督勵し大規模に於て之を事業に施す所は頗る目覺ましいものがある、民間に於て彼の如き事業を敢てしたならば必ず大に稱揚を値する彼は性格及能力に於て、今日の時代に必要の人物なる事を證據立てゝ居る唯軍人として少しく疑ふ點があるだけである

軍人ならずして之に對すべきものに高峯讓吉氏の如きがある、氏は釀酒に於て大に手を擴げやうとしたが、酒屋仲間に苦められて失敗した、氏は更に製藥に新工夫を出し大に手を擴げた、今回又釀酒によりて更に大に爲す所があらうといふことである之程著しき例は少ないが之に似た者は少くない、

のみならず、又敢て製造業には限らぬ、何事でも新工夫を廻らし、突進し而かも克く忍耐して結果を得さへすれば宜い、今日は實に各方面に稱々なる人物が必要である、引込んで世に現はれぬのも必ずしも惡くはないが、差當り世界的競爭の勢の益々盛んになつて來る際、能ふ限り新工夫に努め、突進して之を行ふの勇氣が肝要である、米國と獨國とは陽氣と陰氣との差がある、而かも此方面に向つては殆んど勢の當るべからざるものがある、だから之に負けぬやうな人物が欲しい、新工夫に於て負けぬ、突進して、戰つて捻じ合して負けぬ、何處迄も已れの信ずる所を行はうとする元氣あるものが欲しいさういふ人には或弊が伴ふか、弊は其人あつての後の事で、先づさう云ふ人が頻りに輩出せん事を望むのである、世に命あつての物種といふ事があるが今の對外競爭の激しい場合元氣あつての物種と云ふべきである新工夫をするの元氣あり、突進するの元氣あり、忍耐するの勇氣あつて初めて仕事らしい仕事が出來るのである（完）

大傲小傲

▲近頃佛蘭西の戰地から歸つた或る米紙從軍記者の話に火事や人殺しや政治的大會などに大袈裟な形容詞を使つてゐたから、今度のやうな大戰爭に使ふ文句がないのである、歴史上の大戰爭位のものが一日に幾つも見られるとある、何と書いてよいか迚も觀念が纏まらないとある、先づそんなものだらう

▲實際戰爭を見てさへ頭に纏まらいものを新聞を讀んでオヤ又東普で獨軍が勝つた、ナニ其の代り白佛方面では旗色が惡るい、恰もベースボールの勝負でも評するやうな調子で一向シリヤスな觀念が浮ばないのも不思議はないやうなもの丶要するに凡くらに生れた人間程世の中に幸福なものはないと云ふとか分る、精神的にしても物質的にしても、活動的にしても、靜思的にしても、多少獨創的の才力を有つてるものに取つて、この大戰爭が決して一刻も孕める悩み、生れんとする苦痛を感じさせぬ譯はない

▲早い話か、日露戰爭で大艦巨砲[illegible]義か實地に證明され、戰術も改まつた、今度の戰爭には誰も[illegible]力を認め、米國[illegible]州ても大戰艦の[illegible]往ける世界一の大潜航艇を作ることになつた、科學的天才か今迄の[illegible]縱横に翔けるのも[illegible]ある科學的哲學全盛の反動として[illegible]的哲學か流行して來た思想界はこの大戰爭か何う云ふ影響を與へるか[illegible]らぬ見物だらう國家主義か何處迄[illegible]展し個人主義か何[illegible]に世界的文明の[illegible]を卷く[illegible]くべき大觀に相違ない[illegible]る社會主義か何う云ふ[illegible]か今男と女の數か[illegible]

[illegible]

▲[illegible]國民か、一朝[illegible]を蹂躪された結果、國民心理に及ぼす影響も決して少くはない[illegible]として多少の思索力を有つるものには重大なる知識的食糧を要求するものである

[illegible]

▲羅馬法王か平和[illegible]を出したのは、お職掌柄[illegible]の戰爭の原因を、人と人との愛[illegible]缺乏、權[illegible]他階級に對する不[illegible]類活動唯一の目的[illegible]に歸して、是等の原因[illegible]

▲無論戰爭の[illegible]

[illegible]

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N.Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分[illegible]弗
□一ヶ年分金[illegible]弗
千九百十[illegible]年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人 甲斐[illegible]
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三 チエルシイ

●歐州出兵說

青島陷落以來日本陸軍の歐州出兵論は益々優勢となり殊に陸軍側に於ては其意見極めて熱烈なるのみならず日本の出兵が如何に佛國の歡迎を受くべきかの論調も有力となれり [illegible]

●方[illegible]病院に五万[illegible] 天皇陛下には本日英國病院の建設費として金五万圓を下賜されたり同病院はルトルフ、ツスラー博士を主任とし長老教會の醵金に依りセントルカ病院の改善擴張をなすものなるか[illegible]團体に對し今中より恩賜金の下附ありたるは今回か最初なるにより首相大隈伯は同委員會席上にて其趣旨を述べ且つ拜謝の辭を述べ尚英國大使グリーン氏は說明を行ひ英大使グリーン氏は一場の演說をなし大隈首相は同演說中に於て天皇陛下が如何に[illegible]的の計畫に同情を有せらるゝかを說き並びに米國大統領ウィルソン[illegible]氏の[illegible]に對し讚辭を呈せり

●[illegible]案と[illegible] 日本[illegible]大問題[illegible]海[illegible] [illegible]

●議會解散の方針

●犬養毅氏[illegible]案に[illegible]か次議會に提出せんとする[illegible]增設案に對し犬養氏は反對意見を發表したるが政友會及び國民黨に之に贊成するもの頗る多き模樣なれば次回の軍國議會の[illegible]となるべし

最近報道し來たれる所によれば大隈首相は就職の當初より其使命の一なる黨界の廓清に努力を行ふに決し議會の解散を斷する外なしとの意見を有し居り今や同會及同志會領袖も亦その意見に[illegible]一致するに至り第三臨時議會に於て政友會の態度如何により斷然解散を斷すべく閣議の決定を經し程なりしが昨今に至りては益々之が斷行を必要とし地方選擧區の秘密交涉は夕刻對議會策等は總べて該方針の下に着々進行し居るは頗る注目に値す [illegible]師問題は防務會議に於て決定を見れ未だ閣議には上らざるも[illegible]過せしむべく來年度の豫算案に[illegible]を現はすべきは必然の形勢なるが[illegible]に對し政府黨の主力たる同志[illegible]何の態度に出づべきかは最も注目せられつゝあるが[illegible]よりも名義[illegible]論に重きを置く[illegible]ある同志會事なれば大勢は贊成に傾きつゝある も增師反對意見を固執する者あるを免れず大勢の一定に至るまでには、必ず多少の曲折波瀾あるべきが如し

四十[illegible] 大[illegible]を引きより廻はつて今[illegible] [illegible]物[illegible]になつて[illegible] 彈藥は別[illegible] るだけに一回[illegible]食料麥粉八千[illegible] 十万斤、肉[illegible]二千八百三萬[illegible]斤、十万斤、[illegible] [illegible]氣[illegible]の折れるとは[illegible] [illegible]分[illegible] 百三十[illegible] 彈[illegible]八百二十三[illegible] [illegible]四十四[illegible]俘虜[illegible]官一名、[illegible] 五百三十五名、下[illegible]卒六萬二千五百[illegible] 二十[illegible]名で[illegible]九月下旬までには[illegible] [illegible]官二[illegible]、下士[illegible] 萬四千六百八十[illegible]名[illegible]四十[illegible]

[illegible]

本社營業部

▲日本行瀛車瀛船切符取次 日本郵船 大阪商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方よりの出立の場合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ヶ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

▲米國實地實業經營法 檜原[illegible]氏著 定價一冊金一弗郵送十仙

紐育新報社

[illegible]

▲於信[illegible]

[illegible]

●惡漢中里惠雄(承前)

又の名[illegible]、[illegible]

▲中里[illegible]於信と[illegible]付く か[illegible]里妻女は島津牧師夫妻の一方ならざる同情に依り、教會に引取られ其日より世話を受くる事となりしが、[illegible]所まで[illegible]本性の[illegible]たる[illegible]を[illegible]蜂が刺し[illegible]ず長後教會[illegible]入らざるのみか自分の妻[illegible]か他人[illegible]世話になる事となりしを幸[illegible]何か外に生血の吹へる好き[illegible]もがなと探し居る中、運悪くも引懸ったのは前記朝日のおのぶ又の名ミサオ、市俄古では靜岡[illegible]に[illegible]中里[illegible]

▲女食いの本性、[illegible]於ける於信の働き振は[illegible]

[illegible]

▲妻 [illegible]

[illegible]

●義捐金募集廣告

[illegible]

公告

[illegible]

大正三年十一月十二日

帝國總領事館

公告

[illegible]

大正三年十一月[illegible]

帝國領事館

安價販賣廣告

[illegible]コーヒー[illegible]其他いろいろ

製茶 コーヒー

郵便發着表

[illegible]

[illegible]商店

[illegible]

GREAT NORTHERN RAILWAY

[illegible]

診察

[illegible]

小栗乘吉

御料理

[illegible]日本食料品販賣

万屋

[illegible]

易斷

[illegible]

岡田寫眞師

TOYO KIKUCHI
[illegible]

菊地寫眞館

新古書籍賣買

[illegible]

書籍店

ニューヨーク

御下宿 吉田宗章

●球[illegible]あり

各種革箱製造



[illegible]

[illegible]日ほん園

[illegible]

笠井[illegible]洋服店

Kasai & Sakurai Tailor [illegible] New York

御下宿

電話プラザ 八八一三

うどん そば [illegible]

大黒屋

●化粧品御賣捌所●

本店製[illegible]



五味商會

[illegible]南樓

▲ニューヨーク生命保險▼

代理人 千本木正治

●高千穂轟沈の刹那

軍艦高千穂沈沒狀況に付き同艦生存者並に實見者の談を聞くに左の如し遭難當夜艦長は午後十時過より當直將校に對し一定の針路を指示し之を變更せざる限りはその操縱を一任し變事又は針路變更等の事あらば報告し航海長の操舵を請ふべしと命令して就職せらるらし、乘員は四分の一を當直員とし他の四分の三は非直となり非直員は既に八時を以てベットに入り當直員も部署に就けるものを除く外は武裝の儘各下士に率ゐられて中甲板に休憩し十二時となつて當直交代したり然れば非直は夢將に闌かに當直の者は煙草一服と言ふ間もなき午前一時轟然たるバク聲と非常なる震動とあり之に續いて二發のバク聲を耳にすると覺ゆる刹那下甲板より中甲板を打拔き奔騰せる火燄の柱は艦材の破片及び大小の黑きものを浮上ぐるを見たり此の黑き中には死体も交りゐたるなるべく中甲板以下にありし者は第三回のバク聲と共に浸水のためハンモック及ベッド、卓子と共に天井に吸付けられ惶てれば慌てる程脱出するを得ずハット目覺たるが最後にてその多數は溺死せる中に機關部およびバク發現場の上方にありしものはバク發當時全身黒焦となり或者は火燄と共に空中に吹上けられ又は墜落して渦のために卷き込まれ終に行方を失ひたるものなるが幸ひにして艦に在りて戰死を免れた下士卒三名は船橋上に在りて任務に從事中震動のため海中に墜ち波に卷き込まれたる儘深く水中に沈み再び浮み上りたる頃は四邊更に同僚の影だになく海上一面浮流物なるを以て三名は我知らず之に縋りたるに驅て同艦の艦載艇の來る在り辛くも救助されたるなりと同艦は今やマストの頂上を水面に現はすのみなるも艦体の引揚は望むべくもあらず唯兵器其他の重要物は戰爭終り後容易に引揚ぐるを得べしと因に艦長の死體か第一に發見せられたるより見れば同艦長は未だベットに入らずブリッチにありたるものならんといふ

●歐州戰爭と日本の商人（承前）

▲砂糖屋の大儲け

去年から今年にかけて交戰國たる獨佛墺露等、甜菜糖は豐年以上の増収で、東洋の爪哇の甘蔗は豐年、糖價はちり／＼と下る許り精糖十八圓廿錢、分密糖十四圓といふ安價に落ち二ヶ月前は糖業救濟か叫ばれて居たものあつ、其れが今度の戰爭は福の神の御來迎で、精製糖は廿三圓、分密糖は十八圓廿錢といふ未曾有の暴騰、今年中に破産と札の附いてゐた臺灣の各砂糖會社が去年から賣れ殘りの砂糖を賣つて大儲けをする、十萬擔の賣れ殘を抱へて思案にあぐんで居た新高製糖か五六万儲けたとは運といふものは全く判らぬのである、目下瓜哇、玖瑪で砂糖會社が賣止して市價が一倍になつたのこ香港で輸出が禁止されたのは日本の砂糖屋が乘ずべき機會である、此戰爭の發展に依つて砂糖屋の懐ろは暖かになるに相違ない

▲藥は三倍方の騰貴

此戰爭で其價を暴騰したのは藥である、リスリンは一ポンド四十五錢したものが一圓四十錢となり、コカインは二圓五十錢ものが五圓となりサントニー一オンス四圓か十八圓となり、白檀油一ポンド十圓五錢か廿五圓、重曹一ポンド五錢が廿五錢、石炭酸一ポンド三十錢か七十錢ビスミット一ポンド三圓五十錢か十圓と騰貴した、併し之は獨り獨逸製のもの許りではない、漢藥にも影響して百廿圓まで低落して居た水銀は一躍百五十圓となり、センチは七圓キーペーバーは八圓、山奈は二割黄芩は五割の騰貴を來した、例の六百六號サルバルサン一ビン三圓五十錢のものを今日七圓以上で賣つてゐる、藥價は平均して三倍の騰貴である其處で内務省では省令を發してヨード他十八種の藥品の輸出を禁した、藥價が此樣に暴騰しては醫者の玄關が張つて行けず、東京の醫師數十名は藥價の價上げを防ぐべき建議書を内務省衛生局に送つた、又今日町醫者を止めて病院醫師たるべく運動して居るものさへある、此間大ひに儲けたのは藥種で大阪の武田長兵工といふ藥屋は數日の間に五十萬圓を利した又某藥劑師は歐州戰爭の電報に接すると直ちに買占に取かゝり、二週間に一千圓を利盆したといふ、藥價は價上げを行はず、高價を吹他の店を笑つてゐたのは横濱のイリス商買なある許り、此のやうに藥九層倍の高値となつて細民はスッカリ賣藥店に行かなくなつた、其代り御嶽さんや、天理王の命は繁昌する、之ではならぬと、星製藥會社は賣店に托して、歐州の戰爭の地圖を景品に出しとるが此位な事では一向効目がないらしい

●大に運動すべし

一青年會員

米國に居る日本人殊に紐育に在留する日本人は誰も彼も神系衰弱に罹つて居るいふ事は一般の認むる所であるが之は畢竟するに運動をせず、家内的遊戯にのみ耽つて精力を消耗するからである、吾々青年會員は今く此點に鑑みる所かあつて會館創以來ベースボール其の他の野外運動を奬勵する方針をとつて居る、西にある同胞が比較的元氣に富んで居るのは野外運動に依つて身心を鍛錬するのも原因である、次に僕が不滿足に思ふのは、新報でも週報でもベースボール、ボクシング等運動界の消息に就ては風馬牛である事だ、如何に邦人の發展に就て種々奇策がたつても金より大事な身体の健康に就て其方法を講じなくては駄目である今度開催される日本人會の茶話會に舞踏を主もなる餘興としたのは、たとへ夫れか家内的遊戯にしても健康上カルタ遊びなどに優る事万々で僕の大に賛成するず所である、諸君以て如何となす

●（（（投書籠）））●

▲夏場でイクラもうけても冬中遊んで居ては何にもならない况して金を無くするなどは實に馬鹿臭ではないか（夏場生）

僕は相當の教育もある癖に何の因果か南京町の味を覺へてより廿四年同所で結婚せし事四回情夫として同棲せし事前後合計十二年警察に引かれし事九十回同所を深夜ブラ／＼して巡公になぐられし事數知れず、ヒブシントンのピストル騷きの時誤って殺され損つた事十四、罰金を拂つた事は八十五弗女郎の罰金を引受けし事二百五弗探偵にネタをれて取られた事百二十八弗、ボーイを使にやつて持逃けされた事十弗、マー考へて見ると馬鹿馬鹿しいが今に至る迄南京町の臭みが忘れられない何か良き法はなかろうか僕が道樂の友人共は半ば梅病で倒れ或は四散して今では僕獨り達者で殘つて居る此頃の友達は僕よりも廿五乃至卅も年下の者許りになつた夫れでも精力絶倫は僕の特質だ之許りは横綱だ良い藥かあつら知らせてくれ玉へ（カクローチ生）

▲日本料理屋に行かず支那町に行く人の多い理由は日本料理屋は價の高き事時間をまたす事チップを多く置かないと後で御客の悪口をいふ事がうるさいからだ（岡人）

No. 176 VOL. 4　　**The Japanese Times**　　SATURDAY Nov 28th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
[illegible] Sixth Ave N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙　六ヶ月分二弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二一八
電話六四七三チエルシイ

進む時代と遅れる人

日露戦争の結果として列強海軍力の優劣は一に甲鐵戦艦の多少に依ることとなつた茲に於てか列國は競ふて甲鐵艦の建造に着手し英國の如きは進で最上ド型戦艦数隻を増加して二國標準の勢力を保持する次第であつた所が、今度の戦争の經験は新に潜航艇の威力なるものを證明して米國の如きは直ちに潜航艇二十幾隻の新建造を命ずる事となつた未だ大海戦の戦はれない今日に於て俄かに潜航艇の威力を過信するのは甚だ早計であるにしても、兎にも角にも科學の發達發明界の進歩は片時も列國軍事當局者の安静なる睡眠を許さない事を證明する者で、此の單純なる軍事上の一事例は移して以て吾等日常の社會的生活の活きたる教訓となすことが出來るのである、別言すれば進み行く現今の時代は精神的にも物質的にも、其時代の進歩に伴つて行動するに足る丈の實力を養成する者以外に成功の月桂冠を與へぬ事を語るものである、

人間俗界の成功は運命七分、努力三分の割合であるとは吾輩年來の直覺的人生観であり兼ねて亦年來の持論であるが、此七分の運命に伴ふか若くは運命を善用して、一身の向上發展を[illegible]する上に於て、殘り三分の努力は人間處世上の最大要件であると自分は信ずる、例令ば日本の政治界を見ても人は日本元老の勢力が桂公の政黨組織憲政擁護運動の結果として凋落したと言ふ、けれども吾輩をして言はしむれば元老が凋落したのではない時代が進歩したのである、維新の大業に翼賛して國家に貢獻した人々は必ずしも伊藤、大隈に限らない、然るに故伊藤公が死に至るまでも政治家としての聲望を保ち、大隈伯が維新後既に約五十年を經た今日に於て尚且つ立憲帝國の宰相として輿望を繋ぐを得る所以は何の爲であるかといふに畢竟公伯兩者が時勢の推運に伴ふて汎く諮り、深く究め他の元老諸公が榮位爵祿に飽くの時に當り、練[illegible]修養普さに自家の政治的天才を發揮するに努めた勤勉努力の結果である、板垣伯や大井馬城氏等が早く已に政界の亡者として社會的に死物の待遇を受けつゝあるに、尾崎行雄氏や、島田三郎氏などが[illegible]器量、識見に於て必ずしも板垣伯や大井氏の右に出づべき人物でないにも拘らず政界の領袖として今日日比谷原頭の花形役者たる理由は何故かといふに、[illegible]島両氏が不絶新學問を味ひ、新思想に觸れ、不滿足ながらも時代の潮流に遅れざらんと努めた賜物である、國民の選良として選擧民を代表する三百餘の代議士諸君が地方政治家として多少の名望を有するのみ、中央政界に於ては何等聞ゆる所がないのも之亦時勢の進歩に伴ふて自家の學問識見を磨く事を忘れた結果である

以上は吾輩が故國政界の人物に就いて感じた所を述べたに過ぎないが、かゝる現象は單に政治界と言はず、實業界にも、文學界にも、宗教界にも教育界にも平等一体に行はるゝ所の現象である俗界の富貴榮達を望む者は常に自分自身の淺學非才を嘆ちつゝある吾輩と共に深く此點に留意するの要ありと思ふ

大倣小倣

▲日本新聞を見ると、大石がなるとかならぬとか、今は内相問題がゴタゴタつゝある様子、無論なりたいは山々だが、加藤と毎日睨み合ふのが第一厭らしい、大石のやうな好人物にまでゲジゲジの様に嫌はれては加藤も愈々徹底的總スカン人物となつた

▲だが、總スカンといふことは必らずしも加藤の人物を小にするものでも何でもない、日本では未だ支那思想に囚はれて、不得要領を大人物の象徴かのやうに思ひ、時平公の七笑ひでもしなくはエラクないやうに思ふ手合が多い、桂公はニコポンなどと言はれたが、日本の社會では矢張りニコポン主義が一番よい、技倆は兎も角、人間として近世的形式に適まつてゐる加藤などはまだ正當なる認識を得る事が出來ない、少し進み過ぎてゐる、實は我輩も加藤に遭つて餘り好い印象を得なかつたが、少なくとも新らしい學識もあり、且つ大外交家としては大分物足らないが相[illegible]の手腕もあり、同志會第一流の人物なるのみならず、政黨的人物としては錚々たるものに相違ない只其のゴウ岸な人を人とも思はぬ態度に三[illegible]的背景が見ゆるので堪らなく[illegible]感を催すのである、若しも彼が赤裸々なる一個の貧乏政客なら、同じゴウ[illegible]なる態度も左程感じないかも知れない。

▲殊に加藤の爲めに惜むのは、其八青年を愛しない點である、犬養は[illegible]分皮肉な男で口か島田や鳩山と仲が悪るかつた原因をなしてゐるが彼か倘政界の人氣男たるのは、偏へに後進を愛するからである、犬養の眼中には所謂金持ちとか、實業家とか、[illegible]動何等とか、代議士とかいふのは伞くない、それで地方の有志家とか、田舎代議士などはピシピシやられる、知名の政治家でも、何でも犬養の口に掛つては敵はない、此點に於て加藤と同じ型に屬するが、只違ふのは青年に對する態度である、あの口の惡い犬養が青年に對すると全く別人のやうになる、能く世話をする、[illegible]分下らない人間まで世話をする、ボロ書生が訪ねて往くと喜んで逢ふ、胸襟を開いて議論を上下する、知名の士などが訪問しても、應接室に待ちぼけを喰はせて置いて無駄話に時を忘れる、此處が犬養の犬養たるところで、彼れは「無名氏」を恐れ無名氏」を認むる男である、我輩は犬養の人物に對して必ずしも心醉的態度を執るものでない少くとも其思想が餘りに漢學的で、近代思想に對して稍遅れてゐるのを惜むのである、彼はよく尾崎を罵倒するが學問思想の点に於て尾崎の方が遙かに進んでゐる、併し是等の缺點を數へるは却て犬養の偉らい點を前提としてゐるのである。

▲話は西洋に飛ぶ、此戦争で獨逸の階級的精神が民主的浸蝕を受けてゐるのは面白い現象だと観察する者がある、さしも階級の矢釜しかつた獨逸人が今では士官と兵卒が手を組んでベルリン市中を歩いてゐるものが多い、そして上官の兵士に對する禮なども非常に親しくなつた相だ、之れが果して戦後にまで續くか何うか疑問だか、世界を敵として戦ふ獨逸として平生の地位とか階級とかいふ觀念などが一掃されたのも無理もない、そして斯の戦争が獨逸に如何なる結果を來たしても從來のミリタリズムに何等かの影響を生ずるで[illegible]子は既に[illegible]かれたのではあるまいか

▲獨逸の大[illegible]、獨逸は勝つも、歐州を併呑する様な野心はない、羅馬帝國は今日の時代に[illegible]べきではないナポレオン的征伏も[illegible]目にある、獨逸は只陸には現在の[illegible]治的形勢、海上權力平和の[illegible]以て滿足すると言つたのは、徒らに大言を以て愚ろかなる人氣を求める日本學者などと比して床しいやうな感しがした、無論獨逸と[illegible]是レとは[illegible]を容んでも仕方がないが、仕方かなくても只大言さへすれば[illegible]と心得てゐるのか日本の論客に多い、それよりも、バーナード、ショーが英國を非難し獨逸も同じだと論じたのは流石にエらい、英國の議會も何故斯んな議論を[illegible]官が許すかで問題になつた位だが、大英國としては斯ういふ論客があつても惡るくはない、擧國一致もよいか、思想上にまで愚平等惡統一を望む程間違はない、併し、墺國の如く露探が多かつたり、露國のやうに國會議員の革命的陰謀があつたりするのは餘り感心しない。

▲ロンドンのデーリーニュースの北佛通信員は今迄各國死傷者か約五百萬に上つたと言つてゐる、それに各國民ともちつゝも弱音を吐かす、何處までも勝つて見せると力んでゐるところは實にえらい、個人主義、社會主義、無政府黨、婦人主義者、あらゆる思想か流行してゐる歐州にも斯の如く愛國心もあり、斯の如き犠牲的精神もあり、斯の如く團體的義務心もある、少し位新思想か這入るとすぐ危險呼ばりする日本官僚者流も目が覺めるだらう

▲米國の國際的地位は羨ましい娘一人に[illegible]人[illegible]と言つた塩梅、英佛にも色目を使へば獨逸にも然るべく色よい返事をし、トルコの田舎親爺にまで相應の御世辭を振り撒いてゐるその代り各國から能く嫉妬的抗議を持ち込まれる、英國は智利海戦の大[illegible]無線電信の咎にして[illegible]かと思ふと獨逸は[illegible]佛か[illegible]教官[illegible]及び國際法違反行爲を[illegible]つてゐると苦情を言ふ、畢竟自分は米國の色男になりたいので、米國としては肘鐵砲を喰はせようか[illegible]任さうか勝手である、英國の抗議は實際バー港の某か無線電信し獨探をやつた形跡があるので少々困つたらしいが、獨逸の抗議に對しては米國はもう[illegible]を認めないとキッパリ刎ね付けた、尤も獨逸なんか國際法[illegible]にも無いもんだ。

●露軍の大勝　ポーランド方面に於ける獨軍は十日露軍の中堅を撃破して再びポ國の約三分の二を占領しワルソー亦危ほしと傳へられしが、[illegible]十日間に亙れる兩軍の會戰は又もや獨軍の大敗に歸し露軍は約四萬五千の捕虜、捕獲せる無數の武器を後送する爲ワルソーより四十八個の列車を送り且つ目下猛烈に退却中の敵兵を追撃しつゝありと

●ディキシモンド回復　白國方面の形勢は著したる變化なきか去廿四日夜英國陸戦隊はデキシモンなる獨軍を[illegible]ふて之を撃退し再び同地を回復せりとの報あり

●南米の中立と米國　英佛兩國は南米諸國に於ける獨逸の行動は疑もなく中立侵害なれば、米國政府はモンロー主義の本旨に基き直ちに監督の任に立たん事を望む旨、華盛頓政府に申込みたるか米國は南米諸國の[illegible]か他の侵略する所とならざる限り決して餘事に干渉せず又何等の責任を負ふとなしと聲明せり

●再び日本派兵を望む　前佛國外相ピシヨン氏は開戰當時より連りに日本の歐州出兵説を唱へ來りしか氏は去廿五日ペチージョナル紙上に於て再び[illegible]説を繰返し、今や日本派兵説は聯合諸國の是認する所となり、獨國の恐怖を呼べりと論せり

●獨軍の總數四百万　獨逸公報の示せる統計により觀察するに目下實際の戦闘に從事しある獨軍の總數は戰線部隊、海軍陸戦隊、白國守備軍を除き九十八箇軍團にして一軍團を四万人と見積り約四百万なるべく而して約二百万人は英佛聯合軍に當り殘り二百万は露軍と相對しつゝありと廿五日の倫敦電報は報せり

●英海軍の死傷總數　英國公報の示す所に依れば開戰以來同國海軍の失ひし所は總計七千三百四十一名にして内死者四千三百廿七、傷者四百七十三、行衛不名九百六十八捕虜又は中立國に留置されたる者千五百七十三名なりと

●ウイヤ黨の墨都占領　カランザ黨の武將ブランコは去四日首都を引拂ひザパタ將軍は代つて同地を占領せるか、ウイヤ、ザパタ兩將軍の間には豫め默契あり、ウイヤは廿六日墨都に入りたる筈なり

●七十二歳の新郎と廿三歳の花嫁　數年前タマニーホールの頭目として勢威を揮ひたるリチャードクローカー氏は去廿六日女優ブラ、ベンチジ孃と結婚せり、新郎は七十二歳新婦は亞米利加人とスコットランド人の混血兒なり

●英甲鐵艦轟沈　英國甲鐵艦ブルワーク號は同國最大の軍港シーヤチス港に碇泊中去廿六日早朝[illegible]大響音と共に五分間にして沈沒し乘組員八百名は十四名を除くの外悉く艦と運命を共にせりバクの原因は未だ不明なるも一說には獨探の所業なりとも云ふ、シーヤチス軍港はテームス河の下流にある英國第一の軍港にしてバク沈せるブルワーク號は一万五千噸の巨艦なりき

●内相と大石氏　專任内相問題は[illegible]多曲折せる内情ありて決定困難なりしが最近に至り愈大石正巳氏に決定したり尤も大石氏は同志會の内情に鑑み當分閣外にあり專ら同會統率の必要ありとの意見を有し河野、[illegible]、島田三氏を推薦して容易に就任を背んぜざるも大隈首相以下各大臣及び同志會幹部は此際大石氏をして專任内相たらしむるを以て最も時宜に適せるものとなし勸誘甚だ努めたれば大石氏も結局就任を承諾するの外なかるべく其發表は議會開會前なるべしとの說あり



帝國議會召集

二十六日臨時閣議に於て第三十五回帝國議會召集期を決定し直ちに御裁可を經たれば卽日官報號外を以て左の詔書を公布されたり

詔書

朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

御名御璽

大正三年十月廿六日　各大臣署名

●獨逸總督福岡着

▲日本軍の勇敢を賞揚す

青島要塞を明け渡して我軍に降りたるワルデック總督以下降伏したる獨逸俘虜の一行十七日朝後送せられて九州福岡市の俘虜收容所に達せり我國民は最後まで防戰したる敵將等に對し歡待優遇を極めたりワルデック總督は福岡着後籠城防戰の感想を問れたるに對し慨然として曰く敗軍の將は兵を談ずべからず唯日本軍の勇敢なるには一驚せりとて頻りに之を賞揚せり

●二個師團增設反對論沸騰す　國民黨首領犬養毅氏卒先して二個師團增設案に反對意見を發表してより之に贊成するもの漸く多きを加へ殊に政友會內の一部にも反對說高まり來り政界色めき今後漸次此反對論は政國兩黨內に沸騰し次議會の難問題となるべきも大隈內閣の決意頗る固く已むを得ずんば議會の解散をも斷行し兼ねまじきにより結局政友會も屈服し政府案に贊成すべしと觀測さる

●本期議會形勢豫想　政友會は屈從せん　政府か例年より議會召集期を繰上げ十二月五日とし本年內に衆議院に於ける豫算審査を終了せしめんとせる事は政友會側に一政略的意味卽ち增師案を含み且つ軍國のため殊更に召集期日を早め軍國の事未だ了らざるに當りて原案を通過せしめんとするものなりとの觀測を下し居れり勿論政府が豫算の編成を急ぎて召集期日を早めたるは政府の手柄には相違なきも其眞意を忖度する時は口を軍國に藉りて議會の最重要問題たる財政上の事柄を決定せんとするにあり而して一方政友會に於ても此際政府と戰ふを不利なりとし無事に本期を經過せんと欲せば政府案協贊の口實を作るに好都合なる時期卽ち軍國の事未だ終らざる間に重要問題を片付くるを可とするにあり目下の狀態を以てすれば政府も政友會も共に好都合といふべく最近政友會の態度は口に强硬を說くものあれども一般の事態は決して强硬ならず寧ろ無事に議會を經過せんことを希望せるが如くなれば種々の問題に就て多少の波瀾を起すことありとも結局は政府と衝突することなく相當の口實を設けて本議會を終るべしと觀測せらる

●革命黨領袖銃殺さる　當地に護送せられたる山東革命黨領袖丘不信（日本士官學校卒業）は廿七日銃殺さる彼は沙家の資産家にて財産三百萬圓を有し兄弟十八人の內革命黨の爲犧牲となるもの彼共に四名なり

●パナマ新航路は當分見合せ　パナマ航路並び補助案に就て前議會に於て元田遞相の言明もあり或程度の進行をなし居りしか其後日獨戰爭開始され朝鮮二個師團增設は愈々今議會を通過すべき模樣なるにより從つて各方面の補助金を削減する必要あり殊に現今各會社に對する補助金は最低額に拘らず其中より百三十萬弗を削き巴峽新航のため更に四百五十万弗を加へざるべからず是れ經濟的難境を益々甚しからしむるものにして歐州大戰のため歐米各汽船會社か悉く新航路を延期せる際强いて其開始を急ぐの必要なきため遂に當分見合の方針を取れるものなりと云ふ

●首相各派代表者請招會

▲陸海軍擴張案實行聲明

廿八日午後六時より隈伯邸に於て各派代表者請待會を開き內閣側よりは一木文相を除き各大臣及び江木內閣書記官長臨席直ちに食堂に入り宴半ばにして隈伯は起つて左の演說を試み右終つて乾盃をなし別室に退きて歡談を交へ七時半散會せり

大隈首相演說

前略　今日の時局は言ふまでもなく帝國に取りて未曾有の出來事なり軍事上より見て山東の一角に行動するに止まるも其戰爭の原因及び活動の狀態は世界の戰爭に參加せると同様なり蓋し此戰に伴ひて生ずべきものは世界を通じて非常りもならん殊に我帝國は此の千載一遇の機會を利用すべく上下一致戮力事に當らざるべからず我政府が今次の議會に臨むに就ては內閣創立當時天下に發表したる聲明に基き種々なる計畫希望を有したるも多くは時局の爲影響を受け充分なる理想を實現する能はざるに至りしを遺憾とす然れども財政の根本方針に基き行政整理の如き出來得る限りの緊縮主義を行ひ軍國のため已むを得ざる行動は先づ以て時宜に適へる措置を執るを得たり數年以來種々の事情のため剩餘金を生じ之を基礎として種々なる計畫を實行すべき希望を有したるも此戰爭のため大部分を消費するの已むを得ざるに至りしは遺憾なり此間に於て政府か新たに實行せんとする問題の一たる增師案は端を明治四十年に發し爾來遷延して七ヶ年を經たり而して其の間單に增師問題のためのみにあらざるべきも是が爲に屢次政變を繰返し以て今日に及べり現內閣は此の國防問題に對し外交方面より慎重なる研究を遂げ今日の國政上增師は一日も之を忽諸にすべからざるを認めたり世間には今日の場合一年位延期するも差支なしと說くものあれども一師團を有效に完成せんが爲には十七年の長年月を要し其欠陷は明日立ち處に之を補塡し得べき性質のものにあらず又外交上日露關係は親善に赴きつゝあるを以て陸軍增師の必要なしと說くものあり日露の關係は勿論改善せられたり我內閣は此の親善を存續するに全力を注ぐものなるも此の外交關係如何に拘らず國家に必要なる國政は是が爲め一日も忽諸にすべからず言ふまでもなく日本は一面に於て海陸に領土を有し其隣接支那帝國は完全に其の領土の安全を保持するに於て動もすれば力の之に伴はざる憾あり爲に今後と雖も列强の勢力が支那帝國の不に錯綜すべきは數の免れざる所にして是か爲に外交の危機を招くの虞なしとせず支那を保全して東亞の全土の平和を維持するは我帝國從來の國是にして將來事ある場合必ず立つて此の大責任を全うするの位置に立たざるべからず此事情より見るも帝國が常に平和保持の目的のために帝國の武力を必要とする事言を持たず尙一方日英同盟の如き其基礎とする又實に帝國の實力如何に關する事勿論なり而して帝國は一方に於て大陸國たると同時に又島國たるが故に此大陸との聯絡關係を保ち帝國の使命を全うするか爲には自ら海軍の必要あり海軍充實の計畫は臨時議會に於て發表し來るべき通常議會には適當なる豫算案の提出を見る事となるべし抑も先帝大業の主たる目的は世界に對立して盛んに經綸を行ふにありし事謂ふまでもなく獨り吾內閣のみならず苟も日本國民たるもの此偉業を成就すべく倍蓰努力すべきは當然の事なり今日動もすれば世界に於て白人種以外の勃興卽ち日本人の勃興に對しては一の傳統的宗敎的迷信に依り排擠嫉視の觀念容易に拔くべからざるものあるは帝國の立場をして非常の不利を蒙しつゝあり從つて吾等は事ある每に日本の文明威信名譽を發揮して是等の危險なる誤解を排除するに努めざるべからず今回の戰爭に就ても其初め種々の誤解ありしやうなるも帝國の公明正大なる態度は漸く中外に明となり此誤解を氷解するに至りたるは我輩の認めて且つ欣ぶ所なり諸君の間に於て政治上種々小問題に就ては不平又は反對の存すべきも今日の時局に對し帝國の使命を全ふし先帝の御偉業を大成するが爲めには必ず一致せらるべきを信じて疑はず我輩は事を軍國に藉りて其責任を免れ若くは擧國一致を强請するものにあらず先頃の臨時議會に於て擧國一致を强ゆるものにあらずとの意味の徹底せざりし爲め一部に非難の聲ありしも我輩の精神は國民を代表する立法部の諸君の意志權能を十分に尊重し其適當なる判斷を慫まざらん事を望むが故に敢て一致を强ゆるにあらずと謂へたるのみ云々

●法學博士會推薦者決定　二十五日より文部省に於て博士會を開きたるが出席者は會長穗積博士外八十四名にして二十九名の候補者中の金井博士の推薦に係る京大助教授河上肇（經濟）富井博士推薦乾政彦（民法）の二氏決定せられ午後九時二十分閉會せり

●藤公五年祭　故伊藤公の五年祭は廿六日大森なる公爵家に於て執行されたり當日午後十時恩賜館に於て靈前祭を行ひ同十一時より谷垂の墓地に於て墓前祭を行ひ參拜後親戚知友に對し立食の饗應あり一時退散したるが當日の參拜者の主なる者は親戚の外大隈首相代理、德川貴族院長、牧野、後藤男、元田、杉田、岡崎、永江氏を始めとし政友會員等二百餘名にして盛會なりき

●「東京停車場」　鐵道院中央停車場は目下開場準備中なるが標題の如く命名する事に決せりと

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次　日本郵船　大坂商船

シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次　手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

柳原資丞氏著　米國實地　實業經營法　實價一冊金一弗郵税十仙

紐育新報社

●中里惠雄の記事に就て　中里に關する記事は本號に於ても引續き掲載する筈なりし所、同人は去十九日自ら本社を訪ひ同人が渡米以來今日に至る迄の經歷、妻女に關する内情家族を支ふる必要上餘儀なく他人に迷惑をかけたる事等を述べたる後今後は從來の素行を改め新らしき生涯に入るべく目下は眞面目に就働中なれば何卒該記事を中止しくれよと懇願し、翌廿日立會人河[illegible]村治氏並に記者の面前に於て悔悛の誓書をなしたるを以て、該記事の續稿は暫時掲載を見合せ、本人今後の行動が果して克く其誓言を實行するや否やを監視する事とした(り)、君子は其罪を惡んで其人を惜まずと古人も言へり、記者固より君子に非ざるも中里にして眞面目に悔悛の實を示すに於ては記者亦一片同情の涙を濺ぐに吝さかならざるべし

●日本人會茶話會

同會は既報の如く愈々來廿八日午后八時コロンバス街七十九街の角ダンシングアカデミーに於て開催する筈なるが今同會準備委員の語る所に依ばプログラムの順序は午後八時開會と同時に高峰、宮瀬古高見諸氏夫人は入口に整列して一々婦人參會者に對するレセプションを行ひ（男子部接持委員も同様）夫れより司會者の演説あるまで參會者は各自自由行動を取る事とし約二十分間を經たる後司會者の紹介にて易學大家小玉呑象翁の演説、會員の飛入三分間演説あるべく之れ終りて九時四十分頃レフレッシメント饗應に移る筈なり、餘興中舞踏は最初に新式ダンス、ワンステップ次はヘジテイション、最終は容易なるツーステップワルッとする由なれば新式舞踏に不熟練の人は最後に緩つくり樂しむを得べし尚茶菓饗應中男子參會者は婦人參會者に對しサービングの役を勤め自分自身を紹介する順序なりと、當夜は内外人多數の參會者ある筈なれば各自打解けて娯樂を共にする中にも充分紳士淑女の体面を保つやうあり度きもの也

●東西通信社の内外新聞記者招待　同社の高峰家永兩博士は來十二月一日米國著名の新聞雜誌記者並當地の邦字新聞記者數十名を日本倶樂部に招待して晩餐を共にする筈なりと

●音樂家高折氏夫妻の出演　過日歸米したる同氏夫妻は本紙廣告欄に有る通り五名の助手と共に來三十日より二週間四十二丁目ハンマスタインに劇場に於て得意の出し物を演ずる由なり

●紐育母國訪問團消息　當地林富平氏主催の同團は海上無事去月廿二日横濱へ入港し直ちに上陸の上同市本町六旅館大勢屋に入り翌二十三日東京に赴き日本郵船會社の招待にかゝる帝國劇場を見物し夫れより帝都を中心として一週間各所を遊覽したる後解散し各自自由の行動を執りしと云ふ

●今西兼二氏來米　日米通商銀行代表者たる同氏は目下組織中なる同行に關し在米同胞と打合せの爲去十六日桑港着の天洋丸にて來米せり

●[illegible]越商會支配人矢島俊吉氏及家族森村組店員足達竹馬氏等は過日無事歸着したり

●シヤトル旭新聞記者　肥峰加藤十四郎氏は次期衆議員總選擧に郷里佐賀縣より候補者として打ち出づべく廿四日同港發船加奈太丸にて歸朝したり

●笠井重治氏の青島論　同氏は日本の青島攻擊に關しトレンド誌十月號に長文の寄稿をなし青島攻擊は支那の獨立及門戶開放主義を無視する獨逸の勢力を驅逐するか爲の正當なる手段なりと論せり

●湯川元臣氏遞信次官に任官　前次官中谷弘吉氏爲病氣依願免官となり後任として前管船局長湯川元臣氏遞信次官に任命されたり

●山脇桑博事務官長一行出發　桑港大博事務官長山脇春樹氏の一行は天洋丸にて本月廿日出發渡米の途に上れり

●大博と人頭税　加州々法は他州より來ると海外より來るとを問はず二弗五十仙宛の人頭税を課し居りしか是れ一種の悪税にして従來其徴税方法の疎悪よりして外來者の感情を害する事少なからざりしか來年の大博に際し海外並びに他州よりの來遊者に對しかゝる悪感を抱かしめざる用意として同法の廢止は過般の一般投票にて大多數の通過となりたるにより今後加州來遊者はフェリー或は各停車場にて徴税吏の襲擊を受くる氣遣ひなきに至れり

●小栗乘吉氏の結婚　同ドクターは去月七日エマ、シヤクマン孃と結婚せり

●義捐金募集廣告

歐州大亂の爲蒙りたる白耳義國民の慘憺たる状況は既に諸君の熟知せらるゝ所にして實に稀有の痛傷事に有之候、依て本會は汎く諸君の同情に訴へ以て同國窮民救濟費の一部に寄附する事と致候、博愛慈仁の志に富める諸君か進んて本會の微衷に贊同の意を表せられ、多少に拘はらず應分の御寄與あらんことを希望致候

義捐申込所　紐育日本人會　60 Wall ST N Y City

締切期限　十一月卅日限り

紐育日本人會

公告

本年七月廿五日證明保證事務ニ關スル當館公告中第一項記載ノ地域ヲ左ノ通リ改訂ス

「メーン」「ニウハムプシャー」「ヴァーモント」「マサチユセッツ」「ロード、アイランド」「カチチカット」「ニユーヨーク」「ニウジアシー」「ペンシルヴエニア」「デラウエヤー」「メリランド」「ウエスト、ウアジニア」「ウアジニア」「ノース、カロライナ」「サウス、カロライナ」「ジヨージア」及「フロリダ」各州並「デイストリクト、オブ、コロムビア」

大正三年十一月十二日　在紐育　帝國総領事館

公告

本年七月二十五日證明保證事務に關する當館公告第三項中「手數料は從前の通り」とあるを左の通り訂正す

一、手數料は左の通りとす

	領事館手數料	日本人會手數料
在留證明	免除	五十仙
營業證明	一弗	一弗
身分證明	五十仙	五十仙
英文身分證明	一弗	一弗

大正三年十一月十二日　在紐育　帝國領事館

紐育日本間郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
チヤイナ	桑港	十一月卅日
天洋丸	仝	十二月六日
タコマ丸	タコマ	十二月三日
安藝丸	シヤトル	十二月十日

●日本より到着日　十二月、三、九、八、十五日

歐州戰爭と日本の商人（承前）

▲鑵詰の需要激甚

日露戰爭當時旅順や奉天で分捕した軍服や、馬具や、銃劍を陸軍省は各所で貯藏してゐたが今度の戰爭に無■で露國に返してやらうと、目下兩國中掛合いといふ話しだが眞偽は知らぬ、世間傳ふるところに依れば露國はサミユル商會に天幕用の帆布十五萬クールを注文し、出來より次第ハルピンで受渡しするといふ、又靴や、革帶や、飛行機を注文して來たが、革帶丈は要求に應じ、他は皆斷つたといふ、夫れから牛肉五十萬噸海苔の鑵詰五十萬人分の注文もあつたさうだが、牛肉の方は整はず海苔は夫丈の正物がないのみか、第一ブリキの拂底で鑵の製造が出來ぬといふ話であつた、其處へ行くと獨逸は狡猾いもので、八月上旬、大阪や神戸の市場をさらへて鮭の鑵詰をうんと買込み、膠州灣に持て行つたといふことだ鑵詰業は二三年前から大の不景氣で、製造元は事業を縮少し約半額にしてゐたが、今度の戰爭で景氣を持ち直し、海軍需用品と共に約五割方の暴騰をした、東洋水産會社なども戰爭で復活した連中である米國大統領ウイルソン氏は撿事總長と議して戰時食料品を暴騰せしめて私利を圖らんとする者を罰しやうとしたが、長崎衛生試驗所に於ては、御用商人が納付する各鑵詰に科學的試驗を行ひ、其内容の不良なのは悉く拒絶すといふ事にした、頗る時宜に適せるものである

●一妻多夫のヤルイト嶋

郵船會社員桐生甲子郎氏の語る處に依ればヤルイト嶋は古來王ありその下に酋長あり王は多妻なるが酋長以下は一妻多夫制なれば誰を父とすきか子は混血兒なれば父とすべきものなく從て父母の言葉はなし土人は親密の交際を示す爲その妻を客人に供するの習あり若し客人にしてこれに關係せざる時は隔意あるものとして不滿の色あり、又兄弟分となる時は財産は共有物となるものにして自分も同嶋滯留の際一酋長と兄弟分になりて澤山食倒されたる事あり彼等の常食はヤシの實と生魚なれば從つて火の必要もなく火といふ言葉もなし歌は土人が何より好む所にて土人の國歌ともいふべきものは「ギラギー」ゴー、ウインクンジャー、メンジャー、メンジャー」といひその意味のは天與へた木の實を共に樂しく食はんとなり群嶋中にも分野の區別ありて外國人が屢漂流せる嶋は混血兒もありてその王の如きは頗るハイカラにてギルバート群嶋中のアベマ、王の如きアメリカ種にて、赤十字を國旗となし居れり其他アメリカを漫遊せる者もあり一概に蕃族のみといふべからず云々、

●南洋諸嶋の日本城

我軍の占領したるカロライ群嶋のクサイといふは東經百五十五度北緯五度に位し周圍二十哩の小島だが此嶋の中央に徳利のやうな形したマルテンスといふ山がある曾て獨逸のルトフチー少將か學者マルテン博士をつれ植物研究を行はしめた時博士が此山の麓で死んだので山の名とした其森林中に石垣をめぐらした城趾か歴然として殘つて居る然かもその石垣は日本人獨特の築城法に依つたいて六角石を以て直線的に築いだのであるこの築城法は世界何處の人種と雖も行ふものかないが此城は徳川初年前後に出來上かつたものらしい多分我大和民族が大に雄飛して南洋諸に冒險した先祖が小笠原群嶋からカロライン群嶋などへ渡つて是等の■を占領し南洋の土人と戰つた時に築かれた事と認定されて居る或は山田長政時代に夫等一派のもの共か海外に發展する際に此嶋に漂流したものであらうとも傳へられて居るが實に何百年前すでに我祖先はかゝる南洋群嶋にまで發展したのを證して餘りあるのだ

●浦はお祭の如し

日本赤十字社救護班一行に對する露國官民の歡迎は全く空前の盛況を極めたり、歡迎團は樂隊を先登とし要塞司令官スレーヅキン中將軍務知事代理マレーフ氏副知事ユチエコフ氏市長始め要塞司令部員陸軍部員露國赤十字社支部長其他在留邦人日本小學生徒等埠頭に整列し數千の群集は附近に溢れて一時交通を杜絶する■なりき斯くて一行を載せたる鳳山丸は廿六日午前十時浦鹽港に入港し一行の下船するや要塞司令官は歡迎の辭を述べ「日本天皇陛下の萬歳を祝し樂隊をして「君か代」を奏せしめしに對し上野醫長は答辭を述べ露國皇帝の万歳を祝してウラーを叫び次で樂隊は露國國歌を奏し最後に要塞司令官は更に同盟軍隊の各總司令官の健康を祝してウラーを高唱し万歳とウラーの聲は海に響き暫し鳴も已まず一行は特に差廻されし軍用自動車に分乘し指定の旅館グランドホテルに送られたるが東洋學院及び商業學校の學生團は軍隊を先登に露國皇帝の御眞影を中央に擁し一行の列をなしつゝ一行の旅館を訪問して花環を送り歡迎の意を表し更に市民の有志より成る歡迎團も相次で訪問し歡迎の意を致し市中の混雜は宛ら祭日の觀あり、而して廿日午後一時より陸軍倶樂部に於て歡迎會開かれ夜は要塞司令官の招宴催され翌日正午より午後七時迄プーシキン座に於て市役所主催の大歡迎會開かれ一行は宴會のため引張凧となり豫定通り廿八日特別列車にて發車せり

投書欄

▲日會茶話會に出席するものは婦人同伴の外非會員も名を伴ふことを得るとは近來の上出來だ、併し平服にするよりも禮服着用さするだらうと思つて佐々洋服店へイブニングドレスを注文した僕などは大に失望した（ウエル　ドレス）▲ソンナ四角張つた服裝をする事にすれば參會者は勢ひ少くなる矢張平服がよいと思ふ（籠係）▲前週の新報に出た青年暴漢取締りを日本人會でするといふ話は大賛成である、谷桂庵などでは之等青年暴漢の亂暴に堪へ切れないで■々オフィスに妻君を置くことにした次第だ、日本人會から警察へ通告し彼等暴漢を投獄し天罰を加へるかよい（獨立營業者）▲ジユー其處のけの貯蓄法で三年間にためた六百弗を女の舌の先に乘つて一晩の内にフンダクラレた好人物が居るテンが取らねばイタチが取る醫者か取らねば坊主が取る、取られた先生はニガリ切つとる（上町小僧）▲アレはケチだといはれる者に限つて金かたまり運が好い、何と言つても當節は金な■は何事も出來ません、うまい酒を飲んだり、女道樂をしたり、奇麗な着物■をきて乙に濟まして威張つた所でポッケットが文なしでは駄目であります（ケチンボウ）如何にも（籠係）▲某縣人會創立の噂がある併し元來縣人會なるものは英語の所謂プロビンシヤリズムを盛んならしむ者で大日本國民として世界に對す今日に於ては決して感服すべきものではない（バッテン生）如何にもかごかゝり ▲皆樣へ今晩はダンス御自慢の方々は怪い所でシリ振など爲さず茶話會に出席して衆人稠座の眞中で立派に踊つて頂戴（丁稚）

[illegible] VOL. [illegible]

The Japanese Times

SATURDAY [illegible]

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
238 Sixth Ave., N. Y. City.
Tel. 6478 Chelsea
Subscription Rates
5c A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵稅共）
一部金五仙 一六ヶ月分一弗
一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人　甲斐健一
發行所　紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三　チエルシイ

戰後の人心

[illegible]

生ずるに至れるは之亦獨逸軍國主義の與へたる影響なりと言ふを得べし、然れども之に反し獨逸が現在の勢威を持續する能はず結局露軍並に英佛聯合軍の攻撃に耐へずして敗北せんか獨逸國民の人心は軍國主義、乃至國家主義は一時自國の强大を求めて遂には列國の恨みを致すを得べく、戰爭の慘禍を呼び、國民の幸福は不生産的なる軍備を維持する爲に其大半を犧牲とせざるべからずとの觀念を生ずるに至り、さなきだに勃興の氣運に向へる個人思想、輿論尊重主義は益々其勢力の熾烈を致すべく、米國民の同情が獨逸に向はず却て聯合諸國に向ふ所以は單に白耳義國民が獨軍の鐵蹄に蹂躙せられたるが爲めにはあらず、國家の權力を中心とせるカイゼルの政策が人民の自主自由を根基とせる米國の政体國是と相反する事も亦其原因をなせるものなり

以上は吾人が戰後の民心の變調に關して有する大体の意見にして極めて平凡の誤りを免れざるべく、且つ錯綜せる列國の利害關係、講和會議に於ける白耳義問題及[illegible]問題の處分問題の解決等は地勢上人種上の關係より世界乃至東西の人心に一大特別の影響を與ふるやも圖るべからず[illegible]軍國主義と個人主義との一消一長は戰後世界人文の進歩に關聯して、此二大潮流が列强國の政策及人類生存上の運命を支配すると倚今日に於けるが如きは蓋し疑ふを要せず、吾人は其歸着点の何れにあるかに論なく、國家の安寧、國民の幸福を希望する立場より多大の注意を以て戰後人心の推移に對せんと欲す

米人記者招待會

健坊

▲東西通信前の米人記者招待會は日本倶樂部で開かれた、拙者も新聞記者の片割れとして末席に列するの光榮に浴した許だ、何でも宴會と言へば[主客]十二分の歡を盡して散會」とするのが新聞記者の役目だが、當夜の會合は下らない主人側の日米親善[illegible]もなければ御客樣たる米人記者からのジャッ、イズ、オーライト的答辭もない始から御仕舞迄打寛ろいだ主客の懇談で持切り、十二分所が廿四分程の歡を盡したのは何より美[illegible]かつた、所感を書く前に御主人役高峯、家永兩博士のお骨折を謝して置く

▲村井さんはホストの役目を申付かつた爲か鱈腹飲んだぞ、拙者も大分永らく同君を知つて居るがアンナに澤山飲んだのは今度が始めてだ、平生飲まない酒を澤山積め込んだから多少胃袋に應へたかも知れぬが之も日米親善の爲と思へば辛抱も出來る、村井さんの酒は兎に角として僕の隣に居た、ブルークリンイーグルのマーテン君が日本食を一から十まで平らげたのには流石の拙者も驚かされた、イヤ食ふは／＼、刺身で御座れ吸物で御座れ、口取、壇燒、茶碗蒸、來る皿をば一ゞ甜めぬ許りに平らげた、拙者大に[illegible]な仕つて、ドーデス日本食はうまいでせうと云ふ、先生は「ブリ／＼」を連發しながら如何にもうまさうに征伐して仕舞ふ、

▲米國人の行り方は何でも彼でもマーテン君の日本食式だうまいものと見たら遠慮會釋もなく平らげて仕舞ふといふ方で、腹が減つても／＼じうないの千松式とは正反對だ、だから拙者共は對米外交にマーテン式を用ゐろと言つて何時も外交商買屋に注告するんだが兎角大聲俚耳に入らずで閉口する、拙者決して[illegible]い事は申さんから言ふ丈の事はドシ／＼言ふが宜しい、秘密主義外交や遠慮政策は無遠慮のヤンキーを過する道に非らずだ、

▲拙者の左りに居たのはアッソシエーテッドプレスの次席、通信部長のコブラー君東洋に居たとのある人で愉快な人物、拙者もシャンペンの泡を吹きながら無茶苦茶に話を持掛けた、拙者はコブラー君に向つて御互に遠慮なく話すに限る、拙者等も米國の惡口を言ふから、貴殿等も日本の欠點はドシ／＼言つて欲しい、と言つたら同君の次に居た支那顧問のゼンクス博士がニヤリ／＼笑つて居た、コブラー君はアーノルドやハーンが日本を賞め過ぎてつひに世界を誤まつたと言つて居た、拙者も一理ある話だと思つた

▲村井さんが拙者を聯合通信社の支配人ストーン君に紹介して「之は健坊といふバッドマンです」と言ふとストーン君は笑ひながら俺しに少さな娘が居る此娘か新聞記者は御父さんの外ミンナデームライヤー大嘘突きだと言つたが娘は何處からあんな惡口を覺へたものか薩張り合點が行かぬと大笑ひ、事實の有無は別として先生の當意卽妙なユーモアには感心した、イヤ何處の國でも新聞記者はゲヂ／＼扱いだから恐れ入る

▲ブラーマーテン兩君は聯合通信社の組織とイーグル社の壯大なる有樣を詳しく見せるから是非訪ねて來いと親切に言つて呉れた、マーテイン君は歸りかけにも拙者の肩を叩いてオイ君忘れずに來給へと言つて呉れた、當[illegible]日本では米國歸りが油臭[illegible]うに嫌はれ、米國人を賞めると袋叩きにされるとの評判じやが米國人にも好い所がある、快活で放膽で無邪氣で心切な所は彼等の美點だ、米國の新聞記者は商賣が道樂だけに拙者も大好きだ

▲米國人を遠眼鏡で見たんじや決して其正体を見屆くる譯には行かない、諸に飲んだり食つたり騷いだりする間に相互の長所短所を[illegible]ることが出來るのだ、拙者は日本人か西洋人の男女と往來するを[illegible]む、西洋婦人と交際するが爲に間違の起こる位の事は別に心配する程のこつちやない、其ンナ、コセ／＼したことを頭痛に病む神經家は[illegible]

●塞國首都落

久しく墺軍の砲撃に耐へつゝありしセルビヤ國の首都ベルグレード市は去二日遂に墺軍の占領する所となりし[illegible]王ピートル陛下は同地を離る約百[illegible]のニシ市に其首都を移せるが、ベルグレード市は敵彈の爲に殆ど荒廢の[illegible]なりと

●大戰要報

▲露軍長蛇を逸す　露軍は一週前ホーランド、ロッ市附近にありし獨軍の一部を包圍し敵をして殆んど全滅の運命に陷入らしめんとせしが、レネカムフ將軍の率ひし一軍が豫期に[illegible]ること二日後に豫定の場所に到着せし爲に其策戰計畫に大齟齬を生じ、獨軍は精力を集中して露軍の包圍線を突破し辛くも全滅の厄を免るる事を得たるのみならず、逆まに攻勢に出でんとするの態度を示すに至れるか伯林公報によれば獨軍は此役に於て一万二千の捕虜及廿五門の大砲を捕獲せりと、尙露都公報は露軍がカロソ、ワルソ鐵道を回復せる事カリシヤ方面に於ける露軍は既にクラカウ市を離ること八哩の地點に達せる旨を報ぜり、

▲獨軍右翼の活動　白國方面の獨軍は前月以來一進一退の狀態にありしか二日以來後方よりの援兵を得て[illegible]レス、アラスの間に大活動を開始し約六十万の兵數を以て最後の海岸突出を試みんとするの狀あり、新たに英國より到着せる精兵は之に應せんか爲に戰線に立ち、フレンチ將軍は連合軍左翼の總大將として全軍を統率し居れりと佛國公報は報ぜり

▲[illegible]十[illegible]万弗可決　獨逸帝國議會は去二日クン費十二億万弗の支出案を可決通過せり

▲[illegible]國の亂脈　トルコ國内は開戰以來非常に亂脈となり、人民は獨人の煽動により白中公然盜を爲すの有樣にて在土外人の身命財産は甚だ危[illegible]なりと

▲南阿叛將擒となる　英領に反旗を翻せるウエット將軍は終に政府軍の爲に擒となれりと三日の英國公報に見えたり

●米國軍備熱の勃興　歐州大戰の影響として米國のクン備[illegible]張熱次第に高まり來るの傾あり、[illegible]日クン事に關係ある人々により組織されたる米國國防協會員百五十名はホテルベルモントに會合しマサツチーセット州選出代議士ガデナー氏の提案なる國防調査案に贊成の決議をなし、同じく同州選出上院議員ロッヂ氏は翌二日を以て同案贊成[illegible]大に國防充實の必要[illegible]

●マハン提督逝く　米國有數の海クン[illegible]

[illegible]

●シフ、ストラウス兩氏の日本協會退會公表　[illegible]

[illegible]所ありたり

内閣破壊運動

[illegible]

●山東の將來　獨人の觀測

[illegible]

●漁用人救濟

[illegible]

……を生じたるを黙過せしむべく賄賂を贈りたるものにて上等機關兵曹は反物一反を三等機關兵曹は現金五十圓の贈與を受けたるなりと尚右に關し佐世保軍法會議の染川主理長崎に出張同地の三井物産支店を取調中なる由苦々しき沙汰なり

●獨領諸嶋引渡は全然虚報

先きに[illegible]電報として日本が一度軍事上の理由によりて占領したるマーシヤル島及其他の舊獨逸所領南洋島を濠洲に引渡し同州軍隊をして之が警備に當らしむべく濠洲防備大臣ピアースにより發表せられたりとありたるが日本政府は全く知らず何等かの誤報なる事明かなり特に農商務省及外務省は同諸嶋か商業上及農業上如何なる未來を有するかを調査せしむるか爲委員を同嶋に派したる程なれば右諸嶋の引渡し報は出所怪しき報道にして日本政府は全然其事實を否定し居れり

●商船社長交迭

タコマ大阪商船會社出張所に達したる電報によれば社長中橋德五郎氏は一身上の都合にて勇退社長を辭任され同社取締役理事山岡順太郎氏社長となれりと山岡氏は先頃米國視察の途當地にも來りし事あり牛田鐵工所長なり中橋德五郎氏は取締役となれり

●必死の獨逸新聞政策

支那駐在獨逸官憲は今や有らゆる手段を盡して新聞操縱に從事しつゝありて殊に日支兩國人間日英兩國人の離間中傷に努め日本の新聞記事中聊かにても揚足を取るの機會あれば之を利用せんと努めつゝあり濟南にても既に獨逸官憲に買收されたる支那新聞あり

●南洋の邦人事業

[illegible]商務省水産局の調査する所によれば南洋方面の諸島に於ける邦人の事業として見るべきものは比島、蘭領東印度、西濠洲及木曜嶋に於ける眞珠採取、マニラ方面に於ける打瀬網漁業、木曜嶋の海鼠捕獲を最とし[illegible]百万圓に上せり而して其一半は[illegible]一半は以て事業擴張に投資しつゝある現況にて漸次其方を增大し來り蘭領東印度の眞珠業は今尚複雜關係を脱する能はざるも其他の諸嶋に於ては全然邦人の經營に成り使用の船舶二百二十隻[illegible]に達し各地の[illegible]左の如し

▲比嶋　眞珠採取船三十五隻從業者五百人打瀬網漁業船三十五隻其從業者百五十人
▲ビルマ　眞珠採取船一十七隻其從業者百二十人
▲木曜嶋眞珠採取船百隻從業四百人
▲同海鼠捕獲船十隻從業二十一人
▲西濠洲　眞珠採取船十五隻從業約二千人

●獨皇太子談

左は獨逸皇太子が米國軍事通信員を北佛陣中に引見して語りたる所にして皇太子は充分に相互の意志を通せしむる爲に英語を用ゐたり

▲御目にかゝて非常に愉快です、自分は君が勝手に行き度い所に行つて澤山面ろ白き事を發見せらるゝ事を望みます

▲自分は軍人でないから政治談を試むる事か出來ないが併し此戰爭程馬鹿けて、無意味で不必要な戰爭はないです、只獨逸國民は上下を通じて吾々の生存の爲めに止を得ず戰つて居るといふことを知るのみである自分は他國の軍人の大多數も自分と同じことを言つて居るのは承知して居るが例令誰か何といはうとも吾々か實際上國家的生存の爲に戰ひつゝあると云ふ當面の事實に變りは無いのである

▲吾々は今度の戰爭は獨逸か敵から無理無体に强ひられた戰爭で、敵から永らくの間吾々の生存を破壞しやうとして用意周到に計畫した鎖鎖を免るゝ爲の戰爭であることを知て居る然して此目的の爲に有ゆる手段を講じて祖國を護るのは吾國民の最高の義務である、然るに吾々が開戰の初め機先を制するの手段に出でた事實は不幸にも獨逸は戰爭を好むもので從て其責任を負はねばならぬといふやうな間違つた説を生ずるに至つた、何れの國といへども此戰爭は吾獨逸國民と其政府及制度を破壞する爲でないといふ解釋を以て吾國民を説得する事は出來ない、何となれば吾國民は莊嚴なる犧牲的精神を以て擧國一致の實を示して居ることは諸君の見らるゝ通りであるからである

▲自分は世界各國の多數が獨逸に反對して居る事實を隱す必要はないが只一つ自分の驚くのは米國人の吾々に對する感じの反感である、數百万の獨逸人が移住し獨逸語を繰り、自由解放を主義とする獨逸思想を有つた、米國人が現在の獨逸の地位に就て全く誤つた見解を抱き猜疑嫉妬の敵に利用されて國家生存の爲に戰つて居ることを知らぬのは吾々の實に遺憾とする所である、斯様な誤解の生ずる原因は凡ての通信機關が英國の支配の下にあるからであるか實際上吾獨逸は新聞紙の勢力が外交上最も重要なる者であるといふ教訓を得た、而かも此教訓は中立國を通じて獨逸の軍國主義は世界平和の敵であるといふ誤つた觀念を抱かしめる高價の犠牲を拂つた教訓である

●記者招待會　東西両信者の[illegible]者招待會は[illegible]報の如く[illegible]日本[illegible]は[illegible]……

●渡航規定　[illegible]のある者以て下宿屋の如き多人數出入する家に於ては特に注意し[illegible]なる用事なき限り保せぬやうにすべし

●戰時税と旅館　十二月一日より實施さるる戰時税の規定に基き下宿屋中[illegible]を所有する者は一層に[illegible]之を營む者は[illegible]ぬ事物を為す由は豫て吾等の耳にする所なるが、パナマ丸及カテタ丸に船員を[illegible]石税金を要求する時は兩時に[illegible]べし、何シガー[illegible]る者は五百弗の罰金若くは六ケ月入獄の處刑を受けざるべからず、旅館業者は注意を要す

●戰爭終結は五月初　▲小玉[illegible]氏の一筮

[illegible]項所载記者招待會の席上小玉氏は[illegible]易占を試みたるが、易に現れたるは[illegible]東西南北に[illegible]突然泰山に[illegible]漸次山腹を[illegible]に落下し[illegible]に安着[illegible]之によ[illegible]五月[illegible]すれば戰爭[illegible]中立國[illegible]に入る[illegible]

●今月は[illegible]會役員會なし　本月は[illegible]年末に際し[illegible]會は[illegible]

森村組▲五弗若松料理店▲五弗柳原貢不▲十八弗七十五仙倒入寄附廿二名分

總計六百九十九弗七十仙

●渡米婦人は注意せよ　太平洋を往復する日本滊船の船員等は呼寄妻女其他の婦人乘客に對し折性しから[illegible]る處なるか、パナマ丸及カテタ丸に船員たる某々兩人はヒステリー性の婦人乘客の不眠症に懼り居る者に藥を與へるとの口實にて夜中トッケもない亂行に及び、事の發覺を恐れて其姿を見せざりし由會社も船醫の撰擇を嚴重にすることとし、婦人乘客も悪船員の奸策に乘らぬやう注意すべし

●森村組[illegible]森村[illegible]三氏夫人は過日足立氏と同伴來着せり

●廣島高師教授文學士丸山作樹氏は教育視察の為過日來市當分滯在の[illegible]

●關根商會シカゴ支配人宮川節郎氏は近々同市より當地に來り同店の商[illegible]を帯びて一時歸朝の筈なり

●片桐商店員島康親氏　歸朝中なりし同氏は過日安藝丸にて來米

●增田代議士の布哇に於ける氣[illegible]

●早稻田大學教授吉田良三氏　は去[illegible]日來市せり

●逓信技師米澤三七氏　は昨日來市[illegible]時滯在の筈なり

[illegible]氏は[illegible]の布哇の新聞記者に向ひ大統領ウィルソン氏及國務卿ブライアン氏は[illegible]的感情を有する好人物なりと信ず、日米間の一切の感情乃至出來事に歐洲戰爭後必ず一掃せらるべしと云々と語りし由、こんなドエライ見識を持った好人物の代議士が日本には有るから全く難有次第なり

●[illegible]日本人第三十號、滑稽雜誌トンチキ廿六號、は何れも過日行發せり、何によつて面白し

●獨探の嫌疑を受けし歸商者　タコマの獨逸人の家に働き得たる西村某は過般歸朝し横濱より長文の暗號電信を打ちし事警察の知る處となり夫より以來同人の一擧一動は尾行偵察のために一々報告されたる由なり事實獨探なれば[illegible]らぬ奴といふべし

[illegible]十八弗廿五仙修道[illegible]▲三十二弗[illegible]日本人會▲三十七[illegible]弗[illegible]取扱▲[illegible]▲四十七弗五十[illegible]弗廿六弗[illegible]茂木[illegible]井組有志▲[illegible]年會▲廿二弗五[illegible]人會▲廿二弗七十[illegible]▲廿一弗關根商會[illegible]▲十九弗[illegible]ッ[illegible]有者▲十五弗[illegible]吉[illegible]▲十一[illegible]十[illegible]▲十弗[illegible]▲九弗多[illegible]▲八弗[illegible]年會[illegible]▲五弗[illegible]

▲東京より

[illegible]

[…]、電氣局車庫より號外を大書せる花電車を一番に續いて古武士凱旋式及陸軍代表馬蹄型の花電車二臺が[…]上野淺草間を進行すれば熱狂したる市民は老も若きも万歳〳〵を浴せ、中にも滑稽なるは提燈屋にて陥落は十五日頃と高を括りたるに俄に各所より行列提燈の催促を受けて日を廻はより其他各町ともそれ〳〵祝賀準備にて大混雜中なり

大阪も陥落の聲か號外の鈴の音に連れ街から街へ響き亘つて晴れ渡つた[…]の空に市中の活氣は湧き返るやり[…]祝賀の準備は夙くに整へて居た、見る間に各戸の軒さい軒には日章旗が晴れやかに飜つて[…]提燈ら景氣好く往來の群集も意外を振つて「御目出度い」を交換し[…]に兼ねて準備の市内四[…]當夜擧行の市祝賀報知とし[…]煙火が一聲ドンと響き亘る、續い[…]の煙火の音に次第に活氣が競り上つて來る、先づ盛りの場の千日前[…]界各小屋では景氣直しの御[…]外をベタ〳〵と表木戸に張り出して居つた、道頓堀の開場をは二十分間早めて打ち出してから祝盃[…]るといきり出せば座長の劉藝は元山東省の生れとあつて青島陥落の[…]演説を試みてヤンヤの人氣を博し日本活動會社大阪支店は特約ある市内の各奇席七軒の興行を午後八時限きりで打ち上げ五百名の提燈行列を繰り出す始末、市内の樂隊屋は一時過何れも申込濟みで合ひで京都戶から臨時雇入の騒ぎ其他提燈屋も二錢のものが倍の四四錢で引張合ひこに好景氣が反映となつて現れて來た、

●同盟軍の國旗飄へる大使館

▲日正午後青嶋陥落の報英國大使館に達するやグリン大使は直ぐ樣海軍武官を従へ自動車を驅りて外務省に來走し來れるが英國大使館は本國へ此痛快なる報道を打電する爲に忙殺され居れり、かゝる多忙の間にも門前に交叉する日本國旗及英國國旗祝ひの提燈を用意するやらニコ〳〵顔の館員等が海軍武官のライマン大佐と何やら嬉し氣に話をして居るなど館内は俄に活氣立てり、一時二十分と覺しき頃グリーン大使は海軍省より青嶋に就ての感想を聴きたるに[…]さして多くを言はず、去つて佛國大使館を聞へば館員は是れ亦同盟軍の[…]國の國旗、日、佛、英、露、塞白、和の國旗をを館外に賑々しく飜へさせ「大に青嶋陥落の祝意を表する」と云なり大使ルコニー氏は多忙の爲に[…]を見せず

▲長廣告　▲滞墨米軍も愈々去廿五日を以てベラクルツ港を引揚げる事になつた、墨國平和の目的で派遣した兵隊をカランザ、ウイヤ両派の大騒亂中に引揚げるといふのは一寸可笑しく聞へるが事實だから仕方がない、流石理想主義の維爾遜君もメキシコではよい學問をした▲家永博士は歐州派兵論者であるか、歩兵よりも砲兵を送るかよいと言つて居る、成程愈々となれば大ひに腕を見せてやるも一興だらう、併し送つた後とで、イヤ戰爭した後で馬鹿を見ぬ用意が肝要だ、▲新歸米者の談によると當節日本では米國歸りの人間は特に不評判で誰も相手にせぬげな、無理のない譯もあるさ

▲觀光團員の通信による帝劇の女優は揃いも揃つてうまいものだと通信してゐるが、某専問家の實驗によるとカラキシ成つてゐないと言た昔々は未だ拜見！ないから何とも申上げぬが今度連中が桑港にやつて來て知[…]つた足を出してパレシトダンスをやるなどは一切ヌキにして貰い度いもんだ

人の演奏に向つて無暗に野次るのは甚だ失敬しい此間の茶話會でも醉漢いか居て例の通りやつて居たが參會の西洋人は顔をシカメて居たよ、何も米國許りを眞似なくてもよいか禮儀作法を亂る者は日本でも米國でも紳士とは云れぬ（耻知生）▲馬鹿票の紙を持て居たが爲めに警察に引張られ罪を犯さない無關係者迄も監獄に三四日打込まれるなどは實に馬鹿〳〵しいじや廿五仙で千弗を得やうなどいふ夢を見るから罰が當るのだ氣を付けへ▲（注意生）

●投書籠●

▲カクローチ生へ　君は自稱して相當の教育があるといふが在北米日本人の恥を一人で擔つて居らしく投書するなどは實以て怪しからぬ奴だ貴樣のやうな人三怪七が此米國に移住して居るから排日論が益々嵩まる自ら過去の罪惡を悟つたなら宜しく以後は愼め夫れで治らずば宗教の丸藥を復用して女の爲に納むる罰金を慈善事業にして投て見よ、此位愉快なものはない、（ミシガン州エム生）▲或アイリッシュの下女が「日本人は美服を着けたるワイルドメン」だといふたか之は禮儀作法を知らぬ事を意味するのだ有髯男子何と答へんとするか（閉口生）▲僕は岡田正吉君を知つて居るが同氏は友人に金を借りた事かない、他人に迷惑をかけた事がない、今時の青年諸君は同君を手本にするかよい（同人）▲アキレタ生に申す、君の投書は公憤よりも寧ろ私憤を洩らすの氣味あり該問題に付て君は今一層深く研究する必要あり（記者）▲公會席上他人の演説又は婦

No. 177 VOL. 4 The Japanese Times SATURDAY Dec 12th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office
as second class matter under
act of March 3rd 1879

紐育新報定價（一部金五仙 六ヶ月分金一弗 一ヶ年分金二弗）
千九百十一年六月十四日郵便認可
發行兼編輯人 甲斐[illegible]
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三 チエルシイ

米國論客の對日態度

米國大統領維爾遜氏は去本月九日合衆國議會の開院式に臨みて朗讀せる教書中近時世上に喧しき國防調査問題に關する一部論客の態度を評し「神經過敏にして盲動的なり」といへり、吾人は米國の防備が完全なりや將た不完全なりやに就て彼是云爲をするを好まずと雖も而かも是等神經過敏なる論客の輕躁なる言論態度が往々にして日米兩國民の反感を釀醸するの傾向あるは吾人の常に遺憾とする所にして殊に米國言論界の重鎮として、其閲歴より云ふも、其學問識見よりいふも、優に闔國の輿論を左右し得べき人々が自家の政見を發表するに當り、徒らに淺慮なる衆愚の好奇心に投じ易き材料を採り以て盲動的なる論客輩のひそみに倣はんとするに至つては吾人其故たるを解するに苦しまずんば非ず、抑々亦假等官動論客の材料に供せらるゝ、吾等日本人の迷惑如何を察せざるの甚太しきものに非ずや、日米問題に關して比較的穩健なる意見を有する政治家並新聞紙が常に遺憾とする所は兩國政治家中所謂ジンゴイスト（好戰論客）なるものありて常に民心を攪亂することなり、といふにあるか吾人の卿る所を以てすれば好戰論客は日本よりも寧ろ米國に多しとするの適評なるを思はずんば非ず、今や吾日本の讀者は加州問題勃發當時と異り歳月の經過するに從つて漸く日米問題の眞相を諒解し來り、兩國の繫爭が例令外交上の實例習慣によりて解決し難きまでも少くとも或他の方法によりて兩國の戰爭を避け得べき程度に於て終了すべきものたるを信じ、且つ日米問題は之を交際問題と關して考察すれば大いに誤謬考察の價値こそあれ、單純なる別個外交上の問題として決して兩國運の消長に關するが如き大問題にあらざることを悟り、所謂黄色禍を以て目せらるゝ小者間で雖も日米問題に對しては可成其審議を愼むの有様なり、然るに近時米國の政治家及論客輩は何等言般の消息に向つて顧慮する所なきものの如く國防問題を論ずれば直ちに、日本軍の桑港占領を豫測し、極東問題乃至支那問題を論ずれば只譯もなく日本の野心を誇張して人民の感情を煽動せんと試む、日本の獨逸に對へし最後通牒發表せられし當時米國新聞紙は日本政府が米國政府に對し膠州灣の還附を約せしとか或はマーシャル群島は布哇非島の中間に位するを以て日本は米國の利害を慮かり永久に之を占領せざる意向なりとか樣々なる浮説を捏造し、以て世人をして殊更に日本の責任の重きことを感せしむると共に少くとも「日本は油斷すべからず」との觀念を抱かしめたりしが、此の如きは直接排日の論議ならずとするも亦米國論客の吾國に對する嫉妬的、疑心暗鬼的傾向の一端を暴露せるものに非ずして何んぞや、

吾國民の良友にして常に日米問題の平和的解決に腐心しつゝあるギユリツク博士は過日當地のサンを紙通じて其意見を發表せるが、實に博士の言の如く日本政府は彼紳士的協約を誠實に尊重して一切の移民を送らず、對米問題に就ても日本人中忌はしき兩國開戰を夢想する者なきに米國人が無暗に排日的言動を逞うし、僅々七千乃至一万に足らざる在米日本人勞働者を苦しめんとするは愚中の愚策にして、其結果は實質よりも名譽を重んずる日本國民の感情を招き、兩國民は心ならずも衝突するやも圖るべからざるなり、吾人が[illegible]に贅説する迄もなく若し日米兩國が万止を得ずして開戰するが如き事ありとするも日本軍が非島、布哇を攻略し更に西部沿岸に上陸し北は[illegible]太際國境より南はサンデーゴに戰線を擴げ大陸を縱斷して米國の死命を制する事の不可能なるは明事實なるぬ吾人と雖も之を豫言するを得べく之と同時に米軍がモシ其全艦隊を舉げて極東の征戰に臨むとも到底日本帝國の寸土だも犯す能はざるや明かにして其結果は徒らに兩國をして疲弊せしむるに了らんのみ、日本の識者論客が日米問題に關して言議を愼み以て兩國紛爭の平和的解決を希望しつゝある所以は要するに此觀易き問題の眞諦を解し得たるがためなり左れば万一日米兩國が不幸にして干戈相見ゆるが如きことあるともらん其責任や決して日本にあらず、米國人民に非ずして如上無責任なる米國の政治家論客にありといふべし、吾人は數年前ホブソン一輩に與へたる苦言を以て改めて思慮ある米國人士に呈するの止むなきを悲む。

日本の友人

空々子

「多忙に隱れる」是の一言が僕の今の生活を悉してゐる、餘り多忙も結構至極ではない、モ少し暇なら能いとも思ふか、僕は多忙なために自分の最も嫌ひな「社交」と云ふとが當然免除されてゐるやうな氣がして、之を「多忙の報償」としてゐる、多忙と云ふことは重寶な言葉で、隨分濃着に規則なからも、極つて暇な時間かなく、朝ても夜ても絶ねず警戒的態度を取る、今の仕事をしてゐる以上、其間に無駄話をし、欠伸をし、ぼんやりしてゐる時間か可なりあつたにしても、人を訪問するとかされるとか約束を極めることか出來ない時間であつて見れは、之を以て社交的謝絶を畫かれた所で多忙といふ文字を活用してゐる譯ではなからうと信じてゐる、つまり僕の我儘と、不性とか僕の仕事から排斥されてゐる形だ、僕に暇かあつたにしても廣く交際するといふ柄てはないそれて已むを得ない交際社會に立ち交る事は何よりも苦痛で、も少し交際をしなければならぬと思ふのか一層の苦痛だ、是の二の苦痛を離れて、責任回避の不安も訪問接待の義務もなしに多忙に隱れることか出來るのは、僕に取つては人か氣の毒かる程苦しい生活ではない、寧ろ「自由」が伸び放題に伸び、面白い目も見ない代はりに、難に遇ることもなく、神經を安靜にしてゐる丈、消極的幸福を享受してゐるのである、君の知つてる通り、僕は所謂外交といふ事は落第だ、新聞に關紙の編輯をしてゐたとかあるか、紫蝶のやうに編輯局にしかみついてゐたので、一年の餘も居たに拘らず二十人許りの勅任官連中に知つた者は幾くらもなかつた、大阪にも六ヶ年間居たか其家に往來したのは百名餘の同僚中て五六人、その外は人に遊びに來られても往く人は無かつた、その癖僕は自然よりも人間か好きて靜かな田舍に居るよりも賑かな都會に住みたい、芝居も好き、演説を聞くのも好き、友人と無駄話するのも好き、時に太平の交際もしないではなかつた、僕は所謂詩人にも何にもない正眞正銘の俗物だ、それだから[illegible]を話すよりも政治論でも[illegible]の方が白い、その好きなのを自分の使命のやうに誤解して一時は政治家にならうと思つたこともあつた、だか僕の人間を好き、都會を好き、政治を好くのは飽く迄現實的意技である、[illegible]居を好くのも同じ理屈で、[illegible]徹尾「見物」に止まだので役者にはなれない、又なり度いともない、[illegible]市に隱れるといふ言葉は[illegible]酒を好む僕のムードに合ふ、田舍は蒼[illegible]をするにも近所に[illegible]の馬の骨か隣に居るか分らないつた都會生活に呑氣なものはない[illegible]の意味て僕は紐育の生活か[illegible]はない、サブウイーに乘つて[illegible]か、商店の小僧か、馬車か[illegible]切合切黄色い人間といふ[illegible]れてゐる自分を外人の中に[illegible]するは見れも氣取りもない[illegible]日本に居ると若い[illegible]車に乘り合せると、何だか[illegible]して見たいやうな氣かしないでもない、クス／＼笑はれたりすると自分のことはないかと[illegible]以て氣になる、それか外人の中だと流石に[illegible]こしたらいて笑はれやうか何しや[illegible]氣だ、人間は求めることか無い[illegible]いのはない、人に依て出世しやうと思へば名士の前に頭を下けたいかも知れない、借金をしたい積りなら金持と懇意になる必要を悟るだらう、色氣かあればこそ美人の前にはイヤに固くなる、既に間違つても[illegible]家などで金を使はれる氣遣はないいくら懇意にしても、先づ金を借る相談はしないとちやんと物事か極つてゐる以上、此に夫れ誰に氣取り譯に憚ることさあらんやて、輕蔑されだ處でコノチも昂然として相手を見物批判するの自由と權利とを有つてゐる、之か外國生活の呑氣な一面てす、何す、僕か兎に角君の心配した神經衰弱にもならず又ホームシックも起さずに半年を暮らした理由か分るでしやう、左やうなら又。

●帝國議會開會

（七日東京發電）

帝國議會は本日を以て開院式を行ひ今上陛下 親しく御臨幸の上左の勅語を御朗讀遊はされたり

經盟各國との修好は益々親密を加へ、日英同盟及日佛露三國協約は時局の經過と共に愈々其基礎の鞏固を致せるは朕の深く喜ぶ所なり陸海軍は同盟軍と共に克く敵を撃破し東洋の平和は漸を追ふて克復せられんとす、然れども大戰は未だ終結するに至らず、朕は臣民の忠勇に信頼し、速かに最終の目的を達せんことを望む

朕は政府をして豫算並に國家必要の諸法案を提出せしめたり、帝國議會は和衷協同以て翼贊の實を擧げよ云々

●膠州灣還附を約せし事なし、加藤外相は議會に於ける外交上の質問に答へて曰く

政府は膠州灣を支那に還附すへきや否やに就ては何れとも未た決定するに至らず、又何國に對しても膠州灣に關し何等の約束を爲したる事なし

と言明せり。

●八代海相は歐州大戰爭中吾海軍は[illegible]業務を繼續すべく、吾艦隊は目下英國艦隊と共に南米附近に於て獨逸艦隊を搜索中なりといへり

●外相の電明と[illegible] [illegible]日本大使館は日本の[illegible]の最後通牒に[illegible]たる[illegible]異なる[illegible]獨逸か日本[illegible]を拒絶したる以上膠洲灣を[illegible]公法上日本の自由なる[illegible]か上記加藤外相の聲明は[illegible]政府部内に種々なる議論を生ぜしめ戰爭終結の際日本と共に[illegible]落せる英國も獨領の處分に關し何等かの要求を爲すべしとの議論もあり[illegible]外務卿武雷氏は[illegible]に就き一言も語らざる由なり

●支那の不滿 加藤外相の議會に於ける演説は痛く北京の朝野を失望せしめ政府部内及新聞紙は擧つて日本の態度に不滿足の意を表せり（北京發電）

●獨艦二隻撃沈さる

去九月一日智利沖に於て英艦隊を破り其後日英兩國艦隊の追跡を晦遁しつゝありしスピー提督の率ひし獨艦隊は本月八日南大西洋アルゼンチン共和國の沖なるフワルクランド嶋近海を遊弋中スダーデー提督の率ひし英艦隊の發見する所となり直ちに砲火を交換せしが旗艦シャルンホルストを始めチイーセナウ、ライプチツクの三艦は英國艦隊のために撃沈され、所屬石炭船二隻も捕獲せられ殘餘の二艦ドレスデン、ナルンベルグは交戰中に逃走し目下追跡中なる旨九日の英國公報によりて發表せられたり尚英艦の損害は僅少にして獨艦は約二千名の乘組員を失ひたりと

●米國議會の開會

大統領の教書

第六十三回目の米國議會は去七日開院式を行ひ、大統領維爾遜氏は議會に臨み例の如く施政の方針に關する教書を朗讀せるか、今期議會は頗る短期なるを以て氏の教書は外交其他一般施政の方針に言及する事なく單に政府に於て船舶を購入し、船舶事業發達を奨勵するの必要、政費節減の必要、國防調査[illegible]の不急務を論ずるに過ぎざりしか[illegible]氏か近時問題となり居る國防調査[illegible]に對する意見の大要は左の如し

近時吾國の一部に[illegible]を唱道する人あり、仰々「[illegible]」と稱するは何を意味するや[illegible]ては吾人か[illegible]を以て訓練を經たる[illegible]遂るの準備を欠くといふにあるか

（二面に續く）

●政友會の現閣彈劾

十二月三日東京より東西通信社に達せる着電に依れば政友會は近日中現内閣不信任案を衆議院議員に提出すべき模樣にて政界は頓に非常の活氣を呈し來れり、政府攻擊の主點は外交問題にあるべく又對黨領袖の語る所に依れば大隈内閣はヤップ島を英國に交附し、膠州灣を支那に還附するのみならず、從來獨逸の勢力範圍たりし天津、南京鐵道の北部を英國に割讓する意志を有せるが斯は緬甸より中部支那沿岸を通じ滿州に至る英國の勢力範圍を畫かくものにして吾國の對支關係に對し非常の損害を與ふるものなりと

●青島陷落の戰利品　十二月三日陸軍參謀本部の發表する所に依れば青島陷落の際吾軍の捕獲せる戰利品は左の如くにして港内の船舶は悉く破壞しありしと

小銃二千五百挺、機關砲百門、野砲三十門、自動車四十臺、石炭一萬五千噸、金貨六千弗及び三ケ月間五千人の人員を支ふべき軍需食品料

●青島善後處分決定

青島陷落に付關係各省は急に打合せをなし既定の考慮に基く諸般の細目を立案し一括して十日の閣議に附議せり閣議の内容は詳ならざるも青島附近に軍政を布き青島内に於ける公私の財産を保護し青島内の秩序恢復するまで軍隊を以て青島の出入を主護し一切人民の出入を禁止し至急膠州灣内外に敷設せられたる水雷を引揚げ破壞せられたる大小港に應急修理を加へ然る後青島を開放し山東鐵道と相待つて内外人の貿易を差許す害なるが之等の準備をなすには少くとも一ケ月を要すべきにより青島の復舊期に入るは一ケ月以後なるべし青島を開放するも暫時中軍政を施行せらるべきにより青島税關を支那人の手に交付せしむる事情あり内地より税關事務に通ずる者を拔擢し時局中青島税關事務を取扱はしむる筈にて略人選を終りたり其他青島及附近一帶海陸守備軍の編成に就ても略成案を得たりといふ

●交戰地帶取消宣言書　支那政府は青島陷落と共に消滅すべき交戰地域取消を日英獨三國に宣言し同地帶に於ける戰時狀態を克復し支那の政行權を完全に施行すべく目下宣言書を起草中なり

●山東官民態度一變　青島陷落後山東官民態度全く一變し日本官民に對し極力好意を盡し山東鐵道沿線に起り居たりし些細の衝突事件も其跡を絶ち極めて平穩となれり殊に獨逸人の手前を憚り今まで日本人との交際を遠慮し居たりし者も今や公然往來する事となり青島に財産の關係あるものの如きは青島陷落を祝し日本人に盛んに御世辭を振りまき廻り態度の豹變驚く程なり

●重要閣議　十日は内閣會議の定日に付き午前十時より首相官邸に於て閣議を開き大隈首相以下各大臣(太田藏相、岡陸相欠席)出席行政整理に關する官制改革の未了案件に付審議する所あり主として樺太廳官制改革に關する者にして案の内容は現在の三部制の一なる拓殖部を廢して内地同樣内務警察の兩部制となすものなるが原案通り一決し直ちに樞密院へ回附する事となり又青島の善後策に就ては陸軍省より提案ありたるも戰利品の受授へ未だ完了せざるの今日急速に議するの必要なく今後徐々に議すべしとの事にて單に回覽に附したる儘議するに至らず一同午餐を共にしたる後雜談を交はし午後二時前後より隨意散會せり尚内閣にては行政整理に關する事項に付其一部を十二日官報にて發表すべしといふ

●政友會の不信任案纏まらず　政界の雲行き益々險惡にして政友會は議會劈頭大隈内閣不信任案を提出するやの說盛んなれども增師問題の攻擊は成丈避けんとする形勢なるにより從つて不信任個條の列擧に就き種々異論あり黨内の意向未だ一決せざるより或は其儘御流れになるやに觀測せらる

●兩司令官の凱旋と東京驛　神尾出征軍司令官及加藤第二艦隊司令官は十九日東京凱旋入京に際し丸の内中央停車場に最初の下車をなすべく同停車場は既に東京停車場と命名され廿日開驛式舉行さるべく凱旋歡迎と相待つて東京市近來の盛觀を呈すべし

●横須賀の凱旋歡迎祝賀　第一艦隊横須賀入港に付き同市民は壯大なる凱旋門を立てゝ之を迎へ引續き各艦將士の[illegible]あり京濱兩地も之がため活氣を呈し居れり

●農商務官來米と調査　今回の戰亂の世界貿易市上に及ぼす影響視察及日本品海外販路擴張のため政府は支那印度獨領アジア南洋濠洲合衆國加奈太等に視察員を特派する事となりたるが日本の實業家にして今後の海外發展を計畫するものにして之に隨行するもの少ならず米國へは商務官として先年紐育に駐屯せる紫藤章氏派遣さるゝ事となり何れも近く出發する筈なり

●青嶋市街日本名に變更　青島市街は十二月一日を以て一般に開放され何人も出入自由となりたるが各砲臺及び市街の名稱は從來の獨逸名稱を廢し神尾加藤兩司令官の名字其他記念並に各種の緣成に因みて悉く日本名稱に變更せり

●古物商の窮況　數年來の不景氣續きに今回戰亂の打擊を受け今夏以來賣買皆無の有樣となり警察に於ても該商人等が如何にして生活し居るやに就き不信を抱く程なり二、三ケ月以前より廢業をなすもの月に四十を下らずと

●鶴原定吉氏昨夜終に病歿　元福岡縣選出衆議院議員(政友會)鶴原定吉氏は豫て病氣の處藥石効なく昨夜終に死去せり(二日東京發電)

(附言)故人は安政三年生れ、福岡縣士族鶴原道室氏の二男東京帝國大學文科出身曾て領事日本銀行營業部同理事、大阪市長、韓國統監府總務長官、關西鐵道株式會社長たりしとあり先頃迄は政友會代議士にして大日本人造肥料株式會社長、蓬萊生命保險相互會社長及び中央新聞社長たりしが病を得て近頃代議士を辭したり

●首相の實業家請待　大隈伯は十日午後早稻田の私邸に實業家を請待し晩餐會を開けり當夜の來客は左の廿五名にして主人側は伯爵の外に加藤外相、尾崎法相、若槻藏相、武富遞相、江木翰長、大隈山崎兩秘書官にして宴正に終らんとするや大隈伯の簡單なる挨拶に對して三島子爵の答辭あり主客別室にて胸襟を開き閑談に時の移るを忘れ散會せるは午後十時なりき

末延道成、志立鐵次郎、三村若平、三井八郎次郎男、三井八郎工門男、水町袈裟六、志村源太郎、三島彌太郎、益田孝、松方巖、鄕誠之助、淺野總一郎、安田善三郎、團琢磨、中野武營、根津嘉一郎、高田愼藏、和田豐治、大倉喜八郎、豐川良平、大橋新太郎、服部金太郎、池田謙三、岩崎久彌男、井上準之助

●選擧權擴張案提出　衆議院議員選擧法改正案は關係當局者間にも種々異論あり一時は到底三十五議會に提出さるゝ模樣なりしが其後大隈内相の熱心なる主張に依り改正案の骨子ともいふべき選擧權擴張即ち標準納税額を低減することに内定したる由なれば獨立選擧區、罰則等の改正と共に一括して來議會に提出するに至るべしと但し其標準額を七圓とすべきか將又五圓とすべきかの問題に關しては目下精査中なるも近來普通選擧論勃興せる折柄なれば折衷案として五圓標準額とすべしとの說あり大隈内相亦此說に傾き居る由なれば多分此邊に落着する者の如し

●ヤップの捕虜　鎌倉丸にてヤップ島より來れる捕虜其他に對する取調べは頗る嚴密を極むるものゝ如く今なほ續行され尙終りの模樣なきが最初非戰鬪員は直ちに釋放し捕虜は佐世保に送るべき豫定らしかりしも非戰鬪員中には英人及び中立國たる和蘭人ありしため取調べ[illegible]延するにはあらざるかともいふ右英人一名は獨逸商館の雇人に一和蘭人二名は電信局の雇員なりとヤップ島は各地よりの獨逸海底電線の中樞にして而かも最近迄各地よりの容電此に集りエムデン等が暴威を振ひしも此經好の機關を利用せるものゝ如しと

(一面よりの續く)

然り吾等は斯る準備を有せず、又吾等は現在の政體制是を保持する以上平和の時代に於て此の如き方法を執るべきに非ざるなり、吾等は將來に於ても又過去と同じく國難に際して常備兵若くは豫備兵にのみ信頼すべきに非ず、只健全なる訓練されたる市民の力に依頼すべし之れ即ち傳統的習慣に基ける米國民の誤りなき政策なり云々

倘氏は防備を主とし、征服を意味せざる優勝の海軍力を備ふる事は國防の要義なる事を强調せる米國は常に此方針によりて建艦其他の設備を爲し最近數ケ月の經驗を採用せる事、又米國は近き將來に於て世界平和の克復に貢獻するの名譽を擔ふ者あるべしとて暗に米國が歐州大戰の調停者たるべき機會に逢着せるの意を洩らせり

●佛國首都の復歸　開戰當時巴里危險となるや佛國政府は首都をボルドーに移して今日に至りしが時局の經過が聯合軍に有利なるの見込確立せりと見て佛國政府は去七日一週の[illegible]政治機關を擧げて巴里に復歸し[illegible]

▲本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次 日本郵船 大坂商船
シカゴ、ボストン、フキラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の場合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

柳原資永氏著 米國實地 **實業經營法** 定價一冊金一弗郵稅十仙

紐育新報社

●有志家の演劇計畫　當地の中田氏外數名發起となり、新年早々カーネギーホールに於て新舊劇を催す計畫中なるか藝題は「町奴幡随院長兵衛」「勤王勇士兒島高德」にて此外西洋合奏、落語、浪花節、日本踊等あり近々稽古に取掛り稽古濟次第開場初日を決定する筈なりと

●白耳義窮民救濟費　當地在留同胞より醵金せし義捐金は前號に報道せし總額に武市岡崎旅館取扱の分二十弗五十仙を加へ總額金七百十九弗九十五仙となる由にて右の內郵便廣告其他の費用を差引殘額金七百弗を白耳義窮民救濟會へ引渡したりと

●桑山氏の舞踏會組織計畫　都旅館主桑山仙藏氏は日本人會に催されたる舞踏を一見して大ひに感ずる所あり在留同胞の親睦として此右に出つるものなしとの意見より愈々來年一月八日舞踏會組織に着手せるか最初先つ廿名許りの會員を募り場所は同旅館の廣間とし毎週或は各週に同會を催す筈なり紐育の天狗連は續々申込まれ度しとの事なり

●日會の離刑者救濟　吉田下宿屋に在中なる山田等は八月以來静養に歸り居りしか療養の爲め加州ローサンゼルスに赴き已むなく日本人會共濟部の補助を仰ぐ事となり、同會は同人の旅費として六十七弗七十五仙を支出せり

●マダム壽美子一座　ハマスタイン劇場にて出演中なりし同一座は近々パレス劇場に出場の筈

●高橋孤泉の客死　二十餘年前紐育に上陸してより米國各地を放浪し、新聞記者、畫家、建築師、山師、又寄書家、興行師のマアジャー、支那浪人等千變万化數奇なる生活を送り來れる益良高橋眞佐雄氏は去る本月二日セントルイス市基督敎病院にて病死せるか彼か十餘年來の恩人なりしドクタービール氏並にビール孃は同人病褥中は固より終焉に至る迄親切に介抱し、葬式万端心殘りなく濟ませたる由

●修道會讀書會　十二日午後八時より廣嶋高等師範敎授[illegible]山作樹氏の「獨英に於ける敎育」と題する講演ある筈なり

●紐育敎會の實業研究會　本夜午後八時より同會に於て開會、歐米の實業を視察せる高橋[illegible]氏の講話ある由なり

●今の日本はハイカラ嫌ひ　近着の日本及日本人には「脫線せる新聞記者」と題せる一文あり、中に新聞記者によりて組織されたる各團体を列擧してあるか、國際新聞協日の下に叮嚀に註釋を施して　外國語を噛り得る者によつて組織せられたりと雖も、嘗ては米國にて皿洗や百姓を行つて來たか多く一寸鼻向の出來ない團体である。何も皿を洗つたからとて十年二十年もハタの臭ひかする譯でもあるまいか兎に角日本に歸つて外國語入りの話しでもやらうものなら差向き袋叩きにされるから米國歸りは氣を附けるかよい

●佛兵の死傷五十九万　佛國陸軍省は自國軍の死傷數に關し公報を發せざるも聯合通信員か諸方面より蒐集せる材料によれば十一月十日までに[illegible]は十万以下の戰死者を出し同十九日までに入院治療中の病傷兵あり又捕虜として獨國に在るものの約九萬を加算すれば佛國の總死傷數は五十九萬人に上る計算なり、佛國參謀本部は實價の秘報により獨國の內情を詳かにし居るか獨國の死傷數は從來常に攻勢に出でたる結果防禦をなしたる英佛軍よりも其數遙に大なるべしと

●[illegible]氏　は來る十五日[illegible]歸朝す

●議會は解散なからん　前[illegible]議會は七日開會せるか政府反對黨の態度より觀察せる議會の解散は不可避と來重々たるも[illegible]外相か[illegible]志會に於て[illegible]歐州大戰[illegible]にして[illegible]益多きを[illegible]外交策は未決の問題多く今[illegible]重大事件の紛出せんとするに當り區々たる政爭によりて內に事を搆ふるは思はざるも甚だしきものなり、聖上陛下には時局諸般の問題に非常御軫念あらせられ今期議會の無事通過せん事を望むと宣はせ給へりと言明せる所より察するに若し不信任案提出せられ政府議會の衝突を見る事あるも軍國多事の際とて大詔喚發により議會は解散せせざるならん

●増田義一氏議員辭職　同氏は大隈伯と國民黨の衝突せるか爲め年來の恩人たる伯に反對する不能とて議員を辭せり

●朝鮮二ケ師團と增設の國點　今期議會に提出さるゝ朝鮮二ケ師團增設案にして無事議會を通過せる際當局は一ケ師團を京城に、一ケ師團をケン鏡北道羅山に設置する內定なりと傳ふ

●新育歸りの消息　最近日本から歸つた某君の話によると新育から歸つた連中は今日本で何をしてるかと云ふに中村嘉壽君と安樂榮治君は万國館に陣取つて通信事業を遣つて居り、星一君は未た成功といふには至らさるか、兎に角大ひに行つて居る、北濱銀行の破綻で親分の山下清周君か失敗したから少なからず堪へたらしい、朝屋源吉君は例の電頭を走らし西洋砥石を料理店や旅館に賣込んで居る、近々自轉車にモーターを喰付ける機械を賣る筈じやげな、福富青尊翁は紀州熊野の小山君の機關にヘルプとして在社、油谷油君は目下何にもして居らぬ、結婚して小供かある、丸山嘉一郎君は親讓りの舊式吳服屋、秋山高君は未だ江副煙草店の外國部に居る筈、當地から歸つたものでマンハッタンカフエーとか新育キッチンとか色んな名前で妙な米國流で日本人の口に不向きといふ話たが何れもコボシながらやつて居るもの丶泡吹錢は儲からぬと見ねて再び新育に歸り度いと言ひ繼いて居るゲナ

●獨潜航艇のドーバー軍港襲擊　獨潜航艇六隻は去十日末明ドーバー軍港に侵入し碇泊中の英艦を襲はんと試みたるか各砲臺より十字火を受けて擊退され何處ともなく其影を沒せり同港は獨軍の右翼か占領の目的地とせる佛國カライス港の對岸に在り

●獨艦又擊沈　南太西洋にて英艦隊と會戰中に逃避せりと傳へられたるナルンベルグ號は海戰當日擊沈されドレスデン號は袋の鼠の如し

戰時感

來住順造

▲過去廿餘年間不絕豫言せられ準備せれた歐州同盟戰爭は今や火の手を擧げた許りであるが、此際吾人が決心すべき事、學ぶべきことは少くない、吾輩は茲に所感の二三を述べて世の同志並に不同志に問はふと思ふ

▲印度、埃及の不安を耳にする事は隨分久しからずとしない、然るに一部分不平黨の一揆騷動を外にしては大した事のないのは何故かといふに英國の印度人、埃及人を過する事は米國の比島民を過するに比べ得ざるまでも少くとも其方針な意外に寛大なるが爲ではあるまいか、吾輩は勿論英國の領土政策を崇拜するものでないが吾日本の朝鮮、臺灣統治振を見ては不思嘆聲を發せざるを得ないて先年板垣伯の臺灣を巡視せらるゝや士人は淚を揮つて訴へ曰く「吾等は日本臣民たらんとするも不人情、亂暴、私欲滿々たる軍人官吏の秘政に服し難し」と有色人種の先鋒となり正義平等の旗頭たる日本人は先づ朝鮮、臺灣人の解放を決行して彼等に同胞の對遇を與へねばならぬ、

▲日本の一部人士は歐州の外交策士等に欺かれて、歐州出兵論を唱へて居るもあるが、併し之は甚だ惡い傾向である、歐州戰爭は日本の戰爭ではない、且つ不可能のことが可能となるに非る限り獨逸は終局の勝利を得ることは出來ないであらう、日本は須らく高臺からの見物と腰を据へて今は徐ろに餘力を養ふの秋である万一將來劍を執て起つの時機ありとすれば其時の敵は米に非ず、露にあらず、英に非ず、佛に非ず、之等を一括せる白人と知らねばならぬ

▲吾人の理想は世界が人類共通の一家屋となつて實現する時がなければならぬ、と云ふにある此理想に基ける平和は理性の道より求むべきであるが万一不成功に終つたならば不得已大手術を施すの必要はあるが斯の如きは十年廿年の短日月間に來るべき事ではないから、夫迄は屈辱無禮も恬然鵜呑にするかよい、要するに今は實力を養ふ時である、

▲世には正義を稱して馬鹿となすものもあるか而かも今度の戰爭で白耳義の不幸に集つた世界の同情を見れば、正義公道の未だに滅却せざると判かである、吾等大和民族は貧乏し其今の處白人對手に戰爭は出來ないし、又當分しもしないが、正義丈けは何處までも曲げてはならないのである、

●小使の見た歷代の文相觀

三十年の勤續小使語る

去ぬる明治十四年大木喬任伯の文相から三十餘年間文部省に小使を勤めた現同省々丁取締林玄隣翁（七十六）は老年の故を以て遂に十月廿八日に辭職した省内無類の篤實家であつたので皆惜しんでやがて表彰もされる筈だといふが同翁が歷代の文相を評する言葉のうちにはなか／＼面白い處がある曰く

▲一番豪い人は森有禮さんだつたと思ひます日頃永田町の官邸に許り引籠つて居られましたが偶には登省すると上から下まで巡り込められて皆喜び上りました其代り行られる事もテキパキしてゐて私など面會者の名刺を持つて行つても直ぐに誰に會ふやうにいへとか何とか即座にいはれた文部省改革の時には默つて事旅會館に招んで御馳走したが組織になつた人は上野から歸つて見たら辭令が既に屆いてゐたと云ふやうなことをよく行られる人でありました

▲井上毅さんも豪い方で御まけに非常に氣輕で叱言も云はず至つてよい方でありました何事をも人に云ひ付けずに自分で行られた方で又既に歸られやうとして玄關まで來て今しも馬車に乘らうとして居られるときにでも書類を持つて來たり人が面會に來たりするとチヨコ／＼と其處で其用を足されたもので我れ／＼が送り申しても叮嚀な御挨拶で全く上下の差別のない方でした蜂須賀さんも實に好い方で此方の時から月給も上げて下すつたし夜勤の時の手當も下さる樣になりました小松原さんも牧野さんも餘り小事もいはれぬ宜い方で省内一般の氣受けもなか／＼宜うございました、今の一木さんも宜い方で省内の評判も至極よう御座います

▲樺本武揚さんも餘り叱言は云はれませんでしたが一寸短氣で肝癪持ちで折り／＼肝癪玉が破裂しました馬車が着いたら直ぐに扉を開けよとの事であるので或日私はすぐグシト引開けますとまだ中の鍵がかゝつてゐたので扉は塞はれてしまいました其時は森本さん眞赤な顏をして物もいはずキヤツと入つて仕舞はれて私には何ともいはれませんでしたが秘書官には大叱言だつたさうです

▲尾崎行雄さん久保田さん柴田さん長谷場さんなどは喧ましい樣で殊に尾崎さんの叱言をいひ出されたらなかなかやれない方で困りました柴田さんは非常な潔癖家で掃除が喧ましくてちり一本落ちてゐても御叱言です官邸へ入られるときなどは大勢かゝりで大清書夫れは／＼大變な騷ぎでした濱尾さんは一時頃ろになつて今日はドンは何うしたと給仕に聞かれるやうな人で五時になつても六時になつても平氣で人にも歸れとも言はれず大抵夜になつたもので遲引けりました御熱心だつたのでせうか吾々は些か困りました

●俘虜日本女と同棲を出願す

久留米俘虜收容所に於ける俘虜後備海軍上等兵ツタイツは長崎縣南高來郡北有馬村吉野長八の女ぬいと同棲し度き旨收容所に願ひ出でたり、ぬいが若し獨逸の國籍にあるものなれば陸軍大臣の許可を要するも入籍なき時は衞戍總督の許可にて足るを以て收容所にては長崎縣の親元及び戶籍役場に照會したるも國籍は依然日本にありとの事にてぬいは嘗て青島にありし際ツタイツと夫婦約束をなしたるものに就き收容所にては目下其の許可に付き協議中なり

投書館

▲日本人會茶話會は九時迄開かなかつたとて大分八釜しく云た人があるさうだ實に此んな人々は米國流の糞待を知らない人々で演藝會とレセプションとを混同したからである、レセプヨンには必ず最初自由談話をなすの時間を與へるが例である日本流に只人のなす藝を見て歸るのなれば何も日本人會の會合に行く必要はない芝居へでも行く方が餘程ましだ　出席者

▲警察署では夫れ／＼手分けして日本下宿等を探索するとの事である、少しく注意しないと大變な事になるぞ、馬鹿票の紙を持つて居れば販賣者と同樣の罪に處せられるのである可成何ものも所持しない樣にせよ（博徒中間）

▲頃日紐育警視總監より日本人會に向け或る注意人物の事に關し紹介し來たとの事であるが日本人會では何事も發表しないから分らないが一定の職業をなさず[illegible]して居る日本人は何か少しく注意して何うか[illegible]妻のモルモノ[illegible]となりユタ州に行くよ、南京町は見限つたから安心し[illegible]呉れたまへ（カクローチ）▲茶話會は失敗だ、餘まりに淋しかつた日本婦人の引込主義依例の[illegible]し洋[illegible]十名位であつた同[illegible]中に舞踏の達人三名あつたけれども相手のなかつたに空しく妙技を示さずに終つたは氣の毒であつた鈴木、鍋島二君のマシツセ、と、ダンゴを[illegible]ずに歸つて[illegible]望した（失望生）

No. 175 VOL. 4 The Japanese Times SATURDAY Dec. 19th 1914

紐育新報

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai Editor
238 Sixth Ave. N. Y. City.
Tel. 6173 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage Included
Entered at N. Y. Post Office as second class matter under act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政局認可
發行兼編輯人 甲斐健一
發行所 紐育新報社
紐育市第六街二三八
電話六四七三 チエルシイ

權略主義の變遷

外交上に權略政略を施し一地を制し己れを利するといふ事は古來[illegible]の常套手段であつた、[illegible]支那の春秋戰國時代に蘇秦張儀などが三寸不爛の舌を以て六國の合縱連衡を形作り、或は之を破壊したなどは支那歴代の政治家が仰いで以て外交政策の典型となした所で今日に於ても猶之を謳歌するの傾きがある、[illegible]歐州の歴史を見ても列國の外交家が或は王室間の結婚を利用したり、或は[illegible]に食はすに利を以てしたり[illegible]の權謀を運らし其結果は列國の[illegible]亡の運命に[illegible]をなし幾多の紛糾曲折多き材料を供給したものである、斯ういふ時代には一國を形成する人民の國家其物に對する觀念が極めて幼稚であつたから一國の政權を[illegible]する宰相や、權臣の一顰一笑は直ちに其國の盛衰消長に偉大の關係あり、國と國との利害關係を省量するに當り第一に少數權力者の意向如何を察すれば充分であつたが、其後時代の進歩、人智の發達は人民の國家觀に甚だしき變動を與へ即ち「天下は一人の天下に非ずして天下の天下なり」といふ觀念の發達するに連れ一國の政治は多數人民の利害乃至禍福より打算して行はねばならぬこととなつたが爲に外交方針の如きも勢ひ其舊套を離脱するの必要を感ずるに至つた、十九世紀の中葉歐州列強の勢力爭から約百年前其當時專制國であつた露國が同じ專制國の[illegible]者たりし[illegible]に對し行つたを終として權略主義は外交上の唯一政策たる價値を減じ、現在に於ては實力主義即ち經濟的に牢固たる基礎を有するものに非らざる以上國家として外交上に優越なる地位を占むることが出來ず[illegible]老猾なる外交家の手腕を[illegible]も光彩陸離たる功果を奏することなつた、乍併人智は如何に發達しても人間の感情は千萬年前の昔も千萬年後の今も大なる差別を見ない只理性の發達如何は人間感情の發作に幾分の變化を來たすに至つた丈であつて、個人間の折衝に在るか、國と國との懸引を要すると同じく感情に論なく[illegible]性を備へた人間の一大集團たる國家の利害を打算して外交上の交渉を爲すに機宜に適したる所謂「略」の必要は依然として存するのである、即ち往時人智の蒙昧なる時代に少數なる權謀家を[illegible]した權謀政策は不必要であつても對手國の政治を支配する多數人民の性情、風俗、意向を察し機宜に適した外交政策を用ゐて吾に利あらしむるといふは極めて肝要である、歐州大戰の源因は單に獨逸の軍國主義又はカイゼルの野心のみではないが、英國の外交家は巨老獪なる「略」を用ゐ世界をして獨逸は人道文明の敵であるが如く信せしめ、青島占領には一ト撮り程の豫備兵を參加せしめ、他日支那に於ける日本の勢力擴張を壓抑するの準備をなして居る吾々は勿論此狡猾に過ぎた英國の我利々々政策が果して大功するや否やに就て深き疑を懷くものであるが、兎に角外交術の過渡時代たる現代に於ては列國競爭の滅せざる限り、外交上に「天」「略」なるものゝ存在を認めざるを得ない只今日の外交政略は其「略」が少數者の一身一家の利益の爲にあらずして國民全體の輿論利福を根本義とせねばならぬ、吾國の外交家は常に國力の不充實を唱へて其の責任を回避せんと試むの傾き有りといふ世説を聞いて權謀主義の變遷を書く、

故國政界の近情

▲去十五日の東京發電は豫算案に對する政府と反對黨の衝突を報じ、若し豫算案にして今期議會を通過せざるに於ては、議會の解散は到底免るべからざるが如くに報じて居る、軍國の際、議會の解散が果して國家の爲めなるや否やは別問題として現内閣の反對黨や議會に對する態度に於て吾等局外者の意に滿たざるものが多い

▲二個師團增設案は前内閣以來の懸案であつて早晩其解決を告ぐべきものであるか、倶之同案が必要なるか否かは論なく、歐州戰爭、東國多事の今日に於て政府として之を提出するのは機宜に適したるものなるや否や疑問である、政友會が機に乘して現内閣を破壞し取つて以て代らんとするの野心あることは既定の事實であつて、殊に國民黨が同案に反對なるとは說明するまでもない所で有るのに、政府が此際殊更に同案を提出して議會の協賛を要求せんとするのは世人に向つて、自ら好んで政爭を激發するものであるとの批評を爲さしむるに充分の材料となるので有る

▲吾々は增師問題なるものが國家問題といふよりも寧ろ軍人派の恐露病に聯關された特種の情實問題で、而かも薩閥と元老閥の野合的連衡に至大の關係有るを知つて居る、だが左樣な野暮な理屈は不取敢ヌキとして先づ政府が增師問題を提出したのは黨略上よりいふも政策上よりいふも甚だしい見違いで、流石[illegible]の[illegible]宰相も千慮の一失、味噌を附けたと評すの外はない、

▲併しながら反對黨たる政友會の態度も立憲國の大政黨としては大ひに不感服極まるもので、言ふ丈け野暮だが、ドングリの背比らべ、テンデ御話にならぬから驚かざるを得ない先づ政友會代議士諸君の質問演說なるものを拜見すると、不得要領の質問演說許りて、或は政府は斯う〳〵いふ約束を某々國にしたといふ噂さだが實際て御座るかとか、又は米獨が同盟したら一体何うする積りかとか、外國電報を種に外交上の未了案件を述べ立てゝ、寧ろ質問の爲の質問[illegible]居る有樣である

▲コンナ詰らない質問演說を試みて政府攻擊をしたとて何の役に立つか人民の政治思想が如何に幼稚でも、議員諸君と同じく外交上の知識を欠いて居るとて[illegible]風を[illegible]心して政府彈劾を[illegible]懸案でない、諸君が現内閣に取つて代つた所で大した政治を行はるとも豫期する程に頓馬でもない

▲イヤ吾輩は政友會の領袖諸君が當路上來年十月の御即位式を當込みに政權を掌握するの必要有る事を知らぬではない、又諸君が正六位や男爵を餌に中央地方の實業家有志家を味方とするの切要を察せぬ程の若輩では無い、乍併苟にも憲政有終の美を標榜して天下に經綸を行はうといふ大政黨なれば今少し希望を大きくして貰らい度い

▲大隈伯が歐州大戰に對する外交上の懸案を始末して公爵樣になつた所でよいではないか、加藤外相が對支外交に成功して伯爵樣になつた所で構はぬではないか、時間と空間は永久不滅に有つて日本民族は何時までも日本民族で有る、日獨戰爭に大勝利を得て、ケチな[illegible]性は大政黨として吾國民を率ゆる價値が何處に在る

▲要するに今期の議會が解散した[illegible]は[illegible]閣と政友會とに有るので國民の罪で何でもない、兎に角吾國の政治家は今一層勉強して政黨政治の眞意味を味はふの必要が有る

●獨艦英國を襲ふ

數隻の甲鉄艦及裝甲巡洋艦より成る優力なる獨乙艦隊は去十六日朝北海を横ぎつて英國ヨークシャ州の沖合に現はれ、沿岸の都市スカボロー、ハートルプール、ホイットビー各地を砲擊し大建築物人命其他に多大の損害を與へ、約半時間不絶砲擊したる後濃霧に乘じて其影を隠せり、英國公報に依れば獨艦隊は何等の損傷なくして退却せるものゝ如く、報を得て各軍港より驅付けたる軍艦驅逐艦等も濃霧に遮ぎられて何等目覺ましき活動をなす能はざりしが、此大膽不敵なる獨艦の襲擊は英國の朝野に甚大なる刺擊を與へ殊に防備なき沿岸都市を砲擊せる獨艦の行動は海牙條約を無視せるものなりとて國民の憤激其頂上に達せり、伯林公報は「吾艦隊は防備ある英國東海岸のスカボロー、ハートルプールを砲擊せり」と發せるのみ

▲市民の狼狽と損害 獨艦隊は十五日午前七時五十六分に砲擊を開始せるが突然の事とて市民の狼狽一方ならず或者は内地に遁走し或者は下層室に逃込む等非常の混雜を極めたり公報に依れば上記三都市に於ける死傷者總數は男女老幼を合せ死者七十五名傷者三百七十六名を出せり

▲重要閣議 英國内閣は十七日、獨艦の脫出に關し總員出席の上重要閣議を開きたり

●政府議會の衝突 大正四年度豫算は本日衆議院に提出されたり、同案の示す處に依れば明年度の支出總額は五億五千六百万圓にして收入に四千〇五十万圓の減退ある見込なるが政府反對派の氣勢中々強硬なるを以て若し豫算案否決せらるゝ[illegible]は議會の解散は不可免模樣なりと（十五日東京發）

●福岡炭坑の大慘事 本日福岡炭坑に大バク發あり八百名の坑夫は就業中坑下に埋沒せられたり（同日發）

●最後の獨艦 南大平洋に於る海戰の幸運にも沈沒の厄を免れたるドレスデン號は其後智利國フンタ港に逃込みたるが去十四日暗に乘じて同港を脫出せるもマゼラン海峽の南方面に[illegible]を以て[illegible]艦隊が[illegible]なるべしと[illegible]獨艦[illegible]ツ號は今尚チリー近海に[illegible]し[illegible]國商船オルコマ號を[illegible]索し居れりと

●ホブソン大尉の踊起 日米戰爭不可避論者の先鋒として有名なる同氏は去十四日の下院海軍委員會に於て、昨年加州問題の最高調に達せし際米國政府は萬一の事變に備へんか爲め[illegible]島の防備を嚴にし、コリドア島の衛兵は日夜砲側に寢食せりと言ひ、海軍卿ダニエル氏は沸然としてホブソン大尉の顏を見詰めたるまゝ何等言ふ所なかりしか、同大尉は翌日來訪の新聞記者に語りて曰く、世人は余を以て架空論者と嘲けれども、昨日の委員會に於て余の質問に對しダニエル氏から何等答ふる所なかりしは明かに余の所論の誤りなきを證するものなり、昨年日米戰爭の起らざりしは日本が米國は不遠非島を放棄すべしと信じたりしか爲のみ、世人は此事件が如何に重大なるかを知らざるなしと云ふ

●塞國首都回復 セルビア軍は[illegible]後去十四日一日[illegible]首都ベルグレードを回復し、墺國公報も亦此敗戰の事實を發表せり、塞軍は此打擊によりドリナ川を渡りて後方に退却せるか今後は塞國侵入の望を絶ち專ら防禦の態度に出づべしと察せらる

●英潜航艇土艦を擊沈す 英國地中海艦隊所屬潜航艇ビー十一號は去十三日五列に敷設しある水雷を潜りてダーダネル海峽に侵入し水雷監視の任にありし土艦メスディヒ號を擊沈し無事本隊に歸着せしが此大膽なる所業は極端なる[illegible]の冒險により遂行せられたるものとて[illegible]なる潮流と敷設水雷を避けつゝ九時間水底に潜み居たりと

●新育タイムス紙在米獨人を誡む 過日のタイムス紙は其社説にて内に於て在米獨人の軍國思想鼓吹を戒しめ歐州大戰が遂に獨逸の敗北に歸すべき理由を舉げ、ウイルヘルム二世が賢相ビスマルクの獻策を容れて外交上偉大の功を奏せしことを現皇帝の措置と比較して、在米獨人が軍國主義の[illegible]を逃れて、自由平等の米國に來りながら[illegible]を[illegible]するは矛盾も亦甚しと論じ[illegible]新聞紙は此タイムス紙の一群に[illegible]を[illegible]

●タイムス紙の有名論 日本の交戰に參加せし際世人の多くは日本が[illegible]を約束せりと信じたるも、然も物は無抵抗降伏[illegible]なりき、更に日本は米國の利益に影響を及ぼすが如き領土を占領せざることを約し此約束を嚴守せり、英國がサモア島を占領するや[illegible]南洋諸嶋の占領を手控へたり、一部の論者は日本は皮肉なる[illegible]を試むる人の言なり[illegible]戰爭か今[illegible]中なるに[illegible]の如く[illegible]なり、[illegible]を企畫するやも知れざればなり日本か[illegible]は是自殺的[illegible]日本は[illegible]有名なる國なり故に日本の行動を非難するも甚大なり云々



●日置駐支那公使談

▲支那政府の態度　支那政府は青島陥落の當日袁總統より特使を遣して我國に[illegible]を述べしめたると同樣實際戰爭の終結を[illegible]び居れり山東鐵道沿[illegible]の守備兵を撤して鐵道從事員のみの手にて經營ありたしとか中立地帯の撤兵、日本軍に監視され居る支那郵便局の引渡等種々の要求は之あり我國にても相當考慮せざるにはあらざるも今日は未だ之を言ひ出さるべき時期に非ざる事を注意し置きたり支那官民は我國に對し殊更に反感を抱き獨逸に弄ばれ居るが如き事は全然となく能く大局に着眼して出所と云ふ山東鐵道の彼我折衝の如きも極めて圓滿に行はれ居れり

▲獨人の興感情　我國が總て國際法規を遵守し又獨俘虜取扱に懇切なることを強調せる獨逸人は我國に對し[illegible]其外[illegible]情を示し居り獨逸人のみならず外人も亦日本の文明的態度に[illegible]し居れり青島籠城中の[illegible]を使用して北京との連絡をとりたるは事實にして[illegible]無線電信を所有し居らずとの[illegible]山海關間[illegible]

▲革命黨[illegible]　第三革命[illegible]の國民[illegible]情[illegible]

▲[illegible]　革命黨既に然り[illegible]

▲青島行の邦人　天津邦人には朝[illegible]青島にかけて[illegible]込み來るもの日々多き[illegible]宿屋は[illegible]未だ邦人を許さずされば[illegible]

三山東省は本來貧窮にして住民は滿洲方面に出稼して生活する位なるが上本年は大洪水にて多大の損害を招き居れば滿洲方面にて邦人の貯へたる金は悉く天津邊にて飲み盡くすごと歸國するか大部分なるべし云々と公使は十九日名古屋に立寄り帰國に[illegible]の病氣を見舞ひ直に東上[illegible]成るべく速に歸任すべし

●軍國議會

▲米國の軍備擴張と一般實論　米國今期議會に於ける軍備擴張の報道頻々として到着するため日米問題議論も亦一層深刻を加へんとする傾向あり朝日時事兩紙は日米問題論を發し居れり

▲小久保代議士日米問題質問　外交問題質問者は小久保喜七氏は日米外交會代議士小久保喜七氏は日米外交問題[illegible]末に就き[illegible]相は之に答へて[illegible]繼中なるにより末だ[illegible]あらざるも來るべき加州議會[illegible]提出に就ては夫々[illegible]中なり

▲下水氏[illegible]　[illegible]友會代議士[illegible]氏は[illegible]間及南[illegible]分問題を提げて[illegible]となり手[illegible]質問をなす[illegible]外相は之に對して[illegible]以上[illegible]ても二問題に就ては何れの國に對しても同等の待約[illegible]を爲さざる旨

▲豫算員長[illegible]決定　豫算委員長には政友會[illegible]大岡育造氏當選し全院[illegible]長には同じく政友會所屬[illegible]にし[illegible]代議士[illegible]石[illegible]治氏當選となり

●駐米外交官非難の聲高し　アリゾナ州に於て外國人被傭制限法制立し加州に於ては五分の一以上外國人勞働者を[illegible]し[illegible]を得ずとの[illegible]制限せられたるは明かに日米條約に本人の享有せる權利を侵害せるものなれば日本は抗議すべき筈なるに未だ其報告すら無きは不都合なりとの外交官非難の聲[illegible]

●膠州灣處分問題　我内閣は膠州灣處分に關し二回閣議を開きたり併しながら此問題の多くを[illegible]は僅かりに專制的にして今直ちに決定する能はず尚大々調査する必要あるのみならず戰鬪行爲を共にしたる英國と交渉往復を要するものあるために未だ確定するに至らずと云ふ初め吾より獨逸に通牒するや膠州灣を支那に還附するの目的を以て吾に引渡すべしといふ事なりしかば之を見て直ちに膠州灣は吾より直ちに支那に引渡さざるべからずとなすものあれども日獨交渉は自ら日獨交渉なり支那に還附すると否とは日本と支那との協議に屬すべし常理を以て之を言はば日本は列國講和會議を機として獨逸と此問題を議定し更に夫を支那に提示して承諾を求め獨逸の權利を其儘繼承するものなり講和會議以前に於て支那と交渉するも支那は之を承諾すべき理由なしヨシ承諾しても其内條件付にて日本と獨逸との議定如何に依つて左右せらるべきものたり故に今日に於ては斯る根本問題には觸るゝとなく只戰時占領の形式を以て之を處理するの外あるべからず

且膠州灣が列國會議に上る際に其根本問題の基礎となるべきもの二あり其一は歐州大戰爭にて獨逸が戰敗者として降伏的地位に立つか列國同等の地位に立ちて相互的協定をなすか又獨逸が幾分にても勝者の權利を主張すべき地位にあるかといふ事是なり同等相互的地位に立ちて協議をなす場合には隨分難問題を生ずべし之を植民地問題とするが如くは我發言權の價値や甚だ大なるを得ず或は他の植民地問題と十把一束に處理し去らるゝが如き事あらば獨り我戰勝の效果を減するのみならず又我帝國の面目を失ふに至るべし此邊の事は今日交戰中に於て之をいふも益なきが如くなれども早晩來るべき列國會議のために外交上の働きを盡す事は當局者にる者の要務なるべく從來の日清戰爭、日露戰爭が我對手の一國なる場合とは異りて多くの對手を有する以上は我外交當局者の任務は舊に倍して重大なるや論なし

●增師問題と中正會　中正會の增師問題に對する態度は、議會召集當日即ち十二月五日午後代議士會を開き決定する筈なるも所謂一人一黨主義者の集團とて未だ意見の一致點に到達するに至らざるは勿論にして今日の處會員各種の意見を大別すれば絕體贊成準贊成及反對の三者に區別す絕對贊成者の中には國防上の見地より增師を主張するものと、增師案は政界の暗雲にして此問題の解決を見ざる限り圓滿なる國政の遂行を庶幾すべからずとの政治上の見地より打算する者との二者あれども其到達點は二者毫も異る所なし而して愈々最後の方針を決定する場合に際し如何なる態度まで政府案贊成に傾くべきやは未だ確かならざるも同會有力者の觀測によれば格別の落伍者を出す事なく增師贊成として一致の行動に出べしと期待し居れり

●中學と法政經濟　文部省にては國民の大多數が中等教育を以て限度とする國情に於て、中學校卒業生に法政、經濟の智識乏しく之かため自治の發達遲々たるを免かれざるに鑑み現に中學校の隨意科目なる法政經濟科を必須科目に加へ且其内容を充實せしむる事に決せりと

●海軍將官大陶汰　既報の如く來十二月發表せらるべき海軍進級に際し嶋村、加藤中將の大將に進むとは既報の事實なるが山田中將も或は名譽進級の上豫備に入るべしとの説あり又中將級にありては二十名中の過半は無能として目せられつゝある人なれば少くとも六七名は特命又は豫備となりて後進の途を開くべく八代海相亦自から進んで豫備に入り豫備役軍人にして海相たる新令を開くべしとの説あり付少將級にありては約四十名中の半數は無能者なれば是亦少なくとも十二三名は待命又は豫備となるべく其結果大佐級の筆頭より數へて約十名の新少將を見るべし

●臺灣總督新任　佐久間總督辭任後物色中なりし後任者には海軍中將藤井較一氏新たに任命されたるか殖民國に海軍出身の將官を任命せるは今回を以て嚆矢となす

●攝河先賢贈位

故從五位勳四等　五代友厚
贈正五位（以特旨被進位階）
故正六　山田安正
贈從五位（以特旨被進位階）
故　楠　正季
贈正三位（以特旨被贈位記）
故　楠　正時
故　和田正遠
贈正四位（以特旨被贈位記、各通）
故　中井　德二
贈從四位（以特旨被贈位記）
故　[illegible]平左衛門
故　和田　佐市
故　住友　友芳
贈五位（以特旨被贈位記、各通）
故　高橋作左衛門
故　安井市右衛門
故　[illegible]甚兵衛
故　安井九兵衛
贈從五位（以特旨被贈位記、各通）
從五位　[illegible]
叙正五位（以特旨被[illegible]一級）

●[illegible]ご日本人會の態度

在留同胞間に數名の無頼漢現はれ下宿屋梓庇等を徘徊し其營業を妨ぐる由は既に報道せし所なるが、日本人會は被害者の申込により無頼漢の處分方法を講ずるに決し詳細に事情を調査し[illegible]市[illegible]本部長ウード氏と交渉を遂げたる上[illegible]に暴漢の掃蕩に着手する事となれり、右に付同會幹事の語る所を記せんに單に暴漢を[illegible]するのみにては僅かに三ヶ月間[illegible]に止まり[illegible]又候同胞に[illegible]を加ふる[illegible]ある事を以て、[illegible]上[illegible]は彼等を市外に放逐するにあり、[illegible]命令を受けたるものにして[illegible]再び市内に立歸りたる場合は三年間[illegible]の[illegible]を着て苦役に從はざるべからざれば[illegible]石始末にを終らない浪人[illegible]之には閉口し[illegible]ギャフンと參るならんと云ふ兎に角働かないで飯を食はうと心得るやうな横着者は眞面目にならんとドイ目に會はされる

●怠惰者大甲某の引っ下り　昨年[illegible]日本人會、ミッション等[illegible]のは嫌や、飯か食へぬから日本に歸らして呉れと駄々を捏ね廻はつたる當界一の怠惰者大甲某は過日正金銀行に至り例の五月蠅口上を並べ立て歸れと言つても歸らず一時間許りも行務の邪魔をせしが、行員某氏は「ソンナに強情を[illegible]なら警官を呼んで引渡すぞ」と行[illegible]設備の警鈴を押さんとせしに流石[illegible]情ッ張りの大甲和尚も恐ろしくなつたと見へ[illegible]君失れ許りは眞ッ平ごめんの體にて逃げ出したりと

●歸朝廣告

小生儀一身上の都合に依り來年一月下旬當地出發歸國致候に付此段辱知諸君へ謹告致候、尚友人諸君の中日本の知己其他へ御傳言の御用向も有之候はゞ無御遠慮被仰付度、出來得る丈御便利相圖り可申候

紐育新報社主　甲斐　一

●日本人の米國沿岸漁業[illegible]十五日フユレッ發電に依ればデイヤ[illegible]事はチワ、市出發前、日本遠洋漁業會社に對し、マグナダレナ灣近海の漁業權を許可せる旨公言したりと

●タフト氏の演説ご東京　前統領タフト氏は過般マ州サーマビルにて加州問題に關する演説を試み「在米外人の保護法に就ては各國との條約に於て規定しアリ各州か州權を濫用して條約上の義務を侵るか如き事緩出せざ中央政府は外交上[illegible]多の[illegible]を[illegible]る[illegible]問題[illegible]着[illegible]なるか氏の演説は直に東京に打電せられ諸新聞紙は何れも[illegible]を以て之を[illegible]へたり、東京日々紙は曰く今日の米國は[illegible]外國との關係終結し來るご共に亦昔日の如き米國にあらさるに至り、國内の論者は[illegible]時に發生し來る外交上の難問題を[illegible]確に解決し[illegible]き大方針の採用を急要[illegible]なりと[illegible]アるが、加州土地法又はアリゾナ排日法案の如き者が[illegible]起るに於ては中央政府は外交上多大の困難を感ずるに至るべし

東西通信社着電

●[illegible]合[illegible]教降誕祭　[illegible]會、紐育教會、ミイ教會は來廿四日夜五十七丁目マヂソン街角レッオームド教會に於て[illegible]合[illegible]降誕祭を催す筈にて多數の内外人に向け招待狀を發すり、當夜は著名なる内外人の説教及樣々の面白き餘興有り、在留同胞諸君の參會を歡迎する由

●押川春浪氏逝く　雜誌「武俠世界」主筆押川春浪氏は數日前より氣分勝れず自宅に引籠り中なりしが去月十六日午後七時四十分突如逝去せりと

●二六新聞發行禁止　東京二六新聞は發行禁止の判決を受けたるか七月別に二六新聞と改題創刊の手續を了[illegible]みたるも許されざりしより同紙は新[illegible]装を施し新たに陣容を整へて世界新聞を創刊する由

●[illegible]に引掛るな　過日當地[illegible]領事館に一人の外人來り、自分は當地消防隊所屬のキャプテン、バトラーなるか今回消防隊員に何十の催しあり[illegible]分の寄附金を仰ぐと申出でしに付領事館にては相應な挨拶をなしたる後本部に電話し事實の無有を問合はせたるに當所には左樣な名前の者なしとの返事あり、結局詐欺師と判明して事濟みたるか、同人は中村總領事の名刺を所持して居る由なれば他の同胞に迷惑をかくるとなしとも限らず、充分注意ありたしと領事館よりの電話を其まゝ

●神尾、加藤兩中將凱旋　青島攻略の殊勳者たる兩中將は本日入京せり東京市は通路に、壯大華麗なる凱旋門を作り、戸毎に國旗を掲けて兩中將を迎へ、數万の群集は通路の兩側に並びて熱誠に歡迎の意を表せり兩中將は本日催されたる市の歡迎晩餐會に臨めるか兩中將凱旋祝賀式は二日間引續き擧行さるゝ筈なり十八日發電

●総領事館に拜賀式なし　總領事官舍に於て新年拜賀式を行ふは毎年の例なるか大正四年の新年は尚諒闇中にあるを以て凡の儀式をは行はずと官中より仰出されたる旨外務大臣より來電あり、從つて總領事館に於ても新年の拜賀式をを行はざる由

●東京遞信局長久戸省三、通信事務官久阪の兩氏は過日英國より來着十七日歸朝の途に就けり

●ベーンエンドヒル商會　には今回トマス　ワード氏入社し、今後はベーンヒルエンドワードと改稱し從前の通り稅關事務を取扱ふ由、因に同社は多年日本輸入者のため稅關事務を取扱ひ邦人の性質習慣等を熟知する故日本人の爲至極便利なるカストムハウスブローカーなり、殊に新社員ワード氏は過去二十五年間新育稅關東洋貨物評價官たりしことアれば邦人に取り一層の便宜アるべし

●日本人會月報　去十五日發行せる日本人會月報には「米國の覺醒と吾言論」其他有益の記事を載せり

困つた世の中

杜米存僧

▲今少し金儲はないかナと雜貨屋はコボし親父一人の口はないかなと家内勞働者はコボし[illegible]忠度の女はないかなと獨身者はコボし何れを見てもコボし盡めで當節到る處世間不景氣を嘆ずるの聲が絶へない、壯健な身体を待ち人間並に飯か食へるなら、好い加減に滿足しさうなものじや、が、さて人間の嘆しさ、さう許りもいかんと見へる紐育在留同胞は權も八もコボさねば同胞の体面に關する位に思つてるらしい

▲所か吾々の生れた日本の現狀は何うかといふに夫れは／＼大變なコボシ方でテンデ御話にはならぬといふ新歸米者の土産話その土産話しの内で最も在米獨身者の興味をそゝる婦人話を紹介するかの耳と目をホジクツて見たり聞たり仕給へ

▲日本で生活難とか就職難とか云ふ不平の起つたのは久しいものであるが實際の處生活難を唱ふる奴等は生存競爭に負ける事の出來ない者、就職難をコボす奴等は學校試驗の落伍者で人相當に[illegible]心のあるもの、人以上に學問の出來るものでとして[illegible]と自分の運命を開拓して居るか、然るに愛に結婚難といふ新しい難問題か起つた來たさうな

▲今より二十幾年前までは赤門出の學士といへば結婚するにも極めて有利の地位に在つた者で今の外務大臣加藤の高明君、前外相の内田康哉君貴族院議員の木内重四郎君、英國大使館參事官の幣原喜重郎君、勸業銀行の志村源太郎君、東京市長の阪谷芳郎君などは何れも此の風雲に乘じた所謂○○黨中の錚々たるもので此他學士の肩書を濫用したり惡用したりして學閥の陣營となり、今日に於て官界實業界の重鎭たる者も少くない

▲然るに今日の樣に博士學士の數が象の糞程澤山になり、會社銀行新聞社等で社員を採用する場合にも、普通の者で二十圓、秀才と稱せらるゝ學士でも四十圓が關の山といふ時代となつて見れば博士學士の看板も結婚上大した價値がなくなつて、仲人を介して緣ん組の交渉をなす時でも「大學出です」といふよりは、何會社に勤めて居りますと云ふ方が重なる條件の一つとなつた、つまり夫れ丈け世の中か花より團子、[illegible]食の奥樣よりは賣笑の妻といふ工合に、專ら賃を言ふ傾向となつたので、そこで生活難の聲と共に結婚難といふ聲か加はつた譯たが此苦しい結婚難に付ては未だ深山の理由かありイキサツがあると云ふ話しだ（未完）

●女の獨立

求婚者が減つた

高砂社に申込む求婚男女は毎月六十餘名に上つて居るが其中で成婚するのは僅かに九組位にしか達しない夫れで最近五ケ月間の統計を見ると三十組の新郎新婦が此處で出來るから一日平均七組に當る

▲女と男と何方か　結婚を餘計に求めて居るかを調べると先づ十月中男の申込者が四十二人に對して女か二十三、實に半數に過ぎない併し之は本年に入つてからの現象であつた其より以前は女の方が優勢であつた乃、何故にかゝる女の求婚者か近頃少くなつたかと云ふに第一は女の仕事か増加して來た結果生活の獨立が出來るやうになり以前の樣に無暗に結婚を急かなくなつたのか原因である

石油會社

▲イアング社員　高橋慶吉と云ふ人に嫁ぐ事となつた京都府警部長[illegible]四郎氏實妹光子孃（二十七）の如きは女學校の先生で四十圓の月給取ださうな、其外津田塾出身の英語教師女高師出の教師で四十圓以上取るものか屢々ある斯樣な人は皆氣位か高く大抵の男子が自分より劣つてる樣に見ねて結婚をする氣になれず終に獨身で居たものだか自然力の前には何年迄も超然として居る事か出來ないなり自ら進んで配偶を求めるやうになつた人々であるから其か親か

▲ムコ選を八釜しくするため婚期を甚太しく遲らしたといふのも却々ある丸の内某官省の官吏で本年二十九歲の女を以て居る人其女の爲めに高砂社に申込をしたか女は高等師範出で之れまで種々な所から結婚の申込かあつたか何れも帶に短し襷に長し彼でもないと云つてる中に到頭年の届く歲に成て了つ今じや少し位な不足か有つても早く遣らうと思つて居るかさうなると申込者かバツタリ止つて段々心細く成つて來た加之に女は長い間の獨身でヒステリー症を起し手拆も糸の樣に瘦せてしまつか、つひ一ケ月前幸に好い配偶かあつて目出度く結婚をすると半月[illegible]から驚く程肉附か好くなつて早速姙娠したといふ事である

●（（（投書籠）））●

▲歐州大戰の爲め獨國から雜貨輸入減少のため日本の責行多からんと小賣商か大に望を持ちしも何ぞ計らん大不印の事大門口しつゝ居る樣子其に引替へ百廿五丁にて横濱商店の名前にてせんべい屋兼雜貨商を營みつつある同胞かある彼等の店は朝早く夜は遲くまで賓客萬來の大繁昌大に祝すべき事だ近所の米商人等の羨む種であるとの事、せんべい屋でも仲々馬鹿に出來ない（寶生）▲去夜日本人會の〓〓〓〓婦人〓〓〓〓〓〓ありし〓〓〓〓〓であるか要料を得ず又非會員に對して如何なる取扱をなしたか何故名簿帳まで作りしか少しも要料を得ぬか今以後大に要領を得る樣に注意ありたし何事に對しても多少不平を言ふのは其の事業なり會なりに對し熱心あるから不平もいふのであると思て頂きたい（會員）▲此頃片桐商會て發行された月報なるものを頂戴いたした、これは同商會か愛國の微衷を表し「大和魂を涵養する」ために新らしき刊行物と新鮮なる日本食料品を紹介するといふ主意で發行したもりしいさうな、其月報の發刊の辭から驚店今後の營業方針、目錄の説明に至る迄の文章といひ天晴れ天下の名文、山陽、韓退之も裸足で逃け出しさうである御信心の御方は近寄つて御覧じますれば旁以同商會の宣傳になる（五九道生）▲桑港博覽會に來れば金か降るやうに思つて出掛ける人も大分あるやちてすか玉コロやセンベイは大した儲けもあるまい、又何か善い事あるだらう位の考へで行くと飛んだ目に遇ふから用心すし（桑港浪人）▲シャトルの新聞に新報週報の兩翁は國會議員になるため歸朝するとあるか本當かね、議員ナンテ下等動物になるよりも在留同胞の爲に盡し給へ（愛讀者）▲日本の奴等は米國歸りをケジ／＼の樣に嫌ふといふのは不都合だ吾々は一ケ年に三千萬圓の送金をして居る、虚榮心と贅澤な生活の爲にピー／＼して居る癖をして、吾々異郷に在る同胞を輕蔑すは沒常識にも程がある、失敬ナ▲カクローチ生は其後簡欄に顏を出さぬか君の境遇は悲むべきも君の告白は面白いイツペン顏を出せ（油虫）

▲輿論の輿の字は臼の中に車かアるから昔し支那の民か臼を車で引いて輿論を起したとは本當ですか（考古）

●遞信次官　中谷遞信次官は久敷く病氣引籠中なりしか廿日左の如く更迭ありたり

任遞信次官　管船局長　湯河元臣

任依願免官　遞信次官　中谷弘吉

新貴族院議員　富山縣多額納税者、[illegible]橋氏に對し左の辭令あり　[illegible]清次郎

貴族院令第一條第五項により貴族院議員に任す

No. 62 VOL. 4

The Japanese Times

SATURDAY Dec. 26th, 1914

紐育新報

獨逸帝國の運命

米國獨逸人の責任

紐育タイムス社論

今次戰役の老練なる兩國を友國とするのみにして、有らゆる文明諸國の道義的叫聲を受け、死力を盡して三强國と絶望的戰爭を試みつゝある獨逸の今日遂に失敗に終るべきは今や明かなるに至れり、若し現在の情勢依然として變らず、到底其終結を豫知する能はざらん乎、目下局外中立を守りつゝある諸國は必ずや聯合軍に投ずるに至るべく、結局獨逸の運命を變改するに由なかるべきなり、今や獨逸國民は其貴重なる身命財産を傾倒して無謀なる戰爭に從事しつゝあるが、而かも此高價なる犠牲を拂ふ彼等はオメーロ、セダンの兩戰役により大小ナポレオンの利己的野望の下に繰返され、新たに大共和國を建設したる佛國民に倣ひ得べきや否や、將又彼等は自由人道の公平なる法廷に立ちて最後の宣告を受くる以前、既に數百万の蒼生を犠牲とし、更により大なる戰亂の慘禍を重ねて、尚且專制的軍人派の[illegible]に傾聽するの愚をなすや如何

怜悧なるカイゼルの輔弼の臣僚と其駐外使臣との拙劣なる外交は遂に獨逸をして其信用を失はしむるの止むなきに至らしめたり、之れ蓋し獨逸の外交政策及軍國主義の結果にして國民は其指導者の無責任を咎むるの權利を有す、若しビスマルク大公をして當世にあらしめなば彼は決して斯る愚策を[illegible]することなく、先づ墺國に向つて[illegible]威嚇を[illegible]る[illegible]に統率者は[illegible]るとも[illegible]下に適材を網羅するを知れり、ウィ[illegible]盛大化[illegible]ソフォルビヤは[illegible]り、「露國に戰意なし」と報告せる駐露大使及英國の決意を察するに遲鈍なりし駐英大使等の助言に基き、遂に[illegible]今日の窮境を招くに至れり又英露兩國は過去に於て對敵たり今日と雖も獨乙を牽制するの外、何等利害の一致するものなきに獨逸は此戰爭によりて事實上兩國の同盟を强制せり、參謀本部の大なる遺算は誤れる外交によりて生じたる窮境に獨逸を陷入れ、斯くして獨逸帝國は二倍以上の兵力を有する三强國を敵とせざるを得るに至れり

過去四十年間國家の生産力を犠牲として準備されたる軍隊の訓練は試驗さるゝと共に大袈裟なる帝國的制度は破壞されたり、而して此失敗は武器、兵力、勇氣に於て優越なる獨逸軍の力足らざりしが爲には非ずして實は「不可能」を敢てせんとせる致命的誤謬に基けり、獨逸參謀本部の作戰計畫は先づ佛國を粉碎して後徐ろに露國を制するに在り、不可抗と信せし巴里進軍は實に此目的に出したるものなりしが、形勢は一變し不可抗の侵入軍がマルンよりアイン及白國々境に擊退さるゝに至る、世界の批判は此時に於て獨逸終局の敗北を斷ぜり、現時獨軍の戰線は最初に備軍と衝突せる地點まで壓迫を受けカライス市は其危險より免れ、東普タネンベルヒは殺倒し來る露軍に取りて一朝茶飯事たり、ロツを取りワルソーを奪ふことも何物を償いすべきぞ、則令豫測し難き運命の轉向あり、獨軍再び巴里の城門を壓するとあるも、新たに訓練されたるキチナー將軍の精兵はヴオスゲス山の佛將に援けらるゝ頃佛國に上陸すべく、露軍の兵力亦無盡藏なることを知らざるべからず

（未完）

外交家難

卓郎

▲日本の内閣に外務大臣になつた者は誰でも輿論の攻擊を受ける、だから[illegible]一生懸命になつても不振無能を浴びせかけられるから其地位が重要で勢力もある代りに心配も亦一しほである、陸奥さんや小村さんの樣に手腕ある外交家と言はれた者が皆肺病で死んだ所を見ると國家の爲に日夜肝膽を碎いたとが思はれ、外務大臣をして肺病を病[illegible]るは何だか無能のやうに思はれるが、兎に角外務大臣といふ役目は心配な役目で、そして割の悪い、寧ろ死んで後に勤めさして貰らい度やうな役目だ

▲併し攻擊さるゝ外務大臣と攻擊する政黨員乃至元老の孰れが外交的才能見識を持てるかといふにコイツ聊か怪しいものだ、吾々の観る所では第一に日本といふ國が外交に就て全然無經驗で世界と交際するやうになつて僅に五十年、而かも人種の異つた、國力の熾んな列國を相手とし、加之けに貧乏搖るりをしながら相當に門戸を張らうといふのだから中々骨が折れる、隨つて少しでも行り損ふと、無能不振の聲が四方八方雨の如く起る、誰も日本の爲に惡るかれかしと思つて外交を行る者はないのに無暗矢鱈に攻擊さるゝと肺病にもなり兼ないイ、ヤ外交無能と一口にけなすが實際自分が其局に當つて見ると油汗をかゝにゃならんと見へる前號社説で述べた樣に現在のやうに列國の勢力競爭が熾んでは矢張り「略」なるものが必要であるが吾日本人は人種の違つた諸國を相手とする爲に此點を用ゐるのに極めて不便の地位に立つてる

▲英米露佛獨諸國は勿論多少人種は異つて居るけれども大した差は無く習慣風俗が殆んど同樣であるから大使以下の駐外外交官が列強の使臣と交際するにも便利が善く、妻君や子供は盛んに往來して親密に交際することも出來、取分け若い外交官と大使公使の令孃達の間にチョックラ味な問題も生じて來、何たかたとイキサツを繰返す中に時に緊要なインフオメーションを得ることもあり、又大使公使の一顰一笑、一擧一動によつて逸早く事件の眞相を知る機會もある

▲夫れから密偵を使ふにも人種が違ふと非常に不便だ、獨逸が今度の戰爭に強いのも又開戰當時神速な行動を執つたのも密偵行使に巧みであつた事が非常に原因してるといふ話だ

ある、其の面白い話しは斯うだ、巴里の各國大使館には大抵獨逸人の下女下男が居て、夫れが又非常に忠實で給料が安いから非常に重寶がられたものださうな、所が今度の戰爭で發見された所によると之等の下女下男の多くは何れも獨逸政府から派遣された密偵であつたさうな、成程密偵をする程の下女下男であれば重寶がられるも無理はないが此獅子身中の虫に喰込まれちゃ流石の大使公使もやり切れたものじやない

▲然るに日本の外交官に見ると、顔の色がドスから別嬪も惚れて呉れずスキ燒に御茶漬、浴衣のしりをひん巻つて團扇でケツをブンなぐるとの妙な連中許りと來てるから交際も下手にし、金もなし、妻君連は異人の顔を見ると曲つた足でチョコ〳〵逃げ出すといふ始末だから助らない

▲遣外使臣に斯んな不便不自由が附纏ふて居る所へ、進むで他外國使臣と華やかな交際をする丈の給料手當を貰らて居ないから可愛想だイヤ日本國民が外交官としての體面を維持する丈の給料を出し得ない程貧乏だ詰まり國力が不充分であるから如何に才能ある外交官でも金がない爲に充分に其手腕を現はすことが出來ないのだ、尤も吾國に手腕ある外交家を有せぬことは世既に定評ありで、獨逸の戰意を本年の四月に知つて本國政府に報告した駐獨佛大使の如き鬼才もなく、却て三國干渉を少しも知らなかつた程の迂濶な公使を大臣とする位だから、拙者とても強ち彼等を擁護する譯ではない、只當局者を攻擊する者も多少其邊の消息を解して彼等の境遇に同情しても満更罰は當るまいと思ふ

●佛國外交文書 は過日當地タイムスの日曜附錄として一般に公表せるが同社は別に少冊子として一般の希望に添ふ由、 定價十仙

THE JAPANESE TIMES
Published Weekly by
JAPANESE TIMES Co.
Kenichi Kai, Editor
238 Sixth Ave N. Y. City
Tel. 6473 Chelsea
Subscription Rates
5c. A copy $2.00 One Year
Postage included
Entered at N. Y. Post Office as second class matter under act of March 3rd 1879

紐育新報定價（前金郵税共）
□一部金五仙□六ヶ月分一弗
□一ヶ年分金二弗
千九百十一年六月廿四日郵政院認可
發行兼編輯人 甲斐健一
發行所 紐育新報社
紐育市第六街三〇八
電話六四七三 チエルシイ

●議會の移民問題

大統領維爾遜氏は教育試驗に反對

米國議會上院に於て討議中なる移民法案は來廿九日即ち基督降誕祭休暇後迄其採決を延期することとなれるが同案中教育試驗を外來移民に課するの條項に反對なるイリノイス州選出議員リユイス氏が去廿一日大統領を訪問後公言する所によればウ氏は教育試驗條項に反對意見を有し居る由にてリユイス、リード、クラップ諸氏及紐育選出のオーゴーマン氏等は一團体を組織して極力同案に反對する筈なり、元來同條項は新英州選出和共黨員及南部諸州全体の代表者等が熱心主張する所にして歐州戰亂後南部諸州に移民雲集せば其一部分は例の好ましからざる分子なるなるやも知れずとの恐怖心より來りしものなるがウ氏は教育試驗を以て好ましき移民と然らざる者を區別するの標準たらずとの意見を有し居れるが故に同案が通過せし場合或は署名を拒むやも知れざれども有力者は右條項の所以を以て氏が所屬黨派を脫する必要に迫らるゝが如き困難の地位に陷入らざらんことを希望し居れりと

●大戰要報

此一週間の戰報には特に目覺ましひものはない、白佛方面及び波蘭土、ガリシヤ方面の戰況に就ても交戰國公報は何れも自國の勝戰を傳たへて敗けたとは少しも公表せぬから其形勢を知ることは出來ぬが要するに聯合軍も獨墺軍も所謂決勝的と稱する丈の戰をする迄に至らず、目下は先づ互角の勢ひといふべきであらう

▲ジョフレー大將の嚴命 伯林の佛國捕虜將校のポッケットから出た、佛軍總督ジョフレー大將の命令なるものを見ると、近來佛軍が各方面に於て攻勢に出づるに至つた原因が明かである曰く、吾が軍は過去三ヶ月間專ら防禦の態度を執り、一々敵の猛烈なる突貫を擊退して彼の弱點を知る事を得たり而して今や吾軍は多數の援兵と軍需品とを得たるを以て進んで攻勢の態度を執り、祖國の領內より敵軍を驅逐すべき時期に達せり、兵卒よ吾が國は今や汝等の勇敢に期待するもの更に一層切なるの秋なり云々

▲カイゼルの再出陣 病氣の爲め伯林の宮居に引籠中で有つた獨帝は病氣全快して再び白佛方面に出陣したる旨公報を以て發表された、醫師は再出陣の危險を唱へたが基督降誕祭當日に皇帝が戰場に臨まれるとは士氣を鼓舞する爲極めて必要だとて將校連の希望に應じたのだとのことである

●英國軍事公債 一億五千万弗は去廿一日を以て募集されたるが金融市場は之が爲に何等の影響を受くる事なく英國ノ經濟的實力が如何に潤澤なるかを示せりと

●土耳古滅亡の豫言 露領ブルズラ附近にて戰沒せる一コサツクの豫言者は死に臨みて土耳古首都コンスタンチノプルは千百十七年にコサツクの爲に亡ぼさるべしと豫言せるが各所に戰ひつゝある十万のコサツク騎兵は此豫言に刺擊せられて士氣頓に揚がれりと

●ヴイヤ大殺戮を行ふ ヴイヤは首都メキシコ市は固より墨國各地に於て反對派と目せらるゝものを捕へて片ッ端より斬首の刑に處し或は富豪を捕縛して金錢を強請しつゝあり、過日來處刑せられたる者の中ガルシヤ、ダルゴ、モングイ、デルガルトの四將軍はウエルタ政府の部下たりしものにして有名なる眞珠商カヌチユラ、バカは百萬弗の人質として目下拘禁中なるが、各地の人民はヴイヤの此暴狀に對して戰々胸々たる有樣なりと

●米國陸軍飛行家の慘死 陸軍偵察飛行の陸軍中尉ガースター氏は去廿一日加州サンデーゴよりロスアンゼルス市へ向つて飛行中海中に墜落溺死せり、米國陸軍飛行家にして其職に殉せしは氏を合せて都合十八名を算すと

●伊國近情 獨逸は新にビユロース公を駐伊大使に任命し何事か企畫せんとする者のゝ如きが伊國民の多數は此際聯合軍に投じて戰爭に參加するの必要を唱へ、千八百八十二年墺帝暗殺を企て失敗したる首謀者オベルダンクの記念日當日を以て盛なる示威運動を試みんとし、又各所に演說會を開き激越の言論を以て公衆を煽動するにより、政府は之等の運動の鎭壓取締に苦心慘膽を極め居れり

●獨墺民救助義捐金のバザー は去廿一日夜を以て閉會せり同[illegible]賣店監督の語る處に依れば賣店總賣上高より諸種の雜費を引去り此六割を獨逸に四割を墺匈國の寡婦孤兒に分配贈與する筈なりと尚獨國傷病兵等の爲募集せる義捐金其他のバザー催しに依りて集めたる金額は總計百數十万弗に達せる由

●犬養氏と增師問題

國民黨總務犬養毅氏は曰く今期議會の開期迫れると共に政友會にありても增師案に對し延期說漸く有力ならんとする觀あるも吾人は此延期說には全く不同意にして無意味の議會たることを斷言すると同時に二箇師團增設には斷じて反對を表明するものなり其理由は陸軍當局者の所謂二個師團增設を斷行せざれば國防上欠陷を生ずべしとの議論は日露戰役後直ちに立案したるものにして現在に於ける四圍の狀勢は當時と全く其趣を異にせり或は行懸り上更に十年前の遺物を固執しつゝあるに非らざれば何れにもせよ陸軍當局者が殆んど國民を敵視する惡弊を脫せずして依然秘密主義を守りつゝあるの結果國防の眞相を國民に知悉せしめざるを以て本問題の爲に政變を繰返され甚だしきは政爭の具に供せらるゝに至りしなり故に此際陸軍當局者は坦懷以て國防の眞相を明にして識者の判斷を待つを以て最も可なりとす斯くの如くにして增師が眞に已むを得ざるものと認められなば余も亦之に贊成すべし然らざる以上は當局者の言ふ所を信じて之に贊成を表する能はざるなり余は二個師團增設は飽迄反對なるも軍備の擴張には大贊成を表するものなり即ち其意味は兵器の改良及び一朝有事の際に於ける戰鬪員の增加といふ意味に於てなり、換言すれば各國共日に月に兵器の改良を行ひ殆んど底止する所を知らざるか如き有樣なるを以て我國も亦之に順應して他に遲れざる改良を行ひ且つ現在の兵制に改革を行ひ步兵の如き一年制を實行し以て豫後備軍人の數を增加し眞に國民皆兵の實行を爲さんと欲するものなり然るに此際徒に二個師團の增設を行ひ以て國家將來の計をなさんとするか如き策の最も拙なるものなるを以て到底贊成を表する能はざる所以なり云々

●戰爭と海外渡航

近來南洋及南米方面渡航者の數を增加しつゝあるは一般の傾向なるか歐洲戰亂勃發以來一層甚しきものあり今東京府廳にて旅劵を交附せる數を見るに南洋印度に渡航する者は最近四ヶ月に九十餘名あり殊に獨領は盛んに[illegible]等に紹介され日本にて占領するに至りてよりは渡航出願者は雨後の筍の如く群り出てたりといふ更に南米は同期間に六十名にして平常より多數なる事は勿論なれど戰亂の影響としては何等認むべきなし又歐米方面も甚だしき變動を來し歐州行は戰爭開始以來數名あるのみにしてアメリカ行は九、十兩月共とも四五十名ほどあり之れ一旦アメリカに行き更に機を見て歐州に渡らんとするもの多數なるか故なるべしと而して歐米渡航者は皆相應の年齡に達し居れど南洋及南米方面に渡航せんと欲するものは大抵年若き青年にして廿五六歲より三十歲前後のものなり彼等は雜誌の記事などに釣られて一攫千金を夢みて渡航するもの多きが南米は別として南洋方面に渡航するものゝ如きは殆んど全部失敗に終る有樣にて豫め就職口を契約したる後にて渡航するに非らざれば到底成功覺束なしと

●袁總統の魂膽　最近勞乃宣か正續共和正解なる一書を著し共和政體の支那に用ふべからざると帝政に復せざるべからざる理由を述べたるか[illegible]ならずして約法會議長孫イクイン亦袁總統に對し宣統帝の復位を[illegible]陳したるにより袁總統は大に驚き政事堂に各部會長會議を開き善後策に付協議し北京城內に大恐慌を生じたりとの事なれば宗社黨か新に大陰謀を企てたるものゝ如く解せらるゝも宗社黨の衰ふる事已に久しく恭親王[illegible]肅兩親王を始め升允、馬安良、鐵良張勳等あるも[illegible]恭王とは各渤海の一角に隱れ又股肱と賴むべきものもなく升允は既に老ひ馬安良は勢力なく唯鐵良のみ多少運動せし跡あり張勳は徐州に蟠居するも既に何事をも爲す能はざるは疑なく最近宗社黨か何等の陰謀をも企畫せざるは明白なるに袁總統か一二文書の公表を[illegible]とし大騷きをなすは解すべからざる次第にして多分袁總統に何等かの胸算あつての事なるべし清帝復位は屢々起る問題にして袁總統が第二次革命亂を征服し股肱を集め善後に關する大會議を開きたる際馮國璋は宣統皇帝の位を復し袁世凱之か攝政大總統となり支那の禍亂を鎭定すべき事を建論したりしも陸軍總長段キ瑞等の反對せし爲め沙汰止みとなりたり而かも清朝回復說は屢次反覆せられ單に支那人間に於てのみならずザルバート、リート[illegible]の如きすら宣統を尊重し劉廷タンに至つては万言の書を國務卿徐世昌に致し袁總統の不忠を責めし速に宣統帝を復位せざるべからざる事を激論したり宗社黨の無勢力にして袁總統を覆す能はざるは袁世凱の熟知する所なるも常に宗社黨より不忠、不忠呼ばりせらるゝは袁世凱の大に快とせざる所なるべく既に革命黨を海外に驅逐せる今日國內に目の上のコブたるものは宗社黨の外あらざるべきにより國內統一上宗社黨に打擊を加へ之を閉塞せんとするは袁總統の胸算なりしなるべく勞乃宣、孫イクインの文書發表を奇貨とし大騷擾に騷き立て宗社黨を攻擊するの具に供したるものなるべし

●獨領處分略々確定す　先きに日本は其占領したる南洋諸島を濠洲政府に引渡すべしとの報ありしが右は誤報にして十五日英國一當局か洩らしたる報によれば濠洲は只其の南洋獨領諸島の一部を支配し他は戰爭の終り迄日本の軍事的占領に任ずべく右協約の交渉は日英兩國の間に進行して今や殆んど終結したりと傳せらると

●佛國行赤十字社救護班の出發　佛國陸軍慰問の日本赤十字社救護班は十六日橫濱出帆の歐洲航路線伏見丸にて出發の途に就くべく同一行は[illegible]大學の塩田廣重博士を醫長とし[illegible]員茂木[illegible]學士と看護婦十五名並に通譯員兩三名にして佛國マルセーユ着港ボルドーに向ふ、豫定なりといへり、

●東大新総長　山川博士京大総長專任と共に東大には新総長を專任せらるべく目下其候補者として呼聲高きは穗積博士なり

●青島の貿易價値

青島は愈吾軍の手に歸したるか青島貿易上の價値に就ては阪口大藏省技師の談に曰く

獨逸か青島を租借して以來鐵道建設築港等諸種の設備をなしてより山東省全體の產業上に及ぼしたる影響は大に見るべきものあり由來山東省よりの物資は多く芝罘港を中心とし各地に集散されしが獨逸か青島を經營せる以來、芝罘に於ける貿易の大部分は青島に移るに至れり千九百五年に於ける芝罘の貿易狀態を見るに輸入九百八十万七千兩輸出四百五万二千兩の多きに達したるか爾後九ケ年を經過せる千九百十三年に於ては輸入五百廿一万一千兩輸出三百六十五万二千兩に減退せる事實を示せり又青島の貿易上の發達の狀況を見るに、千九百四年に於て輸出八十四万五千兩輸入三百四十三万七千兩なりしが十ヶ年を經過せる千九百十三年には輸出一千二百三万二千兩輸入一千五百四十六万七千兩を計上し輸入に於て約五倍輸出に於て約十五倍の驚くべき發達を示せり又千九百二年に於ける青島より各國への貿易狀態を示せば左の如し

	輸出	輸入
獨逸	二、二八七	二、八八七
日本	二、一〇六	八、三六六
英國	三三四	四七九
米國	三六二	七九七
白國	四七八	三〇一
佛國	三、四四三	一九
計	一二、九六〇	[illegible]五、四六七

青島は中支那に於ける貿易上の好地點に位し獨逸の經營たる濟南順德線の連絡及び進一步を進めて徐洲開封間の連絡の途を講ぜんか由來沃野千里と稱する黃河兩岸の物資は悉く青島に集り中支那に於ける產業は青島の發達と共に[illegible]するゝに至るべし云々

●議會解散か

從來の東京發電に依ると議會に對する大隈內閣の態度は極めて強硬で若し議會で目下豫算委員會で審議中の明年度豫算五億五千八百萬圓を否決したら早速解散を斷行して國民の輿論に訴ふるといふ覺悟を示して居るといふ、然るに政友會の方では飽迄現內閣を破壞する覺悟で、國民黨と提携し從來贊否何れとも態度を[illegible]なかつた增師案に反對し又は政府反對の輿論を起さんがために演說會や懇親會を開ひて必死の運動を行つて居るが政府反對熱は向昂らず寺內[illegible]閣中に在るさうな尤も、同會は行懸り上、是が非でも政府案を決行して豫算を突き崩す考であるから議會の解散は到底免かれずとの事である

●御大禮費豫算五百三十万圓　明年を以て御擧行相成る御即位御大禮費の豫算五百三十万圓本日貴族院に[illegible]出されたり

●帝國議會豫算通過せん　日本政府明年度總豫算歲出二億七千八百萬弗に對して目下衆議院に於て審議せられつゝあるが增師問題其他に就て大反對あり行惱みの姿なるも結局は陛下の特權によりて政府と議會の間に妥協成立し豫算を通過するに至るべしと（十六日來電）

本社營業部

▲日本行滊車滊船切符取次

日本郵船 大坂商船

シカゴ、ボストン、フヰラデルヒヤ其他東部何れの地方より御出立の塲合も取次可申候

▲手紙取次 手數料一ケ年二弗

▲各國語飜譯

▲通辨

柳原資亟氏著
米國實地 實業經營法
定價一冊金一弗郵税十仙

紐育新報社

●華府日本大使館附武官任命 海軍省大臣官房副官兼秘書官海軍大佐野村吉三郎氏は華盛頓府日本大使館附武官に任命されたり

●紐育浦塩直通航路開始 當地浦塩間の直通路新たに開始され二隻の滊船數多の積荷を載せて巴奈馬運河を通過せり、新航路の距離は一万百浬にしてスエス運河を通過するに比較すれば三千浬近く隨て一時間十ノットの速力にて航海日數十二日半を減じ得べしと

●紐育市哇間の新航路開始 米布滊船會社は過般當地より市哇への新航路を開始し今後十日毎に當地を出帆する筈にて同社の諸滊滊船は出帆後シャトル、タコマを經由し、航海日數四十九日にして市哇に達する由

●六尺の大童子 (十三で體量廿九貫)青山脳病院長齋藤紀一氏が養子に迄して愛育して居る齋藤文雄郎(十三歳)は稀にも珍らしい大きな子で二年前迄も五尺六寸の身長でアつたのが今では既に六尺に及び體量も二年前は廿六貫でアつたものがもう二十九貫にもなつて來た大振こうい

●宗教家の日米問題運動 米國基督教聯合協會長ブラウン博士を始め同會委員コロンビヤ大學教授ヤング博士ハミルトン氏、ギユーリツク博士、基督教青年幹事モツト氏其他斯界の著名なる人々十數名は日米問題に付、目下開會中なる米國議會に對し連署の上一の請願書を送り、東洋人に對し正義公道に基きたる政策を採用せんことを以てしたしり、請願書の大意は左の如し

亞細亞は今や急速に覺醒しつゝアりて、彼等は西洋文明の採用により將來の世界歷史に重要なる使命を有するに至るべし而して此使命が平和、好意及相互的協同により行はるべきか又は兩洋人の間に猜疑と恐怖とを激層せしむるとによりて行はるべきかは一に西洋人の態度如何にアり、故に米國が此際第一に執るべき方法は何適當なる東洋政策を採用し、移民の制限、移民の教育、配置、市民權等に關し正義公道に基き、世界各國民の待遇を與ふべき完全の規定を設け、以て各國民相互的友情を發達せしむるに在り云々

●救世軍への御下賜金 廿一日東京發電によれば天皇、皇后兩陛下には今回特別の御召思を以て東京救世軍本部へ金三千圓の御下賜金アりたる由にて同宗教團體が帝室の御嘉認を受けたるは今回を以て始めなりと

●小玉呑象氏の易占式 去廿三日例年の通り易占式を行ひ數多の知友を招けり、因に同氏の易占は非常に中るとのことにて菊池東洋氏などは令閨の懐妊を言ひ中られ大に驚き居たり

●軍艦出雲ノ所在 軍艦出雲は去廿一日秘密カラオに入港せる由同地より來電りたり

●聯合クリスマス祝賀會 例報ノ如く同會は廿四日午後八時よりマデソン街五十八レフオーム教會に於て行はれたり

ふ大□はブタ肥りなのが普通でアるが此の子のは決してさうではなく何處も彼處も平均に極健全の發達をして□て眞に立派な體格で正に常陸山の二代目といつた風でアる然も其巨身で大盃のやうな學校帽を冠ぶつて毎日小學校へ通つて居るが友達から大きい〳〵と言はれるのを□く嫌がつて居るとは無邪氣なものさ養父齋藤院長の熱心で既に常陸山方へ弟子入りノ約束も出來たとノことでアる

●歸朝廣告

小生義一身上の都合に依り來年一月下旬當地出發歸國致候に付此段辱知諸君へ謹告致候、尚友人諸君の中日本の知巳其他へ御傳言の御用向も有之候はゞ無御遠慮被仰付度、出來得る丈御便利相圖り可申候

紐育新報社主 甲斐俊一

●青年會ノ忘年會 來る廿七日午後八時忘年會を催し會員相互ノ歳末所感をぶ述る由

●人間ノ□只ツた一個 アチー、オハン嬢はブロンクス、セントアアナアヘニユーに住たるが寢床ノ下にベニーを落して之を探らんとし火事を起して一命を失へり

●木川ばなゝ君入社す 永らく本紙ノ寄書家たりし木川正男氏今回本社に入社せり

●クリスマスと市内商人 市内雜貨小賣店、植木屋、花店等ノ商況を聞くに今年は殊ノ外不景氣など例ノ如く□□をコボス者多けれど只幾分昨年より悪しき方にて相當賣行アり殊に造家屋は專ら上景氣ノ方なる由

●明日ノ忘年會 來廿七日菊池東陽外二氏ノ發起にかゝる忘年會アり

●日本倶樂部ノ除夜會 來卅一日除夜には會員諸氏ノうまい蕎麥ノ御馳走アる由但し會費ワンダラ

●社告並新年號豫告

本紙新年號は明年一月元旦早朝必らず讀者諸君ノ手許に達するやう發送すべく殊に發行部數を增加し、内外各地に配付するに付、廣告ノ効力特に顯著なるべきは勿論なれば商品廣告、新年廣告等は掲載希望ノ人は大至急申込アるべし

新年號は□中同人ノ外。侃堂、獨樂處故山逸客、南嶺、信陽、て水、眢天等ノ寄書家□得意ノ彩筆を揮ひ、叉紐育ノ家庭を寫眞板として掲載すべし

本社主甲斐俊一は新年號迄編輯を司り一月七日號よりは千本木正治之に從事し且一切の經營に任す、木川正男は今回本社に入社せり

●茂木桃井組ノ移轉 同會社は業務日增しに隆盛に趣き從來ノ所にては手狹を感ずるに至りしより今回東十六丁目百五番に廣大なる家屋を借入れ移轉ノ上大ひに内外人間に業務を擴張する筈なりと

土地賣却

有望なる 會社所有 フロリダ面積八万六千エーカーの内二万五千六百エーカーを日本人諸君に賣渡しし、使用は鐵道に近く農業地としみ有望なり、一エーカー賣價三十五弗、希望者は左記へ御問合を乞ふ

代理人 武市サンダ街五八 西亭

紐育日本間郵便發着表

ニユーヨーク本局締切午後六時半

船名	經由地	發送日
佐渡丸	シャトル	十二月廿四日
シャトル丸	タコマ	卅一日
コレヤ	桑港	廿五日
サイベリア	仝	一月一日
地洋丸	仝	一月八日

愚妻チユ儀死去ノ際ハ不一方御配慮ヲ蒙リ辱ク奉存候、早速拜舘ノ上御禮可申上處年略儀紙上ヲ以テ深ク御禮ニ及候 不備

大正三年十二月十一日

高瀬榮□
女 高□多□
友 □鈴太郎
岡嶋□次
木下政治
人 鴨井□久

診察

●前約に限り診察 往診の求に應ず
ブロンクス□□□□向 フオーダム病院内
醫學士 小栗乘吉
電話トレモント二〇〇〇

JOKICHI OGURI, M.D.
Fordham Hospital Bronx, N.Y.
Tel. Tremont 2000

移轉披露

日本雜貨美術品販賣
紐育市 茂木桃井組

MOGI MOMONOI & Co.
25 Barclay Street,
will move on Feb. 15th, to
105-107 E. 16th St.



Room 708-9 □ Bedford St.
Boston, Mass.

現在ノ塲所手狹ニ付キ上記ノ所ニ移轉ス、尾本限リ一月十五日迄ニ完成可仕候御愛顧ヲ希上候

○御料理 並日本食料品販賣

南京町モツト街第六番□ 岡本 吉川
万屋
□球臺あり

每日午後十時十五分チカゴより發車す、途中乘換なし
チカゴ以東は各□道に連絡す
客車は凡て最新式にして且綠路は風景に富める地方を經由し日米間旅行道筋として尤も愉快なる綠路なり

GREAT NORTHERN RAILWAY
National Park Route

NEW YORK OFFICE □ Broadway N.Y. City Tel. Madison Square 77□ S. Lounsbery G.A.P.D.

岡田寫眞館

159 W. 100th St.
N.Y. City
Tel. Riverside □

▲ニユーヨーク生命保險會社▼ 代理人 千本木正治

□□ Ave. N.Y. City
Tel. 6473 Chelsea

○佐藤鈴木 日はん園

クリスマス、新年、婚禮、葬式用花類、並に植木箱庭、箱庭用植木類卸小賣
私共今回新たに左記の處に於て開業仕候間多少に不拘御用被仰付度奉希上候

佐藤鈴木日本園
支配人 西島三藏
紐育市第五街二百五十九番
□ □ Ave. New York
Tel. Madison Sq. □

YAMA君
二年前迄ローリンク□□ Ave. でビ、ヤンと共に働いて居た同君に面會したし
T. Hosaka

賣渡たし

□□□ □□ □□完全
□□□□ 二千□ □□用 □□ 等
一切
□□□□先も紹介申すべし
値段及詳細は本社に問合せられたし

新古書籍賣買

學校教科書其他諸書一切の書籍數千種取揃有之極めて安價に差上候 尚御不用の書籍は可成高價に御買受申候

Schoolbooks of all Publishers at Reduced Prices
Hinds and Noble, 31-33-35 West 15th St., N.Y. City. Secondhand and New. Write for Catalogue.

ハインズ エンド ノーブル 書籍店
ニユーヨーク 西街十五丁目二十一

御下宿 吉田宗章

624 Lexington Ave. N.Y. City
□□ □□ Street
Telephone Plaza 6235
●球塲あり●

各種革箱製造

當市製造のファンシー ケースは日本雜貨店及び玉突塲等に缺くべからざる必要品なり



御一報次第カタ□グ□郵送可仕候

J. CAROW & CO.
□ Warren St. New York City
Tel. □□ Cortlandt

Room Nan Low
□□□ Ave
Cor. □□ St

支那料理 品南樓
□□にして□清潔
午前十一時より午後六時まで開店

□□ W. □□ St. City
Tel. □□ Columbus

懐石御料理 花月

五十九丁目地下及高架鐵道より一丁の所にて□ご存知の□も□□

□□□の□□に□時に□□□を□として□□□の中上□
□□□□□□□□□□□

◎最も珍らしき年暮並にクリスマス進物◎

▲香水 モーニング デウ(朝露)

最新製の香水にして無色透明、香氣高尚として其の名の如く、内外人間に最も好評を博しゝる稀有の逸品なり
及ウキステリア、ハチサツクル、サンダルウード、オリエンテス

美麗なるカベ縮緬製箱入 四オンス瓶
特別割引代價金壹弗八十五仙
郵便切手代用差支なし
現金封入の節は必ず書留に願升



(朝露)

カタローグは御申越次第御送り可申候、外に進物用化粧品色々

五味商會
F. D. GOMI & Co.
□ East □ St. N.Y. City

御下宿

うどん
そば
壽司
おしるこ

電話プラザ 八六一三

大文字

158 East 55th Street N.Y. City
Between 3rd & Lex. Aves.



●困つた世の中

（承前）秋本春僧

▲弁の新と仮劇が[illegible]れて居る[illegible]に日本の不景氣話しもある[illegible]なし[illegible]ふけれども事實結婚[illegible]と云ふ現象が起つたといふか[illegible]ら、[illegible]分は婦人[illegible]の僕として、[illegible]さんには行かんのだ、

▲學問高尚の時代には學士の[illegible]がよかつた[illegible]時に[illegible]の理想とする[illegible]るものであ[illegible]、無責任な婦人雜誌など[illegible]な[illegible]に女子の[illegible]心を[illegible]人が十人まで[illegible]夫人となつて[illegible]な夜會[illegible]裳を[illegible]想[illegible]

▲然るに此理想が過ぎ[illegible]彼等に結婚の後現實に[illegible]初めて[illegible]家庭上の[illegible]漸次[illegible]り、今では一[illegible]に不自由[illegible]になつた、[illegible]

[illegible]、先方[illegible]、グズ[illegible]に婦人[illegible]が過ぎて結[illegible]婚するといふことになる、

▲吾々が小供の時分には早くても十六七歳から二十歳までで男の方も廿[illegible]な時に結婚したものだが[illegible]今では女が早くて十八、男は大概廿五から三十[illegible]といふのが普通だ[illegible]さうなつたも[illegible]の原因は教育[illegible]小中學を經て專門學を修め何うやら斯うやら食つて行ける丈になるまでは、[illegible]いものでも廿八九だ、[illegible]職業を[illegible]し卒業後四五年を下宿屋に暮らすものも少くない、[illegible]く結婚仕度くも出來ない

▲男の方は三十位まで獨身で居た所[illegible]は仕ないが女の方は二十歳位からボツ〱貰ひ振方を考へてゐないとスクに[illegible]さんと云はれる[illegible]頃になるから心配だ、夫れも[illegible]が立派で、[illegible]財産タップリなれば大して心配もないが、官[illegible]の[illegible]、[illegible]來ては[illegible]うな

▲[illegible]を以て大[illegible]

[illegible]さる女子に[illegible]である[illegible]自己の配偶にしたき[illegible]うである[illegible]現代にはさういふ奇特な[illegible]心[illegible]を有つて居る茶人は一人もない[illegible]財力豐富なる男子は美婦を選び生活に苦む男は金持ちの[illegible]を求めて居る[illegible]の中間にある財力も[illegible]かならず[illegible]も美ならずといふ女は[illegible]準から洩れなければならぬ即ち此種の女子が最も貰ひ手が無いのだ

▲さりとて相當に女一通りの學問をしたる彼等は女中も出來ない上に[illegible]獨立の基礎を作るべき或特殊な方面に沒頭して學問なり技藝なりに[illegible]、出發點からして不利な地位にある人、[illegible]であつて老嬢の悲哀を嘆ずる同情すべき人だ

▲近年は一方男子の方に高等遊民[illegible]が多くなると共に一方女の方に於ては此の老嬢の數が多くなつた普通の人であつても婦人支度の費用に窮し多少教育あるがために飯炊八公の[illegible]にもなれず遂に結婚に對しては消極的になつて消極的な自營の途を講ずるに至るのである此等の人の中には社會を白眼視し一種の反抗的に出たものが婦人運動の先驅者となり或は[illegible]なる虚榮心から[illegible]所謂新らしき女の字自棄自棄の生活に[illegible]の慰安を求めて居る、觀じ來れば此等も結婚及それに附隨せる煩[illegible]を避ける考へから來たもので結婚難の生める一現象と見る事も出來る

▲十年以前から見れば結婚の模式も極めて簡單になつて來た冠婚葬祭を四大禮として、一生の國の[illegible]稱へられて居た婚禮もたゞ形許りの儀式を擧げるのみで中以下の社會に於ては公けに所謂披露の宴を張るゝのは極めて寥々たるものである簡單を尊ぶは社會は目まぐるしく複雜になつて來たことに由る許りでなく第一の原因は世の中が非常にせち辛くなつて來るか爲めである

▲嗚呼生活難、就職難、結婚難、日本にある人々の四苦八苦の嘆きを聞けば飲み食ひに困らず呑氣に生活して行ける米國は有難い國じやないか、[illegible]さずに働け〱

●即位式は明年

天皇陛下には今秋十一月十日京都に於て即位大禮同月十三日大嘗祭を行はせらるべき[illegible]出されしも[illegible]四月十一日[illegible]太后陛下崩御一ケ年[illegible]に服せさせらるゝことゝなり[illegible]を以て大禮[illegible]命ありたるに付き御大禮は一ケ年即ち大正四年秋季と延期の事となりた[illegible]歐洲の大戰亂となり日獨兩國[illegible]戰狀態に入りたるにより御大禮も亦明後年に延期せらるゝが如く取沙汰するものあり右に付き或筋にて仄かに聞く處によれば目下大喪中なるを以て御大禮の期日其他は公然發表する次第にあらざるも決して明後年に延期するなど[illegible]は思ひもよらぬことにして明年秋即ち十一月を以て御擧行のことに內定せるものと見て可なりと云ふ

●投書籠

▲[illegible]知香川縣下の吉田は其儘存續の內するを詐欺師にかゝつて金を巻き[illegible]けらるゝからウッカリ[illegible]るな[illegible]米者

▲此間の米人の友人二人で[illegible]ロードウエーを歩いて居たら一人の美人がグー〱アイをするから此方も一パイやつた後、連立つて其カフエーに這入つてへゝレケに飲んだ、よく聞けば彼女は日本人[illegible]田の妻で十〇町某店の〇君は大分大熱〱になつてたものじやさうな道理でよく某店の內幕を知つてたよ、美人の名前はリッル〇〇〇といふので評判の飲助だ（大男）

▲會費もなく、信者もなく、禮讓もないのに教會と名を付け牧師は外國傳道會社より高い給料をモラつて毎晩十二時より一時まで美人と[illegible]の交際をなし、教會のこめて買ふて貰ふたオルガンや鍋釜を[illegible]に至るまで日本の何處かにあるさうだが、コーいふ人間は美人の住宅へ持ち運ぶ者を基督の御弟子として尊敬しても宜しいか[illegible]事實たとすれば勿論[illegible]の風上に置けぬ下等の奴ヤソ坊主也（[illegible]係）

▲此間さる下宿屋に行きし所三年振りの事故以前の下宿のやつではあるまいと思ふて色々話した後某人から何某さんが先夜自弗勝て歸られましたとの話しあり僕は何某をよく知り居るが三年前より眞面目になられたと思つて居たのに又始めたかと驚き翌日、本人に會して事實の有無をたゞしたるにソレは噓だとの返事を聞いた、勝つた人の話し許りして負けた人の話をせぬのは變じやないか、（注意生）

▲理想的ホームの中にも二三の怪しからぬことをするものあり主任者注意せよ會員[illegible]

▲面と向つては一言も得言はないで料理屋の片隅て人の惡口許りを言ふ奴は影辨慶の卑怯者じや、或男は此間某所に來て無暗に某君の惡口を叩いて居たが側に聞ひて居た五六の會員は其男の平生を知つて居るので「世間既に定評ありじや」と一本やつけた、全人

▲日本人會の暴漢退治は正業者を保護する者て大賛成なり、吾々が來た當時の紐育はそう無事であつたが今の日本人間にそう云ふ者が出たとは情ない、早く[illegible]退治して欲しい[illegible]正業[illegible]米國に永く居たものは日本に[illegible]陸[illegible]り事情か判らず、[illegible]